白滝遺跡群 Ⅵ

第１分冊（本文編）

白滝村　上白滝８遺跡（２）

一般国道450号白滝丸瀬布道路工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書

平成17年度

財団法人　北海道埋蔵文化財センター

口絵１　白滝遺跡群

接合資料

口絵２　空中写真・上白滝８遺跡(1)

1　遺跡群と北大雪連峰（北東から・平成11年撮影）

2　平成８年度調査状況（南東から）

口絵 3　上白滝 8 遺跡(2)

1　平成 8 年度調査状況（東から）

2　平成 8 年度調査状況（北東から）

口絵 4　上白滝 8 遺跡(3)

1　平成 8 年度調査状況（南東から）

2　平成 9 年度調査状況（南東から）

口絵５　上白滝８遺跡(4)

1　平成12年度調査状況（西から）

2　土層断面（S27･28区南壁）（北から）

口絵 6　上白滝 8 遺跡(5)

1　白滝Ⅰ群 Sb－70石核ほか（南東から）

2　白滝Ⅰ群 Sb－77掻器ほか（北西から）

Sb－64～69裏面微細加工石器ほか（２／３）

口絵８　上白滝８遺跡(7)

Sb－64～69接合資料（１／２）

Sb－72～79台形石器ほか（２／３）

口絵10　上白滝８遺跡(9)

Sb－72～79接合資料（１／２）

1　G区 Sb－83彫器・石核ほか（北東から）

2　G区 Sb－83舟底形石器ほか（南東から）

口絵12　上白滝８遺跡(11)

1　H区 Sb一90石刃核ほか（南東から）

2　H区 Sb一90石刃核ほか（南西から）

1　Ⅰ区 Sb－93調査状況（西から）

2　Ⅰ区 Sb－93彫器・石核ほか（南東から）

口絵14　上白滝８遺跡(13)

1　Ⅰ区 Sb－95調査状況（南から）

2　Ⅰ区 Sb－94舟底形石器ほか（南から）

1　J区 Sb－97調査状況（南西から）

2　J区 Sb－97尖頭器・彫器・石核ほか（北東から）

口絵16　上白滝８遺跡(15)

G区(Sb－80～89)尖頭器ほか（２／３）

G区（Sb－80～89）接合資料（１／３）

口絵18　上白滝８遺跡(17)

H区(Sb一90)細石刃核ほか（２／３）

H区(Sb－90)接合資料(1)（３／10）

口絵20　上白滝８遺跡(19)

H区(Sb−90)接合資料(2)（２／５）

I区(Sb－91～96)尖頭器（2／3）

口絵22　上白滝８遺跡(21)

I区(Sb－91～96)彫器ほか（２／３）

I区(Sb−91〜96)舟底形石器ほか（２／３）

口絵24　上白滝８遺跡(23)

I区(Sb−91～96)接合資料(1)（２／５）

I区(Sb－91～96)接合資料(2)（２／５）

口絵26　上白滝８遺跡(25)

I区(Sb−91～96)接合資料(3)（１／２）

J 区(Sb－97～107)尖頭器（２／３）

口絵28　上白滝８遺跡(27)

J区(Sb－97～107)彫器ほか（２／３）

J 区(Sb－97～107)舟底形石器ほか（2／3）

口絵30　上白滝８遺跡(29)

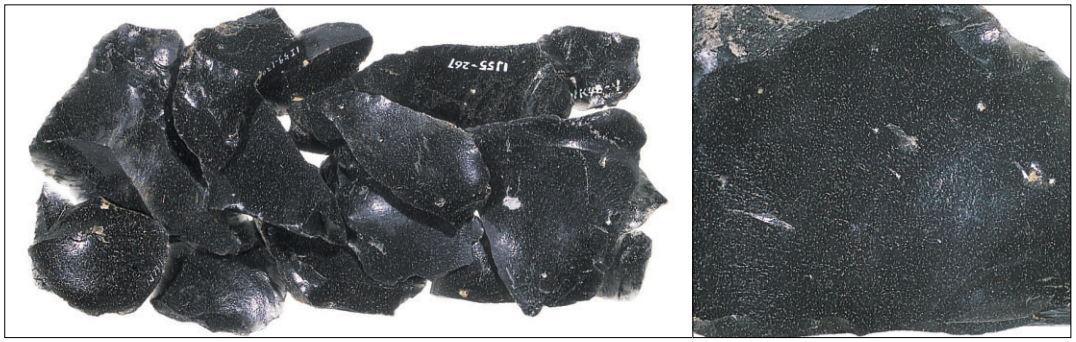
J区(Sb－97～107)接合資料(1)（１／３）

J区(Sb－97～107)接合資料(2)（１／２）

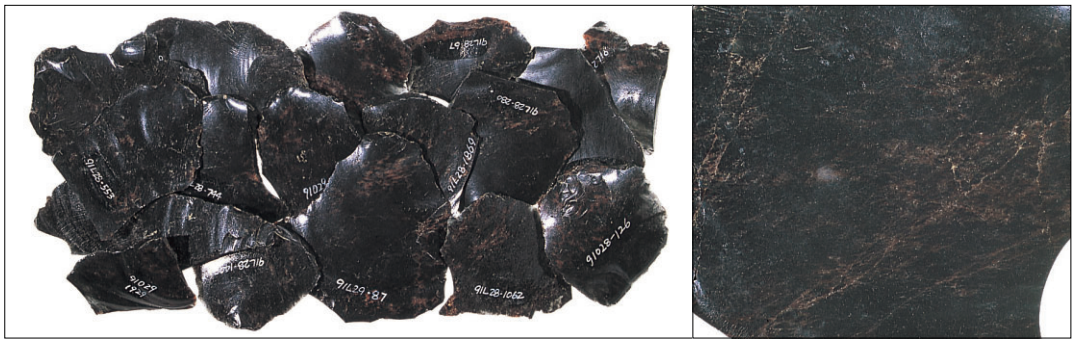
口絵32　黒曜石

1　黒曜石 1

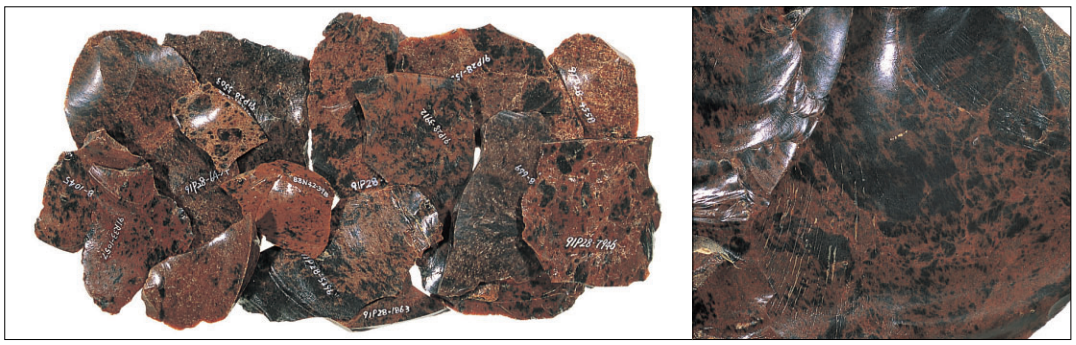
2　黒曜石 2



3　黒曜石 3



4　黒曜石 4



5　黒曜石 5

例　　言

1　この報告書は、一般国道450号白滝丸瀬布道路改良工事に伴い、平成７～10・12年度に財団法人北海道埋蔵文化財センターが実施した白滝村上白滝（かみしらたき）８遺跡の埋蔵文化財発掘調査に関するものである。上白滝８遺跡東地区については『白滝遺跡群Ⅳ』において報告済みであり、遺跡の概要等については今回の報告と重複することが多いため、調査日誌抄や個々の遺跡の概要等については割愛し、簡略な記載に留めた。それらについては『白滝遺跡群Ⅳ』を参照していただきたい。なお、上白滝８遺跡の総括については本報告で行う。

2　平成７年度より行われている白滝遺跡群の調査の概要については、いくつかの機会に紹介しているが、上白滝８遺跡に関しては、本書が優先する。

3　本書は第１分冊（本文編）、第２分冊（石器実測・分布図編）、第３分冊（写真図版編）の３冊で構成されている。第１分冊は、本文、自然科学的分析等、掲載遺物一覧表など、第２分冊は、石器ブロック群・区域単位での石器実測図・石器ブロック分布図・接合資料実測図など、第３分冊は、航空写真・調査状況・石器・接合資料などの順で構成されている。

4　第１分冊と第２分冊の挿図は通し番号である。

5　第２分冊で実測図を掲載した石器・接合資料は、基本的にすべて第３分冊の写真番号に掲載し、さらに接合資料に含まれる石器については、接合資料とともに縮小し再度掲載した。また、第３分冊の写真図版のみに掲載した石器・接合資料もある。

6　第２分冊の実測図番号と第３分冊の写真番号は同一である。実測図番号は、各遺跡の石器ブロック群・区域単位で１から付けたが、その順番は、単体石器、接合資料、写真のみ掲載単体石器、写真のみ掲載接合資料の順である。

7　本書の作成は、第１調査部第３調査課で行ったが、編集は鈴木宏行が担当した。

整理作業・報告書作成作業は石器群単位で進め、以下の担当において進めた。

「白滝Ⅰ群」（Sb－64～79）：直江康雄

「白滝Ⅰ群」以外（Sb－80～111）：鈴木宏行

図版・挿図の作成担当、各章または節・項の執筆は以下のとおりで、Ⅱ章４については『白滝遺跡群Ⅳ』のものを再度掲載した。また、英文要旨は鈴木が担当し、山田しょう氏に校正していただいた。

第１分冊（本文編）

口絵（カラー）：鈴木宏行・直江康雄

Ⅰ章１～３・４（１）～（４）・（６）、Ⅱ章１、Ⅲ章１（１）～（３）・（５）、２（７）～(13)、Ⅴ章２・３：鈴木宏行

Ⅱ章２・３、Ⅲ章１（４）、２（１）・（３）～（６）、Ⅴ章１：直江康雄

Ⅰ章４（５）、Ⅲ章１（６）・（７）・２（２）：鈴木宏行・直江康雄

第２分冊（石器実測・分布図編）

「白滝Ⅰ群」（Sb－64～79）石器・分布図・接合資料：直江康雄

「白滝Ⅰ群」以外（Sb－80～111）石器・分布図・接合資料：鈴木宏行

第３分冊（写真図版編）

調査状況・「白滝Ⅰ群」（Sb－64～79）石器・接合資料：直江康雄

「白滝Ⅰ群」以外（Sb－80～111）石器・接合資料：鈴木宏行

8　接合資料の計測値は、「白滝Ⅰ群」については小型であることを考慮して、小数点第１位まで記載し、「白滝Ⅰ群」以外については従前どおり小型のものを除いて整数で記載した。

9　作業の一部および年代測定・分析などは下記の機関または個人に依頼した。

現地測量・航空写真撮影およびデータ入力、遺物実測の一部など：（株）シン技術コンサル

遺物実測の一部：アジア航測（株）

遺物写真撮影：（有）写真事務所クリーク（佐藤雅彦）

接合資料他実測用写真撮影：小川忠博

放射性炭素年代測定：（株）地球科学研究所（Ⅳ章１）

黒曜石産地推定・水和層測定：（有）遺物分析研究所（Ⅳ章４）

10　現地の写真撮影は、随時調査員が行い、航空写真・遺物は、前述の会社が行った。

11　出土遺物は、白滝村教育委員会が、写真・データなどの記録類は財団法人北海道埋蔵文化財センターが保管している。

12　調査にあたっては、下記の機関および人びとの指導ならびに協力をえた。(順不同、敬称略)

文化庁、青森県立郷土館、・(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター、東北大学、東北福祉大学、(財)東京都埋蔵文化財センター、首都大学東京、明治大学考古学博物館、(財）かながわ考古学財団、(財)長野県埋蔵文化財センター、長門町教育委員会、野尻湖ナウマンゾウ博物館、沼津市教育委員会、(財)京都文化博物館、福岡市埋蔵文化財センター、熊本県教育委員会、鹿児島県立埋蔵文化財センター、北海道教育委員会、白滝村教育委員会、丸瀬布町教育委員会、遠軽町教育委員会、北網圏北見文化センター、常呂町教育委員会、羅臼町教育委員会、釧路市埋蔵文化財調査センター、帯広百年記念館、名寄市北国博物館、下川町教育委員会、千歳市教育委員会、今金町教育委員会、市立函館博物館、知内町教育委員会、

岡村道雄、土肥　孝、加藤真二、木村英明、鶴丸俊明、加藤博文、高倉　純、長崎潤一、阿子島香、柳田俊雄、梶原　洋、佐川正敏、会田容弘、安斎正人、佐藤宏之、山田　哲、小野　昭、大沼克彦、阿部朝衛、島田和高、山科　哲、加藤晋平、藤本　強、小林達雄、白石浩之、山中一郎、松藤和人、稲田孝司、藤野次史、小畑弘己、太田原潤、神田和彦、吉川耕太郎、山田晃弘、佐久間光平、須田良平、村上祐次、山田しょう、藤原妃敏、鹿又喜隆、松沢亜生、小菅将夫、橋本勝雄、栗島義明、小川忠博、諏訪間順、栗原伸好、大塚健一、大竹憲昭、大竹幸恵、堤　隆、須藤隆司、谷　和隆、中村由克、沢田　敦、笹原芳郎、池谷信之、鈴木忠司、麻柄一志、木崎康弘、宮田栄二、松村愉文、瀬下直人、太田敏量、北沢　実、山原敏朗、熊林佑允、澤田　健、杉浦重信、友田哲弘、向井正幸、石川　朗、仙庭伸久、藤井誠二、出穂雅実、佐藤雅彦、赤井文人、寺崎康史、宮本雅通、横山英介

記号等の説明

1　調査区域図・遺跡全体の遺物分布図などの縮尺は、任意であるのですべてスケールを付けたが、発掘区の一辺は４ｍであるので、目安としてもらいたい。

2　各石器ブロックの基本的な全遺物分布図の縮尺は以下のようにしたが、器種別分布図、接合分布図などは統一せず、スペースに応じた縮尺とした。いずれの場合も縮尺とスケールを示した。

１：150（Sb-91は１：160、Sb-97・110は１：200、Sb-93・95・96は１：250）

3　母岩別・接合資料の接合分布図の基本的な縮尺は、１：200としたが、全体図・拡大図の一部は、スペースに応じた縮尺とした。いずれの場合も縮尺とスケールを示した。

4　遺物の縮尺は、実測図・写真とも、石器類は１：２としたが、H区の石刃核など一部大型の石器については１：３とした。接合資料および接合破片は、実測図・写真とも１：３とした。

5　実測図は最大六面提示し、基本的には正面の右に右面・裏面、左に左面、上に上面、下に下面を配置しているが、紙面の関係で一部配置を変更したものがある。また、右下に掲載番号のある面が正面図であるが、舟底形石器は左面である。

6　一部の接合資料実測図においては、図を視覚的に理解し易くするために接合剥片の腹面側、接合資料内の内側部分などをトーンで示した部分がある。

7　尖頭器関連の接合資料の実測図においては、全体の状況を示すと同時に腹面側（内側）の状況の実測図を示したものもある。

8　接合資料の中で、剥片石器や石核の素材である剥片もしくは原石を分割したものについては「個体Ａ」「個体Ｂ」・・、さらにそれらから剥離された剥片を素材にするものは「個体ａ」「個体ｂ」・・と呼称した。

9　接合資料は、剥離工程を理解し易くするために模式図を作成し、実測図と共に掲載した。模式図は同一段階の剥離群毎にトーンを変え、剥離の流れを番号で示した。ただし、切り合い関係がなく、前後関係が明らかでないものにおいても便宜上番号を付けたので、詳細は個々の説明を参照願いたい。

10　剥離模式図の縮尺は任意である。模式図中の矢印（――►）は接合剥片の剥離方向を示すが、接合剥片の打点側が欠損している場合は切れた矢印（－ ――►）、重なって見えない部分は破線の矢印（-----►）で示した。また、素材剥離時の打撃点部分に►を付けたものもある。

11　接合資料と共に掲載した接合破片（定形的な石器も含む）は基本的に剥離順番に並べてある。

12　尖頭器の模式図においては、接合剥片に残存する打点の位置から、搬入・搬出時に想定される輪郭を示したものもある。

13　調査区域図および遺物分布図など方位記号は平面直角座標の北を、レベルは標高（単位はｍ）を示す。

14　遺構や石器ブロックについては以下の略号を使用した場合がある。

Sb：石器ブロック　　Cb：炭化木片ブロック

15　遺物分布図では以下の記号を用いた。

●：剥片　●：石刃　●：縦長剥片　＋：削片　◗：細石刃
⧓：細石刃核　◆：舟底形石器　▲：尖頭器　◆：両面調整石器　★：ナイフ形石器
▲：彫器　■：掻器　◆：錐形石器　▼：削器　▼：台形石器
▲：裏面微細加工石器　⬬：基部平坦加工石器　⮟：二次加工ある剥片
⧓：石核　⧓：石刃核　△：石鏃・石刃鏃　人：つまみ付きナイフ
□：礫石器等（斧形石器・敲石・砥石・台石・原石・礫）

16　石器ブロックの全遺物分布図については剥片を網点で示した。また、接合分布図、母岩別・接合資料分布図においても、全体の遺物を網点で示したものもある。

17　挿図中の番号は、石器ブロック群・区域毎に単体石器、接合資料の順で１から付けた。また、接合破片として接合資料の所に示した場合は、単体石器で付した番号を付けている。

18　遺物分布図の記号横の数字は、遺物番号を示している。また、分布図中の縮小した遺物実測図横の数字は挿図中の番号で、さらに出土発掘区・遺物番号を同時に表示したものもある。

19　石器ブロック接合分布図の接合線は、剥離順番を示すものではなく、遺物番号の若い順番に機械的に結んだものである。

20　接合資料の接合分布図では、折れ面接合をすべて実線で示した。また、個体や段階などを示す場合に破線で示したものもある。

21　石質は掲載遺物の一覧表に示したが、黒曜石については、以下の５種類に分けて示した。

黒曜石１：黒色　　黒曜石２：梨肌（黒色）　　黒曜石３：黒色に茶色が混じる（黒＞茶）

黒曜石４：茶色に黒色が混じる（茶＞黒）

黒曜石５：黒色に紫がかった茶色が混じる（黒＞紫・茶）

接合資料の一覧表では、スペースの関係で、上記の黒曜石１～５についてそれぞれを１～５の数字のみで示した。

碧玉については、色調から濃緑色を１、赤色を２、褐～褐黄色を３とした。

安山岩については、主に剥片石器に利用される緻密で玄武岩質のものを安山岩１、主に台石や敲石などに利用される輝石安山岩などのものを安山岩２とした。

珪質頁岩は泥岩質の頁岩と区別するために使用したもので、硬質頁岩や凝灰岩質のものなどを含んでいる。原産地を考慮した細分は今後の課題である。

22　黒曜石以外の石質については、実測図番号の下に以下の略号で示した。

珪質頁岩：Si-Sh　　めのう：Ag　　碧玉：Ｊａ　　珪岩：Qu　　安山岩：An

緑色泥岩：Ｇr-Mu　　凝灰岩：Tu　　片岩：Sch　　粘板岩：Sl　　砂岩：Sa

写真図版の説明

1　掲載順は、空中写真、調査状況、炭化木片ブロック等、石器ブロック別遺物出土状況、出土遺物である。

2　挿図に掲載した遺物は、全て写真を掲載している。また、写真のみ掲載した単体石器、接合資料もある。

3　出土遺物は、石器ブロック群・区域毎に単体石器、接合資料の順で掲載し、番号は挿図中の番号と一致している。接合資料は基本的に挿図の掲載順としたが、割り付けの関係で、前後することや、写真のみの掲載資料が組み合わされている場合がある。挿図とは番号で照合していただきたい。

4　写真の縮尺は、単体石器は１：２であるが、一部大型のものについては１：３とした。接合資料は、１：３とした。

5　接合資料の写真は、実測図作成用として90°展開の台に固定し、破片の輪郭や剥離面が明確になるようなライティングでストロボ撮影したものを１：２にプリントした。したがって、各面の誤差はないが、単体石器や接合破片とは若干異なった写真となっている。また、撮影時の固定具などがみられることがあるので、注意願いたい。

6　単体石器は通常の俯瞰撮影なので、正面と裏面では若干の誤差を生じていることがある。また、接合資料の写真とも若干異なっていることがある。

目　　次

第１分冊（本文編）

口絵（カラー図版）
例言・記号等の説明・写真図版の説明
目次・第１分冊挿図目次・第１分冊表目次・第２分冊挿図目次抜粋・第３分冊目次抜粋
Ⅰ　調査の概要…… 1
　1　調査要項…… 1
　2　調査体制…… 2
　3　調査に至る経緯…… 3
　4　調査概要…… 4
　　⑴　発掘区の設定…… 4
　　⑵　調査の方法…… 6
　　⑶　整理の方法…… 7
　　⑷　報告書の作成…… 8
　　⑸　遺構・遺物の分類…… 10
　　⑹　調査結果の概要…… 12
Ⅱ　遺跡の位置と周辺の環境…… 29
　1　遺跡の位置と周辺の遺跡…… 29
　2　遺跡周辺の地形と地質…… 32
　3　基本土層…… 34
　4　黒曜石の原石山・赤石山…… 36
Ⅲ　上白滝８遺跡の調査⑵ …… 39
　1　調査の概要…… 39
　　⑴　調査要項…… 39
　　⑵　調査体制…… 39
　　⑶　発掘区の設定…… 41
　　⑷　土層…… 41
　　⑸　調査の方法…… 57
　　⑹　整理の方法…… 58
　　⑺　調査結果の概要…… 61
　2　遺構と遺物…… 69
　　⑴　炭化木片ブロック…… 69
　　⑵　遺物分布と石器ブロック・石器ブロック群・区域…… 80
　　⑶　石器ブロック64～70（Sb－64～70）の石器 …… 115
　　出土石器 …… 115
　　分布・接合状況 …… 117
　　母岩別資料 …… 118
　　⑷　石器ブロック71（Sb－71）の石器 …… 123
　　出土石器 …… 123
　　分布・接合状況 …… 124
　　母岩別資料 …… 124
　　⑸　石器ブロック72～79（Sb－72～79）の石器 …… 124
　　出土石器 …… 124
　　分布・接合状況 …… 129

母岩別資料 …… 130
⑹「白滝Ⅰ群」石器ブロック外の石器…… 132
出土石器 …… 132
分布 …… 133
⑺ G区・石器ブロック80～89（Sb－80～89）の石器 …… 133
出土石器 …… 133
分布・接合状況 …… 138
母岩別資料 …… 141
⑻ H区・石器ブロック90（Sb－90）の石器 …… 157
出土石器 …… 157
分布・接合状況 …… 159
母岩別資料 …… 160
⑼ Ⅰ区・石器ブロック91～96（Sb－91～96）の石器 …… 166
出土石器 …… 166
分布・接合状況 …… 174
母岩別資料 …… 177
⑽ Ｊ区・石器ブロック97～107（Sb－97～107）の石器 …… 222
出土石器 …… 222
分布・接合状況 …… 231
母岩別資料 …… 234
⑾ K区・石器ブロック108～111（Sb－108～111）の石器 …… 265
出土石器 …… 265
分布・接合状況 …… 267
母岩別資料 …… 268
⑿ 「白滝Ⅰ群」以外石器ブロック外の石器 …… 270
出土石器 …… 270
分布 …… 271
⒀ 表土（重機調査）の石器 …… 271
出土石器 …… 271
Ⅳ 自然科学的分析等 …… 273
1 放射性炭素年代測定 …… 273
2 上白滝８遺跡出土炭化材の樹種同定 …… 279
3 上白滝８遺跡・服部台２遺跡から検出された植物種子について …… 282
4 上白滝８遺跡出土の黒曜石製石器の原材産地分析・水和層測定 …… 283
Ⅴ まとめ …… 303
1 「白滝Ⅰ群」（Sb－64～79）について …… 303
⑴ 石器ブロック64～70（Sb－64～70） …… 304
⑵ 石器ブロック71（Sb－71） …… 310
⑶ 石器ブロック72～79（Sb－72～79） …… 312
⑷「白滝Ⅰａ・Ⅰｂ群」の関係…… 318
2 「白滝Ⅰ群」以外について…… 320
⑴ G区・石器ブロック80～89（Sb－80～89） …… 321
⑵ H区・石器ブロック90（Sb－90） …… 330
⑶ Ⅰ区・石器ブロック91～96（Sb－91～96） …… 334
⑷ Ｊ区・石器ブロック97～107（Sb－97～107） …… 350

(5)　K区・石器ブロック108～111（Sb－108～111） …… 360
3　上白滝８遺跡の総括 …… 362
引用文献 …… 365
英文要旨 …… 368
掲載遺物一覧 …… 371

第１分冊（本文編）挿図目次

調査の概要
図Ⅰ－１　白滝遺跡群調査遺跡図…… 5
図Ⅰ－２　白滝遺跡群出土石器(1)…… 17
図Ⅰ－３　白滝遺跡群出土石器(2)…… 18
図Ⅰ－４　白滝遺跡群出土石器(3)…… 20
図Ⅰ－５　白滝遺跡群出土石器(4)…… 21
図Ⅰ－６　白滝遺跡群出土石器(5)…… 22
図Ⅰ－７　白滝遺跡群出土石器(6)…… 24
図Ⅰ－８　白滝遺跡群出土石器(7)…… 25
図Ⅰ－９　白滝遺跡群出土石器(8)・計測の基準…… 26
遺跡の位置と周辺の環境
図Ⅱ－１　白滝村の位置と村内の遺跡…… 30
図Ⅱ－２　上白滝８遺跡の位置と周辺の遺跡…… 31
図Ⅱ－３　段丘面分布図…… 33
図Ⅱ－４　基本土層図…… 35
図Ⅱ－５　調査遺跡・黒曜石露頭位置図…… 37
上白滝８遺跡の調査(2)
図Ⅲ－１　調査範囲・発掘区設定図…… 42
図Ⅲ－２　土層概略図(1)…… 44
図Ⅲ－３　土層概略図(2)…… 45
図Ⅲ－４　土層概略図(3)…… 46
図Ⅲ－５　土層概略図(4)…… 47
図Ⅲ－６　土層断面図(1)…… 48
図Ⅲ－７　土層断面図(2)…… 49
図Ⅲ－８　土層断面図(3)…… 50
図Ⅲ－９　土層断面図(4)…… 51
図Ⅲ－10　土層断面図(5)…… 52
図Ⅲ－11　土層断面図(6)…… 53
図Ⅲ－12　土層断面図(7)…… 54
図Ⅲ－13　土層断面図(8)…… 55
図Ⅲ－14　調査範囲・報告地区・試掘調査位置図…… 59
図Ⅲ－15　調査区域地形図…… 60
図Ⅲ－16　炭化木片ブロック分布図…… 70
図Ⅲ－17　炭化木片ブロックの平面・断面図(1)…… 71
図Ⅲ－18　炭化木片ブロックの平面・断面図(2)…… 72
図Ⅲ－19　炭化木片ブロックの平面・断面図(3)…… 74
図Ⅲ－20　炭化木片ブロックの平面・断面図(4)…… 76
図Ⅲ－21　炭化木片ブロックの平面・断面図(5)…… 78
図Ⅲ－22　炭化木片ブロックの平面・断面図(6)…… 79
図Ⅲ－23　遺物分布(1)・接合分布(1)・遺物点数図(1)… 88
図Ⅲ－24　密度分布・石器ブロック設定(1)・遺物分布図(2)…… 89
図Ⅲ－25　遺物点数(2)・接合分布図(2)…… 90
図Ⅲ－26　接合分布(3)・石器ブロック設定(2)・区域設定・全石器ブロック設定図(1)…… 91
図Ⅲ－27　全石器ブロック設定(2)・石器ブロック設定図(3)…… 92
図Ⅲ－28　器種・石材別分布図(1)…… 95
図Ⅲ－29　器種・石材別分布図(2)…… 96
図Ⅲ－30　器種・石材別分布図(3)…… 97
図Ⅲ－31　器種・石材別分布図(4)…… 98
図Ⅲ－32　器種・石材別分布図(5)…… 99
図Ⅲ－33　器種・石材別分布図(6) …… 101
図Ⅲ－34　器種・石材別分布図(7) …… 102
図Ⅲ－35　器種・石材別分布図(8) …… 104
図Ⅲ－36　器種・石材別分布図(9) …… 105
図Ⅲ－37　器種・石材別分布図(10) …… 106
図Ⅲ－38　器種・石材別分布図(11) …… 107
図Ⅲ－39　器種・石材別分布図(12) …… 108
図Ⅲ－40　器種・石材別分布図(13) …… 110
図Ⅲ－41　器種・石材別分布図(14) …… 111
図Ⅲ－42　器種・石材別分布図(15) …… 112
自然科学的分析等
図Ⅳ－１　上白滝８遺跡出土炭化材材組織の走査電子顕微鏡写真(1) …… 280
図Ⅳ－２　上白滝８遺跡出土炭化材材組織の走査電子顕微鏡写真(2) …… 281
図Ⅳ－３　黒曜石原産地 …… 290
図Ⅳ－４　黒曜石水和層の干渉波スペクトル …… 296
図Ⅳ－５　産地分析・水和層測定試料(1) …… 298
図Ⅳ－６　産地分析・水和層測定試料(2) …… 299
図Ⅳ－７　産地分析・水和層測定試料(3) …… 300
図Ⅳ－８　産地分析・水和層測定試料(4) …… 301
まとめ
図Ⅴ－１　Sb－64～70石器組成図 …… 305
図Ⅴ－２　Sb－64～70母岩別資料 …… 306

図Ⅴ－3　Sb－71石器組成・母岩別資料 …… 311
図Ⅴ－4　Sb－72～79石器組成図 …… 313
図Ⅴ－5　Sb－72～79母岩別資料 …… 315
図Ⅴ－6　Sb－72～79掻器刃厚 …… 316
図Ⅴ－7　Sb－72～79掻器刃角 …… 316
図Ⅴ－8　Sb－72～79複合石器・二重パティナ有石器 …… 317
図Ⅴ－9　「白滝Ⅰ群」と広郷型ナイフ形石器関連の石器分布 …… 319
図Ⅴ－10　「白滝Ⅰ群」以外の石器群分布図⑴…… 322
図Ⅴ－11　「白滝Ⅰ群」以外の石器群分布図⑵…… 323
図Ⅴ－12　G区（Sb－80～89）石器組成図⑴ …… 324
図Ⅴ－13　G区（Sb－80～89）母岩別資料⑴ …… 325
図Ⅴ－14　G区（Sb－80～89）石器組成図⑵・母岩別資料⑵ …… 329
図Ⅴ－15　H区（Sb－90）石器組成図･母岩別資料⑴ …… 332
図Ⅴ－16　H区（Sb－90）母岩別資料⑵ …… 333
図Ⅴ－17　Ⅰ区（Sb－91～96）石器組成図⑴ …… 336
図Ⅴ－18　Ⅰ区（Sb－91～96）石器組成図⑵ …… 337
図Ⅴ－19　Ⅰ区（Sb－91～96）母岩別資料⑴ …… 338
図Ⅴ－20　Ⅰ区（Sb－91～96）母岩別資料⑵ …… 339
図Ⅴ－21　Ⅰ区（Sb－91～96）石器組成図⑶・母岩別資料⑶ …… 342
図Ⅴ－22　Ⅰ区（Sb－91～96）石器組成図⑷・母岩別資料⑷ …… 344
図Ⅴ－23　Ⅰ区（Sb－91～96）母岩別資料⑸ …… 345
図Ⅴ－24　Ⅰ区（Sb－91～96）石器組成図⑸・母岩別資料⑹ …… 349
図Ⅴ－25　J区（Sb－97～107）石器組成図⑴ … 352
図Ⅴ－26　J区（Sb－97～107）石器組成図⑵ … 353
図Ⅴ－27　J区（Sb－97～107）石器組成図⑶ … 354
図Ⅴ－28　J区（Sb－97～107）母岩別資料⑴ … 355
図Ⅴ－29　J区（Sb－97～107）母岩別資料⑵ … 356
図Ⅴ－30　J区（Sb－97～107）母岩別資料⑶ … 357
図Ⅴ－31　K区（Sb－108～111）石器組成図・母岩別資料 …… 361
図Ⅴ－32　上白滝８遺跡石器群分布図 …… 363

第１分冊（本文編）表目次

調査の概要
表Ⅰ－1　白滝遺跡群遺跡別・調査年別面積一覧… 13
表Ⅰ－2　白滝遺跡群調査結果概要一覧…… 13
表Ⅰ－3　調査遺跡の石器ブロック群一覧…… 15
遺跡の位置と周辺の環境
表Ⅱ－1　白滝村の遺跡一覧…… 31
上白滝８遺跡の調査⑵
表Ⅲ－1　西地区出土遺物点数・重量一覧…… 62
表Ⅲ－2　全体出土遺物点数・重量一覧…… 63
表Ⅲ－3　西地区出土遺物石質別一覧…… 64
表Ⅲ－4　全体出土遺物石質別一覧…… 65
表Ⅲ－5　西地区炭化木片ブロック一覧…… 67
表Ⅲ－6　炭化材樹種同定結果一覧…… 68
表Ⅲ－7　西地区出土点取り遺物ブロック・石質別一覧⑴…… 82
表Ⅲ－8　西地区出土点取り遺物ブロック・石質別一覧⑵…… 83
表Ⅲ－9　西地区出土点取り遺物ブロック・石質別一覧⑶…… 84
表Ⅲ－10　西地区出土点取り遺物ブロック・石質別一覧⑷…… 85
表Ⅲ－11　西地区出土点取り遺物ブロック・石質別一覧⑸…… 86
表Ⅲ－12　西地区出土点取り遺物ブロック・石質別一覧⑹…… 87
表Ⅲ－13　西地区出土原礫面残存・被熱石器一覧　114
自然科学的分析等
表Ⅳ－1　放射性炭素年代測定一覧 …… 278
表Ⅳ－2　上白滝８遺跡出土炭化材樹種同定結果　280
表Ⅳ－3　白滝遺跡群炭化種子同定結果 …… 282
表Ⅳ－4　各黒曜石の原産地における原石群の元素比の平均値と標準偏差値⑴ …… 285
表Ⅳ－5　各黒曜石の原産地における原石群の元素比の平均値と標準偏差値⑵ …… 286
表Ⅳ－6　各黒曜石の原産地における原石群の元素比の平均値と標準偏差値⑶ …… 287
表Ⅳ－7　各黒曜石の原産地における原石群の元素比の平均値と標準偏差値⑷ …… 288
表Ⅳ－8　湧別川河口域の河床から採取した247個の黒曜石円礫の分類結果 …… 290
表Ⅳ－9　常呂川（中ノ島～北見大橋）から採取した37個の黒曜石円礫の分類結果 …… 290
表Ⅳ－10　上白滝８遺跡出土黒曜石製遺物の元素比分析結果 …… 292
表Ⅳ－11　上白滝８遺跡出土黒曜石製遺物の原材産地推定結果 …… 294
表Ⅳ－12　上白滝８遺跡出土黒曜石製遺物の水和層厚測定結果 …… 296
まとめ
表Ⅴ－1　素材と搬入形態 …… 307
表Ⅴ－2　素材と剥離技術 …… 307
表Ⅴ－3　石核の大きさ …… 308
表Ⅴ－4　素材ごとの剥離の進行度 …… 308
表Ⅴ－5　技術ごとの剥離の進行度 …… 309
表Ⅴ－6　搬入形態と遺棄・搬出 …… 309
表Ⅴ－7　母岩別資料分布状況 …… 310

表Ⅴ－８　Sb－72～79掻器の平面形態と刃部形態　316
表１　上白滝８遺跡⑵掲載石器一覧 …… 371
表２　上白滝８遺跡⑵掲載接合資料一覧 …… 399

第２分冊（石器実測・分布図編）挿図目次抜粋

上白滝８遺跡の調査⑵

図Ⅲ－43～52　Sb－64～70の石器 …… 1
図Ⅲ－53～61　Sb－64～70の分布図 …… 11
図Ⅲ－62～71　Sb－64～70の接合資料 …… 20
図Ⅲ－72　Sb－71の石器 …… 30
図Ⅲ－73・74　Sb－71の分布図 …… 31
図Ⅲ－75　Sb－71の接合資料 …… 33
図Ⅲ－76～90　Sb－72～79の石器 …… 34
図Ⅲ－90～102　Sb－72～79の分布図 …… 48
図Ⅲ－103～112　Sb－72～79の接合資料 …… 61
図Ⅲ－113　石器ブロック外の石器、分布図 …… 71
図Ⅲ－114～132　G区（Sb－80～89）の石器 …… 72
図Ⅲ－133～147　G区（Sb－80～89）の分布図 … 91
図Ⅲ－148～175　G区（Sb－80～89）の接合資料　106
図Ⅲ－176～189　H区（Sb－90）の石器 …… 134
図Ⅲ－190～193　H区（Sb－90）の分布図 …… 148
図Ⅲ－194～217　H区（Sb－90）の接合資料 …… 152
図Ⅲ－218～255　Ⅰ区（Sb－91～96）の石器 …… 176
図Ⅲ－256～273　Ⅰ区（Sb－91～96）の分布図 … 214
図Ⅲ－274～368　Ⅰ区（Sb－91～96）の接合資料… 232
図Ⅲ－369～408　J区（Sb－97～107）の石器 … 327
図Ⅲ－409～434　J区（Sb－97～107）の分布図… 367
図Ⅲ－435～495　J区（Sb－97～107）の接合資料 393
図Ⅲ－496～499　K区（Sb－108～111）の石器 … 454
図Ⅲ－500～504　K区（Sb－108～111）の分布図　458
図Ⅲ－505～509　K区（Sb－108～111）の接合資料 …… 463
図Ⅲ－510　石器ブロック外の石器、分布図…… 468
図Ⅲ－511・512　表土（重機調査）の石器 …… 469
図Ⅲ－513　追加報告の石器、分布図…… 471
図Ⅲ－514　追加報告の接合資料…… 472

第３分冊（写真図版）目次抜粋

上白滝８遺跡の調査⑵

図版１・２　空中写真
図版２　遺跡近景
図版３～12　調査状況
図版13・14　土層
図版15～19　炭化木片ブロック
図版19　Sb－64の調査・遺物
図版20　Sb－66～69の調査・遺物
図版21　Sb－70の調査・遺物
図版22　Sb－70～73の調査・遺物
図版23　Sb－74・76の調査・遺物
図版24・25　Sb－77の調査・遺物
図版26　Sb－78・79・81の調査・遺物
図版27　Sb－82・83の調査・遺物
図版28　Sb－83の調査・遺物
図版29　Sb－84・85の調査・遺物
図版30　Sb－86の調査・遺物
図版31　Sb－86・87の調査・遺物
図版32　Sb－87・88の調査・遺物
図版33　Sb－88・89の調査・遺物
図版34　Sb－90の調査・遺物
図版35　Sb－90・91の調査・遺物
図版36　Sb－91～93の調査・遺物
図版37～39　Sb－93の調査・遺物
図版40　Sb－94・95の調査・遺物
図版41～43　Sb－95の調査・遺物
図版44　Sb－95・96の調査・遺物
図版45～49　Sb－97の調査・遺物
図版50　Sb－98の調査・遺物
図版51　Sb－99の調査・遺物
図版52　Sb－99・100の調査・遺物
図版53　Sb－100の調査・遺物
図版54・55　Sb－101の調査・遺物
図版56　Sb－102の調査・遺物
図版57　Sb－104の調査・遺物
図版58　Sb－104～106の調査・遺物
図版59　Sb－109・110の調査・遺物
図版60　Sb－110・111の調査・遺物
図版61～75　Sb－64～70の石器
図版76　Sb－71の石器
図版77～94　Sb－72～79の石器
図版94　「白滝Ⅰ群」石器ブロック外の石器
図版95～139　G区（Sb－80～89）の石器
図版140～172　H区（Sb－90）の石器
図版173～291　Ⅰ区（Sb－91～96）の石器
図版292～391　J区（Sb－97～107）の石器
図版392～398　K区（Sb－108～111）の石器
図版399　石器ブロック外の石器
図版400～402　表土（重機調査）の石器
図版402・403　追加報告の石器

Ⅰ　調査の概要

1　調査要項

事 業 名　　一般国道450号白滝丸瀬布道路工事に伴う埋蔵文化財発掘調査（平成16年度）
委 託 者　　国土交通省北海道開発局網走開発建設部
受 託 者　　財団法人北海道埋蔵文化財センター
遺跡名・所在地・調査面積・調査期間

調査年度	遺跡名	道教委登載番号	所在地	調査面積(㎡)	小計(㎡)	調査期間(現地調査)
平成７年度	上白滝８	Ⅰ−20−91	紋別郡白滝村字上白滝179−1,181	6,600	6,600	平成７年４月17日～平成８年３月25日
						（平成７年５月８日～10月25日）
平成８年度	上白滝８	Ⅰ−20−91	紋別郡白滝村字上白滝179−1,181−2,181−3	10,212		平成８年４月11日～平成９年３月31日
	上白滝２	Ⅰ−20−48	紋別郡白滝村字上白滝177−2,177−3	2,995	13,207	（平成８年５月８日～10月30日）
平成９年度	奥白滝１	Ⅰ−20−50	紋別郡白滝村字上白滝183−5	5,340		平成９年４月11日～平成10年３月31日
	上白滝８	Ⅰ−20−91	紋別郡白滝村字上白滝181−4,182−3	320		（平成９年５月６日～10月25日）
	上白滝２	Ⅰ−20−48	紋別郡白滝村字上白滝176−2,177−3	3,930		
	上白滝５	Ⅰ−20−88	紋別郡白滝村字上白滝123−3	3,728		
	上白滝７	Ⅰ−20−90	紋別郡白滝村字上白滝219−3	7,443	20,761	
平成10年度	服部台２	Ⅰ−20−13	紋別郡白滝村字奥白滝18−3	3,812		平成10年４月10日～平成11年３月31日
	奥白滝１	Ⅰ−20−50	紋別郡白滝村字上白滝183−5	2,067		（平成10年５月６日～10月24日）
	上白滝５	Ⅰ−20−88	紋別郡白滝村字上白滝123−3	4,132		
	上白滝６	Ⅰ−20−89	紋別郡白滝村字上白滝123−3,122−3	6,953		
	上白滝７	Ⅰ−20−90	紋別郡白滝村字上白滝219−3	5,150		
	上白滝８	Ⅰ−20−91	紋別郡白滝村字上白滝181−4,182−3	56		
	北支湧別４	Ⅰ−20−67	紋別郡白滝村字北支湧別97−1	5,472	27,642	
平成11年度	奥白滝11	Ⅰ−20−65	紋別郡白滝村字奥白滝52−5	505		平成11年４月１日～平成12年３月31日
	服部台２	Ⅰ−20−13	紋別郡白滝村字奥白滝18−3	2,002	2,507	（平成11年５月６日～７月４日）
平成12年度	服部台２	Ⅰ−20−13	紋別郡白滝村字奥白滝18−3	877		平成12年４月３日～平成13年３月30日
	奥白滝１	Ⅰ−20−50	紋別郡白滝村字上白滝183−2	345		（平成12年５月８日～10月27日）
	上白滝８	Ⅰ−20−91	紋別郡白滝村字上白滝182−2	661		
	白滝第30地点	Ⅰ−20−6	紋別郡白滝村字白滝382−4	636		
	白滝８	Ⅰ−20−58	紋別郡白滝村字白滝146−1,146−2	834		
	白滝18	Ⅰ−20−92	紋別郡白滝村字白滝145,139−1	2,600	5,953	
平成13年度	上白滝６	Ⅰ−20−89	紋別郡白滝村字上白滝123	670		平成13年４月２日～平成14年３月29日
	白滝３	Ⅰ−20−36	紋別郡白滝村字白滝106ほか	2,900		（平成13年７月16日～９月14日）
	下白滝	Ⅰ−20−23	紋別郡白滝村字下白滝99−1	90	3,660	
平成14年度	旧白滝９	Ⅰ−20−32	紋別郡白滝村字旧白滝438	3,380		平成14年４月１日～平成15年３月31日
	旧白滝８	Ⅰ−20−31	紋別郡白滝村字旧白滝442	2,610		（平成14年６月３日～10月25日）
	下白滝	Ⅰ−20−23	紋別郡白滝村字下白滝99−1	2,250	8,240	
平成15年度	旧白滝５	Ⅰ−20−28	紋別郡白滝村字旧白滝417	7,340		平成15年４月１日～平成16年３月31日
	旧白滝８	Ⅰ−20−31	紋別郡白滝村字旧白滝419,429,442,443	1,160		（平成15年５月７日～10月24日）
	中島	Ⅰ−19−34	紋別郡丸瀬布町南丸48,52	1,900	10,400	
合計				98,970	98,970	

2　調査体制

財団法人北海道埋蔵文化財センター　理事長　伊藤一夫（平成10年５月31日まで）
大澤　満（平成13年６月30日まで）
森重楯一（平成13年７月１日から）

専務理事　佐藤哲人（平成11年５月31日まで）
宮崎　勝（平成11年６月１日から）

常務理事　柴田忠昭（平成11年３月31日まで）
木村尚俊（平成13年７月17日まで）
畑　宏明（平成14年６月１日から）
佐藤俊和（平成16年４月１日から）

業務部長　山内　清（平成９年３月31日まで）
北條雅洋（平成10年３月31日まで）

総務部長　中田　仁（平成13年３月31日まで）
柳瀬茂樹（平成14年３月31日まで）
下村一久（平成14年４月１日から）
佐藤英一（平成16年４月１日から）

第１調査部長　畑　宏明（平成11年８月15日まで）
木村尚俊（平成13年７月17日まで）（兼務）
大沼忠春（平成14年３月31日まで）（兼務）
畑　宏明（平成14年４月１日から）（兼務）
千葉英一（平成16年４月１日から）

平成７年度　第１調査部第３調査課課長　長沼　孝（発掘担当者）
同　文化財保護主事　宗像公司（発掘担当者）

平成８年度　第１調査部第３調査課課長　長沼　孝（発掘担当者）
同　文化財保護主事　藤井　浩（発掘担当者）
同　文化財保護主事　宗像公司（発掘担当者）
同　文化財保護主事　坂本尚史
同　文化財保護主事　鈴木宏行
同　文化財保護主事　直江康雄

平成９年度　第１調査部第３調査課課長　長沼　孝（発掘担当者）
同　主任　越田雅司（発掘担当者）
同　文化財保護主事　宗像公司（発掘担当者）
同　文化財保護主事　坂本尚史
同　文化財保護主事　鈴木宏行
同　文化財保護主事　直江康雄

平成10年度　第１調査部第３調査課課長　長沼　孝（発掘担当者）
同　主任　越田雅司（発掘担当者）
同　文化財保護主事　宗像公司（発掘担当者）
同　文化財保護主事　坂本尚史
同　文化財保護主事　鈴木宏行
同　文化財保護主事　直江康雄

平成11年度　第１調査部第３調査課課長　長沼　孝（発掘担当者）
同　主任　越田雅司（発掘担当者）
同　主任　鈴木宏行
同　文化財保護主事　坂本尚史
同　文化財保護主事　佐藤　剛
同　文化財保護主事　直江康雄（発掘担当者）
同　文化財保護主事　福井淳一
平成12年度　第１調査部第３調査課課長　長沼　孝（発掘担当者）
同　主任　越田雅司（発掘担当者）
同　主任　鈴木宏行（発掘担当者）
同　文化財保護主事　直江康雄（発掘担当者）
平成13年度　第１調査部第３調査課課長　長沼　孝（発掘担当者）
同　主任　鈴木宏行（発掘担当者）
同　文化財保護主事　直江康雄
平成14年度　第１調査部第３調査課課長　長沼　孝（発掘担当者）
同　主任　鈴木宏行（発掘担当者）
同　主任　立田　理（発掘担当者）
同　文化財保護主事　直江康雄（発掘担当者）
平成15年度　第１調査部第３調査課課長　高橋和樹（発掘担当者）
同　主任　鈴木宏行（発掘担当者）
同　主任　愛場和人
同　主任　直江康雄（発掘担当者）
平成16年度　第１調査部第３調査課課長　高橋和樹
同　主任　鈴木宏行
同　主任　直江康雄

３　調査に至る経過

旭川市を始点とし、比布町、愛別町、上川町、白滝村、丸瀬布町、遠軽町、上湧別町、湧別町を経由して、紋別市に至る延長130kmの旭川・紋別自動車道の建設工事に伴う埋蔵文化財保護のための事前協議や発掘調査の経過については、これまでに（財）北海道埋蔵文化財センターが刊行してきた発掘調査報告書『白滝遺跡群Ⅰ～Ⅴ』に詳述されている。ここではそれらの記載に基づいて記述する。

旭川・紋別自動車道のうち、上川町上越から白滝村に至る上越白滝道路については、平成４年７月に埋蔵文化財保護のための事前協議書が、北海道開発局から北海道教育委員会あてに提出され、これを受けて北海道教育委員会は、同年８月に遺跡の所在確認調査を行い、10月には範囲確認調査に着手した。平成５年度には服部台、服部台２、白滝第４・30地点の各遺跡や国指定史跡「白滝遺跡」の隣接地などで範囲確認調査を実施、その結果、予定ルートにおいて20haに及ぶ遺跡群の存在が確認され、工事計画と遺跡の保存について協議が進められた。その動向は、北海道考古学会や日本考古学協会などから遺跡群の保存を求める要望書が提出されるなど、学界も注目するところとなった。

このような状況のもと、大規模かつ重要な遺跡が密集する八号沢川と湧別川の合流点付近について

は路線変更が図られ、奥白滝11、奥白滝12、服部台、服部台２、奥白滝１、上白滝８の６遺跡では、主要部分が現状保存された。しかし、工事計画の変更が困難な区域では、事前の記録保存調査が必要となり、平成７年度から（財）北海道埋蔵文化財センターと白滝村教育委員会が発掘調査を開始し、大規模な遺跡が密集する奥白滝、上白滝地区の本線部分については、平成11年度までに整理作業を残す現場段階での調査が終了した。

続く平成12年度には、白滝ＩＣに至る本線部分の白滝８、白滝18遺跡の調査を行い、合わせて防雪柵設置のための服部台２、奥白滝１、上白滝８、白滝第30地点遺跡の調査を実施した。平成13年度には上白滝６遺跡の工事用道路部分と白滝３遺跡のインターチェンジに付帯する道路部分の調査が２カ月間行われ、小規模ながら新たに白滝ＩＣ～丸瀬布ＩＣ間の白滝丸瀬布道路に係る下白滝遺跡の調査も加わった。この上白滝６、白滝３遺跡の調査で、白滝ＩＣまでの発掘は終了し、年度末の平成14年３月30日には、上川町上越（浮島ＩＣ）～白滝村（白滝ＩＣ）間19.8kmが開通した。

平成14年度には下白滝遺跡の継続調査のほか、幌加沢川右岸の旧白滝９遺跡や、左岸の旧白滝８遺跡の調査に着手するなど、調査対象地は旧白滝地区・下白滝地区へと移行した。これらの遺跡は低位の段丘面に立地するもので、これまでの高位段丘上の旧石器時代中心の遺跡群とは異なり、縄文時代や続縄文時代など、より新しい時代に営まれたものである。平成15年度には、丸瀬布ＩＣにかかる丸瀬布町中島遺跡の調査や、旧白滝８遺跡の継続調査など縄文時代以降の遺跡を調査し、合わせて旧白滝８遺跡の北側に隣接する旧白滝５遺跡の調査を開始した。旧白滝５遺跡は高位・中位段丘上に立地する旧石器時代を主体とする遺跡であり、平成15年度はその南西側半分ほどを調査した。

平成16・17年度には発掘調査を行っていないが、旧白滝５遺跡の残りの北東部分を含め旧白滝地区以東において今後も調査が見込まれる。

平成７～15年度の９年間で、（財）北海道埋蔵文化財センターが調査したのは、白滝村奥白滝11、服部台２、奥白滝１、上白滝８、上白滝２、上白滝５、上白滝６、上白滝７、北支湧別４、白滝第30地点、白滝８、白滝18、白滝３、旧白滝９、旧白滝８、旧白滝５、下白滝、丸瀬布町中島の18遺跡で面積は98,970㎡、白滝村教育委員会が平成７～10年度の４年間で調査したのは、白滝第４地点、白滝第30地点の２遺跡で面積は20,123㎡である。これらを合わせた現時点での総発掘調査面積は、計119,093㎡となる。

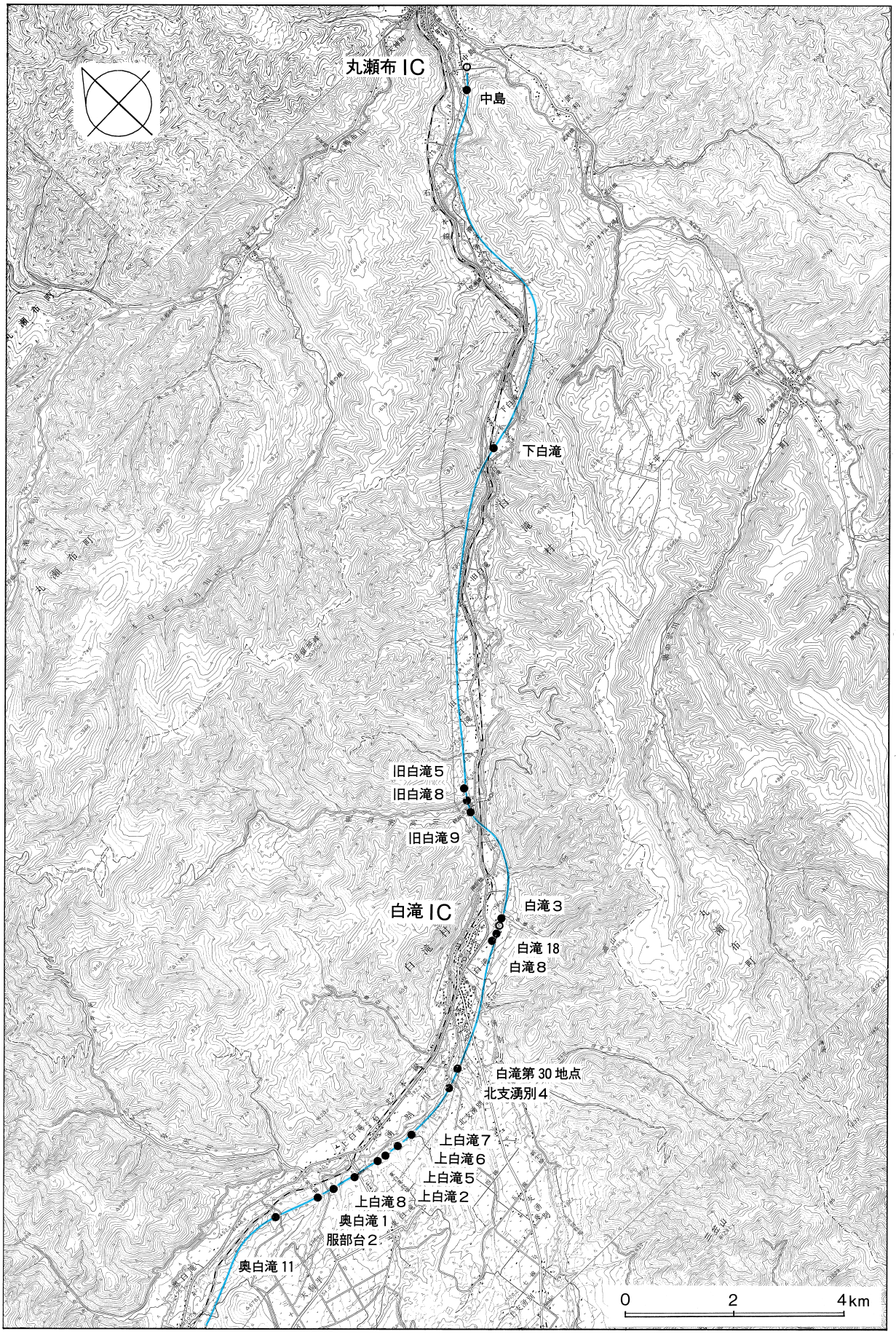
現状保存された奥白滝11、奥白滝12、服部台、服部台２、奥白滝１、上白滝８遺跡の６カ所については、旧路線および新路線との間の部分を加えた204,352.33㎡について、関係者の努力により平成10年に国指定史跡に追加され、既に指定済みの「白滝遺跡群」（白滝第13地点遺跡）と合わせて「白滝遺跡群」（面積226,250.33㎡）として名称変更された。現在、白滝村による指定地の公有化の作業も終了し、将来的な史跡の整備・活用の検討が進められている。　（鈴木宏行）

４　調査概要

（１）発掘区の設定

発掘区設定は、道路工事の測点ＳＰを基準として、発掘区全体に４×４ｍ規格のメッシュをかけて行い、個々の発掘区はアルファベットの大文字とアラビア数字の組み合わせで表示した。

具体的には、各遺跡においてルートの延びる東西方向（丸瀬布町へと向かうにつれ南西－北東方向に遷移する）を見通して、発掘区全体をカバーするうえで好適な測点２点を基準点に選び、これを結んで延長した線を基線とした。基線に平行する４ｍ間隔の直線には、北側から順にアルファベット



（国土地理院発行５万分の１地形図「白滝」「丸瀬布南部」を使用）

図Ⅰ－１　白滝遺跡群調査遺跡図

を付し、通常は基線のＳＰラインをＭとした。基線に直交する南北方向（丸瀬布町へと向かうにつれ北西－南東方向に遷移する）の４ｍ毎の直線には、西側から順にアラビア数字を配した。発掘区の呼称には、４ｍメッシュの北西隅の交点での表示を用い、例えば、Ｍラインと10ラインの交点の南東側がM10区となる。

但し、発掘区長軸とＳＰラインが著しくずれる下白滝遺跡、調査区内のＳＰラインが曲線である旧白滝９遺跡、旧白滝８遺跡では、用地の境界杭を発掘区設定の基準とし、また、工事路線変更の関係で服部台２・奥白滝１・上白滝８・上白滝２・上白滝５遺跡では新路線の測点を、それ以外の遺跡では旧路線の測点をそれぞれ基準点とした。各遺跡の基準点と発掘区設定の状況は、各遺跡の報告でそれぞれ詳しく説明する。（鈴木宏行）

（２）調査の方法

調査区域の現況は、大部分が白樺などの雑木林や、松などが植林された山林で、下は一面の笹藪に覆われた所が多く、耕作の放棄された畑地でも、茅などの雑草が繁茂する荒地と化しており、調査の開始にあたっては、立木の伐採や、重機による抜根と笹根や雑草の除去を行った。その際、笹根や雑草を除去すると、黒曜石片が一面に顔を出すような場合には、表土除去をできるだけ浅くとどめ、重機の導入を最小限に押さえるよう努めた。

発掘調査は、４×４ｍの発掘区単位で実施した。Ⅰ層（表土および耕作土）の遺物は発掘区単位で一括して取り上げ、遺物包含層であるⅡ層の遺物は、基本的に、出土位置を計測し、発掘区毎に遺物番号を付して取り上げた。ただし、指先より小さい剥片類については、発掘区単位で一括して取り上げた。また、砕片類が多い部分については、フレイク集中としてその範囲を記録のうえ、土ごと取り上げて水洗処理した。出土地点の計測にはトータルステーションを使用した。現場で遺構・遺物データシステム（(株)シン技術コンサル）に蓄積したデータから、毎日、遺物一覧表とドットマップ（分布図）を作成し、データのチェックと遺物の分布状況を把握しながら、調査を進めた。データは遺跡単位で管理しており、平成16年度現在でのデータ総数は549,658件、最大は上白滝８遺跡の216,346件、最小は白滝第30地点遺跡の313件である。下白滝、旧白滝９、旧白滝８、中島の４遺跡は、全て縄文時代以降の遺跡で、包含層が地表から浅く、耕作による影響が大きいため、包含層の残存状況が悪く、遺物出土地点計測は、旧白滝８遺跡の9,097件のみに留まった。

いずれの遺跡も工事用地内以外に表土や排土の仮置き場の確保が困難であった。したがって、調査区域の全面的な同時展開は不可能で、いくつかに分割して調査を進めた。また、効率良い調査を進めるためには、排土の運搬距離や傾斜を十分考慮する必要がある一方で、台風などに伴う大雨によって、土砂が工事区域外へ流出しないよう、工事関係者と連携して、排水溝を整備したり、排土山を整形・固定してシート被覆するなど、防災的な方面にも十分な注意が必要であった。調査区域の分割状況は遺跡によって異なるが、大きく南北に二分し、さらに東西にいくつかに分けた場合が多い。

調査は、まず分割した範囲の四分の一の発掘区について行い（25％調査）、次に遺物分布の濃密な部分から順次進め、分割区域を順次終わらせた。また、急斜面や攪乱の著しい部分については、発掘区単位で、重機による掘り上げと人手による遺物採取を行った。さらに、25％調査によって遺物が全く出土しなかった部分については、最終的に重機を使用した駄目押し調査を行った。

焼土や炭化木片ブロックについては、有機質遺物の採集を目的として、フローテーション法（浮遊物を0.425mmと２mmメッシュで、沈殿物を１mmメッシュの土壌分析用の篩で選別）によって炭化木片などの微細遺物を回収した。まず、現場で平面・断面図等の記録作成後、ビニール袋に土壌を

採取し、自然乾燥させる。その後、乾燥重量・体積を記録し、フローテーションを行った。但し、一部の炭化木片ブロックには、分布が散漫なため面的にではなく、点で回収したものがある。回収した微細遺物については全て肉眼による選別を行ったが、確認できたのは炭化木片・炭化種子・石器以外のみで動物遺存体は得られなかった。回収された炭化木片のうち、大きく状態の良好なものは、年代測定や樹種同定用の試料として抽出した。

遺跡の地形環境や化石周氷河作用、テフラなどが明瞭な状況で観察できる土層については、剥ぎ取りを行い保存した。（鈴木宏行）

（３）整理の方法

遺物は雨天日などを利用し、基本的に現地で水洗作業を行った。その後、札幌（平成12年まで）、江別（平成13年以降）の整理作業所に運び、注記などの整理作業を開始した。

遺物は、石器と土器に分けられ、以下のように整理を行った。

石器

石器類や剥片は、出土位置を記録したもの（以下「点取り遺物」）と発掘区単位で一括して取り上げたもの（以下「一括遺物」）の２つに分けられ、それぞれ次の流れで整理作業を進めた。

＜点取り遺物＞

一次整理として、すべてについて注記作業を行い、次に器種分類、重量計測、石質、残存状況、打点・自然面・被熱の有無などの属性観察をし、遺跡・遺物データシステムに入力した。

注記は、遺跡名の代わりに道教委の登載番号、発掘区、遺物番号の順で行った。例えば、上白滝８遺跡のM30区の遺物番号100は、「91M30・100」となる。重量は小数点一桁までの計測である。

石材の大部分を占める黒曜石に関しては絶対的なものではないが、肉眼的な特徴から黒色の「黒曜石１」、梨肌の「黒曜石２」、黒色に茶色の混じった（黒＞茶）「黒曜石３」、茶色に黒色の混じった（茶＞黒））「黒曜石４」、黒色に紫がかった茶色の混じった（黒＞紫・茶）「黒曜石５」の５種類に分類した。

残存状況は欠損または完形、打点・自然面・被熱などは「有」または「無」の簡単な観察だけである。被熱は肉眼観察により、表面が光沢を失い、くもりガラスのような状態のものやウロコ状のひび割れがみられるものなどを「有」とした。

二次整理はおもに実測・接合作業である。接合作業は、定形的な石器類においては、まず折れ面接合を、次に同一母岩の石器類や剥片を探すようにした。剥片類は、先に分類した５種類の黒曜石毎に同一の石器ブロックないし発掘区のものを集めて作業を進めた。接合作業の実際は、折れ面接合の場合は瞬間接着剤を使用するが、剥離面接合の場合は、両面テープで仮止しながら作業を進め、必要に応じて瞬間接着剤を使用した。また、重量のあるものや欠落部分の多いものなどについては、ホットボンドなどを使用して補強しながら作業を進めた。ある程度作業が進行した段階で、剥離工程を記録したカードを作成し、接合番号を付けた。接合番号は遺跡毎に付けたが、折れ面接合は50001から、剥離面接合は１からとした。したがって、剥離面接合資料に折れ面接合が含まれている場合は、１個体の接合資料で接合番号が複数あることがある。さらにこれらの作業で得られた接合資料のうち特徴的で同一母岩視できる資料を集め、母岩別資料として、遺跡毎に１から番号を付けた。資料の呼称は、「母岩別資料」を略して「母岩」、「接合資料」を略して「接合」とし、母岩別資料の場合は「母岩５・接合100」、接合のみの場合は、「接合55」、折れ面接合の場合は「接合50015」のように表示した。これらの接合、母岩などの二次的な属性データを先のシステムに追加入力し、現場での出土位置、一次整理の属性観察などのデータと共に遺跡単位で管理している。

石器の実測作業は、基本的に通常の方法で行っているが、大型の石器や接合資料などについては、超望遠レンズ（800～1200mm）を使用した90°展開の写真（プロカメラマン小川忠博氏に依頼）を使用して行っている。作業は、フジグラフプロジェクションペーパーに焼き付けた実大プリントを、ライトボックス上で、セクショントレーシングペーパーで判断できる部分をなぞり、後は実物を見ながら補足する形で進めている。石核や複雑な接合資料などは面合わせの手間が省けるので、効率よく作業を進めることができる。また、大きな剥離面などでは、リングも十分読み取ることができる。さらに、この時撮影した写真を２分の１で通常の印画紙にプリントし、写真図版に接合資料として掲載した。接合資料には60cm 以上の長大なものや20kg を超える重いもの、バランスの悪いもの、点で接合して不安定なものなどがあり､撮影は難しいものであったが､小川氏とともに工夫や努力で乗り切った。

＜一括遺物＞

基本的に現場において、定形的な石器類の抜き出し、点数のカウントなどを行い、その後の作業は江別の整理作業所で進めた。抜き出した石器類は、一次整理として台帳を作成し、点取り遺物と同様に注記、属性観察を行い、二次整理の実測・接合作業を行う。剥片類は一括して重量を計測した後、必要に応じて点取り遺物の接合作業の対象遺物に加え、基本的には接合したもののみ、注記・属性観察などを行っている。その注記は、点取り遺物と区別するため、発掘区と台帳の整理番号の間に層位を記入した。例えば、上白滝８遺跡のM30区、Ⅱ層出土、台帳番号10の石器は、「91M30・Ⅱ・10」となる。

土器

土器は下白滝、旧白滝８、中島の３遺跡から出土したが、全て100点以下で数量は非常に少ない。耕作土や攪乱層に含まれていたものが多く、細かく砕け、摩耗や剥落の著しい破片が大多数を占めるため、バインダーの10％溶液を塗布して、表面の補強を図った。

土器は、それぞれの遺跡ごとに分類、集計し、接合に努めたが、小さく、摩耗した破片が多く、実測に耐えるほどの大きさに復元できた例はない。接合の欠損部はバイサムで補填した。摩耗のため文様の判別が困難な土器片も少なくないが、この地域では貴重な資料であり、できるだけ多くの拓影図や写真を掲載するよう配慮した。（鈴木宏行）

（４）報告書の作成

平成７年度から始まった調査は、ある程度の出土遺物量を予想して整理計画を作成していたが、具体的な計画は、遺物の状況が明らかになってから検討することとしていた。また、現地作業を優先した調査体制としていたため、夏期の整理作業においても調査員が常駐する体制が取れなかった。したがって当初の整理作業は注記、属性観察、接合作業、集計などの基礎的な作業を中心に行った。

平成10年度に本線部分の主要な調査がほぼ終了し、遺物量や接合状況が明らかになってきたので、平成11年度から報告書の作成を開始し、『白滝遺跡群Ⅰ』（平成11年度）、『白滝遺跡群Ⅱ』（平成12年度）、『白滝遺跡群Ⅲ』（平成13年度）、『白滝遺跡群Ⅳ』（平成15年度）、『白滝遺跡群Ⅴ』（平成16年度）を刊行し、本報告書『白滝遺跡群Ⅵ』が６冊目となる。

調査状況や出土遺物の概要については、調査年度単位で『（財）北海道埋蔵文化財センター調査年報８～17』（(財)北海道埋蔵文化財センター1996、1997、1998、1999、2000、2001、2002、2003、2004、2005）で紹介している。また、委託者より調査内容が比較的容易に理解できる資料作成の要請を受け、写真を中心とした調査概要として平成９年度に『白滝遺跡群を掘るⅠ（上白滝８遺跡の調査)』、平成10年度に『白滝遺跡群を掘るⅡ（上白滝２遺跡の調査)』、『白滝遺跡群を掘るⅢ（奥白滝１遺跡の調

査)』を作成したが、報告書の刊行を開始した平成11年度以降は作成していない。

報告書は遺跡単位での作成を基本とし、調査終了遺跡を対象に順次、年度毎に１冊にまとめて刊行することとしている。ただし、平成12年に行った防雪柵関連で調査した４か所の遺跡（服部台２・奥白滝１・上白滝８・白滝第30地点）のうち奥白滝１遺跡については、進行していた報告書作成作業に組み込むことができず、別途報告することとした。上白滝６遺跡の平成13年度の追加調査分については、本線部分の報告が平成12年度に刊行済みであったため、平成15年度に報告した。また、上白滝８遺跡に関しては、出土量が多いため、２回に分けて報告することとし、東地区を『白滝遺跡群Ⅳ』で報告した。

全体としては全ての調査終了遺跡を一度に報告することは不可能なので、遺跡毎に異なる段階の二次作業を平行して行い、報告作業に組み込んでいった。このことによって、遺跡群として出土量の多寡に関わらず、以下の報告方針に適う均質な整理作業ができたと思う。

次に、報告方針について述べる。白滝遺跡群は黒曜石の原産地という立地を反映して出土遺物量は膨大である。しかし、報告は基本的にどのようなものが、どのような状態で、どのくらい出たのかが理解できるよう作成している。したがって、遺物の集計にあたっては、器種、石質別の点数、重量を明確に示すことにしている。

高・中位の段丘上にある旧石器時代の遺物は層位的に分離できる出土状況ではない。しかしながら、平面的にはある程度のまとまりとして確認でき、そのまとまりを「石器ブロック」（Sb）と呼び、それを最小単位として、石器の組成、接合関係などから、単独または複数を「石器ブロック群」[1)]という形で捉えた。また、低位段丘上にある、縄文～擦文時代の遺物は、平面的なまとまりをフレイク集中（Fc）と呼び、それを最小単位として出土層位毎にまとめた。したがって、報告書では、石器ブロック群単位で定形的な石器を、次にその石器ブロック群を構成する石器ブロックの分布図、接合状況図を、最後にその石器群の接合資料を提示する形とした。定形的な石器類は、破片を含めてその石器群の器種組成が理解できるように配慮した。分布図は、まず全点の分布を示し、次に図を示した定形的な石器の出土位置が理解できる図を作成した。接合状況図は石器群単位での折れ面接合や全接合を示した。接合資料は、全体実測図を示し、その剥離過程が分かるように剥離模式図を作成し、また、可能なものについては、段階単位での実測図を作成したものもある。さらに接合破片のうち先の定形的な石器で提示しているものを接合資料の縮尺に合わせて再度示している。また、状況によっては剥片類でも実測図を作成して掲載したものもある。母岩別資料または接合資料においてもその接合破片、または母岩の分布状況を図で示した。また、接合資料の中には、全体を写真のみで示し、剥離模式図や分布図のみ示したものもある。

実測図を示した石器、接合資料は基本的に写真図版に掲載し、掲載遺物一覧に表示した。

各種分析については、遺跡単位で結果を報告することとしているが、状況によっては同時に分析した他の遺跡のものも報告する場合もある。

「調査結果の概要」は、報告書作成時の最新の集計データ、遺跡の内容を記載しているので、報告書によって数値・内容が異なる部分がある。　（鈴木宏行）

1）『白滝遺跡群Ⅰ～Ⅲ』では石器組成・接合関係で関連する石器ブロックを「石器群」と呼んだが、『白滝遺跡群Ⅳ』では「舟底形石器・尖頭器を伴う石器群」などとの混同を避けるために「石器ブロック群」と称し、それらを相対的に高位の概念である「石器群」と低位の「石器ブロック群」に区別した。また、石器ブロック群が連続し、石器群として明確に分離できない状況の上白滝８遺跡東地区 Sb－14～61、西地区 Sb－81～111については「区域」とした（鈴木ほか 2004，p97)。

（5）遺構・遺物の分類

遺構の分類

確認された遺構は焼土と炭化木片ブロックである。土壌が赤褐色に変化し、火を焚いた痕跡と考えられるものを焼土とし、F で表記した。明確な焼土を伴わずに炭化木片がまとまって検出されたものを炭化木片ブロックとし、Cb で表記した。いずれも明確な掘り込みは伴わない。

遺物の分類（図Ⅰ－2～9）

確認された遺物はほとんどすべて石器類である。これまでの研究史の中で確立し、広く一般的に認識されてきた器種分類を踏襲して分類し、「白滝Ⅰ群」の特徴的な石器に関しては新器種を設定した。また、二次加工技術や剥片剥離技術を基にした細分類は、必要に応じて行うこととする。

剥片（FK）

石核・石刃核・細石刃核・石器（トゥール）から剥離されたもので縦長剥片・石刃・細石刃・削片以外の石器。

石刃（BL）

長さが幅の 2 倍以上で両側縁がほぼ平行し、それに平行する稜がある石器。

縦長剥片（LF）

長さが幅の 2 倍以上で石刃に該当しない石器。

削片（SP）

彫器削片：彫器の彫刀面作出・再生時に剥離されたと考えられる剥片。以下のように細分される。

Ⅰ類：彫器Ⅰ類から剥離されたと考えられるもの（図Ⅰ－4－102など）。

Ⅱ類：彫器Ⅱ類から剥離されたと考えられるもの（図Ⅰ－4－101など）。

Ⅲ類：彫器Ⅲ類から剥離されたと考えられるもの（図Ⅰ－4－109）。東地区（鈴木ほか　2004）の「その他削片」を含む。

細石刃核削片：削片系細石刃核の打面作出時に剥離されたと考えられる剥片。

舟底形石器削片：舟底形石器Ⅰ類の端部から剥離されたと考えられる細石刃状の剥片。これ自体が目的的なものかどうか不明であり、削片として分類した。

尖頭器削片：尖頭器の縁辺から剥離されたと考えられる剥片。

細石刃（MB）

細石刃核より剥離されたと考えられ、長さが幅の 2 倍以上で両側縁がほぼ平行し、それに平行する稜があり、幅が 1 cm 以下の石器。

細石刃核（MC）

細石刃を剥離したと考えられる石器。

舟底形石器（BT）

素材の平坦面から周辺に二次加工を施して舟形に整形した石器。以下のように細分される。

Ⅰ類：加工が精緻で幅が 4 ～12mm、高さが 8 ～12mm 程度の小型のもの。主に上下から側面加工が行われ、端部に細石刃状の縞状剥離痕を持つものが多い。幅によって以下のように細分される。

Ⅰa類：幅が 4 ～ 8 mm のもの。黒曜石 4 が多い（図Ⅰ－3－57～63）。西地区では本類のみ出土している。

Ⅰb類：幅が 8 ～12mm のもの（図Ⅰ－4－64・65）。

Ⅱ類：加工が粗くⅠ類より大きいもの。主に上から側面加工が行われ、端部に縞状剥離痕がみられない。大きさ・素材・石質から以下のように細分される。

Ⅱａ類：15cm 以下、主に10cm 以下で小型の剥片・石核素材のもの（図Ⅰ－３－66～69）。黒曜石４が多い。西地区出土の舟底形石器の大部分が本類である。そのため本書では、接合資料の記載の中で、特にことわりのない場合、「舟底形石器」はⅡａ類を指し、それ以外の場合はそれぞれ明記する。

Ⅱｂ類：10cm 以上、主に15cm 以上で大型の剥片・石核素材のもの（図Ⅰ－４－70～72）。下縁からの加工範囲の広いものは側面が平坦かつ下縁部がシャープである。甲板面は平坦で、リングが密集するものが含まれ、側面形は細長い形状である。黒曜石１が多く、黒曜石５も利用される。「斜面部」で出土している幌加型細石刃核未製品は、相対的に高さがあり、下縁部の側面形が弧状で、形態的な差違があるが、素材・二次加工技術が類似しているため現時点ではこの類型に分類する。

Ⅱｃ類：甲板面が原礫面のもの。石器形状に近い角柱状の原石が利用される（図Ⅰ－４－73・74）。石器の特徴はⅡｂ類と同様であるが、下縁からの加工が顕著でより細長い形状である。黒曜石１が多い。

尖頭器（PT）

素材の両面を加工し、尖頭部を作り出した石器。以下のように細分される。

Ⅰ類：削片剥離・舌部の無いもの（図Ⅰ－２－１～12）。

Ⅱ類：削片剥離が行われるもの（図Ⅰ－２－25～28）。

Ⅲ類：有舌尖頭器（図Ⅰ－２－15～22）。

両面調整石器（BF）

素材の両面を加工したもので尖頭器、斧形石器以外の石器。

ナイフ形石器（KN）

素材の鋭い縁辺の一部を残し、他の縁辺に加工を施した石器。広郷型ナイフ形石器を含む分類のため、二次加工は刃潰し状の加工に限らず平坦剥離も含む。

彫器（BU）

素材の端部に一条から数条の樋状剥離を施した石器。以下のように細分する。

Ⅰ類：周縁加工左刃彫器ないしそれに類するもので彫刀面が背面に傾くもの（図Ⅰ－４－81など）。

Ⅱ類：周縁加工左刃彫器ないしそれに類するもので彫刀面が腹面に傾くもの（図Ⅰ－４－82など）。

Ⅲ類：Ⅰ・Ⅱ類以外のもの（図Ⅰ－４－93～97）。周縁加工のないもの、彫刀面打面が折れ面・彫刀面・厚手の調整打面のものが含まれる。

掻器（ES）

素材の端部に連続的な二次加工を施した石器。

錐形石器（DR）

素材の端部に錐状の尖頭部を作り出した石器。

削器（SS）

素材の側縁に連続的な二次加工を施した石器。

台形石器（TR）

素材の二側縁に二次加工を施し、台形状に整形した石器。

裏面微細加工石器（IR）

素材の腹面縁辺部に２mm 前後の微細な二次加工を連続的に施した石器。「白滝Ⅰ群」に含まれる。

基部平坦加工石器（FR）

素材の腹面打面部周辺にバルブを除去するような平坦剥離による二次加工を施した石器。「白滝Ⅰ群」に含まれる。

二次加工ある剥片（RF）

素材に二次加工を施したもので、定形的な石器に分類されない石器。

石核（CO）

剥片を剥離したと考えられるもので、石刃核、細石刃核以外の石器。

石刃核（BC）

石刃を剥離したと考えられる石器。

斧形石器（AX）

両面もしくは片面加工により、斧状の刃部を作り出した石器。

敲石（HS）

礫に潰打痕が観察される石器。

磨石（GS）

小型礫に磨痕が観察される石器。

砥石（WS）

礫の片面もしくは両面に磨痕が観察される石器。

台石、石皿（AS）

偏平礫に打撃痕や磨痕が観察される石器。

原石（RM）

石器の石材として利用される石で、人為的と考えられる剥離を受けていないもの。以下のように細分する。

Ⅰ類：Ⅱ類以外の転礫・角礫。

Ⅱ類：棒状原石、ないし、角柱状の角礫。

礫（PB）

石器の石材として利用されない石で、剥離、敲打痕、潰打痕、磨痕などが観察されないもの。

石刃鏃（BA）

石刃を素材として主に腹面縁辺の加工により尖頭部を作り出した石器。

石鏃（AH）

素材を細かい加工により薄身にして端部に尖頭部を作り出した概ね５cm 以下の石器。

つまみ付きナイフ（TS）

素材端部にノッチ状の加工でつまみ部を作り出した石器。　　（鈴木宏行・直江康雄）

（６）調査結果の概要

平成７～15年の９年間で調査した遺跡は、湧別川の上流側から白滝村の奥白滝11・服部台２・奥白滝１・上白滝８・上白滝２・上白滝５・上白滝６・上白滝７・北支湧別４・白滝第30地点・白滝８・白滝18・白滝３・旧白滝９・旧白滝８・旧白滝５・下白滝の17か所と、丸瀬布町中島遺跡の計18か所（図Ⅰ－１）で、その総面積は、98,970㎡である。年度・遺跡別の調査面積は、表Ⅰ－１に掲載したとおりである。

表Ⅰ－1　白滝遺跡群遺跡別・調査年別面積一覧

＊ゴシックは報告済

遺跡名	調査年	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	総面積㎡	報告書
奥白滝11	H11					**505**							505	白滝Ⅳ
服部台２	H10～12				3,812	2,002	877						6,691	
奥白滝１	H９・10・12			**5,340**	**2,067**		345						7,752	白滝Ⅲ
上白滝８	H７～10・12	**6,600**	**10,212**	**320**	**56**		**661**						17,849	白滝Ⅳ・Ⅵ
上白滝２	H８・９		**2,995**	**3,930**									6,925	白滝Ⅱ
上白滝５	H９・10			**3,728**	**4,132**								7,860	白滝Ⅲ
上白滝６	H10・13				**6,953**			**670**					7,623	白滝Ⅱ・Ⅳ
上白滝７	H９・10			**7,443**	**5,150**								12,593	白滝Ⅰ
北支湧別４	H10				**5,472**								5,472	白滝Ⅱ
白滝第30地点	H12						**636**						636	白滝Ⅳ
白滝８	H12						834						834	
白滝18	H12						2,600						2,600	
白滝３	H13							2,900					2,900	
旧白滝９	H14								**3,380**				3,380	白滝Ⅴ
旧白滝８	H14・15								**2,610**	**1,160**			3,770	白滝Ⅴ
旧白滝５	H15									7,340			7,340	
下白滝	H13・14							**90**	**2,250**				2,340	白滝Ⅴ
中島	H15									**1,900**			1,900	白滝Ⅴ
計	H７～15	6,600	13,207	20,761	27,642	2,507	5,953	3,660	8,240	10,400			98,970	
報告書刊行年度						白滝Ⅰ	白滝Ⅱ	白滝Ⅲ		白滝Ⅳ	白滝Ⅴ	白滝Ⅵ		

表Ⅰ－2　白滝遺跡群調査結果概要一覧

遺跡名	調査年	面積㎡	遺　構	遺物総数　点	点／㎡	地点計測　点	一括　点	主な遺物
奥白滝11	H11	505		2,396	5	1,116	1,280	尖頭器・両面調整石器・削器・石刃核・石核
服部台２	H10～12	6,691	Ｃｂ：８	798,030	119	67,771	730,259	細石刃・細石刃核・舟底形石器・尖頭器・両面調整石器・彫器・掻器・削器・ナイフ形石器・斧形石器・石刃・石刃核・石核
奥白滝１	H9･10･12	7,752	Ｃｂ：18	831,928	107	99,216	732,712	細石刃・細石刃核・舟底形石器・尖頭器・両面調整石器・彫器・掻器・錐形石器・削器・「台形様石器」・斧形石器・石刃・石刃核・石核
上白滝８	H7～10･12	17,849	Ｃｂ：28	1,354,567	76	215,783	1,138,784	細石刃・細石刃核・舟底形石器・尖頭器・両面調整石器・彫器・掻器・錐形石器・削器・「台形様石器」・ナイフ形石器・斧形石器・石刃・石刃核・石核
上白滝２	H８・９	6,925	Ｃｂ：６	432,429	62	50,085	382,344	細石刃・細石刃核・舟底形石器・尖頭器・両面調整石器・彫器・掻器・錐形石器・削器・石刃・石刃核・石核
上白滝５	H９・10	7,860	Ｆ：２，Ｃｂ：１	86,034	11	22,441	63,593	舟底形石器・尖頭器・両面調整石器・彫器・掻器・錐形石器・削器・斧形石器・石刃・石刃核・石核・石刃鏃
上白滝６	H10・13	7,623		6,657	1	2,667	3,990	尖頭器・両面調整石器・彫器・掻器・錐形石器・削器・石刃・石刃核・石核・石刃鏃・石鏃
上白滝７	H９・10	12,593	Ｃｂ：４	21,809	2	4,448	17,361	尖頭器・彫器・掻器・削器・ナイフ形石器・石刃・石刃核・石核
北支湧別４	H10	5,472		24,140	4	6,776	17,364	尖頭器・両面調整石器・彫器・掻器・削器・石刃・石刃核・石核
白滝第30地点	H12	636	Ｃｂ：１	4,626	7	313	4,313	細石刃・彫器・掻器・削器・石刃・石核
白滝８	H12	834		4,036	5	1,728	2,308	細石刃・舟底形石器・両面調整石器・彫器・石刃・石刃核・石核
白滝18	H12	2,600		47,825	18	23,423	24,402	尖頭器・両面調整石器・舟底形石器・彫器・掻器・錐形石器・削器・石刃・石核
白滝３	H13	2,900		41,281	14	1,010	40,271	尖頭器・舟底形石器・彫器・掻器・削器・石刃・石刃核・石核
旧白滝９	H14	3,380		28,320	8	0	28,320	石鏃・尖頭器（石槍・ナイフを含む）・削器
旧白滝８	H14・15	3,770	Ｆ：４，Ｆｃ：30	529,157	140	9,097	520,060	土器（続縄文・擦文）・石鏃・両面加工ナイフ・両面調整石器（ナイフ未成品）・掻器・削器・石核
旧白滝５	H15	7,340	Ｆ：３，Ｃｂ：４，Ｆｃ：２	261,600	36	43,221	218,379	細石刃・細石刃核・舟底形石器・尖頭器・両面調整石器・彫器・掻器・錐形石器・削器・「台形様石器」・ナイフ形石器・斧形石器・石刃・石刃核・石核
下白滝	H13・14	2,340		156,699	67	0	156,699	土器（縄文中期）・石鏃・尖頭器（石槍・ナイフを含む）・つまみ付きナイフ・掻器・削器・石核
中島	H15	1,900	Ｆｃ：１	1,686	1	0	1,686	土器(縄文晩期)・石鏃・両面調整石器・掻器
計	H７～15	98,970	F:9,Cb:70,Fc:33	4,633,200	47	549,095	4,084,125	

奥白滝11遺跡から白滝３・旧白滝５遺跡の14遺跡は、より高位の段丘面である天狗平面・上白滝面・東白滝面に立地する旧石器時代を主体とする遺跡で、旧白滝９・旧白滝８・下白滝・中島の４遺跡は、より低位の段丘面である支湧別面に立地する縄文時代から続縄文、擦文時代に至る時期の遺跡である。

確認された遺構は、火を焚いた痕跡の可能性がある炭化木片の集中（炭化木片ブロック・Cb）と焼土（赤色土を含む）（F）である。炭化木片ブロックは７遺跡70か所（服部台２：８か所、奥白滝１：18か所、上白滝８：28か所、上白滝２：６か所、上白滝５：１か所、上白滝７：４か所、白滝第30地点：１か所、旧白滝５：４か所）、焼土は９か所（上白滝５：２か所（赤色土と報告）、旧白滝８：４か所、旧白滝５：３か所）である。炭化木片ブロックは、遺物の集中部、もしくはその周辺に分布し、いずれもⅡ層の下部で検出されている。大きさは径10cm 前後の円形から長さ１m 前後の長円形と様々で、いくつかの小ブロックで確認される場合もある。炭化木片の集中度および大きさも様々で、炭化木片を含む層はおよそ５cm 前後の厚さのものが多い。しかし、上白滝８遺跡の Cb－13は例外的で、2.4×1.0m の大きさで、窪みに３層に分かれて堆積する大規模なものであった。

炭化木片について放射性炭素年代測定（ＡＭＳ法）を行ったところ、上白滝７・白滝第30地点・旧白滝８・一部の旧白滝５遺跡の試料については、5,000～1,900年前という縄文・続縄文時代に相当する年代値が得られたが、服部台２・奥白滝１・上白滝８・上白滝２・白滝３・一部の旧白滝５遺跡の試料では、最も新しいもので9,940±40yBP（Beta－150438）、最も古いもので、28,120±180yBP（Beta－186199）という数値が得られ、それらは、10,000～10,500yBP、11,500～11,900yBP、13,400～14,300yBP、15,000～16,200yBP、17,500～19,000yBP に数値の集中がみられる。これらの数値は、現在考えられている石器群の年代と大きくかけ離れたものではない。しかし、被熱石器の分布との重複など石器ブロックとの同時性を明確に対比ができる状況にない。また、人が関わらない自然現象に由来する炭化木片の可能性もあるが、樹種同定の結果などからも当時の植生を反映しているものであることは間違いない。一応、石器群の年代を検討する上で、参考となるものと考えられるので、現在、各遺跡における石器ブロックと炭化木片ブロックの対比を、石器の接合や母岩分類などの作業を進めながら、検討している。

出土している遺物は、平成13年度まではすべて石器類で、土器は１点もなかったが、平成14・15年度の下白滝・旧白滝８・中島遺跡の調査で、いずれも少量ながら土器が出土した。平成13年度までに調査した土器が出土していない湧別川右岸の遺跡で出土した石器類の時期は、遺物包含層のⅡ層の下位に約３万年前に降下したと考えられる大雪御鉢平軽石（Ds－Oh）があることから、３万年より新しい後期旧石器時代と考えられるが、年代的には本州の縄文時代草創期に相当する時期のものもある。また、石刃鏃石器群や石鏃があり、それらは縄文時代早期およびそれ以降の時期に相当する。平成11年度に報告した上白滝７遺跡の Sb－１の二次加工ある剥片類は、縄文時代後・晩期の可能性のある石器素材と考えられる（坂本ほか　2000）。また、平成12年度に報告した北支湧別４遺跡の Sb－１も石器の形態や加工、さらにパティナの状況から縄文時代の小型の尖頭器を製作している石器群と考えられる（鈴木ほか　2001）。

下白滝遺跡は耕作による撹乱が著しく遺物包含層が残存していなかったが、木根と思われる落ち込みに遺物が流れ込んでおり、多数の石器類とともに土器が発見された。土器は縄文時代中期とみられる押型文・押引文に伴う無文土器のほか、後期・晩期とみられるものが少量あった。出土した石鏃には各種の形態が含まれ、土器と同様に幅広い時期のものを含んでいる。旧白滝８遺跡も下白滝遺跡同様耕作による撹乱が著しかったが、旧河道に接した斜面部分で続縄文時代後北Ｃ１式に相当するもの

表Ⅰ－3　調査遺跡の石器ブロック群一覧

石器群 / 遺跡名	Sb−	Fc−	「白滝Ⅰ群」		広郷型ナイフ形石器を含む石器群	「峠下型」細石刃核を含む石器群	頁岩製の「札滑型」ないし「美利河型」細石刃核を含む石器群	「札滑型」細石刃核を含む石器群	「幌加型」細石刃核・大型石刃・大型舟底形石器を含む石器群
			Ⅰa群	Ⅰb群					
奥白滝11	1								
服部台2	65			Sb−45		Sb−54、Sb−64			Sb−20～22、Sb−55～63
奥白滝1	53		Sb−1～3、Sb−4～6、Sb−45～47						
上白滝8	111		Sb−1～3、Sb−4～6、Sb−7·8、Sb−9、Sb−11～13、Sb−64～70	Sb−10、Sb−71、Sb−72～79	F区、I区	A区、B区、C区、斜面部		斜面部？	B区、D区、G区、I区、斜面部
上白滝2	15						Sb−14	Sb−3～6·10	
上白滝5	12							Sb−3？	
上白滝6	5								
上白滝7	10				Sb−4～10				
北支湧別4	3								
白滝第30地点	2								Sb−1？
白滝8	未					○		△	
白滝18	未								
白滝3	未								
旧白滝9	0								
旧白滝8	0	29							
旧白滝5	未	2	○	○		○			○
下白滝	0								
中島	0	1							
各石器群の遺跡数	14	3	3	3	2	4	1	4	4
各石器群の石器ブロック群数	277＋α	32	9＋α	4＋α	3	6＋α	1	(3)＋α	(8)＋α

石器群 / 遺跡名	「白滝型」細石刃核を含む石器群	「紅葉山型」細石刃核を含む石器群	「忍路子型」細石刃核を含む石器群	「射的山型」(「広郷型」)細石刃核を含む石器群	尖頭器を含む石器群	有舌尖頭器を含む石器群	幅広有舌尖頭器を含む石器群
奥白滝11					Sb−1		
服部台2	耕作土	Sb−3～5			Sb−12、Sb−13、Sb−17、Sb−46、Sb−65	Sb−1·2、Sb−6～11、Sb−14·15、Sb−23～31、Sb−38～40	
奥白滝1		Sb−7～10			Sb−11·12、Sb−13、Sb−14、Sb−15～21、Sb−22～25、Sb−37、Sb−38～44、Sb−49、Sb−51	Sb−26～30、Sb−31～36、Sb−48、Sb−53	
上白滝8			G区、H区			A区	I区、J区
上白滝2				Sb−9		Sb−1·2、Sb−15	
上白滝5					Sb−1、Sb−4、Sb−5		
上白滝6					Sb−4	Sb−2·3	
上白滝7					Sb−2·3		
北支湧別4						Sb−2·3	
白滝第30地点							
白滝8							
白滝18							○
白滝3						○	
旧白滝9							
旧白滝8							
旧白滝5				○			
下白滝							
中島							
各石器群の遺跡数	1	2	1	2	6	7	2
各石器群の石器ブロック群数	1	2	2	1＋α	20	14＋α	2＋α

石器群 / 遺跡名	小型舟底形石器・尖頭器を含む石器群	小型尖頭器(側縁鋸歯状)を含む石器群	石刃鏃を含む石器群	縄文時代の石器群	続縄文時代の石器群	不明	各遺跡の石器群数(不明除く)	各遺跡の石器ブロック群数
奥白滝11							1	1
服部台2	Sb−34～37、Sb−42、Sb−43、Sb−47～52					Sb−16、Sb−18、Sb−19、Sb−32、Sb−33、Sb−41、Sb−44、Sb−53	8	29
奥白滝1	Sb−50、Sb−52						5	19
上白滝8	A区、C区、D区、E区、G区、I区、J区、K区			Sb−62·63			(11)	22
上白滝2	Sb−11・12、Sb−13					Sb−7、Sb−8	5	9
上白滝5	Sb−6～11		Sb−12	Sb−2			(5)	7
上白滝6			Sb−1、Sb−5				3	4
上白滝7				Sb−1			3	3
北支湧別4				Sb−1			2	2
白滝第30地点						Sb−2	(1)	2
白滝8							2	未
白滝18							1	未
白滝3	○						2	未
旧白滝9				○			1	−
旧白滝8				○	○（土器有）		2	−
旧白滝5	○	○					7	未
下白滝				○（土器有）			1	−
中島				○（土器有）			1	−
各石器群の遺跡数	7	1	2	8	1	3		98＋α
各石器群の石器ブロック群数	17＋α	α	3	4＋α	α	11		

「未」は未確定、「○」は有り、「△」は可能性あり。遺跡毎の石器ブロック群数には耕作土、区域、斜面部を含む。

を主体として一部それより古い土器が出土し、遺跡出土の石器類の大部分もその時期のものと考えられる。石器の密度は非常に高く、両面調整石器が集中して製作され、搬出されている。丸瀬布町中島遺跡は非常に小規模な遺跡で、包含層は全て耕作によって撹乱を受け、その中から縄線文の施された縄文時代晩期後葉の土器が出土した。石器も出土しているが、白滝村内の遺跡に比べ著しく少ない。これらの遺跡の遺存状況は決して良い状況ではなかったが、白滝遺跡群における縄文時代及び続縄文時代の石器製作の様相を知る手掛かりが得られたことには大きな意義がある。

現時点における各遺跡での出土遺物数は表Ⅰ－２に示したとおりで、総数は、4,629,483点、そのうち出土位置を記録したものは、549,658点、残りの4,079,825点は表土など発掘区単位で一括して取り上げたものである。石器の出土量および分布密度は遺跡によって異なるが、平均すると１㎡あたり47点となり、平均以上の遺跡は、旧白滝８が140点、服部台２が119点、奥白滝１が107点、上白滝８が76点、下白滝が67点、上白滝２が62点で、次は旧白滝５の36点、さらに白滝18の18点、白滝３の14点、上白滝５・下白滝の11点と極端に少なくなり、その他の遺跡では10点以下となってしまう。旧石器時代の遺跡に限定すると八号沢川と湧別川の合流点付近には出土量の多い大規模・高密度の遺跡が分布し、下流に行くに従い遺跡は小規模・低密度になり、幌加沢川と湧別川の合流点付近で再び大規模・高密度になる。このことは、赤石山から流れ出す沢と湧別川の合流点付近が好んで利用されていたことを示し、また、石材獲得のために重要な立地であったことを物語っている。

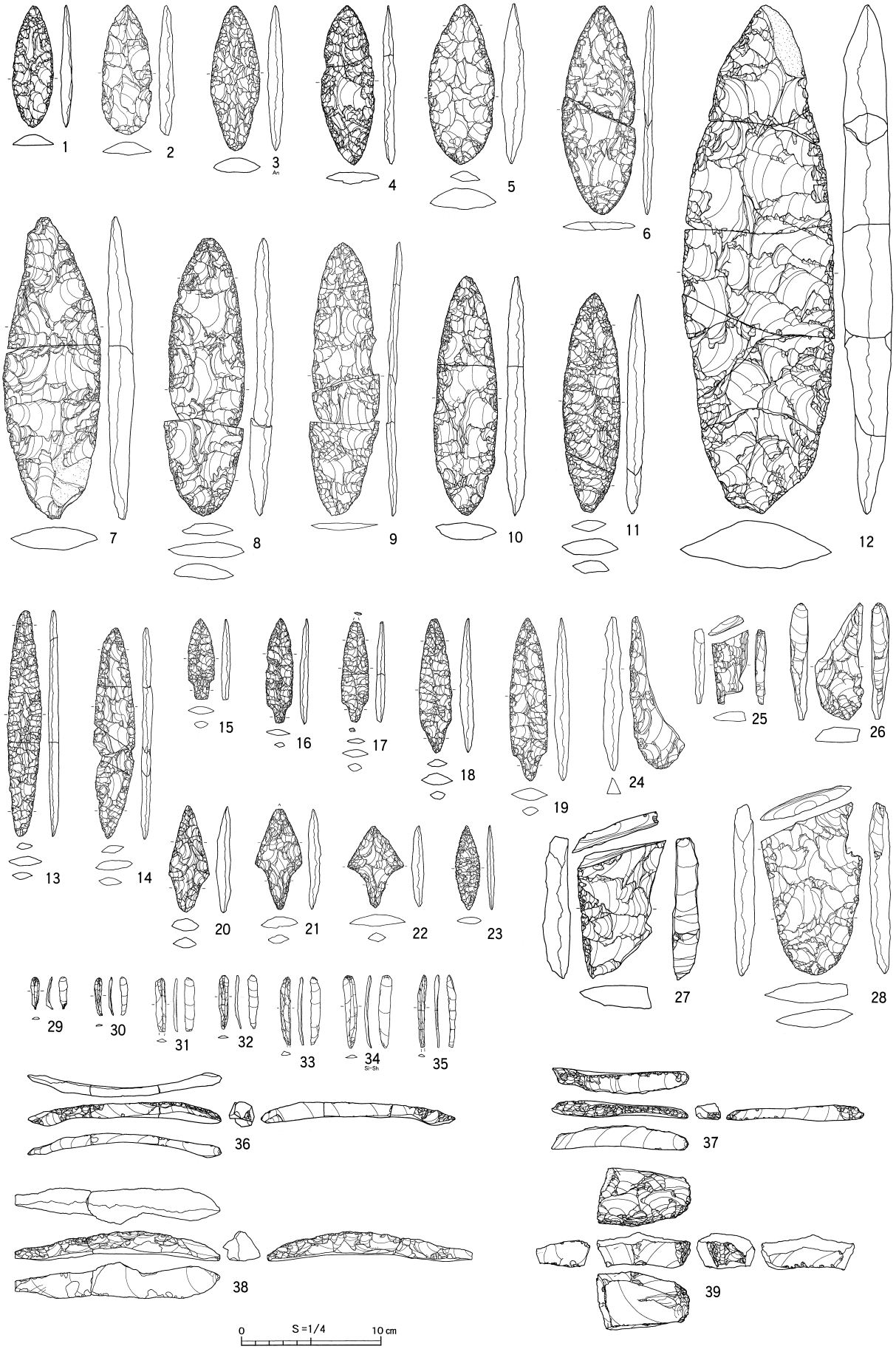
次に白滝遺跡群の主体をなす旧石器時代に属する遺跡について概観する。それらは前述の通り、より高位の天狗平面・上白滝面・東白滝面に立地する。各遺跡には多様な石器群がみられるが、それらは、層位的には分けられない出土状況であった。遺物の平面分布はある程度のまとまりをもって確認され、それらは、周氷河性のソリフラクションによって放射状・条線状を呈し、埋没後の移動が認められるが、石器の稜の摩滅が見られない点や同一母岩と見られる石器類が比較的まとまって出土している点などから大幅に移動していないと想定される。このような石器類の平面的なまとまり（石器ブロック）を単位として接合関係・トゥールの分布から括られる複数の石器ブロックを石器ブロック群として認定した。但し、出土量の最も多い上白滝８遺跡は複数石器群が連続・重複した分布を示しているため、「区域」として分離している。

整理途中で詳細が不明な遺跡もあるが、現段階での各遺跡における石器ブロック群の内容を表Ⅰ－３に示している。表では石器群を単純化するために代表的な器種・型式名を用いているが、同一の石器群の中でも複雑な様相を示すものがある。細石刃石器群では「峠下型」が複数種類確認され、尖頭器を含む石器群も複数種類が含まれる。また、「幌加型」細石刃核・大型石刃・大型舟底形石器を含む石器群に関しては、全ての器種が同一地点から出土している石器ブロック群は無いが、現段階では個々の石器ブロック群から全体像を復元した分類になっている。

表を概観するとほとんどの遺跡に複数の石器群が見られ、特に、規模の大きい遺跡には多種類の石器群が認められ、個々の石器群には多数の石器ブロック群が確認される。このことから、大規模遺跡は同一の集団による長期間の占有によって形成されたものではなく、複数時期に異なる技術を持った集団によって、繰り返し利用された結果、形成されたものと考えられる。また、石器群単位で見ると６遺跡以上に残されているのは有舌尖頭器石器群・尖頭器石器群・小型舟底形石器石器群であり、その時期の集団によって本地域が頻繁に利用されていたと思われる。

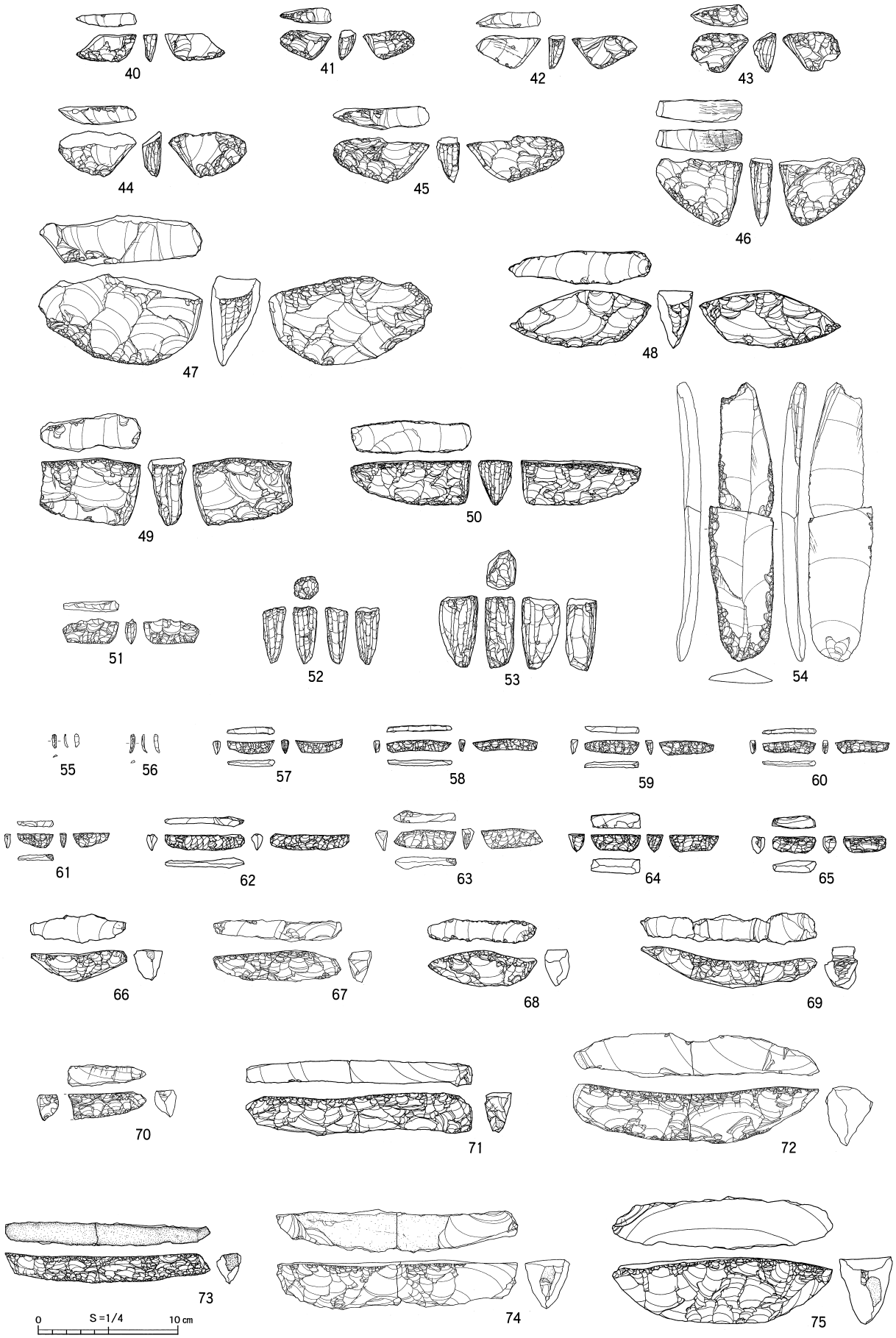
次に各器種の内容と石器群との関連を各石器群・石器ブロック群の代表的な石器を器種別に集成した図Ⅰ－２～９を基に概観する。

尖頭器を含む石器群は多くの遺跡で確認される。尖頭器は剥片素材の小型品（１）から石核素材の



尖頭器（１～23・25～26）、尖頭器削片（24）、細石刃（29～35）、細石刃核削片（36～39）

図Ⅰ－２　白滝遺跡群出土石器（１）



細石刃核（40～54）、舟底形石器削片（55・56）、舟底形石器（57～75）

図Ⅰ－3　白滝遺跡群出土石器（2）

最大36.5cmの大型品（12）まであり、より薄手のもの（６・９）、薄手で狭長なタイプ（13・14）がある。有舌尖頭器には一般的な狭長なタイプ（15～19）と幅広のタイプ（20～22）があり、前者には舌部の形状・加工の方法などに違いが見られ、また、白滝産以外の黒曜石製のものが多い。その他、縁辺が鋸歯状の小型尖頭器（23）、大型尖頭器の折損後、縁辺で削片剥離が行われるもの（25～28）などがあり、24はそのような尖頭器から剥離された尖頭器削片である。有舌尖頭器は石器群を示す指標となり、削片が剥離される尖頭器は小型舟底形石器に伴う。また、大型品は大型舟底形石器・単剥離打面を持つ大型石刃を含む石器群・小型舟底形石器石器群・有舌尖頭器石器群に伴う。

両面調整石器（204・205）は尖頭器の初期段階に対応するものがほとんどで、尖頭器が含まれる石器群に数点伴う。

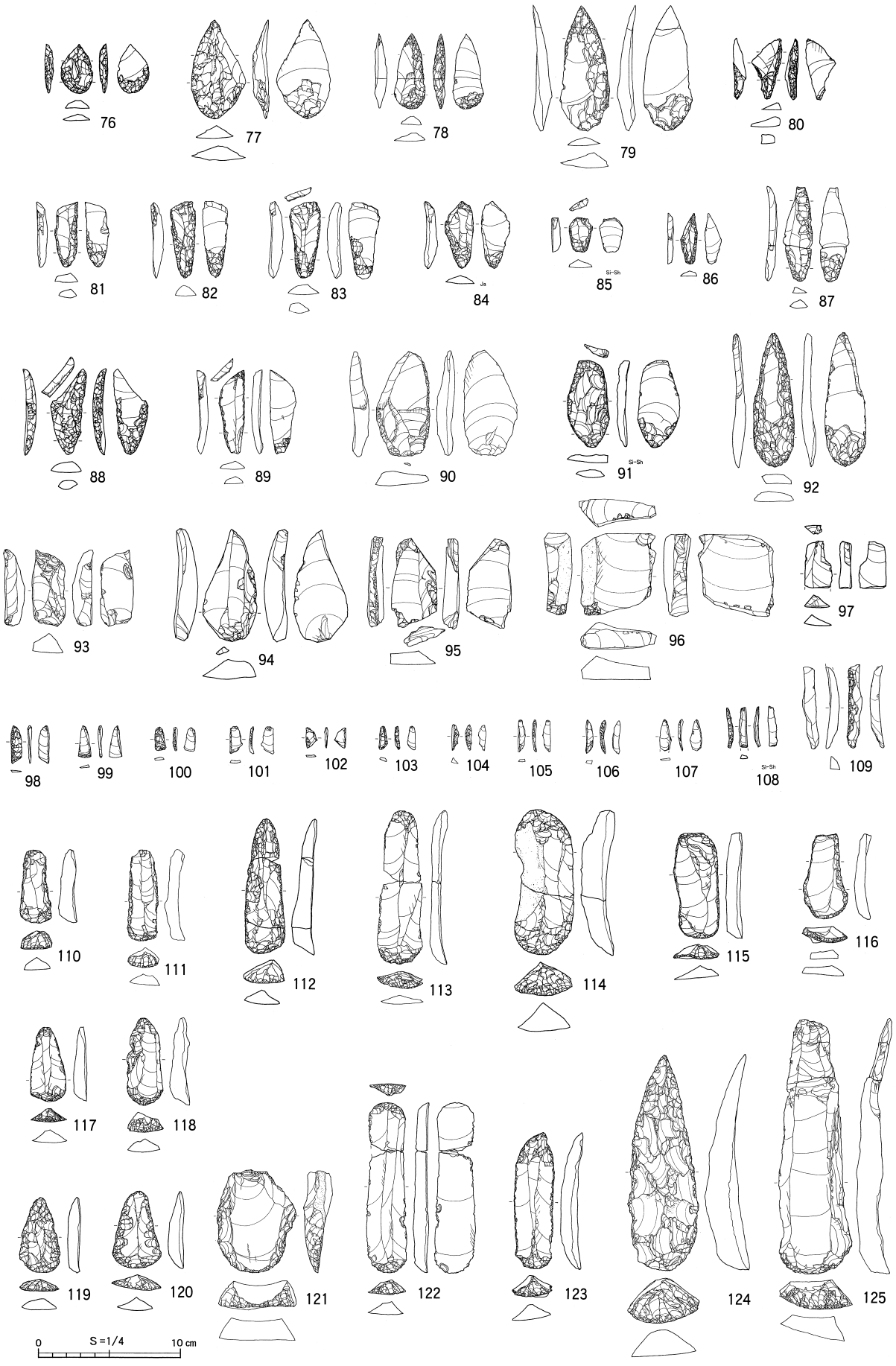
細石刃石器群は遺跡群全体では比率が低いものの、細石刃核は「峠下型」（40～45）、「白滝型」（46）、「札滑型」（47）、「幌加型」（49・50）、「忍路子型」（51）、「紅葉山型」（52・53）、「射的山（広郷）型」（54）など多様な型式が出土している。48は削片剥離後に、広範囲の側面調整が行われ、細石刃核形状が整えられるもので「美利河型」に類似する。細石刃核削片は、36・37が「峠下型」に、38が「札滑型」に、39が「美利河型」類似の細石刃核に伴い、細石刃は、29・30が「峠下型」、31が「紅葉山型」、33が「札滑型」、34は頁岩製の「美利河型」に類似する細石刃核、35が「射的山（広郷）型」細石刃核から剥離されたもので、32は上白滝８遺跡斜面部から出土しＡ区出土の「峠下型」より大型の細石刃核から剥離されたものと考えられる。

「峠下型」細石刃核には片面ないし半両面加工のもの（40・42・44）と両面加工のもの（41・43・45）があり、上白滝８遺跡では接合資料の検討により石刃素材と前者、剥片素材と後者の関連が確認された（鈴木　2004）。未報告であるが、旧白滝５遺跡（42・45）では両面調整体製作時の調整剥片・両面調整体本体が細石刃核の素材となっており、上白滝８遺跡との違いが見られる。このように細石刃石器群の様相は複雑であり、細石刃核本体のみでは比較が限定的になってしまうため、今後は剥片剥離技術を含めた技術構造として細石刃石器群の比較が必要となる（鈴木　2004）。

舟底形石器を含む石器群は尖頭器石器群同様、白滝遺跡群で主体を占める。舟底形石器は端部に細石刃状の剥離痕のあるⅠａ類（57～63）・Ⅰｂ類（64・65）、中型のⅡａ類（66～69）、大型のⅡｂ類（70～72・75）・Ⅱｃ類（73・74）に分けられ、Ⅰａ・Ⅱａ類は一連の石器製作技術の段階の違いに位置づけられ、小型舟底形石器を含む石器群の指標となる。Ⅱｂ・ｃ類は側面形が直線的で大型の割に加工が細かい。これらは、現段階では上白滝８遺跡Ｂ区の出土状況から大型尖頭器（12）・単剥離打面を持つ大型石刃（151）に伴うと考えている。また、服部台２遺跡では同様な大型石刃石器群に「幌加型」細石刃核が接合する例があり、同一石器群に「幌加型」細石刃核が伴う可能性が考えられ、表Ⅰ－３では同細石刃核を同一石器群として括っている。75は上白滝８遺跡斜面部出土のもので、「幌加型」細石刃核（50）に伴い、その母型と見られる。

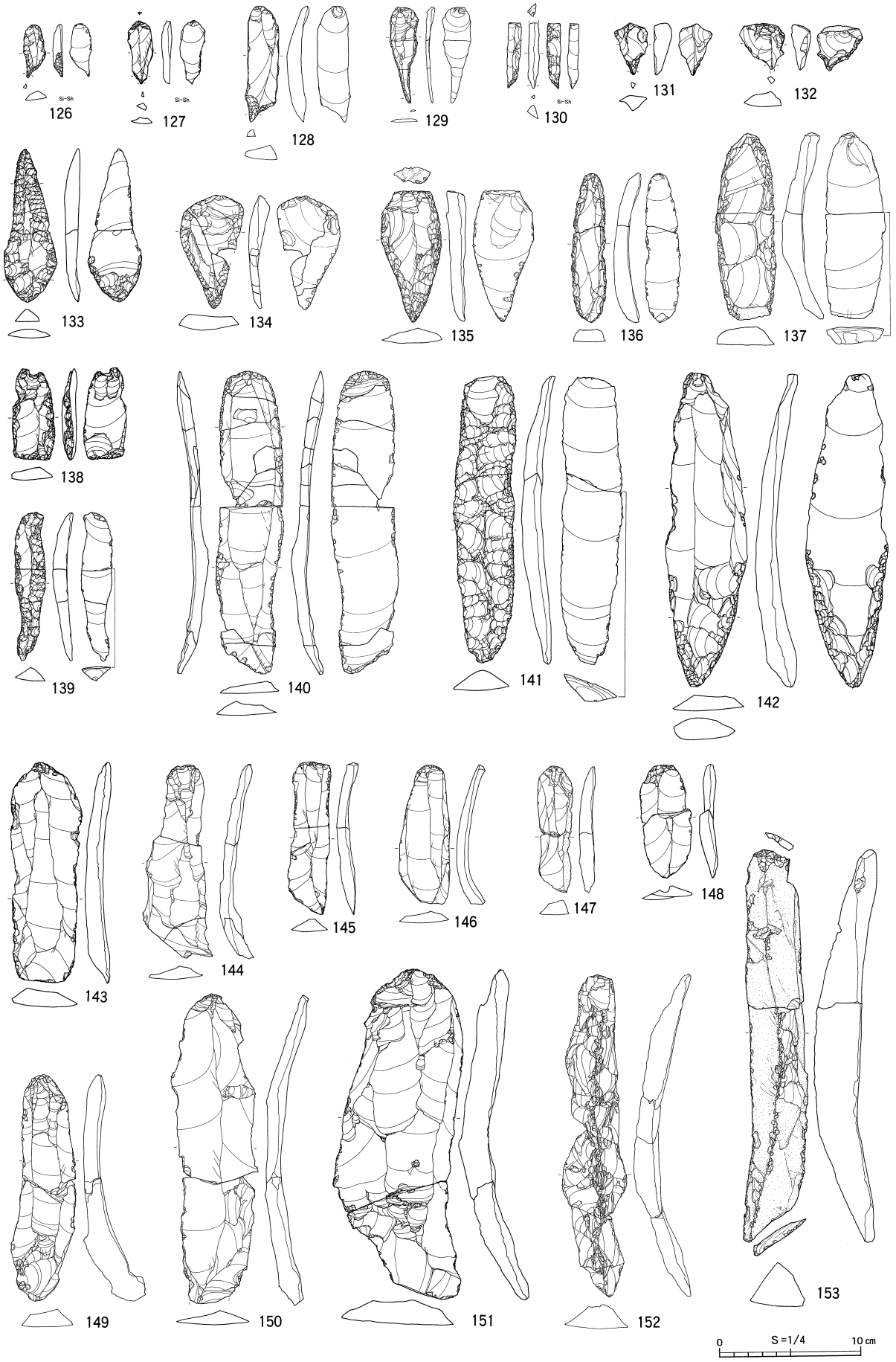
ナイフ形石器は「広郷型」が主体を占め、背面の大部分に加工が覆い、柿の種子形のもの（76・77）と石刃素材で背面の加工が限定されるもの（78・79）などがある。そのほか、二側縁加工の切り出し形ナイフ（80）などが散発的に出土しているが、石器群として認定しうる程は量的に出土していない。これらについては、台形石器がややまとまって出土している服部台２（161）、旧白滝５（162）を含めて比較し、型式として設定可能かどうか検討していく必要がある。

彫器は①石刃の周縁に加工が施され、左肩に彫刀面が作出されるもの（81～90）、②厚手の素材の端部にノッチ状に作出された打面から側縁に彫刀面が作出されたもの（93）、③彫刀面を打面として彫刀面が作出されるもの（94～96）、④折れ面から側縁に彫刀面が作出されたもの（95・97）などが



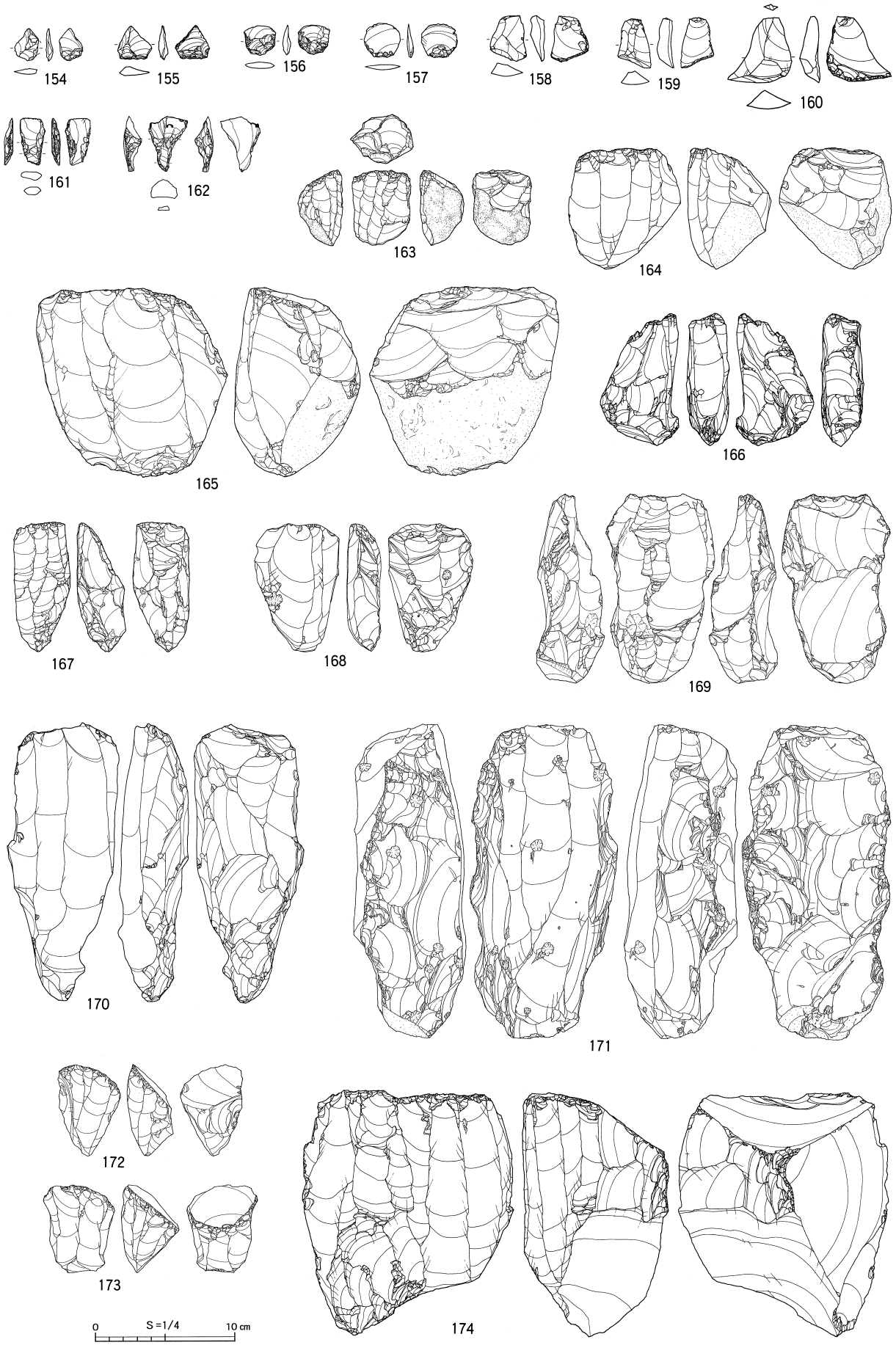
ナイフ形石器(76～80)、彫器(81～97)、彫器削片(98～109)、掻器(110～125)

図Ⅰ－4　白滝遺跡群出土石器(3)



錐形石器(126～132)、削器(133～142)、石刃(143～153)

図Ⅰ－5　白滝遺跡群出土石器(4)



基部平坦加工石器(154～157)、裏面微細加工石器(158～160)、台形石器(161・162)、石刃核(163～174)

図Ⅰ－6　白滝遺跡群出土石器(5)

あり、③④は複合するものがある。また、周縁加工があり、①に類するものとして右刃のもの（91）や平坦剥離によって円い基部が作出される左刃のもの（92）などがある。①のうち、横刃に近いもの（81～83）は小型舟底形石器を含む石器群に、斜刃のもの（86～89）は有舌尖頭器や「忍路子型」細石刃核を含む石器群に、幅広の石刃素材で斜刃の90は「札滑型」細石刃核を含む石器群に伴い、②～④、91・92は「広郷型」ナイフ形石器や幅広有舌尖頭器石器群に、小型の④である97は「紅葉山型」細石刃核を含む石器群に伴う。彫器削片のうち、98・99は①の斜刃の彫器から、100～107は①の横刃に近いものから剥離されたもので、108は右刃の彫器、109は③から剥離されたものである。

掻器は石刃素材で両側縁に連続した加工が施され、刃部が比較的直線的に作出されるもの（110～112）、石刃素材で両側縁に加工が施されないもの（113・114・117・118・122・125）、石刃素材で側縁の加工が軽微なもの（115・123）、剥片ないし縦長剥片素材で刃部に向かって幅広になるもの（119・120）、厚手の剥片素材で連続した周縁加工が施されるもの（121）、背面が加工で覆われるもの（124）などがある。110～113・116は小型舟底形石器石器群、114は「広郷型」ナイフ形石器石器群、115は「紅葉山型」細石刃核石器群、117・125は「忍路子型」細石刃核石器群、118～120・123・124は有舌尖頭器石器群・尖頭器石器群、121は「白滝Ⅰｂ群」に伴う掻器で、123のような刃部と反対の端部に尖頭部を持つものが一部の有舌尖頭器石器群に特徴的に伴っている。

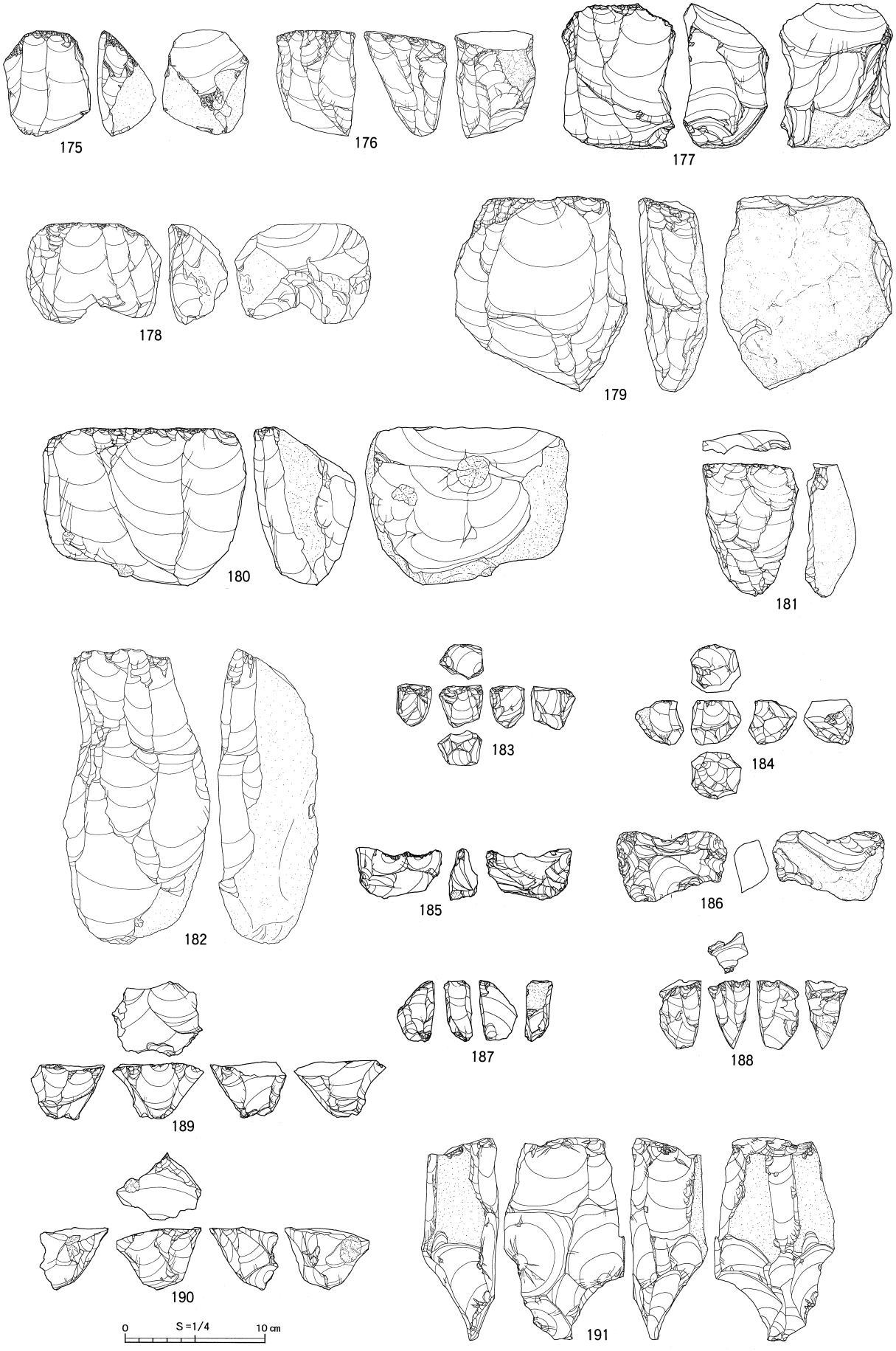
錐形石器は①石刃素材の先端部に刃部が作出されるもの（126～129）、②尖頭器削片を素材とするもの（130）、③剥片を素材とするもの（131・132）があり、①は小型舟底形石器・有舌尖頭器石器群などに伴い、②は一部の小型舟底形石器石器群、③は「白滝Ⅰ群」に伴う。

削器は①先端部が平行剥離によって尖頭状に、基部が平坦剥離によって幅広の尖頭状に整形されるもの（133）、②先端部のみ尖頭状に加工が施されるもの（134・135）、③側縁に角度のある連続した加工が施されるもの（136・137）、④側縁に加工があり両端部に両極剥離が見られるもの（138）、⑤背面を覆う平坦な加工が見られるもの（139・141）、⑥平坦加工により端部が丸く整形されたもの（140）、⑦両面加工により尖頭状に整形されたもの（142）などがあり、①⑦は大型石刃・大型舟底形石器を含む石器群に、②は有舌尖頭器石器群に、③は小型舟底形石器や有舌尖頭器石器群などに、④は「広郷型」ナイフ形石器石器群、⑤は有舌尖頭器石器群など、⑥は「射的山（広郷）型」細石刃核石器群に伴う。

基部平坦加工石器（154～157）、裏面微細加工石器（158～160）は「白滝Ⅰａ群」に伴うものである。「白滝Ⅰ群」については奥白滝1遺跡（直江ほか　2002）・上白滝8遺跡東地区（鈴木ほか　2004）で報告を行ってきたが、その中でこれらの石器は「二次加工ある剥片」の中でも特徴的なものとして認識されてきた。今回上白滝8遺跡をまとめるにあたって、これらの遺物が量的に保障されたため「白滝Ⅰａ群」を代表する石器として改めて器種として設定した。

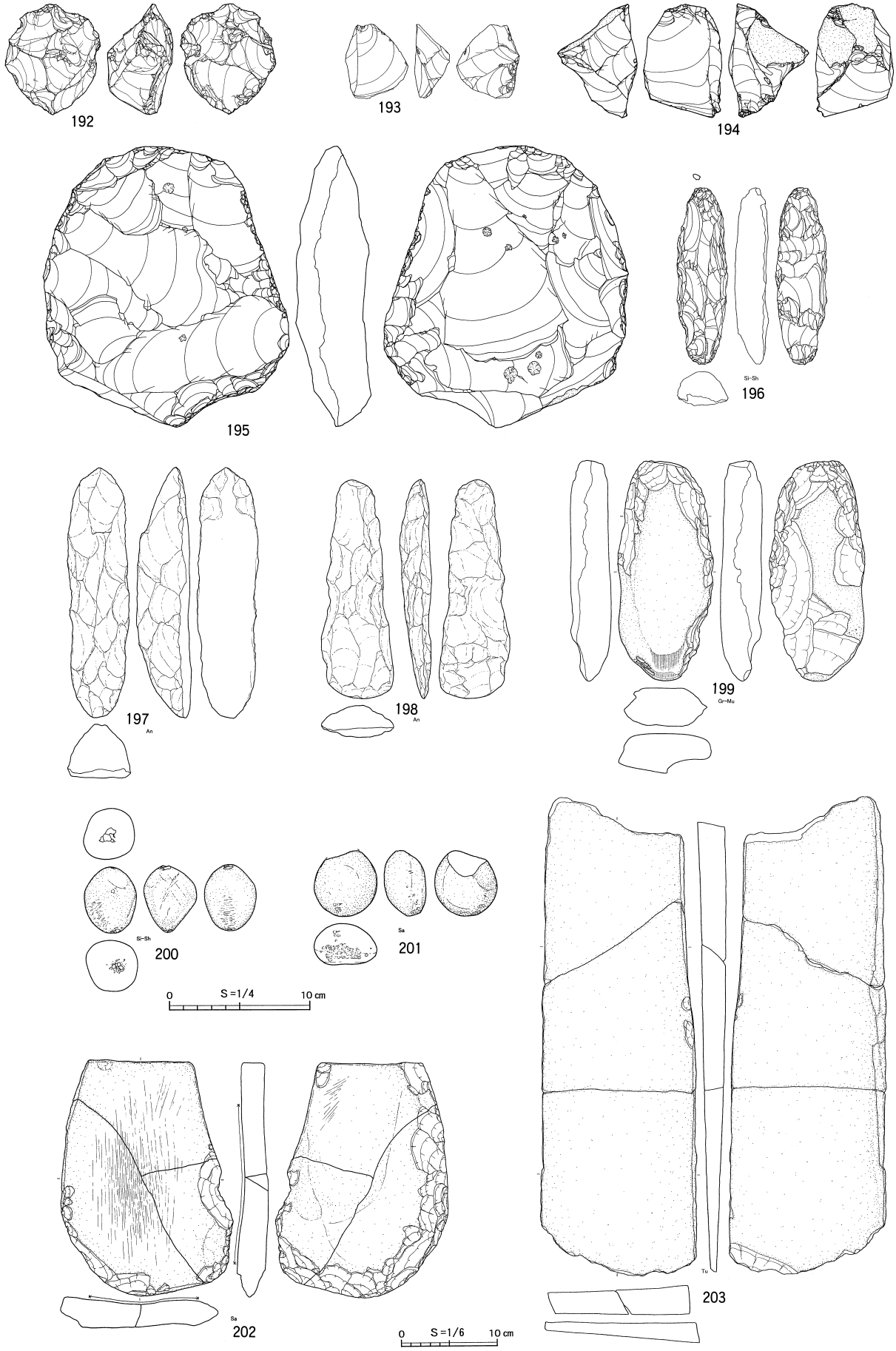
台形石器（161・162）は服部台2・旧白滝5遺跡でややまとまって出土している。本報告の「白滝Ⅰｂ群」にも一部含まれているが、今後はそれらの遺跡の分析を通して石器群の位置づけが必要となろう。

石刃核は調整打面のもの（163～171）、単剥離打面のもの（172～182）に分けられる。前者には石核調整が行われず裏面に原礫面が残るもの（163～165）、両面調整体が準備されるもの（166）、石核調整により背稜が形成されるもの（167・168）・断面三角形ないし五角形の母型が準備されるもの（169～171）があり、後者には作業面が全周を巡るもの（172・173）、石核調整の見られるもの（174）、石核調整が行われず裏面に原礫面が残るもの（175～182）がある。裏面に原礫面が残る単剥離打面の石刃核には作業面が平坦なもの（178～180）、石刃核に頭部調整がほとんど見られないもの（181・182）



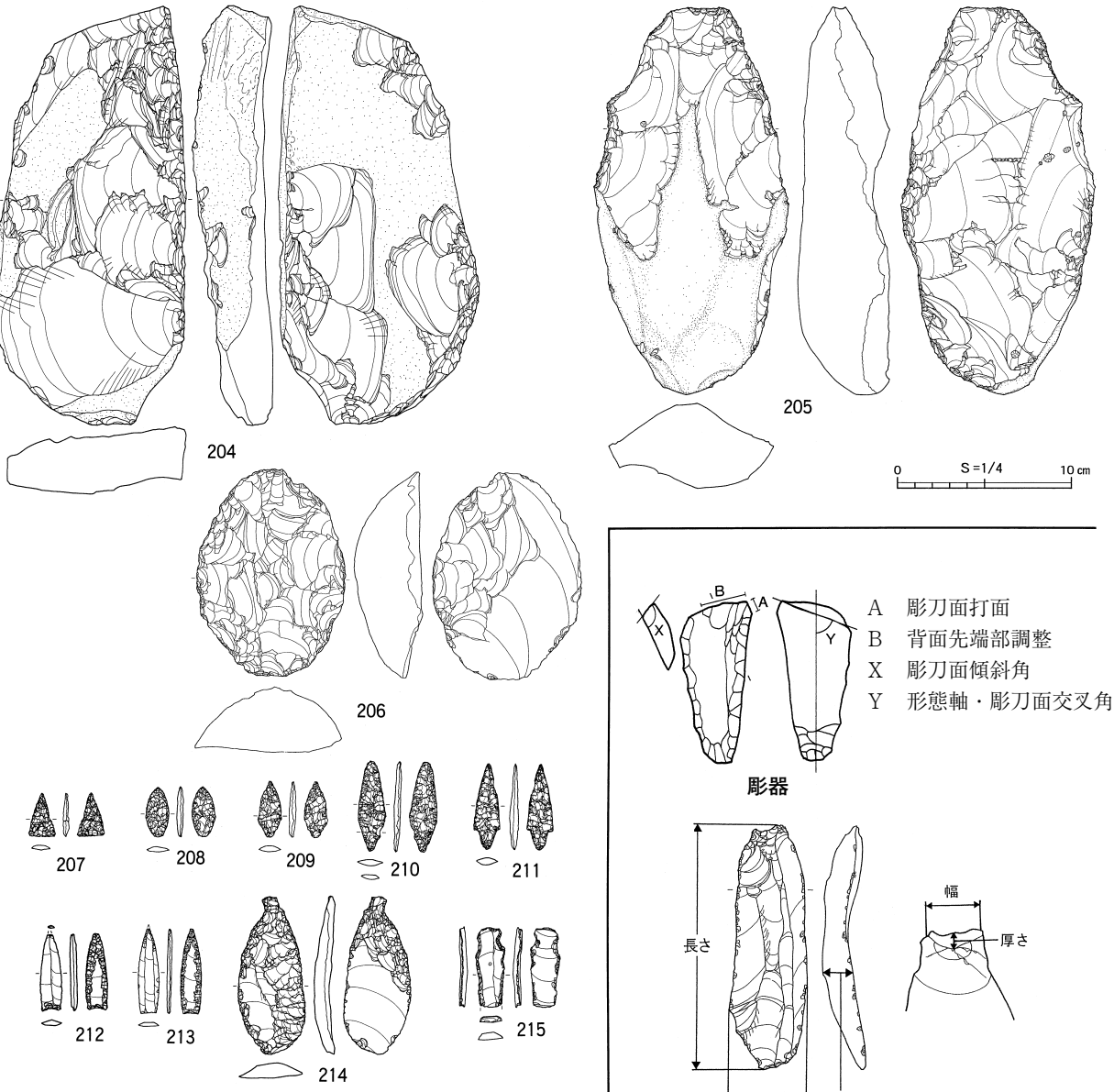
石刃核(175～182)、石核(183～191)

図Ⅰ－7　白滝遺跡群出土石器(6)



石核(192～195)、斧形石器(196～199)、敲石(200・201)、砥石(202)、台石(203)

図Ⅰ－8　白滝遺跡群出土石器(7)



両面調整石器（204～206）、石鏃（207～211）、
石刃鏃（212・213）、つまみ付きナイフ（214・215）

服部台 2 遺跡

Sb-3～5:53
Sb-38～40:16
Sb-45:161
Sb-55～63:49
耕作土:43・44・46

奥白滝 1 遺跡

Sb-1～3:159・183・188
Sb-4～6:132・154・186
Sb-7～10:31・52・97・115・145
Sb-11・12:169
Sb-13:137
Sb-15～21:7・108・118・168・199
Sb-26～30:10・84・205
Sb-31～36:2・15・19・124・153・203
Sb-38～44:3・134・164・200・202・214

石器ブロック群対応表
図Ⅰ－2～9 掲載番号

上白滝 8 遺跡

Sb-1～3:155・190
Sb-4～6:131・156・158・189
Sb-7・8:191
Sb-9:157・184
Sb-11～13:160・185・187
Sb-72～79:121
A区(Sb-14～19):30・36・37・40・41・68・102・103・141・143・170
B区(Sb-20～29):12・91・151・180・201
C区(Sb-30～35):29・88・195
D区(Sb-36～55):4・27・62・64・66・71・73・127・133・174・177・194・204
E区(Sb-56～60):65
F区(Sb-61):76・138
G区(Sb-80～89):61・83・89・117・125・128・173
H区(Sb-90):51・152・171
I区(Sb-91～96):6・9・22・26・60・72・74・78・79・82・92・93・95・96・104・105・109・111・129・147・175・182・193・196
J区(Sb-97～107):21・24・25・56・63・67・106・107・113・130・149・178
K区(Sb-108～111):172・206
斜面部:32・39・48・50・75・80・142・166

上白滝 2 遺跡

Sb-1・2:85・119
Sb-3～6・10:33・38・47・90・144・179
Sb-9:35・54・122・140・150
Sb-11・12:126・176
Sb-13:8・14・28・58・69・148
Sb-14:34
Sb-15:11・18・86・87・98・99・112・120・139・146・167

上白滝 5 遺跡

Sb-5:5・165
Sb-6～11:13・55・57・81・100・101・110・116・136・163・192・197・198
Sb-12:212

上白滝 6 遺跡

Sb-2・3:123・135
Sb-5:208・210・213・215

上白滝 7 遺跡

Sb-2・3:1
Sb-4～10:77・94・114・181

北支湧別4遺跡

Sb-2・3:17

白滝18遺跡

20

白滝 3 遺跡

59

旧白滝 9 遺跡

209

旧白滝 8 遺跡

207

旧白滝 5 遺跡

23・42・45・70・162

下白滝遺跡

211

図Ⅰ－9　白滝遺跡群出土石器（8）・計測の基準

がある。調整打面の石刃核は有舌尖頭器石器群・「忍路子型」細石刃核石器群・尖頭器石器群・「射的山（広郷）型」細石刃核石器群に含まれ、上白滝５遺跡 Sb－６～11のみ小型舟底形石器石器群に含まれる。単剥離打面の石刃核は小型のものは小型舟底形石器石器群に伴い、中～大型のものは「峠下型」細石刃核石器群、「札滑型」細石刃核石器群、大型尖頭器・大型石刃を含む石器群に伴い、頭部調整がほとんど見られないものは「広郷型」ナイフ形石器に伴う（「広郷型」ナイフ形石器に伴う石刃技法には頭部調整が施されるが、残核には頭部調整の痕跡がほとんど残らない特徴がある）。各石器群の石刃核から剥離される石刃の大きさは製作されているトゥールの大きさと一致している。剥離される石刃の形態は石刃核の大きさ・作業面形状に規定されるため、必要とした素材に対応した石刃剥離技術が採用されていると考えられる。

石核は「白滝Ⅰ群」（183～191）のものとそれ以外（192～195）に分けられる。「白滝Ⅰ群」には打面と作業面を頻繁に転移させ、最終的にサイコロ状を呈するもの（183・184）、扁平な素材の平坦面で剥離が行われるもの（185・186）、素材の小口面で剥離が行われるもの（187・188）、打面を素材の平坦面に固定して剥離が行われるもの（189・190）、長大な角礫素材で主に原石の長軸方向で剥離が行われるもの（191）がある。「白滝Ⅰ群」以外では求心剥離が行われ円盤状を呈するもの（192・195）、厚手の剥片剥離が打面転移を繰り返して行われるもの（193・194）などがある。前者のうち195は「峠下型」細石刃核石器群に伴い、後者は小型舟底形石器石器群に伴う。192は小型舟底形石器石器群に伴うものであるが主体的なタイプではない。

斧形石器は素材に安山岩・緑色泥岩・頁岩など多様な石材が利用され、断面形が蒲鉾形～三角形で平行な側縁・弧状の刃部を持つタイプ（196・197）、側縁が刃部に向かい撥形に広がり、直線的な刃部を持つタイプ（198）、原石の縁辺を打ち欠き整形したもの（199）などがあり、刃部に研磨痕のあるものが多い。これらは小型舟底形石器を含む石器群・尖頭器を含む石器群に伴う。

その他、礫石器として敲石（200・201）、砥石（202）、台石（203）が石器群に偏らず散発的に出土している。　（鈴木宏行）

Ⅱ　遺跡の位置と周辺の環境

1　遺跡の位置と周辺の遺跡

遺跡の所在する白滝村は、北海道網走支庁管内中西部に位置し、北緯43°44′20″から43°57′30″、東経143°0′40″から143°18′20″の間にある。北は丸瀬布町・滝上町、東は丸瀬布町、西・南は上川支庁管内上川町に接している。

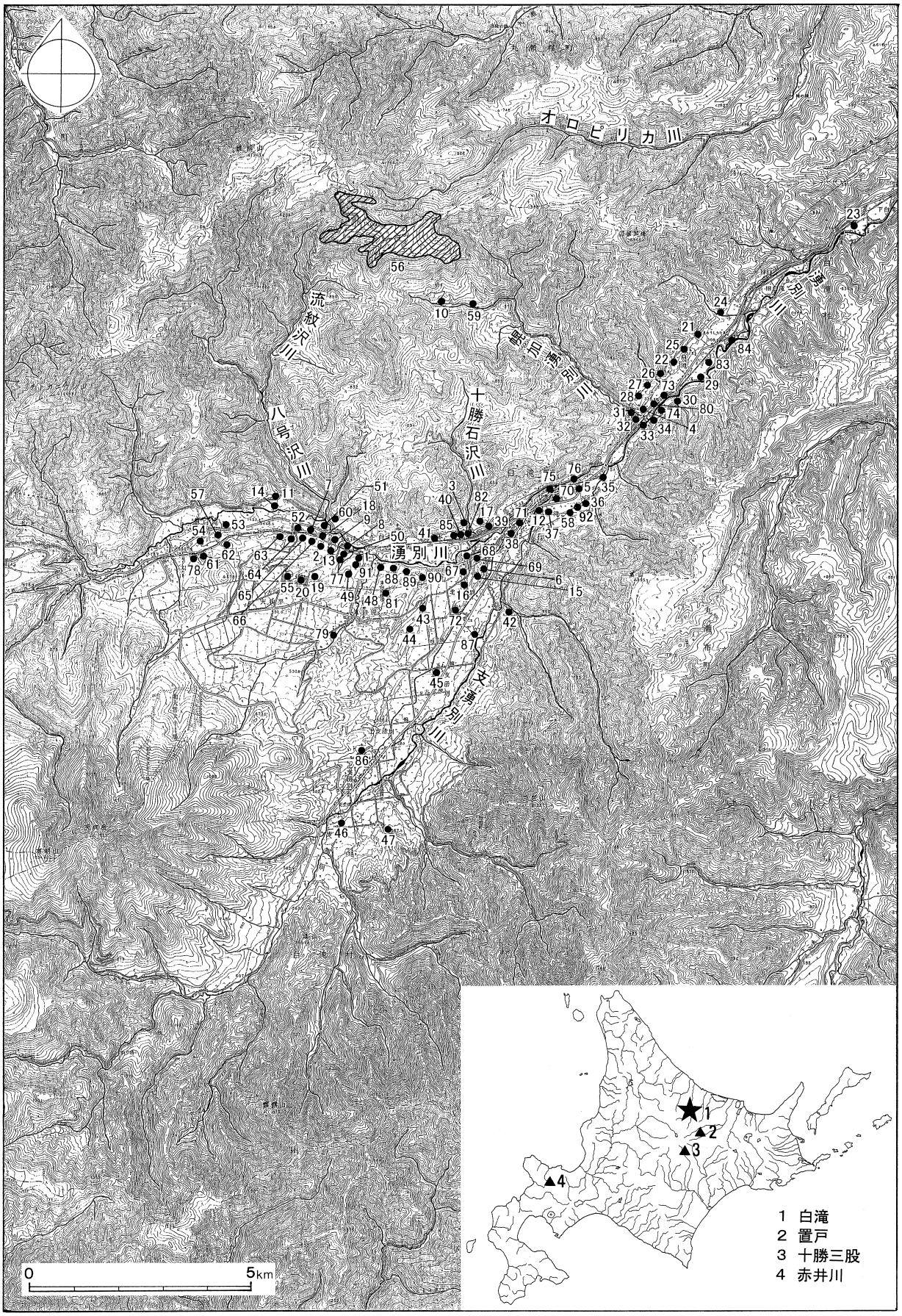
村の中央には湧別川と支湧別川に挟まれた台地状の三角地帯があり、周囲は山地に囲まれている。北側には湧別川の左岸に急峻な山地が迫り、その中に黒曜石の産出地として知られる赤石山がある。また、南西から南東にかけて大雪山系の天狗岳・武利岳・支湧別岳などの1600～1800m の山々が連なっている。村内を東西に流れる湧別川は天狗岳に源流を発し、北側からは赤石山周辺から流れ込む八号沢川、十勝石沢川、幌加湧別川を吸収し、南側からは本来本流である支湧別川（アイヌ語で「シ・ユーペッ」、「大きい・湧別川」の意味）と白滝村市街地で合流し、丸瀬布町、遠軽町、上湧別町、湧別町を経てオホーツク海に流れ込んでいる。

赤石山を起点に、他の黒曜石産地との位置関係をみると、南東方向40km に置戸町所山・置戸山、南方向50km に上士幌町十勝三股が位置している。

村内には92カ所の遺跡が確認されている（図Ⅱ－1・2、表Ⅱ－1）。縄文時代以降の遺跡は平成13～15年度に調査を行った旧白滝８・旧白滝９・下白滝（直江ほか　2004）、石井遺跡の４遺跡のみである。その他、土器の出土例として前田コレクションで知られる奥白滝地区の資料や赤石山南斜面標高700m の八号沢80林班出土の資料、縄文時代の石器が断片的に見られる（豊原ほか　2003、松谷　1987ｂ）ものの旧石器時代の遺物が主体を占める。それらのほとんどは湧別川沿いの河岸段丘上に所在し、「白滝遺跡群」と総称されている。これらは、①八号沢と湧別川の合流点付近、②十勝石沢川と湧別川の合流点付近、③幌加湧別川と湧別川の合流点付近の三つの集中地区に分けて捉えることができる。いずれも赤石山を源流とする沢と湧別川の合流点付近から下流に広がる形で集中し、原石採取や、露頭へのルートとして沢を利用していたことが想定される。そのうち、特に、①には白滝第13地点遺跡をはじめ、服部台・服部台２・白滝第32・33地点遺跡など、学史的に有名かつ大規模な遺跡が集中している。②は湧別川と支湧別川との合流点付近に位置し、白滝第４地点遺跡（松谷　1987a、松村・瀬下　2002）や白滝第30地点遺跡（松村・瀬下　2003）の大規模遺跡が立地している。③にはホロカ沢Ⅰ遺跡が分布し、平成15年度調査を開始した旧白滝５遺跡（北海道埋蔵文化財センター　2004）にも多量で多様な石器群が残されていることが判明した。一方、段丘以外では、赤石山の山麓で赤石山・幌加沢遠間地点・幌加林道遺跡の３遺跡が確認されているのみであるが、深い森林のために未発見の遺跡が存在することが予想される。

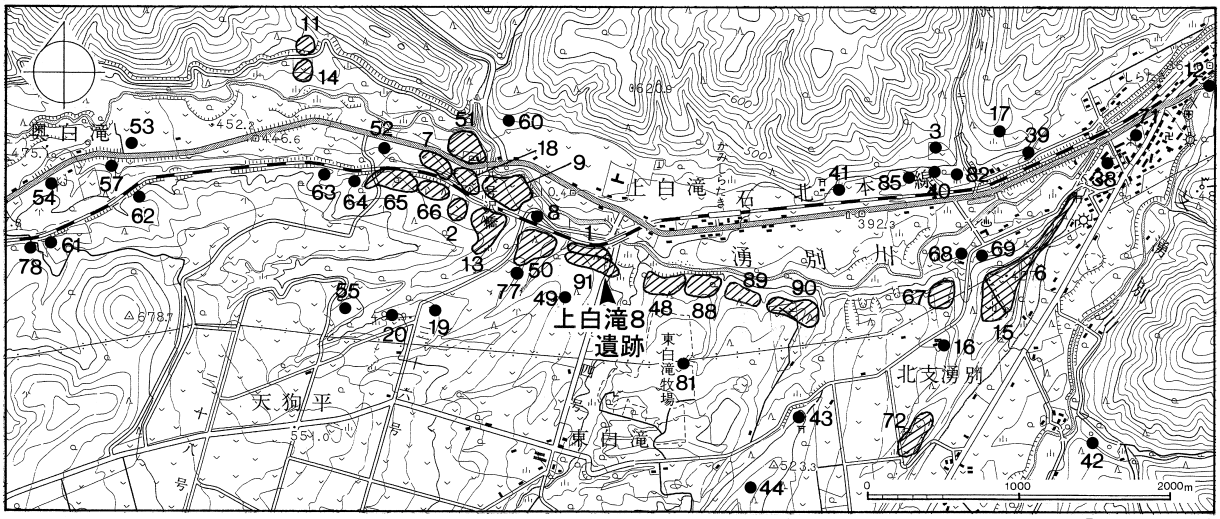
黒曜石は赤石山山頂および露頭、八号沢川、十勝石沢川、幌加湧別川、湧別川などで採取でき、遺跡ではその立地環境を反映して大量の黒曜石が利用されている。湧別川中流域の遠軽町内にある同時代のタチカルシュナイ遺跡でも同様に黒曜石の利用がみられる。

上白滝８遺跡は、八号沢川と湧別川の合流点から約1.1km 下流の右岸段丘上、白滝第13地点遺跡の南側、奥白滝１遺跡の沢を挟んだ東側、上白滝２遺跡の沢を挟んだ西側に隣接し、大規模遺跡の集中する地域の中央部に位置する。標高は高位部で約435m～450m、低位部で約415m、湧別川との比高は高位部で35m～50m、低位部で15m である。　（鈴木宏行）



（国土地理院発行５万分の１地形図「白滝」「上支湧別」「丸瀬布南部」「大和」を使用）

図Ⅱ－１　白滝村の位置と村内の遺跡



（国土地理院発行５万分の１地形図「白滝」を使用）

図Ⅱ－２　上白滝８遺跡の位置と周辺の遺跡

表Ⅱ－１　白滝村の遺跡一覧

登載番号	遺跡名	調査年度	報告関連
1	白滝第13地点	1955	吉崎　1961
		1956	北大調査団　1960
		1958	吉崎　1961
		1986	松谷　1987b
2	服部台	1961	杉原・戸沢　1975
3	白滝第25地点	1956	北大調査団　1960
4	旧白滝２		
5	石井	1971	豊原ほか　2003
6	白滝第30地点	1957	吉崎　1959
		1985	松谷　1987b
		1994	松村　1995
		1996～98	松村・瀬下　2003
		2000	鈴木ほか　2004
7	白滝第33地点	1957	吉崎　1961、白滝団体研究会　1963
		1986	松谷　1987b
8	白滝第31地点	1959	吉崎　1961、白滝団体研究会　1963
9	白滝第32地点	1959	白滝団体研究会　1963
		1986	松谷　1987b
10	幌加川遺跡遠間地点	1972	米村　1975・77
		1987～90・92・93・95・99・02～04	札幌大学木村英明ゼミナール　1988～90・96、木村　2003
11	近藤台	1981	畑・千葉　1982
12	加藤農園		
13	服部台２	1981	畑・千葉　1982
		1998・99・2000	北海道埋蔵文化財センター　1999・2000・01
14	近藤台２		
15	白滝第４地点	1955	吉崎　1961
		1986	松谷　1987a・b
		1994	松村　1995
		1995・96	松村・瀬下　2002
16	白滝第10地点		
17	白滝第27地点	1955	吉崎　1961
18	白滝第29地点		
19	白滝第37地点	1960	白滝団体研究会　1963
20	白滝第38地点	1960	白滝団体研究会　1963
21	旧白滝４		
22	平岡ｂ		
23	下白滝	2001・02	直江ほか　2004
24	旧白滝１		
25	平岡ａ		
26	旧白滝３		
27	ホロカ沢Ⅰ	1961	白滝団体研究会　1963
28	旧白滝５	2003	高橋ほか　2003、北海道埋蔵文化財センター2004
29	旧白滝６		
30	旧白滝７		
31	旧白滝８	2002・03	直江ほか　2004
32	旧白滝９	1985	松谷　1987b
		2002・03	直江ほか　2004
33	旧白滝10	1985	松谷　1987b
34	白滝１		
35	白滝２		
36	白滝３	2001	北海道埋蔵文化財センター　2002
37	白滝４		
38	白滝５		
39	白滝６		

登載番号	遺跡名	調査年度	報告関連
40	白滝７		
41	上白滝１		
42	北支湧別１		
43	東白滝１		
44	北支湧別２		
45	支湧別１		
46	上支湧別１		
47	上支湧別２		
48	上白滝２	1996・97	鈴木ほか　2001
49	東白滝２		
50	奥白滝１	1997・98	直江ほか　2002
		2000	北海道埋蔵文化財センター　2001
51	奥白滝２		
52	奥白滝３		
53	奥白滝４		
54	奥白滝５		
55	天狗平１		
56	赤石山		
57	奥白滝６		
58	白滝８	2000	北海道埋蔵文化財センター　2001
59	幌加林道		
60	上白滝３		
61	奥白滝７		
62	奥白滝８		
63	奥白滝９		
64	奥白滝10		
65	奥白滝11	1999	鈴木ほか　2004
66	奥白滝12		
67	北支湧別４	1998	鈴木ほか　2001
68	白滝９		
69	白滝10		
70	白滝11		
71	白滝12		
72	北支湧別３	1985	松谷　1987b
73	旧白滝11		
74	白滝13		
75	白滝14		
76	白滝15		
77	上白滝４		
78	奥白滝13		
79	東白滝３		
80	旧白滝14	1985	松谷　1987b
81	東白滝４		
82	白滝16		
83	旧白滝12		
84	旧白滝13		
85	白滝17		
86	上支湧別３	1986	松谷　1987b
87	北支湧別５		
88	上白滝５	1997・98	直江ほか　2002
89	上白滝６	1998	鈴木ほか　2001
		2001	鈴木ほか　2004
90	上白滝７	1997・98	坂本ほか　2000
91	上白滝８	1995～98・2000	北海道埋蔵文化財センター　1996・97・98・99・2001、鈴木ほか　2004
92	白滝18	2000	北海道埋蔵文化財センター　2001

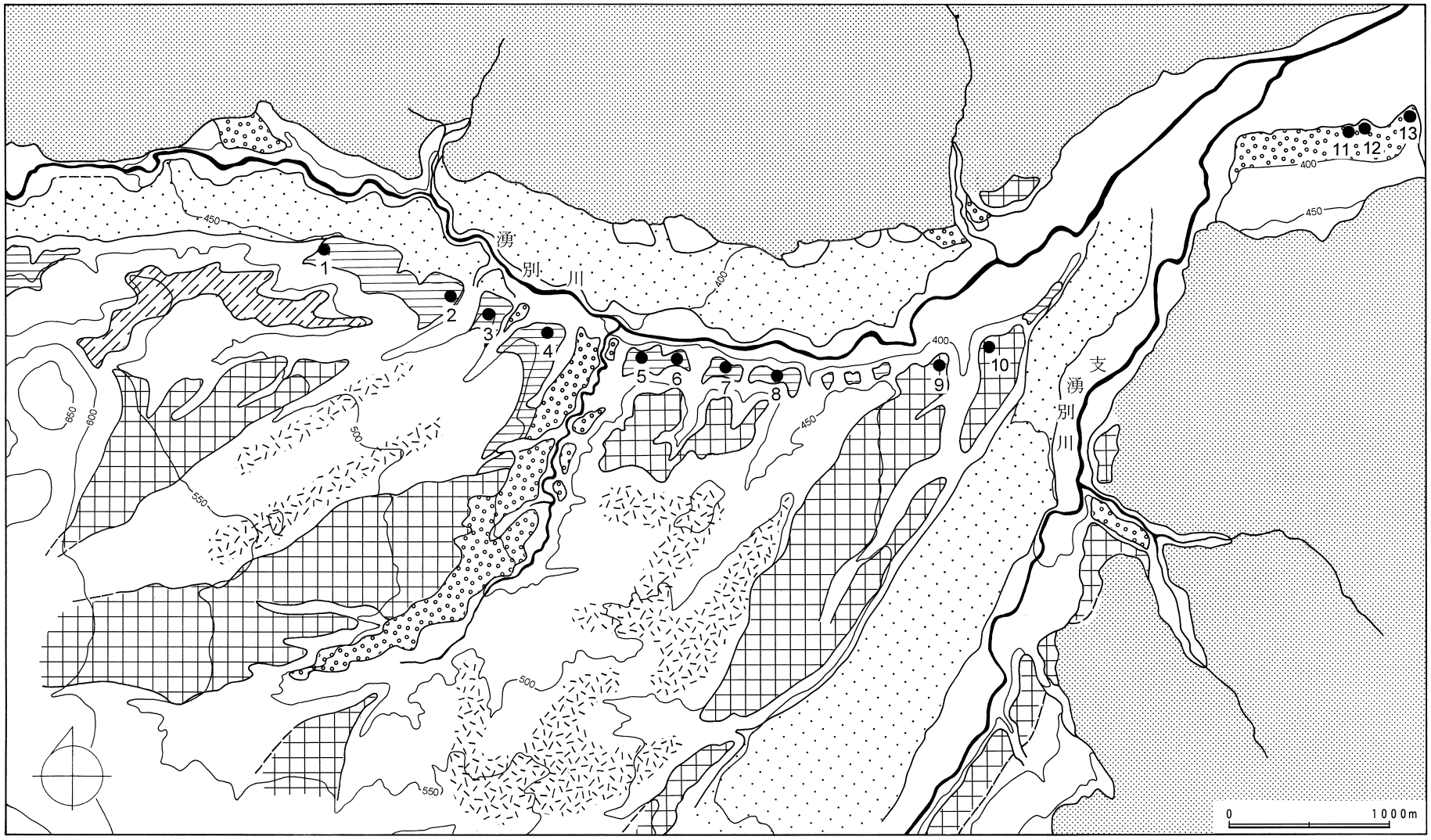
2　遺跡周辺の地形と地質

遺跡群のある白滝村は、北海道の屋根といわれる大雪山系北東山麓の小盆地に位置し、盆地内には西から東に流れてオホーツク海に注ぐ湧別川と、南西から北東に流れて白滝市街で湧別川と合流する支湧別川がある。村内の遺跡は湧別川と支湧別川に挟まれた通称「三角地帯」と呼ばれる一帯に多くあり、特に湧別川右岸の河岸段丘上に集中している。三角地帯の南東側は、標高700～1,700m の日高累層群による山系である。北側は日高累層群とこれを覆う幌加湧別層・幌加湧別凝灰岩による標高600～1,200m の山地で、深い谷地形が発達している。南西側は大雪山系の北東延長部にあたり標高1,500～1,800m の山々が連なっている。三角地帯は、南西側にある天狗岳（標高1,553m）から北東方向に広がる緩斜面と数段の段丘地形から成り立っている（図Ⅱ－３）。

北側の山地は北西部と北東部で地形、地質の様相が異なる。北西部は、チトカニウシ山（標高1,445m）を中心として、日高累層群の粘板岩で構成され、急峻な山々が広がる。北東部も同様に日高累層群の基盤で構成されているが、稜線部に広く溶結凝灰岩が分布しているため山腹斜面が急峻で、山稜部は全体的に平坦な地形となっている。溶結凝灰岩は、分布西限にあたる雄柏山から東へ向かうにしたがい、山稜部の高さが徐々に低くなり丸瀬布町までみられる。遺跡群と関係の深い赤石山（標高1,147m）もこの山塊に位置する。赤石山では黒曜石が産出し、国内でも最大級の埋蔵量を誇っている。山腹には大規模な黒曜石の露頭がいくつもみられ、その下の沢では良質の黒曜石が採集できる。

段丘面は、湧別川と支湧別川に挟まれた三角地帯の台地上に少なくとも５段が発達している。形成時期の古い段丘から奥白滝面、天狗平面、上白滝面、東白滝面、支湧別面に区分され、段丘形成史が概観されている（中村・平川　1998)。上白滝地区でこれらの段丘面の基盤となっているのは、白滝層と呼ばれる火砕流堆積物で、地点によって凝灰質砂層、溶結凝灰岩層、砂質粘土層、湖成堆積層などと様相が異なる。白滝層は盆地内の広い範囲でみられ、現在の斜面傾斜方向と同方向に三角地帯内に流れ込んだと思われる。これに伴い古白滝湖が形成されたため、白滝層の大部分は二次堆積による湖成堆積層として確認されている。また、三角地帯より下流の白滝・旧白滝地区では、前述の粘板岩が段丘面の基盤である。

段丘面の中で最も高位の奥白滝面は、湧別川上流部の伊藤ノ山（標高678m）の北東に残っているのみである。天狗平面は、斜面堆積によってできた大規模な扇状地地形で、天狗岳から北東方向、白滝層の間を埋めるように分布している。特に伊藤ノ山東側、天狗沢川上流部、支湧別川左岸で良好に発達し、この段丘面上には北支湧別４（当センター調査）・白滝第４地点・第30地点遺跡（村教委・当センター調査）などが立地している。平成15年度に調査を開始した旧白滝５遺跡の高位部も天狗平面に対応すると思われる。次の上白滝面（標高470～400m）は、湧別川により形成された河岸段丘で、三角地帯付近では湧別川の右岸に八号沢川合流地点付近から黒曜の沢合流地点付近まで分布する。遺跡が数多く立地しているのはこの段丘面上で、白滝第13地点遺跡、服部台遺跡など学史的にも有名な遺跡が数多く分布している。当センターが調査した遺跡の多くもこの段丘面上に立地し、湧別川の上流から奥白滝11・服部台２・奥白滝１・上白滝８・上白滝２・上白滝５・上白滝６・上白滝７遺跡と続き、それぞれ大小の谷地形によって区切られている。また、旧白滝地区では旧白滝５遺跡の中位面やホロカ沢Ⅰ・旧白滝３・平岡ａ遺跡などがこの上白滝面に対比されるものと思われる。旧白滝地区の段丘形成については、現在、北海道大学の中村有吾先生による調査が進められているところである。谷地形の中で最も大きなものは、上白滝地区で湧別川と合流する天狗沢川で、三角地帯を大きく東西に二分し、その東側と西側では地形的な差異がみられる。天狗沢川より西側は扇状地状の緩斜面地形



1：奥白滝11遺跡　2：服部台２遺跡　3：奥白滝１遺跡　4：上白滝８遺跡　5：上白滝２遺跡　6：上白滝５遺跡　7：上白滝６遺跡　8：上白滝７遺跡　9：北支湧別４遺跡　10：白滝第30地点遺跡　11：白滝８遺跡　12：白滝18遺跡　13：白滝３遺跡

（中村・平川　1998を元に作成）

図Ⅱ－3　段丘面分布図

で、東側は開析の進んだ傾斜のやや強い台地状の地形である。また中村、平川により、段丘礫層のほぼ直上に堆積する奥白滝軽石がトエトコ火山灰（TT）に比定され、このテフラの噴出年代が15～20万年前頃と推定されることから上白滝面の離水時期もそれ以前と考えられている（中村ほか　1999）。次に形成される東白滝面（標高500～370m）は、前出の天狗沢川の両岸と、湧別川と支湧別川との合流地点より下流の右岸に広く発達し、最終氷期前半には離水していたと推定されている。天狗沢川の左岸には上白滝８遺跡（当センター調査）、湧別川と支湧別川の合流地点下流の右岸には白滝18・白滝８・白滝３遺跡（当センター調査）が立地している。次の支湧別面（標高450m～）は、最終氷期極相期に離水した最も新しい段丘面で、湧別川左岸と支湧別川左岸に広く分布する。縄文時代以降の遺跡がみられることが多く、旧白滝８・旧白滝９・下白滝遺跡（当センター調査）が立地している。また、三角地帯付近の湧別川左岸や旧白滝地区の湧別川右岸は、山地が間近に迫っているため段丘面が階段状に形成されず、八号沢川と十勝石沢の間の山麓では所々に支湧別面を覆う崖錐堆積がみられる。

次に白滝盆地内にみられるテフラについて説明する。中村、平川によると、11枚のテフラ層が確認され、広域対比が試みられている（中村ほか　1999、平川ほか　2000）。そのうち地形発達史を考える上で重要なテフラは、新しいものから樽前ａ軽石（Ta－a）、大雪御鉢平軽石（Ds－Oh）、屈斜路庶路火山灰（Kc－Sr）、支笏１軽石（Spfa－１）、トエトコ火山灰（TT）である。樽前ａ軽石（Ta－a）は、細粒の軽石片からなるテフラで、服部台２遺跡の表土中で確認された。大雪御鉢平軽石（Ds－Oh）は、三角地帯内では淘汰が悪く、多量の石質岩片を含有しているのが特徴で、直上の炭化木片の年代測定値から、約３万年前に降下したものと考えられる。発掘された遺物はすべて同層かそれより上層から出土しているため、遺跡の形成年代を考える上でも重要なテフラである。旧白滝地区では、部分的ながら旧白滝５遺跡の高位部でも包含層の下位に認められた。岩片を含まなくなり、中～細粒の軽石片となっている。屈斜路庶路火山灰（Kc－Sr）は、黄褐色の細粒ガラス質火山灰で、奥白滝１・服部台２遺跡の大雪御鉢平軽石（Ds－Oh）と赤褐色古土壌の間にみられることから、最終間氷期から最終氷期の間に降下したと考えられる。支笏１軽石（Spfa－１）は、約４万２千年前に降下したテフラである。黄褐色の細粒ガラス質火山灰で、湧別川との合流点付近の十勝石沢左岸で確認された。屈斜路庶路火山灰（Kc－Sr）とは肉眼的に類似するが、支笏１軽石（Spfa－１）は屈折率が高い斜方輝石を含む特徴がある。トエトコ火山灰（TT）は、普通角閃石を多量に含むのが特徴で、上白滝面に立地する服部台２・奥白滝１遺跡では段丘礫層の直上から確認された。15～20万年前に降下したテフラと推定され、湧別川沿いの段丘形成史を考える上で重要なテフラである。

上白滝８遺跡は、三角地帯内の湧別川右岸にあり、湧別川と八号沢川の合流点から約1,100m下流に位置している。遺跡の主体部がある段丘面は上白滝面にあたり、急斜面を介して一段低い東白滝面に続いている。調査区域の標高は上白滝面が430～446m、東白滝面が410～420mである。調査は段丘の縁から約25m奥に入った地点で、台地の幅500m程を横切るように東西方向に長い区域で行った。主に旧石器時代の遺物を包含する上白滝面の中央部には僅かな沢地形がみられ、遺物分布もそこで大きく二分される。そのうち東側は平成15年度に報告済みで、今回の報告は西側半分の地区を対象としている。遺跡の西側は急崖で沢を挟んで奥白滝１遺跡（平成13年度報告）、東側には上白滝地区で最も大きな天狗沢川が流れ、沢を挟んで上白滝２遺跡（平成12年度報告）がある。　　（直江康雄）

3　基本土層

地表面より１m前後の表層（Ⅰ～Ⅲ層）については、他の上白滝面に立地する遺跡と同様な土層

の堆積状況がみられた。したがって、各遺跡においては層厚などに若干の相違がみられるが、基本的に以下のような層名に統一して記述した。なお、Ⅳ層以下は各段丘面によって異なり、さらに同一段丘面の遺跡においても多少の違いがみられる。

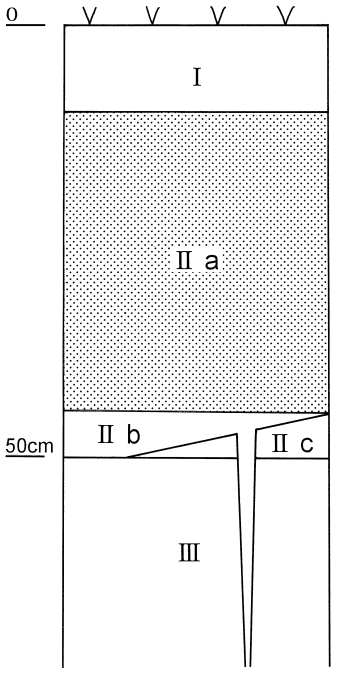
第Ⅰ層　：表土・耕作土層　厚さは10cm 前後、クマ笹や木根を含んだ黒色の腐食土層及び、現代の耕作によって攪乱された表層である。

第Ⅱａ層：褐色粘質土層　厚さは30～50cm、しまり、粘性とも弱いが、下部にいくにしたがい強まる。黄褐色の軽石、石質岩片、マンガン粒を少量含む。調査したすべての遺跡で観察され、遺物の大部分がこの層から出土することから本来の遺物包含層であると考えられる。なお、Ⅱａ層に含有される少量の石質岩片や軽石は、Ⅱｃ層に含まれているものと類似している。

第Ⅱｂ層：灰白色～青灰色粘質土層　厚さは５cm 前後、しまりが少しあり、粘性が強い。含有物はⅡａ層と同様軽石、石質岩片、マンガン粒を少量含む。遺跡群すべてで観察されるわけではなく、所々で観察される。含有物が同様で、灰白色をしていることから、Ⅱａ層が還元された層と考えられる。またこの土は、Ⅲ層の中程まで入ったクラックの中にもみられ、平面形は径50cm 前後の編み目模様を呈し、周縁に酸化鉄が沈着している。

第Ⅱｃ層：赤褐色～灰褐色砂質土層　厚さは10cm 前後、しまりがあり、粘性は弱い。この層も遺跡群すべてで観察されるわけではなく、特にⅡｂ層と上下関係をもって確認される地点は少ない。石質岩片、軽石を多量に含んでいる。この岩片と軽石は、大雪山系に位置する御鉢平カルデラ起源のテフラ（Ds－Oh）であることが確かめられている（中村・平川　1998、中村ほか　1999)。テフラ層直上で検出された炭化木片の放射性炭素年代は、約３万年前であった。

第Ⅲ層　：赤褐色～褐色砂質土層　厚さは50～100cm、しまりが強く、粘性は少しある。マンガン粒を多量に含んでいる。その他に石質岩片、軽石も少量含まれる。Ⅲ層以下からは遺物は全く出土しない。Ⅲ層は、周氷河現象を受けて、上面がうねっている地点が多い。平面形でみると皿状の窪みになっており、そこにⅡｂ層やⅡｃ層が厚く堆積している状況が多くみられた。



Ⅰ　層：表土、耕作土
Ⅱａ層：褐色粘質土層
　しまり　弱
　粘　性　強
Ⅱｂ層：灰白色～青灰色粘質土層
　しまり　ややあり
　粘　性　強
Ⅱｃ層：赤褐色～灰褐色砂質土層
　しまり　あり
　粘　性　弱
　石質岩片、黄褐色の軽石を多量に含む
Ⅲ　層：赤褐色～褐色砂質土層
　しまり　強
　粘　性　ややあり
　マンガン粒を多く含む

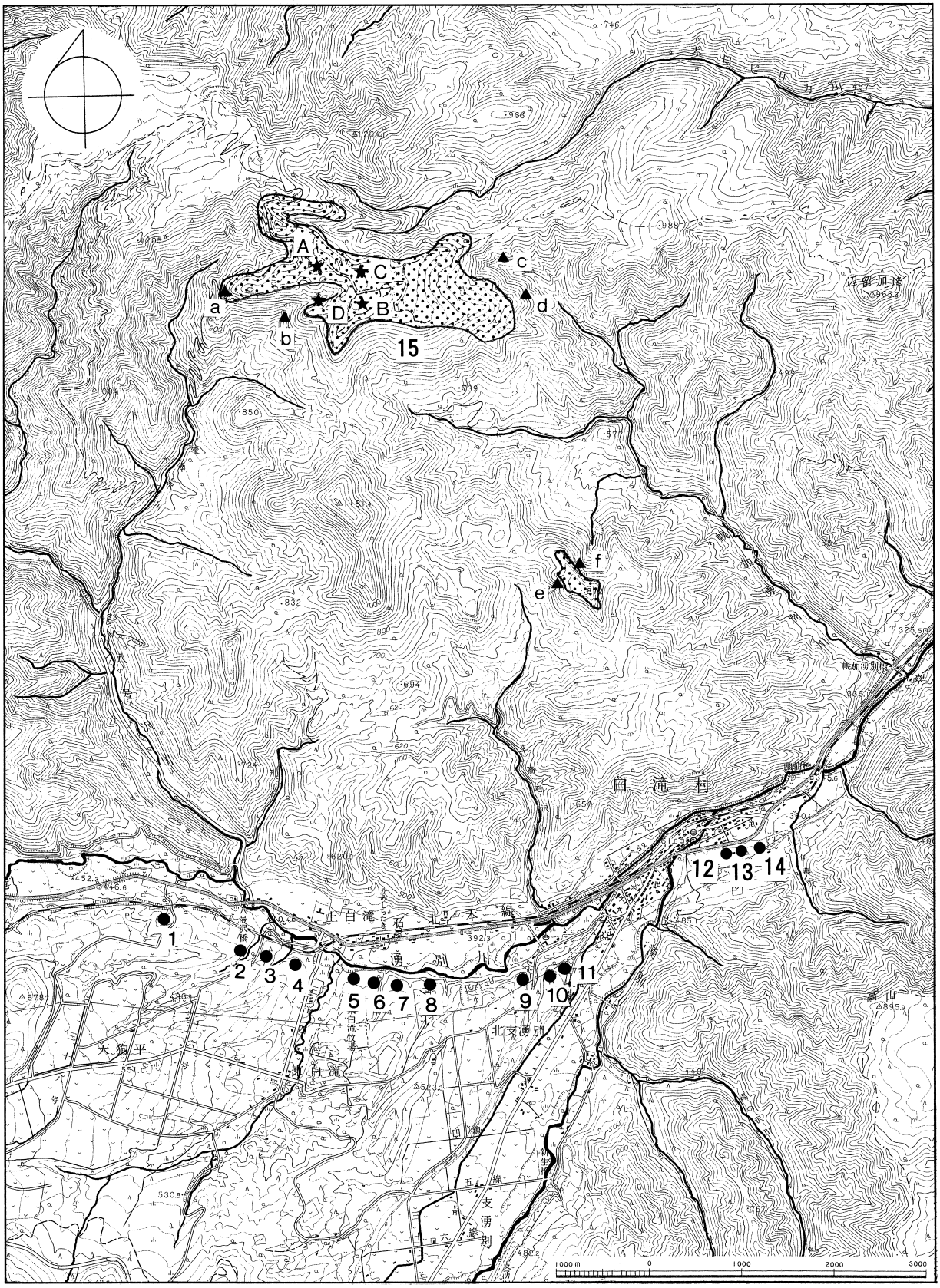
図Ⅱ－４　基本土層図

Ⅳ層以下については各段丘面により異なる。調査した遺跡のほとんどが立地する上白滝面では、基本的にしまりの強いローム質の土層がつづき、砂層と粘土層の互層となり、段丘礫層に達する。これら基本的な層序の中に各遺跡、各地点において様々な土層がみられる。上白滝８・上白滝７遺跡などでは、斜面堆積物であるマトリックスの多い礫層がⅢ層の下に約１m みられる。服部台２遺跡、奥白滝１遺跡の北側地点では、古土壌と呼ばれる赤褐色の層が確認され、その直下に推定降下年代が15～20万年前のトエトコ火山灰がみられ、段丘礫層へと続く。トエトコ火山灰は、普通角閃石を豊富に含み、指で土層を掻き採ると、針状の黒色鉱物がべっとりと残るのが特徴である。上白滝２遺跡では、段丘礫層直上の粘土と砂の互層が他の遺跡より厚く１m ほど堆積している。また、Ⅲ層以下には周氷河作用により、土層が波状に変形している地点も多くみられた。上白滝面より上位の天狗平面上に立地する北支湧別４遺跡では、Ⅲ層直下にトエトコ火山灰がみられ、その下層の厚く堆積した灰白色粘土層の中に Sit 6 テフラ（中村・平川　1998、中村ほか　1999）があり、段丘礫層へと続いている。上白滝面より下位の東白滝面上に立地する白滝８・白滝18・白滝３遺跡では、段丘礫層がⅢ層の直下にある。特に湧別川に面した段丘の縁部分は、Ⅱａ層下部およびⅡｂ層中に粘土層や砂礫層が互層となっている地点が確認され、粘土・砂礫層中からも多くの遺物が出土している。

湧別川と支湧別川に挟まれた三角地帯内の段丘面の基盤となっているのは、白滝層と呼ばれる火砕流堆積物で、地域内の広い範囲でみられるが、地点によって凝灰質砂層、溶結凝灰岩層、砂質粘土層、湖成堆積層などと様相が異なる。　（直江康雄）

4　黒曜石の原石山・赤石山

赤石山は、白滝村市街の北々西6.5km、標高は1,147m（古い地図では1,154m）、現在は国道333号より八号沢川に沿った八号沢林道を3.5km 程入り、さらに流紋沢川に沿った赤石林道を上り、山頂部へ行くことができる。途中の林道では標高950m 付近から黒曜石が散布し、標高1,000m を越えると一面に黒曜石がみられる部分が数か所みられる。また、標高1,000m 付近の林道右手には有名な通称八号沢の露頭（図Ⅱ－５のａ）がある。この露頭は、黒曜石が流紋岩質凝灰岩にパッチ状にみられ、灰白色球顆や縞状構造が多いが、玻璃光沢があり、良質である。また、叩くと金属音がするので、硬質とみられる。山頂部の平坦面では、ピークの標高1,147m 周辺に黒色を主体とする黒曜石の散布地帯（図Ⅱ－５のＡ）があり、さらにピークを下り削平された林道の終点付近では、紅色、茶色、紫がかった茶色など俗に花十勝といわれる黒曜石が一面にみられる（図Ⅱ－５のＢ）。ここは、昭和31・32年ごろから観賞・装飾用品加工ための原石採掘が行われたところである。また、黒色とこの採掘跡の中間部には茶色の黒曜石が集中する部分もある（図Ⅱ－５のＣ）。さらに赤・茶色の混じった黒曜石は、採掘跡手前の流紋岩球顆の指定地（図Ⅱ－５のＤ）のある急な沢（仮称球顆の沢）でも多量にみられる。山頂部や球顆の沢では、原石に混じって粗い両面調整石器や石核や剥片などがみられ、一部は紹介されている（宗像　1999）が、時期の決め手はない。球顆の沢は、小規模な露頭がいくつかあるが、標高900m 付近の柱状節理の発達した露頭（図Ⅱ－５のｂ）は大規模なもので、その下から下流で採取できる角柱状の原石は、球顆がみられるものの良質で、石器の素材としては極めて良好である。おそらく、旧石器時代においてもこの沢は原石採取の主要な地点であったと考えられ、標高700m 付近のわずかな平坦部などでは、剥片類が散布する地点が多数ある。また、赤石林道入口から１km 程入った78林班林道のカッティングでは、梨肌の黒曜石原石を採取することができる。後に説明する黒曜の沢より上流の湧別川で採取される梨肌原石は、この78林班林道周辺に由来する可能性があり、



1：奥白滝11　2：服部台２　3：奥白滝１　4：上白滝８　5：上白滝２　6：上白滝５　7：上白滝６　8：上白滝７
9：北支湧別４　10：白滝第４地点　11：白滝第30地点　12：白滝８　13：白滝18　14：白滝３　15：赤石山　A：黒
B：赤（採掘後）　C：茶　D：流紋岩球顆　a：八号沢の露頭　b：球顆の沢・柱状露頭　c：幌加沢の露頭
d：あじさいの滝　e：十勝石沢の露頭　f：白土の沢露頭

図Ⅱ－５　調査遺跡・黒曜石露頭位置図

藁科氏の産地分析での原産地「八号沢」は、78林班林道採取原石の分析値である。

白滝村市街へ入る手前の十勝石沢は別名、黒曜の沢、澱粉沢と呼ばれ、沢入り口の礫層中や砂防ダム付近では大小の多量な黒曜石原石が採取できるが、そのほとんどが細かい気泡が多く玻璃光沢の鈍い俗称「梨肌」のものである。沢を遡った上流部左岸の露頭（図Ⅱ－５のｅ）は、後述する幌加沢白土の沢（図Ⅱ－５のｆ）の反対側になり、山頂部に数ｍの厚さで、凝灰岩、流紋岩の上部に堆積している。また、この露頭の下位の溶結凝灰岩中には、玻璃光沢の強い黒曜石もある（白滝団体研究会1963）とされ、沢の所々では玻璃光沢の黒曜石もわずかであるが採取できるので、その供給源となる露頭や土層が存在すると考えられるが、詳細は不明である。

白滝村市街の北東２km にある幌加湧別川の流れる幌加沢は、北西方向に延び、入り口から直線距離で６km 程で、赤石山の山頂にいたる。上流部や支流の蜂の巣沢川でも、黒色や茶色の混じった良質の黒曜石原石が採取できる。蜂の巣沢の最上流部付近では、名前の由来となった俗称「蜂の巣石」と呼ばれる蜂の巣のような窪みが多数みられる黒曜石がみられるほか、標高800m の通称幌加沢の露頭（図Ⅱ－５のｄ）や林道終点に近い通称あじさいの滝（図Ⅱ－５のｃ）などいくつもの露頭がある。最近確認できた地域では、幌加沢遠間地点遺跡脇の「左ノ沢」があり、石器製作に適した手ごろの大きさの良質の原石が採取できる。この「左ノ沢」は前述の幌加沢の露頭やあじさいの滝につながる赤石山山頂から南東に延びる尾根筋にあり、この一帯が幌加沢の主要な黒曜石原石の分布地帯である可能性がある。また、沢入り口より幌加湧別川を３km 程遡った左手にある白土の沢の露頭（図Ⅱ－５のｆ）は、十勝石沢の露頭（図Ⅱ－５のｅ）の反対側で、一帯では「梨肌」の黒曜石が採取できる。山頂部や球顆の沢同様に幌加沢においても露頭やその周辺で、人為的な石器類が採取できる地点が多数あるが、幌加沢遠間地点遺跡などのように特徴的な遺物が多数みられる場所以外は、年代の決定が難しい。

おそらく赤石山へつながる八号沢、十勝石沢、幌加沢の３本の大きな沢および湧別川本流は、旧石器時代以来黒曜石原石の主要な採取地で、先に説明したように採取できる原石にも違いがあったと考えられる。その状況は、アイヌ語地名としても確認できる。山田秀三によれば、黒曜石はアイヌ語で「アンチ（anchi）」あるいは「アンジ（anji）」で、明治31年５万分の１地形図では、八号沢川のところに「シュマフレユーペッ」、十勝石沢のところに「アンシュオユーペッ」という地名が見られるという。そして「シュマフレユーペッ」はシュマ・フレ・ユーペッ　Shuma-hure-yupet「石が・赤い・湧別川（の支流）」、「アンシュオユーペッ」はアンジ・オ・ユーペッ　Anji-o-yupet「黒曜石・が多い・湧別川」と考えられる、という（山田　1977）。現在でも赤や茶色の黒曜石は八号沢・流紋沢川が主体であり、十勝石沢は梨肌の原石であるが、その量は膨大である。また、山田によれば、石ころなどがごろごろある状態を言うのには「オ」を使うのがアイヌ語の通例だという。現在でも十勝石沢の砂防ダムでみられる一面に黒曜石の大小の原石が敷き詰めたようにある状況と符合する。

赤石山を中心とした八号沢・流紋沢、十勝石沢、幌加・蜂の巣沢の一帯は、深い森林地帯（国有林）で、多くの黒曜石の露頭や良質の原石が採取できる地点が多数あるが、その実態は不明である。また、それらの地点と関連して遺物が散布する地点も多数あるが、その内容や時代などの把握も困難な状況である。地形・地質などの把握を含めた総合的な分布調査が必要であり、村教委でも資料収集に努めているところで、今後は次第に明らかになっていくものと考えられる。

Ⅲ　上白滝８遺跡の調査（２）

１　調査の概要

（１）調査要項

事 業 名　一般国道450号白滝丸瀬布道路工事に伴う埋蔵文化財発掘調査（平成16年度）
委 託 者　国土交通省北海道開発局網走開発建設部
受 託 者　財団法人北海道埋蔵文化財センター
遺 跡 名　上白滝８遺跡（Ⅰ－20－91）
所 在 地　紋別郡白滝村字上白滝179－1,181－2,181－3,181－4,182－2,182－３
調査面積　17,849㎡（平成７年度：6,600㎡、平成８年度：10,212㎡、平成９年度：320㎡、平成10年度：56㎡、平成12年度：661㎡）
調査期間　平成７年４月17日～平成８年３月25日（現地調査平成７年５月８日～10月25日）
平成８年４月11日～平成９年３月31日（現地調査平成８年５月８日～10月30日）
平成９年４月11日～平成10年３月31日（現地調査平成９年５月６日～10月25日）
平成10年４月10日～平成11年３月31日（現地調査平成10年５月６日～10月24日）
平成11年４月１日～平成13年３月31日（整理作業のみ）
平成12年４月３日～平成13年３月30日（現地調査平成12年５月８日～10月27日）
平成13年４月２日～平成14年３月29日（整理作業のみ）
平成14年４月１日～平成15年３月31日（整理作業のみ）
平成15年４月１日～平成16年３月31日（整理作業のみ）
平成16年４月１日～平成17年３月31日（整理作業のみ）

（２）調査体制

財団法人北海道埋蔵文化財センター　理事長　伊藤一夫（平成10年５月31日まで）
大澤　満（平成13年６月30日まで）
森重楯一（平成13年７月１日から）

専務理事　佐藤哲人（平成11年５月31日まで）
宮崎　勝（平成11年６月１日から）

常務理事　柴田忠昭（平成11年３月31日まで）
木村尚俊（平成13年７月17日まで）
畑　宏明（平成14年６月１日から）
佐藤俊和（平成16年４月１日から）

業務部長　山内　清（平成９年３月31日まで）
北條雅洋（平成10年３月31日まで）

総務部長　中田　仁（平成13年３月31日まで）
柳瀬茂樹（平成14年３月31日まで）
下村一久（平成14年４月１日から）
佐藤英一（平成16年４月１日から）

第１調査部長　畑　宏明（平成11年８月15日まで）
木村尚俊（平成13年７月17日まで）（兼務）
大沼忠春（平成14年３月31日まで）（兼務）
畑　宏明（平成14年４月１日から）

（兼務）
千葉英一（平成16年４月１日から）

平成７年度　第１調査部第３調査課課長　長沼　孝（発掘担当者）
同　文化財保護主事　宗像公司（発掘担当者）

平成８年度　第１調査部第３調査課課長　長沼　孝（発掘担当者）
同　文化財保護主事　藤井　浩（発掘担当者）
同　文化財保護主事　宗像公司（発掘担当者）
同　文化財保護主事　坂本尚史
同　文化財保護主事　鈴木宏行
同　文化財保護主事　直江康雄

平成９年度　第１調査部第３調査課課長　長沼　孝（発掘担当者）
同　主任　越田雅司（発掘担当者）
同　文化財保護主事　宗像公司（発掘担当者）
同　文化財保護主事　坂本尚史
同　文化財保護主事　鈴木宏行
同　文化財保護主事　直江康雄

平成10年度　第１調査部第３調査課課長　長沼　孝（発掘担当者）
同　主任　越田雅司（発掘担当者）
同　文化財保護主事　宗像公司（発掘担当者）
同　文化財保護主事　坂本尚史
同　文化財保護主事　鈴木宏行
同　文化財保護主事　直江康雄

平成11年度　第１調査部第３調査課課長　長沼　孝
同　主任　越田雅司
同　主任　鈴木宏行
同　文化財保護主事　坂本尚史
同　文化財保護主事　佐藤　剛
同　文化財保護主事　直江康雄
同　文化財保護主事　福井淳一

平成12年度　第１調査部第３調査課課長　長沼　孝（発掘担当者）
同　主任　越田雅司（発掘担当者）
同　主任　鈴木宏行（発掘担当者）
同　文化財保護主事　直江康雄（発掘担当者）

平成13年度　第１調査部第３調査課課長　長沼　孝
同　主任　鈴木宏行
同　文化財保護主事　直江康雄

平成14年度　第１調査部第３調査課課長　長沼　孝
同　主任　鈴木宏行
同　主任　立田　理

同　　文化財保護主事　直江康雄
平成15年度　第１調査部第３調査課課長　高橋和樹
同　　主任　鈴木宏行
同　　主任　愛場和人
同　　主任　直江康雄
平成16年度　第１調査部第３調査課課長　高橋和樹
同　　主任　鈴木宏行
同　　主任　直江康雄

（３）発掘区の設定

発掘区はアルファベットの大文字と数字の組み合わせで表示し、規格は４×４ｍとした。調査区の設定基準は、工事測点のＳＰ60900とＳＰ60960を基準点とし、その２点を通る直線を東西方向の基線とし、南北方向はＳＰ60900の基準点を通り、東西方向の基線に直交する直線とした。

ラインの設定は、南北方向をアルファベットの大文字とし、基線をＭに設定後、南側にＮ、Ｏ、Ｐ、…、北側は逆にＬ、Ｋ、Ｊ、…とした。東西方向は数字で、調査区域全域をカバーできるようにＳＰ60900を通る基線を50とし、東側に51、52、53、…、西側に49、48、47…とした。調査区域は、アルファベットラインでは、Ｆ～Ｗ、数字ラインでは０～122の範囲で、基準点の測量成果は下記のとおりである。

ＳＰ60900（M50）　　Ｘ＝－13941.075　　Ｙ＝71310.021
ＳＰ60960（M65）　　Ｘ＝－13952.438　　Ｙ＝71368.935
（平面直角座標系　第ＸⅡ系）

また、測量法の改正に伴い、平成14年４月１日にそれまでの平面直角座標系（昭和43年建設省告示第3059号）は廃止され、新たに世界測地系に基づく平面直角座標系（平成14年国土交通省告示第９号）が施行されたため、世界測地系による平面直角座標を以下に併記しておく。なお、座標の変換には国土地理院のホームページで公開されている座標変換ソフト「TKY２JGD」を使用した。

ＳＰ60900（M50）　　X＝－13677.354　　Y＝71003.486
ＳＰ60960（M65）　　X＝－13688.718　　Y＝71062.402
（平面直角座標系　第ＸⅡ系）

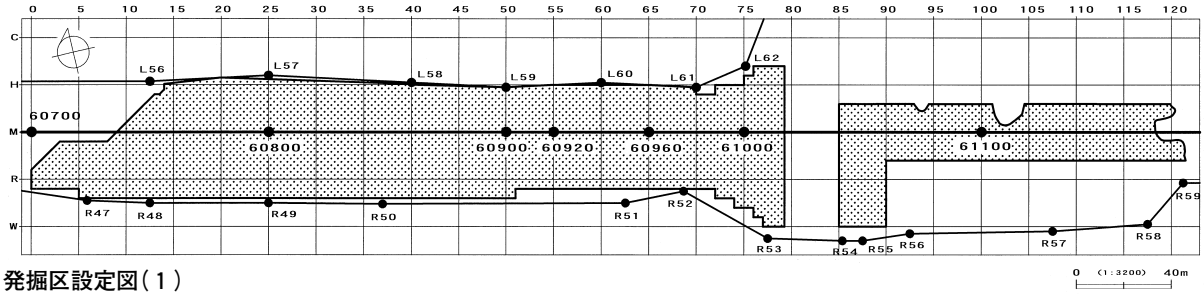
発掘区の呼称は、４ｍ四方区画の北西隅のライン交点で示した。例えば、Ｍラインと30ラインの交点の南東側がM30区ということになる。また、発掘区の方向は、公共座標の北方向に対して東側に10°55′07″傾いている。　（鈴木宏行）

（４）土層

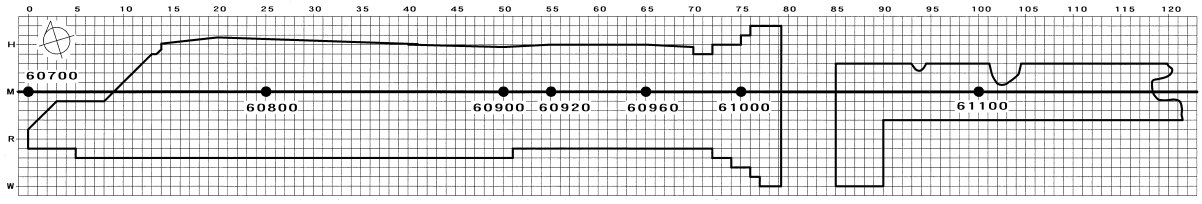
土層は、Ⅱ章で記載した基本土層を中心として、上からⅠ層（表土）、Ⅱａ層（褐色粘質土）、Ⅱｂ層（灰白色～青灰色粘質土）、Ⅱｃ層（赤褐色～灰褐色砂質土）Ⅲ層（赤褐色～褐色砂質土）の順に堆積し、部分的に34層に分層している（図Ⅲ－２）。これらは平成15年度に報告した東地区の土層を含めた分層で、２・８・10・15・25層は、前回の報告書のみで使用した土層である。遺物包含層であるⅡａ層は、遺跡内のほとんどの地点で連続的に確認された。Ⅱｃ層は、大雪御鉢平軽石（約３万年前降下）を多く含む層で、各地点で安定してみられ、特にⅢ層上面が窪んでいる地点では厚く堆積し

調査範囲　平成元年指定国史跡「白滝遺跡」(白滝第13地点遺跡)　平成10年追加指定国史跡「白滝遺跡群」

調査範囲・周辺の地形図



発掘区設定図(1)



発掘区設定図(2)

図Ⅲ－1　調査範囲・発掘区設定図

ている。Ⅲ層以下の堆積状況については、Ｔラインで重機による深掘り調査を行い、段丘礫層までの層序を記録した。以下５ライン、10ライン、15ライン、20ライン、25ライン、30ライン、35ライン、40ライン、Ｈライン、Ｍライン（東地区含む）、Ｔライン（深掘り区）の順に詳しく説明を行う。

５ライン（図Ⅲ－２・６）

北へ向かって緩やかに傾斜する地形で、Ⅱａ層はＮ・Ｏ・Ｑ・Ｓ区の一部を除いて連続的に確認される。層厚は10～40cm であった。段丘礫層を構成すると見られる腐食した礫がⅡ層中に多く見られ、それらは凍上現象による礫の浮き上がりと考えられる。Ｏ区ではⅡａ層が５層（灰褐色シルト）とⅡｂ層によって分断され、５層、Ⅱａ層、Ⅱｂ層の順に堆積が確認された。Ⅱａ層の下部は、北側のＮ区では33層（Ⅱａ層＋小礫）、それ以南ではⅡｂ層が確認されている。

10ライン（図Ⅲ－２・６）

北へ向かって緩やかに傾斜する地形で、南端部は傾斜がより平坦である。Ⅱａ層はＯ・Ｓ区の一部を除いて連続的に確認される。層厚は５～40cm であった。段丘礫層を構成すると見られる腐食した礫がⅡ層中に多く見られ（図版14－７）、それらは凍上現象による礫の浮き上がりと考えられる。Ｏ区を境にⅡａ層の下層が異なり、北側では部分的にⅡｃ層があるものの直接Ⅲ層が堆積しているが、南側ではⅡｂ層が安定して見られ、Ⅲ層へと続く。最も南側のＳ区ではⅡｂ、Ⅱｃ層が上下関係をもって確認されている。その他に、Ｏ・Ｑ区付近で３層（暗褐色砂）が見られ、北側のⅢ層の下部には17層（褐色シルト＋礫）が確認された。

15ライン（図Ⅲ－２・６・７）

北へ向かって緩やかに傾斜する地形で、Ⅱａ層はＪ～Ｍ・Ｑ区で一部分断されているもののほぼ連続的に確認される。層厚は５～35cm であった。Ｍ区を境にⅡａ層の下層が異なり、北側では部分的にⅡｃ層、全体的にⅡｂ層が安定して見られるが、南側では直接Ⅲ層へと続くところが多い。最も南側のＳ区ではⅡｂ、Ⅲ層が上下関係をもって確認されている。また、Ｍ区の一部では、Ⅱａ層を分断する形でⅡｂ層が堆積している。

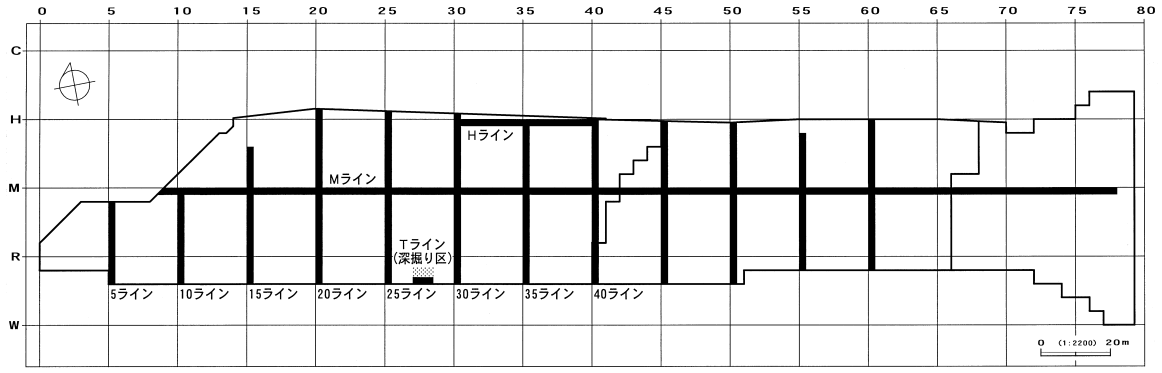
20ライン（図Ⅲ－２・７）

北へ向かって緩やかに傾斜する地形だが、Ｑ区はほぼ平坦である。Ⅱａ層はＪ～Ｋ・Ｎ・Ｏ・Ｒ・Ｓ区で一部分断されているもののほぼ連続的に確認される。特にＯ区では27層（赤褐色シルト）に断ち切られている。層厚は５～30cm であった。Ⅱａ層中にはＮ区で７層（暗灰色砂質土）が部分的に見られる。全体的にⅡａ層の下層にはⅡｃ・Ⅲ層が上下関係を持って見られ、部分的にその上部にⅡｂ層が堆積している。また、Ｎ・Ｏ区ではⅡａ層の下に29（黄褐色粘土）・16（暗灰色シルト）層が見られ、Ⅲ層へと続いている。

25ライン（図Ⅲ－３・７・８）

北へ向かって僅かに傾斜する地形である。Ⅱａ層はＭ・Ｏ・Ｐ区で一部分断されているもののほぼ連続的に確認される。層厚は10～45cm であった。Ⅱａ層中にはＱ区で５層（灰褐色シルト）が部分的に、Ｏ区では26層（暗灰色粘土）が1.5m に渡って見られる。Ｍ区を境にⅡａ層の下層が異なり、北側ではⅡｃ層、南側ではⅡｂ層が安定して見られⅢ層へと続く。また、Ⅱｂ層はⅢ層上面から下方に伸びるクラックに落ち込み、充填している。南側のＭ・Ｏ・Ｓ区ではⅡａ層とⅡｂ層の間に29（黄褐色粘土）・６（暗褐色シルト）・７（暗灰色砂質土）層が部分的観察された。さらにＭ区の北部では、Ⅱｂ層に類似した34層（橙～黄褐色粘土）がⅡｂ層の下層に堆積し、Ⅱｂ層同様Ⅲ層上面から下方に伸びるクラックに落ち込んでいる。

30ライン（図Ⅲ－３・８・９）



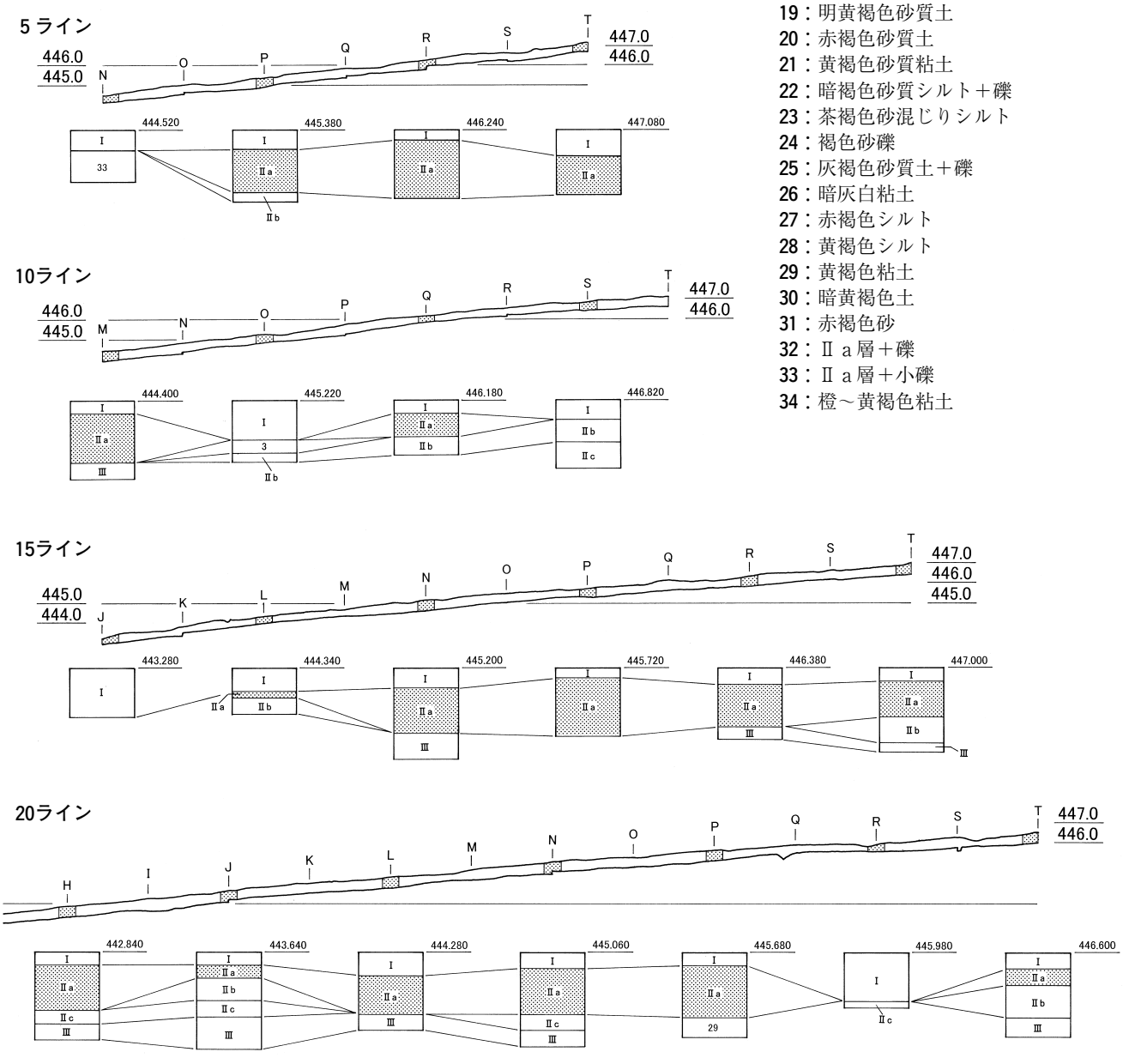
基本土層

Ⅰ　：表土・耕作土
Ⅱａ：褐色粘質土
Ⅱｂ：灰白色～青灰色粘質土
Ⅱｃ：赤褐色～灰褐色砂質土
　　（Sit 1 を含む）
Ⅲ　：赤褐色～褐色砂質土

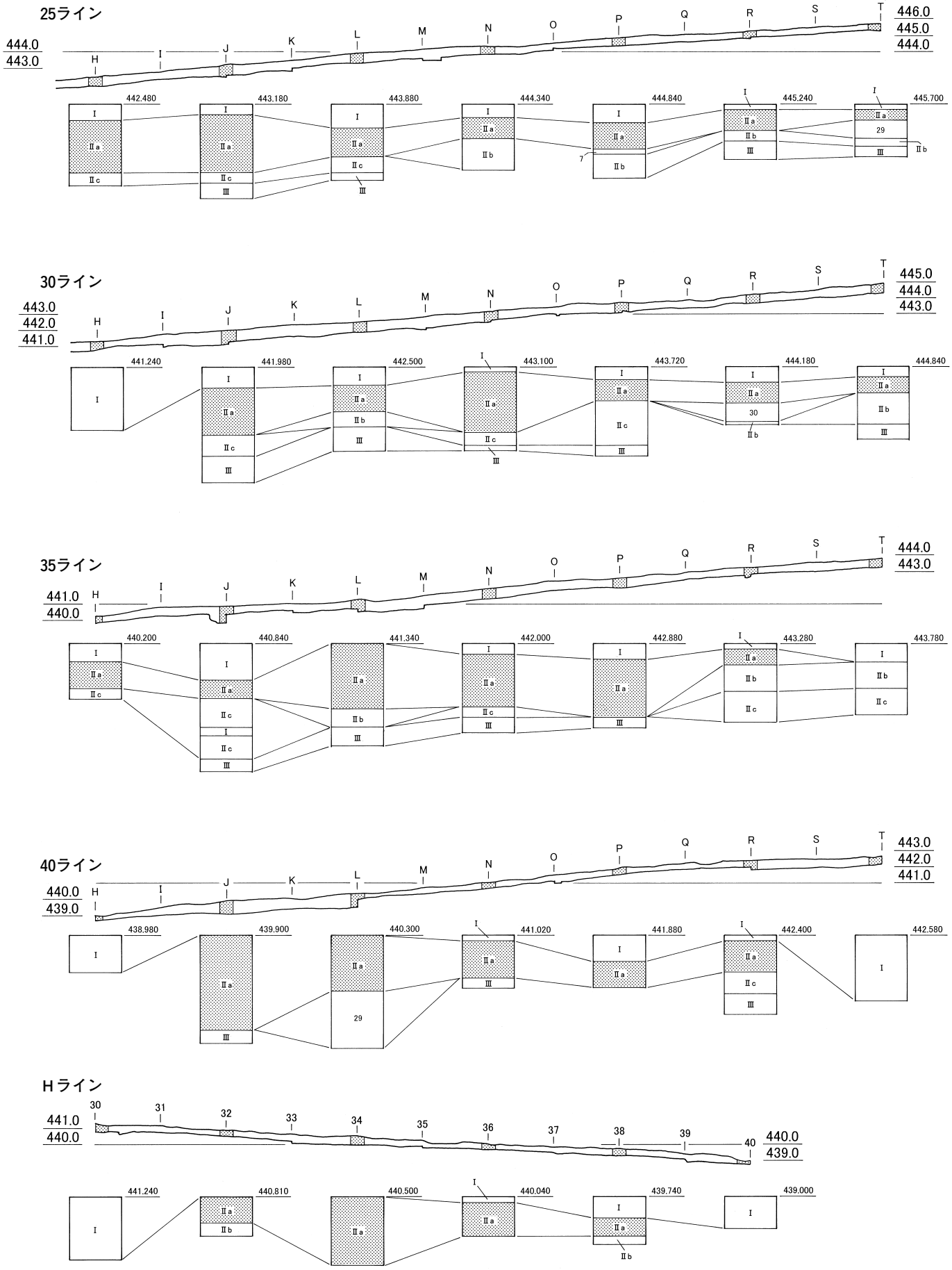
1：表土～Ⅲ層混在土
2：Ⅱａ～Ⅱｂの漸移層
3：暗褐色砂
4：Cb－21
5：灰褐色シルト
6：暗褐色シルト

7：暗灰色砂質土
8：灰褐色粘土
9：赤褐色粘土
10：明黄褐色砂
11：暗茶褐色粘土
12：暗黄褐色シルト

13：暗褐色砂礫
14：灰白色粘土
15：褐色砂質土
16：暗灰色シルト
17：褐色シルト＋礫
18：明灰褐色砂質土
19：明黄褐色砂質土
20：赤褐色砂質土
21：黄褐色砂質粘土
22：暗褐色砂質シルト＋礫
23：茶褐色砂混じりシルト
24：褐色砂礫
25：灰褐色砂質土＋礫
26：暗灰白粘土
27：赤褐色シルト
28：黄褐色シルト
29：黄褐色粘土
30：暗黄褐色土
31：赤褐色砂
32：Ⅱａ層＋礫
33：Ⅱａ層＋小礫
34：橙～黄褐色粘土

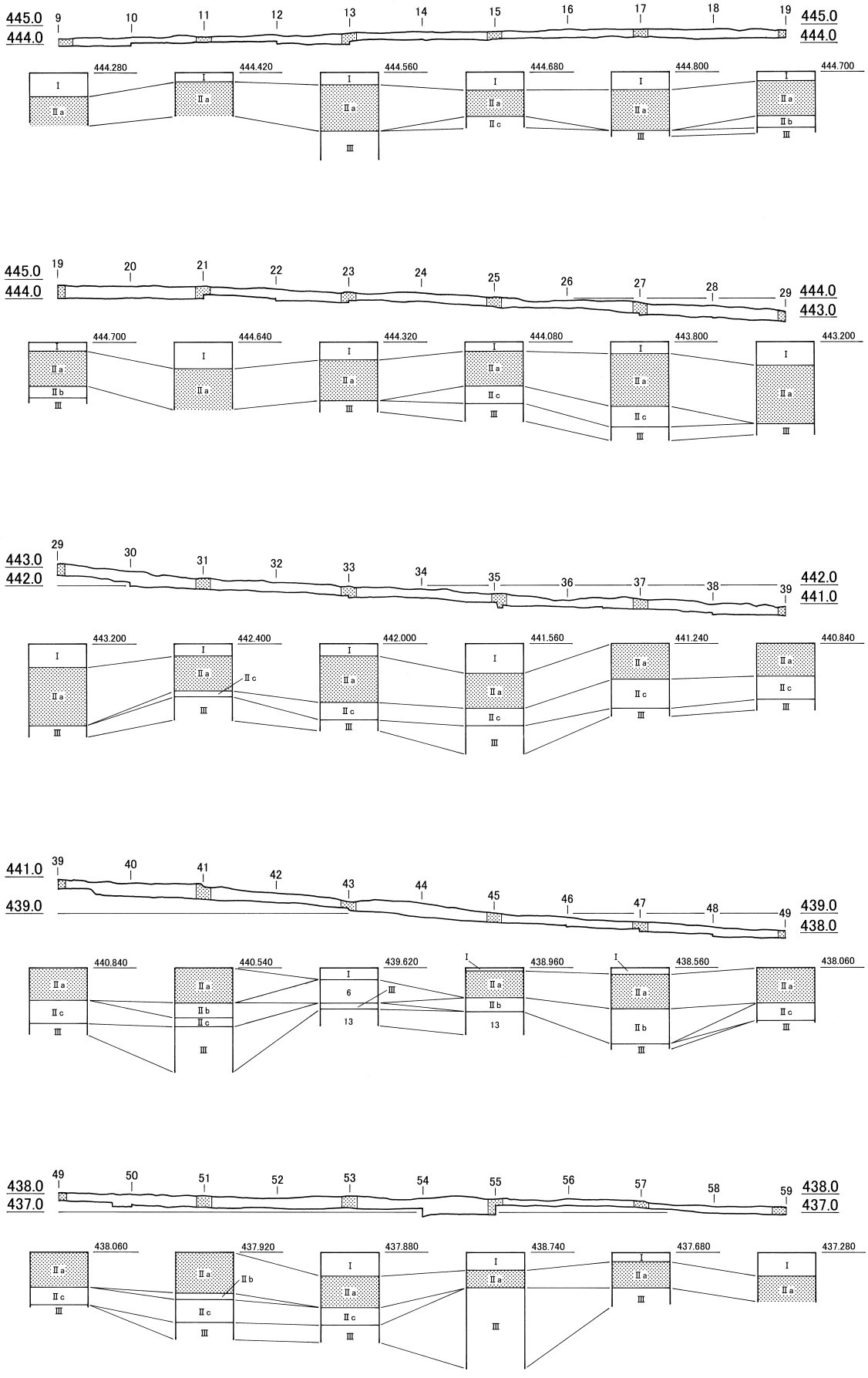


図Ⅲ－2　土層概略図(1)


25ライン
444.0
443.0
H
I
J
K
L
M
N
O
P
Q
R
S
T
446.0
445.0
444.0
442.480
443.180
443.880
444.340
444.840
445.240
445.700
30ライン
443.0
442.0
441.0
445.0
444.0
443.0
441.240
441.980
442.500
443.100
443.720
444.180
444.840
35ライン
441.0
440.0
444.0
443.0
440.200
440.840
441.340
442.000
442.880
443.280
443.780
40ライン
440.0
439.0
443.0
442.0
441.0
438.980
439.900
440.300
441.020
441.880
442.400
442.580
Hライン
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
441.0
440.0
440.0
439.0
441.240
440.810
440.500
440.040
439.740
439.000

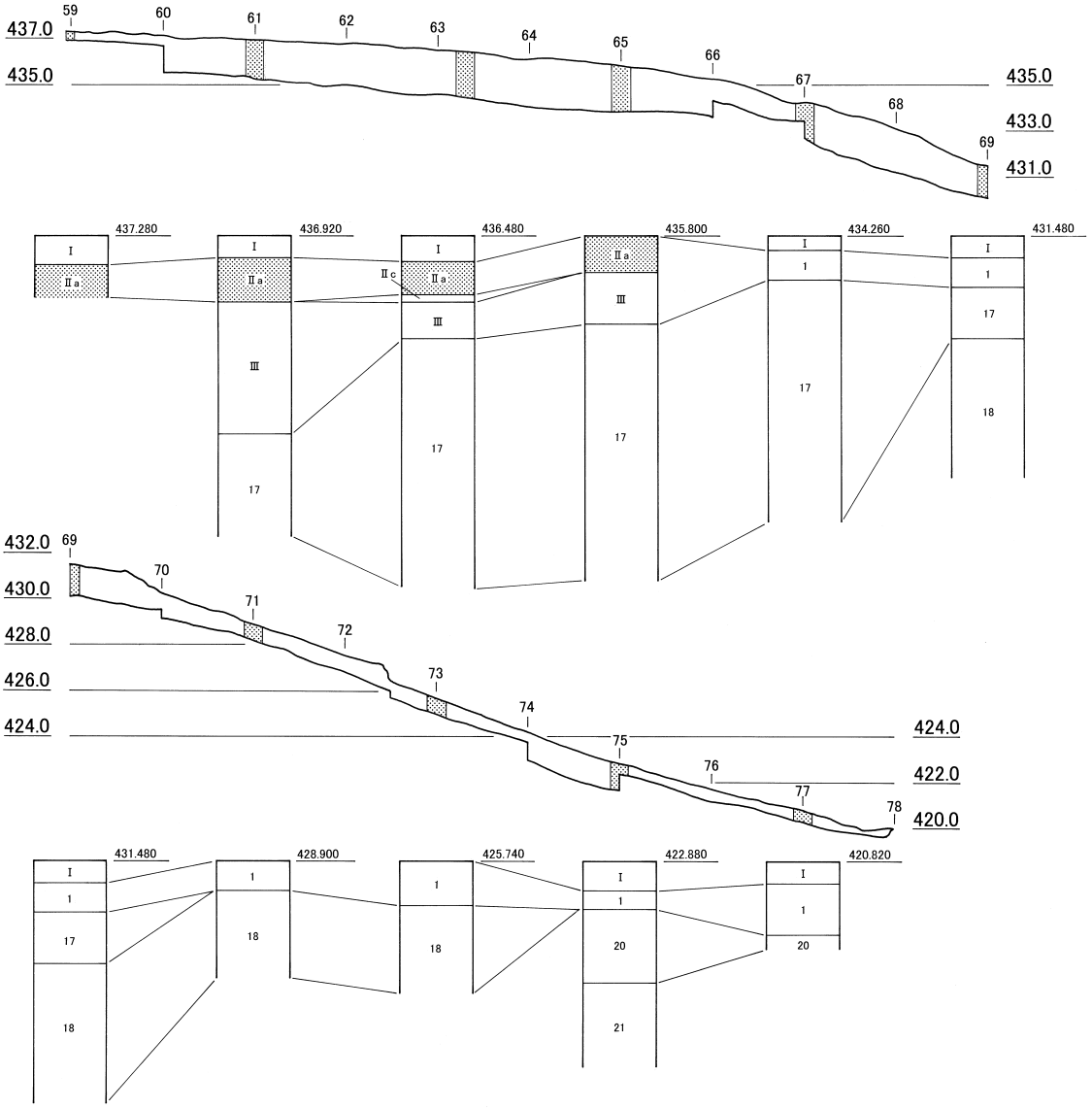
図Ⅲ－３　土層概略図(2)

Mライン

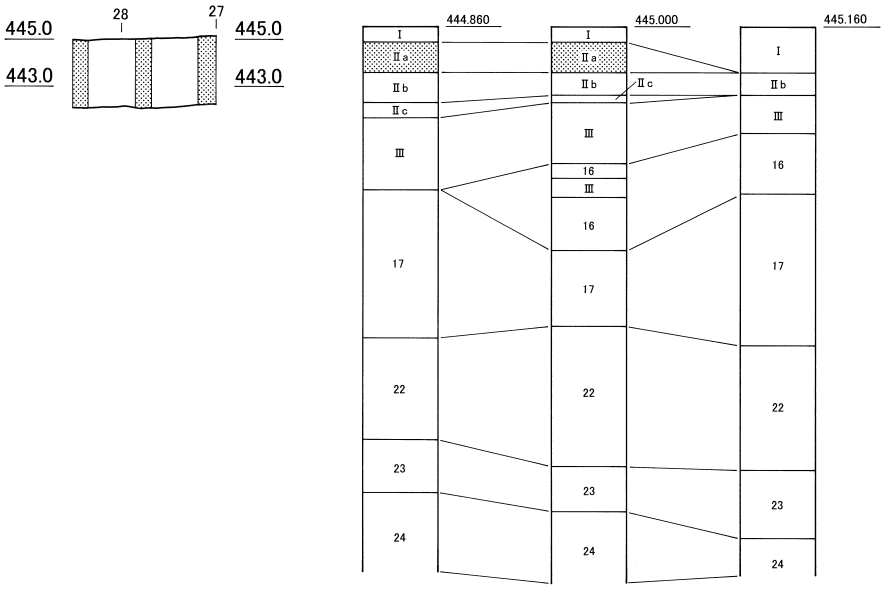


図Ⅲ－4　土層概略図(3)

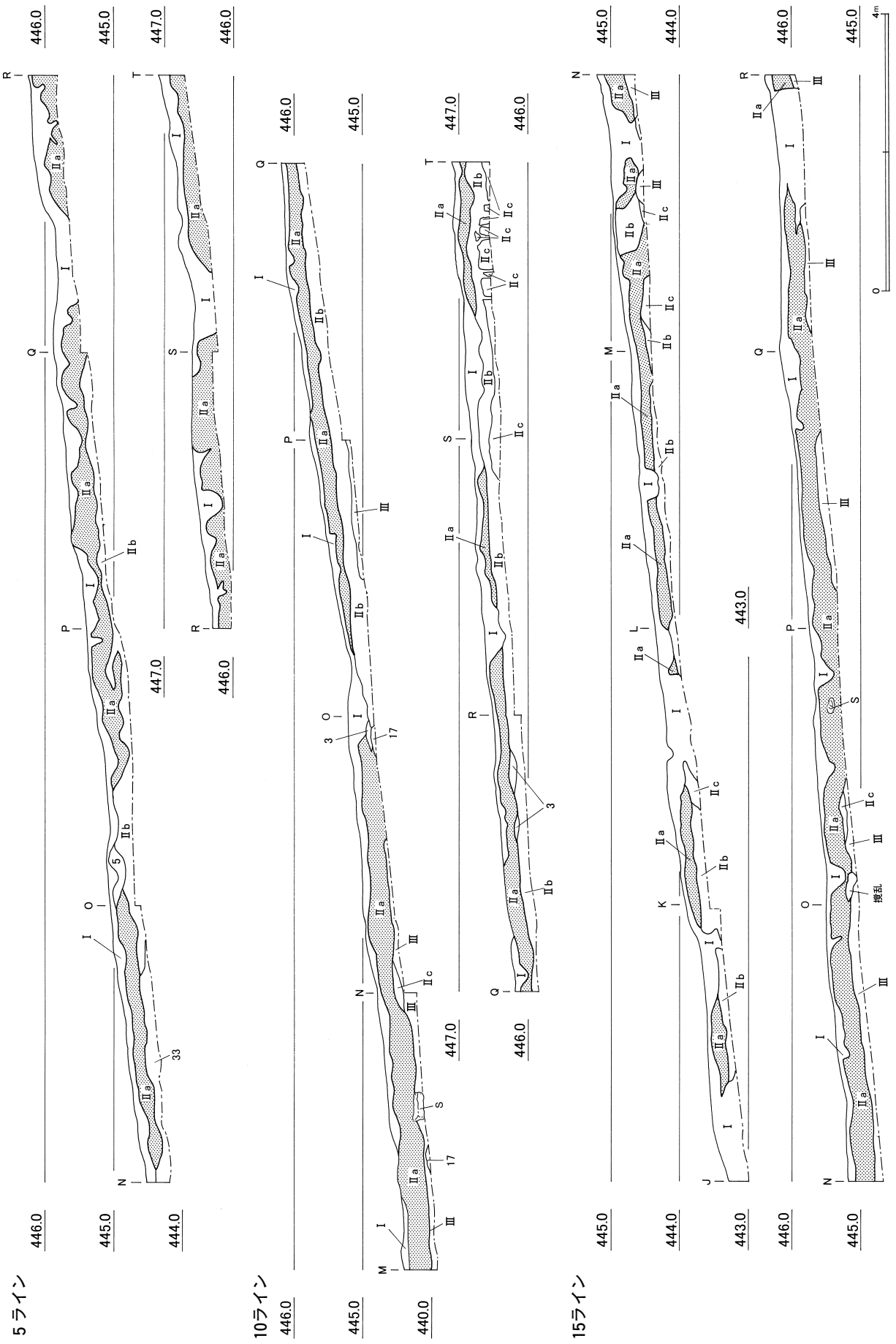
Mライン



Tライン（深掘り区）

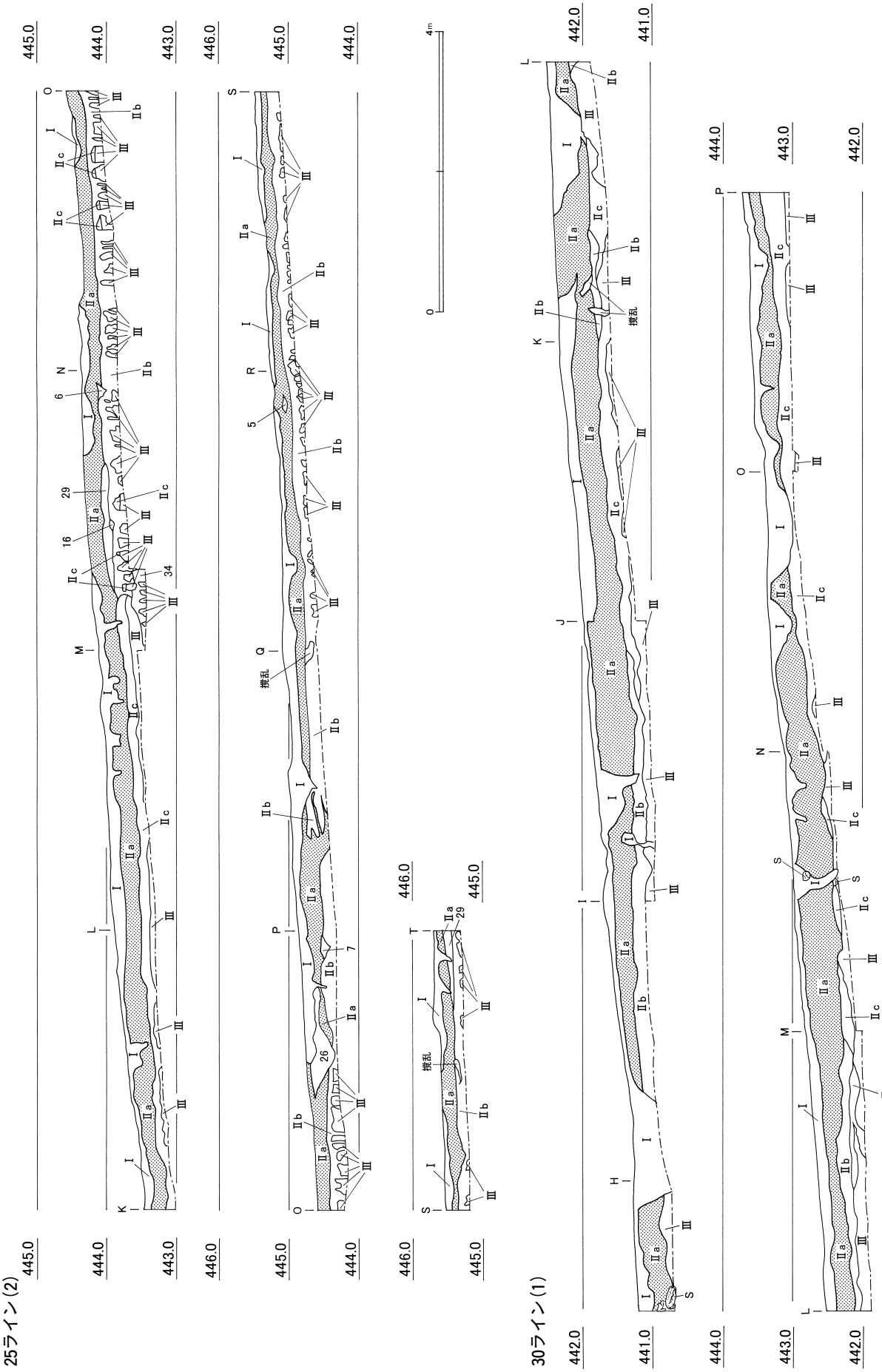


図Ⅲ－５　土層概略図(4)

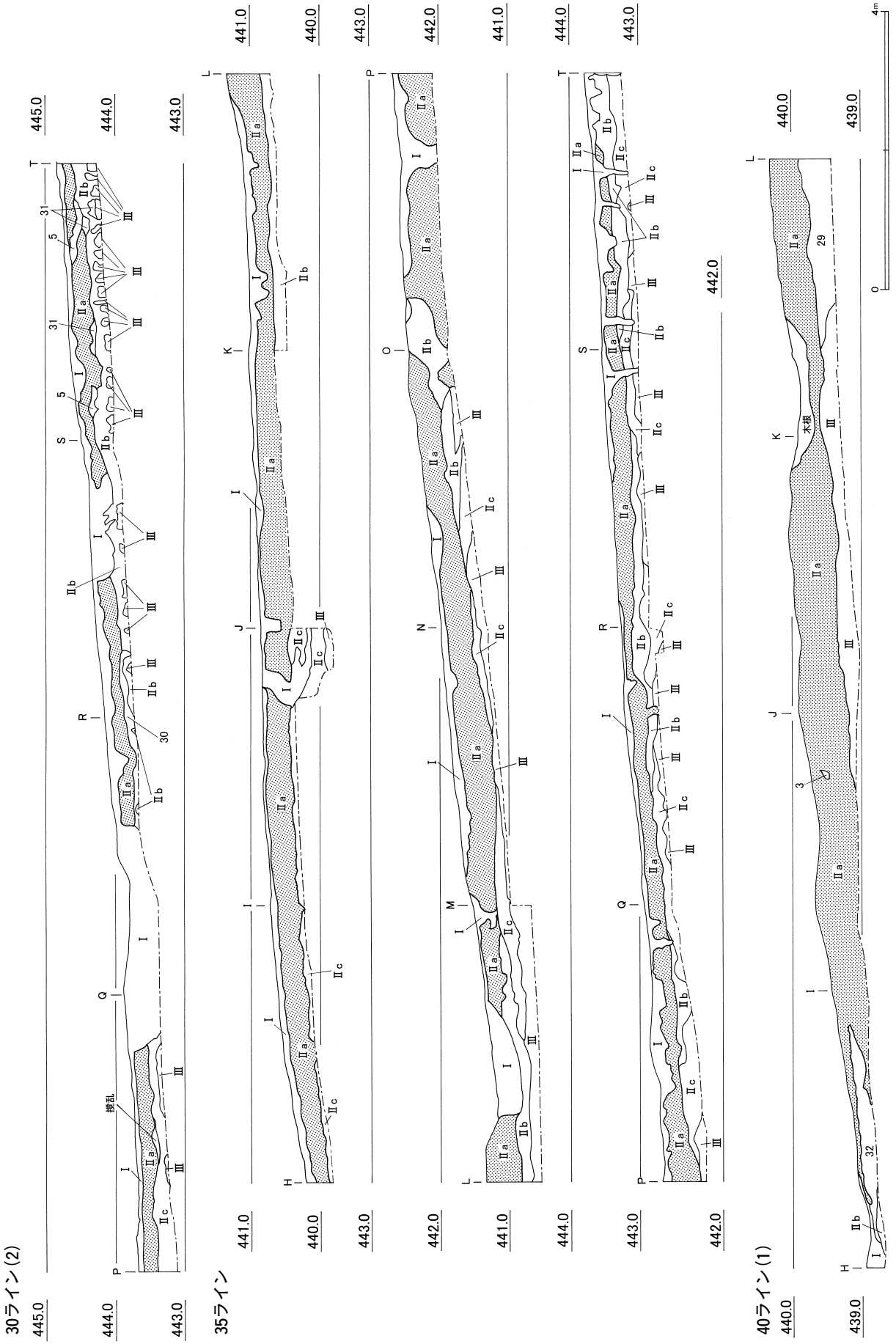


図Ⅲ－6　土層断面図(1)

図Ⅲ－７　土層断面図(2)

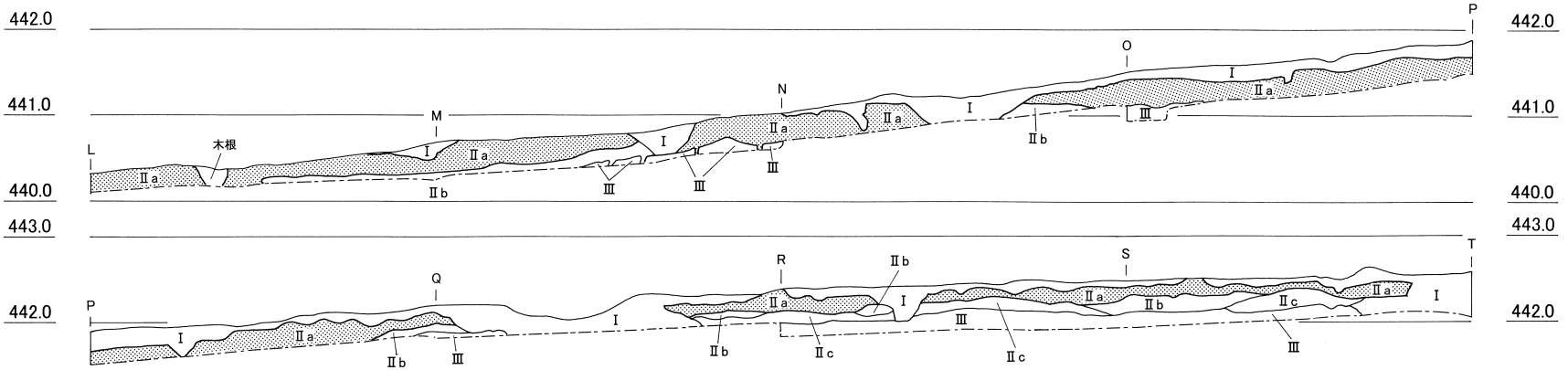


図Ⅲ－8　土層断面図(3)

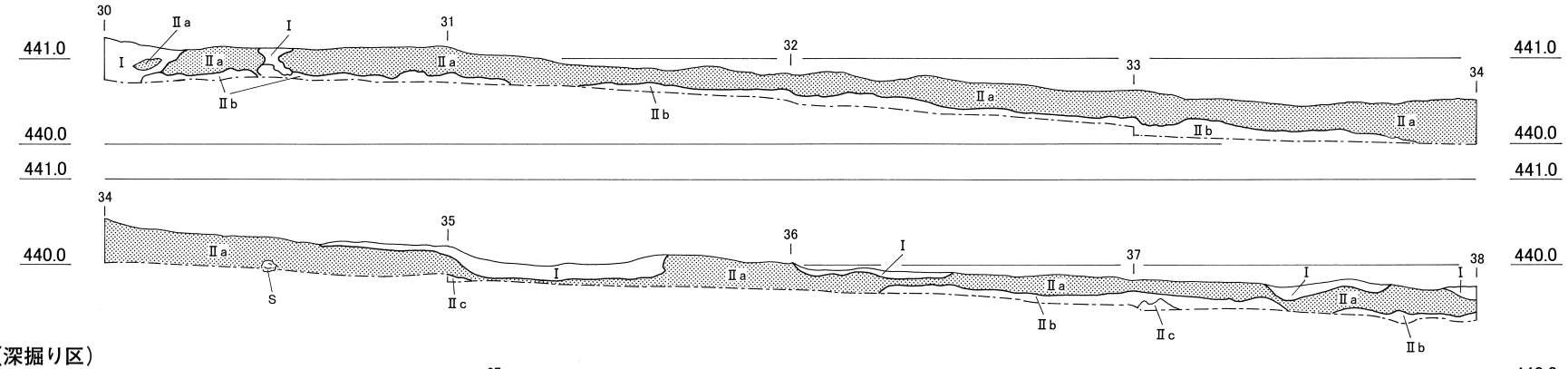


図Ⅲ－９　土層断面図(4)

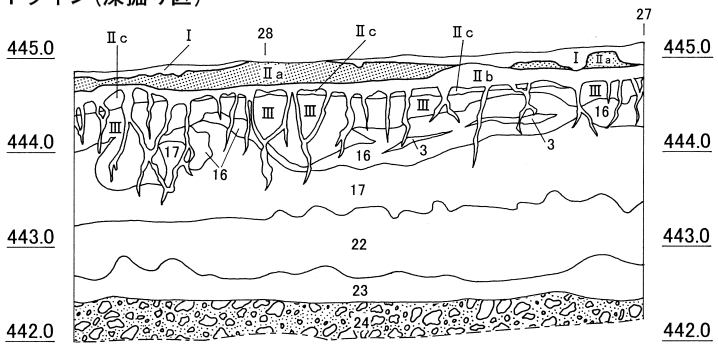
40ライン(2)

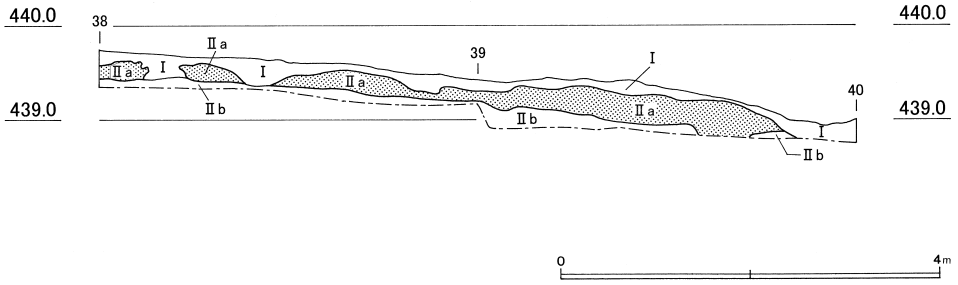


Hライン

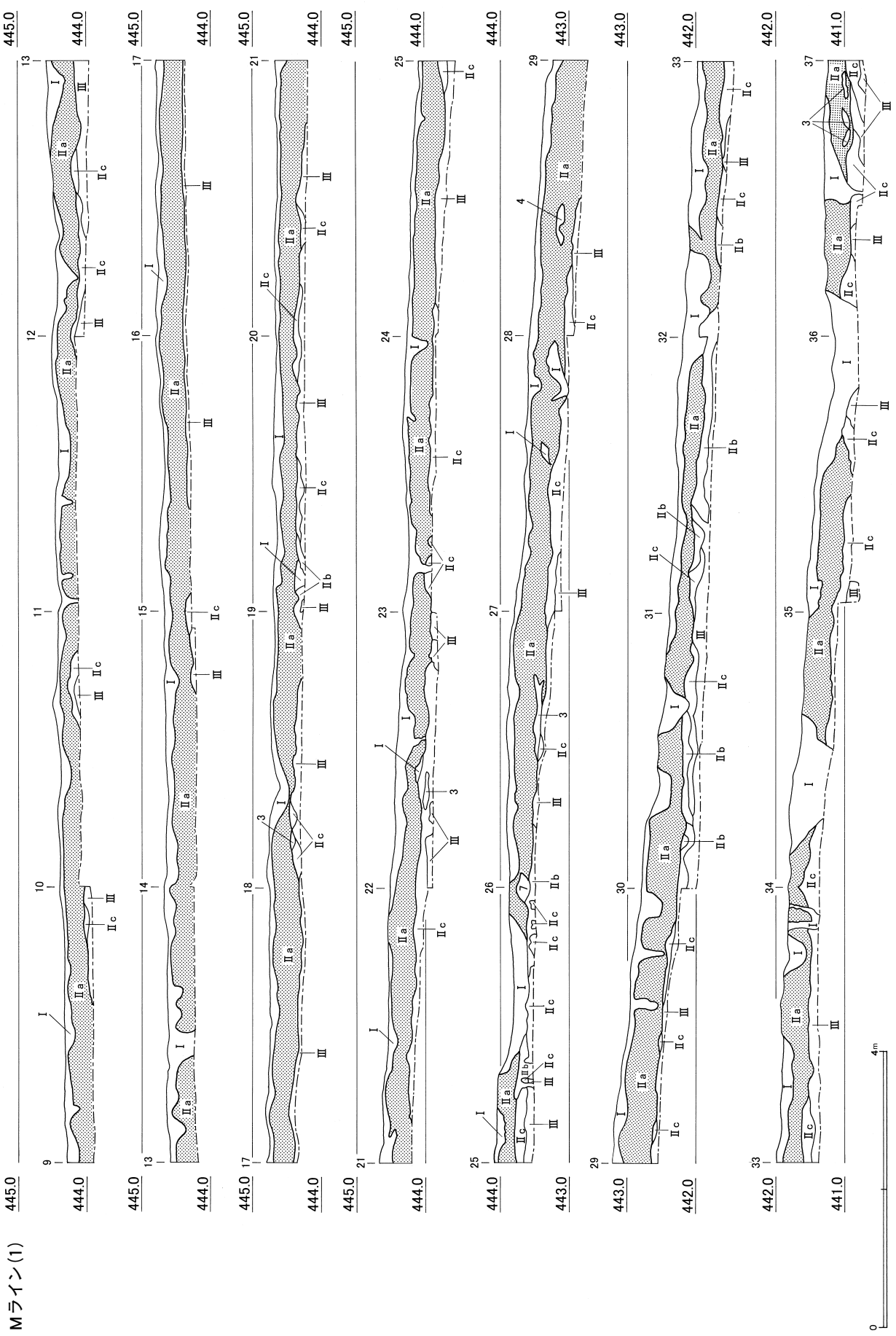


Tライン(深掘り区)

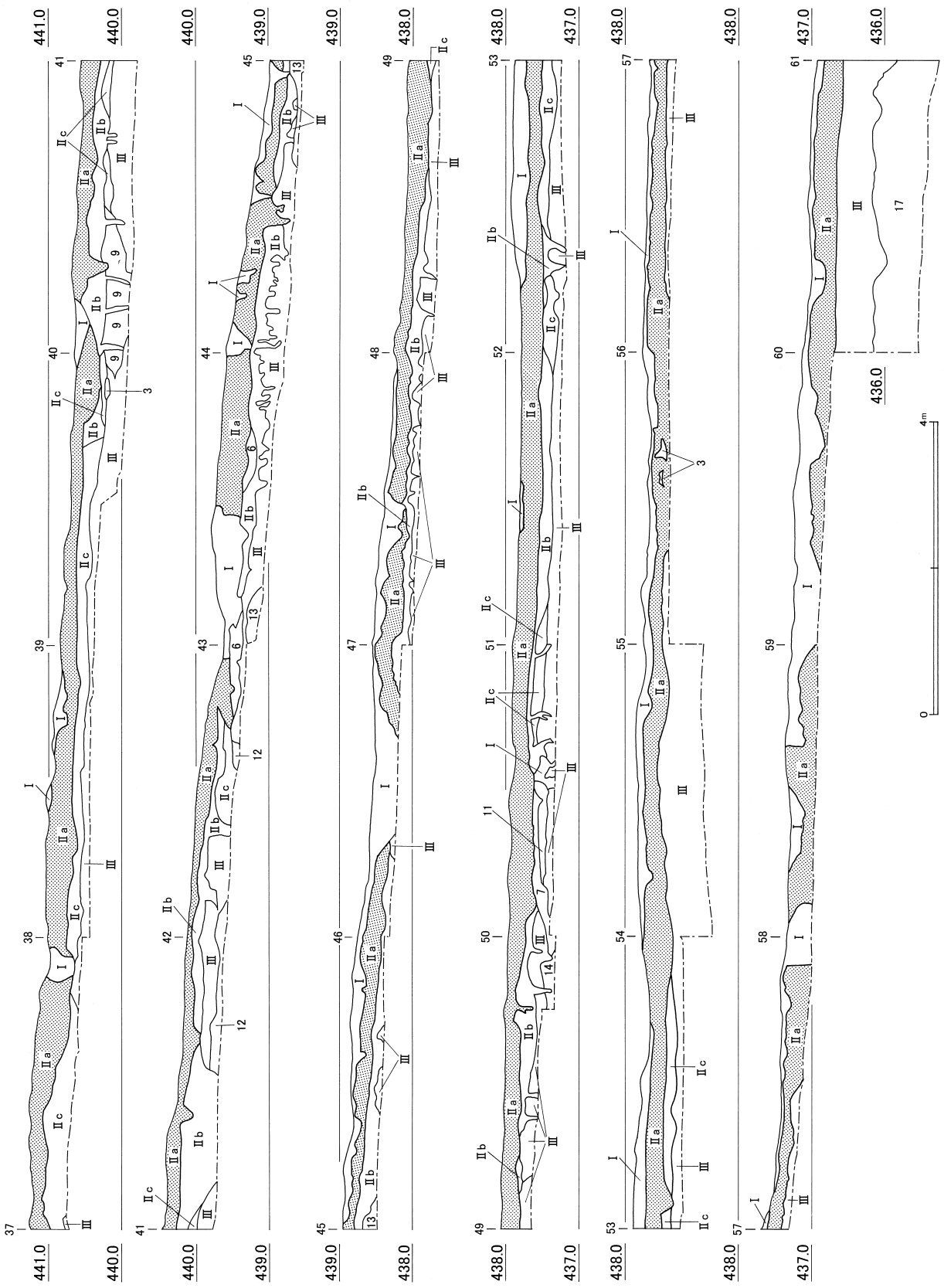




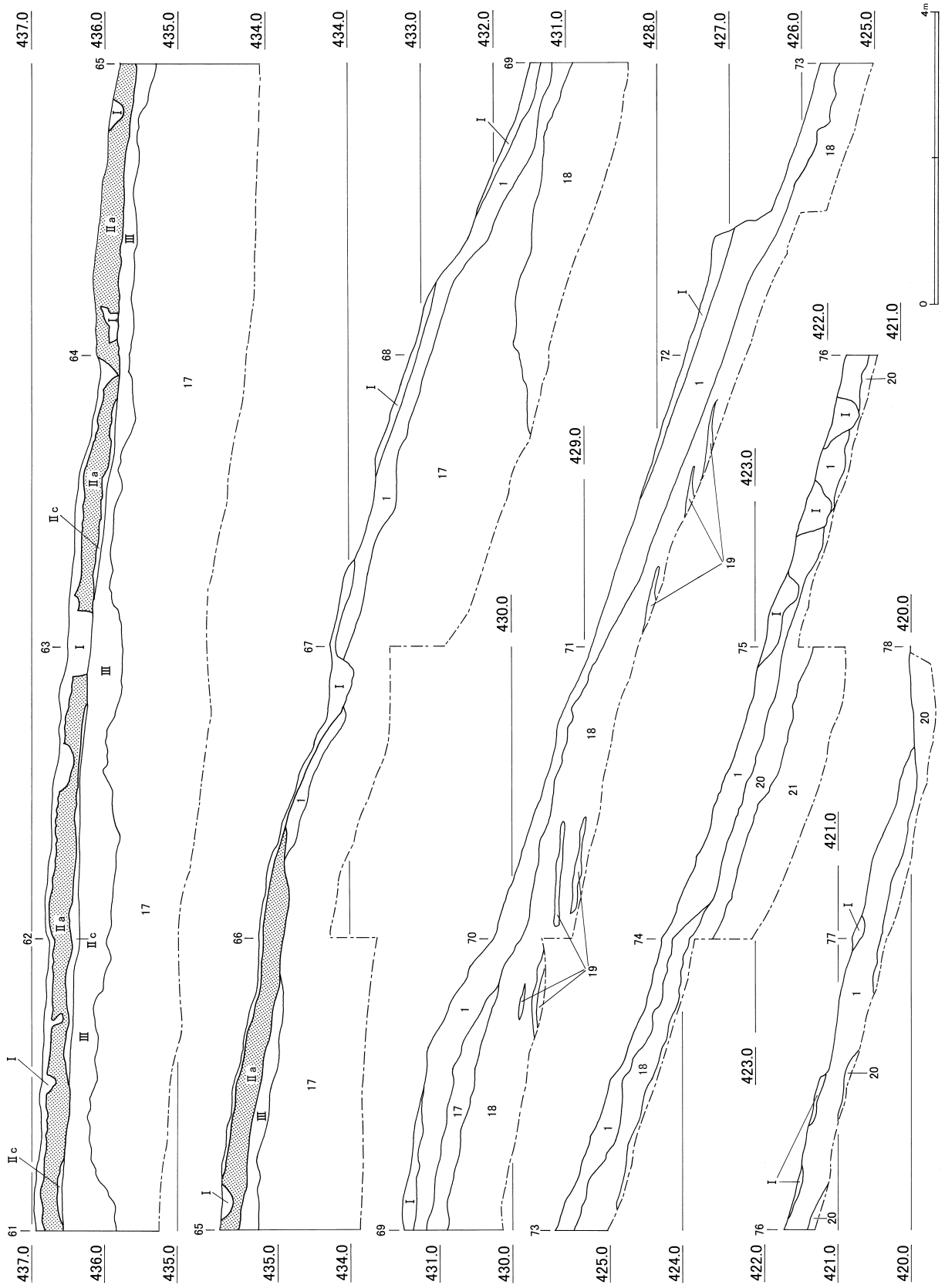
図Ⅲ－10　土層断面図(5)



図Ⅲ－11　土層断面図(6)



図Ⅲ－12　土層断面図(7)


Mライン(3)
437.0
436.0
435.0
434.0
433.0
432.0
431.0
430.0
429.0
428.0
427.0
426.0
425.0
424.0
423.0
422.0
421.0
420.0
Ⅰ
Ⅱc
Ⅱa
Ⅲ
17
18
19
20
21
4m
0

図Ⅲ－13　土層断面図(8)

北へ向かって緩やかに傾斜する地形である。Ⅱａ層はＨ・Ｉ・Ｋ・Ｍ・Ｎ・Ｑ～Ｓ区で一部分断されているもののほぼ連続的に確認される。特にＱ区では撹乱により３ｍ程Ⅱａ層が消滅している。層厚は５～50cmで、Ｉ・Ｍ区で厚く堆積している。Ⅱａ層の下層にはＨ・Ｉ・Ｌ・Ｑ～Ｓ区ではⅡｂ層、Ｊ～Ｋ・Ｍ～Ｐ区ではⅡｃ層が交互に見られ、それぞれⅢ層に続いている。Ｒ・Ｓ区ではⅡｂ層はⅢ層上面から下方に伸びるクラックに落ち込み、充填している。平面的に見ると径20～30cm程の多角形が多数繋がり合っているのが観察され（図版14－５）、これらは低温乾燥気候による地割れと考えられる。また、Ｒ区ではⅡａ層の下に30層（暗黄褐色土）、Ｓ区ではⅡａ層中及び下に５層（灰褐色シルト）、Ⅱａ層の下とⅡｂ層の下に31層（赤褐色砂）が部分的に見られる。

35ライン（図Ⅲ－３・９）

北へ向かって緩やかに傾斜する地形である。Ⅱａ層はＩ・Ｌ・Ｏ・Ｐ・Ｒ・Ｓ区で一部分断されているもののほぼ連続的に確認される。層厚は10～55cmで、Ｏ区で厚く堆積している。Ⅱａ層の下層にはＨ～Ｊ区までがⅡｃ層、Ｋ区以南はⅡｂ層とⅡｃ層が連続的に堆積しているところが多く、Ⅲ層に続いている。Ｉ区のⅡｃ層は厚く、テストピット部分では50cm程見られた。

40ライン（図Ⅲ－３・９・10）

北へ向かって緩やかに傾斜する地形で、特にＱ～Ｓ区はほぼ平坦である。Ⅱａ層はＨ・Ｎ・Ｑ～Ｓ区で一部分断されているもののほぼ連続的に確認される。層厚は５～65cmで、Ｉ・Ｊ区で厚く堆積している。Ⅱａ層中にはＩ区で３層（暗褐色砂）が僅かに、Ｈ区では32層（Ⅱａ層＋礫）が３ｍに渡って見られる。Ⅱａ層の下層には基本的にⅡｂ層が確認されているが、Ｊ区ではⅢ層、Ｋ区では29層（黄褐色粘土）が見られる。また、Ｒ区以南ではⅡｃ層がⅡｂ層及びⅢ層と上下関係を持って確認される。

Ｈライン（図Ⅲ－３・10）

遺跡中央部にあたる30～39区までを図示する。40～45区にかけて沢地形の底部があり、東へ向かって緩やかに傾斜する地形となっている。Ⅱａ層は30・38・39区で一部分断されているもののほぼ連続的に確認される。層厚は10～50cmである。Ⅱａ層の下層には基本的にⅡｂ層が確認されており、37区では部分的にⅡｃ層がその下層に見られる。

Ｍライン（東地区を含む高位部と斜面部）（図Ⅲ－４・５・11～13）

上白滝８遺跡の立地する段丘面全体を東西方向に切った土層断面である。地形は大きく東西に二つの平坦面があり、標高の高い西側からゆるやかな傾斜を経て東側につながり斜面へと続いている。西側の平坦面は９区から21区で、東側の平坦面は49区から59区である。65区を過ぎると傾斜がきつく斜面部となる。

Ⅱａ層は途中、木根などにより部分的に分断されているが、基本的には高位部の全ての地点で連続的に確認され、層厚は５～45cmである。66区の中央より東側は急傾斜で斜面堆積となり、Ⅱａ層の代わりに１層（表土からⅢ層までの混在土）がみられる。Ⅱａ層中には36・55区に３層（暗褐色砂）が部分的にみられる。Ⅱａ層の下は全体的な傾向としてⅡｃ層が安定して確認され、Ⅱｂ層は40～51区で連続的に堆積している。また、西側に傾斜し始める15～17区、東側斜面部に接する64・65区ではⅡａ層の直下にⅢ層がみられる。

Ⅱｂ層がみられる40～51区では部分的であるがⅡａとⅡｂ層間に６層（暗褐色シルト）、Ⅱｂ～Ⅱｃ層の間に９層（赤褐色粘土）、Ⅲ層の上部に７層（暗灰色砂質土）・11層（暗茶褐色粘土）、Ⅲ層の下部に12層（暗黄褐色シルト）・13層（暗茶褐色砂礫）・14層（灰白色粘土）が堆積している。この地区は浅い沢地形となっているため、他の地区と異なる堆積状況である。13層は沢の礫層とみられ、段

丘礫層の構成礫より風化がなく、径５cm 強の円摩度の高い礫が主体を占めている。

Ⅲ層の下部は17層（褐色シルト＋礫）が確認され、斜面部では17層に続いて18層（明灰褐色砂質土）・20層（赤褐色砂質土）・21層（黄褐色砂質粘土）が安定的にみられる。なお18層は火砕流堆積物である白滝層に対比される。

Ｔライン（深掘り区）（図Ⅲ－５・10）

Ⅱａ層はほとんどの地点で確認され、層厚は５～20cm であった。Ⅱａ層の下にはⅡｂ層が安定して堆積し、Ⅲ層上面から伸びる深さ１m 弱のクラックにⅡｂ層が落ち込んでいる。Ⅱｂ層の下にはⅡｃ層・Ⅲ層が続き、Ⅲ層の下部は波状になっている。さらに16（暗灰色シルト）・17（褐色シルト＋礫）・22（暗褐色砂質シルト＋礫）・23（茶褐色砂混じりシルト）層がみられ、上白滝面の段丘礫層である24層に到達する。17・22層はマトリックスの多い礫層で、どちらも斜面堆積物とみられる。23層は砂とシルトの互層で、段丘面が離水する直前の水成堆積層と思われる。　（直江康雄）

（５）調査の方法

調査区全域は山林であったが、試掘調査時点にすでに立木の伐採は終了していた。したがって、調査は重機による笹根の除去や伐根からスタートした。ただし、笹根に混じって遺物が確認されたところでは除去を最小限にした。また、重機で除去した笹根混じりの表土についても可能な限り遺物採取を行った。

平成７年度は、まず道路東側の低位面について調査を行い、次に遺跡主体部の高位面の調査へ移行した。重機によって除去した表土や人力によって調査した排土などは用地の外に搬出することができなかったので、用地内での移動で調査を展開した。平成７年度においては西側に次年度以降の調査区域の空間があったので、そこを表土・排土の堆積場所とした。また、道路に接した斜面部は通常人力による調査が不可能であったので、重機によって発掘区単位で土壌を掘り上げ、その後人力による遺物採取という調査方法を採用した。そして調査終了後は排土場所として利用した。また、遺物包含層が全く無く、遺物も出土しなかった低位部の大部分については重機による表土除去と土層確認トレンチの掘開で調査を終了した。

平成８年度の調査区は東西260m という細長い形状であったので、同時の全面展開は困難であった。平成７年度の調査区に隣接する東側については、調査完了区域に表土・排土を堆積することができたが、西側については大きく南北に分け、さらにそれらをいくつかのブロックに分け、表土と排土の移動を行い、排土の運搬距離をできるだけ短くするように配慮しながら調査を進めた。

調査は基本的に、分割された区域ごとに、重機による表土除去、杭打ち、25％調査、包含層調査の順で進めた。排土と表土に関しては調査終了区域の拡大とともに移動を重ね、できるだけ調査区域の近くに排土場所を確保しながら調査を展開した。

平成９年度の調査区は遺跡の西端で、平成８年度に調査を終了することができなかった区域である。

平成10年の調査は、沢に面した道路法面の掘削区域の拡大に伴うもので、僅かな面積の調査であった。

調査区域の範囲は、平成７年度時点では用地内全域であったが、平成８年度以降は詳細設計が決まったことを受け、工事がおよぶ範囲をカバーする形で、発掘区の区切りが良い範囲とした。

平成12年度の防雪柵建設に伴う調査区は用地境界の北端幅３m で、平成８年度の本線部分調査区との間に残地ができることとなったが、遺物が連続的に出土していることや工事による包含層への影響を考え、委託者と道教委の同意を得て残地部分についても記録保存の措置をとった。

遺物の取り上げは、他の遺跡と同様に、Ⅰ層（表土および耕作土）については発掘区単位で一括し

て取り上げ、遺物包含層であるⅡ層については、出土位置を可能な限り計測した。しかし、Ⅱ層の遺物でも指先より小さい剥片類については、発掘区単位で一括して取り上げた。出土位置の記録はトータル・ステーションを使用し、さらに遺構・遺物データシステム（㈱シン技術コンサル）にデータを蓄積すると同時に毎日遺物一覧表とドットマップ（分布図）を作成し、データのチェックと遺物の分布状況を把握しながら調査を進めた。調査終了時の各年度のデータ数は、平成７年度53,144件、平成８年度149,370件、平成９年度2,730件、平成10年度837件、平成12年度9,702件、合計215,783件である。

炭化木片ブロックについては、平成７～10年度調査（Cb－１～24）では炭化木片が含まれる土壌を面的に採取し、平成12年度調査（Cb－25～28）では肉眼で確認できる炭化木片を点で回収し、両者ともフローテーションを行った。

また、遺跡の地形環境や化石周氷河作用、テフラなどが明瞭な状況で観察できる土層については、剥ぎ取りを行い、保存した。（鈴木宏行）

（６）整理の方法

遺物の水洗作業は、基本的に現地で行った。その後、札幌の整理作業所に運び、注記などの整理作業を開始した。

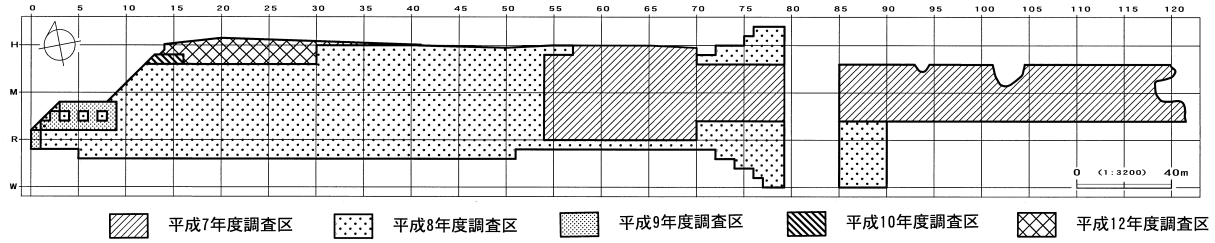
遺物の整理作業は、他の遺跡と同様に点取り遺物と一括遺物に分けて進めた。点取り遺物は注記後に、器種分類、重量計測、石質、残存状況、打点・自然面・被熱の有無など一次の属性観察を行い、次に接合・実測などの二次整理作業を進めた。遺物の注記は、道教委の登載番号、発掘区、遺物番号の順としたので、上白滝８遺跡、Ｐ28区出土、遺物番号123の石器の場合は「91Ｐ28・123」となる。なお、平成７年度は遺跡名を白滝第13地点遺跡と認識していたため、登載番号の注記が１となっている。また、一括遺物は、定形的なものや点取り遺物と接合したものを抽出し、台帳を作成した。したがって、その注記は、点取り遺物と区別するため、発掘区と台帳の整理番号の間に層位を記入した。例えば、Ｋ32区、Ⅰ層出土、台帳番号５の石器は、「91Ｋ32・Ⅰ・５」となる。

水洗後に精査し、地山に含まれている自然礫や黒曜石の原石を除いた結果、今回報告対象である西地区の点取り遺物は最終的に126,475点（「白滝Ⅰ群」：1,939点、「白滝Ⅰ群」以外：124,536点）となり、遺跡全体では215,783点（「白滝Ⅰ群」：9,029点、「白滝Ⅰ群」以外：206,754点）となった（表Ⅲ－１・２）。

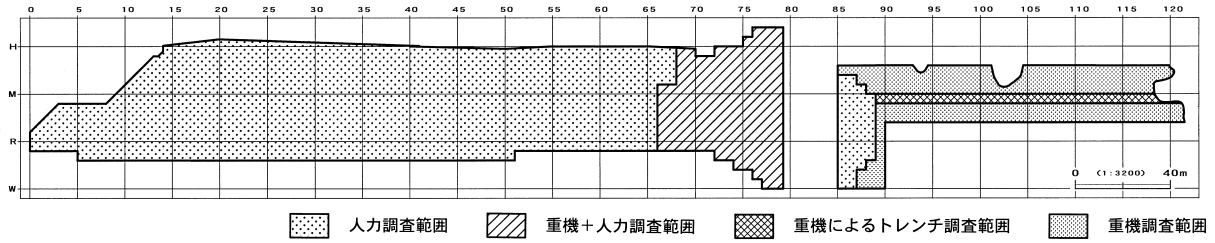
遺物の接合作業は、石質、発掘区、石器ブロック、石器群そして全体の順で進めた。上白滝８遺跡では、現場や整理作業の初期の段階から「白滝Ⅰ群」[1)]が明確に分離できる状況であったので、他の石器群とは独立した形で整理作業を進めた。したがって、接合番号は「白滝Ⅰ群」とそれ以外の二つの石器群に分けて、1000単位でずらして番号を付した。また、東地区の後に西地区の遺物に番号を与えたが、「白滝Ⅰ群」以外の折れ面接合番号についてのみ、東地区とずらして56501から番号を付けた。

最終的に西地区は、折れ面接合8,376例（「白滝Ⅰ群」213例：50770～50991・欠番９、「白滝Ⅰ群」以外8,163例：54241・56501～64686・欠番18・東地区６）、剥離面接合3,274例（「白滝Ⅰ群」112例：353～470・欠番６、「白滝Ⅰ群」以外3,162例：1658・2792～5969・欠番11・東地区６）となり、遺跡全体では折れ面接合13,743例（「白滝Ⅰ群」967例：50001～50991・欠番24、「白滝Ⅰ群」以外12,776例：51001～55631・56501～64686・欠番41）、剥離面接合5,405例（「白滝Ⅰ群」463例：１～470・欠番７、「白滝Ⅰ群」以外4,942例：1001～5969・欠番27）となった。

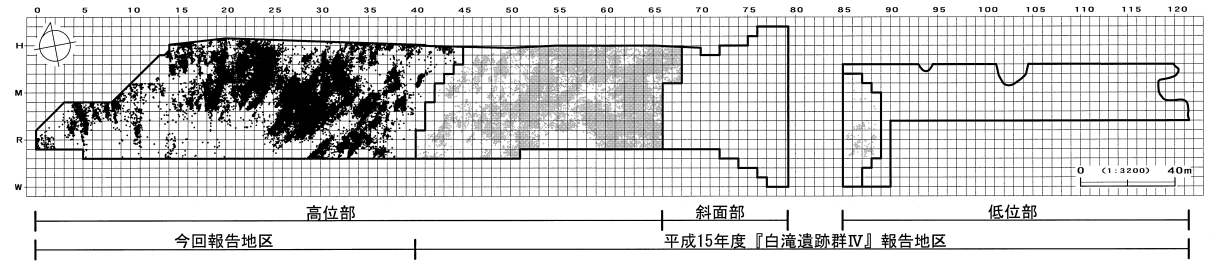
接合作業は石質の類似したものを集めて行ったが、その作業中で同一母岩と認識できる接合資料・



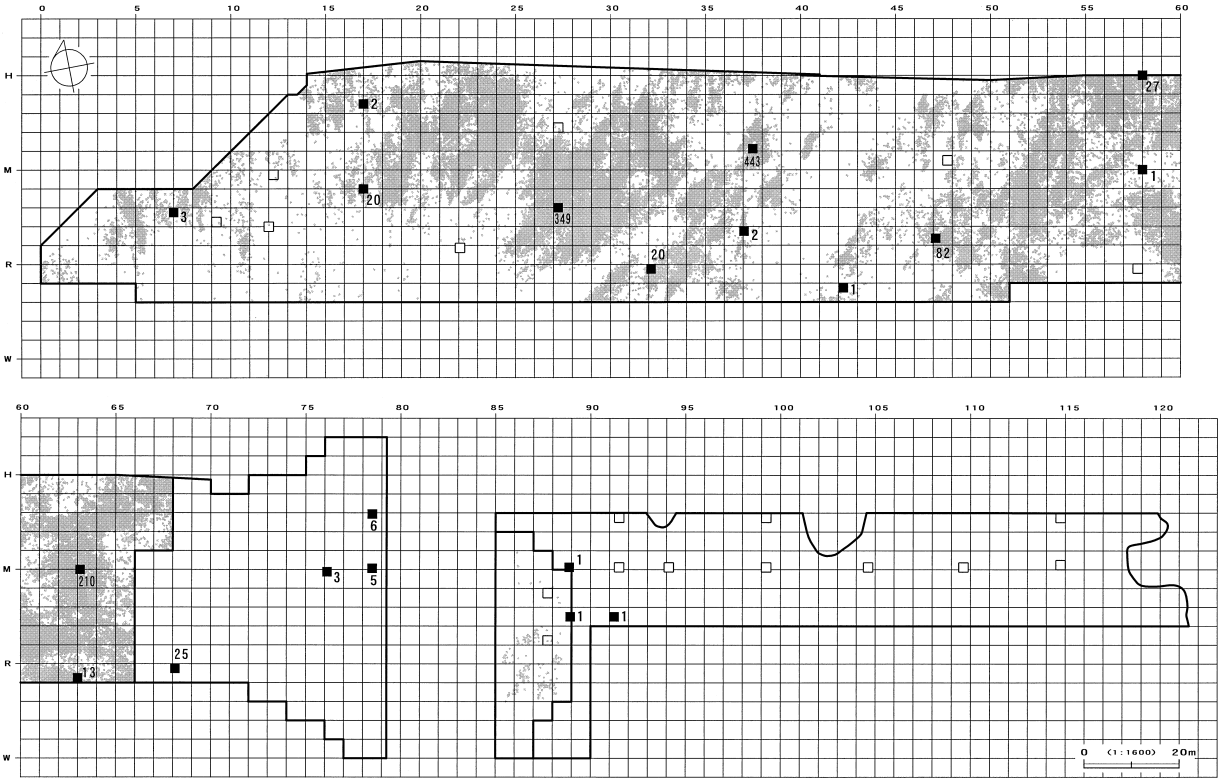
年度別調査範囲図



人力及び重機調査範囲図



年度別報告地区

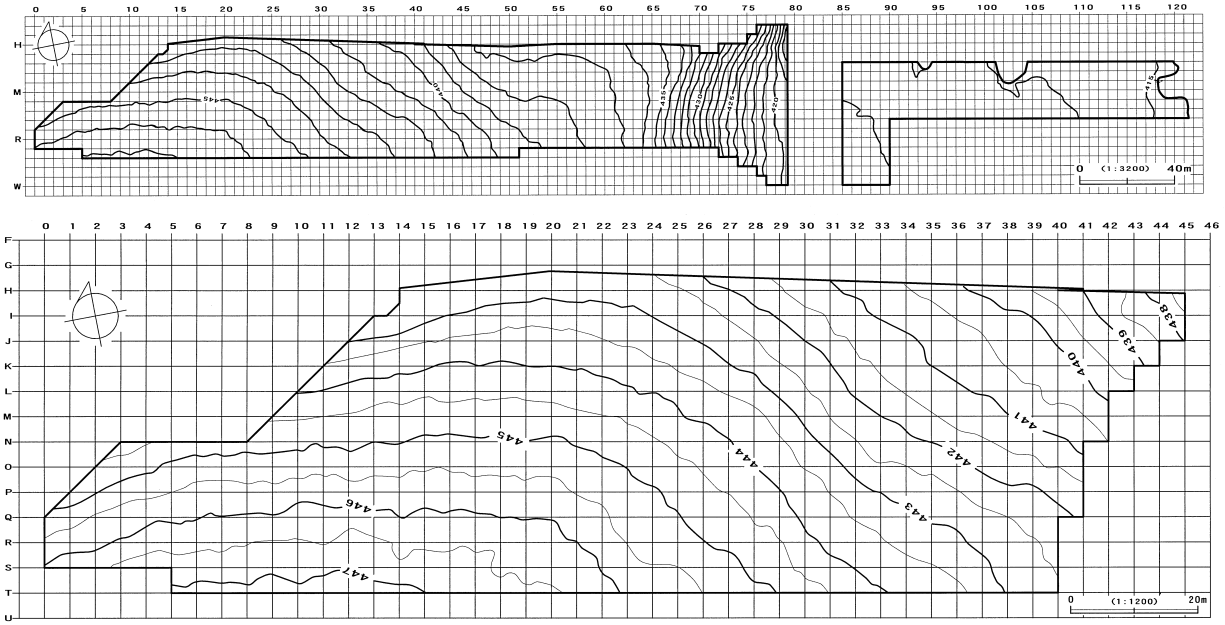


試掘調査位置図　※数字は出土点数

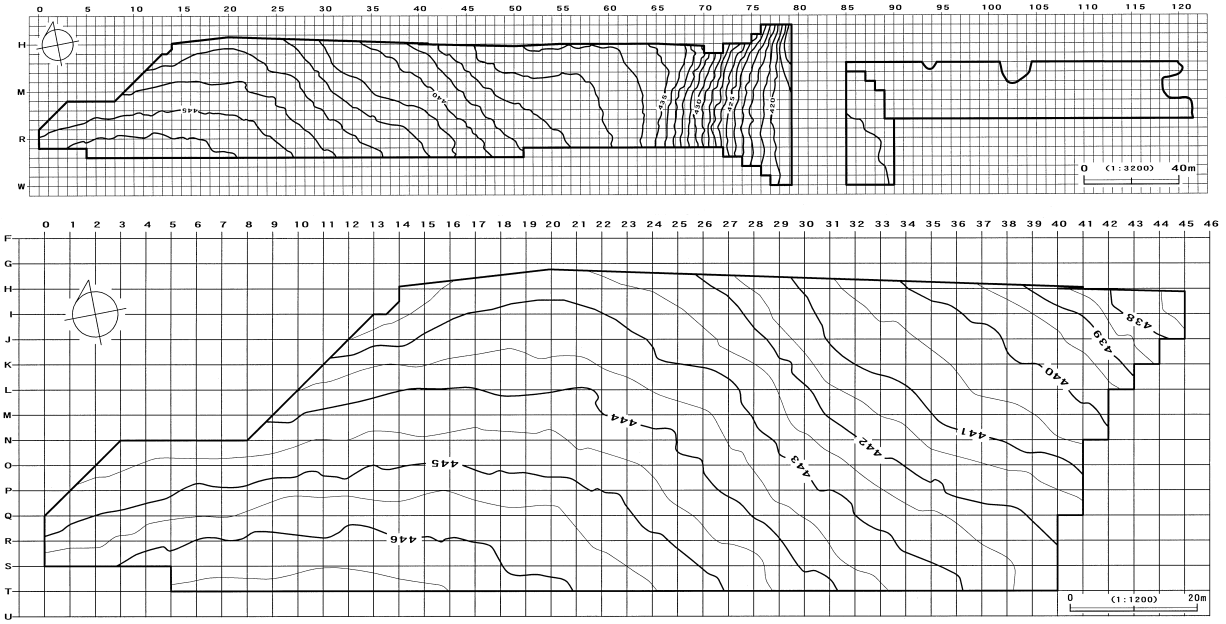
図Ⅲ－14　調査範囲・報告地区・試掘調査位置図

非接合資料・非接合単品石器を母岩別資料として抽出した。この作業は接合資料を中心に行ったため、母岩判別が困難であった接合数が少量の接合資料、接合資料に対応する母岩のない剥片・単品石器類が母岩別資料から漏れている。そのため、単体で搬入された石器は母岩識別が可能であっても母岩別資料には分類されていない。このような手順で、西地区では740母岩（「白滝Ⅰ群」64母岩：481～545・675・欠番２、「白滝Ⅰ群」以外676母岩：328・546～674・676～1225・欠番４）を母岩別資料に認定し、遺跡全体では1219母岩（「白滝Ⅰ群」184母岩：１～100・459～476・478・480～545・675・欠番２、「白滝Ⅰ群」以外1035母岩：101～458・477・479・546～674・676～1225・欠番４）を認定した。

接合に関わる点数は、西地区では39,046点（「白滝Ⅰ群」：折れ面接合のみ109点、剥離面接合1,121点、「白滝Ⅰ群」以外：折れ面接合のみ3,717点、剥離面接合34,099点）で、点取り遺物の総数126,475点に対しては30.9％、点取り及び一括遺物の総数626,305点に対しては6.2％の接合率である。また、



表土除去後の地形図



調査終了後の地形図

図Ⅲ－15　調査区域地形図

740母岩の母岩別資料の点数は43,133点で、点取り遺物の総数126,475点に対しては34.1％、点取り及び一括遺物の総数626,305点に対しては6.8％の母岩抽出率である。

遺跡全体では62,117点（「白滝Ⅰ群」：折れ面接合のみ627点、剥離面接合5,055点、「白滝Ⅰ群」以外：折れ面接合のみ7,795点、剥離面接合48,640点）で、点取り遺物の総数215,783点に対しては28.8％、点取り及び一括遺物の総数1,354,567点に対しては4.6％の接合率である。また、1,219母岩の母岩別資料の点数は63,981点で、点取り遺物の総数215,783点に対しては29.7％、点取り及び一括遺物の総数1,354,567点に対しては4.7％の母岩抽出率である。

接合作業後は接合資料単位で剥離順による接合カードを作成し、同時に母岩別資料に含まれる接合資料・非接合剥片・非接合単品石器を記載した母岩台帳を作成した。その後、それらのデータを遺構・遺物データシステム（㈱シン技術コンサル）に入力し、分布図等の作成に利用した。

実測図掲載の接合資料は、接合カードを用い、剥離段階毎の色分けを行い、それに従って実測図の輪郭図にスクリーントーンを振り分け、さらに剥離方向を矢印で記入して剥離模式図を作成した。原産地遺跡という性格から遺物量・接合資料数が非常に多く、接合作業以降の作業に多大な労力を要した。また、大型石器や接合資料の実測図作成に関しては写真実測を行った。大型で慎重な取り扱いが必要な写真撮影にはカメラマンの小川忠博氏とともに多くの工夫と慎重さが必要であった。また、同様に図化には多大な労力を必要とした。

本報告では、石器ブロック群ごとに出土石器、分布・接合、接合資料の順で、実測図、分布図などを示した。

西地区で最終的に実測図などを掲載した石器類は1,372個体、1,839点（うち写真のみを掲載したもの248個体、329点）、接合資料は360個体（うち模式図・写真を掲載したもの163個体、写真のみを掲載したもの197個体）、分布・接合図などを示した石器ブロックは48か所である。石器類の掲載割合は、点取り及び一括遺物の総数626,305点から剥片618,865点を引いた石器類7,440点に対して24.7％である。

『白滝遺跡群Ⅳ』で掲載した東地区と合わせた全体では、実測図などを掲載した石器類は2,820個体、3,954点（うち写真のみを掲載したもの274個体、365点）、接合資料は585個体（うち模式図・写真を掲載したもの183個体、写真のみを掲載したもの248個体）、分布・接合図などを示した石器ブロックは111か所である。石器類の掲載割合は、点取り及び一括遺物の総数1,354,567点から剥片1,339,251点を引いた石器類15,316点に対して25.8％である。　（鈴木宏行）

1）現時点では、道内で最も古期と考えられている恵庭ａ降下軽石（En－a）下位の千歳市祝梅三角山地点、上士幌町嶋木、清水町共栄３、函館市桔梗２遺跡などで出土したものと類似する特徴的な石核や小型剥片石器などを含む石器群を「白滝Ⅰ群」と仮称している。これらは、剥片レベルでも他の石器群と区別が可能であるため分離して整理を行っている。

本来であれば、他の石器群においても「白滝Ⅱ群」「白滝Ⅲ群」…と遺跡群全体を包括する分類をする必要があるかもしれない。しかし、石器ブロックや石器群の内容は様々で、単純には包括できず、また、それらの年代的な位置付けも現状では困難である。報告書段階では遺跡を構成する石器ブロック群・石器群を把握し、内容の違いを明確化するように努めており、各石器群の特徴はある程度把握できる状況になっているが、単純にまとめてしまうとかえって混乱を招く恐れがある。したがって、現段階では、「白滝Ⅰ群」以外の石器群の名称は一般的な呼称に留めている。

全体としては整理作業が進行し、遺跡群全体の評価が可能になりつつあるが、服部台２・旧白滝５遺跡など整理途中の大規模遺跡があるため、遺跡群全体を包括する明確な全体像の把握には至っていない。今後も石器ブロック群・石器群の把握を継続して行い、その成果を蓄積して、名称や内容を検討していきたい。

（７）調査結果の概要

上白滝８遺跡は総点数約135万点、総重量約3.5トンもの大量の石器類が出土しているため高位部中央やや東寄りの小沢が入る空白地帯を境に東西に分割し、二回に分けて報告することとし、東地区については既に『白滝遺跡群Ⅳ』で報告を行っている。ここでは西地区の概要を説明する。

表Ⅲ－1　西地区出土遺物点数･重量一覧　＊重量の単位は（g）

種類			尖頭器＊＊						両面調整石器		ナイフ形石器		彫器						掻器		削器		錐形石器		舟底形石器Ⅰ類	
			Ⅰ類＊＊＊		Ⅱ類		Ⅲ類						Ⅰ類		Ⅱ類		Ⅲ類								Ⅰａ類	
			点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量
Ⅰ群	点取り																		79	5523.2	4	401.1	5	66.3		
	一括	Ⅰ																	3	204.0						
		Ⅱ																	1	1.3						
	小計																		83	5728.5	4	401.1	5	66.3		
Ⅰ群以外	点取り		308	16487.4	40	1861.3	49	1653.1	51	13525.7	45	459.4	40	288.1	92	945.9	32	1268.8	134	2251.4	325	10252.1	29	413.7	44	125.1
	一括	Ⅰ	39	2396.1	3	200.1	2	91.7	8	3212.2	3	22.1	2	16.8	14	157.7	1	43.3	25	395.1	49	1489.6	3	37.0	11	33.3
		Ⅱ	11	29.2							2	1.9			3	9.7	1	10.6	3	17.3	9	12.9			8	6.1
		Ⅲ																			1	1.1				
	小計		358	18912.7	43	2061.4	51	1744.8	59	16737.9	50	483.4	42	304.9	109	1113.3	34	1322.7	162	2663.8	384	11755.7	32	450.7	63	164.5
合計			358	18912.7	43	2061.4	51	1744.8	59	16737.9	50	483.4	42	304.9	109	1113.3	34	1322.7	245	8392.3	388	12156.8	37	517.0	63	164.5

＊＊器種名上段は全体・東地区の分類　＊＊＊下段は西地区の細分類

種類			舟底形石器Ⅱ類						二次加工ある剥片								細石刃核		石刃		縦長剥片		石刃核		石核	
			Ⅱａ類		Ⅱｂ類		Ⅱｃ類		基部平坦加工石器		裏面微細加工石器		台形石器		二次加工ある剥片											
			点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量
Ⅰ群	点取り								2	5.6	23	216.0	1	15.7	22	680.9					2	37.9			90	21754.2
	一括	Ⅰ									2	9.2	1	25.4	2	335.8									10	974.3
		Ⅱ																							2	2151.8
	小計								2	5.6	25	225.2	2	41.1	24	1016.7					2	37.9			102	24880.3
Ⅰ群以外	点取り		404	14408.6	15	1074.6	5	525.4							259	15408.5	1	5.6	1934	29792.4	1866	34877.3	154	58320.7	201	84857.2
	一括	Ⅰ	77	3516.7	2	115.5	1	94.3							23	1774.9			200	3840.9	186	4315.6	32	19507.7	44	14770.1
		Ⅱ	4	11.1											3	5.9			38	256.8	38	265.6	1	159.4	2	5.0
		Ⅲ																								
	小計		485	17936.4	17	1190.1	6	619.7							285	17189.3	1	5.6	2172	33890.1	2090	39458.5	187	77987.8	247	99632.3
合計			485	17936.4	17	1190.1	6	619.7	2	5.6	25	225.2	2	41.1	309	18206.0	1	5.6	2172	33890.1	2092	39496.4	187	77987.8	349	124512.6

種類			彫器削片				その他削片		尖頭器削片		舟底形石器削片		剥片		斧形石器		つまみ付きナイフ		原石		礫石器等		合　計	
			彫器削片Ⅰ類		彫器削片Ⅱ類		彫器削片Ⅲ類																	
			点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量
Ⅰ群	点取り												1695	27333.6	1	50.0			14	57.3	1	634.8	1939	56776.6
	一括	Ⅰ											46	828.5									64	2377.2
		Ⅱ											43	54.2					3	2.4			49	2209.7
	小計												1784	28216.3	1	50.0			17	59.7	1	634.8	2052	61363.5
Ⅰ群以外	点取り		1	0.4	6	4.5	46	289.9	112	1266.1			118302	930793.8	1	122.4	1	2.2	36	1007.5	3	5530.2	124536	1227819.3
	一括	Ⅰ	1	0.3	3	0.6	5	12.3	11	117.0			68739	216436.5					2	35.9	2	398.6	69488	273031.9
		Ⅱ	16	4.3	24	6.3	6	6.4	13	14.9	5	0.6	425106	121157.9					1	1.9			425294	121983.8
		Ⅲ											4934	1274.3									4935	1275.4
	小計		18	5.0	33	11.4	57	308.6	136	1398.0	5	0.6	617081	1269662.5	1	122.4	1	2.2	39	1045.3	5	5928.8	624253	1624110.4
合計			18	5.0	33	11.4	57	308.6	136	1398.0	5	0.6	618865	1297878.8	2	172.4	1	2.2	56	1105.0	6	6563.6	626305	1685473.9

表Ⅲ－２　全体出土遺物点数・重量一覧　＊重量の単位は（g）

種類			尖頭器（Ⅰ～Ⅲ類）＊＊		両面調整石器		ナイフ形石器		彫器（Ⅰ～Ⅲ類）		掻器		削器		錐形石器		舟底形石器Ⅰ類（Ⅰａ・ｂ類）		舟底形石器Ⅱ類（Ⅱａ～ｃ類）		二次加工ある剥片 ＊＊＊	
			点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量
Ⅰ群	点取り										92	6010.6	14	521.7	30	324.5					322	4823.3
	一括	Ⅰ									5	282.9			2	14.0					15	442.2
		Ⅱ									2	1.8			1	0.1					9	12.3
		Ⅲ											1	7.7								
	斜面	Ⅰ																				
		上																				
		下																				
	Ｂ調																				1	70.4
	排土・その他										2	93.7									1	41.5
	小計										101	6389.0	15	529.4	33	338.6					348	5389.7
Ⅰ群以外	点取り		960	49450.7	151	26388.3	89	792.8	208	3041.7	227	4416.7	582	18639.4	44	531.0	48	140.7	632	27459.2	348	18913.8
	一括	Ⅰ	221	11941.1	25	5369.6	14	93.4	32	362.1	54	1094.3	127	4423.4	6	49.5	17	54.6	148	7459.0	37	2234.8
		Ⅱ	28	232.1			3	11.0	5	21.9	4	29.8	13	33.3			14	21.2	5	15.0	8	18.3
		Ⅲ					1	0.8			2	29.0	2	55.2	2	15.7	3	4.7	1	17.8	1	15.3
	斜面	Ⅰ	4	382.0	1	445.1					2	52.5	4	246.9					3	325.6		
		上	30	1769.3			1	4.8	4	167.5	23	909.6	43	2320.1					16	2308.5	4	363.3
		下	9	548.5	1	261.4	1	4.2	4	103.4	6	141.6	20	1444.0	1	18.2			5	539.5	3	50.0
	Ｂ調		16	959.1	2	426.0					1	12.8	6	78.3					9	486.6	3	109.7
	排土・その他		74	6001.1	17	4007.4			13	215.3	20	541.5	31	1100.5	1	4.5	1	3.0	52	3695.0	8	297.7
	小計		1342	71283.9	197	36897.8	109	907.0	266	3911.9	339	7227.8	828	28341.1	54	618.9	83	224.2	871	42306.2	412	22002.9
低位部	点取り																					
	一括	Ⅰ																				
		Ⅱ																				
		Ⅲ																				
	小計																					
合計			1342	71283.9	197	36897.8	109	907.0	266	3911.9	440	13616.8	843	28870.5	87	957.5	83	224.2	871	42306.2	760	27392.6

＊＊器種名カッコ内は西地区細分類　＊＊＊「二次加工ある剥片」は西地区の「基部平坦加工石器」「裏面微細加工石器」「台形石器」「二次加工ある剥片」を含む

種類			細石刃		細石刃核		石刃		縦長剥片		石刃核		石核		細石刃核削片		彫器削片Ⅰ・Ⅱ類		彫器削片Ⅲ類	
			点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量
Ⅰ群	点取り								152	8720.9			617	65117.1						
	一括	Ⅰ							25	897.7			66	13979.6						
		Ⅱ											19	2244.2						
		Ⅲ							2	6.6			1	3.2						
	斜面	Ⅰ											2	497.5						
		上											6	782.8						
		下											4	597.0						
	Ｂ調								4	340.0			1	99.4						
	排土・その他								6	397.2			10	2598.4						
	小計								189	10362.4			726	85919.2						
Ⅰ群以外	点取り		29	8.5	37	732.7	2724	54665.2	3043	70355.5	226	96245.3	348	144787.2	104	597.4	53	294.8	12	37.2
	一括	Ⅰ	108	19.3	21	605.4	480	12662.7	330	8677.1	43	23917.5	91	35902.9	114	286.6	15	14.5	8	11.1
		Ⅱ	114	18.9			48	345.2	54	421.6	2	160.2	2	5.0	96	101.9	52	17.7	9	4.2
		Ⅲ	54	7.5			6	69.9	5	11.1	1	85.4	1	0.3	22	22.7	4	1.1	1	0.6
	斜面	Ⅰ	5	1.1	2	162.6	12	390.4	1	8.6	4	3192.4	9	10759.1	5	64.0				
		上	36	12.6	9	452.7	190	7010.3	49	2215.1	4	6809.1	19	7570.0	32	711.9				
		下	9	3.8	9	470.7	108	4176.4	19	691.7	2	2764.3	9	5249.5	8	140.3				
	Ｂ調						6	299.7	2	108.3	3	1848.9	14	5950.6						
	排土・その他				6	184.0	116	4719.0	35	1899.8	13	10728.9	42	21777.6	8	85.6				
	小計		355	71.7	84	2608.1	3690	84338.8	3538	84388.8	298	145752.0	535	232002.2	389	2010.4	124	328.1	30	53.1
低位部	点取り																			
	一括	Ⅰ																		
		Ⅱ																		
		Ⅲ																		
	小計																			
合計			355	71.7	84	2608.1	3690	84338.8	3727	94751.2	298	145752.0	1261	317921.4	389	2010.4	124	328.1	30	53.1

種類			尖頭器削片		舟底形石器削片		剥片		斧形石器		石鏃		つまみ付きナイフ		原石		礫石器等		合計	
			点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量
Ⅰ群	点取り						7758	131743.8	1	50.0					42	1042.7	1	634.8	9029	218989.4
	一括	Ⅰ					476	11171.6							8	573.4			597	27361.4
		Ⅱ					293	842.2							3	2.4			327	3103.0
		Ⅲ					58	149.7											62	167.2
	斜面	Ⅰ					2	305.6											4	803.1
		上					8	467.5											14	1250.3
		下					3	69.0											7	666.0
	Ｂ調						6	83.3											12	593.1
	排土・その他						36	2693.2							3	358.6			58	6182.6
	小計						8640	147525.9	1	50.0					56	1977.1	1	634.8	10110	259116.1
Ⅰ群以外	点取り		130	1460.0			196446	1461275.5	2	992.0	1	0.8	1	2.2	81	5680.3	28	41027.4	206554	2027936.3
	一括	Ⅰ	17	249.1			179487	442312.4	1	504.1					4	150.3	3	835.9	181403	559230.7
		Ⅱ	13	14.9	5	0.6	745633	190923.5							2	2.2			746110	192398.5
		Ⅲ					163686	38800.6											163792	39137.7
	斜面	Ⅰ					1239	9177.5											1291	25207.8
		上					12531	82030.9							2	1430.1			12993	116085.8
		下					4410	34663.6							2	494.3			4626	51765.4
	Ｂ調						3737	19551.9							1	462.1			3800	30294.0
	排土・その他		3	64.6			22014	142065.1					1	10.9	3	118.7	1	488.2	22459	198008.4
	小計		163	1788.6	5	0.6	1329183	2420801.0	3	1496.1	1	0.8	2	13.1	95	8338.0	32	42351.1	1343028	3240064.6
低位部	点取り						200	40.2											200	40.2
	一括	Ⅰ					219	627.2			1	1.0							220	628.2
		Ⅱ					885	63.8											885	63.8
		Ⅲ					124	10.1											124	10.1
	小計						1428	741.3			1	1.0							1429	742.3
合計			163	1788.6	5	0.6	1339251	2569068.2	4	1546.1	2	1.8	2	13.1	151	10315.1	33	42986.3	1354567	3499923.0

表Ⅲ－3　西地区出土遺物石質別一覧　＊重量の単位は（g）

種類		石質	尖頭器＊＊ Ⅰ類＊＊＊ 点数	尖頭器＊＊ Ⅰ類＊＊＊ 重量	尖頭器＊＊ Ⅱ類 点数	尖頭器＊＊ Ⅱ類 重量	尖頭器＊＊ Ⅲ類 点数	尖頭器＊＊ Ⅲ類 重量	両面調整石器 点数	両面調整石器 重量	ナイフ形石器 点数	ナイフ形石器 重量	彫器 Ⅰ類 点数	彫器 Ⅰ類 重量	彫器 Ⅱ類 点数	彫器 Ⅱ類 重量	彫器 Ⅲ類 点数	彫器 Ⅲ類 重量	掻器 点数	掻器 重量	削器 点数	削器 重量	錐形石器 点数	錐形石器 重量	舟底形石器Ⅰ類 Ⅰａ類 点数	舟底形石器Ⅰ類 Ⅰａ類 重量
点取り	Ⅰ群	黒曜石																	77	5419.4	3	138.5	5	66.3		
		安山岩																			1	262.6				
		頁　岩																								
		珪　岩																	1	74.3						
		めのう																	1	29.5						
		泥　岩																								
	Ⅰ群以外	黒曜石	306	16461.3	40	1861.3	47	1549.9	51	13525.7	45	459.4	40	288.1	86	895.3	32	1268.8	131	2123.4	319	10165.6	25	389.6	44	125.1
		安山岩					2	103.2											2	110.6	2	43.6				
		頁　岩	1	21.9											6	50.6			1	17.4	4	42.9	4	24.1		
		珪　岩																								
		めのう	1	4.2																						
		砂　岩																								
		緑色泥岩																								
		碧　玉																								
	小計		308	16487.4	40	1861.3	49	1653.1	51	13525.7	45	459.4	40	288.1	92	945.9	32	1268.8	213	7774.6	329	10653.2	34	480.0	44	125.1
一括	Ⅰ群	黒曜石																	4	205.3						
		珪　岩																								
	Ⅰ群以外	黒曜石	50	2425.3	3	200.1	2	91.7	8	3212.2	5	24.0	2	16.8	15	153.0	1	43.3	28	412.4	57	1406.1	3	37.0	19	39.4
		安山岩															1	10.6								
		凝灰岩																								
		頁　岩													2	14.4					2	97.5				
		珪　岩																								
		軽　石																								
		碧　玉																								
	小計		50	2425.3	3	200.1	2	91.7	8	3212.2	5	24.0	2	16.8	17	167.4	2	53.9	32	617.7	59	1503.6	3	37.0	19	39.4
合　計			358	18912.7	43	2061.4	51	1744.8	59	16737.9	50	483.4	42	304.9	109	1113.3	34	1322.7	245	8392.3	388	12156.8	37	517.0	63	164.5

＊＊器種名上段は全体・東地区の分類　＊＊＊下段は西地区の細分類

種類		石質	舟底形石器Ⅱ類 Ⅱａ類 点数	舟底形石器Ⅱ類 Ⅱａ類 重量	舟底形石器Ⅱ類 Ⅱｂ類 点数	舟底形石器Ⅱ類 Ⅱｂ類 重量	舟底形石器Ⅱ類 Ⅱｃ類 点数	舟底形石器Ⅱ類 Ⅱｃ類 重量	二次加工ある剥片 基部平坦加工石器 点数	基部平坦加工石器 重量	裏面微細加工石器 点数	裏面微細加工石器 重量	台形石器 点数	台形石器 重量	二次加工ある剥片 点数	二次加工ある剥片 重量	細石刃核 点数	細石刃核 重量	石刃 点数	石刃 重量	縦長剥片 点数	縦長剥片 重量	石刃核 点数	石刃核 重量	石核 点数	石核 重量
点取り	Ⅰ群	黒曜石							2	5.6	22	205.2	1	15.7	22	680.9					2	37.9			89	21652.3
		安山岩									1	10.8														
		頁　岩																								
		珪　岩																								
		めのう																							1	101.9
		泥　岩																								
	Ⅰ群以外	黒曜石	404	14408.6	15	1074.6	5	525.4							257	15379.1	1	5.6	1929	29751.7	1862	34821.9	154	58320.7	201	84857.2
		安山岩																								
		頁　岩													2	29.4			5	40.7	3	48.7				
		珪　岩																								
		めのう																								
		砂　岩																								
		緑色泥岩																								
		碧　玉																			1	6.7				
	小計		404	14408.6	15	1074.6	5	525.4	2	5.6	23	216.0	1	15.7	281	16089.4	1	5.6	1934	29792.4	1868	34915.2	154	58320.7	291	106611.4
一括	Ⅰ群	黒曜石									2	9.2	1	25.4	2	335.8									12	3126.1
		珪　岩																								
	Ⅰ群以外	黒曜石	80	3515.3	2	115.5	1	94.3							26	1780.8			238	4097.7	223	4556.9	33	19667.1	45	14772.2
		安山岩																							1	2.9
		凝灰岩																								
		頁　岩	1	12.5																						
		珪　岩																			1	24.3				
		軽　石																								
		碧　玉																								
	小計		81	3527.8	2	115.5	1	94.3			2	9.2	1	25.4	28	2116.6			238	4097.7	224	4581.2	33	19667.1	58	17901.2
合　計			485	17936.4	17	1190.1	6	619.7	2	5.6	25	225.2	2	41.1	309	18206.0	1	5.6	2172	33890.1	2092	39496.4	187	77987.8	349	124512.6

種類		石質	彫器削片 彫器削片Ⅰ類 点数	彫器削片 彫器削片Ⅰ類 重量	彫器削片 彫器削片Ⅱ類 点数	彫器削片 彫器削片Ⅱ類 重量	その他削片 彫器削片Ⅲ類 点数	その他削片 彫器削片Ⅲ類 重量	尖頭器削片 点数	尖頭器削片 重量	舟底形石器削片 点数	舟底形石器削片 重量	剥片 点数	剥片 重量	斧形石器 点数	斧形石器 重量	つまみ付きナイフ 点数	つまみ付きナイフ 重量	原石 点数	原石 重量	礫石器等 点数	礫石器等 重量	合計 点数	合計 重量
点取り	Ⅰ群	黒曜石											1678	26992.4					14	57.3			1915	55271.5
		安山岩											2	66.9							1	634.8	5	975.1
		頁　岩											1	8.9									1	8.9
		珪　岩											12	260.9									13	335.2
		めのう											2	4.5									4	135.9
		泥　岩													1	50.0							1	50.0
	Ⅰ群以外	黒曜石	1	0.4	6	4.5	46	289.9	109	1228.1			118266	930536.6			1	2.2	35	864.3			124458	1221184.3
		安山岩											13	88.8							2	5410.7	21	5756.9
		頁　岩							3	38.0			14	73.4	1	122.4			1	143.2			45	652.7
		珪　岩											4	83.1									4	83.1
		めのう											2	2.1									3	6.3
		砂　岩																			1	119.5	1	119.5
		緑色泥岩											1	3.2									1	3.2
		碧　玉											2	6.6									3	13.3
	小計		1	0.4	6	4.5	46	289.9	112	1266.1			119997	958127.4	2	172.4	1	2.2	50	1064.8	4	6165.0	126475	1284595.9
一括	Ⅰ群	黒曜石											82	870.5					3	2.4			106	4574.7
		珪　岩											7	12.2									7	12.2
	Ⅰ群以外	黒曜石	16	4.3	25	6.6	8	14.7	24	131.9	5	0.6	498746	338762.9					3	37.8			499668	395619.9
		安山岩					3	4.0					9	17.2							2	398.6	16	433.3
		凝灰岩											3	3.3									3	3.3
		頁　岩	1	0.3	2	0.3							11	2.7									19	127.7
		珪　岩											3	24.8									4	49.1
		軽　石											4	52.2									4	52.2
		碧　玉											3	5.6									3	5.6
	小計		17	4.6	27	6.9	11	18.7	24	131.9	5	0.6	498868	339751.4					6	40.2	2	398.6	499830	400878.0
合　計			18	5	33	11.4	57	308.6	136	1398.0	5	0.6	618865	1297878.8	2	172.4	1	2.2	56	1105.0	6	6563.6	626305	1685473.9

表Ⅲ－４　全体出土遺物石質別一覧　＊重量の単位は（g）

種類			尖頭器（Ⅰ～Ⅲ類）＊＊		両面調整石器		ナイフ形石器		彫器（Ⅰ～Ⅲ類）		掻器		削器		錐形石器		舟底形石器Ⅰ類（Ⅰa･b類）		舟底形石器Ⅱ類（Ⅱa～c類）		二次加工ある剥片＊＊＊		細石刃		細石刃核		石刃		縦長剥片	
			点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量
点取り	高位部	Ⅰ群 黒曜石									90	5906.8	13	259.1	30	324.5					321	4812.5							152	8720.9
		安山岩											1	262.6							1	10.8								
		頁岩																												
		珪岩									1	74.3																		
		めのう									1	29.5																		
		泥岩																												
		碧玉																												
		Ⅰ群以外 黒曜石	954	49261.7	150	26030.0	89	792.8	201	2977.8	216	4229.0	558	18037.5	35	476.7	48	140.7	632	27459.2	338	18734.3	28	7.7	33	688.1	2714	54524.8	3036	70259.7
		安山岩	3	129.2	1	358.3					2	110.6	6	214.6																
		凝灰岩																												
		頁岩	2	55.6					7	63.9	8	61.9	18	387.3	5	27.9					8	81.0	1	0.8	2	10.1	10	140.4	6	89.1
		珪岩																												
		めのう	1	4.2							1	15.2			4	26.4					1	23.9			2	34.5				
		泥岩																												
		砂岩																												
		軽石																												
		緑色泥岩																												
		碧玉																			1	74.6							1	6.7
		流紋岩																												
	低位部	黒曜石																												
	小計		960	49450.7	151	26388.3	89	792.8	208	3041.7	319	10427.3	596	19161.1	74	855.5	48	140.7	632	27459.2	670	23737.1	29	8.5	37	732.7	2724	54665.2	3195	79076.4
一括	高位部	Ⅰ群 黒曜石									7	284.7	1	7.7	3	14.1					24	454.5							27	904.3
		珪岩																												
		めのう																												
		Ⅰ群以外 黒曜石	249	12173.2	25	5369.6	18	105.2	28	321.4	60	1153.1	138	4394.2	5	47.4	34	80.5	153	7479.3	45	2267.3	276	45.7	21	605.4	532	13065.1	388	9085.5
		安山岩							1	10.6																				
		凝灰岩																												
		頁岩							8	52.0			4	117.7	2	4.1			1	12.5	1	1.1					2	12.7		
		珪岩																											1	24.3
		めのう													1	13.7														
		軽石																												
		碧玉																												
		流紋岩																												
		片岩																												
	斜面	Ⅰ群 黒曜石																												
		Ⅰ群以外 黒曜石	43	2699.8	2	706.5	2	9.0	8	270.9	30	1088.1	64	3922.8	1	18.2			24	3173.6	7	413.3	50	17.5	20	1086.0	308	11538.4	69	2915.4
		頁岩									1	15.6	3	88.2													2	38.7		
	低位部	黒曜石																												
	小計		292	14873.0	27	6076.1	20	114.2	45	654.9	98	2541.5	210	8530.6	12	97.5	34	80.5	178	10665.4	77	3136.2	326	63.2	41	1691.4	844	24654.9	485	12929.5
B調	Ⅰ群 黒曜石																				1	70.4							4	340.0
	Ⅰ群以外 黒曜石		16	959.1	2	426.0					1	12.8	6	78.3					9	486.6	3	109.7					6	299.7	2	108.3
排土・その他	Ⅰ群 黒曜石										2	93.7									1	41.5							6	397.2
	Ⅰ群以外 黒曜石		72	5543.8	17	4007.4			11	133.2	17	517.5	30	1087.0	1	4.5	1	3.0	52	3695.0	8	297.7			6	184.0	115	4669.4	35	1899.8
		安山岩																												
		頁岩							2	82.1	3	24.0	1	13.5																
		珪岩	2	457.3																							1	49.6		
		めのう																												
	小計		90	6960.2	19	4433.4			13	215.3	23	648.0	37	1178.8	1	4.5	1	3.0	61	4181.6	13	519.3			6	184.0	122	5018.7	47	2745.3
合計			1342	71283.9	197	36897.8	109	907.0	266	3911.9	440	13616.8	843	28870.5	87	957.5	83	224.2	871	42306.2	760	27392.6	355	71.7	84	2608.1	3690	84338.8	3727	94751.2

＊＊器種名カッコ内は西地区細分類　＊＊＊「二次加工ある剥片」は西地区の「基部平坦加工石器」「裏面微細加工石器」「台形石器」「二次加工ある剥片」を含む

種類			石刃核		石核		細石刃核剥片		彫器削片Ⅰ・Ⅱ類		彫器削片Ⅲ類		尖頭器削片		舟底形石器削片		剥片		斧形石器		石鏃		つまみ付きナイフ		原石		礫石器等		合計	
			点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量
点取り	高位部	Ⅰ群 黒曜石			613	64892.0											7728	131229.7							42	1042.7			8989	217188.2
		安山岩															2	66.9									1	634.8	5	975.1
		頁岩															2	11.7											2	11.7
		珪岩															17	373.4											18	447.7
		めのう			3	179.3											7	53.6											11	262.4
		泥岩																	1	50.0									1	50.0
		碧玉			1	45.8											2	8.5											3	54.3
		Ⅰ群以外 黒曜石	226	96245.3	347	144757.4	102	591.8	53	294.8	12	37.2	127	1422.0			196371	1460026.1			1	0.8	1	2.2	80	5537.1	1	21.4	206353	1982556.1
		安山岩			1	29.8											25	788.8	1	869.6							22	39929.8	61	42430.7
		凝灰岩																									1	504.7	1	504.7
		頁岩					2	5.6					3	38.0			27	141.4	1	122.4					1	143.2			101	1368.6
		珪岩															5	98.5											5	98.5
		めのう															5	23.1											14	127.3
		泥岩															1	1.3									1	110.1	2	111.4
		砂岩																									3	461.4	3	461.4
		軽石															8	186.1											8	186.1
		緑色泥岩															1	3.2											1	3.2
		碧玉															2	6.6											4	87.9
		流紋岩															1	0.4											1	0.4
	低位部	黒曜石															200	40.2											200	40.2
	小計		226	96245.3	965	209904.3	104	597.4	53	294.8	12	37.2	130	1460.0			204404	1593059.5	3	1042.0	1	0.8	1	2.2	123	6723.0	29	41662.2	215783	2246965.9
一括	高位部	Ⅰ群 黒曜石			84	16124.9											818	12136.7							11	575.8			975	30502.7
		珪岩															8	12.6											8	12.6
		めのう			2	102.1											1	14.2											3	116.3
		Ⅰ群以外 黒曜石	46	24163.1	93	35905.3	232	411.2	64	28.5	16	15.0	30	264.0	5	0.6	1088731	671710.2							6	575.8			1091195	788843.3
		安山岩			1	2.9			3	4.0							15	102.8	1	504.1							3	835.9	24	1460.3
		凝灰岩															3	3.3											3	3.3
		頁岩							3	0.6	2	0.9					38	27.0											61	228.6
		珪岩															4	28.2											5	52.5
		めのう							1	0.2							5	15.2											7	29.1
		軽石															5	97.2											5	97.2
		碧玉															3	5.6											3	5.6
		流紋岩															1	35.9											1	35.9
		片岩															1	11.1											1	11.1
	斜面	Ⅰ群 黒曜石			12	1877.3											13	842.1											25	2719.4
		Ⅰ群以外 黒曜石	10	12765.8	37	23578.6	45	916.2									18177	125862.3							4	1924.4			18901	192906.8
		頁岩															3	9.7											9	152.2
	低位部	黒曜石															1228	701.1			1	1.0							1229	702.1
	小計		56	36928.9	229	77591.1	277	1327.4	71	33.3	18	15.9	30	264.0	5	0.6	1109054	811615.2	1	504.1	1	1.0			21	2652.7	3	835.9	1112455	1017879.0
B調	Ⅰ群 黒曜石				1	99.4											6	83.3											12	593.1
	Ⅰ群以外 黒曜石		3	1848.9	14	5950.6											3737	19551.9							1	462.1			3800	30294.0
排土・その他	Ⅰ群 黒曜石				10	2598.4											36	2693.2							3	358.6			58	6182.6
	Ⅰ群以外 黒曜石		13	10728.9	42	21777.6	8	85.6					3	64.6			22009	141417.2					1	10.9	3	118.7			22444	196245.8
		安山岩															1	619.8									1	488.2	2	1108.0
		頁岩															2	1.6											8	121.2
		珪岩																											3	506.9
		めのう															2	26.5											2	26.5
	小計		16	12577.8	67	30426.0	8	85.6					3	64.6			25793	164393.5					1	10.9	7	939.4	1	488.2	26329	235078.1
合計			298	145752.0	1261	317921.4	389	2010.4	124	328.1	30	53.1	163	1788.6	5	0.6	1339251	2569068.2	4	1546.1	2	1.8	2	13.1	151	10315.1	33	42986.3	1354567	3499923.0

遺構は遺跡全体で28か所の炭化木片ブロック（Cb－１～28）が確認され、そのうち西地区に関連するのは13か所（Cb－３・９・14～28）である。そのほとんどは石器の分布と重複ないし隣接しているが、複数の石器群が連続ないし重複している出土状況を考えると周辺の石器群と単純に関連づけるのは困難である。遺物は全て石器類で、遺跡全体の点数（表Ⅲ－２）は1,354,567点、重量は3,499,923.0g、そのうち点取り遺物は215,783点、一括ほか遺物は1,138,784点である。今回報告する西地区の遺物点数は626,305点、重量1,685,473.9g、そのうち点取り遺物は126,475点、一括ほか遺物は499,830点で、詳細は表Ⅲ－１に掲載している。

出土した遺物は、ほとんどが旧石器時代のものであるが、一部、つまみ付きナイフなど旧石器時代以外の石器が混じる。西地区では、石器類を平面分布や石器の特徴から48か所のブロックに分け、それらを８の石器ブロック群・区域に分けた。なお、石器群・区域の分類基準については第Ⅲ章２（２）で後述する。

Sb－64～79は「白滝Ⅰ群」である。石核の出土量が多く、多様な形態がみられる。剥片素材でその腹面からうろこ状の剥片を剥離する石核、剥片ないし分割礫を素材として求心状に寸詰まりの剥片を剥離する石核、素材の小口面を作業面として打面部が厚く幅の広い剥片を剥離する石核、素材の細長い面を作業面として縦長剥片を剥離する石核、交互剥離によって打面と作業面を入れ替える石核、打面転移を頻繁に行いサイコロ状の形態になる石核などがみられる。これらは石核の素材と剥離技術によってⅠ～Ⅲ類に分類されている（第Ⅲ章２（３）母岩別資料・接合資料参照）。原石の形状は転礫と角礫の二種類が見られ転礫が主体的に利用されている。主に接合状況から Sb－64～70、71、72～79の三つの石器ブロック群に分けられる。定形的な石器類は Sb－72～79では掻器が多く、Sb－64～70では裏面微細加工石器が主体的である。また、前者には台形石器、後者には基部平坦加工石器が伴っている。その他に定形的な石器として錐形石器、削器が見られる。

Sb－80～111は「白滝Ⅰ群」以外の石器群で、「白滝Ⅰ群」を除いた全ての石器群が含まれ、西地区遺物の99.7％（626,305点）を占める。なお、「白滝Ⅰ群」以外は遺跡全体では99.2％（1,344,457点）である。これらを特徴的な石器・接合関係などからＧ区（Sb－80～89）、Ｈ区（Sb－90）、Ⅰ区（Sb－91～96）、Ｊ区（Sb－97～107）、Ｋ区（Sb－108～111）の５区に分けた。Ｇ・Ⅰ・Ｊ区には複数の石器群が重複し、Ｋ区を除くＧ～Ｊ区には区域間の接合関係が見られる。ここでは各区域に含まれる石器群について述べる。

西地区には大別すると①小型舟底形石器（舟底形石器Ⅰ類）を含む石器群、②大型石刃・大型舟底形石器（舟底形石器Ⅱｂ・ｃ類）を含む石器群、③忍路子型細石刃核を含む石器群、④幅広有舌尖頭器（尖頭器Ⅲ類）を含む石器群、⑤広郷型ナイフ形石器を含む石器群が出土している。①には舟底形石器Ⅰ類の他、大型尖頭器、削片剥離の行われた尖頭器（尖頭器Ⅱ類）、周縁加工彫器（彫器Ⅰ・Ⅱ類）、掻器、舟底形石器Ⅱａ類、単剥離打面の石刃核が含まれる。②には単剥離打面を持つ大型石刃・舟底形石器Ⅱｂ・ｃ類の他、大型尖頭器（尖頭器Ⅰ類の大型品）が含まれる。③には忍路子型細石刃核の他、打面調整を伴う大型石刃、側縁調整がほとんど行われず刃部周辺にパンチ痕のある掻器が含まれ、接合資料には石器本体の無い50cm を超える尖頭器製作の資料がある。④に含まれる幅広の尖頭器Ⅲ類は、剥片ないし石核素材で、通常の有舌尖頭器に比べ幅広である。また、彫器Ⅲ類が含まれる。⑤には広郷型ナイフ形石器の他、彫器Ⅲ類が含まれる。

Ｇ区は、石器群①が主体的でスポット的に石器群②③が少量分布する。石器群③はＨ区と接合関係のある掻器が多く、それらの一部が分布する Sb－89には剥片素材のやや粗い尖頭器が分布している。

Ｈ区は、ブロック縁辺部に分布する周辺ブロックの混入と見られる舟底形石器などを除くと、石器

表Ⅲ－５　西地区炭化木片ブロック一覧

		土壌		炭化物重量(g)	石器		14C年代(yBP)	
		体積(cc)	重量(g)		点数	重量(g)		
Cb－３	(1)	3300	3600	6.9	3	0.1	10280±50	
	(2)	5800	6200	4.7	3	0.1		
	(3)	3700	3900	1.7	15	0.2		
	(4)	100	100	0.2	2	0.1		
	(5)	1700	1900	2.0	8	0.1		
	(6)	4200	4000	8.0	2	0.1		
	(7)	2000	2000	0.6	3	0.1		
	(8)	1500	1600	1.1	0	0.0		
	(9)	4700	4900	5.2	15	0.2	10390±50	
	計	27000	28200	30.4	51	1.0		
Cb－９	(1)	6000	5900	7.9	6	0.2	15670±240	
	(2)	3000	2900	2.5	3	0.1		
	(3)	2300	2200	2.6	4	0.1	16420±150	
	計	11300	11000	13.0	13	0.4		
Cb－14		1000	900	5.8	1	0.1	21980±210	24340±160
Cb－15		23400	25400	20.1	6	0.3	14030±110	13930±50
Cb－16	(1)	1600	1800	0.6	16	0.1	13530±50	
	(2)	1300	1400	0.5	16	0.1	13790±170	
	計	2900	3200	1.1	32	0.2		
Cb－17	(1)	6800	7200	6.1	87	0.3	18840±160	
	(2)	26700	28200	16.1	373	1.3		
	(3)	42100	44800	93.4	9329	40.2	18470±270	
	計	75600	80200	115.6	9789	41.8		
Cb－18	(1)	3600	3800	2.9	32	0.2		
	(2)	900	900	0.8	12	0.1		
	(3)	11000	11100	7.4	3	0.2	23620±310	22210±110
	計	15500	15800	11.1	47	0.5		
Cb－19		600	600	1.9	22	0.2	25870±290	28120±180
	周辺	－	－	0.9	0	0.0		
	計	600	600	2.8	22	0.2		
Cb－20		1000	1000	3.2	0	0.0	14140±110	13910±80
Cb－21	(1)	2000	2100	2.4	30	0.2		
	(2)	8600	8900	10.7	128	0.6	15850±170	15750±130
	計	10600	11000	13.1	158	0.8		
Cb－22	(1)	2500	2900	3.3	28	0.5	15790±110	15980±90
	(2)	1800	1750	3.9	38	2.3		
	周辺	350	500	18.9	12	0.1		
	計	4650	5150	26.1	78	2.9		
Cb－23	(1)	2600	2300	8.4	8	0.2		
	(2)	3000	2900	4.6	22	0.5		
	(3)	8200	7270	25.5	53	2.0	15890±90	15590±130
	計	13800	12470	38.5	83	2.7		
Cb－24	(1)	300	280	0.6	0	0.0	15950±110	
	(2)	400	470	0.8	0	0.0	15450±90	
	計	700	750	1.4	0	0.0		
Cb－25		11点地点計測		0.16	0	0.0	13630±40	13730±80
Cb－26		62点地点計測		1.39	7	0.1	13730±80	13730±90
Cb－27		4点地点計測		0.44	0	0.0	18660±130	18570±130
Cb－28		4点地点計測		0.33	1	0.1		
合計		188050	195670	284.5	10288	50.9		

表Ⅲ－6　炭化材樹種同定結果一覧

試料番号	炭化木片ブロック	樹種
1	Cb－1	カラマツ属　Larix sp.？
2	Cb－1	カラマツ属　Larix sp.
3	Cb－1	トウヒ属　Picea sp.？
4	Cb－2（2）	カラマツ属　Larix sp.？
5	Cb－2（2）	試料微少のため同定不能
6	Cb－2（2）	試料微少のため同定不能
7	Cb－2（2）	試料微少のため同定不能
14	Cb－6	—
15	Cb－6	カラマツ属　Larix sp.？
16	Cb－6	カラマツ属　Larix sp.？
17	Cb－6	試料微少のため同定不能
18	Cb－6	針葉樹
19	Cb－6	カラマツ属あるいはトウヒ属
20	Cb－6	針葉樹
22	Cb－13（上層）	試料微少のため同定不能
23	Cb－13（中層）	針葉樹
24	Cb－13（下層）	針葉樹
25	Cb－13（下層）	試料微少のため同定不能
26	Cb－13（下層）	針葉樹
27	Cb－13（下層）	針葉樹
28	Cb－13（下層）	針葉樹
29	Cb－13（下層）	針葉樹
30	Cb－13（上下単一層）	試料微少のため同定不能
68	Cb－23（1）	針葉樹
69	Cb－23（2）	針葉樹
70	Cb－23（3）	針葉樹
71	Cb－23（3）	針葉樹
72	Cb－24（1）	針葉樹
73	Cb－24（1）	トウヒ属

群③がほぼ単独に分布し、周辺に分布が連続するにも関わらず排他的な分布状況を示す。忍路子型細石刃核は1点のみで、打面調整を伴う石刃剥離が集中的に行われる。

Ⅰ区は、最大規模の石器ブロック Sb－93・95を含む遺跡内（調査した白滝遺跡群全体でも最大）で最大の石器ブロック群である。石器群①②④⑤が連続ないし重複して複雑に分布し、石器群①④は広域に、石器群⑤はややまとまって、石器群②はスポット的に分布している。特に石器群⑤は東地区のＦ区に分布する同石器群と接合関係が見られ、両者を関連付けている。

Ｊ区は、遺跡内で最大の Sb－97を含む石器ブロック群で、石器群①が主体的に分布し、Ⅰ区と隣接する Sb－97には石器群④が重複する。Sb－98出土の二次加工ある剥片1点は、東地区のＤ区に分布する尖頭器を製作した接合資料に含まれ、両者の関連の可能性を示している。

Ｋ区は、Ｇ～Ｊ区と接合関係の無い、独立した小規模な石器ブロック群で、石器群①が単独で分布する。

（鈴木宏行・直江康雄）

２　遺構と遺物

確認された遺構は炭化木片ブロックのみで、遺跡全体で28か所確認されている。今回は、西地区に分布する17か所を報告する。

確認された遺物は全て石器類で、分布状況・石器組成から48の石器ブロックを認定し、接合関係・石器組成を中心として９の石器ブロック群・区域に分けた。遺物の記述は「白滝Ⅰ群」、「白滝Ⅰ群」以外の順で行い、石器ブロック群・区域毎にSb－64～70、71、72～79、「白滝Ⅰ群」ブロック外、G区（Sb－80～89）、H区（Sb－90）、Ⅰ区（Sb－91～96）、Ｊ区（Sb－97～107）、K区（Sb－108～111）、「白滝Ⅰ群」以外ブロック外、表土（重機調査）の順に行う。

（１）炭化木片ブロック

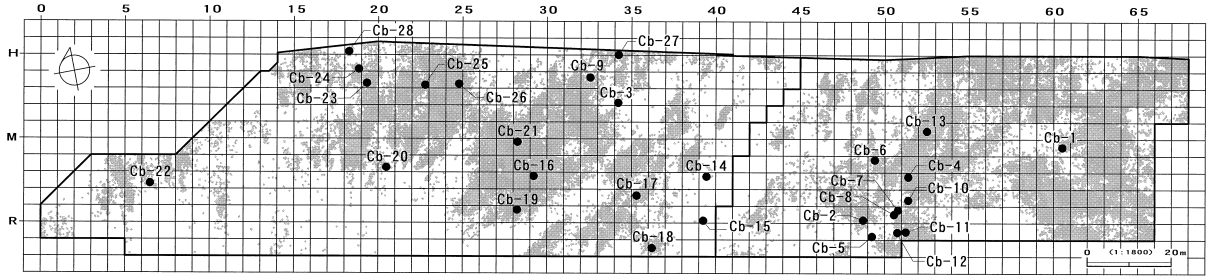
炭化木片ブロックは遺跡全体で28か所検出された（図Ⅲ－16）。そのうち今回報告対象であるCb－３・９・14～28は、すべて高位面の上白滝面上にある。なお、Cb－14・15については西地区に含まれるが、両地区の境付近に分布しているため東地区の報告にも掲載している。炭化木片ブロック内には焼土が伴わず、堆積している土層の中に炭化木片がまとまっている状態であった。ブロックの中心部の土層は、炭化木片と同様のやや暗褐色となっていることが特徴である。全体的な傾向として、標高440～445mの北東方向に傾斜する緩斜面にまばらに分布している。石器ブロックとの位置関係は遺物集中域に重なるように分布するもの（Cb－16～19・21・23・25～28）、遺物集中域の縁辺部に分布するもの（Cb－３・９・20・22・24）、遺物集中域から離れて分布するもの（Cb－14・15）に分けられ、遺物集中域に重なるものが多い。また、被熱石器の分布と合わせて検討すると、被熱石器の集中と炭化木片ブロックが重なり合う場所がある。Sb－66とCb－18、Sb－85とCb－17、Sb－93とCb－16である。

炭化木片ブロックの土壌はすべて採取し、体積と重量を計測後、フローテーション作業を行った。選別後の集計結果は表Ⅲ－５のとおりである。炭化木片のうち５mm以上の大きさがあるものはすべて樹種同定を行った。結果はすべてトウヒ属などの針葉樹であり、当時の植生は針葉樹の散生する森林ツンドラと推定された（表Ⅲ－６）。詳細については『白滝遺跡群Ⅲ』のⅤ章３（三野　2002）及び本報告書のⅣ章２に掲載している。また、炭化木片ブロックごとにAMS法による放射性炭素年代の測定を行った。年代の測定結果は、大まかに10,000y.B.P代前半（Cb－３）、13,500～14,100y.B.P（Cb－15・16・20・25・26）、15,400～16,400y.B.P（Cb－９・21～24）、18,500～18,900y.B.P（Cb－17・27）、21,900～24,400y.B.P（Cb－14・18）、25,800～28,200y.B.P（Cb－19）に分けられ、14,000y.B.P前後と16,000y.B.P前後の測定値が多い。東地区の測定値と比較すると、西地区ではより新しい年代値がまとまって見られる。なお、Cb－28は炭化木片が微量で、周辺の炭化木片ブロックの年代値が均質であったため測定を行っていない。年代測定結果の詳細はⅣ章１に掲載している。

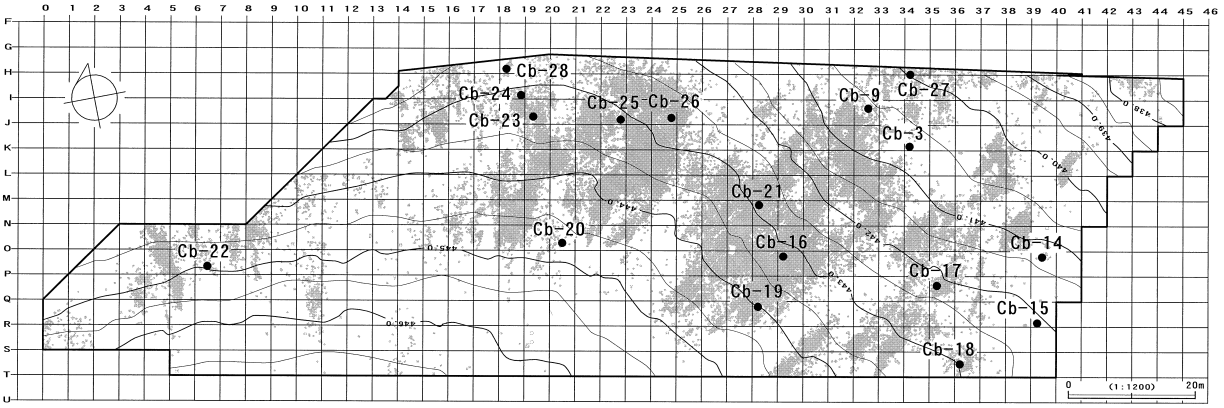
Cb－３（図Ⅲ－17、表Ⅲ－５）

Ｊ・K33・34区、Sb－90・91の境にあたる遺物が希薄な地点から近接した八つの集中部と、やや東側に離れた一つの集中部を確認し、(1)～(9)を設定した。検出面は全てⅡａ層中である。全体で28,200gの土壌を採取し、30.4gの炭化木片を回収した。

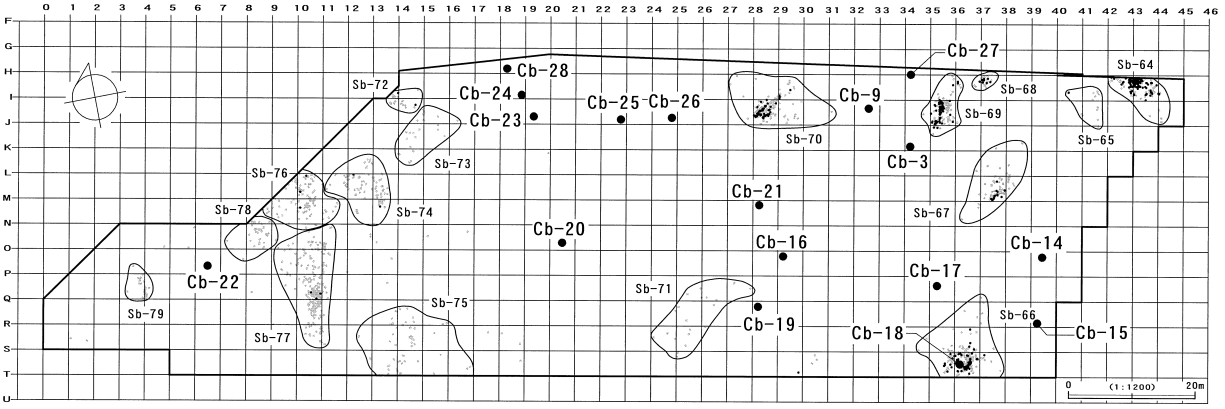
(1)は45×25cmの不整な楕円形の範囲で、厚さは４cmであった。採取した土壌は3,600gで、6.9gの炭化木片を回収した。(2)は40×(20)cmの楕円形の範囲で、厚さは６cmであった。南側にも僅かに集中が広がっていたものと考えられる。採取した土壌は6,200gで4.7gの炭化木片を回収した。(3)



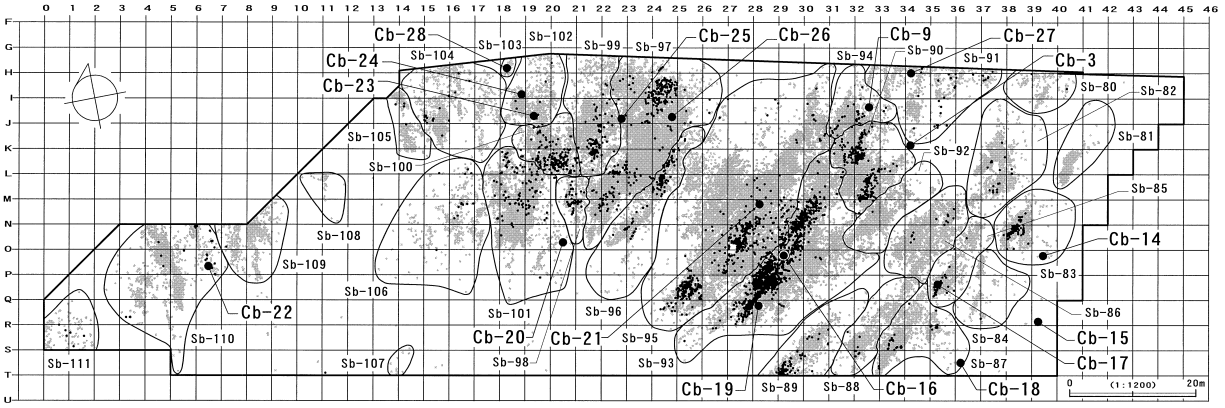
炭化木片ブロック位置図(全体)



炭化木片ブロック位置図(西地区)

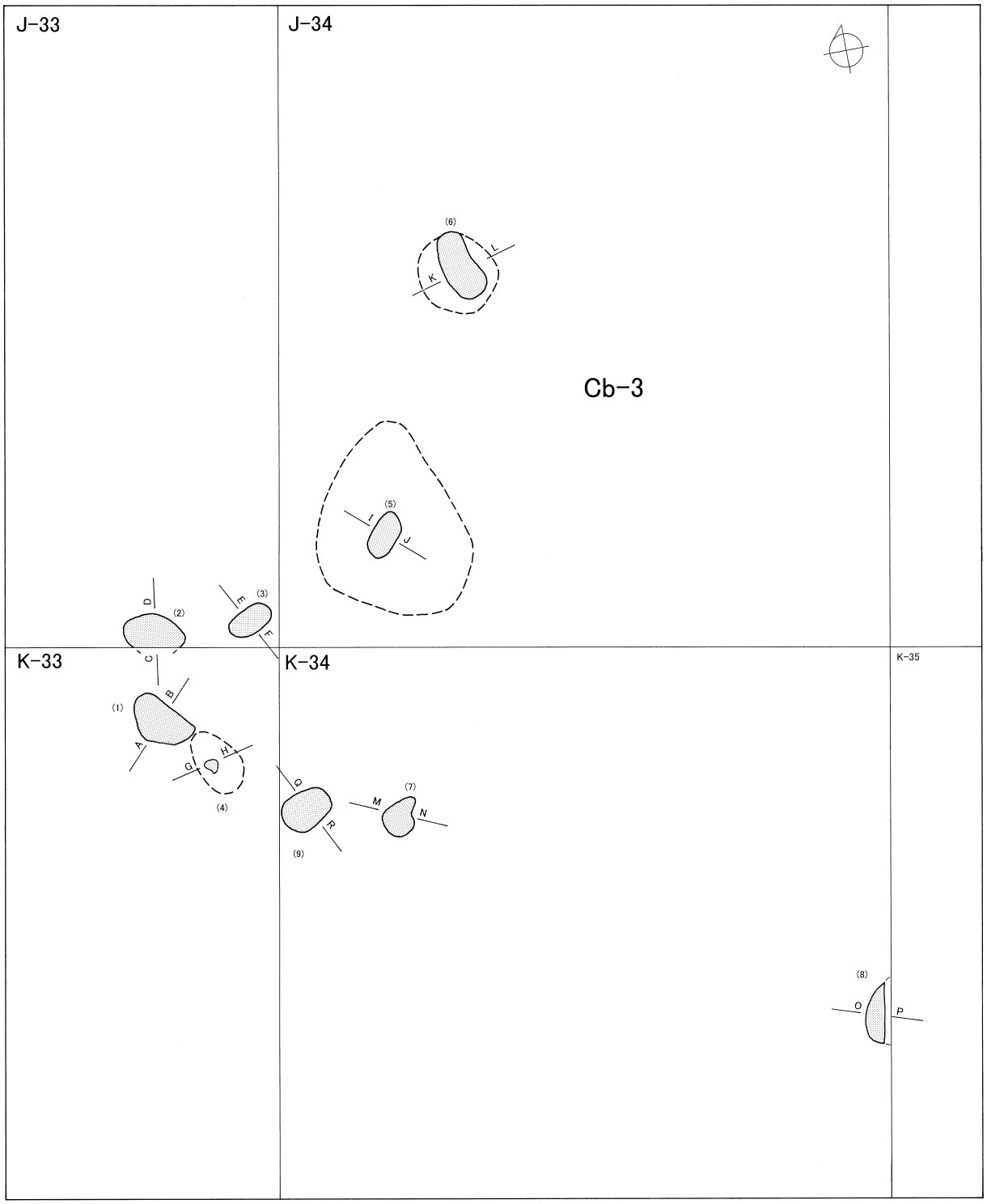


Sb−64〜79(「白滝Ⅰ群」)の被熱石器と炭化木片ブロック

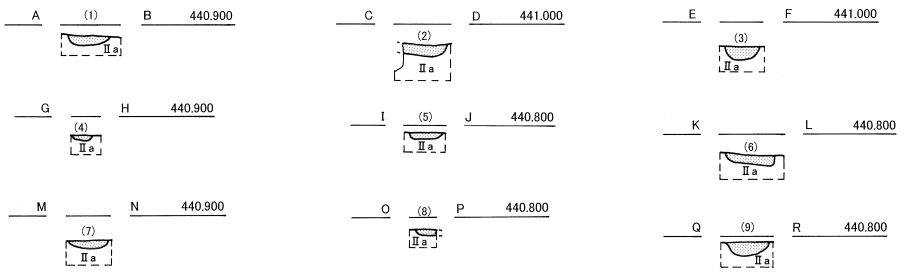


Sb−80〜111(「白滝Ⅰ群以外」)の被熱石器と炭化木片ブロック

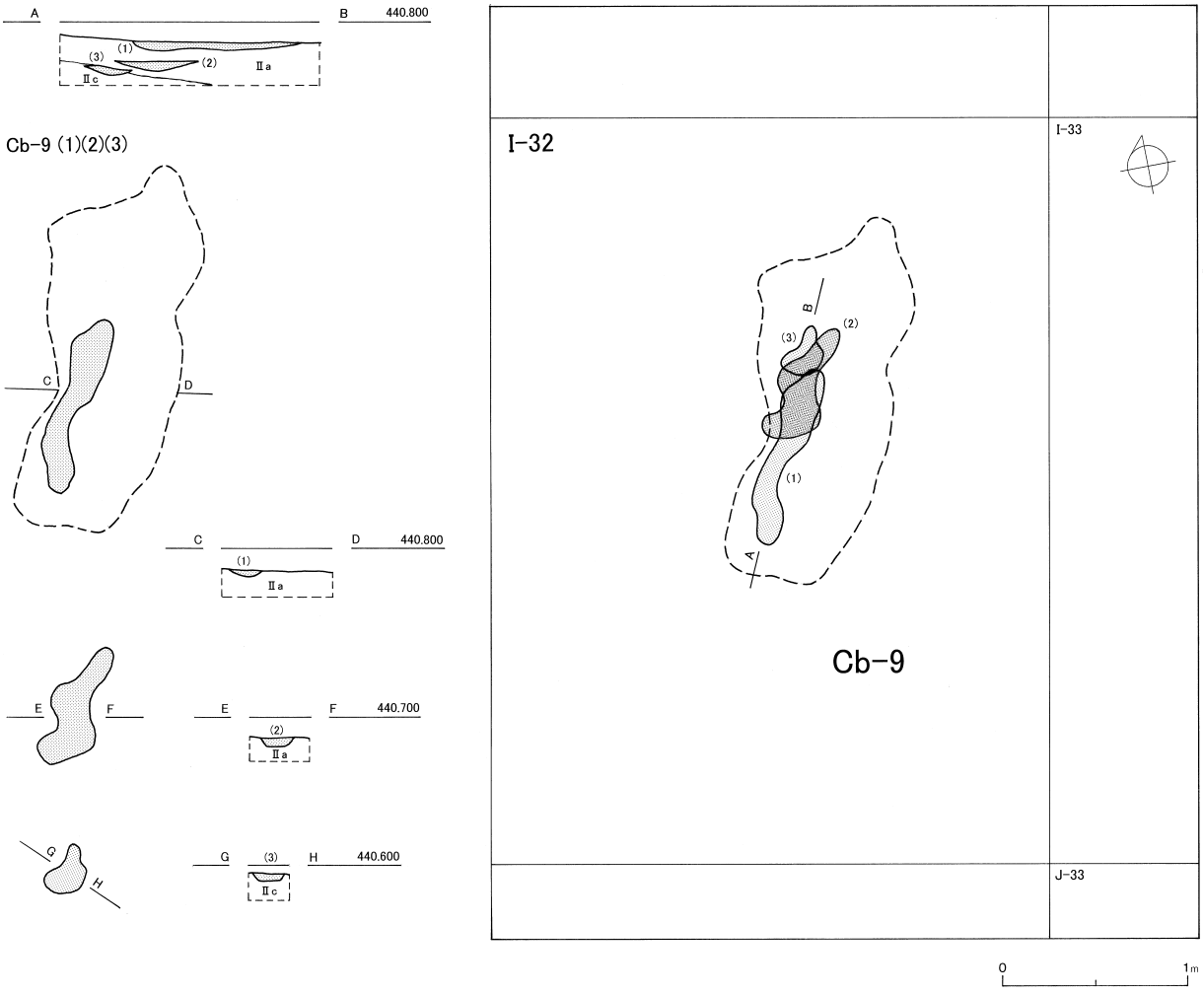
図Ⅲ−16　炭化木片ブロック分布図



Cb-3 (1)(2)(3)(4)(5)(6)(7)(8)(9)



図Ⅲ－17　炭化木片ブロックの平面・断面図(1)



図Ⅲ－18　炭化木片ブロックの平面・断面図(2)

は30×15cm の楕円形の範囲で、厚さは７cm であった。採取した土壌は3,900g で、1.7g の炭化木片を回収した。(4)は10×８cm の不整な円形の範囲で、厚さは２cm であった。周辺には45×30cm の楕円形の範囲で炭化木片が散在していた（破線部)。採取した土壌は100g で、0.2g の炭化木片を回収した。(5)は30×15cm の範囲で、厚さは３cm であった。周辺には径100cm 程の範囲で炭化木片の散在が見られた（破線部)。採取した土壌は1,900g で、2.0g の炭化木片を回収した。(6)は45×20cm の不整な楕円形の範囲で、厚さは５cm であった。南よりの周辺には径50cm 程の範囲で炭化木片の散在が見られた（破線部)。採取した土壌は4,000g で、8.0g の炭化木片を回収した。(7)は27×20cm の洋ナシ形の範囲で、厚さは３cm であった。採取した土壌は2,000g で、0.6g の炭化木片を回収した。(8)は（40）×（12）cm の範囲で、厚さは３cm であった。東側にも集中が広がっていたものと考えられる。採取した土壌は1,600g で、1.1g の炭化木片を回収した。(9)は33×25cm の不整な楕円形の範囲で、厚さは７cm であった。採取した土壌は4,900g で、5.2g の炭化木片を回収した。

炭化木片のうち２点について放射性炭素年代測定を行い、(1)のサンプルに10,280±50y.B.P（Beta－101789・試料 No,3)、(9)のサンプルに10,390±50y.B.P（Beta－186196・SHIRA－111）の測定結果が得られた。

Cb－９（図Ⅲ－18、表Ⅲ－５）

Ⅰ32区、Sb－94の遺物散在部から炭化物の集中部を確認し、(1)を設定した。(1)の下部にそれぞれが分断される形で二つの集中区があり、(2)・(3)を設定した。検出面は(1)・(2)がⅡａ層中、(3)がⅡｃ層の直上である。全体で11,000g の土壌を採取し、13.0g の炭化木片を回収した。

(1)は100×20cm の細長い範囲で、厚さは４cm であった。周辺には200×80cm 程の範囲で炭化木片の散在が見られた（破線部)。採取した土壌は5,900g で、7.9g の炭化木片を回収した。(2)は70×20cm のうねりのある細長い範囲で、厚さは５cm であった。採取した土壌は2,900g で、2.5g の炭化木片を回収した。(3)は28×15cm の不整な楕円形の範囲で、厚さは４cm であった。採取した土壌は2,200g で、2.6g の炭化木片を回収した。

炭化木片のうち２点について放射性炭素年代測定を行い、(1)のサンプルに15,670±240y.B.P（Beta－112897・SHIRA－25)、(3)のサンプルに16,420±150y.B.P（Beta－112898・SHIRA－26）の測定結果が得られた。

Cb－14（図Ⅲ－18、表Ⅲ－５）

Ｏ39区、Sb－83の東側縁辺部の遺物が希薄になる地点から、25×13cm の不整な楕円形の範囲で確認された。厚さは４cm、検出面はⅢ層上面である。採取した土壌は900g で5.8g の炭化木片を回収した。炭化木片のうち２点について放射性炭素年代測定を行い21,980±210y.B.P（Beta－112903・SHIRA－31)、24,340±160y.B.P（Beta－174487・SHIRA－93）の測定結果が得られた。

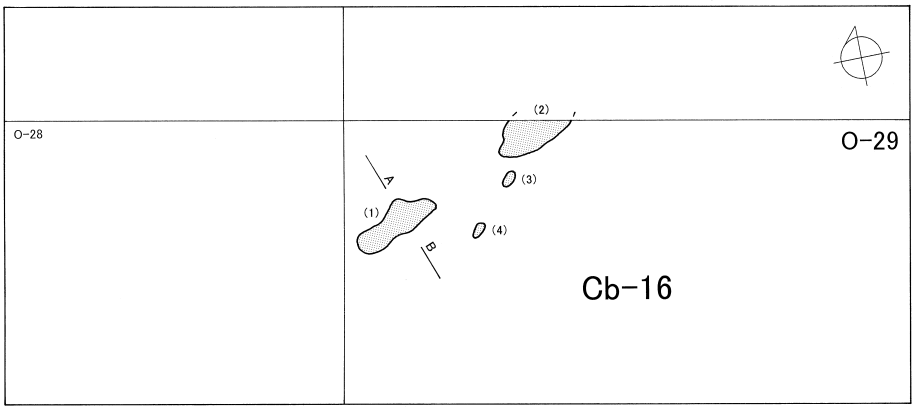
Cb－15（図Ⅲ－18、表Ⅲ－５）

Ｑ39区、Sb－66の10m 東側、Sb－84の11m 南東側の無遺物地帯から、73×50cm の不整な楕円形の範囲で確認された。厚さは８cm、検出面はⅢ層上面である。採取した土壌は25,400g で20.1g の炭化木片を回収した。炭化木片のうち２点について放射性炭素年代測定を行い14,030±110y.B.P（Beta－112904・SHIRA－32)、13,930±50y.B.P（Beta－174488・SHIRA－94）の測定結果が得られた。

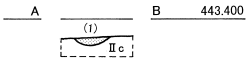
Cb－16（図Ⅲ－19、表Ⅲ－５）

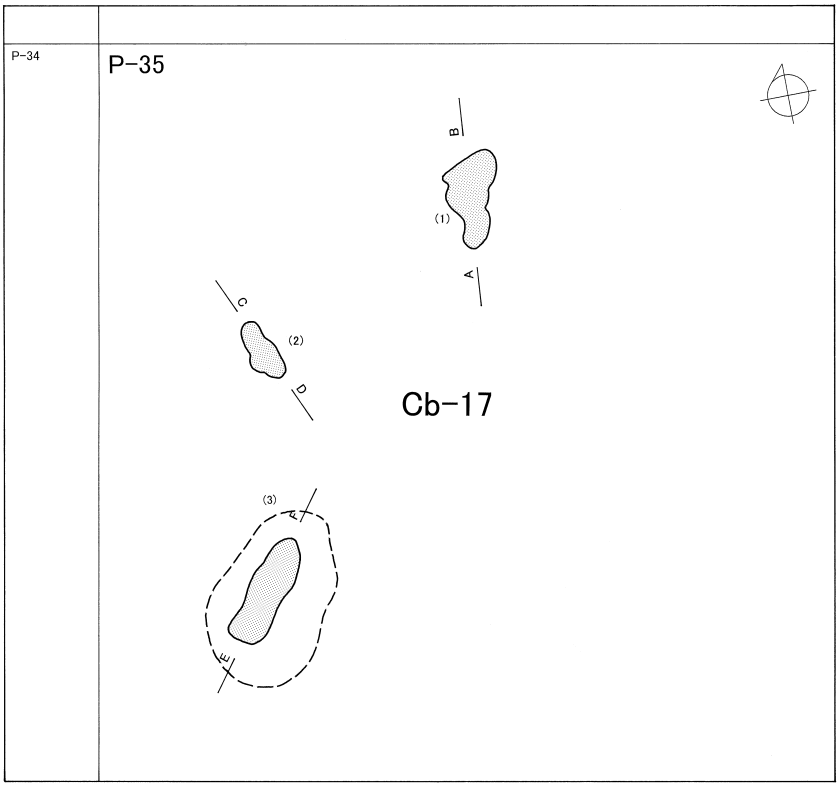
Ｏ29区、Sb－93の遺物集中域から大小四つの炭化物集中を確認し、(1)～(4)を設定した。検出面は全てⅡｃ層直上である。全体で3,200g の土壌を採取し、1.1g の炭化木片を回収した。

(1)は45×17cm の不整な楕円形の範囲で、厚さは４cm であった。採取した土壌は1,800g で、0.6g

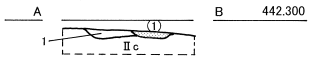


Cb-16 (1)

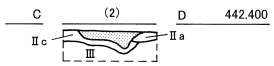


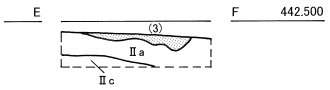


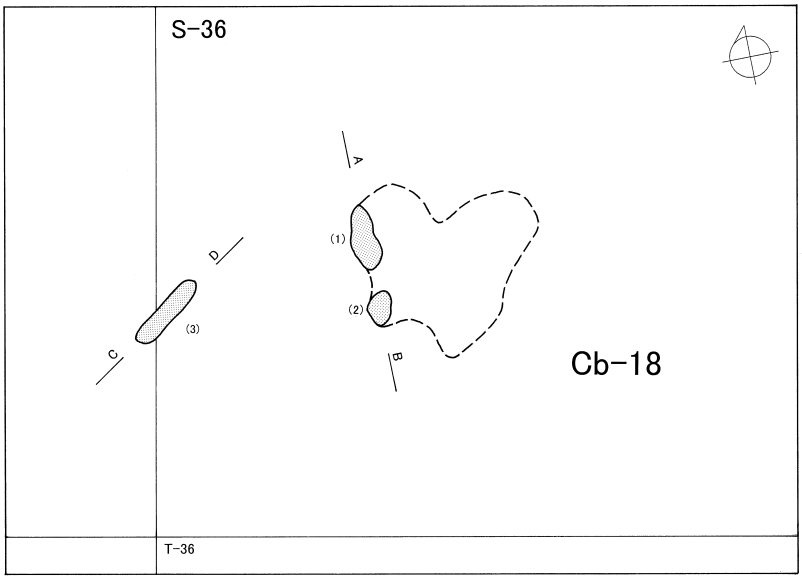
Cb-17 (1)(2)(3)



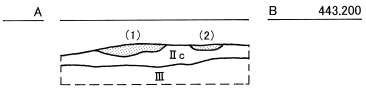
1.炭化物粒を少々含む暗褐色粘土。

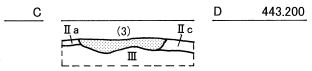


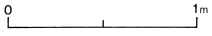




Cb-18 (1)(2)(3)







図Ⅲ－19　炭化木片ブロックの平面・断面図(3)

の炭化木片を回収した。(2)は（40）×（20）cm 範囲で、厚さはほとんどなく、断面図を作成していない。北側にも集中が広がっていたものと考えられる。採取した土壌は1,400g で、0.5g の炭化木片を回収した。(3)・(4)はそれぞれ10cm 程の楕円形の範囲で確認された。厚さはほとんどなく、断面図の作成及び、土壌の採取を行っていない。

炭化木片のうち２点について放射性炭素年代測定を行い、(1)のサンプルに13,530±50y.B.P（Beta－186197・SHIRA－112)、(2)のサンプルに13,790±170y.B.P（Beta－112905・SHIRA－33）の測定結果が得られた。

Cb－17（図Ⅲ－19、表Ⅲ－５）

Ｐ35区、Sb－85の遺物集中域から三つの炭化物集中を確認し、(1)～(3)を設定した。検出面は(1)・(2)がⅡｃ層直上、(3)がⅡａ層中である。全体で80,200g の土壌を採取し、115.6g の炭化木片を回収した。

(1)は52×30cm の不整な楕円形の範囲で、厚さは３cm であった。集中の南部は炭化物が希薄で土層が黒味を帯びていた。採取した土壌は7,200g で、6.1g の炭化木片を回収した。(2)は35×15cm の楕円形の範囲で、厚さは９cm であった。採取した土壌は28, 200g で、16. 1g の炭化木片を回収した。(3)は60×21cm の長楕円形の範囲で、厚さは７cm であった。周辺には95×65cm 程の範囲で炭化木片の散在が見られた。採取した土壌は44,800g で、93.4g の炭化木片を回収した。

炭化木片のうち２点について放射性炭素年代測定を行い、(1)のサンプルに18,840±160y.B.P（Beta－112906・SHIRA－34)、(3)のサンプルに18,470±270y.B.P（Beta－101793・試料 No,7）の測定結果が得られた。

Cb－18（図Ⅲ－19、表Ⅲ－５）

Ｓ35・36区、Sb－66の遺物集中域、Sb－87の遺物の希薄な東側縁辺部に三つの集中域を確認し、(1)～(3)を設定した。検出面は(1)・(2)がⅡｃ層の直上、(3)がⅢ層の直上である。全体で15,800g の土壌を採取し、11.1g の炭化木片を回収した。

(1)は33×15cm の楕円形の範囲で、厚さは５cm である。採取した土壌は3,800g で、2.9g の炭化木片を回収した。(2)は17×11cm の不整な楕円形の範囲で、厚さは３cm である。(1)・(2)の束よりの周辺には径100cm 程の範囲で炭化木片の散在が見られた（破線部)。採取した土壌は900g で、0.8g の炭化木片を回収した。(3)は42×11cm の長楕円形の範囲で、厚さは７cm である。採取した土壌は11,100g で7.4g の炭化木片を回収した。

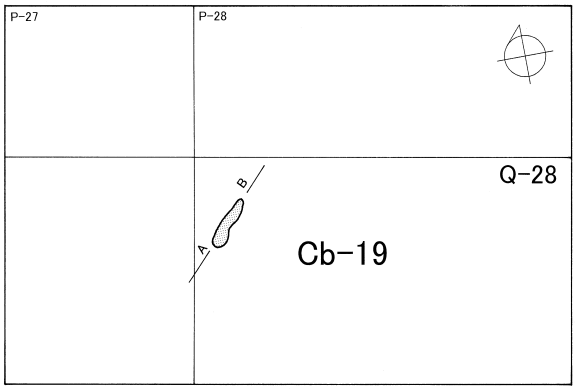
炭化木片のうち２点について放射性炭素年代測定を行い、(3)のサンプルに23,620±310y.B.P（Beta－112907・SHIRA－35)、22,210±110y.B.P（Beta－186198・SHIRA－113）の測定結果が得られた。

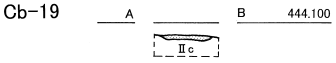
Cb－19（図Ⅲ－20、表Ⅲ－５）

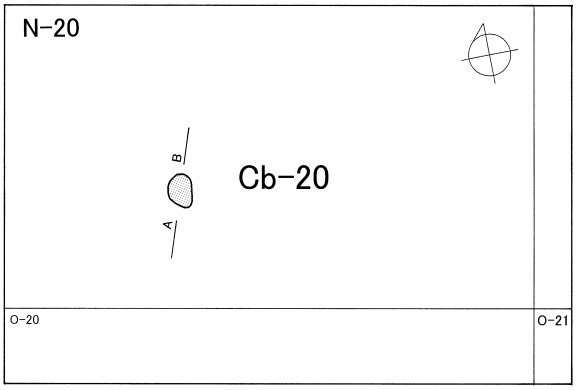
Ｑ28区、Sb－93の集中域の南西部から28×７cm の細長い範囲、厚さ２cm で確認された。検出面はⅡｃ層直上である。採取した土壌は600g で1.9g の炭化木片を回収した。また、周辺にも炭化木片が散在しており、0.9g の炭化木片を取り上げた。炭化木片のうち２点について放射性炭素年代測定を行い、25,870±290y.B.P（Beta－112908・SHIRA－36)、28,120±180y.B.P（Beta－186199・SHIRA－114）の測定結果が得られた。

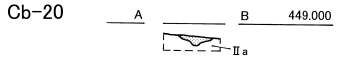
Cb－20（図Ⅲ－20、表Ⅲ－５）

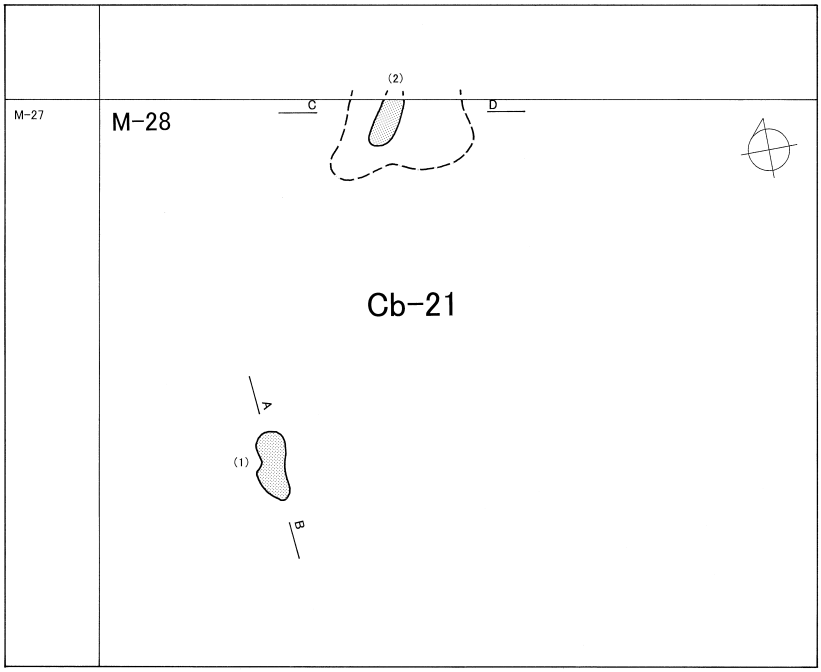
Ｎ20区、Sb－101の遺物の希薄な東側縁辺部から18×12cm の不整な円形の範囲、厚さ４cm で確認された。検出面はⅡａ層中である。採取した土壌は1,000g で3.2g の炭化木片を回収した。炭化木片のうち２点について放射性炭素年代測定を行い、14,140±110y.B.P（Beta－112909・SHIRA－37)、

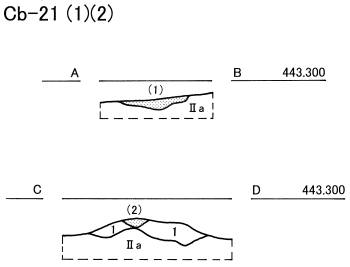




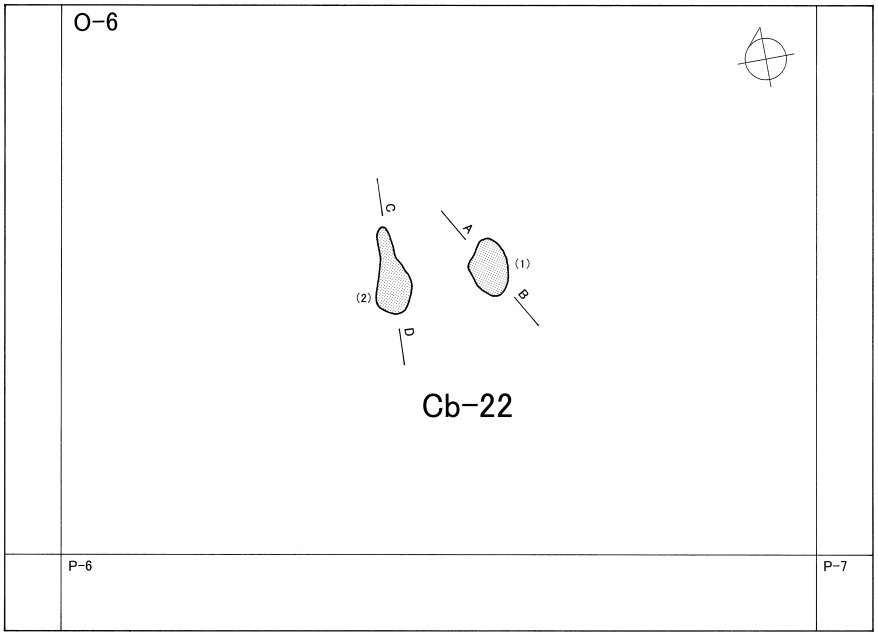


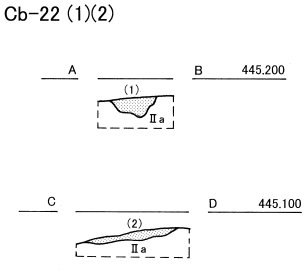


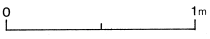




1.炭化物が散在する範囲。







図Ⅲ－20　炭化木片ブロックの平面・断面図(4)

13,910±80y.B.P（Beta－186200・SHIRA－115）の測定結果が得られた。

Cb－21（図Ⅲ－20、表Ⅲ－５）

M28区、Sb－95の遺物集中域の中央から二つの集中部を確認し、(1)・(2)を設定した。検出面はⅡａ層中である。全体で11,000g の土壌を採取し、13.1g の炭化木片を回収した。

(1)は37×17cm の不整な楕円形の範囲で、厚さは６cm であった。採取した土壌は2,100g で2.4g の炭化木片を回収した。(2)は（25）×10cm の範囲で、厚さは４cm であった。周辺には38×70cm 程の範囲で炭化木片の散在が見られた（破線部）。北側にも集中が広がっていたものと考えられる。採取した土壌は8,900g で、10.7g の炭化木片を回収した。

炭化木片のうち２点について放射性炭素年代測定を行い、(2)のサンプルに15,850±170y.B.P（Beta－101794・試料 No.８）、15,750±130y.B.P（Beta－112910・SHIRA－38）の測定結果が得られた。

Cb－22（図Ⅲ－20、表Ⅲ－５）

Ｏ６区、Sb－110の東側の集中域の遺物が散漫な地点から二つの集中部を確認し、(1)・(2)を設定した。検出面はⅡａ層中である。全体で5,150g の土壌を採取し、26.1g の炭化木片を回収した。

(1)は30×18cm の楕円形の範囲で、厚さは10cm である。採取した土壌は2,900g で、3.3g の炭化木片を回収した。(2)は46×18cm の一端が細くなる楕円形の範囲で、厚さは５cm である。採取した土壌は1,750g で、3.9g の炭化木片を回収した。また、Cb－22の周囲には炭化木片が広範囲に散在しており、500g の土壌を採取し、18.9g の炭化木片を回収した。

炭化木片のうち２点について放射性炭素年代測定を行い、(1)のサンプルに15,790±110y.B.P（Beta－126163・SHIRA－52）、15,980±90y.B.P（Beta－186201・SHIRA－116）の測定結果が得られた。

Cb－23（図Ⅲ－21、表Ⅲ－５）

Ⅰ19区、Sb－102の遺物集中域から二つの炭化物の集中部を確認し、(1)・(2)を設定した。その下部に(1)・(2)と分断される形で大きな集中区があり、(3)を設定した。検出面は(1)・(2)がⅡａ層中、(3)がⅡａ層下部である。全体で12,470g の土壌を採取し、38.5g の炭化木片を回収した。

(1)は26×10cm の不整な楕円形の範囲で、厚さは４cm であった。北側の周辺部には75×30cm 程の範囲で炭化木片の散在が見られた（破線部）。採取した土壌は2,300g で、8.4g の炭化木片を回収した。(2)は32×12cm の端部が鉤状の範囲で、厚さは７cm であった。東側の周辺部には55×20cm 程の範囲で炭化木片の散在が見られた（破線部）。採取した土壌は2,900g で、4.6g の炭化木片を回収した。(3)は132×65cm の不整な細長い範囲で、厚さは６cm であった。周辺には235×200cm 程の広い範囲で炭化木片の散在が見られた（破線部）。採取した土壌は7,270g で、25.5g の炭化木片を回収した。

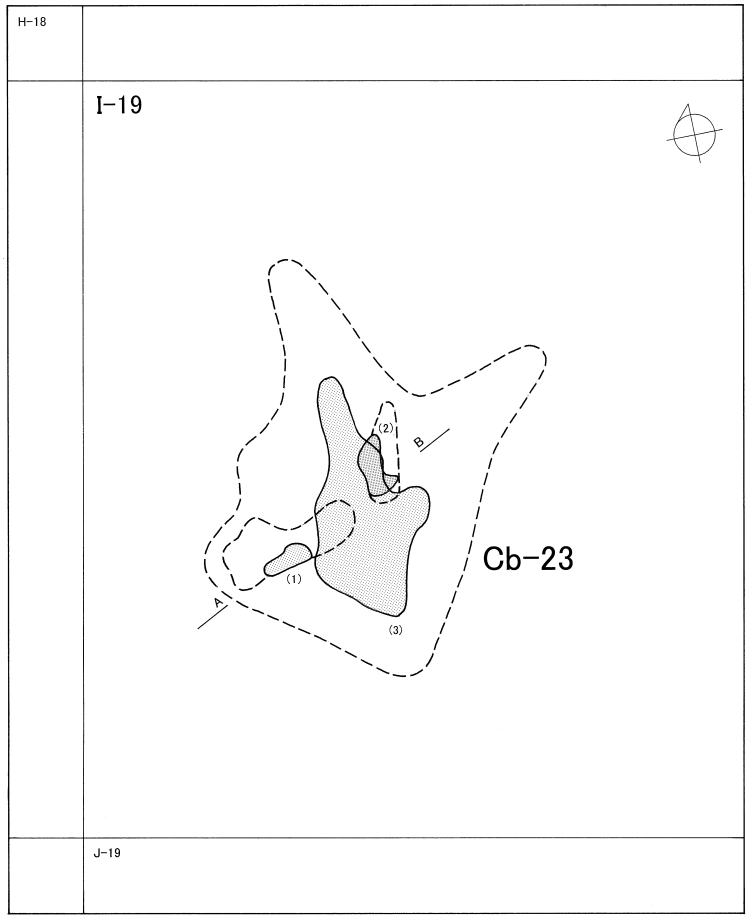
炭化木片のうち２点について放射性炭素年代測定を行い、(3)のサンプルに15,890±90y.B.P（Beta－150448・SHIRA－81）、15,590±130y.B.P（Beta－150449・SHIRA－82）の測定結果が得られた。

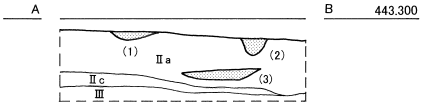
Cb－24（図Ⅲ－21、表Ⅲ－５）

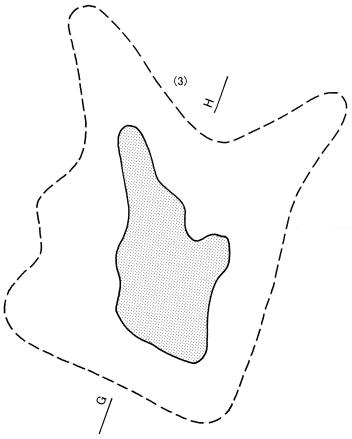
Ｈ18区、Sb－102の集中域の北側の遺物が散漫な地点から二つの集中部を確認し、(1)・(2)を設定した。いずれも厚さはほとんどなく、断面図を作成していない。検出面はⅡａ層中である。全体で750g の土壌を採取し、1.4g の炭化木片を回収した。

(1)は20×16cm の不整な円形の範囲である。採取された土壌は280g で、0.6g の炭化木片を回収した。(2)は16× ９cm の楕円形の範囲である。採取された土壌は470g で、0. 8g の炭化木片を回収した。

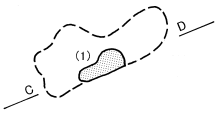
炭化木片のうち２点について放射性炭素年代測定を行い、(1)のサンプルに15,950±110y.B.P（Beta－150451・SHIRA－84）、(2)のサンプルに15,450±90y.B.P（Beta－150450・SHIRA－83）の測定結

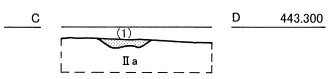


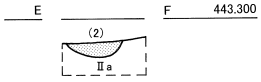


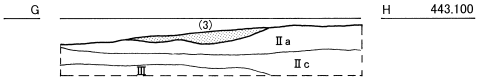


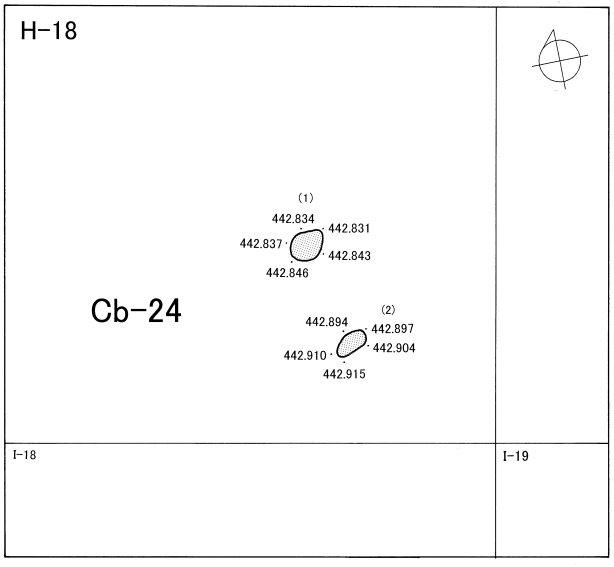
Cb-23 (1)(2)(3)

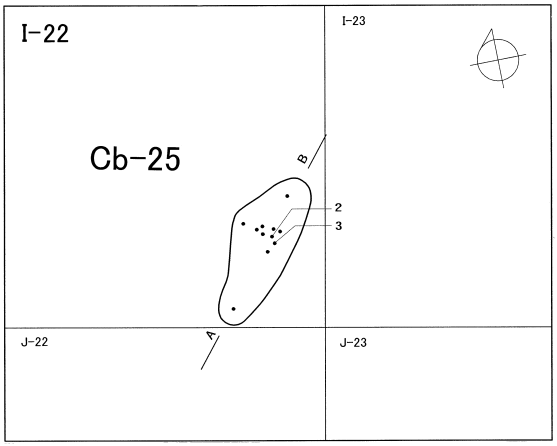




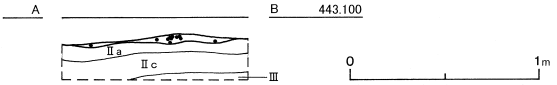




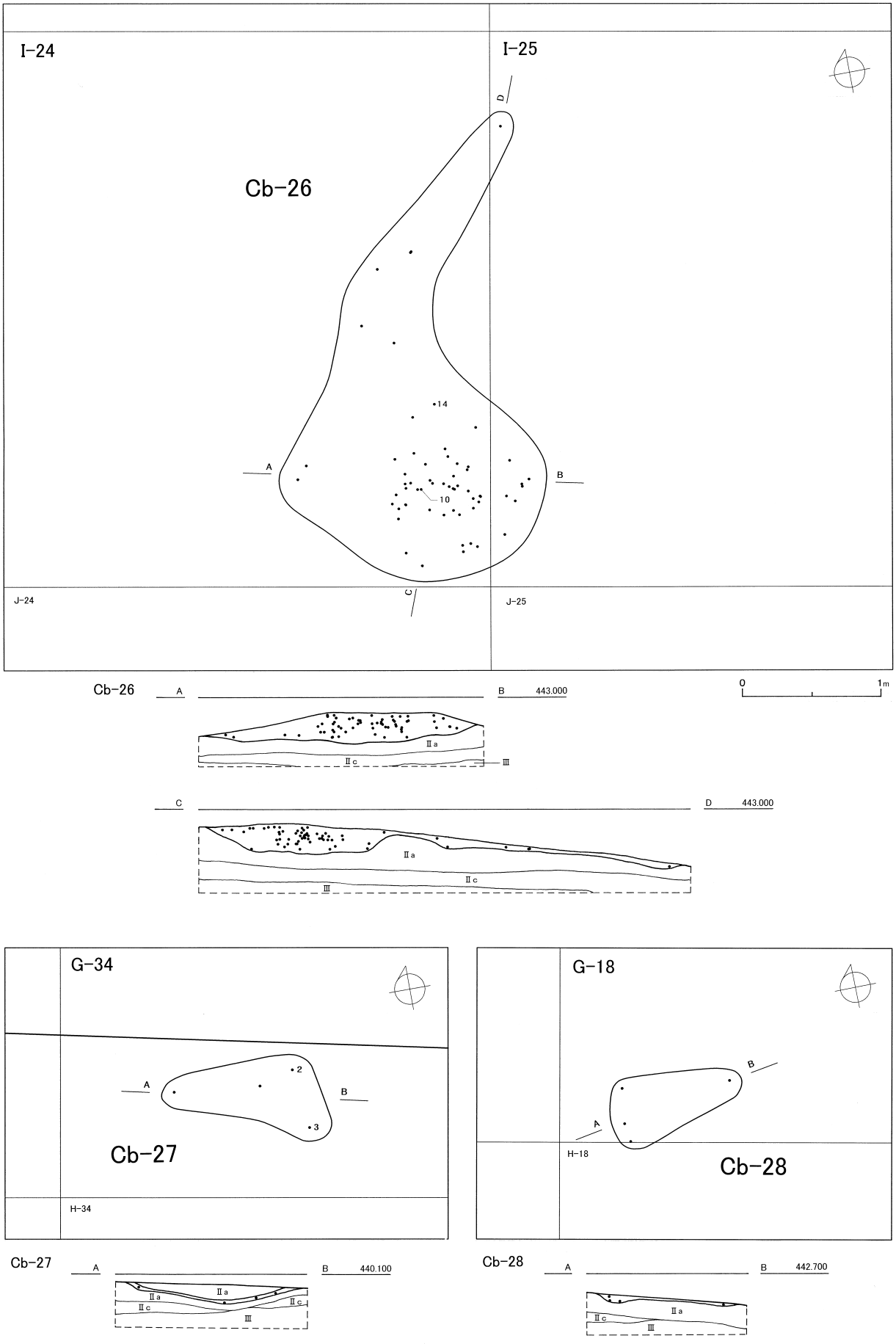




Cb-25



図Ⅲ－21　炭化木片ブロックの平面・断面図(5)



図Ⅲ－22　炭化木片ブロックの平面・断面図(6)

果が得られた。

Cb－25（図Ⅲ－21、表Ⅲ－５）

Ⅰ22区､Sb－99と97の境の遺物集中域から85×35cmの楕円形の範囲に炭化木片が散在しているのを確認し、11点の地点計測を行い、取り上げた。検出面はⅡａ層中である。炭化木片の合計は0.16gである。炭化木片のうち２点について放射性炭素年代測定を行い、Ⅰ22－２に13,630±40y.B.P（Beta－150452・SHIRA－85)、Ⅰ22－３に13,730±80y.B.P（Beta－150453・SHIRA－86）の測定結果が得られた。

Cb－26（図Ⅲ－22、表Ⅲ－５）

Ⅰ24・25区、Sb－97の遺物集中域から100cm程の範囲に炭化木片がまとまり、そこから北側に散在しているのを確認し、62点の地点計測を行い、取り上げた。炭化木片には15cm程の高低差が見られる。検出面はⅡａ層中である。炭化木片の合計は1.39gである。炭化木片のうち２点について放射性炭素年代測定を行い、Ⅰ24－10に13, 730±90y.B.P(Beta－150455・SHIRA－88)、Ⅰ24－14に13, 730±80y.B.P（Beta－150454・SHIRA－87）の測定結果が得られた。

Cb－27（図Ⅲ－22、表Ⅲ－５）

Ｇ34区、Sb－91の遺物散在部から120×50cmの不整な楕円形の範囲に炭化木片が散在しているのを確認し、４点の地点計測を行い、取り上げた。検出面はⅡａ層中で、炭化木片は僅かに高低差を持って出土した。炭化木片の合計は0.44gである。炭化木片のうち２点について放射性炭素年代測定を行い、G34－２に18,660±130y.B.P（Beta－150456・SHIRA－89)、Ｇ34－３に18,570±130y.B.P（Beta－150457・SHIRA－90）の測定結果が得られた。

Cb－28（図Ⅲ－22、表Ⅲ－５）

Ｇ18区、Sb－103の遺物集中域から100×50cmの不整な楕円形の範囲に炭化木片が散在しているのを確認し４点の地点計測を行い、取り上げた。厚さはほとんどなく、検出面はⅡａ層中である。炭化木片の合計は0.33gである。（直江康雄）

（２）遺物分布と石器ブロック・石器ブロック群・区域

西地区の出土地点を計測して取り上げた遺物（以下点取り遺物）は126,475点である。遺跡は大きく、高位部・斜面部・低位部に分けられ（図Ⅲ－14・15)、高位部は、40ラインより西側が南側から連続する緩やかな馬の背状で、40～50ラインにかけては沢状の地形、50ラインより東は舌状の平坦面が北東方向に張り出す地形である。さらに､その東側は急な斜面部を挟んで低位部へと連続している。今回報告する西地区は、西側が比高差30mの深い沢、東側が40～50ラインの沢状の地形で区切られた緩やかな馬の背状の地形である。遺物集中域の形状は周氷河性のソリフラクションなどの影響により、遺物の傾斜方向の移動が認められるが、本来の分布を大きく変えるものではないと考えられる。

整理作業では技術的特徴をもとに「白滝Ⅰ群」を分離し､「白滝Ⅰ群」とそれ以外に分けて接合作業以降の整理を行った。これらは、分布上重複する地点（Sb－67・82、69・91、78・109、79・110、など）があるが、奥白滝１遺跡で確認されたレベル差（直江ほか　2002の図Ⅲ－17）は確認できなかった（図Ⅲ－27)。

「白滝Ⅰ群」については従来通りに遺物分布・密度分布・接合関係からブロックを16（Sb－64～79）に分け、それらを三つの石器ブロック群に分類した（図Ⅲ－23・24)。

「白滝Ⅰ群」以外については、白滝遺跡群の既報告の遺跡と比較して高密度の分布域が広範囲に連続し（図Ⅲ－24)、また、その連続した分布に複数の石器群が重複する複雑な様相を示している。そ

のため、東地区同様、ブロック設定はそれらの連続した分布をいくつかの単位に分けて記述・把握するための手段として便宜的に行った。まず、等量線図（図Ⅲ－24）の20点のラインで括り、それらが広範囲に及ぶ場合はそのラインのくびれた部分で分割した。また、50点以下の独立した山に関しては近隣の50点以上の山に統合した。Sb－80・81・83・84・86～88・98～105・109・111はこのような基準で分離し、それ以外については、以下に具体的な分割基準を述べる。

東地区に比べ集中域が明確なＧ・Ｋ区では、Sb－82・85・89・110の認定の際に、隣接し連続する２か所の50点以上の山を括った。Sb－90・92は完全に分布が連続しているが、忍路子型細石刃核を含む石器群と小型舟底形石器（舟底形石器Ⅰ類）を含む石器群が接合資料や単体石器の分布上、分けられるため分割した。Sb－91・106・107に関しては全て50点以下の山であるが、分布上分離できるためにブロックとして認定した。Sb－93・95は連続し、境界付近では接合関係も見られるが、これらを統合すると大規模になりすぎ､把握が困難になるため､50点のラインのくびれた部分で分割した。Sb－96・97は分布が連続しているが、接合資料の分布からそれらを分割し、さらにSb－96はSb－95との接合関係が認められることから区域もSb－97と分離し、Ⅰ区に含めた｡非常に大規模なSb－93・95・97についてはそれぞれの南西端に連続する50点以上の山を統合した。

以上の結果、32のブロック（Sb－80～111）（図Ⅲ－26）を設定した。接合関係（図Ⅲ－25・26）を見るとほとんどは近接した範囲で接合するが、広範囲にわたる遠距離間での接合も見られ、特に、Sb－97～102は東西方向のブロック間接合が多く認められる。従来通り、接合関係で石器群の認定を行うと、Sb－80～106は一つの石器ブロック群として認定可能であるが、実際には特徴的な石器や接合関係の強弱を基準にするとまとまりが認められ、それらを基準に各ブロックを５つ（Ｇ～Ｋ）の「区域」（図Ⅲ－26）に分類した。「区域」で括られた遺物の集合体は、同一の石器製作技術を持ち、同一時期の所産と考えられるまとまりである「石器ブロック群」とは異なり、純粋な石器群を反映したものではないが、複数石器群の重複の中にぼやけた実体として把握される。

以上のように西地区を48の石器ブロック（Sb－64～111）に分け、それらをSb－64～70、71、72～79、Ｇ区（Sb－80～89）、Ｈ区（Sb－90）、Ⅰ区（Sb－91～96）、Ｊ区（Sb－97～107）、Ｋ区（Sb－108～111）の８の石器ブロック群・区域に分離した。

遺跡全体では斜面部を除く高位部・低位部は111の石器ブロック（Sb－１～111）に分けられ（図Ⅲ－26・27)、「白滝Ⅰ群」はSb－１～３、４～６、７・８、９、10、11～13、64～70、71、72～79の９の石器ブロック群に、「白滝Ⅰ群」以外はＡ区（Sb－14～19)、Ｂ区（Sb－20～29)、Ｃ区（Sb－30～35)、Ｄ区（Sb－36～55)、Ｅ区（Sb－56～60)、Ｆ区（Sb－61)、Ｇ区（Sb－80～89)、Ｈ区（Sb－90)、Ⅰ区（Sb－91～96)、Ｊ区（Sb－97～107)、Ｋ区（Sb－108～111）の11の区域に分離した。

以下に、石器ブロック群・区域とブロックの関係について述べる。

Sb－64～70は「白滝Ⅰ群」である。剥片の裏面縁辺に軽微な加工を施した裏面微細加工石器を主体とし、うろこ状剥片の腹面の打瘤部に平坦剥離を施した基部平坦加工石器、掻器、錐形石器が伴出している。石核は作業面をほぼ固定し、平坦面で剥離を行うもの、小口面で剥離を行うもの、交互剥離を基本に打面転移を頻繁に行うものなどが見られる。原石の形状は転礫がほとんどを占めるが、角礫を素材とした石核が１点確認された。無遺物地帯を挟んで広い範囲に分布しているが、Sb－68を除いてそれぞれにブロック間での接合関係が確認された。

Sb－71は「白滝Ⅰ群」である。二次加工ある剥片、掻器が伴出している。石核は打面転移を頻繁に行うものが見られる。原石の形状は転礫のみである。他のブロックとの母岩の共有関係・接合関係がないことから独立した石器ブロック群とした。

表Ⅲ－7　西地区出土点取り遺物ブロック･石質別一覧(1)　＊重量の単位は（g）

石器群	Sb	石質	尖頭器＊＊						両面調整石器		ナイフ形石器		彫器						掻器		削器		錐形石器		舟底形石器Ⅰ類		舟底形石器Ⅱ類						細石刃核	
			Ⅰ類＊＊＊		Ⅱ類		Ⅲ類						Ⅰ類		Ⅱ類		Ⅲ類								Ⅰａ類		Ⅱａ類		Ⅱｂ類		Ⅱｃ類			
			点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量
Sb－64～70	64	黒曜石1																					2	43.0										
		黒曜石2																																
		黒曜石3																																
		黒曜石4																																
		黒曜石5																																
		小計																					2	43.0										
	65	黒曜石1																																
		黒曜石4																																
		黒曜石5																																
		小計																																
	66	黒曜石1																	1	330.6	1	38.3												
		黒曜石4																																
		安山岩																																
		頁　岩																																
		小計																	1	330.6	1	38.3												
	67	黒曜石1																																
		小計																																
	68	黒曜石1																																
		黒曜石3																																
		小計																																
	69	黒曜石1																																
		黒曜石3																																
		黒曜石4																																
		黒曜石5																																
		小計																																
	70	黒曜石1																	1	546.5	1	15.5												
		黒曜石2																																
		黒曜石4																	5	26.4														
		安山岩																																
		小計																	6	572.9	1	15.5												
		計																	7	903.5	2	53.8	2	43.0										
Sb－71	71	黒曜石1																	1	159.0														
		黒曜石2																																
		小計																	1	159.0														
		計																	1	159.0														
Sb－72～79	72	黒曜石1																	2	193.1														
		黒曜石2																																
		黒曜石4																																
		小計																	2	193.1														
	73	黒曜石1																	3	250.7														
		黒曜石4																	1	79.3														
		黒曜石5																	2	179.1														
		珪　岩																	1	74.3														
		小計																	7	583.4														
	74	黒曜石1																	2	277.4														
		黒曜石3																																
		黒曜石4																	1	34.2														
		黒曜石5																	8	555.7			1	3.9										
		めのう																	1	29.5														
		小計																	12	896.8			1	3.9										
	75	黒曜石1																	2	80.0														
		黒曜石3																																
		黒曜石4																																
		黒曜石5																																
		小計																	2	80.0														
	76	黒曜石1																	1	30.6														
		黒曜石4																																
		黒曜石5																	1	32.1														
		安山岩																			1	262.6												
		珪　岩																																
		めのう																																
		小計																	2	62.7	1	262.6												
	77	黒曜石1																	14	1013.3			1	15.8										
		黒曜石3																	4	173.3														
		黒曜石4																	2	220.6	1	84.7												
		黒曜石5																	15	831.5														
		安山岩																																
		珪　岩																																
		めのう																																
		泥　岩																																
		小計																	35	2238.7	1	84.7	1	15.8										
	78	黒曜石1																	5	139.6														
		黒曜石3																																
		黒曜石5																	5	222.6														
		小計																	10	362.2														
	79	黒曜石1																					1	3.6										
		黒曜石5																																
		小計																					1	3.6										
		計																	70	4416.9	2	347.3	3	23.3										
Sb－80～89	80	黒曜石1	1	98.6																														
		黒曜石3																																
		黒曜石4																																
		黒曜石5																			1	2.5												
		小計	1	98.6																	1	2.5												
	81	黒曜石1																																
		黒曜石3																																
		黒曜石4	1	21.9																	1	21.4												
		黒曜石5																			1	4.3												
		小計	1	21.9																	2	25.7												
	82	黒曜石1													4	13.2			1	19.1	2	13.0			1	1.7	4	41.8						
		黒曜石2																																
		黒曜石3	1	135.8																							1	18.3						
		黒曜石4			1	112.0									1	3.5					5	93.8	3	41.9			21	615.0						
		黒曜石5																									1	127.4						
		小計	1	135.8	1	112.0									5	16.7			1	19.1	7	106.8	3	41.9	1	1.7	27	802.5						
	83	黒曜石1									1	3.0	1	5.2	1	3.9			1	121.1	2	151.5					2	36.9	2	138.4				
		黒曜石2																																
		黒曜石3																			1	8.1					1	105.8						
		黒曜石4	8	534.7	1	62.6															6	133.7					8	139.2						
		黒曜石5													1	11.3					4	61.6												
		小計	8	534.7	1	62.6					1	3.0	1	5.2	2	15.2			1	121.1	13	354.9					11	281.9	2	138.4				
	84	黒曜石1											1	4.5							1	4.2												

＊＊器種名上段は全体･東地区の分類　＊＊＊下段は西地区の細分類

表Ⅲ－８　西地区出土点取り遺物ブロック・石質別一覧(2)　＊重量の単位は（g）

二次加工ある剥片								石刃		縦長剥片		石刃核		石核		影器削片				その他削片		尖頭器削片		剥片		斧形石器		つまみ付きナイフ		原石		礫石器等		合計	
基部平坦加工石器		裏面微細加工石器		台形石器		二次加工ある剥片										影器削片Ⅰ類		影器削片Ⅱ類		影器削片Ⅲ類															
点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量
1	2.6	2	13.3			2	19.7							7	3029.6									188	1900.5									202	5008.7
																								7	30.0									7	30.0
																								3	33.9									3	33.9
														1	50.9									3	29.1									4	80.0
																								7	79.8									7	79.8
1	2.6	2	13.3			2	19.7							8	3080.5									208	2073.3									223	5232.4
														2	239.9									8	52.5									10	292.4
																								1	104.3									1	104.3
														2	247.7									1	16.9									3	264.6
														4	487.6									10	173.7									14	661.3
		5	22.1			1	10.5							18	3102.3									280	3789.3									306	7293.1
														1	529.5									36	725.5									37	1255.0
		1	10.8																															1	10.8
																								1	8.9									1	8.9
		6	32.9			1	10.5							19	3631.8									317	4523.7									345	8567.8
1	3.0	7	60.0			1	23.4			1	14.2			5	1492.1									71	516.5									86	2109.2
1	3.0	7	60.0			1	23.4			1	14.2			5	1492.1									71	516.5									86	2109.2
		3	19.2																					35	271.0									38	290.2
		1	2.5																					4	15.8									5	18.3
		4	21.7																					39	286.8									43	308.5
		1	11.4			1	8.6							3	609.1									186	2223.4									191	2852.5
																								1	6.9									1	6.9
																								1	2.0									1	2.0
																								1	21.1									1	21.1
		1	11.4			1	8.6							3	609.1									189	2253.4									194	2882.5
		3	76.7			4	41.7							10	2758.2									142	1107.8									161	4546.4
														1	203.1																			1	203.1
														6	690.4									67	916.1									78	1632.9
																								1	35.6									1	35.6
		3	76.7			4	41.7							17	3651.7									210	2059.5									241	6418.0
2	5.6	23	216.0			9	103.9			1	14.2			56	12952.8									1044	11886.9									1146	26179.7
						1	20.6							1	80.6									3	46.4									6	306.6
						3	197.3							1	100.9									12	605.2									16	903.4
						4	217.9							2	181.5									15	651.6									22	1210.0
						4	217.9							2	181.5									15	651.6									22	1210.0
														1	359.2									15	215.7									18	768.0
																								1	66.1									1	66.1
																								2	160.8									2	160.8
														1	359.2									18	442.6									21	994.9
														2	655.7									8	247.3									13	1153.7
																								1	109.1									2	188.4
														2	855.8									4	424.3									8	1459.2
																								1	0.5									2	74.8
														4	1511.5									14	781.2									25	2876.1
														1	66.9									31	766.5									34	1110.8
														1	94.5																			1	94.5
														1	227.8									4	165.5									6	427.5
						1	121.3							3	196.6									50	1700.0									63	2577.5
																																		1	29.5
						1	121.3							6	585.8									85	2632.0									105	4239.8
																								28	465.6									30	545.6
																								3	4.2									3	4.2
																								1	29.5									1	29.5
																								25	457.1									25	457.1
																								57	956.4									59	1036.4
						2	60.3			1	23.7			2	2067.7									71	2028.8									77	4211.1
																								5	160.6									5	160.6
						2	54.6							1	274.4									26	796.7									30	1157.8
																																		1	262.6
																								2	167.0									2	167.0
																								1	2.9									1	2.9
						4	114.9			1	23.7			3	2342.1									105	3156.0									116	5962.0
														7	1305.9									121	2235.3					10	50.7			153	4621.0
														1	21.9									5	147.9									10	343.1
														1	93.2									4	76.2									8	474.7
				1	15.7	1	32.5							6	2078.5									104	1466.5					4	6.6			131	4431.3
																								1	31.3							1	634.8	2	666.1
																								9	93.4									9	93.4
														1	101.9									1	1.6									2	103.5
																										1	50.0							1	50.0
				1	15.7	1	32.5							16	3601.4									245	4052.2	1	50.0			14	57.3	1	634.8	316	10783.1
																								18	761.2									23	900.8
																								3	44.6									3	44.6
						1	10.4																	7	72.3									13	305.3
						1	10.4																	28	878.1									39	1250.7
						1	26.4							1	197.9									55	1207.7									58	1435.6
																								7	161.1									7	161.1
						1	26.4							1	197.9									62	1368.8									65	1596.7
				1	15.7	8	305.5			1	23.7			31	8597.9									614	14267.3	1	50.0			14	57.3	1	634.8	746	28739.7
																								132	554.7									133	653.3
																								39	159.0									39	159.0
						1	83.5																	69	602.6									70	686.1
																								39	144.5									40	147.0
						1	83.5																	279	1460.8									282	1645.4
																								10	69.6					1	3.2			11	72.8
																								89	451.4									89	451.4
										1	16.7													745	4986.4									748	5046.4
								2	18.6															1	27.0									4	49.9
								2	18.6	1	16.7													845	5534.4					1	3.2			852	5620.5
						1	4.8	10	59.4	15	52.0	1	75.3											172	1323.2									211	1603.5
																								1	2.0									1	2.0
										1	5.4			1	574.9									100	513.8									104	1248.2
						11	222.6	11	100.0	13	94.3	7	1094.0	3	412.1									1713	12950.1									1789	15739.3
																								17	423.5									18	550.9
						12	227.4	21	159.4	29	151.7	8	1169.3	4	987.0									2003	15212.6									2123	19143.9
						1	6.4	23	354.2	13	268.9			1	44.9									158	1399.4					2	224.3			208	2758.1
																								5	68.5									5	68.5
								5	62.9													1	6.8	99	610.6									107	794.2
						6	78.1	2	5.2	9	63.4	1	110.3	2	128.1					1	0.5	9	73.3	1718	6927.7									1771	8256.8
						2	12.4	22	722.1	9	82.3	5	120.0											15	126.2									58	1135.9
						9	96.9	52	1144.4	31	414.6	6	230.3	3	173.0					1	0.5	10	80.1	1995	9132.4					2	224.3			2149	13013.5
						2	29.8	6	58.1															49	396.3									59	492.9

表Ⅲ－9　西地区出土点取り遺物ブロック･石質別一覧(3)　＊重量の単位は（g）

石器群	Sb	石質	尖頭器＊＊						両面調整石器		ナイフ形石器		彫器						掻器		削器		錐形石器		舟底形石器Ⅰ類		舟底形石器Ⅱ類						細石刃核	
			Ⅰ類＊＊＊		Ⅱ類		Ⅲ類						Ⅰ類		Ⅱ類		Ⅲ類								Ⅰａ類		Ⅱａ類		Ⅱｂ類		Ⅱｃ類			
			点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量
Sb－80～89	84	黒曜石3																			2	77.1					1	34.0						
		黒曜石4																			1	28.0												
		黒曜石5																			1	35.2												
		頁　岩																					1	8.2										
		小計											1	4.5							5	144.5	1	8.2			1	34.0						
	85	黒曜石1	2	123.1									2	8.2							4	89.2					3	92.1						
		黒曜石2																																
		黒曜石3																																
		黒曜石4							2	664.3			1	6.1	1	34.0					12	154.9	1	16.9	3	5.6	3	127.9						
		黒曜石5																							1	2.7								
		頁　岩													2	17.1																		
		小計	2	123.1					2	664.3			3	14.3	3	51.1					16	244.1	1	16.9	4	8.3	6	220.0						
	86	黒曜石1	1	183.0															4	37.2	2	75.4					2	38.3						
		黒曜石2																																
		黒曜石3																	1	13.1	1	4.1												
		黒曜石4	1	177.7	2	274.3									1	6.0			1	7.1	9	476.6			1	1.2	21	472.5						
		黒曜石5																	8	320.2	5	161.9	1	18.9										
		頁　岩																																
		小計	2	360.7	2	274.3									1	6.0			14	377.6	17	718.0	1	18.9	1	1.2	23	510.8						
	87	黒曜石1							1	6.6			2	9.5	2	14.8					1	10.7												
		黒曜石2																																
		黒曜石3																																
		黒曜石4							1	30.9					2	6.3			1	7.9	14	349.5					15	321.5						
		黒曜石5																																
		小計							2	37.5			2	9.5	4	21.1			1	7.9	15	360.2					15	321.5						
	88	黒曜石1	4	150.1											1	2.8			3	64.6														
		黒曜石3																																
		黒曜石4																									1	34.7						
		黒曜石5																																
		小計	4	150.1											1	2.8			3	64.6							1	34.7						
	89	黒曜石1	24	580.2									1	6.4					13	116.9	5	82.1												
		黒曜石2																																
		黒曜石3																																
		黒曜石4	2	25.4					2	31.1									1	7.3							6	225.6						
		黒曜石5							2	85.5									1	44.8														
		頁　岩													1	13.8					1	15.7	1	8.7										
		小計	26	605.6					4	116.6			1	6.4	1	13.8			15	169.0	6	97.8	1	8.7			6	225.6						
		計	45	2030.5	4	448.9			8	818.4	1	3.0	8	39.9	17	126.7			35	759.3	82	2054.5	7	94.6	6	11.2	90	2431.0	2	138.4				
Sb－90	90	黒曜石1	3	49.9					3	67.8							2	108.0	7	68.8	1	73.4					1	14.0					1	5.6
		黒曜石2																																
		黒曜石3																																
		黒曜石4																									2	62.7						
		黒曜石5																	1	5.2														
		頁　岩													1	3.8																		
		小計	3	49.9					3	67.8					1	3.8	2	108.0	8	74.0	1	73.4					3	76.7					1	5.6
		計	3	49.9					3	67.8					1	3.8	2	108.0	8	74.0	1	73.4					3	76.7					1	5.6
Sb－91～96	91	黒曜石1	2	32.4															3	58.5	3	41.9					2	26.2						
		黒曜石3	3	82.4																														
		黒曜石4																			1	19.2	1	9.6			4	51.4						
		黒曜石5	2	37.6																														
		頁　岩													1	6.0																		
		小計	7	152.4											1	6.0			3	58.5	4	61.1	1	9.6			6	77.6						
	92	黒曜石1			2	123.9																												
		黒曜石3																																
		黒曜石4																																
		黒曜石5	1	93.5																														
		安山岩																																
		小計	1	93.5	2	123.9																												
	93	黒曜石1	10	152.7	1	11.7	16	550.4	2	68.9	2	11.5	8	34.0	11	69.3	4	266.9	14	136.9	12	173.2	2	47.9			3	58.6						
		黒曜石2	3	77.0			3	94.5	1	33.0											1	64.1												
		黒曜石3	1	52.7	1	16.1													1	15.8	3	122.3												
		黒曜石4	25	1428.8	9	263.3			2	1178.3	1	2.0	3	15.5	7	33.8	1	13.1	4	68.8	34	889.4	5	62.0	10	19.2	55	1443.7						
		黒曜石5	4	52.4			6	105.0	1	73.1			2	34.9	1	5.6			2	15.3	4	143.7												
		安山岩					1	70.3																										
		頁　岩	1	21.9																	1	6.3												
		小計	44	1785.5	11	291.1	26	820.2	6	1353.3	3	13.5	13	84.4	19	108.7	5	280.0	21	236.8	55	1399.0	7	109.9	10	19.2	58	1502.3						
	94	黒曜石1																	2	30.0							1	16.2						
		黒曜石2																																
		黒曜石3																	1	14.5														
		黒曜石4																			1	66.0			1	1.5	9	403.4						
		黒曜石5																																
		小計																	3	44.5	1	66.0			1	1.5	10	419.6						
	95	黒曜石1	45	3598.7			5	98.6	4	1777.2	23	294.0	1	4.6	3	25.1	14	395.4	16	297.7	42	1539.2	2	75.7					6	394.1				
		黒曜石2	1	1.7			6	208.7																										
		黒曜石3	25	2123.1							3	31.9					1	34.6	2	19.7	1	15.1												
		黒曜石4	15	586.9	5	148.6	2	97.9			10	76.5							5	51.0	13	295.6	1	4.6	1	1.6	8	330.6	2	131.5				
		黒曜石5	2	52.5							4	37.6							1	34.3	2	9.1					2	81.4			2	180.9		
		安山岩																	2	110.6	1	5.4												
		頁　岩																			2	20.9												
		珪　岩																																
		小計	88	6362.9	5	148.6	13	405.2	4	1777.2	40	440.0	1	4.6	3	25.1	15	430.0	26	513.3	61	1885.3	3	80.3	1	1.6	10	412.0	8	525.6	2	180.9		
	96	黒曜石1	1	24.6					1	287.2											1	33.3												
		黒曜石2					1	148.9																										
		黒曜石3	1	13.4																	1	31.9					1	30.2						
		黒曜石4	1	11.4			1	80.4			1	2.9							1	5.8	2	50.0					6	121.6						
		黒曜石5																																
		安山岩																																
		小計	3	49.4			2	229.3	1	287.2	1	2.9							1	5.8	4	115.2					7	151.8						
		計	143	8443.7	18	563.6	41	1454.7	11	3417.7	44	456.4	14	89.0	23	139.8	20	710.0	54	858.9	125	3526.6	11	199.8	12	22.3	91	2563.3	8	525.6	2	180.9		
Sb－97～107	97	黒曜石1	28	1330.5	1	179.5	4	38.7	8	2505.0			2	17.3	12	196.5	4	243.6	12	166.4	17	855.3	3	29.0	2	7.9	39	2117.6			1	201.9		
		黒曜石2																																
		黒曜石3	1	4.6																	2	123.8					5	187.9						
		黒曜石4	6	253.6	3	50.6	2	114.9	2	126.8			1	9.0	2	22.2	1	33.1			9	309.5			5	11.1	36	1332.0						
		黒曜石5							5	1586.2											1	77.9					9	312.8						
		安山岩					1	32.9													1	38.2												
		頁　岩																																
		小計	35	1588.7	4	230.1	7	186.5	15	4218.0			3	26.3	14	218.7	5	276.7	12	166.4	30	1404.7	3	29.0	7	19.0	89	3950.3			1	201.9		
	98	黒曜石1	1	40.2											1	23.3			1	14.7	2	304.7					4	377.6			1	90.7		
		黒曜石3	2	57.2																														
		黒曜石4	2	30.5																	2	516.0			1	3.4	6	173.8						
		黒曜石5																			1	7.8					3	336.1			1	51.9		
		小計	5	127.9											1	23.3			1	14.7	5	828.5			1	3.4	13	887.5			2	142.6		

＊＊器種名上段は全体･東地区の分類　＊＊＊下段は西地区の細分類

表Ⅲ－10　西地区出土点取り遺物ブロック・石質別一覧(4)　＊重量の単位は（g）

二次加工ある剥片								石刃		縦長剥片		石刃核		石核		彫器削片				その他削片		尖頭器削片		剥片		斧形石器		つまみ付きナイフ		原石		礫石器等		合計	
基部平坦加工石器		裏面縁辺加工石器		台形石器		二次加工ある剥片										彫器削片Ⅰ類		彫器削片Ⅱ類		彫器削片Ⅲ類															
点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量
								9	124.4	10	145.1													124	1730.5									146	2111.1
												1	364.5											46	359.6									48	752.1
																								35	662.9									36	698.1
						1	15.1																											2	23.3
						3	44.9	15	182.5	10	145.1	1	364.5											254	3149.3									291	4077.5
								6	53.3	2	25.8			3	574.2			2	0.8					55	632.6									79	1599.3
														1	2365.2									14	97.9									15	2463.1
								2	29.7	1	8.8											3	30.1	39	169.6									45	238.2
						3	214.2	16	155.8	23	299.0	2	97.2	2	824.9			1	0.1			5	102.7	928	7197.9									1003	9901.5
																								4	92.1									5	94.8
																																		2	17.1
						3	214.2	24	238.8	26	333.6	2	97.2	6	3764.3			3	0.9			8	132.8	1040	8190.1									1149	14314.0
								12	161.0	25	213.6	4	1038.2											360	2742.6									410	4489.3
										1	5.0													2	7.0									3	12.0
								2	16.1	2	28.7													290	1321.2									296	1383.2
						5	245.6	47	394.6	75	1091.6	2	243.1	7	1356.9							9	132.2	2340	14788.4									2521	19667.8
						4	95.9	2	22.4	3	12.6													10	44.0									33	675.9
																								1	0.6									1	0.6
						9	341.5	63	594.1	106	1351.5	6	1281.3	7	1356.9							9	132.2	3003	18903.8									3264	26228.8
								7	33.8	27	415.8	1	148.3											240	2924.9									281	3564.4
																								2	14.5									2	14.5
																								310	1675.4									310	1675.4
						2	39.5	18	204.1	43	538.0	7	563.3	2	191.0									2425	14529.4									2530	16781.4
										1	5.5													1	3.0									2	8.5
						2	39.5	25	237.9	71	959.3	8	711.6	2	191.0									2978	19147.2									3125	22044.2
								1	6.5	6	128.5													2447	17522.7									2462	17875.2
																								20	90.5									20	90.5
						1	1.9																	127	481.2									129	517.8
														1	1627.7									2	53.1									3	1680.8
						1	1.9	1	6.5	6	128.5			1	1627.7									2596	18147.5									2614	20164.3
						4	39.5	4	31.3	3	27.5			1	24.5									692	2707.2									747	3615.6
																								4	20.9									4	20.9
																								32	104.1									32	104.1
								1	3.8	10	244.5			1	124.8									435	2677.6									458	3340.1
						1	39.2																											4	169.5
																																		3	38.2
						5	78.7	5	35.1	13	272.0			2	149.3									1163	5509.8									1248	7288.4
						45	1128.5	208	2617.3	293	3773.0	31	3854.2	25	8249.2			3	0.9	1	0.5	27	345.1	16156	104387.9							3	227.5	17097	133540.5
						5	810.1	264	4593.9	62	1255.4	8	22419.8	8	17043.3					6	48.3			9959	81947.0									10330	128505.3
																								31	131.0									31	131.0
								3	15.8															158	894.2									161	910.0
								10	280.0	6	65.6			1	2232.6									267	3080.2									286	5721.1
						3	491.6	38	1414.2	10	220.7	1	3697.2											402	7196.7									455	13025.6
								2	14.2																									3	18.0
						8	1301.7	317	6318.1	78	1541.7	9	26117.0	9	19275.9					6	48.3			10817	93249.1									11266	148311.0
						8	1301.7	317	6318.1	78	1541.7	9	26117.0	9	19275.9					6	48.3			10817	93249.1									11266	148311.0
								6	152.8	7	170.5			1	554.0									357	2152.7						1	56.2		382	3245.2
								6	103.8	9	101.1													235	2683.8									253	2971.1
								20	192.6	4	143.4	3	558.9	1	0.9									451	2689.2									485	3665.2
																								51	310.0									53	347.6
																								1	14.4									2	20.4
								32	449.2	20	415.0	3	558.9	2	554.9									1095	7850.1						1	56.2		1175	10249.5
								1	6.4	10	285.3													1907	13318.3									1920	13733.9
																								142	409.4									142	409.4
								1	12.3	8	156.7			1	91.1									822	3355.6									832	3615.7
																								7	20.5									8	114.0
																								1	13.7									1	13.7
								2	18.7	18	442.0			1	91.1									2879	17117.5									2903	17886.7
						23	1345.2	124	2004.7	140	2709.1	8	2520.0	9	10084.0					7	45.2	1	9.9	6062	51530.7						1	22.4		6460	71853.2
						5	189.2	15	260.0	33	589.4													1756	12030.4						2	7.6		1819	13345.2
						1	31.6	6	73.8	6	91.5	3	535.1									2	5.4	1002	5538.9									1026	6483.2
						36	1028.9	279	2717.5	280	4126.0	23	3730.6	24	2242.7	1	0.4	1	2.3			42	344.3	13089	74554.9									13931	94165.5
						1	108.3	20	322.7	28	1277.0	2	545.5	1	1033.5									817	11904.9									889	15621.9
																								5	34.6									6	104.9
																								4	24.5						1	143.2		7	195.9
						66	2703.2	444	5378.7	487	8793.0	36	7331.2	34	13360.2	1	0.4	1	2.3	7	45.2	45	359.6	22735	155618.9						4	173.2		24138	201769.8
						2	63.2	3	54.1	3	30.7			1	5291.0					2	26.1			1040	7419.0									1054	12930.3
																								22	76.6						5	30.0		27	106.6
								6	85.9	1	20.4													119	729.8									127	850.6
						3	88.2	25	239.6	16	488.3	1	77.0											560	4131.4									616	5495.4
										2	32.0													18	234.5									20	266.5
						5	151.4	34	379.6	22	571.4	1	77.0	1	5291.0					2	26.1			1759	12591.3						5	30.0		1844	19649.4
						27	995.3	132	2222.9	126	2090.6	4	570.7	11	5302.2					9	43.3			8854	57756.0						3	32.0		9327	77513.3
								42	1244.9	18	397.6			1	88.9									843	8366.9						6	36.3		917	10345.0
								14	433.9	20	402.1									1	9.6	1	2.2	1840	13017.9									1908	16090.1
						5	196.5	85	1104.7	82	1688.7	9	1665.2	4	244.9							13	69.8	5453	31879.6									5713	38574.2
						3	35.4	12	272.8	61	1300.7	1	1548.3									1	1.5	1378	14016.0									1469	17570.5
																								2	16.5							1	5190.4	6	5322.9
																										1	122.4							3	143.3
																								1	11.9									1	11.9
						35	1227.2	285	5279.2	307	5879.7	14	3784.2	16	5636.0					10	52.9	15	73.5	18371	125064.8	1	122.4				9	68.3	1	5190.4	19344	165571.2
								13	299.0	9	360.4	1	789.3	2	1655.1									715	5383.9									743	8832.8
																								176	1561.9									177	1710.8
						1	179.7	9	68.8	8	36.0									1	1.8			580	3809.0									602	4170.8
						3	174.0	2	27.7	5	12.8	1	172.2	1	72.0					1	3.1			397	2090.1									422	2824.0
																								4	30.6									4	30.6
																								1	1.1									1	1.1
						4	353.7	24	395.5	22	409.2	2	961.5	3	1727.1					2	4.9			1873	12876.6									1949	17570.1
						110	4435.5	821	11900.9	876	16510.3	56	12712.8	57	26660.3	1	0.4	1	2.3	21	129.1	60	433.1	48712	331119.2	1	122.4				19	327.7	1	5190.4	51353	432696.7
						35	4418.7	210	3238.0	214	5218.1	19	6850.7	34	10420.1					5	16.4	4	239.8	15454	159284.3									16108	197575.3
																								167	1085.3									167	1085.3
						4	147.8	15	396.7	12	275.3	1	228.9	1	32.2									1788	18557.2									1829	19954.4
						12	1186.4	36	566.3	65	1154.4	5	496.9	15	2484.1					1	4.8	3	53.8	5769	59407.1									5973	67616.6
						2	355.8	29	373.8	19	360.8	1	433.7	1	396.4									925	16915.9									992	20813.3
																								1	4.2									3	75.3
								2	11.5	2	44.3																							4	55.8
						53	6108.7	292	4586.3	312	7052.9	26	8010.2	51	13332.8					6	21.2	7	293.6	24104	255254.0									25076	307176.0
						2	122.0	6	134.7	10	665.2	1	349.7	3	833.8							1	23.4	239	2933.6									272	5913.6
						1	68.0			3	65.5													47	995.9									53	1186.6
								1	133.2					1	748.5									87	2730.6									100	4336.0
												2	668.9											25	437.1									32	1501.8
						3	190.0	7	267.9	13	730.7	3	1018.6	4	1582.3							1	23.4	398	7097.2									457	12938.0

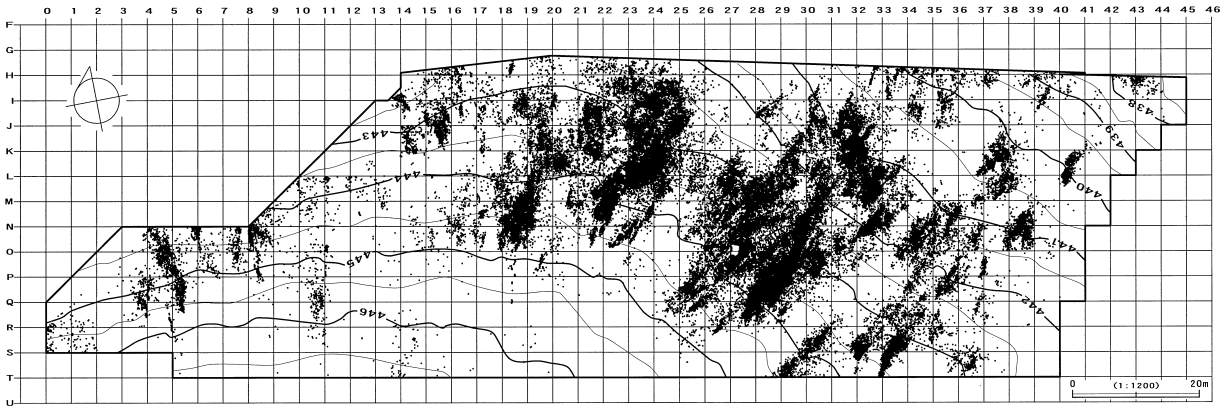
表Ⅲ－11　西地区出土点取り遺物ブロック･石質別一覧(5)　＊重量の単位は（g）

石器群	Sb	石質	尖頭器＊＊						両面調整石器		ナイフ形石器		彫器						掻器		削器		錐形石器		舟底形石器Ⅰ類		舟底形石器Ⅱ類						細石刃核	
			Ⅰ類＊＊＊		Ⅱ類		Ⅲ類						Ⅰ類		Ⅱ類		Ⅲ類								Ⅰａ類		Ⅱａ類		Ⅱｂ類		Ⅱｃ類			
			点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量
Sb－97～107	99	黒曜石1	7	728.5	1	15.9			3	389.7			2	9.3	15	135.6			3	24.0	11	308.4			3	11.3	4	193.4	2	120.1				
		黒曜石2																			1	75.6												
		黒曜石3	1	5.0			1	11.9	1	1555.3					1	8.1	1	37.1							2	9.0	5	185.1						
		黒曜石4													1	7.4									3	11.7	4	245.0						
		黒曜石5			1	12.6																												
		安山岩																																
		頁　岩																					1	2.9										
		小計	8	733.5	2	28.5	1	11.9	4	1945.0			2	9.3	17	151.1	1	37.1	3	24.0	12	384.0	1	2.9	8	32.0	13	623.5	2	120.1				
	100	黒曜石1	10	201.7									5	52.8	9	130.9	1	83.9	9	205.8	20	412.5			2	6.6	14	1071.4						
		黒曜石2																																
		黒曜石3															2	41.7									5	76.4						
		黒曜石4	1	26.7									3	20.7			1	11.4	1	18.8	4	170.0	1	8.5	1	3.3	10	356.5						
		黒曜石5	2	115.7	1	15.5																	3	41.4			2	140.8						
		砂　岩																																
		小計	13	344.1	1	15.5							8	73.5	9	130.9	4	137.0	10	224.6	24	582.5	4	49.9	3	9.9	31	1645.1						
	101	黒曜石1	10	424.5	7	316.0			4	1295.1			4	38.2	3	92.8			4	51.1	12	296.0			1	4.3	13	359.4	1	26.6				
		黒曜石3			1	9.5															3	115.3					2	69.7						
		黒曜石4	7	98.4											1	4.6					1	125.6			2	6.6	24	741.5						
		黒曜石5							1	103.9					2	16.6					2	37.7												
		頁　岩																					1	4.3										
		小計	17	522.9	8	325.5			5	1399.0			4	38.2	6	114.0			4	51.1	18	574.6	1	4.3	3	10.9	39	1170.6	1	26.6				
	102	黒曜石1	5	126.1	1	21.6			1	467.8																								
		黒曜石3																																
		黒曜石4																			3	47.8												
		黒曜石5																					1	6.5										
		頁　岩																																
		小計	5	126.1	1	21.6			1	467.8											3	47.8	1	6.5										
	103	黒曜石1																																
		黒曜石3																																
		黒曜石5																																
		小計																																
	104	黒曜石1	11	861.9					1	537.2					1	10.2					7	195.7					1	22.8						
		黒曜石2	5	615.8																														
		黒曜石3																									1	22.7						
		黒曜石4																			1	36.5					2	34.7						
		黒曜石5	2	421.0																			1	26.7										
		頁　岩																	1	17.4														
		珪　岩																																
		緑色泥岩																																
		碧　玉																																
		小計	18	1898.7					1	537.2					1	10.2			1	17.4	8	232.2	1	26.7			4	80.2						
	105	黒曜石1																	3	28.8														
		黒曜石3																																
		黒曜石4																																
		黒曜石5																																
		安山岩																																
		頁　岩													1	9.9																		
		珪　岩																																
		めのう																																
		小計													1	9.9			3	28.8														
	106	黒曜石1													1	3.8					1	61.8			2	8.7	2	252.8						
		黒曜石2																																
		黒曜石3																																
		黒曜石4																																
		黒曜石5																																
		頁　岩																																
		小計													1	3.8					1	61.8			2	8.7	2	252.8						
	107	黒曜石1																																
		黒曜石4																																
		黒曜石5							1	2.4																								
		小計							1	2.4																								
		計	101	5341.9	16	621.2	8	198.4	27	8569.4			17	147.3	50	661.9	10	450.8	34	527.0	101	4116.1	11	119.3	24	83.9	191	8610.0	3	146.7	3	344.5		
Sb－108～111	108	黒曜石1																																
		黒曜石4																																
		黒曜石5	2	22.9																														
		小計	2	22.9																														
	109	黒曜石1													1	13.7			1	12.3	3	61.4					1	23.8						
		黒曜石3																	1	6.8														
		黒曜石4																			1	12.6			1	2.8	11	341.5						
		黒曜石5																									1	6.0						
		頁　岩																																
		めのう	1	4.2																														
		小計	1	4.2											1	13.7			2	19.1	4	74.0			1	2.8	13	371.3						
	110	黒曜石1	4	254.6					1	62.8			1	11.9							1	20.5					1	68.4	2	263.9				
		黒曜石2	3	49.7																														
		黒曜石3	3	31.7															1	13.1	2	15.1					2	22.8						
		黒曜石4																			4	135.2					11	231.6						
		黒曜石5	3	258.3																	4	30.1												
		安山岩																																
		頁　岩																																
		小計	13	594.3					1	62.8			1	11.9					1	13.1	11	200.9					14	322.8	2	263.9				
	111	黒曜石1							1	589.6																								
		黒曜石3																																
		黒曜石4			1	151.3																												
		黒曜石5																																
		小計			1	151.3			1	589.6																								
		計	16	621.4	1	151.3			2	652.4			1	11.9	1	13.7			3	32.2	15	274.9			1	2.8	27	694.1	2	263.9				
ブロック外	Ⅰ群	黒曜石1																																
		黒曜石2																																
		黒曜石3																																
		黒曜石4																																
		黒曜石5																	1	43.8														
		小計																	1	43.8														
	Ⅰ群以外	黒曜石1			1	76.3																												
		黒曜石2																																
		黒曜石3																			1	206.6												
		黒曜石4																							1	4.9	2	33.5						
		黒曜石5																																
		小計			1	76.3															1	206.6			1	4.9	2	33.5						
		計			1	76.3													1	43.8	1	206.6			1	4.9	2	33.5						
合計			308	16487.4	40	1861.3	49	1653.1	51	13525.7	45	459.4	40	288.1	92	945.9	32	1268.8	213	7774.6	329	10653.2	34	480.0	44	125.1	404	14408.6	15	1074.6	5	525.4	1	5.6

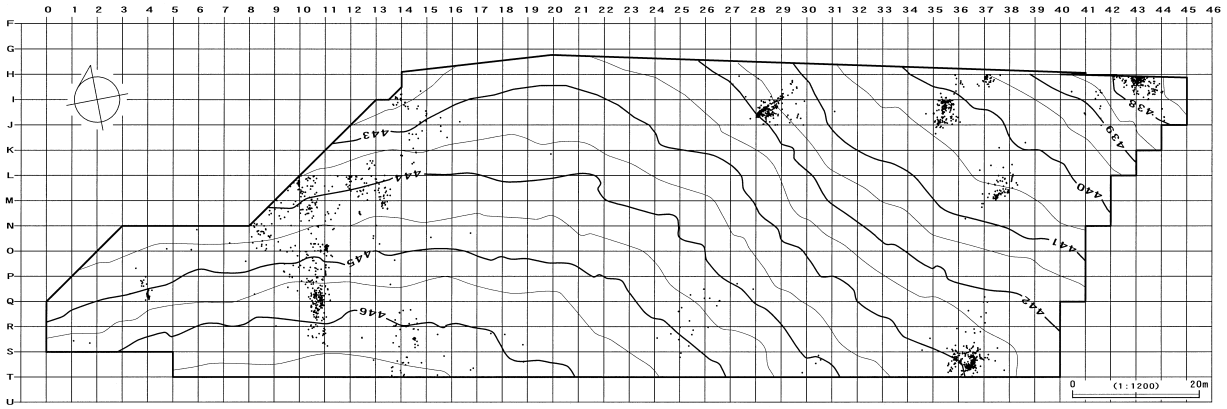
＊＊器種名上段は全体･東地区の分類　＊＊＊下段は西地区の細分類

表Ⅲ－12　西地区出土点取り遺物ブロック・石質別一覧(6)　＊重量の単位は（g）

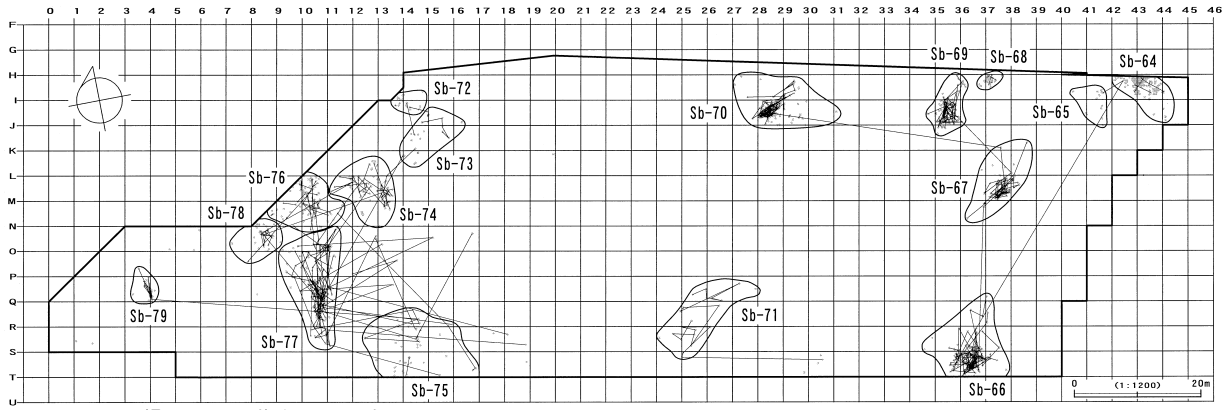
二次加工ある剥片								石刃		縦長剥片		石刃核		石核		彫器削片				その他削片		尖頭器削片		剥片		斧形石器		つまみ付きナイフ		原石		礫石器等		合計	
基部平坦加工石器		裏面縁辺加工石器		石形石器		二次加工ある剥片										彫器削片Ⅰ類		彫器削片Ⅱ類		彫器削片Ⅲ類															
点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量	点数	重量
						5	277.6	41	898.8	20	410.1	5	1206.3	3	660.5					3	15.0			2150	16129.6									2278	21534.1
																								1	0.5									2	76.1
						3	304.9	2	8.2					2	330.2									296	2103.3									315	4558.1
						1	6.1	1	12.2	4	114.8													498	4947.3									512	5344.5
																								81	1118.8									82	1131.4
																								1	1.2									1	1.2
																						2	10.8	2	6.2									5	19.9
						9	588.6	44	919.2	24	524.9	5	1206.3	5	990.7					3	15.0	2	10.8	3029	24306.9									3195	32665.3
						6	376.6	24	317.7	17	449.8	5	1478.4	3	628.3			1	0.2	2	6.3	2	6.1	858	8607.9									988	14036.9
																								1	8.7									1	8.7
						1	18.1	1	1.4	8	51.8			1	40.9			1	1.1	1	21.8	1	14.2	290	1892.5									311	2159.9
						2	70.0	1	6.4	1	13.2	1	125.4							1	1.9			492	5711.7									520	6544.5
						1	8.1	3	51.9	1	15.3													79	1772.0									92	2160.7
																																1	119.5	1	119.5
						10	472.8	29	377.4	27	530.1	6	1603.8	4	669.2			2	1.3	4	30.0	3	20.3	1720	17992.8								1	119.5	1913	25030.2
						5	342.1	103	1224.7	93	1158.8	6	702.2	11	1222.0					5	45.8	4	88.7	4119	29622.0			1	2.2	1	5.1			4407	37317.6
						1	28.6	3	13.6	2	29.1											1	2.9	443	4121.8									456	4390.5
						3	206.0	25	203.4	20	273.9	2	518.0	7	1015.7							3	8.2	1595	13377.6									1690	16579.5
								5	75.7	6	120.5	2	270.0	2	442.8									25	371.8									45	1439.0
																								1	14.9									2	19.2
						9	576.7	136	1517.4	121	1582.3	10	1490.2	20	2680.5					5	45.8	8	99.8	6183	47508.1			1	2.2	1	5.1			6600	59745.8
						4	383.5	7	40.0	24	522.3			4	2878.6									697	5410.1					1	1.2			744	9851.2
						1	30.8	6	70.9					1	1837.0							1	4.2	103	430.6									112	2373.5
								2	14.1	2	15.9											1	5.7	115	633.8									123	717.3
						1	39.4	7	132.8	3	57.0			1	1035.6									57	532.9									70	1804.2
										1	4.4													1	1.4									2	5.8
						6	453.7	22	257.8	30	599.6			6	5751.2							2	9.9	973	7008.8					1	1.2			1051	14752.0
																								24	46.8									24	46.8
																								2	3.5									2	3.5
								2	9.8															83	262.6									85	272.4
								2	9.8															109	312.9									111	322.7
						2	30.0	2	125.3	4	26.4			2	416.9									878	5279.0									909	7505.4
																								119	325.7									124	941.5
								1	49.2	1	5.7													258	1461.9									261	1539.5
										5	194.3													196	1500.6									204	1766.1
								2	26.5	2	19.5	1	963.1	1	299.7									222	1573.4					1	8.2			232	3338.1
																						1	27.2	2	8.8									4	53.4
																								1	26.7									1	26.7
																								1	3.2									1	3.2
										1	6.7													2	6.6									3	13.3
						2	30.0	5	201.0	13	252.6	1	963.1	3	716.6							1	27.2	1679	10185.9					1	8.2			1739	15187.2
						1	8.6	1	21.0	3	78.5													321	1543.2					6	45.7			335	1725.8
																								15	54.9									15	54.9
																								302	2030.9									302	2030.9
																								39	174.9					1	85.8			40	260.7
																																1	220.3	1	220.3
																								1	0.6									2	10.5
																								2	44.5									2	44.5
																								1	1.0									1	1.0
						1	8.6	1	21.0	3	78.5													681	3850.0					7	131.5	1	220.3	698	4348.6
										24	773.8	1	263.3	2	88.2									426	4267.2									459	5719.6
										1	10.2													1	6.9									2	17.1
								1	67.1																									1	67.1
																								60	569.4									60	569.4
						1	56.3			3	21.6													18	653.6									22	731.5
						1	14.3																											1	14.3
						2	70.6	1	67.1	28	805.6	1	263.3	2	88.2									505	5497.1									545	7119.0
																								8	29.3									8	29.3
																								2	8.3									2	8.3
																								1	2.6									2	5.0
																								11	40.2									12	42.6
						95	8499.7	539	8224.9	571	12157.2	52	14555.5	95	25811.5			2	1.3	18	112.0	24	485.0	39392	379053.9			1	2.2	10	146.0	2	339.8	41397	479327.4
								1	9.4															27	98.6									28	108.0
																								2	11.9									2	11.9
																								12	38.3									14	61.2
								1	9.4															41	148.8									44	181.1
								13	221.0	6	112.9	1	221.9	1	142.7									415	3083.8									442	3893.5
										1	6.4													54	367.0									56	380.2
								1	17.5	2	91.1	1	108.8	5	2409.0									360	2770.3									382	5753.6
								2	107.3															57	478.4									60	591.7
								1	15.0																									1	15.0
																								1	1.1									2	5.3
								17	360.8	9	210.4	2	330.7	6	2551.7									887	6700.6									943	10639.3
								9	76.4	9	103.7			1	509.5									843	4933.0									872	6304.7
																								123	258.5									126	308.2
								1	1.9	2	45.5			1	679.7									50	347.5									62	1157.3
						1	43.1	10	99.8	27	533.4	4	750.5	6	1031.7									925	7924.3									988	10749.6
								1	1.7					1	87.7									180	1102.5									189	1480.3
																								2	17.5									2	17.5
																								1	2.0									1	2.0
						1	43.1	21	179.8	38	682.6	4	750.5	9	2308.6									2124	14585.3									2240	20019.6
								2	17.8													1	2.9	61	453.5									65	1063.8
																								1	3.7									1	3.7
								1	3.4	1	2.1													80	808.2									83	965.0
								1	8.1															6	24.2									7	32.3
								4	29.3	1	2.1											1	2.9	148	1289.6									156	2064.8
						1	43.1	43	579.3	48	895.1	6	1081.2	15	4860.3							1	2.9	3200	22724.3									3383	32904.8
														1	22.0									14	188.2									15	210.2
																								1	206.1									1	206.1
						1	53.6																											1	53.6
																								3	76.8									3	76.8
																								4	56.7									5	100.5
						1	53.6							1	22.0									22	527.8									25	647.2
								2	29.7															9	55.9					4	306.3			16	468.2
																								1	6.7									1	6.7
																								3	19.4									4	226.0
								1	21.2															8	111.6									12	171.2
								3	101.0															4	65.8									7	166.8
								6	151.9															25	259.4					4	306.3			40	1038.9
						1	53.6	6	151.9					1	22.0									47	787.2					4	306.3			65	1686.1
2	5.6	23	216.0	1	15.7	281	16089.4	1934	29792.4	1868	34915.2	154	58320.7	291	106611.4	1	0.4	6	4.5	46	289.9	112	1266.1	119997	958127.4	2	172.4	1	2.2	50	1064.8	4	6165.0	126475	1284595.9



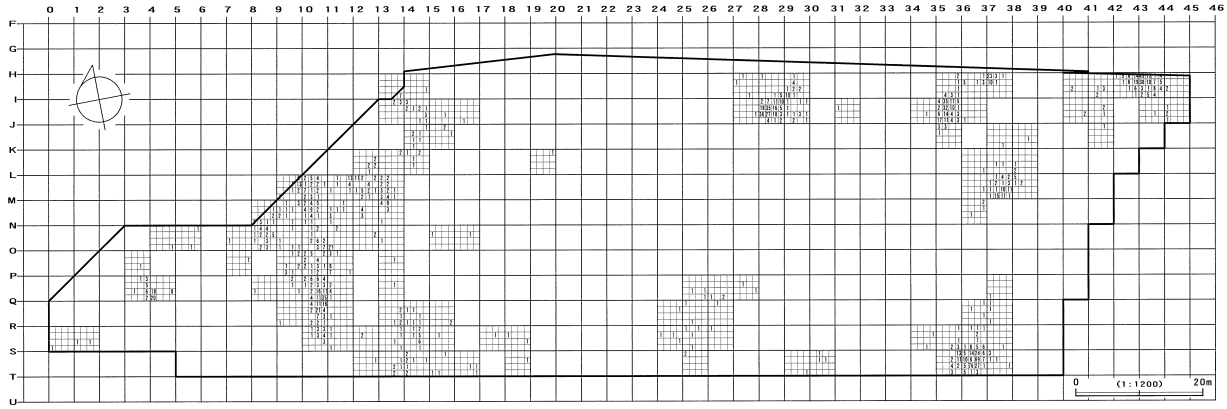
西地区全遺物分布図



Sb－64～79(「白滝Ⅰ群」)遺物分布図

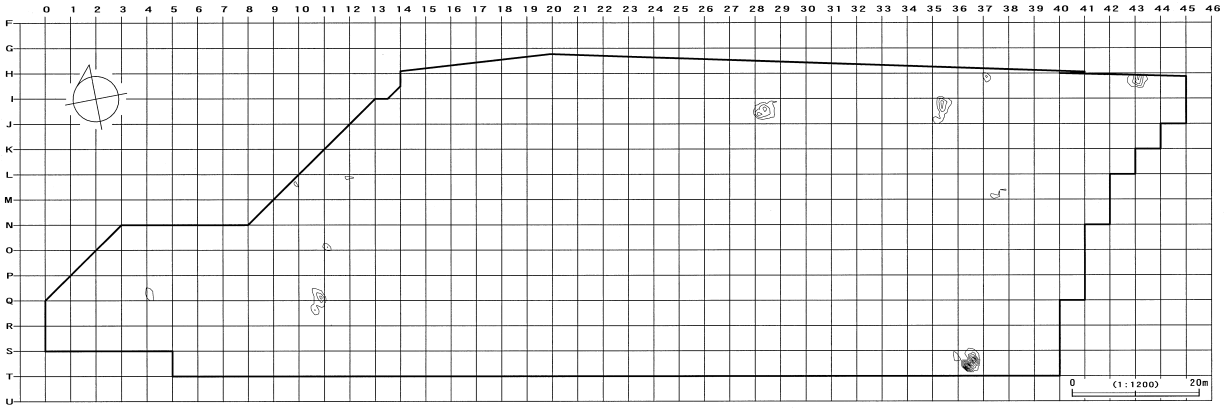


Sb－64～79(「白滝Ⅰ群」)全接合分布図

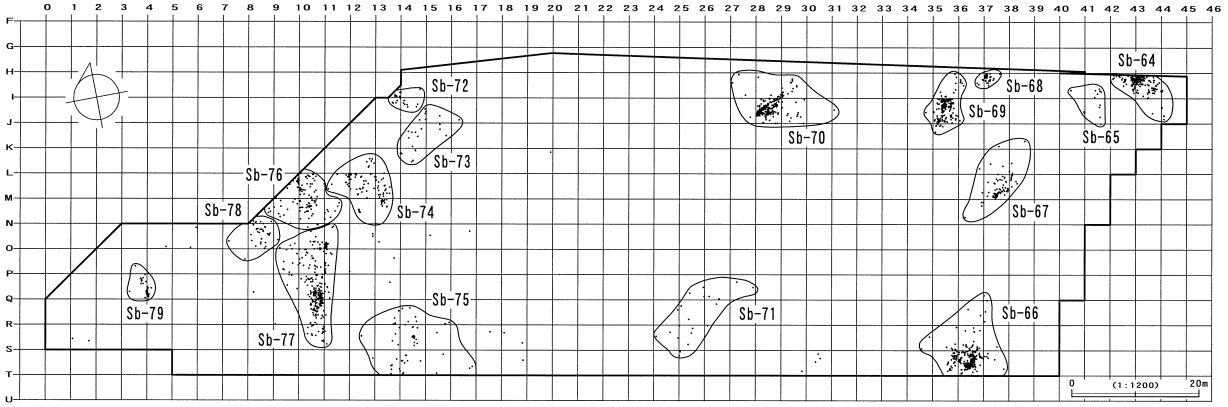


Sb－64～79(「白滝Ⅰ群」)遺物点数図（点／㎡）

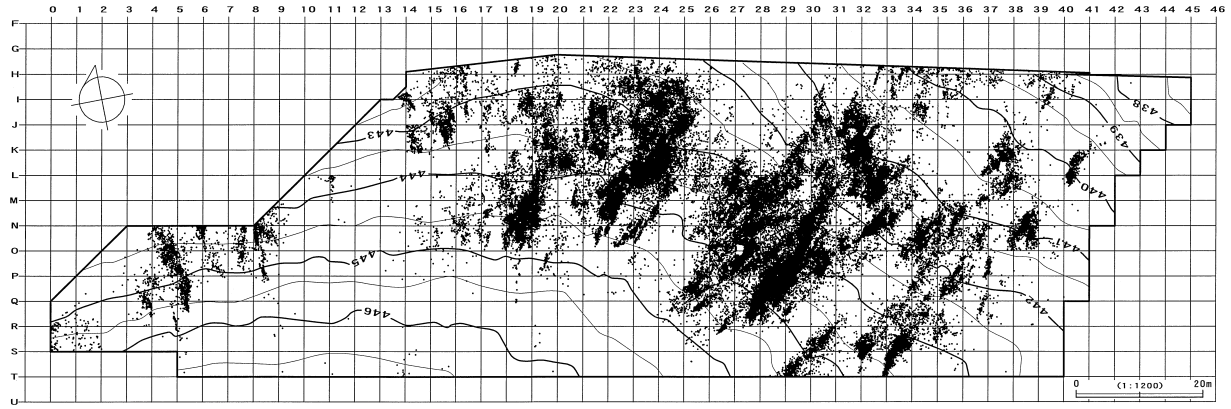
図Ⅲ－23　遺物分布(1)・接合分布(1)・遺物点数図(1)



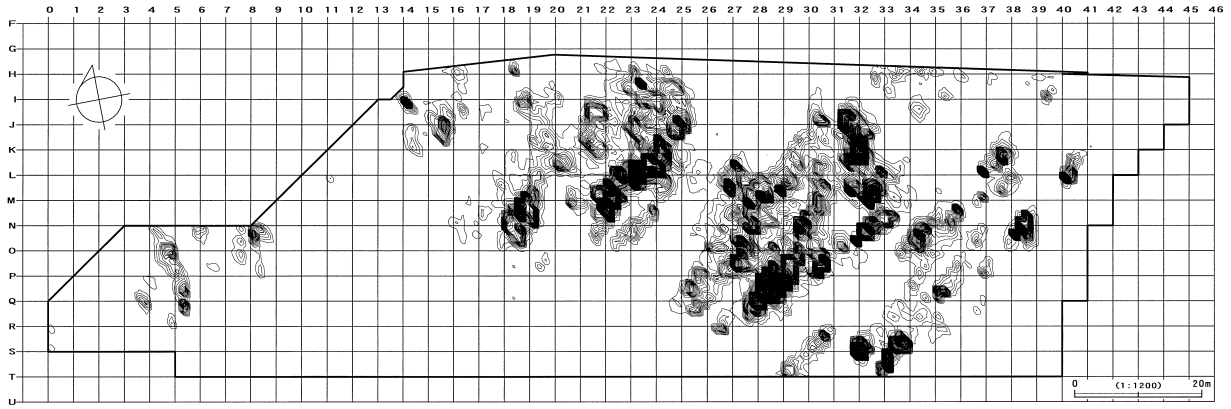
Sb－64～79（「白滝Ⅰ群」）遺物密度分布図（10点単位）



Sb－64～79（「白滝Ⅰ群」）石器ブロック設定図

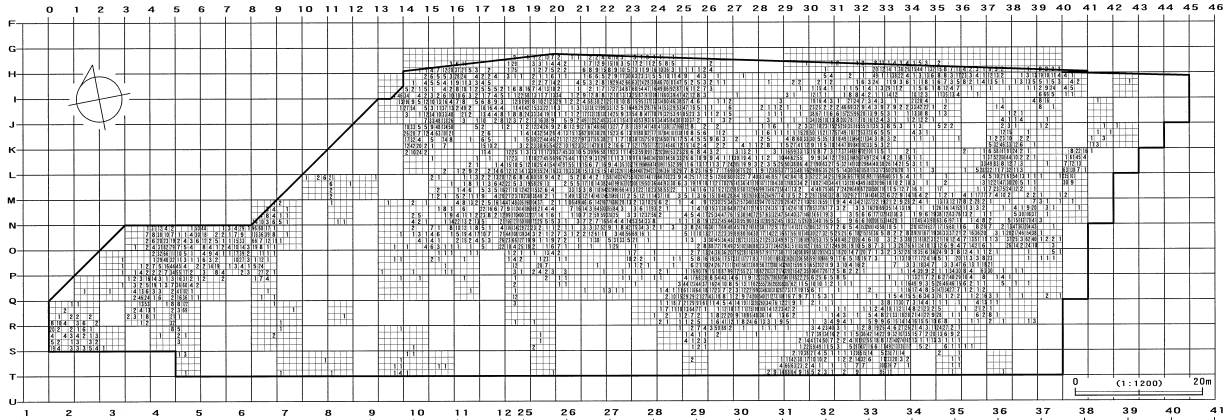


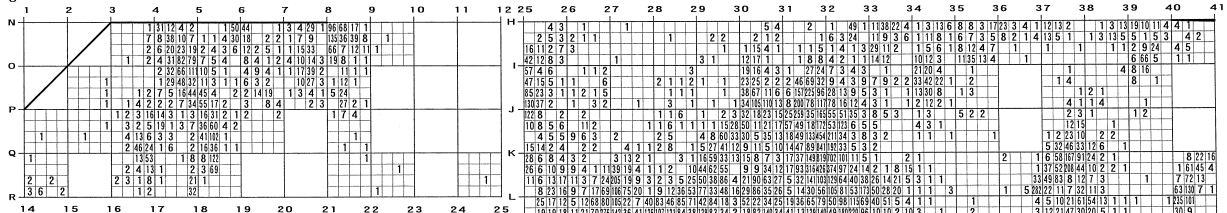
Sb－80～111（「白滝Ⅰ群」以外）遺物分布図



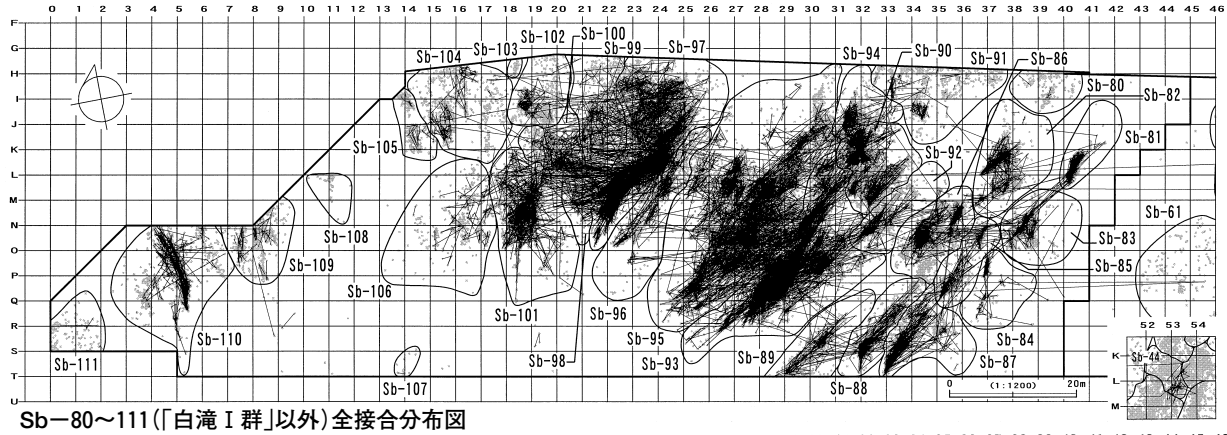
Sb－80～111（「白滝Ⅰ群」以外）遺物密度分布図（10点単位）

図Ⅲ－24　密度分布・石器ブロック設定(1)・遺物分布図(2)

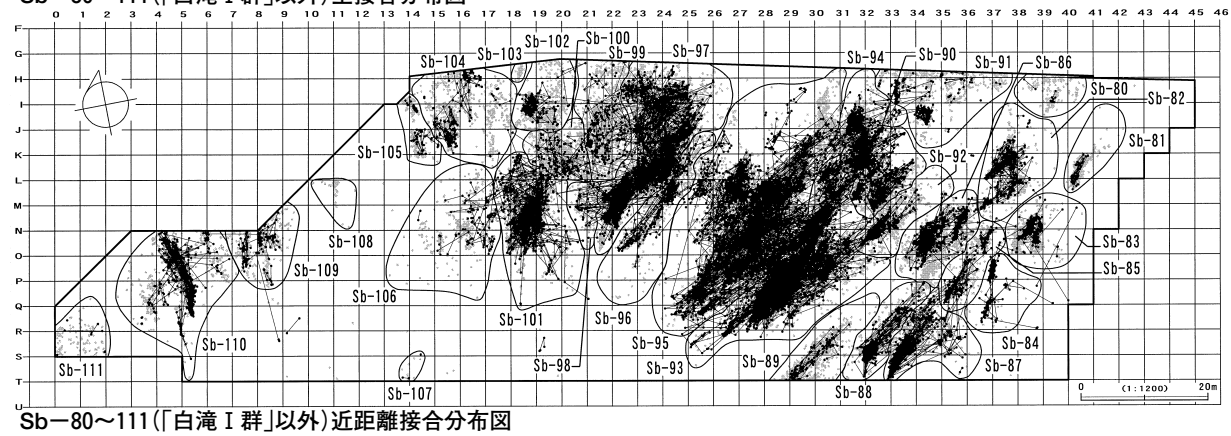




Sb−80〜111(「白滝Ⅰ群」以外)遺物点数図（点/㎡）

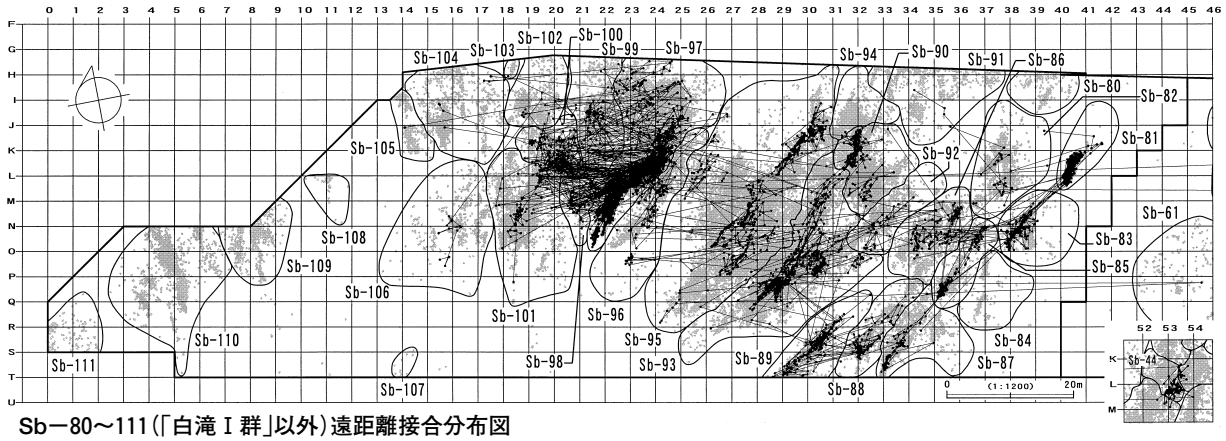


Sb−80〜111(「白滝Ⅰ群」以外)全接合分布図

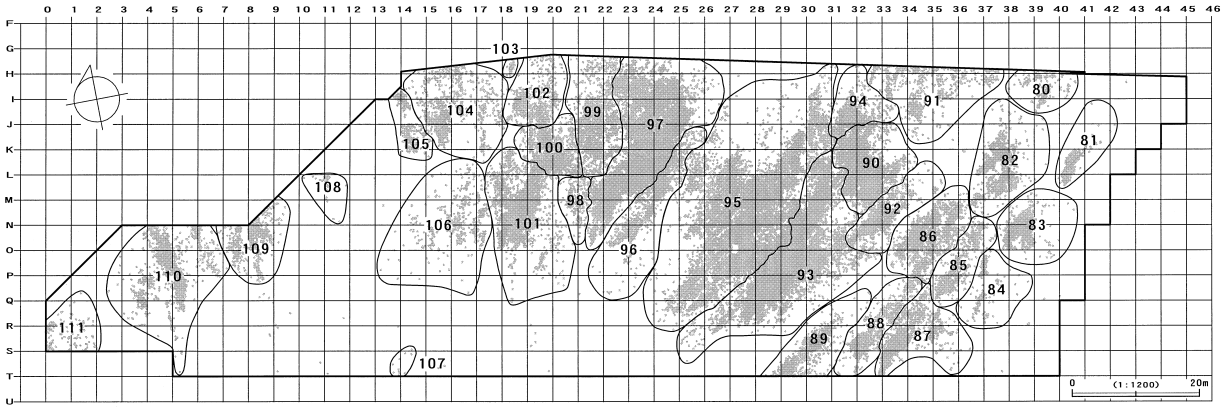


Sb−80〜111(「白滝Ⅰ群」以外)近距離接合分布図

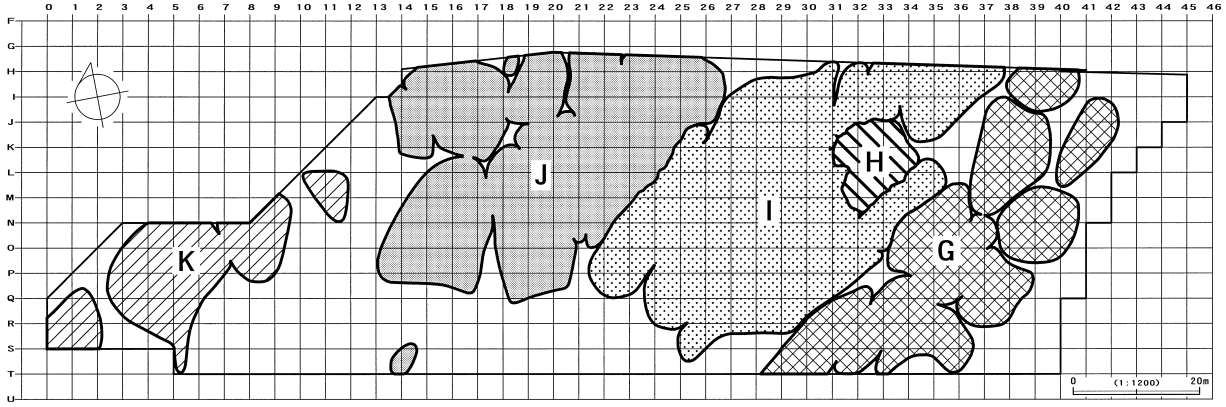
図Ⅲ−25　遺物点数(2)・接合分布図(2)



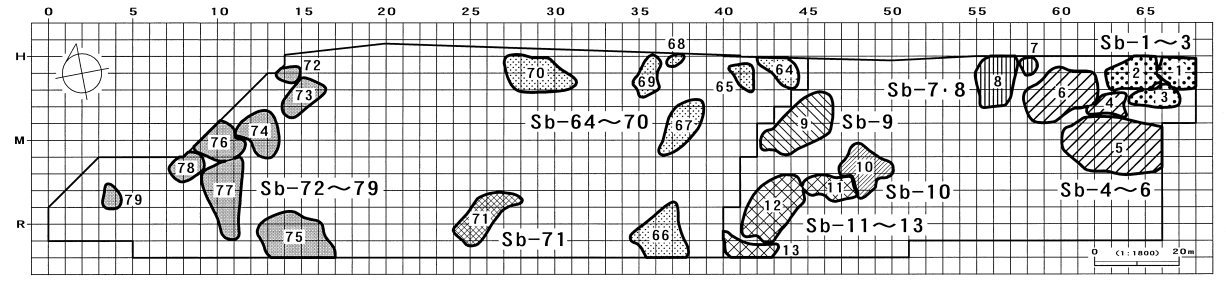
Sb－80～111（「白滝Ⅰ群」以外）遠距離接合分布図



Sb－80～111（「白滝Ⅰ群」以外）石器ブロック設定図

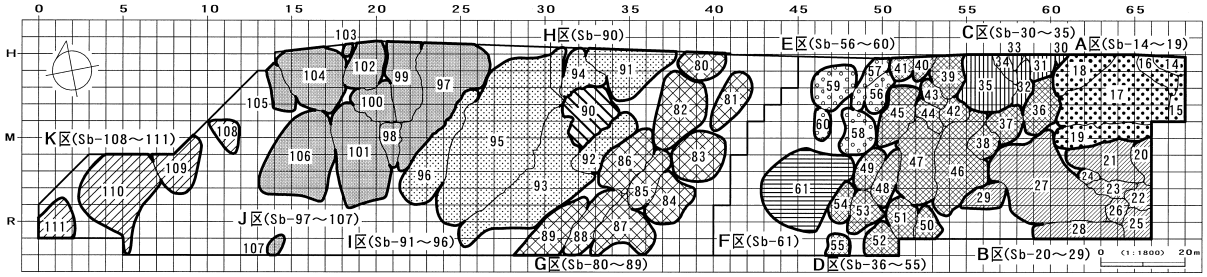


Sb－80～111（「白滝Ⅰ群」以外）区域設定図

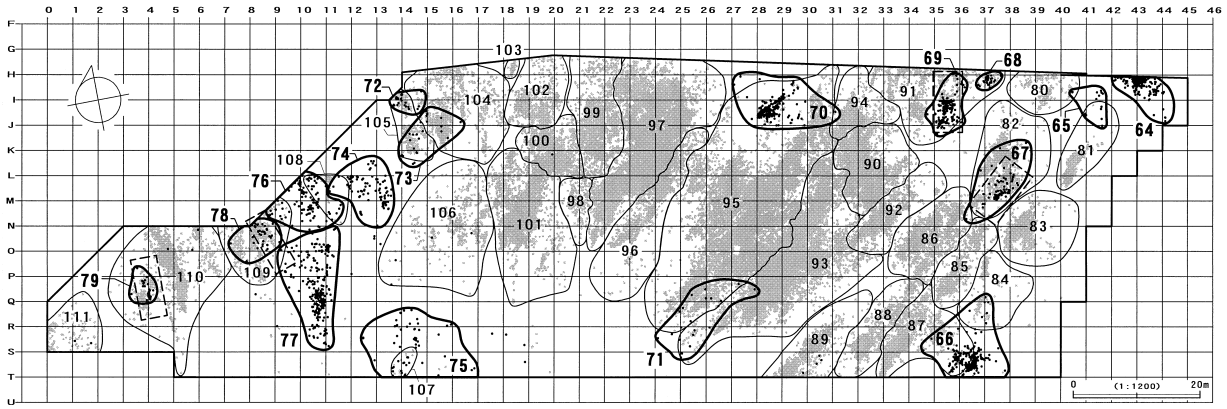


「白滝Ⅰ群」全石器ブロック設定図

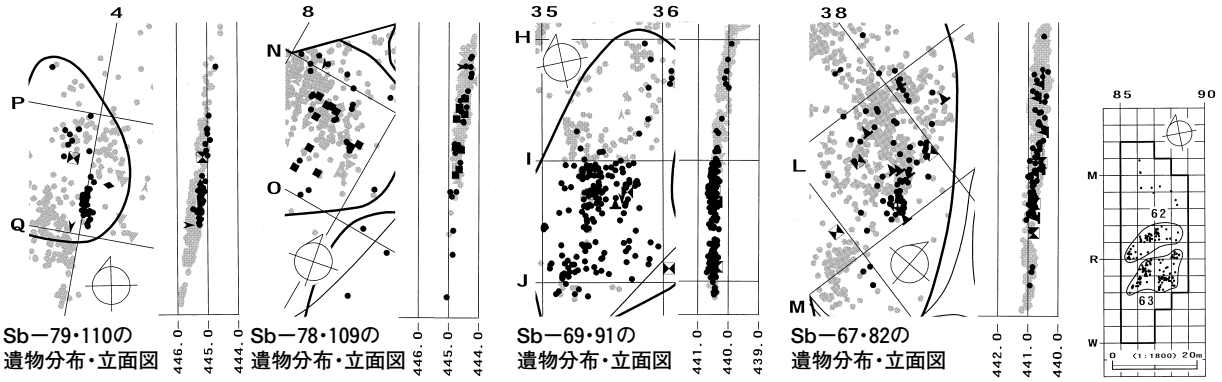
図Ⅲ－26　接合分布(3)・石器ブロック設定(2)・区域設定・全石器ブロック設定図(1)



「白滝Ⅰ群」以外全石器ブロック・区域設定図



西地区石器ブロック設定図　※太枠・ドットはSb－64～79(「白滝Ⅰ群」)

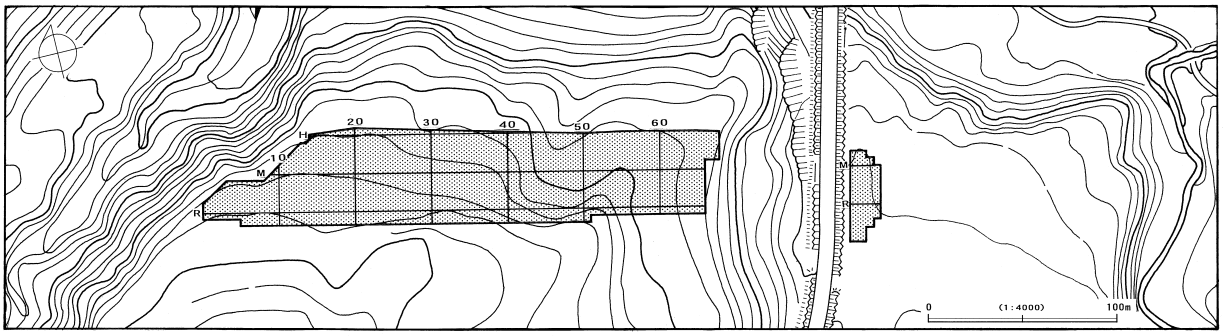


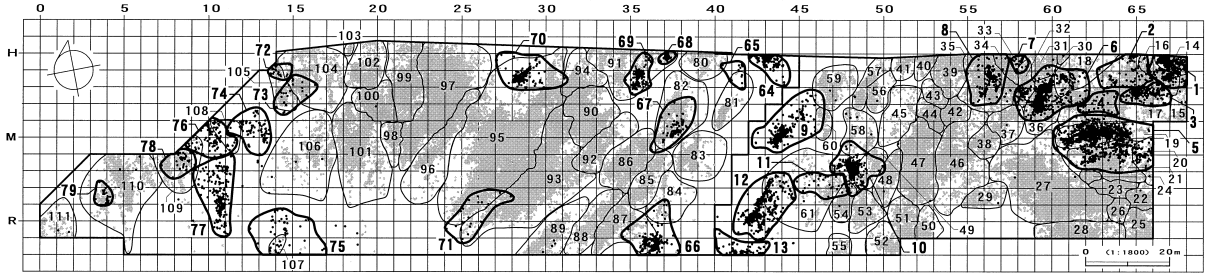
Sb－79・110の遺物分布・立面図

Sb－78・109の遺物分布・立面図

Sb－69・91の遺物分布・立面図

Sb－67・82の遺物分布・立面図





全石器ブロック設定図

図Ⅲ－27　全石器ブロック設定(2)・石器ブロック設定図(3)

Sb－72～79は「白滝Ⅰ群」である。加工がほぼ全周する掻器を主体とし、台形石器、錐形石器、削器、二次加工ある剥片、斧形石器、台石、棒状原石が出土している。石核は作業面をほぼ固定し、平坦面で剥離を行うもの、小口面で剥離を行うもの、交互剥離を基本に打面転移を頻繁に行うものなどが見られる。原石の形状は転礫が主体で、角礫素材も僅かに見られる。後者に関連するものとして棒状原石が挙げられる。Sb－79を除き、それぞれのブロックは近接して分布し、Sb－77を中心としたブロック間の接合関係が確認された。

G区（Sb－80～89）は、小型舟底形石器（舟底形石器Ⅰ類）を含む石器群が主体的に分布し、隣接するブロック同士の接合関係から区域を設定した。小型舟底形石器を含む石器群の一部は、Ⅰ区と接合関係が認められる。また、大型石刃・大型舟底形石器（舟底形石器Ⅱｂ・ｃ類）を含む石器群、忍路子型細石刃核を含む石器群がスポット的に分布し、後者はH区と接合関係が認められる。

H区（Sb－90）は、忍路子型細石刃核を含む石器群が分布し、周辺の石器群と区別されるため単独で区域として設定した。主に打面調整を伴う大型石刃剥離関連資料が認められ、その一部はG区と接合関係を持つ。

Ⅰ区（Sb－91～96）は、西地区で最も複雑な様相を示す区域で、石器群が比較的明確な、東をG区、西をJ区で区切られた残りといっても過言ではない。小型舟底形石器（舟底形石器Ⅰ類）を含む石器群、大型石刃・大型舟底形石器（舟底形石器Ⅱｂ・ｃ類）を含む石器群、幅広有舌尖頭器（尖頭器Ⅲ類）を含む石器群、広郷型ナイフ形石器を含む石器群が部分的に重複して分布している。周辺区域との接合関係も認められ、特に広郷型ナイフ形石器石器群は東地区のSb－61と接合関係がある。

J区（Sb－97～107）は、小型舟底形石器（舟底形石器Ⅰ類）を含む石器群が主体的に分布し、隣接するブロック同士の接合関係から区域を設定した。東西方向のブロック間接合が多く認められ、舟底形石器Ⅰ類の大きさは他の地区に比べやや大きい特徴がある。また、Sb－97には幅広有舌尖頭器（尖頭器Ⅲ類）を含む石器群が重複して分布する。

K区（Sb－108～111）は、小型舟底形石器（舟底形石器Ⅰ類）を含む石器群のみが分布する。ブロック間の接合関係は見られないが、単一の石器群であること、それぞれが隣接すること、J区との間に隔絶があることから区域として認定した。

次に石材別・器種別分布状況を概観する。石器ブロックが一部重なるため、「白滝Ⅰ群」としたSb－64～79とそれ以外のSb－80～111に分けて行う。なお、出土点数について特に記述がない場合は、点取り遺物の点数で、一括遺物も含む場合は明記する。　（鈴木宏行・直江康雄）

Sb－64～79「白滝Ⅰ群」の石器

黒曜石製の石器（図Ⅲ－28・29、表Ⅲ－３・７・８）

黒曜石の比率が高く、1,939点中1,915点で全体の98.8％を占める。石質毎にみると黒曜石１（黒色）が最も多く、1,421点（73.3％）出土し、以下黒曜石５（黒＞紫・茶）の293点（15.1％）、黒曜石４（黒＜茶）の148点（7.6％）、黒曜石３（黒＞茶）の27点（1.4％）、黒曜石２（梨肌）の26点（1.3％）の順となっている。石質毎に石器ブロックを観察すると、最も多い黒曜石１は全体的に分布するが、Sb－71ではやや少なめである。黒曜石２はSb－71でまとまって見られ、その他の石器ブロックではほとんど出土していない。黒曜石３はSb－64・68・69・74・75・77・78から僅かに出土している。黒曜石４はSb－66・70からまとまって出土している。黒曜石５はSb－74・76・77に多く見られ、ブロック全体に広がって出土している。特に石器ブロック群Sb－72～79で多く見られ、石器ブロック群Sb－64～70の分布と対照的である。

黒曜石以外の石器（図Ⅲ－29、表Ⅲ－３・７・８）

1,939点のうち24点（1.2%）が黒曜石以外の石材で、その内訳は珪岩13点、安山岩５点、めのう４点、頁岩１点、泥岩１点である。石質ごとに石器ブロックを観察すると、珪岩はSb－77を中心として、Sb－73・76に見られる。めのうはSb－74・77・76で見られ、珪岩と同様石器ブロック群Sb－72～79のみに分布する。安山岩はSb－66・70・76・77の広い範囲で見られる。頁岩はSb－66、泥岩はSb－77から出土している。石器ブロック群Sb－72～79では石材の種類が豊富で、他の遺跡を含めた「白滝Ⅰ群」の石器ブロック群の中ではバラエティーに富んでいる。

基部平坦加工石器（図Ⅲ－30、表Ⅲ－７・８）

２点出土し、Sb－64・67に分布している。素材裏面部の打瘤を除去するような平坦剥離を行う特徴的な石器である。少数であるが、石器ブロック群Sb－64～70を特徴付ける石器である。

裏面微細加工石器（図Ⅲ－30、表Ⅲ－７・８）

23点出土し、Sb－64（２点）・66（６点）・67（７点）・68（４点）・69（１点）・70（３点）に分布している。素材裏面部の縁辺部に長さ２mm前後の微細な加工が連続して見られる石器である。Sb－66・67でややまとまって見られる。石器ブロック群Sb－64～70を特徴付ける石器である。

台形石器（図Ⅲ－30、表Ⅲ－７・８）

１点出土し、Sb－77に分布している。急角度の二次加工が両側縁に連続して施される石器である。

二次加工ある剥片（図Ⅲ－30、表Ⅲ－７・８）

22点出土し、Sb－65・68・72・73・75以外の全ての石器ブロックに分布している。各石器ブロックとも少量で、５点以上出土する所はなく、Sb－70・71・76の４点が最も多い。

掻器（図Ⅲ－31、表Ⅲ－７・８）

79点出土し、石器ブロック群Sb－64～70ではSb－66・70のみ、石器ブロック群Sb－72～79ではSb－79を除いて分布している。特にSb－77で最も多く35点出土し、Sb－74（12点）、Sb－78（10点）、Sb－73（７点）、Sb－72・75・76（２点）の順に見られ、石器ブロック群Sb－72～79を特徴付ける石器である。また、Sb－70の６点中５点は折れ面接合するものである。

錐形石器（図Ⅲ－31、表Ⅲ－７・８）

５点出土し、Sb－64（２点）・74（１点）・77（１点）・79（１点）に分布している。全体的にまばらな分布である。

削器（図Ⅲ－31、表Ⅲ－７・８）

４点出土し、Sb－66（１点）・70（１点）、76（１点）・77（１点）に分布している。全体的にまばらな分布である。

台石（図Ⅲ－31、表Ⅲ－７・８）

１点出土し、Sb－77に分布している。安山岩製で、器体の大半が欠損している。

斧形石器（図Ⅲ－31、表Ⅲ－７・８）

１点出土し、Sb－77に分布している。泥岩製で、加工の度合いは低い。

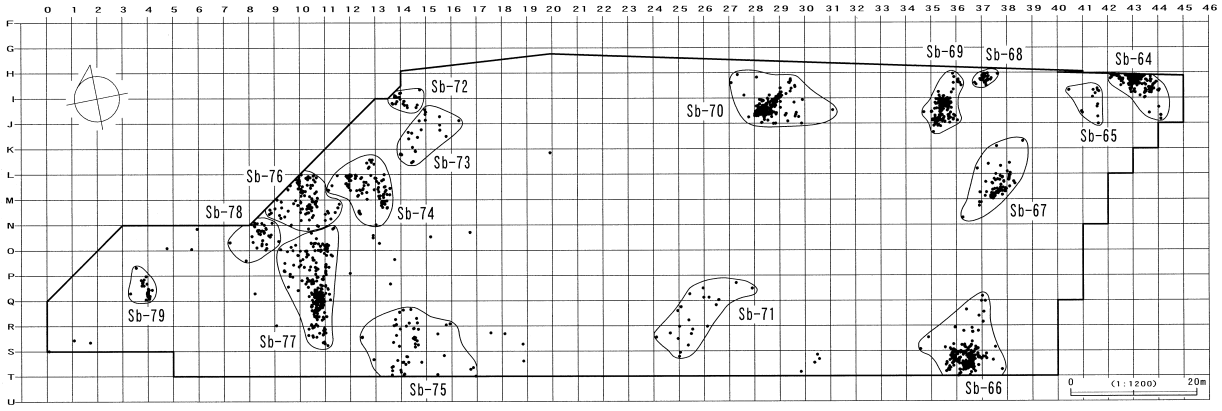
石核（図Ⅲ－31、表Ⅲ－７・８）

90点出土し、Sb－68・75・78を除く全ての石器ブロックに分布している。特にSb－66（19点）・70（17点）・77（16点）で多く出土し、その他は10点未満である。加工の施されたトゥール類の合計より出土数が多い。これは他の「白滝Ⅰ群」と同様の特徴である。

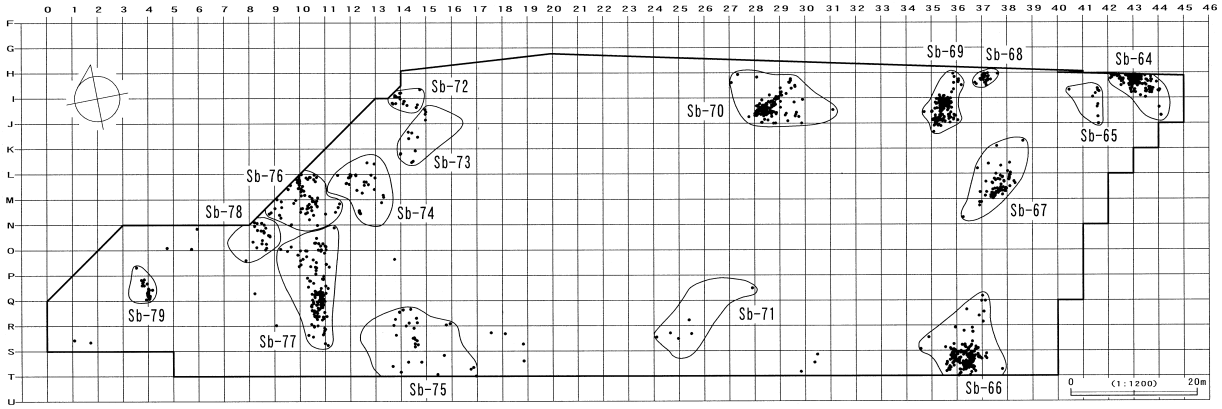
原石（図Ⅲ－32、表Ⅲ－７・８）

14点出土し、全てSb－77に分布している。角礫で棒状のⅡ類が圧倒的に多い。

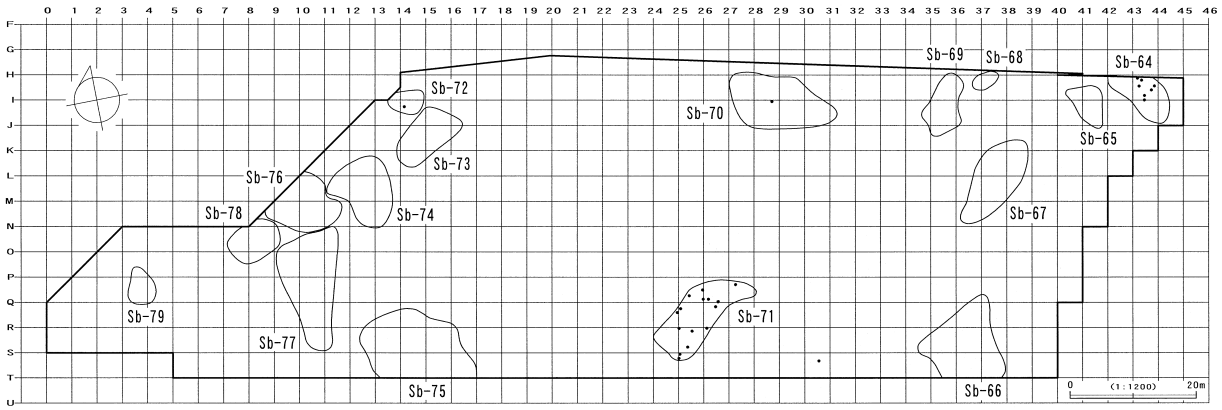
黒曜石１～５「白滝Ｉ群」



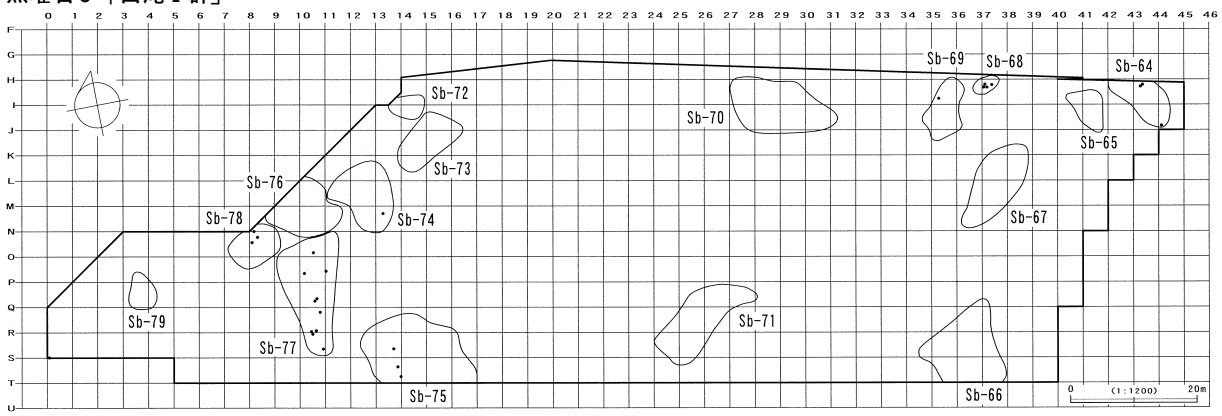
黒曜石１「白滝Ｉ群」



黒曜石２「白滝Ｉ群」

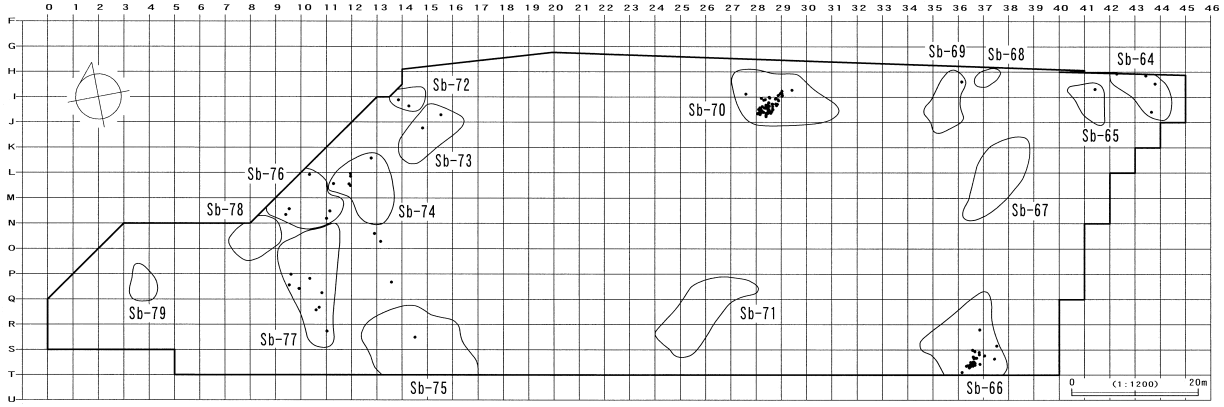


黒曜石３「白滝Ｉ群」

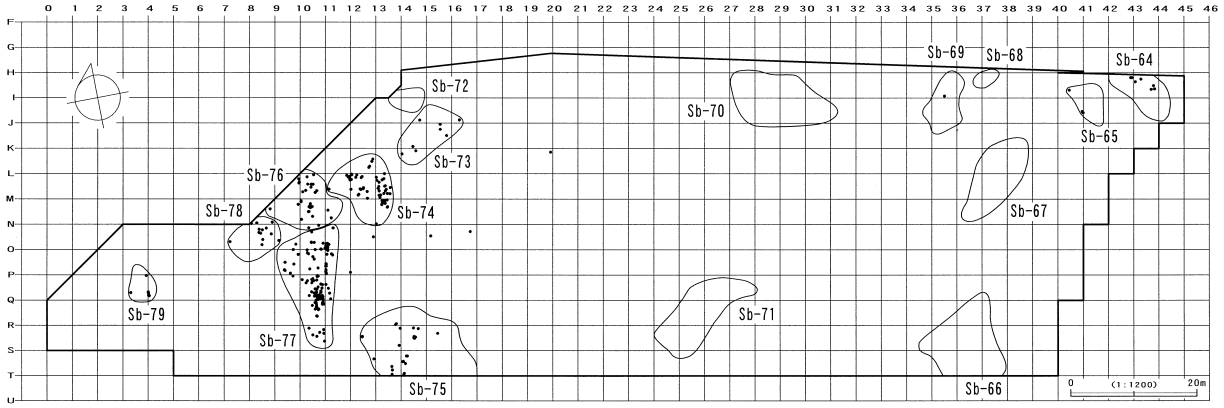


図Ⅲ－28　器種・石材別分布図(1)

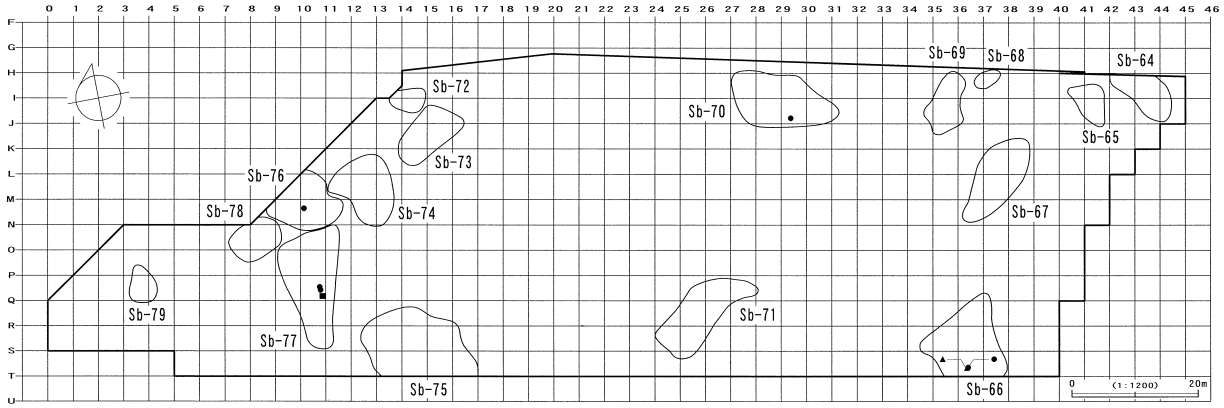
黒曜石４「白滝Ⅰ群」



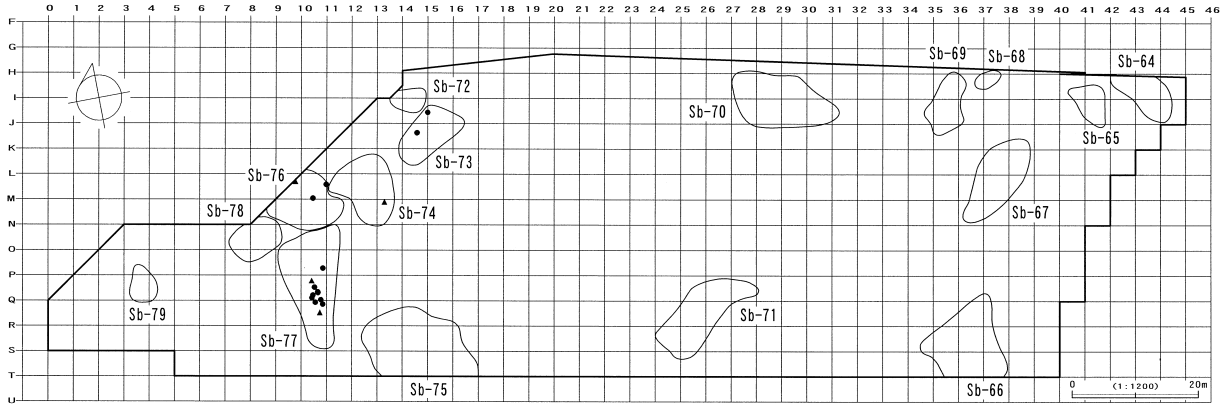
黒曜石５「白滝Ⅰ群」



安山岩(●)・頁岩(▲)・泥岩(■)「白滝Ⅰ群」

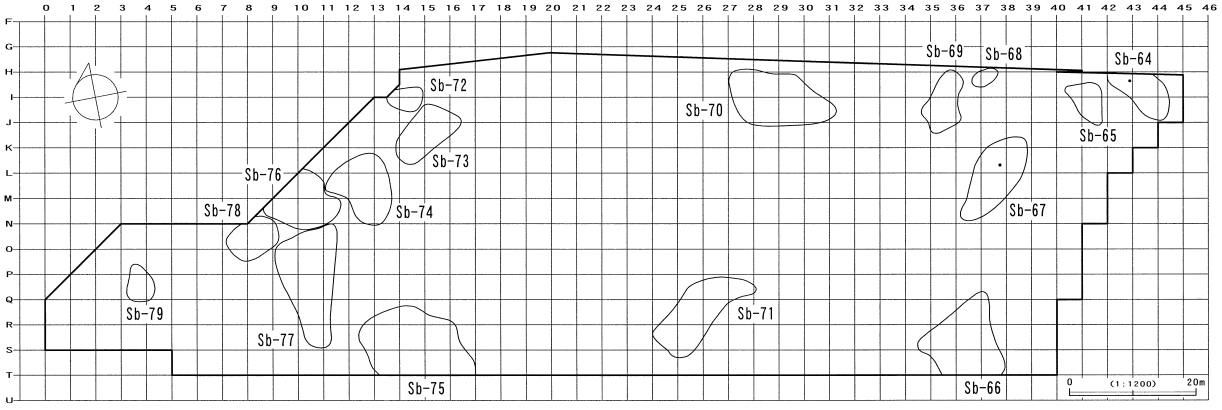


珪岩(●)・めのう(▲)「白滝Ⅰ群」

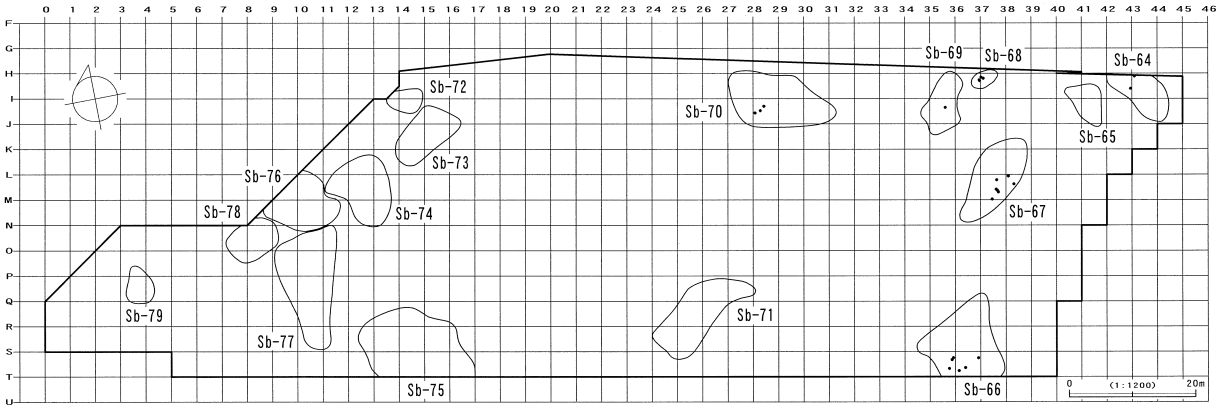


図Ⅲ－29　器種・石材別分布図(2)

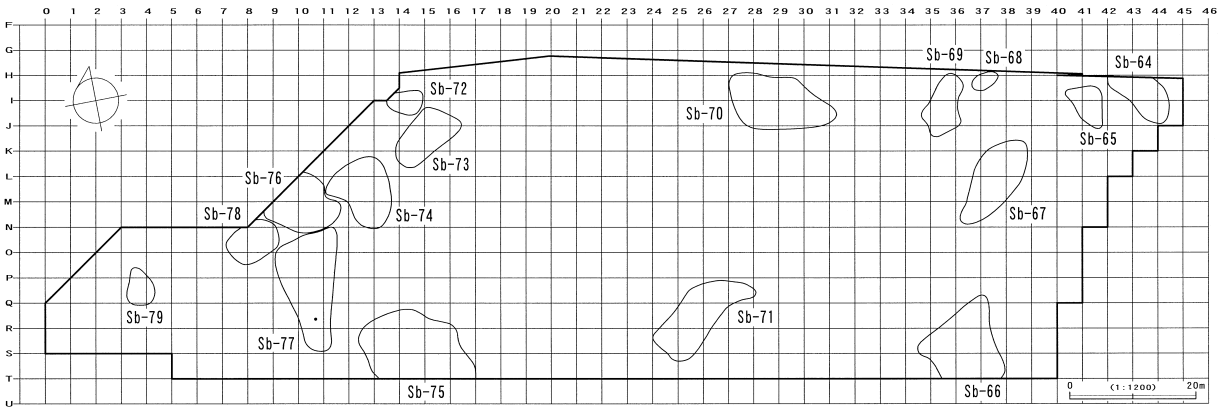
基部平坦加工石器「白滝Ⅰ群」



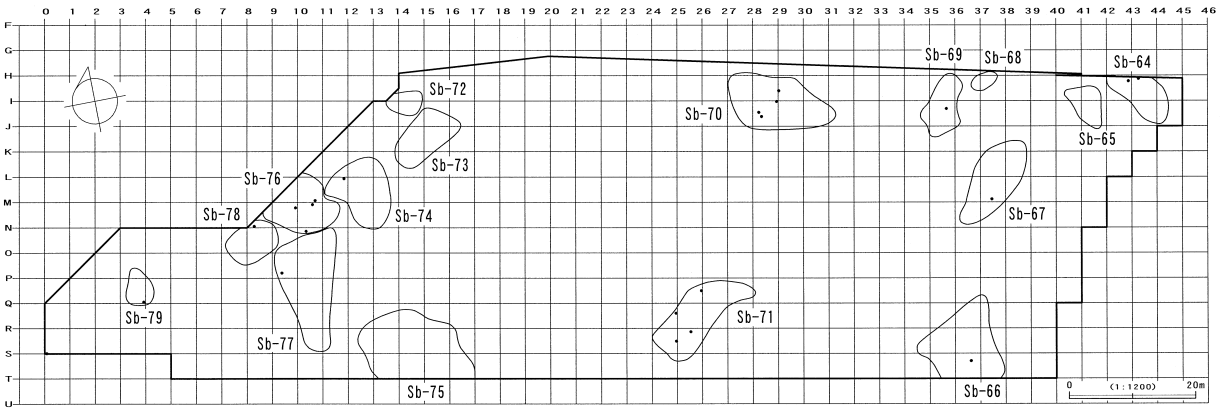
裏面微細加工石器「白滝Ⅰ群」



台形石器「白滝Ⅰ群」

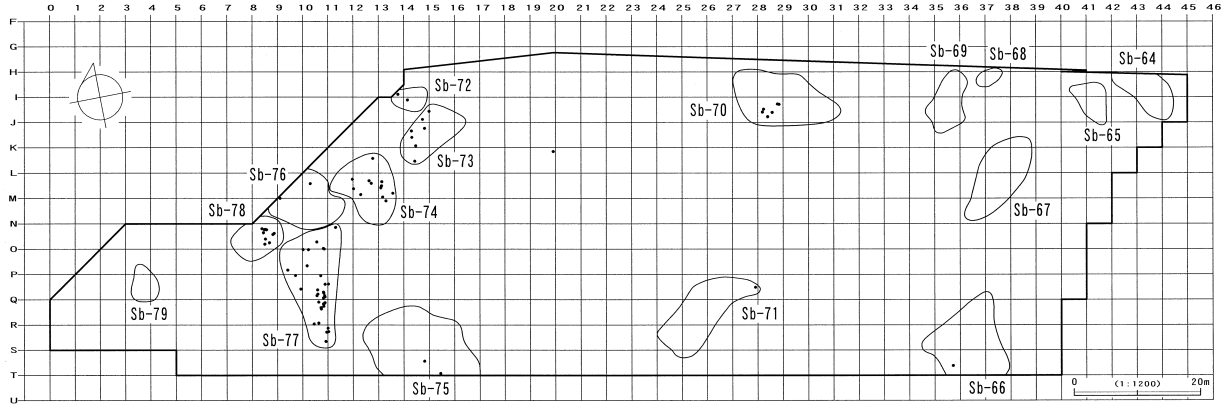


二次加工ある剥片「白滝Ⅰ群」

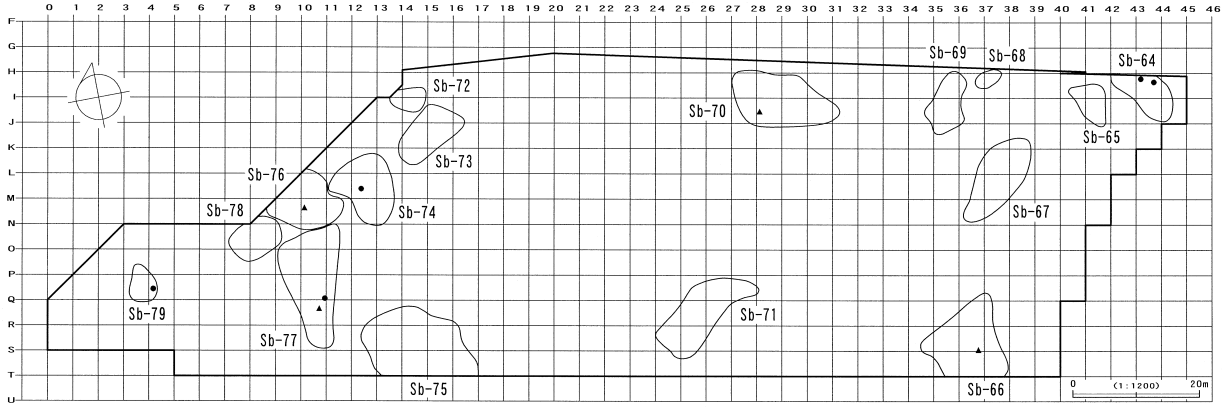


図Ⅲ－30　器種・石材別分布図(3)

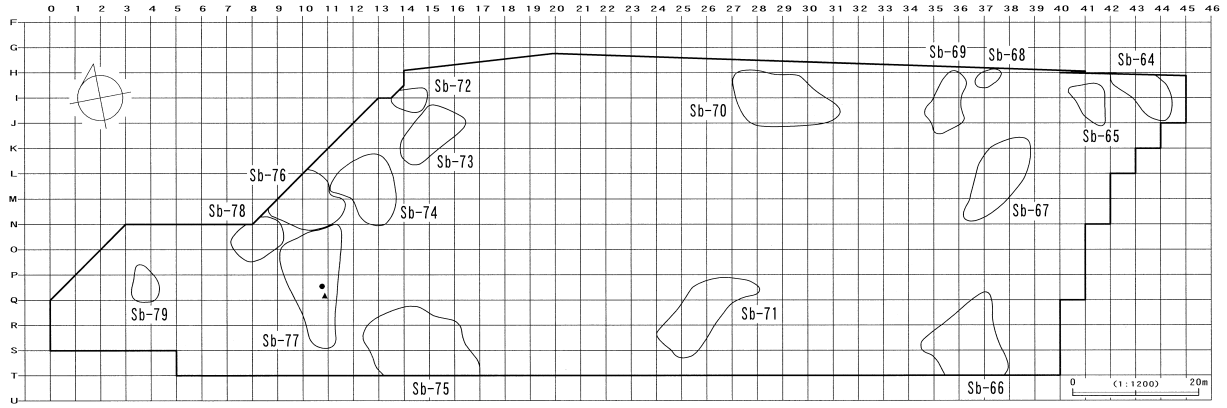
掻器「白滝Ⅰ群」



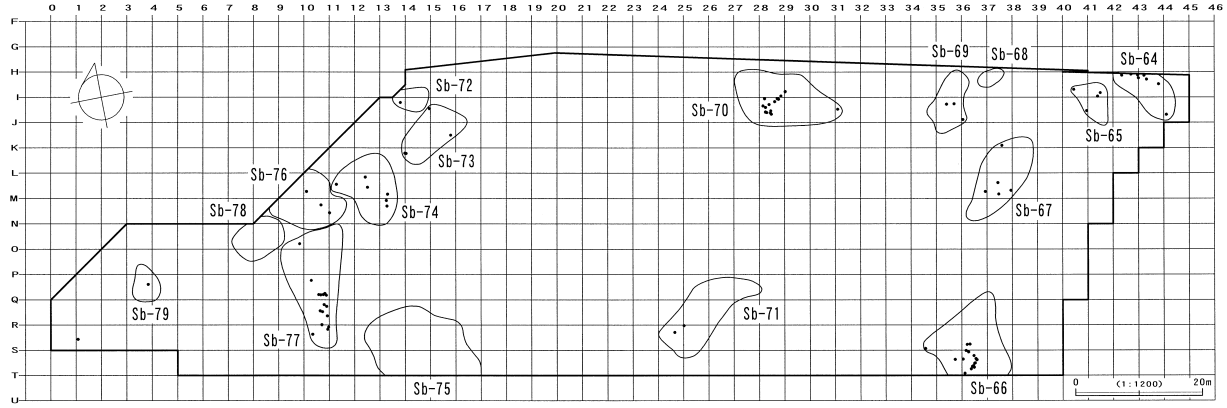
錐形石器(●)・削器(▲)「白滝Ⅰ群」



台石(●)・斧形石器(▲)「白滝Ⅰ群」

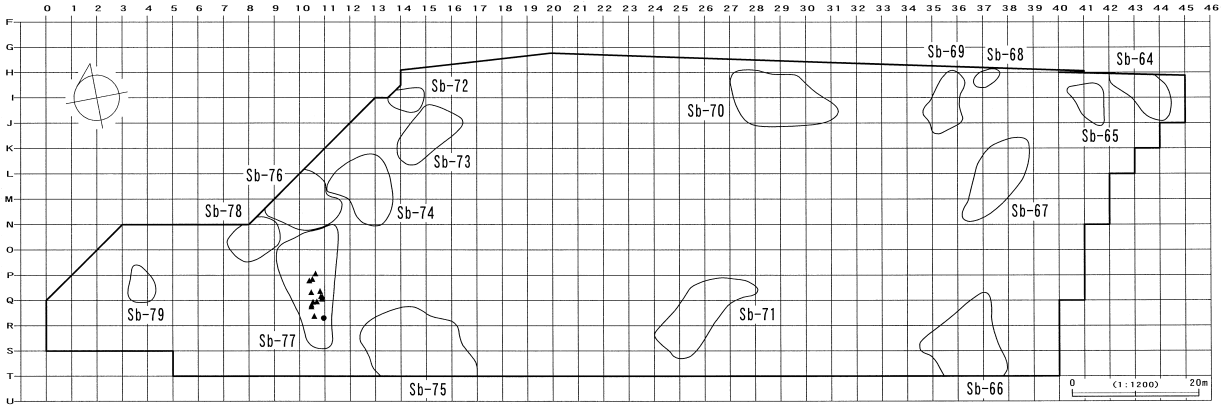


石核「白滝Ⅰ群」

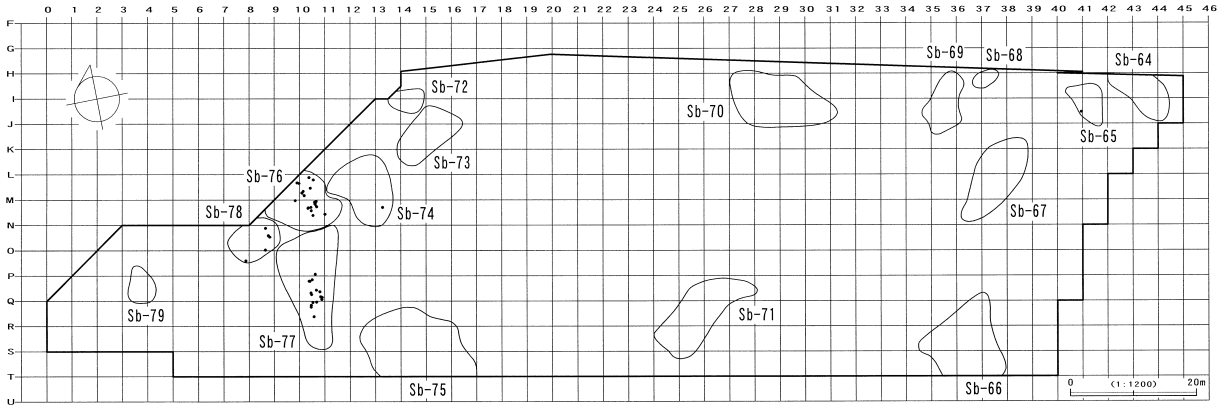


図Ⅲ－31　器種・石材別分布図(4)

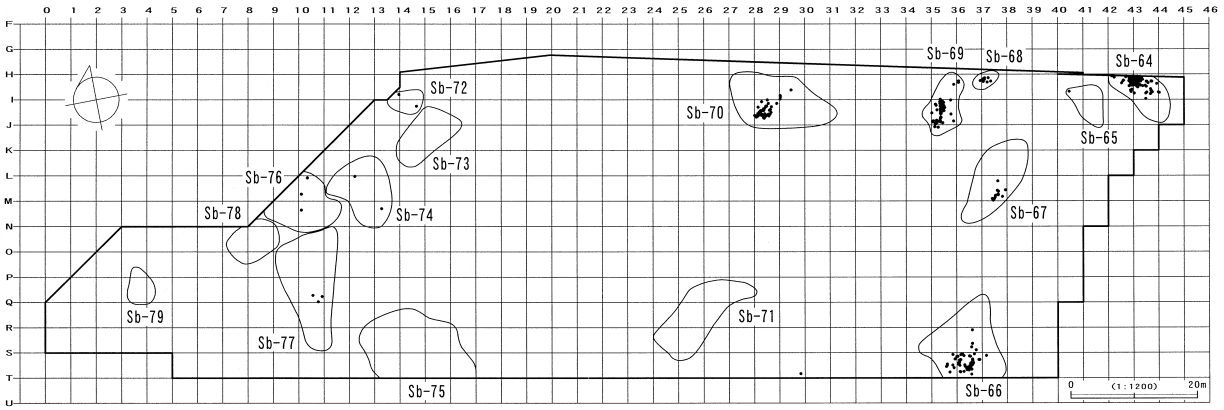
原石Ⅰ類(●)・Ⅱ類(▲)「白滝Ⅰ群」



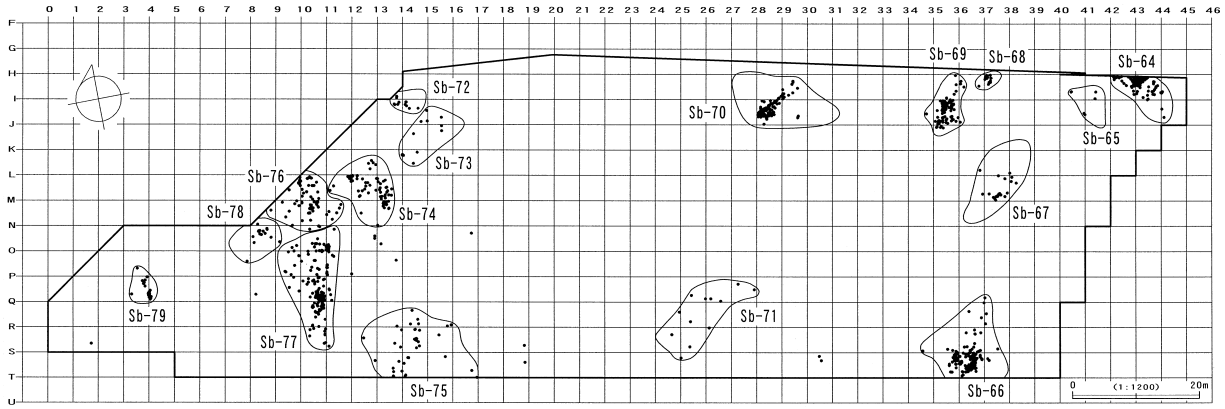
角礫素材の石器「白滝Ⅰ群」



原礫面残存の石器「白滝Ⅰ群」



被熱石器「白滝Ⅰ群」



図Ⅲ－32　器種・石材別分布図(5)

角礫素材の石器（図Ⅲ－32）

45点出土し、Sb－65（１点）・74（１点）・76（21点）・77（16点）・78（６点）に分布している。石器ブロック群ごとに見てみると、Sb－72～79がほとんどを占めている。なおこの分布には前述の原石Ⅱ類も含まれている。

被熱石器（図Ⅲ－32、表Ⅲ－13）

376点（19.4％）が被熱している。石器ブロック群ごとに見ると、Sb－64～70では全てに分布し、高い割合で被熱している（31.8％）。特にSb－64（55.2％）が非常に多く、Sb－69では39.2％と平均値に近い。その他はSb－70（25.3％）・66（23.8％）・68（18.6％）・67（16.3％）・65（7.1％）と続き、石器ブロック間での変異が大きい。Sb－72～79では少量（1.3％）で、Sb－72・74・76・77のみに分布している。最も高いのはSb－72の9.5％で、その他は１％前後である。被熱石器の分布は全体の遺物分布にほぼ対応している。各石器ブロックの被熱石器と炭化木片ブロック（Cb）との関係をみると（図Ⅲ－16）、Sb－66の被熱石器の中心部からCb－18が確認されている。その他で被熱石器に近接した炭化木片ブロックは見られない。

原礫面残存の石器（図Ⅲ－32、表Ⅲ－13）

1,043点（53.8％）に残存している。全体的に高い割合で、特にSb－79では86.2％を占め、突出した数値である。その他は60％台後半がSb－74・75、50％台がSb－66・69～72・76・77、40％台がSb－64・65・68・73、30％台がSb－78、20％台がSb－67であり、石器ブロック間での変異が大きい。石器ブロック群ごとではSb－72～79が最も高い（61.5％）。原石もしくは原礫面に覆われた剥片の状態で遺跡に搬入されたものが多いことを示している。また、原礫面残存石器の分布は全体の遺物分布にほぼ対応している。（直江康雄）

Sb－80～111「白滝Ⅰ群」以外の石器

黒曜石製の石器（図Ⅲ－33・34、表Ⅲ－３・７～12）

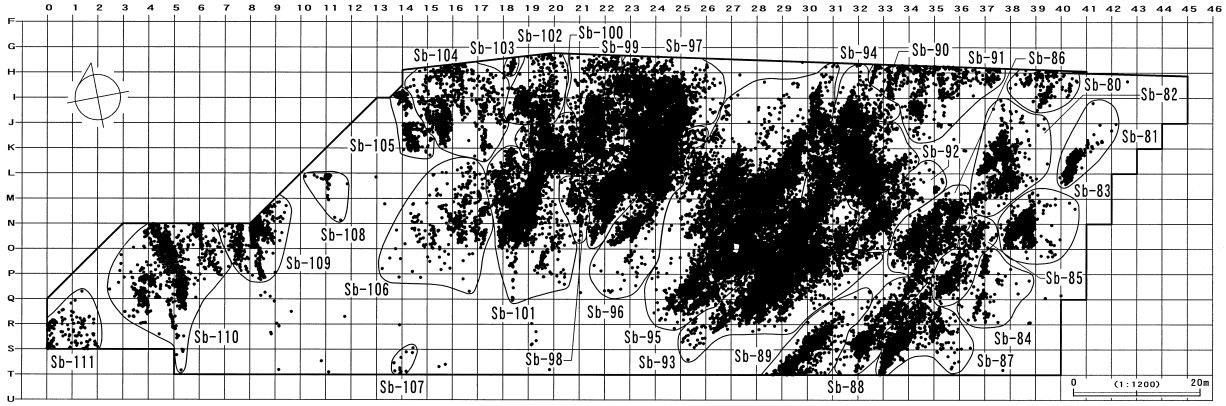
124,536点のうち124,458点（99.9％）が黒曜石製である。黒曜石全体の中では黒曜石１（黒色）が62,772点（50.4％）で約半数を占め、以下黒曜石４（黒＜茶）の44,305点（35.6％）、黒曜石３（黒＞茶）の8,885点（7.1％）、黒曜石５（黒＞紫・茶）の5,072点（4.1％）、黒曜石２（梨肌）3,424点（2.8％）の順となっている。石質別では、黒曜石１はほぼ全域に分布するが、黒曜石４の密度が高いSb－81～87、Sb－95（Ｌ26区周辺）の密度は低い。黒曜石２はSb－85・93～95・96・97・104・110にスポット的に分布する。黒曜石３～５は石質が漸移的であることもあり、全体的に類似した分布である。黒曜石４はほぼ全域に分布するが、Sb－88、89南西部、90南東部、95南西部、102の分布密度が低く、石器群の偏りを反映したものと思われる。

黒曜石以外の石器（図Ⅲ－34・35、表Ⅲ－３・７～12）

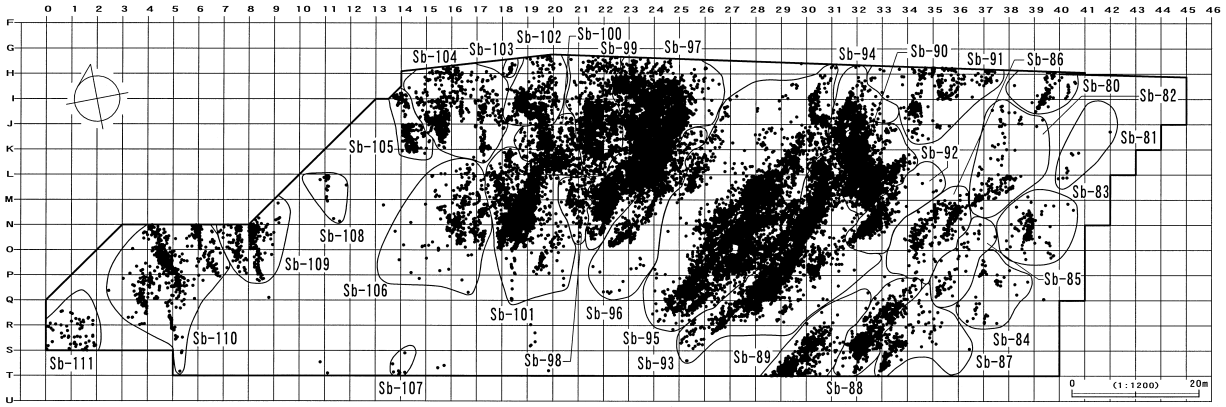
124,536点のうち78点（0.06％）が黒曜石以外の石材で、その内訳は頁岩45点、安山岩21点、珪岩４点、めのう３点、碧玉３点、砂岩１点、緑色泥岩１点である。頁岩はSb－93にはややまとまって、Sb－97～106には広範囲に散漫に分布し、その他はSb－85周辺・90周辺・109周辺に少量分布する。安山岩はSb－93・95、Sb－97周辺にややまとまって分布し、特にSb－95のＬ27・28区では大型尖頭器・大型舟底形石器と分布が重複する。めのうはSb－105・109、珪岩はSb－95・104・105、碧玉・緑色泥岩はSb－104に分布し、それらは巨視的に見た遺物集中域の縁辺部に位置する。また、「白滝Ⅰ群」の黒曜石以外の遺物に隣接することから「白滝Ⅰ群」と関連がある可能性がある。

器種別では、頁岩はトゥールの比率が高く、彫器Ⅱ類（６点）、削器（４点）、錐形石器（４点）、

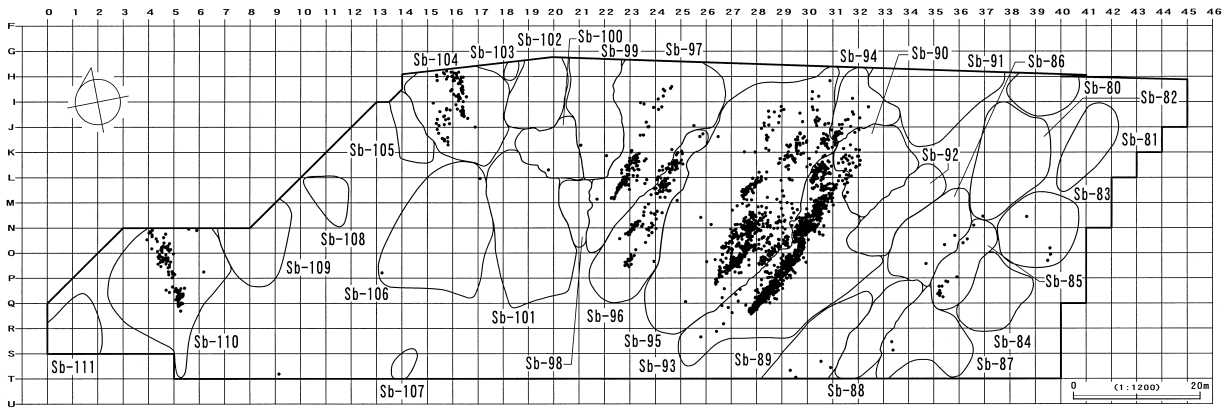
黒曜石１～５「白滝Ⅰ群」以外



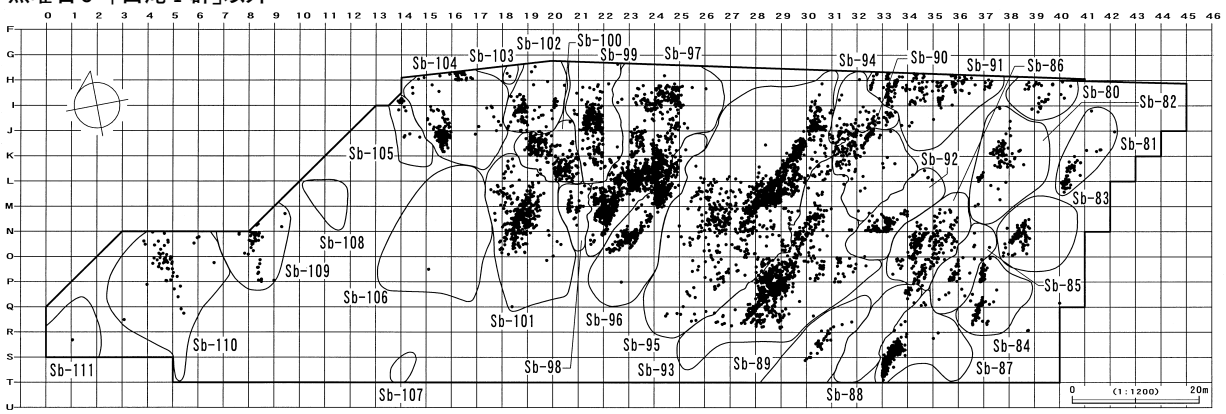
黒曜石１「白滝Ⅰ群」以外



黒曜石２「白滝Ⅰ群」以外

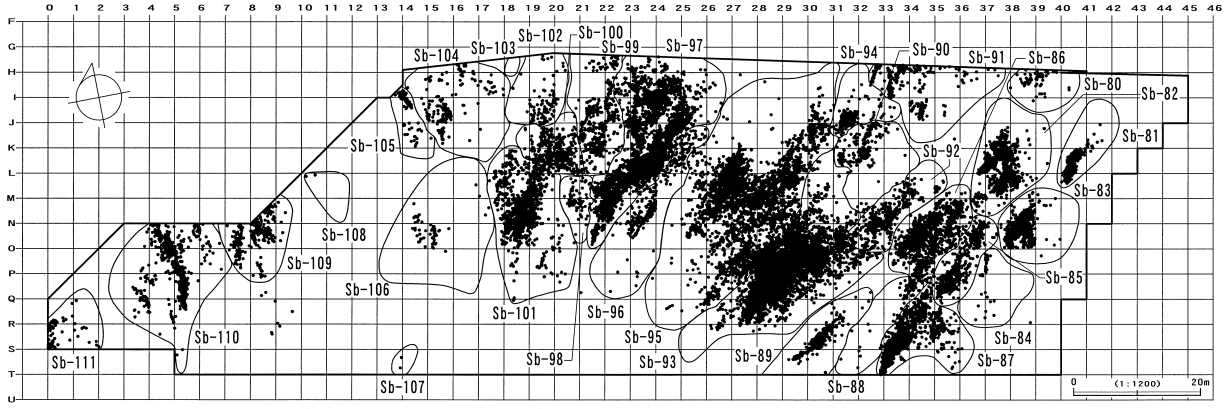


黒曜石３「白滝Ⅰ群」以外

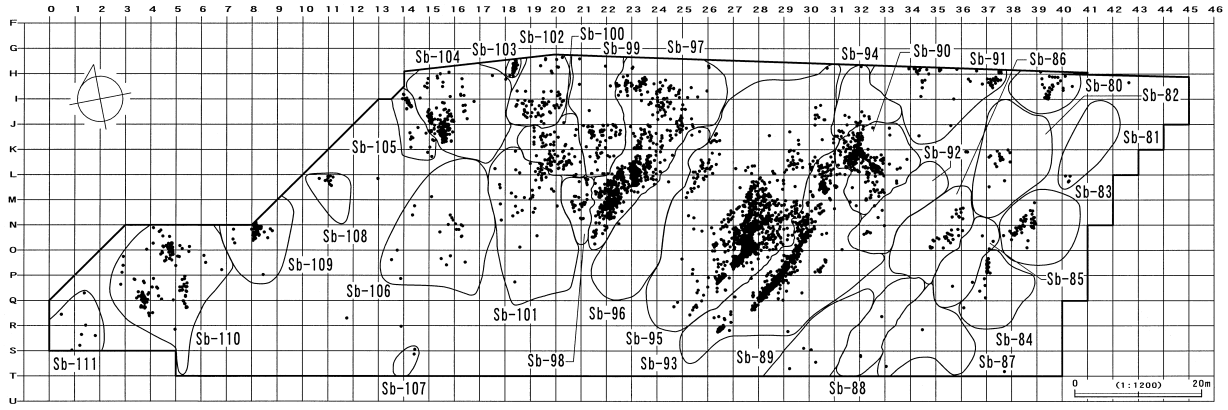


図Ⅲ－33　器種・石材別分布図(6)

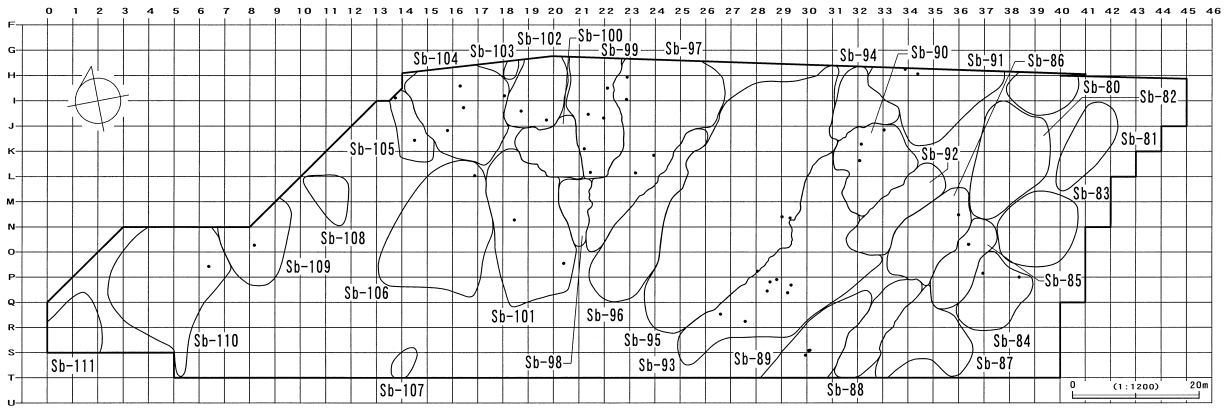
黒曜石 4 「白滝Ⅰ群」以外



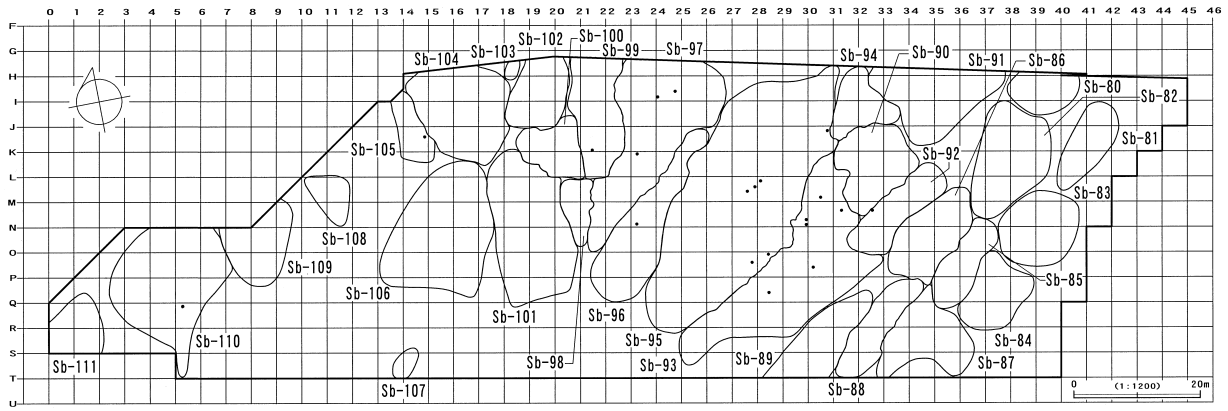
黒曜石 5 「白滝Ⅰ群」以外



頁岩 「白滝Ⅰ群」以外



安山岩 「白滝Ⅰ群」以外



図Ⅲ－34　器種・石材別分布図(7)

石刃（５点）・縦長剥片（３点）、尖頭器削片（３点）、斧形石器（１点）が出土し、一括遺物には舟底形石器Ⅱａ類（１点）、彫器削片Ⅰ類（１点）・Ⅱ類（２点）が含まれる。安山岩はトゥールの比率が低く、尖頭器Ⅲ類（２点）、掻器（２点）、削器（２点）、台石（２点）以外は剥片（13点）で、一括遺物には彫器削片Ⅲ類（３点）が含まれる。頁岩・安山岩以外の石材はめのう製の尖頭器Ⅰ類（１点）、珪岩製の縦長剥片（１点）、砂岩製の礫（１点）を除いて全て剥片である。

尖頭器（図Ⅲ－35・36、表Ⅲ－７～12）

397点（Ⅰ類308点、Ⅱ類40点、Ⅲ類49点）出土している。Ⅰ類が最も多く、広範囲に分布し、Sb－84・87・90・94・105～107・109・111を除くほぼ全域から出土している。Sb－83（N38区周辺）、Sb－93（P28区周辺）、Sb－95（L28区周辺）に集中が見られ、Sb－95のL28区周辺には大型品が分布する。剥片素材はSb－89・90・93・95にまとまって分布し、Sb－89・90は忍路子型細石刃核石器群に対応し、Sb－93・95は尖頭器Ⅲ類の分布に一致する。尖頭器Ⅱ類はSb－93・95のN26～P28区周辺、Sb－101のL19区周辺にまとまって分布し、それ以外にSb－82・83・92・97・99・100・102・111に分布する。尖頭器Ⅲ類はⅠ・Ⅱ類と異なり、Sb－93・95・96・97・99に限定して分布する。

尖頭器削片（図Ⅲ－36、表Ⅲ－７～12）

112点出土している。尖頭器削片の石核にあたる尖頭器Ⅱ類と概ね分布が一致するが、Sb－85には尖頭器削片のみ分布している。

両面調整石器（図Ⅲ－36、表Ⅲ－７～12）

51点出土し、点数はSb－97（15点）が多いが、集中の度合いによる偏りは見られず、ほぼ全域に散漫に分布している。また、それは、尖頭器Ⅰ類の分布とほぼ一致している。

細石刃核（図Ⅲ－37、表Ⅲ－７～12）

忍路子型細石刃核が１点出土し、Sb－90（１点）に分布する。

舟底形石器（図Ⅲ－37・38、表Ⅲ－７～12）

468点（Ⅰａ類44点、Ⅱａ類404点、Ⅱｂ類15点、Ⅱｃ類５点）出土している。Ⅰａ類は量の多い順からSb－97～101・106、Sb－93、Sb－85周辺のP28区周辺、の３か所にまとまりがあり、それ以外はSb－94・Sb－106などに点在している。Ⅱａ類の分布に概ね一致するが、Ⅰａ類のほうが限定される。

Ⅱａ類 はSb－97（89点）、93（58点）、101（39点）、100（31点）、82（27点）、86（23点）、87（15点）、110（14点）、98（13点）、99（13点）、109（13点）、83（11点）、94（10点）、95（10点）の順に10点以上出土し、Sb－80・81・92・102・103・105・107・108・111を除くほぼ全域に分布している。これらはⅠａ類の分布に重複するが、Sb－82・83・86・87・89・95中央部・96・97南部・109・110にはⅠａ類がほとんど分布せず、Ⅱａ類が主体的にまとまって分布する。

Ⅱｂ・ｃ類 はSb－95（８点）、83（２点）、99（２点）、110（２点）、101（１点）、Ⅱｃ類 はSb－95（２点）、98（２点）、97（１点）に分布し、Sb－83の２点とSb－95のL27・28区の集中は大型尖頭器に伴うものである。それ以外は小型舟底形石器（舟底形石器Ⅰ類）を含む石器群に伴うもので加工はⅡａ類に似るが、Ⅱａ類に比べ大型の素材が利用されている。

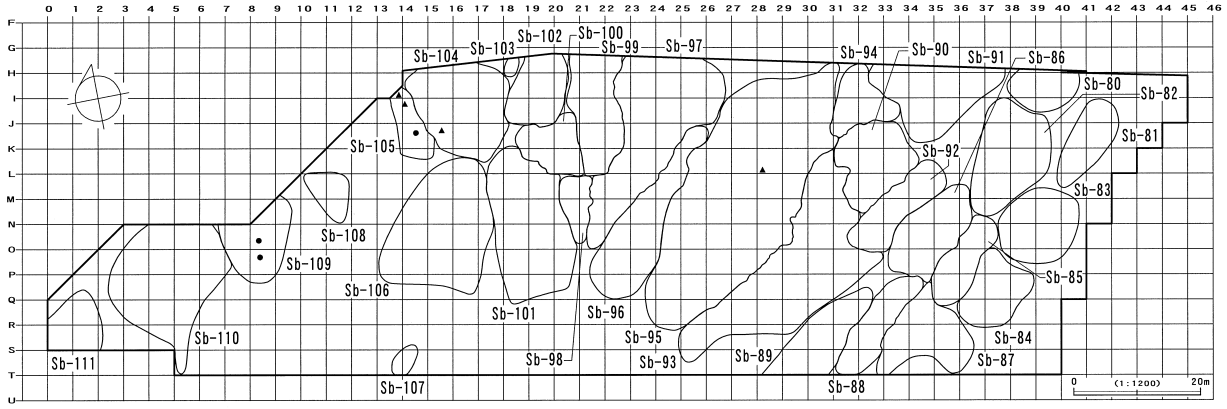
舟底形石器削片（図Ⅲ－37、表Ⅲ－７～12）

一括遺物のみ５点出土し、Sb－99周辺・103に分布する。舟底形石器削片は全て舟底形石器Ⅰａ類から剥離されたもので、分布は舟底形石器Ⅰａ類の分布の一部に一致する。

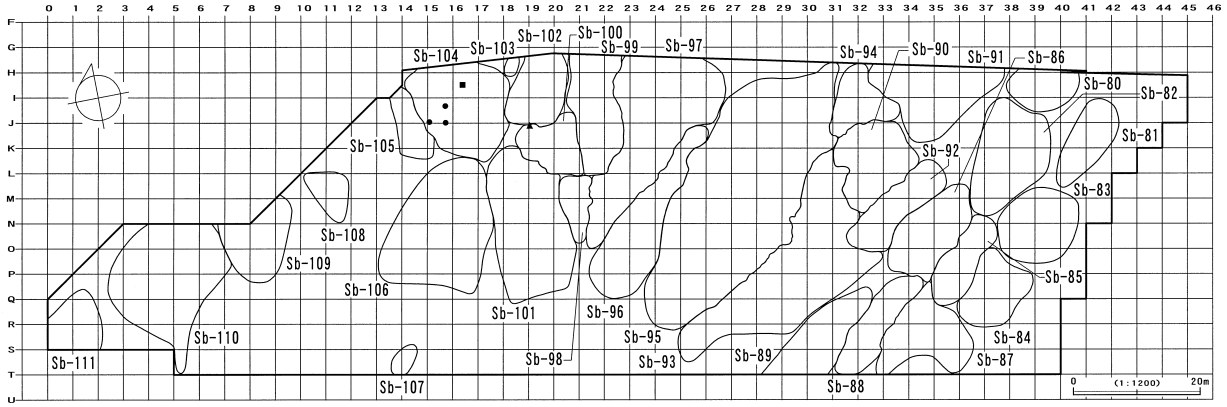
ナイフ形石器（図Ⅲ－38、表Ⅲ－７～12）

45点出土している。Sb－83（１点）、93（３点）、95（40点）、96（１点）に分布し、Sb－95の南西部にまとまっている。Sb－83の１点を除いて広郷型ナイフ形石器に関連する。

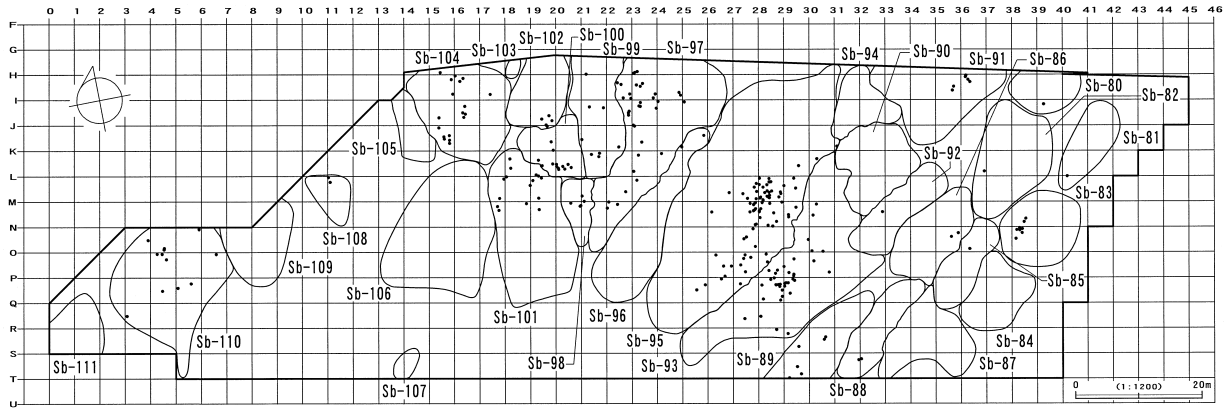
めのう(●)・珪岩(▲)「白滝Ⅰ群」以外



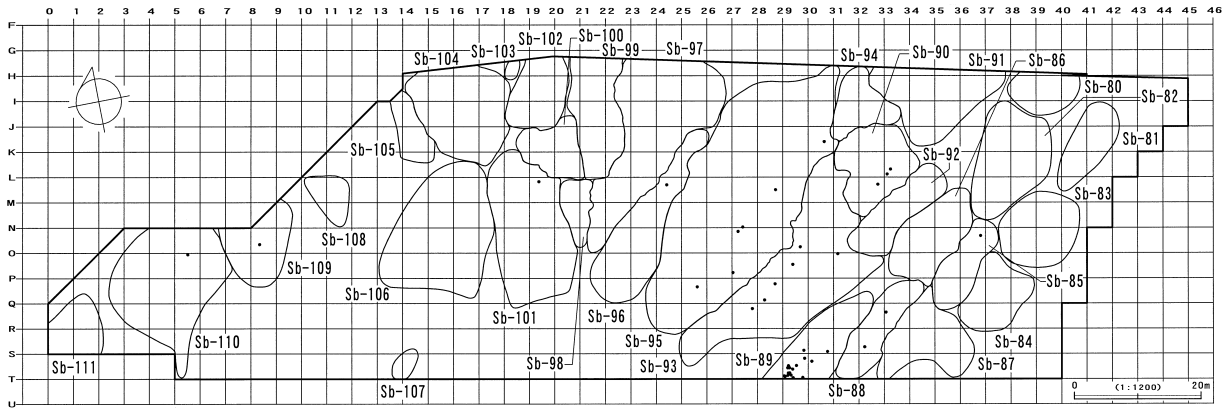
碧玉(●)・砂岩(▲)・緑色泥岩(■)「白滝Ⅰ群」以外



尖頭器Ⅰ類(石核素材・素材不明)「白滝Ⅰ群」以外

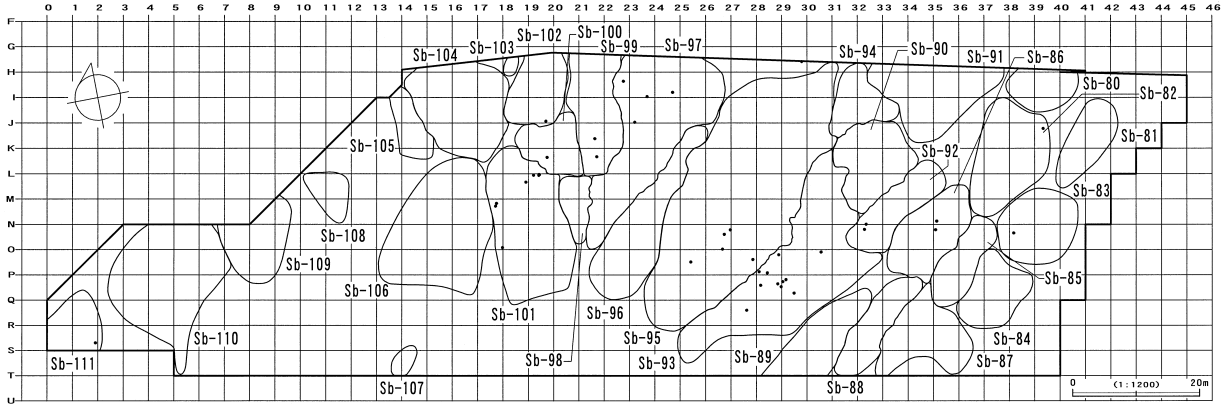


尖頭器Ⅰ類(剥片素材)「白滝Ⅰ群」以外

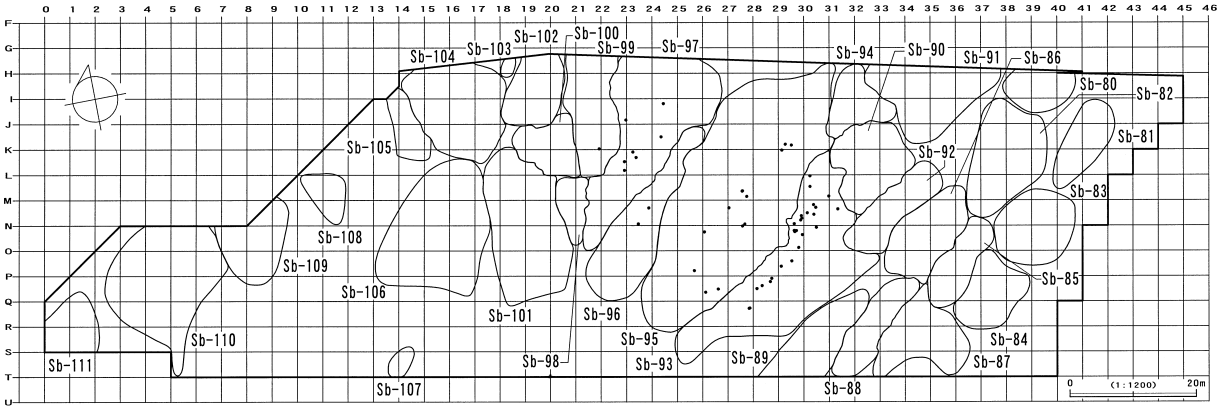


図Ⅲ－35　器種・石材別分布図(8)

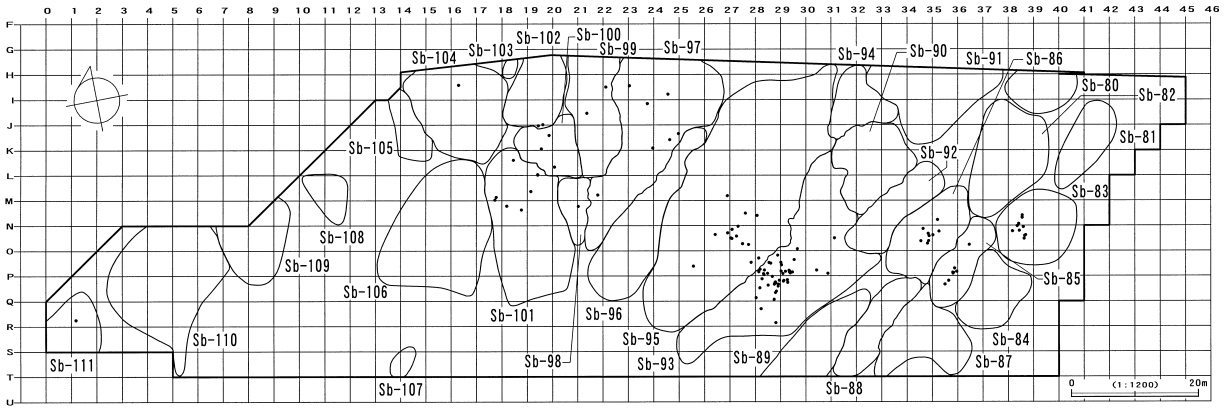
尖頭器Ⅱ類「白滝Ⅰ群」以外



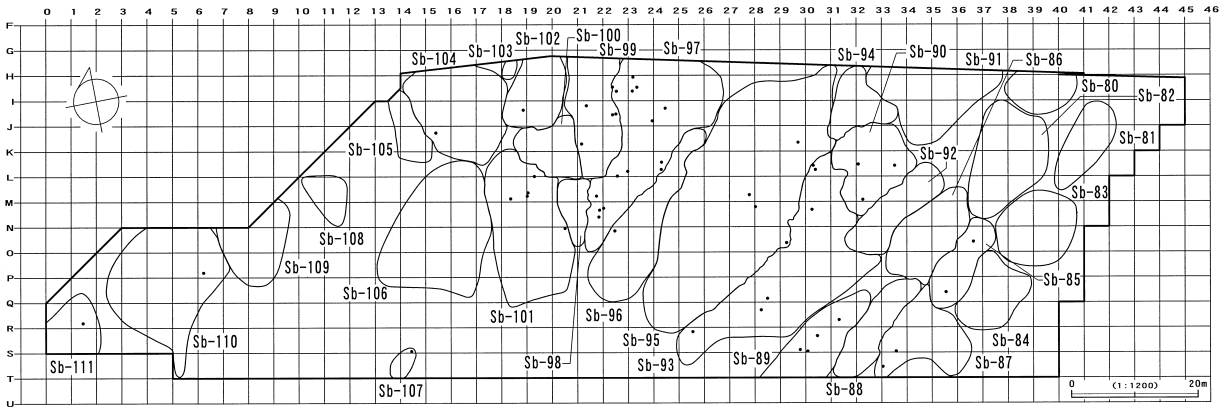
尖頭器Ⅲ類「白滝Ⅰ群」以外



尖頭器削片「白滝Ⅰ群」以外

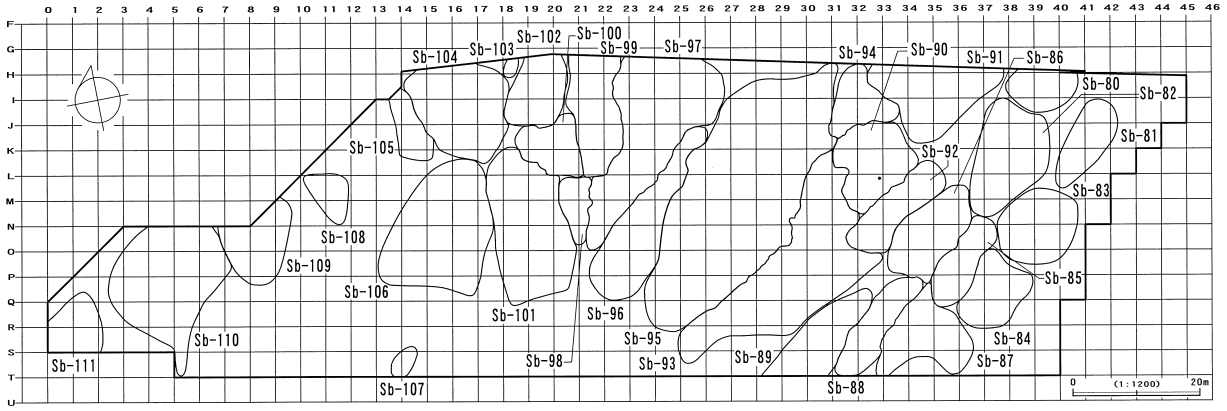


両面調整石器「白滝Ⅰ群」以外

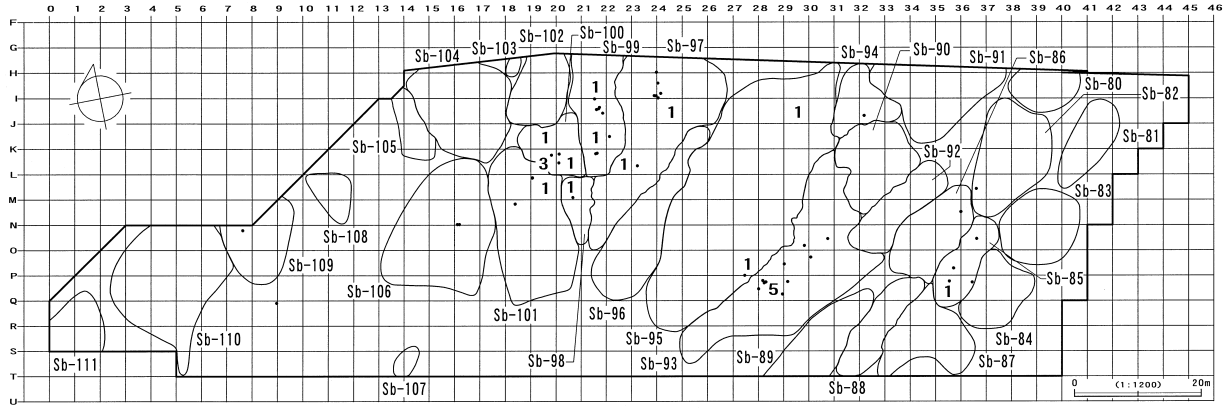


図Ⅲ－36　器種・石材別分布図(9)

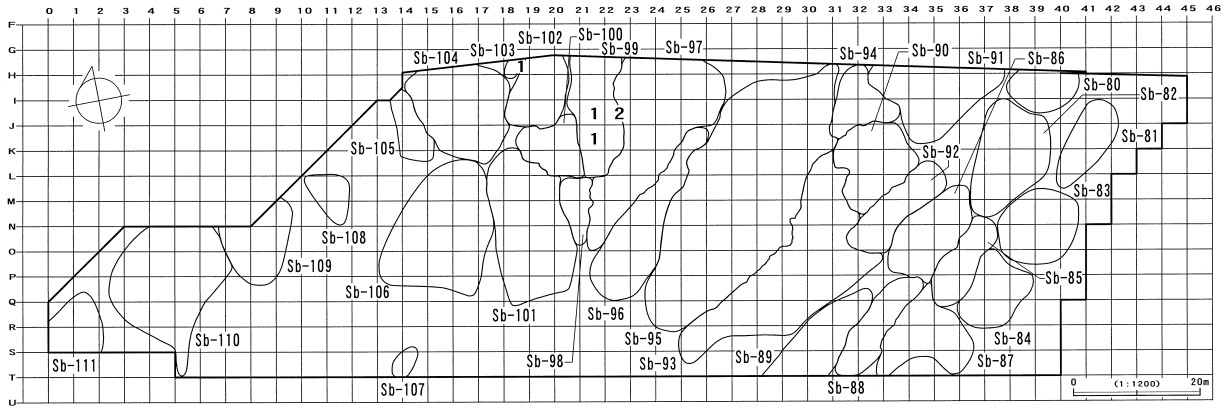
細石刃核「白滝Ⅰ群」以外



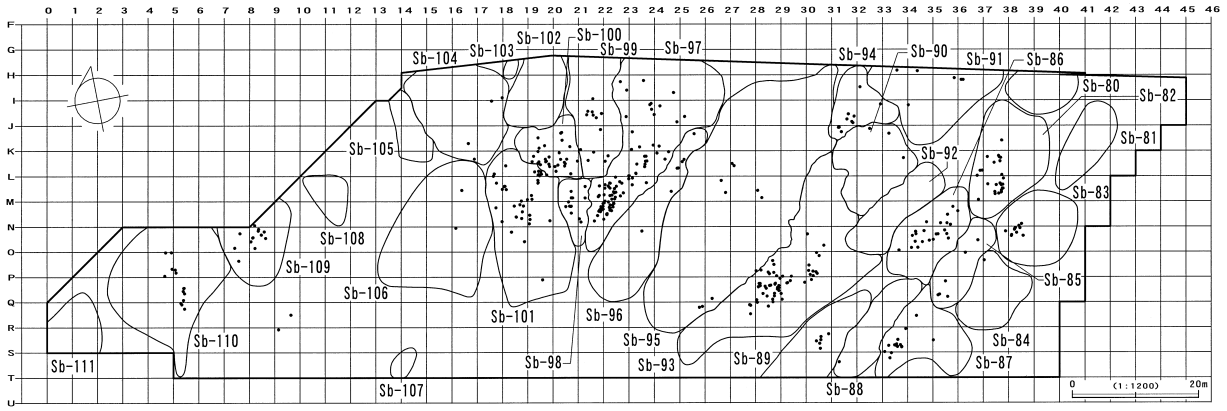
舟底形石器Ⅰ類「白滝Ⅰ群」以外　※数字は一括遺物点数



舟底形石器削片「白滝Ⅰ群」以外　※数字は一括遺物点数

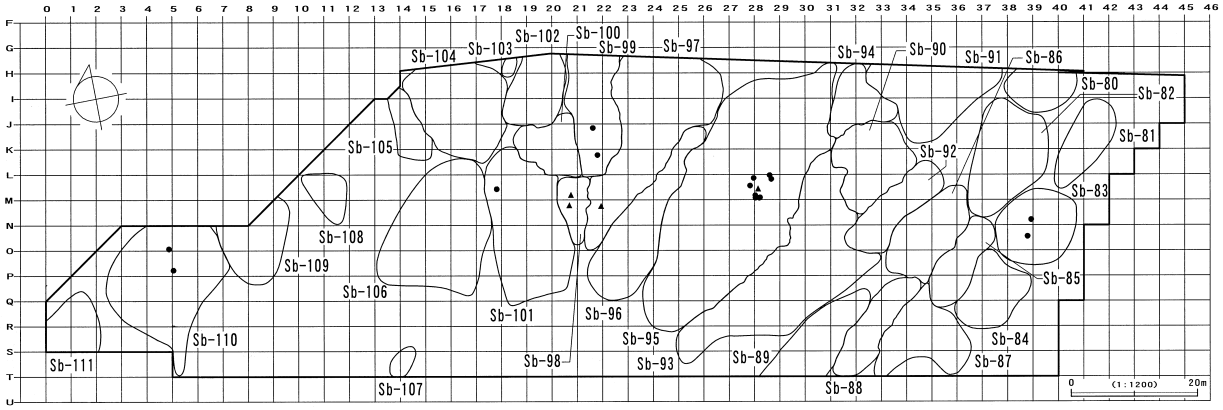


舟底形石器Ⅱa類「白滝Ⅰ群」以外

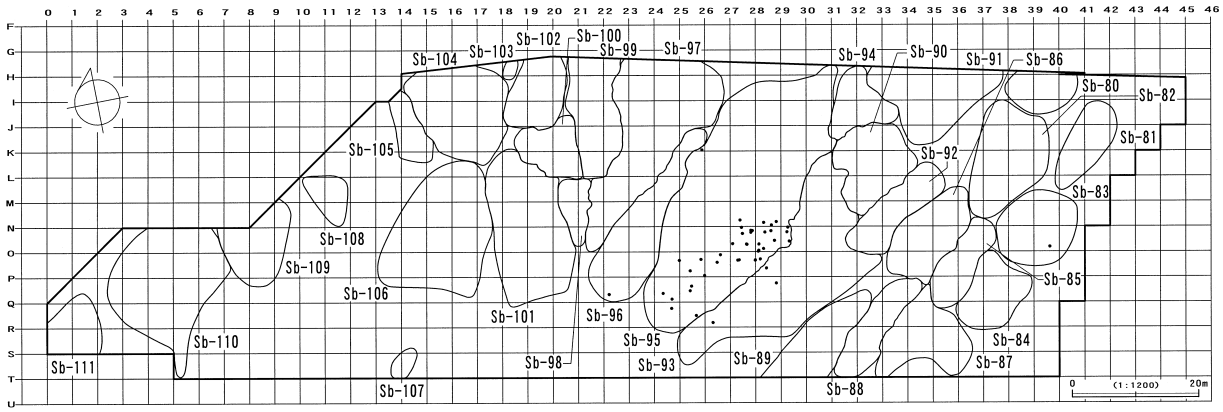


図Ⅲ－37　器種・石材別分布図(10)

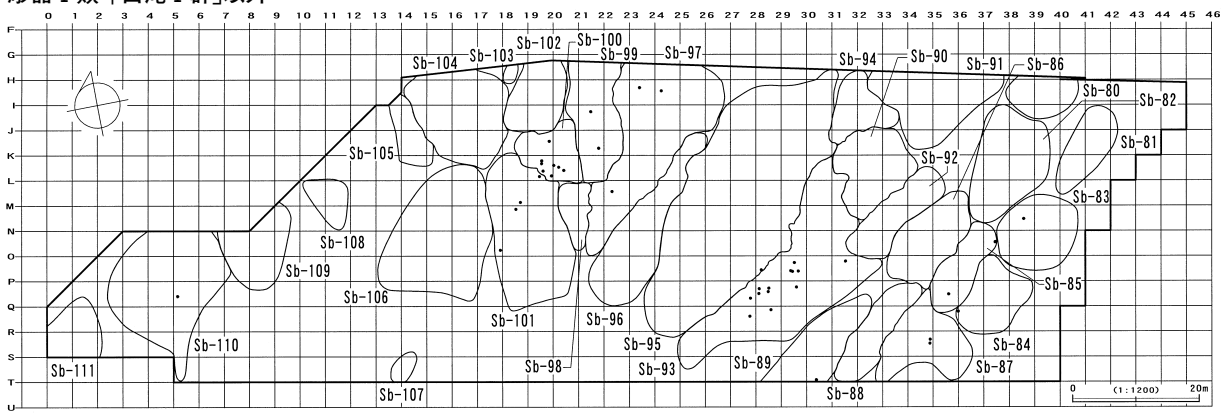
舟底形石器Ⅱb類(●)・Ⅱc類(▲)「白滝Ⅰ群」以外



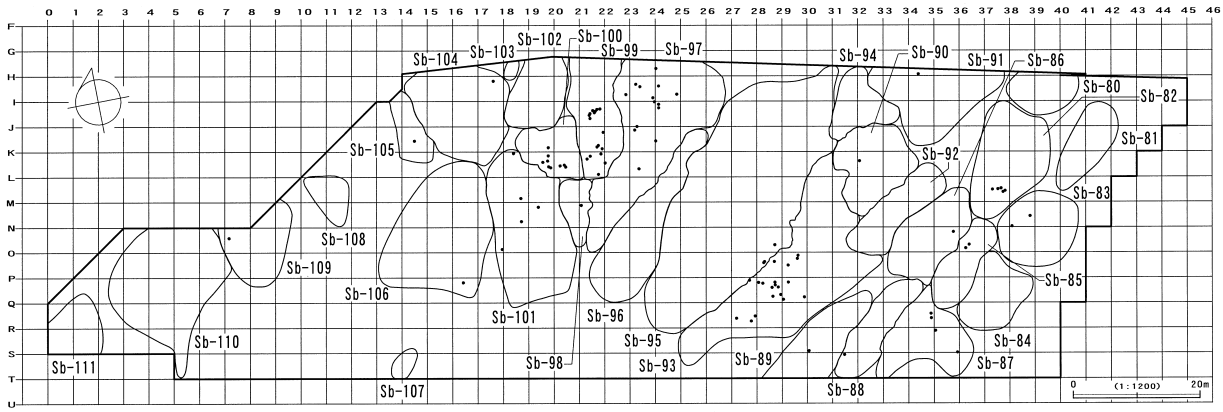
ナイフ形石器「白滝Ⅰ群」以外



彫器Ⅰ類「白滝Ⅰ群」以外

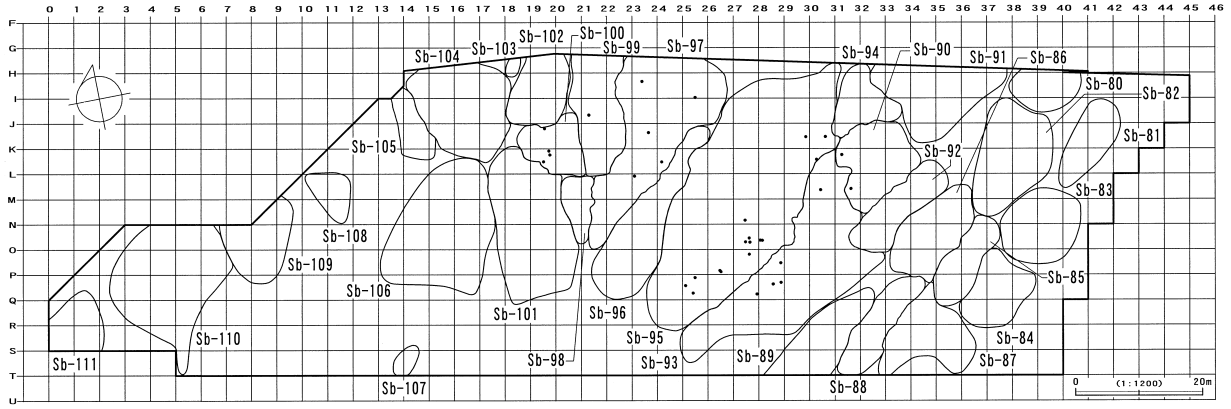


彫器Ⅱ類「白滝Ⅰ群」以外

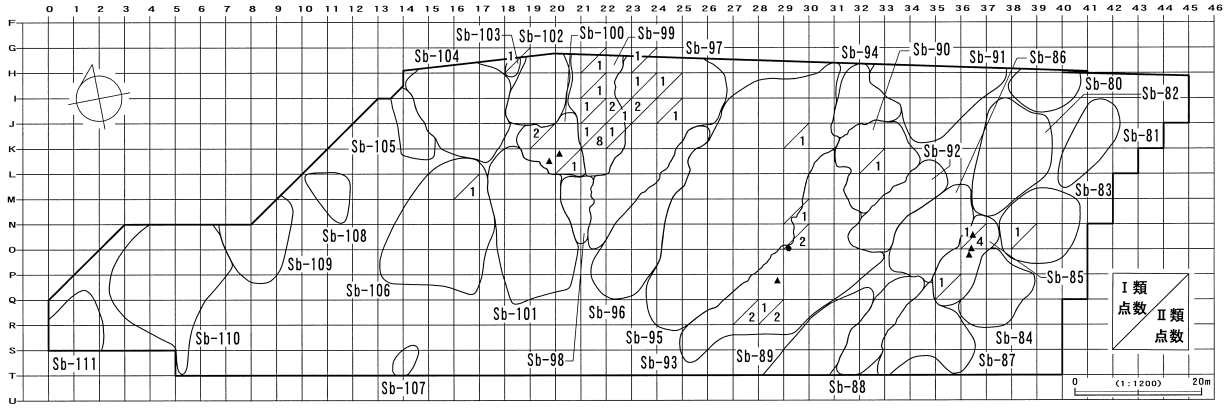


図Ⅲ－38　器種・石材別分布図(11)

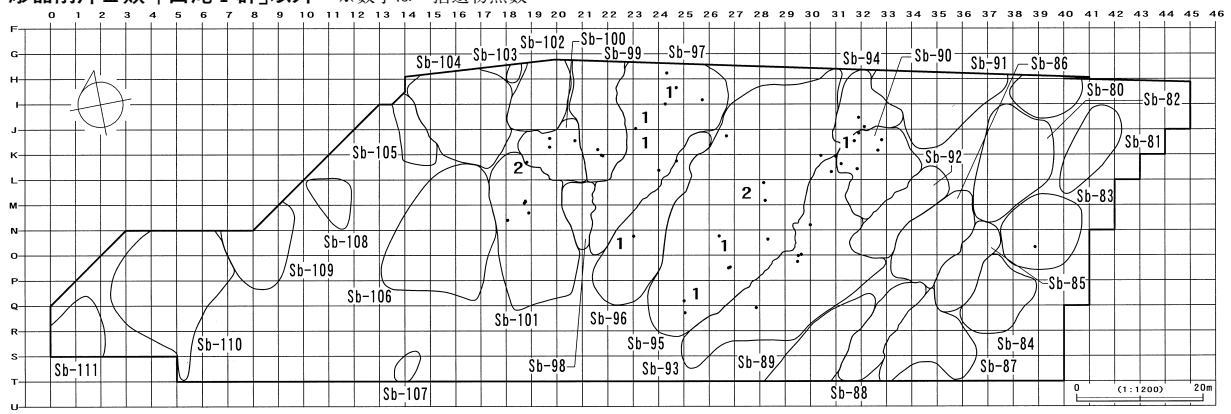
彫器Ⅲ類「白滝Ⅰ群」以外



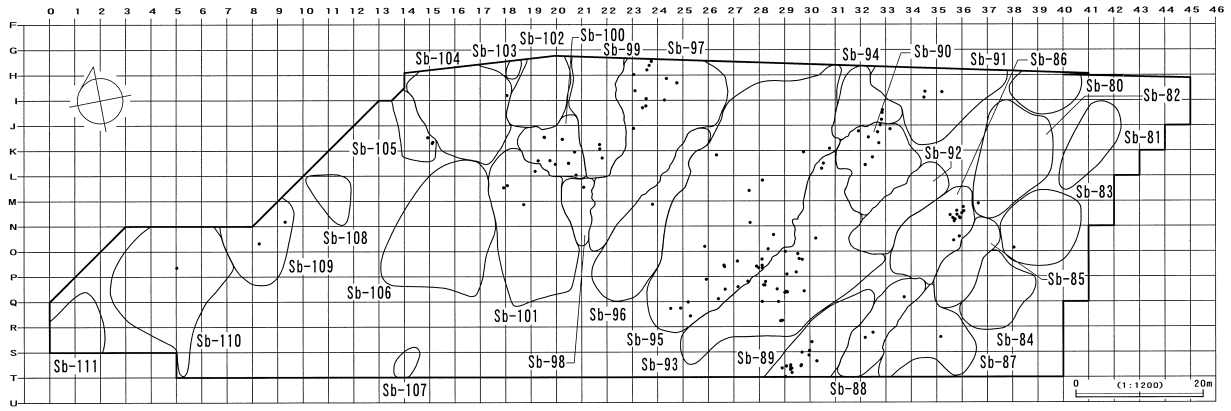
彫器削片Ⅰ類(●)・Ⅱ類(▲)「白滝Ⅰ群」以外　※数字は一括遺物点数



彫器削片Ⅲ類「白滝Ⅰ群」以外　※数字は一括遺物点数



掻器「白滝Ⅰ群」以外



図Ⅲ－39　器種・石材別分布図(12)

彫器（図Ⅲ－38・39、表Ⅲ－７～12）

164点（Ⅰ類40点、Ⅱ類92点、Ⅲ類32点）出土している。Ⅰ・Ⅱ類に分布の違いは見られず、Sb－82～87、Sb－93、Sb－97～101の３か所にまとまりがある。また、Sb－109・110にも分布が見られ、これらは舟底形石器Ⅱａ類の分布にほぼ一致する。彫器Ⅰ・Ⅱ類はほとんどが小型舟底形石器（舟底形石器Ⅰ類）を含む石器群に伴うものであるが、Sb－89・90の彫器はそれらと異なる形態で、忍路子型細石刃核に伴うものである。彫器Ⅲ類はSb－90（２点）、93（５点）、95（15点）、97（５点）、99（１点）、100（４点）に分布し、このうち、Sb－93・95南西部の分布はナイフ形石器の分布に一致する。

彫器削片（図Ⅲ－39、表Ⅲ－７～12）

53点（Ⅰ類１点、Ⅱ類６点、Ⅲ類46点）出土している。Ⅰ・Ⅱ類はSb－85、Sb－93、Sb－97・99・100の３か所にまとまりがあり、その分布は剥離された本体にあたる彫器Ⅰ・Ⅱ類の分布と一致する。Ⅲ類はSb－83（１点）、90（６点）、93（７点）、94（２点）、95（10点）、96（２点）、97（６点）、99（３点）、100（４点）、101（５点）に広範囲に分布するが、概ね彫器Ⅲ類の分布と一致する。

掻器（図Ⅲ－39、表Ⅲ－７～12）

134点出土し、５点以上のブロックはSb－95（26点）、93（21点）、89（15点）、86（14点）、97（12点）、100（10点）、90（８点）の順である。Sb－86・89・90中央に分布するのは、大型石刃素材で、両側縁に加工が少ない忍路子型細石刃核に伴うと考えられるもので、それらは他の掻器に比べ分布密度が高い。また、Sb－95南西部には両側縁に加工が少ない掻器が分布し、それらを除くとⅠ～Ｋ区の掻器の分布は彫器Ⅰ・Ⅱ類の分布に一致する。一方、忍路子型細石刃核に伴うものを除くとＧ地区（Sb－80～89）にはほとんど分布しない。

錐形石器（図Ⅲ－40、表Ⅲ－７～12）

29点出土し、Sb－82・84～86、Sb－93・95、Sb－97・99～102・103の３か所に分布し、概ね彫器Ⅰ・Ⅱ類の分布と一致する。

削器（図Ⅲ－40、表Ⅲ－７～12）

325点出土し、Sb－88・92・103・105・108・111を除く全域に分布する。10点以上出土したブロックは多い順からSb－95（61点）、93（55点）、97（30点）、100（24点）、101（18点）、86（17点）、85（16点）、87（15点）、83（13点）、99（12点）、110（11点）である。

二次加工ある剥片（図Ⅲ－40、表Ⅲ－７～12）

259点出土し、削器同様ほぼ全域に分布するが、Ｋ区（Sb－108～111）には少ない。10点以上出土したブロックは多い順からSb－93（66点）、97（53点）、95（35点）、82（12点）、100（10点）である。

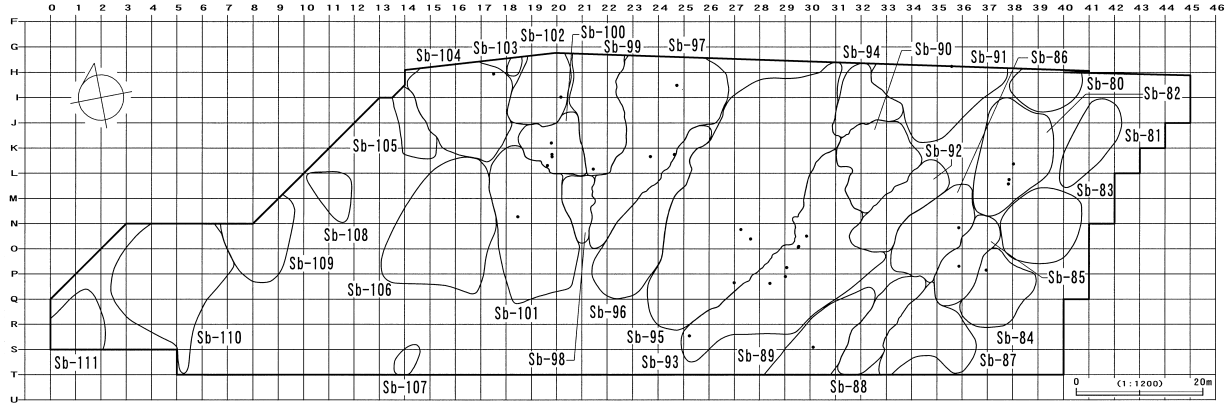
石刃（図Ⅲ－40、表Ⅲ－７～12）

1934点出土し、Sb－80・105・107を除く全域に分布する。10点以上出土したブロックは多い順からSb－93（444点）、90（317点）、97（292点）、95（285点）、101（136点）、86（63点）、83（52点）、99（44点）、94（34点）、91（32点）、100（29点）、87（25点）、85（24点）、96（24点）、102（22点）、82（21点）、110（21点）、109（17点）、84（15点）で、特にSb－90の密度の高さは、集中的に大型石刃剥離が行われたことを反映している。

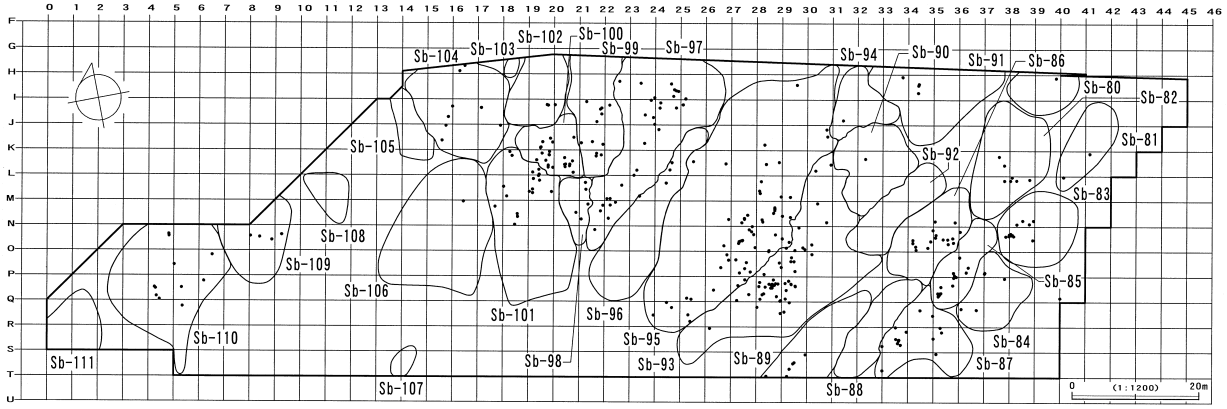
縦長剥片（図Ⅲ－41、表Ⅲ－７～12）

1866点出土し、石刃同様、ほぼ全域に分布する。10点以上出土したブロックは多い順からSb－93（487点）、97（312点）、95（307点）、101（121点）、86（106点）、90（78点）、87（71点）、110（38点）、83（31点）、102（30点）、82（29点）、106（28点）、100（27点）、85（26点）、99（24点）、94（22点）、96（22点）、91（20点）、92（18点）、89（13点）、98（13点）、104（13点）、84（10点）で、石刃の分

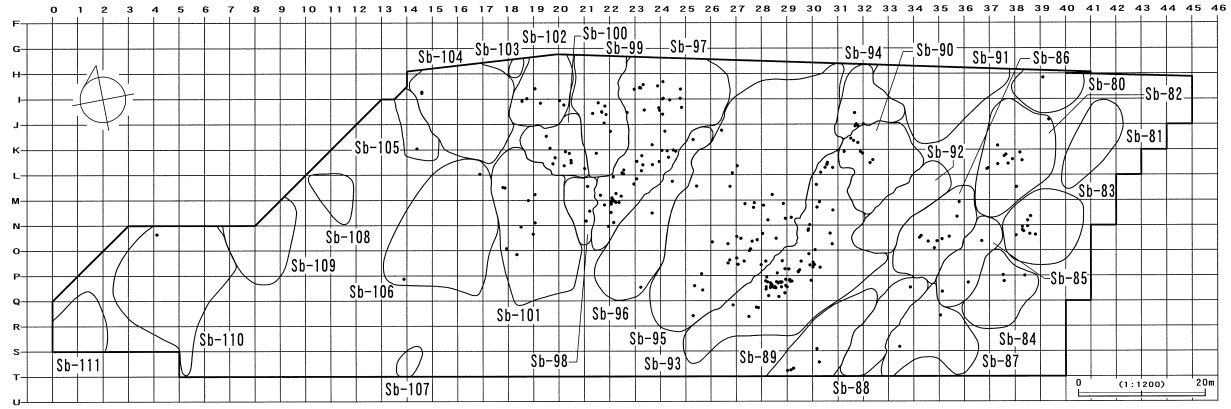
錐形石器「白滝Ⅰ群」以外



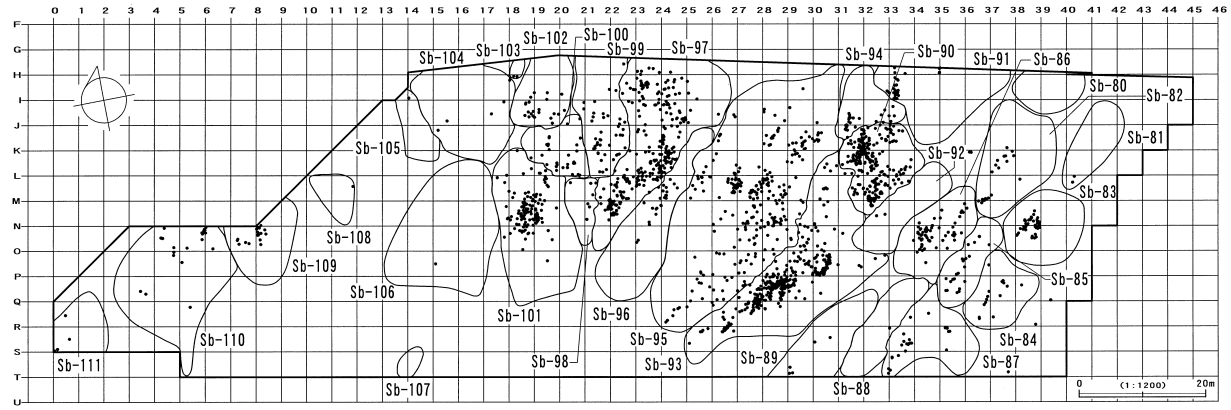
削器「白滝Ⅰ群」以外



二次加工ある剥片「白滝Ⅰ群」以外

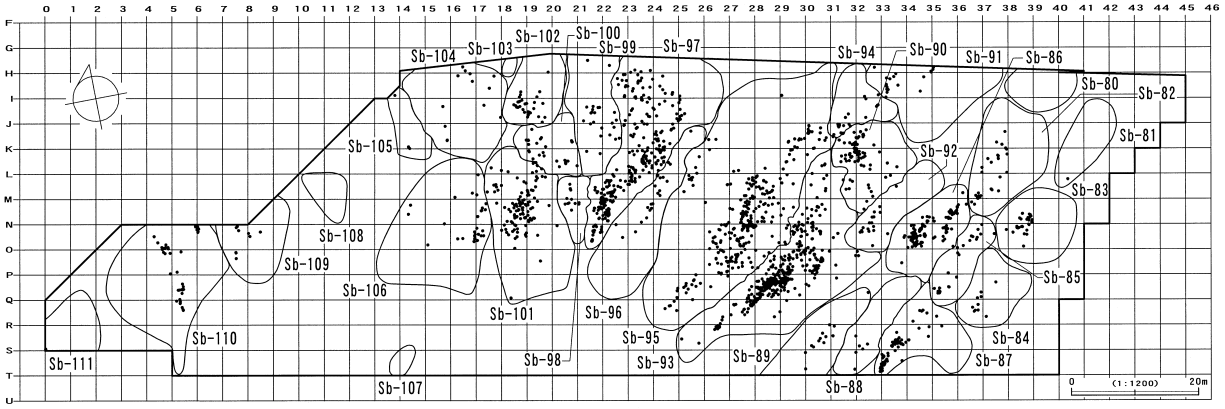


石刃「白滝Ⅰ群」以外

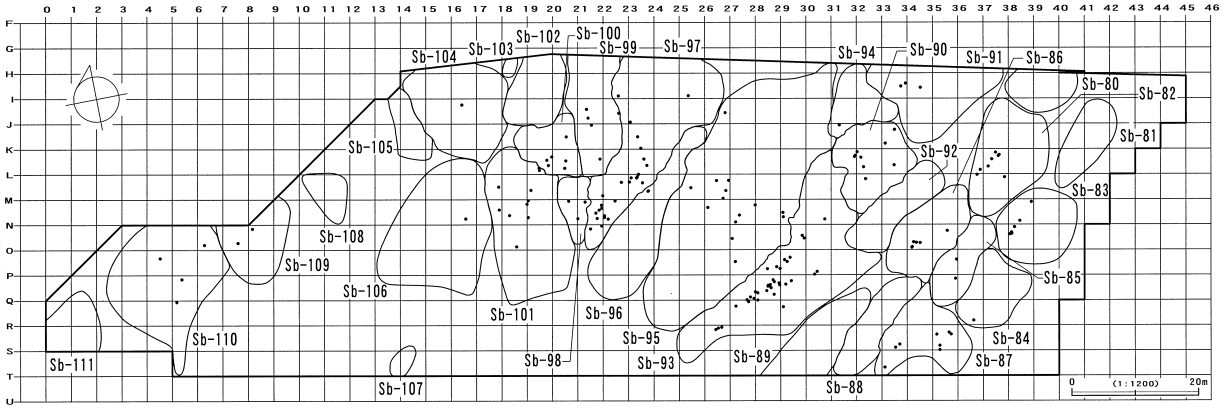


図Ⅲ－40　器種・石材別分布図(13)

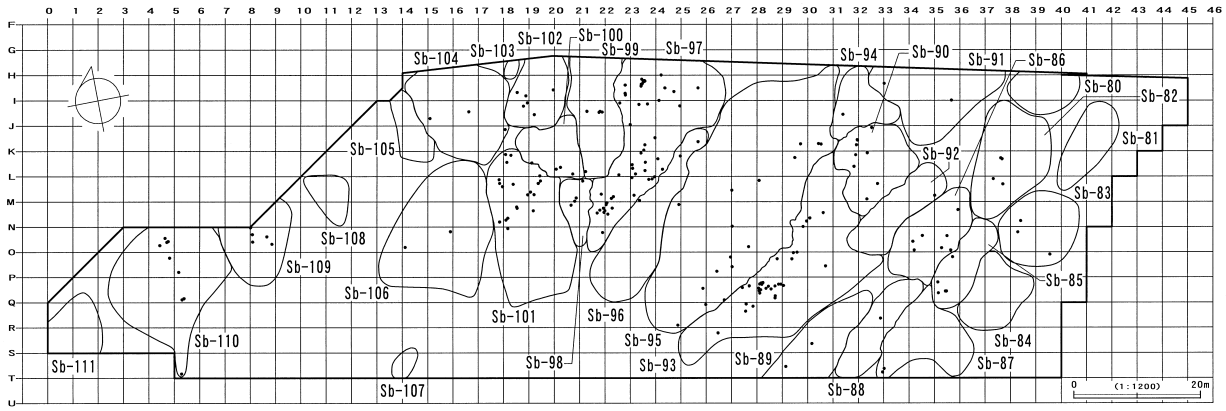
縦長剥片「白滝Ⅰ群」以外



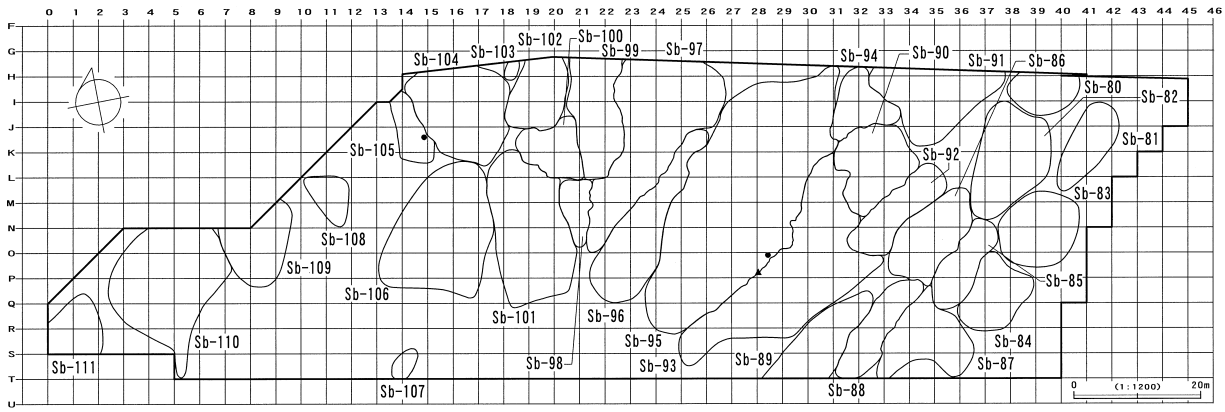
石刃核「白滝Ⅰ群」以外



石核「白滝Ⅰ群」以外

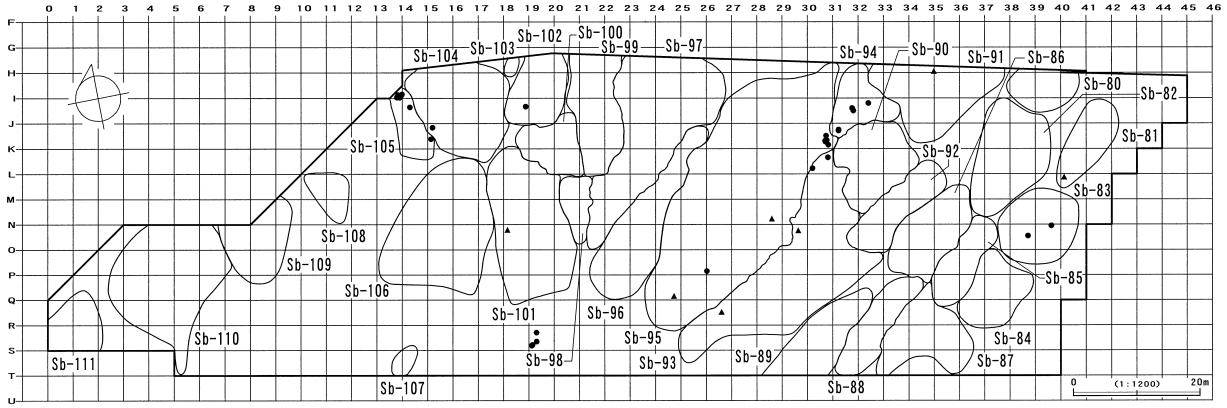


台石（●）・斧形石器（▲）「白滝Ⅰ群」以外

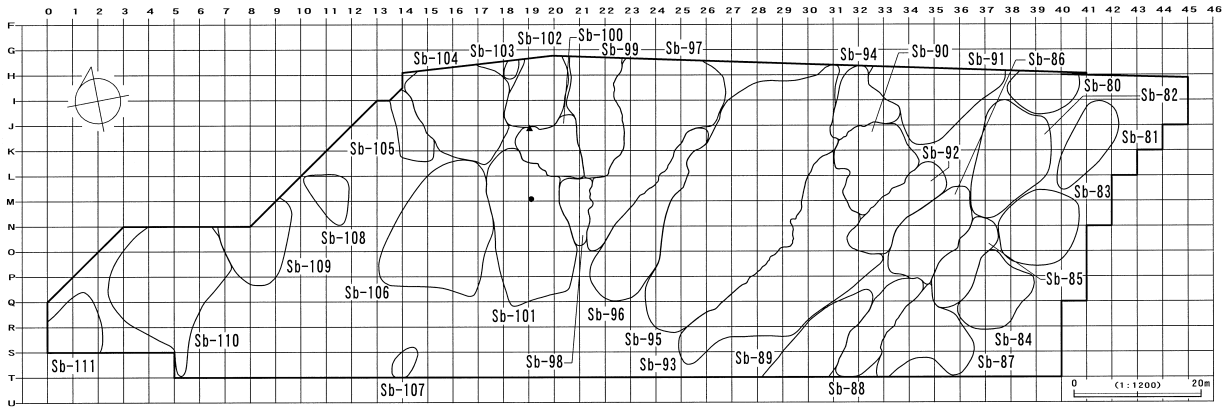


図Ⅲ－41　器種・石材別分布図(14)

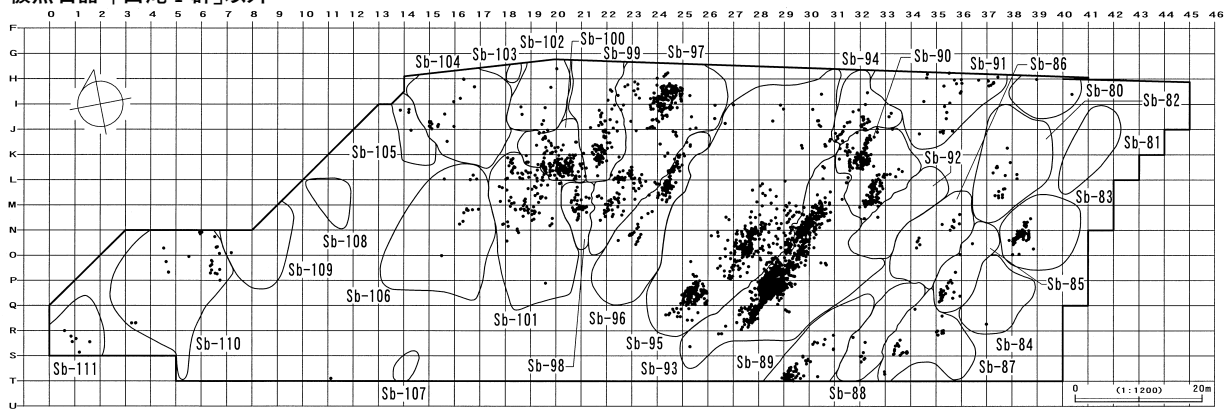
原石Ⅰ類(▲)・Ⅱ類(●)「白滝Ⅰ群」以外



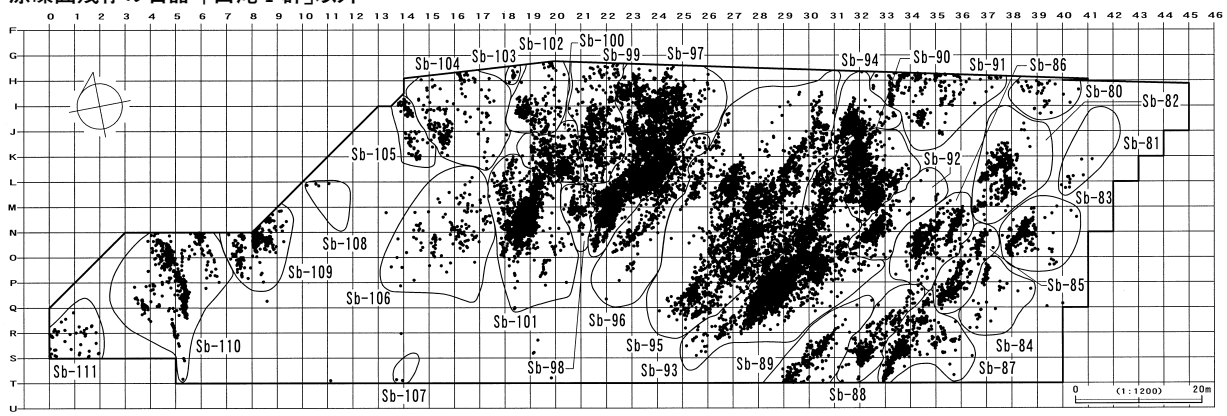
つまみ付きナイフ(●)・礫(▲)「白滝Ⅰ群」以外



被熱石器「白滝Ⅰ群」以外



原礫面残存の石器「白滝Ⅰ群」以外



図Ⅲ－42　器種・石材別分布図(15)

布に一致する。

石刃核（図Ⅲ－41、表Ⅲ－７～12）

154点出土し、３点以上出土したブロックは多い順からSb－93（36点）、97（26点）、95（14点）、101（10点）、90（９点）、82（８点）、87（８点）、83（６点）、86（６点）、100（６点）、99（５点）、110（４点）、91（３点）、98（３点）である。概ね石刃・縦長剥片の分布と一致するが、それらに比べSb－95は少なく、Sb－102は全く分布しない。

石核（図Ⅲ－41、表Ⅲ－７～12）

201点出土し、３点以上出土したブロックは多い順からSb－97（51点）、93（34点）、101（20点）、95（16点）、90（９点）、110（９点）、86（７点）、85（６点）、102（６点）、109（６点）、99（５点）、82（４点）、98（４点）、100（４点）、83（３点）、96（３点）、104（３点）である。石刃核の分布と類似するが、Sb－95での出土位置が異なり、Sb－102には６点分布する。

台石（図Ⅲ－41、表Ⅲ－７～12）

２点出土し、Sb－95（１点）、105（１点）に分布する。

斧形石器（図Ⅲ－41、表Ⅲ－７～12）

１点出土し、Sb－95（１点）に分布する。

原石（図Ⅲ－42、表Ⅲ－７～12）

36点出土している。Sb－85のN38区・ブロック外のR19区には28・37cmの大型棒状原石（原石Ⅱ類）が分布し、Sb－93～95のI32～K30区には黒曜石１（黒色）、Sb－104・105のH13～J15区には黒曜石２（梨肌）の、10cm以下の小型棒状原石（原石Ⅱ類）がまとまって分布する。また、Q26区には長さ10cm、厚さ３cm程度の扁平な頁岩原石（原石Ⅰ類）が分布する。

つまみ付きナイフ（図Ⅲ－42、表Ⅲ－７～12）

１点出土し、Sb－101（１点）に分布する。

礫（図Ⅲ－42、表Ⅲ－７～12）

１点出土し、Sb－100（１点）に分布する。

被熱石器（図Ⅲ－16・42、表Ⅲ－７～12）

3,845点（3.1％）が被熱している。被熱率10％以上のブロックは無く、５～10％はSb－83・89・93・96・98・100、１～５％はSb－85・87・90・91・94・95・97・99・101・104・106・110・111、それ以外は１％以下である。約８割のブロックが被熱率５％以下で、約４割が１％以下である。全体的には「白滝Ⅰ群」（Sb－64～79）（19.4％）に比べ、非常に低い割合であるが、既報告で遺物総数５万点以上の上白滝２（Sb－15を除く）、上白滝５、「白滝Ⅰ群」を除いた奥白滝１遺跡（鈴木ほか2001、直江ほか　2002）と比較するとほとんど変わらず、「白滝Ⅰ群」の被熱率（上白滝８遺跡34.9％、奥白滝１遺跡26.2％）を考慮に入れると、むしろ、「白滝Ⅰ群」被熱率の高さが目立ち、石器群を特徴づけている。

分布に関しては、被熱石器はほぼ全域に分布するが、いくつかの集中域があり、その中心に高密度の部分があるのが特徴である。この特徴は技術的に分類した器種毎の分布傾向とは異なり、被熱行為という全く別の要因によるものであるためと解釈できる。被熱石器と炭化木片ブロックはSb－85南部とCb－17、Sb－93中央部とCb－16の分布が一致し、Sb－93南部とCb－19が隣接し、それ以外は両者に距離がある。距離のあるものを直接的に関連付けるのは困難であるが、分布が重複・隣接するものでも形成過程やブロックの構成などを考慮に入れなければ直ちにそれらを関連付けるのは危険である。

表Ⅲ－13　西地区出土原礫面残存・被熱石器一覧

ブロック	遺物点数(点取り)(点)	原礫面残存石器(点、%)		被熱石器(点、%)	
Sb－64	223	102	45.7	123	55.2
Sb－65	14	6	42.9	1	7.1
Sb－66	345	188	54.5	82	23.8
Sb－67	86	22	25.6	14	16.3
Sb－68	43	20	46.5	8	18.6
Sb－69	194	101	52.1	76	39.2
Sb－70	241	121	50.2	61	25.3
Sb－71	22	12	54.5	0	0.0
Sb－72	21	12	57.1	2	9.5
Sb－73	25	12	48.0	0	0.0
Sb－74	105	71	67.6	2	1.9
Sb－75	59	39	66.1	0	0.0
Sb－76	116	68	58.6	3	2.6
Sb－77	316	186	58.9	3	0.9
Sb－78	39	15	38.5	0	0.0
Sb－79	65	56	86.2	0	0.0
白滝Ⅰ群ブロック外	25	12	48.0	1	4.0
Sb－80	282	36	12.8	2	0.7
Sb－81	852	11	1.3	0	0.0
Sb－82	2123	630	29.7	17	0.8
Sb－83	2149	464	21.6	131	6.1
Sb－84	291	83	28.5	1	0.3
Sb－85	1149	468	40.7	37	3.2
Sb－86	3264	770	23.6	13	0.4
Sb－87	3125	773	24.7	32	1.0
Sb－88	2614	614	23.5	9	0.3
Sb－89	1248	278	22.3	82	6.6
Sb－90	11266	2563	22.7	318	2.8
Sb－91	1175	303	25.8	30	2.6
Sb－92	2903	608	20.9	1	0.0
Sb－93	24138	5770	23.9	1507	6.2
Sb－94	1844	673	36.5	34	1.8
Sb－95	19344	3976	20.6	627	3.2
Sb－96	1949	405	20.8	120	6.2
Sb－97	25076	7869	31.4	319	1.3
Sb－98	457	174	38.1	42	9.2
Sb－99	3195	666	20.8	113	3.5
Sb－100	1913	590	30.8	185	9.7
Sb－101	6600	1968	29.8	97	1.5
Sb－102	1051	241	22.9	9	0.9
Sb－103	111	18	16.2	0	0.0
Sb－104	1739	198	11.4	19	1.1
Sb－105	698	116	16.6	4	0.6
Sb－106	545	144	26.4	13	2.4
Sb－107	12	2	16.7	0	0.0
Sb－108	44	4	9.1	0	0.0
Sb－109	943	368	39.0	1	0.1
Sb－110	2240	664	29.6	25	1.1
Sb－111	156	47	30.1	6	3.8
ブロック外	40	10	25.0	1	2.5
合計	126475	32547	25.7	4171	3.3

原礫面残存の石器（図Ⅲ－42、表Ⅲ－７～12）

原礫面は31,504点（25.3%）に残存している。原礫面残存率30%以上のブロックはSb－85・94・97・98・100・109・111、20～30%はSb－82～84・86～93・95・96・99・101・102・106・110、10～20%はSb－80・103～105・107、10%以下のブロックはSb－81・108である。20%以上のブロックが８割近くを占め、全体的に高率で、原石の状態で搬入されたものが多いことが要因と考えられる。一方、Sb－81は1.3%と非常に低率であるが、原礫面のほとんど残存しない粗加工された尖頭器で搬入されているためである。このように原礫面残存率は搬入形態を反映している。　（鈴木宏行）

（３）石器ブロック64～70(Sb－64～70)の石器

出土石器（表Ⅲ－７・８）

基部平坦加工石器２点、裏面微細加工石器23点、二次加工ある剥片９点、掻器７点、削器２点、錐形石器２点、縦長剥片１点、石核56点、剥片1,044点の計1,146点、重量26,179.7gの石器類が出土した。石材は黒曜石１が最も多く86.7%を占め、以下黒曜石４（10.6%）、黒曜石５（1.0%）、黒曜石３（0.8%）、黒曜石２（0.7%）、安山岩（0.2%）、頁岩（0.1%）となっている。

基部平坦加工石器（図Ⅲ－43－１・２、図版61）

２点（２個体）を図示している。いずれも剥片素材の石核の素材腹面（以下「石核ポジ面」と記載）を背面に持つ貝殻状の剥片を素材としている。裏面には素材の打瘤部を除去するような長さ８mm前後の平坦剥離が施され、下端部の縦断面形が鋭くなっている。上端部の無加工の縁辺には微細な刃こぼれ状の剥離が見られる。１の正面下端の剥離は裏面の加工に切られており、素材作出後の剥離か確定できないが、裏面と同様の細かな平坦剥離であるため、二次加工と考えられる。産地分析の結果、赤石山産と判定された（Ⅳ章４）。２は右側が大きく欠損するもので、裏面右側の微細加工は素材剥離前のものである。正面側には加工が施されていない。

裏面微細加工石器（図Ⅲ－43－３～23、図版61）

23点（19個体とⅠ層出土２個体を含めた21個体）を図示している。いずれも裏面の縁辺に長さ２mm前後の微細な加工が連続して施されるものである。素材は、３～８が三角形、台形または五角形で、打面から両側縁が撥形に広がる剥片、９～15は両側縁の中央部がおおむね平行する長幅比1.8前後の寸詰まりの縦長剥片、16～23は両側縁の中央部がおおむね平行する長幅比2.0以上の縦長剥片である。背面の剥離面構成は主要剥離面に対して横方向を含むものが多く、同方向のみで構成されるものは17・19のみである。このことから素材の多くは打面転移を多数行う剥離技術によって得られたと考えられる。また、背面に「石核ポジ面」が残るものは11・12・16・17・22である。23のみ安山岩製で、その他は黒曜石を石材とする。裏面に見られる微細加工のパターンは片側縁のみ（３・７・11・13・17・18・19・22・23）、片側縁と反対側縁の打面側（４・６・８・16・20）、末端辺（打面とほぼ平行する末端側の縁辺）のみ（５・９・15）、片側縁から末端辺にかけて（10・14・21）、片側縁から打面にかけて（12）となっている。これらの片側縁は裏面右側縁に相当する場合が多い。

二次加工ある剥片（図Ⅲ－44－24～29、図版61・62）

６点（５個体とⅠ層出土１個体を含めた６個体）を図示している。素材は、24・28が台形で、打面から両側縁が撥形に広がる剥片で、26は拇指状の剥片・27は両側縁の中央がほぼ平行する寸詰まりの縦長剥片、29は四角形で大型の剥片である。25の素材は、変形度が大きく不明である。24・26・28は末端辺が厚手である。加工は24・25が素材の打面部を断ち切るような急角度で大きな剥離が背面側から、26～28は背面側に微細に施され、29は右側辺下部と末端辺との角に微細な加工が見られる。

掻器（図Ⅲ－44－30、図Ⅲ－45－31、図版62）

２点（２個体）を図示している。いずれも完形品で、長さ・幅10cm 程度の大型剥片を素材としている。直線的な刃部で、末端縦断面形状は30が腹面側にやや湾曲し、31は直線的である。刃部の加工は急角度で、30は素材の形状を利用した加工で加工の長さが短い。周辺加工は30が無加工、31が右側縁の両面に連続した階段状の剥離が見られる。

錐形石器（図Ⅲ－45－32・33、図版63）

２点（２個体）を図示している。いずれも完形品で、末端部が厚手の剥片を素材としている。突出部は32が１か所、33が上下に２か所見られる。32・33下は末端辺と側辺との角部を利用し、33上は刃部が一度更新されており、打面部で突出部を作出した後、打面と側辺の折れ面との角部を利用している。32の加工は、背面右側辺に微細剥離がノッチ状にみられ、末端辺に続く僅かなものである。33は上下とも錯向状の剥離で、打面側が２cm 程度の大きな剥離である。33の裏面下部には長さ３cm 幅1.5cm に渡って斜方向に擦痕が付着している。

削器（図Ⅲ－45－34・35、図版63）

２点（２個体）を図示している。いずれも剥片を素材とし、末端部付近に転礫面が残っている。背面側に連続した二次加工が施されるが、35はやや粗く下部がノッチ状になっている。

縦長剥片（図Ⅲ－45－36、図版63）

１点（１個体）を図示している。下端に転礫面が残るものである。背面の剥離面構成は腹面と同方向及び、左右が見られ、この剥片の剥離前に横方向の打面と作業面を入れ替える交互剥離が行われていたことを示している。平坦打面である。

石核（図Ⅲ－45－37～図Ⅲ－52－70、図版63～66）

38点（32個体とⅠ層出土２個体を含めた34個体）を図示している。いずれも剥離の際に打面調整・頭部調整などの石核調整は施されず剥離面のバルブが発達している特徴を持つ。

37～49は扁平で、剥離作業を主に素材の平坦面で行っているもので、後述するⅠ類の剥片剥離が行われた際の残核と思われる。素材は37～48が剥片、49が礫である。作業面は38～46が主に素材の腹面側、37・47・48は素材の背面側に設定されている。前者は、主に末端が薄手で寸詰まりの剥片が剥離されている。38～46は裏面に転礫面があり、剥離の比較的初期段階で得られた剥片を素材としている。37は上からの最終剥離が大きくウートラパッセを起こしている。38の上半部は節理面のため剥離が急角度となっている。39の下からの剥離は末端が階段状で、剥離角が鈍角化している。40の左側面には急角度の剥離が見られる。41の石材は黒曜石４である。42は裏面の求心状剥離の後に正面側に打面転移している。43の右側は尖頭形となっている。44の上半部は裏面の剥離の後に正面に打面転移している。裏面にはパンチ痕が残っている。45の上半部の剥離は正面→裏面→正面と交互剥離が行われ、下半部の剥離は大きくやや急角度である。46の素材腹面は平坦で、リングは丸みが強く密集している。素材のバルブ周辺のみで剥離作業が行われる。47は正面から上面にかけて横方向から剥離した後、正面上からの剥離が行われる。48はウートラパッセを起こした剥片の内反した腹面末端部を打面とし、下端の素材面に、一回の剥離が行われている。素材を剥離した打面部には複数のパンチ痕が見られる。49の上部は上から、下部は横方向の剥離が見られる。いずれの剥離も大きい。

50～58は素材の小口面で剥離作業を行っているもので、素材は全て剥片である。後述するⅡ類の剥片剥離が行われた際の残核と思われる。打面は、50～54が素材の広い平坦面、55～58が素材の小口面にほぼ固定されている。その結果、50～54は末端が幅広の剥片、55～58は縦長剥片が主に剥離されている。50～54の打面の位置は、50・51・54が素材の腹面、52・53が素材の背面に設定されている。原

礫面が残っているのは、51～54、57で、打面を素材の広い平坦面に設定している石核に多く見られる傾向がある。50は正面から左側面にかけて連続的に寸詰まりの縦長剥片が剥離されている。51は厚手の折損した剥片の末端側を素材とし、折れ面への剥離が一回行われている。打面側に折れ面接合するものは56である。52は上面観が三角形を呈し、正面と左側面の２か所で連続的な剥離が見られる。素材背面は原礫面に覆われている。53は剥離角が鈍角で、最終的な剥離が階段状で打面部が潰れている。54の原礫面は平滑で稜が摩滅していない角礫面である。Sb－64～70の中で角礫面を持つものは54のみであり、同一母岩の資料がないことからブロック外からの搬入品と思われる。55の右側面は素材腹面にあたる。裏面では横方向の剥離が行われている。56は折れ面を打面とするもので、51と折れ面接合している。下端部には正面側への剥離が見られる。57は両側面の小口面の他に、上面から正面にかけて横方向の剥離が見られる。58は正面が素材の打面部にあたる。素材の縁辺には微細で不規則な剥離が見られる。

59～70は打面転移を頻繁に行っているものである。後述するⅢ類の剥片剥離が行われた際の残核と思われる。打面と作業面を90°入れ替える交互剥離を基本とし、その作業部位を転移させていく傾向がある。実測図は、68・69を除き最終剥離が正面と上面との交互剥離となるよう石核を設置した。全ての石核に原礫面が残っている。素材は63・67・68が剥片、それ以外は礫である。59は正面と下面でも交互剥離が行われている。また、上面には多数のパンチ痕が見られる。60の最終剥離以前は他方向からの剥離が見られ、裏面と右側面でも交互剥離が行われている。61はやや連続して同方向の剥離が見られ、上面の剥離が左側面にかけて行われている。62は被熱により破損している。63は左側面と下面でも交互剥離が行われている。裏面が素材の腹面にあたる。64は左側面と裏面、左側面と右側面でも交互剥離が行われている。最終的に正面と左側面との稜を剥離軸に設定して縦長剥片が剥離されている。65は正面下部から裏面にかけて原礫面が残存しており、素材の状態からあまり剥離が進行せずに遺棄されている。66は各面とも激しいヒンジを起こしており、ランダムな打面転移が頻繁に行われている。67は正面の剥離角が鈍角化しており、打点部が激しく潰れている。上面と下面に多数のパンチ痕が見られる。68には上面から右側面にかけて原礫面が残存している。正面と下面との交互剥離が見られる。大型の剥離面のみで構成されている。69は横方向の剥離が上面から裏面にかけて連続して行われている。裏面の剥離は激しいヒンジを起こしている。70は大型の剥離面のみで構成されている。

石器ブロック64～70（Sb－64～70）の分布状況

遺跡中央西寄りの広い範囲で確認された。標高は437.5～443mでブロックにより高低差がある。地形は北東側に傾斜する緩斜面上である。Sb－64と65及びSb－68と69は比較的近接しているが、その他は隣のブロックとそれぞれ20m前後の距離を隔てて分布し、最も離れたSb－66と70では52mの距離がある。東地区で報告した「白滝Ⅰ群」のSb－９、11～13も比較的近接して分布している。特にSb－９は石器組成が類似している。しかし、両ブロックともSb－64～70との接合関係は見られない。

石器ブロック64（Sb－64）の分布（図Ⅲ－53、表Ⅲ－７・８）

H42～44、Ⅰ43・44区の11.7×５mの範囲で確認されたが、調査区範囲外のG42・43区にも分布が広がると考えられる。H42・43区の境に集中域があり、分布は北西－南東方向にやや間延びしている。基部平坦加工石器１点、裏面微細加工石器２点、二次加工ある剥片２点、錐形石器２点、石核８点、剥片208点の計223点、重量5,232.4gの石器類が出土した。石材は黒曜石のみである。

石器ブロック65（Sb－65）の分布（図Ⅲ－54、表Ⅲ－７・８）

H40・41、Ⅰ40・41、Ｊ41区の5.8×4.8m の範囲で確認された。H41区にややまとまりが見られるが、非常に散漫な分布状況である。石核４点、剥片10点の計14点、重量661.3g の石器類が出土した。石材は黒曜石のみである。

石器ブロック66（Sb－66）の分布（図Ⅲ－54・55、表Ⅲ－７・８）

Ｐ37、Ｑ36・37、Ｒ34～37、Ｓ35～37区の13.3×13.8m の範囲で確認されたが、調査区範囲外のＴ35～37区にも分布が広がると考えられる。Ｓ36区に集中域があり、Ｐ～Ｒ区は散漫な分布状況である。裏面微細加工石器６点、二次加工ある剥片１点、掻器１点、削器１点、石核19点、剥片317点の計345点、重量8,567.8g の石器類が出土した。石材は、安山岩製の剥片１点以外は全て黒曜石である。

石器ブロック67（Sb－67）の分布（図Ⅲ－56・57、表Ⅲ－７・８）

Ｊ37・38、Ｋ36～38、Ｌ36～38、M36区の16.0×7.2m の範囲で確認された。Ｌ37区にややまとまった集中域があり、分布は北東－南西方向にやや間延びしている。基部平坦加工石器１点、裏面微細加工石器７点、二次加工ある剥片１点、縦長剥片１点、石核５点、剥片71点の計86点、重量2,109.2g の石器類が出土した。トゥールの割合が高い（10.5%）。石材は黒曜石１のみである。

石器ブロック68（Sb－68）の分布（図Ⅲ－56・57、表Ⅲ－７・８）

H36・37区の4.5×2.5m の小さな範囲で確認された。H36・37区の境に集中域がある。裏面微細加工石器４点、剥片39点の計43点、重量308.5g の石器類が出土した。石材は黒曜石のみである。

石器ブロック69（Sb－69）の分布（図Ⅲ－58、表Ⅲ－７・８）

H35・36、Ⅰ34～36、Ｊ35区の10.3×6.2m の範囲で確認された。Ⅰ36区全体にまとまった集中域があり、分布は南北方向にやや間延びしている。裏面微細加工石器１点、二次加工ある剥片１点、石核３点、剥片189点の計194点、重量2,882.5g の石器類が出土した。石材は黒曜石のみである。

石器ブロック70（Sb－70）の分布（図Ⅲ－59・60、表Ⅲ－７・８）

H27～29、I27～29・31区の9.1×16.9m の範囲で確認された。Ⅰ28区に集中域があり、分布は北東－南西方向に間延びしている。裏面微細加工石器３点、二次加工ある剥片４点、掻器６点、削器１点、石核17点、剥片210点の計241点、重量6,418.0g の石器類が出土した。石材は、安山岩製の剥片１点以外は全て黒曜石である。

石器ブロック64～70の接合状況（図Ⅲ－61）

Sb－64～70ではブロック内の接合を中心としている。ブロック間の接合関係は、３母岩で確認され、Sb－68を除き全てのブロックに及んでいる。それぞれ Sb－64・65・66（母岩481・接合353）、Sb－67・69（母岩488・接合358）、Sb－66・67・70（母岩490・接合360）で接合関係が見られる。全体の剥離作業は、母岩481が Sb－64・65、母岩488が Sb－67、母岩490が Sb－66・67で行われており、１～２点の石器類が他のブロックから出土している。母岩481では掻器30が Sb－66から、母岩488では掻器31が Sb－70から単独で出土し、母岩481では剥片２点が Sb－69から出土している。

母岩別資料・接合資料

「白滝Ⅰ群」（Sb－64～79）では多数の接合資料が得られ、それらを検討した結果、素材の形態、打面・作業面の設定場所や転移方法、得られる剥片の形態などにより剥離技術をⅠ～Ⅲ類に大別し、さらに若干の細分を行った。なお、これは奥白滝１遺跡（直江ほか　2002）の「白滝Ⅰ群」の剥離技術をもとにしている。

Ⅰ類：扁平な素材の平坦面で剥離作業を行うもの。

Ⅰａ類…片側の平坦面で作業を行うもの。主に長幅比が1.0前後の貝殻形・扇形・台形・三角形の

剥片が剥離される。

Ⅰｂ類…両側の平坦面で作業を行うもの。主にやや横長の剥片が剥離される。

Ⅱ類：素材の小口面で剥離作業を行うもの。

Ⅱａ類…素材の広い面を打面に固定するもの。主に打面部が幅広で厚い剥片、両側縁の中央がほぼ平行する寸詰まりの剥片が剥離される。

Ⅱｂ類…素材の小口面を打面に固定するもの。主に縦長剥片が剥離される。

Ⅲ類：打面と作業面を頻繁に転移するもの。剥離される剥片の形態は最も多様である。主に両側縁の中央がほぼ平行する寸詰まりの剥片、やや横長の剥片、縦長剥片、片側縁が「く」の字状になる剥片などが剥離される。

Ⅲａ類…打面と作業面を１～数打ごとに入れ替える交互剥離を基本とし、その作業部位を転移していくもの。

Ⅲｂ類…打面と作業面の転移に規則性が見られないもの。

以下、「白滝Ⅰ群」（Sb－64～70、71、72～79）に限定し、接合資料の記載に用いる。

Sb－64～70では、1,146点中702点を27母岩に母岩分類し、69個体（母岩別資料内37個体）の接合資料が得られた。その内母岩別資料４母岩を図示し、６母岩を写真のみ掲載している。

母岩別資料489・接合資料359（図Ⅲ－62、図版67－１）

母岩別資料は接合359のみである。

素材　25点（23個体）が接合し、重量は510.0g、大きさは12.2×14.2×4.9cmである。大型の剥片を素材とし、ほぼ剥片の状態で遺跡内に搬入されている。素材の末端部に半月状の「爪あと」（以下、「爪状痕」と表現）のある原礫面が見られる。

剥離工程　素材の腹面を正面、打面を右側面に設定し、Ⅰｂ類の剥離を中心に作業が進行している。段階１は縁辺の細かい剥離で、他との前後関係は不明である。段階２～８は正面・右側面と裏面との交互剥離である。段階３・４の上方からの剥離は、素材腹面と打面の稜線を剥離軸に設定している。また、段階５の中央の１点は、素材背面の稜線を剥離軸に設定している。そのためどちらもやや縦長となる剥片が剥離されている。その他の剥片の形状は、末端が幅広となる剥片が多い。また、前述の段階５の１点は頭部に細かな階段状の潰れが見られる。剥離の進行に伴い正面側への剥離角が急角度となり、作業面が小口面側に変化している。最終的に石核58が遺棄される。

分布　Sb－67の集中域を中心として散漫に分布する。

母岩別資料493・接合資料365（図Ⅲ－63・64、図版68－１）

母岩別資料は接合365・366、剥片４点で構成され、総点数43点、総重量315.9gである。

素材　36点（35個体）が接合し、重量286.5g、大きさは5.5×8.8×8.5cmである。角が摩滅した平滑な面が部分的に残る亜円礫を素材として、原石の状態で遺跡内に搬入されている。

剥離工程　原石の平坦面を上面に設定し、Ⅰｂ類の剥離によって作業が進行している。上面と正面との交互剥離（段階１～12）が連続して行われている。剥離の進行に伴い正面の作業面が左側面側にも広がり、上面の中央が山形に突出していく。段階３・４の間には正面側への剥離が行われているが、欠落している。

段階６からは前段階部を外した中間の接合図を図Ⅲ－63－73に、段階９以降はさらに外した最終の接合図を図Ⅲ－63－74に図示した。段階９で得られた縦長剥片が裏面微細加工石器19の素材となっている。段階10以降の作業部位は石核の右側に偏っている。段階13・14も前段階から連続する交互剥離であるが、石核形状の変化に伴い、右側面から正面及び裏面への剥離となっている。全体的な剥片の

傾向として、上面では扁平で幅広、または末端幅広の剥片、正面では剥離軸と平行する稜があるため、やや縦長となる剥片が多く見られる。最終的にサイコロ状の石核61が遺棄される。

分布　Sb－66の集中域から2.5m 程西側にまとまって分布する。

母岩別資料497・接合資料370（図Ⅲ－64～66、図版68－２）

母岩別資料は接合370・371、剥片１点で構成され、総点数74点、総重量774.7g である。

素材　56点（35個体）が接合し、重量596.8g、大きさは11.2×9.3×7.6cm である。全体的に摩滅した転礫を素材とし、正面・上面・左側面が大きく剥離された状態で遺跡内に搬入された可能性がある。なお、接合371は、剥片を素材とする石核の小口面を連続的に剥離するⅡａ類の剥離が行われているもので、最終的な石核は出土していない。

剥離工程　Ⅲａ類の剥離を中心として作業が進行している。段階１・２は上面・左側面への正面からの連続的な剥離である。その結果、上面は左右に傾斜し、中央が山形に突出する形状となる。図版作成時に個体Ａの範囲を誤って図示した。図版の網掛け部分は剥離以前に存在した同方向の内在する割れの範囲に相当する。実際は右側面上部が前述の剥離にあたるため個体Ａの範囲から除かれる。また、右下部分を取り込むもので、作業面が右側面側に大きく傾いている。厚手の横長剥片で、石核の素材となっている（個体Ａ）。

段階２以降は前段階部を外した中間の接合図（図Ⅲ－65－76）で説明する。基本的には前段の実測図と同様の据え方で図示している。段階３は正面への剥離で、段階２と交互剥離となっている。それと平行して裏面への上からの剥離（段階４）、左側面への裏面からの剥離（段階５）が行われ、再び段階２・３と同様に左側面・上面と正面との交互剥離（段階６・７・９～14）が行われる。段階８は途中に行われる正面上部の剥離である。剥片の傾向として、段階11までは、平坦な作業面から剥離されるものが多いため、幅広剥片が剥離されている。その後は剥離軸と平行する稜があるため、器体中央の稜線部が最も厚くなる剥片が剥離されることが多い。

段階９からは前段階部を外した最終の接合図（図Ⅲ－65－77）に図示した。基本的には前段の実測図と同様の据え方で図示している。段階14の末端が厚手であったため、正面が突出する形状となる。その結果、段階15も前段階からの交互剥離が連続するものだが、右側面での左側面からの剥離となっている。最終的に石核62が遺棄される。

個体ＡはⅢａ類の剥離が行われる。素材打面部と背面との交互剥離（Ａ－段階２～４）の後、右側面側が内在する割れにより剥落する（Ａ－段階５）。次にそれを打面として、素材の末端部と側面との交互剥離（Ａ－段階６・７）が行われ、最終的に石核63が遺棄される。なお、前述のとおりＡ－段階１は、本個体には含まれない。

分布　Sb－66の集中域を中心として分布する。段階、個体による分布の違いは見られない。

母岩別資料675・接合資料468（図Ⅲ－66～71、図版69・70－１）

母岩別資料は接合468、剥片５点で構成され、総点数101点、総重量1,344.8g である。

素材　96点（72個体）が接合し、重量1,340.2g、大きさは10.4×13.4×13.0cm である。全体的に摩滅した転礫を素材とし、ほぼ原石の状態で遺跡内に搬入されている。

剥離工程　Ⅲａ類の剥離技術を中心に作業が進行している。正面（段階１）と上面（段階２）との交互剥離の後、左側面・上面（段階３・４・６）と裏面（段階５・７）との連続的な交互剥離が行われる。段階２の上面の剥離のうち大型のものは遺跡内から出土していないため、剥片の状態で遺跡外に搬出されたものと見られる。段階５・７とも厚手の剥片であるため、段階を追うごとに石核の裏面が傾斜し、段階７の作業面は左側面に傾いている。また、段階１は末端がすぼむ大型の剥片、段階３は

幅広の剥片、段階４は縦長剥片、段階５・７は厚手の剥片、段階６は打面部が厚く末端部が薄い剥片が剥離され、それぞれ石核の素材となっている（個体Ａ～Ｆ）。これ以降の段階の剥片とは大きさに違いが見られる。従って段階７までが石核の素材を得るための剥離で、それ以降は石器類の素材を得るための剥離になったものと考えられる。

段階８以降は前段階部を外した中間の接合図（図Ⅲ－70－84）で説明する。基本的には前段の実測図と同様の据え方で図示している。段階８は正面を打面とする上面への剥離である。上面中央部の山形の突出を除去することが狙いであったと思われる。その後、左側面・裏面（段階９・11・14）と上面(段階10・12)との連続的な交互剥離が行われる。これは、ほぼ段階６・７と同じ作業部位である。段階14の後は、さらに上面での剥離が行われているが欠落している。末端が幅広の剥片である。途中に行われる段階13は、段階９の末端部のヒンジを除去するための石核下部の剥離である。その後、交互剥離の作業部位が段階13と交互剥離となる正面（段階15）への剥離→上面・右側面（段階16）と正面（段階17）→上面（段階18・20）と左側面（段階19）と頻繁に移動していく。

段階17以降は前段階部を外した最終の接合図（図Ⅲ－71－85）で説明する。基本的には前段の実測図と同様の据え方で図示している。段階18～20の作業部位は段階９～12・14と同じである。その後正面下からの剥離（段階21）を挟んで、再び上面（段階22）と左側面（段階23）との交互剥離が行われる。以降はⅢｂ類の剥離となり、左側面に下から（段階24）→上面に正面から（段階25）→正面・左側面に下から（段階26）の剥離が行われる。なお、終盤に行われた下からの剥離である段階15・21・24・26は全て段階13で作出された作業面を打面としている。最終的に石核59が遺棄される。剥離開始時の母岩の大きさから１／５程度まで石材を消費している。また、段階10・18・26で剥離された剥片がそれぞれ裏面微細加工石器15、二次加工ある剥片24・26の素材となっている。

個体Ａは段階１の剥片を素材としており、素材腹面側への平坦剥離と側面へのＩｂ類の剥離（Ａ－段階１）が行われている。最終的な石核は遺跡内からは出土しておらず、遺跡外に搬出された可能性が高い。

個体Ｂは段階３の剥片を素材とし、素材背面を正面に設定している。打面側と右側縁が節理面により折損（Ｂ－段階１）した後、石核を周回するように急角度のＩａ類の剥離が裏面から行われている（Ｂ－段階２）。最終的に六角形の石核38が遺棄される。

個体Ｃは段階４の剥片を素材としており、器体中央で素材を半割しそれぞれ剥片剥離を行っている（個体Ｃ－ａ・ｂ）。素材の上半部にあたる個体Ｃ－ａは、正面側への剥離（ａ－段階１）と折れ面からの側面へのⅡｂ類の剥離（欠落）が行われ、最終的に石核56が遺棄される。個体Ｃ－ｂは素材腹面を打面として折れ面へのⅡａ類の剥離（ｂ－段階１）が行われ、最終的に石核51が遺棄される。

個体Ｄは段階５の剥片を素材として、素材の腹面を正面に設定し、Ｉｂ類の剥離を中心として剥離が進行している。上面への裏面からの剥離（Ｄ－段階１）の後、正面で求心状の平坦剥離が連続的に行われる（Ｄ－段階２）。左側面への剥離（Ｄ－段階３）の後、再び正面への剥離が行われる（Ｄ－段階４）。Ｄ－段階２の左側の作業面とＤ－段階３・４は交互剥離状となっている。最終的に石核45が遺棄される。

個体Ｅは段階６の剥片を素材として、素材の背面を上面、打面部を正面に設定し、Ⅱａ類の剥離が行われている。上面から正面への連続的な剥離（Ｅ－段階１）が行われ、最終的に石核53が遺棄される。剥離角が直角に近く、打面部は階段状の細かい潰れが著しい。Ｅ－段階１で得られた剥片は、厚手で末端が幅広である。裏面微細加工石器５・10と二次加工ある剥片28の素材となっている。

個体Ｆは段階７の剥片を素材としている。素材の腹面を上面、末端部を正面に設定し、Ⅱａ類を中

心とした剥離が行われている。打面を上面に固定して正面を中心とした連続的な剥離が進行する（Ｆ－段階１・３）。途中下からの剥離が僅かに見られる（Ｆ－段階２）。最終的に石核50が遺棄される。Ｆ－段階１の剥片が削器34の素材となっている。

分布　Sb－70の集中域を中心として分布する。段階、個体による分布の違いは見られない。

写真のみ掲載の接合資料

母岩別資料500・接合資料374（図版67－２）は、小型の亜円礫の平坦面を求心状に剥離した状態で遺跡内に搬入している。遺跡内でもⅠｂ類の剥離が行われ、１点が削器35に加工されている。その後、平坦面への剥離は上方からのみとなり、小口面である右側面に下方からと、左側面への正面からの剥離が行われ、石核65が遺棄される。

母岩別資料492・接合資料364（図版70－２）は、小型の亜円礫を遺跡内にほぼ原石の状態で搬入し、正面と上面とのⅢａ類の剥離を主体として剥離が進行する。最終的に石核60が遺棄される。また、終盤に剥離された３点の剥片が裏面微細加工石器３・４・６の素材となっている。

母岩別資料488・接合資料358（図版71－１）は、分割した転礫の状態で遺跡内に持ち込み、分割面（正面）と素材背面（裏面）を打面に設定し、Ⅲｂ類の剥離が行われている。最終的に上面から裏面にかけて大きく原礫面が残る石核68が遺棄される。また、初期段階で剥離された厚手の剥片が石核の素材となり、素材背面でⅡａ類、腹面側でⅠａ類の剥離が行われ石核67が遺棄される。分布はブロック間の接合関係が見られる。石器類の大部分はSb－67に分布するが、剥片素材の石核から剥離された剥片のうち２点がSb－69から出土している。

母岩別資料504・接合資料388（図版71－２）は、転礫を素材とし、上面に大きな剥離面がある状態で遺跡内に搬入している。Ⅲａ類の剥離を主体的に用いて剥離が進行している。初期段階では上面の平坦面と左・右・正面との交互剥離が中心となる。途中、作業部位が転移し、正面と右側面との交互剥離が行われる段階がある。最終的にⅢｂ類の剥離が行われるが、ヒンジが激しく作業面の形状が不規則となり石核66が遺棄される。初期段階で剥離された横長剥片が石核の素材となり、Ⅰｂ類の剥離が行われ最終的に石核39が遺棄される。

母岩別資料490・接合資料360（図版72～74－１）は、正面と上面を大きく剥離した状態で遺跡内に搬入している。上からの大型の剥離を２回のみ行い、石核は遺跡外に搬出している。得られた剥片は石核の素材91と掻器31に利用されている。

91は上半部92（個体Ａ）と下半部（個体Ｂ）に二分割され、それぞれ剥片剥離が行われている。個体Ａは分割面を打面に設定し、正裏面でⅠｂ類の剥離を行う。最終的に横方向に縦長の剥片を剥離し、石核47が遺棄される。得られた３枚の剥片がさらに石核（個体Ａ－ａ・ｂ・ｃ）の素材となっている。個体Ａ－ａは大きくウートラパッセを起こした剥片を素材とし、内反した腹面末端部を打面として、下端の素材面にⅠａ類の剥離を１回行い、最終的に石核48が遺棄される。個体Ａ－ｂは寸詰まり縦長剥片を素材とし、素材背面側でⅠａ類の剥離を行う。ウートラパッセが起き石核形状が変形した後も同方向から２回の剥離が行われ、石核37が遺棄される。個体Ａ－ｃの素材は縦長剥片の末端部を分割したものである。素材末端から側縁にⅡｂ類の剥離を連続的に行い、最終的に石核55が遺棄される。

個体Ｂは素材腹面を打面として、小口面で大きく１回の剥離が行われている。剥片はウートラパッセを起こし、石核の素材93（個体Ｂ－ａ）となっている。最終的な薄手の石核は遺跡内から出土していない。個体Ｂ－ａは、Ⅲａ類の技術を用いて主に正面と上面（分割面と素材腹面）での剥離が進行している。剥離の進行とともに正面の作業面が左右に傾斜し、正面が突出していく。その後、裏面へ

上面からの連続的な剥離があり、最終的に左側面と裏面との横方向の交互剥離が行われ、石核64が遺棄される。最後の裏面の剥離は上面との稜線を作業面に設定しているため、縦長剥片36となっている。また、6点の剥片が裏面微細加工石器12・13・20・21・94と二次加工ある剥片25の素材となっている。

分布は、ブロック間の接合関係が見られ、Sb－66・67・70の3か所から出土している。Sb－66からは個体Ｂの剥片全てと、個体Ａの前半の剥片及び個体Ａ－ｂの剥片全て、Sb－67からは個体Ａの石核を含む後半の剥離と個体Ａ－ｂの石核、Sb－70からは掻器31のみである。このことから、全体の剥離にあたる石核の素材91と掻器31を剥離した場所は不明だが、91をSb－66で分割し、個体Ｂと個体Ａの前半の剥離を行い、Sb－67で個体Ａの後半の剥離を行ったものと考えられる。

母岩別資料499・接合資料373（図版74－２・75）は、転礫の状態で遺跡内に持ち込み二分割して、個体Ａ（96）・個体Ｂ（98）のそれぞれで剥片剥離を行っている。個体Ａは上面（分割面）と左側面とのⅢａ類の剥離と右側面の横方向の剥離が行われ、最終的に石核70が遺棄される。初期段階の厚手の剥片が石核の素材となり、Ⅰａ類の剥離が行われ、最終的に石核97が遺棄される。

個体Ｂは正面へ左側面からの剥離後、右側で正面と裏面とのⅢａ類の剥離が集中的に行われる。正面の剥離が激しいヒンジを起こし、最終的に石核69が遺棄される。　（直江康雄）

（４）石器ブロック71（Sb－71）の石器

出土石器（表Ⅲ－７・８）

二次加工ある剥片４点、掻器１点、石核２点、剥片15点の計22点、重量1,210.0gの石器類が出土した。石材は、黒曜石２が最も多く72.7％を占め、その他は黒曜石１（27.3％）のみである。

二次加工ある剥片（図Ⅲ－72－１～３、図版76）

４点（３個体）を図示している。いずれも腹面の縁辺に加工が施されるものである。素材は、１は中央部が最も厚く幅広な細身の五角形、２は台形、３は五角形で、いずれも７cm前後のやや大型の剥片である。背面の剥離面構成は、１は左右の横方向の剥離がそれぞれ中央の稜から発生しており、交互剥離の作業部位を転移して得られた剥片が素材と見られる。２は同方向、３は横及び下方向の剥離面で構成されている。原礫面は２の下部のみに残っており、角が摩滅した平滑な原礫面である。加工は１cm前後の長いものが主体で、１のみ２mm前後の加工の中に不規則に長い加工が混じっている。加工部位は、１が腹面左側縁の中央部から上部、２は鋭い縁辺である腹面右側縁の中央部から打面の一部と末端辺（打面とほぼ平行する末端側の縁辺）、３は下端部で背面側に大きな剥離をした後、腹面側の末端辺に加工が施されている。

掻器（図Ⅲ－72－４、図版76）

１点（１個体）を図示している。背面の大半を転礫面に覆われた剥片を素材としている。背面の剥離面構成は横方向のものが１枚のみ見られる。打面は横方向の単剥離打面である。加工は、縁辺が原礫面部分では全体に軽微で、剥離面部分は無加工部と浅いノッチ状の加工となる。下端部の右側と右側縁の下部のみ急角度の加工であり、全体的に素材の形状を大きく変えていない。

石核（図Ⅲ－72－５、図版76）

１点（１個体）を図示している。打面が大きく、下端部がすぼまる形態で、素材は礫素材である。下面を除いて全面で上からの剥離が主体を占め、裏面から左側面にかけては、打面作出前の剥離が残っている。打面は横方向の平坦打面で、バルブによる窪みが大きい。下面は小型で、正面方向からの剥離が見られる。

石器ブロック71（Sb−71）の分布・接合状況（図Ⅲ−73・74、表Ⅲ−７・８）

北東方向に緩やかに傾斜する標高450m付近で確認された。Ｐ25〜27、Ｑ24〜26、Ｒ24〜26、Ｓ25区の16.7×6.3mの範囲で確認された。遺物は密集せず、北東−南西方向に散漫に分布が広がっている。二次加工ある剥片４点、掻器１点、石核２点、剥片15点の計22点、重量1,210.0gの石器類が出土した。石材は黒曜石のみである。

ブロック内のほぼ全域にわたって接合関係が認められる。また、ブロック外のＳ30区付近にも数点分布しており、Sb−71と１点の接合関係が確認された。

母岩別資料・接合資料

Sb−71では、22点中16点を１母岩に母岩分類し、２個体（母岩別資料内１個体）の接合資料が得られた。その内１母岩を図示する（模式・写真のみ）。

母岩別資料509・接合資料398（図Ⅲ−75、図版76）

母岩別資料は接合398のみである。

素材　21点（16個体）が接合し、重量は1,314.2g、大きさは12.9×12.7×10.9cmである。原礫面は転礫面で、ほぼ原石の状態で遺跡内に搬入されている。

剥離工程　正面上からの剥離（段階１）の後、左側面で同方向からの剥離が見られるが遺物は欠落している。大型の剥片であり、剥片の状態で遺跡外に搬出された可能性がある。その後、左側面（段階２）と裏面（段階３）→石核下端での正面（段階４）と裏面（段階５）との交互剥離の作業部位が転移し、裏面横方向の剥離（段階６）へと続く。段階６の剥片は石器の素材となり（個体Ａ）、末端部を背面側に大きく剥離（Ａ−段階１）した後、腹面側に細かな連続した加工が施され、二次加工ある剥片３となっている。次に段階６の作業面の末端部で、正面（段階７）と裏面（段階８）との交互剥離が行われる。段階７は連続的で、段階４とほぼ同方向の剥離である。その後、段階８の作業面の末端部を打面に設定し、右側面への剥離（段階９）が行われ、最終的に石核５が遺棄される。なお、石核５の上面が段階８の剥離面にあたる。段階７で剥離された末端幅広の剥片が二次加工ある剥片２の素材となっている。

分布　ほとんどがSb−71に散漫に分布する。１点のみ段階４の剥片が約20m東側に離れたブロック外のＳ30区から出土している。この剥片は背面を原礫面に覆われた厚手の剥片である。　（直江康雄）

（５）石器ブロック72〜79(Sb−72〜79)の石器

出土石器（表Ⅲ−７・８）

台形石器１点、二次加工ある剥片８点、掻器70点、削器２点、錐形石器３点、縦長剥片１点、石核31点、剥片614点、斧形石器１点、台石１点、原石14点の計746点、重量28,739.7gの石器類が出土した。石材は黒曜石１・５が多く、それぞれ54.4%、37.1%で多数を占めている。以下少量の黒曜石４（3.2%）、黒曜石３（2.3%）、珪岩（1.7%）、めのう（0.5%）、安山岩（0.4%）、黒曜石２及び泥岩（0.1%）からなっている。他の「白滝Ⅰ群」に比べ黒曜石５の割合が高く、石材のバラエティーも富んでいる。

台形石器（図Ⅲ−76−１・２、図版77）

２点（１個体とⅠ層出土１個体を含めた２個体）を図示している。１が完形、２は基部が一部欠損している。１は上半部が広がる撥形に整形したもので、上部にはほぼ水平で鋭い縁辺がある。腹面の縦断面が緩やかに湾曲する剥片を素材とし、素材の打面部を基部に設定している。素材の打面は単剥

離打面で、剥離角が140°と大きく、バルブがほとんど発達していない。背面の剥離面構成は、同方向と下方向からのものが認められる。加工は両側縁のみに60～70°の連続的な加工が施されている。左側縁が直線状、右側縁がやや内湾した加工である。刃部には刃こぼれ状の微細剥離が見られる。２は両側縁がほぼ平行する菱形のもので、上半部左側に斜行する鋭い素材縁辺を残している。加工により素材の詳細は不明だが、打面幅が大きく、両側縁がほぼ平行するものである。また、末端辺（打面とほぼ平行する末端側の縁辺）が僅かに残存し、打面側のリングもバルブに近いことから、それほど長くない寸詰まりの剥片であったと思われる。背面の剥離面構成は、左右横方向と下方向のものが認められる。素材の打面を右斜め上方に設定している。加工は両側縁のみに直線的に施され、右側縁は折れた後の加工である。側縁の角度は右側縁が90°前後、左側縁が75°前後である。刃部には刃こぼれ状の微細剥離が正裏両面に見られる。

二次加工ある剥片（図Ⅲ－76－３～７、図版77）

５点（５個体）を図示している。加工は３・４が素材の背面側、５～７は素材の腹面側に施されるものである。形態・素材・加工とも斉一性が見られない。３～６が完形品、７が上下両端の欠損品である。素材は変化に富み、厚手の剥片（３）、薄手の剥片（４・５）、厚手で寸詰まりの縦長剥片（６）で、７は欠損のため不明であるが、おそらく薄手の縦長剥片であろう。原礫面は、３に角礫面、５～７に転礫面が残存している。加工は、３がノッチ状で急角度、４が部分的な平坦加工と折れ面からの剥離、５が１cm 前後の連続的な平坦剥離、６が２mm 前後の微細加工、７が５mm 前後の平坦剥離で両側縁に施されている。

掻器（図Ⅲ－76－８～図Ⅲ－84－58、図版77～82）

65点（48個体とⅠ層出土３個体を含めた51個体）を図示している。Sb－72～79の中で最も多く出土した石器で、本石器群を特徴付けている。素材はいずれも剥片である。素材の用い方は、12～17・20～22・24・26・28～31・35・39・44・47・48・52～54・56が縦位、９～11・18・19・23・34・36・38・42・46・50・51・58が横位、８・25・27・32・33・37・40・41・43・45・49・55・57が斜位に用いるものである。また、前述の縦位・斜位のうち、素材打面側が刃部に設定されているものは、13・41・45である。原礫面は37個体に見られ、８・12・17・20・28・31～33・36・44・48・52・56が素材の打面、９・11・18・41が素材の末端、10・21・27・34・35・38が素材の側面、14・24・30・37・49・51・54・55が素材の側面から打面にかけて、13・16・19・23・29が背面の半分近く、53が背面全体を覆うように残存するものである。これらのほとんどは転礫面であるが、９・17・27・28はざらついた岩屑面である。石材は13が珪岩、26がめのうで、それ以外は黒曜石製である。

刃部の平面形態は三者見られ、円い８～33、突出する34～51、直線的な52～56、不明の57・58に分けられる。刃部厚は最も薄い31の1.7mm から最も厚い27の24.5mm まで幅広く見られる。平均は9.4 mm であった（側面の加工も含む）。加工部位は、８～10・12・15・17・20・24・29・30・34・37・39・41・47・52・56が基部を除きほぼ全周、46が全周、14・16・18・22・27・31～33・35・36・38・42・45・49～51・55が刃部のみ、19・21・23・25・26・43・44・48・53・54が刃部と側縁の一部、11・13・28・40が刃部と片側縁全体に施されている。また、11・13・27・28は、片側縁が折れ面または急角度の素材面で、そこから背面若しくは腹面に平坦剥離が施されるものである。11・13は背面側に長さ２cm 前後、27は腹面側に３cm 前後、28は両面に平坦剥離が見られ、それぞれ石核と複合した機能が想定される。刃角の平均は64.3°である。刃部の厚さを便宜的に７mm によって区分して刃角を比較すると、厚手が68.1°、薄手が58.8°となり、両者には10°近い差が見られる。８・９・11・27・28は素材面と二次加工面の表面状態が異なり、前者には細かい傷があり、面的な光沢が弱い一方、後

者には同様の傷がなく、光沢がより強い。素材腹面と二次加工面の形成には時間差があると思われる。

8～33は刃部の平面形態が円いものである。器体の平面形態と前述の刃部厚の基準によって8～18が縦長の厚刃、19～25が縦長の薄刃、26～29が円形の厚刃、30が円形の薄刃、31～33が不整形の薄刃に大きく分けられる。8は腹面のリングから大きく刃部再生が進んだ状態であると思われる。裏面基部側に樋状剥離が見られる。9はウートラパッセを起こした剥片が素材である。10は加工の度合いが大きく、素材のバルブが半分以上減じている。11は左側縁と背面の平坦剥離のパティナが素材面より新しい。産地分析の結果、赤石山産と判定された（Ⅳ章4）。12の腹面は右側縁下部から刃部にかけて擦りガラス状の痕跡があり、腹面中央には細かいパンチ痕による傷が集中して線・面状に分布している。これらは埋没後の遺物移動によって礫層や他の石器との摩擦によって起こった現象とみられ、本石器群では少なからず観察される。13の左側縁の加工は腹面側に施されている。15は節理による折損後、右側縁の加工が折れ面を切って施されている。産地分析の結果、赤石山産と判定された（Ⅳ章4）。16は器体中央部が最も厚く、刃部に向けての縦断面形が鋭い。19は3か所で加工が施され、下端と右側縁の刃部厚が薄手で、左側縁は厚くより急角度である。22は産地分析の結果、赤石山産と判定された（Ⅳ章4）。23の素材は末端がヒンジの剥片で、外反した端部にも加工が見られる。折損後、上半部の左側縁に折れ面まで及ぶ再加工が施され、縦長の掻器となっている。24は下端部が薄手で、両側縁に厚手の加工が施されている。産地分析の結果、赤石山産と判定された（Ⅳ章4）。25は左右の折れ面を切る加工が見られる。折れ面接合した二次加工前の状態は図Ⅲ－104－91に示した。26の左側縁はノッチ状の加工が腹面側に施されている。28の下端右側の加工はノッチ状である。29の上部の欠損は内在する割れによるもので、素材剥離時に起こったと見られる。31の左側縁は欠損している。

34～51は刃部の平面形態が突出するものである。刃部の厚さが7mm以上ある厚手の34～43と、7mm以下の薄手の44～51に大きく分けられる。34の左側縁上部は両面にわたって擦れたような潰れが見られる。他の資料は観察されず、埋没後に起こった可能性もある。35の下端左側の加工はノッチ状である。36の下端右側の加工は折れ面を切って施されている。折れ面接合した二次加工前の状態は図Ⅲ－108－97に示した。37は刃部厚が突出する刃部形態の中で最も厚く23.8mmに及ぶ。39は左右の側面の角度が異なり、右側縁がより鋭い。40の下端右側の加工は折れ面を切って施されている。折れは背面の器体中央部から放射状に広がっている。折損前にも加工があり、より円い刃部であったと見られる。41の下端左側の加工は折れ面を切って施されている。腹面側が大きく内湾しているため、器体の長軸が大きく窪み、横断面形が「へ」の字状になっている。42の石材は黒曜石4である。43の左右の側縁部の加工は素材の形をほとんど変えない平坦剥離である。44は基部側の両側縁に加工が施されている。45は上下を折損した剥片を素材としており、刃部左側の加工は折れ面を切って施されている。基部側は上下の折れ面が鋭く交わり、突出した形態となっている。46の加工は、素材打面部にあたる左側縁上部が最も急角度である。上端部には折れ面を切る加工が見られる。47の下端左側の加工は僅かに内湾するもので、刃部が鋭く突出している。48の下端右側の加工は折れ面を切って施されている。折れ面接合した二次加工前の状態は図Ⅲ－103－89に示した。50は下端左側縁の延長線上に当たる器体中央部に3か所のパンチ痕が背面側に見られる。折り取りを試みた痕跡と思われる。51の下端右側の加工は折れ面を切って施されている。折れ面接合した二次加工前の状態は図Ⅲ－104－92に示した。

52～56は刃部の平面形態が直線的なものである。52は素材の腹面側に刃部が作出されるものである。背面側が内湾しているためであろう。両側縁の加工は背面側に施されている。53の刃部加工は素材の形態をほとんど変えていない短い平坦剥離である。54の刃部角は85°で、非常に急角度である。

56は下端右側の大きな加工の末端から折れ面への割れが広がり、次のノッチ状の剥離時に器体が折損している。二次加工前の状態は図Ⅲ－103－90に示した。

57・58は欠損により、刃部の平面形態が不明なものである。57は末端部が欠損している。両側縁に続く加工から薄手で円い刃部であったと見られる。57は器体右側が欠損している。刃部の加工は粗い。

錐形石器（図Ⅲ－84－59～61、図版82）

３点（３個体）を図示している。60が完形品で59・61は基部欠損品である。寸詰まりの剥片を素材としている。突出部はいずれも１か所で、59・60は素材の末端部、61は側縁に作出している。加工は59・61が背面側、60は錯向状で突出部左側の加工が背面、右側が腹面に施されている。60は素材面と二次加工面の表面状態が異なり、前者には細かい多方向の傷が不規則にあり、稜が摩滅し、面的な光沢が弱く、くもりガラス状となっている。一方、後者には同様の傷がなく、光沢がより強い。素材腹面と二次加工面の形成には時間差があると思われる。

削器（図Ⅲ－84－62・63、図版83）

２点（２個体）を図示している。２点とも完形品である。石材は、62が黒曜石４、63が安山岩１である。素材はいずれも剥片で、63は大型で背面の大半が原礫面に覆われている。加工は、62が背面側にやや平坦な剥離で直線状となり、63は交互状の剥離で、背面には内湾する急角度な加工、腹面には平坦剥離が施されている。

縦長剥片（図Ⅲ－84－64、図版83）

１点（１個体）を図示している。上部欠損品である。角礫を素材とし、腹面は全体的にやや風化した面に覆われ、リングが大きい。上白滝８遺跡東地区（鈴木ほか　2004）のSb－４～６及び７・８の角礫素材の資料に観察された「露頭分離面」と類似している。石核の小口面の稜を利用して剥離されたものと見られる。

石核（図Ⅲ－85－65～図Ⅲ－90－85、図版83～87）

23点（17個体とⅡ層出土１個体、Ⅰ層出土３個体を含めた21個体）を図示している。いずれも剥離の際に打面調整・頭部調整などの石核調整は施されず、剥離面のバルブが発達している特徴を持つ。

65～72・74は扁平で、剥離作業を主に素材の平坦面で行っているもので、Ⅰ類の剥片剥離が行われた際の残核と思われる。素材は65・66・74が剥片、67～69が縦長剥片、70～72が礫である。剥片素材のものは素材背面に転礫面があり、剥離の比較的初期段階で得られた剥片を素材としている。作業面は主に65～67・69が素材の腹面側、68・74が背面側に設定されている。また、65～67・69は素材腹面のバルブ周辺を作業面に取り込んでいる。主に末端が薄手もしくはヒンジで、寸詰まり剥片が剥離されている。65は素材背面末端部にあたる裏面末端部に連続的な細かい加工があり、掻器としての機能も複合していたと見られる。66は上下からの剥離が見られるが、上半部の作業面が小口面化している。67の素材の背面剥離面構成は、同方向のみで構成されている。剥離作業は平坦剥離が主体で、全体的に薄手で小型の剥片が剥離されている。68の上半部の剥離の打面には多数のパンチ痕が残存している。69は素材の背面末端部にあたる裏面右側縁に平坦で連続的な細かい加工がある。相対する正面側にはより細かく潰れたような階段状の剥離が見られる。71の上面には作業面とほぼ90度の剥離面がある。作業面の剥離痕は大型のものが多く、末端まで抜ける剥離が上下で見られる。72は上・右方向からの剥離のみ行われ、剥離痕は大型で末端まで抜けるものも見られる。

73・75～78は素材の小口面で剥離作業を行っているもので、素材は73・75が剥片、76～78が礫である。Ⅱ類の剥片剥離が行われた際の残核と思われる。打面は73・78が素材の広い平坦面、75～77が素材の小口面にほぼ固定される。なお73の打面は素材の背面にあたる。その結果、73・78は末端が幅広

の剥片、75～77は縦長剥片が主に剥離されている。原礫面は73・75～78の全てに残存しており、73・76・77には角礫面、75には転礫面が見られ、剥片を素材とする73・75では、素材の背面に大きく残存している。73は作業面長が約1.5cmで、厚さも小さく、石核の剥離可能な部分を十分消費し尽くしている。不規則で細かい多方向の傷が全面的にあり、稜が摩滅し、面的な光沢が弱く、くもりガラス状となっている。錐形石器（図Ⅲ－84－60）で観察された表面状態と類似するものである。同一母岩がなく搬入品であることから、移動時に付着した傷であると考えられる。75は縦長剥片を素材としており、正面の下端から左側縁にかけて掻器状の加工が見られ、折損後、上半部は裏面を含めた左右の側縁と、下面（折れ面）で剥離が行われている。下半部では裏面と折れ面との剥離の他に正面上からの細かい階段状の潰れが見られる。76の上面は折れ面である。正面と裏面で石核の幅と同様の縦長剥片が剥離され、正面は大きくウートラパッセしている。77は三角柱状の原石を斜方向に利用して剥離が行われている。打面を作出後、正面の作業面が右から左側に移動しており、最終剥離の左側の打面部には多数のパンチ痕が見られる。78は幅広で薄い原石の上端部での剥離が見られる。

79・80は厚手の礫素材で、石核を輪切りにするように末端まで抜ける剥離を一方向から行っているものである。いずれの原礫面も転礫面である。前述の72も同様の特徴がある。79の作業面下部には直径2cmの球顆がある。

81～85は打面転移を数多く行っているものである。素材はいずれも礫であるが、81・85は厚手の剥片であった可能性がある。全ての石核に原礫面が見られ、81・83・84は下面と裏面若しくは側面、82はほぼ全面的に、85は下面に一部残存している。81の左側面から正面にかけては上から、上面では横からの剥離が見られる。左側面の剥離は打面位置がかなり上部であった古い剥片と見られる。82の石材はめのうである。原礫面の残存状況から、原石状態からそれほど変化なく石核が遺棄されたと見られる。剥離は左側面・正面が上から、上面は正・裏面からの剥離が見られ、上面と正面は交互剥離状となっている。いずれも末端まで抜けていない短い剥離で構成されている。83は正面・右側面が上から、上面は横からの剥離が見られ、右側面と上面は交互剥離状となっている。正面と右側面との稜は直角に近い。84は正面と上面、正面と左側面、左側面と裏面の3か所で交互剥離が見られる。左側面下からの剥離は激しいヒンジとなっている。85は各面に多方向の剥離が見られる。寸詰まり剥片が多く剥離されているが、最終剥離は縦長剥片となっている。上面には横から2か所で細かい集中的な剥離が施されている。リングの状態から左側面の剥離はかなり大きな剥離面であったと予想される。

斧形石器（図Ⅲ－90－86、図版87）

1点（1個体）を図示している。石材は泥岩製である。扁平で上部がややすぼむ楕円形の礫を素材としている。原礫面は平滑で、遺跡内の礫層に多く見られる風化が進んだ礫とは異なる。正面下端部と裏面上端部からの剥離が見られる。加工が少なく、素材の状態をほとんど変えていない。

台石（図Ⅲ－90－87、図版87）

1点（1個体）を図示している。石材は多孔質の安山岩2である。上部・右半部・下部を欠損しており、全体の形状は不明である。原礫面は全面的に滑らかである。全体的に平坦だが所々に窪みがある。

原石（図版－88－1－102～115）

15点（14個体）を写真のみ掲載している。いずれも角礫の棒状原石及びそれに類する角礫の原石から剥離されたものである。裏面に縦方向の剥離面があるのは102・104・105・107～109・111である。いずれも搬入品で、遺跡内で剥離された痕跡がなく、他の棒状原石と同様の形態であることからここに図示した。残存状況は、下部欠損が105、上下欠損が102・107・109～111・113～116で、上下及び側面欠損が103・104・106・108・112である。原礫面は、102がやや風化し大きなリングが残る面、111

の正面がややザラついた岩屑面、それ以外は平滑な面で、剥離面が軽く風化を受けた程度である。102の原礫面は縦長剥片64で観察された「露頭分離面」と類似する。側面が大きく欠損した103・106・112以外は、裏面が平坦で正面に両側縁と平行する稜が１～３本程見られる。従って、断面形が石刃と類似する。

石器ブロック72～79（Sb－72～79）の分布状況

遺跡西側の10ラインを中心として分布している。標高は442.5～446.5mで、ブロックにより高低差があるが、多くはより低い位置にまとまっている。地形は、ほぼ南北方向に緩やかに傾斜する緩斜面上である。北側の台地の縁に北東－南西方向に並んでSb－72～74・76・78があり、そこから南側にSb－75・77が分布している。Sb－75は標高が最も高い位置にある。Sb－72～78は近接しているが、Sb－79はそれらのまとまりから西側に25m程離れたＰ３区付近に分布する。

石器ブロック72（Sb－72）の分布（図Ⅲ－90、表Ⅲ－７・８）

Ｈ13・14、Ｉ13・14区の3.8×5.8mの範囲で確認された。北西側の調査区範囲外にも分布が僅かに広がっていたと見られるが、台地の縁にあたり、後世の浸食を受け消失したものと思われる。Ｈ・Ｉ13・14区の境に散漫な集中域がある。掻器２点、石核１点、剥片18点の計21点、重量994.9gの石器類が出土した。石材は黒曜石のみである。

石器ブロック73（Sb－73）の分布（図Ⅲ－91、表Ⅲ－７・８）

Ｉ14～16、Ｊ14・15、Ｋ13・14区の10.6×5.9mの範囲で確認された。ブロックの西部にあたる14ラインに散漫なまとまりがある。掻器７点、石核４点、剥片14点の計25点、重量2,876.1gの石器類が出土した。石材は掻器１点、剥片１点が珪岩製で、その他は全て黒曜石である。

石器ブロック74（Sb－74）の分布（図Ⅲ－92・93、表Ⅲ－７・８）

Ｋ12、Ｌ11～13、Ｍ12・13区の11.3×10.3mの範囲で確認された。Ｌ・Ｍ13区に散漫なまとまりがあり、Ｌ12区西部に直径2.5m程の環状の分布が見られる。掻器12点、錐形石器１点、二次加工ある剥片１点、石核６点、剥片85点の計105点、重量4,239.8gの石器類が出土した。掻器を高い割合で組成する（11.4％）。石材は掻器１点がめのう製で、その他は全て黒曜石である。

石器ブロック75（Sb－75）の分布（図Ⅲ－94、表Ⅲ－７・８）

Ｑ13～15、Ｒ12～15、Ｓ12～16区の11.0×18.4mの範囲で確認されたが、調査区範囲外のＴ13～16区にも分布が広がると考えられる。非常に散漫な分布で14ラインにやや遺物がまとまっている。掻器２点、剥片57点の計59点、重量1,036.4gの石器類が出土した。石材は黒曜石のみである。

石器ブロック76（Sb－76）の分布（図Ⅲ－95、表Ⅲ－７・８）

Ｌ９・10、Ｍ８～11、Ｎ10区の8.9×11.6mの範囲で確認された。北西側の調査区範囲外にも分布が広がっていたと見られるが、台地の縁にあたり、後世の浸食を受け消失したものと思われる。Ｌ９・10、Ｍ10区を中心としてまばらに分布する。掻器２点、削器１点、二次加工ある剥片４点、縦長剥片１点、石核３点、剥片105点の計116点、重量5, 962. 0gの石器類が出土した。石材は安山岩製の削器、珪岩製の剥片２点、めのう製の剥片１点があり、その他は全て黒曜石である。

石器ブロック77（Sb－77）の分布（図Ⅲ－96～99、表Ⅲ－７・８）

Ｎ９～11、Ｏ９～11、Ｐ９～11、Ｑ10・11、Ｒ10・11区の19.7×9.4mの範囲で確認された。分布は南北方向に間延びしている。Ｐ・Ｑ10区に集中域があり、そこから北部はやや東西に広がる散漫な分布である。台形石器１点、二次加工ある剥片１点、掻器35点、削器１点、錐形石器１点、石核16点、剥片245点、斧形石器１点、台石１点、原石14点の計316点、10,783.1gの石器類が出土した。石材は

安山岩２点、珪岩９点、めのう２点、泥岩１点があり、その他は全て黒曜石である。黒曜石以外の石器を器種別に見ると安山岩製台石、泥岩製斧形石器、めのう製石核がそれぞれ１点ずつ見られ、その他は全て剥片である。

石器ブロック78（Sb－78）の分布（図Ⅲ－100、表Ⅲ－７・８）

Ｍ８、Ｎ７～９、Ｏ７区の7.1×8.2m の範囲で確認された。北西側の調査区範囲外にも分布が僅かに広がっていたと見られるが、台地の縁にあたり、後世の浸食を受け消失したものと思われる。Ｎ８区に散漫なまとまりがある。掻器10点、二次加工ある剥片１点、剥片28点の計39点、重量1,250.7g の石器類が出土した。掻器を高い割合で組成する（25.6％）。石材は黒曜石のみである。

石器ブロック79（Sb－79）の分布（図Ⅲ－100、表Ⅲ－７・８）

Ｏ３、Ｐ３・４区の5.9×4.1m の範囲で確認された。Ｐ３・４区の境に南北方向に１m 程細長く延びた集中域がある。錐形石器１点、二次加工ある剥片１点、石核１点、剥片62点の計65点、重量1,596.7g の石器類が出土した。石材は黒曜石のみである。

石器ブロック72～79の接合状況（図Ⅲ－101・102）

Sb－72～79ではブロックにより接合状況が異なる。Sb－74・76～79はブロック内の接合を中心としてブロック間での接合関係が確認されている。特に Sb－74・77にはブロック間の接合関係が多く見られる。その他の Sb－72・73は接合関係が希薄で、Sb－75はブロック内で完結する接合状況がなく、Sb－77との関係性が強い。それぞれ濃淡はあるがブロック間での接合関係が確認されている。また、ブロック外である Sb－75の東側と Sb－77の東側の２か所との接合関係がまとまって確認された。いずれも接合状況から Sb－77との関係性が強い。

Sb－72～79では原礫面にざらついた岩屑面を持つ角礫を素材とした石器類が一定量見られた。Sb－74・76～78で確認され、Sb－76に主体的に見られる。接合状況はブロック内の接合が中心で、Sb－76・78で１例のブロック間接合が確認された。

母岩別資料・接合資料

746点中413点を36母岩に母岩分類し、87個体（母岩別資料内60個体）の接合資料が得られた。その内４母岩を図示し、３母岩を写真のみ掲載している。

母岩別資料533・接合資料436・437（図Ⅲ－103～106、図版88－２・89）

母岩別資料は接合436～438・50987、剥片４点で構成され、総点数44点、総重量1,294.6g である。

素材　接合436は、22点（18個体）が接合し、重量718.2g、大きさ14.2×20.1×5.5cm である。接合437は、14点（10個体）が接合し、重量508.1g、大きさ9.6×14.2×5.2cm である。原礫面は転礫面で、扁平な正面部を平坦に大きく剥離した状態で遺跡内に搬入されている。

剥離工程　剥離の前半である接合436（図Ⅲ－103－88）から説明する。Ⅰａ類の技術を用いて、正面の平坦な作業面を求心状に剥離していく（段階１～５）。いずれも大型の剥片が剥離されており、掻器７点の素材となっている（段階１：掻器34・48、段階２：掻器10、段階３：掻器56、段階４：掻器25、段階５：掻器51・31）。また、掻器21も同一母岩であり、素材の大きさから、この前後に剥離された剥片を素材としていると思われる。掻器の素材の状態を示す資料が４個体得られた（個体Ａ～Ｄ）。個体Ａ・Ｃ・Ｄとも折損後に割れた素材の形態を利用している。個体ＢはＢ－段階１の集中的な刃部加工によって折損し、掻器56が遺棄されている。

接合437（図Ⅲ－106－93）は後半の接合資料で、平坦な正面での剥離が続く。上下からの連続的な剥離（段階１・２）が見られる。段階２の作業面は急角度で、小口面に移行している。最終的に横方

向からの剥離（段階３）が行われ、石核66が遺棄される。

分布　Sb－73～75・77・78の５つの石器ブロックに分布が及んでいる。接合436では、段階１～３まで（個体Ｂを除く）がSb－78に散漫に分布し、個体Ｂ及び段階４（個体Ｃの剥片１点を除く）がSb－77の集中部から出土している。個体Ｃの掻器に折れ面接合する剥片１点がSb－75の中心部から出土している。段階５は先に剥離された２点がSb－74から、後の２点のうち掻器１点がSb－73から単独で出土し、その他はSb－77に分布している。接合437では段階１の中の１点がSb－75、その他は石核を含めてSb－77に分布している。Sb－77では比較的集中域にまとまっているが、北部縁辺付近に段階２の折れた剥片が１点見られる。

全体的にSb－77に分布する石器類が多く、最終的な石核も同ブロックから出土している。このことから全体の剥離をSb－77で行い、掻器や剥片をそれぞれ他のブロックに持ち出した可能性が高いが、剥離を行いながらブロック間を移動し、製作した掻器をさらにブロック外に持ち出していた可能性も否定できない。

母岩別資料532・接合資料432（図Ⅲ－107～110、図版90～92－１）

母岩別資料は接合432～435・50804～50806、剥片７点で構成され、総点数61点、総重量3,371.6gである。

素材　35点（26個体）が接合し、重量2,264.3g、大きさ14.5×19.3×12.7cmである。「爪状痕」のある転礫面を素材としている。同一母岩の資料中に背面が原礫面に覆われたものがないため、正面と上面を大きく剥離した状態で遺跡内に搬入している。

剥離工程　主にⅠａ類の剥離を中心として作業が進行している。平坦な正面で主に上下からの剥離（段階１・３～10）が行われている。途中の段階２は正面から上面への剥離で段階１・３との交互剥離となっている。段階２の剥片は掻器18に加工されている。段階３は右側での集中的な剥離で、その結果作業面が右側面に傾く。段階４の剥離は末端がヒンジとなるものが多い。段階３と５の間には裏面横方向の剥離が行われているが欠落し、それは段階５とは交互剥離の関係となる。

段階６～８は前段階部を外した中間の接合図（図Ⅲ－108－95）、段階９はさらに前段階部を外した中間の接合図（図Ⅲ－108－96）、段階10以降は最終の接合図（図Ⅲ－109－99）で説明する。段階６～８は正面の中央部を中心とし、段階９は中央左側に偏った剥離である。これらの剥離の結果、段階３で発生した石核右側の傾斜がなくなり、再び正面全体が平坦化する。段階９の剥片は掻器及び石核の素材となっている（個体Ａ・Ｂ）。全体的な傾向として、剥片は末端まで剥離が抜けるものが多く、正面の平坦面を大きく崩さずに同様の剥離が進行していく。剥片の形状は幅広のものが主体的であるが、段階４では素材背面の稜線に合わせて剥離軸を設定している。そのためやや縦長となる剥片が剥離されている。最終的に石核71が遺棄される。

個体Ａは剥片の末端部を切断後（Ａ－段階１）、側縁と末端部の角を利用して刃部を作出し、掻器36に加工されている。

個体Ｂは剥離時に末端部が折損し、その後折れ面を作業面とする剥離が行われる（Ｂ－段階１）。次に正面で平坦な剥離（Ｂ－段階２）が行われ、最終的に石核74が遺棄される。左側縁下部には掻器の加工に類似した剥離が見られるが、端部まで及ぶものではない。

分布　Sb－76・77の２か所とSb－75の東側のブロック外に分布が及んでいる。段階１の剥片がSb－76、段階９の剥片１点がブロック外に分布し、その他はSb－77の集中域及びその南側からまとまって出土している。

母岩別資料523・接合資料420（図Ⅲ－111、図版92－２）

母岩別資料は接合420・421で構成され、総点数14点、総重量739.3g である。

素材　12点（11個体）が接合し、重量718.6g、大きさ8.0×10.0×9.7cm である。平滑で角が摩滅した転礫を素材とし、正面と上面を大きく剥離した状態で遺跡内に搬入している。

剥離工程　Ⅲａ類の剥離を中心に作業が進行している。正面と上・左側面との交互剥離（段階１・２）の後、右側面と裏面との交互剥離（段階３・４）へと続き、最終的に石核84が遺棄される。

分布　Sb－77の北部から散漫に出土している。

母岩別資料543・接合資料457（図Ⅲ－112、図版93－１）

母岩別資料は接合457のみである。

素材　９点（７個体）が接合し、重量527.9g、大きさ20.9×6.9×5.5cm である。素材は三角柱状の角礫で原礫面は平滑である。上端を剥離した状態で遺跡内に搬入されている。

剥離工程　Ⅱ類の剥離を中心として作業が進行する。上端で作業面が裏面に傾く横方向の剥離（段階１）が行われる。段階２以降は石核の上端を左右斜めに利用している。正面上からの剥離（欠落）の後、その作業面から右側面の小口面が剥離（段階２）され、左側面と右側面との交互剥離（段階３・４）が続き、最終的に石核77が遺棄される。段階２の剥片が二次加工ある剥片３の素材となっている。細長い原石形状であるが、作業面は原石長軸より斜めに設定しているため、寸詰まりの剥片が多く剥離されている。

分布　ほとんどは Sb－76のM10区にまとまって分布し、段階１の折れ接合する片側１点が４ｍ程北側に離れたＬ10区から出土している。

写真のみ掲載の接合資料

母岩別資料515・接合資料407（図版93－２）は、扁平な転礫を素材としている。正面を大きく剥離した状態で遺跡内に搬入されている。平坦な上面を剥離後、Ⅱａ類の剥離が連続して行われる。最終的な石核は遺跡内から出土していない。剥片２点が掻器19・44に加工されている。

母岩別資料539・接合資料449（図版94－１）は、扁平な転礫を素材としている。ほぼ原石の状態で遺跡内に持ち込まれている。平坦な広い面を作業面としてⅠｂ類の剥離が行われている。最終的な石核は遺跡内から出土していない。

母岩別資料507・接合資料446（図版94－２）は、ザラついた岩屑面がある大型の剥片を素材としている。内在する割れにより原石の長軸で半割されている。正面左側（個体Ａ）は、原礫面からのⅡａ類の剥離が１回行われた石核である。右側（個体Ｂ）は分割面からのⅢｂ類の剥離が中心に行われている。個体Ｂの最終的な石核は遺跡内から出土していない。　（直江康雄）

（６）「白滝Ⅰ群」石器ブロック外の石器

二次加工ある剥片（図Ⅲ－113－１、図版94－３）

１点（１個体）を図示している。素材は寸詰まりの剥片で、背面の剥離面構成は腹面とほぼ同方向である。素材の打面側にあたる裏面下部の両側縁に７mm 前後のやや長めの加工が鋸歯状に施されている。裏面右側縁上部には長さ約１cm の横長の剥離が見られる。右側面の平坦面は素材剥離時の割れと思われる。

掻器（図Ⅲ－113－２、図版94－３）

１点（１個体）を図示している。打面が幅広で厚手の剥片を素材としている。背面の剥離面構成は腹面とほぼ同方向である。素材の末端部を刃部に設定し、縁辺をほぼ全周する軽微な加工が施されて

いる。刃部は円みがあり、薄手である。

石核（図Ⅲ－113－３、図版94－３）

１点（１個体）を図示している。剥片を素材とする石核である。素材の腹面側を作業面に固定して上下からの剥離が行われている。上半部の剥離は素材のバルブ周辺にも及んでいる。主に長さ1.5cm前後の末端が薄手もしくはヒンジで、横長の剥片が剥離されている。二次加工ある剥片１と同一母岩である可能性が高い。

分布（図Ⅲ－113）

１・３は調査区西端のＲ０・１区から出土し、最も近い「白滝Ⅰ群」のブロックは約15m離れたSb－79である。２はK19区から出土し、Sb－73から東に18m、Sb－70から西に35m離れて単独で出土している。技術形態学的には１の類例はなく、３のような小型剥片を石核の平坦面で剥離するものはSb－64～70に多い。２はSb－72～79の掻器と類似する。（直江康雄）

（７）Ｇ区・石器ブロック80～89(Sb－80～89)の石器

出土石器（表Ⅲ－７～10）

尖頭器49点（Ⅰ類44点、Ⅱ類４点、Ⅲ類１点)、尖頭器削片27点、両面調整石器８点、ナイフ形石器１点、彫器25点（Ⅰ類８点、Ⅱ類17点)、彫器削片４点（Ⅱ類３点、Ⅲ類１点)、掻器35点、削器82点、錐形石器７点、舟底形石器98点（Ⅰａ類６点、Ⅱａ類90点、Ⅱｂ類２点)、二次加工ある剥片45点、石刃208点、縦長剥片293点、石刃核31点、石核25点、剥片16,156点、原石３点の計17,097点、重量133,540.5gの石器類が出土した。石材は黒曜石４が64.7％で最も多く、黒曜石１（26.9％)、黒曜石３（6.9％)、黒曜石５（1.2％）が続き、以下黒曜石２（0.2％)、頁岩（0.05％）である。石刃核・石核・剥片は黒曜石４が60％以上を占め、主に黒曜石４を利用した剥片剥離が行われ、削器・錐形石器も同様な傾向を示す。特に舟底形石器は黒曜石４が80％を占める。一方、尖頭器・彫器・掻器は黒曜石１が60％を占める。また、彫器（３点)・錐形石器（２点）には頁岩が含まれる。

尖頭器（図Ⅲ－114－１～図Ⅲ－115－11、図Ⅲ－513－１・２、図版95・402、図版107－216）

18点（12個体とⅠ層出土１個体を加えた13個体）を図示、１点（１個体）を写真のみ掲載している。１～７・図版107－216はⅠ類である。１は薄手の大型剥片素材で、正面はほぼ全面に、裏面は縁辺部に加工が行われる。正面の加工は、中央部は平坦剥離、縁辺部はやや角度のある剥離によるもので横断面形は台形に近い。裏面の上半分の広い範囲はリングと同一方向の擦痕により磨りガラス状である。擦痕は表面を完全に研磨したような激しいもので、凹凸のある低い部分にも分布する。この擦痕の大部分は加工に切られているが、一部加工を切るものもあり、表面状態は素材面、擦痕に切られる二次加工面、擦痕を切る二次加工面の三段階に分けられる。

２～５・図Ⅲ－513－１は粗い加工の尖頭器で、２・図Ⅲ－513－１は角礫、３～５は同一母岩の転礫素材である。全て黒曜石１の剥片素材で、縁辺部調整は行われず、加工は主に反対面の剥離面の稜を打撃して行われるため、側縁の稜は交互剥離状にギザギザしている。図Ⅲ－513－２は、大きさはこれらに類似するが、正面左側縁は平坦剥離により器面が整えられ、縁辺も細かな剥離により滑らかである。２～５・図Ⅲ－513－１・２が出土しているSb－89はＨ区との関連が想定される（Ｐ141）ことからそれらは忍路子型細石刃核の母型の可能性がある。大きさは長さ12cm以下、幅５cm以下、厚さ２cm以下と小型で、やや細長く左右非対称である。

６は小型で薄手の尖頭器である。両面に押圧剥離と考えられる平行剥離が見られ、側縁は鋸歯状で

ある。縄文時代の遺物の混入の可能性がある。７は非常に大型の尖頭器の折損品である。両面とも大型の剥離面で構成され、縁辺部には細かい剥離面が見られる。右側縁から正面への最終剥離によって折損している。図版107－216は大型品で、比較的大型の平坦剥離面と縁辺のやや小型の剥離面で構成される。下端部周辺は折損後、再加工が行われる。

８～11はⅡ類である。石質は全て黒曜石４である。全て両側縁で削片が剥離され、８・10・11は折れ面を打面として両側縁に、８はさらに左側縁を打面として折れ面（上面）で剥離が行われる。９は下部から左側縁への剥離の後、折れ面から右側縁に削片が剥離される。11は削片剥離前に正面の最も突出した部分（最も厚い部分）が除去されている。削片剥離の際には明瞭な頭部調整は行われない。８・11、９・10はそれぞれ同一接合資料である。剥離される削片幅は尖頭器の厚さに規定され、尖頭器の厚さは1.7～2.5cm で、幅1.2～3.0cm の削片が剥離されている。

尖頭器削片（図Ⅲ－115－12～図Ⅲ－116－21、図版96）

19点（10個体）を図示している。石質は全て黒曜石４である。12～17は断面三角形の削片で、二次削片である14を除いて尖頭器の側縁が残る断面三角形の一次削片である。16の末端部には反対側縁での削片剥離痕が残り、厳密な意味での一次削片ではない。側面形は剥離される尖頭器形状を反映し、直線的で先端部が若干湾曲する。断面形は二等辺三角形に近いものが多いが、15のように傾くものもある。14は先行の削片剥離により傾いた作業面から剥離された二次削片で、最も傾いた上部右側面への稜調整後に剥離されている。15・16は尖頭器本体の下端部が取り込まれている。

18～21は断面四角形の二次削片である。打面の残存する18・19には頭部調整が認められず、打点は打面である尖頭器折れ面の左右端部に位置する。18・20・21の先端部には尖頭器の下端部が取り込まれ、20・21の先端部には反対側縁での、20には折れ面から、21には下端からの削片剥離面が残る。

長さは５～16cm、幅は１～３cm、厚さは0.8～2.8cm である。①尖頭器本体の下端部を取り込む剥離が多く、それに伴い本体の長さが次第に減少すること、②折損時（削片剥離直前）の尖頭器自体の大きさに変異があることから削片の長さに差異が見られる。また、形態は作業面形状を反映して両側縁が平行である。

両面調整石器（図Ⅲ－116－22、図版96、図版107－217）

２点（１個体）を図示、２点（１個体）を写真のみ掲載している。22は角礫から剥離された厚手の剥片素材で、両面とも粗い加工が行われる。図版107－217は20cm を超える大型品である。両面とも大型の平坦剥離により加工され、中央での折損後、両破片ともに折れ面周辺を主体として再加工が行われる。その折れ面には、裏面中央やや右寄りのリングの隆起した部分に打点が残り、折り取りを意図した可能性がある。

ナイフ形石器（図Ⅲ－116－23、図版96）

１点（１個体）を図示している。23は寸詰まりの剥片素材で、素材を横方向に利用し、弧状の一側縁を残し、基部両側縁を内湾するように加工し、扇状に整形される。基部加工は、腹面側は平坦、背面側は角度のあるもので、縁辺は潰れている。加工のない縁辺には両面に微細な剥離が見られる。

彫器（図Ⅲ－116－24～図Ⅲ－117－44、図版96・97）

23点（20個体とⅡ層出土１個体を加えた21個体）を図示している。24はⅠ類からⅡ類に変化したもの、25～29はⅠ類、30～44はⅡ類である。

石材は黒曜石１が多く、41・42は頁岩製で原礫面が残る。素材は石刃・縦長剥片がほとんどで、打面の残存するものは単剥離打面である。

彫刀面は全て左肩に、基部側の42・43を除いて素材先端側に作出される。彫刀面打面は直線的な24・

29・32・34・43を除きノッチ状に作出される。背面先端部調整はⅠ類には見られないが、全てのⅡ類に認められ、その半数は打点が無く、彫刀面に切られている。

周縁加工は、背面側は急角度の、腹面側は平坦な加工によって行われ、その分布は、背面側は部分的な44を除き両側縁全体に、腹面側は31・38・41～43には主に片側縁から部分的に、33・35には両側縁から面的に行われる。

大きさは、大型の44を除くと長さ27～75mm、幅15～23mm、厚さ４～８mm（厚手の41を除く）で、長さによる形態差が大きい。

明瞭な二重パティナ（多段階表面変化）は見られないが、折損品である非掲載資料（遺物番号N35－121）に１点認められる。また、37の背面は擦痕によって摩滅しているが、その分布は素材面と二次加工面にまたがり明瞭な区別が困難であることから埋没後の影響によると考えられる。

39は下部の折損後、折れ面周辺に再加工が行われる。42は端部にノッチ状の彫刀面打面を作出し、素材縁辺に沿って彫刀面が作出され、43は基部側から続く直線的な側縁を打面として斜めに彫刀面が作出される。42・43は①彫刀面が素材打面側に作出され、②彫刀面が直線的で、③形態軸・彫刀面交叉角が比較的小さい特徴が他の彫器（小型舟底形石器に伴うもの）と区別でき、また、それらはH区との関連が想定されるSb－89に分布することから忍路子型細石刃核石器群に関連するものと考えられる。

彫器削片（図Ⅲ－117－45～53、図版97）

９点（３個体とⅠ層出土３個体とⅡ層出土３個体を加えた９個体）を図示している。45～47は彫器Ⅰ類から剥離されたもので47は頁岩製。46・47には打点の無い背面先端部調整が残る。48～53は彫器Ⅱ類から剥離されたもので、全てに背面先端部調整が見られ、それには49を除いて打点が残る。

掻器（図Ⅲ－117－54～図Ⅲ－119－74、図版97・98、図版107－218）

32点（20個体とⅠ層出土１個体を加えた21個体）を図示、１点（１個体）を写真のみ掲載している。54・55は単剥離打面の頭部調整を伴う石刃核から剥離された10cm以下の石刃素材で、両側縁に急角度の加工が行われる。石質は黒曜石４・５で、小型舟底形石器に伴うタイプの掻器である。55は刃部再生が階段状になって遺棄されたものと考えられる。

56～72は石刃素材で、側縁加工がほとんど行われないものである。54～64は完形品、65～72は折損品である。石質は黒曜石１・５が多い。全て石刃素材で、62・63は20cmを超える大型石刃、63・64は大型石刃核から剥離された稜付石刃素材である。素材打面は複剥離打面のものが多く、稜付石刃や素材面に石刃核の側面調整が残るもの（58・62）が存在する。また、60・64は母岩693（図Ⅲ－198～201）、62・63は母岩702（図Ⅲ－514）、59・65～69は母岩1221（図Ⅲ－175）、72は母岩701（図版－171）に含まれ、素材は稜調整・側面調整などの石核調整のある石刃核から打面調整を行いながら剥離されたと考えられる。

刃部は平坦な剥離により比較的鋭角に作出され、刃部縁辺には１mm以下のやや角度のある剥離がみられる。67・71・72の刃部は軽微な剥離で加工され、71・72は刃部に素材先端部の特徴が残り、素材の減少が見られず、刃部再生の頻度は低い。刃部形状は弧状・直線的なものが多い。このタイプの掻器の背面には特徴的なパンチ痕が認められるものがある。それは、刃部の二次加工と背面との稜上ないしやや手前・奥に位置し、器体幅のほぼ中央付近にあるものが多い。二次加工の稜上にあるものは刃部側からの剥離と向かい合う両極剥離の特徴を示す。パンチ痕の直径は0.7mm程度である。この痕跡は白滝遺跡群の掻器では小型舟底形石器に伴う掻器には認められず、上白滝２遺跡Sb－15などの有舌尖頭器石器群で認められることから時期を限定する指標となる可能性がある。56～60・65・

66・68～70の側面形は直線的でほとんど反りが無く、64は上部折損後再加工が行われている。大きさは長さ①15cm 以上、②10cm 前後、③５cm 前後の三種類があり、それぞれ素材石刃の大きさを反映している。幅は２～６cm、厚さは0.5～1.7cm と多様である。小型舟底形石器に伴う掻器が長幅厚とも類似するのに対し、全てにおいて著しい変異が認められる。その要因として素材の変異が大きいこと、側縁調整が少ないことによる規格化が行われないことが挙げられる。接合資料に含まれるものはSb－86の北東部（図Ⅲ－142）、Sb－89の南西部（図Ⅲ－146）に分布し、接合資料はＨ区（Sb－90）とまたがって分布していることから、このタイプの掻器は忍路子型細石刃核石器群に伴うと考えられる。分布からはSb－86には長さ①が、Sb－89には長さ②③のものが偏り、それぞれのブロックの性格を反映するものと考えられる。

73は単剥離打面を持つ厚手の石刃ないし剥片素材で、平坦な加工が両側縁・刃部に施される。裏面先端部には刃部からの剥離がみられる。74は剥片素材で側縁に平坦な、刃部に簡単な加工が施される。図版107－218は石刃素材で両面加工の掻器である。刃部は急角度の、正面右側縁・裏面は平坦剥離で加工される。両面に残る素材面は傷が多く、稜は摩滅している。傷の頻度別の分布状況は、素材面（多い）、刃部以外の二次加工面（中）、刃部（無し）の順で三段階の表面変化が観察され、石器の履歴を反映している。また、表裏ともパンチ痕が広い範囲に点在しているが前述の刃部周辺のものとは異なる性格のものと考えられ、遺跡形成過程を含めた検討を要する。

錐形石器（図Ⅲ－119－75～図Ⅲ－120－80、図版98）

６点（５個体とⅠ層出土１個体を加えた６個体）を図示している。石材は黒曜石４（76・78・79）が多く、頁岩（75・77）が含まれる。75は剥片素材で打面部左側縁に彫刀面が、先端部右側に斜めに錐状の刃部が作出される。76～80は石刃素材で、76～78・80は先端部左側に、79は先端部右側に斜めに刃部が作出される。刃部は全て両側縁の裏面からのノッチ状の加工によって、79は素材打面側に、それ以外は素材先端側に作出される。周縁加工は、細かい加工が施される78・79以外は行われない。76～78には素材打面が残り、頭部調整のある単剥離打面である。

削器（図Ⅲ－120－81～図Ⅲ－122－102、図Ⅲ－513－３、図版99・100・402、図版107－219・220）

42点（20個体とⅠ層出土３個体を加えた23個体）を図示、３点（２個体）を写真のみ掲載している。81～94は石刃素材、95～102・図版107－219・220は剥片素材。81～87は側縁に急角度の加工が施される削器で、主に10cm 以下の石刃が利用される。84は打面側には背面両側縁に急角度の加工が、右側縁先端部には彫刀面打面とみられるノッチ状の加工があり、その形態から彫器の母型と考えられる。

88～91・図Ⅲ－513－３・図版107－219は片側縁ないし両側縁に急角度の加工が施される削器で、81～87に比べ厚手の素材が利用されている。大型の90には15cm 程度の石刃が利用され、89は上端部に、90は上下両端部にも加工が行われる。縁辺は細かい加工により滑らかである。図版107－219は原礫面が残る頁岩製の削器で錐形石器図Ⅲ－119－75と接合している。図Ⅲ－513－３は産地分析であじさい滝と判定されている。

92には押圧とみられる平行剥離が両側縁に施され、15cm を超える大型石刃素材の93・94には右側縁に平坦剥離による加工が施される。95は右側縁に斜角の加工が行われる。長さ10cm 以下の厚手の剥片素材である96～100・図版107－220は両側縁に粗い加工が行われ、舟底形石器の初期段階である可能性がある。101・102は片側縁に非常に粗い剥離があり、石核・舟底形石器の初期段階の可能性がある。

81～95・図版107－219には黒曜石１・５が多く利用され、複剥離打面の93・図版107－219を除いて頭部調整のある単剥離打面を持つ一方、96～102・図版107－220は全て黒曜石４で頭部調整の無い単剥離打面を持つ。93・94・図版107－219は角礫面が残り、95・97～102には亜角～転礫面が残る。

舟底形石器（図Ⅲ－122－103～図Ⅲ－127－145、図版100～102、図版107－221～223）

63点（41個体とⅠ層出土１個体とⅡ層出土１個体を加えた43個体）を図示、４点（３個体）を写真のみ掲載している。103～108・図版107－221はⅠａ類で、103～106・図版107－221は剥片素材、107・108は甲板面がネガ面の石核素材である。104の裏面には平滑な原礫面が残り、106の裏面は折れ面で側面加工に切られている。107の左側面にはネガ面である甲板面に切られる素材面が残る。全て石器長軸と素材剥離軸が一致し、端部における細石刃状の剥離は、103・105・106・108が素材先端側で、104・107が素材打面側で行われる。加工は全て上下から施されているが、下縁からの剥離が甲板面からの剥離を切るものがほとんどで、下縁からの加工が器面調整の最終段階に位置付けられる。細石刃状の剥離はその後に行われ、打面調整・打面再生や明確な頭部調整は見られない。長さは26～35mm、幅４～７mm、高さ10～12mmである。

109～134・136～145はⅡａ類で、109～134は完形、136～145は折損品である。109～127・136～144は剥片素材である。折損品がほとんどで、折れていないものも小型であるか、加工が順調に進行していないものが多い。

109～120は10cm以下の小型のものでほとんどが甲板面からの加工で整形される。120～124は10cm以上のもので121・122は下面に素材面が残り、厚手の石刃ないし縦長剥片素材と考えられる。123・124には上下からの加工が見られ、特に123は縁辺に細かい加工が行われ、縁辺が滑らかになっており、小型のⅡｂ類とみなすこともできる。125～127・137・139・141は粗い加工のみ行われ、加工の初期段階と考えられる。128～132・145・図版107－222・223は甲板面がネガ面の石核素材である。剥片素材のものと異なり、図版107－222・223を除いて下縁からの加工が行われている。剥片素材に比べ、素材が厚手で不定形であることが原因と考えられる。133・134は折損した尖頭器の縁辺から剥離された断面三角形の削片素材である。上下から加工が行われているが、素材自体の断面形が幅の狭い高さのある三角形であるため、他の舟底形石器に比べ幅が狭く、高さのある形状である。

135はⅡｂ類である。15cmを越える大型品で上下からの加工が行われ、特に縁辺部は細かい加工により滑らかに調整されており、Ｂ区（鈴木ほか　2004）の舟底形石器に類似する。正面端部は擦ったと思われる痕跡によって表面が白くなっている。

石材はⅠａ・Ⅱａ類のほとんどが黒曜石４で、Ⅱｂ類が黒曜石１である。原礫面が残るものが多く、角礫・亜角礫が多い。128の稜は全体的に潰れており、搬入の可能性がある。その他は表面に傷が少なく、多段階表面変化も認められない。

石刃（図版108－224～227）

６点（４個体）を写真のみ掲載している。全て15cm以上の単剥離打面を持つ大型の石刃核から頭部調整を伴って剥離されている。227の背面には打面付近に稜調整痕が、また、下部には下面からの剥離痕が残る。これらはSb－83から出土しているが、対応する石刃核が無く、母岩別資料も無いことからSb－83に搬入されたと考えられる。但し、石器の履歴を示すような器面の表面変化は認められない。224には角礫面が残る。石材は黒曜石５が多く、大きさ・技術的特徴がＢ地区の大型石刃資料に類似する。

原石（図版108－228）

１点（１個体）を写真のみ掲載している。図版108－228は長さ28cmのⅡ類の原石（棒状原石）である。調査時の欠損を除くと完形品である。

石刃核（図Ⅲ－128－146～図Ⅲ－131－174、図版103～105、図版109－229～232）

33点（23個体とⅠ層出土６個体を加えた29個体）を図示、４点（３個体とⅠ層出土１個体を加えた

４個体）を写真のみ掲載している。146～162・図版109－229は裏面に原礫面ないし大型の剥離面が残り、石刃剥離が正面から裏面への一方向に進行したと考えられるものである。146～159は単剥離打面、160・161・図版109－229は原礫面打面で、ほとんどに頭部調整が見られる。作業面長は５～10cmで５～８cmが主体である。単設打面で下端部がウートラパッセになっているため剥離された石刃はそれより長かったと思われる。162は石刃剥離後、正面では左側縁から、裏面では両側縁から剥離が行われている。148の右側縁、151の左側縁では、小口面で打面縁辺からやや奥を打撃して石刃核を分割するような最終剥離が行われる。このような剥離は石刃核を分割して舟底形石器を製作する際に見られる技術である。

163～170・図版109－230～232は石刃剥離が全周にみられるものである。打面は、複数の剥離面が残る168・原礫面打面である170を除き単剥離打面で、全てに頭部調整がみられる。作業面長は５～10cmである。正面の剥離角は60度程度であるが、その他の面は90度近く、作業面形状の悪化に伴って作業面が転移されたと思われる。

171・172は盤状の原石素材で、両側の小口面で石刃が剥離されたものである。作業面長は５cm程度である。

173・174は全周に上下方向の剥離面があり、頻繁な打面転移が行われている。作業面長は５～８cmである。

石材は黒曜石４が７割を占め、黒曜石１が３割程度である。黒曜石４は亜角礫・角礫が、黒曜石１は角礫がほとんどである。また、黒曜石１には、160・161のようなやや大きいものが含まれる。

石核（図Ⅲ－131－175～図Ⅲ－132－188、図版105・106、図版109－233～237）

17点（９個体とⅠ層出土５個体を加えた14個体）を図示、５点（５個体）を写真のみ掲載している。175～182・図版109－233・234は裏面に原礫面、または大型の剥離面が残り、剥片剥離が正面から裏面への一方向に進行したと考えられる単剥離打面の石核である。179・182は上下方向の打面転移が行われる。177～179・181・図版109－233の側面には頭部調整を伴う石刃剥離痕が残り、石刃剥離後、厚手の剥片が剥離されている。それらの剥離は177・178・図版109－233では石刃剥離と同一方向で、179では逆方向で181では裏面の逆方向で行われる。

183・184には多方向で大型の剥離面が残り、作業面を頻繁に転移させながら厚手の剥片を剥離したものと考えられる。図版109－235も同様であるが、薄手の剥片が剥離されている。

185～187は原礫面打面の石核で厚手の剥片が剥離されている。特に186は原石の角部で稜線を取り込むような厚手の剥片が剥離されている。188は正面・両側面での剥離の後、小口面である上面で剥離が行われている。

図版109－236・237は一枚の剥離面のみ残る角礫である。両者とも黒曜石４で、立方体の一つの角を頂点として斜めに切り落とした三角錘に近い形態で、大きさは10cm程度である。剥離は三角錐の底面と接する角から数mm程度内側を打撃されたものである。２点は原石の形態・特徴、剥離の状態から、赤石山の露頭付近で採取し、「試し割り」により石材の状況を確認した上で遺跡に搬入されたものと思われる。

石核の石材は、石刃核同様、黒曜石４がほとんどで、一部黒曜石１が利用される。また、同様に黒曜石４には、亜角礫・角礫が、黒曜石１には角礫が主体的に利用される。大きさは５～７cmのものが主体を占める。

石器ブロック80～89の分布状況

Sb－80～89は、遺跡を東西地区に分ける小沢（無遺物地帯）に沿って、その西側の幅24mの範囲に分布する。標高は437.5～444.5mである。小型舟底形石器を含む石器群が主体を占めるが、後述するようにSb－86・88・89の一部には忍路子型細石刃核石器群が、Sb－83の一部には単剥離打面を持つ大型石刃・舟底形石器Ⅱｂ類を伴う石器群が含まれる。各ブロックの規模は均質で、2,000～3,000点の小規模なものが多く、それらが10m程度の距離をおいてほぼ等間隔に分布している。

石器ブロック80（Sb－80）の分布（図Ⅲ－133、表Ⅲ－７・８）

G38・39、H37～40、Ⅰ38・39区の12×７mの範囲で確認されたが、分布は北側の調査区外に若干伸びる可能性がある。尖頭器１点（Ⅰ類１点）、削器１点、二次加工ある剥片１点、剥片279点の計282点、1,645.4gの石器類が出土した。石材は黒曜石１が47.2％を占め、以下黒曜石４（24.8％）、黒曜石５（14.2％）、黒曜石３（13.8％）である。トゥールがほとんど無く、小規模なブロックである。

石器ブロック81（Sb－81）の分布（図Ⅲ－133、表Ⅲ－７・８）

Ⅰ41、Ｊ41・42、K40・41、Ｌ39・40区の15×６mの範囲で確認された。尖頭器１点（Ⅰ類１点）、削器２点、石刃２点、縦長剥片１点、剥片845点、原石１点の計852点、5,620.5gの石器類が出土した。石材は黒曜石４が87.8％を占め、以下黒曜石３（10.4％）、黒曜石１（1.3％）、黒曜石５（0.5％）である。トゥールがほとんど無く、黒曜石４が多数を占めるのが特徴で、分布密度は高い。

石器ブロック82（Sb－82）の分布（図Ⅲ－134・135、表Ⅲ－７・８）

Ⅰ37～39、Ｊ37～39、K36～39、Ｌ36～39、M36・37区の19×12mの範囲で確認された。尖頭器２点（Ⅰ類１点、Ⅱ類１点）、彫器５点（Ⅱ類５点）、掻器１点、削器７点、錐形石器３点、舟底形石器28点（Ⅰａ類１点、Ⅱａ類28点）、二次加工ある剥片12点、石刃21点、縦長剥片29点、石刃核８点、石核４点、剥片2,003点の計2,123点、19,143.9gの石器類が出土した。石材は黒曜石４が84.3％を占め、以下黒曜石１（9.9％）、黒曜石３（4.9％）、黒曜石５（0.8％）、黒曜石２（0.05％）である。他のトゥールに比べ、掻器が少ないのが特徴である。削器・錐形石器・舟底形石器・石核類・剥片は黒曜石４が主体を占めるが、彫器は黒曜石１が主体を占め、石刃・縦長剥片は黒曜石１・４が拮抗している。分布は①高密度のK36・37区、②やや低密度のＬ37区、③Ｌ・M36区の３か所に分けられ、①には石核類が、②には彫器・錐形石器・削器が、③には石刃・縦長剥片が多く、舟底形石器は全域に分布する。また、③の南西端にはＨ区（Sb－90）と関連のある掻器が出土している。

石器ブロック83（Sb－83）の分布（図Ⅲ－136・137、表Ⅲ－７・８）

Ｌ38・39、M37～40、N37～39、O38・39区の14×12mの範囲で確認された。尖頭器９点（Ⅰ類８点、Ⅱ類１点）、尖頭器削片10点、ナイフ形石器１点、彫器３点（Ⅰ類１点、Ⅱ類２点）、彫器削片（Ⅲ類１点）、掻器１点、削器13点、舟底形石器13点（Ⅱａ類11点、Ⅱｂ類２点）、二次加工ある剥片９点、石刃52点、縦長剥片31点、石刃核６点、石核３点、剥片1,995点、原石２点の計2,149点、13,013.5gの石器類が出土した。石材は黒曜石４が82.4％を占め、以下黒曜石１（9.7％）、黒曜石３（5.0％）、黒曜石５（2.7％）、黒曜石２（0.2％）である。他のトゥールに比べ、掻器が少ないのが特徴である。石核類は黒曜石４・５、尖頭器・尖頭器削片・舟底形石器・剥片は黒曜石４、石刃・縦長剥片は黒曜石１・５が主体を占める。①M38・N38北西部・N37区と②N38区東側の２か所の集中域が結合したような分布形である。ほとんどのトゥールは①に、28cmの長大な棒状原石（図版109－228）は②に、尖頭器削片は両者に分布する。また、黒曜石１・５を利用した図版108－224～227を含む大型石刃はM38区中央の高密度域からややずれたグリッド南東部にまとまって分布し、舟底形石器Ⅱｂ類の135は②とまたがって分布している。黒曜石１・５を利用した単剥離打面の大型石刃と舟底形石器Ⅱｂ類とのセットはＢ区で認められており、同一石器群と認定できる。但し、隣接する高密度域の石器群は

明らかに小型舟底形石器石器群であり、それとの関連は不明である。高密度域では主に黒曜石４を利用した原石から残核まで一連の石器製作が行われているが、大型石刃石器群は搬入ないし、限定した石刃剥離が行われており、石材消費の違いも見られる。Ｎ・Ｏ39区にはナイフ形石器・石核を含む非常に少量のまとまりがある。

石器ブロック84（Sb－84）の分布（図Ⅲ－138、表Ⅲ－７～10）

Ｏ36～38、Ｐ36～38、Ｑ35～37区の12×９ｍの範囲で確認された。彫器１点（Ⅰ類１点）、削器５点、錐形石器１点、舟底形石器１点（Ⅱａ類１点）、二次加工ある剥片３点、石刃15点、縦長剥片10点、石刃核１点、剥片254点の計291点、4,077.5g の石器類が出土した。石材は黒曜石３が50.2％を占め、以下黒曜石１（20.3％）、黒曜石４（16.5％）、黒曜石５（12.4％）、頁岩（0.7％）である。分布は、いずれも小規模な①Ｏ36・37区、②Ｐ・Ｑ36区、③Ｐ37に分けられる。①は高密度な、②は低密度な、③は散漫な分布である。①②にはトゥール・石核類が散漫に分布し、③には打面調整のある15cm を超える大型石刃素材の削器が分布する。

石器ブロック85（Sb－85）の分布（図Ⅲ－139・140、表Ⅲ－９・10）

Ｍ36・37、Ｎ35～37、Ｏ35・36、Ｐ34～36、Ｑ35区の16×６ｍの範囲で確認された。尖頭器２点（Ⅰ類２点）、尖頭器削片８点、両面調整石器２点、彫器６点（Ⅰ類３点、Ⅱ類３点）、彫器削片３点（Ⅱ類３点）、削器16点、錐形石器１点、舟底形石器10点（Ⅰａ類４点、Ⅱａ類６点）、二次加工ある剥片３点、石刃24点、縦長剥片26点、石刃核２点、石核６点、剥片1,040点の計1,149点、14,314.0g の石器類が出土した。石材は黒曜石４が87.3％を占め、以下黒曜石１（6.9％）、黒曜石３（3.9％）、黒曜石２（1.3％）、黒曜石５（0.4％）、頁岩（0.2％）である。彫器・舟底形石器Ⅰａ類が多く出土している。黒曜石１が利用される尖頭器を除いて黒曜石４が主体的に利用され、器種による利用石材の偏りは見られない。分布は大きく①Ｎ36区周辺と②Ｐ35区周辺に分かれ、①には彫器・彫器削片が、②には尖頭器削片・削器・舟底形石器・原石に近い石核を含む石核類が偏って分布する。

石器ブロック86（Sb－86）の分布（図Ⅲ－141～143、表Ⅲ－９・10）

Ｌ35・36、Ｍ34～36、Ｎ33～36、Ｏ33～35、Ｐ34区の18×９ｍの範囲で確認された。尖頭器４点（Ⅰ類２点、Ⅱ類２点）、尖頭器削片９点、彫器１点（Ⅱ類１点）、掻器14点、削器17点、錐形石器１点、舟底形石器24点（Ⅰａ類１点、Ⅱａ類23点）、二次加工ある剥片９点、石刃63点、縦長剥片106点、石刃核６点、石核７点、剥片3,003点の計3,264点、26,228.8g の石器類が出土した。石材は黒曜石４が77.2％を占め、以下黒曜石１（12.6％）、黒曜石３（9.1％）、黒曜石５（1.0％）、黒曜石２（0.1％）、頁岩（0.03％）である。彫器が少なく、掻器が多いのが特徴で、掻器のほとんどは接合関係・石器製作技術の特徴から忍路子型細石刃核石器群と考えられるＨ区（Sb－91）に関連するものである。石材は黒曜石４が８割近くを占め、概ねトゥールも同様な傾向を示すが、掻器のみ黒曜石１・５が主体的である。これらと同様な技術的特徴を持つ石刃が本ブロックから出土していないため掻器の形態で本ブロックに搬入されたと考えられる。分布は高密度の①Ｍ35区東側周辺②Ｎ34区周辺、散漫な分布の③Ｎ35・Ｏ34区に分けられる。①には忍路子型細石刃核石器群に関連する掻器がまとまって分布し、②③には尖頭器・尖頭器削片・両側縁に急角度の加工が施される掻器・錐形石器・舟底形石器・石核類、ほぼ原石で搬入された石核（図版109－236）が分布している。

石器ブロック87（Sb－87）の分布（図Ⅲ－143・144、表Ⅲ－９・10）

Ｐ34、Ｑ33～35、Ｒ32～36、Ｓ32・33・35区の17×13m の範囲で確認された。分布は南側がわずかに調査範囲外に伸びることが想定される。両面調整石器２点、彫器６点（Ⅰ類２点、Ⅱ類４点）、掻器１点、削器15点、舟底形石器15点（Ⅱａ類15点）、二次加工ある剥片２点、石刃25点、縦長剥片

71点、石刃核８点、石核２点、剥片2,978点の計3,125点、22,044.2g の石器類が出土した。石材は黒曜石４が81.0％を占め、以下黒曜石３（9.9％）、黒曜石１（9.0％）、黒曜石２（0.06％）、黒曜石５（0.06％）である。彫器が多く、掻器が少ない特徴がある。石材は黒曜石１が多い彫器を除きブロック全体の傾向と同様に黒曜石４が主体を占める。分布は小規模な①Q34区②R35区周辺、③大規模で非常に高密度のR・S33区周辺に分けられ、②には彫器が偏在し、石核類が剥片類を伴わずに分布し、③には舟底形石器・石核類が剥片類を伴って分布している。

石器ブロック88（Sb－88）の分布（図Ⅲ－144・145、表Ⅲ－９・10）

P32～34、Q32・33、R31～33、S31・32区の20×６m の範囲で確認された。尖頭器４点（Ⅰ類４点）、彫器１点（Ⅱ類１点）、掻器３点、舟底形石器１点（Ⅱａ類１点）、二次加工ある剥片１点、石刃１点、縦長剥片６点、石核１点、剥片2,596点の計2,614点、20,164.3g の石器類が出土した。石材は黒曜石１が94.2％を占め、以下黒曜石４（4.9％）、黒曜石３（0.8％）、黒曜石５（0.1％）である。トゥールは少なく散漫な分布である。分布は高密度のR31・32、S31・32区を中心とした集中域から北東方向にやや散漫に伸びている。尖頭器は小型のもので集中域から出土し、掻器は忍路子型細石刃核石器群に伴うタイプである。彫器・舟底形石器は集中域から外れて分布する。

石器ブロック89（Sb－89）の分布（図Ⅲ－145・146、表Ⅲ－９・10）

P31・32、Q30～32、R29～31、S28～31区の22×８m の範囲で確認された。分布は南側が調査範囲外に広がることは確実である。尖頭器26点（Ⅰ類26点）、両面調整石器４点、彫器２点（Ⅰ類１点、Ⅱ類１点）、掻器15点、削器６点、錐形石器１点、舟底形石器６点（Ⅱａ類６点）、二次加工ある剥片５点、石刃５点、縦長剥片13点、石核２点、剥片1,163点の計1,248点、7,288.4g の石器類が出土した。石材は黒曜石１が59.9％を占め、以下黒曜石４（36.7％）、黒曜石３（2.6％）、黒曜石２（0.3％）、黒曜石５（0.3％）、頁岩（0.2％）である。分布は①R30区周辺、②S29区周辺に分けられ、①には舟底形石器が、②にはH区（Sb－90）との接合関係・石器製作技術から忍路子型細石刃核石器群に関連するとみられる剥片素材の尖頭器（細石刃核母型の可能性があるものも含まれる）・彫器・掻器が出土している。また、①には黒曜石４が、②には黒曜石１が主体的であることからそれぞれは異なる石器群であると考えられる。②の掻器は同一母岩の一次剥離剥片が見られず、接合している一次剥離の接合資料がH区で出土しているものが含まれることから本ブロックには掻器の形態で搬入されたと考えられる。

石器ブロック80～89の接合状況（図Ⅲ－147）

全体的な接合分布は各ブロック内での小集中域を単位としてまとまるが、ブロックや区域をまたがる接合資料もある。ブロック間では大型幅広尖頭器関連の接合関係がSb－81・83で見られ、忍路子型細石刃石器群に関連したSb－86・90、88・89、89・90の接合関係も認められる。区域間ではSb－89北側とSb－93南側との接合が見られる。

母岩別資料・接合資料

17,097点中5,554点を140母岩に母岩分類し、808個体（母岩別資料内414個体）の接合資料が得られた。そのうち母岩別資料22母岩、非母岩別接合資料１個体を図示し、母岩別資料33母岩を写真のみ掲載している。

母岩別資料551・接合資料2807（図Ⅲ－148～154、図版110～113）

母岩別資料は接合2807の他、剥片２点で構成され、総点数366点、総重量3,266.4g である。

素材　364点（188個体）が接合し、重量は3,265g、大きさは34×17×17cm である。原石を分割して

製作された二個体（個体Ａ・Ｂ）の大型尖頭器の状態で搬入されている。

剥離工程　接合資料は大型尖頭器である個体Ａ・Ｂで構成され、個体Ａの素材腹面と個体Ｂの素材背面が接合し、個体Ａ・Ｂは剥片と石核の関係にあたる（図版－110－238）。個体Ａは横方向の剥離によって剥離された幅30cm を超える非常に大型の剥片を素材としている（図Ⅲ－149上図）。それらの搬入形態は、大型の平坦剥離面で覆われ、粗い加工が行われているが、個体Ａの断面形は凸レンズ状で、両者とも表面は比較的滑らかである。個体Ａは32×16×６cm、個体Ｂは32×15×６cm で端部が尖らないやや幅広な形態で、ほぼ同様な大きさ・形態で搬入されている。原礫面が残存せず、原石形状は不明であるが、①接合資料から復元すると少なくとも40×20×20cm 程度の大きさの原石を必要とすること、②大型の尖頭器には角礫が利用される傾向があることから原石形状は角礫で、露頭周辺で素材剥離から加工が行われ、大型尖頭器で遺跡内に搬入されたと考えられる。

個体Ａ（図Ⅲ－148－189）は、主に中央の稜を越える右側縁から正面への剥離（Ａ－段階１・３）・裏面への剥離（Ａ－段階４）によって厚みを減少させた後、左右からの加工が行われる（Ａ－段階６～９）。断面は凸レンズ状で表面の滑らかな整った形態をした31×12×２cm の尖頭器で搬出される。

個体Ｂ（図Ⅲ－150－190）は、正面が凸状で、裏面が平坦な断面形がやや非対称な形状で搬入されている。遺跡内での加工は、本体の折損前と二度の折損後に分けられ、折損前は両面加工が、折損後は削片剥離が主体的に行われる。折損前の前半は平坦な裏面を中心に加工が行われ（Ｂ－段階１～６）、本体中央部にはヒンジによる段差や波状の剥離面により凹凸がある。後半は正面を中心に左右から加工が行われるが、段階13の剥離時に本体中央で折損する。

折損前の調整剥片を外した状態が191である（一部、Ｂ－段階15～17も外れており、それらは図Ⅲ－150・151に含めている）。折損によって14cm の上部破片（図Ⅲ－152－７、段階14）と16cm の下部破片に分かれ、下部破片のみ再加工が行われる。下部破片は、両面とも下端部周辺（Ｂ－段階15～18）、折れ面から正面へ（Ｂ－段階18）の加工の後、さらに、下部（Ｂ－段階19、個体ａ）が折損し、その上部破片では上部折れ面から１回の左側縁への削片剥離（Ｂ－段階20）の後、３回の右側縁への削片剥離（Ｂ－段階21）が行われる。段階21の図Ⅲ－153－14の打面付近には稜調整が見られる。下部破片の個体ａは折れ面から左側縁への削片剥離後、削片剥離面を打面として折れ面で削片が剥離される。また、それらとの前後関係は不明であるが右側縁でも削片剥離が行われる。全体を通して削片剥離の際には頭部調整は施されない。個体ａから剥離された削片（図Ⅲ－152－13・12）は、打面の小さい（残存するもので３mm 以下）長さ７cm 以下で小型である一方、段階20・21で剥離された削片（図Ⅲ－153－14・20）は打面厚が１cm 以上で長さ９～11cm と相対的に大きい。両者は目的とする削片の大きさが異なり、後者のうち尖頭器の縁辺を含む断面三角形の個体ｂ（図Ⅲ－153－133）・ｃ（図Ⅲ－153－134）は舟底形石器に加工される。加工は個体ｂ・ｃとも腹面と側面の角度が鋭角の面に主に腹面から行われる。削片が剥離された尖頭器（図Ⅲ－152－８・図Ⅲ－153－11）は折れ面・両側縁の削片剥離面によって側面形が三角形である。

分布　Sb－81のＪ41、Ｋ40、Ｌ40、Sb－82のＪ39、Ｋ38、Ｌ37、Sb－83のＭ38・39、Ｎ37・38、Sb－86のＮ35区に分布する。個体ＡはSb－83のＮ37区の１点を除き、Sb－81のＪ41、Ｋ・Ｌ40区に分布している。個体Ｂは折損の前後で分布が異なり、折損前の段階１～13はSb－81のＫ・Ｌ40区を主体として一部Sb－82のＫ39区、Sb－86のＮ35区に分布する。中央での折損以降（段階14以降）は①舟底形石器製作に関する個体ｂ・ｃと②それ以外の削片剥離に関する段階14～22に分布が分かれる。①はSb－82のＬ37区周辺に、②はSb－83のＭ・Ｎ38区周辺に分布し、最終的な残核である尖頭器はSb－82のJ39区に分布する。

以上を整理すると個体Ａ・Ｂともに両面調整段階はSb－81のＫ・Ｌ40区周辺に、削片剥離段階はSb－83のＭ・Ｎ38区周辺に、舟底形石器調整剥離段階はSb－82のＬ37区に分布が分かれる。

母岩別資料549・接合資料2799・2800（図Ⅲ－154・155、図版114－１・２）

母岩別資料は接合2799・2800の他、接合2801～2804・56506～56509、剥片104点で構成され、総点数235点、総重量976.6g である。

素材　接合2799は46点（30個体）が接合し、重量は306.2g、大きさは29×12×2.5cm で、接合2800は66点（41個体）が接合し、重量は520.2g、大きさは29×13×３cm である。これらは接合しないが同一個体の尖頭器調整剥片で表裏の関係にあたる。平滑な原礫面を持つ盤状の角礫を素材として大型の剥離面で構成される29×13×（５）cm の大型尖頭器で搬入される。

剥離工程　接合2799・2800ともに前半（接合2799段階１～３、接合2800段階１～５）は左右から中央の稜を越えるやや厚手の剥片剥離によって加工され、本体が薄くなり、表面状態が比較的滑らかに変化した後半（接合2799段階４、接合2800段階６・７）は薄手の剥片剥離によって加工が行われる。後半の調整剥片の打面は前半に比べ小さく、点・線状の打面が多い。本体は28×９×（1.2）cm の薄手の尖頭器で搬出されている。

分布　Sb－81のＫ40、Ｌ40、Sb－83のＭ38・39、Ｎ38区に分布し、剥離工程の前後半で分布が異なる。前半はSb－81のＫ・Ｌ40区に、後半はSb－83のＭ・Ｎ38区周辺に分布する。

母岩別資料715・接合資料3251（図Ⅲ－156・157、図版115上）

母岩別資料は接合3251のみである。

素材　30点（17個体）が接合し、重量は647.7g、大きさは26×10×３cm である。原礫面が残存せず、原石形状は不明であるが、おそらく角礫素材と思われる。大型の尖頭器で搬入され、その形態は表面が滑らかで、両端が尖頭状のやや細身の均整のとれたものである。

剥離工程　本体の折損前と折損後に分けられ、折損前は両面調整が、折損後は両破片で削片剥離が行われる。

折損前は左右からの錯向状の剥離（段階１・２）によって加工され、段階２の剥離が原因で中央の潜在的な割れ面から折損している。折損後は両破片（個体Ａ・Ｂ）において削片が剥離され、個体Ａは折れ面から左側縁への削片剥離（Ａ－段階１）→上端部から右側縁への削片剥離（Ａ－段階２）→折れ面から左側縁への削片剥離（Ａ－段階３）、個体Ｂは折れ面から右側縁への削片剥離（Ｂ－段階１）→折れ面から左側縁への削片剥離（Ｂ－段階２）→折れ面から右側縁への削片剥離（Ｂ－段階３）の順で作業面転移が行われる。個体Ａは両側縁とも折れ面を打面としているが、個体Ｂは折れ面と上端部である。個体Ｂの右側縁には折れ面からの短い剥離が残り、その後上端部からの剥離が行われることから、折れ面と右側縁の角度が直角に近く、折れ面からの剥離によって一次削片が剥離できないため上端部から剥離されたと考えられる。

削片剥離はどちらも両側縁で行われ、尖頭器の側縁を取り込む断面三角形の一次削片が一方の側縁で剥離された後に他方の側縁で一次削片が剥離され、その後、どちらかの側縁に偏って削片剥離が行われる。これらは、①断面三角形（高さのある二等辺三角形）の削片を両端で剥離する段階（Ａ－段階１・２、Ｂ－段階１・２）、②断面四角形ないし多角形の平行な両側縁を持つ削片を片側縁に偏って剥離する段階（Ａ－段階３、Ｂ－段階３）に分けられる。

削片は両個体とも打面厚が３mm 以下で小さく、厚手のものは剥離されていない。また、尖頭器端部を取り込むものが多く、削片の長さは16cm から10cm へと削片剥離が進むにつれて短くなる。個体Ｂ段階３で剥離された二次削片88は削器に加工されている。

分布　Sb－85のN36、O35、P35、Sb－86のM35、N34・35区に分布し、Sb－85とSb－86に二分される。Sb－85には個体A段階１・段階３の削片19、個体B段階１・２、段階３の削器88（O36区Ⅰ層出土）が、Sb－86には折損前の段階１・２、個体A段階２以降（段階３の19除く）、個体B段階３以降が分布する。Sb－86に主体的に分布するが、剥離工程①に対応する断面三角形の削片・トゥール・形の整った削片がSb－85から出土し、選択性が伺える。

母岩別資料628・接合資料2988（図Ⅲ－158、図版115下）

母岩別資料は接合2988の他、接合2989、剥片１点で構成され、総点数79点、総重量1,291.7gである。

素材　58点（37個体）が接合し、重量は1,059.4g、大きさは31×15×７cmである。平滑な原礫面を持つ角礫を素材として粗い剥離によって加工された大型尖頭器で搬入される。断面形は正面中央に稜があり、裏面が平坦な三角形である。

剥離工程　最初は縁辺から１cm程度内側を加撃し粗い加工が行われる（段階１・２）。その後、左右ほぼ均等に縁辺部を加撃する加工が行われ（段階３～５）、次第に正面の稜が除去され、断面が滑らかな凸レンズ状に変化している。（32）×10×（2.5）cmの尖頭器で搬出される。

分布　Sb－87のQ34、Sb－88のQ32・33、R31・32、S31・32区に分布し、R31・32、S31・32の集中部は高密度である。

母岩別資料612・接合資料2963（図Ⅲ－159・160、図版116）

母岩別資料は接合2963の他、接合2966～2971・56534～56536、剥片56点で構成され、総点数220点、総重量3,562.1gである。

素材　124点（58個体）が接合し、重量は3,214.3g、大きさは23×21×16cmである。爪状痕のある原礫面を持つ転礫を素材として原石の状態で搬入される。

剥離工程　正面中央の稜から左右への剥離（段階２）を挟みながら原礫面を打面とした正面右からの粗い加工（段階１）が行われ、厚さが大きく減少する。次に、上から裏面への加工（段階３）の後、下から正面（段階４）、右側面から正面（段階５）、左側面から裏面（段階６）、上から裏面（段階７）への剥離を交互に入れ替えながら加工は進行している。段階３で剥離された厚手の剥片である個体Aは舟底形石器に加工されている。段階６の後半・段階７で薄い剥離が行われるが、全体的に加工は粗く、17×12×（5.5）cmの両面調整体で搬出される。

分布　Sb－83のN37、Sb－84のO36・37、P36・37、Q37、Sb－85のN37・O36区に分布する。分布密度は高く、ほとんどが本母岩で構成される小規模な集中域を形成している。

母岩別資料637・接合資料3013・3014（図Ⅲ－160・161、図版117－１・２）

母岩別資料は接合3013・3014の他、接合3015・56544、尖頭器１点で構成され、総点数86点、総重量1,026.1gである。

素材　接合3013は56点（36個体）が接合し、重量は666.7g、大きさは18×10×８cmで、接合3014は15点（14個体）が接合し、重量は123.4g、大きさは９×７×４cmである。爪状痕のある転礫を素材として原石の状態で搬入されたと思われる。

剥離工程　本母岩は剥片素材の尖頭器が少なくとも３点製作されている。

接合3013は、剥片素材の個体Aと石核素材の個体Bの接合資料である。個体Aは石核の長軸方向で剥離された背面に原礫面が残る厚手の剥片を素材とする。素材剥離ないし二次加工段階に中央で折損し、それぞれ個体A－１・２として加工される。個体A－１は主に腹面側の加工が行われ、途中で尖頭器４が折損している。個体A－２は剥片１点のみで構成されるが、素材腹面縁辺にはやや細かい平坦な連続した加工が見られる。個体Bは石核素材で裏面には短軸方向の剥離痕がある。正面から右側

面への加工（Ｂ－段階１）の後、上面から正面（Ｂ－段階２）、右側面から裏面（Ｂ－段階３）、右側面から正面（Ｂ－段階４）、左側面から正面（Ｂ－段階５）への加工が施される。断面形は最初長方形であるが、Ｂ－段階４の途中から正面側が弧状に変化し、それに伴い、粗い加工から縁辺部に打点のある剥離も見られるようになる。

接合3014は、剥片素材の尖頭器調整剥片接合資料である。素材は背面が原礫面で覆われた厚手の剥片で、背面主体の加工（段階１・２）の後、腹面側の加工（段階３）が行われる。最後まで加工は粗く、縁辺部調整は見られない。本体である尖頭器３の断面形は素材の形状を維持し、三角形である。

５は非接合の同一母岩資料である。断面が直角三角形に近く、加工は粗い。

以上を整理すると本母岩ではやや扁平な転礫を利用し、小口面の長軸方向・短軸方向で厚手の剥片が剥離され、剥片・石核が尖頭器の素材となっている。加工は粗いが、断面形が弧状になる後半には縁辺に比較的細かい平坦剥離による加工が行われ、縁辺部に打点のある加工も見られる。

本接合資料はSb－90と関連のあるSb－88・89に分布している。また、尖頭器の二次加工技術が他の石器群（例えば小型舟底形石器を伴う石器群）とは異なる一方、忍路子型細石刃核石器群と見られるSb－90の母岩693個体Ａ・Ｂ（図Ⅲ－199・120）の尖頭器加工技術と類似することから、本母岩も関連があると見られる。これらの尖頭器は、Sb－90出土の忍路子型細石刃核（図Ⅲ－176－８）に比べ加工が粗く、それとは直接的に結びつかないため、その位置付け（細石刃核母型と位置付けるか、別器種と位置付けるか）については、多角的に検討する必要がある。

分布　接合3013はSb－88のQ33、R31・32、S31・32、Sb－89のR29・30、S28～30区に分布し、接合3014はSb－89のR29・30、S29区に分布する。接合3013はSb－88・89に二分し、Sb－88には個体Ｂ段階１～３が分布し、それは断面が弧状になる以前のより粗い加工段階に対応する。個体Ａ、個体Ｂ段階４・５はSb－89に分布するが、個体ＡはR30・S29区の集中域とはややずれている。Sb－89の分布は南側の調査範囲外に広がると予想され、本母岩も一部残存する可能性がある。

母岩別資料610・接合資料2959（図Ⅲ－161・162、図版117－３）

母岩別資料は接合2959の他、接合2960・2961、縦長剥片１点、剥片９点で構成され、総点数44点、総重量389.5gである。

素材　22点（12個体）が接合し、重量は324.7g、大きさは19×８×６cmである。流紋岩球顆を多く含み、平滑な原礫面を持つ扁平な角礫を素材として原石の状態で搬入されたと考えられる。

剥離工程　石刃作業面に適した形状である側面形が弧状で断面が鋭角（70度）の縁辺を作業面に設定し、左側面からの稜調整（段階１）の後に石刃が剥離される（段階２）。石刃剥離には打面調整や打面縁辺を擦る調整が行われ、剥離の進行に伴い石刃核高が減少している。石刃は15cm前後で２点（94・93）は削器に加工される。両者共に右側縁に連続的な平坦剥離による加工が施され、94は素材打面が除去され、上端は尖頭状である。初期段階の石刃・打面調整剥片のみ出土し、それらには欠落するものがほとんど無く、石刃核のみ搬出されたと思われる。

分布　Sb－84のO37、P37、ブロック外のP39区に分布し、ほとんどが本母岩で構成される非常に小規模な集中域を形成している。

母岩別資料633・接合資料3000（図Ⅲ－162、図版118－１）

母岩別資料は接合3000の他、接合3001・56542で構成され、総点数48点、総重量1,262gである。

素材　44点（24個体）が接合し、重量は1,168.1g、大きさは15×12×11cmである。平滑な原礫面を持つ角礫を素材として原石の形状で搬入される。

剥離工程　１回の剥離（段階１）によって形成された打面から、頭部調整を伴って石刃が剥離される

（段階２）。ヒンジによって作業面形状が悪化した後、180度の打面転移によって下端から正面裏面に剥離が行われる（段階３）が、母岩中央に直径４cmもの大型球顆があり、それらが露出し、良形の石刃は剥離されていない。打面作出の際に既に球顆は露出していたが、作業面には露出しておらず、石刃剥離が行われたようである。

12cm程度の石刃が剥離され、初期の石刃は欠落し、搬出されたと考えられる。

分布　Sb－85のＰ35、Sb－87のＱ34、Ｒ33・34、Ｓ32・33、Sb－88のＰ34区に分布し、まとまった分布を示す。Sb－85のＰ35区出土石器は、両側縁が平行する良形の剥片の打面側破片である。

母岩別資料627・接合資料2986（図Ⅲ－163、図版118－２）

母岩別資料は接合2986の他、接合2987、縦長剥片１点、剥片２点で構成され、総点数14点、総重量151.6gである。

素材　９点（９個体）が接合し、重量は108.5g、大きさは８×６×４cmである。平滑な原礫面を持ち、角の潰れた角礫を素材としておそらく原石の状態で搬入されたと思われる。

剥離工程　上端から右側面、下部から裏面への剥離（段階１）の後、打面が作出され（段階２）、正面で頭部調整を伴う石刃剥離（段階３）が行われる。石刃は石刃核の下端部を取り込むものが多く、石刃核は小型化し、剥離される石刃も短くなる。石刃長は５～７cmで腹面に加工のある石刃が１点有り、初期の７cm程度の石刃は搬出されている。

分布　Sb－85のＮ36、Ｏ35区に分布し、散漫な分布である。

母岩別資料586・接合資料2903（図Ⅲ－163・164、図版118－３）

母岩別資料は接合2903のみである。

素材　52点（31個体）が接合し、重量は791.4g、大きさは13×12×９cmである。爪状痕のある原礫面を持つ転礫を素材として粗割りされた状態で搬入されている。

剥離工程　上設打面作出、左・正・右面に粗い剥離がなされた状態で搬入され、下面からの作業面調整（段階１）の後、上設打面から頭部調整を行いながら石刃が剥離される（段階２）。剥離される石刃長は、最初12cm程度であるが、石刃核高の減少により最後は８cm程度に小型化する。加工の施されるものが多く、４点（91・83・81・86）が削器に加工され、その他２点に不連続な加工が認められる。91の右側縁には連続した急角度の加工が、左側縁には細かい加工が見られ、83・81・86の両側縁には角度のある細かい加工が施される。初期の厚手の石刃には素材形状を変化させる厚手の加工が、後半の薄手の石刃には素材形状をあまり変えない細かい加工が行われる傾向がある。

石刃で欠落するものは少なく、石器加工率と同様に残存率も高い。

分布　Sb－81のＫ40、Ｌ40、Sb－83のＭ38、Ｎ37・38、Sb－85のＮ36、Sb－86のＮ35・36、Sb－87のＲ34区に分布し、大きくSb－81・83・86に分けられる。分布と剥離工程は概ね一致し、段階１・段階２の初期段階はSb－86に、段階２の大部分（段階１に先行するものを含む）・石刃核はSb－83に、段階２の最終段階はSb－81に分布する。ブロックをまたがって折れ面接合するものがあり、完全に段階で分けられないものの、以上の結果を整理すると剥片剥離の順番ではSb－83→86→83→81→83となる。また、石刃類は全てのブロックに分布するが、厚手の削器91はSb－86に、薄手の削器83・81・86はSb－83に分布し、偏りが見られる。

母岩別資料613・接合資料2964（図Ⅲ－164、図版119上）

母岩別資料は接合2964の他、接合2965・56533、剥片11点で構成され、総点数78点、総重量1,013.7gである。

素材　63点（47個体）が接合し、重量は983.3g、大きさは12×11×11cmである。爪状痕のある原礫

面を持つ転礫を素材として粗割りされた状態で搬入されている。

剥離工程　上設の単剥離打面から最初は頭部調整を伴わない石核調整の粗い剥離の後、頭部調整を伴う石刃が剥離される（段階１）。石刃剥離の途中で下面から右側面への剥離（段階２）、正面下部作業面調整（段階３～５）が行われる。石刃のうち１点（82）は両側縁に細かい加工が施されている。

剥離される石刃長は９cm 前後で、欠落するものはほとんど無く、搬出されていない。

分布　Sb－84のＰ36・37、Q36・37、ブロック外のQ38区に分布する。分布密度は高く、ほとんどが本母岩で構成される小規模な集中域を形成している。

母岩別資料606・接合資料2953（図Ⅲ－165・166、図版120）

母岩別資料は接合2953の他、接合2954、石刃１点、剥片20点で構成され、総点数161点、総重量2,279.6g である。

素材　138点（113個体）が接合し、重量は2,149.8g、大きさは24×17×12cm である。風化によってザラついた平坦面を持つ角礫を素材として原石の状態で搬入される。

剥離工程　全体を通して、石刃剥離において頻繁な上下方向の打面転移が見られる。

まず、裏面から上面（段階１）、正面から上面への剥離による打面作出（段階２）後、正面で石刃剥離が行われる（段階３）。次に、下面から左側面（段階４）、下面から右側面への剥離（段階５）の後、正面から右側面下部に稜調整が行われ（段階６）、段階４の剥離面を打面として右側面で頭部調整を伴って石刃が剥離される（段階７）。さらに、打面転移により上設打面から石刃が剥離され（段階８）、以後、裏面から下面への剥離（段階９）によって作出された下設打面から左・裏面へ石刃剥離（段階10）、上設打面への転移による左側面での石刃剥離が行われる。

石刃は、最初は12cm 程度のものが剥離されるが、石刃核の小型化に伴って最終的には８cm 程度に変化している。また、段階８・10の上設打面から剥離された石刃が多く欠落している。舟底形石器は個体Ａ～Ｅの５個体が製作され、個体Ａは段階１、個体Ｂは段階２、個体Ｃは段階３、個体Ｅは段階９の厚手の剥片を、個体Ｄは段階８の厚手の石刃を素材としている。舟底形石器は一部下縁からの加工が見られる個体Ｃを除いて素材腹面である甲板面からのみ加工が行われる。個体Ｄ・Ｅ以外は本体が欠落し、搬出されたと考えられる。

分布　Sb－86のM34・35、N33・34、O33・34区に分布する。一つの集中域にやや散漫に分布し、段階・舟底形石器の個体による分布差は認められない。

母岩別資料593・接合資料2927（図Ⅲ－166・167、図版119下）

母岩別資料は接合2927の他、接合2928、剥片14点で構成され、総点数131点、総重量803．0g である。

素材　115点（102個体）が接合し、重量は779.6g、大きさは17×13×７cm である。平滑な原礫面を持つ角礫を素材として原石の状態で搬入されている。

剥離工程　長軸方向の剥離による打面作出後、小口面である正面・裏面に作業面を転移させ、石刃・縦長剥片・厚手の剥片が剥離される。石刃剥離後、最終的に裏面で舟底形石器の素材となる厚手の剥片剥離が行われる。

小口面から長軸方向の剥離による打面作出（段階１）後、その剥離の先端部側の小口面で頭部調整を伴わない縦長剥片が剥離される（段階２）。作業面から原礫面がほぼ除去された後、頭部調整を伴う石刃剥離が行われる（段階３）。段階１の打点側である裏面では段階２の剥離と切り合いのない縦長剥片剥離（段階４前半）が見られ、段階３の後、裏面から右側面への稜調整（段階５）、さらに厚手の剥片が剥離される（段階４後半）。石核である177の右側面には正面の剥離面に切られる石刃剥離面が残る。

段階１で剥離された厚手の縦長剥片を素材として２個体（個体Ａ・Ｂ）、段階４後半の厚手の剥片を素材として２個体（個体Ｃ・Ｄ）の舟底形石器が加工され、個体Ａの欠損品である137以外、出土せず、搬出されている。加工は個体Ｂのみ甲板面と下縁の上下から行われる。

剥離される石刃は９cm 程度で、段階３中頃に剥離された部分が欠落し、搬出されている。

分布　Sb－86のM34・35、N34・35、O34区に分布する。同一の集中域内にまとまって分布し、個体・段階による違いは認められない。

母岩別資料550・接合資料2805（図Ⅲ－167・168、図版121－１）

母岩別資料は接合2805の他、接合2806、剥片38点で構成され、総点数214点、総重量969．5g である。

素材　173点（133個体）が接合し、重量は909．8g、大きさは16×14×６cm である。平滑な原礫面を持ち、一部角の潰れた扁平な三角形の角礫を素材として原石の形状で搬入される。

剥離工程　右側面から三角形の一片に沿った剥離（段階１）によって打面が作出され、正面で、前半は頭部調整の無い、後半は頭部調整を伴う石刃剥離が行われる（段階２）。段階２の初期には左側面から裏面への剥離（段階３）を挟んで、左側縁で断面三角形の厚手の剥片が剥離され、舟底形石器の素材（個体Ｃ）と利用されている。また、右側縁で剥離された厚手の剥片も同様に舟底形石器の素材（個体Ｄ）となっている。段階２の途中、作業面下部がヒンジになった際に下端部から石核調整（段階４）が行われる。

段階１で剥離された厚手の剥片２点、段階２の左右側面で剥離された厚手の剥片（個体Ａ・Ｂ）を素材として舟底形石器が製作されている。加工は個体Ｃの初期段階を除き、全て甲板面からのものである。個体Ａの本体139、個体Ｂの初期の欠損品138は出土し、個体Ｂ～Ｄの本体は出土せず、搬出されたと考えられる。

石刃は、段階２の後半に長さ９cm 程度のものが剥離され、一部欠落している。また、２点が削器（87）に加工され、それらは微細な剥離が両側縁に連続するものである（１点は掲載していないが同様の加工が見られる）。

分布　Sb－82のＫ37・38、Ｌ36～38、M36、Sb－86のＬ36、M36区に分布する。主にM36区南東部に高密度に分布し、一部Ｌ37区周辺に散漫に広がる。個体・段階による分布の違いは認められない。M36区南東部の小集中域はほぼ本母岩単独で構成されている。

母岩別資料609・接合資料2958（図Ⅲ－168・169、図版121－２）

母岩別資料は接合2958の他、剥片１点で構成され、総点数44点、総重量786．1g である。

素材　43点（40個体）が接合し、重量は785．7g、大きさは13×10×９cm である。平滑な原礫面で覆われ、表面が一部湾曲した原石を素材として原石の状態で搬入される。

剥離工程　裏面からの剥離（段階１）によって作出された打面から、その剥離の先端側にあたる正面で剥離が行われる（段階２）。最初は頭部調整の無い厚手の剥片が剥離されるが、後半には頭部調整を伴う石刃剥離が行われ、後半の最初には作業面上の稜の一本が上下方向の動きで磨り潰されている。

段階２初期の厚手の剥片２点（個体Ａ・Ｂ）を素材として舟底形石器118・116が甲板面からのみの加工によって製作されるが、両者とも本体が遺棄されている。石刃は段階２後半に７cm 前後のものが剥離され、後半のものが欠落している。また、１点（85）が両側縁に微細な加工が施される削器に加工されている。

分布　Sb－85のＯ35、Ｐ35区に分布し、Ｐ35区南西部を中心に北東方向にやや分布が広がる。舟底形石器製作の個体Ａ・ＢはＰ35区南西部に集中して分布する一方、それ以外の石器はその集中域の北東に散漫に分布する。

母岩別資料604・接合資料2951（図Ⅲ－169、図版122－１）

母岩別資料は接合2951のみである。

素材　30点（29個体）が接合し、重量は344.9g、大きさは12×９×７cmである。風化により少しザラついた平坦な原礫面を持ち、やや角が潰れた角礫を素材として一部粗割りされた状態で搬入されたと思われる。

剥離工程　上面の単剥離打面から正面への比較的粗い剥離（段階１）が行われ、作業面下端部にヒンジによる凹凸が生じると、下端部に正面・左側面から調整が施される（段階２）。その後、上設打面から石刃剥離（段階３）、さらに下面に作業面を転移し、左側面を打面とした石刃剥離（段階４）が行われる。最後の石核、段階３で剥離された厚手の剥片を素材として甲板面からのみの加工により舟底形石器が製作され、個体Ａの本体である109は出土し、石核素材である個体Ｂの本体は出土していない。個体Ｂ本体部分の空隙の幅は1.5cmで加工がⅠ類まで進行した可能性がある。

分布　Sb－86のM34・35、N33・34、O33・34区に分布する。全体的には１か所の集中域にやや散漫に分布し、個体・段階による分布の違いは見られない。

母岩別資料590・接合資料2916（図Ⅲ－170・171、図版122－２・123・124上）

母岩別資料は接合2916の他、接合2917～2923・56522～56525、縦長剥片１点、石刃２点、剥片24点で構成され、総点数151点、総重量1,853.8gである。

素材　91点（63個体）が接合し、重量は1,573.4g、大きさは17×17×11cmである。平滑な原礫面を持ち、角が潰れて丸くなった亜角礫を素材として原石の状態で搬入されている。

剥離工程　正面右下部からの剥離によって個体Ａ～Ｃに分割され、それぞれの個体で石刃剥離が行われる。以下、石刃核の正面を基準に説明する。

個体Ａ（図版123－239）は、左側面から右側面下部（Ａ－段階１）、左側面から裏面（Ａ－段階２）への石核調整後､原礫面を打面として頭部調整の無い剥離から頭部調整を伴う石刃剥離（Ａ－段階３）が行われる。個体Ａ段階３の途中、左側面から正面へ稜調整が見られる。

個体Ｂ（図版123－240）は、上面から正面への剥離（Ｂ－段階１）、正面から左側面への剥離（Ｂ－段階２）、上面の打面作出（Ｂ－段階３）後、正面で頭部調整を伴う石刃剥離が行われる（Ｂ－段階４）。

個体Ｃ（図版124－241）は、個体Ｃ段階１の欠損、左側面下部稜調整（Ｃ－段階２）、上面からの縦長剥片剥離（Ｃ－段階３）の後、打面作出（Ｃ－段階４）、頭部調整を伴う石刃剥離（Ｃ－段階５）が行われる。

石刃は個体Ａ～Ｃで８cm前後のものが剥離され、それらのほとんどが欠落している。個体Ａ段階３の前半に剥離されたやや厚手の剥片は、右側縁のみ斜角の剥離により削器95に、個体Ｂ段階３で剥離された厚手の打面作出剥片（個体ａ）、個体Ｃ段階４に剥離された打面作出剥片（個体ｂ）は甲板面からのみの剥離で舟底形石器に加工され、個体ｂの欠損した一部である140が遺棄されている。

分布　Sb－86のM34・35、N33・34、O34区に分布する。全体的には１か所の集中域にやや散漫に分布し、個体・段階による分布の違いは見られない。

母岩別資料662・接合資料3102（図Ⅲ－172、図版124下）

母岩別資料は接合3102の他、縦長剥片１点、石刃１点、剥片56点で構成され、総点数131点、総重量1,269.9gである。

素材　73点（55個体）が接合し、重量は1,018.7g、大きさは16×13×10cmである。一部風化した平滑な原礫面のある転礫を素材として原石の状態で搬入されている。

剥離工程　右側面から正面へ厚手の剥片が剥離され（段階１）、その剥離面を打面とした長軸方向の

剥離（段階２）によって打面が作出される。段階３はその打面から正・左・裏面で剥離されたものであるが、前半では原礫面を除去する頭部調整の無い剥離が左側面～裏面にかけて行われ、後半には頭部調整を伴う石刃剥離が左側面～裏面で、最後に左側面で石刃核を分割するような厚手の剥片剥離が行われる。

段階１で剥離された厚手の剥片（個体Ａ）、段階２で剥離された打面作出剥片（個体Ｂ）、段階３前半に両側面で剥離された厚手の剥片（個体Ｃ・Ｅ）、石核である個体Ｆを素材として舟底形石器・削器が製作される。加工は基本的には甲板面から行われ、個体Ａには長軸方向の加工が、個体Ｆには後半に下縁からの加工が見られる。本体は、個体Ｂの欠損した一部である143、個体Ｄ～Ｆの99・126・131が出土し、個体Ａ・Ｂの主体部分・Ｃについては欠落している。99・126は中央で欠損しているが、131は欠損していない。131の左側面右半部に残る甲板面からの最終剥離の後に左半部を除去するパンチ痕が甲板面に残り、そこを除去できなかったために廃棄されたものと考えられる。

石刃は長さ８～10cm 程度のものが剥離されているが、ほとんどが欠落している。

分布　Sb－87のＱ34、Ｒ33・34、Ｓ32・33区に分布する。全体的には細長い１か所の集中域にやや散漫に分布し、折れ面接合は長軸方向に伸びるように分布し、個体・段階による分布の違いは見られない。

母岩別資料596・接合資料2938（図Ⅲ－173、図版125－１）

母岩別資料は接合2938のみである。

素材　100点（72個体）が接合し、重量は1,354.2g、大きさは15×12×11cm である。角が潰れて丸くなり、表面が風化によってあばた状になった亜角礫を素材として原石の状態で搬入されている。

剥離工程　正面から上面への剥離による打面作出（段階１）後、正面で厚手の剥片が剥離される（段階２）。右側面から下面への剥離（段階３）を挟んで、上設打面から頭部調整を伴う石刃剥離が行われ（段階４）、その後半には厚手の剥片が剥離される。

段階１の剥離の際に同時割れにより分割した個体Ａ・Ｂ、段階３で剥離された厚手の剥片（個体Ｃ）、段階４で剥離された厚手の剥片（個体Ｄ）は舟底形石器に加工されている。加工は、個体Ｂの最終剥離には下縁からのものが見られるが、それ以外は甲板面から行われる。個体Ａ・Ｂの本体は欠落し、個体Ｃ・Ｄは加工の初期段階と見られる二次加工ある剥片が遺棄されている。剥離される石刃長は10cm 程度で、それらは欠落している。

分布　Sb－86のＭ34・35、Ｎ33～35、Ｏ34、Sb－92のＬ35区に分布する。全体的には１か所の集中域にやや散漫に分布し、個体・段階による分布の違いは見られない。

母岩別資料664・接合資料3109（図Ⅲ－174、図版125－２）

母岩別資料は接合3109の他、剥片14点で構成され、総点数58点、総重量791.4g である。

素材　44点（40個体）が接合し、重量は768.2g、大きさは17×13×８cm である。平滑な原礫面を持ち、角がやや潰れた角礫を素材として正面に一枚の剥離面のある状態で搬入される。

剥離工程　上面の原礫面打面から左側面・正面・裏面において縁辺から２cm 程度内側の打撃により厚手の剥片である個体Ａ～Ｃが剥離される。個体Ａは両面調整石器が、個体Ｂ・Ｃは舟底形石器が製作される。個体Ａは正面右からの剥離後に裏面左右から加工が行われ、折損後22が遺棄される。個体Ｂは甲板面からの加工の後に主に下縁から加工される。個体Ｃは全て甲板面から加工され、中央で折損し、115が遺棄される。

分布　Sb－89のＰ32、Ｑ30・31、Ｒ30、Ｓ29、Sb－93のＰ29区に分布する。Ｐ29区の１点を除き、１か所の集中域にやや散漫に分布し、個体・段階による分布の違いは見られない。Ｐ29区出土石器は

舟底形石器の素材となりうる唯一の厚手の剥片で人為的に持ち込まれた可能性が高い。

母岩別資料656・接合資料3086（図Ⅲ－175、図版127－１）

母岩別資料は接合3086のみである。

素材　20点（19個体）が接合し、重量は228.7g、大きさは９×７×５cmである。風化により少しザラついた原礫面を持つ角の潰れた亜角礫を素材として原石ないし原石に近い状態で搬入されている。

剥離工程　正面からの剥離によって上面に作出された打面から正面で剥片が剥離された後、下設打面作出（段階２）、下設打面からの厚手剥片剥離（段階３）が行われる。頭部調整は見られず、打面縁辺から５～10mm内側に打点がある。段階３で剥離された厚手の剥片（個体Ａ）を素材として舟底形石器が製作され、石核176にも右側縁に折損の原因となった正面からの剥離が残り、石核素材の舟底形石器を製作する意図が読み取れる。本母岩は長さ10cm程度の原石を分割することによって舟底形石器の素材を得て、舟底形石器を製作することを主な目的としたものである。

分布　Sb－85のＰ35、Sb－87のＰ34、Ｑ34、Ｒ33区に分布する。全体的には１か所の集中域にやや散漫に分布し、一部北東方向に広がる。個体・段階による分布の違いは見られず、北東部の広がりと石器の形態・技術段階に関連は見られない。

接合資料5710（図Ⅲ－175、図版128－２）

素材　２点（２個体）が接合し、重量は0.6g、大きさは11.5×６×2.5cmである。彫刀面が素材先端側の左肩に作出されたⅡ類の彫器から剥離された削片の接合資料である。

剥離工程　先行の彫刀面再生後、彫刀面ほぼ全体に背面先端部調整が行われ、52が剥離される。次に素材腹面からの彫刀面打面再生、彫刀面打面から７mmの限定された範囲に背面先端部調整の後、50が剥離されている。彫刀面傾斜角は139度→118度→122度と52の剥離前後で若干変化が見られる。

分布　Sb－85のＮ36区に分布する。

母岩別資料1221・接合資料5719（図Ⅲ－175、図版128－１）

母岩別資料は接合5719のみである。

素材　８点（６個体）が接合し、重量は68.8g、大きさは11.5×６×2.5cmである。原礫面は残存せず原石形状は不明。搬入形態は二種類の可能性があり、一つは、接合資料の両側面に正面からの稜形成による剥離が見られ、正面には石刃剥離痕が残ることから、石核調整された数本の石刃剥離が行われた石刃核で搬入された可能性、もう一つは、接合資料を構成する石器は全て掻器であることから製品ないし素材で搬入された可能性である。

剥離工程　正面からの稜形成による石核調整の行われた石刃核（側面後方・裏面・打面周辺の石核調整は接合していないため不明）から素材石刃が作業面を左右にずらしながら連続的に剥離されている。唯一打面の残存する59の打面には打面調整が認められ、打面調整の行われた可能性がある。接合している石刃は全て掻器に加工され、素材石刃は幅２cm以下（67・65）から３cm前後（69・68）のものまで変異が大きく、平面形態もバラエティーが認められるが、全ての背面に平行する２本の稜線が残る共通点がある。側縁調整はほとんど行われないが、折れ面中央に腹面からノッチ状の加工が施されるものがある（68・65・69）。刃部の平面形状は円形、角形など変異に富むが、斜角の加工が施され、刃部縁辺部に１mm程度の細かい加工により縁辺が滑らかに調整されている。また、67を除いて刃部周辺にパンチ痕が認められる。刃部は素材先端部に作出されるが、必ずしも素材の末端部に位置せず、それには刃部再生・折損後の刃部作出などが考えられる。また、素材末端部に刃部が位置しないことは、素材末端部の反りを必要としないことを意味し、その点で小型舟底形石器に伴う掻器とは異なる。これらの石刃剥離技術・掻器の二次加工技術の特徴はSb－90を中心とした忍路子型細

石刃核石器群に共通するものであり、１点がSb－90に分布することからもその関連が認められる。
分布　Sb－86のM35・36、N35、Sb－90のJ33区に分布する。掻器67の中間部がSb－90から出土しているが、中間部のみSb－90から出土する原因は不明である。

写真のみ掲載の接合資料

母岩別資料546・接合資料2792・2793（図版126－１・２）は、石核素材の尖頭器調整剥片の接合資料で表裏の関係にあたる。平滑な原礫面を持つ角礫を素材として長さ33cmの粗い加工で覆われた尖頭器で搬入される。両面とも左右から加工が行われ、主に厚さを減少させて、長さ30cm程度の尖頭器で搬出される。搬出形態は先端部が丸く、幅広で、断面凸レンズ状の整った形状である。接合資料のほとんどはSb－81に高密度に分布するが、一部Sb－85・86に分布し、それらには段階に関わらずやや大型剥片が含まれる。

母岩別資料631・接合資料2994（図版127－２）は、平滑な原礫面を持つ角礫素材で20cmを超える大きさの正面のみ粗割りされた状態で搬入されている。前半は縁辺から５mm程度内側を打撃する粗い加工が行われ、断面形が凸レンズ状に変化した時点で縁辺部を加撃し、薄い剥片剥離によって形態が整えられている。前半は打面の大きい厚手の剥片が、後半は打面の小さい薄い湾曲した剥片が剥離される。幅10cm、厚さ２cmの尖頭部のある比較的整った形状の尖頭器が製作され、搬出されている。ほとんど全てがSb－88に分布する。

母岩別資料629・接合資料2990（図版128－３）は、平滑な原礫面を持つ角礫を素材として、25cmを超える原石ないしそれに近い形状で搬入されたと思われる。粗い加工で表面の凹凸が除去された後、縁辺部を加撃した打面の小さい剥片が剥離され、形状が整えられる。長さ20cm以上の尖頭部のある比較的整った形状の尖頭器が搬出されたと考えられる。ほとんど全てSb－88に分布する。

母岩別資料632・接合資料2995（図版128－４）は、平滑な原礫面を持つ角礫を素材として、28cm程度の原石ないし一部加工された状態で搬入される。前半は縁辺部調整の見られない粗い加工が、後半は縁辺部調整を伴う剥離が行われるが、両者とも縁辺からやや内側を加撃しているため剥離される剥片の打面厚は厚く、それに伴って本体の幅も狭くなっている。長さ25cm程度の尖頭器で搬出されたと推定される。ほとんど全てがSb－88に分布している。

母岩別資料630・接合資料2993（図版129－１）は、平滑な原礫面を持つ角礫を素材として、19cmを超える原石の状態で搬入される。右側縁から両面に加工が行われるが、左側縁からの加工の有無は接合していないため不明である。比較的粗い段階の剥片のみ接合している。母岩別資料631・接合資料2994、母岩別資料629・接合資料2990、母岩別資料632・接合資料2995と本接合資料は全て尖頭器製作接合資料であるが、①Sb－89と接合関係のあるSb－88に高密度に分布している、②黒曜石１が利用される、③尖頭器製作技術が他（小型舟底形石器石器群など）とはやや異なることから忍路子型細石刃核石器群に関連すると思われる。

母岩別資料578・接合資料2882（図版129－２）は、爪状痕のある原礫面を持つ転礫を素材として、25cmを超える大型の剥離面のある状態で搬入される。大型の剥離面である左側面から非常に粗い剥離が連続的に行われている。ほとんどがSb－83に分布し、一部が周辺のSb－82・85に分布する。

母岩別資料615・接合資料2972（図版129－３）は、爪状痕のある原礫面を持つ転礫を素材として、長さ20cm程度、原石の状態で搬入されている。右側面から正面、正面から上面、右側面から裏面、上面から正面に全て粗い剥離が行われる。何を目的としたかは不明である。Sb－85の北側にまとまって分布する。

母岩別資料589・接合資料2915（図版130－１）は、平滑な原礫面を持つ角礫を素材として、長さ14cm、人為的ではない剥離面のある状態で搬入される。２個体に分割され、それぞれ原礫面打面、分割面を打面として頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。８～10cm 程度の石刃が剥離され、ほとんどが搬出される。Sb－86北東部に分布する。

母岩別資料638・接合資料3016（図版130－２）は、平滑な原礫面を持つ角礫を素材として、長さ13cm、原石の状態で搬入される。正面からの１回の剥離で上面に打面を作出した後、頭部調整を伴う石刃剥離が行われるが、原石の外観からは確認できない直径３cm の大型球顆が内在し、完全な石刃が剥離されていない。しかしながら、石刃剥離は継続され、石刃剥離が困難な段階まで石材をほぼ消費し尽くしている。10cm 程度の石刃が剥離され、左右側面に近い球顆を含まないものが少量搬出されている。Sb－87南西部に近隣の２か所に分布しているが、段階の違いによるものではない。

母岩別資料618・接合資料2975（図版130－３）は、風化により少しザラついた平坦な原礫面を持つ角礫素材で搬入形態は不明である。原石からの初期段階は不明であるが、最終的に頭部調整を伴う石刃剥離が全周を巡って行われる。５・６cm の石刃が剥離されているが当初の石刃サイズ・石刃剥離の頻度・搬出量は不明である。Sb－85・87に散漫に分布している。

母岩別資料608・接合資料2957（図版131－１）は、平滑な原礫面を持つ角礫を素材として、長さ15cmの原石ないしそれに近い状態で搬入される。上設打面作出後、頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。原石の外観からは確認できない３cm の球顆が内在し、良形の石刃は剥離されていない。最終的に下端部からの剥離で球顆が露出し、石核は遺棄される。Sb－87南西部に分布し、石核のみ Sb－85南西部に分布する。本母岩の①原石形状（大きさ・形態・原礫面の雰囲気・色）、②内在する大型球顆、③分布（形状・密度・位置）が母岩638に極めて類似することから、両母岩は、同時に、同場所で採集されたと考えられ、さらに言えば、同一人物が剥離した可能性がある。

母岩別資料626・接合資料2985（図版131－２）は、風化してザラついた平坦な原礫面を持つ角礫を素材として、長さ13cm、原石ないしそれに近い状態で搬入されている。上設打面作出後、頭部調整を伴う石刃剥離が行われ、打面再生後、さらに左側面で石刃が剥離される。Sb－85に散漫に分布し、石刃核のみ Sb－87に分布する。

母岩別資料602・接合資料2948（図版131－３）は、風化によりザラついた平坦な原礫面を持ち、角が潰れて丸くなった亜角礫を素材として、長さ18cm、原石の状態で搬入される。上・下面での剥離の後、上設打面から正面で頭部調整を伴う石刃剥離が行われ、最後に下面から正面への剥離が行われる。上・下面で剥離された厚手の剥片２点は舟底形石器に加工され、中央で折損した120は遺棄されている。７～10cm の石刃が剥離され、それらの多くは欠落し、搬出される。全て Sb－86に分布し、個体・段階による違いは見られない。

母岩別資料595・接合資料2934（図版132－１）は、風化してザラついた平坦な原礫面を持ち、角が潰れて丸くなった亜角礫を素材として、長さ19cm、原石ないしそれに近い状態で搬入される。右側面から下面への連続した剥離（段階１）後、上設打面作出（段階２）、頭部調整を伴う石刃剥離（段階３）が行われる。石刃剥離終了後、正面から両側面に粗い剥離が行われるが、その剥離の特徴から石刃核素材の舟底形石器を製作する意図が読み取れる。段階１（２個体）・２（１個体）の厚手の剥片、段階３（１個体）の厚手の石刃を素材として舟底形石器・厚手の削器が製作され、３点（100・117・142）が遺棄されている。石刃は長さ７～10cm のものが剥離され、１点は錐形石器79に加工されるが、大部分は欠落し、搬出されている。Sb－86にまとまって分布している。

母岩別資料597・接合資料2939（図版132－２）は、風化によりややザラついた平坦な原礫面を持ち、

角がやや潰れた亜角礫を素材として、長さ14cm、原石ないしそれに近い状態で搬入されている。上設打面作出後、頭部調整を伴う石刃が剥離され、最後は下縁から剥離が行われる。打面作出剥片を素材として２個体の舟底形石器が製作されているが両方欠落している。石刃は７～10cmのものが剥離され、ほとんどが欠落し、搬出されている。全てSb－87に分布し、個体・段階による違いは見られない。

母岩別資料652・接合資料3050（図版133－１）は、風化によりザラついた平坦な原礫面を持ち、角の潰れた亜角礫を素材として、長さ13cm、原石ないしそれに近い状態で搬入されている。上面の平坦な剥離面を打面とした正面での頭部調整を伴う石刃剥離後、下面から石刃核を分割するような粗い剥離が連続して行われる。前半の厚手の石刃１点は舟底形石器に類似する加工が単発で行われ、後半の厚手の剥片４点、石核１点の合計５点は舟底形石器に加工されているが、144・145以外は搬出されている。石刃は10cm前後のものが剥離されるが、頻度は少なく、作業面形状の悪化に伴い石刃剥離は終了する。全てSb－87に分布し、個体・段階による違いは見られない。

母岩別資料552・接合資料2808（図版133－２）は、平滑な原礫面を持ち、角がやや潰れた角礫を素材として、長さ９cm、原石ないしそれに近い状態で搬入される。上設打面作出後、石刃剥離が行われる。厚手の打面作出剥片・厚手の縦長剥片を素材として舟底形石器類似の粗い加工が施されるが、両者とも加工途中で遺棄される。全てSb－82の中央部にまとまって分布している。

母岩別資料577・接合資料2881（図版133－３）は、風化によりややザラついた平坦面を持ち、角の潰れた亜角礫を素材として、長さ12cm、原石ないしそれに近い状態で搬入される。上設打面作出後、角部で厚手の剥片が剥離され、形態を整えた後、全周を巡る頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。最終剥離は頭部調整が無く、打面厚の大きい粗いものである。厚手の剥片１点は舟底形石器に加工されるが、本体は出土していない。全てSb－83にまとまって分布している。

母岩別資料622・接合資料2979（図版134－１）は、風化によりザラついた平坦面を持ち、角の潰れた亜角礫を素材として、長さ15cm、原石ないしそれに近い状態で搬入される。小口面から長軸方向の剥離による打面作出後、両端部で頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。石核は、その後、粗い剥離によって打面を甲板面とする舟底形石器に加工され、搬出される。また、打面作出の厚手の縦長剥片を素材として舟底形石器が製作され、同様に搬出されている。石刃は長さ８cm程度のものが剥離されるが頻度はそれほど高くなく、少量搬出される。全てSb－85南西部に高密度に分布している。

母岩別資料617・接合資料2974（図版134－２）は、風化によりザラついた平坦な原礫面と角の潰れた亜角礫を素材として、長さ13cm、原石の状態で搬入されている。下面から両側縁、右側面から上面、上面から正面への剥離の後、上設打面作出、頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。両側縁で剥離された断面Ｕ字状の縦長剥片を素材として舟底形石器２点が製作され、搬出される。石刃は７cm程度のものが剥離され、ほとんどが搬出されている。全体的にはSb－85に散漫に分布し、個体Ａ・Ｂは、ずれて分布する。

母岩別資料559・接合資料2816（図版134－３）は、平滑な原礫面を持ち、角が潰れた亜角礫を素材として、長さ11cm、原石の状態で搬入される。上設打面作出後、頭部調整を伴う石刃が剥離される。厚手の剥片・石刃素材の５個体が舟底形石器・厚手の削器に加工され、図版400－２、113、図版400－１が遺棄されている。石刃は長さ６～９cmのものが剥離され、数本が搬出されている。全てSb－82の中央部にまとまって分布している。

母岩別資料576・接合資料2879（図版135－１）は、一部平滑な原礫面を持ち、角が大きく丸くなった転礫素材で、長さ14cm、粗割りされた状態で搬入されている。裏面から上面への剥離による打面作出後、裏面側で大型の剥片が剥離され、頭部調整が行われる。その後、正面に作業面を転移し、粗

い剥離によって石核形状を整え、頭部調整を伴う石刃が剥離される。前半の厚手の剥片・縦長剥片は厚手の削器（図版399－５）・舟底形石器127に加工される。石刃は長さ６～９cmのものが剥離され、１点（84）は彫器母型に加工されている。また、ほとんど良形の石刃は得られず、ほとんどが遺棄されている。図版399－５はやや離れたブロック外のP40区に単独で分布し、それ以外はSb－83に集中して分布する。

母岩別資料724・接合資料3273（図版135－２）は、風化によりややザラついた平坦面を持ち、角が若干潰れた角礫を素材として、長さ19cm、一度のみの剥離が行われた状態で搬入される。正面で厚手の剥片を剥離した（段階１）後、正面下端から裏面へ厚手の剥片剥離（段階２）が行われ、正面から右側面（段階３）、上面から裏面（段階４）、右側面から正面への剥離（段階５）が行われる。段階１では頭部調整が行われるが、通常の石刃剥離と異なり、縁辺から１cm以上内側に打点があり、厚手の剥片が剥離されている。段階３の厚手の剥片を素材として舟底形石器が製作され、本体は欠落している。分布はSb－89中央部・93中央部の２か所に分かれ、Sb－89には舟底形石器調整剥片とその他剥片が、Sb－93にはやや大型の剥片類が分布している。

母岩別資料723・接合資料3271（図版136上）は、平滑な原礫面を持ち、角が僅かに潰れた角礫を素材として、長さ13cm、原石ないしそれに近い状態で搬入されている。上設打面作出後、頭部調整の無い厚手の縦長剥片が剥離される。剥離された縦長剥片の打面厚は１cm以上で、舟底形石器の素材となる厚手の縦長剥片を目的として剥離が行われたと思われる。厚手の剥片１点と石核を素材として舟底形石器が製作され、欠損品である図版199－441と223が遺棄される。分布は集中したSb－89中央部・散漫なSb－93中央部に分けられ、Sb－89には舟底形石器関連資料・小型の一次剥離剥片が、Sb－93には舟底形石器の素材となるような厚手の剥片が分布し、素材単位で移動していると思われる。

母岩別資料591・接合資料2924（図版136下）は、風化によりザラついた平坦な原礫面を持ち、角が潰れた亜角礫を素材として、長さ23cm、原石の状態で搬入される。裏面から上面への剥離により上部の１／３が分割され、さらにそれが二分され、一方は舟底形石器に、もう一方は剥片が剥離され、剥離された剥片２点が舟底形石器に加工される。分割された下部は分割面である上面～裏面を打面として上面～左側面で剥離が行われ、４点が舟底形石器に加工される。全部で７点の舟底形石器が製作されているが、本体が出土したのは132のみである。分布はやや離れたSb－92から出土した石核Ⅲ－254－319を除くと全てSb－86にまとまって分布し、個体・段階による違いは見られない。

母岩別資料599・接合資料2945（図版137－１）は、平滑な原礫面を持ち、角の潰れた亜角礫を素材として、長さ15cm、原石の状態で搬入されている。上面から正面への剥離（段階１）の後、下面から正面に厚手の剥片が剥離される（段階２）。段階１の厚手の剥片３点は舟底形石器に加工され、段階２で剥離された厚手の剥片を素材として１点は剥片剥離が行われ、２点は舟底形石器が製作される。さらに、剥片剥離によって剥離された剥片を素材として３点の舟底形石器が製作される。合計８点の舟底形石器が製作されるが、本体が出土したのは114・121のみである。分布は舟底形石器114の１破片、剥片１点がやや離れて分布するが、それ以外は個体・段階の区別無くSb－86の北東部にまとまって分布する。

母岩別資料747・接合資料3395（図版137－２）は、平滑な原礫面を持つ角礫を素材として、長さ17cm、原石の状態で搬入される。長軸方向の２回の剥離によって大きく三分割され、それぞれの破片や石核を素材とした縦長剥片剥離や４点の舟底形石器の加工が行われる。舟底形石器本体はⅢ－244－256、222の２点が出土した。分布はSb－89中央部・Sb－93中央部東に分けられ、Sb－89には剥片素材、石核素材の舟底形石器製作個体が、Sb－93には一次剥離剥片と縦長剥片を剥離した個体が分

布し、素材単位でSb－89に持ち込まれたと思われる。

母岩別資料584・接合資料2900（図版137－３）は、平滑な原礫面を持つ角礫を素材として、長さ11cm、原石ないしそれに近い状態で搬入されている。角柱状の原石の角部で原礫面打面から厚手の剥片が剥離された後、正面から下面に剥離が行われる。厚手の剥片１点は舟底形石器に加工されるが本体は搬出される。全てSb－83にまとまって分布する。

母岩別資料581・接合資料2893（図版138－１）は、平滑な原礫面を持ち、角がやや潰れた角礫を素材として、長さ13cm、原石ないしそれに近い状態で搬入されている。上面から正面、正面から上面、下面から裏面、裏面から下面、正面から上面の剥離と扁平な原石の縁辺で頻繁に作業面を転移させながら断面形が台形になるような剥片剥離が行われる。そのうち剥片４点、石核１点の計５点が舟底形石器・厚手の削器に加工されるが、本体は舟底形石器の初期段階と見られる厚手の削器220のみ遺棄されている。分布はSb－83南西部、Sb－85南西部に分かれ、Sb－83には厚手の削器接合資料１個体と舟底形石器製作接合資料１個体の後半部分が、Sb－85にはそれ以外の個体、一次剥離剥片が分布している。①Sb－83・85にまたがる個体の前半部がSb－85に、後半部がSb－83に分布し、②一次剥離剥片がSb－85に分布することからSb－85からSb－83に移動されたと考えられる。分布密度はいずれも高い。

母岩別資料625・接合資料2984（図版138－２上）は、平滑な原礫面を持つ角礫を素材として、長さ14cm、原石の状態で搬入されている。上面から正面、正面から上面、上面から裏・右面への剥離と作業面を転移させながら厚手の剥片が剥離される。厚手の剥片３点、石核１点を素材として４点の舟底形石器が製作されるが全て本体は搬出されている。舟底形石器調整剥片１点を除きSb－85南西部に高密度に分布する。

母岩別資料649・接合資料3046（図版138－２下）は、平滑な原礫面を持ち、角が丸く潰れた転礫を素材として、長さ10cm、原石の状態で搬入される。上面から正面の剥離、正面下部石核調整の後、上面からの剥離で２分割し、それぞれ舟底形石器に加工される。舟底形石器本体は出土せず、搬出されている。Sb－87西側にやや散漫に分布し、個体・段階による違いは見られない。

母岩別資料592・接合資料2925（図版139－１）は、風化によりザラついた原礫面を持つ転礫を素材として、長さ20cm、裏面に大型の古い剥離面のある状態で搬入される。裏面から左側縁上部への粗い剥離（段階１）の後、下端部からの打撃（段階２）で２分割される。分割された石核は粗い加工で厚手の削器が製作され、剥片は上下からの剥離の後に横方向の剥離で２分割し、その剥片側を素材として舟底形石器が製作されている。また、段階１で剥離された厚手の剥片２点は舟底形石器、厚手の削器に加工される。舟底形石器製作の初期段階と見られる厚手の削器２点は遺棄され、舟底形石器２点は搬出される。やや離れたSb－92出土の１点を除きSb－86にまとまって分布し、個体による違いは見られない。

母岩別資料582・接合資料2895（図版139－２）は、風化によりややザラついた平坦な原礫面を持ち、角が若干潰れた亜角礫を素材として、長さ15cm、原石ないしそれに近い状態で搬入される。上面の平坦面を打面として正面で石刃剥離が行われた後、正面から上面、裏面から上面へ厚手の剥片が剥離される。裏面から上面への剥離で剥離された厚手の剥片１点を素材として舟底形石器が製作されているが、本体は出土していない。また、最初に剥離された10cm前後の石刃、上面で剥離された６cm程度の石刃も欠落し、搬出されたと思われる。ほとんどがSb－83に高密度に分布し、個体による違いは見られない。（鈴木宏行）

（８）Ｈ区・石器ブロック90(Sb－90)の石器

出土石器（表Ⅲ－９～10）

尖頭器３点（Ⅰ類３点)、両面調整石器３点、彫器３点（Ⅱ類１点、Ⅲ類２点)、彫器削片６点（Ⅲ類６点)、掻器８点、削器１点、舟底形石器３点（Ⅱａ類３点)、二次加工ある剥片８点、細石刃核１点、石刃317点、縦長剥片78点、石刃核９点、石核９点、剥片10,817点の計11,266点、重量148,311.0ｇの石器類が出土した。石刃が多く、トゥールが少ないのが特徴である。石材は黒曜石１（91.7%）が90%以上を占め、圧倒的に多く、黒曜石５（4.0%)、黒曜石４（2.5%)、黒曜石３（1.4%）が続き、以下黒曜石２(0.3%)、頁岩(0.03%)である。器種毎の石材構成も同様に黒曜石１が多い。「細石刃核」の部分で述べるが本ブロックを、忍路子型細石刃核を伴う石器群と認定した。

尖頭器（図Ⅲ－176－１、図Ⅲ－513－４、図版140・402）

４点（１個体とⅠ層出土１個体を加えた２個体）を図示している。１・図Ⅲ－513－４はⅠ類で両者とも細長い形状である。１は細かい平坦剥離によって加工され、中央部は右側縁から正面への加工で折損している。上端には折れ面があり、再加工が行われている。図Ⅲ－513－４は幅広の剥片素材でやや厚手の尖頭器である。両面に素材面が残り、角度のある加工によりやや厚手で左右非対称な形態である。忍路子型細石刃核母型である可能性がある。

彫器（図Ⅲ－176－２・３、図版140）

２点（２個体）を図示している。２は頁岩製で、形態軸・彫刀面交叉角が小さいⅡ類である。背面左側には石核調整と見られる横方向の剥離面と先行の石刃剥離後に施された稜調整が残り、素材は石核調整のある石刃核から剥離されたと思われる。背面両側縁の加工後、素材先端部にノッチ状に設定された打面から、左側縁に沿って彫刀面が作出され、彫刀面に接する背面には彫刀面再生に先行する背面先端部調整が見られる。３は剥片素材で折れ面を打面として左側縁に彫刀面が作出され、下端部の両面には加工が見られる。

掻器（図Ⅲ－176－４～６、図版140）

３点（３個体）を図示している。全て黒曜石１の石刃素材である。４は両側面に加工が行われるもので小型舟底形石器に伴うタイプである。５は複剥離打面を持つ石刃素材で、加工は刃部のみで側縁の加工はほとんど行われない。刃部は右側縁に偏り、刃部縁辺の断面形は１mm程度の細かい剥離によって丸くなっている。６は折損しているが接合資料から打面調整のある石刃核から剥離された石刃を素材としている。加工は刃部のみで側縁にはほとんど行われない。５・６の素材背面稜と刃部加工面の稜の交点付近にパンチ痕が残る。

舟底形石器（図Ⅲ－176－７、図版140、図版154－60）

１点（１個体）を図示し、１点（１個体）を写真のみ掲載している。７は剥片素材で素材を横方向に利用し、加工は全て甲板面から行われる。図版154－60は図版199－440と甲板面で接合し、転礫を分割した石核素材である。背面の剥離軸と石器長軸が一致し、加工は主に甲板面から行われ、それらを切る下縁からの加工が一部見られる。幅は10mm程度でⅡａ類の加工が進んだものである。舟底形石器は①Sb－90には客体的で、通常舟底形石器に利用される黒曜石４が利用されるものがあり、②周辺の小型舟底形石器石器群の分布域に接合関係が認められ、③分布がSb－90縁辺部に位置することから、周辺の石器ブロック群からの混入と考えられる。

細石刃核（図Ⅲ－176－８、図版140）

１点（１個体）を図示している。８は、嵐山２遺跡（西田ほか　1987)、北上台地遺跡（大場ほか

1984）等の細石刃核に類似した小型のタイプの忍路子型細石刃核である。細長い両面調整体の母型を作成し、縁辺に沿った削片剥離によって打面を作成し、短軸方向で細石刃が剥離される。作業面の打面周辺には明確な調部調整は認められない。作業面長は1.6cm で剥離角は85度である。①甲板面に２枚の剥離面があり、②削片剥離面から想定される打点が打面縁辺部に近いことから細石刃剥離段階での打面再生が行われたと思われる。また、細石刃剥離面は全て削片剥離面を切っており、打面再生後、全面で細石刃が剥離される。細石刃剥離作業面の側面形は弧状で剥離された細石刃も全体になだらかな反りを持っていたと考えられる。

本遺跡で忍路子型細石刃核はこの１点のみで､本型式関連の削片・細石刃は出土していない｡また、本ブロックには大型石刃を剥離した資料がほとんどで細石刃核と直接的な関連を示す資料は少ない。しかしながら、① Sb－90には他の石器群には見られない細石刃核母型の可能性のある石器図Ⅲ－513－４が出土していること､② Sb－90の高密度域には周辺の小型舟底形石器石器群の重複が見られず、細石刃核がその分布域に含まれること（図Ⅲ－190）、③細石刃核の石材が黒色の黒曜石１で、大型石刃剥離資料に利用された黒曜石と肉眼観察による特徴が類似していることから細石刃核は本ブロックに主体的に出土する大型石刃資料に伴うものと判断し、Sb－90を、忍路子型細石刃核を伴う石器群と認定した。

彫器削片（図Ⅲ－176－９、図版140）

２点（１個体）を図示している。９は素材の側縁の背面ほぼ全域、腹面の一部に加工のある石器から素材先端側から左側縁で剥離された削片である。加工された縁辺は細かい剥離によって滑らかになっている。峠下型細石刃核の削片の可能性もあるが、周辺に関連する遺物が無く、彫器削片Ⅲ類(図Ⅲ－237－156など）に類似するものがあることから、彫器削片Ⅲ類として分類した。

削器（図Ⅲ－176－10、図版140）

１点（１個体）を図示している。10は大型石刃素材で、右側縁の先端部両面に平坦剥離による加工が見られる。加工部の平面形は直線やや弧状で側面形は直線的である。

石刃（図Ⅲ－176－11～図Ⅲ－181－31、図版140～144）

85点（20個体）を図示している。11～14は稜付石刃である。11・12は背面に稜調整のみが残る、一本目の石刃で、13・14は一部石刃剥離痕の残るものである。稜部は正面から左右への石核調整により作出され、11・12の突出部の潰れは顕著である。13の背面には石刃剥離面を切る稜調整が見られ、先行の石刃剥離後、石刃剥離に先立つ稜の再調整が行われている。11・12は長さが26・23cm で25cm を超えるような大型の石刃核母型が用意されている。また、側面形は緩やかな弧状を呈し、準備される石刃核母型の形状を反映している。15は平滑な原礫面を持つ頁岩製の石刃。16～27は完形ないしほぼ完形、28～31は欠損品である。22～24・29～31は石刃核の側面調整が残り、石刃核の側面に近い位置で剥離されたもので、幅広である。頁岩製の15を除き、20cm 以上の大型の石刃核から剥離されたものが多い。

石刃剥離前の石核調整のため原礫面が残るものが少ないが、残存するものには角礫素材が多い。背面構成は、石核調整以外は全て上設打面からの石刃剥離のみで、単設の石刃核から剥離されている。打面は複剥離打面のものが多く、その打面縁辺が擦って潰れており、また、打点が背面稜の直上に位置していることから、石刃核作業面に残る稜線の頂部を打点に設定し、打面調整・縁辺を擦り潰す縁辺部調整を行いながら石刃が剥離される。打面縁辺の磨り潰しは、ほぼ稜の頂部に限定され、頂部の両側の磨り潰しを伴って山形に調整される上白滝２遺跡 Sb－９の射的山型（広郷型）細石刃核石器群とは異なる。上白滝２遺跡 Sb－９では、頂部の両側の加工具と見られる側縁の潰れた石刃・剥片

が出土していたが本石器群には伴わず、その調整が行われていないことを示している。

石刃核（図Ⅲ－182－32～図Ⅲ－187－43、図版145～152）

12点（９個体とⅠ層出土３個体を加えた12個体）を図示している。35・37・39は転礫、40・43は亜角礫、それ以外は角礫素材で、角礫が多い。石核調整は、大型の粗い剥離と縁辺部の細かい剥離で構成され、左右側面から裏面へ、裏面から左右側面へ、正面稜部で正面から左右側面へ行われ（33・35など）、結果として裏面左右・正面稜に角のある断面三角形ないし五角形の母型が準備される。原礫面は除去される場合が多いが、側面に残るもの（34・36・37）は加工が困難なものや母型作成に原石形状をそのまま利用したものがある。原石形状を利用したものには39・40のように断面四角形の母型が準備されるものがある。また、原礫面が全体的に除去されるものでも下端部には石核調整が行われず、石刃核下端に原礫面が残る。全て打面調整がみられ、打面の正面形は中央部が弧状に窪んだ形状である。ほとんどが黒曜石１で、32・33・35・38～40など１cm 大の流紋岩球顆が含まれるものが多く、原石面形状も類似していることから、採集地点が同一の可能性があり、このような特徴の原石が採取できる流紋岩球顆の沢周辺で採集された可能性がある。41・43は他の石刃核に比べ、大型で、素材面や母型の調整面が大きく残り、石刃剥離が進行していないことから、石刃剥離途中で遺棄されたものと思われる。41の作業面下部調整は潰れ、石刃剥離の先端部がヒンジになっており、作業面形状を修正できないため石刃剥離の途中で終了したものと考えられる。石刃作業面長は15～23cm で20cm前後のものが多く、大型石刃が剥離されている。

石核（図Ⅲ－187－44～図Ⅲ－189－48、図版144・145・152～154）

５点（５個体）を図示している。44・45は両面で剥片が剥離された石核で、44は円盤状を呈し、パンチ痕や傷の多い面とそれらの少ない面で構成される多段階表面変化が認められる。45は剥片素材で頭部調整などが見られず、「白滝Ⅰ群」の石核に類似するが、周辺に「白滝Ⅰ群」石器群が分布しないためここに含めている。46は転礫素材で端部においてチョッパー状の剥離が行われる。47・48は石材の特徴と加工の手順から大型の石刃核母型と考えられる。47は扁平な転礫素材で、交互剥離によって稜が形成される。母岩701（図版－171）のような石刃核の母型の可能性がある。48は長さ37cm、10kg の大型品で、全面に加工がみられる。正面稜に潰れがあり、石刃剥離が困難で遺棄されたと考えられる。大型石刃剥離には、48→41→35の様な剥離過程と47を母型とする母岩701のような剥離過程の２種類があるが、量的には前者が大部分を占める。

石器ブロック90の分布状況

Sb－90は東西の沢で区切られる段丘（高位部）のほぼ中央に位置している。標高は440.5～442.0mである。西地区最大規模の集中域である Sb－93・95の北東部に隣接し、巨視的にはそれらとの分布の連続として捉えることもできる。しかし、周辺には分布しない大型石刃・石刃核が排他的な状況でまとまって分布し、周辺の小型舟底形石器石器群の混入もほとんど見られないことからそれらとは分離した。このような隣接する異なる石器群間の排他的な分布状況から、本地点に後から訪れた人々が、既に石器が遺棄されていた場所（石器の分布域）を、（廃棄であろうと無かろうと）石器を遺棄する場所として利用しなかったと考えることができる。

石器ブロック90（Sb－90）の分布（図Ⅲ－190～192、表Ⅲ－９・10）

Ⅰ32・33、Ｊ31～33、K31～34、Ｌ31～33、M31・32区の15×13m の範囲で確認された。大きく①Ｊ31・32、K31・32区周辺、②Ｌ32区周辺、③Ｌ31区の集中域に分けられる。石刃は①の中心部、②の南側にまとまりがあり、その他には散漫に分布する。①には周辺部に掻器、中心部に彫器や多く

の石核類が、②には石核・石刃核・細石刃核・細石刃核母型の可能性のある尖頭器が分布する。大型石刃を素材とした特徴的な掻器はSb－82・86とブロック間接合が見られ、その関連が認められる。舟底形石器は①②の周辺部に分布し､それらは周辺の小型舟底形石器石器群から混入したものと思われる。

石器ブロック90の接合状況（図Ⅲ－193）

接合資料のほとんどは、それぞれ①～③のいずれかの集中域に一つのまとまりを持って分布し、その分布密度は比較的高いものが多い。一部、母岩701接合3220(写真のみ掲載のため分布図は非掲載)のように②③の集中域に分布が連続するものがあり、その内容は②に調整剥片、③に石刃と異なる。①には大型石刃接合資料・大型尖頭器の調整剥片接合資料が同一地点に重複し、両者の共伴関係が見られる。隣接するブロック以外のブロック間接合はSb－82・86・89との間で見られ、それらの接合資料の分布の主体は、母岩1221接合5719（全て掻器で構成される特殊な接合資料である）を除いて、Sb－90にあり、Sb－82・86・89に分布するもののほとんどが掻器であることから、それらはSb－90からそれぞれのブロックに持ち込まれたと考えられる。

母岩別資料・接合資料

11,266点中2,832点を59母岩に母岩分類し、370個体（母岩別資料内183個体）の接合資料が得られた。そのうち母岩別資料10母岩を図示し、母岩別資料７母岩を写真のみ掲載している。

母岩別資料683・接合資料3159（図Ⅲ－194～197、図版155～157）

母岩別資料は接合3159のみである。

素材　272点（102個体）が接合し、重量は8,613.2g、大きさは54×25×14cmである。平滑な原礫面を持ち、角の潰れた亜角礫を素材として、正面は主に周縁部に、裏面は全体に平坦な粗い加工が行われた状態で搬入される。搬入時の形態は断面形が台形、正面形は木葉形、長さ54cmの極めて大型の両面調整体である。正面の大部分・裏面の一部に原礫面が残ることから搬入形態より一回り大きい原石が利用されたと考えられる。

剥離工程　左側縁で左側面から正面への剥離（段階１）→左側面から裏面への剥離（段階２）→左側面から正面への剥離（段階３）、右側縁で右側面から正面への剥離（段階４）→右側面から裏面への剥離（段階５）→右側面から正面への剥離（段階６）→右側面から裏面への剥離（段階７）、が行われた後、左側面から裏面への剥離（段階８）→左側面から正面への剥離（段階９）⇔右側面から正面への剥離（段階10）→右側面から裏面への剥離（段階11）→右側面から正面への剥離（段階12）→左側面から正面への剥離（段階13）→右側面から正面への剥離（段階14）が行われる。

加工の段階はその種類によって前後に分けられ、前半の段階１～６は粗い加工で打面が大きい厚手の剥片が剥離され、後半の段階７～14は縁辺部調整のある打面の小さい薄手の剥片が剥離される。加工は主に凸状の正面側で行われ、厚さを大きく減少させている。素材原石が大型で全体的に剥離される剥片も大きいが、剥離される剥片の末端部形状がヒンジになることはほとんど無く、本体の表面が滑らかな状態で加工は進行している。また、後半の加工は各段階が縁辺全域に及び、それが左右交互に秩序立って行われ、非常に順調に進行している。最終的に表面が滑らかで断面凸レンズ状の整った形態をした52×14×６cmの尖頭器が搬出されている。

分布　Sb－90のJ31・32、K31・32、Sb－94のI31区に分布する。狭い範囲に高密度に分布し、段階による違いは見られない。

母岩別資料693・接合資料3201（図Ⅲ－198～201、図版158・159上）

母岩別資料は接合3201の他、接合56585・56613・56614、石刃１点、剥片23点で構成され、総点数

207点、総重量3,119.6g である。

素材　176点（115個体）が接合し、重量は2,995.9g、大きさは29×19×15cm である。風化によりザラついた平坦面を持ち、角のやや潰れた亜角礫を素材として原石ないし原石に近い形状で搬入されている。

剥離工程　上面から裏面への剥離（段階１）、正面からの稜調整である正面から左側面（段階２）・正面から右側面（段階４）・正面から右側面（段階９）、裏面から左側面調整（段階３）、裏面から上面への剥離（段階５）、上面から右側面への剥離（段階６）、裏面から右側面調整（段階７）、右側面から裏面調整（段階８）、正面から上面への剥離（段階10）によって石刃核母型が製作され、上設打面調整（段階11）⇔上設打面からの石刃剥離（段階12）が行われる。

断面形が二等辺三角形で側面形が半円形に近い原石を素材として、断面二等辺三角形の底辺を裏面に設定し、裏面調整、側面調整によって断面二等辺三角形で側面形が半円形の原石を一回り小さくした形態の石刃核母型が製作される。このことから石刃核母型製作に適した形態（類似した形態）の原石が選択されていると思われる。石刃核母型作成後は、打面調整・打面縁辺を磨り潰す頭部調整を行いながら石刃が剥離される。石刃剥離に伴う打面調整によって石刃核の高さは、25cm から18cm に減少している。

本接合資料では４点（尖頭器２点、掻器２点）のトゥールが製作されている。

尖頭器は、段階10で内在する節理面を分割面として事故的に剥離された厚手の剥片である個体Ａ、石刃核である個体Ｂを素材としている。個体Ａは粗い加工（Ａ－段階１）の後、縁辺部調整を伴う打面の小さい薄手の剥片を剥離する加工（Ａ－段階２～４）が行われ、12×６×２cm の尖頭器が製作される。個体Ｂは石刃剥離の進行によって作業面が平坦になり、厚さが薄くなった扁平な石刃核を素材としている。石刃作業面を打面とした粗い加工（Ｂ－段階１・２・３の前半）の後、縁辺部調整を伴う打面の小さい薄手の剥片を剥離する加工（Ｂ－段階３の後半～７）が行われ、16×７×２cm の尖頭器が製作される。個体Ａ・Ｂの本体は搬出されているが、それらは表面が滑らかで端部が尖らない形状で、直接的な関連は不明であるが忍路子型細石刃核母型である可能性もある。

石刃は15cm 程度のものが剥離され、図Ⅲ－118－64・図Ⅲ－118－60の掻器が製作される。両者とも側縁加工はほとんど行われず、推定される素材の大きさから判断して刃部再生頻度は低いと思われる。図Ⅲ－118－64は稜付石刃素材で、実測図作成後に接合したため、実測図には書かれていないが、図Ⅲ－199下段中央の遺物位置図にトーンで示した。石刃は、16のように背面に石刃核側面が残り、縁辺が直線的ではないものが遺棄される一方、作業面中央で剥離されたものの大部分が欠落し、搬出されている。

分布　分布は①Sb－89のＲ30、Ｓ29、②Sb－90のＪ31・32、Ｋ31・32、Ｌ31、Sb－94のＪ31区に分けられる。個体Ａ・Ｂを含む大部分は②に高密度に分布し、掻器２点のみ①に分布する。掻器２点が、素材ないし製品で①に搬入されたと考えられる。

母岩別資料690・接合資料3194（図Ⅲ－201～203、図版159下・160上）

母岩別資料は接合3194のみである。

素材　36点（24個体）が接合し、重量は5,342.7g、大きさは35×17×13cm である。平滑な原礫面を持つ角礫を素材として右側面・裏面に粗い加工が行われた状態で搬入される。

剥離工程　左側面から裏面への石核調整（段階１）、正面から左右への稜調整（段階２・３）後、左側面から上面への剥離による打面作出（段階４）が行われ、上設打面調整（段階５）⇔上設打面からの石刃剥離（段階６）が行われる。

石刃核母型は、石核調整の際に右側面中央の夾雑物を除去できていないため、右側面に瘤があり、左側面が平坦な断面D字状を呈する。石刃核母型製作後、横方向の連続した剥離で打面が作出され、打面調整を行いながら石刃が剥離される。石刃は20～25cm程度のものが剥離されるが、石刃核母型の形状が悪いためか、石刃剥離の頻度は低く、搬出される石刃も少ない。

分布　Sb－90のJ31・32、K31・32区に分布する。分布密度は高く、J32区にやや離れて30の石刃が分布する。

母岩別資料688・接合資料3185（図Ⅲ－204～206、図版161・162）

母岩別資料は接合3185の他、接合3186・56603、縦長剥片1点、剥片47点で構成され、総点数131点、総重量4,498.8gである。

素材　78点（46個体）が接合し、重量は4,181.2g、大きさは30×17×13cmである。平滑な原礫面を持つ角礫を素材として裏面全体に粗い加工が行われた状態で搬入される。

剥離工程　右側面から裏面への石核調整（段階1）、正面から左右への稜調整（段階2・4）、裏面から右側面への石核調整（段階3）後に、打面作出（段階5）が行われ、上設打面からの石刃剥離（段階6）⇔上設打面調整（段階7）が行われる。

裏面全体が加工された、断面形が三角形、側面形が細長い半円形に近い形状で搬入され、稜調整・側面調整により均整のとれた母型が製作される。その後、打面調整を繰り返しながら石刃が剥離され、石刃核高は29cmから20cmに変化している。打面調整は正面中央付近を打点として行われ、打面部の正面形は中央がやや窪んだ形状で、終盤には打面を大きく更新する粗い打面再生が行われる。最後は粗い打面再生が行われるが、裏面に抜けずにヒンジになって剥離は終了している。

石刃は20～25cmのものが剥離されているが、稜付石刃を含む初期の石刃・最終段階の石刃は遺棄され、中間の石刃は欠落し、搬出されている。遺跡に残る初期段階の最後の石刃を素材として6の掻器が製作される。

分布　Sb－90のJ31～33、K31・32区に分布する。1か所にまとまって分布し、掻器・石刃核はやや外れて分布する。

母岩別資料704・接合資料3228（図Ⅲ－207～209、図版163・164上）

母岩別資料は接合3228の他、接合3229・3230・56639、剥片2点で構成され、総点数46点、総重量6,013.8gである。

素材　33点（23個体）が接合し、重量は5,846.8g、大きさは33×19×17cmである。平滑な原礫面を持ち、角が潰れた亜角礫を素材として裏面・左側面を粗く加工した状態で搬入される。

剥離工程　左右からの裏面調整（段階1・2）、裏面からの左側面調整（段階3）、正面から左側面への稜調整（段階4）、下面から右側面への調整（段階5）の後、上設打面作出・再生（段階6）を伴う石刃剥離（段階7）が行われる。石刃剥離の途中で右側面下部調整（段階8）が行われる。

裏面・両側面の加工によって断面三角形の石刃核母型が製作されるが、石刃核下端部は石核調整段階で潜在的な節理と球顆を原因として分離されたため、石刃核母型は下端部が切断されたような形状である。稜調整によって作出された正面の稜は最後に磨り潰されて「バリ」が除去され、直線的に修正されている。石刃剥離は打面調整を伴って行われ、最終的に打面調整に伴って作業面と打面の角度が直角近くになり終了する。石刃は20～23cmのものが剥離され、稜付石刃・一部の側面付き石刃を除く大部分は欠落し、搬出されている。

分布　Sb－90のK31・32、L31・33、Sb－93のK31区に分布する。1か所にまとまって分布し、L33区に離れて分布するのは側面付きの幅広石刃の欠損品である。

母岩別資料691・接合資料3195（図Ⅲ－210・211、図版164下・165上）

母岩別資料は接合3195の他、接合56610、剥片12点で構成され、総点数73点、総重量5,580.9g である。

素材　59点（31個体）が接合し、重量は5,486.7g、大きさは27×19×16cm である。一部平滑な原礫面が残り、大部分の角が潰れた転礫を素材として正面に稜状の粗い加工が行われた状態で搬入されている。

剥離工程　正面から左（段階１・３）・右側面（段階２・４）への稜調整→裏面上部に打面作出（段階５）→裏面から右側面に側面調整（段階６）の後に、上設打面からの石刃剥離（段階７）⇔上設打面調整（段階８）が行われる。

断面三角形に近い原石を素材として、主に正面からの稜調整によって断面三～五角形、側面半円形の母型が作成され、打面作出後に、打面調整を伴って石刃剥離が行われる。石刃核には作業面中央にヒンジによる段差が残り、それを除去できずに遺棄されたと思われる。

剥離される石刃の長さは18cm 前後で、稜付石刃・一部の側面付き石刃を除く大部分は欠落し、搬出されている。

分布　Sb－90のＪ31・32、K31・32、Sb－94のⅠ32、Ｊ31区に分布し、やや散漫であるが、ほぼ１か所にまとまった分布である。

母岩別資料699・接合資料3217（図Ⅲ－212・213、図版165下・166－１）

母岩別資料は接合3217の他、剥片15点で構成され、総点数104点、総重量4,834.3g である。

素材　89点（53個体）が接合し、重量は4,795.2g、大きさは28×17×15cm である。爪状痕のある転礫を素材として、左側面・裏面に粗い加工が行われた状態で搬入されている。

剥離工程　正面から右側面への稜調整（段階１）⇔正面から左側面への稜調整（段階２）→右側面からの裏面調整（段階３）→左側面からの裏面調整（段階４）⇔裏面からの左側面調整（段階５）→上面からの左側面調整（段階６）の後に、上設打面からの石刃剥離（段階７）⇔上設打面調整（段階８）が行われる。

正面・側面形が楕円形で、断面形が三角形の原石が利用され、正面で交互剥離による稜形成が行われ、左側面・裏面では左側面から裏面への剥離・裏面から左側面への剥離が交互に行われ、正面形が卵形、側面形が長楕円形、断面形が三角形の石刃核母型が作成される。その後、打面調整を行いながら、石刃が剥離される。稜調整によって作出された正面の稜は磨り潰されて「バリ」が除去され、直線的に修正されている。残核の作業面右にはヒンジによる段差が残り、作業面の悪化により遺棄されたと思われる。剥離された石刃長は18～20cm で、稜付石刃・一部の側面付き石刃を除く大部分は欠落し、搬出されている。

分布　Sb－90のK32・33、Ｌ32・33、M32区に分布する。北東の斜面方向に間延びした分布で、高密度のＬ・M32区、やや散漫なK33区に分布状態が分けられるが、これらには段階・内容による違いは見られない。

母岩別資料700・接合資料3218（図Ⅲ－214・215、図版167）

母岩別資料は接合3218の他、接合3219、剥片５点で構成され、総点数47点、総重量6,043.5g である。

素材　40点（30個体）が接合し、重量は5916.0g、大きさは26×22×16cm である。一部平滑な古い剥離面を持つ、爪状痕のある転礫素材で、原石ないし、それに近い状態で搬入される。

剥離工程　下面からの裏面調整（段階１）、正面から左側面への稜調整（段階２）→正面から右側面への稜調整（段階３）→正面から左側面への稜調整（段階４）→正面から左側面への稜調整（段階５）→正面から右側面への稜調整（段階６）→正面から左側面への稜調整（段階７）、正面から上面への

剥離（段階８）、左側面からの裏面調整（段階９）、裏面からの右側面調整（段階10）の後に、上設打面調整（段階11）⇔上設打面からの石刃剥離（段階12）が行われる。

側面形が円形に近く、断面形が直角三角形に近い原石を素材として、交互剥離によって正面の稜調整（段階２～７）が行われた後、裏面調整・側面調整によって断面形がいびつな五角形の石刃核母型が作成される。その後、打面調整を伴って石刃が剥離される。最終剥離は打面調整で、節理面の露出等によって良好な打面調整が困難であるため遺棄されたと考えられる。

剥離された石刃長は18cm 程度で、最終段階の石刃を除いて欠落し、搬出されている。

分布　Sb－90のK32・33、L32・33、M32、Sb－92のM32区に分布する。全体的に散漫な分布であるが、１か所のまとまりとみなすことができる。

母岩別資料689・接合資料3187（図Ⅲ－216・217、図版168）

母岩別資料は接合3187の他、接合3188～3193・56604～56609、縦長剥片１点、石刃６点、剥片21点で構成され、総点数199点、総重量5,027.2g である。

素材　120点（70個体）が接合し、重量は3,266.4g、大きさは38×18×17cm である。爪状痕のある転礫素材で、原石ないし原石に近い形状で搬入される。

剥離工程　裏面からの右側面調整（段階１）⇔右側面からの裏面調整（段階２）→左側面からの裏面調整（段階３）⇔裏面からの左側面調整（段階４）、正面から左側面への稜調整（段階５）⇔正面から右側面への稜調整（段階６）→裏面からの左側面調整（段階７）⇔正面から左側面への稜調整（段階８）→右側面からの裏面調整（段階９）→裏面からの右側面調整（段階10）の後に、裏面から右側面への作業面下部調整（段階11）⇔上設打面からの石刃剥離（段階12）⇔上設打面調整（段階13）⇔左側面下部調整（段階14）が行われる。

長さ40cm 程度の側面形が楕円形、正面形が長楕円形、断面形が隅丸三角形の原石を素材として、裏面と左右側面との角､正面稜の角､の３つの角を中心にそれぞれ交互剥離による石核調整が行われ、側面形がラグビーボールに近い断面三角形の石刃核母型が作成される。石刃は打面調整を行いながら剥離されるが、ヒンジによる作業面下部形状の悪化に伴って、途中で作業面下部調整が行われる。石刃核は、初めは高さ36cm であるが、最後は24cm まで減少している。

剥離される石刃は18cm 以上で、稜付石刃を含む初期の石刃以外はほとんどが欠落し、搬出されている。

分布　Sb－90のJ31～33、K31・32、Sb－94のJ31区に分布する。１か所にまとまった比較的高密度な分布である。

母岩別資料702・接合資料3222（図Ⅲ－514、図版403）

母岩別資料は接合3222のみである。

素材　22点（10個体）が接合し、重量は845.8g、大きさは30×11×８cm である。平滑な原礫面を持ち、角がやや潰れた角礫素材で、粗加工された状態で搬入されたと思われる。

剥離工程　正面から左側面への稜形成（段階１）後、上設打面からの石刃剥離（段階２）が行われる。

原石の形態、石刃核母型形状は不明である。正面には稜調整によって鋭角の角が作成され、その稜部は磨り潰しによって「バリ」が除去され、正面観が直線的に、側面観が滑らかな弧状に仕上げられる。石刃剥離は打面調整を伴って行われ、長さ20cm 程度の石刃が剥離される。遺跡には稜付石刃を含む初期の石刃が遺棄されているが、２本目の稜付石刃（断面三角形で厚手である）と初期段階の石刃（断面台形で厚手である）を素材として、それぞれ図Ⅲ－118－63、図Ⅲ－118－62の掻器が作られる。これらには、さほど素材の長さの減少が見られず、刃部再生の頻度は低い。

分布　Sb－86のM35・36、Sb－90のK32、L32区、の２か所に分かれて分布し、Sb－86には掻器２点と石刃１点が、Sb－90にはそれ以外の石核調整剥片・石刃が分布する。Sb－86の掻器・石刃は、剥離工程上連続するものでは無く、途中の石刃１点がSb－90に分布していることから、素材として抜き出されてSb－86に搬入されたものと考えられる。

写真のみ掲載の接合資料

母岩別資料687・接合資料3172（図版160下）は、尖頭器調整剥片の接合資料である。平滑な原礫面を持つ角礫素材で、25cm程度の原石ないし原石に近い形状で搬入されている。最初は縁辺から内側に打点のある打面の大きい粗い剥離による加工が行われるが、途中から打面の小さい調整剥片が剥離される。最終的に長さ25cm程度、幅10cm程度の表面が滑らかで整った形状の尖頭器で搬出される。全てSb－90に１か所に集中して分布する。

母岩別資料682・接合資料3154（図版166－２）は、尖頭器調整剥片の接合資料である。平滑な原礫面を持つ角礫素材で、33cmを超える原石ないし原石に近い形状で搬入されている。最初は縁辺から内側に打点のある打面の大きい粗い剥離による加工が行われるが、途中から打面の小さい調整剥片が剥離される。中央縦に節理面があり、左右からの剥離がその面で止まっているが、均等に加工することで表面に段差は生じていない。最終的に長さ30cm程度、幅12cm程度の非常に薄い尖頭器が搬出されている。ほとんどがSb－90に１か所に集中して分布し、連続して一部Sb－94に分布する。

母岩別資料714・接合資料3250（図版169）は、平滑な原礫面を持つ、角が潰れた亜角礫を素材として、長さ31cm、正面に粗い稜調整のある状態で搬入されている。側面形が三角形、正面形が長方形、断面形が五角形の原石を利用して、正面から両側面への稜調整、裏面から左側面への石核調整によって石刃核母型が作成されるが、H区の他の石刃剥離接合資料に比べ石核調整の度合いが少ない。その後、打面調整を行いながら石刃が剥離されるが、作業面右にヒンジによる段差が生じ、剥離作業は終了している。石刃剥離の頻度は少なく、ほとんど搬出されていない。全てSb－90に分布し、１か所にやや散漫に分布している。

母岩別資料694・接合資料3203（図版170下・171上）は、原礫面が残存せず、原石形状は不明で、石刃核母型で搬入された可能性がある。石刃核母型は正面から左右側面への稜調整、左右側面からの裏面調整、裏面からの左右側面調整によって断面三角形に整形される。打面調整を行いながら石刃が剥離されるが、最終的に石刃核は中央の節理面で折損している。石刃は20cm以上のものが剥離され、一部が搬出されている。全てSb－90に分布し、１か所に高密度に分布する。

母岩別資料701・接合資料3220（図版171下）は、爪状痕のある扁平な転礫素材で、21cm以上、右側縁からの石核調整が行われた状態で搬入されている。接合資料には右側縁から正面・裏面への石核調整、左側縁から裏面への石核調整が残り、断面楕円形の母型が作出されたと見られる。石刃は正面～左側面で頭部調整を伴って剥離され、その長さは15～20cmである。その内の１点である図版171－Ⅲ－119－72は掻器に加工されるが、末端部に軽微な加工による刃部が作出され、刃部再生頻度も低い。石刃核の正面左には最終剥離のヒンジによる段差が見られ、作業面形状の悪化に伴い、遺棄されたものと思われる。石刃は中央から左側面で剥離されたものが欠落し、搬出されている。Sb－90に散漫ではあるが一つのまとまりとして分布し、掻器のみ離れてSb－82に分布する。Sb－90の分布は内容で隣接する二つに分けられ、L31区には石核調整剥片が、L32区には石刃剥離段階のものが分布する。

母岩別資料703・接合資料3227（図版172）は、爪状痕のある扁平な転礫を素材として、長さ30cm、

原石ないし原石に近い形状で搬入されている。最初は正面左右から交互剥離による粗い稜調整が下から上へ向かって行われ、その後はやや細かい剥離で石核調整が行われる。両面調整体に近い形状の幅の狭い石刃核母型が製作される。裏面から右側面上部の調整後に打面が作出され、打面調整を伴う石刃剥離が行われる。剥離される石刃は25cm を超える大型品で、稜付石刃（図版172－11）や初期の石刃（図版172－25）以外は出土していない。全てがSb－90ないしその隣接するブロックに分布するが、大きくＬ32区とＫ32・Ｌ31区の２か所に分けられ、前者には２個体の石刃・一部の剥片が、後者には残りの大部分が分布する。

母岩別資料710・接合資料3239（図版170上）は、爪状痕のある扁平な転礫を素材として、長さ24cm、１枚の粗い剥離面のある状態で搬入されている。大型の剥離面を打面として正面上部で連続した粗い剥離が行われるが、何を目的として剥離されたかは不明である。Sb－90の北端部の狭い範囲に高密度に分布している。（鈴木宏行）

（９）Ⅰ区・石器ブロック91～96（Sb－91～96）の石器

出土石器（表Ⅲ－９・10）

尖頭器202点（Ⅰ類143点、Ⅱ類18点、Ⅲ類41点）、尖頭器削片60点、両面調整石器11点、ナイフ形石器44点、彫器57点（Ⅰ類14点、Ⅱ類23点、Ⅲ類20点）、彫器削片23点（Ⅰ類１点、Ⅱ類１点、Ⅲ類21点）、掻器54点、削器125点、錐形石器11点、舟底形石器113点（Ⅰａ類12点、Ⅱａ類91点、Ⅱｂ類８点、Ⅱｃ類２点）、二次加工ある剥片110点、石刃821点、縦長剥片876点、石刃核56点、石核57点、剥片48,712点、斧形石器１点、原石19点、台石１点の計51,353点、重量432,696.7g の石器類が出土した。石材は黒曜石４が42.８％で最も多く、黒曜石１（38.７％）、黒曜石３（7.９％）、黒曜石２（5.７％）が続き、以下黒曜石５（4.8％）、安山岩（0.03％）、頁岩（0.02％）、珪岩（0.002％）である。上白滝８遺跡全体で点取り遺物点数が最多の区域である。遺物は非常に広範囲に連続して分布し、その中に小型舟底形石器石器群、大型尖頭器・大型舟底形石器石器群、幅広有舌尖頭器石器群、広郷型ナイフ形石器石器群などが含まれており、石器・石材組成は複数の石器群を含んでいる。

尖頭器（図Ⅲ－218－１～図Ⅲ－230－59、図版173～182、図版198－413・414）

117点（58個体とⅡ層出土１個体を加えた59個体）を図示し、４点（１個体とⅠ層出土１個体を加えた２個体）を写真のみ掲載している。

１～21は幅広のⅢ類で、11～21は未成品と思われるものである。１・２は、舌部が中央付近に位置するもので、先端角が約90度と鋭くは尖らない。かえしは両側縁とも明瞭に作出される。３～７は舌部が器体の基部側３分の１に位置するもので、細長く先端が尖るタイプである。３・４は両側縁、５・６は片側縁に明瞭なかえしが作出される。７の基部は、右側縁はやや内湾し、左側縁は直線的である。８・９は幅広のもので、８は石核素材、９は剥片素材である。両者ともかえしが明瞭に作り出される。10は小型のもので、右側縁に明瞭なかえしが作出される。基部左側縁は直線的であるが、①左側縁全体には裏面からの急角度の加工が見られこと、②それらに切られる裏面の加工の打点が石器の左側縁より大きく外側であったことが想定されることから、本来左右ともかえしがあり、対称形であったものが再加工によってこのような形態に変化したものと考えられる。産地分析結果が十勝産であり、左側縁の加工とその他の平坦加工面で表面状態の違い（多段階表面変化）が見られることもこのような技術的履歴を補強するものである。11～21は未成品で、11～14・20は剥片素材、15～19は尖頭器調整剥片素材、21は石刃素材である。加工の初期段階と思われるものでも身部と区別した舌部の加工が行われ、特に19～21は舌部の作出が独立して行われる。尖頭器調整剥片素材のものは、石核素材尖頭器

の加工の際に特徴的に剥離される斜軸剥片の形態的特徴を利用して２辺の接する尖頭部を尖頭器の尖頭部に設定している。18は折損後、再加工が行われるが、その他にも折れ面が側縁に残るものが多く、基部の作出ないし全体の整形に折り取りが行われた可能性がある。加工は平坦剥離によるものが多く、２・５・10は中央の平坦面と縁辺のやや角度のある加工面で構成されている。前述したように角度のある加工面を再加工によるものとすると、３～７の細長い尖頭状のものから１・２の短いものへと形態が変化した可能性が考えられる。未成品の加工は比較的粗く、縁辺は直線的ではないが、完成品に近いものは直線的で滑らかである。産地分析結果（技術形態学的特徴と産地の関係性、同一地域内における地点の異なる白滝18遺跡（未報告）との利用石材の遺跡間変異の実態解明を目的として掲載単品資料全てを対象に行った）では、１・13がケショマップ、２が所山、10が十勝、３・７・８・20・21が八号沢、４～６・９・11・12・15～19が赤石山産であった。安山岩製の14を含めて石材は多様で、他産地の黒曜石、安山岩、通常利用される頻度の少ないなし肌である黒曜石２（産地分析では八号沢産）が利用される。舌部が中央に位置する小型の完形品は全て白滝以外の産地で、未成品については１点を除き、白滝産（赤石山・八号沢産）の黒曜石が利用される。また、白滝産のものはほとんどが母岩別資料に含まれ、遺跡内で製作される一方、他産地のものは完形品で搬入され、未成品であるケショマップ産の13は素材ないし、未成品で搬入されるものがあった可能性を示している。11・13・14・20に残存する原礫面は、全て転礫面で転礫が主に利用されたと思われる。

22～48は舌部・削片剥離痕のない尖頭器Ⅰ類である。22・23は非常に細長い細かい加工のもので、22は押圧と見られる交互剥離状の加工が施される。24～26は半月形のもので、24はやや粗く厚手で、Sb－88・89出土の尖頭器と類似する。25・26の形態は酷似し、平坦剥離によって表面・側縁共に滑らかな形状で、25は剥片素材である。27は比較的細かい加工の小型のもので、28・29はそれぞれ剥片・縦長剥片を素材として部分的な加工の段階で折損している未成品である。30・31は同一母岩で棒状原石を素材として粗い加工が行われ、折損の度に再加工が行われる。32は平坦剥離によって薄く加工され、最終的に縁辺に押圧と見られる平行剥離に近い細かい加工が施される。また、折損後、上部破片の折れ面付近で微細な加工が行われる。33は平坦剥離によって加工され、比較的厚みのあるもの。34は頁岩製で、中央部には平坦剥離が、縁辺部には押圧と思われる平行剥離が見られる。平行剥離は交互剥離状に裏面の稜を加圧するため、縁辺の側面形はギザギザとした形状である。両側縁が平行する細長い形状で、両端部には錐状の突出部が作り出される。36・37は平坦剥離で薄く加工され、縁辺部には細かい剥離が行われる表面が滑らかな20cm 程度の尖頭器である。両者とも折損し、側縁の折れ面付近、正面の折れ面付近で再加工が行われる。38は平坦剥離で薄く加工されているが、表面は波打ち、滑らかではない。35・39～41は平坦剥離面で覆われる20～30cm の大型品で、41は折損後、縁辺部に角度のある粗い加工が行われる。42は厚手の折損品で、43～46は幅広の尖頭器である。43・44は表面が比較的滑らかで整った形状である。45は折損後、上部破片の折れ面付近に再加工が行われる。47・48はそれぞれ長さ29.4cm、34.4cm の両端部が尖る大型品である。47の下部には放射状の折れが認められ、両者とも直径1.5cm 大の球顆を含み、黒曜石３が利用される。これらの特徴はＢ区の大型尖頭器に類似している。原礫面は、28には転礫面が、30・31・35・45・47・48には角礫面が残り、剥片素材には転礫が、20cm を超える大型の石核素材には角礫が利用されていたと考えられる。

49～59は尖頭器の縁辺で削片が剥離される尖頭器Ⅱ類である。49は尖頭器折損後、折れ面から削片剥離が行われる。50は尖頭器折損後、下端部から右側縁に剥離が行われた後、折れ面から左側縁に削片が剥離され、正面では折れ面・右側縁から細かい剥離が行われる。51は尖頭器折損後、折れ面から正面に削片が剥離され、さらに正面下端部では右側面から加工が行われる。52～56は左右側縁に交叉

する削片剥離面のあるもので、52・53は上端から左側縁への剥離面を打面として右側縁に交叉する削片剥離が行われる。54は左側面に折れ面が残り、尖頭器折損後、上端から左側縁への剥離面を打面として右側縁で削片が剥離される。また、左側縁には下端からの剥離も見られる。全て最終剥離面の末端部形状がヒンジになって、削片剥離作業は終了している。厚さは10～15mmのものが多く、剥離された削片の両側縁は平行である。55・56は尖頭器Ⅱ類が中央の折れ面で接合した資料である。55は尖頭器折損後、上部破片では右側縁のみ、下部破片では下端から右側縁に剥離が行われた後、折れ面から左側縁に剥離が行われる。56は尖頭器折損後、上部破片では折れ面から左側縁への削片剥離後、その末端部から右側縁で削片剥離が行われ、下部破片では下端部から左側縁への削片剥離後、折れ面から右側縁で削片が剥離される。57は折損後、折れ面から右側縁への剥離→下端部から右側縁への剥離→折れ面から左側縁への剥離が行われる。57は49～56に比べ厚さが24mmと厚手で、剥離される削片も幅広である。また、左側縁の剥離には他のⅡ類には見られない頭部調整が行われている。49～57は全て黒曜石4である。58・59は折損後、折れ面から正面に剥離が行われるもので同一接合資料に含まれる。黒曜石1が利用される点・正面側で剥離が行われる点で49～56と区別される。

図版198－413・414は写真のみ掲載のものである。413はⅢ類の未成品である。剥片素材で左側縁・右側縁下部は平坦剥離によって菱形に近い形状に整形されている。基部両側縁はやや内湾している。左側縁上部には先端部からの樋状剥離痕があり、上部にはその剥離痕を切る加工が見られる。右側縁上部は簡単な加工が行われるのみでやや湾曲した素材形状を残す。414は尖頭器Ⅱ類である。上部の折れ面から右側縁、左側縁下部に樋状の剥離が行われ、下端部には尖頭器の縁辺が残る。

尖頭器削片（図Ⅲ－230－60～73、図版182、図版198－415～418）

20点（14個体）を図示し、5点（4個体）を写真のみ掲載している。60～62・図版198－415～417は尖頭器の縁辺から剥離された断面三角形の一次削片である。60・61の末端部には下端から反対側縁への削片剥離痕が残る。63～66は正面に尖頭器の折れ面が残るもので、先行の削片剥離痕がある65以外は折れ面で剥離された一次削片である。折れ面で剥離されるものは左右に傾くものが多く、66の断面は三角形である。67～73は尖頭器の縁辺や折れ面の残らない二次削片で、断面三角形の67以外は断面四角形である。下端部を取り込むウートラパッセにより反りを持つものが多く、68～70のような直線的なものは末端部がヒンジになる特徴がある。全て長さ10cm以下で、幅は1.3cm前後のものが多い。

両面調整石器（図Ⅲ－231－74～図Ⅲ－232－77、図版183）

5点（4個体）を図示している。75は折損した尖頭器Ⅲ類の基部側の破片が再加工されたたものと思われる。上部の折損後、折れ面付近が背面への急角度の加工で斜めに断ち切られている。全体的に表面に傷が多く、稜が摩滅しているが、上縁の加工にはそれらが見られず多段階表面変化が確認される。76は剥片素材の厚い末端部に粗い平坦な加工が行われている。74・77は角礫の石核素材で、74は非常に粗い剥離が行われ、77は両面とも粗い平坦剥離が行われ、最終剥離である正面下端からの剥離で折損している。尖頭器製作の初期段階と考えられ、選択される利用石材の特徴を示している。

ナイフ形石器（図Ⅲ－233－78～図Ⅲ－234－98、図版184）

27点（21個体）を図示している。78～84は剥片・石刃素材で、柿の種子のような形状の6cm以下の小型品である。78～80は残された素材縁辺と側縁加工による角がある左右非対称形、81～84は左右対称形である。85は半月形に近い不定形で、ナイフ形石器の先端部を取り込んだ側面調整剥片素材である。86～93は石刃素材の細長いタイプであるが、大きさで6cm以下の小型品である86～88と8cm以上の大型品である89～93に分けられ、前者の大きさは78～84と連続的である。二次加工の頻度は小型品が高く、背面先端側は片側縁の一部のみ加工される83・86・88を除いて、片側縁全体と片側縁の

一部に施される。また、基部は背面・腹面とも全ての石器に平坦剥離により円形に加工される。一方、大型品の二次加工は89を除いて限定的である。84は背面片側縁全体、基部の両面に加工のある大型品が左側縁からの加工により折損した後、背面の折れ面周辺、特に右側縁を中心に再加工される。腹面に加工が行われないが、小型品へと形態変化している。大小の違いは素材の大きさの違いもあるが、小型品の加工頻度が高く変形度が高いこと、折損後の再加工が見られることから大型品から小型品に形態変化した可能性がある。78・82～84・86・89は素材先端側、79～81・87・88・90～93は素材打面側が基部に設定される。

94～98は折損品で、94・95は先端部破片、96～98は基部破片である。94・95の先端部は斜めに断ち切られ、96・97は背面基部に、98は両面に平坦剥離が行われる。

石材は黒曜石１が主体的で黒曜石３～５が一部利用される。

彫器（図Ⅲ－234－99～図Ⅲ－236－148、図版184～186）

53点（48個体とⅠ層出土１個体とⅡ層出土１個体を加えた50個体）を図示している。

99～111はⅠ類、112～132はⅡ類である。99～104、112～118は周縁加工が背面のみに、105～110、119～132は両面に施され、後者の方が厚手である。周縁加工は、背面側は急角度の、腹面側は平坦な加工によって行われ、その分布は、背面側はほぼ全周に見られるのに対して、腹面側は部分的なものから面的なものまで変異が大きい。

111は側面調整の行われない大型品で、素材は他の石刃と異なり石刃核の縁を潰すような頭部調整は見られない。112は彫刀面の反対の端部に錐状の尖頭部が作出される。117・122・123はⅠ類の彫刀面がⅡ類の彫刀面に切られ、Ⅰ類→Ⅱ類の変化が確認できる。131・132は彫刀面が縁辺に沿って作出され、尖頭状になるもので、131は頁岩製、132の加工は広郷型ナイフ形石器に似る。

133～147はⅢ類である。133は調整打面から左側縁に削片剥離が行われる。134～138は厚手の剥片・石刃素材でノッチ状の厚形の調整打面から彫刀面打撃が行われる。134の背面側には彫刀面からの加工が見られる。135は上下に彫刀面打面が作出され、左側縁には上面からの、右側面には上下からの彫刀面が見られる。136は石刃素材であるが、素材打面に頭部調整は行われない。138は上面の折れ面から左右側面への彫刀面打撃の後、下設打面から右側面へ彫刀面剥離が行われる。139～146は彫刀面を打面として彫刀面打撃が行われる双面彫器である。139は下縁腹面の調整打面から右側縁へ削片が剥離された後、その末端部から左側縁に彫刀面剥離が行われ、さらに左側縁下部の剥離面を打面として裏面下端で削片が剥離される。140は左側縁の彫刀面を打面として右側縁で削片剥離が行われる。141は安山岩製で左側縁の彫刀面を打面として右側縁で彫刀面が作出される。142は上面の彫刀面を打面として右側縁で彫刀面が作出される。143は四角形で全ての辺で削片が剥離されており、上面と右側面、下面と左側面でそれぞれ打面を入れ替えて彫刀面剥離が行われる。

144は上部の交叉状の彫刀面作出後、下部の折れ面から左側縁で彫刀面剥離が行われる。145は上下両端での交叉状の彫刀面作出後、中央の折れ面から上部破片左側縁に彫刀面が作出される。146は上面・右側面での交叉状の彫刀面剥離後、下部が粗い剥離で錐状に加工される。147は左肩の折れ面から正面へ彫刀面剥離が行われる。148は背面周縁と腹面基部側が平坦剥離で加工され、中央での折損後、左右両側縁で削片剥離が行われる。Ⅲ類の特徴として、①彫刀面が石器の長軸に対して平行ないし垂直に作出されるものが多いこと、②彫刀面打面はやや粗い厚手の調整打面・折れ面・彫刀面であること、が挙げられる。また、周縁加工は無いものが多いが、138・140・142にはやや粗い、139・144・148には平坦な加工が見られる。

利用される石材はⅠ・Ⅱ類とⅢ類で異なり、Ⅰ・Ⅱ類は黒曜石１が60～65％、黒曜石４・５合わせ

て35％程度、Ⅲ類は黒曜石１が90％を占める。素材も同様で、Ⅰ・Ⅱ類は頭部調整のある単剥離打面の石刃がほとんどである一方、Ⅲ類は一部石刃が利用されるが剥片が多い。

彫刀面はⅠ・Ⅱ類は全て左肩に、ほとんどが素材先端側に作出されるが、Ⅲ類は多様である。背面先端部調整はⅠ類にはほとんど見られないが、ほとんどのⅡ類には認められ、その３分の２は打点が無く、彫刀面に切られている。明確な多段階表面変化は確認できない。

彫器削片（図Ⅲ－237－149～161、図版186）

13点（６個体とⅡ層出土７個体を加えた13個体）を図示している。149はⅡ類の一次削片で、一次削片剥離段階から本体の彫器はⅡ類の特徴を備えていたことがわかる。150はⅠ類の二次削片、151～154はⅡ類の二次削片である。151は頁岩製で、150・152～154には打点のある背面先端部調整が見られる。155～161・図版198－418はⅢ類の彫器削片である。155～157・図版198－418は縁辺部加工の残る一次削片で、155の加工は素材剥離前の調整の可能性もある。157の右側面の下端部にはノッチ状の加工が見られ、左側面にはその面を打面とした彫刀面が残る。図版198－418の縁辺には粗い加工が見られる。158は本体の折れ面が背面に残る一次削片に近い二次削片である。159～161は縁辺部加工の無い削片で、159・160は一次削片、161は安山岩製の二次削片である。

掻器（図Ⅲ－237－162～図Ⅲ－239－202、図版186～188）

48点（36個体とⅠ層出土５個体を加えた41個体）を図示している。162～188は石刃素材で急角度の側縁調整が行われるものである。刃部は直線的なものが多く、素材打面は頭部調整のある平坦打面が多い。177は側縁加工が平坦で刃部は円形である。189～196は石刃素材で側縁調整がほとんど無いもので、189～191は細長く、192～196は相対的に幅広で背面中央に１本の稜線のある薄い素材のものである。前者の素材打面は頭部調整のある単剥離打面で、後者は調整打面が多い。また、刃部形状は前者が直線的であるのに対して、後者は円形に近い。195の左側縁には上端の折れ面からの彫刀面が見られ、さらに、上部破片の折損後、折れ面から右側縁に彫刀面が作出される。197～199は厚手のもので、197は側縁調整・正面の稜からの加工・腹面基部の平坦加工により基部側が細く断面三角形に整形されている。198は側縁調整と背面中央の稜からの加工により断面三角形に整形される。199は調整打面の稜付石刃素材で、断面三角形の素材が利用される。200は大型の石刃素材で背面全面の平行剥離によって加工される。201は安山岩製で、先端部に粗い加工で直線的な刃部が作出される。折損後、上部破片の左側縁において折れ面から彫刀面打撃が行われる。202は薄手の剥片素材、縁辺に平坦剥離による加工が行われる。先端部が欠損しているため刃部形状は不明であるが右下部に残る刃部形状から直線的であった可能性が高い。

175は傷が多い素材面と傷の無い加工面の間で多段階表面変化が確認できる。これは、素材剥離と二次加工の時間的隔絶を示し、具体的には素材剥離後、素材の運搬を経て消費地で二次加工が行われたという石器の履歴を示すもので、所山産という産地分析結果もそれを裏付けている。200は表面全体に非常に傷が多い。178・184・185の表面全体は白く変色し、被熱によるものと思われる。本地区の掻器には刃部周辺にパンチ痕の見られるものは無い。

錐形石器（図Ⅲ－240－203～206、図版188）

６点（４個体）を図示している。203は頭部調整のある単剥離打面を持つ石刃素材で側縁全体の加工により先端が細長く加工される。204～206は刃部のみ加工が行われ、端部にノッチ状の加工によって刃部が作出される。204は幅広の石刃素材、205は原礫面の残る剥片素材、206は頭部調整の無い原礫面打面を持つ幅広の剥片素材である。

削器（図Ⅲ－240－207～図Ⅲ－242－236、図Ⅲ－513－５・６、図版188～190･402、図版198－419～427）

44点（32個体）を図示し、13点（８個体とⅠ層出土１個体を加えた９個体）を写真のみ掲載している。207は全周に加工が施され、左肩部は斜めに切り取られ、彫器の母型と思われる。208～217・図Ⅲ－513－５・６は縁辺に限定される比較的細かい加工が行われ、縁辺が滑らかなものである。208～216・図Ⅲ－513－５・６は石刃素材、217は剥片素材で、214～216は欠損品である。208は腹面に平坦剥離による加工が行われ、207同様、彫器母型の可能性がある。212は先端部折損後、再加工が行われる。素材石刃は小型舟底形石器に伴う頭部調整のある単剥離打面が多い。図Ⅲ－513－５・６は産地分析の結果、ともに所山産であったが、図Ⅲ－513－６の表面には傷が多く、図Ⅲ－513－５の表面には明瞭な傷は確認されなかった。218・219は石刃素材で、細かい剥離で加工されるが縁辺が滑らかではなく、軽い鋸歯状で、219は腹面打面側に加工がある。220～222は大型石刃素材で、220の背面両側縁には不連続な平坦加工が、221・222は両面に粗い平坦加工が行われる。223は頁岩製で、右側縁は急角度の、左側縁は斜角の加工で直線的に、上下は急角度の加工で斜めに断ち切られている。224は石刃素材で、右側縁には連続的な急角度の加工が行われる。225は剥片素材で、下端部は平坦剥離によって尖頭状に整形される。226は剥片素材で、左側縁がやや細かい剥離で直線的に、右側縁が斜角の加工で弧状に加工されるが、素材面・左側縁の加工と右側縁の加工に多段階表面変化が確認できる。227は大型剥片素材で、大型の平坦剥離と縁辺部の細かい加工が行われる。228～230は剥片素材で、粗い平坦剥離で加工される。231～236は厚手の剥片ないし縦長剥片素材で、舟底形石器の加工に類似した粗い加工が行われ、舟底形石器の未成品の可能性がある。

図版198－419～427は写真のみ掲載のものである。419～421は石刃素材で、縁辺に限定される細かい急角度の加工が行われ、422は剥片素材で、縁辺に細かい加工が施される。423は打面の大きい縦長剥片素材で、右側縁の背面先端部・腹面縁辺に加工が行われる。424は頁岩製の頭部調整のある良形の石刃素材で、左側縁には細かい加工が、右側縁には平坦な加工が施される。425は頁岩製の幅広剥片素材で、器体中央に及ぶ平坦剥離が行われる。426は安山岩製の剥片素材で、左側縁に平坦剥離による加工が行われる。427は剥片素材で右側縁に比較的粗い加工が行われる。

舟底形石器（図Ⅲ－243－237～図Ⅲ－248－282、図版190～192、図版199－428～446）

61点（42個体とⅠ層出土１個体とⅡ層出土３個体を加えた46個体）を図示し、30点（16個体とⅠ層出土１個体とⅡ層出土２個体を加えた19個体）を写真のみ掲載している。237～249はⅠａ類で、247～249は折損品である。細石刃状の剥離は、237は両端に、238～245は一端に見られ、246には見られない。また、その位置は、238・239・241・243・245は素材先端側、240・242・244は素材打面側である。245～247の側面には甲板面に切られる素材剥離面が残り、それらは尖頭器の調整剥離面と見られることから尖頭器削片素材と考えられる。245の甲板面は246・247と異なりネガ面であるため、素材は尖頭器の二次削片ないし尖頭器Ⅱ類である。被熱しているものが多く、239・241・243・244・248は被熱により表面の光沢が減少している。

250～278はⅡａ類で、251・255・261・267は石核素材、それ以外は剥片素材である。250～264は左右両面に甲板面の状態からのみ加工が行われるもので、260～263は欠損品。265～272は甲板面からの加工以外に下縁からの加工のあるもので、265～269は高さがあり、下縁部の側面形が弧状で比較的厚手の素材が利用されている。他のⅡａ類に比べ、整った形状である。270～272は細長い形状で前者に比べ薄手の素材である。273～278は片側面のみ加工が行われるもので、276～278は折損品。252は被熱により変色している。

279・281・282はⅡｂ類である。279の甲板面はリングが密な平坦面で、大型剥片素材である。280はⅡｃ類で甲板面が原礫面である。Ⅱｂ・ｃ類は、上下から加工が行われ、側縁・下縁部は細かい剥

離で整形されるのが特徴である。282は甲板面の状態から大型剥片素材と思われる。

図版199－428～446は写真のみ掲載のものである。428～431はⅠａ類の折損品で、428・429の端部には細石刃状の剥離痕が残る。430には素材の単剥離打面が残存し、他の３点と異なり、ほとんどが甲板面からの加工で整形され、高さの低い断面形である。432は石核素材のⅡａ類で、右側面縁辺は細かい加工により滑らかになっている。加工は甲板面からのみである。433～446は剥片素材のⅡａ類で、433～439は両側面に甲板面からのみ加工が行われるもので、437～439は折損品。440・441は下縁からも加工が行われるもので、前者に比べ幅が狭い。442～446は片側面にのみ加工が見られるもので全て甲板面からのみの加工である。434・436～438・442・443は被熱により変色している。

石材はⅠａ・Ⅱａ類のほとんどに黒曜石４が利用され、Ⅱｂ類には黒曜石１・４・５が利用される。

二次加工ある剥片（図Ⅲ－248－283、図版192）

１点（Ⅰ層出土１個体）を図示している。283は尖頭器削片素材で、左側面下部には腹面・正面から、右側面下部には正面から加工が行われる。尖頭器削片素材の舟底形石器Ⅰ類を作成する初期段階の可能性がある。

石刃（図Ⅲ－248－284～図Ⅲ－249－295、図版193・194）

32点（12個体）を図示している。284～294は頭部調整のある単剥離打面の石刃で、284～291は頭部調整により弧状に整形された打面縁辺近くを加撃されたため打面は小さい。291を除いて長さ８～10cm で、本区の小型舟底形石器に伴う石刃技法から剥離された標準的な大きさである。292～294は頭部調整により直線的に整形された打面縁辺よりやや内側を加撃されたため打面はやや大きい。長さは20cm を超える大型のものがある。これらは広郷型ナイフ形石器に伴う石刃で打面周辺の特徴を示している。295は複剥離打面の石刃で、右側面には下面からの剥離痕が残る。

縦長剥片（図版200－447～449）

５点（３個体）を写真のみ掲載している。図版200－447～449は剥片の縁辺で剥離されたもので、頭部調整は見られないが448には稜調整と見られる右側面からの細かい剥離が残る。

石刃核（図Ⅲ－250－296～図Ⅲ－253－314、図版194～196、図版200－450～図版203－479）

20点（18個体とⅠ層出土１個体を加えた19個体）を図示し、32点（28個体とⅠ層出土２個体を加えた30個体）を写真のみ掲載している。296～314は全て単剥離打面の石刃核である。296・297は裏面に原礫面が残り、石刃剥離が裏面方向に進んでいる。297は打面長軸方向で打面再生が行われ、最後は正面左側で石刃が剥離される。298～303は側面・裏面に原礫面・大型剥離面が残るものである。大型剥離面は初期段階で行われた粗割りによる石核調整と考えられ、その後は裏面方向に石刃剥離が進行している。302は打面・裏面が古い面で構成され、打面に残る複数の剥離面も古く、石刃剥離に伴うものではないため単剥離打面と同質と考えられる。また、明確な頭部調整が見られず、下端部には裏面からの剥離面がある。304～310は作業面が全周を巡る石刃核である。304・305は円錐形で、全周で均質な石刃剥離が行われる。306～308は下縁に直線的な稜の残るもので、主に正面・裏面で石刃が剥離される。309・310は正面・裏面で剥離角が異なり、裏面では直角に近く、正面では60度程度で主に正面で石刃剥離が行われる。311は頭部調整を伴う石刃剥離後、左側面で厚手の縦長剥片を剥離し、さらに裏面で左右から剥離が行われる。裏面での最終剥離は舟底形石器の調整剥離の可能性がある。312は頭部調整を伴う石刃剥離後、頭部調整を伴わない厚手の縦長剥片が連続して剥離される。313は原礫面打面から頭部調整を伴わない厚手の縦長剥片が剥離される。314は簡単な頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。

図版200－450～図版203－479は写真のみ掲載のものである。450～470は単剥離打面の石刃核であ

る。452は頭部調整のある石刃剥離後、打面の大きい厚手の剥片が剥離されている。裏面には、大型の剥離面のみで構成される450・456以外は全て原礫面が残る。465～470は両側面に原礫面ないし素材面があり、作業面幅が限定されるもの。比較的扁平な原石・素材を利用して小口面に作業面が設定される。471・472は原礫面打面、473～476は正面で上下方向の石刃剥離が行われるものである。477～479は正面と正面以外で石刃剥離が行われるもので、477は裏面で右側面から、478は左側面で裏面から、479は上部が欠損しているが表裏両面で上からの石刃剥離が行われる。

石刃核はほとんど全てに頭部調整が見られ、主に７～10cm 程度の石刃が剥離されている。石材は約３分の２が黒曜石４、４分の１が黒曜石１で、黒曜石４は角礫・亜角礫が多く、黒曜石１は転礫がほとんどである。

石核（図Ⅲ－253－315～図Ⅲ－255－329、図版196・197、図版203－480～図版204－491）

19点（12個体とⅠ層出土２個体とⅡ層出土１個体を加えた15個体）を図示し、15点（11個体とⅠ層出土１個体を加えた12個体）を写真のみ掲載している。315は裏面に原礫面が残り、原礫面打面から厚手の剥片が剥離される。315～318は裏面に原礫面・大型剥離面が残り、裏面方向に剥離が進行したもので、315は単設の原礫面打面を持つ石核である。316は上下から剥離が行われ、上面は単剥離打面、下面は複剥離打面である。317・318は、両設の単剥離打面ないしはそれに類する打面を持つ石核で、厚手の剥片が上下から剥離される。319・320は複数面に大型剥離面のある立体的な石核で大型剥片が作業面転移を繰り返しながら連続して剥離されている。321～324は一部に頭部調整を伴う石刃剥離作業面が残り、それを切る大型の剥離面が残る。頭部調整を伴う石刃剥離後、厚手の剥片剥離が行われているが、接合資料において、最終の厚手剥片がしばしば舟底形石器の素材として利用されていることから、これらの石核は石刃核を消費し尽くした最終形態とみなすことができる。325・326は作業面が全周を巡る石核で、325は複剥離打面、326は単剥離打面である。326は頭部調整が顕著で、最終剥離で幅広の剥片が剥離される。327は安山岩製で幅広の小型の剥片が剥離される。328は転礫素材で原礫面を打面として両面で剥離が行われる。329は剥片素材で、腹面縁辺の複剥離打面から背面側で剥離が行われる。

図版203－480～図版204－491は写真のみ掲載のものである。480～483は単剥離打面の石核で、480～482は作業面幅の狭いものでやや厚手の剥片が剥離され、483は幅広の剥片が剥離されている。484～488は多方向の剥離が行われるもので、484は原礫面を打面として左・右・上面の３方向から厚手の剥片が剥離される。485は正面で上下方向の剥離が行われる。486は正面では上下から、裏面下部では左側面から剥離が行われる。487の正面は上下から、裏面は上・右面から剥離が行われる。488は正面で上・右面から剥離が行われる。489～491は剥片素材で、489・490は折れ面を打面として背面側で剥離が行われ、491は両面で剥離が行われる。

石材は黒曜石４が５割程度、黒曜石１が４割程度で、石刃核に比べ黒曜石１の比率が高い。原石形状は石刃核同様、黒曜石４には角礫・亜角礫が多く、黒曜石１には転礫が多い。

剥片（図版204－492）

１点（Ⅱ層出土１個体）を写真のみ掲載している。

492は安山岩製の剥片である。背面には横方向の剥離面、右側面には折れ面があり、折損後に剥離されたものである。

斧形石器（図Ⅲ－255－330、図版197）

１点（１個体）を図示している。330は頁岩製の局部磨製の斧形石器である。上面に幅５mm の平坦面があり、その背面側（正面）に頭部調整状の潰れが見られるため、頭部調整を受けた大型の剥片

素材と考えられる。残存する打面と考えられる平坦面は非常に小さいため判断が困難であるが、原礫面である可能性がある。加工は、正面において裏面から右側縁、左側縁の順で行われた後、右側縁から裏面下部、さらに左側縁から裏面の大部分に行われる。刃部の末端部正面の中央稜上、末端部縁辺に研磨痕があるが、前者は正面下端部からの長軸方向の加工、裏面からの加工に切られ、稜上に残る。また、後者の大部分も剥離に切られているが、正面下端部からの長軸方向の加工を切っており、刃部周辺では剥離による刃部再生と研磨による刃部再生が繰り返されていたと思われる。これらの研磨痕の分布から当初は末端部から２cm 程度の範囲が全面的に研磨されていたと想定される。形態は平坦な裏面と正面の左右側面の三面で構成され、断面形は蒲鉾形に近い三角形である。

原石（図版204－493～498）

10点（６個体）を写真のみ掲載している。図版204－493～498は全て棒状原石である。石材は黒曜石２（なし肌）、長さは８～10cm で特徴がほぼ一致している。これらは遺跡の立地する段丘には含まれず、搬入されたもので、全てＪ30区周辺から出土している。

石器ブロック91～96の分布状況

Sb－91～96は、40～45ラインの小沢（無遺物地帯）によって分けられた西地区の中央やや東寄りに分布している。その中央には巨大なブロック Sb－93・95があり、それらは複数の石器群が複雑に重複している。標高は439.5～445.0m である。

石器ブロック91（Sb－91）の分布（図Ⅲ－256、表Ⅲ－９・10）

Ｇ32～37、Ｈ32～37、Ｉ33～35、Ｊ34・35区の22×12m の範囲で確認されたが、分布は北側の調査範囲外に広がると思われる。尖頭器７点（Ｉ類７点）、彫器１点（Ⅱ類１点）、掻器３点、削器４点、錐形石器１点、舟底形石器６点（Ⅱａ類６点）、石刃32点、縦長剥片20点、石刃核３点、石核２点、剥片1,095点、原石１点の計1,175点、10,249.5g の石器類が出土した。石材は黒曜石４が41.3％を占め、以下黒曜石１（32.5％）、黒曜石３（21.5％）、黒曜石５（4.5％）、頁岩（0.2％）である。非常に小規模な集中域が散漫に分布している。石刃類はＨ33区、石器類はＨ34区周辺に、薄手の尖頭器・舟底形石器はＨ36区周辺にまとまりがある。白滝産以外のトゥールが多く、掻器１点（175）、削器２点（Ⅲ－513－５・６）が所山産、116の彫器は白色の頁岩製である。

石器ブロック92（Sb－92）の分布（図Ⅲ－257、表Ⅲ－９・10）

Ｋ34、Ｌ32～35、Ｍ32～34、Ｎ31～33、Ｏ32・33区の18×６ｍの範囲で確認された。尖頭器３点（Ｉ類１点、Ⅱ類２点）、石刃２点、縦長剥片18点、石核１点、剥片2，879点の計2，903点、17,886.7g の石器類が出土した。石材は黒曜石１が66.1％を占め、以下黒曜石４（28.7％）、黒曜石３（4.9％）、黒曜石５（0.3％）、安山岩（0.03％）である。トゥールが少なく、その中には正面で削片が剥離される尖頭器Ⅱ類が含まれる。分布密度は高い。

石器ブロック93（Sb－93）の分布（図Ⅲ－258～264、表Ⅲ－９・10）

Ｋ30・31、Ｌ29～31、Ｍ29～31、Ｎ28～31、Ｏ27～32、Ｐ27～31、Ｑ25～30、Ｒ25～29、Ｓ25区の41×16m の範囲で確認された。尖頭器81点（Ｉ類44点、Ⅱ類11点、Ⅲ類26点）、尖頭器削片45点、両面調整石器６点、ナイフ形石器３点、彫器37点（Ｉ類13点、Ⅱ類19点、Ⅲ類５点）、彫器削片９点（Ｉ類１点、Ⅱ類１点、Ⅲ類７点）、掻器21点、削器55点、錐形石器７点、舟底形石器68点（Ｉａ類10点、Ⅱａ類58点）、二次加工ある剥片66点、石刃444点、縦長剥片487点、石刃核36点、石核34点、剥片22，735点、原石４点の計24,138点、201,769.8g の石器類が出土した。石材は黒曜石４が57.7％を占め、以下黒曜石１（26.8％）、黒曜石２（7.5％）、黒曜石３（4.3％）、黒曜石５（3.7％）、頁岩（0.03％）、

安山岩（0.03%）である。Sb－95・97と並んで出土量・範囲ともに最大規模のブロックで、隣接するSb－95に連続し、それらを合わせると50×30mの巨大な集中域を形成する。小型舟底形石器石器群・幅広有舌尖頭器石器群が部分的に重複、連続して広い範囲に分布し、特にＰ28区を中心とした小型舟底形石器石器群の密度・規模が大きい。トゥールは全体の点数に応じて多いが、特に尖頭器Ⅲ類が多く、遺跡全体の50%を占める。ブロック全体の石材組成と比べ黒曜石４の比率が高い器種は、尖頭器Ⅱ類（81%）・尖頭器削片（93%）・錐形石器（71%）・舟底形石器（96%）で、黒曜石１の比率が高い器種は、尖頭器Ⅲ類（61%）・彫器（62%）・掻器（67%）で、尖頭器Ⅲ類には黒曜石２（11%）も利用される。黒曜石２は全体でも7.5%を占め、特徴的である。トゥールの分布はＯラインを挟んで南北に大別でき、南側には小型舟底形石器石器群と考えられる尖頭器Ⅱ類、尖頭器削片、彫器Ⅰ・Ⅱ類、掻器、舟底形石器Ⅰａ・Ⅱａ類がO28・29、Ｐ28・29区周辺に分布し、北側には幅広有舌尖頭器石器群である尖頭器Ⅲ類がM29・30区を中心に分布するが、一部南側のＰ28区周辺に分布が伸びる。また、尖頭器Ⅰ類・削器・石核は南側に分布の中心があるが、一部北側にも分布が広がる。

石器ブロック94（Sb－94）の分布（図Ⅲ－265、表Ⅲ－９・10）

Ｇ31・32、Ｈ31・32、Ⅰ31～33、Ｊ30～32区の12×10mの範囲で確認された。彫器削片２点（Ⅲ類２点）、掻器３点、削器１点、舟底形石器11点（Ⅰａ類１点、Ⅱａ類10点）、二次加工ある剥片５点、石刃34点、縦長剥片22点、石刃核１点、石核１点、剥片1,759点、原石５点の計1,844点、19,649.4gの石器類が出土した。石材は黒曜石１が57.2%を占め、以下黒曜石４（33.4%）、黒曜石３（6.9%）、黒曜石２（1.5%）、黒曜石５（1.1%）である。舟底形石器・原石が多く、原石は全て黒曜石２（なし肌）の10cm以下の棒状原石でSb－95のＪ30区を中心とした分布の縁にあたる。分布は１か所の集中域から成り、それは中規模・高密度である。舟底形石器は集中域と分布が重なり、掻器は集中域の外れに位置し、掻器のうちの２点には被熱による白色の変色が認められる。

石器ブロック95（Sb－95）の分布（図Ⅲ－266～271、表Ⅲ－９・10）

Ｇ30・31、Ｈ27～30、Ⅰ26～31、Ｊ25～31、Ｋ25～30、Ｌ24～29、Ｍ24～29、Ｎ24～29、Ｏ24～28、Ｐ23～27、Ｑ23～26、Ｒ24区の50×20mの範囲で確認された。尖頭器106点（Ⅰ類88点、Ⅱ類５点、Ⅲ類13点）、尖頭器削片15点、両面調整石器４点、ナイフ形石器40点、彫器19点（Ⅰ類１点、Ⅱ類３点、Ⅲ類15点）、彫器削片10点（Ⅲ類10点）、掻器26点、削器61点、錐形石器３点、舟底形石器21点（Ⅰａ類１点、Ⅱａ類10点、Ⅱｂ類８点、Ⅱｃ類２点）、二次加工ある剥片35点、石刃285点、縦長剥片307点、石刃核14点、石核16点、剥片18,371点、斧形石器１点、原石９点、台石１点の計19,344点、165,571.2gの石器類が出土した。石材は黒曜石１が48.2%を占め、以下黒曜石４（29.5%）、黒曜石３（9.9%）、黒曜石５（7.6%）、黒曜石２（4.7%）、安山岩（0.03%）、頁岩（0.02%）、珪岩（0.01%）である。Sb－93・97と並んで出土量・範囲ともに最大規模のブロックである。石器組成は舟底形石器Ⅱｂ・ｃ類、ナイフ形石器、斧形石器が含まれるのが特徴である。ブロック全体の石材組成に比べ黒曜石１の比率が高い器種は、ナイフ形石器（58%）、彫器Ⅰ～Ⅲ類（95%）、彫器削片Ⅲ類（90%）、掻器（62%）、削器（69%）、舟底形石器Ⅱｂ類（75%）、石核（69%）、黒曜石４の比率が高い器種は、尖頭器Ⅱ類（100%）、尖頭器削片（87%）、舟底形石器Ⅱａ類（70%）、石刃核（64%）、黒曜石２の比率が高い器種は、尖頭器Ⅲ類（46%）である。石器群の分布は複雑で（この点で大規模原産地白滝の中でも最大規模の遺跡である本遺跡を象徴する出土状況といえる）、小型舟底形石器石器群、大型尖頭器・大型舟底形石器石器群、幅広有舌尖頭器石器群、広郷型ナイフ形石器石器群が完全に重複ないしは一部重複して連続して広い範囲に分布する。なお、Ｎ・Ｏ27区の間の空白部分はＢ調査（試掘）跡である（図Ⅲ－14）。全体の遺物分布は連続したものであるが、トゥールの分布で区切るとほぼＮラインの

南北に分けられる。南側には尖頭器Ⅱ類・尖頭器削片・薄手の尖頭器Ⅰ類・半月形の尖頭器Ⅰ類・ナイフ形石器・彫器・掻器・斧形石器が、北側には大型尖頭器Ⅰ類・尖頭器Ⅲ類・舟底形石器Ⅱｂ・ｃ類が偏在し、削器・石核類は両側に分布する。

詳しく見ると尖頭器Ⅲ類は散漫に分布し、その内３点（１：ケショマップ、２：所山、10：十勝）は白滝産以外の黒曜石が利用されている。尖頭器Ⅱ類・尖頭器削片はＮ26・27区に、薄手の尖頭器Ⅰ類はＯ26・27区に分布の中心があり、両者ともSb－93の同器種の分布に連続する。大型尖頭器Ⅰ類はＬ27・28、M27・28区周辺に分布し、半月形の尖頭器Ⅰ類は他の尖頭器とは異なり、Ｐ25区に分布している。ナイフ形石器はM27・28区からＱ24区まで比較的広い範囲に分布し、彫器Ⅲ類も概ね同じ分布状況であるが、一部Ｊ30区周辺にも分布し、彫器Ⅲ類の２か所の分布は周辺ブロックに分布が連続している。また、ナイフ形石器の１点は東地区の広郷型ナイフ形石器石器群であるSb－61と70mを隔てて接合関係があり、両者の関連が認められる。彫器Ⅰ・Ⅱ類、側面調整が顕著なタイプの掻器、斧形石器は本ブロックの南東縁に集中し、それらは隣接するSb－93の同器種の分布に連続する。側面調整が見られず、刃部が円形に加工される掻器はＱ24・25、Ｏ26区に分布している。削器は平坦剥離による加工が見られるものは広い範囲に分布し、急角度の加工の見られるものはSb－93の境界近くに分布する。舟底形石器はⅡａ類がＫ27・Ｌ26区、本ブロック南東縁に、Ⅱｂ・ｃ類がＬ27・28区に分布する。ブロック南東縁に分布するものはSb－93の同器種に分布が連続し、Ⅱｂ・ｃ類は大型尖頭器Ⅰ類と分布が一致する。石刃核はＬ26、M・Ｎ27区周辺に分布し、単剥離打面の石刃核である。石核はJ29・30区周辺とＯ～Ｒラインの Sb－93寄りに分布し、剥片素材・多方向の剥離面をもつものである。10cm 以下の黒曜石２（なし肌）の棒状原石がＪ30区にまとまって分布する。

以上をまとめると①Ｎ26・27、Ｏ26・27区に薄手の尖頭器Ⅰ類・尖頭器Ⅱ類・尖頭器削片がSb－93に連続して分布し、また、Ｎライン以南のSb－93との境界付近にSb－93に連続して彫器Ⅰ・Ⅱ類、側縁加工のある掻器、急角度の加工のある削器、斧形石器が分布し、Ｌ26区周辺には舟底形石器Ⅱａ類、単剥離打面石刃核が分布する。②大型尖頭器Ⅰ類・舟底形石器Ⅱｂ・ｃ類がＬ27・28区周辺に高密度に分布する。③尖頭器Ⅲ類がＪ29～Ｐ26区にかけて散漫に分布している。④M27・28～Ｑ24区にかけて広郷型ナイフ形石器・彫器Ⅲ類・側縁調整の無い円い刃部の掻器が分布する。また、Ｊ30区周辺には彫器Ⅲ類・棒状原石が分布しているが、どの石器群に帰属するかは不明である。

①は小型舟底形石器石器群、②は大型尖頭器・大型舟底形石器石器群、③は幅広有舌尖頭器石器群、④広郷型ナイフ形石器石器群に相当するが、①と④、③と①②④が重複している。重複関係が見られないのは①と②、②と④のみである。

石器ブロック96（Sb－96）の分布（図Ⅲ－272、表Ⅲ－９・10）

Ｊ24・25、Ｋ24・25、Ｌ23～25、M22～24、Ｎ22～24、Ｏ21～23、Ｐ21～23区 の31×６ｍの 範 囲で確認された。尖頭器５点（Ⅰ類３点、Ⅲ類２点）、両面調整石器１点、ナイフ形石器１点、彫器削片２点（Ⅲ類２点）、掻器１点、削器４点、舟底形石器７点（Ⅱａ類７点）、二次加工ある剥片４点、石刃24点、縦長剥片22点、石刃核２点、石核３点、剥片1,873点の計1,949点、17,570.1g の石器類が出土した。石材は黒曜石１が38.1％を占め、以下黒曜石３（30.9％）、黒曜石４（21.7％）、黒曜石２（9.1％）、黒曜石５（0.2％）、安山岩（0.05％）である。分布は北東方向に伸びる細長い形状で、尖頭器Ⅱ類はMライン以南、舟底形石器・石核類はMライン以北に分布する。ナイフ形石器は南側の外れに位置し、Sb－95のナイフ形石器の分布に連続する。西側のＪ区（Sb－97）に接しているが、接合によるブロック間の結びつきがⅠ区のほうが強いためⅠ区に含めた。

石器ブロック91～96の接合状況（図Ⅲ－273）

全体的には接合資料は各ブロック内の小集中域を単位としてまとまるが、Sb－93・95・96には北東方向の広い範囲（長さ10m を超える）に帯状に分布する接合資料があり、それらが小集中域を連結させ、分布を連続したものにし、巨大なブロックと認定させる原因となっている。また、Sb－95には散漫に広い範囲に分布する接合資料があり、帯状の分布同様、ブロック範囲を広げる原因となっている。ブロック間では90・93、92・93、93・95、93・96、95・96、区域間ではSb－89・93、95・97、61（東地区）・95間の接合資料があり、特にSb－95と東地区のSb－61間で接合する母岩933・接合4061は、東地区のSb－61の広郷型ナイフ形石器石器群と本地区の同石器群との関連を示すものである。

母岩別資料・接合資料

51,353点中18,160点を313母岩に母岩分類し、2,063個体（母岩別資料内1,223個体）の接合資料が得られた。そのうち母岩別資料66母岩、非母岩別接合資料２個体を図示し、母岩別資料66母岩、非母岩別接合資料３個体を写真のみ掲載している。

母岩別資料740・接合資料3358（図Ⅲ－274～276、図版205）

母岩別資料は接合3358の他、接合3359～3361・56685～56691で構成され、総点数189点、総重量2,236.9g である。

素材　161点（62個体）が接合し、重量は2,126.2g、大きさは28×16×11cm である。平滑な原礫面を持ち、角がやや潰れた亜角礫を素材として原石の状態で搬入されている。

剥離工程　左側面から裏面への剥離（段階１）→裏面から左側面への剥離（段階２）→右側面から正面への剥離（段階３）⇔左側面から正面への剥離（段階４）⇔右側面から裏面への剥離（段階５）、上面から正面への剥離（段階６）⇔左側面から正面への剥離（段階７）→左側面から裏面への剥離（段階８）→右側面から裏面への剥離（段階９）→左側面から裏面への剥離（段階10）→右側面から裏面への剥離（段階11）

断面形が二等辺三角形に近い原石を素材として、前半（段階１～６）は縁辺部調整の無い打面の大きい剥片の剥離による粗い加工が行われる。この段階では①段階２の剥離によって左側面が作出され、断面三角形が維持され、以後の加工の打面となること、②段階６の縦方向の剥離によって厚さを減少させる加工が行われることが特徴で、このような加工は他の大型尖頭器製作技術では見られない。後半は縁辺部調整のある打面の小さい薄い剥片の剥離によって加工が進み、正面側では主に左側面から裏面側では両側縁から加工が行われる。最終的には表面が滑らかな20×７×３cm の尖頭器が製作され、搬出されている。

本接合資料では３点の調整剥片（個体Ａ～Ｃ）を素材として石器が製作されている。個体Ａは、段階３の尖頭器調整剥片に特徴的な斜軸剥片を素材として、その張り出した側縁を尖頭部に設定し、尖頭器16に加工される。幅広有舌尖頭器の未成品と思われる。個体Ｂは、段階５の背面が原礫面で覆われた厚手の剥片素材で片側縁に粗い加工が行われる。個体Ｃ（332）は、段階５の剥片を素材としている。一次剥離の際の同時割れによって折れた先端部破片を素材として左側縁を加工した後、折れ面から削片剥離が行われ、その後、下端部両面への平坦剥離によって打面作出を行い、下端から削片が剥離される。

本接合資料は幅広有舌尖頭器（未成品）を含み、その石器群の特徴（尖頭器製作技術・二次加工技術・伴出石器）を示す良好な資料である。

分布　Sb－93のＬ30・31、M29・30、Ｎ29・30、Ｏ29、Sb－95のＮ29区に分布する。分布は傾斜方

向である北東方向15m の範囲に間延びしているが、高密度なM29区を頂点に北東方向に広がっている。特に個体・段階による偏りは見られない。

母岩別資料727・接合資料3285（図Ⅲ－277～279、図版206）

母岩別資料は接合3285の他、接合3286、剥片40点で構成され、総点数126点、総重量2,900.1g である。

素材　84点（45個体）が接合し、重量は2,649.1g、大きさは24×15×15cm である。爪状痕のある原礫面を持つ円い転礫を素材として正面側が粗割りされた状態で搬入されている。

剥離工程　下面から裏面への剥離（段階１）、左側面から正面への剥離（段階２）→右側面から正面への剥離（段階３）、左側面から裏面への剥離（段階４）→上面から裏面への剥離（段階５）→左側面から正面への剥離（段階６）、左側面から裏面への剥離（段階７）→右側面から裏面への剥離（段階８）→左側面から裏面への剥離（段階９）→右側面から裏面への剥離（段階10）

加工は主に平坦な正面側から裏面へ行われ、長軸方向の剥離（段階１・５）によって厚さを減少させている。特に段階５では縦長の剥片が剥離され、中には石刃も混じり、その内の１点は掻器202に加工される。本体の厚さが減少した時点で横方向の剥離に変化し、厚手の剥片が剥離される段階７・８以降は薄手の剥片剥離による加工が行われる。本体の表面は滑らかで、断面凸レンズ状の14×７×３cm の尖頭器が製作され、搬出されている。

本接合資料では本体を除いて３点の剥片素材の尖頭器、１点の掻器が製作されている。個体Ａは段階２の、個体Ｂは段階３の尖頭器調整剥片に特徴的な斜軸剥片を素材として、その張り出した側縁を尖頭部に設定し、それぞれ15・17に加工される。両者とも幅広有舌尖頭器の未成品と思われる。また、個体Ｃは段階７の厚手の剥片素材で両面の調整剥片のみ接合している。形態は不明であるが尖頭器であると思われ、欠落しているため搬出されたと考えられる。掻器202は段階５の縦長剥片素材で両側縁、特に左側縁に斜角の連続的な加工が施され、末端部には直線的な刃部が作出されている。また、上部破片折損後、右側縁で樋状の剥離が行われる。

分布　Sb－90のＪ31・33、Ｋ31、Sb－93のＫ30・31、Ｌ30・31、M30、Sb－94のⅠ32、Sb－95のＪ30区に分布する。Ｋ・Ｌ30区を中心に北東方向に伸びるやや散漫な分布であるが、個体・段階による偏りは見られない。

母岩別資料783・接合資料3501（図Ⅲ－279・280、図版208－１）

母岩別資料は接合3501の他、剥片１点で構成され、総点数51点、総重量1,539.6g である。

素材　50点（30個体）が接合し、重量は1,538.0g、大きさは20×11×９cm である。平滑な原礫面を持ち、角の潰れた黒曜石２（なし肌）の亜角礫を素材として原石の状態で搬入されている。

剥離工程　下面から正面への剥離（段階１）→下面から裏面への剥離（段階２）→下面から正面への剥離（段階３）→右側面から正面への剥離（段階４）→上面から正面への剥離（段階５）→上面から正面への剥離（段階６）→下部から正面への剥離（段階７）→下部～左側面から裏面への剥離（段階８）→左側面から正面への剥離（段階９）→左側面から裏面への剥離（段階10）

断面三角形の原石の下端部に短軸方向の剥離（段階１）が行われ、その面を打面として長軸方向の剥離（段階２）が行われる。さらにその面を打面として連続した長軸方向の剥離（段階３）が行われ、横方向の剥離（段階４）を挟んで、長軸方向の剥離（段階５・６）は継続される。その後、下部左右から尖頭部を作出する剥離（段階７）が行われ、長軸・横方向の剥離が行われる（段階８）。段階８・９で本体の両端部が欠損するとさらに薄くする加工と基部の作出（段階10）が行われるが、基部加工の際に基部が折損して、本体８が遺棄される。本接合資料は長軸方向によって器体を薄くし（この段階では縦長剥片が剥離される）、最終段階で基部を作出するという石核素材の幅広有舌尖頭器の製作

過程を示している。

分布　①Sb－93のK31、L30・31、M29・30、N29、②Sb－97のⅠ23、J23区の２か所に分かれて分布する。それらは直線距離で30m 離れている。②に分布するのは段階１・段階２の１点でそれ以外は①に分布し、そのうち尖頭器はやや外れて分布する。段階で分けられるため、②で初期の剥離が行われた後、①に持ち込まれ最後まで剥離が行われた可能性がある。

母岩別資料1067・接合資料4433・4437（図Ⅲ－281～285、図版207）

母岩別資料は接合4433・4437の他、接合4434～4436・4438～4451・56948～56955、縦長剥片５点、剥片118点で構成され、総点数415点、総重量4,829.9g である。

素材　接合4433は196点（104個体）が接合し、重量3,900.3g、大きさは29×22×19cm で、接合4437は４点（４個体）が接合し、重量52.9g、接合4437の個体Aの大きさは6.7×4.1×1.9cm である。爪状痕のある原礫面を持つ転礫素材で、原石の状態で搬入されている。

剥離工程　接合4433の剥離の流れは正面から左側面への剥離（段階１）、下面から右側面への剥離（段階２）→左側面から正面への剥離（段階３）→下面から裏面への剥離（段階４）・正面から左側面への剥離（段階５）→右側面から裏面への剥離（段階６）→裏面から右側面への剥離（段階７）→左側面から正面への剥離（段階８）、上面から右側面への剥離（段階９）→下面から右側面への剥離（段階10）、上面正面から打面再生（段階11）⇔正面上面から石刃剥離（段階12）→左側面から裏面への剥離（段階13）→右側面から裏面への剥離（段階14）である。

長さ約30cm の大型の転礫を素材として、前半は長軸方向で大型剥片剥離（段階２・４）が、横方向で平坦剥離（段階１・３・５～８）が行われ、後半は打面再生（段階11）を伴って最大20cm の石刃が剥離され（段階９・12）、最後に石刃核を素材として横方向の剥離（段階13・14）でおそらく尖頭器が製作されたと考えられる。大型剥片は石刃剥離・尖頭器等の素材となっている。石刃は軽い頭部調整が行われ、打面と作業面のなす角度は直角に近い。

本母岩は接合4433個体Aを素材として石刃剥離が行われ、接合4433の個体B～E・a を素材として剥片素材の尖頭器５点（１点は尖頭器Ⅲ類）、接合4433の石核本体を素材として石核素材の尖頭器１点、接合4437の個体Aを素材として彫器１点が製作されている。

接合資料4433個体Aは段階２で剥離された大型剥片を素材としている。先端部の欠損（A－段階１）後、稜調整（A－段階２）・打面作出（A－段階３）→裏面での剥離（A－段階４）が行われ、打面調整（A－段階５）を伴って18cm の石刃が剥離される（A－段階６）。また、個体A段階４の剥片（個体a）を素材として尖頭器製作が行われる。個体B・Cは段階４で剥離された大型剥片を素材として尖頭器が製作され、個体Bでは他にも折損した破片が一部加工されている。個体Dは段階８の、個体Eは段階11の厚手の剥片を素材として尖頭器が製作され、個体Eでは尖頭器Ⅲ類である９が製作され、遺棄されている。

接合資料4437の個体A（図Ⅲ－284－336）は剥片の上縁に稜を形成し、左側縁から上縁に作出された彫刀面を打面として稜調整が施された左側縁で削片剥離が行われる。

分布　接合4433はSb－96のJ25、K24・25、L23・24、M22・23、N22・23、Sb－97のK24、L24区に分布する。分布は傾斜方向である北東方向に23m もの細長い連続した形状であるが、集中の度合いから大きく①N22区周辺、②L24区周辺に分けられる。①には個体C・Dが、②には個体A・B・E・a・個体以外が分布する。また、接合4437は①に分布する。

母岩別資料786・接合資料3509（図Ⅲ－285・286、図版210上）

母岩別資料は接合3509の他、接合3510～3512で構成され、総点数64点、総重量2,024.3g である。

素材　29点（13個体）が接合し、重量は958.6g、大きさは26×13×８cmである。原石形状は不明、石質は黒曜石２（なし肌）で、原礫面が除去された状態で搬入されている。

剥離工程　上設打面再生（段階１）→下面から裏面への縦長剥片剥離（段階２）→正面での上設打面からの石刃剥離（段階３）

上設打面再生剥片（段階１）が接合していることから、最初にそれらに対応する石刃剥離が行われていたと思われる。次に裏面で下端部から縦長剥片が剥離され（段階２）、最後に正面で上設打面から石刃が連続的に剥離される（段階３）。石刃剥離時の石刃核の打面と作業面の角度は直角に近く、打面縁辺の打面側には磨り潰す調整が行われる。石刃は、段階１に対応する段階では20cm程度のものが剥離され、段階３では石刃核高がウートラパッセで減少するため14～18cmのもの（295など）が剥離されている。21は段階３で剥離された石刃素材の尖頭器Ⅲ類未成品である。石刃の打面側に錯向剥離によって基部が作出されている。

分布　Sb－93のK30、Sb－95のⅠ28、Ｊ28・29、K29、Ｌ27・28区に全体的に散漫に分布する。Ｌ27区中央に集中部があるが、その他の地点の石器とは段階・内容に違いが見られない。

母岩別資料876・接合資料3849（図Ⅲ－287～289、図版208－２・209－１）

母岩別資料は接合3849の他、剥片11点で構成され、総点数174点、総重量971.2gである。

素材　163点（110個体）が接合し、重量は956.8g、大きさは26×16×５cmである。風化によりややザラついた平坦面を持つ角礫を素材として、両面全体が加工された両面調整体で搬入されている。

剥離工程　本体の折損前後で分けられ、折損前は両面調整が、折損後はそれぞれの破片で両面調整、削片剥離が行われる。

折損前は、正面で、右側面からの剥離（段階１）→左側面からの剥離（段階２）→右側面からの剥離（段階６）、裏面で、右側面からの剥離（段階３）→左側面からの剥離（段階４）→右側面からの剥離（段階５）が行われ、中央で折損し、上部破片（個体Ａ）と下部破片（個体Ｂ）に分割される（図版209－499は折損前の調整剥片を外した状態である）。

個体Ａは、両面調整が継続され、正面では、右側面からの剥離（段階２）→左側面からの剥離（段階３）→右側面からの剥離（段階４）→左側面からの剥離（段階６）、裏面では、右側面からの剥離（段階１）→左側面からの剥離（段階５）→右側面からの剥離（段階７）が行われ、表面が滑らかな12×７×１cmの尖頭器が製作され、搬出される。

個体Ｂは、折れ面から裏面への平坦剥離（段階１）後、左側縁（段階２）・右側縁（段階３）で折れ面から削片剥離が行われ、それは、右側縁に偏っている。段階２の後、段階３の途中で、右側面の削片剥離面から裏面側（段階４・６）・正面側（段階５）に作業面調整が行われる。段階２の削片剥離は頭部調整が無く、厚手の削片が剥離される一方、段階３では頭部調整のある削片が剥離され、それは石刃と形態上の違いが無い。但し、接合資料の観察から段階３においても断面三角形の一次削片は厚手であったと推測され、一次削片段階と二次削片段階で目的剥片が異なっていたと考えられる。

個体Ｂでは２個体の舟底形石器（個体ａ・b）、２個体の削器（210・207）、１個体の掻器（172）が製作されている。個体ａは個体Ｂ段階２の厚手の二次削片、個体ｂは個体Ｂ段階３の厚手の二次削片を素材として甲板面である腹面から加工が行われ、両者とも搬出されている。削器210・207は両者とも個体Ｂ段階３の石刃状の二次削片を素材として、210には両側縁に連続する軽微な加工が、207には周縁に斜角の加工が施される。207はその形態から彫器未成品と見られる。掻器172は右側縁に急角度の加工が施され、末端部には右側縁に偏る弧状の刃部が作出される。

分布　Sb－93のM30、N30・31、O29・30、Ｐ28・29区に分布し、大きく①Ｐ28周辺、②N30区周

辺に分けられる。①には折損後の個体Ａ・Ｂが、②には折損前の段階１～６が分布し、個体Ｂに含まれる掻器・削器は①の外れに分布している。

母岩別資料862・接合資料3809（図Ⅲ－289・290、図版209－２）

母岩別資料は接合3809の他、接合3810・3811・56790・56791、剥片48点で構成され、総点数106点、総重量455.5g である。

素材　45点（37個体）が接合し、重量は326.0g、大きさは20×11×3.5cm である。平滑な原礫面を持つ角礫素材で、大型の平坦剥離で両面加工され、上端部に原礫面が残る両面調整体で搬入されている。

剥離工程　本体の３回の折損で分けられる。１回目の折損前は、正面側では、左側面からの剥離（段階１）→右側面から正面（段階４）、裏面側では、左側面からの剥離（段階２）→右側面からの剥離（段階３）→左側面からの剥離（段階５）が行われ、それらは比較的粗い加工である。

下端部の折損（１回目）後、裏面で、下端部折れ面からの剥離（段階６）→右側面からの剥離（段階７）、左側面からの剥離（段階８）が行われ、２回目の下端部の尖頭器折損（段階９）後、正面側で、左側面からの剥離（段階10）、右側面からの剥離（段階11）が行われる。これらの剥離は比較的薄く、打面の小さい剥片の剥離による加工である。

本体は段階11の剥離によって中央で折損（３回目）し、上下の破片である個体Ａ・Ｂは縁辺で削片が剥離される。個体Ａは折れ面から左側縁で削片が剥離され、個体Ｂは段階９の尖頭器折損（２回目の折損）の折れ面を打面として右側縁で削片が剥離された後、中央の折れ面打面から左側縁で削片が剥離される。

分布　Sb－93のＮ30・31、Ｏ30・31、Ｐ28～30、Ｑ29区に全体的に散漫に分布する。大きく一つのまとまりと考えられ、段階・個体による偏りは見られない。

母岩別資料849・接合資料3740（図Ⅲ－290・291、図版210下）

母岩別資料は接合3740の他、接合3741～3744・56777・56778・61757、剥片73点で構成され、総点数131点、総重量719.0g である。

素材　22点（18個体）が接合し、重量は225.6g、大きさは23×７×2.3cm である。同一母岩の他の接合資料から判断して、平滑な原礫面を持つ角礫を素材として、粗い両面調整体で搬入されている。

剥離工程　本体の折損前後で分けられ、折損前は尖頭器の調整が、折損後は尖頭器の再加工と削片剥離が行われ、尖頭器削片素材の舟底形石器Ⅰａ類が製作される。

折損前は、正面では、左側面からの剥離（段階１）→右側面からの剥離（段階２）→左側面からの剥離（段階４）が、裏面では、右側面からの剥離（段階３）が行われ、段階４の最終剥離で本体は個体Ａ・Ｂに分割される。

折損後、本体の約３分の２にあたる個体Ａは右側縁の折れ面周辺が再加工されている。小型の破片である個体Ｂは、折れ面から右側縁に沿って削片剥離が行われ（Ｂ－段階１）、その後、打面を入れ替えて折れ面側で削片剥離が行われる（Ｂ－段階２）。Ｂ－段階１で剥離された断面三角形の一次削片は舟底形石器Ⅰａ類である246に加工される。246は素材の剥離後、右側面には全面的に上下から加工が施され、左側面には下縁からは全体に甲板面からは素材打面側約半分に加工が施され、左側面には尖頭器調整素材面が残る。加工が集中的に施される素材打面側は細石刃状の剥離は行われないが、それに近い形状に仕上げられている。素材打面側は甲板面の側面形が平坦で安定し、細石刃状の剥離を想定して加工されたと思われる。一方素材先端側は剥離のうねりによって甲板面が不安定で、細石刃状剥離に適していない。その他の削片は薄手の削片で、加工は見られないことから、幅が狭く、高さのある断面三角形の尖頭器一次削片が舟底形石器に適した形態のため利用されたと考えられる。本

接合資料は断面三角形の尖頭器一次削片が舟底形石器Ⅰａ類の素材となっていることを示す好資料である。

分布　Sb－93のN29、O28・29、P28、Sb－95のO27・28区に散漫に分布し、折損前の剥片（個体Ａ・Ｂ以外段階１～４）と折損後の個体Ａ・Ｂの分布がややずれている。

母岩別資料852・接合資料3759（図Ⅲ－292・293、図版211－１）

母岩別資料は接合3759の他、接合3760～3762・56780～56784、剥片84点で構成され、総点数145点、総重量720.4g である。

素材　32点（26個体）が接合し、重量は277.7g、大きさは21×10×2.3cm である。原石形状は不明で、両面加工の大型尖頭器で搬入されている。

剥離工程　本体の折損前後で分けられ、折損前は両面調整が、折損後は削片剥離が行われる。

折損前は、右側面から正面（段階１）に加工が行われ、その最終剥離で本体は折損し、個体Ａ・Ｂに分割される。

下部破片である個体Ａは、左側縁から正面への剥離の加工（Ａ－段階１）で、さらに個体Ａ－１・Ａ－２に分割される。個体Ａ－１は上部折れ面で縁辺を打面として削片剥離（Ａ－１－段階１）が、下部折れ面で交叉状の削片剥離（Ａ－１－段階２）が行われる。個体Ａ－２は本体尖頭器縁辺での削片剥離（Ａ－２－段階１）後、その面を打面として交叉状に削片が剥離される（Ａ－２－段階２）。

上部破片である個体Ｂは下部折れ面周辺に再加工（Ｂ－段階１）が行われ、最終剥離時に個体Ｂ－１～４に分割される。個体Ｂ－１では折れ面から本体尖頭器左側縁で削片が剥離された（Ｂ－１－段階１）後、他の折れ面で削片が剥離される（Ｂ－１－段階２）。個体Ｂ－２は正面側で剥離が行われ（Ｂ－２－段階１）、個体Ｂ－３は加工されない。個体Ｂ－４は折れ面から剥離が行われ（Ｂ－４－段階１）、さらに長軸方向の折れ面から短軸方向の加工（51の右側面から正面上・下端部への加工）が行われ、その加工は舟底形石器Ⅰ類の加工に類似し、舟底形石器Ⅰ類の製作を意図した可能性がある。

分布　Sb－93のP28、Sb－95のL26、M26・27、N26～28、O25・26区に散漫に分布する。N26・27区を中心に連続して分布するが、折損前の段階１はN28区に、個体ＡはM27区周辺に、個体ＢはN26・O25区にやや分かれて分布する。

母岩別資料807・接合資料3583（図Ⅲ－294・295、図版211－２）

母岩別資料は接合3583の他、接合3584・56741で構成され、総点数49点、総重量593.4g である。

素材　43点（32個体）が接合し、重量は561.3g、大きさは22×13×５cm である。風化によりややザラついた平坦な原礫面を持つ角礫を素材として両面を粗い平坦剥離で加工された尖頭器で搬入されている。

剥離工程　本体の折損前後で分けられ、折損前は両面調整が、折損後は両面調整後、削片剥離が行われる。

折損前は、正面では、左側縁からの剥離（段階４）→右側縁からの剥離（段階５）が、裏面では、左側縁からの剥離（段階１）→右側縁からの剥離（段階２）→左側縁からの剥離（段階３）が行われる。段階１では加工が粗いが、段階２以降は比較的薄い剥片の剥離によるものに移行している。

折損後、下部破片（段階６）は再加工が行われず、上部破片に再加工が行われる。左側縁で折れ面から削片が剥離され（段階７）、正面で、右側縁からの剥離（段階８）→左側縁からの剥離（段階９）→右側縁からの剥離（段階10）が行われ、その最終剥離で折損し、個体Ａ～Ｃに分割される。

344は折損前の部品を外した状態の図で、分割後は個体Ｃのみ縁辺で折れ面から削片が剥離される。個体Ｃから剥離された断面四角形の283の左側面先端部には舟底形石器Ⅰ類の加工に類似した素材腹

面からの加工が見られ、舟底形石器Ｉ類を製作しようとしていた可能性がある。

分布　Sb－93のＮ31、Ｏ28～30、Ｐ28・29、Ｑ28・29、Ｒ28区に分布し、①Ｏ28区周辺と②Ｐ29・Ｑ28区周辺に分けられる。折損前の段階１～６は②に散漫に、折損後の段階７～10・個体Ａ～Ｃは①にまとまって分布する。

母岩別資料816・接合資料3617（図Ⅲ－296、図版212上）

母岩別資料は接合3617のみである。

素材　44点（28個体）が接合し、重量は724.5g、大きさは30×11×3.6cmである。平滑な原礫面を持つ角礫素材で、裏面には原礫面が残り、両端部が尖頭状に整形された両面調整の大型尖頭器で搬入されている。

剥離工程　裏面では、左側縁からの剥離（段階１）→左側縁からの剥離（段階３）→右側縁からの剥離（段階４）→左側縁からの剥離（段階５）が、正面では、左側縁からの剥離（段階２）、右側縁からの剥離（段階６）が行われる。

搬入時の本体は大型の平坦剥離面と縁辺部の調整剥離面で構成され、比較的整った形状である。遺跡内では最初から縁辺部調整のある縁辺近くを打撃する平坦な加工が行われるが、正面中央にある1.5cm大の球顆のために剥離が滑らかに進行せずに階段状になっている。尖頭器本体47は３か所で折損し、上・中位の折れ面はそれぞれ、段階６・２の剥離が原因（折れの始点であり、その段階で折損したかどうかは不明）で、下位の折れ面の原因は不明であるが、放射状の折れ面である。

分布　Sb－95のＫ28・29、Ｌ27・28、Ｍ28区に分布する。Ｌ28区南西部に分布の中心がある一つのまとまりで傾斜方向に分布が伸びる。

母岩別資料748・接合資料3396（図Ⅲ－297、図版212下・213－１）

母岩別資料は接合3396の他、剥片19点で構成され、総点数44点、総重量911.8gである。

素材　25点（19個体）が接合し、重量は848.0g、大きさは27×11×4.4cmである。原石形状は不明で、大型平坦剥離面と縁辺に細かい剥離面で構成される大型の尖頭器で搬入されている。

剥離工程　本体の折損前後で分けられ、折損前は両面調整が、折損後は上部破片に再加工が行われる。

折損前は、右側縁から裏面への剥離（段階１）→左側縁先端部から裏面への剥離（段階２）が行われ、段階２の剥離の際に既に存在した潜在的な割れ面で折損する（段階３）。

折損後は、より大型破片である上部破片のみ再加工が行われ、右側縁から裏面への剥離（段階４）⇔右側縁から正面への剥離（段階５）、左側縁から裏面への剥離（段階６）、左側縁・折れ面から正面への剥離（段階７）が行われるが、最終的に本体は遺棄される。

本体は搬入時に中央が凸状の断面三角形であり、折損前後ともにその凸部を除去しようと加工が行われるが、それが困難で、結局最後まで滑らかな表面状態を作出できずに加工が終了する。

分布　Sb－95のＫ29、Ｍ28・29、Ｎ28区に分布する。Ｍ28区中心に分布し、Ｋ29区には段階１・２の剥片が分布する。

母岩別資料749・接合資料3397（図Ⅲ－298、図版213－２）

母岩別資料は接合3397の他、接合3398～3400・56701、剥片33点で構成され、総点数113点、総重量686.4gである。

素材　63点（54個体）が接合し、重量は524.6g、大きさは28×９×3.5cmである。平滑な原礫面を持つ扁平な角柱状の原石を素材として原石ないし原石に近い形状で搬入されている。

剥離工程　本体の折損前後で分けられ、折損前後とも両面加工が行われる。

折損前は、左側縁から裏面への剥離（段階１）、右側縁から正面への剥離（段階２）が行われた後、

折損により個体Ａ・Ｂに分割される。

折損後は、個体Ａ・Ｂ共に再加工が行われ、個体Ａは、右側縁から正面への剥離（段階１）→左側縁から正面への剥離（段階２）・右側縁から裏面への剥離（段階３）→左側縁から裏面への剥離（段階４）⇔左側縁から正面への剥離（段階５）の後、本体上部が折損（段階６）し、さらに、左側縁から正面への剥離（段階７）⇔左側縁から裏面への剥離（段階８）→右側縁から裏面への剥離（段階９）が行われる。

個体Ｂは、右側縁から裏面への剥離（段階１）→左側縁から裏面への剥離（段階２）・右側縁から正面への剥離（段階３）⇔左側縁から正面（段階４）の後に、本体上部が折損（段階５）し、左側縁から正面への剥離（段階６）が行われる。

全体を通して打面の大きい剥片剥離による粗い加工が行われ、原石段階から平行四辺形に近い断面形が凸レンズ状に変化しない。

分布　Sb－95のＬ27～29、M27・28、N28区に分布する。分布は全体としてはＬ27・28区にまたがる一つのまとまりとして認められるが、折損前（段階１・２）、個体Ａ、Ｂでは若干分布差が認められる。

母岩別資料736・接合資料3336（図Ⅲ－299、図版214上）

母岩別資料は接合3336の他、剥片22点で構成され、総点数33点、総重量476.9g である。

素材　11点（８個体）が接合し、重量は40.2g、大きさは26×９×3.0cm である。原石形状は不明で、大型平坦剥離面と縁辺に細かい剥離面で構成される大型の尖頭器で搬入されている。

剥離工程　左側縁から裏面への剥離（段階１）、右側縁から正面への剥離（段階２）後に、中央で折損し、個体Ａ・Ｂに分割される。

個体Ａは右側縁から裏面への剥離で左側縁を取り込み､幅が減少し､左側縁から正面への剥離の後、左側縁から裏面への加工が行われ、再度折損し、遺棄される。個体Ｂは上部破片折損後、左右側縁から両面に再加工が行われるが、剥離が階段状になり遺棄される。

搬入時の本体は断面形が凸レンズ状に近く、表面が比較的滑らかであったが、折損後は側縁を取り込む剥離や角度のある剥離によって本体の幅は大きく減少し、断面形は菱形に変化している。

分布　Sb－95のＫ30、Ｌ27・28、M27区に散漫に分布し、個体Ａの本体上部破片がやや離れてＫ30区に分布する。

母岩別資料923・接合資料4035（図Ⅲ－300～302、図版214下・215）

母岩別資料は接合4035の他、接合4036～4038・56831、剥片19点で構成され、総点数230点、総重量1,970.4g である。

素材　185点（89個体）が接合し、重量は1661.9g、大きさは28×16×９cm である。風化によりザラついた平坦な原礫面を持つ角礫素材で､非常に粗い剥離が施された２個体の両面調整体(個体Ａ・Ｂ)で搬入される。

剥離工程　本母岩は、個体Ａ・Ｂで構成され、個体Ａは個体Ｂの加工初期段階での分割に近い大型調整剥片素材である。個体Ｂは個体Ａ剥離後、さらに加工が進行した状態で遺跡に搬入され、個体Ａも剥片ではなく、粗い加工が施された状態で搬入されていることから両者とも石材採取地で粗い両面加工が行われ、それぞれ両面調整体で搬入されたと思われる。

個体Ａ（図Ⅲ－301－350）は、素材腹面のバルブ周辺である正面下部の加工（段階１）の後、左側面から正面への剥離（段階２）→右側面から正面への剥離（段階３）→左側面から正面への剥離（段階４）が行われ、本体は欠落し、搬出される。加工は縁辺部調整が無く、やや粗いものが多い。

個体Ｂ（図Ⅲ－300－349）は、左側面から正面への剥離（段階１）⇔左側面から裏面下部への剥離（段階２）→右側面から裏面上部への剥離（段階３）⇔右側面から正面上半部への剥離（段階４）→右側面から裏面への剥離（段階５）・下面から正面への剥離（段階６）→上面から正面上部への剥離（段階７）・左側面から裏面への剥離（段階８）→右側面から裏面への剥離（段階９）→左側面から裏面への剥離（段階10）、左側面から正面への剥離（段階11）→右側面から正面への剥離（段階12）→左側面から正面への剥離（段階13）が行われる。

個体Ｂは上下端部に原礫面が残り、原石形状を残す程度の粗い加工で搬入され、遺跡内では尖頭部の作出や断面形を凸レンズ状にするような全体の形態を整える粗い加工が行われる（段階１～10）。全体の形状が粗く整った段階で、本体縁辺部を打撃する薄い剥片剥離による調整加工によって表面が滑らかに整形され、本体は25×11×2.5cm の尖頭器で搬出されている。

分布　Sb－93のＯ28・29、Ｐ27～29、Ｑ27区に分布する。傾斜方向に向かって長さ14m の範囲に線状に分布するが、折れ面接合も同様の範囲に分布し、段階・個体による偏りは見られない。

母岩別資料887・接合資料3883（図Ⅲ－302～305、図版216）

母岩別資料は接合3883の他、接合3884・3885、石刃１点、剥片103点で構成され、総点数273点、総重量1,732.9g である。

素材　157点（104個体）が接合し、重量は1379.3g、大きさは25×17×９cm である。平滑な原礫面を持つ、角がやや潰れた盤状の角礫を素材として原石の状態で搬入されている。

剥離工程　上部折損前は、正面で、左側面からの剥離（段階１）→右側面からの剥離（段階２）→左側面からの剥離（段階４）→右側面からの剥離（段階７）→左側面からの剥離（段階８）が、裏面で、右側面からの剥離（段階３）・下面左からの剥離（段階５）→上面からの剥離（段階６）が行われ、本体の上部折損（段階９）後、正面では、上部折れ面からの剥離（段階10）→左側面からの剥離（段階12）→右側面からの剥離（段階13）が、裏面では上部折れ面からの剥離（段階11）が行われる。

加工は原石の状態から始められるため、遺跡内では尖頭部の作出や断面形を凸レンズ状にするような全体の形態を整える粗い加工が行われ、最終的には18×６×２cm の尖頭器で搬出されるが、表面状態はあまり滑らかではなかったと見られる。

本接合資料では舟底形石器３点（個体Ａ－１・Ｂ・Ｄ）、削器１点（個体Ａ－２）、彫器１点（個体Ｃ）が製作されている。個体Ａは段階１で剥離された厚手の剥片素材で、一次剥離の際の同時割れによってＡ－１・Ａ－２に分割され、それぞれ、舟底形石器・削器に加工される。Ａ－１の舟底形石器本体は欠落し、Ａ－２の削器236には舟底形石器に類似した加工が施される。

個体Ｂは段階２で剥離された厚手の剥片素材で、舟底形石器Ⅰａ類が製作されている。加工は、剥離軸と一致する素材長軸を石器長軸に設定し、両側縁でほぼ均等に行われる。また、甲板面の縁辺から２～５mm を打撃して行われ、進行と共に甲板面と側面の角度は徐々に大きくなる。接合している調整剥片と舟底形石器本体には隙間があり（舟底形石器238は調整剥片との接点は無いものの甲板面で尖頭器調整剥片に接合し、248は端部で舟底形石器調整剥片に接合し、また、甲板面で他の尖頭器調整剥片に接合している）、その間の加工は具体的には不明である。しかし、舟底形石器Ⅰａ類の238・248の両側面には上下からの加工（下縁からの加工が甲板面からの加工を切る）があり、それらが平行剥離で押圧と考えられることから、Ⅰａ類に変化する段階で剥離技術が押圧剥離に変化し、さらに最後は下縁からの調整で整えられていたことが分かる。238・248は両者に接合関係がないが、接合資料中の位置関係はほぼ一直線上に位置し、同一の個体として加工が進んだと見られる。248の正面側の端部には折れ面があり、折れ面周辺の右側面の加工は折れ面を切って、再加工が行われるものの、

左側面の剥離面は折れ面に切られており、現状に近い段階で折損したことが読み取れる。つまり、238・248が１本の舟底形石器として剥離が進み、最終段階で折損し、248の折れ面付近の右側面では再加工が行われる。238は細石刃状の剥離痕があり、それは248側（素材の先端側）であることから、折損後、折れ面周辺を再加工し、細石刃状剥離が行われたと思われる。238と248の隙間は３cm で全て細石刃状の剥離が行われたとすると50本程度の舟底形石器削片（幅３mm、厚さ1.5mm で計算）が剥離されたことになる。

個体Ｃは段階４で剥離された長さ10cm、幅５cm の縦長剥片を素材として彫器が製作されている。背面両側縁に加工が行われ、ノッチ状の彫刀面打面からⅡ類の彫刀面が作出される。基部側は折損（彫刀面作出との前後は不明）した後、基部がすぼまるように再加工され、また、折損前には行われなかった腹面加工が行われる。素材末端部と本体の彫刀面までの長さは1．5cm あり、全て彫刀面再生によって長さが減少したものとすると（彫刀面再生は削片の厚さを２mm で計算、以下同じ）、７・８回の刃部再生が行われたことになる。

個体Ｄは段階５で剥離された厚手の縦長剥片素材である。折損した打面側の破片を利用し、片側面のみの加工で遺棄される。

分布　Sb－88のS31、Sb－93のＮ29・31、Ｏ29・30、Ｐ28・29、Ｑ27・28区に分布する。大きく一つのまとまりとして分布し、個体・段階の違いは認められないが、彫器129はＱ27区、個体Ｄの舟底形石器Ⅲ－127－141は本体のみＳ31区に離れて分布する。

母岩別資料927・接合資料4044（図Ⅲ－305・306、図版217上）

母岩別資料は接合4044の他、接合4045、剥片12点で構成され、総点数85点、総重量1，015．1g である。

素材　69点（42個体）が接合し、重量は909.5g、大きさは20×13×6.5cm である。平滑な原礫面を持つ盤状の角礫を素材として、原石ないし原石に近い形状で搬入される。

剥離工程　右側面から正面への剥離（段階１）→右側面から裏面への剥離（段階２）→左側面から正面への剥離（段階３）→左側面から裏面への剥離（段階４）・右側面から正面への剥離（段階５）→左側面から正面への剥離（段階６）・右側面から裏面への剥離（段階７）→右側面から正面への剥離（段階８）→左側面から正面への剥離（段階９）→左側面から裏面への剥離（段階10）→右側面から裏面への剥離（段階11）→本体上部折損（段階12）→左側面から正面への剥離（段階13）・右側面から裏面への剥離（段階14）

加工は原石から始められるため、前半は上下端や側縁の突出部を除去する粗い加工が行われる（段階１～７）。その後、中央の稜を越える平坦剥離によって石器の表面が滑らかに変化し、17×10×２cm の尖頭器で搬出される。

段階６で剥離された厚手の剥片は、両側縁縁辺部に平坦剥離、左側縁上部に急角度の加工が行われ、削器217が製作される。

分布　Sb－93のＯ29、Ｐ27～29、Ｑ27区に分布する。傾斜方向に伸びた分布であるが、一つのまとまりとして認められ、段階・個体による偏りは見られない。

母岩別資料789・接合資料3515（図Ⅲ－307・308、図版218・219）

母岩別資料は接合3515のみである。

素材　111点（59個体）が接合し、重量は3,496.5g、大きさは33×20×12cm である。平滑な原礫面を持つ黒曜石２（なし肌）の盤状の角礫を素材として、正面に大型の古い剥離面が残る原石の状態で搬入されている。

剥離工程　上面から正面への剥離（段階１）→右側面から正面への剥離（段階２）→右側面から裏面

への剥離（段階３）→右側面から正面への剥離→（段階４）→右側面から裏面への剥離（段階５）→右側面から正面への剥離（段階６）・左側面から裏面への剥離（段階７）→右側面から裏面への剥離（段階８）→左側面から裏面への剥離（段階９）→左側面から正面への剥離（段階10）→右側面から正面への剥離（段階11）

搬入時の断面形は右側面付近が厚い四角形で、段階１～５ではその厚い部分が粗い剥離で除去され、断面形が菱形に近い形状に変化する。段階６～11では縁辺部調整のある打面の小さい加工が行われ、それらは中央の稜を越えることにより、表面が滑らかになり、断面形が凸レンズ状に変化する。段階10の剥片には反対側縁を取り込むものがあり、その側縁は弧状ではなく、二直線が鈍角に交わる角を持つ形態であることから本体の尖頭器には舌部があった可能性がある。本体は29×12×2.5cmの尖頭器で搬出されている。

分布　Sb－95のM27・28、N26～28、O26・27、Sb－97のＬ22区に分布する。Ｌ22区出土の１点を除いてやや散漫に分布し、それらは①N26、N27北西部、M27区周辺と②O26・27、N27南東部、N28区周辺に分けられ、①には段階１～６の比較的大型の剥片が、②にはそれ以外の剥片が分布する。また、20m程度離れてＬ22区に分布するものは段階２で剥離された剥片の１小破片で、そこに遺棄された脈絡は不明である。

母岩別資料717・接合資料3257（図Ⅲ－309、図版217下）

母岩別資料は接合3257の他、接合56649、石刃１点、剥片24点で構成され、総点数107点、総重量2,009.0gである。

素材　80点（43個体）が接合し、重量は1,625.1g、大きさは33×13×10cmである。平滑な原礫面を持つ角柱状の角礫を素材として原石の状態で搬入されている。

剥離工程　右側面から下面への剥離（段階１）→下部～右側面から裏面への剥離（段階２）⇔右側面から正面への剥離（段階３）→左側面から正面への剥離（段階４）⇔左側面から裏面への剥離（段階５）→右側面から裏面への剥離（段階６）→右側面から正面への剥離（段階７）→左側面から正面への剥離（段階８）

短軸方向の剥離（段階１）の後、段階２の初めに長軸方向の剥離が行われ、続けて段階２・３及び段階４・５で交互剥離によって粗い整形が行われる。その後、中央の稜を越える両側縁からの加工（段階６～８）によって尖頭器本体は表面が滑らかに、断面形が凸レンズ状に変化している。原石から剥離が行われ、加工はやや粗いが、段階２で既に頭部調整が行われ、打面も比較的小さい。最終的に30×９×３cmの尖頭器が搬出されている。

分布　Sb－90のM32、Sb－92のM32・33、N32区に分布する。１か所にまとまって比較的高密度に分布する。

母岩別資料716・接合資料3252（図Ⅲ－310・311、図版220）

母岩別資料は接合3252の他、接合3253～3256・56648、剥片41点で構成され、総点数157点、総重量1,847.7gである。

素材　85点（48個体）が接合し、重量は1,185.1g、大きさは33×15×６cmである。平滑な原礫面を持つ角礫から剥離された大型の剥片素材で、素材ないし素材に近い形状で搬入されている。

剥離工程　下端部折損（段階１）→右側面から裏面への剥離（段階２）⇔右側面から正面への剥離（段階３）→左側面から正面への剥離（段階４）→本体下端部折損（段階５）→左側面から正面への剥離（段階６）・右側面から正面への剥離（段階７）が行われ、本体が折損した後、個体Ｂ－１・２の再加工が行われる。

扁平で平面形がやや湾曲した大型剥片を素材として、粗い剥離による下端部の折損（段階１）後、左右からの加工が行われる。加工は段階２・３の下端の折損面付近での粗い剥離を除くと中央の稜を越える平坦剥離で、本体は早い段階から表面が滑らかで、断面形が凸レンズ状であった。

段階５で折損した尖頭器先端部である個体Ａは折れ面から正面へ剥離が行われ、尖頭器Ⅲ類である59に加工される。段階７の後、本体は折損し、個体Ｂ－１、Ｂ－２に分割され、Ｂ－１は両面調整が継続され、Ｂ－２は個体Ａ同様に折れ面から正面に剥離が行われ、尖頭器Ⅲ類である58に加工される。58の側縁には縁辺を擦るような調整は見られない。本母岩には５mm 大の球顆が多く含まれ、折損の原因や剥離が滑らかに進まない原因となっているが、このような石材の特徴はSb－90の大型石刃の接合資料に類似する。最終的に個体Ｂ－１の７×4.5×３cm の本体が搬出されている。

分布　Sb－90のＬ31、Sb－92のM32、N31・32区に分布する。N32区北西部に中心のある分布で、N31区の小さなまとまりには段階２・段階３（前半）が、Ｌ31区には段階１の厚手の剥片が分布する。

母岩別資料850・接合資料3745（図Ⅲ－311～313、図版221－１）

母岩別資料は接合3745の他、接合3764～3767、剥片68点で構成され、総点数182点、総重量2，240．1gである。

素材　89点（56個体）が接合し、重量は1，972.8g、大きさは22×14×11cm である。一部平滑面が残りほとんどの角が潰れた転礫を素材として１枚の大型剥離面のある状態で搬入される。

剥離工程　左側面から裏面への剥離（段階１）→右側面から裏面への剥離（段階２）⇔裏面から右側面への剥離（段階３）の後、正面では、下面からの剥離（段階４）→上面からの剥離（段階５）→左側面からの剥離（段階７）・正面から稜調整（段階９）→右側面からの剥離（段階10）→左側面からの剥離（段階13）が、裏面では、左側面からの剥離（段階６）→右側面からの剥離（段階８）→右側面からの剥離（段階11）→左側面からの剥離（段階12）が行われる。

正面に大型剥離面、右側面・裏面の原礫面の３面で構成される断面三角形の素材に、打面の大きい粗い剥離（段階１～９）が行われ、途中で厚みを減少させる長軸方向の加工（段階４・５）が行われる。その後、段階10～13の打面の小さい中央の稜を越える平坦剥離が行われ、表面が滑らかで断面形が弧状に変化している。本体は、16×７×３cm の尖頭器で搬出される。

分布　Sb－93のM29、Sb－95のＬ27・28、M27～29、N26～28、O26・27、Ｐ26区に分布する。分布は①O26・27区周辺、②N26区周辺、③Ｌ28・M27区周辺に分けられ、①には段階１・２（最初）・３の大部分が、②③にはそれ以降の段階が混在して分布している。

母岩別資料737・接合資料3337（図Ⅲ－313、図版221－２）

母岩別資料は接合3337の他、接合3338で構成され、総点数18点、総重量315.6g である。

素材　12点（８個体）が接合し、重量は271.5g、大きさは14×11×3.3cm である。爪状痕のある原礫面をもつ転礫から剥離された剥片素材である。母岩別資料には他に接合資料１個体が含まれるが、それぞれがどのような状態で搬入されたかは不明である。

剥離工程　素材剥片の右側縁から裏面への剥離（段階１）の後、右側縁から正面への剥離（段階２）が行われ、その最終剥離で折損し、本体は遺棄される。加工には縁辺部調整は見られない。

分布　Sb－95のM27、N27～29、O27・28区に分布する。散漫な分布で、M・N27区には尖頭器本体と段階２の剥片１点が、N28・29、O27・28区にはそれ以外の剥片が分布する。

母岩別資料725・接合資料3276（図Ⅲ－314～317、図版222～224上）

母岩別資料は接合3276の他、接合3277～3282・56656～56666、縦長剥片５点、石刃１点、剥片171点で構成され、総点数443点、総重量5，721.9g である。

素材　226点（126個体）が接合し、重量は4,783.1g、大きさは31×23×15cmである。爪状痕のある原礫面を持つ大型の転礫を素材として原石で搬入されている。

剥離工程　長さ30cmを超える扁平な大型の転礫を長軸方向に打撃し、ほぼ同様な大きさの、剥片の個体Ａと石核の個体Ｂに分割し、個体Ａは単設打面、個体Ｂは両設打面からの石刃剥離が行われる。

個体Ａは、裏面上部（段階１）・左側面（段階３）の作業面調整後、上設打面から打面再生・打面調整（段階２）・頭部調整を伴って石刃が剥離される（段階４）。末端部がヒンジの石刃剥離によって作業面形状が悪化すると左側縁から作業面調整が行われ（段階５）、同時に左側縁から裏面への側面調整が行われる（段階６）。再度、石刃が剥離された（段階７）後、左側縁から正面下部（段階８）・右側縁から正面下部（段階９）への剥離が行われるが、それらによって石刃核下部は両面調整の尖頭状になっており、石刃核自体が尖頭器に整形された可能性がある。石刃は反りが少なく、長さ17cm前後のものが剥離され、一部欠落している。

個体Ｂは、最初、正面下部稜調整（段階１）・下設打面作出（段階２）後、打面調整（段階４）を伴う下設打面からの石刃剥離（段階３）が行われ、末端部形状がヒンジの石刃剥離によって作業面形状が悪化すると、上設打面が作出され（段階５）、上設打面からの石刃剥離（段階６）が下設打面からの石刃剥離と交互に行われる。また、段階６の途中で正面稜調整（段階７）・裏面から右側面調整（段階８）が行われる。その後、石刃核は、正面から右側面への剥離（段階９）、裏面から右側面への剥離（段階10）、正面から右側面への剥離（段階11）、正面から左側面への剥離（段階12）、裏面から右側面への剥離（段階13）、正面から右側面への剥離（段階14）によって尖頭器に加工されている。石刃は、両設打面から剥離されているため反りが少なく、17cm前後のものが剥離され、少量欠落している。石刃核素材の尖頭器は個体Ａ・Ｂ共に欠落し、搬出されている。

分布　Sb－95のＬ27～29、M26～28、Ｎ26～28、Ｏ26・27、Sb－96のＬ23・24、M23、Ｎ23、Sb－97のＩ26区に分布する。分布は大きくSb－95とSb－96に分けられ、Sb－95はさらに①Ｏ26南東部・27区周辺、②Ｎ26区南西部、③M27区周辺の３か所に分けられ、①は散漫で、②③は比較的密度が高い。個体Ａは段階１、段階２・４の前半段階がSb－95①に、段階３のほとんどがSb－95②に、段階２～４の後半段階以降はSb－96に分布する。個体Ｂは最終剥離である段階14のみSb－96に分布し、段階１・２、３・４の一部（段階３・４の他の石器とは違いが見られない）がSb－95②に、それ以外の大部分はSb－95③に分布する。以上のことを整理すると両者ともSb－95に前半段階が、Sb－96に後半段階が分布している点で一致するが、内容では個体Ａの石刃剥離が両地点にまたがるのに対し、個体Ｂは最終剥離のみが分布する点で異なる。また、Sb－95では個体Ａのほとんどが①に、個体Ｂのほとんどが③に分布する。

母岩別資料728・接合資料3287（図Ⅲ－318～320、図版225上）

母岩別資料は接合3287の他、接合3288～3291・56667～56669、縦長剥片１点、剥片38点で構成され、総点数165点、総重量1,815.8gである。

素材　107点（58個体）が接合し、重量は1,617.3g、大きさは25×15×10cmである。平滑な原礫面を持ち、角が潰れて円くなった亜角礫を素材として、裏面に大型の剥離面がある状態で搬入される。

剥離工程　裏面からの右側面調整（段階１）→上設打面作出・再生（段階２）⇔上設打面から正面への石刃剥離（段階３）→裏面から下設打面作出（段階４）→下設打面から左側面への石刃剥離（段階５）→裏面からの右側面調整（段階６）→上面から正面への剥離（段階７）→左側面から正面下部への剥離（段階８）→右側面から正面への剥離（段階９）

工程は、上設打面作出・再生（段階２）・上設打面からの石刃剥離（段階３）、打面転移による下設

打面作出（段階４）・下設打面からの石刃剥離（段階５）、石刃核の尖頭器への加工（段階６～９）の３つに大別される。石刃剥離によって石刃核本体を薄くし、最終的に尖頭器に加工する一連の流れが認められる。石刃剥離には打面調整、縁辺を擦る頭部調整が行われる。石刃は先端部に反りが少ない直線的なものが多く、最大17cm 程度である。

段階２で剥離された打面再生剥片（個体Ａ）は、折損後、個体Ａ－１・Ａ－２としてそれぞれ彫器の素材となる。個体Ａ－１（図Ⅲ－318－362）は左側縁両面に粗い加工が施された後、折れ面から削片剥離が行われる。個体Ａ－２（図Ⅲ－319－138）は折れ面から両側縁に彫刀面剥離が行われた後、下端に腹面からのノッチ状の剥離で作出された打面から右側縁に彫刀面剥離が行われる。

段階４で剥離された厚手の打面作出剥片（個体Ｂ）は、腹面を打面として打面調整を伴って全周で剥離が行われる。

分布　Sb－90のＪ31、Sb－93のＫ30、Ｌ30、M29・30、Ｎ29、Sb－95のＪ28～30、Ｋ28～30、Ｌ27・28、M27・28、Ｎ27・28、Ｏ26・27区に分布する。大きく、①M・Ｎ27区周辺、②Ｊ28・29、Ｋ28・29、Ｌ27・28区、③Ｊ・Ｋ30区、④M29・30、Ｎ29区に分けられる。分布は④の密度が比較的高いが、それ以外は散漫で特に、②は広範囲に広がる。①には段階６～９が、②には段階１の大部分、個体Ａを除く段階２、段階３・５が、③には段階１の最初の剥片、個体Ａが、④には段階４である個体Ｂが分布する。これらを整理すると二次的な剥離を受けた個体Ａ・Ｂはそれぞれ③・④に、後半の尖頭器加工段階の段階６～９は①に、それ以外の石刃剥離段階は②に分布している。

母岩別資料757・接合資料3430（図Ⅲ－321、図版225下）

母岩別資料は接合3430の他、接合3431～3433・56715・56716、剥片93点で構成され、総点数221点、総重量1,733.3g である。

素材　88点（29個体）が接合し、重量は1,316.4g、大きさは23×12×９cm である。爪状痕のある原礫面を持つ転礫を素材として原石で搬入されている。

剥離工程　上面に打面作出（段階１）後、正面で長軸方向の剥離（段階２）が行われ、また、下面でも裏面への長軸方向の剥離（段階４）・打面再生剥離（段階３）が行われる。その後、右側面から裏面上半部に連続的な剥離が行われ(段階５)、続けて正面では上設打面再生・縦長剥片剥離(段階８)、下面から正面への剥離（段階９）が行われ、裏面でも長軸方向の剥離（段階６)、右側面から裏面への剥離（段階７）が行われる。

扁平な原石を素材として、途中で横方向の剥離を挟みながらも、全体的には上下端部に設定された打面から上下両面で長軸方向の剥離が行われ、石核自体の厚さが薄くなっている。最終的に横方向の加工が行われ、石核素材の尖頭器に加工された可能性がある。

分布　Sb－93のM30、Ｏ28・29、Ｐ28・29、Ｑ27・28区に分布する。線状の細長い範囲に分布しているが段階による偏りは見られない。

母岩別資料788・接合資料3514（図Ⅲ－322、図版224下）

母岩別資料は接合3514のみである。

素材　58点（31個体）が接合し、重量は742.9g、大きさは23×８×８cm である。平滑な原礫面を持ち、角が潰れた黒曜石２（なし肌）の亜角礫を素材として原石の形状で搬入されている。

剥離工程　上設打面作出（段階１）・左側面からの正面下部調整（段階２）→上設打面から正面への石刃剥離（段階３）⇔上設打面再生（段階４)、右側面下部調整（段階５）→右側面から下設打面作出（段階６）→下設打面から正面への石刃剥離（段階７）→左側面から正面下部調整（段階８）・上設打面から正面への石刃剥離（段階９）→下設打面から正面への石刃剥離（段階10）→正面上設石刃

（段階11）→左側面から正面への剥離（段階12）

石刃は、上設打面から（段階３）→下設打面から（段階７）→上設打面から（段階９）→下設打面から（段階10）→上設打面から（段階11）と打面転移しながら剥離され、主に上設打面から剥離されている。最後（段階12）に尖頭器の調整剥片に類似した剥離が行われることから石刃核が尖頭器に加工された可能性があり、それは搬出されている。また、石刃剥離には頭部調整が行われ、打面調整が一部に認められる。石刃は最大17cm 程度のものが剥離されるが、ほとんど欠落せず、搬出されていない。

段階９で剥離された17cm の石刃を素材として尖頭器29が製作される。素材は先端部がウートラパッセにより厚く反りのある形状で、先端部を尖頭部に設定し、両側縁から両面への加工によって厚みを減少させ、反りを修正している。基部は両面とも平坦剥離によってやや円く加工されるが、最終的に背面側の剥離が先端部に抜けて本体中央で折損している。本石器には他に素材基部側の破片があり、その破片も平坦剥離によって円く加工される。基部加工の後に折損し、29の基部が再加工されている。このような平坦加工は広郷型ナイフ形石器の加工に類似している。

分布　Sb－93のM30、N29・30、O28・29、P28、Q27・28区に分布する。線状の細長い範囲に分布しているが段階・個体による偏りは見られない。

母岩別資料732・接合資料3316（図Ⅲ－323～325、図版226・227）

母岩別資料は接合3316の他、接合3317～3321・5941・56678・56679、削片１点、縦長剥片１点、石刃３点、彫器１点、剥片49点で構成され、総点数191点、総重量7,347.5g である。

素材　113点（52個体）が接合し、重量は6,656.9g、大きさは27×24×20cm である。爪状痕のある原礫面を持つ大型の転礫素材で、上面に１枚の大型剥離面がある状態で搬入されている。

剥離工程　上設の単剥離打面から正面・左右側面で頭部調整を伴う石刃剥離（段階１）の後、下設の単剥離打面作出が行われ（段階２）、下設打面から石刃が剥離される（段階３）。その後、再度、打面転移が行われ、上設打面からの石刃剥離（段階４）、さらに、下設打面からの石刃剥離（段階５）が行われる。石刃の打面は打面厚が１cm 程度の大きいものが多く、長さは15cm 程度のものが多いが、内在する節理面の影響もあり良形の石刃はあまり剥離されていない。

本母岩では、段階１の石刃を素材として97・98、非接合のため段階不明の87・96の４点のナイフ形石器と段階４の石刃（個体Ａ）、段階５の石刃（個体Ｂ）を素材として144・136、非接合のため段階不明の135の３点の彫器が製作される。

ナイフ形石器97・98・96は先端部を欠損し､打面を残すように基部に加工が施される｡基部加工は、97は背面右側縁に急角度の、98は背面両側縁に急角度の、腹面に右側縁から平坦剥離が行われ、96は背面両側縁に平坦剥離が行われる。87は、基部側は両面の平坦剥離によって円く整形され、先端側は右側縁全体・左側縁先端部に斜角の加工が行われ、尖頭状に整形される。87は完成品で、97・98・96は未成品と思われる。

個体Ａは、両端が折損した石刃の先端側の破片を利用し、上部の折れ面と左側縁で交叉状の削片剥離の後、下端の折れ面から左側縁で削片剥離が行われるが、ヒンジになっている。右側縁には下端の折れ面を切る不規則な平坦加工があり、縁辺部には１mm 程度の細かい剥離が見られる。個体Ｂは、石刃先端部の背面に角度のある加工により作出された打面から、腹面側に傾く彫刀面が作出される。彫刀面再生は行われない｡非接合の母岩別資料である135は厚手の素材で上下とも急角度の剥離によってノッチ状に右肩下がりの打面が作出される。左側面には上から、右側面には上下から剥離された彫刀面が残り、打面作出と彫刀面作出の順番は、下端部打面作出→下端部から右側面への彫刀面作出→

上端部から右側面への彫刀面作出→上端部打面作出→上端部から左側面への彫刀面作出である。

分布　Sb－95のＪ26、Ｋ25・26、Ｌ25、M26・28、Ｎ26～29、Ｏ24・26・27、Ｐ25、Sb－96のＪ25、Ｌ24・25区に分布する。分布は①Ｊ26、Ｋ25・26、Ｌ24・25区、②M26～28、Ｎ26～28、Ｏ26・27、Ｐ25区に分けられ、①は比較的集中した、②は非常に散漫な分布である。②には全てのトゥールとやや形のよい石刃類が、①にはそれ以外の一次剥片類が分布する。

母岩別資料933・接合資料4061（図Ⅲ－326～328、図版228・229－１）

母岩別資料は接合4061の他、接合4062・56844、彫器１点、剥片４点で構成され、総点数77点、総重量3,047.7g である。

素材　68点（40個体）が接合し、重量は2,975.2g、大きさは25×14×14cm である。爪状痕のある原礫面を持つ転礫を素材として、左側面・上面に大型剥離面がある状態で搬入されている。

剥離工程　円筒状の原石に石核調整を行わないで、上端部に設定された単剥離打面から頭部調整を伴って石刃が剥離される。途中にも稜調整などの石核調整は見られず、最後は末端部形状がヒンジの石刃が連続的に剥離され、遺棄される。石刃の打面は厚さ５～10mm の大きいものが多く、石刃の長さは最大23cm（294）で、15cm 程度（293）のものが多い。また、内側（後半）の石刃が欠落し、搬出されたと考えられる。

本母岩では２点のナイフ形石器（95・個体Ａ）、１点の彫器（137）、１点の削器（228）が製作されている。全て石刃素材と見られ、彫器・削器は非接合資料である。ナイフ形石器95は先端部破片で、素材先端部の背面左側縁に斜めに平坦剥離による加工が行われる。個体Ａ（369）は、長さ18cm、厚さ1.3cm のやや厚手の石刃素材で、素材のバルブ周辺を裁ち切るような左側縁への急角度の加工が行われるが、途中で階段状の剥離が連続し瘤状になっている。その一連の剥離の途中、上部を切り取るように右側縁に剥離が抜けてしまい、本体上部を大きく欠損するが、それによって瘤が除去され、また、器厚が薄くなる。その後、先端部背面側には左側縁全体・右側縁先端部に平坦な加工が、基部には両面への平坦剥離が行われ、柿の種子状の形態に整形される。最終的には背面の基部加工が腹面に抜けて器体が二分され、82が遺棄される。137は長さ1.7cm の厚手の石刃素材で、背材先端部に左肩下がりに急角度の裁ち切る加工により作出された打面から右側縁で彫刀面が作出されている。228は背面右側縁に素材を裁ち切る連続的な斜角の加工が行われる。打面が残される点で個体Ａと異なるが、二次加工は個体Ａの初期の加工に類似する。Ⅲ－510－３は幅広の石刃で、80m 離れた東地区のSb－61から出土した。Sb－61は広郷型ナイフ形石器石器群が出土したブロックで西地区の当該石器群との関連を裏付けている。

分布　Sb－61の P45、Sb－93のＮ29、Ｐ29、Sb－95のＪ26、Ｋ25・26、Ｌ25、M27、Ｎ25・28、Ｏ24～27、Ｐ24・26、Ｑ24区に分布する。分布は①Ｊ26、Ｋ25・26、Ｌ25区、②Ｎ25～29、Ｏ24～27、Ｐ24、Ｑ24区周辺、③ P45区に分けられ、①には原礫面のある石刃や最終段階のヒンジの石刃を含む石器が、②にはナイフ形石器・彫器・削器・石刃が散漫に、③には石刃１点が分布している。トゥールは全て②に、また、②③に分布する石刃は比較的良形でトゥールや欠落した石刃と同様に石刃剥離工程の中間段階で剥離されたものであることから、中間段階で剥離された石刃が目的剥片で、それらが①から②や③に選択されて持ち込まれたと考えられる。

母岩別資料934・接合資料4063（図Ⅲ－329、図版229－２）

母岩別資料は接合4063のみである。

素材　49点（37個体）が接合し、重量は408.9g、大きさは11×９×８cm である。角が潰れた亜角礫ないし転礫を素材として上面に単剥離打面、全周に上からの剥離面で覆われた石刃核で搬入されてい

る。

剥離工程　正面形がＶ字状の石刃核の上設打面から頭部調整を伴って石刃（段階１）が連続的に剥離される。途中、右側面で剥離された石刃がヒンジになり、作業面形状を修正するために右側面下部調整が行われるが、それ以外に石核調整は見られず、石刃剥離は順調に行われる。石刃剥離後半は下端部を取り込む剥離が連続し、石刃核の高さが減少している。石刃の打面厚は５mm 前後でやや大きい。頭部調整は縁辺が直線的になるように行われ、292のように作業面に残る二本の稜間の、縁辺から５mm 程度内側を打撃して比較的幅広の石刃を剥離する意識が伺える。

石刃は10cm 前後のものが主体で、欠落しているものはほとんど無いが、２点（91・86）がナイフ形石器に加工されている。91は加工の頻度が低く、軽いヒンジによる反りの見られる背面先端部左側縁が斜めに加工され、右側縁には微細な剥離面が全体に見られる。86は長さ７cm の石刃素材で反りのある素材先端側を基部に設定し、基部側は両面への平坦剥離によって円形に、打面側は、素材左側縁上半部・右側縁先端部の平坦剥離によって打面を除去し、尖頭状に整形される。

分布　Sb－93のＯ28、Ｐ27・28、Ｑ26・27、Ｒ25、Sb－95のM29、Ｎ26～29、Ｏ26、Ｐ25、Ｑ24区に分布する。大きく①M29、Ｎ26～29、Ｏ26、Ｐ25、Ｑ24区、②Ｏ28、Ｐ27・28、Ｑ26・27、Ｒ25区に分けられ、ともに散漫な分布であるが、①はより広い範囲に散漫に分布する。①には全てのトゥール・石刃の一部が、②にはそれ以外の遺物が分布している。

母岩別資料738・接合資料3339（図Ⅲ－330・331、図版230）

母岩別資料は接合3339の他、接合56683・56684、石刃１点、剥片20点で構成され、総点数103点、総重量1,384.3g である。

素材　78点（52個体）が接合し、重量は1,313.2g、大きさは21×11×９cm である。平滑な原礫面を持つ角礫を素材として、長さ21cm の作業面を持つ大型の石刃核で搬入されている。

剥離工程　上面・裏面は風化の進んだ古い剥離面で構成され、正面は上設打面から剥離された石刃剥離面のある状態で搬入され、遺跡内でも最初は正面から右側面にかけて上設打面から石刃が剥離される（段階１）。末端部がヒンジの石刃が連続して剥離され、作業面形状が悪化した段階で作業面下部調整が下端部（段階３）、右側面（段階４）から行われ、再度、上設打面から正面・両側面で石刃が剥離される（段階４）。段階４の途中で裏面から右側面調整が行われる。段階４の最終段階では、ウートラパッセにより大きく下端部が取り込まれ、石刃核の高さが８cm 減少し、さらにヒンジの石刃剥離によって作業面に段差ができた時点で、最後に下面で裏面から連続して寸詰まりの剥片が剥離される（段階６）。石刃剥離の際には簡単な頭部調整が行われ、石刃の打面は大きい。搬入時の石刃核作業面には20cm を超える石刃が剥離された跡があるが、遺跡内ではそれほど長い石刃は剥離されず、欠落する石刃も少ない。

本接合資料では石刃を素材として削器２点（220・222）が製作され、１点の厚手の剥片（個体Ａ）を素材として剥片剥離が行われる。220は段階１の石刃素材で両側縁に不規則な平坦剥離が施され、222は段階３の石刃素材で両面に不規則な粗い平坦剥離が施される。段階４で下端部を大きく取り込んだ個体Ａは、その両端部で寸詰まりの剥片が剥離される。

分布　Sb－95のＫ27～29、Ｌ27～29、M27・28、Ｎ27区に分布する。散漫な分布であるが一つのまとまりとして認められ、段階・個体による偏りは見られない。

母岩別資料829・接合資料3660（図Ⅲ－331・332、図版231－１）

母岩別資料は接合3660の他、剥片８点で構成され、総点数64点、総重量1,100.7g である。

素材　56点（36個体）が接合し、重量は1,086.9g、大きさは19×11×８cm である。平滑な原礫面を

持つ角礫を素材として原石の形状で搬入されている。

剥離工程　打面と作業面の角度が約60度の小口面を作業面に設定し、石核調整無しで上面の原礫面打面から頭部調整を伴って石刃が剥離される（段階１）。ヒンジによって作業面下部に段差が生ずると途中で左側面から正面に稜調整（段階２）が行われる。最後はヒンジとなる剥離が連続し、石刃核は遺棄される。12cm 前後の石刃が剥離されるが、ほとんど搬出されていない。

分布　Sb－95のM27～29、N26～28、O26区に分布する。一つのまとまりとして分布し、段階による偏りは見られない。

母岩別資料758・接合資料3434（図Ⅲ－332・333、図版231－２・232）

母岩別資料は接合3434のみである。

素材　73点（31個体）が接合し、重量は3,452.1g、大きさは17×16×16cm である。平滑な原礫面を持つ角礫を素材として、正面に１枚の大型剥離面がある状態で搬入されている。

剥離工程　正面から上面への打面作出（段階１）後、上面から頭部調整を伴わない粗い剥離（段階２）によって石核形状が整えられる。その後、主に裏面側から正面に向かって石刃が剥離され、最終的には作業面が全周を巡っている（段階３）。途中で右側面から裏面作業面に稜調整（段階４）が行われるが、石刃剥離段階ではほとんど石核調整が行われずに剥離が進行する。石刃は10～12cm 程度のものが剥離され、中央で剥離されたものが欠落し、搬出されている。

２点の削器（218・214）が製作され、218は右側縁に、214は両側縁に、細かい急角度の加工が施される。

分布　Sb－93のM30、N29、O29・30、P27～30、Q28・29区に分布する。分布は①P28、P29区の北東部周辺、②O30、P29南東部、Q29区周辺に分けられ、①には段階１・２、段階３の初期、②には段階３初期以降の遺物が分布し、①は高密度の、②は散漫な分布である。

母岩別資料904・接合資料3964（図Ⅲ－334・335、図版233）

母岩別資料は接合3964の他、接合3965、剥片67点で構成され、総点数180点、総重量2,181.0g である。

素材　98点（62個体）が接合し、重量は1,808.4g、大きさは20×17×11cm である。平滑な原礫面を持ち、角が潰れた亜角礫を素材として、上面に１枚の大型剥離面のある状態で搬入される。

剥離工程　正面中央から右側面への剥離（段階１）の後、石核幅を狭めるような上面から頭部調整の無い粗い剥離が左右側面で行われる（段階２）。正面から右側面下部への剥離（段階３）の後、正面で上面から頭部調整を伴って石刃が剥離される（段階４）。

本接合資料では舟底形石器５点（個体Ａ～Ｅ）が製作されている。個体Ａは段階１で剥離された厚手の縦長剥片素材で右側面のみ加工され、本体275は折損後、遺棄される。個体Ｂ～Ｄは段階２で剥離された厚手の剥片素材で全て甲板面からのみ加工が行われ、折損品263が残される個体Ｂ以外は本体が欠落する。個体Ｅは石刃核素材で、その加工は段階４の剥離と区別ができ、打面縁辺から１cm 以上内側に打点のある粗い剥離によって加工される。個体Ｅの本体は欠落している。

石刃剥離の頻度は低いが一部欠落している。

分布　Sb－93のN29、O29、P28・29区に分布する。１か所に高密度に分布し、段階・個体による偏りは見られない。

母岩別資料922・接合資料4032（図Ⅲ－335・336、図版234－１）

母岩別資料は接合4032の他、接合4033・4034で構成され、総点数80点、総重量658.1g である。

素材　59点（29個体）が接合し、重量は417.5g、大きさは10×10×10cm である。平滑な原礫面を持つ角礫素材で、石刃核で搬入される。

剥離工程　上設の単剥離打面から正面で、数回石刃が剥離された石刃核で搬入され、遺跡内では打面縁辺を磨り潰す頭部調整を伴う石刃剥離が継続して行われる。石核調整は最初から行われず、石刃剥離の途中でも行われない。正面形がU字状の原石を利用しているため順調に石刃剥離が進行する。石刃の長さは10cm 程度で、原礫面を持たない作業面中央で剥離されたものが欠落し、搬出されている。

分布　Sb－93のO29、P28区の１か所に非常に高密度に分布する。

母岩別資料667・接合資料3122（図Ⅲ－336、図版234－２）

母岩別資料は接合3122の他、接合3123で構成され、総点数28点、総重量458.7g である。

素材　23点（17個体）が接合し、重量は272.3g、大きさは９×９×７cm である。小型の転礫素材で原石ないし原石に近い形状で搬入されている。

剥離工程　上設の単剥離打面から左右側面での粗い石核調整の後に、正面で頭部調整を伴って石刃が剥離される。剥離される石刃の長さは８cm 程度で、中央付近で剥離されたものが一部欠落している。

分布　Sb－90のⅠ32、Ｊ32、Sb－91のH33、Sb－94のⅠ33区に分布する。やや離れた２点を除いて１か所にまとまって分布するが、これらに形態などの違いは見られない。

母岩別資料878・接合資料3851（図Ⅲ－336・337、図版235－１）

母岩別資料は接合3851の他、縦長剥片１点、彫器１点、剥片14点で構成され、総点数36点、総重量476.7g である。

素材　20点（17個体）が接合し、重量は410.7g、大きさは12×10×８cm である。平滑な原礫面を持ち、角の潰れた亜角礫を素材として、原石ないし原石に近い形状で搬入されている。

剥離工程　右側面から正面下部（段階１）、正面から左側面下部（段階２）への石核調整後、上面（原礫面）から左側面への剥離（段階３）が行われ、正面下部調整を挟んで（段階４）、上面から裏面への石刃剥離（遺物は欠落する）、上面から正面への石刃剥離（段階５）、上面から裏面への粗い剥離（段階６）が行われる。主に正面・裏面の石刃剥離によって石刃核の全周に上面からの剥離痕が見られる。本母岩では非接合であるが彫器130が製作されている。130は、背面に原礫面が残り、原石の外側で剥離された素材を利用して、背面両側縁、腹面片側縁に加工が施され、直線的な打面から彫刀面が作出されたⅡ類の彫器である。

分布　Sb－93のM29、O29・30、P28・29、Q28・29区に分布する。大きく①O29・30、P29、Q28・29区、②M29、P28区に分けられ、①には段階１～５が、②には段階６・石刃核・彫器130が分布する。

母岩別資料856・接合資料3781（図Ⅲ－337～339、図版235－２）

母岩別資料は接合3781の他、接合3782・56786、縦長剥片１点、剥片11点で構成され、総点数74点、総重量923.7g である。

素材　58点（44個体）が接合し、重量は882.9g、大きさは19×11×９cm である。平滑な原礫面を持ち、角がやや潰れた亜角礫を素材として原石の状態で搬入されている。

剥離工程　上設打面作出（段階１）後、石刃が剥離され（段階２）、左側面から正面下部調整（段階３）を挟んで、再度、石刃剥離（段階４）、さらに打面再生（段階５）後に、石刃剥離（段階６）が行われる。残存する石刃には顕著な頭部調整は認められない。剥離される石刃の長さは13cm 前後が多いが、段階６ではウートラパッセになって石刃核高・石刃長ともに著しく減少し、最終的には５cm 程度の石刃が剥離される。また、石刃は原礫面の無い段階４・６で剥離されたものが欠落している。

本接合資料では舟底形石器２点（個体Ａ・Ｂ）、彫器１点（102）、削器３点（224・235・個体Ｃ）

が製作されている。

舟底形石器が製作される個体Ａは段階１の打面作出剥片素材で、主に甲板面から両側面に加工が施され、右側面には初期段階と最終段階で下縁から加工が行われる。個体Ｂは段階４の厚手の縦長剥片素材で主に甲板面から両側面に加工が施され、左側縁中央には下縁からの加工が残るが、それらは甲板面からの加工に切られている。

Ⅰ類の彫器102は段階２の原礫面が残る石刃を素材として背面両側縁に加工が施され、ノッチ状の打面から彫刀面が作出される。

削器224は段階２の石刃素材で右側縁に急角度の加工が施され、段階２の235・段階６の個体Ｃは共に厚手の石刃素材で舟底形石器に類似した粗い加工が片側縁に施される。

分布　Sb－89のＲ30、Sb－93のM30、N30・31、O29～31、Sb－95のO27、Ｐ27区に分布する。分布は①Ｎ・O30区周辺、②Ｒ30区、③O・Ｐ27、Q25区に分けられ、ほとんどが①に分布し、②には段階６後半・石刃核が、③には舟底形石器272・削器224の下部破片・235が分布する。また、彫器は①の外れのO31区に分布する。トゥールの多くが①以外に分布することから、それらは持ち出されたものと考えられ、同様に段階６初期段階の石刃核がＲ30区に持ち出されたものと考えられる。

母岩別資料857・接合資料3783（図Ⅲ－340・341、図版236－１）

母岩別資料は接合3783の他、接合3784・3785、二次加工ある剥片１点で構成され、総点数74点、総重量518.0g である。

素材　66点（48個体）が接合し、重量は465.3g、大きさは12×10×７cm である。平滑な原礫面を持つ角礫素材で、原石ないし原石に近い形状で搬入されている。

剥離工程　正面形がＶ字状の原石を素材として、最初に石核調整を行わずに上面の原礫面打面から正面で頭部調整を伴って石刃が剥離される（段階１）。段階１の途中で作業面下部に段差が生じると、左側面から作業面下部に調整が行われる（段階２）。その後、長軸方向の打面再生（段階３）を行いながら左側面で石刃が剥離される（段階４）。原石形状が良く、段階１では反りの少ない10cm 程度の石刃（286など）が安定的に連続して剥離されるが、段階４ではウートラパッセになり、先端部に反りのある石刃が剥離され、長さも短くなる。石刃素材の多くの石器が製作されるが、搬出される石刃は少ない。

本接合資料では彫器４点（112・113・個体Ａ・120）、錐形石器１点（203）、削器６点（215・211・216・212・209・208）が製作され、彫器112・113、錐形石器203、削器215・211は段階１、彫器120、削器216・212・209・208は段階４の石刃素材、個体Ａは段階１の剥片素材である。

彫器112・113・120はⅡ類、個体Ａ（133）はⅢ類である。個体Ａを除いて大きさ、彫刀面傾斜角、形態軸・彫刀面交叉角が酷似している。

112は長さ8.1cm 幅（不明）の反りのない石刃素材で背面両側縁に加工が行われ、素材先端側に彫刀面が、打面側に錐状の刃部が作出される。錐状の刃部は素材打面端部に近く、再生はほとんど行われない。素材端部と彫刀面の距離は5.0cm で全てが彫刀面再生によって長さが減少したとすると20数回再生が行われたことになる。

113は長さ7.4cm 幅（3.5）cm の反りのない石刃素材で背面両側縁に加工が行われ、素材先端側に彫刀面が作出される。素材端部と彫刀面の距離は2.7cm で、全てが彫刀面再生によって長さが減少したとすると10数回再生が行われたことになる。

個体Ａ（380）は作業面中央で剥離された幅広の剥片素材で、左側縁の腹面に細かい加工が施され、打面付近に作出された粗いノッチ状の打面から左側縁に沿って幅広い削片が剥離される。削片剥離は

１回のみで彫刀面再生は行われない。

120は長さ7.0cm 幅2.3cm の先端部に反りのある石刃素材で、素材打面側に彫刀面が作出される。側縁調整は背面両側縁、腹面基部に施され、腹面加工によって素材先端部の反りが除去されている。素材端部から彫刀面の距離は2.5cm で、全て彫刀面再生によるものとすると10数回の再生が行われたことになる。

錐形石器203は細かい剥離で加工され、中央から先端にかけて細長い刃部が作出される。

削器（215・211・216・212・209・208）は、背面両側縁に素材形状を大きく変えない細かい加工が施される。素材は全て石刃であるが、段階１が薄く、段階４がやや厚い。また、208には腹面加工も見られ、その形態から彫器母型と思われる。

彫器の加工技術・形態、削器・錐形石器の加工技術が本母岩内で類似することから同一人物による剥離・加工が想定される。

分布　Sb－86のM35、Sb－93のM30、N29～31、O29・30、P27～30、Q29、R26区に分布する。分布は①O30区周辺、②O29区周辺、③P28区、④①～③以外に分けられ、①には彫器・削器を除く段階１・２の前半、②には彫器・削器を除く段階１・２の後半、③には段階３～５の遺物が分布する。また、③から20m 離れたM35区には段階１の薄手の石刃の折損品が分布する。トゥールは①の集中域の周辺部に多く分布する。以上のことから段階１・２前半、後半、段階３～５の３回に分けて剥離が行われ、それぞれの地点に遺棄され、トゥールは抜き出されて、P28区からR26区にかけて遺棄されたと考えられる。

母岩別資料867・接合資料3823（図Ⅲ－342、図版236－２）

母岩別資料は接合3823の他、接合3824～3828・3900・61749、剥片18点で構成され、総点数116点、総重量845.1g である。

素材　80点（62個体）が接合し、重量は668.9g、大きさは17×11×９cm である。平滑な原礫面を持つ角礫を素材として原石ないし原石に近い形状で搬入される。

剥離工程　打面再生（段階２）を伴う下設打面からの石刃剥離（段階１）の後、打面再生（段階４）を伴う上設打面からの石刃剥離（段階３）が行われる。右側面調整（段階５）の後、続けて打面を上下に転移させながら、下設打面からの石刃剥離（段階６）・下設打面再生（段階７）、上設打面からの石刃剥離（段階８）が行われる。その後、右側面からの剥離で大きく上設打面を再生し、正面～右側面にかけて石刃が剥離される（段階９）。ヒンジにより段差の生じた作業面下部に横方向の石核調整（段階10）が行われ、段階９の最後に打面縁辺から１cm 内側を打撃し、石刃核を分割して剥離は終了する。

段階１～８の石刃は両設の石刃核から剥離されるため、側面形は直線的で、段階９の石刃は単設であるため剥離される石刃の先端には反りが見られる。長さは両者とも10cm 以下が主体で段階１～８の石刃は正面中央で剥離されたものが、段階９の石刃は右側面で剥離されたものがほとんど欠落し、搬出されたと考えられる。

彫器104は、段階１で剥離された側面形が直線的な長さ8.0cm 幅2.3cm の石刃素材で、側縁調整は背面両側縁に細かい加工が施され、直線的な打面から素材先端側に彫刀面が作出される。素材端部から彫刀面まで1.4cm あり、全て彫刀面再生によるものとしても数回の再生が行われた程度である。

分布　Sb－92のN32、Sb－93のM30、N29・31、O29・30、P28・29区に分布する。O30区に高密度の集中域があり、それ以外は周辺に散漫に分布する。周辺には、彫器104がO29区、石核がP29区に分布するが、それ以外の遺物は縦長剥片や調整剥片である。

母岩別資料866・接合資料3822（図Ⅲ－343・344、図版237－１）

母岩別資料は接合3822の他、縦長剥片１点、剥片42点で構成され、総点数81点、総重量807.9g である。

素材　38点（33個体）が接合し、重量は661.0g、大きさは16×11×６cm である。平滑な原礫面を持つ角柱状の角礫を素材として上面に１枚の剥離面がある状態で搬入される。

剥離工程　角柱状の原石の小口面で上面の単剥離打面から石刃が剥離（段階１）された後、下設打面作出・再生（段階２）、下設打面からの石刃剥離（段階３）が行われる。再度、打面転移により、上設打面再生（段階４）、上設打面からの石刃剥離（段階５）が行われ、最後は石刃核を素材として舟底形石器が製作される。一連の石刃剥離には頭部調整が見られる。

石刃は打面転移が頻繁な段階１・３では直線的な側面形であるが、上設打面に固定される段階５では先端部に反りのある形態である。段階１・３では最大14cm の、段階５の初期（打面再生前）には12cm、後半（打面再生後）には９cm の石刃が剥離され、主に段階５の初期の石刃が欠落する。

本接合資料では舟底形石器３点（個体Ａ～Ｃ）、削器１点が製作される。

個体Ａは段階２の厚手の打面作出剥片素材で甲板面である腹面からのみ加工が行われる。個体Ｂは段階５のウートラパッセによって石刃核が分割された最終剥離の剥片素材で、甲板面である腹面からのみ加工が行われる。個体Ｃは石刃核素材で、作業面に残る最終剥離面である個体Ｂの剥離面を甲板面に設定し、裏面からの加工の後、甲板面から加工が施される。

削器は掲載していないが、段階５で剥離された石刃素材で、図Ⅲ－240－209に類似した細かい加工が両側縁に見られる折損品である。

分布　Sb－92のＮ32、Sb－93のＮ30・31、Ｏ30、Ｐ28・30区に分布する。個体Ａ～Ｃ以外はＯ30区に高密度に分布するが、個体Ａ～ＣはＯ30区を含めた周辺に散漫に分布し、削器はやや離れたＰ28区に分布する。

母岩別資料842・接合資料3703（図Ⅲ－344、図版237－２）

母岩別資料は接合3703の他、接合3704・3705・56768、剥片44点で構成され、総点数80点、総重量598.8g である。

素材　25点（15個体）が接合し、重量は424.7g、大きさは20×７×4.6cm である。平滑な原礫面を持ち、角の潰れた亜角礫を素材として原石ないし原石に近い形状で搬入される。

剥離工程　最初は正面に上面からの石刃剥離（段階１）が行われる。その最終剥離時にウートラパッセによって下端部が大きく取り込まれ、その際、下端部にできた傾斜を下設打面に設定し、裏面で下面から石刃剥離（段階２）が行われる。再度、打面転移によって、上面打面調整（段階３）後、石刃核を二分する厚手の縦長剥片が右側面で剥離され（段階４）、最後は、裏面で下面から石刃剥離（段階５）が行われる。

石刃剥離の際に頭部調整は見られず、剥離された石刃はほとんど遺棄されている。

段階４の厚手の縦長剥片（個体Ａ）は舟底形石器の素材となり、加工は全て甲板面である腹面から行われる。舟底形石器本体は欠落している。

分布　Sb－93のＰ28・29、Ｑ27区に分布する。全体ではＰ28区周辺にまとまって分布するが、個体Ａとそれ以外ではややずれて分布する。

母岩別資料926・接合資料4043（図Ⅲ－345、図版238上）

母岩別資料は接合4043の他、剥片３点で構成され、総点数62点、総重量1,782.1g である。

素材　59点（47個体）が接合し、重量は1,473.5g、大きさは18×17×13cm である。平滑な原礫面を

持つ角礫を素材として原石の形状で搬入される。

剥離工程　正面からの上設打面作出（段階１）後、裏面から右側面への剥離（段階２）、下面から裏面への剥離（段階３）、上設打面から全周でのやや粗い剥離（段階４）、裏面から左側面への剥離、左側面から上面への剥離（段階５）が行われる。裏面から上面への打面再生（段階６）後、裏面で上設打面から頭部調整を伴って石刃が剥離される（段階７）。

石刃は10cm 程度で、ほとんどが欠落している。

本接合資料では舟底形石器２点（個体Ａ・Ｂ）が製作される。個体Ａは段階１の厚手の打面作出剥片、個体Ｂは段階６の厚手の打面再生剥片で、両者とも甲板面である腹面からのみ加工が行われ、本体は欠落し、搬出される。

分布　Sb－93のＯ29、Ｐ28・29区に分布する。細長い範囲にやや高密度に分布し、段階・個体による偏りは見られない。

母岩別資料931・接合資料4053（図Ⅲ－346、図版238下）

母岩別資料は接合4053の他、接合4054、剥片４点で構成され、総点数122点、総重量1,799.1g である。

素材　115点（70個体）が接合し、重量は1,778.2g、大きさは16×13×12cm である。平滑な原礫面を持つ角礫を素材として、正面に１枚の剥離面のある状態で搬入される。

剥離工程　左側面と裏面の角を粗い剥離によって整形（段階１）した後、上面から正面へ頭部調整を伴わない粗い剥離が行われる（段階２）。その後、右側面と裏面の角で上面から縦長剥片が剥離され（段階３）、その途中、上面と左側面の角での裏面からの剥離（段階４）、正面から左側面上部への石刃状の剥離（段階５）、下面から右側面への剥離（段階６）が行われる。さらに、裏面から下面に打面が作出され（段階７）、正面・左側面・裏面で石刃が剥離される（段階８）。段階８の途中で正面上からの作業面調整が行われる（段階９）。

三角錐状の原石の角で、石刃状の剥離が作業面を転移させながら行われるが、連続した石刃剥離には至っていない。段階６までの剥離によって石刃核の形態が整い、段階７で作出された打面から連続的な石刃剥離が行われる。その段階での石刃核高は９cm で、剥離される石刃も９cm 以下で最終的には６cm の小型のものになっており、それらのほとんどは遺棄されている。

分布　Sb－93のＯ28・29、Ｐ28・29区に分布し、非常に高密度な分布である。

母岩別資料722・接合資料3268（図Ⅲ－347・348、図版239）

母岩別資料は接合3268の他、接合3269・3270・56655、剥片１点で構成され、総点数103点、総重量1,946.2g である。

素材　91点（74個体）が接合し、重量は1,880.8g、大きさは18×18×16cm である。平滑な原礫面を持つ角礫素材で原石ないし原石に近い形状で搬入されている。

剥離工程　最初に、正面から上面～右側面への剥離（段階１）、上面から正面への剥離（段階２）が、打面と作業面を入れ替えながら交互に行われる。右側面から裏面への剥離（段階３）の後、右側面から下面への剥離で打面が作出され（段階４）、その下設打面から右側面へ頭部調整を伴って石刃が剥離され（段階５）、その途中で右側面から正面へ石核調整（段階６）、左側面から裏面へ石核調整（段階７）が行われる。

段階１・２の粗い剥離で石核形状を粗く整えた後に、段階４の打面作出が行われる。その時点での石刃核高は13cm 程度で、剥離される石刃長は８～13cm である。石刃は初期の10～13cm のものが欠落し、搬出される一方、後半の８～13cm のものは遺棄されている。

本接合資料では舟底形石器３点（個体Ａ～Ｃ）が製作されている。個体Ａは段階２の厚手の剥片、

個体Ｂは段階１の大型剥片、個体Ｃは段階４の厚手の打面作出剥片素材で、全て甲板面である素材腹面からのみ加工が行われる。本体は、遺棄される個体Ａ（Ⅲ－124－125）を除いて欠落する。

分布　Sb－86のＮ34、Sb－89のＲ30、Ｓ29、Sb－92のM32、Ｎ32・33、Sb－93のM29・31、Ｏ29・31・32、Ｐ28・31区に分布する。分布は①Ｐ28・29区、②M31・32、Ｎ32～34、Ｏ31・32、Ｐ31区、③Ｒ30、Ｓ29区に分けられ、①には個体Ａ・Ｂを除く段階１・２の前半（相対的に粗い剥離）が、②には個体Ａ(折れた一次剥片を除く)・Ｂ、個体Ｃの本体を除く調整剥片、個体Ａ～Ｃ以外の段階１・２の後半（相対的に細かい剥離)、３～７が、③には個体Ｂの調整剥片１点（調整剥離工程の最初や最後の剥片ではなく途中の剥片)、個体Ｃの本体であるⅢ－124－125が分布する。分布密度は①は高く、②③は低い。以上を整理すると①に初期段階の遺物が分布し、②に後半段階と舟底形石器の調整剥片が分布することから、①での初期の剥離後、②に石核と舟底形石器の素材が持ち込まれ、石刃剥離・舟底形石器調整剥離が行われたと考えられる。また、さらに舟底形石器の一部は③に持ち込まれたと思われる。

母岩別資料911・接合資料3989（図Ⅲ－349・350、図版240上）

母岩別資料は接合3989の他、剥片１点で構成され、総点数66点、総重量1,443.5g である。

素材　65点（60個体）が接合し、重量は1,442.3g、大きさは18×15×９cm である。平滑な原礫面を持つ角礫を素材として原石ないし原石に近い形状で搬入されている。

剥離工程　裏面から上面への剥離（段階１）で打面が作出され、正面で厚手の縦長剥片が剥離される（段階２)。その後、段階２の剥離面の末端部を打面として右側面と裏面の角部で剥離が行われ（段階３)、次に打面を180度転移させ、上面から剥離が行われる（段階４)。正面から右側面への稜調整（段階５）後、上面から正面に厚手の剥片が剥離され（段階６)、左側面から下面（段階７)、下面から左側面(段階８)への稜調整後、上設打面から正面で頭部調整を伴う石刃剥離が行われる(段階９)。

剥離される石刃の長さは９cm 程度で先端部に反りが見られる。そのほとんどが欠落し、搬出されたものと考えられる。

本接合資料では舟底形石器３点（個体Ａ～Ｃ）が製作されている。個体Ａは段階１、個体Ｂは段階２、個体Ｃは段階６の厚手の剥片素材で全て甲板面である腹面からのみ加工され、個体Ｂのみ折損した本体264が遺跡に残されている。

分布　Sb－93のＮ29、Ｏ29、Ｐ28・29、Ｑ29区に分布する。分布は比較的高密度で、個体・段階による偏りは見られない。

母岩別資料928・接合資料4046（図Ⅲ－350・351、図版240下）

母岩別資料は接合4046の他、接合4047～4049・56833、剥片34点で構成され、総点数114点、総重量1,527.0g である。

素材　68点（60個体）が接合し、重量は1,277.1g、大きさは17×15×９cm である。平滑な原礫面を持ち、角がやや潰れた亜角礫を素材として原石の形状で搬入されている。

剥離工程　正面から上面への長軸方向の剥離で打面が作出された（段階１）後、右側面で石核の幅を減少させる粗い剥離（段階２)、右側面に正面からの稜調整（段階３）を挟みながら、正面の小口面で上設打面から頭部調整を伴う石刃剥離（段階４）が行われる。右側面から作業面下部稜調整（段階５）後に、引き続き、上設打面からの石刃剥離（段階６）が行われ、その剥離がヒンジになると、裏面下部に180度打面を転移させ、裏面から下面へ剥離を行い（段階７)、さらに打面を転移させ、右側面から正面（段階８)、正面から右側面（段階９）の粗い剥離で厚手の剥片が剥離される。段階７～９の頻繁な打面転移の結果、石核324には多方向の大型の剥離面が残る。

剥離される石刃は長さ10cm 程度で、剥離される稜は少なく、ほとんど欠落していない。

本接合資料では舟底形石器４点（個体Ｂ・Ｄ・Ｅ・Ｆ）、削器１点（個体Ａ）、二次加工ある剥片１点（個体Ｃ）が製作される。

舟底形石器に加工される、個体Ｂは段階４の厚手の石刃、個体Ｄは段階７の厚手の石刃、個体Ｅは段階８の厚手の剥片、個体Ｆは段階９の厚手の剥片素材で、全て甲板面である腹面からのみ加工が行われ、本体は欠落している。

削器に加工される個体Ａは段階１の厚手で縦長の打面作出剥片を素材として片側縁のみ加工が行われる。本体である233に残る粗い加工は舟底形石器の加工に類似する。

個体Ｃは本体を掲載していないが段階６の剥片で舟底形石器の加工に類似した数回の加工が施されるのみである。

分布　Sb－93のＯ29、Ｐ28・29区に分布する。分布は比較的高密度で、個体・段階による偏りは見られない。

母岩別資料827・接合資料3658（図Ⅲ－351・352、図版241－１）

母岩別資料は接合3658の他、剥片５点で構成され、総点数55点、総重量417.5g である。

素材　50点（49個体）が接合し、重量は410.4g、大きさは13×11×６cm である。風化によってザラついた平坦面を持ち、角の潰れた亜角礫を素材として原石で搬入されている。

剥離工程　正面からの上設打面作出（段階１）後、上設打面から正面への剥離（段階２）、上設打面から裏面への厚手の縦長剥片剥離が行われる（段階３）。剥離された剥片の多くと石核自体が舟底形石器に加工され、舟底形石器を製作することを目的とした母岩である。

本接合資料では舟底形石器４点（個体Ａ～Ｄ）が製作されている。

個体Ａは段階１の厚手の縦長剥片、個体Ｂ・Ｃは段階３の厚手の縦長剥片、個体Ｄは石核を素材としている。個体Ａ・Ｂは素材腹面が、個体Ｃは素材背面が、個体Ｄは作業面が甲板面に設定され、全て甲板面からのみ加工が行われ、折損した一部（277）が残存する個体Ａを除いて全て本体は欠落している。

分布　Sb－93のＮ29、Ｏ28・29、Ｐ27・28、Ｑ27・28区に分布する。全体としてはやや高密度の細長い分布で個体・段階による大きな違いは見られない。

母岩別資料814・接合資料3611（図Ⅲ－352・353、図版241－２）

母岩別資料は接合3611の他、接合56748で構成され、総点数47点、総重量1541.7g である。

素材　45点（18個体）が接合し、重量は1,492.3g、大きさは23×15×13cm である。一部平滑な面のある転礫素材で上面に１枚の剥離面が残る状態で搬入される。

剥離工程　上設の単剥離打面から正面で石刃が剥離された（段階１）後、裏面で石刃が剥離され（段階２）、再度、正面で石刃剥離（段階３）が行われる。最初から石核調整は施されずに縦方向の剥離が行われる。段階２・３の最終剥離には頭部調整が見られるが、それ以外は打面が潰れ、おそらく頭部調整は行われないと思われる。石刃は15cm 程度のものが剥離されるが、その頻度は低く、最終剥離に頭部調整が見られることから、石刃剥離が可能な石刃核が製作され、搬出されたと考えられる。

分布　Sb－95のＫ28、Ｌ27～29、Ｍ27～29、Ｎ29区にやや散漫に分布する。

母岩別資料708・接合資料3237（図Ⅲ－353・354、図版242－１）

母岩別資料は接合3237のみである。

素材　88点（49個体）が接合し、重量は1,339.3g、大きさは16×14×11cm である。爪状痕のある原礫面を持つ転礫を素材として原石の状態で搬入される。

剥離工程　左側面後方からの剥離で作出された（段階１）打面から、左側面に粗い石核調整が行われた後、正面から左側面にかけて頭部調整を伴う石刃剥離が行われる（段階２）。その後、石刃核は打面の大きい粗い加工によって舟底形石器に加工される。

剥離される石刃の長さは７～11cm でほとんどが欠落している。

本接合資料では舟底形石器３点（個体Ａ－１・Ａ－２・Ｂ）が製作されている。個体Ａは打面作出剥片で剥離時に同時割れでＡ－１・Ａ－２に分割される。それぞれ甲板面である腹面からのみ加工が行われ、Ａ－１の本体は欠落し、Ａ－２の本体273は遺棄される。個体Ｂは石刃核素材で、石刃核が小型化し、頭部調整を伴う石刃剥離がヒンジになった時点で粗い加工に変化し、舟底形石器が製作される。加工は打面からのみ行われ、本体は欠落し、搬出される。

分布　Sb－90のＪ32・33、Sb－94のＩ31・32、Ｊ31区に分布する。分布は比較的高密度で、個体・段階による偏りは見られない。

母岩別資料830・接合資料3661（図Ⅲ－354・355、図版242－２）

母岩別資料は接合3661のみである。

素材　32点（26個体）が接合し、重量は932.9g、大きさは15×13×10cm である。風化によりザラついた平坦な原礫面を持ち、角が潰れた亜角礫を素材として、上面に１枚の剥離面がある状態で搬入される。

剥離工程　正面から上面への打面作出（段階１）後、頭部調整を伴う石刃剥離が行われる（段階２）。その後、正面下部石核調整（段階３）が行われ、石刃核を分割するように下面から正面へ厚手の剥片が剥離される（段階４）。剥離される石刃の長さは10cm 前後で、後半に剥離された石刃が欠落する。

本母岩では舟底形石器２点（個体Ａ・Ｂ）が製作される。個体Ａは段階２の厚手の剥片、個体Ｂは段階４の厚手の剥片で、両者とも甲板面である腹面からのみ加工が行われ、本体は欠落する。

分布　Sb－95のＫ26、Ｌ26・27区に、やや高密度にまとまって分布する。

母岩別資料778・接合資料3496（図Ⅲ－355・356、図版243－１）

母岩別資料は接合3496のみである。

素材　28点（17個体）が接合し、重量は1,668.8g、大きさは16×15×８cm である。爪状痕のある原礫面を持つ扁平な転礫を素材として、上面に１枚の剥離面がある状態で搬入される。

剥離工程　正面から長軸方向の剥離による上設打面作出（段階１）後、上設打面からの粗い石核調整剥離・頭部調整を伴う打面の大きい石刃剥離（段階２）が行われる。正面作業面にヒンジによる段差が生じた時点で、下設打面が作出され（段階３）、下設打面から剥離が行われるが、石刃は剥離できず、打面転移によって再び上設打面から頭部調整を伴う打面の小さい石刃が剥離される（段階４）。

剥離される石刃の長さは段階２が11cm 程度、段階４が９cm 程度で、段階４の石刃が主に欠落している。

分布　Sb－93のＯ30、Ｐ27・28・30、Ｑ26・27区に分布する。分布は①Ｐ27・28、Ｑ26・27区、②Ｏ30区に分けられ、①には段階１・段階２の一部（剥離の連続したものではない）・石刃核が非常に散漫に分布し、②にはそれ以外の遺物が高密度に分布する。

母岩別資料755・接合資料3420（図Ⅲ－356・357、図版243－２）

母岩別資料は接合3420の他、接合3421・3422で構成され、総点数59点、総重量1,099.7g である。

素材　54点（41個体）が接合し、重量は1,081.6g、大きさは14×11×10cm である。爪状痕のある原礫面を持つ転礫を素材として上面に１枚の剥離面がある状態で搬入される。

剥離工程　上面から右側面への剥離（段階１）後、正面から上面への剥離（段階２）によって打面が

作出され、上設打面から頭部調整の無い粗い石核調整が行われる（段階３）。その後、頭部調整を伴って打面の小さい石刃が剥離される（段階４）。

剥離される石刃は長さ８cm 程度で、大部分が欠落し、搬出される。

本接合資料では彫器１点（125）、舟底形石器１点（個体Ａ）が製作される。彫器Ⅱ類の125は段階４の石刃素材（素材大きさ不明）で、背面両側縁に斜角の、腹面基部にバルブを除去する平坦な加工が行われ、素材先端側に彫刀面が作出される。接合資料の状態から彫刀面側は３cm 程度素材端部から短くなっており、全てが彫刀面再生によって長さが減少したとすると10数回再生が繰り返されたことになる。個体Ａは段階３の厚手の剥片素材で、甲板面である腹面からのみ加工が行われ、破損品である260が遺棄される。

分布　Sb－93のM31、N30・31、O30、P27・28・30、Q27、R26区に分布する。分布は、①P27・28、Q27、R26区、②O30区周辺に分けられ、①には彫器・石刃核・良形の石刃・大型剥片が非常に散漫に、②にはそれ以外の遺物が高密度に分布する。

母岩別資料773・接合資料3489（図Ⅲ－357・358、図版244）

母岩別資料は接合3489のみである。

素材　47点（27個体）が接合し、重量は2,783.8g、大きさは25×16×７cm である。爪状痕のある原礫面を持つ扁平な転礫素材で、右側面下部に１枚の剥離面がある状態で搬入される。

剥離工程　正面から上面への剥離（段階１）によって打面が作出され、正面で頭部調整を伴わない粗い縦長剥片剥離（段階２）が行われる。次に段階２の剥離面下部から下面への剥離（段階３）、正面から上面への剥離（段階４）、上面から正面への剥離（段階５）が行われ、下面から正面への作業面調整剥離（段階６）後、正面において上設打面から頭部調整を伴って石刃が剥離される（段階７）。最後に、下面から正面へ頭部調整を伴わないやや粗い縦長剥片剥離が行われる（段階８）。

剥離される石刃の長さは10cm 程度で、頭部調整を伴うものは少ない。

段階１の厚手の打面作出剥片である個体Ａ（図版244－503）は、正面から下面への剥離（個体Ａ段階１）で作出された下設打面から、正面で縦方向の剥離（個体Ａ段階２）が行われた後、正面から上面への剥離（個体Ａ段階３）によって作出された上設打面から、正面で縦方向の剥離が行われる（個体Ａ段階４）。

分布　Sb－93のO29、P27・28、Q26・27、R26区に分布する。分布は大きく①P27・28区周辺、②Q・R26区に分けられるが、それらに個体・段階・内容による違いが見られない。

母岩別資料929・接合資料4050（図Ⅲ－359、図版245－１）

母岩別資料は接合4050の他、縦長剥片１点、剥片４点で構成され、総点数68点、総重量1,008.2g である。

素材　63点（54個体）が接合し、重量は993.8g、大きさは18×11×８cm である。風化した平坦な原礫面を持ち、角の潰れた亜角礫を素材として、上面に１枚の剥離面がある状態で搬入される。

剥離工程　上設の単剥離打面から頭部調整を伴わない打面の大きい剥離（段階１）の後、下設打面が作出され（段階２）、下設打面から頭部調整を伴う打面の小さい石刃剥離（段階３）が、上設打面からの頭部調整を伴う石刃剥離（段階４）と打面を転移させながら交互に行われる。石刃核が７cm に小型化した時点で、下面から裏面への最終剥離（段階５）によって、石刃核は２分割される。

石刃の形状は、段階３・４の前半では側面形が直線的で長さは10～13cm 程度、後半（290など）では先端部に反りがあり７～10cm 程度で、両者共に欠落し、搬出されている。

本接合資料では舟底形石器１点（個体Ｂ）が製作される。個体Ｂは段階２の厚手の打面作出剥片で、

加工は、最初、甲板面である腹面から両側面に行われ、断面が三角形に変化する段階で下縁から行われ、その後甲板面から行われる。後半の加工には、前半にはなかった縁辺部調整が見られ、断面三角形に近づく後半には甲板面の縁辺を滑らかにしながら加工が進行したと思われる。個体Ａは段階１の厚手の剥片で１回の粗い加工により中央で折損している。

分布　Sb－93のＯ29、Ｐ27～29、Ｑ27区に分布する。分布はＱ27区を中心としてＯ29区まで伸びるが、個体・段階による偏りは見られない。

母岩別資料726・接合資料3283（図Ⅲ－360、図版245－２）

母岩別資料は接合3283の他、接合3284、剥片５点で構成され、総点数42点、総重量633．3g である。

素材　31点（22個体）が接合し、重量は540.4g、大きさは15×12×10cm である。爪状痕のある原礫面を持つ転礫を素材として、粗い剥離のある状態で搬入される。

剥離工程　上設の単剥離打面から正面への剥離（段階１）、正面から下面への剥離（段階２）後、途中で正面から下面への剥離（段階５）を挟みながら、下設打面から（段階３）、上設打面から（段階４）、下設打面から（段階６）、上設打面から（段階７）、下設打面から（段階８）と頻繁に上下に打面を転移させて頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。幅広剥片の剥離によって作業面に直線的な稜線が無くなった時点で、作業面を下面に転移させ、右側面を打面として石刃が剥離される（段階９）。

段階３～８の石刃は長さ10cm 程度で、両設打面のため側面形が直線的で、段階９の石刃は、長さは段階３～８と同様であるが単設打面のため先端に反りが残る。

本接合資料では彫器２点（103・128）、削器１点（221）が製作される。

彫器Ⅰ類の103は長さ9.3cm 幅2.1cm の先端部にやや反りのある石刃素材で、背面両側縁に加工が施され、素材先端側に彫刀面が作出される。素材端部から彫刀面の距離は4.4cm あり、全て彫刀面再生によるものとすると20数回の再生が行われたことになる。

彫器Ⅱ類の128は素材の大きさは不明で、素材先端側に彫刀面が作出される。側縁調整は背面両側縁、腹面基部に施され、腹面加工によって素材のバルブが除去されている。素材形状は不明であるが、接合状況から判断すると素材から３cm 程度は短くなり、彫刀面再生が頻繁に行われたと思われる。

削器221は右側縁の背面に粗い剥離が、左側縁の打面側の背面・先端側の腹面に加工が施される。

分布　Sb－93のＭ29、Ｎ29・30、Ｏ28・29、Ｐ28、Sb－95のＬ27、Ｏ27・28、Ｐ26区に分布する。広範囲に散漫に分布し、彫器２点がＯ29区に近接して分布するものの、その他の段階・個体による偏りは見られない。

母岩別資料798・接合資料3543（図Ⅲ－361、図版246－１）

母岩別資料は接合3543の他、接合3544、剥片１点で構成され、総点数45点、総重量434．5g である。

素材　41点（29個体）が接合し、重量は427.0g、大きさは16×６×６cm である。一部平滑な原礫面を持ち、角が円く潰れた転礫を素材として原石の状態で搬入される。

剥離工程　細長い原石を縦割りする上端部からの剥離（段階１）後、下端部に生じた平坦面を打面として正面で頭部調整を伴う石刃剥離が行われる（段階２）。

段階２の石刃剥離では、最初からウートラパッセによって石刃核高が減少し、７～11cm の石刃が剥離されるが、良好な石刃はほとんど無く、その大部分が遺棄されている。

個体Ａは段階１で剥離された剥片で、そのウートラパッセの先端部破片を利用して頭部調整のある小型（５cm 程度）の石刃が剥離される。個体Ｂは段階２で剥離された厚手の縦長剥片素材で末端部の反りを除去する加工が行われる。

分布　Sb－93のＮ29、Ｏ28・29、Ｐ27・28、Sb－95のＯ27・28区の比較的広い範囲に散漫に分布し、

個体・段階による偏りは見られない。

母岩別資料864・接合資料3813（図Ⅲ－361・362、図版246－２）

母岩別資料は接合3813の他、接合3814、剥片２点で構成され、総点数27点、総重量354．0g である。

素材　23点（17個体）が接合し、重量は337.1g、大きさは９×８×８cm である。やや風化した平坦な原礫面を持つ角礫を素材として、下面に１枚の剥離面がある状態で搬入される。

剥離工程　上面から正面への剥離（段階１）→下面から正面への剥離（段階２）→上面から正面への剥離（段階３）→下面から左側面への剥離（段階４）と打面を上下に移動させながら剥離が進行する。全体を通して明確な頭部調整は見られない。

本接合資料では舟底形石器１点（個体Ａ）が製作される。個体Ａは段階１で剥離された厚手の剥片で、甲板面である腹面からのみ加工が行われる。最終的に、本体は欠落し、搬出される。

分布　Sb－93のＰ28・29、Ｑ27区に散漫に分布する。個体ＡはＰ28・Ｑ27区、個体Ａ以外はＰ28区北東部・Ｐ29区に分布し、それらは一部重複しながらも分布の中心は異なる。

母岩別資料889・接合資料3898（図Ⅲ－362、図版246－３）

母岩別資料は接合3898の他、接合3899、剥片11点で構成され、総点数40点、総重量327．3g である。

素材　25点（23個体）が接合し、重量は257.9g、大きさは９×８×５cm である。平滑な原礫面を持つ角礫を素材として、原石ないし原石に近い形状で搬入される。

剥離工程　裏面から上面への剥離面を打面として、正面で厚手の剥片が剥離される（段階１）。

本母岩では削器１点（個体Ａ）、舟底形石器１点（個体Ｂ）が製作される。個体Ａは段階１で剥離された厚手の剥片素材で、左側縁への連続的な加工の後、背面の稜から右への加工で厚さを減少させ、再度、左側縁に加工が行われる。加工は舟底形石器に類似して粗い。個体Ｂは石核素材で、小口面での剥離である段階１と異なり、側面で剥離が行われる。加工は、打面を甲板面に設定し、甲板面からのみ施される。個体Ａは232が遺棄され、個体Ｂの本体は欠落する。

分布　Sb－89のＲ30、Ｓ29、Sb－93のＰ28・29区に分布する。分布は①Ｐ28・29区、②Ｒ30、Ｓ29区に分けられ、①には比較的高密度に個体Ａとその直後の剥片が、②には非常に散漫に個体Ｂとその直前の厚手の縦長剥片が分布する。①には前半、②には後半の遺物が分布し、両者に舟底形石器製作剥片が含まれる。

母岩別資料912・接合資料3990（図Ⅲ－363、図版247－１）

母岩別資料は接合3990の他、剥片10点で構成され、総点数91点、総重量511.1g である。

素材　81点（65個体）が接合し、重量は494.7g、大きさは14×９×８cm である。転礫を素材として原石の状態で搬入される。

剥離工程　左側面上部の瘤を取り除く左側面中央から上面への剥離（段階１）後、上面から正面へ剥離が行われ（段階２）、正面から上面への剥離（段階３）によって打面が作出される。下面から右側面への剥離（段階４）後、上面から右側面への剥離（段階５）、上面から正面への剥離が行われる（段階６）。

本接合資料では舟底形石器４点（個体Ａ～Ｄ）が製作される。

個体Ａは段階１の厚手の剥片、個体Ｂは段階３の厚手の剥片、個体Ｃは段階６の厚手の剥片素材で、個体Ａ・Ｃの加工は甲板面である腹面からのみ行われ、個体Ｂも同様であるが、最終剥離のみ下縁から行われる。欠損品の一部（262）が遺棄される個体Ａを除いて本体は欠落している。

個体Ｄは石核素材で、最初に頭部調整のある縦長剥片剥離後、下端部を裏面からの剥離で除去し、甲板面である石核打面から両側面に加工が行われる。舟底形石器本体は欠落している。

分布　Sb－93のO29、P28・29、Q27・28区に分布する。細長い範囲に比較的高密度に分布し、個体・段階による偏りは見られない。

母岩別資料914・接合資料3992（図Ⅲ－363・364、図版247－２）

母岩別資料は接合3992の他、接合3993・3994・61733、剥片６点で構成され、総点数56点、総重量546.4gである。

素材　44点（37個体）が接合し、重量は513.4g、大きさは10×９×８cmである。風化によってややザラついた平坦面を持ち、角の潰れた亜角礫を素材として、上面に１枚の剥離面がある状態で搬入される。

剥離工程　上面から正面への粗い剥離（段階１）後、下面から正面への粗い剥離が行われる（段階２）。段階１・２とも厚手の剥片を目的としたもので、打面縁辺から1.5cm程内側に打点がある。

本接合資料では舟底形石器２点（個体Ａ・Ｂ）が製作される。個体Ａは段階１の厚手の剥片素材で、加工は甲板面である腹面から行われ、本体は欠落する。個体Ｂは石核素材で、作業面の大型剥離面を甲板面に設定し、甲板面から両側面に加工が行われる。加工は、最初は打面厚が１cm程度の非常に粗いものであるが、最後は４mm以下の比較的細かいものに変化している。また、加工の途中で261を欠損し、再加工が行われる。本体は欠落し、搬出される。

分布　Sb－93のN29、P28・29、Q27・28区に分布する。Q27・28区を中心とした高密度の分布で、N29区の剥片は個体Ａの調整剥片である。

母岩別資料883・接合資料3875（図Ⅲ－364・365、図版248－１）

母岩別資料は接合3875の他、剥片２点で構成され、総点数31点、総重量357.1gである。

素材　29点（24個体）が接合し、重量は352.9g、大きさは13×８×５cmである。風化によりややザラついた平坦面を持ち、角の潰れた亜角礫を素材として、正面右に１枚の剥離面がある状態で搬入される。

剥離工程　厚手の剥片を目的とした上面から左側面への粗い剥離（段階１）後、下面から裏面右側面寄りに剥離が行われる（段階２）。再度、厚手の剥片を目的とする上面から右側面へ剥離（段階３）が行われ、正面から上面へ同様の剥離が行われる（段階４）。打面転移を繰り返して厚手の剥片が剥離されている。

本接合資料では舟底形石器３点（個体Ａ～Ｃ）が製作される。個体Ａ・Ｃはそれぞれ段階１・４の厚手の剥片素材で、甲板面である腹面からの剥離で加工され、本体は欠落する。個体Ｂは段階３の厚手の剥片素材で、甲板面である腹面からの剥離で加工され、折損して本体252が遺棄される。

分布　Sb－93のO27・28、P27区に分布する。P27区を中心とした非常に高密度な分布である。

母岩別資料813・接合資料3610（図Ⅲ－365、図版248－２）

母岩別資料は接合3610の他、剥片１点で構成され、総点数40点、総重量1,452.7gである。

素材　39点（28個体）が接合し、重量は1448.6g、大きさは18×13×９cmである。一部平坦面が残り、角が丸くなった転礫を素材として、おそらく原石の形状で搬入される。

剥離工程　本接合資料は厚手の大型剥片を素材として舟底形石器が製作された個体である。

甲板面から左側面（段階１）・右側面（段階２）への粗い剥離が行われ、断面形が三角形になった時点で下縁から左側面への剥離（段階３）が行われる。その後、再度、甲板面から左側面（段階４）・右側面（段階５）への加工が行われる。本体の空隙部は長さ15cm、幅３cm、高さ４cm程度で、大型の舟底形石器Ⅱｂ類が搬出されている。

分布　Sb－95のL27・28、M27・28区に、比較的高密度に分布する。

母岩別資料939・接合資料4078（図Ⅲ－366、図版249）

母岩別資料は接合4078の他、接合4079～4086・56849～56857、縦長剥片７点、二次加工ある剥片１点、剥片329点で構成され、総点数655点、総重量5,170.7g である。

素材　276点（158個体）が接合し、重量は4,148.4g、大きさは28×20×19cm である。一部平滑な面を持ち、角が潰れて円くなった転礫を素材として、原石の状態で搬入される。

剥離工程　接合資料全体の写真は図版249－505で、写真のみ掲載している。

右側面で交互に、右側面から裏面上部への剥離（段階１）、裏面から右側面への剥離（段階２）、右側面から裏面への剥離（段階３）が行われた後、上面の打面調整（段階５）を伴って縦長剥片が剥離される（段階４）。その後、正面下部調整（段階６）、右側面から裏面への剥離（段階７）、下面から裏面への剥離（段階８）、左側面から正面への剥離（段階９）、左側面から裏面への剥離（段階10）、下面から裏面への剥離（段階11）、下面から正面への剥離（段階12）によって石核調整が行われ、上面の打面調整（段階14）を伴う正面での縦長剥片剥離（段階13）、正面下部調整（段階15）が行われる。

最初に粗い横方向の剥離によって整形された後、正面で打面調整を伴う縦長剥片剥離が行われ、再度横方向の剥離の後に、打面調整を伴う縦長剥片剥離が行われる。一連の横方向の剥離によって石核は扁平に変化している。

本接合資料では剥片素材の尖頭器５点（個体Ａ～Ｃ）が製作されている。個体Ａ・Ｂは段階２、個体Ｃ～Ｅは段階３の剥片素材で、長さ13～20cm で厚みのある素材が利用される。加工は最初から粗くなく、打面が小さく平坦で奥行きのある加工が行われ、最終的には比較的薄い尖頭器に整形されている。図示していないが、個体Ｅの途中の平面形態は菱形に近い。図示した個体Ｃ（405）は右側面上部を除いて菱形に近い形状に加工され、左側縁上部に削片状の剥離（個体Ｃ段階４）後、裏面から上端部への粗い剥離によって上部を欠損している。

分布　Sb－93のM29・30、N29、Sb－95のＬ27・28、M26～29、N26～29、O25～27、Ｐ26区に分布する。分布はN27・28、O26・27、Ｐ26区を中心に高密度であるが、周辺地域にも広がる。特にM27、N26区は集中域の斜面方向とは異なる広がりで、個体Ｂの前半部が多い特徴がある。また、個体Ｃの尖頭器本体（図版249－413）はやや外れてN26、O25区に分布し、それを除くと個体・段階による偏りは見られない。

接合資料5744（図Ⅲ－366、図版250－１）

素材　７点（５個体）が接合し、重量は88.4g、大きさは16×６×1.4cm である。原石形状は不明、薄手の尖頭器で搬入される。

剥離工程　本体の尖頭器の正面中央には左右からの加工が中央の稜線を越えられないために生じた瘤が残る。その瘤を除去する右側縁からの加工の際に尖頭器が折損し、個体Ａ・Ｂに分割される。上部破片である個体Ａは折れ面から左側縁での削片剥離（段階１）後、その剥離面を打面として右側縁で削片が剥離される（段階２）。個体Ｂは折れ面から右側縁への削片剥離後、左側縁で折れ面からの削片剥離（下端まで抜けずに打点近くで階段状になる）、下端からの削片剥離が行われる。個体Ａ・Ｂとも一方の側縁で折れ面からの削片剥離後、その剥離面を打面としてもう一方の側縁で削片が剥離されているが、各側縁での削片剥離は１回のみで、その頻度は少ない。

分布　Sb－93のO28、Ｐ28・29、Q27・28区に分布し、個体Ａ・Ｂとも散漫な分布である。

母岩別資料729・接合資料3294・3295（図Ⅲ－367、図版250－２・３）

母岩別資料は接合3294・3295の他、接合3292・3293・3296～3308・56670～56677、縦長剥片３点、石刃１点、剥片77点で構成され、総点数198点、総重量2,956.3g である。

素材　接合3294は９点（６個体）が接合し、重量は182.1g、接合3294に含まれる個体Ａの大きさは9.6×7.5×2.5cmである。接合3295は12点（８個体）が接合し、重量は143.8g、接合3295に含まれる個体Ａの大きさは6.3×5.7×1.6cmである。爪状痕のある転礫を素材として、おそらく原石の形状で搬入されている。

剥離工程　本母岩は接合状況が良好ではないが、接合資料・非接合剥片から判断すると明瞭な石刃剥離は行われず、両面調整に近い剥離が行われたと推測される。

接合3294は厚手の剥片素材で背面両側縁に加工が行われた後､素材末端部で縦長剥片が剥離され(段階１)、打面再生（段階２）後、縦長剥片剥離が行われる（段階３）。

接合3295は正面に稜形成剥離が残る、縦折れした幅広剥片素材で、剥片の末端部である上部に作出されたノッチ状の打面から右側縁で削片が剥離される。

分布　接合3294はSb－95のＬ27、M27・29、Ｎ27に、接合3295はSb－93のＯ28、Ｑ27、Sb－95のＮ26～28、Ｏ27に分布し、両者の分布域は異なる。接合3294の個体Ａは散漫な分布で、接合3295は最初の剥片がＮ26・27区に、それ以降の剥片はＮ28、Ｏ27区にまとまって分布し、個体ＡはＯ28、Ｑ27区に散漫に分布する。

接合資料5749（図Ⅲ－367、図版250－４）

素材　３点（３個体）が接合し、重量は21.7g、大きさは6.6×3.6×1.0cmである。原石形状・搬入形態は不明である。

剥離工程　反りのある剥片を素材として、側縁調整が背面両側縁に施された後、素材打面側の端部背面にノッチ状に作出された打面から左側縁に沿って削片が剥離される（段階１）。次に、下端部両面に加工が施され、左側縁下部のノッチ状の加工から下端部に腹面側に傾く削片剥離が行われた後、下端から右側縁に削片剥離が行われる（段階２）。

分布　Sb－95のＪ29、Ｌ28区に分布し、削片はＬ28区に、彫器はやや離れてＪ29区に分布する。

母岩別資料734・接合資料3324・3326（図Ⅲ－368、図版250－５・６）

母岩別資料は接合3324・3326の他、接合3325、剥片７点で構成され、総点数28点、総重量1,129.7gである。

素材　接合3324は14点（９個体）が接合し、重量は710.8g、接合3324に含まれる個体Ｂの大きさは6.1×5.4×1.9cmである。接合3326は２点（２個体）が接合し、重量は42.0g、大きさは7.3×4.3×1.5cmである。平滑な原礫面を持ち、角が潰れた亜角礫素材で、原石ないし原石に近い形状で搬入されている。

剥離工程　本母岩は、原石段階で石核調整を行わずに単剥離打面から簡単な頭部調整を伴って粗い石刃が剥離される。接合3324は粗い石刃剥離の接合資料で、縦長剥片２点(個体Ａ・Ｂ)が加工される。個体Ａは非掲載であるが､先端部が２度の粗い加工で尖頭状に整形される｡個体Ｂは打面部・中央部・先端部に３分割された後、中央部の四角形の破片が利用される。削片剥離は、四辺で頻繁に打面・作業面を入れ替えて行われ、①下縁から右側縁に行われた後、下縁・左側縁では、②右側縁から下縁→③左側縁から下縁（158）→④下縁から左側縁→⑤上縁から左側縁、の順に、右側縁・上縁では、⑥上縁から右側縁→⑦右側縁から上縁、の順に行われ、⑤上縁から左側縁の剥離は⑦右側縁から上縁の剥離に切られる。

接合3326は末端部がヒンジの幅広剥片で、背面から打面部への粗い加工後、素材打面側である左肩で削片（図版250－６－418）が剥離される。さらにその剥離面を打面として剥片の先端側である右側縁で削片が剥離されている。最初の削片剥離後、彫器の左側縁が加工される。

分布　Sb－95のＪ26、Ｌ25、M26、N27・28、O26・27、Ｐ25、Q24区に分布する。全体に散漫な分布であるが、大きく①Ｊ26、Ｌ25区、②N27・28、O26・27、Ｐ25、Q24区に分けられ、彫器類は②に分布する。

母岩別資料944・接合資料4093（図Ⅲ－368、図版250－７）

母岩別資料は接合4093の他、接合56862、削片１点、剥片２点で構成され、総点数９点、総重量26．3gである。

素材　４点（４個体）が接合し、重量は17.1g、大きさは5.3×2.5×1.8cmである。原石形状は不明、安山岩製で、剥片で搬入される。

剥離工程　角柱状の素材の上端部から左側縁での削片剥離後、その剥離面を打面として右側縁で削片が剥離される（段階１）。中央で折損（段階２）後、下部破片は折れ面から右側面への剥離、正面から右側面への剥離（段階３）が行われる。

分布　全て一括遺物でSb－95のＬ27区に分布する。

写真のみ掲載の接合資料

母岩別資料785・接合資料3506（図版251・252－１）は、平滑な原礫面を持ち、角が潰れた黒曜石２（なし肌）の亜角礫を素材として、長さ26cmの原石の形状で搬入される。両面への、縁辺部調整のない打面の大きい粗い加工（一部縦方向の剥離を含む）の後、打面の小さい中央の稜線を越える平坦剥離が行われ、最後は側縁からの加工で本体が折損し、遺棄される。本体である尖頭器Ⅲ類の７に作出される基部は、最終段階に作出されたものではなく、平坦剥離段階の当初より形成される。最初の粗加工段階で剥離された厚手の剥片（個体Ａ）は、複剥離打面から背面側で剥離が行われ、石核329が残される。分布はSb－95の①Ｊ30区周辺、②M27区周辺、③O28区周辺に分けられ、①には個体Ａとその周辺の剥片が、②には粗加工段階のより大型の剥片と平坦剥離段階の後半と尖頭器本体が、③にはそれ以外の剥片が分布する。整理すると、粗加工と平坦剥離の前半が③に、それから抜き出された大型剥片が①②に分布し、①では剥片を素材とした剥離が行われる。また、平坦剥離の後半段階は②に分布する。

母岩別資料1054・接合資料4387（図版252－２）は、平坦な面が残り、角の潰れた茶色の混じる黒曜石２（なし肌）の亜角礫を素材として、長さ25cm程度の粗割りされた状態で搬入される。平坦な裏面からやや粗い剥離により整形された後、打面の小さい平坦剥離が行われ、長さ20cm程度の尖頭器で搬出される。また、初期の段階で剥離された厚手の剥片は尖頭器Ⅲ類の20に加工されるが、加工は素材打面側には舌部の作出が、先端側には素材先端部の反りの除去が行われる。その工程は、両面調整によって徐々に器体の整形が行われ、最後に舌部が作出されるものではなく、舌部と先端部の加工がそれぞれ独立して行われる。分布はSb－93と96に分けられ、Sb－96には前半のやや粗い剥離段階が、Sb－93には後半の平坦剥離段階が分布し、尖頭器20はその剥離が帰属する段階と同じくSb－96に分布する。

母岩別資料754・接合資料3418・3417（図版253・254）は、石核素材の尖頭器調整剥片の接合資料で表裏の関係にあたる。平滑な原礫面を持ち、角の潰れた亜角礫素材で、長さ36cmの右側縁が粗割りされた状態で搬入される。最初から縁辺近くを打撃する平坦加工が行われ、断面形は凸レンズ状である。同様な加工が継続し、33cmの比較的薄い尖頭器が搬出される。図版253－19は尖頭器Ⅲ類の折損品で、接合3418の右側縁からの剥離で得られた幅広の剥片を素材として、基部の左側縁が内湾するように、右側縁が直線的に、それぞれ背面・腹面に錯向状の加工が行われる。Sb－95南半部に分

布し、長径20m の広い範囲に散漫に分布する。

母岩別資料796・接合資料3531（図版接255）は、原石形状は不明で、両面とも粗い平坦剥離によって加工された長さ27cm 程度の尖頭器で搬入される。遺跡内では当初より縁辺部を打撃する打面の小さい平坦剥離が裏面を中心に行われるが、裏面は平坦であるため剥離が波打ち、器面に凹凸が見られる。後半は正面で加工が行われ、正面上部での右側縁からの加工によって上部の欠損が起こるが、両者とも尖頭器の調整が継続され、上部破片・下部破片はそれぞれ15・20cm 程度の尖頭器として搬出される。分布は① Sb－93（M26区周辺）② Sb－95（Ｐ28区周辺）に分けられ、①には前半の一部と後半部分が、②には一部を除く前半部分が分布する。

母岩別資料861・接合資料3807（図版256－１）は、平滑な原礫面を持つ角礫素材で、正面側が凸状の長さ28cm の大型尖頭器で搬入される。両面で左右から打面の小さい平坦剥離が行われるが、右側縁上部に残る原礫面を除去できずに中央で折損し、遺棄されている。Sb－90・92・93・95の広い範囲に散漫に分布し、段階による明瞭な偏りは見られない。

母岩別資料812・接合資料3600（図版256－２）は、平滑な原礫面を持つ角礫素材で、原礫面を持つ同一母岩資料が多く含まれることから長さ30cm 弱の原石ないし原石に近い状態で搬入される。両面へ左右からの加工によって、徐々に形態が整えられ、最後に左側面から正面への加工で折損し、本体は遺棄される。Sb－95北東部（Ｌ29区周辺）に分布し、その密度は高い。

母岩別資料853・接合資料3763（図版257上）は、原石形状は不明で、長さ21cm の両面調整の尖頭器で搬入される。主に正面下半部で加工が行われるが、反対側縁を取り込む剥離によって大きく下端部を欠損し、遺棄される。Sb－93（Ｐ28・29区）にやや高密度にまとまって分布し、尖頭器の上端部のみＱ27区に分布する。

母岩別資料787・接合資料3513（図版257下）は、風化によりややザラついた平坦な原礫面を持ち、角が少し潰れた黒曜石２（なし肌）の亜角礫を素材として長さ28cm の原石で搬入される。正面での粗い剥離で厚みを減少させた後、平坦剥離が行われ、本体は20cm 程度の尖頭器で搬出される。Sb－93の長径22m の範囲に帯状に分布するが、段階による偏りは見られない。また、分布の主体を占めるＰ28区は高密度である。

母岩別資料811・接合資料3596（図版258）は、平滑な原礫面を持つ角礫素材で、長さ30cm の原石で搬入される。原礫面を打面とした左側面から裏面への剥離の後、その面を打面として正面で加工が行われる。その後、表面が滑らかに凸レンズ状に変化すると縁辺部調整を伴う打面の小さい加工が行われ、本体は25cm 程度の尖頭器で搬出される。ほとんどが Sb－95のＬ28・29区に、高密度に分布し、その他の遺物もその周辺に分布する。

母岩別資料907・接合資料3969（図版259）は、風化によりザラついた平坦面を持ち、角がやや潰れた亜角礫を素材として、正面形が卵形に近い長さ26cm の原石で搬入される。左側面から裏面の上下を中心に表面がなだらかになるように瘤を除去するような粗い加工が行われた後、正面左・上方からの剥離、裏面右からの剥離によって概ね原型が作られる。その後は両側縁から両面への打面の小さい平坦剥離による加工が行われ、器面が滑らかに変化している。本体は、22cm 程度の尖頭器で搬出される。Sb－93の長径14m の範囲に帯状に分布するが、段階による偏りは見られない。また、分布の主体を占めるＰ28区は高密度である。

母岩別資料941・接合資料4088（図版260上）は、爪状痕のある原礫面を持つ転礫素材で、30cm を超える原石ないし原石に近い形状で搬入される。正面左右からの粗い剥離の後、上端が折損する。その後、中央の稜を越える打面の小さい幅広の平坦剥離が行われ、長さ20cm 程度の尖頭器で搬出され

る。後半の尖頭器調整剥片素材の削器422は、背面縁辺に細かい加工が施される。Sb－93の長径17mの範囲に帯状に分布するが、分布の濃淡は明瞭ではなく、段階による偏りも見られない。

母岩別資料681・接合資料3152（図版260下）は、一部平坦面が残り、角が丸くなった厚みのある転礫素材で、長さ23cmの原石ないし原石に近い形状で搬入される。最初は、右側面から正面・裏面への交互剥離、上面・正面から左側面への剥離によって、左側面・正面・裏面の３面で構成される断面三角形の形状になる。その後、それらの角から横方向の剥離を行いながら、長軸方向の剥離によって厚みを減少させ、扁平な形状に変化した段階で、縁辺部調整のある打面の小さい横方向の剥離が行われ、それによって尖頭器の表面は滑らかに整形され、最終的に15cm程度の尖頭器で搬出される。本接合資料には、図示していないが、背面が原礫面で覆われた初期の剥片を素材とした彫器Ⅲ類が接合している。厚手の剥片の折れ面を打面として側縁で削片剥離が行われるが、最後の削片剥離の際には腹面から折れ面へ急角度の彫刀面打面が作出される。また、最終の削片剥離後、削片剥離面から背面に連続した加工が施される。分布は、Sb－93のＬ30区を中心に高密度に分布し、隣接するSb－90にも広がるが、それらは一つのまとまりとして認められ、段階・個体による偏りは見られない。

母岩別資料940・接合資料4087（図版261）は、一部平坦面が残り、角が丸くなった転礫素材で、長さ21cmの原石の状態で搬入される。横方向の比較的粗い加工の後、横方向の剥離と同様に、縦方向の剥離が行われ、厚みを減少させた後、横方向の平坦剥離によって整形される。本体は11cm程度の小型の両面調整体で搬出される。本接合資料では、縦方向の剥離ないしその段階の縦長剥片・剥片を素材として、両面調整石器１点、彫器１点が製作される。両面調整石器（76）は本体の下端部を取り込んだ縦長剥片素材で反りのある先端部の主に腹面に加工が施される。彫器はⅢ類で、図示していないが、厚手の剥片を素材として縁辺に加工が見られ、中央から放射状の折損後、折れ面から削片剥離、さらに急角度の腹面加工により尖頭状に整形されている。１点を除きSb－95の長径18mの範囲に帯状に散漫に分布するが、段階による偏りは見られない。１点は彫器削片で、それらから８m離れて分布する。

母岩別資料938・接合資料4077（図版262－１）は、一部平坦面が残り、角が丸くなった転礫素材で、長さ23cmの原石の状態で搬入される。縦方向の剥離を含む粗い加工の後に、横方向の打面の小さい平坦剥離が行われ、17cm程度の尖頭器で搬出される。分布はSb－95のＬ・M27区を中心にまとまり、段階による偏りは見られない。

母岩別資料761・接合資料3446（図版262－２）は、平滑な原礫面を持ち、角が潰れた亜角礫素材で、長さ19cmの原石の状態で搬入される。最初に行われた裏面右からの剥離の際に、節理面を境に裏面左側が大きく剥落し、裏面が平坦に変化する。次に、正面で縦方向の剥離を含む粗い加工が主体的に行われ、裏面では縦方向の剥離が行われ、器体が薄くなる。次に、打面の小さい横方向の平坦剥離が行われ、器面がさらに薄く、滑らかに整形され、本体は14cm程度の薄手の尖頭器で搬出される。

本母岩では錐形石器１点が製作され、縦方向に剥離された縦長剥片１点を素材として縦長剥片剥離が行われる。錐形石器は図示していないが、剥片の端部に連続する２回のノッチによってその中間部に突出部が作出される。縦長剥片剥離を行った素材の縦長剥片は、先端部が反って肥厚する形状で、その末端部を打面として側縁で縦長剥片剥離が行われ、途中で打面再生、180度の打面転移が行われる。その石核が485であるが、作業面にヒンジによる段差が生じ、遺棄されている。ほとんどがSb－95の長径25mの広い範囲に帯状に分布し、主体を占めるQ25区周辺は高密度である一方、それ以外は非常に散漫である。分布には段階・個体による明確な偏りは見られない。

母岩別資料768・接合資料3479（図版263上）は、一部平坦面が残り、角が丸くなった転礫素材で、

長さ25cm の一部粗い加工のある状態で搬入される。裏面で縦方向の剥離を含む少量の剥離と正面を中心とした粗い加工が行われた後、打面の小さい平坦剥離が行われる。本体は途中下端部を欠損したためやや短くなり、長さ18cm 程度の尖頭器で搬出される。全て Sb－95の長径22m の広い範囲に帯状に分布し、P25区周辺にやや集中が見られるが、段階による分布の偏りは見られない。

母岩別資料784・接合資料3502（図版263下）は、一部平坦面が残り、角が丸くなった黒曜石２（なし肌）の転礫素材で、長さ18cm 程度の粗い剥離の両面調整体で搬入される。打面の大きいやや粗い平坦剥離の後、打面の小さい平坦剥離が行われ、16cm 程度の器面が滑らかに変化した尖頭器で搬出される。加工は両面で行われるが、主に断面凸状の正面側での頻度が高い。Sb－93のK30区を中心に高密度に分布し、一部北東方向に広がるが、段階による偏りは見られない。

母岩別資料759・接合資料3435（図版264－１）は、一部平坦面が残り、角が丸くなった長さ20cm の角柱状の転礫素材で、原石の状態で搬入される。最初は正面から上下端部への剥離で作出された打面から正面で縦長剥片が剥離される。次にその剥離面を打面として左右側面で上下を中心に粗い加工が行われ、尖頭器の原形が製作される。さらに、打面の小さい左右からの平坦剥離によって薄く仕上げられるが、その段階で先端部（27）が欠損している。本体下部は出土しておらず、搬出された可能性がある。Sb－93の長径19m の広い範囲に帯状に分布し、P28区周辺は高密度、それ以外は散漫な分布である。段階による分布の偏りは見られない。

母岩別資料707・接合資料3236（図版264－２）は、一部平坦面が残り、角が丸くなった長さ14cm 程度の黒曜石２（なし肌）の転礫素材で原石の状態で搬入される。裏面を中心とした原礫面打面からの粗い加工後、やや粗い加工が両面で行われ、打面の小さい平坦剥離は、最終段階のみ見られる。本体は、９cm 程度の小型の尖頭器で搬出される。Sb－93のM29・30、N29区にやや高密度に分布し、北東方向に散漫に広がるが、段階による分布の偏りは見られない。

母岩別資料935・接合資料4064（図版265）は、一部平坦面が残り、角が丸くなった長さ26cm 程度の転礫素材で、右側面に裏面からの粗い剥離面があり、正面・裏面・右側面で構成される断面三角形の状態で搬入される。前半は、主に頭部調整・打面調整を伴う縦方向の剥離が、左側縁上部から正面と裏面で交互に行われ、器体が薄くなっている。その後、正面右側で上下から頭部調整を伴う縦方向の剥離が行われる。本体は長さ17cm 程度の両面調整体で搬出される。横方向の剥離が少ないが、推定される石核が正面・裏面の２面で構成されることから尖頭器製作を目的としていたと思われる。本接合資料では縦方向で剥離された厚手の剥片２点が削器（229・230）に加工される。229は折損した縦長剥片素材で、折損後、左側縁の折れ面付近を斜めに裁ち切るように粗い平坦剥離が行われ、230は先端が尖る幅広の斜軸の剥片素材で、左側縁に粗い平坦な加工が施される。Sb－93の長径28m の広い範囲に帯状に分布し、P28区周辺がやや多いものの分布の濃淡は明瞭ではなく、段階による偏りも見られない。また、削器230のみやや離れたK30区に分布する。

母岩別資料932・接合資料4055（図版266）は、爪状痕のある原礫面を持つ転礫素材で、長さ25cm 程度の原石ないしそれに近い状態で搬入される。前半では主に上部から正面・裏面に、一部下部から左右側面に交互剥離が行われ、厚みが減少する。この段階では一部頭部調整・打面調整が見られ、縦長剥片も剥離される。最後には上下左右から多方向の剥離が行われる。剥離目的・目的剥片等は不明である。分布の集中域は①O27区周辺と②M27区周辺の２か所あり、②の北東部の広い範囲にも散漫な分布が見られる。前半の遺物は②に、前半の一部（これらに剥離の連続性はない）、後半の多方向の剥離による遺物は①に分布する。

母岩別資料797・接合資料3540（図版267）は、爪状痕のある原礫面を持つ転礫素材で、長さ30cm

の原石の状態で搬入される。両側面、上部両面での石核調整後、右側面から上部への剥離で石核は二分される。下部の石核は上面・裏面・左側面の石核調整後、上設打面から打面調整を伴って縦長剥片が剥離され、最後は正面・裏面で多方向の剥離によって、15cm 程度の尖頭器に加工され、搬出される。上部の破片は両面で粗い加工の後、打面の小さい平坦剥離が行われ、15cm 程度の表面が滑らかな尖頭器で搬出される。全体では、Sb－95のⅠ30区からＬ27区にかけて連続した分布であるが、上部破片素材の調整剥片とそれ以外では約半分は重複するものの１グリッド分程度ずれて分布する。

母岩別資料665・接合資料3110（図版268－１）は、爪状痕のある原礫面を持つ転礫素材で、長さ22cmの粗い剥離が行われた状態で搬入される。粗い剥離の後、縁辺部調整のあるやや大きい打面の平坦剥離が行われ、最後は縁辺部調整のある小さい打面の平坦剥離の加工により、尖頭器本体の表面は滑らかに整形される。加工は主に、正面側で行われる。本体は欠落し、20cm 程度の尖頭器で搬出される。全て Sb－91のⅠ34区に高密度に分布し、一つの集中域を形成している。

母岩別資料925・接合資料4042（図版268－２）は、平滑な原礫面を持つ角礫素材で、長さ19cm、下面に１枚の剥離面がある状態で搬入される。正面から上面への剥離で作出された打面から正面で頭部調整を伴って石刃が剥離される。石刃剥離の途中、作業面下部の稜調整が行われ、石刃剥離は末端部形状がヒンジになる石刃が連続して剥離され、作業面に段差が生じた段階で終了する。石刃は10cm程度のものが剥離され、後半の石刃が欠落し、搬出される。また、厚手の打面作出剥片を素材として舟底形石器が製作される。加工は主に甲板面である腹面から行われ、最後に下縁から加工が施される。Ｐ29区周辺に比較的高密度に分布し、段階・個体による分布の偏りは見られない。

母岩別資料916・接合資料4001（図版269上）は、平滑な原礫面を持ち、角がやや潰れた角礫素材で、長さ18cm 程度の原石の状態で搬入される。正面から上面への厚手の剥片剥離によって作出された上設打面から頭部調整を伴って石刃が剥離される。石刃は９cm 程度のものが剥離され、ほとんどが欠落し、搬出されている。また、打面作出剥片を素材として、２点の舟底形石器が製作され、両者とも甲板面である素材腹面からのみ加工が行われ、搬出される。Ｐ28区周辺にまとまって分布し、舟底形石器調整剥片はやや散漫に、それ以外は高密度に分布する。

母岩別資料924・接合資料4039（図版269下）は、平滑な原礫面を持つ角礫素材で、14cm 以上の原石ないし原石に近い形状で搬入される。中央で２個体に分割された後、一つはその分割面を打面として、もう一つは上面に作出された単剥離打面から、頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。両者とも７～９cm 程度の石刃が剥離され、その多くは欠落し、搬出される。また、厚手の打面作出剥片を素材として、舟底形石器が製作される。加工は甲板面である腹面からのみ、片側面での連続した加工を単位として左側面、右側面、左側面の順で行われ、順調に進行する。本体は欠落し、搬出される。全てＰ28区の狭い範囲に、非常に高密度に分布している。

母岩別資料818・接合資料3624（図版270－１）は、平滑な原礫面を持つ角礫素材で、長さ20cm の原石の状態で搬入される。正面から上面への剥離で作出された打面から正面で頭部調整を伴う石刃剥離が行われた後、左側面・下面・裏面で粗い剥離が行われる。その後、下面を打面として裏面で頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。７～９cm の石刃が剥離され、そのほとんどが欠落し、搬出される。本接合資料では打面作出剥片や厚手の石核調整剥片を素材として舟底形石器５点が製作される。加工は全て甲板面である腹面から行われ、欠損した２点（439と非掲載の二次加工ある剥片１点）を除いて本体は欠落し、搬出される。Sb－95のＬ26区周辺にまとまって分布し、段階・個体による分布の偏りは見られない。

母岩別資料799・接合資料3545（図版270－２）は、風化によりややザラついた平坦面を持ち、角が

潰れた亜角礫を素材として、長さ13cmの原石ないし原石に近い状態で搬入される。正面から上面への剥離による上設打面作出後、正面で下面から剥離が行われ、その後、上設打面から正面で頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。剥離される石刃は７～10cmで、中間段階で剥離されたものが欠落し、搬出される。また、上設打面作出剥片を素材として甲板面である腹面からのみの加工で舟底形石器が製作され、搬出される。分布はSb－89（R30区）とSb－93（O30区周辺）に分けられ、Sb－93には前半～後半途中までの剥片・石刃が、Sb－89には最終段階の石刃・石刃核が分布していることから最終段階でSb－89に持ち込まれたと思われる。

母岩別資料824・接合資料3646（図版271－１）は、風化によりザラついた平坦面を持ち、角がやや潰れた角礫を素材として、長さ14cm程度の原石の状態で搬入される。裏面で上下から粗い剥離が行われた後、正面から上面への剥離で上設打面が作出され、正面で頭部調整を伴って石刃が剥離される。その後、左側面から裏面への粗い剥離の後、その剥離面を打面として（石刃核裏面を甲板面として）石刃核両側面で加工が行われ、舟底形石器に整形されるが、本体である251は遺棄される。舟底形石器は石核素材以外に３点製作され、各段階の厚手の剥片が利用される。それらは甲板面である腹面から加工が行われ、本体は欠落し、搬出されている。剥離される石刃は７～10cmで、一部は欠落している。先端部に反りのある石刃素材の削器213は両側縁に細かい加工が施される。Sb－93の21×９mの広い範囲に散漫に分布し、舟底形石器調整剥片はO30区周辺に分布する傾向があるが、その他の遺物はO30区以外に多く、より散漫に分布する。

母岩別資料870・接合資料3835（図版271－２）は、平滑な原礫面を持つ角礫素材で、長さ14cmの上面に粗い剥離のある状態で搬入される。左側面からの剥離で作出された上設打面から正面で頭部調整を伴って石刃が剥離され、その後、打面転移が行われ、左側面から作出された下設打面から正面で頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。剥離される石刃は７～10cmで、最終段階を除く石刃が欠落している。全てP28区周辺に分布する。

母岩別資料835・接合資料3676（図版272－１）は、平滑な原礫面を持つ扁平な角礫素材で、18cm程度の原石ないし原石に近い形状で搬入される。最初は、小口面である正面で打面再生を繰り返しながら石刃が剥離される。その後、正面から下面への剥離によって下設打面が作出され、正面で頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。剥離される石刃の長さは、前半は14cm程度、後半は９cm程度で、両者とも多くが欠落している。本接合資料では舟底形石器２点が製作され、１点は最初に上設打面から剥離された断面三角形の縦長剥片素材で、甲板面である腹面から加工されるが、折損し、本体444は遺棄される。もう１点は下設打面作出剥片素材で甲板面である腹面から加工されるが、同様に本体256は遺棄されている。全てSb－93のP27・28区周辺にやや高密度に分布している。

母岩別資料884・接合資料3876（図版272－２）は、平滑な原礫面を持つ扁平な角礫素材で、17cm程度の原石ないし原石に近い形状で搬入される。上面から裏面への剥離、上面から正面への剥離の後、裏面から上面への剥離、正面から上面への剥離が行われる。その後、上面から正面への剥離が行われ、裏面を打面として正面下部で頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。本接合資料では、上面・左右側面の小口面で剥離された厚手の縦長剥片を素材として舟底形石器３点が製作される。裏面で剥離された個体Ａは下縁からの加工を挟みながら主に甲板面である腹面から加工が行われ、正面で剥離された個体Ｂは甲板面である腹面から加工が行われ、上面で剥離された個体Ｃは背面を甲板面に設定し、背面から加工が行われる。個体Ｂ（257）を除いて本体は欠落している。石刃は長さ９cm程度のものが剥離されるが、その頻度は少ない。Sb－93・95にまたがる20×10mの広い範囲に散漫に分布し、分布差は明確ではないが、個体Ａ～ＣはO28区周辺に、それ以外はO27区周辺に偏る傾向がある。

母岩別資料900・接合資料3950（図版273－１）は、平滑な原礫面を持ち、角がやや潰れた亜角礫素材で、長さ15cmの上面・裏面に剥離面のある状態で搬入される。裏面から下面への剥離の後、上面から正面へ剥離が行われるが、最初は頭部調整の無い粗い剥離で、途中から頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。剥離される石刃は８cm程度で、約半分が欠落し、２点（189・180）が掻器に加工されている。189は、先端部に反りがあり、平面形は撥形に先端部が広がる幅広の石刃（長さ6.5cm幅3.2cm）素材で、両側縁に細かい加工が施され、先端部に弧状の刃部が作出される。189自体は長さ4．3cmで、その末端部は素材の反りが始まる変曲点付近に位置する。180は長さ８cm程度の先端部にやや反りのある石刃素材で、両側縁に細かい加工が施され、先端部に弧状の刃部が作出される。180自体は長さ6.6cmで、189と異なり、先端部に反りが残る。掻器の他には、最初に正面・下面で剥離された厚手の剥片を素材として舟底形石器２点が製作され、それらは甲板面である腹面から加工され、本体は欠落している。Sb－93・95にまたがる16×７mの範囲に散漫に分布し、段階・個体による偏りは見られないが、掻器は２点ともO27区に近接して分布する。

母岩別資料825・接合資料3655（図版273－２）は、平滑な原礫面を持ち、角がやや潰れた亜角礫素材で、長さ13cmの原石ないし原石に近い状態で搬入される。下面から裏面への剥離、裏面から下面への剥離後、正面からの剥離で作出された上設打面から正面で頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。石刃剥離の途中では作業面下部調整が見られる。剥離される石刃は長さ10～12cmで、一部欠落している。本母岩では舟底形石器１点（個体Ａ）が製作される。個体Ａは、裏面で剥離された厚手の剥片を素材として甲板面である腹面から加工が行われ、本体は欠落し、搬出される。全てSb－93のO30区周辺にまとまって分布する。

母岩別資料869・接合資料3831（図版273－３）は、平滑な原礫面を持つ角礫素材で、搬入形態は不明である。上設の平坦打面から頭部調整を伴う石刃剥離が行われ、全体的には直線的で、先端に若干反りのある、長さ11cm程度の石刃が剥離される。掻器190は先端部に反りのある石刃素材で、基部両側縁に細かい加工が施され、先端部に直線的な刃部が作出され、石器本体にも反りが残る。Sb－93の12×３mの範囲に非常に散漫に分布する。

母岩別資料901・接合資料3951（図版274－１）は、平滑な原礫面を持つ角礫素材で、長さ12cmの原石ないし原石に近い状態で搬入される。正面から右側面下部への剥離の後、正面からの剥離で上設打面が作出され、正面で頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。剥離される石刃は９cm程度で一部欠落する。全てSb－93のP28・29周辺にまとまって分布する。

母岩別資料897・接合資料3934（図版274－２）は、平滑な原礫面を持ち、一部角が潰れる角礫素材で、長さ19cmの原石で搬入される。上部から裏面への厚手の剥片剥離後、その剥離面を打面として正面で剥離が行われ、さらに、上面左側面からの剥離で単剥離打面が作出される。正面から下面への剥離、右側面から正面への剥離後、上設打面から頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。剥離される石刃は７cm程度でほとんどが欠落し、搬出される。最初に裏面で剥離された厚手の剥片（個体Ａ）、打面作出剥片（個体Ｂ）は、甲板面である腹面からの加工で舟底形石器に加工され、本体は欠落している。分布はSb－93の①P28区周辺、②O30区周辺に分けられ、①には個体Ａ・Ｂを含む前半部分が、②には後半部分が分布する。

母岩別資料865・接合資料3815（図版274－３）は、平滑な原礫面を持ち、一部角が潰れる角礫素材で、長さ15cm程度の原石ないし原石に近い状態で搬入される。上面から裏面への剥離後、左側面から長軸方向の剥離で打面が作出され、頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。剥離される石刃は長さ６～10cmで、そのほとんどが欠落している。打面作出剥片（個体Ａ）は舟底形石器に加工されるが、

加工は主に甲板面である腹面から両側面に行われ、途中及び最終段階で下縁からの加工が見られる。本体は途中、中央で折損するが、両個体とも再加工が行われ、一方（266）が遺棄され、もう一方は搬出される。分布は主にSb－93のP28区周辺にまとまっているが、やや離れたN30区には舟底形石器266が、O30区には最終段階の石刃と石刃核が分布する。

母岩別資料855・接合資料3768（図版275）は、平滑な原礫面を持ち、角が潰れた亜角礫素材で、長さ18cm程度の原石で搬入される。原石（545）は、縦方向の打撃によって、個体A（546）、個体B（547）に分割される。

個体Aは、右側面から上面への剥離、下面から裏面への剥離、左側面から上面への剥離後、分割面である裏面を打面として左側面で頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。その後、180度の打面転移によって、正面から左側面への剥離が行われる。最後は石核（個体c）の作業面を甲板面に設定し、両側面への加工で舟底形石器が製作される。舟底形石器は、その他に初期の厚手の剥片（個体a・b）を素材として甲板面である腹面からの加工で製作されるが、個体a～cの本体は全て欠落し、搬出される。剥離される石刃は長さ9cm程度で、その剥離頻度は低い。

個体Bは、左側縁上部から右側縁上部への剥離、下部から右側縁への剥離によって個体d～fに分割され、舟底形石器に加工される。剥片素材の個体d・eは腹面を、石核素材の個体fは作業面を甲板面に設定し、加工は甲板面からのみ行われ、本体は全て欠落し、搬出される。分布は①Sb－93のP28区周辺と②Sb－93のO30区を中心としてSb－92のM32区にまたがる範囲、に分けられ、個体A・Bにかかわらず、①には一次剥離の剥片が、②には舟底形石器調整剥片が分布する。①で一次剥離が行われ、②で二次剥離が行われたと思われる。

母岩別資料847・接合資料3732（図版276－1）は、平滑な原礫面を持つ角礫素材で、長さ16cmの原石の状態で搬入される。石核調整を行わずに原礫面を打面として正面・左右側面で頭部調整を伴う石刃剥離が行われるが、ほとんどの末端部がヒンジ・ウートラパッセになり、良形の石刃は剥離されていない。全てSb－95のM・N27区周辺にまとまって分布している。

母岩別資料741・接合資料3362（図版276－2～278）は、爪状痕のある原礫面を持つ転礫素材で、長さ23cmの正面に1枚の剥離面がある状態（550）で搬入される。正面から上面への剥離で作出された上設打面から、裏面・左右側面の張り出した角を中心に打面調整の無い打面の大きい剥離によって石核調整が行われた後、石核調整を挟みながら全周（主に正面・裏面）で頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。剥離される石刃は、最初は10cm程度であるが、全周で石刃が剥離されるため、石刃核が円錐形になり、石刃剥離の進行に伴い、石刃核高が減少し、剥離される石刃長も短くなる。最終的に石刃長は6cm程度に減少する。石刃は主に正面・裏面で剥離されたものが欠落し、搬出されている。これらの状況は打面作出剥片を外した状態の551上面を見ると分かりやすい。

本接合資料では大型の打面作出剥片である個体Aを素材として石刃剥離が行われ、石刃を素材として彫器111が製作される。個体A（549）は下面の石核調整・上面の打面作出後、右側面で頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。7cm程度の石刃が剥離され、一部欠落している。彫器Ⅰ類の111は長さ10.5cm幅3.2cmの直線的で反りの無い石刃素材で、彫刀面打面・彫刀面付近のみ加工が行われ、素材先端側に彫刀面が作出される。素材端部から彫刀面の距離は9mmで、彫刀面再生はほとんど行われなかったと考えられる。Sb－93のP27・28、Q26・27、R26区周辺に連続して分布し、特にR26区は高密度な分布である。個体・段階による偏りは見られない。

母岩別資料772・接合資料3488（図版279－1）は、爪状痕のある原礫面を持つ転礫素材で、右側面に1枚の大型剥離面がある、長さ21cmの扁平な形状で搬入される。縁辺に沿った下面から裏面への

石核調整、正面から上面への打面作出の後、正面で頭部調整を伴う石刃剥離が行われ、最後にヒンジによる作業面の段差を除去する調整が施されるが、それらを除去できずに剥離は終了する。剥離される石刃は11cm 程度で後半の一部が欠落する。分布は Sb－93のＱ26区周辺とＰ27区周辺に分かれるが、内容の違いは見られない。

母岩別資料779・接合資料3497（図版279－２）は、爪状痕のある原礫面を持つ転礫素材で、長さ18cm、裏面に１枚の剥離面がある状態で搬入される。正面と上面の粗い交互剥離による石核調整後、正面からの剥離で作出された下設打面から正面で頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。剥離される石刃は長さ９cm 程度で、ほとんどが遺棄されている。Sb－93の南西部に位置し、12m の範囲でやや散漫に分布するが、段階・内容による偏りは見られない。

母岩別資料776・接合資料3494（図版280上）は、爪状痕のある原礫面を持つ転礫素材で、長さ16cm、上面に１枚の剥離面がある状態で搬入される。上面から正面への剥離の後、正面から上面への剥離が行われ、その剥離面を打面として正面で頭部調整を伴う剥離が行われるが、石刃剥離には至っていない。次に、上面から裏面への剥離によって打面が作出され、主に正面で頭部調整を伴って石刃が剥離される。剥離される石刃は長さ８～10cm で、長い石刃が欠落している。Sb－93の南西部に位置し、21m の範囲でやや散漫に分布するが、段階・内容による偏りは見られない。

母岩別資料771・接合資料3487（図版280下）は、爪状痕のある原礫面を持つ転礫素材で、長さ14cm程度の原石ないし原石に近い状態で搬入される。上面から正面への剥離の後、正面から上面への剥離で打面が作出され、正面で頭部調整を伴って石刃が剥離される。剥離される石刃は長さ９cm 程度で、その多くは欠落している。最後に剥離された末端部がヒンジで側面形が直線的な石刃は、右側縁の背面・左側縁の腹面に細かい加工が行われ、削器419が製作される。また、初期の厚手の剥片・打面作出剥片は、甲板面である腹面からの加工で舟底形石器に加工され、本体は欠落し、搬出される。分布は Sb－93の①Ｏ30区周辺と②Ｎ29～Ｐ27区の範囲に分けられ、①には個体Ａ・Ｂが分布し、個体Ａ・Ｂ以外は①・②両方に、特に、削器・石刃核は②に分布する。

母岩別資料666・接合資料3117（図版281－１）は、爪状痕のある原礫面を持つ転礫素材で、17cm程度の原石ないし原石に近い状態で搬入される。正面から下設打面作出後、下面から正面で剥離が行われる。次に正面から上設打面が作出され、正面で頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。剥離される石刃は長さ10cm 程度で、大部分が欠落しているが、調査区の端に位置しているため、搬出されたかどうかは不明である。全て Sb－91のＨ35区周辺にまとまって分布するが、調査区の北側に分布が伸びる可能性がある。

母岩別資料836・接合資料3678（図版281－２）は、風化によりザラついた平坦面を持ち、角の潰れた亜角礫素材で、13cm 程度の原石ないし原石に近い状態で搬入される。正面から上面・右側面への粗い剥離の後、正面で上設打面から頭部調整を伴う石刃剥離が行われ、途中から下設の原礫面打面と交互に打面を転移させながら石刃剥離が進行する。剥離される石刃は長さ９cm 程度で、一部欠落する。また、初期の厚手の剥片３点（個体Ａ～Ｃ）は甲板面である腹面からの加工により舟底形石器に整形され、全て本体は欠落し、搬出される。全て Sb－95のＫ27、Ｌ26区周辺に比較的高密度に分布し、個体・段階による偏りは見られない。

母岩別資料805・接合資料3578（図版282上）は、風化によりザラついた平坦面を持ち、角の潰れた亜角礫素材で、14cm 程度の原石ないし原石に近い状態で搬入される。正面から上面、下面から右側面への粗い剥離の後、正面で頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。剥離される石刃は長さ８cm 程度でほとんどが欠落している。初期の粗い剥離による厚手の剥片４点（個体Ａ～Ｄ）は舟底形石器に加

工される。個体Ａの加工は連続した剥離が単位となって左右側面で交互に行われる。加工は主に甲板面である腹面から行われるが、加工が進んだ段階で下縁からの加工が見られ、その後は腹面から行われる。個体Ｂ～Ｃは甲板面である腹面からのみ加工が行われる。舟底形石器４点は全て本体が欠落し、搬出される。全てSb－95のＫ27、Ｌ26区周辺に比較的高密度に分布し、個体・段階による偏りは見られない。

母岩別資料711・接合資料3240（図版282下）は、平滑な原礫面を持ち、角が潰れた亜角礫素材で、長さ14cmの原石の状態で搬入される。正面から上面への剥離によって作出された打面から正面で厚手の縦長剥片、石刃が剥離され、最後は石刃核の裏面に左右から剥離が行われる。剥離される石刃は長さ８cm程度で、剥離頻度は低いが、そのほとんどは搬出されている。厚手の打面作出剥片１点（個体Ａ）・縦長剥片３点（個体Ｂ～Ｃ）は甲板面である腹面からの加工によって舟底形石器に整形され、本体は253が遺棄される個体Ｃを除いて欠落し、搬出されている。Sb－94のＩ31、Ｊ31区に高密度に分布し、個体・段階による偏りは見られない。

母岩別資料942・接合資料4091（図版283－１）は、一部平坦面が残り、角が潰れて丸くなった転礫素材で、長さ17cm程度の原石ないし原石に近い状態で搬入される。正面から上面への剥離で上設打面作出後、頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。剥離される石刃は長さ８cm程度のものが主体で、ほとんどが欠落している。全てSb－93に分布するが、厚手の打面作出剥片、石刃核はそれぞれＰ27、Ｒ26区に分布し、それ以外はＯ30区に分布する。

母岩別資料846・接合資料3731（図版283－２）は、風化によりザラついた平坦面を持ち、角の潰れた扁平な亜角礫素材で、長さ17cmの原石ないし原石に近い状態で搬入される。上面の縁辺に沿って作出された打面から小口面である正面で頭部調整を伴って石刃が剥離される。石刃剥離の途中で１度打面再生が行われる。剥離される石刃は９cm程度で、ほとんどが欠落している。打面再生剥片（個体Ａ）・厚手の縦長剥片（個体Ｂ）は甲板面である腹面からの加工で舟底形石器に整形され、両者とも本体は欠落し、搬出される。Sb－93のＯ29～Ｑ27区の範囲に分布し、段階・個体による偏りは見られない。

母岩別資料671・接合資料3134（図版283－３）は、一部平坦面が残り、角が丸くなった転礫素材で、搬入時の大きさは不明、粗い剥離のある状態で搬入される。正面から左側面への剥離、左側面から下面への剥離、裏面から右側面への剥離後、上設の単剥離打面から頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。剥離される石刃は８cm程度で約半分が欠落している。全てSb－91のＨ33区周辺にまとまって分布し、石刃核がややずれて分布する。

母岩別資料709・接合資料3238（図版284・285上）は、一部平坦面が残り、角が丸くなった転礫素材で、長さ18cm、上面に１枚の剥離がある状態で搬入される。上面から正面への粗い剥離によって厚手の剥片（個体Ａ）が剥離された後、左側面・下面に石核調整が行われ、上設石刃から頭部調整を伴って石刃が剥離される。その後、作業面下部に石核調整が行われ、再度、頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。最後に上設打面から打面の大きい大型の剥片が剥離され、その面を甲板面に設定し、甲板面からの加工で石核素材の舟底形石器（個体Ｃ）が製作される。個体Ｃの本体255は、石器下端部を大きく取り込む側面加工後、遺棄される。剥離される石刃は長さ10cm程度で、良形の石刃は少なく、ほとんどが遺棄されている。

厚手の大型剥片である個体Ａ（564）は、上面に腹面からの剥離で打面が作出され、厚手の縦長剥片剥離後、頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。最後に打面縁辺から１cm程奥を打撃し、石刃核を分割し、厚手の剥片（個体ａ）、石核（個体ｂ）の両者で舟底形石器が製作される。個体ａは甲板面

である腹面からのみ、個体ｂは甲板面に設定された石核作業面からの加工の後、下縁からの加工が行われる。個体ａは最後に折損し、278が遺棄され、個体ｂは完形のまま267が遺棄される。

本母岩では、舟底形石器が製作される個体Ｃ・ａ・ｂ以外に、舟底形石器に類似した加工が行われるものが３点あり、１点は厚手の石刃（個体Ｂ）を素材とした削器234で、残りの２点は、個体Ａの打面作出剥片素材の二次加工ある剥片２点（非掲載）である。

分布は①Sb－94のⅠ・Ｊ31区と②その周辺部に分けられ、①には個体に関わらず大部分の遺物が高密度に分布し、②には石刃類が散漫に分布する。

母岩別資料733・接合資料3322（図版285下）は、爪状痕のある原礫面を持つ転礫素材で、長さ17cm、おそらく粗い剥離の行われた石核で搬入される。下面から右側面への剥離の後、正面から上面への剥離、正面で上設打面から打面調整を伴う石刃剥離が行われ、最後に下端部から正面に剥離が行われる。打面調整が頻繁に行われるため、石刃の長さは15cm 程度から８cm 程度まで減少している。本接合資料では石刃２点が加工されている。１点（490）はウートラパッセによって末端部が肥厚した石刃素材で、厚手の先端部を素材として折れ面から背面側に剥離が行われる。側縁にも剥離痕があり、彫器Ⅲ類に類似する。もう１点は削器420で、右側縁に細かい加工が施される。Sb－95南西部25×10mの広い範囲に散漫に分布し、Ｏ26区に分布の中心がある。段階・個体による偏りは見られない。

母岩別資料915・接合資料3995（図版286上）は、平滑な原礫面を持つ角礫素材で、長さ23cm、原石に近い状態で搬入されたと考えられる。上設の単剥離打面から正面への剥離の後、下面・右側面から裏面、右側面から正面への剥離が交互に行われ、再度、正面で上設打面から軽い頭部調整を伴う剥離が行われる。途中、下設打面が作出されるが、下設打面からの剥離頻度は低い。上設打面からの剥離では打面の大きい厚手の縦長剥片が剥離される。全てSb－93のＯ28区周辺に分布し、段階による偏りは見られない。

母岩別資料877・接合資料3850（図版286下・287－１）は、平滑な原礫面を持つ角礫素材で、長さ20cm の原石ないし原石に近い状態で搬入されている。正面で、上面の原礫面打面、下縁から交互に剥離が行われた後、左側面で上設打面から厚手の剥片（個体Ａ）が剥離される。次に、下縁から裏面・正面に交互剥離が行われ、最後は上面から正面へ厚手の縦長剥片剥離後、頭部調整を伴う石刃剥離が少量行われる。本接合資料では削器１点（個体Ｂ）、舟底形石器２点（個体Ａ・Ｃ）が製作される。個体Ｂ（427）は下縁から裏面への剥離で剥離された厚手の剥片で右側縁に粗い加工が施される。個体Ａは甲板面である腹面から加工され、折損した438が遺棄される。個体Ｃは最終段階に剥離された厚手の縦長剥片素材で甲板面である腹面から加工され、本体は欠落し、搬出される。全てSb－93のＯ28区周辺に連続して分布するが、個体Ａ～ＣはＯ・Ｐ28区に、個体Ａ～Ｃ以外はＯ28・29区に分布し、重複しながらも、ずれた分布を示す。

母岩別資料892・接合資料3908（図版287－２）は、風化によりややザラついた平坦な原礫面を持ち、角が潰れた亜角礫素材で、長さ18cm、おそらく原石に近い状態で搬入される。粗い剥離が行われた後、上面から正面・裏面への粗い交互剥離、下面から左側面への剥離による石核調整が行われる。次に、途中で左側面から裏面への剥離を挟んで、正面で軽い頭部調整を伴う打面の大きい厚手の縦長剥片が剥離される。最後に石核（個体Ｂ）は、作業面を甲板面に設定して、甲板面からの加工で舟底形石器に整形され、本体432は遺棄される。初期の石核調整段階で剥離された厚手の剥片（個体Ａ）は、舟底形石器に加工され、その前半は甲板面である腹面から行われ、加工が進み、舟底形石器の幅が狭くなった段階で下縁・甲板面から行われる。本体は欠落し、搬出される。全てSb－93のＮ30、Ｏ29区周辺に分布し、個体・段階による偏りは見られない。

母岩別資料894・接合資料3927（図版287－３）は、平滑な原礫面を持ち、角がやや潰れた亜角礫素材で、長さ12cm の小型の原石で搬入される。右側面から上面への剥離で作出された打面から正面で頭部調整を伴わない厚手の剥片剥離が行われる。原石に節理が内在するため同時割れと思われる剥落が認められるが、その剥片（個体Ａ）を利用して加工が行われている。個体Ａ（二次加工ある剥片）は舟底形石器に類似した粗い加工が見られるが、加工頻度が少なく、定形的ではない。分布は Sb－93の①Ｐ28区周辺、②Ｏ30区周辺に分けられ、個体Ａは②に、それ以外は①に偏りが見られる。

母岩別資料895・接合資料3928（図版288－１）は、平滑な原礫面を持つ扁平な角礫素材で、長さ14cm の原石の状態で搬入される。正面から上面への剥離によって作出された打面から正面の小口面で頭部調整を伴わない剥離が行われ、途中、打面再生を挟みながら最後まで継続する。厚手の打面再生剥片（個体Ａ）は甲板面である腹面からの剥離で舟底形石器に加工されるが、本体は欠落し、搬出されている。全て Sb－93のＰ28区周辺に分布し、個体・段階による偏りは見られない。

母岩別資料832・接合資料3666（図版288－２）は、風化によりザラついた表面を持ち、角が丸くなった亜角礫素材で、長さ15cm の原石の状態で搬入される。正面から上面への剥離の後、上面から正面に剥離が行われる。次に、下面に打面が作出され、下設打面から正面・裏面で、軽い頭部調整を伴う打面の大きい厚手の縦長剥片剥離が行われる。本接合資料では舟底形石器３点（個体Ａ～Ｃ）が製作される。個体Ａは正面から裏面への剥離で得られた厚手の縦長剥片で、甲板面である腹面から加工され、本体254は遺棄される。個体Ｂは下設打面から正面で剥離された断面三角形の剥片で、甲板面である腹面から加工され、本体は欠落する。個体Ｃは石核を素材として、作業面を甲板面に設定し、甲板面から加工が行われ、本体は欠落する。全て Sb－93のＱ27区周辺に分布し、個体・段階による偏りは見られない。

母岩別資料913・接合資料3991（図版288－３）は、平滑な原礫面を持ち、角が潰れた扁平な亜角礫素材で、長さ11cm の原石の形状で搬入される。交互剥離によって稜状に整形された上縁から正面で縦長剥片が剥離された後、左側面側に偏って剥離が行われる。次に、上縁から右側面へ縦長剥片が剥離され、最後に上縁から裏面に厚手の縦長剥片剥離が行われる。６～11cm の縦長剥片が剥離され、それらは搬出されないが、側縁に細かい加工が施されるものが多く、削器421・二次加工ある剥片３点に見られる。分布は Sb－93の高密度な①Ｐ28区、②Ｐ29区、散漫な③Ｑ27区に分けられるが、段階による偏りは見られない。

母岩別資料930・接合資料4051（図版289）は、平滑な原礫面を持ち、角が潰れた亜角礫素材で、長さ15cm、正面に１枚の剥離面がある状態で搬入される。上面の平坦な原礫面を打面として正面・左右側面で頭部調整を伴わない打面の大きい厚手の剥片が連続的に剥離され、最後に裏面から下面へ石核を２分割する剥離が行われる。本接合資料では舟底形石器９点（個体Ａ～Ｉ）が製作される。個体Ａ～Ｈは上面の原礫面打面から剥離された厚手の剥片素材、個体Ｉは最後に裏面から下面へ剥離された厚手の剥片素材で、全て甲板面である腹面から加工が施される。個体Ａ（446）、Ｂ（436）、Ｃ（437）、Ｄ（443）、Ｆ（445）、Ｇ（434）、Ｈ（442）は本体が折損し、遺棄され、そのうち個体Ａのみ再加工が行われ、再加工された本体は欠落し、本体の欠落した個体Ｅ・Ｉと共に搬出されたと思われる。また、個体Ｃ・Ｆは、遺棄されているのは本体の一部で、残りの破片が搬出された可能性がある。全て Sb－93のＰ28区周辺に高密度に分布するが、個体Ａ・Ｅ・ＩはＰ28区西側、個体ＢはＰ28区東側、個体ＣはＰ28区中央、個体Ｄ・Ｈ・個体Ａ～Ｉ以外はＰ28区の広い範囲、個体ＦはＱ27区、個体ＧはＯ28区に分布するなど細かい位置関係に偏りが見られる。

母岩別資料868・接合資料3829（図版290－１）は、風化によりザラついた平坦な原礫面を持つ角礫

素材で、長さ13cm 程度、上面に１枚の剥離面がある状態で搬入される。右側面から上面、上面から正面への剥離の後、正面から上面への剥離が行われ、次に、上面から正面、上面から裏面への剥離が行われる。最後に石核（個体Ｆ）を素材として裏面の作業面を甲板面に設定して舟底形石器が製作される。加工はほとんどが甲板面から行われるが、途中で下縁からの加工が見られる。本接合資料では個体Ｆ以外に５点（個体Ａ～Ｅ）の舟底形石器が製作される。全て厚手の剥片素材で、甲板面である腹面から加工が行われ、本体は欠落し、搬出される。本接合資料は、角部の打面縁辺から1.5～２cm 内側を加撃して断面三角形に近い厚手の剥片が剥離され、そのほとんどが舟底形石器に加工されていることから、舟底形石器製作を目的として剥離されたものと考えられる。Sb－93のＯ30区を中心として北東方向に連続して分布し、個体・段階による偏りは見られないが、個体Ｃの最終剥離の調整剥片がやや離れたＰ28区に分布する。

母岩別資料769・接合資料3480（図版290－２）は、爪状痕のある原礫面を持つ転礫素材で、長さ17cm 程度の原石ないし原石に近い状態で搬入される。裏面から上面、右側面から上面、正面から右側面、上面から右側面への剥離が打面転移を繰り返しながら進行し、残核である488には多方向の剥離痕が残る。剥離は全て頭部調整を伴わずに不定形の剥片が剥離され、また、原石には直径1.5cm 程度の大型球顆や潜在的な割れ面が内在するため、ほとんどまともに割れていない。二次的な剥離が行われる個体は４点あり、厚手の剥片２点（個体Ａ・Ｂ）は縁辺で交互剥離による剥片剥離が行われ、厚手の剥片１点（個体Ｃ）は粗い加工が行われ、やや薄手の剥片は、素材の尖頭部の一側縁にノッチ状の加工を施し、錐形石器（非掲載）が製作される。Sb－93・95のＯ28～Ｒ24区にまたがる19×７m の広い範囲に非常に散漫に分布するが、個体・段階による偏りは見られない。

母岩別資料826・接合資料3657（図版290－３）は、平滑な原礫面を持つ角礫素材で、長さ14cm の原石ないし原石に近い状態で搬入される。原石に内在する節理面から上部を欠損した後、正面で頭部調整を伴わない厚手の縦長剥片剥離が行われるが、５回の剥離のみで終了する。Sb－95のM27区周辺にやや散漫に分布し、段階による偏りは見られない。

母岩別資料777・接合資料3495（図版291－１）は、爪状痕のある原礫面を持つ転礫素材で、長さ23cm、上部両面に剥離のある状態で搬入される。正面から上面への剥離で作出された打面から正面へ剥離が行われた後、正面から下設打面が作出される。次に、下設打面から右側面・正面への剥離後、上面から正面への剥離が行われ、最後に正面から下面への剥離が行われるがひどく階段状になり、剥離は終了する。分布はほとんどが Sb－93のＱ・Ｒ26区にまとまり、剥片２点がやや離れてＰ27・28区に分布する。

接合資料5738（図版291－２）は、原石形状・搬入形態は不明である。中央に平坦剥離面、縁辺部に一部平行剥離が見られる厚さ６mm の薄手の尖頭器が左側縁から正面への加工時に折損し、折れ面から右側縁へ一次削片が剥離される。削片に加工痕は見られない。全て Sb－93のＯ28区に分布する。

接合資料5736（図版291－３）は、原石形状・搬入形態は不明である。両面に平坦剥離面が残る厚さ11mm の薄手の尖頭器の上部、左下部が折損し、下端部から右側縁へ削片剥離が行われる。接合資料の右側縁には削片と同一方向の削片剥離痕が残り、少なくとも２回の削片剥離が行われている。全て Sb－93のＰ28区に分布する。

接合資料5743（図版291－４）は、原石形状・搬入形態は不明である。中央に平坦剥離面、縁辺部の一部に平行剥離が見られる厚さ９mm の薄手の尖頭器が左側縁から正面への加工の傷が原因で折損し、折れ面から右側縁へ一次削片剥離を含め２回の削片剥離が行われる。削片に加工痕は見られない。両者とも Sb－93の、尖頭器はＯ28区、尖頭器削片はＰ28区に分布する。　（鈴木宏行）

(10) Ｊ区・石器ブロック97～107(Sb－97～107)の石器

出土石器（表Ⅲ－９～12）

尖頭器125点（Ⅰ類101点、Ⅱ類16点、Ⅲ類８点)、尖頭器削片24点、両面調整石器27点、彫器77点（Ⅰ類17点、Ⅱ類50点、Ⅲ類10点)、彫器削片20点（Ⅱ類２点、Ⅲ類18点)、掻器34点、削器101点、錐形石器11点、舟底形石器221点（Ⅰａ類24点、Ⅱａ類191点、Ⅱｂ類３点、Ⅱｃ類３点)、二次加工ある剥片95点、石刃539点、縦長剥片571点、石刃核52点、石核95点、剥片39,392点、つまみ付きナイフ１点、原石10点、台石１点、礫１点の計41,397点、重量479,327.4g の石器類が出土した。石材は黒曜石１が64.1％で最も多く、黒曜石４（22.9％)、黒曜石３（8.1％)、黒曜石５（4.1％）が続き、以下黒曜石２（0.7％)、頁岩（0.05％)、安山岩（0.01％)、珪岩（0.007％)、碧玉（0.007％)、めのう（0.002％)、砂岩（0.002％)、緑色泥岩（0.002％）である。上白滝８遺跡全体でⅠ区に次ぐ規模の区域である。石器群は、幅広有舌尖頭器石器群が一部含まれるが、ほとんどが小型舟底形石器石器群である。そのため、彫器・舟底形石器・石刃核の量が多く、特に舟底形石器はⅠａ類・石核素材のⅡａ類が多い。彫器（80％)、掻器（94％）は黒曜石１の比率が高く、舟底形石器（43％）は黒曜石４の比率が高いが、いずれも小型舟底形石器石器群を含むＧ・Ⅰ区に比べ、黒曜石１の割合が高い。

尖頭器（図Ⅲ－369－１～図Ⅲ－375－35、図版292～296、図版318－392～396）

63点（32個体とⅠ層出土３個体を加えた35個体）を図示し、７点（４個体とⅠ層出土１個体を加えた５個体)を写真のみ掲載している。１～６はⅢ類で、５・６は未成品である。３・６は剥片素材で、その他は不明。加工は平坦剥離によって行われ、縁辺は細かい剥離によって滑らかに整形される。１～４の舌部は、中央～やや下部に位置し、１・２・４はかえしが明瞭に作出され、３は舌部側縁がやや内湾する程度である。１・３は所山産、４は安山岩製、２・５・６は赤石山産である。完形品と見られる１～４の内２を除く３点が白滝産黒曜石以外の石材が利用されている一方、未成品と見られる５・６は赤石山産である。Ⅰ区同様､小型の完形品は他産地から石器の状態で搬入されたと思われる。一方、Ⅰ区と異なり、他の赤石山産の小型品・未成品も、母岩に含まれず、また、未成品は折損していないことから搬入された可能性がある。

７～25はⅠ類である。７は小型の尖頭器で、比較的厚手で加工も粗い。８～11は細身の尖頭器で、加工は、平坦剥離による中央の平坦面と押圧剥離によると思われる縁辺部の角度のある細かい剥離で構成され､平坦剥離後､縁辺の押圧剥離が行われる。断面形は平坦な上下面と角度のある両側縁によって潰れた六角形を呈するが８の先端部のように片面に偏る錯向状の剥離によって平行四辺形に近い形状になるものもある。10は正面中央左からの剥離で折損し、下部破片は折れ面から再加工され、11は下端部の折損後､折れ面・両側縁から再加工が行われる。12～15は相対的にやや幅広のタイプである。８～11と厚さ・平坦剥離による加工は変わらないが、縁辺部の角度のある加工が見られず、それらの前段階と考えられる。12は折損後､折れ面から右側縁で削片状の剥離が行われ､13は下端部の折損後、再加工が行われる。16～18はやや厚手のもので８～15に比べ相対的に加工が粗い。16は正面中央右からの加工で折損している。17は先端部の両側縁が裏面からの急角度の粗い加工によって大きく変形している。18は両側縁中央がやや内湾し、左側縁から中央裏面への剥離によって折損している。19～22は幅広のもので、22を除き比較的薄く、加工は平坦剥離によって行われる。全て折損し、19は上部の折損後、再加工が行われている。22は先端部折損後、上部を再加工しているため幅広の形状を示す。さらに、右側縁から裏面への加工で折損している。23は約30cm の大型品である。上下の２破片で構成され、中間部は出土しなかったが接合資料から位置関係が復元された。上部破片の下端部・下部破

片の中央部には放射状の折れが見られる。全体的に大型の平坦剥離で加工されている。24は非常に粗い加工が行われ、平滑な原礫面と一部転礫面が残る。凸状の正面と平坦な裏面により断面三角形である。特に正面左側縁はやや粗い急角度の加工が施される。25は角礫から剥離された剥片ないし縦長剥片素材で、正面には斜角の剥離が、裏面基部には平坦剥離が行われる。また、上部折損後、折れ面から加工が行われる。

26～35はⅡ類である。35を除き、折損後、折れ面から削片状の剥離が行われる。打面となる折れ面は、打点のあるものではなく、調整剥離時に折損した特徴（尖頭器の調整剥離が折れ面の始点となっている）を持っているため、目的的に折損が行われたものではなく、折損した尖頭器を利用して削片状の剥離が行われたと思われる。削片剥離は、26・28・29・31～34は片側縁で、27・30・35は両側縁で行われ、27は両側縁とも折れ面から、30は左側縁が下部から、右側縁が折れ面から、35の右側縁は削片剥離面打面から行われ、左側縁は不明である。尖頭器本体が先細りの形状をしているため剥離される削片は、ヒンジになる27・33を除いてウートラパッセになっている。

26・27は厚さ７mmと薄く精巧な加工が見られ、特に27の正面には平行剥離が見られる。28・29は厚さ11mmである。28の裏面には平滑な原礫面が大きく残り、短冊状の角礫素材と考えられ、29は右側縁での樋状剥離後、折れ面から正面に器厚を減少させる剥離が行われる。30～32は厚さ13～16mmで、平坦剥離によって加工される。33・34は厚さ27mmで、粗い加工が施される。35は厚さ９mmと薄い。以上のことを整理すると、尖頭器Ⅱ類による削片剥離は、折損した尖頭器を素材としているが、①折れ面が「折り取り」によるものではなく、尖頭器の調整による事故によるものであること、②厚さ・表面に残る加工状態に違いが見られ、素材尖頭器が尖頭器製作の特定の段階に限定されないことから、尖頭器の折損に伴って副次的に行われたものと考えられる。また、厚手のものは幅広の、薄手のものは幅の狭い尖頭器削片が剥離される。

図版318－392～396は写真のみ掲載のものである。392はやや厚手のものであるが表面は滑らかで、幅が比較的狭い。左側縁の裏面上部に削片状の剥離が残るが、下部の折損との前後関係は不明である。393は幅広のもので、比較的薄い。394はやや厚手のもので、相対的に加工が粗い。395は厚さ31mmで厚手のものである。平坦剥離による加工は大型であるが、表面は比較的滑らかである。396は厚さ50mmで非常に厚手で、加工も非常に粗い。

尖頭器削片（図Ⅲ－375－36～44、図版296・297、図版318－397～図版319－401）

11点（９個体）を図示し、７点（３個体とⅠ層出土２個体を加えた５個体）を写真のみ掲載している。36～41は折れ面打面の削片で、36～39は断面三角形の一次削片、40・41は二次削片である。末端部は全てウートラパッセにより尖頭器本体の末端部を取り込んでいる。打面形状が不明な42は、断面三角形であるが、背面下部に反対方向の先行剥離面が残る。43は両側面に両面調整の剥離痕があり、石器の打面周辺には横方向の擦痕のある研磨面が残る。局部磨製の斧形石器の側縁においてその刃部を打面にして剥離された削片である。背面には先行剥離面が３枚あり、特に他端からの剥離による最終面はヒンジによって段差になっている。44は稜状の打面から剥離されている。38・43・44は白色の頁岩製である。

図版318－397～図版319－401は写真のみ掲載のものである。397～399は断面三角形の一次削片、400・401は二次削片である。397は尖頭器の端部を打面として剥離されたものである。398の打面は不明であるが、399は尖頭器が非常に粗い加工の段階で折損した後、折れ面から側縁で剥離されている。400は先行の削片剥離によってヒンジとなった末端部を除去する加工が行われた後に剥離されている。399・400はウートラパッセにより尖頭器下端部を取り込み、398・401の末端部はヒンジになって

いる。

石核である尖頭器本体の厚さを反映する削片幅は８～31mmで、本体の厚さの変異が想定される。

両面調整石器（図Ⅲ－376－45～図Ⅲ－380－54、図版297～300、図版319－402・403）

20点（10個体）を図示し、２点（２個体）を写真のみ掲載している。45～48は角礫、49～54は転礫素材で、53・54は剥片素材、49も剥片素材の可能性がある。全て非常に粗い剥離で加工されている。45～48は扁平で細長い角礫を素材とし、45～47には長軸方向の加工が見られる。45は中央で折損後、両破片とも折れ面から加工が施され、48は折損後、上部破片に右側縁から再加工が行われる。51の裏面にはリングが密集した大型の平坦な剥離面が残り、大型の転礫から分割された素材を利用している。主に正面で加工が行われるが、途中で潜在的な折れが原因で上部・左側縁の一部を折損している。52は両面で大型の剥片が剥離されている。53は厚さ３cmの大型剥片を素材として、裏面はバルブ周辺を、正面は左側縁を加工しているが途中で折損している。54は厚さ６cmを超える厚手の剥片を素材として、正面は凸状に、裏面は平坦に加工されるが、中央で折損している。その後、下部破片の左側縁で幅６cmの幅広削片が剥離されている。

図版319－402・403は写真のみ掲載のものである。402は亜角礫素材で、右側縁から正面へ、左側縁から裏面へと錯向状の剥離が行われる。403は亜角礫素材で主に正面左側縁から剥離が行われ、上部が折損している。

彫器（図Ⅲ－381－55～図Ⅲ－384－126、図版301～303、図版319－404～406）

79点(61個体とⅠ層出土11個体を加えた72個体)を図示し、３点(３個体)を写真のみ掲載している。

55～68はⅠ類である。55～61は周縁加工が背面のみ行われるもの、62～65は腹面にも見られるもので、66～68は周縁加工のないもの、ないしは軽微なものである。

69～118はⅡ類である。69～87は周縁加工が背面のみ行われるもので、69～72は形態軸・彫刀面交叉角が概ね50度以下の斜刃のもの、73～81は50～70度の中間的なもの、82～87は70度以上の横刃に近いものである。88～104は腹面にも周縁加工が見られるもので、88は形態軸・彫刀面交叉角が概ね50度以下の斜刃のもの、89～100は50～70度の中間的なもの、101～104は70度以上の横刃に近いものである。これらの形態軸・彫刀面交叉角は連続したものであり、分離できるものではない。105～113は彫刀面打面以外加工がほとんど見られないか、もしくは周縁加工が軽微なもので、105・106は細長く、111～113は幅広である。108は頁岩製。114～118は大型ないし素材が石刃以外のものである。114・115は大型の縦長剥片素材で、114の素材打面には頭部調整は見られない。116・117は両面調整体の調整剥片素材で、116には全周に周縁加工が施され、117には彫刀面周辺以外に周縁加工が見られない。118は頁岩製の両面調整体の削片素材で、素材打面側である上端部では主に左側面で削片剥離が行われ、素材先端側である下端部では右側面にノッチ状に作出された彫刀面打面から下面に向けて彫刀面が作出される。

119は彫刀面再生過程を残すもので、先行の彫刀面を除去する加工が上端部から行われる。加工は彫刀面打面周辺では裏面から行われ、彫刀面が完全に除去され、彫刀面末端部側では背面先端部調整と同様な彫刀面を打面とした加工が行われる。また、ノッチ状の彫刀面打面が右側縁上端に作出されており、彫刀面再生が意図されていたと思われる。彫刀面は下端部にも作出され、それは右刃である。

Ⅰ・Ⅱ類の周縁加工は、背面側は急角度のものが多いが、61のような厚手の素材の場合、斜角の加工が行われ、断面三角形の基部が作出されるものがある。腹面側は平坦剥離によって加工され、その分布は、背面側がほぼ全周に見られるのに対して、腹面側は部分的なものから面的なものまで変異が見られる。素材は、ほとんどが頭部調整のある単剥離打面の石刃素材で、彫刀面は119の下部を除い

て左肩に作出される。彫刀面は主体的に素材先端側に作出されるが、掲載資料中19％が素材打面側に作出され、その比率が非常に小さいＧ・Ⅰ区に比べて比率が高い。背面先端部調整はⅠ類にはほとんど行われないが、多くのⅡ類には認められ、その70％は打点が無く、彫刀面に切られている。明確な多段階表面変化は確認できないが、62・65・95・101の表面には他の彫器に比べ傷が多い。また、60・61・68・74・76・78・87の表面は被熱により白色に変化している。

120～126はⅢ類で、全て剥片素材と思われる。120は正面両側縁・裏面上部に加工があり、上部には稜状の打面から、右側縁下部には下端の折れ面から彫刀面が作出される。121は上端から剥離された左側縁の彫刀面を打面として上面の彫刀面が作出される。また、正面には左側縁の彫刀面を切る下端部からの剥離が見られる。122は両面調整によって稜状に調整された上端部で左側縁から彫刀面が作出され、さらにその面を打面として左側縁で彫刀面が作出される。123～126は面的な片面加工石器が折損した後、側縁で折れ面を打面として削片剥離が行われるものである。123・125には裏面調整も認められるが、石器本体は尖頭器のような整った両面調整体ではない。123～125は片側縁で、126は両側縁で削片剥離が行われる。123・126は基端部が弧状に作出され、123の裏面・126の正面には折れ面からの加工が見られる。123・125・126の彫刀面の最終剥離面形状はヒンジで、彫刀面の悪化に伴い遺棄されたものと思われる。

図版319－404～406は写真のみ掲載のものである。404はⅠ類、405・406はⅡ類である。素材は全て石刃で、406は断面三角形で非常に厚手である。周縁加工は404・405の背面に見られ、406には行われない。彫刀面は全て素材打面側に作出される。

彫器削片（図Ⅲ－385－127～148、図版303・304）

23点（４個体とⅠ層出土１個体とⅡ層出土17個体を加えた22個体）を図示している。

127～130は彫器削片Ⅲ類である。127・128は半両面加工により稜状に整形された側縁から剥離されたもので、127は彫刀面である側面の右側縁側（先行の彫刀面と右側面の角付近）の打撃によって剥離される。128は彫刀面と見られる数条の複剥離打面から剥離されている。129は片面加工の折れ面打面を持つ彫器から剥離されたもので、127と同様に彫刀面左側縁側に打点がある。縁辺から５mmほど内側に打点があり、残存する打面は比較的大きく、末端部はウートラパッセとなり下端部を大きく取り込んでいる。130は原礫面打面から剥離されたもので正面右に大きく素材面が残る。

131～148は彫器削片Ⅰ・Ⅱ類である。131～134は一次削片ないしそれに近いもので、131はⅠ類、132～134はⅡ類である。131は一枚の彫刀面が残る二番目の彫器削片である。正面に残る母型作成時の周縁加工は比較的大きい斜角の剥離と縁辺の微細な剥離で構成される。132～134は131に比べ直線的であることから、Ⅱ類の彫器は直線的な彫刀面を想定し、母型作成時からその形状に近い整形をしていた可能性がある。132・134は比較的薄手の彫器から剥離されている。131が打面から背面側に斜めに力が加えられ、剥離されるのに対し、打面が残る132・134は腹面側に力が加えられ、剥離されている。132の右側縁先端部には裏面から細かい加工により錐状の先端部が作出される。

135～148は二次削片で、135～141はⅠ類、142～148はⅡ類である。135は直前の彫刀面剥離後、彫刀面を一新する加工が腹面から行われる。136には直前の彫刀面剥離後に、137には直前の彫刀面剥離前に背面先端部調整が行われる。142は直前の彫刀面剥離後に背面先端部調整が行われ、彫刀面打面周辺は腹面から彫刀面を除去する加工が行われた後に剥離されている。また、剥離の際にはⅡ類の一次削片同様に腹面側に力が加えられる。142が剥離される直前の彫刀面形状（彫刀面再生直前の形状）は彫器119と全く同じで、このような彫刀面再生技術が本地区の彫刀面再生技術に存在したことを示している。このような再生技術はⅠ類にはしばしば見られるものの他の地区や他の遺跡では確認でき

ておらず、本地区特有の再生技術の可能性がある。148は素材背面を取り込まない断面三角形の削片である。Ⅱ類の削片には、本体の背面が残存せず不明な148を除いて142～147の全てに打点のある背面先端部調整が見られる。一方、彫器本体の背面先端部調整に打点が残るものの割合が30％であることから背面先端部調整は彫刀面再生に先立つ調整と考えることができる。

Ⅰ・Ⅱ類の削片は、他の区域に比べ幅広で、彫器本体の彫刀面は幅広の傾向がある。また、Ⅱ類から剥離された彫器削片はⅠ類に比べて直線的な傾向があり、刃部形状がⅠ類は弧状、Ⅱ類はより直線的であったと思われる。

掻器（図Ⅲ－385－149～図Ⅲ－386－173、図版304・305、図版319－407・408）

29点（18個体とⅠ層出土６個体とⅡ層出土１個体を加えた25個体）を図示し、２点（２個体）を写真のみ掲載している。149～161は連続的な側縁加工が行われるものである。149～156は相対的に細長い形状のもの、157～161は相対的に幅広のもので前者には狭長な、後者には幅広の石刃が素材となっている。158は頁岩製である。

162～172は側縁加工がほとんど行われないもので、162は左側縁上部に錐状の刃部が作出される。

173は粗い加工の施されるもので、刃部作出後正面の稜から右側面に加工が行われ、さらに、左側縁に中央の稜に達する加工が行われる。

剥片素材である172を除いて石刃素材で、素材打面の残るものは全て頭部調整を伴う単剥離打面から剥離されている。また、素材は中央に１本の稜のあるものが多く、断面形は二等辺三角形に近い。刃部形状は円形に近いものが多く、刃部周辺のパンチ痕は確認できない。151・160・162・167は被熱により表面が白く変化している。

図版319－407・408は写真のみ掲載のものである。407は周縁加工の行われる細身の掻器である。408は石刃核下端部を取り込む厚手の石刃素材で周縁加工は行われず、刃部加工は粗い。

錐形石器（図Ⅲ－387－174～182、図版305、図版320－409）

９点（７個体とⅠ層出土２個体を加えた９個体）を図示し、１点（１個体）を写真のみ掲載している。174・175は相対的に狭長な石刃素材、176～179は幅広で短い石刃素材、180は彫器削片Ⅲ類素材、頁岩製の181・182は尖頭器削片素材である。側縁調整は微細なもの以外は行われず、刃部は、石刃素材のものは素材先端側に、削片素材のものは素材打面・先端側に作出され、刃部の軸は両者とも素材の長軸方向に一致する。刃部の加工は、181・182を除いて素材腹面から両側縁へのノッチ状の剥離によって行われる。また、断面三角形の素材である181の右側面には腹面から、左側縁には正面の稜からの剥離で刃部が作出され、同様に182は左側面から腹面への剥離で刃部が作出される。174～177・179・181の刃部には使用によると思われる樋状の剥離痕が残る。

図版320－409は細身の石刃素材で、側縁調整は見られず、両側縁のノッチ状の加工によって刃部が作出される。

削器（図Ⅲ－387－183～図Ⅲ－388－194、図版305・306、図版320－410～414）

18点（９個体とⅠ層出土３個体を加えた12個体）を図示し、６点（４個体とⅠ層出土１個体を加えた５個体）を写真のみ掲載している。183～188は連続的な急角度の加工が施されるものである。全て石刃素材で、188の素材は大型である。188は折損後、上端の折れ面から加工が行われる。189は剥片素材で左側縁先端部は平坦剥離によって、右側縁は細かい剥離によって加工され、正面上からの加工によって中央で折損している。190は幅広の剥片素材で求心状の加工が行われる。191は角礫から剥離された石刃素材で正面左側縁の角度のある加工の後、左側縁から裏面に平坦剥離によって面的な加工が行われ、最終剥離で下部を折損している。192は安山岩製の剥片素材で、先端部は両側縁への急角

度の加工で尖頭状に整形される。193・194は大型の剥片素材で左側縁には粗い加工が施される。素材・加工の種類が舟底形石器に類似しているため、舟底形石器の初期段階と考えられる。183・187・190・193・194には転礫・亜角礫面が、188・191には角礫面が残る。

図版320－410～414は写真のみ掲載のものである。410は石刃素材で両側縁に微細な加工が施される。411は幅広の剥片素材で押圧剥離と見られる斜角の平行剥離によって三角形に整形される。412は左側縁上半部・右側縁の上下端に平坦剥離による加工が見られ、広郷型ナイフ形石器に類似する。413は右側縁に粗い急角度の加工が、下端部の折れ面から正面・右側縁に加工が施される。414は厚手の剥片素材で、打面側の両側縁には内湾するように急角度の加工が行われ、撥形に広がる先端部には微細な剥離が見られる。

舟底形石器（図Ⅲ－389－195～図Ⅲ－398－275、図版306～310、図版320－415～図版323－450）

101点（64個体とⅠ層出土17個体を加えた81個体）を図示し、57点（25個体とⅠ層出土11個体を加えた36個体）を写真のみ掲載している。

195～221はⅠａ類で、195～217は端部に細石刃状の剥離痕のあるもの、218～221は細石刃状の剥離痕の無いものである。195～213・216～221は完形、214・215は折損品である。細石刃状剥離は、195～215は連続して行われ、216・217は頻度が少なく、また、両端で行われる195以外は、197～199・201・202・204・207～209・211～215が素材先端側で、196・203・206・210が素材打面側で行われ、素材先端側が80％程度を占める。細石刃状剥離には顕著な頭部調整は見られない。側面調整は上下から行われるものが多く、下縁からの加工が後から行われることが多い。197は尖頭器削片、219は尖頭器削片ないし彫器削片Ⅲ類素材、213は石核素材で、それ以外は全て剥片素材である。素材剥離軸と石器長軸は、直交する200・205を除いて一致する。大きさはＧ・Ⅰ地区や他の遺跡のⅠ類に比べ、若干大きい。多段階表面変化が観察されるものがなく、母岩別資料に含まれるものが比較的多いことから遺跡内で製作されたものが多いと考えられる。

222～258は剥片素材のⅡａ類である。222～247は両側面への甲板面からの加工のみで整形されるもので、222～235は甲板面縁辺に比較的細かい加工が施され、236～242には粗い加工のみが見られる。243～247は側面調整が進行せず、幅広のもので原礫面が残存する。248～257は甲板面からの加工に加え、下縁からの加工を含むもので、248～256は両面加工、257は片面加工である。甲板面からのみ加工されるものに比べ幅・高さともに小さく、加工が進行した状態である。248はやや特殊で折損した両面調整体を利用して折れ面・下縁から加工が行われる。

259～270は甲板面がネガ面の石核素材のⅡａ類で、259～268は甲板面からのみ、269・270は下縁からも加工が施されるものである。271・272は両面調整石器の縁辺で剥離された縦長剥片素材のⅡａ類である。素材打面側は欠損して不明であるが、側面に残る素材面と甲板面の切り合いから判断して大型の粗い両面調整石器から剥離されたと思われる。273はⅡｃ類である。角礫の原石素材で原礫面を甲板面に設定し、両面加工が行われる。素材（原石）の利用方法がⅡｃ類と同一であるが、本来のⅡｃ類の加工とは異なる。

274・275は剥片素材のⅡｂ類である。274は大型の剥片素材で、左右両側面で甲板面からのみ加工が行われる。275は甲板面・左側面の大型剥離面である素材面、右側面の素材腹面の三面で構成される断面三角形の素材を利用して両面とも上下からの加工によって整形されるが、右側面のやや内側の剥離によって折損している。これらは素材の大きさからⅡｂ類に分類したが、加工の種類はⅡａ類に近く、大型のⅡａ類とみなすことも可能である。234・236～238・249・252・253・255・267・270は剥離軸（石核素材の場合は作業面の剥離軸）と石器長軸が直交し、それ以外は一致する。

被熱と見られる光沢が減少する表面変化は、Ⅰ類は196・198～200・206・214・216に、Ⅱ類は252に認められ、Ⅰ類に偏りがある。

図版320－415～図版323－450は写真のみ掲載のものである。415はⅠ類の折損品で、細石刃状剥離は見られない。

416～442は剥片素材のⅡａ類である。416～427・429～438は甲板面からのみ加工が行われるもので、436～438は折損品である。416～423・438には甲板面縁辺に比較的細かい加工が施され、424～427・429～437には粗い加工のみが見られる。435は中央で折損後、折れ面から下縁部の長軸方向に剥離が行われる。428・439～441は上下からの加工が見られるものである。428は甲板面からの細かい剥離の後、左側面で下縁からの加工が行われ、右側面で細かい剥離面を取り去るような縁辺から７・８mm内側を加撃する粗い加工が行われる。440は甲板面からの加工によって瘤状の段差になった部分を除去するために下縁から加工が施されるが、うまく除去されていない。441は、ヒンジによる段差を解消するために下縁から加工され、442は片側面のみ加工が行われる。

443～450は石核素材のⅡａ類で、449・450には上下からの加工が見られる。

舟底形石器削片（図Ⅲ－399－276～279、図版311）

４点（Ⅱ層出土４個体）を図示している。長さは12～15mmで舟底形石器Ⅰ類の細石刃状剥離面長に対応している。全てに舟底形石器本体の側面が残存し、それは、幅の狭い作業面形状を反映したもので、削片の多くに側縁が取り込まれていたと思われる。打面の残る276・278は単剥離打面で、舟底形石器Ⅰ類同様、顕著な頭部調整は認められない。277の右側縁先端部には裏面からの加工により錐状の尖頭部が作出されている。

二次加工ある剥片（図Ⅲ－399－280・281、図版311、図版323－451）

３点（２個体）を図示し、１点（１個体）を写真のみ掲載している。280は石刃核の下端を取り込む石刃素材で左側縁先端部に平坦剥離による加工が見られる。281は剥片素材で左側縁上部の両面に平坦剥離による加工が行われる。281は東地区（Ｄ区）に主体的に分布する接合資料（母岩328接合1658）の一部である。

図版323－451は頁岩製の縦長剥片素材で右側縁先端側に微細な加工が施される。

つまみ付きナイフ（図Ⅲ－399－282、図版311）

１点（１個体）を図示している。282は素材剥片の打面側の両側縁に腹面からのノッチ状の加工によりつまみ部が作出され、つまみ部以外の加工は見られない。分析の結果、産地は赤石山産、水和層年代は18,909±869（Ｈ－171）であった。

石刃（図Ⅲ－399－283～図Ⅲ－401－299、図版311・312）

29点（14個体とⅠ層出土３個体を加えた17個体）を図示している。283～296は相対的に細身のもので、283～292は完形ないしほぼ完形品、294・295は打面部、293・296は先端部である。283～285・287・288は10cm以下の小型、286・289・290は10～15cmの中型、291・292は15cm以上の大型品である。283の先端部には彫刀面状の剥離面があるが、新しい剥離と判断して石刃に分類した。297・298は相対的に幅広の石刃である。299は頁岩製の複剥離打面を持つ石刃で、打面は比較的大きい。

打面は、複剥離打面の299を除いて頭部調整のある単剥離打面である。285・289・291・292・295には稜調整痕が残り、291は先行の石刃剥離の際にヒンジによる段差を除去する稜調整が行われる。背面の剥離面は、下からの剥離面のある297を除いて全て上からの剥離面で構成される。284・286・288・289には角礫面が、291には転礫面が残る。

縦長剥片（図版323－452～458）

８点（６個体とⅠ層出土１個体を加えた７個体）を写真のみ掲載している。図版323－452は緑色の碧玉、453・455・456は白色の頁岩、454は珪岩製である。打面形状は、452・453は頭部調整のある単剥離打面、457は頭部調整の無い単剥離打面、454は原礫面打面で、455・456・458は欠損のため不明である。厚さにバラつきが見られるが、長さは６～８cmで類似する。457・458は折損した尖頭器の縁辺で剥離されたものであるが、幅広で大型であるため縦長剥片とした。

石刃核（図Ⅲ－401－300～図Ⅲ－405－323、図版312～315、図版323－459～図版326－486）

24点（18個体とⅠ層出土６個体を加えた24個体）を図示し、30点（22個体とⅠ層出土６個体を加えた28個体）を写真のみ掲載している。

300～306は裏面に原礫面が残る単設打面の石刃核で、作業面を正面に限定して裏面方向に石刃剥離が進行する。300・301・304は７cm以下の小型のもの、302・303・305は作業面が平坦で幅広の石刃が剥離されるもの、306は15cmを超える大型のものである。306の下面には裏面からの潰れた剥離面が残る。原礫面打面である304を除き全て単剥離打面で、全て頭部調整が見られる。

307～309は両設打面の石刃核で、308・309は上下の剥離が同一作業面で行われるが、307はそれらと異なり、上設打面からは左・正・右面で、下設打面からは右側面で石刃が剥離される。

310・311は単設打面の石刃核で裏面に横方向の剥離面のあるものである。310の裏面には正面の剥離面に切られる下からの剥離と正面の剥離を切る上・横からの剥離がある。311は正面での石刃剥離後、裏面上部で左右から横方向の剥離が行われる。311は複剥離打面である。312は裏面下からの石刃剥離後、正面右側縁で横方向の剥離が行われ、最後に正面左側で石刃剥離が行われる。

313～320は作業面が正面に限定されず、側面でも石刃剥離が行われるもので、特に317・319は作業面が全周を巡っている。頭部調整は313～317に認められ、318～320には見られない。318は剥片素材で、裏面から左側面への剥離の後、正・右・裏面で剥離が行われる。321は原礫面打面の石刃核で石核調整・頭部調整は見られない。322は折損した粗い加工の尖頭器の縁辺で石刃剥離が行われ、323は右・裏・左面の加工により断面三角形の母型から正面で石刃が剥離される。

304・306～309・311～313・320・321は角礫素材、301・302・315・316は角の潰れた亜角礫、300・314は平滑な曲面とあばた状の曲面を持つ円礫、303・305・323は転礫素材、310・317～319・322は不明である。

図版323－459～図版326－486は写真のみ掲載の石刃核である。459～474は裏面に原礫面が残り、正面に限定された作業面で石刃剥離のみ行われた上設の単剥離打面を持つ石刃核で、459以外には頭部調整が見られる。468・469は石刃剥離の後、正面から上面に剥離が行われる。473は幅の狭い原石を素材としている。

475～484は正面の石刃剥離以外に異なる方向の剥離が見られるものである。475は裏面に上からの剥離が行われた後、正面からの打面作出が行われ、正面で石刃が剥離される。476の裏面には左側面からの剥離面がある。477は剥片素材で左側面に素材腹面が残り、右側面と裏面で頭部調整を伴う石刃剥離後、正面で厚手の石刃が剥離されている。478の左側面には裏面からの剥離が見られ、479の裏面には左側面からの大型の分割面が残る。480は下部から裏面への剥離の後、上面に打面が作出され、正面での石刃剥離後、左側縁から裏面・正面、下縁から正面下部に剥離が行われる。481は上設の単剥離打面から正面で石刃剥離が行われるが、途中、下縁から正面下部への剥離面を打面として裏面への石刃剥離が行われる。482は主に下面の単剥離打面から左・裏面で剥片剥離が行われた後、そのウートラパッセとなった剥離面を打面として正面で石刃剥離が行われる。483は正面上からの石刃剥離後、下面に左側面からの剥離で打面が作出され、左側面で石刃剥離が行われる。裏面には下設打面より古

い原礫面打面から剥離された大型の剥離面が残る。484は上設の単剥離打面から左・正面で石刃剥離が行われ、最後に左側面で下端から粗い剥離が行われる。

485・486は正・裏面の剥離により石核の厚みを減少させたもので、485は正・裏面の粗い剥離により薄くなった石核の小口面で石刃剥離が行われる。486は主に正面での石刃剥離後、裏面で石核の厚みを大きく減少させる非常に粗い剥離が行われる。

464・473・474・478・481・484は角礫、475・483は亜角礫、459・462・466・468は平滑な曲面とあばた状の曲面を持つ円礫、460・461・463・465・467・469～472・477・482・485・486は転礫、476・479・480は不明である。

作業面長は４～16cmまでバラつきがあるが、６～８cmのものが多い。残核は石刃剥離の進行に伴い作業面長が短くなることを考慮に入れると７～10cm程度の石刃が主に剥離されたと考えられる。石材は黒曜石１が70％を占める。

石核（図Ⅲ－406－324～図Ⅲ－408－334、図版316・317、図版326－487～図版329－510）

11点（９個体とⅠ層出土２個体を加えた11個体）を図示し、24点（20個体とⅠ層出土４個体を加えた24個体）を写真のみ掲載している。

324～326は平坦な作業面を持つ石核で、剥離される剥片は幅広である。324・326は大型剥片剥離によって作出された単設打面から剥片剥離が行われ、打面縁辺には念入りな頭部調整が行われる。325は上設の単剥離打面から正面で幅広の剥片が剥離されるが、途中、右側面・裏面の剥離面を打面として正面へ横方向の剥離が行われる。327は単設の単剥離打面から左・正・右面で頭部調整を伴わずに剥片が剥離される。

328～332は打面・作業面転移による多方向の剥離面が残るものである。328は下設打面から裏面への剥離後、上設打面の作出・正面での剥離が行われる。頭部調整は行われず、打面縁辺の内側を打撃し、厚手の剥片が剥離される。上設打面には10ヶ所以上のパンチ痕が残り、最終剥離後も執拗に打撃されたと思われる。329・330は正面から左側面・上面・右側面（330のみ）への剥離後、打面と作業面を入れ替えて上から正面で剥離が行われる。331は主に上設の単設打面から剥離が行われるが、途中左側面からの剥離を挟む。332は正面から上面→裏面から右側面→左側面から裏面→正面から左側面→上面から正面の剥離と頻繁な打面転移が行われる。333・334は両面とも求心状の剥離が行われる円盤状の石核である。

327・330は角礫素材、328・331は亜角礫素材、324～326・329・334は転礫素材で、332・333は不明である。

図版326－487～図版329－510は写真のみ掲載の石核である。487～491は裏面に原礫面が残る単設打面の石核で、487～489は頭部調整のある単剥離打面を持ち、当初は石刃が剥離されていたと思われる。488の打面には最後に正面から小型の剥離が行われる。491は原礫面打面で、490・491には頭部調整が見られない。

492は剥片素材で上面の長軸方向の剥離面を打面として両端の小口面で細長い剥片が剥離され、正面形は三角形である。493～495は正面での頭部調整を伴う石刃剥離後、別方向の剥離が行われるものである。石刃剥離後に、493は右側面下部から左側面への大型の剥離が、494は正面下部から裏面への剥離後、正面で下からの剥離が、495は下縁から裏面下部、正面下部に剥離が行われる。496は裏面を打面とした右側面での石刃剥離後、正面から上面への剥離面を打面として正面で石刃に類する剥片が剥離されている。

497～499は打面転移が頻繁に行われるもので、497は下部左側面・右側面で剥離が行われた後、正

面・上面で剥離が行われる。498は左側面に上から剥離が行われた後、左側面から裏面への剥離→裏面から上面への剥離→上面から正面への剥離が行われる。499は正面から下面への剥離の後、下面から左側面、上面から正面への剥離が行われる。

500・501は幅広で平坦な作業面を持ち、念入りな頭部調整が行われる石核で、500は単剥離打面、501の打面は大型の二枚の剥離面で構成される。

502～506は頭部調整を伴わずに厚手の剥片が剥離される石核である。502は原礫面打面で、503は左から上面への剥離後、右側面から正面、上面から正面への剥離が行われる。504は上面に裏面からの剥離の後、右側面から裏面、上面から正面へ剥離が行われる。505は下から裏面への剥離後、正面から上面への剥離・上面から正面への剥離が行われる。506は正面から上面への剥離の後、上面から正面に剥離が行われる。

507は正面で上・右・下面から求心状の剥離が行われる石核で、508～510は打面・作業面を入れ替えるチョッパー状の剥離が行われるものである。508・509は小型の転礫素材、510は角礫から剥離された剥片素材である。

488～491・492・494・497・502・504・506は角礫、493・499・503・507は亜角礫、505は平滑な曲面とあばた状の曲面を持つ円礫、487・495・496・498・500・501は転礫素材である。

石材は、黒曜石１が最も多く65％で、黒曜石４が24％である。

剥片（図Ⅲ－408－335、図版317）

１点（１個体）を図示している。335は緑色泥岩製の磨製石斧の調整剥片である。正面左には縦方向の擦痕により稜が作出され、下部には横方向の剥離によって丸みがつけられている。

台石（図Ⅲ－408－336、図版317）

３点（１個体）を図示している。336は安山岩製で、厚さ１～1.5cmの扁平な素材が利用される。右側縁下部には両面への打ち欠きが見られる。正面は平坦であるが、風化のため擦痕は確認できない。

石器ブロック97～107の分布状況

Sb－97～107は、40～45ラインの小沢（無遺物地帯）によって分けられた西地区の西半分に位置し、西側は沢によって侵食された段丘の縁に接している。東側にはSb－91～96が隣接し、大局的に見ると分布はそれらに連続し、非常に大規模な集中域とみなすことができる。標高は442.0～446.5mである。

石器ブロック97（Sb－97）の分布（図Ⅲ－409～416、表Ⅲ－９・10）

Ｇ22～26、Ｈ22～26、Ｉ22～26、Ｊ22～25、Ｋ22～24、Ｌ21～24、Ｍ21～23、Ｎ21・22区の35×17mの範囲で確認された。尖頭器46点（Ⅰ類35点、Ⅱ類４点、Ⅲ類７点）、尖頭器削片７点、両面調整石器15点、彫器22点（Ⅰ類３点、Ⅱ類14点、Ⅲ類５点）、彫器削片６点（Ⅲ類６点）、掻器12点、削器30点、錐形石器３点、舟底形石器97点（Ⅰａ類７点、Ⅱａ類89点、Ⅱｃ類１点）、二次加工ある剥片53点、石刃292点、縦長剥片312点、石刃核26点、石核51点、剥片24,104点の計25,076点、307,176.0gの石器類が出土した。石材は黒曜石１が64.2％を占め、以下黒曜石４（23.8％）、黒曜石３（7.3％）、黒曜石５（4.0％）、黒曜石２（0.7％）、頁岩（0.02％）、安山岩（0.01％）である。本ブロックは東西地区合わせて最も多くの点取り遺物が出土し、それらは高密度の連続した分布で、Sb－93・95と並んで出土量・範囲ともに最大規模である。ブロック全体の石材組成と比べ黒曜石１の比率が高いのは彫器（82％）・掻器（100％）で、黒曜石４の比率が高いのは舟底形石器Ⅰ類（71％）・舟底形石器Ⅱ類（40％）である。小型舟底形石器石器群が主体で、一部幅広有舌尖頭器石器群が重複している。

分布は、高密度な分布が北東方向に連続する①Ⅰ25、Ｊ24、Ｋ23・24、Ｌ23区周辺・②Ｌ21・22、Ｍ21・22、Ｎ21区周辺とそれらより相対的に低密度な③Ｈ22～23、Ⅰ22～24区周辺に分けられる。尖頭器Ⅲ類は①に、尖頭器Ⅰ類は②③に主に分布し、Ⅰ類は③にはより薄手のものが、②にはより加工の粗い厚手の破片が分布する。尖頭器Ⅱ類・尖頭器削片は①③に分布するが、主に③に分布する。両面調整石器は②③に分布する。彫器・掻器は主に③に分布する。削器は、②③に分布するが、②には舟底形石器の未成品に近い削器が多く、③には石刃素材で側縁加工が彫器・掻器に類似する削器が多い。舟底形石器はⅠ類が③にⅡ類が①～③に分布するが、②③の密度が高い。石刃核は①②に高密度に分布し、石核は①～③に分布する。これらを整理すると①には尖頭器Ⅲ類・舟底形石器Ⅱ類・石刃核・石核が、②には厚手の粗い加工の尖頭器片・両面調整石器・粗い加工の削器・舟底形石器Ⅱ類・石刃核・石核が、③には大小の薄手の尖頭器Ⅰ類・尖頭器Ⅱ類・尖頭器削片・両面調整石器・彫器Ⅰ～Ⅲ類・彫器削片Ⅰ～Ⅲ類・掻器・石刃素材の削器・舟底形石器Ⅰ・Ⅱ類・石核が偏在する。

石器ブロック98（Sb－98）の分布（図Ⅲ－417、表Ⅲ－９・10）

Ｌ20・21、Ｍ20・21、Ｎ20・21区の11×５ｍの範囲で確認された。尖頭器５点（Ⅰ類５点）、尖頭器削片１点、彫器１点（Ⅱ類１点）、掻器１点、削器５点、舟底形石器16点（Ⅰａ類１点、Ⅱａ類13点、Ⅱｃ類２点）、二次加工ある剥片３点、石刃７点、縦長剥片13点、石刃核３点、石核４点、剥片398点の計457点、12,938.0gの石器類が出土した。石材は黒曜石１が59.5％を占め、以下黒曜石４（21.9％）、黒曜石３（11.6％）、黒曜石５（7.0％）である。非常に小規模なブロックであるが、トゥールが多いのが特徴で、特に舟底形石器が多い。

石器ブロック99（Sb－99）の分布（図Ⅲ－418～421、表Ⅲ－11・12）

Ｇ20～22、Ｈ20～22、Ⅰ20～22、Ｊ20～22、Ｋ21・22、Ｌ21区の19×８ｍの範囲で確認された。尖頭器11点（Ⅰ類８点、Ⅱ類２点、Ⅲ類１点）、尖頭器削片２点、両面調整石器４点、彫器20点（Ⅰ類２点、Ⅱ類17点、Ⅲ類１点）、彫器削片３点（Ⅲ類３点）、掻器３点、削器12点、錐形石器１点、舟底形石器23点（Ⅰａ類８点、Ⅱａ類13点、Ⅱｂ類２点）、二次加工ある剥片９点、石刃44点、縦長剥片24点、石刃核５点、石核５点、剥片3,029点の計3,195点、32,665.3gの石器類が出土した。石材は黒曜石１が71.3％を占め、以下黒曜石４（16.0％）、黒曜石３（9.9％）、黒曜石５（2.6％）、頁岩（0.2％）、黒曜石２（0.06％）、安山岩（0.03％）である。彫器・舟底形石器Ⅰ類が多いのが特徴である。分布は①Ⅰ21区周辺、②Ｊ・Ｋ21区周辺に分けられ、トゥール全体もそれらに対応するが、②に掻器が偏在する以外は、器種毎の分布の偏りは見られない。

石器ブロック100（Sb－100）の分布（図Ⅲ－421～423、表Ⅲ－11・12）

Ⅰ20、Ｊ18～20、Ｋ18～21、Ｌ20区の12×10mの範囲で確認された。尖頭器14点（Ⅰ類13点、Ⅱ類１点）、尖頭器削片３点、彫器21点（Ⅰ類８点、Ⅱ類９点、Ⅲ類４点）、彫器削片６点（Ⅱ類２点、Ⅲ類４点）、掻器10点、削器24点、錐形石器４点、舟底形石器34点（Ⅰａ類３点、Ⅱａ類31点）、二次加工ある剥片10点、石刃29点、縦長剥片27点、石刃核６点、石核４点、剥片1,720点、礫１点の計1,913点、25,030.2gの石器類が出土した。石材は黒曜石１が51.6％を占め、以下黒曜石４（27.2％）、黒曜石３（16.3％）、黒曜石５（4.8％）、黒曜石２（0.05％）、砂岩（0.05％）である。全体的にトゥールが多く、特に彫器・舟底形石器Ⅰ類・錐形石器・削器・掻器が多い。分布は①Ｊ19区、②Ｋ19・20区に分けられ、トゥールは②にやや偏る。

石器ブロック101（Sb－101）の分布（図Ⅲ－424～427、表Ⅲ－11・12）

Ｋ17～19、Ｌ17～20、Ｍ17～20、Ｎ17～20、Ｏ18～20、Ｐ18～20、Ｑ18区の25×13mの範囲で確認された。尖頭器25点（Ⅰ類17点、Ⅱ類８点）、尖頭器削片８点、両面調整石器５点、彫器10点（Ⅰ

類４点、Ⅱ類６点）、彫器削片５点（Ⅲ類５点）、掻器４点、削器18点、錐形石器１点、舟底形石器43点（Ⅰａ類３点、Ⅱａ類39点、Ⅱｂ類１点）、二次加工ある剥片９点、石刃136点、縦長剥片121点、石刃核10点、石核20点、剥片6,183点、つまみ付きナイフ１点、原石１点の計6,600点、59,745.8gの石器類が出土した。石材は黒曜石１が66.8％を占め、以下黒曜石４（25.6％）、黒曜石３（6.9％）、黒曜石５（0.7％）、頁岩（0.03％）である。尖頭器Ⅱ類・尖頭器削片・彫器・舟底形石器・石刃・石刃核が多い。分布は①高密度のＭ・Ｎ18区周辺、②Ｋ・Ｌ19区、③散漫なＫ18・Ｌ17・18区に分けられ、尖頭器類は②③に、彫器・掻器・舟底形石器・石核類は①の北西部と②・③に分布する。

石器ブロック102（Sb－102）の分布（図Ⅲ－428、表Ⅲ－11・12）

Ｇ18～20、Ｈ18～20、Ⅰ18～20、Ｊ19区の11×９ｍの範囲で確認された。尖頭器６点（Ⅰ類５点、Ⅱ類１点）、尖頭器削片２点、両面調整石器１点、削器３点、錐形石器１点、二次加工ある剥片６点、石刃22点、縦長剥片30点、石核６点、剥片973点、原石１点の計1,051点、14,752.0gの石器類が出土した。石材は黒曜石１が70.8％を占め、以下黒曜石４（11.7％）、黒曜石３（10.7％）、黒曜石５（6.7％）、頁岩（0.2％）である。分布は①Ｈ・Ⅰ18区、②Ⅰ19区周辺に分けられ、石核類は①に、尖頭器・削器は②に偏在する。①に分布する石核類は転礫素材の単剥離打面から念入りな頭部調整を行う幅広の作業面を持つタイプである。

石器ブロック103（Sb－103）の分布（図Ⅲ－429、表Ⅲ－11・12）

Ｇ18、Ｈ18区の３×２ｍの範囲で確認された。石刃２点、剥片109点の計111点、322.7gの石器類が出土した。石材は黒曜石５が76.6％を占め、以下黒曜石１（21.6％）、黒曜石３（1.8％）である。ほぼ同一母岩の尖頭器調整剥片で構成される小規模なブロックである。

石器ブロック104（Sb－104）の分布（図Ⅲ－429・430、表Ⅲ－11・12）

Ｇ14～17、Ｈ14～18、Ⅰ14～18、Ｊ14～18、Ｋ16・17区の16×15mの範囲で確認された。尖頭器18点（Ⅰ類18点）、尖頭器削片１点、両面調整石器１点、彫器１点（Ⅱ類１点）、掻器１点、削器８点、錐形石器１点、舟底形石器４点（Ⅱａ類４点）、二次加工ある剥片２点、石刃５点、縦長剥片13点、石刃核１点、石核３点、剥片1,679点、原石１点の計1,739点、15,187.2gの石器類が出土した。石材は黒曜石１が52.3％を占め、以下黒曜石３（15.0％）、黒曜石５（13.3％）、黒曜石４（11.7％）、黒曜石２（7.1％）、頁岩（0.2％）、碧玉（0.2％）、珪岩（0.06％）、緑色泥岩（0.06％）、である。器種に偏りは無く、少量ながらも各器種が出土している。尖頭器は大型の折損品が多く、頁岩製の尖頭器削片、磨製斧形石器破片、台石等が出土し、石核類は作業面が扁平なタイプである。分布はⅠ・Ｊ15区の高密度の集中域とそれ以外の散漫な分布に分けられる。トゥールは全体的に散漫に分布している。

石器ブロック105（Sb－105）の分布（図Ⅲ－431、表Ⅲ－11・12）

Ｈ13・14、Ⅰ13・14、Ｊ14・15、Ｋ14・15区の12×６ｍの範囲で確認された。彫器１点（Ⅱ類１点）、掻器３点、二次加工ある剥片１点、石刃１点、縦長剥片３点、剥片681点、原石７点、台石１点の計698点、4,348.6gの石器類が出土した。石材は黒曜石１が48.0％を占め、以下黒曜石４(43.3％)、黒曜石５(5.7％)、黒曜石３(2.1％)、珪岩(0.3％)、頁岩(0.3％)、めのう(0.1％)、安山岩(0.1％)である。分布は①Ｈ13・14、Ⅰ13・14区、②Ｊ14区周辺に分けられ、両者とも尖頭器調整剥片が主体である。①には10cm以下の小型の棒状原石がまとまって出土し、②には掻器・頁岩製の彫器・台石が出土している。

石器ブロック106（Sb－106）の分布（図Ⅲ－432・433、表Ⅲ－11・12）

Ｋ15・16、Ｌ15～17、Ｍ14～17、Ｎ13～17、Ｏ13～16、Ｐ13・14・16区の23×15mの範囲で確認された。彫器１点（Ⅱ類１点）、削器１点、舟底形石器４点（Ⅰａ類２点、Ⅱａ類２点）、二次加工あ

る剥片２点、石刃１点、縦長剥片28点、石刃核１点、石核２点、剥片505点の計545点、7,119.0g の石器類が出土した。石材は黒曜石１が84.2％を占め、以下黒曜石４（11.0％）、黒曜石５（4.0％）、黒曜石２（0.4％）、黒曜石３（0.2％）、頁岩（0.2％）である。散漫な分布が比較的広い範囲に広がる。トゥールは少なく、全体の分布同様、散漫である。

石器ブロック107（Sb－107）の分布（図Ⅲ－433、表Ⅲ－11・12）

Ｒ４、Ｓ13・14区の５×３m の範囲で確認された。両面調整石器１点、剥片11点の計12点、42.6g の石器類が出土した。石材は黒曜石１が66.7％を占め、以下黒曜石４（16.7％）、黒曜石５（16.7％）である。尖頭器調整剥片で構成される非常に小規模なブロックである。

石器ブロック97～107の接合状況（図Ⅲ－434）

最も大規模な Sb－97は北西部を除いて、濃密な分布で、その中に分布する接合資料の主体は近接した小集中域内で収束している。しかし、それらの接合資料の一部は Sb－97北東部や周辺の Sb－98～100・102・一部101に分布するものが多く、それらのブロックに分布する遺物の多数は、Sb－97に分布の主体がある接合資料の一部である。そのため、接合資料の分布を示す接合線は、Sb－97から東西方向の周辺部に伸びるものが多い。白滝遺跡群では傾斜方向である南北方向への遺物の動きが一般的に観察されるが、このような東西方向の分布は、通常は自然の営力では起こりえない。また、周辺ブロックに分布する内容がトゥールや石刃などが多いため、それらは抜き出され、人為的に移動されたものと思われる。このような分布の傾向は他の石器ブロック群では観察されず、特徴的である。その他の Sb－101～106の接合資料はブロック内で収束するものが多い。

母岩別資料・接合資料

41,397点中10,051点を259母岩に母岩分類し、1,493個体（母岩別資料内800個体）の接合資料が得られた。そのうち母岩別資料42母岩、非母岩別接合資料４個体を図示し、母岩別資料66母岩、非母岩別接合資料２個体を写真のみ掲載している。

母岩別資料1029・接合資料4324（図Ⅲ－435～437、図版330～332）

母岩別資料は接合4324の他、接合4325・4326・56916・56917、剥片27点で構成され、総点数118点、総重量5,324.7g である。

素材　83点（60個体）が接合し、重量は4,867.8g、大きさは25×19×18cm である。一部平坦面が残り、爪状痕のある原礫面を持つ転礫を素材として、右側面に１枚の剥離面がある状態で搬入される。

剥離工程　最初に、長軸方向の加撃によって、大型の原石が個体Ａ・Ｂに分割される。

個体Ａは、打面の大きい頭部調整の無い上面から正面への剥離（Ａ－段階１）の後、正面から長軸方向の剥離による上設打面作出、正面下部に左側面からの石核調整（Ａ－段階２）が行われ、正面で頭部調整を伴って石刃が剥離される（Ａ－段階３）。段階３の最後には打面の大きい粗い剥離が行われ、石核の打面にも打面縁辺から1.5cm 内側に打撃痕が残り、厚手の剥片を剥離しようとした意図が認められる。

剥離される石刃の長さは主に10～13cm で、大小のものが欠落している。石刃の１点は彫器68に加工される。68は側縁に加工が見られず、彫刀面打面のみ加工が施され、素材打面側にⅠ類の彫刀面が作出される。素材端部と彫刀面の距離は５mm 程度で彫刀面再生はほとんど行われない。

個体Ｂは、右側面から正面（Ｂ－段階１）、右側面から裏面（Ｂ－段階２）、左側面から裏面（Ｂ－段階３）、左側面から正面（Ｂ－段階４）、右側面から正面（Ｂ－段階５）への加工が行われ、厚さ６cm の粗い両面調整体の中央で折損する（Ｂ－段階６）。その後、下部破片の左側縁で削片が剥離される

（Ｂ－段階７）。一次削片は両面調整石器縁辺から２cm内側を加撃して剥離され、厚さ４cmの厚手の断面三角形の形状である。接合資料には、その後の二次削片が欠落し、少なくとも１回の削片剥離が行われ、その形状は一次削片同様厚手である。

分布　Sb－97のＪ23、Ｋ22～24、Ｌ21～23、M21・22、Sb－99のＩ21、Ｊ21、Ｋ21区に分布する。個体ＡはSb－97・99に分布し、Sb－97にはほとんどの遺物が比較的高密度に、Sb－99には彫器や良形の石刃・大きめの剥片などがやや散漫に分布するが、Sb－97の遺物と比べ明確な違いは見られない。個体Ｂは広い範囲に散漫に分布し、段階による偏りは見られない。個体Ａ・Ｂは分布範囲が一部重複するが、全体的に、ずれており、その密度にも違いが見られる。

母岩別資料1134・接合資料4613（図Ⅲ－438・439、図版333）

母岩別資料は接合4613の他、剥片18点で構成され、総点数56点、総重量1,829.6gである。

素材　38点（28個体）が接合し、重量は1,703.1g、大きさは28×15×８cmである。平滑な風化した古い剥離面と爪状痕のある原礫面を持つ転礫素材で、古い風化面を原礫面とすると原石に近い形状で搬入される。

剥離工程　縁辺調整の見られない打面の大きい粗い加工が、左側面から裏面（段階１）、左側面から正面（段階２）、上面から裏面（段階３）、右側面から正面（段階４）、左側面から裏面（段階５）、左側面から正面（段階６）へ行われた後、右側面から正面への粗い加工（段階７）により粗い両面調整石器である本体が中央で斜めに折損する。折損後、下面から左側面に長軸方向の剥離が行われ（段階８）、縦割りされた両面調整石器（個体Ａ）を素材として甲板面からの加工で舟底形石器（271）が製作される。

分布　Sb－97のＫ22・23、Ｌ22・23、M22、Sb－100のＪ19、Sb－101のＬ19区に分布する。ほとんどはSb－97に散漫に分布し、段階による偏りは見られない。２点が離れて分布し、Sb－100（Ｊ19区）には舟底形石器271が（調整剥片はSb－97に分布）、Sb－101（Ｌ19区）には大きめの剥片が分布する。

母岩別資料975・接合資料4201（図Ⅲ－440～442、図版334）

母岩別資料は接合4201の他、接合4202～4204・56892・56893、剥片28点で構成され、総点数162点、総重量6,273.7gである。

素材　123点（73個体）が接合し、重量は5,885.8g、大きさは31×24×12cmである。爪状痕のある原礫面を持つ転礫を素材として、右側面に複数の剥離面、裏面に１枚の平坦な剥離面のある状態で搬入される。

剥離工程　縁辺加工の見られない打面の大きい非常に粗い加工が、右側面から正面（段階１）、左側面から正面（段階２）、左側面から裏面（段階３）、右側面から裏面（段階４）、右側面から正面（段階５）、左側面から正面（段階６）、右側面から正面（段階７）へ行われ、尖頭器の厚さが５cm程度、断面が凸レンズ状に大きく変化する。その後、やや粗い縁辺部調整を伴う打面の小さい平坦剥離が、左側面から裏面（段階８）、右側面から裏面（段階９）、左側面から正面（段階10）、右側面から正面（段階11）へ行われ、より薄く、表面が滑らかに変化し、本体は17×９×2.5cmの尖頭器で搬出される。段階７の幅広の調整剥片は縁辺に平坦な加工が施され、削器（非掲載）に整形されている。

分布　Sb－97のＨ22、Ｉ24、Ｊ23・24、Ｋ23・24、Ｌ22・23、Sb－99のＨ22、Ｉ22、Ｊ22・Ｋ21・22区に分布する。分布は①Sb－97のＫ23・24区周辺、②Sb－99に分けられ、①には、ほとんどの遺物がやや高密度に分布し、それらに段階による偏りは見られない。また、②には、削器や相対的に大型の剥片が多く、それらは散漫に分布している。

母岩別資料985・接合資料4225（図Ⅲ－442・443、図版335）

母岩別資料は接合4225の他、剥片１点で構成され、総点数15点、総重量1,999.8g である。

素材　14点（８個体）が接合し、重量は1,978.0g、大きさは29×14×6.5cm である。爪状痕のある原礫面を持つ転礫素材で、裏面にリングが密集する平坦な分割面、正面に粗い平坦剥離面がある状態で搬入される。

剥離工程　正面で打面のやや大きい剥離が、右側面から（段階１）、左側面から（段階２）、右側面から（段階３）、左側面から（段階４）行われた後、潜在的な割れ面から本体が四分割される。左側縁で分割された破片（段階５）は、欠損前の本体の裏面を甲板面に設定し、両側面で甲板面・下縁から加工が行われるが、階段状の剥離が連続し、側面が瘤状になり、折損した段階で本体256が遺棄される。他の三破片（51）は、再加工されずに遺棄されている。

分布　Sb－97のＬ22・23、M21・22区に散漫に分布するが、一括遺物である両面調整石器51は、やや離れた Sb－99のＪ21区に分布する。

母岩別資料947・接合資料4116（図Ⅲ－444～448、図版336・337）

母岩別資料は接合4116の他、接合4117～4124・56881～56883、剥片86点で構成され、総点数285点、総重量4,390.2g である。

素材　175点（89個体）が接合し、重量は3,882.6g、大きさは34×23×10cm である。風化によりザラついた平坦な原礫面を持ち、角が潰れた亜角礫を素材として、正面に粗い剥離面がある状態で搬入される。

剥離工程　縁辺部調整の無い粗い加工が、下面から裏面（段階１）、左側面から裏面（段階２）、下面から正面（段階３）へ行われ、段階３の剥離と同時に下端部（段階４）が欠損する。次に、左側面から裏面への剥離（段階５）の後、欠損した下部の折れ面周辺に、右側面から正面（段階６）、右側面から裏面（段階７）への粗い加工が行われる。その後、やや打面が小さい平坦剥離が、左側面から正面（段階８）、左側面から裏面（段階９）、右側面から正面（段階10）へ行われ、最後に打面の小さい薄い平坦剥離が、右側面から裏面（段階11）、左側面から裏面（段階12）、左側面から正面（段階13）へ行われ、本体が薄く、表面が滑らかに変化している。尖頭器は段階13で折損（段階14）した後、左側面から正面へ加工が行われる（段階15）が、本体は折損した状態で遺棄される。遺棄された尖頭器の縁辺に残された調整は軽いもので、擦るような調整は見られず、縁辺も滑らかではない。

本接合資料では２点の彫器（個体Ａ・114）が製作され、１つの個体（個体Ｂ）で石刃剥離・舟底形石器製作が行われる。

個体Ａ（343）は、段階２の幅広の調整剥片で、折損後、三角形に近い破片を利用して上縁・右側縁の削片剥離部の先端部が弧状になるように加工が行われ、交叉状に削片が剥離される。右側縁では最後に下端から削片剥離が行われるが、二辺とも削片剥離は３～５回と少ない。

彫器Ⅱ類の114は、厚手の縦長剥片素材で両側縁に加工が施され、素材先端部に作出されたノッチ状の彫刀面打面から斜めに彫刀面が作出される。接合資料からは素材の大きさは不明であるが、接合状況・背面の状況などから判断すると素材から長さの減少は少なく、彫刀面再生はほとんど行われていないと思われる。

個体Ｂ（344）は、本体下部が折損した段階４の厚手の個体である。上面の平坦な折れ面を打面として正面で一部頭部調整を伴う石刃が剥離された（Ｂ－段階１）後、右側面から上面に剥離が行われ（Ｂ－段階３）、最後は石核を素材として舟底形石器が製作される（Ｂ－段階４）。段階１の石刃剥離の際には左側面調整（Ｂ－段階２）が行われる。剥離される石刃は長さ11cm 程度で、良形の初期のものが欠落している。

分布　Sb－97のG23・24、H22～25、Ⅰ22～25、Ｊ23・24、K23、Sb－101のN17区に分布し、大きく①散漫なG23・24、H22～24、Ⅰ22・23区、②高密度のＪ24区周辺、に分けられ、①には大型の剥片が多い段階１・２の大部分、段階５・７の大型剥片、尖頭器、個体Ａ、個体Ｂ（段階１前半の石刃の一部・段階１後半以降）の遺物が、②にはそれ以外の遺物が分布し、離れたSb－101のN17区には彫器114が分布する。整理すると①には大型剥片、石刃の一部、個体Ａ、個体Ｂの後半、尖頭器が分布し、②には大型を除く尖頭器調整剥片、個体Ｂの前半が分布し、②から素材、トゥールが抜き出されて①に持ち込まれたと考えられる。

母岩別資料1185・接合資料4734（図Ⅲ－449～451、図版338）

母岩別資料は接合4734の他、接合4735～4743・56993～56997、縦長剥片１点、剥片125点で構成され、総点数323点、総重量3,225.3g である。

素材　159点（91個体）が接合し、重量は2,632.8g、大きさは26×16×14cm である。一部平坦面が残り、爪状痕のある原礫面を持つ転礫素材で、原石ないし原石に近い状態で搬入される。

剥離工程　正面では、下面から（段階１）、左側面から（段階２）、下面から（段階３）粗い剥離が行われ、主に縦方向の剥離によって、裏面では、右側面から（段階４）の粗い剥離が行われ、主に横方向の剥離によって厚さを大きく減少させている。その後は、横方向の細かい縁辺部調整の無いやや粗い剥離が、右側面から正面（段階５）、右側面から裏面（段階６）、右側面から正面（段階７）、右側面から裏面（段階８）、左側面から正面（段階９）に行われ、20×９×３cm の尖頭器で搬出される。

本接合資料では舟底形石器４点（個体Ａ・Ｂ－１・Ｂ－２・Ｃ）が製作される。個体Ａは段階１の、個体Ｂ（折損してＢ－１・２に分割）は段階２の、個体Ｃは段階４の厚手の剥片で全て甲板面である腹面から加工される。縦方向に剥離された縦長剥片素材の個体Ａは剥片剥離軸と石器の長軸が一致し、横方向に剥離された横長剥片素材の個体Ｂ－１・２、Ｃは直交する。個体Ｂ－１・Ｃの本体は最後に折損し、それぞれ239・237が遺棄され、個体Ａ・Ｂ－２は本体が欠落し、搬出されたと思われる。

分布　Sb－98のN20、Sb－100のK19、Sb－101のK17～19、Ｌ17～19、M17～19、N17～20、Ｐ20、ブロック外のＰ21区にやや散漫に分布し、集中部の遺物と周辺部に散在する遺物では違いが見られない。個体Ａ～Ｃと個体Ａ～Ｃ以外の分布密度を比べると前者が散漫で、後者はより密集している。また、個体Ａ・Ｂは分布が類似し、Ｌ18・19区に、個体ＣはM18区に、個体Ａ～Ｃ以外はM・N18区に多く分布し、分布密度同様若干異なる。

母岩別資料1133・接合資料4611（図Ⅲ－452・453、図版339）

母岩別資料は接合4611の他、接合4612・56968、剥片55点で構成され、総点数143点、総重量2,336.9g である。

素材　83点（59個体）が接合し、重量は2,112.4g、大きさは23×14×10cm である。わずかにザラついた平坦な原礫面を持ち、角が潰れた亜角礫を素材として、裏面に１枚の剥離面がある状態で搬入される。

剥離工程　縁辺部調整が見られない打面の大きい加工が、左側面から裏面（段階１）、右側面から裏面（段階２）、左側面から裏面（段階３）、右側面から裏面（段階４）、左側面から裏面（段階５）、左側面から正面（段階６）に行われ、粗く整形される。その後、縁辺部調整を伴う打面の小さい薄手の平坦剥離が、右側面から裏面（段階７）、左側面から裏面（段階８）、右側面から正面（段階９）、左側面から正面（段階10）、右側面から正面（段階11）、右側面から裏面（段階12）に行われ、本体は断面凸レンズ状で、表面は滑らかな状態に変化するが、最後に左側縁から裏面に非常に粗い剥離が行われて折損し、尖頭器18が遺棄される。

本接合資料では段階１の厚手の剥片（個体Ａ）を素材として舟底形石器が製作される。個体Ａは甲板面である腹面から加工が行われ、本体は欠落し、搬出される。

分布　Sb－97のＫ22・23、Ｌ21～23、M21・22、Ｎ21、Sb－100のＫ19、Sb－101のM20区に分布する。個体ＡはＫ22・23、Ｌ21～23区に分布し、個体Ａ以外は個体Ａより広い範囲に分布し、M21・22区には段階２・３の剥片が多い。また、尖頭器はやや離れてＫ19区に分布する。

母岩別資料952・接合資料4136（図Ⅲ－454、図版340－１）

母岩別資料は接合4136の他、接合56887、縦長剥片１点、石刃４点、剥片17点で構成され、総点数61点、総重量1,293.9g である。

素材　37点（26個体）が接合し、重量は1,166.5g、大きさは22×12×９cm である。爪状痕のある原礫面を持つ転礫を素材として、原石ないし原石に近い状態で搬入される。

剥離工程　原礫面を除去する粗い剥離が、左側面から裏面（段階１）、下面から正面（段階２）へ行われた後、右側面から正面（段階３）、左側面から裏面（段階４）、右側面から裏面（段階５）、右側面から正面（段階６）への打面の小さい平坦剥離が行われる。特に正面で斜めに剥離される段階３・６には石刃技法と同様の頭部調整が見られ、薄手でやや幅広の縦長剥片が剥離されている。加工される尖頭器の形態は薄く幅広で、最終的に左から正面への加工で折損し、20が遺棄される。20の両面にはヒンジによる段差が残り、加工は順調には進行していない。

分布　Sb－97のＧ23、Ｈ22～24、Ｉ22・24、Ｊ23～25区に分布する。分布は①Ｊ24・25区、②Ｈ22・23区周辺に分けられ、①には原礫面除去の段階１・２が、②には段階３以降が分布する。両者ともやや散漫な分布である。

母岩別資料1046・接合資料4366（図Ⅲ－455、図版341－２）

母岩別資料は接合4366のみである。

素材　50点（31個体）が接合し、重量は1,925.3g、大きさは25×16×９cm である。正面に平滑な原礫面、裏面に風化した古い剥離面のある盤状の角礫を素材として原石の形状で搬入される。

剥離工程　原礫面を打面とした左右方向からの粗い剥離が、右側面から裏面（段階１）、左側面から裏面（段階２）、左側面から正面（段階３）へ行われた後、下端部を中心として、下面から正面（段階４）、下面から裏面（段階５）、右側面から裏面（段階６）、左側面から正面（段階７）、下面から正面（段階８）、右側面から正面（段階９）への剥離が行われる。後半の下端部周辺の加工は、縁辺部調整を伴わない粗いもの（段階４）から縁辺部調整を伴う打面の小さい平坦なもの（段階５～９）へと変化している。本体は18×12×3.5cm の幅広尖頭器で搬出される。

分布　Sb－97のＫ22、Ｌ21・22、M21・22区に比較的高密度に分布する。

母岩別資料1147・接合資料4632（図Ⅲ－456、図版340－２・341－１）

母岩別資料は接合4632の他、接合4633～4635、剥片11点で構成され、総点数45点、総重量1,513.5gである。

素材　28点（18個体）が接合し、重量は1,450.5g、大きさは22×11×７cm である。平滑な原礫面を持つ角礫を素材として、原石の状態で搬入される。

剥離工程　右側面から裏面（段階１）、左側面から正面（段階２）、右側面から正面（段階３）、左側面から正面（段階４）、左側面から裏面（段階５）、右側面から正面（段階６）、左側面から正面（段階７）、右側面から裏面（段階８）への剥離が行われる。全て縁辺部調整の無い、粗い加工で、最後は左側面から裏面への剥離で折損し、46が遺棄される。

分布　Sb－97のＪ23、Ｋ24、Sb－101のM18、Ｎ18、Ｐ18区に分布する。分布は①Sb－97のＫ24区

周辺、②Sb－101のM18区周辺に分けられ、①には段階６後半以降が、②には段階１～６前半が分布し、両者とも比較的高密度である。前半の剥離後、K24区に持ち込まれたと考えられる。

母岩別資料982・接合資料4217（図Ⅲ－457・458、図版342）

母岩別資料は接合4217の他、接合56895、剥片８点で構成され、総点数51点、総重量4,709.1g である。

素材　41点（29個体）が接合し、重量は4,682.0g、大きさは24×20×13cm である。平滑な原礫面を持つ角礫を素材として、右側面上部に１枚の剥離面がある状態で搬入される。

剥離工程　上端から左側面への剥離（段階１）、上縁中央からの調整（段階２）、上面から裏面への剥離（段階３）の後、裏面から上面への剥離（段階４）で上設打面が作出される。頭部調整の無い裏面（段階５）、正面（段階６）への剥離後、正面から打面再生（段階７）が行われ、正面で頭部調整を伴って石刃が剥離される（段階８）。石刃剥離は、作業面にヒンジによる段差が生じて終了し、石刃核Ⅲ－511－５が遺棄される。剥離される石刃は、長さ10cm 程度で、前半に良形のものは無く、後半に剥離されたものが数本欠落している。

分布　Sb－96のＬ23、M23、Sb－97のK23・24、Ｌ23、Sb－100のＪ20区に分布する。分布は、①Sb－96・97のK24区周辺、②Sb－100のＪ20区に分けられ、②には石刃剥離最終段階の末端部がヒンジの剥片が分布し、①にはそれ以前の段階の遺物が分布する。②に分布する遺物を接合した石刃核の作業面状態は、最終剥離面の末端部がヒンジになり、それ以前の剥離には目立ったヒンジによる段差は認められない。このことから、①では原石に近い状態から石刃剥離までが行われ、その石刃剥離も１回の末端部がヒンジになる剥離後に終了している。②では作業面に１回のヒンジによる剥離面が残る状態から剥離が行われ、その当初からヒンジになり、最後まで継続し、最後は遺棄される。

母岩別資料1006・接合資料4274（図Ⅲ－458・459、図版343－１）

母岩別資料は接合4274のみである。

素材　20点（14個体）が接合し、重量は895.2g、大きさは14×14×７cm である。上面に平滑な原礫面、側面に風化によりザラついた原礫面を持ち、角がやや潰れた扁平な亜角礫を素材として、原石に近い状態で搬入される。

剥離工程　上面から正面への剥離（段階１）の後、正面から上面への剥離で打面が作出される（段階２）。上設打面から正面へ頭部調整を伴わない厚手の縦長剥片剥離と一部頭部調整を伴う石刃剥離（段階３）が行われた後、上面正面から打面再生（段階４）、右側面（段階５）・左側面（段階６）への裏面下部調整が行われる。段階３の厚手の縦長剥片２点は二次加工ある剥片（非掲載）に加工され、１点は部分的に斜角の加工が、１点は舟底形石器の加工に類似した１回の粗い加工が施される。

分布　Sb－97のK22、Ｌ22、M21・22、Sb－98のM20、Sb－100のK20区に分布する。Sb－97のM21区周辺とそれ以外に分けられ、M21区にはほとんどの遺物が高密度に分布し、やや離れたSb－100のK20区には斜角の加工の二次加工ある剥片が、Sb－98のM20区には厚手の剥片が分布する。

母岩別資料1038・接合資料4347（図Ⅲ－459・460、図版343－２）

母岩別資料は接合4347の他、剥片10点で構成され、総点数80点、総重量4,186.3g である。

素材　70点（53個体）が接合し、重量は4,143.5g、大きさは22×13×13cm である。平滑な原礫面を持つ角柱状の角礫素材で、原石ないし原石に近い形状で搬入される。原石には５mm 程度の球顆が列状に内在する。

剥離工程　上面から正面右（段階１）、左側面から上面（段階２）への剥離の後、上面に右側面からの剥離で打面が作出され（段階３）、正面から右側面にかけて、頭部調整の無い粗い石核調整、頭部

調整を伴う石刃剥離が行われる（段階４）。正面の剥離が内在する球顆にぶつかり、ヒンジになった段階で、右側面からの剥離で打面が再生され(段階５)、再度、正面で粗い剥離が行われる(段階６)。最後に､作業面を上面に転移させ､正面を打面として頭部調整の無い粗い石核調整剥離が行われた後、頭部調整を伴って石刃が剥離される（段階７)。

石刃は段階４後半、段階７後半で剥離され、段階４後半の長さ14cm 程度の石刃は、ほとんどが遺跡に遺棄され、段階７後半の長さ９cm 程度の石刃は欠落している。

本接合資料では舟底形石器１点（個体Ａ）が製作される。個体Ａは、段階３の厚手の打面作出剥片で、石器長軸と素材剥離軸が直交するように加工される。加工は、甲板面である腹面から頭部調整の無い打面の大きい粗いものが行われ、幅が約４cm になった段階で縁辺部を直線的に滑らかにする調整が施される。また、直線的になった後は、片側面での端から端までの加工を一単位として、側面を入れ替えながら交互に均等に加工が行われる。最終的に下縁部を取り込む加工が連続し､高さが3.5cm から1.9cm に減少した段階で、本体238が遺棄される。

分布　Sb－97のＫ22・23、Ｌ21～23、M21・22、Sb－98のＬ21、Sb－101のＬ19区に分布する。高密度のＬ・M22区とその周辺に散漫に分布する状態で、個体・段階による偏りは見られないが、個体Ａはその他の遺物に比べやや散漫な分布である。離れて Sb－101のＬ19区に分布するのは段階７の石刃で、その石刃が良形であること、同一段階の石刃が欠落し、抜き出されていることから、選択されて持ち込まれたものと思われる。

母岩別資料990・接合資料4230（図Ⅲ－461・462、図版344）

母岩別資料は接合4230のみである。

素材　58点（41個体）が接合し、重量は1,390.3g、大きさは17×16×11cm である。平滑な原礫面を持ち、角が潰れた亜角礫を素材として、原石ないし原石に近い状態で搬入される。

剥離工程　裏面から上面（段階１)、上面から正面（段階２)、左側面から正面（段階３）への剥離の後、上面に正面からの剥離で打面が作出される（段階４)。上設打面から正面で頭部調整を伴う良好な石刃が連続的に剥離され（段階５)、末端部がヒンジの剥片が剥離された時点で、打面を裏面に、作業面を上面に転移させ、頭部調整を伴う石刃剥離が行われる（段階６)。再度、打面近くで階段状の剥離が発生すると、打面を左側面に、作業面を下面に転移させ、縦長剥片が剥離（段階７）された後、裏面から右側面（段階８)、右側面から裏面へ剥離が行われ、剥離は終了する。

石刃は段階５・６で剥離され、段階５（289など）では石刃核の小型化が著しく、長さ10～13cm の直線的な、段階６では７cm 程度の反りのある石刃が得られている。また、段階５は多くの石刃が、段階６は前半の石刃が欠落し、搬出されたと思われる。

本接合資料では彫器１点（96)、舟底形石器１点（個体Ａ）が製作される。Ⅱ類の彫器96は段階７で剥離された長さ７cm 程度、幅不明の直線的な縦長剥片素材で、素材打面側に彫刀面が作出される。側縁調整は背面両側縁に急角度の加工が、腹面基部に平坦な加工が施され、腹面加工によって素材先端部の反りが修正されている。素材端部から彫刀面まで2.0cm あり、全て彫刀面再生によるものとすると10回程度の再生が行われたことになる。個体Ａは段階４の厚手の打面作出剥片素材で、素材剥離時に一部を欠損(Ａ－段階１)した後、右側面で甲板面である腹面から加工が施され(Ａ－段階２)、端部折損（Ａ－段階３）後、左側面で腹面から再加工（Ａ－段階４）が行われるが、本体246は遺棄される。

分布　Sb－96のＫ24、Sb－97のⅠ25、Ｊ24、Ｋ23・24、Sb－99のⅠ21、Ｊ22、Ｋ21、Sb－100のＪ20区に分布する。分布は①Sb－97のＫ24区周辺、②Sb－99・100のⅠ21、Ｊ20・22、Ｋ21区に分けら

れ、①には個体Ａ（端部の欠損品除く）、段階１～６（段階６の最終段階の剥片除く）が、②には個体Ａの端部欠損品、段階６の最終段階以降の遺物（石刃核含む）が分布する。また、①では個体Ａが散漫に、個体Ａを除く一次剥離の遺物が高密度に分布する。以上のことから①で剥離が行われた後、②に石刃核が持ち込まれ、剥離が行われたものと考えられる。但し、②ではすぐに作業面が階段状になり、良形の石刃は剥離されず、作業面転移によって縦長剥片が剥離され、彫器の素材となっている。

母岩別資料958・接合資料4152（図Ⅲ－463・464、図版345－１）

母岩別資料は接合4152の他、剥片３点で構成され、総点数37点、総重量619.6g である。

素材　34点（28個体）が接合し、重量は598.8g、大きさは14×10×９cm である。平滑な原礫面を持ち、角が潰れた亜角礫を素材として、原石の状態で搬入される。

剥離工程　原礫面の上面から正面への剥離（段階１）後、正面から上面への剥離で打面が作出され（段階２）、頭部調整を伴わない厚手の剥片剥離後、頭部調整を伴う石刃剥離（段階３）が連続的に行われる。石刃剥離が困難になった段階で、左側面から正面、正面から左側面下部、と多方向のやや粗い剥離が行われ、剥離は終了する。

剥離される石刃（288など）は、長さ８cm 程度で、全般的に欠落している。石刃１点は彫器82に加工される。Ⅱ類の彫器82は　長さ6.8cm 幅3.0cm の側面形が直線的な石刃素材で、背面両側縁に急角度の調整が施され、素材先端側に彫刃面が作出される。素材端部から彫刃面までの距離は2.7cm で、全て彫刃面再生によるものとすると10数回の再生が行われたことになる。段階２の打面作出剥片（個体Ａ）は、素材先端側の縁辺部に稜調整が行われ、原礫面打面から削片（130など）が連続的に剥離される。

分布　Sb－97のＨ23、Ｉ23、Ｊ23、Ｋ22～24、Sb－98のＬ21、Sb－99のＫ21、Sb－100のＫ18・20、Sb－101のＬ18、Ｍ18区に分布する。分布は、①Sb－97のＫ24区周辺、②Sb－97のＨ23、Ｉ23、Ｋ22・23西側、③Sb－98・100、④Sb－99のＫ21区、⑤Sb－101のＬ18区周辺に分けられ、①④⑤は高密度、②③は散漫な分布である。①には個体Ａを除く大部分の遺物、②には彫器・石刃・厚手剥片、③には石刃、④には個体Ａの前半部、⑤には個体Ａの後半部が分布する。このことから②～⑤の遺物は①から持ち込まれたことが想定され、さらに個体Ａは途中で④から⑤への移動が想定される。

母岩別資料1000・接合資料4257（図Ⅲ－464・465、図版345－２）

母岩別資料は接合4257のみある。

素材　50点（42個体）が接合し、重量は925.7g、大きさは14×13×９cm である。風化によりザラついた平坦な原礫面を持ち、角が潰れた亜角礫を素材として、原石の状態で搬入される。

剥離工程　正面から上面への剥離で打面が作出され（段階１）、正面での粗い剥離の後、正面・右側面・裏面で頭部調整を伴って石刃が連続的に剥離される（段階２）。

剥離される石刃は、８cm 程度で、多くが欠落している。段階１の断面三角形の打面作出剥片（個体Ａ）は、甲板面である腹面からの加工で舟底形石器に整形され、搬出される。

分布　Sb－97のＪ24、Ｋ23・24、Ｌ23、Sb－98のＬ20、Sb－99のＩ21区に分布する。個体Ａを含むほとんどの遺物がSb－97のＫ23・24区に高密度に分布し、良形の石刃がSb－98のＬ20区、石刃核がSb－99のＩ21区に分布することから、それらの遺物がＫ23・24区からＬ20、Ｉ21区に持ち込まれたと考えられる。

母岩別資料1141・接合資料4623（図Ⅲ－465、図版346－１）

母岩別資料は接合4623の他、接合4624・4625、縦長剥片３点、剥片14点で構成され、総点数53点、総重量585.2g である。

素材　31点（16個体）が接合し、重量は541.9g、大きさは12×11×10cmである。平滑な原礫面を持つ角礫素材で、原石ないし上面に１枚の剥離面がある状態で搬入される。

剥離工程　上設の単剥離打面から粗い剥離による石核調整後、頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。

剥離される石刃は、長さ９～12cmで全般的に欠落し、搬出される。

本接合資料では石刃を素材として彫器１点（60）、掻器１点（164）が製作される。Ⅰ類の彫器60は長さ10.7cm幅（2.5）cmの石刃素材で、先端部折損後、素材先端側に彫刀面が作出される。側縁調整は背面基部側の両側縁に斜角の加工が施され、基部がすぼまる形状に整形される。先端部は、彫刀面側は不明であるが、右側縁は彫刀面打面のみ加工が施される。素材形状と残存する彫器の形態から彫刀面再生の可能性は数回程度で少ないと思われる。掻器164は先端部にやや反りのある石刃素材で、両側縁には加工が施されず、素材先端部の刃部右側のみ加工が行われ、弧状の刃部が作出される。素材と比較して、長さはほとんど、幅は全く変化が無く、刃部再生は全くと言っていいほど行われない。これらの彫器60と掻器164を比較すると、彫器には背面中央に稜線が残るやや厚手で側面形が直線に近い石刃が利用され、掻器には背面左側に稜線が偏るやや薄手で先端部に反りのある石刃が利用され、それぞれの選択性が認められる。

分布　Sb－97のH24・J23、Sb－101のL18、M18、N18区に分布する。Sb－97のH24、J23区に分布する掻器164を除いてSb－101のM18区周辺にまとまって分布し、掻器のみ持ち出されたと考えられる。

母岩別資料1164・接合資料4678（図Ⅲ－466、図版346－２）

母岩別資料は接合4678の他、接合4679・4680、剥片10点で構成され、総点数62点、総重量678.9gである。

素材　46点（36個体）が接合し、重量は643.5g、大きさは13×９×９cmである。風化によってザラついた平坦面を持ち、角が潰れた亜角礫を素材として、原石の状態で搬入される。

剥離工程　上面の原礫面打面から正面・左右側面で頭部調整を伴わない打面の大きい粗い剥離（段階１）が行われ、それによって作出された正面の峰状の角で頭部調整を伴って石刃が剥離される（段階２）。

剥離される石刃は長さ７cm程度で、良形の石刃は少なく、欠落するのは一部である。段階１で剥離された厚手の剥片（個体A）は甲板面である腹面からの加工によって舟底形石器に整形され、本体は搬出される。

分布　Sb－101のL19、M18・19、N18区にまとまって分布し、周辺のN20、O19区の遺物を含め、個体・段階による偏りは見られない。

母岩別資料1007・接合資料4275（図Ⅲ－466、図版347－１）

母岩別資料は接合4275のみである。

素材　13点（13個体）が接合し、重量は298.3g、大きさは10×８×5.5cmである。平滑な原礫面を持つ角礫素材で、右側面に大型のポジ面がある大型剥片の形状で搬入される。

剥離工程　正面から上面への剥離で打面が作出され（段階１）、正面で頭部調整を伴う石刃剥離が行われる（段階２）。剥離される石刃の長さは６・７cmで、部分的に欠落し、搬出される。

分布　Sb－97のK23、Sb－99のI21、J21・22、K22、Sb－100のK20区に散漫に分布し、Kライン周辺には初期の石刃が多い。

母岩別資料1142・接合資料4626（図Ⅲ－467、図版347－２）

母岩別資料は接合4626の他、剥片５点で構成され、総点数51点、総重量2,997.0gである。

素材　46点（20個体）が接合し、重量は2,948.0g、大きさは22×18×12cmである。爪状痕のある原礫面を持つ転礫素材で、原石ないし原石に近い状態で搬入される。

剥離工程　上面から正面への剥離（段階１）の後、正面から上面への剥離で打面が作出され（段階２）、正面で剥離が行われる（段階３）。下部の稜調整（段階４・５）後に、正面で頭部調整を伴って石刃が剥離され（段階６）、最終的に石核324の作業面には両端を取り込む非常に幅広い剥離面が残る。

剥離される石刃は長さ13～17cmで、作業面形状が平坦な状態で剥離が進行するため、幅広で、両側縁が平行するものが少ない。石刃・縦長剥片は中間段階のものが主に欠落している。

分布　Sb－102のH18・19、Ⅰ18・19区にまとまって分布する。

母岩別資料965・接合資料4173・4174（図Ⅲ－468～470、図版348）

母岩別資料は接合4173・4174の他、剥片６点で構成され、総点数39点、総重量1,132.1gである。

素材　接合4173は15点（10個体）が接合し、重量は514.7g、大きさは16×11×７cmで、接合4174は18点（16個体）が接合し、重量は538.4g、大きさは15×8.5×８cmである。平滑な原礫面と爪状痕のある原礫面の両方を持つ転礫素材で、おそらく粗い剥離の行われた状態で搬入される。

剥離工程　接合4173・4174は石刃が欠落しているために接合できないが、両方の左側面に同一面と見られる大型の剥離面があり、同一母岩と認定できる。本母岩では粗い石核調整後、上設の単剥離打面から頭部調整を伴う石刃剥離が行われ、接合4173は左側面～正面、接合4174は正面～右側面に相当し、接合4174では下面から正面への剥離（段階２）が見られる。

剥離される石刃（290・291・293・296・294・287など）は、石刃核高の減少に伴って長さの変異が大きく、初期段階では最大16cm（291）、最終段階では最小６cmの石刃が剥離される。また、石刃には特徴的に先端部に反りが見られる。剥離される石刃自体も多く、良形の石刃が連続的に剥離されているため、多くの石刃が欠落し、搬出されている。

本母岩では彫器１点（57）、掻器３点（173・152・154）、削器１点（184）が製作される。Ⅰ類の彫器57は、長さは推定で11cm、幅は不明のおそらく先端部に反りのある石刃素材で、素材先端側に彫刀面が作出される。側縁調整は背面基部側の両側縁に急角度の加工が行われ、素材打面が除去され、基部がすぼまる形状に整形される。先端側は、彫刀面側は不明であるが、右側縁は彫刀面打面のみ加工が施される。推定される素材端部から彫刀面まで５cmあり、全て彫刀面再生によるものとすると二十数回の再生が行われたことになるが、先端部の反りの除去などを考慮に入れるともっと少ないと思われる。

掻器173は長さ・幅不明の先端部に反りのある石刃素材で、左側縁先端側が平坦剥離で加工され、先端部に弧状の刃部が作出される。素材と比較して、長さ・幅ともにほとんど変化が無く、刃部再生は全くと言っていいほど行われない。掻器152は、長さ8.3cm幅3.0cmの先端部に反りのある石刃素材で、背面基部側の両側縁に斜角の加工が施され、先端部に弧状の刃部が作出される。長さは素材と比べ５mm減少しているが、刃部再生の頻度は少ないと思われる。掻器154は、長さ6.9cm幅（2.8）cmの先端部に反りのある石刃素材で、背面両側縁に不連続な加工が施され、先端部に弧状の刃部が作出される。長さは素材と比べ３mm減少しただけで刃部再生は全く言っていいほど行われない。

削器184は長さ8.9cm幅2.1cmの先端部に反りのある石刃素材で、左側縁先端部・右側縁中央部に急角度の加工が見られる。

このほか、二次加工ある剥片280の左側縁先端部には平坦剥離による加工が施される。

器種毎の素材を比較すると、彫器には側面形が直線的な石刃が、掻器には先端部が肥厚して反りのあるやや厚手の甲高の石刃が、削器・二次加工ある剥片には末端部を取り込んだ石刃が利用される。

分布　接合4173はSb－97のH24、K22・23、L22・23、M21・22、N21、Sb－100のJ19、K19・20に分布し、接合4174はSb－97のH23、L22・23、M22、Sb－100のK19・20に分布する。分布は①Sb－97のK23～N21区、②Sb－97のH23・24区、③Sb－100のJ19、K19・20区に分けられ、全て散漫な分布である。①には掻器154、石刃、剥片が、②には彫器57、大型石刃が、③には掻器152・173、削器184・二次加工ある剥片280、石刃核、石刃が分布する。分布の主体は①で、そこから②③に搬出されたと考えられる。

母岩別資料1016・接合資料4287（図Ⅲ－470・471、図版349－１）

母岩別資料は接合4287のみである。

素材　10点（８個体）が接合し、重量は477.9g、大きさは９×８×７cmである。平坦面とガスが抜けたようなあばた状の原礫面（蜂の巣沢の原石に類似する）を持ち、角が丸い亜角礫を素材として原石の状態で搬入される。

剥離工程　正面から上面への剥離で打面が作出された（段階１）後、正面で頭部調整を伴う石刃剥離が行われる（段階２）。原石が小さいため、剥離される石刃の本数は少なく、ほとんど欠落していない。

分布　Sb－97のL22・23、M21、Sb－100のK19区に分布する。Sb－100のK19区に離れて分布するのは厚手の打面作出剥片である。

母岩別資料1028・接合資料4322（図Ⅲ－471、図版350－１）

母岩別資料は接合4322の他、接合4323、剥片１点で構成され、総点数34点、総重量1,571.1gである。

素材　28点（27個体）が接合し、重量は1,517.5g、大きさは16×12×９cmである。ややザラついた平坦面を持ち、角が丸くなった転礫を素材として、原石の状態で搬入される。

剥離工程　正面から上面へ打面作出（段階１）後、頭部調整の無い打面の大きい剥離が、上面から正面（段階２）、下面から正面（段階３）へ行われる。その後、上下打面を入れ替えながら頭部調整を伴って石刃が剥離され（段階４～10）、途中、打面が潰れると下設打面再生（段階７）が行われる。最終的にはヒンジによって作業面に段差が生じ、修復するための下設打面からの剥離も階段状になり、剥離は終了する。

剥離される石刃は長さ10～12cmで、中間段階で剥離されたものが一部欠落する。石刃は１点(174)が錐形石器に加工されている。174は長さ（10.0）cm幅1.8cmの石刃素材で、両側縁に微細な加工が施され、先端部の左側縁には急角度の、右側縁には平坦な加工によって刃部が作出され、刃部先端右側縁には使用によると思われる樋状剥離痕が残る。残存する石器端部と素材端部にはほとんど距離が無く、刃部再生の頻度は低い。石刃283の先端部には彫刀面状の剥離痕があるが、その表面状態から新しい剥離と判断した。また、同一母岩資料には下設打面作出剥片と見られる舟底形石器調整剥片の接合資料があり、舟底形石器１点が製作されている。

分布　Sb－97のJ22・23、K22・23、L22、Sb－99のJ21・22区に分布する。K23区を中心に分布し、北西側の周辺部に石刃が分布する。

母岩別資料1034・接合資料4337（図Ⅲ－472・473、図版349－２）

母岩別資料は接合4337の他、接合4338・4339・56923～56925、舟底形石器１点、縦長剥片３点、剥片21点で構成され、総点数84点、総重量3,986.8gである。

素材　47点（29個体）が接合し、重量は3,058.8g、大きさは19×19×13cmである。一部平滑面が残り、角が丸くなった転礫を素材として、原石ないし原石に近い状態で搬入されている。

剥離工程　左側面から下面への剥離（段階１）、正面から上面への打面作出（段階２）後、左右側面での粗い剥離（段階３）、左側面下部（段階４）・正面下部（段階５）の石核調整、上面から正面への剥離（段階６）、左側面正面から石核調整（段階７）が行われ、正面で頭部調整を伴って石刃が剥離される（段階８）。階段状の剥離が連続して打面が潰れると、正面から打面再生（段階９）が行われ、再度石刃剥離が継続され（段階10）、階段状の剥離が連続し、作業面形状が悪化した状態で剥離は終了する。

剥離される石刃は長さ８～13cm で、段階10の11cm 以下の石刃が欠落し、搬出されている。

本接合資料では段階３で剥離された厚手の剥片を素材として舟底形石器１点（個体Ａ）・削器１点（個体Ｂ）が製作されている。個体Ａ（247）は右側面で剥離された剥片素材で、甲板面である腹面から加工が行われるが、両側縁とも階段状の剥離が連続して粗い加工段階で遺棄される。個体Ｂ（193）は左側面で剥離された剥片素材で、左側縁に舟底形石器に類似する粗い加工が行われる。また、それら以外に段階２の厚手の剥片（二次加工ある剥片）にも粗い加工が見られる。

分布　Sb－97のＫ23、Ｌ21～23、M21・22、Sb－98のＬ20、M20・21、Sb－100のＪ19、Ｋ19・20、Sb－102のＩ19区に分布する。分布は①Sb－97のM22区周辺、②Sb－98のＬ・M20区、③Sb－100のＫ20区周辺に分けられ、①に分布の主体がある。しかし、個体Ａの調整剥片が③に分布する以外は、それぞれにまたがる折れ面接合が認められ、明確な内容の違いは認められない。

母岩別資料1108・接合資料4556（図Ⅲ－474・475、図版350－２）

母岩別資料は接合4556のみである。

素材　64点（46個体）が接合し、重量は1,850.1g、大きさは18×16×14cm である。平滑な原礫面を持ち、角が潰れた亜角礫を素材として、原石の状態で搬入される。

剥離工程　正面から左側面（段階１）、上面から右側面（段階２）、正面から上面（段階３）への剥離の後、正面で頭部調整を伴わない剥離が行われる（段階４）。その後、正面から下面への剥離で下設打面が作出され（段階５）、頭部調整の無い上（段階４後半）下（段階６前半）からの剥離の後に、下設打面から正面で頭部調整を伴って石刃が剥離される（段階６）。

剥離される石刃は８cm 前後が多く、最後は６cm 程度で、その多くは欠落している。

本接合資料では削器１点（186）、舟底形石器４点（個体Ａ～Ｄ）が製作される。削器186は段階６で剥離された長さ7.4cm 幅（4.2）cm の剥片素材で両側縁に急角度の加工が施され、長さは変化が無く、幅は１cm 程度減少している。個体Ａは段階４の厚手の剥片で、先端部折損後、甲板面である腹面から加工が行われ、縁辺が潰れた時点で下縁からの加工で潰れを除去し、再び、甲板面から加工が施される。本体は欠落している。個体Ｂは段階５の下設打面作出剥片、個体Ｃ・Ｄは段階６前半の厚手の縦長剥片で一部下縁からの剥離が見られる個体Ｄを除き、甲板面である腹面から加工が施される。個体Ｂ～Ｄは全て側縁に階段状の剥離による潰れがあり、無理な加工により折損し、遺棄されている。

分布　Sb－97のＫ22・23、Ｌ22・23、M21・22、Sb－98のＬ20、M20、Sb－99のＪ21、Sb－100のＪ19・20、Ｋ19・20区に散漫に分布する。分布は①Sb－97のＬ22区周辺、②Sb－99のＪ21区周辺、③Sb－98のＬ・M20区、④Sb－100のＪ・Ｋ19周辺に分けられる。分布の主体は①で、②には舟底形石器の調整剥片のほとんど（一括遺物が多い）が、③には全ての舟底形石器が、④には多くの初期段階の剥片と削器・石刃核が分布する。

母岩別資料948・接合資料4125（図Ⅲ－476・477、図版351－１）

母岩別資料は接合4125の他、接合4126・56884、縦長剥片１点、石刃１点、掻器２点、剥片５点、

で構成され、総点数82点、総重量2,418.8g である。

素材　69点（49個体）が接合し、重量は2,355.8g、大きさは20×16×12cm である。平坦な原礫面が残り、角が丸くなった転礫を素材として、原石の形状で搬入される。

剥離工程　右側面から左側面上部（段階１）、上面から右側面（段階２）、上面から正面（段階３）、右側面から正面（段階４）、正面から右側面上部（段階５）への粗い剥離の後、正面から上面への剥離で打面作出（段階６）が行われ、頭部調整を伴って石刃が剥離される（段階７）。石刃剥離の途中で、左側面下部（段階８）・正面・右側面下部（段階９）の石核調整が行われる。石刃剥離の最後がヒンジになり、剥離が終了している。

剥離される石刃（295・286など）は長さ８～11cm で、ほとんどが欠落し、搬出される。

本接合資料には掻器２点（155・170）、錐形石器１点（176）が、非接合の同一母岩資料には掻器２点（149・150）が含まれ、合わせて４点の掻器が製作されている。掻器155は段階７の先端部にやや反りのある石刃素材（長さは不明）で、右側縁に平坦な加工が施され、先端部には急角度の剥離で円形の刃部が作出される。長さは不明であるが、接合資料から判断すると素材から３cm 程度短くなっている可能性があり、刃部再生が頻繁に行われた可能性がある。掻器170は段階７最終段階に剥離された長さ7.6cm 幅2.0cm の先端部に反りのある石刃素材で、両側縁に加工は施されず、先端部に平坦剥離による斜角の刃部が作出される。素材末端と刃部の距離は1.1cm であるが、素材の先端部は先細りの形状であるためほとんど刃部再生は行われていないと思われる。錐形石器176は段階８の最終段階で剥離された長さ6.1cm 幅2.9cm の石刃素材で、素材形状は側面形が直線的、平面形の左右先端部が張り出している。加工は末端部のみ施され、素材の右側縁末端部の張り出しを利用して斜めに錐状の刃部が作出される。刃部右側縁には使用によると思われる樋状剥離が残る。素材末端部と刃部の距離は0.6cm で、刃部再生頻度は低いと考えられる。同一母岩資料である掻器149・150は、両側縁とも連続的な斜角の加工が施され、刃部は、149が左に偏って斜めに、150が円形に加工される。また、149の先端部には素材の反りが残り、150は相対的に直線的である。

分布　Sb－96のＪ25、Sb－97のＧ22～24、Ｈ22～24、Ｉ22・23、Sb－99のＧ22、Ｉ20、Sb－100のＩ20、Ｊ19・20、Ｋ19、Sb－102のＨ20、Ｉ18・20、Sb－103のＨ18、Sb－104のＨ17・18区に非常に広範囲に散漫に分布する。Sb－97に分布の主体があり、Ｇ23区には掻器149・150を含め全ての掻器が分布し、Sb－100には初期の大型剥片が、Sb－99・102～104には石刃などが、Sb－102には錐形石器176・二次加工ある剥片が分布する。

母岩別資料1104・接合資料4552（図Ⅲ－477・478、図版351－２）

母岩別資料は接合4552の他、剥片５点で構成され、総点数30点、総重量932.1g である。

素材　25点（17個体）が接合し、重量は914.3g、大きさは14×12×７cm である。角が丸くなったやや扁平な転礫素材で原石の状態で搬入される。

剥離工程　頭部調整を伴わない厚手の剥片・縦長剥片が、上面から正面（段階１）、正面から上面（段階２）の交互剥離によって剥離される。

段階２の厚手の剥片（個体Ａ）、石核（個体Ｂ）が舟底形石器に加工され、個体Ａ（229）は先端部折損後、甲板面である腹面から両側面に加工が施され、本体は遺棄される。個体Ｂ（235）は作業面の最終剥離面を甲板面に設定し、甲板面から両側面に加工が行われるが、下縁を大きく取り去る加工の後、遺棄される。本接合資料は頭部調整を伴わない厚手の縦長剥片剥離が連続して行われ、舟底形石器が２点製作されていることから、主に舟底形石器製作を目的として剥離されたものと考えられる。

分布　全てSb－97のK23、L23区に高密度に分布する。

母岩別資料1089・接合資料4520（図Ⅲ－478・479、図版352上）

母岩別資料は接合4520のみである。

素材　40点（35個体）が接合し、重量は2,199.9g、大きさは16×14×９cmである。角が丸くなったやや扁平な転礫素材で原石の状態で搬入される。

剥離工程　上面から左側面（段階１）、左側面から裏面（段階２）への剥離で２枚の扁平な剥片に分割された後、石核側では、上面から左側面（段階３）、正面から左側面（段階４）への剥離が行われる。次に、舟底形石器の調整剥離に類似する裏面から左側面への剥離（段階５）で大きく幅を減少させ、その最終剥離の際に本体が中央で折損すると、下部破片を利用して折れ面打面から正面・右側面で頭部調整を伴わない石刃剥離が行われる（段階６）。

剥離される石刃は少なく、ほとんどがウートラパッセで下端部を取り込み、遺棄されている。

段階２で分割された厚手の大型剥片（個体A）は、縦折れ（A－段階１）によってさらに分割された大型破片に舟底形石器に類似した粗い加工が腹面から左側縁に行われるが、本体の削器194は遺棄される。段階３の大型剥片（個体B）は、上部の剥離（B－段階１）後、若干の縦方向の剥離が行われ、遺棄される。

分布　Sb－97のH23・24、I23、L21・22、M21・22、Sb－98のL21区に分布する。分布は①Sb－97のL21・22、M21・22区、②H23・24、I23区に分けられ、①には大部分の遺物が高密度に分布し、②には個体Aの前半部、個体Bが分布する。

母岩別資料1079・接合資料4498（図Ⅲ－479～481、図版352下）

母岩別資料は接合4498の他、剥片22点で構成され、総点数116点、総重量1,794.3gである。

素材　94点（76個体）が接合し、重量は1,717.1g、大きさは20×18×11cmである。爪状痕のある原礫面を持つ転礫素材で、原石の状態で搬入される。

剥離工程　右側面と正面の角を打撃し、上面で大型剥片が剥離（段階１）された後、上面から左側面・裏面・右側面で大型剥片剥離（段階２）、左側面から正面上部で粗い剥離（段階３）が行われる。

本接合資料では舟底形石器６点（個体A～C・E～G）、二次加工ある剥片１点（個体D）が製作される。

個体Aは段階１の非常に大型の剥片素材で、甲板面である腹面から左右側面に加工が行われ（A－段階１・２）、断面が三角形になった後、下縁からの加工が施され（A－段階３）、その後は甲板面から左右交互に加工が行われ（A－段階４～６）、段階６の打面は相対的に小さくなっている。本体は欠落し、その空隙部分は幅が狭く、小型であることからⅠ類で搬出された可能性がある。

個体Bは個体A段階１の厚手の剥片素材で、甲板面である腹面から両側面に加工が施されるが、断面三角形になる前に加工は終了し、本体244は遺棄される。

個体Cは段階２の厚手の剥片素材で、接合資料は片側の初期の調整剥片と本体の舟底形石器Ⅰａ類である220で構成される。本来はもう一方の調整剥片・後半の調整剥片が存在するはずであるが接合していない。部分的に残る接合資料から復元すると最初は甲板面である腹面から粗い加工が行われ、ある段階で押圧と見られる加工に変化し（舟底形石器Ⅱ類からⅠ類の変化に対応する）、最後に下縁部からの剥離で形状が整えられる。遺棄されている220の正面端部には折れ面が残り、左右側面には折れ面を切る加工が見られ、折れ面周辺に再加工が行われている。その折れ面は素材のほぼ中央付近にあたり、本体が中央付近で折損したものと思われる。また、折れ面はその状況からそれほど古いものではなく、Ⅰ類に変化した後に折れたものと考えられ、220同様もう一方の舟底形石器の破片も再

加工され、製品で搬出された可能性が想定される。

個体Ｄは段階２の剥片素材で、縦折れ後、片側縁で比較的軽い平坦な加工が行われるが、ほとんど素材形状を変えずに本体（非掲載）は遺棄される。

個体Ｅは段階３の厚手の剥片素材で、甲板面である腹面から加工が施されるが、断面三角形になった段階で加工は終了し、遺棄される。

個体Ｆは石核素材で、裏面に残る段階２の大型剥離面を甲板面に設定し、甲板面から両側面に加工が施される。断面が三角形になった段階で下縁から下縁部調整が行われた後、再度、甲板面から加工される。本体は欠落し、搬出される。

個体Ｇは個体Ｆの調整剥片素材で、背面を甲板面に、腹面を側面に設定し、甲板面から加工が施される。断面が三角形になった段階で下縁調整が行われた後、打面の小さい加工が甲板面から行われ、折損後、一方のより大型の破片に甲板面から再加工が行われる。再加工の剥離が階段状になり、本体270は遺棄される。

本接合資料は厚手の剥片が連続して剥離され、多くの舟底形石器が製作されていることから、舟底形石器を目的として剥離されたものと考えられる。

分布　Sb－97のＪ24、Ｋ23、Ｌ23、Sb－99のＩ21区に分布する。分布は①Sb－97のＫ・Ｌ23区周辺、②Sb－99のＩ21区に分けられ、ほとんどが①に高密度に分布し、②には個体Ａ段階６の調整剥片、個体Ｃの舟底形石器Ｉａ類である220、個体Ｄの一部が分布する。このことから、一次剥離、舟底形石器調整の前半段階は①で行われ、舟底形石器Ⅱ類からＩ類に変化する段階が②で行われた可能性がある。

母岩別資料1174・接合資料4701（図Ⅲ－482～484、図版353－１）

母岩別資料は接合4701の他、接合4702・4703、舟底形石器１点、剥片２点で構成され、総点数96点、総重量885.5g である。

素材　87点（69個体）が接合し、重量は791.7g、大きさは16×13×９cm である。角が丸くなった転礫素材で、原石ないし原石に近い状態で搬入される。

剥離工程　裏面から上面への短軸方向の剥離面を打面として、上面から左側面（段階１）への剥離の後、上面から右側面（段階２）への剥離が行われる。

剥離される剥片は厚手で、薄手の剥片１点を除いて全て舟底形石器（個体Ａ～Ｃ）に加工され、また、石核（個体Ｄ）も舟底形石器に加工されているため、全部で４点の舟底形石器が製作され、１点を除く全てが舟底形石器に加工されている。

個体Ａ（371）は段階１の厚手の剥片で、甲板面である腹面から右側面（Ａ－段階１・３）、左側面（Ａ－段階２）に加工が施される。本体である舟底形石器Ｉａ類の211には下縁からの加工が残り、Ⅱ類からＩ類に変化する段階で下縁部調整が行われている。また、端部には細石刃状の剥離痕が残り、舟底形石器削片が剥離されている。本体211の長さは素材の半分程度で、全てが削片剥離によって長さが減少したとすると90本程度の削片（幅４mm、厚さ1.5mm で計算）が剥離されたことになる。

個体Ｂ（372）は段階２の厚手の剥片で、甲板面である腹面から加工が行われるが、本体は粗い加工段階で折損し、遺棄される。

個体Ｃ（373）は段階２の厚手の剥片で、背面を甲板面に設定し、甲板面から右側面（Ｂ－段階１）、左側面（Ｂ－段階２）に加工が行われる。素材背面が甲板面に設定されるのは、素材の断面形が三角形でその最も長い辺が背面であったためと思われる。本体は欠落し、搬出されている。

個体Ｄ（374）は両側面がそれぞれ１枚の大型の剥離面で構成される石核素材で、打面である上面

が甲板面に設定される。下部から右側面への粗い剥離（Ｄ－段階１）によって高さを減少させた後、左側面（Ｄ－段階２）、右側面（Ｄ－段階３）で加工が行われ、段階３の途中で下縁から両側面に加工が見られる。本体は欠落し、搬出されている。

非接合の同一母岩資料である舟底形石器Ｉａ類の215は両側面とも甲板面・下縁からの加工が行われ、裏面には折れ面が、正面には細石刃状の剥離面が残る。

分布　Sb－96のＬ23、Sb－97のＫ23・24、Sb－98のM20、Sb－99のＩ21、Sb－100のＪ19・20、Ｋ19・20、Sb－102のＩ19区に分布する。個体に関わらず、ほとんどがＪ・Ｋ20区周辺に分布し、Sb－96・97のＫ24区周辺には個体Ａの後半段階、個体Ｄの最終段階が分布する。Sb－99のＩ21区には舟底形石器Ｉａ類の211・215が分布し、それらはＩ21区に持ち込まれ、Ｉａ類に加工された可能性がある。

母岩別資料1120・接合資料4583（図Ⅲ－484～486、図版353－２）

母岩別資料は接合4583のみである。

素材　77点（60個体）が接合し、重量は2,294.2g、大きさは17×15×15cm である。角が丸くなった転礫素材で、原石の状態で搬入される。

剥離工程　上面から正面への剥離（段階１）で二分割された後、その剥離面を甲板面として右側面で加工が施される（段階２）が、その後、裏面から左側面への剥離（段階３）が行われ、石核素材の舟底形石器の甲板面に設定される。

本接合資料では舟底形石器４点（個体Ａ～Ｄ）が製作される。個体Ａは段階１で剥離された厚手の大型剥片で、非常に粗い加工が左側面（Ａ－段階１）、右側面（Ａ－段階２）で行われるが、直径1.5cmの球顆が原因で折損し、本体の268が遺棄される。個体Ｂは個体Ａの大型の調整剥片で、甲板面である腹面から両側面への粗い加工（Ｂ－段階１・２）によって素材剥離軸と舟底形石器長軸が直交するように整形される。最終剥離で端部を欠損し、本体の234が遺棄される。個体Ｃは段階３の厚手の剥片で、甲板面である腹面を打面として左側面（Ｃ－段階１）、右側面（Ｃ－段階２）、左側面（Ｃ－段階３）と順番に加工される。本体は欠落し、搬出される。個体Ｄは石核素材で段階３の剥離面を甲板面に設定し、甲板面から両側面に粗い加工が行われる（Ｄ－段階１・２）。その後、下縁部から加工が施され、さらに、甲板面から側縁が滑らかになるように細かい剥離が行われるが、中央で折損し、本体255は遺棄される。

分布　Sb－97のＫ22、Ｌ21～23、M21・22、Ｎ21、Sb－98のM20、Sb－100のＫ19、Sb－101のＬ19区に分布する。ほとんどがSb－97のＬ・M22区周辺に、一部Sb－98・100・101に分布するが、Sb－98のM20区に分布する個体Ｂの舟底形石器234以外は他の剥片との明確な違いは無い。

母岩別資料1186・接合資料4744（図Ⅲ－487、図版354－１）

母岩別資料は接合4744のみである。

素材　29点（26個体）が接合し、重量は330.6g、大きさは11×11×７cm である。平滑な原礫面を持ち、角がやや潰れた亜角礫を素材として原石の状態で搬入される。

剥離工程　正面から上面への剥離（段階１）によって原石が二分割され、それぞれ舟底形石器に加工される。個体Ａは断面三角形の厚手の剥片素材で下縁からの剥離後、甲板面である腹面から加工が行われる。個体Ｂは石核素材で上面を甲板面に設定し、甲板面から両側面に加工が施される。最初に剥離された厚手の調整剥片（個体Ｃ）は甲板面である腹面からの加工で舟底形石器に整形される。個体Ａ～Ｃは全て本体が欠落し、搬出されたと思われる。

分布　Sb－101のＬ18・19、M18～20、Ｎ18～20、Ｏ19区に分布する。分布は①M18区北東部周辺、

②M19区南西部周辺に分けられ、①には個体Ｂ後半、②には個体Ｃを含む個体Ｂ前半が分布し、個体Ａは明瞭な段階差を持たずに両者に分布する。

母岩別資料1091・接合資料4522（図Ⅲ－487、図版354－２）

母岩別資料は接合4522のみである。

素材　６点（５個体）が接合し、重量は140.7g、大きさは８×６×３cmである。角が丸くなったやや扁平な非常に小型の転礫素材で、原石ないし原石に近い状態で搬入されている。

剥離工程　上面の剥離面から右側面への剥離（段階１）の後、上面から左側面へ剥離が行われる（段階２）。本接合資料の剥離目的は不明である。

分布　Sb－97のＫ22・23、Ｌ22区にやや散漫に分布する。

母岩別資料1191・接合資料4752（図Ⅲ－488・489、図版354－３）

母岩別資料は接合4752の他、接合57000、剥片１点で構成され、総点数64点、総重量2,612.2gである。

素材　61点（35個体）が接合し、重量は2,570.5g、大きさは26×19×８cmである。爪状痕のある原礫面を持つ扁平な転礫素材で裏面に大型の剥離面がある状態で搬入される。

剥離工程　左側面下部で、左側面から正面（段階１）→正面から左側面（段階２）→左側面から正面（段階３）への交互剥離が、右側面で、裏面から右側面（段階４）→右側面から裏面（段階５）→裏面から右側面（段階６）→右側面から裏面（段階７）→裏面から右側面（段階８）→右側面から裏面（段階９）への交互剥離が行われた後、打面・作業面を入れ替えながら、左側面から正面（段階10）→左側面から裏面（段階11）→裏面から上面（段階12）→裏面から右側面（段階13）→右側面から正面（段階14）→右側面から裏面（段階15）への剥離が行われる。頻繁に作業面が転移された結果、本体52は両面調整石器になるが、ほとんど縁辺部調整が行われず、また、断面形を凸レンズ状に変化させる意図も認められないため、尖頭器の未成品とは異なっている。

段階13の厚手の剥片である個体Ａ、段階15の厚手の剥片である個体Ｂには二次剥離が行われる。個体Ａは本体が折損した素材の表面で軽微な頭部調整を伴う縦長剥片剥離が行われ、そのうち１点は縁辺部に軽微な加工を施して削器189が製作される。個体Ｂも本体が折損した素材で横方向の剥離が行われる。

分布　Sb－104のＩ15、Ｊ15、Ｋ17区に高密度に一つの集中域を形成して分布する。

母岩別資料1074・接合資料4480（図Ⅲ－489、図版355－１）

母岩別資料は接合4480のみである。

素材　17点（14個体）が接合し、重量は649.0g、大きさは19×９×７cmである。平滑な原礫面を持ち、角が潰れた亜角礫を素材として原石の状態で搬入される。

剥離工程　上面から正面（段階１）、左側面から裏面（段階２）への剥離が交互剥離で行われた後、右側面から裏面下部（段階３）、下面から裏面（段階４）への剥離が下面から正面への剥離と交互に行われる。さらに、右側面から正面上部（段階５）、上面から裏面（段階６）、上面から正面（段階７）への剥離が交互に行われる。細長く扁平な原石の上下端部で正面・裏面に交互剥離が行われるが、全て頭部調整の無い粗い剥離で、一部段階４の縦長剥片が欠落している。

分布　Sb－97のＬ21・22、M21・22区にやや散漫に分布する。

接合資料5951（図Ⅲ－490、図版355－２）

素材　４点（３個体）が接合し、重量は29.1g、大きさは12×3.5×１cmである。原石形状は不明で、小型の尖頭器で搬入された可能性がある。

剥離工程　縁辺の一部に平行剥離が見られる薄手で小型の尖頭器が、右側縁から裏面への剥離の際に折損する。その後、下部破片の右側縁で折れ面の縁辺から５mm 程度内側を加撃して削片が剥離される。削片剥離は１回のみで、削片の腹面は波打ち、加工は行われない。

分布　Sb－101のＬ17、M17区に近接して分布する。

接合資料5822（図Ⅲ－490、図版355－３）

素材　５点（５個体）が接合し、重量は156.5g、大きさは19×６×1.7cm である。原石形状は不明で、20cm 程度の尖頭器で搬入された可能性がある。

剥離工程　表面全体が平坦剥離面で覆われた尖頭器が左側縁から裏面への剥離面が原因で折損し、個体Ａ・Ｂに分割される。個体Ａは上端から左側縁への削片剥離後、右側縁で折れ面から最低２回の削片剥離が行われ、その腹面末端部は波打っている。また、削片剥離後に正面中央付近の稜に削片剥離面から細かい加工が行われる。個体Ｂは左側縁で折れ面から大きく２回の削片剥離が行われ、正面の折れ面との角には潰れた加工が見られる。削片は全て末端部を取り込んでおり、遺棄されている削片には加工が見られない。個体Ｂの断面三角形の一次削片は折れ面の縁辺から９mm 程度内側を加撃して剥離され、個体Ａの欠落部分が一次削片剥離によるものとすると10mm 程度内側を加撃したものと推定される。一方、個体Ａ・Ｂの二次削片は折れ面の縁辺から２mm 程度内側（打面厚に相当）を加撃して剥離されており、両者の違いが認められる。

分布　Sb－98のM21、Sb－101のＫ19、Ｌ19区に分布し、M21区に分布する個体Ｂの一次削片37を除いて非常に近接して分布する。

母岩別資料1039・接合資料4349（図Ⅲ－491、図版355－４）

母岩別資料は接合4349の他、接合4348・4350、剥片18点で構成され、総点数67点、総重量1,293.7g である。

素材　23点（17個体）が接合し、重量は676.5g、尖頭器折損時（382）の大きさは20.5×７×1.7cm である。平滑な原礫面を持ち、角が潰れた亜角礫を素材として粗い剥離による大型の剥離面がある状態で搬入される。

剥離工程　接合4349の全体図は掲載していないが、382に尖頭器調整剥片が接合し、その幅は13cm で、表面は粗い剥離面で構成される。最初は打面の大きい粗い加工が行われ、次第に打面の小さい平坦な加工が行われる。正面には段差が生じ、その段差を除去するような右側縁からの加工の際に本体は折損する（段階１）。折損後、下部破片の左側縁で折れ面から削片剥離が行われる（段階２）。本資料には削片（図版355－400）１点が接合しているが、その背面には先行の削片剥離痕が残り、その剥離面を切る稜調整状の加工が見られる。また、尖頭器32の正面の折れ面の角には細かい加工が施される。同一母岩には全周を加工された削器（図Ⅲ－388－190）がある。

分布　Sb－97のＫ22・23、Ｌ22・23、M22、Ｎ21、Sb－100のＫ20、Sb－101のＬ19区に分布する。分布は①Sb－97のＬ22区周辺、②Sb－100のＫ20区周辺に分けられ、粗い加工段階は①にやや散漫に、打面の小さい平坦剥離段階以降（削片剥離を含む）は②に分布する。また、同一母岩の削器は両者と異なるＩ23区に分布する。

母岩別資料972・接合資料4197（図Ⅲ－491・492、図版356－１）

母岩別資料は接合4197のみである。

素材　７点（６個体）が接合し、重量は548.6g、全体（図版356－512）の大きさは22×９×3.7cm、尖頭器折損時（383）の大きさは22×８×3.3cm である。原石形状は不明で、粗い両面調整体で搬入された可能性がある。

剥離工程　図版356－512は接合資料4197全体の写真で、383は尖頭器折損時の図である。やや粗い平坦剥離が両面左右から行われ、左側縁から正面の剥離で上部を折損する（段階１）。その後、折れ面縁辺から15mm 内側を加撃して右側面で削片（図版356－399）が剥離される（段階２）。削片は尖頭器の下端部を大きく取り込み、中央で折損し、加工は行われない。

分布　Sb－97のH22・23、Ⅰ24・25、Ｊ24区に分布する。分布は①Ⅰ24南東部周辺、②H22・23区に分けられ、①には尖頭器調整剥片と削片の先端側が、②には尖頭器と削片の打面側が分布する。

母岩別資料1087・接合資料4508（図Ⅲ－492、図版358－１）

母岩別資料は接合4508の他、接合4509～4518・56958、剥片21点で構成され、総点数108点、総重量1,796.7g である。

素材　38点（25個体）が接合し、重量は824.8g、全体（図版358－514）の大きさは22×15×6.5cm、削片と尖頭器の接合資料（384）の大きさは13×７×2.7cm である。風化した古い剥離面と爪状痕のある原礫面を持つ転礫素材で原石ないし原石に近い状態で搬入される。

剥離工程　図版358－514は接合資料4508全体の写真で、384は削片剥離時の図である。最初は打面の大きい粗い加工が行われ、次第に打面の小さい平坦な加工が行われる。折損の原因は不明であるが、折損後は折れ面から右側縁に削片剥離が行われる。一次削片１点（図版358－398）、二次削片１点（図版358－401）が接合し、その他二次削片１点が欠落する。末端部がヒンジの一次削片剥離後にその段差を除去する調整が行われるが、以後の削片も末端部はヒンジになっている。

分布　Sb－97のＪ24、Ｋ23・24、Ｌ23、Sb－99のⅠ21、Ｋ21、Sb－100のＫ20区に分布する。ほとんどの遺物がSb－97のＫ23・24区周辺にやや散漫に分布し、尖頭器加工の最終段階・尖頭器削片・尖頭器がSb－99・100に非常に散漫に分布する。

母岩別資料1121・接合資料4584（図Ⅲ－493、図版357－１）

母岩別資料は接合4584の他、接合4585、尖頭器１点、剥片42点で構成され、総点数76点、総重量1,815.3g である。

素材　31点（25個体）が接合し、重量は1,136.7g、全体（図版357－513）の大きさは22×16×９cm、尖頭器折損時（385）の大きさは20×11×４cm である。平坦な原礫面を持ち、角が潰れた亜角礫を素材として原石ないし原石に近い状態で搬入される。

剥離工程　図版357－513は接合資料4584全体の写真で、385は尖頭器折損時の図である。最初は打面の大きい粗い加工が行われ、次第に打面の小さい平坦な加工が行われる。やや粗い加工の段階で内在する傷から尖頭器は折損し、下部破片を利用して縦長剥片（図版357－457・458）が剥離される。縦長剥片は連続して剥離され、石刃核322は非常に薄くなっている。322には頭部調整が見られ、縦長剥片剥離後半には頭部調整が行われたと考えられ、それらの縦長剥片・石刃は欠落している。

分布　Sb－97のＬ22・23、M21・22、N21区にやや散漫に分布し、尖頭器折損前後で分布の偏りは見られない。

接合資料5837（図Ⅲ－493、図版356－２）

素材　３点（３個体）が接合し、重量は63.5g、大きさは13.5×４×1.6cm である。原石形状・搬入形態は不明である。

剥離工程　幅広の剥片素材で、剥離軸と直行する方向で折損した素材を利用して、両側縁に平坦な加工が行われ、その途中で折損する。折損後、両破片で削片剥離が行われる。上部の小破片である個体Ａは折れ面から右側縁で１・２回削片が剥離されるが、末端部がヒンジになり終了する。下部の大きい破片である個体Ｂは折れ面から左側縁で最低２回削片が剥離され、削片129の背面に残る先行の削

片は直線的で、削片129は下端部を取り込んでいる。

分布　Sb－100のＪ19、Ｋ19区に分布し、個体の偏りは見られない。

母岩別資料1220・接合資料5801・5843（図Ⅲ－494、図版356－３・４）

母岩別資料は接合5801・5843の他、剥片１点で構成され、総点数７点、総重量36.2g である。

素材　接合5801は３点（３個体）が接合し、重量は15.1g、大きさは11×2.2×1.2cm で、接合5843は３点（３個体）が接合し、重量は19.9g、大きさは8.8×3.3×1.2cm である。原石形状不明の白色の頁岩製で、おそらく扁平な斧形石器で搬入される。接合資料5801・5843は石質・模様・技術的特徴などから同一斧形石器と判断でき、おそらく同一側縁で、本体折損後にそれぞれの破片の側縁で削片剥離が行われたと思われる。具体的には接合資料5801の上部が刃部、下部が折れ面側で、接合資料5843の下部が折れ面側、上部が基部側に相当し、そのように想定すると搬入時の斧形石器は長さ20cm 程度であったと推定される。

剥離工程　接合資料5801の上端両面の限定された範囲（縁辺から５mm 程度）には研磨面があり、局部磨製の斧形石器刃部と考えられる。両面には側縁からの平坦剥離面が残り、上端部には端部から長軸方向の剥離面が残り、研磨面が剥離面を切っている。上端に残る刃部の輪郭、側縁の輪郭から素材の斧形石器の形状を復元すると、平面形は尖頭器の一方の端部を弧状（刃部に相当）に裁ち切った形状で、また、断面形は扁平な凸レンズ状で尖頭器のそれに類似する。

接合資料5801の削片剥離は、最初に基端部から２回（断面三角形の一次削片182、二次削片44）行われ（段階１）、次に刃部両面への剥離でノッチ状に作出された打面から二次削片43が剥離される（段階２）。このうち、一次削片182の打面側には背面側からの加工により錐状の刃部が作出される。

接合資料5843は推定される折れ面側から１回、削片（一次削片181）が剥離された（段階１）後、側縁から横方向の剥離が行われ（段階２）、基端部から二次削片118が剥離される（段階３）。一次削片181の先端側には右側縁には腹面から、左側縁には正面の稜からの剥離で錐状の刃部が作出され、刃部には使用によると考えられる樋状の剥離が残る。二次削片118は、素材打面側である上端部では主に左側面で削片剥離が行われ、素材先端側である下端部では右側面にノッチ状に作出された彫刀面打面から下面に向けて彫刀面が作出される。

分布　接合5801は Sb－99のＨ22、Ｉ21、Sb－101のＭ18区に分布し、接合5843は Sb－99のＪ21、Ｋ21区に分布する。Sb－99に散漫に分布し、錐形石器182のみ Sb－101に分布する。

母岩別資料1158・接合資料4663（図Ⅲ－495、図版357－２）

母岩別資料は接合4663の他、接合4662・4664で構成され、総点数25点、総重量856.4g である。

素材　４点（４個体）が接合し、重量は393.0g、大きさは14×８×４cm である。平滑な原礫面を持つ角礫素材で、原石ないし原石に近い状態で搬入される。

剥離工程　389は正面に石刃剥離面が残り、裏面の剥離はそれらを切っている。石刃剥離後に裏面の横方向の剥離が行われる。その後、下面の折れ面から左側縁で頭部調整の無い縦長剥片が剥離され、剥離が裏面に大きく傾いた時点で剥離は終了する。

分布　Sb－101のＭ18、Ｎ18に散漫に分布する。

接合資料5823（図Ⅲ－495、図版358－２）

素材　３点（２個体）が接合し、重量は112.3g、大きさは17.2×4.8×1.5cm である。平滑な原礫面を持つ角礫素材で、尖頭器の状態で搬入された可能性がある。

剥離工程　表面が滑らかで形態の整った尖頭器の先端部から裏面左側縁に削片が剥離される。下部の折損との前後関係、削片剥離の目的（尖頭器整形の可能性も考えられる）は不明である。

分布　Sb－101のＬ18、M17・18区に分布する。

母岩別資料1179・接合資料4719（図Ⅲ－495、図版358－３）

母岩別資料は接合4719の他、接合4720～4728・56990～56992、剥片77点で構成され、総点数113点、総重量311.8g である。

素材　２点（２個体）が接合し、重量は4.8g、大きさは4.2×1.9×0.8cm である。平滑な原礫面を持つ角礫素材で、搬入形態は不明である。

剥離工程　尖頭器の側縁で一次削片42が剥離される（段階１）。197はおそらく二次削片素材と考えられ、背面を甲板面に設定し、左側面は主に下縁から、右側面は上下から加工が施され、舟底形石器Ⅰａ類に整形される。加工によって幅は素材７mm から５mm に減少し、最後に端部で細石刃状の剥離が行われる。両者とも打面が残存せず、折れ面打面かどうかは不明である。

分布　42は Sb－101のM18区に、197は一括遺物でＬ19区に分布する。

写真のみ掲載の接合資料

母岩別資料962・接合資料4157（図版359）は、爪状痕のある原礫面を持つ扁平な転礫素材で、長さ28cm、正面に粗い剥離がある状態で搬入される。右側面から裏面への剥離を中心に両面左右から粗い加工が行われるが、中央で折損し、粗い尖頭器396は遺棄される。Sb－99のＪ21区に高密度に分布し、一部は北側に散漫に広がる。

母岩別資料1022・接合資料4300（図版360）は、両面に平坦面が残り、爪状痕のある原礫面を持つ転礫素材で、長さ21cm、正面に１枚の剥離面がある状態で搬入される。前半は打面転移を頻繁に繰り返しながら周縁からやや粗い平坦剥離が行われ、厚みを減少させている。後半は打面の小さい薄い平坦剥離に変化し、長さ17cm 程度の尖頭器で搬出される。前半に剥離された厚手の剥片は、甲板面である腹面からの加工で舟底形石器に整形され、搬出される。Sb－97のＫ23区を中心に比較的高密度に分布し、個体・段階による偏りは見られない。また、初期の剥片２点がやや離れた Sb－99（Ｋ21区）・101（Ｋ19区）に分布する。

母岩別資料1112・接合資料4563（図版361）は、一部平坦面が残り、角が丸くなった転礫素材で、長さ27cm、裏面に１枚の大型剥離面がある状態で搬入される。前半は両面左右から非常に粗い加工が行われ、また、正面中央に生じた稜を除去する長軸方向の剥離も見られる。後半は縁辺調整のある打面の小さい平坦剥離に変化し、本体の表面が滑らかに変化していく。加工が進み、厚さが１cm 程度になった段階で14が欠損し、残りの10cm 程度の尖頭器が搬出された可能性がある。分布は① Sb－97のＫ23～M21区、② Sb－100のＫ20区周辺に分けられ、両者ともやや散漫に分布する。ほとんどの遺物が①に、大型の剥片・尖頭器14が②に分布する。

母岩別資料1137・接合資料4619（図版362上）は、一部平坦面が残り、角が丸くなったやや扁平な転礫素材で、長さ23cm、粗い剥離面がある状態で搬入される。両面で左右側縁から粗い加工が行われ、その段階で本体50は折損し、遺棄される。遺物は Sb－97の南西端（Ｋ22～M21区）に散漫に分布する。

母岩別資料991・接合資料4231（図版362下）は、平滑面と風化した剥離面と一部転礫面で構成される原礫面を持つ断面三角形の角張った転礫素材で、長さ27cm、原石ないし原石に近い状態で搬入される。正面の稜を除去し、厚さを減少させる上下から長軸方向の粗い剥離の後、左右側面から打面の小さい平坦剥離が行われる。左右からの剥離は中央の稜を越えるもので表面は滑らかである。最終的に表面が滑らかで断面形も整った23cm 程度の尖頭器が搬出される。遺物は Sb－97のＫ24区周辺にや

や高密度に分布し、離れたSb－100（K20区）に分布する遺物は剥片で他の遺物とは違いが見られない。

母岩別資料1109・接合資料4557（図版363）は、平滑な原礫面を持ち、角が潰れた亜角礫素材で、長さ27cm、正面に大型の剥離面がある状態で搬入される。正面左側面からの粗い剥離を中心として厚みを減少させる剥離が行われるが、大きく上部を欠損し、403は遺棄される。遺物はSb－99のＪ21区西側を中心に非常に高密度に分布する。

母岩別資料1153・接合資料4652（図版364－１）は、ややザラついた平坦な原礫面を持ち、角が潰れた亜角礫素材で、長さ28cm、原石ないし原石に近い状態で搬入される。正面で下面からの粗い剥離の後、右側面から粗い剥離が行われ、その際、本体は４つの破片に分割される。そのうち２個体で７cm前後の石刃（図版364－285など）が剥離される。遺物はSb－101のK19～N18区に散漫に分布し、分割された個体や段階による偏りは見られない。

母岩別資料1151・接合資料4648（図版364－２）は、平滑な原礫面を持ち、角が潰れた亜角礫素材で、長さ20cm以上の原石に近い状態で搬入される。両面で左右側面からやや粗い平坦剥離が行われ、下部で折損する。折損後、上部破片である47には折れ面から右側面に削片剥離が行われ、さらに削片剥離面からの加工・上端の長軸方向の剥離・折れ面付近の再加工が行われる。下部破片には折れ面から左側面に削片剥離が行われ、さらに削片剥離面から裏面に横方向の剥離が行われる。削片には腹面から加工が施される。遺物はSb－101のK19～N18区に散漫に分布し、分割された個体による偏りは見られない。

母岩別資料1045・接合資料4365（図版365－１）は、平滑な原礫面を持つ角礫素材で、長さ27cm、正面に粗い剥離面がある状態で搬入される。加工は主に左側面から裏面に行われ、それらは、原礫面打面からの粗い平坦剥離である。最後に下端部が折損し、下部破片である402にはその折れ面付近で縦長剥片が剥離される。上部破片は欠落し、搬出された可能性がある。遺物はSb－97のK22～M21区にやや高密度に帯状に分布し、段階による偏りは見られない。

母岩別資料966・接合資料4175（図版365－２）は、平滑な原礫面を持つ角礫素材で、長さ26cm、原石ないし原石に近い状態で搬入される。左側面の原礫面から正面に粗い剥離が行われた後、下面から正面への長軸方向の粗い剥離、左右側面から両面への粗い剥離によって下端部が薄く整形され、最後に両側縁から正面に中央の稜を越える平坦剥離が行われ、本体の表面が滑らかに変化している。本体の尖頭器は欠落し、搬出されたと思われる。遺物はSb－97のL22、M21・22区の狭い範囲に高密度に分布している。

母岩別資料1152・接合資料4650（図版366－１）は、平滑な原礫面を持つ断面三角形の扁平な角礫素材で、15cm以上のおそらく原石の状態で搬入される。正面から上面への剥離で作出された打面から正面で石刃状の剥離が行われ、端部の厚みが減少した後、左右から打面の小さい中央の稜を越える平坦剥離が行われる。本体は欠落しているが、表面が滑らかで薄手の、断面が凸レンズ状の整った形態であったと思われる。遺物はSb－101のL18・19区周辺にまとまって分布している。

母岩別資料963・接合資料4159（図版366－２）は、風化によりザラついた平坦な原礫面を持つ角礫素材で、長さ20cm以上の、粗い剥離が行われた状態で搬入される。比較的打面の小さい平坦剥離が上面・左右側縁から行われる。右側縁から剥離された剥片117は彫刀面打面のみ加工が施され、Ⅱ類の彫刀面作出後、彫刀面先端部調整が行われる。厳密な素材の大きさは不明であるが、剥離面の状況から彫刀面再生頻度は低いと思われる。遺物はSb－97のK24区周辺にまとまって分布し、彫器117はSb－97のH24、Ｉ23区に、大型剥片１点はSb－99のK21区に離れて分布する。

母岩別資料1044・接合資料4363（図版366－３）は、平滑な原礫面を持つ角礫素材で、長さ28cm程度の粗加工された尖頭器で搬入される。左右両側縁から正面に中央の稜を越える平坦な加工が行われ、25cm 程度の尖頭器で搬出される。遺物は Sb－97のＬ22区周辺にやや散漫に分布する。

母岩別資料1058・接合資料4396（図版367－１）は、風化によりザラついた原礫面を持つ角礫ないし亜角礫素材で、長さ22cm の粗い加工の尖頭器で搬入される。両面とも左右からの打面の小さい平坦剥離によって加工が行われ、一部端部からの加工も見られる。左側縁の裏面に残った瘤を除去する剥離の際に中央で折損し、上下破片とも再加工が行われる。上部破片（個体Ａ）には主に右側縁から正面に加工が行われ、上端からの加工時に折損し、19が遺棄される。下部破片（個体Ｂ）には左側縁で折れ面を打面として削片39が剥離され、その後、その面を打面として折れ面で削片が剥離され、左側縁・折れ面で交互に削片が剥離される。最終的な本体は35で、削片剥離面から両面に加工が行われる。分布は①比較的高密度の Sb－97のＨ25～Ｊ24区、②散漫な Sb－97のＨ24、Ｉ23区周辺に分けられ、①には折損前のほとんどの剥片、個体Ａの前半部、個体Ｂの削片39が、②には個体Ａの後半部、個体Ｂの削片39以外が分布する。

母岩別資料977・接合資料4207（図版367－２）は、転礫面と風化した古い剥離面がある転礫素材で、長さ20cm 程度、粗い剥離が行われた石刃核母型で搬入された可能性がある。正面から両側面への粗い石核調整の後、稜調整が行われる。上面の単剥離打面から頭部調整を伴う石刃が行われ、最後に、頭部調整の無い石刃が下面から剥離される。石刃核は高さ20cm 程度と大型で、剥離される石刃（292）も19cm と長い。石刃核は無く、搬出された可能性がある。分布は① Sb－97のＩ24区周辺、② Sb－99のＪ22区周辺に分けられ、②には良形の石刃が分布する。

母岩別資料1015・接合資料4286（図版368）は、平滑な原礫面を持つ角礫素材で、長さ21cm、上下面に剥離面がある状態で搬入される。上面・正面での打面の大きい粗い剥離による石核整形後、上設の単剥離打面から正面で頭部調整を伴う石刃剥離が行われるが、石刃剥離頻度は低く、良形の石刃はほとんど無い。遺物は Sb－97のＫ24区周辺にまとまって分布する。

母岩別資料1156・接合資料4655（図版369－１）は、平滑な原礫面を持つ角礫素材で、長さ21cm、左側面に大型の剥離面がある状態で搬入される。上面から正面への粗い剥離の後、正面で稜形成が行われ、上設打面から頭部調整を伴って石刃が剥離され、その最終段階では下縁調整が見られる。剥離される石刃は長さ10～14cm で、初期の大型品が欠落する。側縁部で剥離された断面三角形の厚手の石刃は舟底形石器435に加工され、折損後は折れ面から長軸方向の剥離が見られる。また、後半の小型の石刃には縁辺に細かい加工が行われ、削器410が製作される。その他、初期の厚手の剥片を素材として、三辺で縦長剥片が剥離され、その石核492は遺棄される。遺物は Sb－101のＫ18～Ｎ18区の広い範囲に散漫に分布し、初期段階の剥片が北側に偏って分布する。

母岩別資料1145・接合資料4630（図版369－２）は、平滑な原礫面を持つ角礫素材で、長さ16cm、上面に粗い剥離面がある状態で搬入される。上面・正面での粗い剥離、正面の稜調整後、上設の単剥離打面から正面へ頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。石刃核474は厚さが２cm 程度まで減少し、ほぼ消費され、石刃剥離が順調に行われたと思われる。石刃は長さ８～10cm で、ほとんどが欠落する。初期の厚手の石刃１点には舟底形石器に類似する加工が行われる。遺物は Sb－101のＬ19～Ｎ18区にやや散漫に分布する。

母岩別資料1050・接合資料4370（図版370－１）は、平滑な原礫面を持つ角礫素材で、長さ15cm、原石ないし原石に近い状態で搬入される。右側面下部調整、上設打面作出後、正面で頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。長さ９cm 前後の石刃が剥離され、トゥールに加工されるものを除くとほとん

どが欠落している。本接合資料では彫器１点（107）、掻器１点（161）、削器１点（185）が製作されている。Ⅱ類の彫器107は、先端部に反りの少ない長さ（8.5）cm 幅3.1cm の石刃素材で、両側縁に軽微な加工が施され、先端側に彫刀面が作出される。素材先端部と彫刀面との距離は1．4cm 程度で、全て彫刀面再生によるものとしても彫刀面再生は数回程度と思われる。掻器161は長さ９cm 程度の先端部が肥厚する反りのある石刃素材で、両側縁に加工が施され、先端部に弧状の厚手の刃部が作出される。素材からの変化が少なく、刃部再生頻度は低い。削器185は長さ８cm 程度の先端部にやや反りのある石刃素材で、両側縁に加工が施され、特に、右側縁に湾曲した素材の形状を残す加工が行われる。彫器には反りの少ない、掻器には反りのある石刃が特徴的に選択されている。遺物は Sb－97のＬ23、Ｎ21、Sb－98のM21、Sb－100のＪ19、Sb－101のＬ19、M19区の広い範囲に非常に散漫に分布し、段階・器種による偏りは見られない。

母岩別資料954・接合資料4138（図版370－２）は、平滑な原礫面を持つ角礫素材で、長さ16cm、原石ないし原石に近い状態で搬入される。左側面・上面の粗い交互剥離による石核調整後、正面で頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。石刃の剥離頻度は低く、そのうち、１点が彫器109に加工される。Ⅱ類の彫器109は長さ6.8cm 幅2.9cm の石刃素材で彫刀面周辺のみ加工が施され、先端側に彫刀面が作出される。素材端部と彫刀面の距離は１cm 程度で彫刀面再生頻度は低いと思われる。遺物は Sb－97のＨ23区周辺、Ｉ22・24区に分布する。

母岩別資料967・接合資料4176（図版370－３）は、平滑な原礫面を持つ角礫素材で、長さ16cm、原石ないし原石に近い形状で搬入される。正面から上面への剥離によって打面が作出され、正面で頭部調整を伴う石刃剥離が行われるが、その頻度は低い。打面作出剥片は腹面を、石核は打面をそれぞれ甲板面に設定し、甲板面からの剥離で舟底形石器に加工され、両者とも搬出される。舟底形石器は、その他に、同一母岩の接合資料に舟底形石器調整剥片があることから、１、２個体製作されている。遺物は Sb－97のＫ24区周辺にまとまって分布し、石刃の打面部１点がやや離れたＩ24区に分布する。

母岩別資料997・接合資料4251（図版371上）は、平滑な原礫面を持ち、角が潰れた亜角礫素材で、長さ14cm、上面に剥離面がある状態で搬入される。右側面下部の剥離以外の石核調整は行われずに、正面で頭部調整を伴って石刃が剥離され、途中で右側面調整が行われる。剥離される石刃（298など）の長さは６～９cm で、石刃剥離の頻度は高く、その多くは欠落し、搬出される。後半に剥離された石刃１点は彫器111に加工される。Ⅱ類の彫器111は長さ7.8cm 幅3.7cm の幅広で先端に軽く反りのある石刃素材で、彫刀面付近のみ加工が施され、先端側に彫刀面が作出される。彫刀面は腹面に傾き、その周辺にも剥離が見られる。素材端部と彫刀面の距離は１cm 程度で、彫刀面再生頻度は低い。ほとんどが Sb－97のＪ24～Ｌ23区にやや散漫に分布し、Sb－98のM21区に彫器、Sb－99のＩ21区に石刃核、Sb－101のＫ19区に折れていない良形の縦長剥片がやや離れて分布する。

母岩別資料1140・接合資料4622（図版371下）は、平滑な原礫面を持つ角礫素材で、長さ15cm、原石の状態で搬入される。上面の平坦な原礫面を打面として、粗い剥離による石核調整後、やや打面の大きい頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。その後、180度の打面転移により、下面から頭部調整を伴う石刃剥離が行われ、再度、打面転移によって上設打面から頭部調整の無い石刃が剥離される。剥離される石刃は長さ８～11cm で、欠落するものが多い。初期の粗い剥離段階での厚手の剥片は、素材左側面を打面として打面側・先端側の両端部で５cm 前後の縦長剥片が剥離され、石核327が遺棄される。遺物は Sb－101のＫ18～Ｎ18区に散漫に分布し、個体・段階による偏りは見られない。

母岩別資料1187・接合資料4745（図版372－１）は、平滑な原礫面を持つ角礫素材で、長さ11cm、原石の状態で搬入される。上面に打面作出後、正面で頭部調整を伴って６～９cm の石刃が剥離され、

最後に石刃核は、右側面下部への剥離によって二分割される。石刃剥離の途中で作業面下部調整が行われる。石刃は一部欠落し、厚手の打面作出剥片は甲板面である腹面からの加工で舟底形石器に整形され、本体は欠落する。ほとんどがSb－101のM18区周辺に分布し、石刃核を分割した最終段階の剥片と石核がやや離れてK18・L17区に分布する。また、同様にO19区にも2点分布するが、他の石器との違いは見られない。

母岩別資料984・接合資料4220（図版372－2）は、平滑な原礫面を持つ角礫素材で、長さ25cm、原石の状態で搬入される。正面から下面、右側面から上面への剥離後、上面から右側面にかけて裏面から剥離が行われ、その後半では頭部調整を伴って石刃が剥離される。その後、同一作業面で180度の打面転移が2回繰り返される。石刃剥離の頻度は低く、整った石刃はほとんど剥離されない。前半で剥離された厚手の剥片2点は、甲板面である腹面から加工され、舟底形石器に整形されるが、両者とも折損し、本体442・431は遺棄される。ほとんどがSb－97のⅠ22～L21区にやや散漫に分布し、離れたSb－95のⅠ26区には大型剥片が、Sb－100のH20、Ⅰ20・21区には石刃1点以外は普通の剥片が分布する。

母岩別資料1138・接合資料4620（図版373－1）は、平坦面が残り、角が潰れた亜角礫素材で、長さ17cm、上下に剥離面がある状態で搬入される。上面に作出された単剥離打面から正面・右側面で頭部調整を伴って石刃が剥離された後、下面・左側面で交互剥離が行われ、最後に左側面を打面として下面で頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。剥離される石刃は長さ8cm程度で、ほとんどが欠落している。左側面で剥離された厚手の剥片は両側縁にやや粗い加工が施され、削器414に整形される。分布は非常に散漫で、①Sb－97のK23～L22、②Sb－99のⅠ21・K21区に分けられ、①に主体的に分布し、②には厚手の大型剥片・石核が分布する。

母岩別資料999・接合資料4256（図版373－2）は、平滑な原礫面を持つ角礫素材で、長さ21cm、右側縁から両面に粗い剥離のある状態で搬入される。両面調整の途中、下面から正面への剥離の際に本体が二分割され、上部破片は横方向の石核調整の後、頭部調整を伴って8cm程度の石刃が剥離され、下部破片は打面と作業面を入れ替えながら交互剥離が行われる。最終剥離の剥片の側面には頭部調整に類似した剥離面が残り、下部破片でも石刃が剥離された可能性がある。上部破片では比較的整った石刃が剥離され、ほとんどが欠落している。下部破片で剥離された厚手の剥片は、片側面に主に腹面である甲板面から加工が施され、舟底形石器に整形されるが、本体257は遺棄される。ほとんどがSb－97のL22区周辺に分布し、石刃核のみSb－101のK19区に分布する。

母岩別資料1149・接合資料4640（図版374）は、爪状痕のある原礫面を持ち、直径2cm大の大型球顆を多く含む転礫素材で、長さ27cm、上面に1枚の剥離面がある状態で搬入される。正面で粗い剥離の後、頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。上設打面からの石刃剥離は、悪化した作業面形状を修復する下部調整を挟みながら継続され、最後はウートラパッセになった右側面下部を打面として左側面で頭部調整を伴う石刃が剥離される。石刃は、前半では15cm程度の整っていない形状のものが少量、後半では10cm程度の整った形状のものが連続して剥離され、後半の石刃が多く欠落している。前半の先細りの石刃1点は、先端部が尖頭状の削器（非掲載）に加工されている。遺物はSb－101・106のK17～N16区に分布し、M17区、N17区周辺の2か所に集中するが、それらには折れ面接合関係があり、本来一つの集中域が分断されたような分布形である。

母岩別資料1168・接合資料4687（図版375－1）は、爪状痕のある原礫面を持つ扁平な転礫素材で、長さ17cm、裏面に大型の剥離面がある状態で搬入される。石核調整を行わずに、裏面上部への剥離で打面が作出され、打面再生を繰り返しながら、正面の平坦な作業面で頭部調整を伴う幅広の石刃が

剥離される。扁平な原石形状を反映して、作業面は平坦で、側面調整などが行われずに石刃剥離が進行するため、石核の作業面も平坦である。剥離される石刃は、幅広で、長さ12cm 程度で、一部欠落している。遺物は Sb－102のⅠ18区周辺にまとまって分布する。

母岩別資料1143・接合資料4627（図版375－２）は、爪状痕のある原礫面を持つ扁平な転礫素材で、長さ15cm、裏面上部に１枚の剥離面がある状態で搬入される。裏面上部の単剥離打面から頭部調整を伴い、幅広で長さ10cm 程度の石刃が剥離され、石刃の一部は欠落する。石核調整は、剥離の最初の段階では見られないが、石刃剥離途中で左側面調整が行われる。本母岩は、大きさはやや小さいものの原石の形状・利用の仕方が母岩1168に類似する。遺物は Sb－102のⅠ18区周辺にまとまって分布する。

母岩別資料1047・接合資料4367（図版376）は、爪状痕のある原礫面を持つ転礫素材で、長さ24cm、原石の状態で搬入される。下部を中心とする剥離の後、上面・正面で交互剥離が行われ、最後に正面で頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。剥離される石刃は８～10cm で、ほとんどが欠落する。正面で上下から剥離された厚手の剥片は甲板面である腹面から加工が施され、舟底形石器に整形されるが、両者とも折損し、本体433・233は遺棄される。また、上面で剥離された厚手の剥片も部分的に加工が施される。遺物は Sb－97のＬ・M22区周辺にやや散漫に分布するが、個体・段階による偏りは見られない。

母岩別資料1122・接合資料4586（図版377）は、一部平坦面が残り、爪状痕のある原礫面を持つ転礫素材で、長さ26cm、裏面に大型の剥離面がある状態で搬入される。上下に打面が作出され、正面で上下から頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。上下の作業面は、最初は異なる平面で側面形が「く」の字状であるが、後半には側面形が弧状で同一の平面になる。剥離される石刃は、長さ10cm 程度で、ほとんどが欠落している。初期の下設打面から剥離された石刃３点は、削器（413）・錐形石器（175）・舟底形石器に加工される。削器413は７cm 程度の石刃素材で、右側縁にやや粗い加工が施され、折れ面である先端部から彫刀面状の剥離が見られる。錐形石器175は８cm 程度の石刃素材で、刃部のみ加工が施される。刃部は両側縁にノッチ状の剥離によって作出され、刃部には樋状の剥離面が残る。舟底形石器（非掲載）は厚手の石刃素材で、腹面から片側縁に数回粗い加工が行われる。分布は、段階によって偏りが見られ、上下の打面作出・初期の下設打面からの石刃剥離段階の遺物は Sb－97のH23～Ｊ24区の広い範囲に散漫に分布し、それ以降の遺物は Sb－97のＫ・Ｌ23区に高密度に分布する。また、それらと離れて、削器413が Sb－99のⅠ21区、錐形石器175が Sb－100のＪ19区、縦長剥片１点が Sb－102のⅠ19区に分布する。

母岩別資料994・接合資料4248（図版378上）は、一部平坦面が残り、爪状痕のある原礫面を持つ転礫素材で、長さ24cm、原石の状態で搬入される。上面に打面作出後、厚手の剥片が正面で剥離される。その後、下設打面が作出され、一部上設打面からの剥離を挟み、下設打面から頭部調整を伴って11～13cm の石刃が剥離される。石刃は整ったものが少なく、ほとんど欠落しない。初期の厚手の剥片２点には１回の粗い加工が施される。遺物は Sb－97のＪ24～Ｌ23区に散漫に分布するが、段階・個体の違いは見られない。

母岩別資料1063・接合資料4401（図版378下）は、一部平坦面が残り、角が丸くなった転礫を素材として、長さ17cm、原石の状態で搬入される。正面からの剥離で上設打面作出後、主に正面で頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。剥離される石刃は長さ10cm 程度で、後半の比較的良形のものが欠落している。断面三角形の厚手で大型の打面作出剥片（個体Ａ）は、甲板面である腹面から加工が施され、舟底形石器に加工され、搬出されている。ほとんどが Sb－97のH24区周辺に分布し、離れた

Ｋ・Ｌ23区には個体Ａの最終段階の調整剥片が分布するため、個体Ａの最終段階のみＫ・Ｌ23区で行われた可能性がある。

母岩別資料1170・接合資料4692（図版379）は、一部平坦面が残り、角が丸くなった転礫素材で、長さ21cm、原石ないし原石の状態で搬入される。正面からの剥離で上設打面作出後、上面から正面・右側面、左側面下部、正面下部で粗い剥離による石核調整が行われ、正面で頭部調整を伴って連続的に多くの石刃が剥離される。剥離される石刃は10～13cm で、約半分が欠落している。本接合資料では打面作出剥片（個体Ａ）・初期の厚手の石核調整剥片（個体Ｂ～Ｄ）を素材として４点の舟底形石器が製作されている。加工は全て甲板面である腹面から行われ、本体は個体Ｂの438を除いて欠落している。遺物はＬ19～Ｎ18区にやや散漫に分布し、個体による偏りは見られない。

母岩別資料1119・接合資料4579（図版380－１）は、風化した古い剥離面とザラついた平坦な原礫面を持つ亜角礫素材で、長さ15cm、原石ないし原石に近い状態で搬入される。上面から右側面への剥離の後、正面から上面への剥離によって打面が作出され、正面で頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。最終剥離は打面の大きい粗い剥離である。剥離される石刃は長さ７～11cm で、後半段階の石刃のほとんどが欠落している。打面作出剥片（個体Ａ）は甲板面である腹面から加工が施され、舟底形石器に加工されるが、本体は欠落し、搬出されている。ほとんどの遺物が Sb－97のＬ23～M21区に分布し、個体・段階の偏りは見られず、最初に剥離された剥片１点がやや離れた Sb－100のＫ19区に分布する。

母岩別資料953・接合資料4137（図版380－２）は、風化した古い剥離面とあばた状の原礫面を持つ亜角礫素材で、長さ15cm、上面に剥離面のある状態で搬入される。上面への剥離で作出された打面から打面の大きい粗い剥離によって石核調整が行われ、頭部調整を伴って７～11cm の石刃が剥離される。石刃剥離頻度は高くないが、良形の石刃が剥離され、数本が欠落している。最終剥離面が波打ち、剥離が終了した残核466の右側面の稜は潰れ、その周辺にはパンチ痕が見られる。石核調整の際に正面で剥離された厚手の剥片（個体Ａ）は甲板面である腹面から加工が施され、舟底形石器に整形されるが、本体は欠落している。ほとんどが Sb－97のＫ23区南東部周辺にまとまって分布し、やや離れた Sb－98・99のＫ21・M21区には良形の石刃が、Sb－99のＩ22区には石刃核が分布する。

母岩別資料1161・接合資料4667（図版381－１）は、爪状痕のある原礫面を持つ転礫素材で、長さ15cm、原石の状態で搬入される。正面からの剥離で上設打面が作出され、正面・左右側面で原礫面を除去する頭部調整の無い粗い石核調整後、頭部調整を伴って長さ７・８cm の石刃が剥離される。石刃剥離頻度は比較的高く、欠落する石刃が多い。厚手の打面作出剥片（個体Ａ）は、甲板面である腹面から加工が施されるが、本体は欠落している。遺物はM18・19区周辺にまとまって分布し、個体Ａ・石刃はその中心部に、石核調整剥片は周辺部に分布する。

母岩別資料981・接合資料4216（図版381－２）は、平坦面が残り、角が丸くなった亜角礫素材で、長さ17cm、原石ないし原石に近い状態で搬入される。上面の原礫面から裏面への粗い剥離の後、左側面・正面で粗い剥離が行われる。その後、左側面から下面への剥離面を打面として左側面で剥離が行われる。その後半に、頭部調整を伴う剥離が正面・左側面で行われるが、良形の石刃は剥離されていない。ほとんどの遺物が Sb－97のＪ23区周辺に分布し、やや離れたＨ22区に厚手の剥片が分布している。

母岩別資料989・接合資料4229（図版381－３）は、あばた状の原礫面を持つ転礫素材で、長さ11cm、原石ないし原石に近い状態で搬入される。正面からの剥離で上設打面が作出され、正面・左側面で原礫面を除去する頭部調整の無い粗い石核調整後、頭部調整を伴って長さ８cm 前後の石刃が剥離され

る。作業面に凹凸ができた段階で正面から上面に剥離が行われ、剥離が終了する。石刃の剥離頻度は高くは無いが、一部の石刃が欠落している。遺物のほとんどがSb－97のM21区周辺に分布するが、石刃２点・石刃核はその周辺部に分布している。

母岩別資料1166・接合資料4682（図版382－１）は、あばた状の原礫面を持つ転礫素材で、長さ11cm、上面に剥離面がある状態で搬入される。上設の単剥離打面から正面で頭部調整を伴う石刃が剥離された後、右側面から打面再生が行われ、右側面に作業面を転移し、頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。前半に正面で剥離される石刃は８・９cm、後半に右側面で剥離される石刃は５・６cmで、両者とも多くが欠落している。遺物はSb－101のＬ19～Ｏ19区にまとまって分布する。

母岩別資料988・接合資料4228（図版382－２）は、一部平坦面が残り、角が丸くなった転礫素材で、長さ16cm、原石ないし原石に近い状態で搬入される。正面からの剥離で上設打面が作出された後、正面・右側面で頭部調整を伴って石刃が剥離されるが、良形の石刃は剥離されていない。最後は石刃核を縦に二分割する粗い剥離が行われ、石核（個体Ａ）を素材として舟底形石器が製作される。個体Ａは作業面を甲板面に設定し、甲板面から加工が施されるが、本体（図版402－12）は遺棄されている。遺物は全てＩ24・25、Ｊ24・25区にまとまって分布している。

母岩別資料1162・接合資料4668（図版382－３）は、あばた状の原礫面を持つ非常に小型の転礫素材で、長さ９cm、おそらく原石の状態で搬入される。正面からの剥離で上設打面作出後、両側面で粗い石核調整が行われ、作業面幅を減少させた後、頭部調整を伴って５cm程度の小型の石刃が剥離される。石刃剥離頻度は低く、欠落するものも少ない。遺物はやや離れたSb－101のＬ17区に分布する石刃核を除いて、Sb－101のM18・19区に高密度に分布する。

母岩別資料1128・接合資料4597（図版383－１）は、風化した古い剥離面とザラついた転礫面を持つ転礫素材で、搬入形態は不明である。大型の原石を分割したような扁平な分割面を持つ大型の剥片素材で、裏面から右側面への大型の平坦剥離が行われ、中央で折損する。折損後は両破片とも折れ面を打面として側面で頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。８～10cmの石刃が剥離され、一部は欠落している。本接合資料では、錐形石器２点（177・179）、舟底形石器１点（437）が製作されている。錐形石器177は、長さ6.7cm幅2.5cmの短い石刃素材である。素材端部と刃部末端部の距離は1.2cmで、刃部再生がある程度行われた可能性がある。錐形石器179は、長さ不明、幅3.0cmの石刃素材である。素材の長さは厳密には不明であるが、剥離面の状況から素材と石器の長さはほとんど違いが無いと思われる。錐形石器は同一母岩の接合資料4596でも１点（178）製作されている。接合4596は接合4597との関係は不明であるが、石刃剥離が行われている。錐形石器178は、長さ7.5cm幅2.6cmの石刃素材である。素材端部と刃部末端部の距離は2.6cmで、刃部再生がある程度行われた可能性がある。これら３点の錐形石器の加工は酷似し、全て刃部のみに施され、両側縁へのノッチ状の加工によって刃部が作出される。また、177・179の刃部には樋状剥離が見られる。大きさは177・178が類似し、刃部が左側に偏る形状も一致する。舟底形石器437は折損前の幅広の剥片を素材として甲板面である腹面から加工が行われ、折損後、遺棄される。

分布は①Sb－97のＫ23～M22区、②Sb－98・100～102に分けられ、両者ともに散漫な分布である。①に分布の主体があり、②のSb－98（Ｌ22区）には舟底形石器437、Sb－100～102（Ｉ19～M19区）には錐形石器・石刃の一部が分布し、特にSb－100（Ｋ19区）には錐形石器２点が分布する。

母岩別資料1030・接合資料4327（図版383－２）は、平滑な原礫面を持つ角礫素材で、長さ19cm、正面に剥離面がある状態で搬入される。左側面に上面からの剥離の後、正面から上面、上面から正面への頭部調整が無い打面の大きい粗い剥離が交互に行われ、厚手の剥片が剥離される。遺物は全てSb

－97のＬ21・22、M21・22区に分布する。

母岩別資料1090・接合資料4521（図版384－１）は、一部平坦面が残り、角が丸くなった小型の転礫素材で、長さ10cm、粗い剥離面がある状態で搬入される。上面の平坦剥離面を打面として正面で頭部調整の無い打面の大きい厚手の剥片が連続して行われるが、ほとんどが途中で階段状に割れ、加工されるものは無い。石核・剥片１点を除き、Sb－97のＪ24・25区に高密度に分布し、石核はやや離れてＫ24区に、剥片１点はＬ24区に分布する。

母岩別資料1060・接合資料4398（図版384－２）は、平滑な原礫面を持つ角礫素材で、長さ９cm、原石ないし原石に近い状態で搬入される。上面の原礫面を打面として頭部調整を伴わずに正面で剥片が剥離されるが、階段状になるものが多く、まともに剥離されていない。全てSb－97のＬ・M22区に近接して分布している。

母岩別資料1118・接合資料4578（図版384－３）は、爪状痕のある原礫面を持つ転礫素材で、長さ17cm、原石の状態で搬入される。正面から上面への剥離で打面が作出された後、裏面・両側面で原礫面を除去する打面の大きい頭部調整の無い粗い石核調整が行われる。その後、裏面で石刃を剥離しようとしているが打面が潰れ、石刃は剥離されていない。次に、右側面から打面再生が行われ、裏面で頭部調整を伴う長さ８cm程度の石刃が剥離され、それらは欠落し、搬出される。厚手の打面作出剥片（個体Ａ）は甲板面である腹面から加工が行われ、本体は欠落している。分布は①Sb－97のＫ23区周辺、②Sb－97のM21区周辺に分けられ、①はやや散漫な、②は高密度な分布である。①には個体Ａ、②には打面再生後の石刃・石刃核が、それら以外は①②両方に分布する。

母岩別資料1123・接合資料4588（図版385－１）は、爪状痕のある原礫面を持つ転礫素材で、長さ19cm、原石の状態で搬入される。右側面で上面から粗い剥離が行われた後、右側面から上面への剥離で打面が作出される。次に正面・右側面に粗い剥離によって石核調整が行われた後、頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。その後、正面からの打面再生、裏面上部に両側縁から石核調整が行われ、再度正面で石刃が剥離される。剥離される石刃は長さ10cm程度で、剥離頻度は低いが、良形のものが剥離され、そのうち数本は欠落している。また、石刃素材の削器187は右側縁に連続的な加工が施されるが、加工の最終剥離で折損し、遺棄される。分布は①Sb－97のＬ22区周辺、②Sb－98のM20区周辺、③Sb－101のＬ19区周辺に分けられ、全て散漫な分布である。分布の主体は①で、②には石刃核と厚手の剥片１点が、③には削器・良形の石刃１点が分布する。

母岩別資料1042・接合資料4353（図版385－２）は、一部平坦面が残り、角が丸くなった転礫素材で、長さ17cm、上面に剥離面がある状態で搬入される。正面・左右側面で原礫面を除去する打面の大きい頭部調整の無い粗い剥離が行われ、最後に右側面を取り去る剥離により石核形状が大きく変化した状態で剥離が終了する。このような粗い剥離は、頭部調整を伴う石刃剥離直前の石核調整段階で頻繁に見られるもので、本接合資料はその段階で石核形状が悪化し、遺棄されたものと思われる。遺物は全てSb－97のＬ22、M21・22区の狭い範囲に集中して分布している。

母岩別資料1181・接合資料4730（図版386上）は、一部平坦面が残り、角が丸くなった転礫素材で、長さ12cm、上面に剥離面がある状態で搬入される。右側面で下面から厚手の剥片剥離後、正面で打面厚1.5cm程度の厚手の縦長剥片が剥離される。右側面の剥片１点（個体Ａ）、正面の剥片１点（個体Ｂ）、石核（個体Ｃ）は舟底形石器に加工される。個体Ａは甲板面である腹面から加工が行われ、折損後、本体426が遺棄される。個体Ｂは、甲板面である腹面からの加工によって断面が三角形になった時点で下縁からの加工が行われ、さらに甲板面から加工される。個体Ｃは作業面を甲板面に設定し、甲板面から加工が行われる。個体Ｂ・Ｃは本体が欠落し、搬出される。個体に関わらずSb－97のＬ・

M22区周辺に分布し、舟底形石器426と個体Ａ・Ｂの調整剥片の一部が周辺のSb－98・100に分布する。

母岩別資料1005・接合資料4272（図版386中）は、平滑な曲面とあばた状の原礫面を持つ亜角礫素材で、長さ18cm、原石の形状で搬入される。正面から上面への剥離後、上面から正面、正面から下面への剥離が行われ、最後に下面から両側面に剥離が行われる。遺物は１点を除き、Sb－97のＫ23～M22区に非常に散漫に分布し、厚手の剥片１点はSb－100のＫ20区に分布する

母岩別資料1116・接合資料4576（図版386下）は、一部平坦面が残り、角が丸くなった転礫素材で、長さ21cm、正面に大型の剥離面がある状態で搬入される。上面から左側面へ大型剥片の剥離後、左側面から下面、正面から下面に粗い剥離が行われる。その後、左側面から裏面への剥離が行われ、最後は石核（個体Ｃ）を素材として正面の作業面を甲板面に設定し、甲板面からの加工で舟底形石器が製作される。左側面の剥片（個体Ａ）は、小口面で厚手の縦長剥片が剥離され、下面の剥片（個体Ｂ）は、甲板面である腹面からの加工により舟底形石器に整形されるが、本体は欠落する。分布は①Sb－97のＫ23～M21区、②Sb－98・100に分けられ、①はやや散漫に、②は散漫に分布する。個体Ａは②のSb－98（Ｌ20区）、Sb－100（Ｋ20区）に、大型剥片２点はSb－98（Ｌ21・M20区）に分布し、それ以外は①のＬ21区に分布する。

母岩別資料986・接合資料4226（図版387－１）は、爪状痕のある原礫面を持つ転礫素材で、長さ18cm、上・左・裏面に大型の剥離面がある状態で搬入される。左側面から正面への粗い剥離の後、右側面で細長い縦長剥片が剥離される。左側面から正面で剥離された厚手の剥片である個体Ａは削器に、個体Ｂは舟底形石器に、右側面で剥離された縦長剥片（個体Ｃ）、石核（個体Ｄ）は舟底形石器に加工される。個体Ａは左側縁に粗い加工が施され、削器本体（図版402－11）は遺棄される。個体Ｂは腹面を、個体Ｃは右側面を、個体Ｄは作業面を甲板面に設定し、個体Ｂ・Ｄは甲板面からのみ加工が行われ、個体Ｃは下縁からの加工も行われる。舟底形石器本体は個体Ｂ・Ｄが欠落し、個体Ｃは折損後、275が遺棄される。遺物はSb－97のＪ24～Ｌ23区に散漫に分布し、個体による偏りは見られない。

母岩別資料1078・接合資料4493（図版387－２）は、爪状痕のある原礫面を持つ転礫素材で、長さ17cm、原石の状態で搬入される。左側面上部に正面から剥離が行われた後、その剥離面を打面として右側面上部で剥離が行われる。以後、それらの剥離面が傾き、上面と正面で交互剥離が行われ、最後に下面からの剥離で石核が分割される。交互剥離で剥離された厚手の剥片３点（個体Ａ～Ｃ）と石核（個体Ｅ）は舟底形石器に加工され、最後に分割された剥片（個体Ｄ）は剥片が剥離される。個体Ａ～Ｃは素材腹面を、個体Ｅは作業面を甲板面に設定し、加工は甲板面から施され、個体Ｂ・Ｅの最終段階には下縁からの加工も見られる。舟底形石器本体は、個体Ｂは折損後に439が、個体Ｅは折損した破片450が遺棄され、個体Ａ・Ｃは欠落している。遺物は個体に関わらず、Sb－97のＩ・Ｊ24区周辺に比較的高密度に分布し、やや離れたH23区に厚手の剥片、Sb－99のH21区に個体Ｅの本体450が分布する。

母岩別資料987・接合資料4227（図版388－１）は、あばた状の原礫面を持つ転礫素材で、長さ16cm、原石の状態で搬入される。正面から裏面、上面から左側面、左側面から正面上部、裏面から左側面への打面の大きい粗い剥離が打面を転移させながら行われ、厚手の剥片が剥離される。上面から左側面で剥離された剥片を除き、石核を含めた４個体（個体Ａ～Ｄ）が舟底形石器に加工される。剥片素材は全て腹面を、石核素材は作業面を甲板面に設定し、個体Ｃ、石核素材の個体Ｄは甲板面からのみ加工が行われ、個体Ａ・Ｂは下縁からの加工も見られる。折損した個体Ａ（441）、完形の個体Ｃ（443）・

Ｄ（446）の本体は遺棄され、個体Ｂの本体は欠落し、搬出されている。遺物は個体に関係なくSb－97のＬ23～Ｎ21区にやや散漫に分布し、個体Ｄの舟底形石器446のみが離れたSb－101のＬ19区に分布する。

母岩別資料1178・接合資料4718（図版388－２）は、一部平坦面が残り、爪状痕のある原礫面を持つ転礫素材で、長さ18cm、原石の形状で搬入される。上面から下面への剥離で大型剥片が剥離された後、その面を打面として左右側面に粗い石核調整が行われ、頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。石刃剥離は打面が潰れて、良形の石刃は剥離されず、最後まで打面は潰れ、石刃核485にも階段状の剥離面が残る。最初に右側面で剥離された大型剥片（個体Ａ）、石核調整時の厚手の剥片（個体Ｂ）は甲板面である腹面からの加工で舟底形石器に加工される。個体Ａの本体422は折損後、遺棄され、個体Ｂの本体429は粗い加工段階で遺棄される。分布は①Sb－101のＬ19・M18区周辺、②Sb－101のＫ18・Ｌ17区周辺に分けられ、両者とも散漫な分布である。①には最終段階を除く遺物が、②には最終段階の遺物が多く、個体Ａは両者に、個体Ｂは②に分布する。

母岩別資料1106・接合資料4554（図版389－１）は、爪状痕のある原礫面を持つ転礫素材で、長さ15cm、正面に大きい剥離面がある状態で搬入される。上面から正面への剥離の後、石核は下面から右側面への剥離で縦に二分され、それぞれ舟底形石器に加工される。剥片素材の個体Ａは腹面を、石核素材の個体Ｂは作業面を甲板面に設定し、甲板面からの加工で整形され、個体Ｂの最初の段階では端部に下縁からの加工が見られる。本体は個体Ａ・Ｂとも折損後、それぞれ424・445が遺棄される。遺物は個体に関わらずSb－97のＫ22～M22区に散漫に分布する。

母岩別資料1080・接合資料4499（図版389－２）は、平滑な原礫面と平坦な転礫面を持ち、角が潰れた転礫素材で、長さ15cm、原石の状態で搬入される。上下面で剥離後、正面からの剥離で石核が二分割され、剥片（個体Ａ）・石核（個体Ｂ）は舟底形石器に加工される。個体Ａは甲板面である腹面から加工され、個体Ｂは作業面を甲板面に設定し、甲板面からの加工によって断面三角形になった段階で下縁調整が行われ、再び甲板面から加工される。両者とも本体は欠落している。分布は①Sb－97のＩ・Ｊ24区周辺、②Sb－97のＩ23区に分けられ、②には厚手の剥片２点が、①にはそれ以外の遺物が個体に関わらず分布する。

母岩別資料1107・接合資料4555（図版389－３）は、一部平坦面が残り、角が丸くなった転礫素材で、長さ12cm、原石の状態で搬入される。上面から正面への剥離が４回行われ、その最終剥離で石核が二分割され、最終剥離の剥片（個体Ａ）と石核（個体Ｂ）は舟底形石器に加工される。個体Ａは腹面を、個体Ｂは作業面を甲板面に設定し、甲板面から加工が行われ、個体Ａ・Ｂとも粗い加工段階で、本体444・434が遺棄される。遺物は個体に関わらずSb－97のＬ・M22区に散漫に分布する。

母岩別資料1184・接合資料4733（図版389－４）は、平滑な原礫面を持つ角礫素材で、長さ10cm、原石の状態で搬入される。上面から正面への剥離で二分割した後、折れた剥片（個体Ａ）の肥厚した先端側で剥離が行われ、その石核（個体ａ）を素材として舟底形石器が製作される。個体ａは作業面を甲板面に設定し、甲板面から加工が行われ、最終的に本体は欠落している。遺物はSb－101のM19区周辺に分布し、個体による偏りは見られない。

母岩別資料1165・接合資料4681（図版390－１）は、あばた状の原礫面を持つ転礫素材で、長さ11cm、原石の状態で搬入される。中央で縦に二分割した後、剥片（個体Ａ）は甲板面である腹面からの加工により舟底形石器に加工され、石核は右側面・下面・裏面に粗い剥離が行われる。個体Ａは最終剥離で中央から折損し、428が遺棄される。遺物はSb－101のＬ19～Ｎ18区に分布し、個体Ａは散漫に、個体Ａ以外は近接して分布する。

母岩別資料1048・接合資料4368（図版390－２）は、風化によりザラついた平坦な原礫面を持ち、角が丸くなった転礫素材で、長さ12cm、正面に１枚の剥離面がある状態で搬入される。正面から上面への粗い剥離、正面から右側面へ厚手の剥片剥離後、石核を素材として上面を甲板面に設定し、甲板面からの加工で舟底形石器が製作される。最終的に本体は折損し、448が遺棄される。上面・右側面で剥離された厚手の剥片は粗い加工が行われるが、両者とも折損し、本体（二次加工ある剥片）は遺棄される。遺物はSb－97のＫ22～Ｍ21区にまとまって分布し、個体による偏りは見られない。

母岩別資料1021・接合資料4298（図版390－３）は、平滑な原礫面を持つ角礫素材で、長さ14cm、上面に剥離面がある状態で搬入される。裏面の小口面で厚手の縦長剥片剥離後、上面を甲板面とした舟底形石器の調整剥離が行われる。まず、上面から右側面への加工が行われ、その剥離がヒンジになり､段差が生じた時点でその段差を除去するように左側面下部から右側面へ加工が行われる｡さらに、その面を打面として左側面に下縁調整が施され、再度甲板面から左側面に加工が行われる。本体は欠落し、搬出されている。遺物はSb－97のＫ22～Ｍ22区に散漫に分布する。

母岩別資料1008・接合資料4276（図版391－１）は、あばた状の原礫面を持つ転礫素材で、おそらく原石の状態で搬入される。原石を二分割したと思われる半球状の剥片素材で甲板面である腹面からの加工で舟底形石器が製作される。加工は、初期段階から側縁が直線的になるように行われ、側縁全体を一剥離単位として、両側縁で交互に進行する。舟底形石器436の折損後、再加工が行われ、本体は搬出される。遺物はSb－97のＬ21～Ｎ21区にやや散漫に分布し、１点（厚手の剥片）はSb－101のＬ19区に、１点（普通の剥片）はSb－100のＫ20区に離れて分布する。

母岩別資料1075・接合資料4481（図版391－２）は、平坦な原礫面が残り、角が潰れた転礫素材で、長さ９cm、原石ないし原石に近い状態で搬入される。上面から正面への剥離後、上部両面で交互剥離が行われる。遺物は石核を除いてSb－97のＫ23区周辺に分布し、石核はSb－101のＬ19区に分布する。

接合資料5821（図版391－３）は、原石形状は不明で、尖頭器で搬入された可能性がある。器体の中央に平坦剥離、縁辺に平行剥離が見られる薄手の尖頭器が、正面右からの加工で折損した後、右側縁で折れ面から削片剥離が行われる。削片は一次削片のみ剥離され、尖頭器本体の３分の１を取り込み、加工は見られない。尖頭器はＬ19区、削片はSb－101のＬ18区に分布し、両者は近接している。

接合資料5824（図版391－４）は、表面が平坦剥離で覆われ、正面にやや凹凸が見られる薄手の尖頭器が、左側縁から正面への剥離で折損した後、右側縁で折れ面から削片剥離が行われる。削片は一次削片のみ剥離され、尖頭器末端部を取り込み、加工は見られない。尖頭器はSb－100のＫ19区、削片はSb－102のＪ19区に分布し、両者は比較的近接している。　（鈴木宏行）

（11）Ｋ区・石器ブロック108～111（Sb－108～111）の石器

出土石器（表Ⅲ－11・12）

尖頭器17点（Ⅰ類16点、Ⅱ類１点）、尖頭器削片１点、両面調整石器２点、彫器２点（Ⅰ類１点、Ⅱ類１点）、掻器３点、削器15点、舟底形石器30点（Ⅰａ類１点、Ⅱａ類27点、Ⅱｂ類２点）、二次加工ある剥片１点、石刃43点、縦長剥片48点、石刃核６点、石核15点、剥片3,200点の計3,383点、重量32,904.8gの石器類が出土した。石材は黒曜石４が43.0％で最も多く、黒曜石１（41.6％）、黒曜石５（8.0％）、黒曜石２（3.7％）が続き、以下黒曜石３（3.5％）、安山岩（0.06％）、頁岩（0.06％）、めのう（0.06％）である。小型舟底形石器石器群にほぼ限定される、西地区で最も小規模な石器ブロック群である。ブロック群全体の石材組成と比べ、黒曜石１の比率が高いのは石刃（58％）で、黒曜

石４の比率が高いのは舟底形石器（77%）、縦長剥片（63%）、石刃核（83%）、石核（73%）である。

尖頭器（図Ⅲ－496－１～図Ⅲ－497－５、図版392、図版394－27）

８点（４個体とⅠ層出土１個体を加えた５個体）を図示し、１点（１個体）を写真のみ掲載している。１は最大幅が基部側の３分の１に位置する小型の柳葉形の尖頭器で、押圧剥離と見られる細かい剥離面で覆われ、先端部には衝撃剥離の可能性のある樋状剥離が見られる。産地分析では赤石山産、水和層年代測定では20,230±679年 B.P.という結果が得られている。２は両端を欠損している薄手の細長い尖頭器で、加工は平坦剥離と平行剥離面で構成される。３～５は大部分の比較的粗い平坦剥離面と縁辺の細かい平坦剥離面で構成されるやや粗い段階のもので、表面には剥離面の段差や瘤が残り、滑らかではなく、全て最終的に器体中央付近の厚みを除去するための調整剥離が原因で折損している。４・５は25cm を超える大型品である。５の裏面には平滑な角礫面が大きく残存し、右側面の瘤状の原礫面を除去できずに折損している。図版394－27はめのう製の剥片素材で、加工が判別しにくいが左側縁に加工が見られる。

両面調整石器（図Ⅲ－497－６、図Ⅲ－498－７、図版393）

２点（１個体とⅠ層出土１個体を加えた２個体）を図示している。６は非常に厚手の大型剥片素材で、正面では斜角の求心状の剥離が、裏面では正面の加工を切る平坦剥離が行われる。平面形は楕円形で、断面形は半月形に近い。７は転礫から剥離された厚手の大型剥片素材で、正面は両側縁全体に加工が行われ、裏面は両側縁の一部に加工が行われる。加工は大型の平坦剥離と縁辺部の細かい剥離で構成される。

彫器（図Ⅲ－498－８・９、図版393）

２点(２個体)を図示している。８はⅠ類の斜刃の彫器で、彫刀面の背面側には微細剥離痕がある。９はⅡ類の彫器である。両者とも石刃素材で周縁加工は両面に行われるが、９は加工による変形度が高く、裏面加工の範囲も広い。彫刀面は素材先端側に作出され、９には背面先端部調整が見られる。

掻器（図Ⅲ－498－10・11、図版393）

２点（２個体）を図示している。10は石刃素材で、周縁加工は背面両側縁・腹面基部に行われ、刃部は直線的で斜めに傾く。11は扇形の剥片素材で、背面両側縁に加工が行われ、刃部は弧状である。素材面の稜線は潰れ、表面は傷が多く、二次加工面にはそれらが認められず、多段階表面変化が確認できる。産地分析では、所山産の結果が得られた。

削器（図Ⅲ－498－12・13、図Ⅲ－513－７、図版393・402、図版394－28）

３点（３個体）を図示し、２点（１個体）を写真のみ掲載している。12は打面調整・頭部調整が認められ、縁辺部が直線的（山形ではない）に潰された打面のある良形の石刃素材で、左側縁下半部に細かい平坦剥離が連続する加工が見られ、それ以外には部分的に不連続な加工が見られる。13・図版394－28は背面に転礫面が残る剥片素材で、13は両側縁に、図版394－28は左側縁に粗い加工が行われる。図Ⅲ－513－７は頭部調整のある石刃素材で両側縁に連続した細かい加工が施される。素材面の稜線は潰れ、表面に傷が見られる。産地分析では、所山産の結果が得られた。

舟底形石器（図Ⅲ－498－14～図Ⅲ－499－19、図版393・394、図版394－29・30）

７点（５個体とⅠ層出土１個体を加えた６個体）を図示し、２点（２個体）を写真のみ掲載している。14は尖頭器削片素材のⅠａ類である。加工は、左側面は下縁から、右側面は上下から行われるが、端部で細石刃状の剥離は行われない。15～19・図版394－29・30はⅡａ類で、石核素材である18以外は剥片素材である。加工は全て甲板面からのみ行われ、素材長軸と石器長軸は、直交する図版394－30以外全て一致する。15・図版394－30には転礫面が、16～19には角礫面が残る。

石刃（図Ⅲ－499－20、図版394）

１点（１個体）を図示している。20は頭部調整のある単剥離打面を持つ頁岩製の石刃である。長さは６cmで、下端部には原礫面があることから石刃核もほぼ同じ高さの小型品であったと考えられる。

石刃核（図Ⅲ－499－21、図版394、図版394－31～33）

１点（１個体）を図示し、３点（２個体とⅠ層出土１個体を加えた３個体）を写真のみ掲載している。21は裏面に大型の剥離面が残り、頭部調整のある単剥離打面を持つ石刃核である。左側面には正面の石刃剥離面を切る大型の剥離面があり、最後にその面を打面として裏面に剥離が行われる。左側面にはパンチ痕が残り、さらに石刃核を分割する意図が伺える。頭部調整を伴う石刃剥離後、舟底形石器の素材にするために石刃核を分割する剥離が左側面・裏面で行われたと思われる。図版394－31は裏面で下部からの剥離の後、上設打面が作出され、正面で頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。図版394－32は単剥離打面から頭部調整を伴う正面での石刃剥離後、下から左側面・裏面から右側面への剥離が行われる。図版394－33は打面・裏面に平滑な原礫面が残り、原礫面打面から正面で石刃が剥離される。図版394－31～33は角礫素材である。

石核（図Ⅲ－499－22・23、図版394、図版395－34～36）

３点（２個体）を図示し、３点（３個体）を写真のみ掲載している。22は剥片素材で原礫面打面から細長い剥片が剥離され、23・図版395－34は10cm以下の小型の原石を素材として単剥離打面から頭部調整なしで厚手の剥片が剥離される。図版395－35・36は１・２枚の剥離のみ行われた原石に近い石核で、選択された原石形状を反映している。亜角礫である22を除き転礫である。

石器ブロック108～111の分布状況

調査区の西端に位置し、西側は段丘の縁に接している。標高は443.5～446.0mである。本遺跡は巨視的に見ると東地区では全体（Ａ～Ｆ区）が連続し、西地区でもＧ～Ｊ区が連続した、それぞれ８万点、12万点の巨大な集中域を形成している。本ブロック群はこれらに比べ非常に小規模(3,383点)であるが、Ｇ～Ｊ区とは空白域を挟んで独立して分布する特徴的なあり方を示している。また、調査区の北側は深い沢によって侵食され、石器ブロックの一部が失われている可能性がある。

石器ブロック108（Sb－108）の分布（図Ⅲ－500、表Ⅲ－11・12）

Ｌ10・11、M11区の９×６mの範囲で確認された。尖頭器２点（Ⅰ類２点）、石刃１点、剥片41点の計44点、181.1gの石器類が出土した。石材は黒曜石１が63.6%を占め、以下黒曜石５（31.8%）、黒曜石４（4.5%）である。尖頭器調整剥片が分布する非常に小規模なブロックである。

石器ブロック109（Sb－109）の分布（図Ⅲ－500・501、表Ⅲ－11・12）

Ｍ８・９、Ｎ６～９、Ｏ７・８、Ｐ８区の14×12mの範囲で確認され、分布は北側の調査区外に若干広がっていた可能性がある。尖頭器１点（Ⅰ類１点）、彫器１点（Ⅱ類１点）、掻器２点、削器４点、舟底形石器14点（Ⅰａ類１点、Ⅱａ類13点）、石刃17点、縦長剥片９点、石刃核２点、石核６点、剥片887点の計943点、10,639.3gの石器類が出土した。石材は黒曜石１が46.9%を占め、以下黒曜石４（40.5%）、黒曜石５（6.4%）、黒曜石３（5.9%）、めのう（0.2%）、頁岩（0.1%）である。トゥールは舟底形石器が多数出土している。ブロック全体の石材組成と比べ、石刃（76%）・石刃素材の石器類は黒曜石１の比率が高く、舟底形石器（86%）・石核（83%）は黒曜石４の比率が高い。分布は高密度のＮ８区とその周辺の小規模な集中域に分けられ、トゥールはＮ８区にまとまって分布し、一部Ｎ・Ｏ７区に分布する。

石器ブロック110（Sb－110）の分布（図Ⅲ－501・502、表Ⅲ－11・12）

Ｎ３～６、Ｏ２～７、Ｐ２～６、Ｑ３～５、Ｒ４・５、Ｓ５区の24×19mの範囲で確認され、分布は北側の調査区外に若干広がっていた可能性がある。尖頭器13点（Ⅰ類13点）、両面調整石器１点、彫器１点（Ⅰ類１点）、掻器１点、削器11点、舟底形石器16点（Ⅱａ類14点、Ⅱｂ類２点）、二次加工ある剥片１点、石刃21点、縦長剥片38点、石刃核４点、石核９点、剥片2,124点の計2,240点、20,019.6gの石器類が出土した。石材は黒曜石４が44.1％を占め、以下黒曜石１（38.9％）、黒曜石５（8.4％）、黒曜石２（5.6％）、黒曜石３（2.8％）、安山岩（0.09％）、頁岩（0.05％）である。本ブロック群では最も点数の多いブロックである。ブロック全体の石材組成と比べ、舟底形石器（69％）・縦長剥片（71％）・石刃核（100％）・石核（67％）は黒曜石４の比率が高い。分布は①高密度のＮ４、Ｏ４・５、Ｐ５、Ｑ５区、小規模な②Ｎ５・６区周辺、③Ｐ３・４、Ｑ３区周辺に分けられ、ほとんどのトゥールは①に分布し、②には石刃類がまとまっている。柳葉形の小型の尖頭器１は③の外れに分布する。

石器ブロック111（Sb－111）の分布（図Ⅲ－503、表Ⅲ－11・12）

Ｐ１、Ｑ０・１、Ｒ０～２区の10×８mの範囲で確認された。尖頭器１点（Ⅱ類１点）、尖頭器削片１点、両面調整石器１点、石刃４点、縦長剥片１点、剥片148点の計156点、2,064.8gの石器類が出土した。石材は黒曜石４が53.2％を占め、以下黒曜石１（41.7％）、黒曜石５（4.5％）、黒曜石３（0.6％）である。トゥールは少なく、尖頭器調整剥片がほとんどで、分布は非常に散漫である。

石器ブロック108～111の接合状況（図Ⅲ－504）

接合資料は全てブロック内で収束している。接合線は傾斜方向である北北西方向へ伸び、特にSb－110では顕著である。

母岩別資料・接合資料

3,383点中26点を785母岩に母岩分類し、169個体（母岩別資料内73個体）の接合資料が得られた。そのうち母岩別資料３母岩を図示し、母岩別資料５母岩を写真のみ掲載している。

母岩別資料1198・接合資料4773（図Ⅲ－505～507、図版396）

母岩別資料は接合4773の他、接合4774～4776・57004・57005、剥片11点で構成され、総点数93点、総重量1,491.9gである。

素材　67点（37個体）が接合し、重量は1,329.9g、大きさは29×14×９cmである。平滑な原礫面を持つ角礫を素材として原石ないし原石に近い状態で搬入される。

剥離工程　前半は、左側面から裏面（段階１）、右側面から正面（段階２）、右側面から裏面（段階３）、左側面から正面（段階４）、左側面から裏面（段階５）、左側面から正面（段階６）、左側面から裏面（段階７）、左側面から正面（段階８）、左側面から裏面（段階９）、右側面から正面（段階10）、左側面から正面（段階11）、右側面から正面（段階12）、右側面から裏面（段階13）への打面の大きい粗い平坦剥離による加工が、頻繁に面・側縁を入れ替えながら行われ、粗い整形が施される。その後、徐々に打面の小さい相対的に薄い平坦剥離に変化し、左側面から正面（段階14）、右側面から正面（段階15）、左側面から裏面（段階16）、左側面から正面（段階17）への加工が行われ、最後に右側面から正面（段階18）への剥離で尖頭器３が折損する。折損時の本体は表面が滑らかで断面形が凸レンズ状の整った形態であったと推測され、本体の12×７×２cmの上部破片は欠落し、搬出された可能性がある。

分布　Sb－110のＮ４、Ｏ４、Ｐ３～５、Ｑ４・５、Ｒ４・５、Ｓ５区に帯状に分布する。分布は①

高密度のＰ４・５、Ｒ４・５区、②散漫なＯ４周辺に分けられるが、段階・大きさなどの内容による偏りは見られない。

母岩別資料1203・接合資料4784（図Ⅲ－507・508、図版395－２）

母岩別資料は接合4784の他、接合4785～4787、剥片１点で構成され、総点数81点、総重量748.1gである。

素材　73点（66個体）が接合し、重量は709.3g、大きさは15×13×９cmである。平滑な原礫面を持ち、角が潰れた亜角礫を素材として、右側面に大型の剥離面がある状態で搬入される。

剥離工程　正面から上面への剥離（段階１）で打面が作出され、上設打面から正面（段階２）・右側面（段階３）への粗い剥離、裏面から左側面（段階４）、裏面から下面（段階５）への剥離で石核調整が行われる。その後、正面～右側面を中心に全周で頭部調整を伴って石刃が剥離され（段階６）、最後に左側面から裏面に粗い剥離（段階７）が行われる。

剥離される石刃は長さ６～９cmで、ほとんどが欠落し、搬出される。

本接合資料では段階１の厚手の打面作出剥片１点（個体Ａ）、段階２の厚手の縦長剥片２点（個体Ｂ・Ｃ）、段階３の厚手の剥片１点（個体Ｄ）を素材として舟底形石器が製作される。個体Ａ～Ｄは全て甲板面である腹面から加工が行われ、最終的に本体は欠落し、搬出される。

分布　Sb－110のＮ４・５、Ｏ４・５、Ｐ５、Ｑ５区に帯状に分布し、個体による偏りは見られない。

母岩別資料1202・接合資料4783（図Ⅲ－508・509、図版397－１）

母岩別資料は接合4783のみである。

素材　48点（42個体）が接合し、重量は755.2g、大きさは18×９×７cmである。平滑な原礫面を持つ角礫を素材として、原石ないし原石に近い状態で搬入される。

剥離工程　正面から上面（段階１）へ打面の大きい粗い剥離が連続して行われた後、上面から正面（段階２）への粗い剥離が行われる。

本接合資料では段階１の厚手の剥片２点（個体Ａ・Ｂ）、段階２の厚手の剥片１点（個体Ｄ）、石核（個体Ｅ）を素材として舟底形石器が製作され、段階２の厚手の剥片１点（個体Ｃ）を素材として、縦長剥片が剥離される。個体Ｂは甲板面である腹面からの加工の後、加工が進行した段階で下縁からの加工が施され、再度甲板面から加工が行われる。左側面の裏面端部近くにできた瘤を除去する剥離によって端部が大きく取り除かれた時点で本体19は遺棄されている。個体Ｄは甲板面である腹面からの加工途中で、ヒンジによって生じた段差を除去するために下縁からの剥離が行われ、その後、甲板面からの加工が継続されるが、個体Ｂ同様、端部の瘤を除去する際に、端部を大きく取り込み、その時点で本体17が遺棄される。個体Ａは腹面を、個体Ｅは作業面を甲板面に設定し、甲板面から加工が行われ、最終的に、本体は欠落している。

個体Ｃは舟底形石器の加工に類似した腹面からの粗い剥離（Ｃ－段階２）を挟んで素材長軸方向で縦長剥片剥離（Ｃ－段階１）が行われる。

分布　Sb－110のＮ４、Ｏ４・５、Ｐ５、Ｑ５区に帯状に分布する。個体ＣがＮ４区周辺に偏るが、それ以外は明瞭な偏りは見られない。

写真のみ掲載の接合資料

母岩別資料1216・接合資料4817（図版397－２）は、平滑な原礫面を持ち、角が潰れた亜角礫素材で、長さ21cm、原石ないし原石に近い状態で搬入される。上面から正面への剥離、裏面から右側面への大型の剥片剥離、正面から上面への打面作出後に、正面で頭部調整を伴う石刃剥離が行われ、最

後は、下設打面から右側面で厚手の縦長剥片が剥離される。石刃剥離の途中、下設打面から頭部調整のある石刃が剥離される。剥離される石刃は長さ11cm 前後で、ほとんどが欠落している。右側面で剥離された大型剥片（個体Ａ）は、甲板面である腹面からの加工で舟底形石器に整形され、本体は欠落している。上設打面作出剥片（個体Ｂ）は、左側面に腹面から舟底形石器に類似した粗い加工が行われ、途中で折損し、削器28は遺棄される。遺物は Sb－110のＮ４～Ｑ５区に帯状に分布しているが、個体・段階による偏りは見られない。

母岩別資料1211・接合資料4804（図版398－１）は、一部平坦面と爪状痕のある原礫面を持つ転礫素材で、長さ９cm、原石の状態で搬入される。上面から正面への剥離の後、正面から上面への剥離で打面が作出され、正面で厚手の剥片が剥離される。打面作出剥片（個体Ａ）、厚手の剥片１点（個体Ｃ）は舟底形石器に、厚手の剥片１点（個体Ｂ）は削器に加工される。個体Ａ・Ｂはそれぞれ長さ６・５cm の小型の剥片素材で、甲板面である腹面から加工が施される。本体は両者とも完形であるが、15・29が遺棄されている。個体Ｂは素材形状が個体Ｃに類似するが、加工は右側縁全体・左側縁上部のみ施され、本体13は遺棄される。遺物は Sb－110のＰ・Ｑ５区を中心に分布し、個体による偏りは見られない。

母岩別資料1217・接合資料4823（図版398－２）は、平滑な原礫面を持ち、角が潰れた亜角礫素材で、長さ14cm、原石の状態で搬入される。上面から左側面、左側面から上面、上面から左側面への剥離の後、裏面から上面への厚手の剥片剥離によって打面が作出される。その後、左側面で縦長剥片が剥離された後、続けて上設打面からの剥離による舟底形石器の調整剥離が行われ、石核（個体Ｂ）素材の舟底形石器が製作される。個体Ｂの舟底形石器18の縁辺には細かい加工が見られ、比較的整った形状で遺棄される。厚手の打面作出剥片（個体Ａ）は、甲板面である腹面からの加工で舟底形石器に整形されるが、本体16は折損し、遺棄される。分布は①Sb－110のＰ・Ｑ５区、②Sb－101のＮ・Ｏ４区に分けられ、ほとんどの遺物が①に高密度に分布し、少量の遺物が②に散漫に分布するが、これらには、個体による偏りは見られない。

母岩別資料1214・接合資料4810（図版398－３）は、平坦面が残り、角が潰れた亜角礫素材で、長さ14cm、原石の状態で搬入される。右側面から上面への剥離の後、正面から上面への粗い剥離と上面から正面への粗い剥離が交互に行われ、厚手の剥片が剥離される。正面から上面で剥離された厚手の剥片２点（個体Ａ・Ｂ）と石核（個体Ｃ）は舟底形石器に加工され、個体Ａ・Ｂは甲板面である腹面からの加工で整形され、個体Ｃには途中で下縁からの加工が見られる。個体Ａ～Ｃの本体は全て欠落し、搬出されている。遺物は Sb－110のＮ４～Ｑ５区に帯状に分布しているが、個体による偏りは見られない。

母岩別資料1200・接合資料4779（図版398－４）は、平坦面が残り、角が潰れた亜角礫素材で、長さ11cm、原石の状態で搬入される。上面から正面への剥離が、打点を左右に移動させながら行われ、厚手の剥片が剥離される。最後に石核を素材として作業面を甲板面に設定し、舟底形石器が製作される。加工は主に甲板面から行われ、途中、端部で下縁からの加工が見られる。遺物は Sb－110のＯ４～Ｑ５区に帯状に分布する。（鈴木宏行）

(12)「白滝Ⅰ群」以外石器ブロック外の石器

尖頭器（図Ⅲ－510－１・２、図版399）

２点（１個体とⅠ層出土１個体を加えた２個体）を図示している。１は柳葉形の小型の尖頭器である。器面には押圧による平行剥離が整然と並び、薄く非常に端正な形態である。裏面の加工は正面の

加工に切られ、最終的には正面両側縁の加工で仕上げられている。押圧による加工は両面とも左側は上から下へ、右側は下から上へ進み、約１mmずつずらしながら行われ、側縁は鋸歯状である。産地分析ではあじさい滝、水和層年代測定では17,874±412年B.P.の結果が得られている。なお、同様な尖頭器は旧白滝５遺跡（北海道埋蔵文化財センター　2004）でまとまって出土している。２は剥片素材で、正面両側縁、裏面片側縁・上端部に平坦剥離による加工が見られる。右側縁には上端からの樋状剥離面があり、細石刃核母型である可能性もある。

石刃（図Ⅲ－510－３・４、図版399）

２点（１個体とⅠ層出土１個体を加えた２個体）を図示している。３は広郷型ナイフ形石器を含む母岩933接合4061に含まれる石刃である。比較的大きい単剥離打面を持ち、簡単な頭部調整が行われ、幅広である。背面には２本の稜線が平行し、稜間のやや奥を加撃することによって両方の稜を取り込む幅広の石刃が剥離される。４は角礫面の残る、頭部調整のある単剥離打面を持つ石刃である。打面縁辺より内側を加撃しているため打面は大きい。

削器（図版399－５）

１点（１個体）を写真のみ掲載している。図版399－５は転礫から剥離された厚手の剥片素材で下端部に連続的な加工が行われる。

舟底形石器（図版399－６）

２点（１個体）を写真のみ掲載している。図版399－６は転礫から剥離された剥片素材で、甲板面からのみ加工が行われる。縁辺の加工は比較的細かい。

石刃核（図版399－７）

１点（１個体）を写真のみ掲載している。図版399－７は亜角礫素材で、正・左・裏面で上設打面からの剥離が行われる。石刃は正面で頭部調整を伴って剥離される。

原石（図版399－８）

４点（１個体）を写真のみ掲載している。図版399－８は長さ37cmの長大な棒状原石である。断面形は不整な五角形で、搬入時には完形品であったと考えられる。

分布（図Ⅲ－510、表Ⅲ－510）

１のタイプの尖頭器はＧ区（Sb－86、図Ⅲ－114－６）で出土しているが、まとまった出土状況ではなく、これらと他の石器群との関連は不明である。２は細石刃核母型の可能性があり、Sb－90の忍路子型細石刃核石器群との関連も考えられるが、他に類似した石器が出土していないため不明である。３は東地区に分布するが、Sb－95に分布する母岩933接合4061に含まれ、両地区を関連付けている。４・図版399－５～７は周辺の小型舟底形石器石器群と関連があり、図版399－８もSb－83で同様な棒状原石（図版108－228）が小型舟底形石器石器群に伴って出土していることから、それに関連するものと考えられる。　（鈴木宏行）

（13）表土（重機調査）の石器

ここでは、調査の最初の段階で行われた重機による笹根除去作業の際の排土中から得られた遺物について説明する。遺物は一定の区画単位で集められた土から採集されているが、詳細な出土地点は不明である。

両面調整石器（図版402－10）

１点（１個体）を写真のみ掲載している。図版402－10は幅広の剥片素材で、横方向に素材を用い

て加工される。背面側は全体に、腹面側はバルブを除去する平坦剥離が行われ、背面側の縁辺にはさらに1mm程度の細かい角度のある加工が施され、縁辺が滑らかに整形される。このような加工はG区の忍路子型細石刃核石器群に伴う掻器の刃部の加工に類似する。

削器（図Ⅲ－511－１、図版400、図版402－11）

１点（１個体）を図示し、１点（１個体）を写真のみ掲載している。１は厚手の石刃素材で、両側縁に角度のある加工が行われる。図版402－11は転礫面を持つ大型の剥片素材で、左側縁には粗い加工が見られる。

舟底形石器（図Ⅲ－511－２・３、図版400、図版402－12）

２点（２個体）を図示し、１点（１個体）を写真のみ掲載している。２は剥片素材で、両側面とも甲板面からのみ加工されるが、左側面は潰れて階段状になっている。３は甲板面右端に頭部調整の痕跡が見られ、下面が本来の打面で、頭部調整のある単剥離打面を持つ石刃核を素材としている。正面の作業面を甲板面に設定し、両側面に甲板面から粗い加工が行われる。甲板面の左側面側の張り出し部にはパンチ痕が残り、瘤を除去できずに廃棄されたと思われる。図版402－12は石核素材で、作業面を甲板面に設定し、両側面に甲板面から加工が行われ、縁辺部には細かい加工が見られる。

石刃核（図Ⅲ－511－４・５、図Ⅲ－512－７～９、図版400・401、図版402－13）

５点（５個体）を図示し、１点（１個体）を写真のみ掲載している。４・５・図版402－13は背面に原礫面が残る単剥離打面の石刃核で、４・図版402－13には頭部調整が見られる。５の作業面の中央にはヒンジによる段差があり、作業面形状の悪化に伴い廃棄されたものと思われる。図版402－13の正面左の最終剥離面は石刃核の分割を意図したものと思われ、打面中央付近にも分割を意図するパンチ痕が残る。

７～９はSb－90の接合資料に含まれる打面調整のある大型の石刃核である。７は、石核調整が右側縁全体の両面に、左側縁下端部の両面に見られ、石刃剥離の進行により作業面が平坦になった扁平な形状である。８は、石核調整が裏面左右から、左右側面には正面から行われる。９は、石核調整が裏面には主に左側面から、両側面には正面から行われる。これらは断面三角形ないし五角形の母型が準備され、石刃剥離が行われたものと思われる。また、打面はこれらの石核調整とは別に正面からの剥離で準備され、その正面形はやや窪んだ形状で、頭部調整も見られる。４・５は角礫、図版402－13は亜角礫、７～９は転礫素材である。

石核（図Ⅲ－511－６、図版400）

１点（１個体）を図示している。６は転礫素材で、単剥離打面の石核である。左側面に頭部調整が残り、石刃剥離後、大型剥片が剥離されている。（鈴木宏行）

Ⅳ　自然科学的分析等

1　放射性炭素年代測定

(株)地球科学研究所

放射性炭素年代測定結果報告書

放射性炭素年代測定の依頼を受けました試料について､別表の結果を得ましたのでご報告申し上げます。

報告内容の説明

未補正14C年代（yBP）：(同位体分別未補正) ^{14}C年代　“measured radiocarbon age”
試料の^{14}C／^{12}C比から、単純に現在（AD1950年）から何年前（BP）かを計算した年代。

14C年代（yBP）：(同位体分別補正) ^{14}C年代　“conventional radiocarbon age”
試料の炭素安定同位体比（^{13}C／^{12}C）を測定して試料の炭素の同位体分別を知り14C／12Cの測定値に補正値を加えた上で、算出した年代。
試料のδ^{13}C値を－25（‰）に基準化することによって得られる年代値である。
(Stuiver, M. and polach, H.A.(1977)Discussion:Reporting of ^{14}C data. Radiocarbon, 19を参照のこと)
暦年代を得る際にはこの年代値をもちいる。

δ^{13}C（permil）：試料の測定^{14}C／^{12}C比を補正するための^{13}C／^{12}C比。
この安定同位対比は、下式のように標準物質（PDB）の同位体比からの千分偏差(‰)で表現する。

$$\delta^{13}C\ (‰) = \frac{(^{13}C/^{12}C)[試料] - (^{13}C/^{12}C)[標準]}{(^{13}C/^{12}C)[標準]} \times 1000$$

ここで、^{13}C／^{12}C［標準］＝0.0112372である。

暦年代：過去の宇宙線強度の変動による大気中14C濃度の変動に対する補正により、暦年代を算出する。具体的には年代既知の樹木年輪の^{14}Cの測定、サンゴのU-Th年代と^{14}C年代の比較により、補正曲線を作成し、暦年代を算出する。最新のデータベース（“INTCAL98　Radiocarbon Age Calibration” Stuiver et al, 1998, Radiocarbon 40(3)）により約19,000yBPまでの換算が可能となった。＊

＊但し、10,000yBP以前のデータはまだ不完全であり今後も改善される可能性が高いので、補正前のデータの保管を推奨します。
“The calendar calibrations were calculated using the newest calibration data as published in Radiocarbon, Vol.40, No.3, 1998 using the cubic spline fit mathematics as published by Talma and Vogel, Radiocarbon, Vol.35, No.2, pg 317-322,1993 : A Simplified Approach to Calibrating C14 Dates. Results are reported both as cal BC and cal BP. Note that calibration for samples beyond about 10,000 years is still very subjective. The calibration data beyond about 13,000 years is a “best fit” compilation of modeled data and, although an improvement on the accuracy of the radiocarbon date, should be considered illustrative. It is very likely that calibration data beyond 10,000 years will change in the future. Because of this, it is very important to quote the original BP dates and these references in your publications so that future refinements can be applied to your results.”

測定方法などに関するデータ

測定方法　AMS　：　加速器質量分析
Radiometric　：　液体シンチレーションカウンタによるβ-線計数法
処理・調製・その他　：　試料の前処理、調製などの情報
前処理　acid-alkali-acid　：　酸－アルカリ－酸洗浄
acid washes　：　酸洗浄
acid etch　：　酸によるエッチング
none　：　未処理
調製、その他
Bulk-Low Carbon Material　：　低濃度有機物処理
Bone Collagen Extraction　：　骨、歯などのコラーゲン抽出
Cellulose Extraction　：　木材のセルローズ抽出
Extended Counting : Radiometricによる測定の際、測定時間を延長する
分析機関　BETA ANALYTIC INC.
4985 SW 74 Court, Miami, Fl, U.S.A 33155

測定番号	試料名	試料種	14C age (yBP)	δ13C (permil)	補正14C age (yBP)	暦年代	
Beta-101789	No.3	charred material	10280±50	−25.2	10280±50	交点	Cal BC 10150 and Cal BC 10060 and Cal BC 10020
						2 SIGMA	Cal BC 10630 to 10570
						95%probability	Cal BC 10420 to 9880
						1 SIGMA	Cal BC 10400 to 9950
						68%probability	
整理番号 4513	測定方法	AMS LLNL	処理・調製・その他	acid-alkali-acid graphite			
Beta-101793	No.7	charred material	18470±270	−22.4	18510±270	交点	Cal BC 20030
						2 SIGMA	Cal BC 21020 to 19090
						95%probability	
						1 SIGMA	Cal BC 20700 to 19390
						68%probability	
整理番号 4517	測定方法	AMS Kiel	処理・調製・その他	acid-alkali-acid graphite			
Beta-101794	No.8	charred material	15850±170	−22.5	15890±170	交点	Cal BC 17020
						2 SIGMA	Cal BC 17710 to 16350
						95%probability	
						1 SIGMA	Cal BC 17520 to 16540
						68%probability	
整理番号 4518	測定方法	AMS Kiel	処理・調製・その他	acid-alkali-acid graphite			
Beta-112897	SHIRA-25	charred material	15670±240	−25.7	15660±240	交点	Cal BC 16750
						2 SIGMA	Cal BC 17610 to 15940
						95%probability	
						1 SIGMA	Cal BC 17330 to 16200
						68%probability	
整理番号 7088	測定方法	AMS	処理・調製・その他	acid-alkali-acid graphite			
Beta-112898	SHIRA-26	charred material	16420±150	−25.6	16410±150	交点	Cal BC 17610
						2 SIGMA	Cal BC 18270 to 16980
						95%probability	
						1 SIGMA	Cal BC 18100 to 17140
						68%probability	
整理番号 7089	測定方法	AMS	処理・調製・その他	acid-alkali-acid graphite			
Beta-112903	SHIRA-31	charred material	21980±210	−24.9	21980±210	交点	
						2 SIGMA	
						95%probability	
						1 SIGMA	
						68%probability	
整理番号 7094	測定方法	AMS	処理・調製・その他	acid-alkali-acid graphite			
Beta-112904	SHIRA-32	charred material	14030±110	−26.2	14010±110	交点	Cal BC 14850
						2 SIGMA	Cal BC 15330 to 14360
						95%probability	
						1 SIGMA	Cal BC 15210 to 14480
						68%probability	
整理番号 7095	測定方法	AMS	処理・調製・その他	acid-alkali-acid graphite			
Beta-112905	SHIRA-33	charred material	13790±170	−25.5	13780±170	交点	Cal BC 14590
						2 SIGMA	Cal BC 15210 to 13990
						95%probability	
						1 SIGMA	Cal BC 15020 to 14160
						68%probability	
整理番号 7096	測定方法	AMS	処理・調製・その他	acid-alkali-acid graphite			

測定番号	試料名	試料種	14C age (yBP)	δ13C (permil)	補正14C age (yBP)	暦年代	
Beta-112906	SHIRA-34	charred material	18840±160	−23.3	18870±160	交点	Cal BC 20440
						2 SIGMA	Cal BC 21180 to 19740
						95%probability	
						1 SIGMA	Cal BC 20990 to 19930
						68%probability	
整理番号 7097	測定方法	AMS	処理・調製・その他	acid-alkali-acid graphite			
Beta-112907	SHIRA-35	charred material	23620±310	−23.7	23640±310	交点	
						2 SIGMA	
						95%probability	
						1 SIGMA	
						68%probability	
整理番号 7098	測定方法	AMS	処理・調製・その他	acid-alkali-acid graphite			
Beta-112908	SHIRA-36	charred material	25870±290	−24.6	25880±290	交点	
						2 SIGMA	
						95%probability	
						1 SIGMA	
						68%probability	
整理番号 7099	測定方法	AMS	処理・調製・その他	acid-alkali-acid graphite			
Beta-112909	SHIRA-37	charred material	14140±110	−25.3	14140±110	交点	Cal BC 15000
						2 SIGMA	Cal BC 15490 to 14500
						95%probability	
						1 SIGMA	Cal BC 15360 to 14630
						68%probability	
整理番号 7100	測定方法	AMS	処理・調製・その他	acid-alkali-acid graphite			
Beta-112910	SHIRA-38	charred material	15750±130	−26.0	15730±130	交点	Cal BC 16830
						2 SIGMA	Cal BC 17430 to 16260
						95%probability	
						1 SIGMA	Cal BC 17280 to 16400
						68%probability	
整理番号 7101	測定方法	AMS	処理・調製・その他	acid-alkali-acid graphite			
Beta-126163	SHIRA-52	charred material	15790±110	−25.0	15790±110	交点	Cal BC 16900
						2 SIGMA	Cal BC 17460 to 16370
						95%probability	
						1 SIGMA	Cal BC 17330 to 16490
						68%probability	
整理番号 10337	測定方法	AMS	処理・調製・その他	acid-alkali-acid			
Beta-150448	SHIRA-81	charred material	15890±90	−26.2	15870±90	交点	Cal BC 16990
						2 SIGMA	Cal BC 17500 to 16500
						95%probability	
						1 SIGMA	Cal BC 17400 to 16600
						68%probability	
整理番号 16451	測定方法	AMS	処理・調製・その他	acid-alkali-acid			
Beta-150449	SHIRA-82	charred material	15590±130	−25.3	15590±130	交点	Cal BC 16670
						2 SIGMA	Cal BC 17270 to 16100
						95%probability	
						1 SIGMA	Cal BC 17120 to 16250
						68%probability	
整理番号 16452	測定方法	AMS	処理・調製・その他	acid-alkali-acid			

1　放射性炭素年代測定

測定番号	試料名	試料種	14C age (yBP)	δ13C (permil)	補正14C age (yBP)	暦年代	
Beta-150450	SHIRA-83	charred material	15450±90	−24.4	15460±90	交点	Cal BC 16520
						2 SIGMA	Cal BC 17020 to 16050
						95%probability	
						1 SIGMA	Cal BC 16920 to 16150
						68%probability	
整理番号 16453	測定方法	AMS	処理・調製・その他	acid-alkali-acid			
Beta-150451	SHIRA-84	charred material	15950±110	−25.8	15940±110	交点	Cal BC 17070
						2 SIGMA	Cal BC 17630 to 16540
						95%probability	
						1 SIGMA	Cal BC 17500 to 16660
						68%probability	
整理番号 16454	測定方法	AMS	処理・調製・その他	acid-alkali-acid			
Beta-150452	SHIRA-85	charred material	13630±40	−25.0	13630±40	交点	Cal BC 14420
						2 SIGMA	Cal BC 14770 to 14100
						95%probability	
						1 SIGMA	Cal BC 14730 to 14140
						68%probability	
整理番号 16455	測定方法	AMS	処理・調製・その他	acid-alkali-acid			
Beta-150453	SHIRA-86	charred material	13730±80	−25.5	13720±80	交点	Cal BC 14520
						2 SIGMA	Cal BC 14950 to 14110
						95%probability	
						1 SIGMA	Cal BC 14870 to 14190
						68%probability	
整理番号 16456	測定方法	AMS	処理・調製・その他	acid-alkali-acid			
Beta-150454	SHIRA-87	charred material	13730±80	−24.8	13730±80	交点	Cal BC 14530
						2 SIGMA	Cal BC 14960 to 14120
						95%probability	
						1 SIGMA	Cal BC 14880 to 14200
						68%probability	
整理番号 16457	測定方法	AMS	処理・調製・その他	acid-alkali-acid			
Beta-150455	SHIRA-88	charred material	13730±90	−25.3	13730±90	交点	Cal BC 14530
						2 SIGMA	Cal BC 14980 to 14100
						95%probability	
						1 SIGMA	Cal BC 14890 to 14190
						68%probability	
整理番号 16458	測定方法	AMS	処理・調製・その他	acid-alkali-acid			
Beta-150456	SHIRA-89	charred material	18660±130	−24.3	18670±130	交点	Cal BC 20210
						2 SIGMA	Cal BC 20870 to 19590
						95%probability	
						1 SIGMA	Cal BC 20720 to 19730
						68%probability	
整理番号 16459	測定方法	AMS	処理・調製・その他	acid-alkali-acid			
Beta-150457	SHIRA-90	charred material	18570±130	−25.7	18560±130	交点	Cal BC 20090
						2 SIGMA	Cal BC 20740 to 19460
						95%probability	
						1 SIGMA	Cal BC 20590 to 19610
						68%probability	
整理番号 16460	測定方法	AMS	処理・調製・その他	acid-alkali-acid			

測定番号	試料名	試料種	14C age (yBP)	δ13C (permil)	補正14C age (yBP)	暦年代	
Beta-174487	SHIRA-93	charred material	24340±160	−22.4	24380±160	交点	
						2 SIGMA	
						95% probability	
						1 SIGMA	
						68% probability	
整理番号 21693	測定方法	AMS	処理・調製・その他	acid-alkali-acid			
Beta-174488	SHIRA-94	charred material	13930±50	−25.6	13920±50	交点	Cal BC 14750
						2 SIGMA	Cal BC 15100 to 14390
						95% probability	
						1 SIGMA	Cal BC 15040 to 14440
						68% probability	
整理番号 21694	測定方法	AMS	処理・調製・その他	acid-alkali-acid			
Beta-186196	SHIRA-111	charred material	10390±50	−26.0	10370±50	交点	Cal BC 10370
						2 SIGMA	Cal BC 10840 to 9970
						95% probability	
						1 SIGMA	Cal BC 10680 to 10520 and Cal BC 10440 to 10000
						68% probability	
整理番号 23883	測定方法	AMS	処理・調製・その他	acid-alkali-acid			
Beta-186197	SHIRA-112	charred material	13530±50	−24.0	13550±50	交点	Cal BC 14320
						2 SIGMA	Cal BC 14710 to 14000
						95% probability	
						1 SIGMA	Cal BC 14660 to 14050
						68% probability	
整理番号 23884	測定方法	AMS	処理・調製・その他	acid-alkali-acid			
Beta-186198	SHIRA-113	charred material	22210±110	−24.0	22230±110	交点	
						2 SIGMA	
						95% probability	
						1 SIGMA	
						68% probability	
整理番号 23885	測定方法	AMS	処理・調製・その他	acid-alkali-acid			
Beta-186199	SHIRA-114	charred material	28120±180	−25.2	28120±180	交点	
						2 SIGMA	
						95% probability	
						1 SIGMA	
						68% probability	
整理番号 23886	測定方法	AMS	処理・調製・その他	acid-alkali-acid			
Beta-186200	SHIRA-115	charred material	13910±80	−24.0	13930±80	交点	Cal BC 14760
						2 SIGMA	Cal BC 15180 to 14330
						95% probability	
						1 SIGMA	Cal BC 15090 to 14420
						68% probability	
整理番号 23887	測定方法	AMS	処理・調製・その他	acid-alkali-acid			
Beta-186201	SHIRA-116	charred material	15980±90	−23.6	16000±90	交点	Cal BC 17140
						2 SIGMA	Cal BC 17660 to 16650
						95% probability	
						1 SIGMA	Cal BC 17550 to 16750
						68% probability	
整理番号 23888	測定方法	AMS	処理・調製・その他	acid-alkali-acid			

表Ⅳ－1　放射性炭素年代測定一覧

測定番号	試料名	遺跡名	出土地点	層位	14C年代 (y BP)	補正14C年代 (y BP)	暦　年　代	
							交点	1σ
Beta-101789	No.3	上白滝8	Cb-3(1)	Ⅱa	10280±50	10280±50	Cal BC 10150 and Cal BC 10060 and Cal BC 10020	Cal BC 10400 to 9950
Beta-101793	No.7	上白滝8	Cb-17(3)	Ⅱa	18470±270	18510±270	Cal BC 20030	Cal BC 20700 to 19390
Beta-101794	No.8	上白滝8	Cb-21(2)	Ⅱa	15850±170	15890±170	Cal BC 17020	Cal BC 17520 to 16540
Beta-112897	SHIRA-25	上白滝8	Cb-9(1)	Ⅱa	15670±240	15660±240	Cal BC 16750	Cal BC 17330 to 16200
Beta-112898	SHIRA-26	上白滝8	Cb-9(3)	Ⅱc	16420±150	16410±150	Cal BC 17610	Cal BC 18100 to 17140
Beta-112903	SHIRA-31	上白滝8	Cb-14	Ⅲ層直上	21980±210	21980±210		
Beta-112904	SHIRA-32	上白滝8	Cb-15	Ⅲ層直上	14030±110	14010±110	Cal BC 14850	Cal BC 15210 to 14480
Beta-112905	SHIRA-33	上白滝8	Cb-16(2)	Ⅱc	13790±170	13780±170	Cal BC 14590	Cal BC 15020 to 14160
Beta-112906	SHIRA-34	上白滝8	Cb-17(1)	Ⅱc	18840±160	18870±160	Cal BC 20440	Cal BC 20990 to 19930
Beta-112907	SHIRA-35	上白滝8	Cb-18(3)	Ⅱc	23620±310	23640±310		
Beta-112908	SHIRA-36	上白滝8	Cb-19	Ⅱc	25870±290	25880±290		
Beta-112909	SHIRA-37	上白滝8	Cb-20	Ⅱa	14140±110	14140±110	Cal BC 15000	Cal BC 15360 to 14630
Beta-112910	SHIRA-38	上白滝8	Cb-21(2)	Ⅱa	15750±130	15730±130	Cal BC 16830	Cal BC 17280 to 16400
Beta-126163	SHIRA-52	上白滝8	Cb-22(1)	Ⅱa	15790±110	15790±110	Cal BC 16900	Cal BC 17330 to 16490
Beta-150448	SHIRA-81	上白滝8	Cb-23(3)	Ⅱa	15890±90	15870±90	Cal BC 16990	Cal BC 17400 to 16600
Beta-150449	SHIRA-82	上白滝8	Cb-23(3)	Ⅱa	15590±130	15590±130	Cal BC 16670	Cal BC 17120 to 16250
Beta-150450	SHIRA-83	上白滝8	Cb-24(2)	Ⅱa	15450±90	15460±90	Cal BC 16520	Cal BC 16920 to 16150
Beta-150451	SHIRA-84	上白滝8	Cb-24(1)	Ⅱa	15950±110	15940±110	Cal BC 17070	Cal BC 17500 to 16660
Beta-150452	SHIRA-85	上白滝8	Cb-25(I22-2)	Ⅱa	13630±40	13630±40	Cal BC 14420	Cal BC 14730 to 14140
Beta-150453	SHIRA-86	上白滝8	Cb-25(I22-3)	Ⅱa	13730±80	13720±80	Cal BC 14520	Cal BC 14870 to 14190
Beta-150454	SHIRA-87	上白滝8	Cb-26(I24-14)	Ⅱa	13730±80	13730±80	Cal BC 14530	Cal BC 14880 to 14200
Beta-150455	SHIRA-88	上白滝8	Cb-26(I24-10)	Ⅱa	13730±90	13730±90	Cal BC 14530	Cal BC 14890 to 14190
Beta-150456	SHIRA-89	上白滝8	Cb-27(G34-2)	Ⅱa	18660±130	18670±130	Cal BC 20210	Cal BC 20720 to 19730
Beta-150457	SHIRA-90	上白滝8	Cb-27(G34-3)	Ⅱa	18570±130	18560±130	Cal BC 20090	Cal BC 20590 to 19610
Beta-174487	SHIRA-93	上白滝8	Cb-14	Ⅲ層直上	24340±160	24380±160		
Beta-174488	SHIRA-94	上白滝8	Cb-15	Ⅲ層直上	13930±50	13920±50	Cal BC 14750	Cal BC 15040 to 14440
Beta-186196	SHIRA-111	上白滝8	Cb-3（9）	Ⅱa	10390±50	10370±50	Cal BC 10370	Cal BC 10680 to 10520 to and Cal BC 10440 to 10000
Beta-186197	SHIRA-112	上白滝8	Cb-16(1)	Ⅱc	13530±50	13550±50	Cal BC 14320	Cal BC 14660 to 14050
Beta-186198	SHIRA-113	上白滝8	Cb-18(3)	Ⅱc	22210±110	22230±110		
Beta-186199	SHIRA-114	上白滝8	Cb-19	Ⅱc	28120±180	28120±180		
Beta-186200	SHIRA-115	上白滝8	Cb-20	Ⅱa	13910±80	13930±80	Cal BC 14760	Cal BC 15090 to 14420
Beta-186201	SHIRA-116	上白滝8	Cb-22(1)	Ⅱa	15980±90	16000±90	Cal BC 17140	Cal BC 17550 to 16750

2　上白滝８遺跡出土炭化材の樹種同定

植田弥生（パレオ・ラボ）

（１）はじめに

ここでは、旧石器時代の炭化物集中から出土した炭化材６点の樹種同定結果を報告する。

旧石器時代の炭化物集中から出土する炭化材は、非常に小さな破片であることが多く、石器・剥片類・礫群と共伴して出土することが多い。小田・金山（1978）や工藤ほか（1983）などにより、炭化物集中の成因が自然か人為的なものか、考古学的意味を検討する試みが提起され、炭化材の樹種を明らかにする取り組みがなされるようになってきた。当遺跡の炭化材も５mm 角前後の小さな破片がほとんどであり、石器ブロックに近接して出土している。炭化した経緯や、集中出土する経緯を明らかにしてゆくための基礎資料として、炭化材の樹種を明らかにすることは重要と思われる。

（２）試料と方法

同定は、炭化材の横断面（木口）を手で割り実体顕微鏡で予察し、次に材の３方向（横断面・接線断面・放射断面）の断面を片刃の剃刀で弾くように割り、走査電子顕微鏡で拡大された材組織を観察した。走査電子顕微鏡用の試料は、３断面を５mm 角以下の大きさに整え、直径１cm の真鍮製試料台に両面テープで固定し、試料を充分乾燥させた後、金蒸着を施し、走査電子顕微鏡（日本電子㈱製　JSM－T100型）で観察と写真撮影を行った。

同定した炭化材の残り破片は、財団法人北海道埋蔵文化財センターに保管されている。

（３）結果

同定結果の一覧を、表Ⅳ－２に示した。試料６点はすべて針葉樹で、白滝－73（図Ⅳ－１　１ａ～１ｃ）はトウヒ属と特定できた。同定結果を針葉樹と表示した炭化材は、接線断面と放射断面の材組織の保存が悪く、分類群を特定できる形質が観察できなかったためである。これらは、仮道管にらせん肥厚は無く、分野壁孔は窓状では無いようで、イチイやマツ属の可能性は非常に低い。白滝－72（図Ⅳ－１　２ａ～２ｃ）と白滝－70（図Ⅳ－２　３ａ～３ｃ）は、水平樹脂道は不明だか、垂直樹脂道が認められ、白滝－72は内壁が肥厚した放射仮道管が存在するようにも見えた。白滝－70と白滝－72は、トウヒ属やカラマツ属の可能性が高い。

白滝－73（図Ⅳ－１　１ａ～１ｃ）をトウヒ属と同定した、材組織の特徴を詳しく記載する。垂直と水平の樹脂道は不明であるが、径が小さい垂直樹脂道があるようにも見える。仮道管にらせん肥厚は見られない。分野壁孔は小型で複数あり、放射柔細胞壁に単壁孔が目立ち、接線壁に数珠状肥厚がある。放射仮道管が存在し、有縁壁孔対はトウヒ型、有縁壁孔対の先端は角張ったものが多く、壁内にも突起状の肥厚が目立つ。放射仮道管にもらせん肥厚は無い。

（４）まとめ

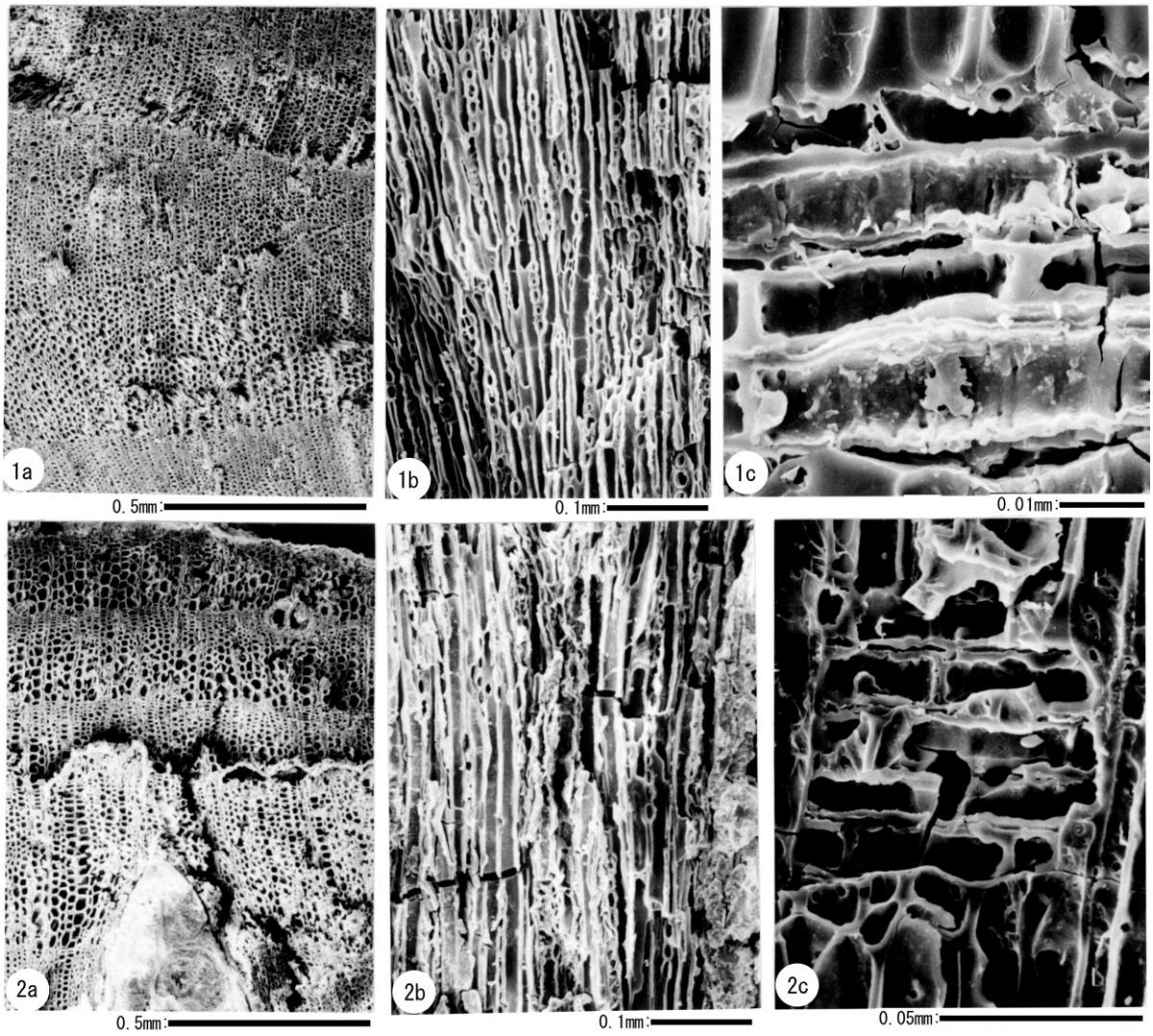
石器ブロックに近接して出土した炭化材６試料は、すべて針葉樹であった。白滝－73（図Ⅳ－１　１ａ～１ｃ）はトウヒ属であり、そのほかの針葉樹にもトウヒ属かカラマツ属の可能性があるものが含まれていた。炭化材６試料は単一分類群であるとは断定できないが、トウヒ属またはカラマツ属の材が多く、冷温帯～亜寒帯に分布する針葉樹であった。

引用文献

小田静夫・金山喜昭（1978）先土器時代の炭化物片分布－先土器時代研究の新たな視点－第四紀研究17(3)：125－141.
工藤敏久・千野裕道・安部祥人（1983）先土器時代における火の使用－木炭片の分布状態と樹種同定からの接近－考古学ジャーナル222：２－9.

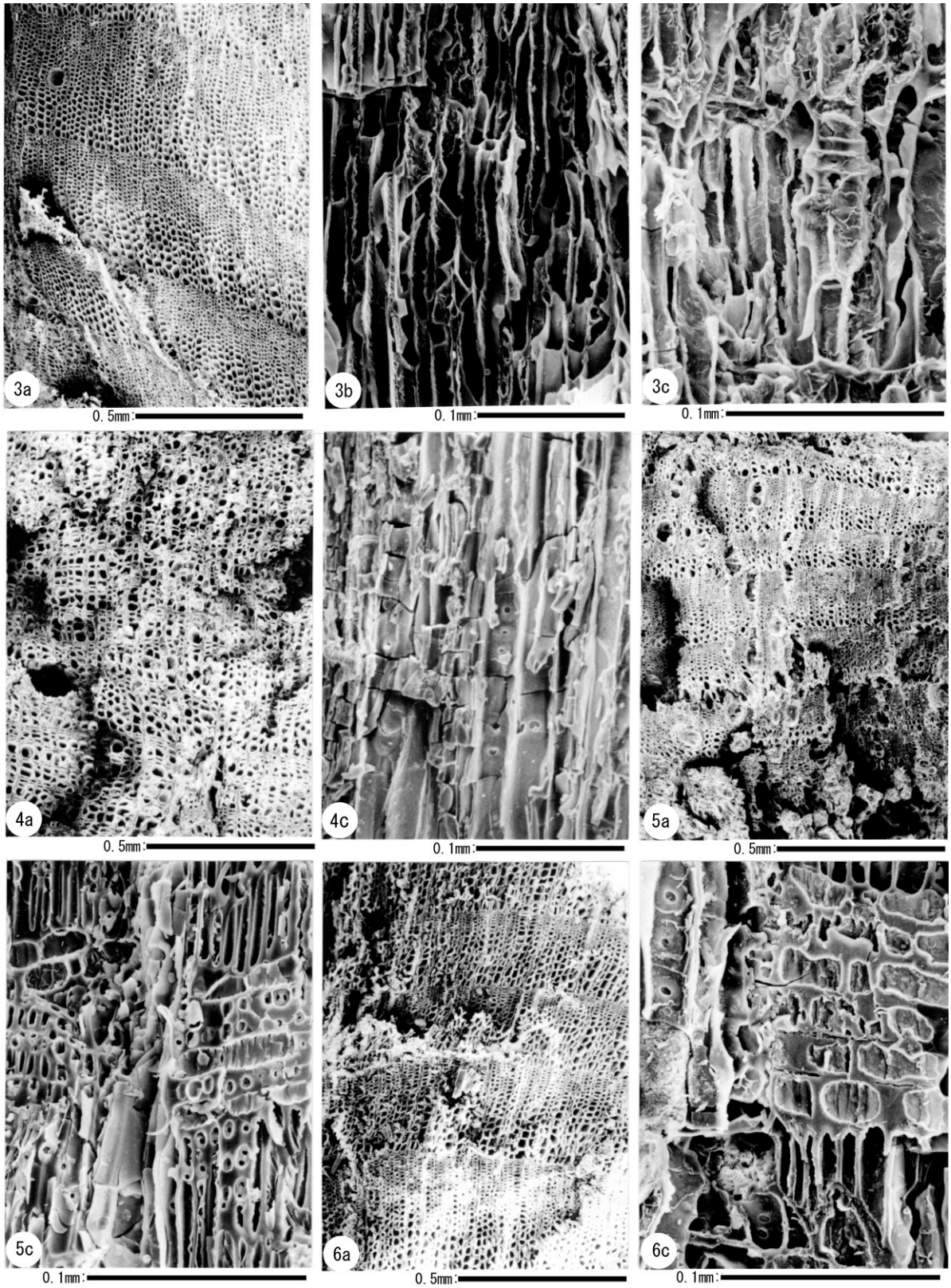
表Ⅳ－２　上白滝８遺跡出土炭化材樹種同定結果

試料番号	試料の種類	採取遺構／(発掘区)	層位	樹種	備　考	得られている ^{14}C年代値
白滝－68	炭化材	Cb－23(1)　炭化物集中	Ⅱ層	針葉樹		15500～15800y.B.P.
白滝－69	炭化材	Cb－23(2)　炭化物集中	Ⅱ層	針葉樹		
白滝－70	炭化材	Cb－23(3)　炭化物集中	Ⅱ層	針葉樹	垂直樹脂道あり	
白滝－71	炭化材	Cb－23(3)　炭化物集中	Ⅱ層	針葉樹		
白滝－72	炭化材	Cb－24(1)　炭化物集中	Ⅱ層	針葉樹	垂直樹脂道あり	15950y.B.P.
白滝－73	炭化材	Cb－24(1)　炭化物集中	Ⅱ層	トウヒ属		



1a–1c：トウヒ属（白滝–73）　2a–2c：針葉樹（白滝–72）　a：横断面　b：接線断面　c：放射断面

図Ⅳ－１　上白滝８遺跡出土炭化材材組織の走査電子顕微鏡写真(1)



3a–3c：針葉樹（白滝–70）　4a·4c：針葉樹（白滝–68）　5a·5c：針葉樹（白滝–69）　6a·6c：針葉樹（白滝–71）
a：横断面　b：接線断面　c：放射断面

図Ⅳ－２　上白滝８遺跡出土炭化材材組織の走査電子顕微鏡写真(2)

3　上白滝８遺跡・服部台２遺跡から検出された植物種子について

椿坂恭代（札幌国際大学博物館／客員研究員）

（１）遺跡と調査の概要

遺跡の名称：上白滝８遺跡、服部台２遺跡

遺跡の所在：北海道紋別郡白滝村字上白滝179－3,181－３（上白滝８）
北海道紋別郡白滝村字奥白滝190－１・２（服部台２）

調査の機関：財団法人北海道埋蔵文化財センター

調査担当者：長沼　孝、越田雅司、鈴木宏行、直江康雄

調 査 期 間：平成12年５月８日～10月27日

遺跡の立地：白滝市街の西方約4.5km、湧別川の右岸の河岸段丘（上白滝面）上に位置している。やや上流には、赤石山に通じる八号沢川との合流点があり、周辺には大規模で学史的に著名な遺跡（服部台遺跡、白滝第13地点遺跡、白滝第32地点遺跡など）が隣接している。標高は435～460m、湧別川との比高は35～40m である。

遺構の年代：分析資料は、いずれも旧石器時代の石器ブロックの中で確認された炭化物集中（Cb）中から検出されている。炭化物は放射性炭素年代測定を行っており、上白滝８遺跡の Cb－23が約15,800y.B.P、服部台２遺跡の Cb－５が13,400～13,800y.B.P と測定されている。詳細については本文を参照していただきたい。

（２）扱った資料

分析試料は、旧石器時代の層準、上白滝８遺跡の Cb－23(3)、服部台２遺跡の Cb－５(3)・(6)から土壌を採取し、フローテーション法で処理後、種子の第一次選別を経て送付されてきた。これらの資料について実体顕微鏡で観察ならびに撮影を行った。

（３）同定結果

各遺構から検出された試料を実体顕微鏡で観察を行った結果、表Ⅳ－３に示したように、すべての試料が細かく破損しており同定することが不可能であった。

表Ⅳ－３　白滝遺跡群炭化種子同定結果

試料番号	遺跡名	遺構名	層位	試料点数	同定結果
白滝－４	上白滝８	Cb－23(3)	Ⅱ層	2	試料の保存状態がきわめて悪いため同定不可
白滝－５	服部台２	Cb－５(3)	Ⅱ層	1	試料の保存状態がきわめて悪いため同定不可
白滝－６	服部台２	Cb－５(6)	Ⅱ層	2	試料の保存状態がきわめて悪いため同定不可

4　上白滝８遺跡出土の黒曜石製石器の原材産地分析・水和層測定

有限会社　遺物分析研究所

（１）はじめに

石器石材の産地を自然科学的な手法を用いて、客観的に、かつ定量的に推定し、古代の交流、交易および文化圏、交易圏を探るという目的で、蛍光Ｘ線分析法によりサヌカイトおよび黒曜石製遺物の石材産地推定を行っている[1，2，3)]。最近の黒曜石の伝播距離に関する研究では、伝播距離は数千キロメートルは一般的で、６千キロメートルを推測する学者もでてきている。正確に産地を判定すると言うことは、原理原則に従って同定を行うことである。原理原則は、同じ組成の黒曜石が異なった産地では生成されないという理論がないために、少なくとも遺跡から半径数千キロメートルの内にある石器の原材産地の原石と遺物を比較し、必要条件と十分条件を満たす必要がある。『遺物原材とある産地の原石が一致したという「必要条件」を満たしても、他の産地の原石にも一致する可能性が残っているから、他の産地には一致しないという「十分条件」を満たして、一致した産地の原石が使用されていると言い切れる。また、十分条件を求めることにより、一致しなかった産地との交流がなかったと結論でき、考古学に重要な資料が提供される。』

（２）産地分析の方法

先ず原石採取であるが、本来、一つの産地から産出する全ての原石を採取し分析する必要があるが不可能である。そこで、産地から抽出した数十個の原石でも、産地全ての原石を分析して比較した結果と同じ結果が推測される方法として、理論的に証明されている方法で、マハラノビスの距離を求めて行う、ホテリングのＴ２乗検定がある。ホテリングのＴ２乗検定法の同定とクラスター判定法（同定ではなく分類)、元素散布図法（散布図範囲に入るか否かで判定）を比較する。

クラスター判定法はクラスターを作る産地の組み合わせを変えることにより、クラスターが変動する。例えば、Ａ原石製の遺物とＡ、Ｂ、Ｃ産地の原石でクラスター判定を行うとその遺物はＡ原石とクラスターを作る。ところが、Ａ原石を抜いて、Ｄ、Ｅ産地の原石を加えてクラスター判定を行うと、Ａ原石製遺物がＥ産地とクラスターを作る。このことから、Ａ産地が調査されていないとＡ原石製遺物はＥ原石製遺物と判定される可能性があり、結果の信頼性に疑問が生じる。Ａ原石製遺物と分かっていれば、Ｅ原石とクラスターを作らないようにできる。これには、クラスター分析を行う遺物の原石産地を予め推測しクラスターを組み立てる必要があり、主観的な判定になる。

元素散布図法は目視で原石群元素散布の中に遺物の結果が入るか図示した方法であり、原石の含有元素の違いを絶対定量値で求めて地球科学的に議論するには地質学では最も適した方法である。しかし、産地分析からみるとクラスター法よりさらに主観的な方法であり、いくつの原石を分析すればその産地を正確に表現できるのか分からない。また、分析する原石数が少ないときにはＡ産地とＢ産地が区別できていたのに、分析する原石数を増やすとＡ産地、Ｂ産地の区別ができなくなる可能性があり（クラスター判定法でも同じ危険性がある)、判定結果に疑問が残る。産地分析は地質学の常識的な知識さえあればよく火山学、堆積学など専門知識が必要なく行え、また実際の分析においては非破壊で遺物の形態の違いによる相対定量値の影響を評価しながら同定を行うことが必要であり、地球科学的なことは関係なく如何に原理原則に従って正確な判定を行うことが出来るかである。クラスター判定法、元素散布図法の欠点を解決できる方法が理論的に証明された判定法のホテリングのＴ２

乗検定法である。ある産地の原石組成と遺物組成が一致すれば、そこの産地の原石と決定できるという理論がないために、多数の産地の原石と遺物を比較して、必要条件と十分条件を満たす必要がある。

考古学では、人工品の様式が一致すると言う結果が非常に重要な意味があり、見える様式としての形態、文様、見えない様式として土器、青銅器、ガラスなどの人手が加わった調合素材があり、一致すると言うことは古代人が意識して一致させた可能性があり、一致すると言うことは、古代人の思考が一致すると考えてもよく、相互関係を調査する重要な意味をもつ結果である。石器の様式による分類ではなく、自然の法則で決定した石材の元素組成を指標にした分類では、十分条件のかわりに例えば石材産地が遺跡から近い、移動キャンプ地のルート上に位置する、産地地方との交流を示す土器が出土しているなどを用いると産地分析は正確な結果とならず、遠距離伝播した石材を近くの産地と誤判定する可能性がある。人が移動させた石器の元素組成とＡ産地原石の組成が一致し必要条件を満たしたとき、Ａ産地との交流で伝播した可能性が生じるが、偶然（産地分析法が不完全なために）に一致した可能性もあり他のＢ、Ｃ、Ｄ・・・の産地でないとの証拠がないために、Ａ産地だと言い切れない。ここで、十分条件として、可能なかぎり地球上の全ての原産地（Ａ、Ｂ、Ｃ、Ｄ・・・・）の原石群・遺物群と比較して、Ａ産地以外の産地とは一致しないことを十分条件として証明すれば、石器がＡ産地の原石と決定することができる。この十分条件を肉眼観察で求めることは主観が入るため分類基準が混乱し不可能であると思われる。また、自然科学的分析を用いても、全ての産地が区別できるかは、それぞれが使用している産地分析法によって、それぞれ異なり実際に行ってみなければ分からない。産地分析の結果の信頼性はいかに多くの原材産地の原石と客観的に比較するかによるため、比較した産地が少なければ、信頼性の低い結果と言える。黒曜石、安山岩などの主成分組成は、原産地ごとに大きな差はみられないが、不純物として含有される微量成分組成には違いがあると考えられるため、微量成分を中心に元素分析を行い、これを産地を特定する指標とした。そして、分類の指標とする元素組成を遺物について求め、あらかじめ、各原産地ごとに数十個の原石を分析して求めておいた各原石群の元素組成の平均値、分散などと遺物の元素組成を対比して、各平均値からの離れ具合（マハラノビスの距離）を求める。しかし、古代人が採取した原石産出地点と現代人が分析のために採取した原石産出地と異なる地点の可能性は十分に考えられる。従って、分析した有限個の原石から産地全体の無限の個数の平均値と分散を推測して判定を行うホテリングのＴ２乗検定を行う。この検定を全ての産地について行い、ある原石遺物原材と同じ成分組成の原石はＡ産地では10個中に１個みられ、Ｂ産地では１万個中に１個、Ｃ産地では百万個中に１個、Ｄ産地では・・・・１個と各産地毎に求められるような、客観的な検定結果からＡ産地の原石を使用した可能性が高いと同定する。即ち多変量解析の手法を用いて、各産地に帰属される確率を求めて産地を同定する。

今回分析した遺物は白滝村上白滝８遺跡出土の黒曜石製石器、剥片45個の産地分析そして黒曜石製石器12個について非破壊分析による水和層厚の結果が得られたので報告する。

（３）黒曜石原石の分析

黒曜石原石の自然面を打ち欠き、新鮮面を出し、塊状の試料を作り、エネルギー分散型蛍光Ｘ線分析装置によって各元素の定量分析を行う。分析元素はAl、Si、K、Ca、Ti、Mn、Fe、Rb、Sr、Y、Zr、Nbの12元素をそれぞれ分析した。分析試料の形状差による分析値への影響を打ち消すために各元素の分析値の比を取り、それでもって産地を特定する指標とした。黒曜石は、Ca/K、Ti/K、Mn/Zr、Fe/Zr、Rb/Zr、Sr/Zr、Y/Zr、Nb/Zrの値を産地を区別する指標としてそれぞれ用いる。黒曜石の原産地は北海道、東北、北陸、東関東、中信高原、伊豆箱根、伊豆七島の神津島、山陰、九州の各地に

表Ⅳ－4　各黒曜石の原産地における原石群の元素比の平均値と標準偏差値(1)

原産地原石群名			分析個数	元素比									
				Ca/K	Ti/K	Mn/Zr	Fe/Zr	Rb/Zr	Sr/Zr	Y/Zr	Nb/Zr	Al/K	Si/K
北海道		名寄第一群	114	0.478±0.011	0.121±0.005	0.035±0.007	2.011±0.063	0.614±0.032	0.574±0.022	0.120±0.017	0.024±0.016	0.033±0.002	0.451±0.010
		名寄第二群	35	0.309±0.015	0.103±0.005	0.021±0.006	1.774±0.055	0.696±0.044	0.265±0.011	0.301±0.022	0.026±0.020	0.028±0.007	0.394±0.010
	白滝地区	赤石山	130	0.173±0.014	0.061±0.003	0.079±0.013	2.714±0.142	1.340±0.059	0.283±0.019	0.341±0.030	0.073±0.026	0.028±0.002	0.374±0.010
		白土沢	27	0.138±0.004	0.021±0.002	0.102±0.015	3.049±0.181	1.855±0.088	0.097±0.016	0.492±0.039	0.107±0.019	0.027±0.002	0.368±0.006
		八号沢	30	0.138±0.010	0.022±0.002	0.105±0.017	3.123±0.127	1.846±0.065	0.105±0.019	0.475±0.045	0.076±0.046	0.027±0.008	0.359±0.042
		幌加沢	50	0.140±0.003	0.024±0.007	0.101±0.009	3.021±0.183	1.835±0.152	0.109±0.047	0.480±0.042	0.104±0.044	0.027±0.001	0.364±0.009
		あじさい滝	34	0.139±0.003	0.023±0.003	0.099±0.007	2.970±0.179	1.792±0.103	0.102±0.036	0.472±0.028	0.098±0.046	0.027±0.001	0.361±0.008
		近文台第一群	30	0.819±0.013	0.165±0.006	0.081±0.010	3.266±0.117	0.604±0.031	0.941±0.030	0.165±0.020	0.039±0.016	0.039±0.002	0.457±0.008
		近文台第二群	107	0.517±0.011	0.099±0.005	0.067±0.090	2.773±0.097	0.812±0.037	0.818±0.034	0.197±0.024	0.041±0.019	0.035±0.002	0.442±0.009
		近文台第三群	47	0.529±0.014	0.096±0.008	0.068±0.018	2.746±0.262	0.838±0.100	0.796±0.081	0.220±0.043	0.035±0.021	0.036±0.004	0.413±0.014
		台場第一群	50	1.076±0.052	0.142±0.005	0.072±0.011	2.912±0.117	0.291±0.020	0.678±0.035	0.126±0.022	0.022±0.012	0.049±0.005	0.517±0.014
		台場第二群	42	0.670±0.030	0.126±0.006	0.074±0.017	3.046±0.163	0.759±0.044	0.849±0.045	0.204±0.032	0.035±0.018	0.038±0.004	0.414±0.019
		秩父別第一群	51	0.249±0.017	0.122±0.006	0.078±0.011	1.614±0.068	0.995±0.037	0.458±0.023	0.235±0.024	0.023±0.021	0.022±0.004	0.334±0.013
		秩父別第二群	48	0.519±0.016	0.097±0.005	0.065±0.016	2.705±0.125	0.814±0.034	0.789±0.043	0.204±0.025	0.032±0.016	0.037±0.003	0.417±0.016
		滝川第一群	31	0.253±0.018	0.122±0.006	0.077±0.009	1.613±0.090	1.017±0.045	0.459±0.025	0.233±0.029	0.038±0.018	0.025±0.003	0.370±0.023
		滝川第二群	40	0.522±0.016	0.101±0.010	0.068±0.019	2.751±0.140	0.809±0.055	0.783±0.044	0.201±0.030	0.040±0.019	0.036±0.003	0.419±0.014
		置戸・所山	65	0.326±0.008	0.128±0.005	0.045±0.008	1.813±0.062	0.824±0.034	0.454±0.020	0.179±0.023	0.044±0.020	0.030±0.002	0.412±0.010
		置戸・置戸山	58	0.464±0.016	0.138±0.005	0.049±0.008	1.726±0.072	0.449±0.024	0.407±0.023	0.133±0.019	0.026±0.014	0.032±0.003	0.456±0.010
		北見・常呂川第2群	48	0.548±0.025	0.145±0.007	0.037±0.007	1.691±0.134	0.380±0.024	0.409±0.020	0.120±0.015	0.031±0.012	0.039±0.004	0.477±0.019
		北見・常呂川第3群	48	0.390±0.011	0.137±0.006	0.030±0.006	1.510±0.059	0.372±0.018	0.238±0.014	0.179±0.019	0.029±0.015	0.033±0.004	0.414±0.011
		北見・常呂川第4群	50	0.291±0.017	0.109±0.008	0.046±0.012	1.812±0.098	0.807±0.041	0.445±0.029	0.192±0.033	0.034±0.015	0.031±0.003	0.362±0.023
		ｹｼｮﾏｯﾌﾟ第一群	68	0.575±0.056	0.110±0.011	0.051±0.011	2.555±0.086	0.595±0.058	0.636±0.027	0.167±0.027	0.037±0.020	0.030±0.003	0.397±0.013
		ｹｼｮﾏｯﾌﾟ第二群	65	0.676±0.011	0.145±0.005	0.056±0.014	2.631±0.126	0.606±0.030	0.712±0.032	0.170±0.028	0.030±0.013	0.030±0.003	0.392±0.010
	十勝	十勝三股	60	0.256±0.018	0.074±0.005	0.068±0.010	2.281±0.087	1.097±0.055	0.434±0.023	0.334±0.029	0.064±0.025	0.029±0.002	0.396±0.013
		美蔓第一群	41	0.499±0.020	0.124±0.007	0.052±0.010	2.635±0.181	0.802±0.061	0.707±0.044	0.199±0.029	0.039±0.023	0.033±0.002	0.442±0.015
		美蔓第二群	28	0.593±0.036	0.144±0.012	0.056±0.010	3.028±0.251	0.762±0.040	0.764±0.051	0.197±0.026	0.038±0.022	0.034±0.002	0.449±0.009
		赤井川第一群	50	0.254±0.029	0.070±0.004	0.086±0.010	2.213±0.104	0.969±0.060	0.428±0.021	0.249±0.024	0.058±0.023	0.027±0.002	0.371±0.009
		赤井川第二群	30	0.258±0.065	0.072±0.002	0.080±0.010	2.207±0.083	0.970±0.045	0.436±0.026	0.245±0.021	0.021±0.029	0.025±0.007	0.371±0.007
		豊泉第一群	75	0.473±0.019	0.148±0.007	0.060±0.015	1.764±0.072	0.438±0.027	0.607±0.028	0.157±0.020	0.025±0.017	0.032±0.002	0.469±0.013
		豊泉第二群	40	0.377±0.009	0.133±0.006	0.055±0.008	1.723±0.066	0.516±0.019	0.513±0.018	0.177±0.016	0.007±0.015	0.030±0.005	0.431±0.010
		奥尻島・幌内川	58	0.285±0.026	0.087±0.005	0.193±0.032	1.834±0.182	2.043±0.224	1.475±0.207	0.269±0.068	0.085±0.031	0.031±0.004	0.347±0.011
青森県		折腰内	35	0.190±0.015	0.075±0.003	0.040±0.008	1.575±0.066	1.241±0.046	0.318±0.014	0.141±0.033	0.076±0.021	0.024±0.002	0.348±0.010
		出来島	27	0.346±0.022	0.132±0.007	0.231±0.019	2.268±0.085	0.865±0.044	1.106±0.056	0.399±0.038	0.179±0.031	0.038±0.003	0.499±0.013
	深浦	六角沢	36	0.080±0.008	0.097±0.011	0.013±0.002	0.697±0.021	0.128±0.008	0.002±0.002	0.064±0.007	0.035±0.004	0.026±0.002	0.379±0.010
		八森山	41	0.077±0.005	0.098±0.003	0.013±0.002	0.701±0.018	0.134±0.005	0.002±0.002	0.070±0.005	0.034±0.006	0.027±0.005	0.384±0.009
	青森市	戸門第一群	28	0.250±0.024	0.069±0.003	0.068±0.012	2.358±0.257	1.168±0.062	0.521±0.063	0.277±0.065	0.076±0.025	0.026±0.002	0.362±0.015
		戸門第二群	28	0.084±0.006	0.104±0.004	0.013±0.002	0.691±0.021	0.123±0.006	0.002±0.002	0.069±0.010	0.033±0.005	0.025±0.002	0.369±0.007
		鶴ケ坂	33	0.344±0.017	0.132±0.007	0.232±0.023	2.261±0.143	0.861±0.052	1.081±0.060	0.390±0.039	0.186±0.037	0.037±0.002	0.496±0.018
		鷹森山	45	0.250±0.009	0.066±0.003	0.074±0.009	2.547±0.131	1.153±0.066	0.551±0.031	0.284±0.031	0.049±0.037	0.028±0.005	0.381±0.010
		下湯川	36	9.673±0.479	2.703±0.149	3.267±0.217	21.648±1.500	0.090±0.021	1.708±0.102	0.155±0.015	0.169±0.031	0.053±0.042	0.858±0.088
		大釈迦	64	0.252±0.012	0.066±0.003	0.074±0.012	2.516±0.148	1.149±0.063	0.548±0.035	0.284±0.032	0.044±0.035	0.028±0.002	0.383±0.010
		黒石	41	8.905±0.243	2.484±0.055	0.161±0.018	7.570±0.336	0.068±0.014	1.621±0.063	0.244±0.022	0.027±0.014	0.124±0.014	1.409±0.044
秋田県	男鹿	金ケ崎	43	0.294±0.009	0.087±0.004	0.220±0.018	1.644±0.081	1.493±0.081	0.930±0.043	0.287±0.039	0.098±0.040	0.029±0.002	0.368±0.008
		脇本	45	0.295±0.008	0.087±0.004	0.219±0.017	1.671±0.077	1.503±0.072	0.939±0.054	0.286±0.045	0.108±0.034	0.028±0.006	0.367±0.009
山形県		月山	44	0.285±0.021	0.123±0.007	0.182±0.016	1.906±0.096	0.966±0.069	1.022±0.071	0.276±0.036	0.119±0.033	0.033±0.002	0.443±0.014
		寒河江	48	0.385±0.008	0.116±0.005	0.049±0.017	1.806±0.054	0.580±0.025	0.441±0.023	0.212±0.020	0.056±0.015	0.033±0.003	0.460±0.010
岩手県		雫石	25	0.636±0.033	0.187±0.012	0.052±0.007	1.764±0.061	0.305±0.016	0.431±0.021	0.209±0.016	0.045±0.014	0.041±0.003	0.594±0.014
		折居第１群	37	0.632±0.033	0.185±0.013	0.052±0.002	1.766±0.048	0.307±0.017	0.420±0.026	0.205±0.015	0.039±0.016	0.040±0.001	0.579±0.019
		折居第２群	54	0.708±0.033	0.143±0.008	0.061±0.002	1.826±0.048	0.179±0.010	0.246±0.022	0.416±0.012	0.112±0.014	0.057±0.001	0.805±0.012
		花泉	29	0.602±0.044	0.175±0.015	0.053±0.003	1.781±0.068	0.313±0.020	0.416±0.027	0.214±0.013	0.036±0.016	0.040±0.002	0.576±0.037
宮城県		湯倉	21	2.174±0.068	0.349±0.017	0.057±0.005	2.544±0.149	0.116±0.009	0.658±0.024	0.138±0.015	0.020±0.013	0.073±0.003	0.956±0.040
		塩釜	37	4.828±0.395	1.630±0.104	0.178±0.017	11.362±1.150	0.168±0.018	1.298±0.063	0.155±0.016	0.037±0.018	0.077±0.002	0.720±0.032
栃木県		高原山	40	0.738±0.067	0.200±0.010	0.044±0.007	2.016±0.110	0.381±0.025	0.502±0.028	0.190±0.017	0.023±0.014	0.036±0.002	0.516±0.012
東京都		神津島第一群	56	0.381±0.014	0.136±0.005	0.102±0.011	1.729±0.079	0.471±0.027	0.689±0.037	0.247±0.021	0.090±0.026	0.036±0.003	0.504±0.012
		神津島第二群	46	0.317±0.021	0.120±0.007	0.114±0.005	1.833±0.089	0.615±0.044	0.656±0.064	0.303±0.029	0.107±0.057	0.033±0.001	0.471±0.022
		長根	40	0.318±0.020	0.120±0.005	0.118±0.014	1.805±0.096	0.614±0.036	0.664±0.045	0.291±0.029	0.093±0.039	0.034±0.006	0.476±0.012
神奈川県		箱根・笛塚	30	6.765±0.254	2.219±0.057	0.228±0.019	9.282±0.622	0.048±0.017	1.757±0.061	0.252±0.017	0.025±0.019	0.140±0.008	1.528±0.046
		箱根・畑宿	41	2.056±0.064	0.669±0.019	0.076±0.007	2.912±0.104	0.062±0.007	0.680±0.029	0.202±0.011	0.011±0.010	0.080±0.005	1.126±0.031
		鍛冶屋	31	1.663±0.071	0.381±0.019	0.056±0.007	2.139±0.097	0.073±0.008	0.629±0.025	0.154±0.009	0.011±0.009	0.067±0.005	0.904±0.020
		熱海峠	52	2.225±0.149	0.506±0.015	0.042±0.009	2.228±0.164	0.085±0.008	0.737±0.039	0.135±0.013	0.007±0.007	0.071±0.006	0.880±0.033
静岡県		上多賀	31	1.329±0.078	0.294±0.018	0.041±0.006	1.697±0.068	0.087±0.009	0.551±0.023	0.138±0.011	0.010±0.009	0.059±0.004	0.856±0.018
		柏峠西	35	1.213±0.164	0.314±0.028	0.031±0.004	1.699±0.167	0.113±0.007	0.391±0.022	0.143±0.007	0.009±0.009	0.047±0.004	0.663±0.020
		小豆峠	40	0.110±0.008	0.052±0.004	0.297±0.038	3.211±0.319	0.829±0.089	0.154±0.030	0.547±0.054	0.087±0.057	0.025±0.014	0.429±0.016
富山県		魚津	42	0.278±0.012	0.065±0.003	0.064±0.013	2.013±0.119	0.878±0.052	0.599±0.039	0.190±0.029	0.077±0.033	0.031±0.004	0.353±0.012
	高岡市	二上山第一群	36	0.319±0.017	0.113±0.006	0.040±0.008	1.720±0.080	0.740±0.052	0.665±0.029	0.121±0.026	0.047±0.031	0.015±0.014	0.392±0.018
		二上山第二群	40	0.710±0.017	0.202±0.008	0.054±0.011	1.994±0.152	0.413±0.028	0.840±0.050	0.118±0.025	0.051±0.031	0.020±0.020	0.599±0.024
		二上山第三群	45	0.441±0.052	0.108±0.014	0.079±0.021	2.251±0.138	0.794±0.155	1.222±0.088	0.127±0.041	0.067±0.053	0.015±0.014	0.412±0.025
長野県		霧ケ峰	168	0.156±0.010	0.068±0.003	0.101±0.018	1.331±0.070	1.052±0.051	0.360±0.030	0.275±0.039	0.090±0.035	0.029±0.003	0.346±0.011
		観音沢	72	0.159±0.010	0.069±0.002	0.100±0.019	1.324±0.084	1.055±0.057	0.368±0.033	0.279±0.032	0.086±0.033	0.030±0.003	0.345±0.010
		和田峠第一群	143	0.167±0.028	0.049±0.008	0.117±0.011	1.346±0.085	1.853±0.124	0.112±0.056	0.409±0.048	0.139±0.026	0.025±0.002	0.355±0.016
		和田峠第二群	32	0.147±0.004	0.032±0.003	0.153±0.011	1.481±0.084	2.487±0.169	0.027±0.024	0.527±0.040	0.185±0.023	0.026±0.001	0.363±0.010
		和田峠第三群	57	0.247±0.043	0.064±0.012	0.114±0.011	1.509±0.173	1.667±0.135	0.275±0.097	0.372±0.046	0.122±0.024	0.025±0.003	0.347±0.017

表Ⅳ－５　各黒曜石の原産地における原石群の元素比の平均値と標準偏差値(2)

原産地原石群名		分析個数	元素比									
			Ca/K	Ti/K	Mn/Zr	Fe/Zr	Rb/Zr	Sr/Zr	Y/Zr	Nb/Zr	Al/K	Si/K
長野県	和田峠第四群	37	0.144±0.017	0.063±0.004	0.094±0.009	1.373±0.085	1.311±0.037	0.206±0.030	0.263±0.038	0.090±0.022	0.023±0.002	0.331±0.019
	和田峠第五群	47	0.176±0.019	0.075±0.010	0.073±0.011	1.282±0.086	1.053±0.196	0.275±0.058	0.184±0.042	0.066±0.023	0.021±0.002	0.306±0.013
	和田峠第六群	53	0.156±0.011	0.055±0.005	0.095±0.012	1.333±0.064	1.523±0.093	0.134±0.031	0.279±0.039	0.010±0.017	0.021±0.002	0.313±0.012
	鷹山・和田	53	0.138±0.004	0.042±0.002	0.123±0.010	1.259±0.041	1.978±0.067	0.045±0.010	0.442±0.039	0.142±0.022	0.026±0.002	0.360±0.010
	男女倉	101	0.223±0.024	0.103±0.009	0.058±0.008	1.164±0.078	0.693±0.101	0.409±0.046	0.126±0.022	0.052±0.017	0.026±0.002	0.354±0.008
	高松沢	53	0.206±0.017	0.090±0.005	0.064±0.008	1.257±0.069	0.850±0.077	0.357±0.034	0.149±0.026	0.056±0.017	0.022±0.002	0.318±0.008
	うつぎ沢	81	0.222±0.014	0.099±0.006	0.058±0.008	1.189±0.060	0.748±0.075	0.392±0.031	0.140±0.022	0.046±0.021	0.025±0.005	0.340±0.009
	立科	49	0.155±0.007	0.068±0.003	0.102±0.018	1.320±0.077	1.033±0.063	0.362±0.030	0.285±0.035	0.104±0.040	0.030±0.003	0.356±0.011
	麦草峠	97	0.274±0.017	0.136±0.010	0.051±0.012	1.397±0.099	0.542±0.058	0.736±0.044	0.110±0.024	0.043±0.017	0.031±0.003	0.383±0.013
	双子池	83	0.252±0.027	0.129±0.007	0.059±0.010	1.630±0.179	0.669±0.052	0.802±0.058	0.111±0.024	0.037±0.032	0.027±0.007	0.401±0.011
	冷山	87	0.267±0.011	0.134±0.006	0.048±0.013	1.382±0.066	0.546±0.034	0.727±0.036	0.109±0.031	0.045±0.022	0.031±0.004	0.381±0.011
	大窪沢	42	1.481±0.117	0.466±0.021	0.042±0.006	2.005±0.135	0.182±0.011	0.841±0.044	0.105±0.010	0.009±0.008	0.033±0.005	0.459±0.012
	横川	41	3.047±0.066	1.071±0.026	0.115±0.015	7.380±0.366	0.158±0.016	0.833±0.040	0.186±0.015	0.023±0.012	0.045±0.005	0.513±0.021
新潟県	佐渡第一群	34	0.228±0.013	0.078±0.006	0.020±0.005	1.492±0.079	0.821±0.047	0.288±0.018	0.142±0.018	0.049±0.017	0.024±0.004	0.338±0.013
	佐渡第二群	12	0.263±0.032	0.097±0.018	0.020±0.006	1.501±0.053	0.717±0.106	0.326±0.029	0.091±0.022	0.046±0.015	0.026±0.002	0.338±0.009
	上石川	45	0.321±0.007	0.070±0.003	0.069±0.011	2.051±0.070	0.981±0.042	0.773±0.034	0.182±0.023	0.038±0.027	0.026±0.007	0.359±0.009
	板山	44	0.232±0.011	0.068±0.003	0.169±0.017	2.178±0.110	1.772±0.098	0.772±0.046	0.374±0.047	0.154±0.034	0.027±0.002	0.359±0.009
	大白川	47	0.569±0.006	0.142±0.005	0.033±0.001	1.608±0.034	0.261±0.009	0.332±0.009	0.150±0.008	0.033±0.009	0.036±0.001	0.491±0.014
	金津	46	0.331±0.011	0.097±0.037	0.030±0.007	1.711±0.066	0.618±0.027	0.283±0.012	0.181±0.016	0.035±0.018	0.027±0.009	0.402±0.012
	羽根川	55	0.163±0.019	0.053±0.005	0.099±0.011	1.354±0.058	1.615±0.063	0.084±0.012	0.309±0.036	0.100±0.028	0.023±0.007	0.340±0.030
石川県	比那	48	0.370±0.009	0.087±0.005	0.060±0.003	2.699±0.088	0.639±0.021	0.534±0.026	0.172±0.011	0.052±0.025	0.032±0.002	0.396±0.016
福井県	安島	42	0.407±0.006	0.123±0.006	0.038±0.002	1.628±0.048	0.643±0.026	0.675±0.023	0.113±0.008	0.061±0.022	0.032±0.001	0.450±0.010
	三里山	37	0.295±0.020	0.127±0.008	0.035±0.003	1.411±0.095	0.597±0.021	0.740±0.053	0.114±0.010	0.027±0.012	0.022±0.001	0.324±0.007
兵庫県	香住第一群	30	0.216±0.005	0.062±0.002	0.045±0.007	1.828±0.056	0.883±0.034	0.265±0.012	0.097±0.021	0.139±0.018	0.024±0.007	0.365±0.008
	香住第二群	40	0.278±0.012	0.100±0.004	0.048±0.009	1.764±0.066	0.813±0.045	0.397±0.020	0.112±0.026	0.138±0.024	0.026±0.012	0.446±0.012
	雨滝(微粒集)	48	0.123±0.004	0.056±0.002	0.083±0.012	1.967±0.061	1.171±0.040	0.157±0.013	0.183±0.044	0.221±0.021	0.026±0.025	0.316±0.006
島根県	加茂	20	0.166±0.006	0.093±0.008	0.014±0.003	0.899±0.031	0.278±0.017	0.009±0.003	0.061±0.015	0.154±0.018	0.020±0.001	0.249±0.016
	津井	30	0.161±0.008	0.132±0.182	0.015±0.003	0.940±0.041	0.301±0.014	0.015±0.005	0.060±0.013	0.144±0.008	0.020±0.002	0.244±0.008
	久見	31	0.145±0.006	0.061±0.003	0.021±0.004	0.980±0.023	0.386±0.011	0.007±0.003	0.109±0.013	0.238±0.011	0.023±0.002	0.315±0.006
岡山県	津	48	0.268±0.009	0.078±0.003	0.077±0.018	1.927±0.150	1.721±0.113	0.808±0.060	0.244±0.051	0.083±0.036	0.031±0.004	0.367±0.009
香川県	奥池第一群	51	1.202±0.077	0.141±0.010	0.032±0.008	3.126±0.170	0.686±0.065	1.350±0.082	0.026±0.026	0.065±0.019	0.041±0.004	0.507±0.011
	奥池第二群	50	1.585±0.126	0.194±0.018	0.035±0.007	2.860±0.160	0.423±0.058	1.044±0.077	0.024±0.019	0.042±0.013	0.045±0.004	0.507±0.013
	雄山	50	1.224±0.081	0.144±0.011	0.035±0.012	3.138±0.163	0.669±0.078	1.335±0.091	0.023±0.027	0.061±0.020	0.041±0.003	0.500±0.012
	神谷・南山	51	1.186±0.057	0.143±0.008	0.038±0.012	3.202±0.163	0.707±0.061	1.386±0.088	0.029±0.025	0.073±0.021	0.041±0.005	0.500±0.014
	大麻山南第一群	39	1.467±0.120	0.203±0.023	0.042±0.009	3.125±0.179	0.494±0.080	1.010±0.073	0.038±0.023	0.047±0.013	0.041±0.003	0.487±0.016
	大麻山南第二群	34	1.018±0.043	0.116±0.012	0.043±0.014	3.305±0.199	0.895±0.048	1.256±0.050	0.029±0.030	0.072±0.018	0.038±0.004	0.476±0.012
福岡県	八女昭和溜池	68	0.261±0.010	0.211±0.007	0.033±0.003	0.798±0.027	0.326±0.013	0.283±0.015	0.071±0.009	0.034±0.008	0.024±0.006	0.279±0.009
佐賀県	中野第一群	39	0.267±0.007	0.087±0.003	0.027±0.005	1.619±0.083	0.628±0.028	0.348±0.015	0.103±0.018	0.075±0.018	0.023±0.007	0.321±0.011
	中野第二群	40	0.345±0.007	0.104±0.003	0.027±0.005	1.535±0.039	0.455±0.017	0.397±0.014	0.069±0.016	0.059±0.014	0.026±0.008	0.328±0.008
	梅野	39	0.657±0.014	0.202±0.006	0.071±0.013	4.239±0.205	1.046±0.065	1.269±0.058	0.104±0.032	0.380±0.047	0.028±0.005	0.345±0.009
	腰岳	44	0.211±0.009	0.031±0.005	0.075±0.019	2.572±0.212	1.600±0.086	0.414±0.042	0.311±0.046	0.256±0.043	0.025±0.002	0.335±0.008
	椎葉川	59	0.414±0.009	0.071±0.003	0.101±0.017	2.947±0.142	1.253±0.081	2.015±0.099	0.147±0.035	0.255±0.040	0.030±0.007	0.388±0.009
	松尾第一群	40	0.600±0.067	0.153±0.029	0.125±0.018	4.692±0.369	1.170±0.114	2.023±0.122	0.171±0.032	0.255±0.037	0.032±0.003	0.376±0.008
	松尾第二群	40	0.953±0.027	0.307±0.010	0.126±0.013	6.666±0.342	0.856±0.070	1.907±0.119	0.147±0.029	0.194±0.028	0.033±0.008	0.383±0.010
大分県 姫島地域	観音崎	42	0.223±0.010	0.046±0.005	0.409±0.086	6.691±0.878	1.805±0.257	1.562±0.231	0.344±0.087	0.579±0.126	0.039±0.003	0.400±0.011
	両瀬第一群	51	0.226±0.011	0.045±0.003	0.411±0.066	6.743±0.900	1.845±0.286	1.553±0.230	0.318±0.087	0.560±0.144	0.038±0.004	0.401±0.012
	＊両瀬第二群	50	0.649±0.044	0.141±0.010	0.186±0.046	4.355±0.683	0.610±0.095	3.017±0.459	0.142±0.050	0.188±0.056	0.041±0.004	0.427±0.014
	＊両瀬第三群	46	1.038±0.131	0.211±0.024	0.110±0.027	3.367±0.617	0.311±0.058	3.756±0.668	0.105±0.030	0.094±0.037	0.042±0.007	0.442±0.021
	＊オイ崎	50	1.059±0.143	0.214±0.030	0.120±0.043	3.598±1.035	0.335±0.106	4.000±1.162	0.118±0.048	0.092±0.036	0.044±0.004	0.449±0.018
	＊稲積	45	0.680±0.061	0.145±0.013	0.168±0.037	4.397±0.776	0.612±0.095	3.080±0.476	0.147±0.046	0.194±0.060	0.041±0.005	0.431±0.015
	塚瀬	30	0.313±0.023	0.127±0.009	0.065±0.010	1.489±0.124	0.600±0.051	0.686±0.082	0.175±0.018	0.102±0.020	0.028±0.002	0.371±0.009
	荻台地	50	1.615±0.042	0.670±0.013	0.096±0.008	5.509±0.269	0.284±0.031	1.526±0.053	0.097±0.016	0.032±0.018	0.032±0.005	0.310±0.011
	緒方下尾平	64	0.482±0.036	0.286±0.015	0.051±0.008	1.361±0.095	0.303±0.019	0.712±0.043	0.089±0.018	0.055±0.021	0.012±0.010	0.288±0.016
長崎県 壱岐島	久喜ノ辻	37	0.172±0.009	0.066±0.002	0.030±0.005	1.176±0.043	0.385±0.012	0.011±0.004	0.135±0.018	0.354±0.014	0.023±0.002	0.276±0.007
	君ケ浦	28	0.174±0.007	0.065±0.002	0.033±0.006	1.174±0.035	0.389±0.012	0.013±0.005	0.129±0.014	0.356±0.012	0.023±0.003	0.275±0.008
	角川	28	0.146±0.009	0.038±0.002	0.059±0.009	1.691±0.100	1.726±0.085	0.035±0.008	0.344±0.040	0.717±0.047	0.023±0.002	0.338±0.010
	貝畑	49	0.135±0.010	0.037±0.002	0.056±0.009	1.746±0.073	1.834±0.064	0.022±0.013	0.334±0.046	0.714±0.040	0.021±0.009	0.339±0.015
長崎県	松浦第一群	42	0.213±0.005	0.031±0.004	0.073±0.006	2.545±0.134	1.579±0.079	0.420±0.034	0.292±0.019	0.258±0.037	0.027±0.003	0.341±0.011
	松浦第二群	42	0.190±0.012	0.032±0.006	0.068±0.011	2.371±0.323	1.582±0.199	0.315±0.069	0.276±0.055	0.210±0.056	0.026±0.003	0.336±0.010
	松浦第三群	42	0.244±0.016	0.063±0.010	0.046±0.007	1.880±0.200	0.836±0.121	0.368±0.098	0.145±0.019	0.127±0.030	0.026±0.003	0.329±0.020
	松浦第四群	41	0.288±0.014	0.070±0.006	0.042±0.003	1.833±0.086	0.717±0.179	0.451±0.040	0.111±0.010	0.123±0.022	0.027±0.003	0.341±0.012
	淀姫	44	0.334±0.014	0.080±0.004	0.044±0.009	1.744±0.069	0.533±0.030	0.485±0.039	0.094±0.022	0.119±0.017	0.027±0.002	0.353±0.011
	中町第一群	42	0.244±0.011	0.060±0.010	0.057±0.004	1.866±0.089	0.810±0.087	0.398±0.039	0.135±0.017	0.146±0.026	0.025±0.001	0.342±0.007
	中町第二群	42	0.319±0.042	0.079±0.023	0.046±0.003	1.793±0.089	0.666±0.091	0.482±0.044	0.118±0.018	0.101±0.024	0.025±0.001	0.333±0.015
	古里第一群	50	0.202±0.012	0.029±0.004	0.076±0.018	2.628±0.214	1.695±0.146	0.403±0.060	0.319±0.073	0.233±0.074	0.030±0.003	0.342±0.011
	古里第二群	40	0.423±0.016	0.075±0.007	0.089±0.017	2.797±0.274	1.148±0.133	1.814±0.192	0.103±0.060	0.208±0.053	0.034±0.003	0.367±0.009
	古里第三群	41	0.265±0.032	0.064±0.009	0.046±0.010	1.931±0.143	0.799±0.110	0.433±0.049	0.122±0.041	0.119±0.044	0.031±0.003	0.347±0.010
	松岳	43	0.194±0.009	0.054±0.005	0.040±0.008	1.686±0.114	0.833±0.058	0.251±0.025	0.192±0.032	0.124±0.039	0.018±0.011	0.331±0.017
	大崎	74	0.176±0.012	0.053±0.002	0.041±0.012	1.710±0.081	0.912±0.036	0.181±0.022	0.202±0.029	0.133±0.024	0.023±0.002	0.319±0.010
熊本県	小国	30	0.317±0.023	0.127±0.005	0.063±0.007	1.441±0.070	0.611±0.032	0.703±0.044	0.175±0.233	0.097±0.017	0.023±0.002	0.320±0.007
	南関	30	0.261±0.016	0.214±0.007	0.034±0.003	0.788±0.033	0.326±0.012	0.278±0.015	0.069±0.012	0.031±0.009	0.021±0.002	0.243±0.008
	轟	44	0.258±0.009	0.214±0.006	0.033±0.005	0.794±0.078	0.329±0.017	0.275±0.010	0.066±0.011	0.033±0.009	0.020±0.003	0.243±0.008

表Ⅳ－6　各黒曜石の原産地における原石群の元素比の平均値と標準偏差値(3)

原産地	原石群名	分析個数	元素比									
			Ca/K	Ti/K	Mn/Zr	Fe/Zr	Rb/Zr	Sr/Zr	Y/Zr	Nb/Zr	Al/K	Si/K
熊本県	大柿	53	1.534±0.139	0.665±0.035	0.075±0.008	4.494±0.460	0.247±0.014	1.236±0.092	0.090±0.018	0.041±0.012	0.030±0.003	0.292±0.010
	冠ケ岳	21	0.261±0.012	0.211±0.008	0.032±0.003	0.780±0.038	0.324±0.011	0.279±0.017	0.064±0.011	0.037±0.006	0.025±0.002	0.277±0.009
	滝室坂	57	1.599±0.107	0.722±0.046	0.085±0.011	6.205±0.305	0.256±0.018	1.154±0.055	0.103±0.014	0.047±0.013	0.027±0.004	0.247±0.016
	箱石峠	84	0.791±0.082	0.279±0.009	0.045±0.005	1.208±0.023	0.279±0.018	0.811±0.046	0.046±0.012	0.029±0.014	0.031±0.009	0.366±0.033
	長谷峠	53	1.668±0.165	0.694±0.036	0.080±0.010	4.977±0.587	0.253±0.015	1.335±0.104	0.098±0.016	0.040±0.008	0.031±0.003	0.295±0.012
	五ヶ瀬川	48	1.471±0.136	0.602±0.041	0.078±0.011	4.838±0.634	0.252±0.016	1.288±0.124	0.101±0.014	0.043±0.013	0.027±0.003	0.265±0.020
	御船	49	1.558±0.146	0.651±0.030	0.075±0.011	4.571±0.572	0.257±0.016	1.252±0.112	0.091±0.016	0.040±0.009	0.030±0.004	0.291±0.010
	白浜	78	0.208±0.021	0.101±0.009	0.024±0.006	1.382±0.086	1.021±0.099	0.351±0.037	0.162±0.027	0.027±0.022	0.022±0.007	0.317±0.009
宮崎県	桑ノ木津留第一群	47	0.207±0.015	0.094±0.006	0.070±0.009	1.521±0.075	1.080±0.048	0.418±0.020	0.266±0.034	0.063±0.024	0.020±0.003	0.314±0.011
	桑ノ木津留第二群	33	0.261±0.015	0.094±0.006	0.066±0.010	1.743±0.095	1.242±0.060	0.753±0.039	0.205±0.029	0.047±0.036	0.022±0.002	0.323±0.019
	霧島	36	35.158±1.118	5.001±0.175	0.041±0.002	0.038±0.002	0.009±0.004	0.155±0.005	0.035±0.019	0.000±0.000	0.035±0.019	0.446±0.022
鹿児島県	間根ヶ平第一群	45	0.186±0.010	0.083±0.005	0.047±0.008	1.611±0.079	0.948±0.055	0.340±0.032	0.281±0.031	0.041±0.032	0.022±0.008	0.358±0.014
	間根ヶ平第二群	45	0.247±0.018	0.106±0.006	0.047±0.008	1.488±0.074	0.768±0.034	0.428±0.049	0.235±0.020	0.039±0.027	0.024±0.008	0.378±0.013
	間根ヶ平第三群	42	0.584±0.012	0.176±0.005	0.037±0.007	1.484±0.097	0.449±0.031	0.675±0.049	0.143±0.023	0.036±0.022	0.023±0.014	0.390±0.019
	日東	42	0.262±0.018	0.143±0.006	0.022±0.004	1.178±0.040	0.712±0.028	0.408±0.025	0.100±0.018	0.029±0.013	0.019±0.001	0.275±0.006
	五女木	37	0.266±0.021	0.140±0.006	0.019±0.003	1.170±0.064	0.705±0.027	0.405±0.021	0.108±0.015	0.028±0.013	0.019±0.001	0.275±0.006
	上牛鼻	41	1.629±0.098	0.804±0.037	0.053±0.006	3.342±0.215	0.188±0.013	1.105±0.056	0.087±0.009	0.022±0.009	0.036±0.002	0.391±0.011
	平木場	34	1.944±0.054	0.912±0.028	0.062±0.005	3.975±0.182	0.184±0.011	1.266±0.049	0.093±0.010	0.021±0.010	0.038±0.003	0.408±0.010
	竜ケ水	48	0.533±0.029	0.167±0.006	0.061±0.013	1.494±0.093	0.611±0.039	0.688±0.052	0.127±0.023	0.069±0.022	0.033±0.003	0.494±0.011
	長谷	30	0.553±0.032	0.137±0.006	0.065±0.010	1.815±0.062	0.644±0.028	0.553±0.029	0.146±0.021	0.066±0.020	0.037±0.003	0.524±0.012
台湾	台東山脈	37	0.510±0.010	0.198±0.007	0.038±0.007	1.862±0.079	0.353±0.019	0.519±0.017	0.123±0.012	0.024±0.017	0.029±0.007	0.407±0.010
ロシア	イリスタヤ川	40	19.739±1.451	6.053±0.538	0.292±0.051	32.021±4.964	0.060±0.016	2.859±0.412	0.176±0.027	0.025±0.016	0.185±0.026	1.574±0.152
	ナチキ	48	0.220±0.008	0.104±0.004	0.099±0.016	1.261±0.062	0.608±0.028	0.500±0.026	0.122±0.030	0.064±0.023	0.024±0.003	0.340±0.006
	RED LAKE－1	40	0.134±0.004	0.044±0.003	0.014±0.002	1.238±0.027	1.019±0.026	0.011±0.009	0.395±0.016	0.044±0.031	0.023±0.000	0.334±0.005
アラスカ	ｲﾝﾃﾞｨｱﾝ・MLZ群	48	0.204±0.004	0.044±0.002	0.564±0.025	5.868±0.191	1.170±0.039	0.021±0.016	0.508±0.023	0.259±0.018	0.791±0.025	7.208±0.279
北朝鮮	白頭山灰皿	50	0.154±0.009	0.067±0.003	0.018±0.005	1.081±0.028	0.530±0.013	0.081±0.008	0.151±0.015	0.338±0.012	0.027±0.003	0.306±0.008
北海道	HS 1 遺物群	67	0.241±0.021	0.107±0.005	0.018±0.006	1.296±0.077	0.430±0.016	0.153±0.009	0.140±0.015	0.008±0.013	0.018±0.012	0.325±0.042
	HS 2 遺物群	60	0.453±0.011	0.135±0.008	0.041±0.008	1.765±0.075	0.448±0.021	0.419±0.019	0.130±0.015	0.015±0.019	0.034±0.010	0.500±0.015
	FR 1 遺物群	51	0.643±0.012	0.124±0.008	0.052±0.007	2.547±0.143	0.530±0.032	0.689±0.032	0.156±0.015	0.004±0.008	0.029±0.011	0.407±0.047
	FR 2 遺物群	59	0.535±0.061	0.106±0.012	0.053±0.009	2.545±0.138	0.557±0.051	0.685±0.029	0.165±0.021	0.016±0.022	0.027±0.009	0.373±0.043
	FR 3 遺物群	37	0.380±0.037	0.084±0.007	0.052±0.009	2.548±0.145	0.586±0.056	0.681±0.033	0.164±0.021	0.017±0.023	0.023±0.006	0.292±0.037
	FR 4 遺物群	44	0.261±0.043	0.074±0.010	0.051±0.008	2.500±0.117	0.639±0.057	0.679±0.032	0.155±0.021	0.009±0.017	0.018±0.008	0.258±0.036
	FH 1 遺物群	32	0.898±0.032	0.221±0.007	0.054±0.006	2.540±0.101	0.426±0.018	0.802±0.023	0.109±0.013	0.017±0.021	0.037±0.003	0.447±0.011
	KT 1 遺物群	56	1.103±0.050	0.146±0.007	0.081±0.008	2.942±0.133	0.314±0.053	0.775±0.082	0.133±0.016	0.019±0.021	0.043±0.007	0.516±0.015
	KT 2 遺物群	38	0.959±0.027	0.154±0.005	0.085±0.010	2.882±0.092	0.542±0.028	1.111±0.040	0.107±0.015	0.012±0.016	0.042±0.008	0.519±0.010
	KS 1 遺物群	32	0.275±0.007	0.107±0.005	0.047±0.010	1.751±0.051	0.836±0.038	0.468±0.021	0.180±0.019	0.023±0.028	0.025±0.007	0.345±0.010
	KS 2 遺物群	62	0.244±0.011	0.070±0.004	0.056±0.013	1.749±0.168	1.080±0.108	0.424±0.036	0.327±0.042	0.037±0.031	0.023±0.011	0.379±0.011
	KS 3 遺物群	48	0.164±0.008	0.041±0.002	0.080±0.013	2.565±0.126	1.460±0.057	0.162±0.019	0.389±0.042	0.069±0.028	0.024±0.002	0.337±0.015
	K19遺物群	48	0.185±0.007	0.049±0.003	0.081±0.013	2.162±0.122	1.031±0.041	0.435±0.025	0.263±0.028	0.050±0.019	0.023±0.002	0.260±0.009
	NI29遺物群	51	5.445±0.122	2.301±0.074	0.207±0.024	13.422±1.113	0.151±0.018	1.839±0.134	0.207±0.022	0.007±0.011	0.069±0.006	0.622±0.021
	ST139遺物群	48	0.189±0.008	0.088±0.006	0.070±0.015	2.690±0.100	1.326±0.056	0.284±0.022	0.338±0.040	0.058±0.023	0.026±0.003	0.311±0.008
青森県	HY 遺物群	31	0.238±0.011	0.131±0.006	0.048±0.008	1.636±0.066	0.418±0.028	1.441±0.015	0.482±0.024	0.029±0.028	0.020±0.015	0.481±0.068
	SN 1 遺物群	33	0.287±0.006	0.087±0.004	0.033±0.005	1.597±0.037	0.244±0.011	0.258±0.011	0.281±0.012	0.009±0.012	0.021±0.006	0.329±0.006
	SN 2 遺物群	29	0.209±0.006	0.116±0.006	0.076±0.008	1.571±0.082	0.716±0.035	0.292±0.017	0.264±0.029	0.028±0.030	0.023±0.009	0.383±0.015
秋田県	KN 遺物群	107	0.351±0.011	0.121±0.006	0.053±0.007	1.581±0.071	0.347±0.020	0.219±0.014	0.216±0.015	0.054±0.017	0.029±0.011	0.475±0.040
	TB 遺物群	60	0.252±0.014	0.113±0.007	0.124±0.015	1.805±0.088	0.875±0.056	0.663±0.038	0.272±0.029	0.083±0.037	0.026±0.008	0.378±0.021
	HR 遺物群	48	0.259±0.008	0.093±0.003	0.067±0.011	2.055±0.067	0.741±0.028	0.293±0.016	0.331±0.021	0.064±0.019	0.036±0.003	0.444±0.010
岩手県	AI 1 遺物群	41	1.519±0.026	0.277±0.010	0.078±0.006	2.849±0.073	0.167±0.010	0.526±0.017	0.251±0.013	0.009±0.012	0.058±0.017	0.929±0.024
	AI 2 遺物群	61	3.141±0.074	0.552±0.021	0.080±0.008	2.752±0.062	0.094±0.009	0.716±0.019	0.242±0.011	0.008±0.014	0.083±0.029	1.353±0.049
	AI 3 遺物群	61	0.950±0.013	0.215±0.004	0.117±0.009	4.306±0.100	0.114±0.008	0.909±0.028	0.248±0.012	0.014±0.016	0.028±0.006	0.360±0.009
	AI 4 遺物群	122	1.850±0.059	0.474±0.025	0.067±0.007	2.055±0.077	0.083±0.006	0.531±0.030	0.177±0.010	0.011±0.013	0.064±0.025	1.061±0.105
	AI 5 遺物群	122	3.167±0.092	0.696±0.027	0.101±0.009	3.787±0.108	0.114±0.010	0.892±0.026	0.241±0.012	0.006±0.012	0.091±0.020	1.234±0.052
	FS 遺物群	45	0.272±0.090	0.097±0.029	0.053±0.007	1.791±0.083	0.327±0.019	0.453±0.024	0.207±0.018	0.029±0.027	0.017±0.011	0.339±0.011
	SD 遺物群	48	2.900±0.050	0.741±0.016	0.118±0.010	3.922±0.077	0.117±0.012	0.906±0.026	0.246±0.013	0.008±0.017	0.083±0.013	1.195±0.029
	UN51遺物群	45	2.903±0.121	0.542±0.056	0.104±0.003	3.507±0.099	0.118±0.012	0.851±0.023	0.238±0.016	0.082±0.032	0.085±0.004	1.206±0.061
新潟県	AC 1 遺物群	63	0.479±0.014	0.192±0.006	0.054±0.008	1.561±0.075	0.400±0.017	0.440±0.019	0.169±0.019	0.061±0.015	0.033±0.005	0.427±0.016
	AC 2 遺物群	48	0.251±0.007	0.081±0.003	0.112±0.013	2.081±0.076	0.904±0.035	0.406±0.020	0.409±0.024	0.108±0.023	0.036±0.003	0.419±0.007
	AC 3 遺物群	36	0.657±0.016	0.144±0.005	0.083±0.010	1.891±0.051	0.202±0.010	0.381±0.017	0.286±0.018	0.041±0.012	0.049±0.005	0.616±0.013
	IN 1 遺物群	56	0.320±0.010	0.082±0.015	0.063±0.006	2.009±0.199	0.903±0.035	0.742±0.033	0.172±0.010	0.064±0.030	0.027±0.001	0.333±0.011
	IN 2 遺物群	48	0.745±0.013	0.110±0.004	0.140±0.015	3.176±0.212	0.728±0.039	1.582±0.080	0.104±0.030	0.038±0.013	0.036±0.003	0.396±0.010
	IN 3 遺物群	45	0.311±0.015	0.089±0.026	0.061±0.003	2.037±0.204	0.887±0.030	0.736±0.053	0.170±0.010	0.057±0.025	0.027±0.001	0.326±0.016
	IN 4 遺物群	45	0.233±0.006	0.044±0.002	0.058±0.002	1.841±0.056	0.935±0.030	0.754±0.024	0.182±0.011	0.057±0.029	0.018±0.001	0.214±0.003
長野県	NK 遺物群	57	0.566±0.019	0.163±0.007	0.086±0.011	1.822±0.084	0.467±0.031	1.691±0.064	0.102±0.021	0.041±0.028	0.038±0.003	0.500±0.014
	UH63遺物群	48	0.308±0.018	0.118±0.005	0.040±0.010	1.646±0.100	0.811±0.039	0.562±0.030	0.138±0.031	0.057±0.020	0.036±0.005	0.426±0.022
	UH66遺物群	48	0.310±0.019	0.075±0.005	0.064±0.014	1.980±0.082	0.901±0.051	0.841±0.040	0.159±0.038	0.054±0.020	0.041±0.018	0.378±0.025
	UH35遺物群	44	0.297±0.005	0.115±0.003	0.050±0.014	1.580±0.045	0.567±0.017	0.502±0.023	0.120±0.017	0.075±0.044	0.025±0.001	0.346±0.006
	FUTI 3 遺物群	50	0.730±0.108	0.270±0.023	0.155±0.017	4.326±0.434	0.777±0.125	1.809±0.206	0.477±0.124	0.038±0.089	0.039±0.003	1.724±0.089
山口県	YM 遺物群	56	0.381±0.016	0.138±0.005	0.038±0.012	1.611±0.102	0.721±0.039	0.497±0.026	0.128±0.022	0.047±0.016	0.023±0.003	0.331±0.013
	NM 遺物群	40	0.330±0.010	0.103±0.003	0.042±0.012	1.751±0.083	1.048±0.057	0.518±0.034	0.196±0.037	0.058±0.018	0.022±0.003	0.326±0.011
	MK-1遺物群	48	0.087±0.008	0.059±0.002	0.010±0.003	0.677±0.023	0.370±0.097	0.006±0.002	0.125±0.012	0.292±0.010	0.022±0.002	0.337±0.010
	MK-2遺物群	48	0.258±0.010	0.026±0.002	0.055±0.013	1.745±0.121	1.149±0.092	0.297±0.029	0.202±0.037	0.177±0.022	0.021±0.002	0.268±0.007
大分県	I 遺物群	54	0.794±0.070	0.202±0.009	0.061±0.013	1.774±0.132	0.380±0.030	1.350±0.096	0.076±0.032	0.079±0.022	0.040±0.004	0.434±0.015

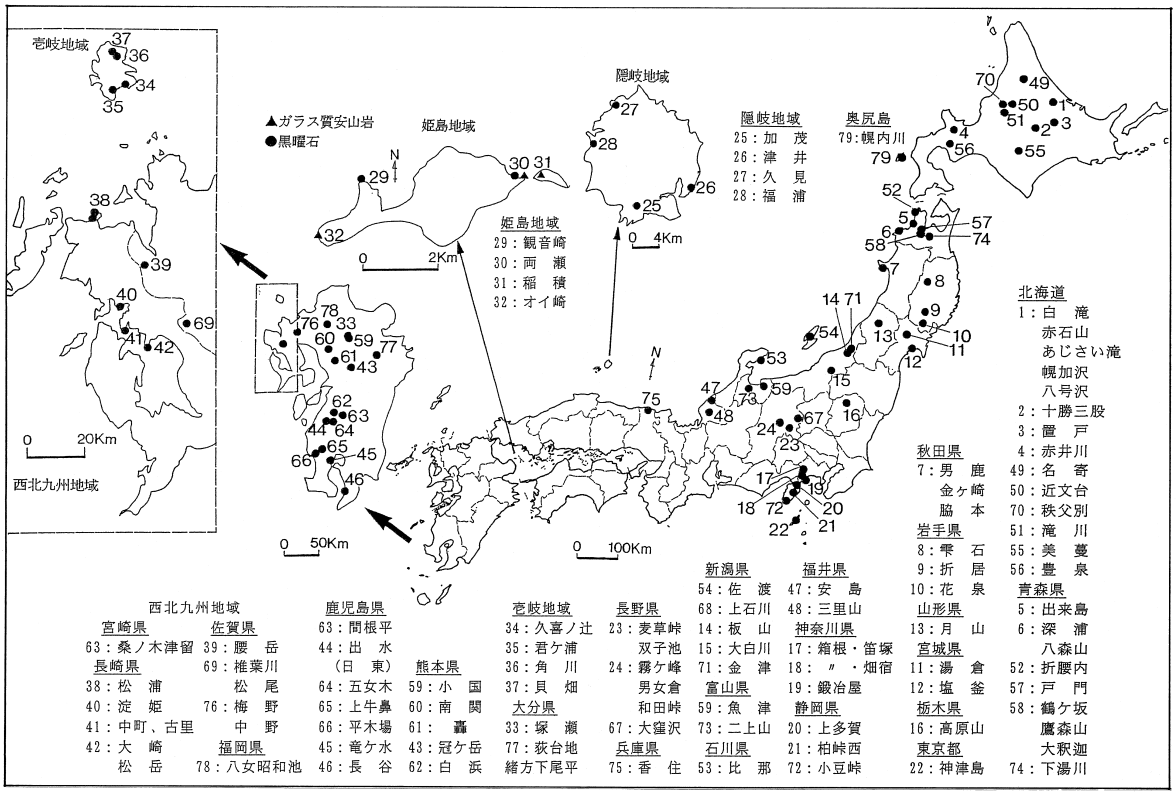
表Ⅳ－７　各黒曜石の原産地における原石群の元素比の平均値と標準偏差値(4)

原産地原石群名		分析個数	元素比									
			Ca/K	Ti/K	Mn/Zr	Fe/Zr	Rb/Zr	Sr/Zr	Y/Zr	Nb/Zr	Al/K	Si/K
宮崎県	HB１遺物群	48	0.197±0.035	0.754±0.055	0.098±0.042	7.099±0.844	0.434±0.062	0.975±0.130	0.368±0.079	0.126±0.079	0.093±0.022	6.312±0.525
	HB２遺物群	48	0.414±0.100	1.557±0.674	0.110±0.044	9.900±1.595	0.176±0.088	1.209±0.459	0.327±0.052	0.178±0.069	0.178±0.044	9.938±1.532
	UT１遺物群	46	0.297±0.013	0.107±0.005	0.053±0.010	1.638±0.104	1.012±0.056	0.736±0.039	0.168±0.027	0.034±0.028	0.024±0.011	0.390±0.014
	KU４遺物群	48	1.871±0.365	1.018±0.094	3.790±0.705	14.990±4.008	0.673±0.081	2.043±0.233	0.752±0.079	0.056±0.045	0.090±0.017	4.302±0.246
鹿児島県	KI１遺物群	45	0.383±0.012	0.101±0.005	0.061±0.024	1.913±0.158	0.985±0.057	0.527±0.038	0.197±0.030	0.079±0.028	0.028±0.002	0.409±0.009
	KI２遺物群	46	0.402±0.015	0.146±0.008	0.060±0.017	1.529±0.148	0.729±0.052	0.565±0.038	0.137±0.024	0.083±0.026	0.029±0.003	0.443±0.022
	KI３遺物群	48	1.545±0.154	0.557±0.045	0.074±0.011	3.746±0.455	0.284±0.018	0.783±0.044	0.106±0.021	0.025±0.011	0.047±0.006	0.499±0.021
	KI４遺物群	56	2.625±0.109	0.871±0.136	0.093±0.007	5.623±0.602	0.255±0.015	0.906±0.074	0.107±0.009	0.031±0.015	0.062±0.007	0.587±0.038
	KI５遺物群	52	0.206±0.012	0.064±0.007	0.061±0.004	1.570±0.073	1.213±0.063	0.728±0.036	0.224±0.013	0.044±0.030	0.014±0.001	0.259±0.026
	KI18遺物群	46	0.447±0.011	0.122±0.005	0.045±0.020	1.737±0.046	0.687±0.023	0.481±0.020	0.140±0.009	0.050±0.024	0.030±0.001	0.428±0.008
	KI84遺物群	48	0.655±0.009	0.151±0.009	0.026±0.001	1.515±0.020	0.332±0.011	0.340±0.011	0.102±0.005	0.051±0.011	0.032±0.001	0.431±0.007
	SG 遺物群	48	1.668±0.034	0.778±0.038	0.082±0.010	4.106±0.222	0.202±0.014	0.699±0.025	0.133±0.013	0.015±0.019	0.027±0.021	0.553±0.033
	OK 遺物群	32	1.371±0.074	0.687±0.025	0.061±0.008	3.109±0.161	0.202±0.012	0.579±0.027	0.122±0.014	0.009±0.014	0.027±0.018	0.518±0.021
	KK１遺物群	48	0.347±0.010	0.080±0.003	0.081±0.012	3.085±0.155	0.887±0.036	1.487±0.065	0.119±0.036	0.184±0.023	0.027±0.002	0.265±0.009
	KK２遺物群	46	0.521±0.012	0.122±0.004	0.076±0.013	3.125±0.222	0.877±0.048	1.500±0.074	0.109±0.034	0.187±0.023	0.035±0.004	0.359±0.010
	HM１遺物群	44	0.683±0.024	0.861±0.021	0.063±0.013	8.678±0.663	0.642±0.039	0.739±0.054	0.127±0.034	0.065±0.018	0.037±0.005	0.282±0.008
	HM２遺物群	50	0.483±0.022	0.121±0.006	0.054±0.014	1.975±0.122	0.695±0.040	0.454±0.034	0.191±0.028	0.058±0.028	0.034±0.006	0.474±0.016
	ON１遺物群	54	0.303±0.012	0.167±0.006	0.038±0.007	1.157±0.044	0.447±0.020	0.435±0.016	0.126±0.025	0.039±0.016	0.032±0.004	0.376±0.012
	ON２遺物群	56	0.276±0.019	0.053±0.004	0.084±0.017	2.491±0.128	1.492±0.088	0.667±0.046	0.211±0.032	0.108±0.028	0.030±0.004	0.345±0.011
	MTR20遺物群	45	0.262±0.010	0.104±0.003	0.064±0.003	1.468±0.046	1.017±0.038	0.496±0.030	0.275±0.018	0.067±0.040	0.025±0.000	0.343±0.005
	MTR21遺物群	45	0.777±0.063	0.154±0.008	0.029±0.002	1.627±0.105	0.287±0.019	0.345±0.042	0.120±0.008	0.036±0.016	0.035±0.001	0.466±0.005
北朝鮮	会寧城外遺跡遺物群	70	0.135±0.012	0.062±0.006	0.017±0.003	1.118±0.051	0.585±0.036	0.068±0.019	0.150±0.022	0.372±0.035	0.025±0.004	0.319±0.012
ロシア	イリスタヤ	26	18.888±2.100	6.088±0.868	0.293±0.032	27.963±2.608	0.055±0.017	2.716±0.162	0.163±0.019	0.036±0.030	0.173±0.029	1.674±0.240
イリスタヤ地域	RMA－１遺物群	43	28.381±1.693	10.508±0.636	0.240±0.010	26.686±1.014	0.176±0.031	2.337±0.092	0.105±0.025	0.031±0.041	0.222±0.013	2.176±0.123
	RMA－３遺物群	43	20.226±1.462	8.128±0.592	0.218±0.009	24.174±0.833	0.193±0.023	2.233±0.079	0.099±0.022	0.059±0.051	0.155±0.012	1.548±0.114
	RMA－４遺物群	43	27.653±3.592	9.780±1.292	0.253±0.010	27.839±1.009	0.179±0.021	2.379±0.089	0.121±0.029	0.026±0.030	0.225±0.030	2.201±0.292
	RMA－５遺物群	43	27.580±1.836	9.965±0.667	0.250±0.010	27.523±1.037	0.189±0.029	2.287±0.088	0.111±0.029	0.033±0.039	0.219±0.015	2.177±0.157
	RO－１B遺物群	43	24.212±2.767	9.472±1.106	0.241±0.010	27.056±1.109	0.180±0.026	2.132±0.096	0.134±0.022	0.029±0.033	0.192±0.022	1.904±0.221
	RQ－１遺物群	43	20.615±1.401	8.370±0.622	0.211±0.009	23.337±0.721	0.176±0.027	2.219±0.075	0.097±0.019	0.057±0.041	0.156±0.011	1.554±0.108
	RSN－１B遺物群	43	16.950±1.452	7.993±0.713	0.155±0.005	18.028±0.466	0.133±0.018	2.664±0.073	0.071±0.020	0.032±0.030	0.135±0.012	1.369±0.120
	RW－１遺物群	43	16.252±1.229	7.622±0.591	0.151±0.005	17.579±0.460	0.133±0.016	2.653±0.073	0.065±0.018	0.041±0.032	0.128±0.010	1.290±0.098
	コムソモリスクーフーミ遺物群	47	0.349±0.008	0.168±0.003	0.115±0.005	1.382±0.065	0.219±0.017	0.504±0.028	0.109±0.012	0.109±0.031	0.036±0.010	0.440±0.013
	パリヤ３遺物群	45	0.260±0.019	0.081±0.007	0.019±0.002	1.198±0.106	0.726±0.078	0.007±0.028	0.228±0.036	0.056±0.015	0.035±0.003	0.502±0.045
	プリダロジェナヤ12－1遺物群	48	0.129±0.004	0.045±0.002	0.012±0.001	0.899±0.071	0.740±0.056	0.008±0.006	0.290±0.021	0.028±0.016	0.023±0.001	0.342±0.007
	コルギチャン2－3遺物群	48	0.275±0.009	0.137±0.003	0.069±0.002	1.230±0.020	0.412±0.014	0.559±0.026	0.121±0.013	0.165±0.026	0.029±0.001	0.386±0.011
	ヘタクチャン7－3遺物群	45	0.296±0.050	0.048±0.008	0.055±0.012	1.181±0.037	0.1024±0.030	0.025±0.013	0.392±0.014	0.038±0.025	0.020±0.001	0.293±0.007
カムチャッカ半島	パラトウンカ－１	56	0.706±0.048	0.225±0.011	0.048±0.010	1.851±0.180	0.246±0.014	0.752±0.070	0.075±0.016	0.015±0.008	0.041±0.004	0.482±0.022
	パラトウンカ－２	40	0.717±0.018	0.269±0.006	0.031±0.006	1.604±0.043	0.119±0.007	0.398±0.016	0.095±0.008	0.016±0.006	0.031±0.003	0.402±0.010
	パラトウンカ－３	48	0.384±0.008	0.097±0.004	0.043±0.007	1.642±0.053	0.262±0.011	0.753±0.026	0.066±0.026	0.013±0.062	0.017±0.003	0.176±0.009
	パラトウンカ－４	48	0.141±0.007	0.074±0.003	0.029±0.004	1.069±0.025	0.203±0.007	0.150±0.006	0.106±0.009	0.024±0.006	0.016±0.002	0.146±0.004
	アバチャ	40	0.255±0.007	0.160±0.005	0.029±0.004	1.121±0.034	0.192±0.007	0.151±0.008	0.106±0.009	0.024±0.007	0.026±0.003	0.303±0.007
	ミリコボ遺物群	45	0.467±0.009	0.163±0.005	0.045±0.002	1.528±0.047	0.186±0.015	0.490±0.019	0.118±0.011	0.010±0.013	0.032±0.001	0.448±0.010
	Ushiki Ⅴ遺物群	44	0.184±0.006	0.074±0.003	0.075±0.004	1.406±0.079	0.756±0.038	0.435±0.045	0.151±0.027	0.281±0.079	0.022±0.001	0.328±0.003
	Ushiki 遺物群	50	0.537±0.015	0.186±0.011	0.061±0.004	1.384±0.082	0.253±0.023	1.423±0.086	0.080±0.018	0.020±0.023	0.030±0.001	0.397±0.012
	Ushiki Ⅱ遺物群	50	0.281±0.005	0.141±0.003	0.066±0.002	1.250±0.028	0.377±0.017	0.568±0.022	0.114±0.015	0.151±0.032	0.028±0.001	0.386±0.004
アラスカ	GUL09遺物群	40	0.167±0.017	0.074±0.003	0.035±0.002	1.498±0.030	0.975±0.037	0.215±0.023	0.220±0.018	0.139±0.038	0.023±0.001	0.327±0.005
	XMK02遺物群	40	2.897±0.065	1.695±0.046	0.078±0.001	4.555±0.074	0.100±0.007	0.831±0.018	0.103±0.006	0.043±0.018	0.047±0.001	0.508±0.014
	YUK01遺物群	40	0.155±0.005	0.041±0.002	0.026±0.002	1.530±0.035	1.022±0.027	0.007±0.010	0.253±0.017	0.146±0.043	0.022±0.001	0.331±0.010
	YUK16遺物群	40	0.154±0.007	0.066±0.004	0.037±0.002	1.496±0.039	1.046±0.032	0.178±0.017	0.232±0.014	0.146±0.036	0.023±0.001	0.327±0.007
	YUK34遺物群	40	0.172±0.003	0.085±0.003	0.032±0.002	1.495±0.041	0.830±0.028	0.312±0.022	0.177±0.017	0.098±0.043	0.022±0.001	0.327±0.004
	UNL01遺物群	40	0.427±0.005	0.170±0.002	0.024±0.001	1.162±0.009	0.128±0.005	0.136±0.005	0.129±0.004	0.037±0.010	0.027±0.001	0.361±0.004
	UNI07遺物群	40	0.428±0.027	0.249±0.017	0.020±0.001	1.215±0.032	0.202±0.007	0.208±0.009	0.087±0.006	0.011±0.010	0.025±0.001	0.334±0.004
	CHK02遺物群	40	0.606±0.008	0.269±0.029	0.043±0.001	1.774±0.045	0.106±0.007	0.246±0.007	0.106±0.007	0.041±0.015	0.034±0.001	0.459±0.016
	CRG01遺物群	40	0.089±0.003	0.153±0.003	0.005±0.000	0.411±0.004	0.074±0.002	0.000±0.001	0.064±0.002	0.219±0.004	0.021±0.001	0.313±0.002
	MMK03遺物群	41	0.438±0.007	0.165±0.005	0.027±0.001	1.409±0.029	0.245±0.010	0.560±0.016	0.068±0.010	0.020±0.017	0.029±0.001	0.371±0.007
	MMK12遺物群	41	0.126±0.004	0.085±0.003	0.066±0.003	1.091±0.031	0.830±0.030	0.046±0.016	0.211±0.015	0.318±0.037	0.023±0.001	0.335±0.006
	HEA10遺物群	41	0.222±0.007	0.130±0.004	0.021±0.001	1.338±0.135	0.454±0.026	0.412±0.018	0.134±0.014	0.052±0.022	0.020±0.001	0.279±0.003
	HEA26遺物群	41	0.235±0.005	0.082±0.003	0.028±0.002	1.843±0.089	1.066±0.035	0.207±0.028	0.351±0.021	0.057±0.048	0.026±0.001	0.363±0.005
	XBD61遺物群	41	0.073±0.004	0.214±0.004	0.008±0.000	0.721±0.004	0.063±0.002	0.001±0.001	0.067±0.002	0.179±0.004	0.019±0.001	0.322±0.003
	XBD124遺物群	41	0.274±0.006	0.170±0.003	0.031±0.001	1.293±0.020	0.409±0.010	0.412±0.017	0.090±0.015	0.103±0.025	0.026±0.001	0.359±0.003
	XBD131遺物群	41	0.156±0.004	0.048±0.003	0.131±0.006	1.244±0.041	2.125±0.091	0.031±0.023	0.430±0.024	0.790±0.062	0.024±0.001	0.342±0.002
	NOA02遺物群	41	0.149±0.003	0.134±0.004	0.043±0.002	1.075±0.043	0.654±0.032	0.285±0.018	0.142±0.012	0.183±0.035	0.023±0.001	0.323±0.004
	NOA07遺物群	41	0.210±0.005	0.176±0.011	0.017±0.001	0.871±0.016	0.221±0.007	0.068±0.006	0.097±0.006	0.065±0.014	0.024±0.001	0.301±0.005
	SIT02遺物群	40	0.076±0.010	0.121±0.020	0.006±0.000	0.454±0.005	0.097±0.002	0.001±0.001	0.073±0.002	0.224±0.005	0.022±0.001	0.338±0.009
	SIT032遺物群	40	0.098±0.003	0.152±0.003	0.005±0.000	0.449±0.004	0.075±0.002	0.000±0.000	0.063±0.002	0.220±0.004	0.022±0.001	0.316±0.003
標準試料	JG－１ a)	127	0.755±0.010	0.202±0.005	0.076±0.011	3.759±0.111	0.993±0.036	1.331±0.046	0.251±0.027	0.105±0.017	0.028±0.002	0.342±0.004

M 群＝桑ノ木津留第一群、F 群＝UT 遺物群、HS２群＝置戸・置戸山群、FR２群＝ケショマップ第一群にそれぞれ一致　平均値±標準偏差値、＊：ガラス質安山岩、NK 遺物群:中ッ原遺跡、HY 遺物群：日和山遺跡、SN 遺物群：三内丸山遺跡出土、KN 遺物群：此掛沢遺跡、HS 遺物群：北進遺跡、KI 遺物群：桐木遺跡、UT 遺物群：内屋敷遺跡、AI 遺物群：相ノ沢遺跡、FS 遺物群：房ノ沢遺跡、SD 遺物群：下舘銅屋遺跡、FR 遺物群：東籠郷1,2遺跡、FH 遺物群：東９線８遺跡、KT 遺物群：北区１遺跡、KS 遺物群：キウス４遺跡Ａ－Ｒ地区、SG 遺物群：志風頭遺跡、OK 遺物群：奥名野遺跡、TB 遺物群：戸平川遺跡、NM 遺物群：長桝遺跡、MK 遺物群：南方遺跡、YM 遺物群：南方、藤尾、岩上遺跡、AC１、２、３遺物群：アチャ平遺跡、IN１、２遺物群：岩野原遺跡、K19遺物群：K39遺跡、KK1,2遺物群：計志加里遺跡、HB1,2(フリント様)：八久保第２遺跡、HR 遺物群：堀量遺跡、HM 遺物群：春ノ山遺跡、KU４(硬質頁岩様)：久木野遺跡、ON1,2：大原野遺跡、NI29：穂香遺跡、UH63・UH66：上ノ原遺跡、UN51遺物群：雲南遺跡など出土遺物の産地不明の原石群。ウラジオストック付近：イリスタヤ遺跡、南カムチャッカ：パラトウンカ、ナチキ、アバチャ遺跡、中部カムチャッカ：Ushiki Ⅰ、Ⅱ、Ⅴ遺跡、コムソモリスクーナーアムール：フーミ遺物群、MTR21遺物群：耳取遺跡、FUTI３遺物群：八千代村封地遺跡、ST139遺物群：上白滝５遺跡。

a)：Ando,A., Kurasawa,H., Ohmori,T. & Takeda,E.(1974).1974compilation of data on the GJS geochemical reference samples JG－１granodiorite and JB－１basalt. Geochemical Journal Vol.8,175－192.

黒曜石の原産地は分布する。調査を終えた原産地を図Ⅳ－３に示す。元素組成によってこれら原石を分類した結果を表Ⅳ－４～７に示す。この原石群に原石産地不明の遺物で作った遺物群を加えると281個の群の数になる。ここでは北海道地域および一部の東北地域の産地について記述すると、白滝地域の原産地は、北海道紋別郡白滝村に位置し、鹿砦北方２kmの採石場の赤石山の露頭、鹿砦東方約２kmの幌加沢地点、他に白土沢、八号沢などより転礫として黒曜石が採取できる。赤石山の産地は大規模であり、黒曜石は色に関係無く赤石山群（旧白滝第一群）にまとまる。次に、あじさいの滝の露頭からは赤石山と肉眼観察では区別できない原石が採取でき、あじさい滝群を作った(旧白滝第二群)。それから、八号沢の黒曜石原石と白土沢の転礫は黒曜石で、元素組成はあじさい滝群に似るが、石肌が梨肌でありそれで区別できる。幌加沢の転礫の中で70％は幌加沢群になり、あじさい滝群と元素組成から両群を区別できず、残りの30％は赤石山群に一致する。置戸地域産原石のうち、北海道常呂郡置戸町の清水の沢林道より採取された原石の元素組成は置戸・所山群にまとまり、また同町の秋田林道で採取される原石の元素組成は置戸山群にまとまる。留辺蘂町のケショマップ川一帯で採取される原石はケショマップ第一および第二群に分類される。また、白滝地域、ケショマップ、置戸地域産原石は、湧別川および常呂川に通じる流域にあり、その両河川の流域では黒曜石の円礫が採取される。そのうち湧別川下流域から採取した黒曜石円礫247個の元素組成の分類結果を表Ⅳ－８に示した。それから、中ノ島、北見大橋間の常呂川流域から採取した37個の円礫の中には、独特な元素組成の原石も見られるため新しい原石群を追加し分類結果を表Ⅳ－９に示した。十勝三股産原石の採取場所は、北海道河東郡上士幌町の十勝三股の十三ノ沢の谷筋および沢の中であり、その元素組成は十勝三股群にまとまる。この十勝三股産原石は十三ノ沢から音更川さらに十勝川に流れた可能性があり、十勝川から採取される黒曜石円礫の元素組成は、十勝三股産の原石の元素組成ととてもよく似ている。また、上士幌町のサンケオルベ川より採取される黒曜石円礫の元素組成も十勝三股産原石の元素組成ととてもよく似ている。これら元素組成のよく似た原石の原産地は互いに区別できないため、遺物石材の産地分析でたとえ十勝三股群に同定されたとしても、他に音更川、十勝川、サンケオルベ川の複数の地点を考えなければならない。しかし、これら複数の産地をまとめて十勝地域としても、古代の地域間の交流を考察する場合、問題はないと考えられる。また、清水町、新得町、鹿追町にかけて広がる美蔓台地から産出する黒曜石から２個の美蔓原石群を作った。この原石は産地近傍の遺跡で使用されている。名寄市の智南地域、智恵文川および忠烈布貯水池から上名寄の地域にかけて黒曜石の円礫が採集される。これらを元素組成で分類すると88％は名寄第一群、12％は名寄第二群にそれぞれなる。旭川市の近文台、台場、嵐山遺跡付近および雨文台北部などから採集される黒曜石の円礫は、20％が近文台第一群、69％が近文台第二群、11％が近文台第三群にそれぞれ分類される。そのうち台場の砂礫採取場からは近文台諸群に一致するもの以外に黒、灰色系統の円礫も見られ、それらから台場第一、二群を作った。滝川市江別乙で採集される親指大の黒曜石の礫は、元素組成で分類すると約79％が滝川群にまとまり、21％が近文台第二、三群に元素組成が一致する。このうち滝川群に一致する元素組成の原石は、北竜市恵袋別川のほとりにある培本社からも採取される。秩父別第一、二群の黒曜石原石は秩父別町の雨竜川に開けた平野を見下す丘陵中腹の緩斜面から小さな円礫として採取される。これらの黒曜石原石の産出状況や礫の状態は滝川産黒曜石と同じであり、そして秩父別第一群は滝川第一群に元素組成が一致し、秩父別第二群は滝川第二群に一致し、さらに近文台第二群にも一致する。赤井川産原石は、北海道余市郡赤井川村の土木沢上流域およびこの付近の山腹より採取できる。この原石のうち、少球顆状の列が何層にも重なり石器の原材として良質とはいえない原石で赤井川第一群を作り、また、球顆状のものが非常に少ない握り拳半分大の良質な原石などで赤井川第二群を作った。



図Ⅳ－３　黒曜石原産地

表Ⅳ－８　湧別川河口域の河床から採取した247個の黒曜石円礫の分類結果

原石群名	個数	百分率	備　　考
赤石山群	90個	36%	白滝産地赤石山群に一致
八号沢・白土沢群	120個	49%	割れ面が梨肌の黒曜石
あじさい滝群、幌加沢	31個	13%	割れ面が梨肌でないもの
ケショマップ第二群	5個	２%	
ＫＳ３遺物群	1個	0.04%	

注：八号沢、白土沢、あじさい滝、幌加沢の一部は組成が酷似し、分類は割れ面が梨肌か否かで区別した。

表Ⅳ－９　常呂川(中ノ島～北見大橋)から採取した37個の黒曜石円礫の分類結果

原石群名	個数	百分率	備　　考
所山群	21個	57%	
置戸山群	8個	22%	ＨＳ２遺物群に似る
ケショマップ第二群	1個	3%	ＦＲ１、ＦＲ２遺物群に似る
八号沢群	1個	3%	割れ面梨肌
常呂川第１群	1個	3%	
常呂川第２群	2個	5%	
常呂川第３群	1個	3%	
常呂川第４群	2個	5%	ＫＳ１遺物群、所山群に似る

注：常呂川第１～２群は分析場所を変えて複数回測定して作る。

これら第一、二群の元素組成は非常に似ていて、遺物を分析したとき、しばしば赤井川両群に同定される。豊泉産原石は豊浦町から産出し、元素組成によって豊泉第一、二群の２群に区別される。そのうち豊泉第二群の原石は斑晶が少なく良質な黒曜石である。豊泉産原石の使用圏は道南地方に広がり、一部は青森県に伝播している。また、青森県教育庁の斉藤岳氏提供の奥尻島幌内川産黒曜石で原石群が確立されている。出来島群は、青森県西津軽郡木造町七里長浜の海岸部より採取された円礫の原石で作られた群であり、この出来島群と互いに似た元素組成の原石は、岩木山の西側を流れ鯵ケ沢地区に流入する中村川の上流で１点採取され、その他には青森市の鶴ケ坂および西津軽郡森田村鶴ばみ地区より採取されている。青森県西津軽郡深浦町の海岸や同町の六角沢およびこの沢筋に位置する露頭より採取された原石で六角沢群を作り、また八森山産出の原石で八森山群をそれぞれ作った。深浦の両群とよく似た群は青森市戸門地区より産出する黒曜石で作られた戸門第二群である。戸門第一群、成田群、浪岡町県民の森地区より産出した原石で作った大釈迦群（旧浪岡群）は赤井川産原石の第一、二群と弁別は可能であるが原石の元素組成は比較的似ている。戸門、大釈迦産黒曜石の産出量は非常に少なく、その中には石鏃が作れる大きさのものが稀にみられる程度である。しかし、鷹森山群は鷹森山麓の成田地区産出の黒曜石でありその中には５cm 大のものもみられる。その他に考古学者の話題になる下湯川産黒曜石についても原石群を作った。産地分析は、上記の産地を含む日本各地、近隣諸国を含めた産地の合計281個の原石群、原石産地不明の遺物群と比較し、必要条件と十分条件を求めて遺物の原石産地を同定する。

（４）結果と考察

遺跡から出土した黒曜石製石器、石片は風化に対して安定で、表面に薄い水和層が形成されているにすぎないため、表面の泥を水洗するだけで完全な非破壊分析が可能であると考えられる。黒曜石製の石器で、水和層の影響を考慮するとすれば、軽い元素の分析ほど表面分析になるため、水和層の影響を受けやすいと考えられる。Ca/K、Ti/K の両軽元素比の値を除いて産地分析を行った場合と、また除かずに産地分析を行った場合の、いずれの場合でも同定される産地は同じである。他の元素比の値についても風化の影響を完全に否定することができないので、得られた確率の数値にはやや不確実さを伴うが、遺物の石材産地の判定を誤るようなことはない。

今回分析した上白滝８遺跡出土の黒曜石製遺物の各元素比の値を表Ⅳ－10に示した。石器の分析結果から石材産地を同定するためには数理統計の手法を用いて各原石群との比較をする。説明を簡単にするため例として Rb/Zr の一変量だけを考えると、表Ⅳ－10の分析番号95226番の遺物では Rb/Zr の値は1.345である。そこでこの値を赤石山群と比較すると、赤石山の［平均値］±［標準偏差値］は1.340±0.059であるので、分析番号95226番の遺物と原石群の差を標準偏差値（σ）を基準にして考えると、遺物は赤石山群の平均値から0.08σ 離れている。ところで赤石山群原産地から100個の原石を採ってきて分析すると、平均値から±0.08σ のずれより大きいものが93個ある。すなわち、この遺物が、赤石山群の原石から作られていたと仮定しても、0.08σ 以上離れる確率は93％であると言える。だから、赤石山群の平均値から0.08σ しか離れていないときには、この遺物が赤石山群の原石から作られたものでないとは、到底言い切れない。ところがこの遺物を滝川第一群に比較すると、滝川第一群の［平均値］±［標準偏差値］は1.017±0.045であるので、その平均値からの隔たりは7.29σ である。これを確率の言葉で表現すると、滝川第一群の原石を採ってきて分析したとき、平均値から7.29σ 以上離れている確率は、一兆分の一であると言える。このように、一兆個に一個しかないような原石をたまたま採取して、この遺物が作られたとは考えられないから、この遺物は、滝川第一群の原石

表Ⅳ－10　上白滝８遺跡出土黒曜石製遺物の元素比分析結果

分析番号	元素比									
	Ca/ K	Ti/ K	Mn/Zr	Fe/Zr	Rb/Zr	Sr/Zr	Y/Zr	Nb/Zr	Al/ K	Si/ K
63853	0.526	0.108	0.057	2.520	0.594	0.620	0.204	0.034	0.027	0.409
63854	0.098	0.018	0.098	2.642	1.765	0.111	0.501	0.040	0.019	0.263
63949	0.156	0.062	0.048	2.436	1.194	0.242	0.294	0.130	0.033	0.379
63950	0.182	0.065	0.061	2.557	1.326	0.240	0.362	0.085	0.022	0.357
63951	0.188	0.065	0.041	2.638	1.294	0.279	0.343	0.042	0.027	0.354
63958	0.137	0.047	0.057	2.632	1.307	0.287	0.378	0.089	0.021	0.290
63959	0.168	0.067	0.107	2.797	1.436	0.298	0.361	0.050	0.026	0.374
92343	0.172	0.065	0.080	2.882	1.392	0.327	0.338	0.052	0.028	0.366
92344	0.176	0.069	0.083	2.961	1.473	0.325	0.370	0.067	0.026	0.359
92345	0.167	0.062	0.083	2.809	1.427	0.362	0.403	0.124	0.025	0.329
92346	0.171	0.053	0.081	2.934	1.402	0.378	0.383	0.077	0.027	0.365
92347	0.175	0.063	0.080	2.857	1.401	0.316	0.358	0.000	0.027	0.359
92348	0.325	0.129	0.044	1.829	0.842	0.464	0.176	0.146	0.028	0.383
92349	0.326	0.129	0.048	1.822	0.820	0.439	0.180	0.056	0.029	0.398
92350	0.141	0.023	0.092	2.953	1.876	0.010	0.488	0.160	0.024	0.332
92351	0.335	0.132	0.045	1.841	0.855	0.449	0.172	0.053	0.029	0.400
92352	0.319	0.118	0.049	1.841	0.887	0.440	0.172	0.008	0.028	0.393
92353	0.332	0.125	0.046	1.803	0.825	0.432	0.176	0.005	0.029	0.404
92354	0.174	0.064	0.075	2.619	1.189	0.270	0.333	0.007	0.026	0.361
92355	0.331	0.119	0.046	1.812	0.839	0.453	0.179	0.063	0.028	0.391
92356	0.327	0.128	0.049	1.834	0.815	0.429	0.162	0.073	0.028	0.389
92357	0.175	0.066	0.083	2.875	1.366	0.212	0.325	0.032	0.026	0.366
92358	0.141	0.022	0.100	3.026	1.832	0.087	0.471	0.119	0.026	0.357
92359	0.176	0.061	0.086	2.710	1.443	0.321	0.372	0.111	0.027	0.360
95222	0.550	0.107	0.047	2.381	0.620	0.607	0.188	0.028	0.025	0.327
95223	0.177	0.059	0.076	2.610	1.309	0.311	0.348	0.092	0.026	0.356
95224	0.179	0.067	0.071	2.346	1.245	0.259	0.330	0.028	0.027	0.362
95225	0.185	0.082	0.078	2.541	1.356	0.274	0.327	0.060	0.020	0.288
95226	0.174	0.071	0.082	2.731	1.345	0.238	0.295	0.034	0.026	0.353
95227	0.163	0.064	0.083	2.704	1.381	0.260	0.332	0.062	0.024	0.321
95228	0.176	0.067	0.077	2.674	1.277	0.234	0.334	0.056	0.027	0.356
95229	0.265	0.085	0.073	2.370	1.131	0.463	0.337	0.076	0.028	0.376
95230	0.173	0.057	0.074	2.486	1.277	0.309	0.311	0.003	0.028	0.372
95231	0.177	0.062	0.084	2.754	1.504	0.343	0.353	0.011	0.027	0.358
95232	0.169	0.062	0.078	2.612	1.335	0.249	0.331	0.078	0.026	0.352
95233	0.136	0.022	0.096	2.885	1.838	0.058	0.475	0.113	0.026	0.348
95234	0.178	0.067	0.077	2.487	1.326	0.284	0.344	0.044	0.027	0.372
95235	0.144	0.028	0.103	2.744	1.744	0.087	0.508	0.136	0.027	0.352
95236	0.175	0.064	0.084	2.937	1.405	0.321	0.379	0.112	0.026	0.353
95237	0.137	0.023	0.103	3.013	1.973	0.119	0.506	0.137	0.025	0.346
95238	0.180	0.064	0.084	2.695	1.384	0.263	0.340	0.046	0.027	0.354
95239	0.177	0.064	0.078	2.628	1.293	0.311	0.343	0.114	0.027	0.369
95240	0.140	0.021	0.101	2.965	1.810	0.120	0.460	0.171	0.026	0.348
95305	0.330	0.129	0.043	1.869	0.825	0.446	0.173	0.002	0.028	0.384
95306	0.143	0.021	0.110	3.152	2.084	0.126	0.563	0.142	0.026	0.347
JG-1	0.780	0.208	0.072	4.113	0.969	1.260	0.310	0.047	0.031	0.317

JG-1：標準試料－Ando, A., Kurasawa, H., Ohmori, T. & Takeda, E. 1974 compilation of data on the GJS geochemical reference samples JG-1 granodiorite and JB-1 basalt. Geochemical Journal, Vol.8 175-192(1974)

から作られたものではないと断定できる。これらのことを簡単にまとめて言うと、「この遺物は赤石山群に93％の確率で帰属され、信頼限界の0.1％を満たしていることから赤石山群産原石が使用されていると同定される。さらに滝川第一群に百億分の１％の低い確率で帰属され、信頼限界の0.1％に満たないことから滝川第一群の原石でないと判断される」。遺物が１か所の産地（赤石山群産地）と一致したからと言って、たとえ赤石山群と滝川第一群の原石は成分が異なっていても、分析している試料は原石でなく遺物であり、さらに分析誤差が大きくなる不定形（非破壊分析）であることから、他の産地に一致しないとは断定できない。また同種岩石の中での分類である以上、他の産地にも同定される可能性が考えられる。即ちある産地（赤石山群産地）に同定され必要条件を満足したと言っても同定された産地の原石とは限らないために、帰属確率による判定を表Ⅳ－４～７の281個全ての原石群、遺物群について行い十分条件を求め、低い確率で帰属された原石群、遺物群の石材は使用していないとして消していくことにより、はじめて赤石山群産地の石材のみが使用されていると判定される。実際は Rb/Zr といった唯一つの変量だけでなく、前述した八つの変量で取り扱うので変量間の相関を考慮しなければならない。例えば、Ａ原産地のＡ群で Ca 元素と Rb 元素との間に相関があり、Ca の量を計れば Rb の量は分析しなくても分かるようなときは、Ａ群の石材で作られた遺物であれば、Ａ群と比較したとき、Ca 量が一致すれば当然 Rb 量も一致するはずである。従って、もし Rb 量だけが少しずれている場合には、この試料はＡ群に属していないと言わなければならない。このことを数量的に導き出せるようにしたのが相関を考慮した多変量統計の手法であるマハラノビスの距離を求めて行うホテリングのＴ２乗検定である。これによって、それぞれの群に帰属する確率を求めて産地を同定する[4,5]。産地の同定結果は１個の遺物に対して、黒曜石では281個の推定確率結果が得られている。今回産地分析を行った遺物の産地推定結果については低い確率で帰属された原産地の推定確率は紙面の都合上記入を省略しているが、本研究ではこれら産地の可能性が非常に低いことを確認したという非常に重要な意味を含んでいる。すなわち赤石山産原石と判定された遺物に対して、カムチャッカ産原石とかロシア、北朝鮮の遺跡で使用されている原石および信州和田峠産の原石の可能性を考える必要がないという結果であり、ここでは高い確率で同定された産地のみの結果を表Ⅳ－11に記入している。原石群、遺物群を作った石材試料は直径３cm 以上である。しかし遺物試料は多数を決められた時間で処理するために、小さな遺物試料の分析に多くの時間をかけられない事情があり、短時間で測定を打ち切る。このため、得られた遺物の測定値には大きな誤差範囲が含まれ、ときには原石群、遺物群の元素組成のバラツキの範囲を越て大きくなる。従って、小さな遺物の産地推定を行ったときに、判定の信頼限界としている0.1％に達しない確率を示す場合が比較的多くみられる。この場合には、石材産地（確率）の欄の確率値に替えて、マハラノビスの距離Ｄ２乗の値を記した。この遺物については、記入されたＤ２乗の値が原石群、遺物群の中で最も小さなＤ２乗値であり、この値が小さい程、遺物の元素組成はその原石群、遺物群の元素組成と似ていると言えるため、推定確率は低いが、そこの石材産地と考えてほぼ間違いないと判断されたものである。白滝地域産黒曜石の中で、赤石山産原石の割れ面はガラス光沢を持っているが、元素組成が互いに似たあじさい滝、八号沢、白土沢、幌加沢の各群の原石のうちあじさい滝、幌加沢産はガラス光沢を示し、そして八号沢、白土沢産は梨肌を示すため、原石産地の判定に梨肌か、ガラス光沢かを判定の指標に加えた。赤井川および十勝産原石を使用した遺物の判定は複雑である。これは青森市戸門、鷹森山地区、浪岡町大釈迦より産出する黒曜石でそれぞれ作られた戸門第一、鷹森山、大釈迦の各群の元素組成が赤井川第一、二群、十勝三股群に比較的似ているために、遺物の産地を同定したときに、戸門原産地と赤井川または十勝産地、またこれら３か所の原産地に同時に同定される場合がしばしば見られる。このとき戸門産地の

表Ⅳ－11　上白滝８遺跡出土黒曜石製遺物の原材産地推定結果

分析番号	試料番号	遺跡名	ブロック	グリッド	遺物番号	母岩番号	接合番号	挿図番号	ホテリングのT²検定結果	判定	遺物器種名	表面状態
63853	SHIRA X12	上白滝８	95	L27	1151	－	－	Ⅲ-218-1	ケショマップ第一群（58%），東麓郷FR２遺物群（22%），美蔓第一群（３%），滝川第二群（２%），近文台第三群（１%）	ケショマップ	有舌尖頭器	
63854	SHIRA X13	上白滝８	95	P25	25	－	5748	Ⅲ-233-84	あじさい滝（0.1%）	あじさい滝	有舌尖頭器	梨肌ではない
63949	SHIRA W８	上白滝８	77	P10	33	－	50808	Ⅲ-83-50	赤石山（３%）	赤石山	掻器	
63950	SHIRA W９	上白滝８	77	P10	95	520	－	Ⅲ-80-36	赤石山（12%）	赤石山	掻器	
63951	SHIRA W10	上白滝８	77	R11	3	532	432	Ⅲ-77-13	赤石山（12%）	赤石山	掻器	
63958	SHIRA W17	上白滝８	95	M28	464	－	－	Ⅲ-233-80	赤石山（0.2%）	赤石山	ナイフ形石器	
63959	SHIRA W18	上白滝８	95	N28	250	－	－	Ⅲ-233-83	赤石山（39%）	赤石山	ナイフ形石器	
92343	SHIRA X177	上白滝８	73	K14	1	512	－	Ⅲ-77-17	赤石山（54%），幌加沢（0.5%）	赤石山	掻器	
92344	SHIRA X178	上白滝８	77	N10	1	－	－	Ⅲ-78-19	赤石山（35%），幌加沢（0.3%）	赤石山	掻器	
92345	SHIRA X179	上白滝８	76	L10	39	－	－	Ⅲ-76-11	赤石山（14%）	赤石山	掻器	
92346	SHIRA X180	上白滝８	74	L12	21	－	－	Ⅲ-80-34	赤石山（６%）	赤石山	掻器	
92347	SHIRA X181	上白滝８	67	K37	415	－	－	Ⅲ-43-1	赤石山（59%），幌加沢（２%）	赤石山	基部平坦加工石器	
92348	SHIRA X182	上白滝８	91	H34	25	－	－	Ⅲ-237-175	所山（19%）	所山	掻器	
92349	SHIRA X183	上白滝８	109	N８	24	－	－	Ⅲ-498-11	所山（97%），常呂川第４群（23%）	所山	掻器	
92350	SHIRA X184	上白滝８	85	O36	31	－	－	Ⅲ-513-3	白土沢（21%），幌加沢（５%），あじさい滝（２%），八号沢（0.4%）	あじさい滝	削器	梨肌ではない
92351	SHIRA X185	上白滝８	91	H34	5	－	58007	Ⅲ-513-6	所山（57%），常呂川第４群（３%），美蔓第一群（0.1%）	所山	削器	
92352	SHIRA X186	上白滝８	91	H33	53	－	－	Ⅲ-513-5	所山（９%），常呂川第４群（２%）	所山	削器	
92353	SHIRA X187	上白滝８	109	N８	130	－	－	Ⅲ-513-7	所山（77%），常呂川第４群（９%）	所山	削器	
92354	SHIRA X188	上白滝８	83	N38	775	－	57956	図版108-224	赤石山（49%），幌加沢（0.9%）	赤石山	石刃	
92355	SHIRA H169	上白滝８	97	K22	503	－	－	Ⅲ-369-1	所山（56%），常呂川第４群（10%）	所山	尖頭器	
92356	SHIRA H170	上白滝８	97	K22	520	－	－	Ⅲ-369-3	所山（35%），常呂川第４群（６%）	所山	尖頭器	
92357	SHIRA H171	上白滝８	101	L19	11	－	－	Ⅲ-399-282	赤石山（21%），幌加沢（0.2%）	赤石山	つまみ付きナイフ	
92358	SHIRA H172	上白滝８	－	L41	I-1	－	－	Ⅲ-510-1	幌加沢（99.6%），白土沢（98%），あじさい滝（96%），八号沢（92%）	あじさい滝	尖頭器	梨肌ではない
92359	SHIRA H173	上白滝８	110	Q３	44	－	－	Ⅲ-496-1	赤石山（62%），幌加沢（0.6%）	赤石山	尖頭器	
95222	SHIRA X248	上白滝８	93	L30	270	－	－	Ⅲ-219-13	東麓郷FR２遺物群(20%)，ケショマップ第一群(10%)，美蔓第一群(４%)，美蔓第二群(0.3%)，東麓郷FR３遺物群(0.1%)，近文台第三群(0.1%)	ケショマップ	尖頭器	
95223	SHIRA X249	上白滝８	93	O29	464	－	－	Ⅲ-219-11	赤石山（93%），幌加沢（２%）	赤石山	尖頭器	
95224	SHIRA X250	上白滝８	93	P28	5760	－	57990	Ⅲ-219-12	赤石山（45%），上白滝５ST139（３%）	赤石山	尖頭器	
95225	SHIRA X251	上白滝８	93	M29	662	－	57993	Ⅲ-218-4	上白滝５ST139（49%）【赤石山（90%），上白滝５ST139（24%），幌加沢（３%），白土沢（0.2%）】	赤石山	尖頭器	
95226	SHIRA X252	上白滝８	93	P28	5634	－	57997	Ⅲ-218-6	赤石山（20%），上白滝５ST139（１%）	赤石山	尖頭器	
95227	SHIRA X253	上白滝８	93	P28	4193	937	4072	Ⅲ-218-5	赤石山（70%）	赤石山	剥片	
95228	SHIRA X254	上白滝８	93	M30	811	735	3329	Ⅲ-220-18	赤石山（80%），幌加沢（0.3%），上白滝５ST139（0.2%）	赤石山	剥片	
95229	SHIRA X255	上白滝８	95	K29	321	－	－	Ⅲ-219-10	十勝三股（62%），大釈迦（0.3%），戸門第一群（0.3%）	十勝	尖頭器	
95230	SHIRA X256	上白滝８	97	J24	1646	－	－	Ⅲ-369-5	赤石山（19%），幌加沢（0.7%）	赤石山	尖頭器	
95231	SHIRA X257	上白滝８	99	J21	250	－	－	Ⅲ-369-2	赤石山（15%），幌加沢（0.1%）	赤石山	尖頭器	
95232	SHIRA X258	上白滝８	－	K24	I-1	－	－	Ⅲ-369-6	赤石山（97%），幌加沢（0.3%），上白滝５ST139（0.1%）	赤石山	尖頭器	
95233	SHIRA X259	上白滝８	97	J23	878	783	3501	Ⅲ-279-334	白土沢（92%），幌加沢（82%），あじさい滝（53%），八号沢（22%）	八号沢	剥片	梨肌
95234	SHIRA X260	上白滝８	93	L30	828	727	3285	Ⅲ-277-333	赤石山（85%），上白滝５ST139（５%）	赤石山	剥片	
95235	SHIRA X261	上白滝８	96	N23	117	1054	4387	図版252-507	白土沢（８%），あじさい滝（８%），幌加沢（２%）	八号沢	剥片	梨肌
95236	SHIRA X262	上白滝８	97	K24	472	1067	4433	Ⅲ-281-335	赤石山（74%），幌加沢（0.5%）	赤石山	剥片	
95237	SHIRA X263	上白滝８	95	M27	1152	785	3506	図版251-506	幌加沢（72%），あじさい滝（67%），白土沢（53%），八号沢（15%）	八号沢	剥片	梨肌
95238	SHIRA X264	上白滝８	93	N29	674	740	3358	Ⅲ-274-331	赤石山（65%），上白滝５ST139（１%）	赤石山	剥片	
95239	SHIRA X265	上白滝８	95	P26	26	754	3418	図版253-508	赤石山（92%），幌加沢（0.5%）	赤石山	剥片	
95240	SHIRA X266	上白滝８	93	K30	82	786	3509	Ⅲ-285-337	幌加沢（90%），白土沢（84%），あじさい滝（60%），八号沢（54%）	八号沢	剥片	梨肌
95305	SHIRA H187	上白滝８	95	J29	96	－	－	Ⅲ-218-2	所山(80%)，常呂川第４群（３%），キウスKS１遺物群(0.2%)，美蔓第一群（0.1%）	所山	尖頭器	
95306	SHIRA H188	上白滝８	95	M27	286	－	－	Ⅲ-218-3	幌加沢（40%），白土沢（24%），あじさい滝（９%），八号沢（0.6%）	八号沢	尖頭器	梨肌

【　】は、ホテリングのT２検定結果（確率）を算出するときにCa/K,Ti/Kを抜いて得られた結果。

注意：近年産地分析を行う所が多くなりましたが、判定根拠が曖昧にも関わらず結果のみを報告される場合があります。本報告では日本における各遺跡の産地分析の判定基準を一定にして、産地分析を行っていますが、判定基準の異なる研究方法（土器様式の基準も研究方法で異なるように）にも関わらず、似た産地名のために同じ結果のように思われるが、全く関係（相互チェックなし）ありません。本研究結果に連続させるには本研究法で再分析が必要です。本報告の分析結果を考古学資料とする場合には常に同じ基準で判定されている結果で古代交流圏などを考察をする必要があります。

原石が使用されたか否かは、その遺跡で多数の遺物を分析し戸門第一群と第二群に同定される割合を求め、これを戸門産地の原石を分析したときの第一群（50%）と第二群（50%）の出現割合と比較し戸門産地の可能性を推定する。今回分析した遺物のなかに全く戸門第二群に帰属される遺物が見られないことから戸門産地からの原石は使用されなかったと推測できる。また浪岡町大釈迦産原石は非常に小さい原石が多く使用された可能性は低いと思われる。

また、赤石山、八号沢・白土沢、あじさい滝、幌加沢群、ケショマップ第二群に一致する元素組成の原石は白滝地域、ケショマップ産地以外に湧別川下流域でも円礫状のものが採取される（表Ⅳ－８）。また、所山群、置戸山群、ケショマップ第二群、割れ面が梨肌で親指大の石材で八号沢群であるものに各々一致する元素組成の円礫状の原石が北見・常呂川流域で採取される（表Ⅳ－９）。分析した遺物が、白滝地域、置戸地域、留辺蘂・ケショマップ地域の露頭産か、また湧別川下流域、常呂川流域産のいずれかの産地から伝播したかを推測するには、多数の遺物を分析して各群に同定される頻度を求め、湧別川、常呂川採取黒曜石原石の頻度分布と比較して決定される。原石・遺物群の中で、所山群、常呂川第４群、KS１遺物群、滝川第二群はそれぞれ元素組成が似ているので水和層の影響（K元素比が少し小さくなる傾向）を受けた黒曜石製遺物では、複数の産地に信頼限界の0.1%を越えて同定される。遺物が複数の群に同定されその遺物に原石の自然面が残る場合は、円礫であるか、角礫であるか、河川産であるか、露頭産であるかによって判断する。

今回分析した上白滝８遺跡出土の黒曜石製石器、剥片の45個の中で赤石山産が58%（26個）、所山産が18%（８個）、八号沢産が11%（５個）、あじさい滝産が７%（３個）、ケショマップ産が４%（２個）、そして十勝産が２%（１個）と同定された。なお、上白滝５ST139遺物群はSHIRA－X139の片面によって作成した遺物群であり、もう片面の方は赤石山群に一致する。なお、分析番号95225番の判定結果であるが、以前の判定結果は上白滝５ST139遺物群であったが、改めて軽元素を抜いて同定を行ったところ、上白滝５ST139遺物群よりも高い確率で赤石山群と同定されたため、上白滝５ST139遺物群は赤石山群の石材の風化面を分析したものと考えられるので赤石山群と判定した。所山産と同定された１個が常呂川流域から採取された可能性は否定できないが、45個の遺物の中に常呂川流域でのみ見られる常呂川第１、２、３群が見られないことから、上記と同様に常呂川流域から採取した証拠はない。

また、分析番号95222番は東麓郷FR２遺物群が一番パーセンテージが高いが、分析した遺物の特徴や検定結果から、ケショマップ産と判定した。

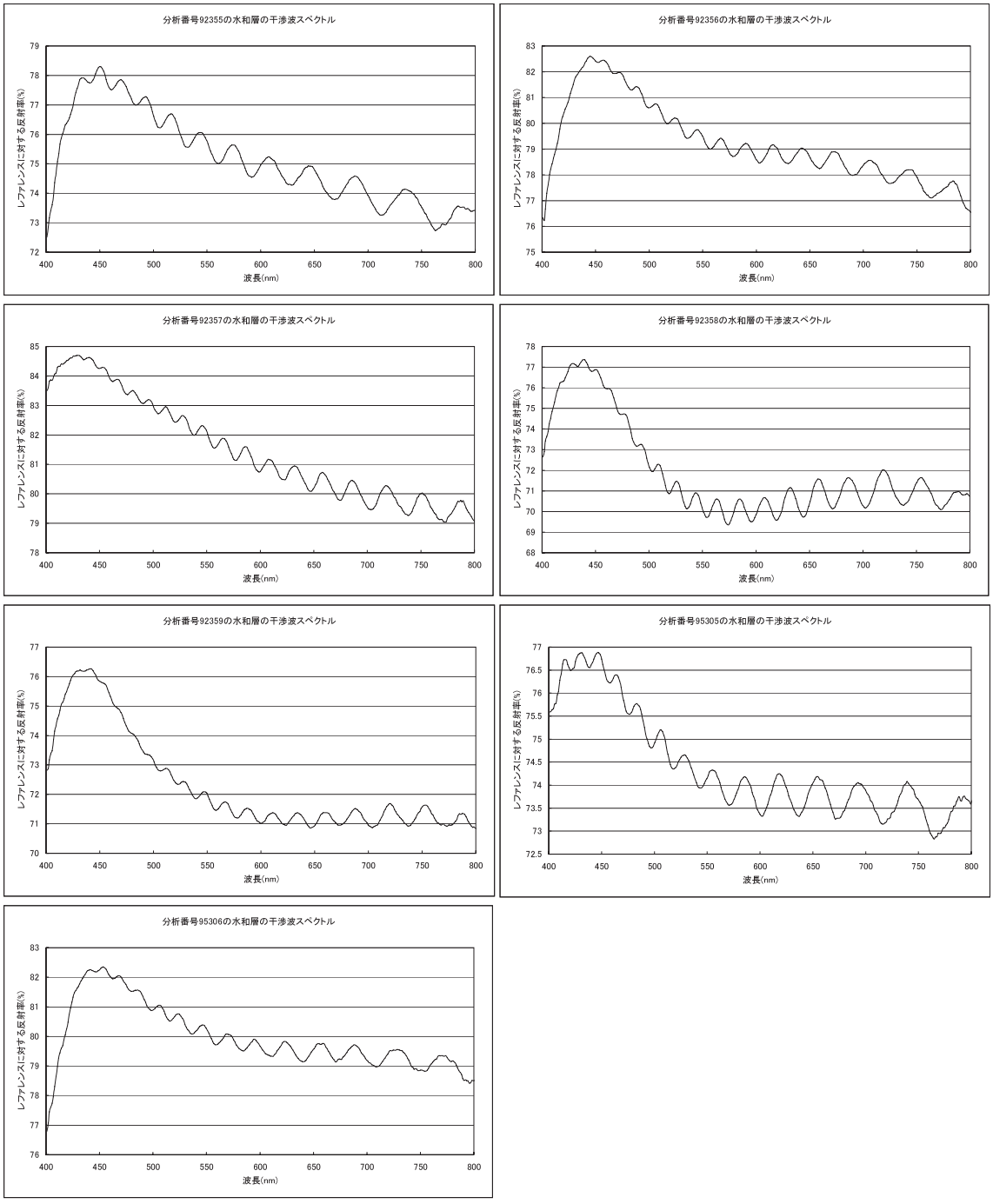
（５）非破壊分析による黒曜石製遺物の水和層測定

今回分析した上白滝８遺跡出土の黒曜石製石器の12個について非破壊分析による水和層厚の結果が得られたので報告する。

分析方法は、黒曜石の表面に顕微鏡を通して光を照射したとき、黒曜石の表面で反射する光と、水和層を透過して水和していない部分との境界で反射する光で生じる干渉波の波長から水和層の厚さを求めるやり方である。光の反射を利用するため、遺物の表面にできた使用痕および埋土中にできた摩耗傷などが水和層測定の障害になり測定できない場合が多々ある。また、水和層と新鮮面との境界面での反射光が非常に弱いため、境界面が明確に発達した部分を探して測定しなければならない。従って、傷のない場所を顕微鏡下で探して分析を行うため、試料によっては１個に数時間かかることもある。石器について３か所を分析し、代表的な水和層の干渉波スペクトルを図Ⅳ－４に示した。なお、分析番号63949～63951番と分析番号63959番の水和層の干渉波スペクトルのデータは無い。また測定

表Ⅳ－12　上白滝８遺跡出土黒曜石製遺物の水和層厚測定結果

分析番号	試料番号	遺跡名	ブロック	グリッド	遺物番号	母岩番号	接合番号	挿図番号	判　定	水和層の厚さ３ヶ所測定（μm）			経過年代（B.P.）	水和速度（μ㎡/1000年）	遺　物　名
63949	SHIRA W８	上白滝８	77	P10	33	－	50808	Ⅲ-83-50	赤石山	4.99	5.23	4.50	16,279±1,991	1.48	掻器
63950	SHIRA W９	上白滝８	77	P10	95	520	－	Ⅲ-80-36	赤石山	4.14	4.18	4.56	12,429±1,115	1.48	掻器
63951	SHIRA W10	上白滝８	77	R11	3	532	432	Ⅲ-77-13	赤石山	4.73	4.90	5.10	16,255±1,005	1.48	掻器
63958	SHIRA W17	上白滝８	95	M28	464	－	－	Ⅲ-233-80	赤石山	測定不能			－	1.48	ナイフ形石器
63959	SHIRA W18	上白滝８	95	N28	250	－	－	Ⅲ-233-83	赤石山	6.17	6.30	6.10	25,844±695	1.48	ナイフ形石器
92355	SHIRA H169	上白滝８	97	K22	503	－	－	Ⅲ-369-1	所山	3.4723	3.4825	3.5922	9,104±284	1.35	尖頭器
92356	SHIRA H170	上白滝８	97	K22	520	－	－	Ⅲ-369-3	所山	4.7795	4.8001	4.8230	17,019±126	1.35	尖頭器
92357	SHIRA H171	上白滝８	101	L19	11	－	－	Ⅲ-399-282	赤石山	5.6258	5.5640	5.3306	18,909±869	1.60	つまみ付きナイフ
92358	SHIRA H172	上白滝８	－	L41	I-1	－	－	Ⅲ-510-1	あじさい滝	5.0696	5.2098	5.1727	17,874±412	1.48	尖頭器
92359	SHIRA H173	上白滝８	110	Q３	44	－	－	Ⅲ-496-1	赤石山	5.5605	5.5247	5.3496	20,230±679	1.48	尖頭器
95305	SHIRA H187	上白滝８	95	J29	96	－	－	Ⅲ-218-2	所山	3.8320	3.7351	3.7454	10,479±244	1.35	尖頭器
95306	SHIRA H188	上白滝８	95	M27	286	－	－	Ⅲ-218-3	八号沢	4.7162	4.4232	4.5255	13,974±751	1.48	尖頭器



図Ⅳ－４　黒曜石水和層の干渉波スペクトル

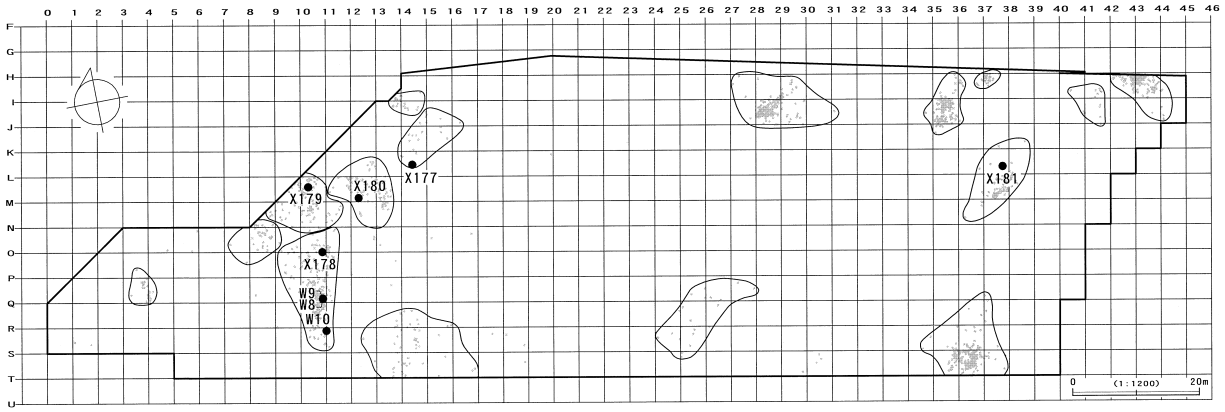
した3か所の分析値、そしてそこから算出された3か所の経過年代、その3か所の経過年代の平均、標準偏差を表Ⅳ－12に記した。水和層の厚さを経過年代に換算するには、水和層を分析した黒曜石の経過年代を炭素－14法、フィッショントラック法で求めた絶対年代から、水和速度を求めて行う。この水和速度は黒曜石の埋土中に受ける温度によって異なるため、黒曜石が環境から受けた温度を正確に求めなければ、正確な年代の換算はできない。従って、遺物が経過した年代の間に受けた温度を旧石器時代では約7.5℃を平均効果温度として水和速度[6)]を推定して、赤石山産・八号沢産・あじさい滝産原石は1.48（μm２／1000年）、所山産原石は1.35（μm２／1000年）とし、また縄文時代では約8.5° C を平均効果温度として水和速度[6)]を推定して、赤石山産原石は1.6（μm２／1000年）とした。これらの水和速度の値を用いて下記の式により水和層の厚さを経過年代に換算した。なお、下記の式の中で分析した時の西暦年数から1,950を引いた値を前の式から引いているが、これは水和層による経過年代の計算が西暦1,950年を基準にしていることによるものである。

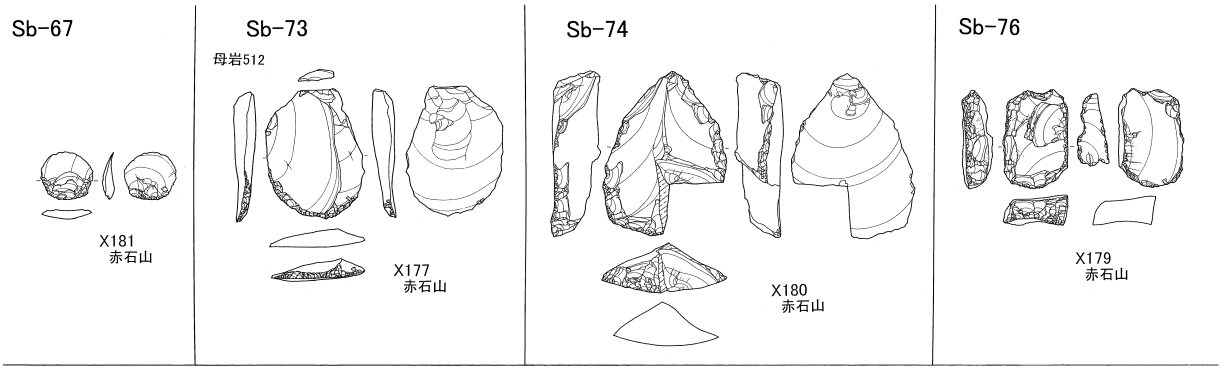
$$\text{推定経過年代（B.P.）（年）} = \frac{\text{測定水和層の厚さ}(\mu\text{m}) \times \text{測定水和層の厚さ}(\mu\text{m})}{\text{水和速度}(\mu\text{m}2\text{／}1000\text{年})} \times 1000 - (\text{分析した時の西暦年数} - 1950)$$

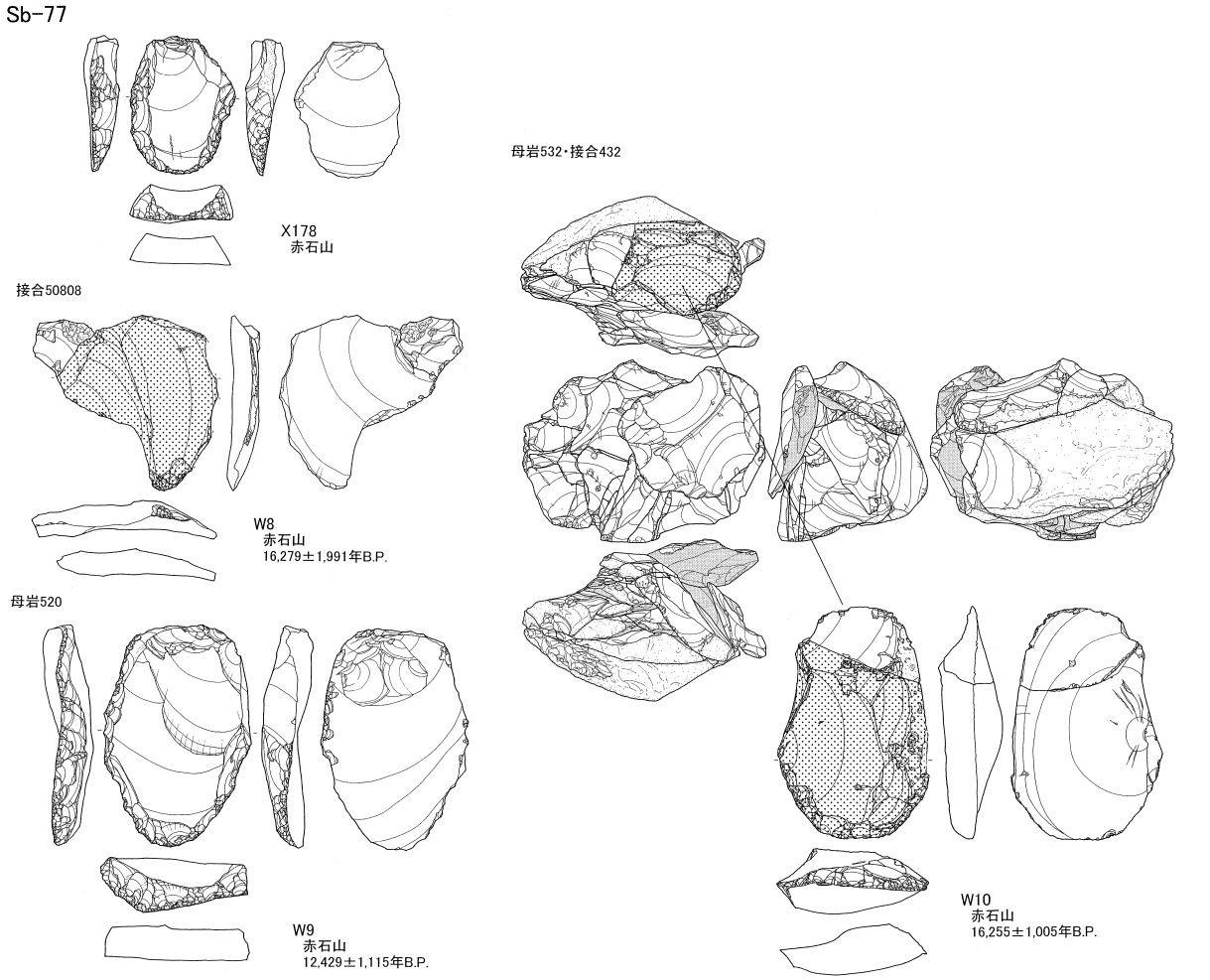
今回非破壊分析で水和層が測定できた遺物の経過年代の結果を表Ⅳ－12に示した。今回測定した遺物の中で、分析番号63958番のものが測定不能であったが、これらの遺物は、干渉波が全く見られなかったり、干渉波の波長が測定箇所により変化し真の値が分らなかったものである。水和層の厚さを経過年代に換算するときの重要な係数である水和速度を決める重要な要因は、黒曜石の化学組成と温度であるため、自然科学者の実験室での水和実験によって水和速度を決定できるが、国内産黒曜石に関して研究はそこまで進んでいないのが現状である。現在は水和速度の決定については考古学者の協力なしでは決定できない。実験室での水和層生成が困難である限り、水和速度の決定の舞台は遺跡になる。今回の年代が炭素－14年代に比べて古すぎる場合は、温泉地とか温度の高い地下水などで埋土中の遺物温度が異常に高かったことが推測され、水和層は非常に厚くなり推定換算年代は古くなる。これは遺物の埋土位置の地温測定で推測できるが、しかし、過去の地温の測定はできない。炭素－14年代などで年代の分かる層から出土する黒曜石の水和層の厚さから水和速度を決定するため、発掘が重要な鍵を握ることは言うまでもない。石器の組成（原産地）さえ分かれば、考古学者が炭素－14年代と水和層のデータを集積し整理するだけで、正確な水和層年代が得られるようになる。これら考古学的作業により求められた水和速度は、水和機構（理論）が証明されていないが、考古学試料として実用するには問題ないと推測できる。従って、水和層年代は考古学者が企画するだけで実用的な年代が得られるため、将来、水和層年代が石器における土器編年のように身近な存在になると推測できる。

参考文献

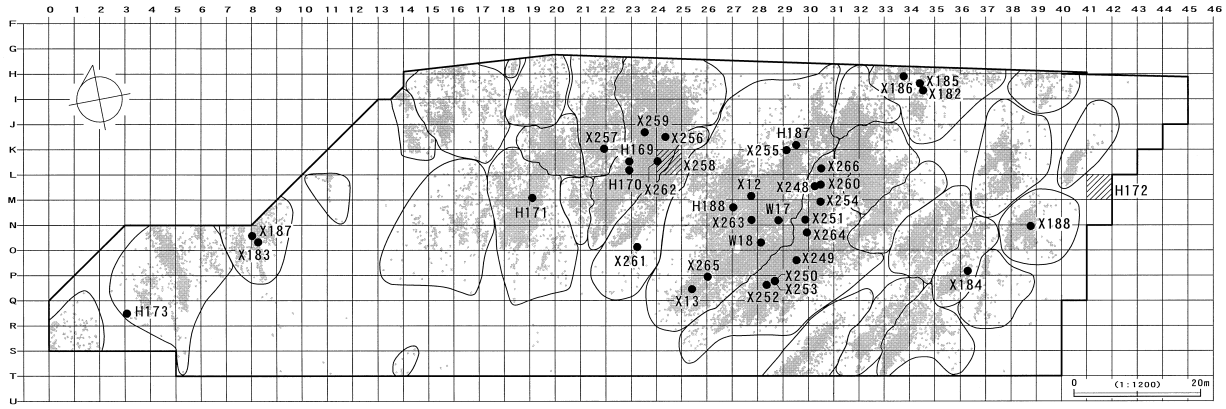
1）藁科哲男・東村武信（1975），蛍光Ｘ線分析法によるサヌカイト石器の原産地推定（II）。考古学と自然科学,8：61-69
2）藁科哲男・東村武信・鎌木義昌（1977），（1978），蛍光Ｘ線分析法によるサヌカイト石器の原産地推定（III）、（Ⅳ）。考古学と自然科学,10,11：53-81：33-47
3）藁科哲男・東村武信（1983），石器原材の産地分析。考古学と自然科学,16：59-89
4）東村武信（1976），産地推定における統計的手法。考古学と自然科学,9：77-90
5）東村武信（1990），考古学と物理化学。学生社
6）近堂祐弘（1986），北海道における黒曜石年代測定法について。北海道考古学,22：１～15







図Ⅳ－５　産地分析・水和層測定試料(1)

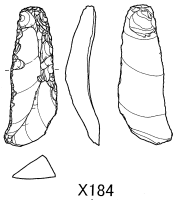


Sb-83

接合57956

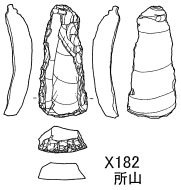
X188
赤石山

Sb-85

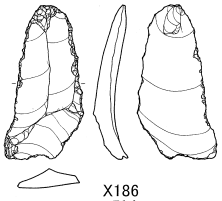


X184
あじさい滝

Sb-91

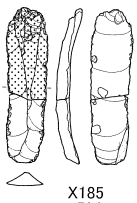


X182
所山



X186
所山

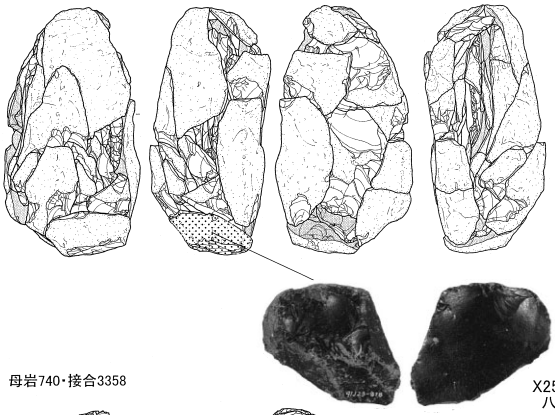
接合58007



X185
所山

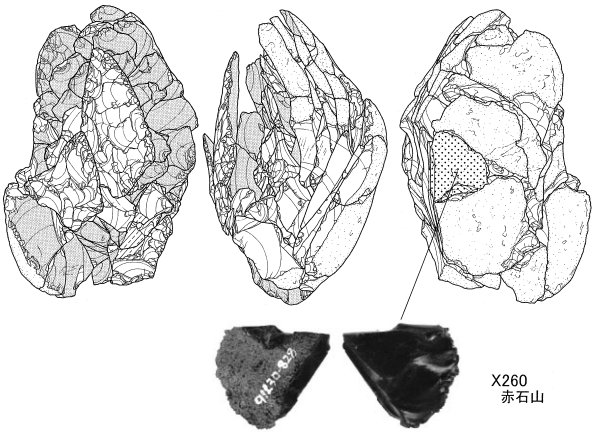
Sb-93

母岩783・接合3501



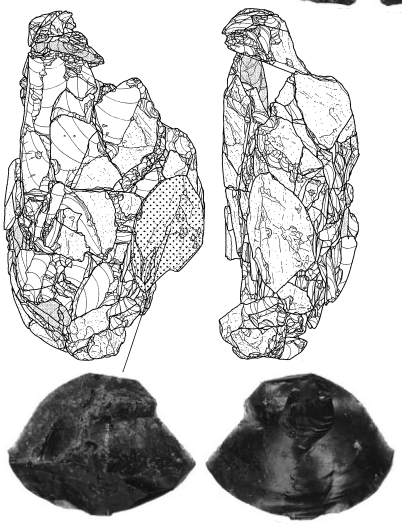
X259
八号沢

母岩727・接合3285



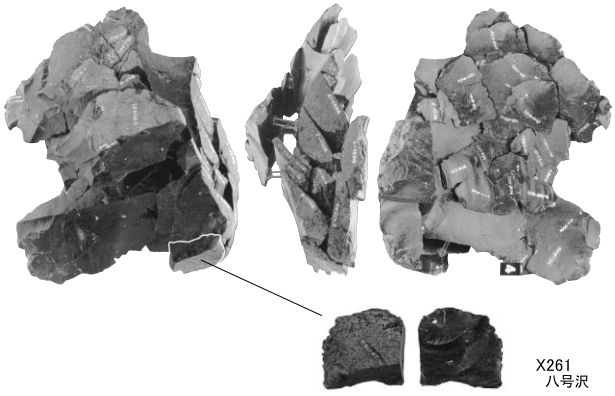
X260
赤石山

母岩740・接合3358



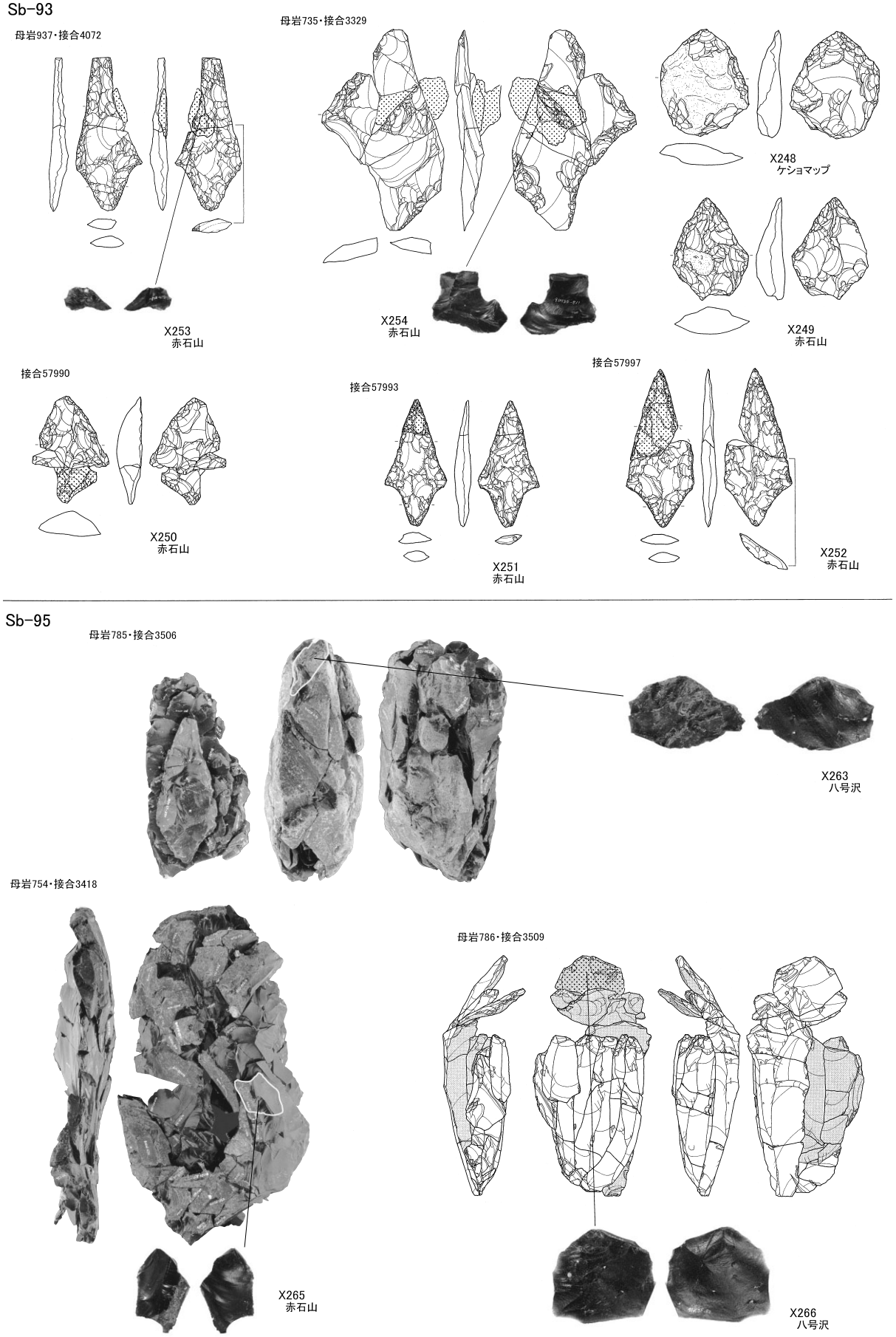
X264
赤石山

母岩1054・接合4387

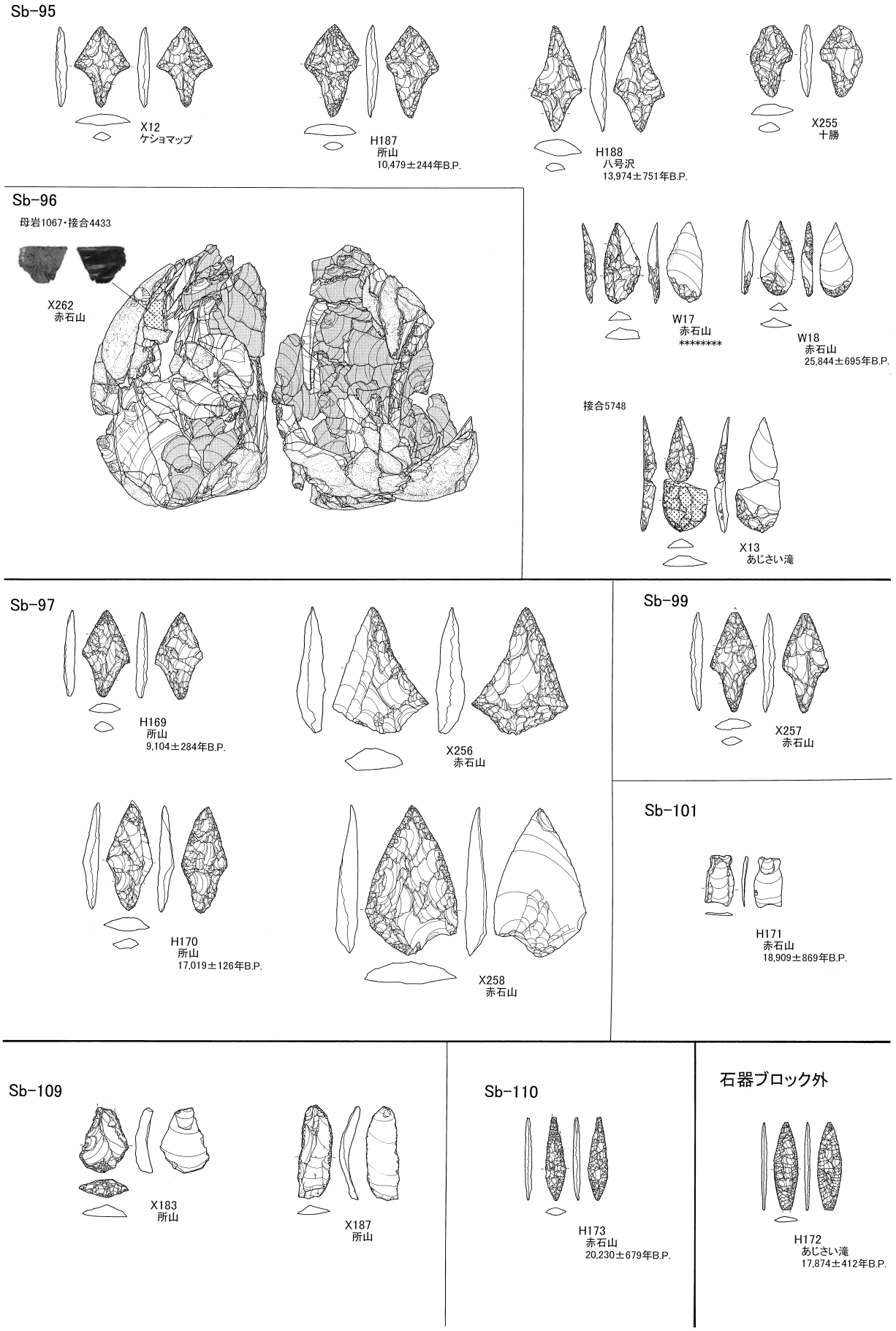


X261
八号沢

図Ⅳ－6　産地分析・水和層測定試料(2)



図Ⅳ－７　産地分析・水和層測定試料(3)



図Ⅳ－8　産地分析・水和層測定試料(4)

Ⅴ　ま　と　め

1　「白滝Ⅰ群」（Sb－64～79）について

上白滝８遺跡の西地区では、剥片剥離技術・二次加工技術などから「白滝Ⅰ群」と呼称する後期旧石器時代前半期に対比できる石器群が2,055点、61,533.5g出土している。この内、点取り遺物は1,939点、56,776.6gである。これらは主に遺物分布から16か所の石器ブロックに分け（Sb－64～79）、さらに母岩分布や接合分布・石器組成から同時性が高いと思われるSb－64～70、71、72～79の三つの石器ブロック群に分けて報告を行った。ここでは各石器ブロック群について石器・石材組成、石材消費の流れ、分布と石器ブロック群の構造、年代について整理し、各石器ブロック群間の関係と編年的位置付けについて東地区で出土した遺物（鈴木ほか　2004）を含めたまとめを行う。

各石器ブロック群のまとめの前に、今回新たに細分した器種と石器製作技術について若干説明する。本報告では、前回までの「白滝Ⅰ群」の二次加工ある剥片を、裏面微細加工石器、基部平坦加工石器、台形石器、二次加工ある剥片の四種に細分している。「白滝Ⅰ群」の出土数が最も多い上白滝８遺跡の整理を終え、技術形態学的なまとまりが認められる石器を抽出することが可能と判断したためである。以下にそれぞれの特徴を記述する。

裏面微細加工石器は、腹面の縁辺に長さ２mm前後の微細な加工が連続して施されるものである。素材は三角形、台形または寸詰まりの縦長剥片など、変異に富み、素材を得る剥離技術が多様であったことを示しているが、二次加工の技術及び場所に斉一性が見られる。東地区のまとめ（直江　2004）の中で素材（a）・（b）・（d）の腹面側に加工（ア）が施されるものに対応する。

基部平坦加工石器は、主に貝殻状の剥片を素材とし、素材腹面の打瘤部を除去するような長さ８mm前後の平坦剥離が施され、下端部の縦断面形が鋭く尖るものである。背面側にも同様の剥離が施され、基部が両面加工となる場合もある。上端部は鋭い素材面を残し、横刃、突刃となる。東地区のまとめの中で素材（c）若しくは（d）に加工（イ）が施されるものに対応する。

台形石器は、素材の両側縁を平行ないしは撥形に整形し、上端部に素材の縁辺を残すものである。前述の二者に比べて加工の度合いが高く、急角度の調整であり、横刃・斜刃となるものがある。東地区のまとめの中で加工（ウ）が施されるものに対応する。

本報告ではこれらに含まれないものを二次加工ある剥片として分類しており、前回までの「白滝Ⅰ群」の分類基準と異なっている。今回新たに認定した器種は、上白滝８遺跡東地区のまとめでも述べたとおり、大枠としては汎列島的に見られる台形様石器の中に含まれる可能性が高い。しかし、裏面微細加工石器、基部平坦加工石器には北海道独自の特徴があり、基部平坦加工石器の加工技術は広郷型ナイフ形石器の基部加工に類似する。また台形様石器は機能的な石器と認識されているため器種認定において、かなり広範囲の石器に認定できる。このことは、全体を表象する名称としては有効であるが、石器としての実態が不明となりつつある。白滝遺跡群では、まとまった量の石器類が出土し、技術形態学的なグルーピングが可能な状況であった。本州と同様の台形様石器が数少ない中で、これらを台形様石器と認定してしまうと、その言葉によって、北海道的な特徴が霞み、編年的な位置や系統関係を機械的に定置してしまう恐れがある。従って裏面微細加工石器、基部平坦加工石器を認定することは、石器自体は勿論のこと、北海道という地理的な環境や後半期の細石刃石器群との関連も視野に入れた研究を行っていくために肝要となると考えられる（直江・長崎　2005）。

石器製作技術については、以下のとおりⅠ～Ⅲ類に大別し、さらにそれぞれａ・ｂに細分している。

全体的な特徴として、剥離作業の際に頭部調整や打面調整などの石核調整技術は用いられない。また、いずれの剥離でも打面が大きくバルブが発達する傾向が強い。

Ⅰ類：扁平な素材の平坦面で剥離作業を行うもの。

Ⅰａ類…片側の平坦面で作業を行うもの。主に長幅比が1.0前後の貝殻形・扇形・台形・三角形の剥片が剥離される。

Ⅰｂ類…両側の平坦面で作業を行うもの。主にやや横長の剥片が剥離される。

Ⅱ類：素材の小口面で剥離作業を行うもの。

Ⅱａ類…素材の広い面を打面に固定するもの。主に打面部が幅広で厚い剥片、両側縁の中央がほぼ平行する寸詰まりの剥片が剥離される。

Ⅱｂ類…素材の小口面を打面に固定するもの。主に縦長剥片が剥離される。

Ⅲ類：打面と作業面を頻繁に転移するもの。剥離される剥片の形態は最も多様である。主に両側縁の中央がほぼ平行する寸詰まりの剥片、やや横長の剥片、縦長剥片、片側縁が「く」の字状になる剥片などが剥離される。

Ⅲａ類…打面と作業面を１～数打ごとに入れ替える交互剥離を基本とし、作業場所（交互剥離の二つの作業面）を転移していくもの。

Ⅲｂ類…打面と作業面の転移に規則性が見られないもの。

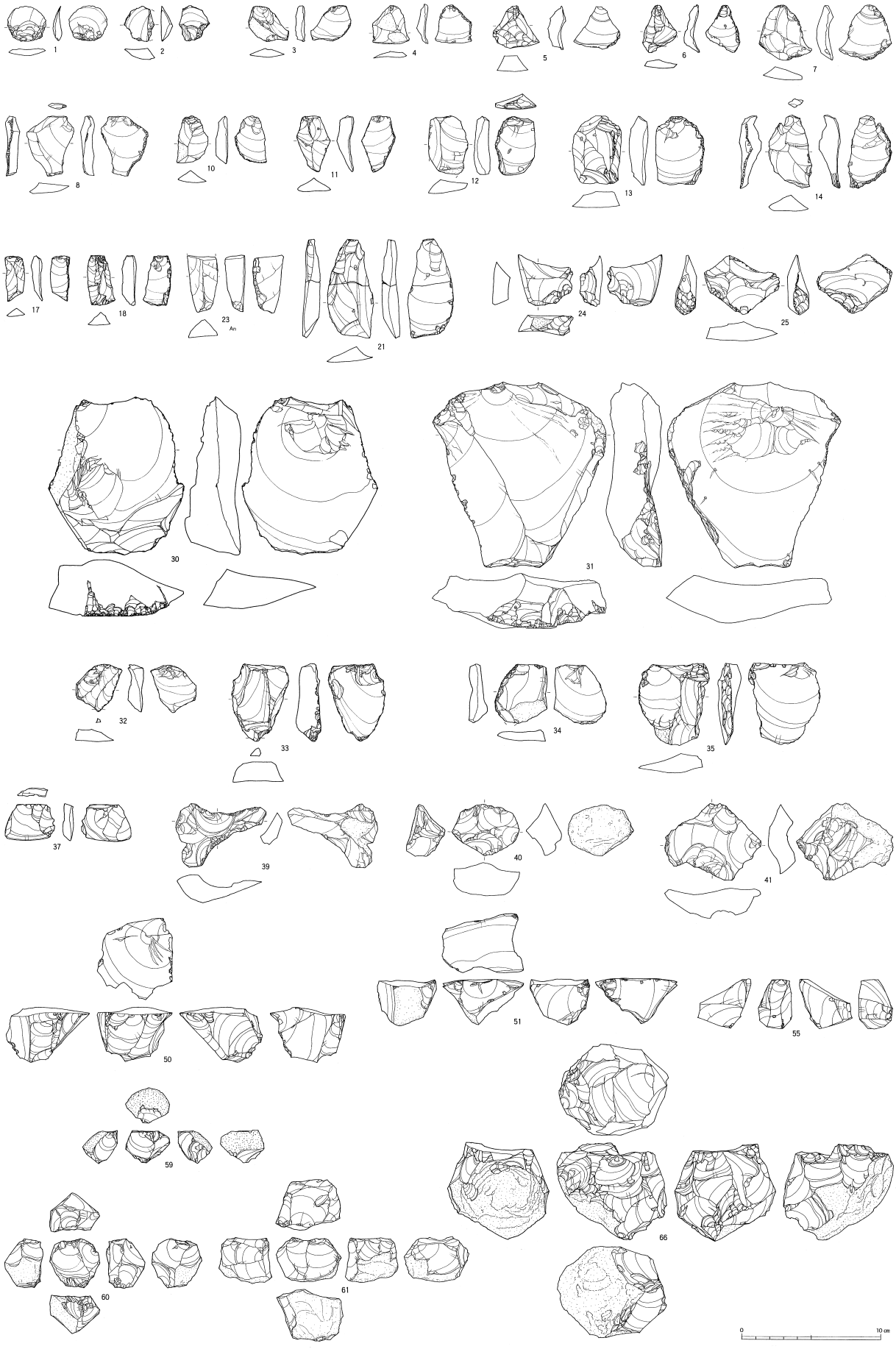
（１）石器ブロック64～70（Sb－64～70）

石器・石材組成（図Ⅴ－１）　点取り遺物1,146点、重量26,179.7g の石器類が出土した。定形的な石器は、基部平坦加工石器・裏面微細加工石器・二次加工ある剥片・掻器・削器・錐形石器・縦長剥片・石核が出土している。石核の点数が非常に多いことが特徴である。石材は、黒曜石１が最も多く86.7％を占め、以下黒曜石４（10.6％）、黒曜石５（1.0％）、黒曜石３（0.8％）、黒曜石２（0.7％）、安山岩（0.2％）、頁岩（0.1％）となっている。

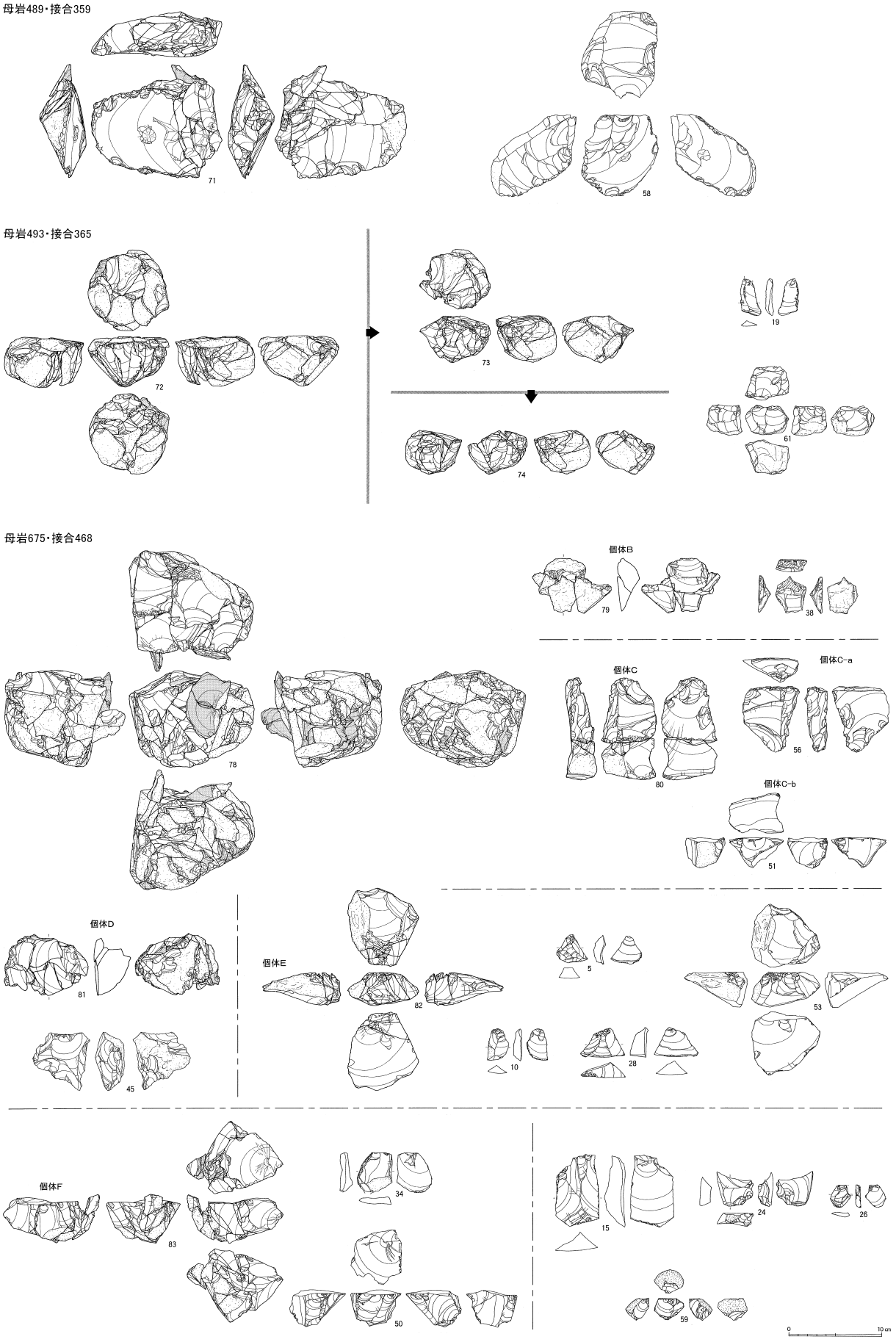
石材消費の流れ　搬入形態、剥片剥離技術・進行度、二次加工技術、搬出形態に分けて説明する。二次加工技術以外は本報告で掲載した10母岩（30個体）を元に分析を行った。

〈搬入形態〉　接合状態及び非接合同一母岩の内容から搬入時の石核の状態を以下の四つに分類した。(a) 無剥離若しくはやや剥離が行われた状態、(b) 少数の大きな剥離が行われた状態、(c) 全体が剥離面に覆われ、搬入前に本格的な剥離が行われた状態。その他に (d) 遺跡内で分割若しくは剥片剥離によって素材を得たもの（表Ⅴ－１）。まず (a)～(c) の石核について検討すると、(a) が最も多く、搬入前の剥離が少ないものが主体的である。これを素材ごとに見ると、転礫素材で (a) 若しくは (b) が最も多い。すなわち付近で採取した原石を遺跡内に持ち込んだ可能性が高い。この他に剥片素材の (a)（母岩489）や、同一母岩のない石器類の存在から、石器・剥片の状態で持ち込まれたものが少数存在していたと見られる。この他に (d) として、これら (a)～(c) の剥離によって得られた剥片を素材とする石核が20個体見られる。

〈剥片剥離技術・進行度〉　礫（転礫）・分割礫を素材とした石核（11個体）と、剥片・分割剥片を素材とした石核（19個体）に用いられる剥離技術を比較する（表Ⅴ－２）。前者は、Ⅲ類が最も多く用いられ（７個体）、後者の技術にはⅠ・Ⅱ類の技術が多く用いられる傾向がある（17個体）。これらの異なる技術は同一母岩中に共存することが一般的であり、主に原石などの一次素材にⅢ類、剥片などの二次素材にⅠ・Ⅱ類の技術を用いていたと捉えることができる。また、一つの母岩の中から生産される剥片素材の石核 (d) の平均は２個体であった。最も多いもので７個体の剥片が石核に利用さ



図Ⅴ－１　Sb-64～70石器組成図



図Ⅴ－2　Sb-64～70母岩別資料

れている例がある（母岩675・接合468）。

剥離開始時の石核の大きさの平均は、8.2×9.9×6.6cmであった（表Ⅴ－3）。素材ごとに見ると転礫・分割礫・分割剥片が平均より大きく、剥片素材はより小型で、6.1×8.3×5.0cmであった。これは剥片素材の石核の多くが、本石器ブロック群内で礫素材の石核から生産されたためと考えられる。

剥離の進行度は、石核の大きさの変化を観察し、最終的な形態が（イ）開始時の2/3以上の軽微なもの、（ロ）開始時の2/3～1/3となるもの、（ハ）開始時の1/3以下となる集中的なものの三つに分類した。その結果、遺跡内での剥離の進行度は（イ）・（ロ）が同率でほとんどを占めている（表Ⅴ－4）（30個体中13個体ずつ）。これを素材ごとに見ると、剥片素材のものに（イ）が多い（17個体中10個体）。それ以外の礫・分割礫・分割剥片などの大型の素材については（ロ）が最も多く12個体中6個体で、（イ）・（ハ）は同率で（ロ）の半数となっている。また、剥離技術ごとに見ると、Ⅰb・Ⅱa類では（イ）が主体的であり、Ⅰa・Ⅱb類では（イ）と（ロ）が同数となり、Ⅲ類では（ロ）が主体的で、（イ）・（ハ）が少数見られる結果となった（表Ⅴ－5）。進行度が最も高い（ハ）はⅢ類で多く見られる。従って、剥片素材でⅠ類の技術が用いられた個体は進行度が軽微で、礫素材でⅢ類の技術が用いられた個体は集中的な剥離が行われていると捉えることができる。

表Ⅴ－1　素材と搬入形態

石器ブロック群	素材	搬入形態					総計
		a	b	c	d	不明	
Sb－64～70	転礫	3	3	2			8
	剥片	1			16		17
	分割剥片				2		2
	分割礫	1			2		3
	小計	5	3	2	20		30
Sb－71	転礫	1					1
Sb－72～79	角礫	1					1
	転礫		2	3			5
	剥片				1	1	2
	分割剥片				2		2
	小計	1	2	3	3	1	10
総　計		7	5	5	23	1	41

表Ⅴ－2　素材と剥離技術

石器ブロック群	剥離技術	素材					総計
		転礫	角礫	分割礫	剥片	分割剥片	
Sb－64～70	Ⅰa				4		4
	Ⅰb	2			4	1	7
	Ⅰa＋Ⅱa				1		1
	Ⅱa	1			4	1	6
	Ⅱb				2		2
	Ⅲa	2		2	2		6
	Ⅲb			1			1
	Ⅲa→Ⅲb	2					2
	分割	1					1
	小計	8		3	17	2	30
Sb－71	Ⅲa	1					1
	小計	1					1
Sb－72～79	Ⅰa	2					2
	Ⅰb	1					1
	Ⅱa	1				1	2
	Ⅱb		1				1
	Ⅱa→Ⅰb				1		1
	Ⅲa	1					1
	Ⅲb					1	1
	分割				1		1
	小計	5	1		2	2	10
総　計		14	1	3	19	4	41

これらの剥離の結果、剥離終了時の大きさは、搬出された個体も含め平均で5.7×7.1×3.9cmとなる。素材ごとに見ると分割礫・分割剥片は平均より大きいが、全体としてそれほどのばらつきがなく、剥片素材と転礫素材の大きさが同様となり、前者が5.2×6.4×3.6cm、後者が5.5×7.4×3.9cmとなっている（表Ⅴ－3）。これは、前述の礫素材のものは剥離の進行度が高く、剥片素材のものは低いことに関連すると見られる。結果的に剥離終了時の石核の大きさについては全体としてまとまりが見られ、おおよそ同様の大きさで終了している。

〈二次加工技術〉　裏面微細加工石器の加工は前述のとおり、2mm前後の微細な加工が連続して施されるものである。素材については変異に富み、三角形・台形・五角形で打面から両側縁が撥形に広がるもの（図Ⅴ－1－4～8）、両側縁の中央部がほぼ平行する寸詰まりの剥片（図Ⅴ－1－12・13）や縦長剥片（図Ⅴ－1－17～21）などが素材となっている。また、剥片素材の石核の素材腹面（以下「石核ポジ面」）が見られる個体や背面の剥離面構成が他方向の個体もあり、素材を供給する剥離技術に関しても多様であったと考えられる。微細加工の位置は片側縁のみが最も多く、片側縁と反対側

表Ⅴ－3　石核の大きさ

石器ブロック群	素材	石核剥離開始時(平均)			石核剥離終了時(平均)		
		長さ	幅	厚さ	長さ	幅	厚さ
Sb－64～70	剥片	6.1	8.3	5.0	5.2	6.4	3.6
	転礫	9.9	11.7	9.2	5.5	7.4	3.9
	分割剥片	10.4	11.8	7.1	7.8	8.4	2.3
	分割礫	13.8	12.8	8.2	7.4	9.5	6.3
	全体	8.2	9.9	6.6	5.7	7.1	3.9
Sb－71	転礫	12.9	12.7	10.9	5.1	6.2	4.5
	全体	12.9	12.7	10.9	5.1	6.2	4.5
Sb－72～79	剥片	12.3	13.7	5.9	7.3	11.7	2.7
	角礫	20.9	6.9	5.5	13.7	5.8	4.7
	転礫	10.7	14.2	9.3	7.9	11.0	4.3
	分割剥片	7.0	10.2	－	7.0	10.2	12.0
	全体	11.3	12.6	7.8	8.3	10.3	5.2

表Ⅴ－4　素材ごとの剥離の進行度

石器ブロック群	素材	遺跡内での剥離の進行度				総計
		イ	ロ	ハ	不明	
Sb－64～70	剥片	10	7			17
	転礫	3	2	2	2	9
	分割剥片		1	1		2
	分割礫		3			3
	小計	13	13	3	2	31
Sb－71	転礫		1			1
	小計		1			1
Sb－72～79	剥片	1			1	2
	角礫		1			1
	転礫	1		2	2	5
	分割剥片	1			1	2
	小計	3	1	2	4	10
総　計		16	15	5	6	42

縁の打面側、末端辺のみ、片側縁から末端辺にかけて、片側縁から打面にかけて施されるものがみられる。全体的な傾向として、加工が施されるのは裏面の右側縁に多く見られる。加工が施される縁辺と無加工の縁辺を比較すると、より急角度の縁辺に二次加工が施される個体が多い傾向が見られた。さらに微細加工により縁辺の角度は局部的に鈍角化しており、無加工の側縁よりも急角度となっている。また、僅かであるが背面側への加工より腹面側への加工の方が、素材の長さ・幅に対する変形度が小さいことが予想される。これらのことから、素材をなるべく小型化せずに縁辺を鈍角化するための技術として裏面側への微細加工が採用されたものと考えられる。

基部平坦加工石器は、いずれも「石核ポジ面」をもつ剥片を素材としている。加工は裏面側のみに素材のバルブを除去するような平坦剥離が施されるもの（図Ⅴ－1－2）と、正裏面に加工が及ぶもの（図Ⅴ－1－1）がある。いずれも下端部の縦断面が鋭く尖っている。無加工の上端部は丸みがある横刃となっている。

二次加工ある剥片は、多様な素材と加工が施されるものの中で、急角度の調整を行い、素材の形状を大きく変えるもの（図Ⅴ－1－24・25）が2点見られた。1点は加工が粗く、もう1点は形態が不安定なため、台形石器に分類していない。しかし、素材の形状を大きく変化させるような急角度の調整加工が存在することは注目すべきであろう。その他に素材の背面側に部分的な二次加工が施されるものと、掻器の素材と同様の大型剥片を素材とし、側縁と末端辺との角部の両面に微細な加工を施すものが見られる。

掻器はいずれも大型で、刃部のみに急角度の加工が施される（図Ⅴ－1－30・31）。また、裏面の縁辺に連続的な階段状の剥離が見られるものもある。

錐形石器はいずれも素材の末端部と側縁の角部に突出部が作出され（図Ⅴ－1－32・33）、さらに打面側でも突出部が作出されるものが1点見られる。加工は個体ごとに異なり、微細な加工のみと錯向状の剥離の2種が見られる。

削器はいずれも素材の背面片側縁に連続した二次加工が施されるもので（図Ⅴ－1－34・35）、刃部が僅かに外湾するもの（図Ⅴ－1－34）と内湾する加工（図Ⅴ－1－35）の二種が見られる。

〈搬出形態〉　遺跡内で生産された剥片素材の石核も含めた30個体中26個体の石核が遺棄されている。86.7%と非常に高率である。搬出された石核は4個体で、内訳は搬入石核がさらに搬出されたもの1個体、遺跡内で生産された剥片素材の石核が搬出されたもの3個体となっている（表Ⅴ－6）。遺跡内で生産された剥片素材の石核がやや多く搬出される傾向が見られる。

分布と石器ブロック群の構造　北東側に傾斜する緩斜面上で広範囲に分布している。標高は437.5～

443mでブロックにより高低差がある。Sb－64と65及びSb－68と69は比較的近接しているが、その他は隣のブロックとそれぞれ20m前後の距離を隔てて分布し、最も離れたSb－66と70では52mの距離がある。東地区で報告した「白滝Ⅰ群」のSb－9、Sb－11～13とも比較的近接して分布しているが、ブロック間の接合関係は確認されなかった。

接合関係は、ブロック内を中心としている。ブロック間の接合関係は、3母岩で確認され、Sb－68を除き全てのブロックに及んでいる。それぞれSb－64・65・66(母岩481・接合353)、Sb－67・69（母岩488・接合358)、Sb－66・67・70（母岩490・接合360）で接合関係が見られた。これらと掲載母岩を含めた分布状況を見てみる（11母岩)。母岩ごとの分布状況は、(ⅰ）1か所にまとまって分布するもの（5母岩)、(ⅱ）全体的には1か所にまとまって分布するが、数点の石器類がブロック内を含めた離れた地点から出土するもの（5母岩)、(ⅲ）石器製作の段階によって2か所以上にまとまって分布するもの(0母岩)、(ⅱ)・(ⅲ）の両方の特徴を持つもの（1母岩）であった（表Ⅴ－7)。上述のまとまった分布（集中域の分布傾向）を細かく見ると、散漫に広がる場合と集中する場合があり、両者はほぼ同率で見られた。また分布類型（ⅱ）の内、人為的に石器が持ち出された可能性が高いのは、異なるブロックから単独で出土する石器がある母岩であろう。母岩481・488・490の三母岩である。分布傾向（ⅲ）の時間的な前後関係は、母岩490はSb－66→67となる。

表Ⅴ－5　技術ごとの剥離の進行度

石器ブロック群	剥離技術	遺跡内での剥離の進行度				総計
		イ	ロ	ハ	不明	
Sb－64～70	Ⅰa	2	2			4
	Ⅰb	5	2			7
	Ⅰa＋Ⅱa	1				1
	Ⅱa	3	2	1		6
	Ⅱb	1	1			2
	Ⅲa		5	1		6
	Ⅲb		1		1	2
	Ⅲa→Ⅲb	1		1		2
	分割				1	1
	小計	13	13	3	2	31
Sb－71	Ⅲa		1			1
Sb－72～79	Ⅰa			2		2
	Ⅰb				1	1
	Ⅱa	1			1	2
	Ⅱb		1			1
	Ⅱa→Ⅰb	1				1
	Ⅲa	1				1
	Ⅲb				1	1
	分割				1	1
	小計	3	1	2	4	10
総　計		16	15	5	6	42

表Ⅴ－6　搬入形態と遺棄･搬出

石器ブロック群	搬入形態	石核			総計
		遺棄	搬出	分割	
Sb－64～70	a	4		1	5
	b	3			3
	c	1	1		2
	d	17	3		20
	小計	25	4	1	30
Sb－71	a	1			1
Sb－72～79	a	1			1
	b		2		2
	c	3			3
	d	2	1		3
	不明			1	1
	小計	6	3	1	10
総　計		32	7	2	41

石器類の分布傾向は、裏面微細加工石器がSb－66～68・70に多い。特にSb－68では、ブロックの規模は小さいが、まとまって出土している。基部平坦加工石器はSb－64・67のみに見られ、二次加工ある剥片は各石器ブロックにまばらに分布する。また、掻器はSb－70に多く、削器はSb－66・70のみ、錐形石器がSb－64にのみ見られる。石核はSb－68を除いた各石器ブロックで確認されている。石核は多量に見られ、他の加工のある石器類全ての数量よりも多く出土している。これは、先に観察した接合資料中の石核の傾向と一致する。これらのことをまとめると、本石器ブロック群には、主に多くの原石と少数の剥片・石器類が遺跡内に持ち込まれている。原石は転礫が多いことから付近の河原で採取したものと考えられる。また、1点のみ角礫面を持つ石核が出土しており、露頭付近の石材も認識されていたものと思われる。これらの持ち込まれた原石は、主にⅢ類の剥離技術を用いて集中的な剥片剥離が行われている。生産された剥片は、裏面微細加工石器などの石器類の素材となるが、それ以外にも石核の素材となるものが多くある。それらは、遺跡内に持ち込まれた剥片も含めてⅠ・Ⅱ類の技術を用いた剥片剥離が行われるものが主体である。剥離開始時では素材により大きさが異な

表Ⅴ－7　母岩別資料分布状況

石器ブロック群	母岩・接合番号	出土ブロック	中心ブロック	集中域の分布傾向	離れた地点での接合状況	類型
Sb-64～70	母岩489・接合359	67	－	散漫	折れ接合する剥片１点が北東側に8.4m離れて出土	ii
	母岩493・接合365	66	－	集中	２点が北側に3.9m離れて出土	ii
	母岩497・接合370・371	66	－	集中	なし	i
	母岩675・接合468	70	－	集中	なし	i
	母岩500・接合374	66	－	散漫	なし	i
	母岩492・接合364	66	－	散漫	なし	i
	母岩488・接合358	67・69	67	散漫	個体Ａ中の剥片２点がSb-69から出土	ii
	母岩504・接合388	69	－	集中	なし	i
	母岩490・接合360	66・67・70	66・67	66-集中 67-集中	個体Ａの剥離の途中から最終的な石核までSb-67に分布。個体Ａ－ａの石核がSb-66の北側に6.7m離れて出土し、掻器がSb-70から単独で出土。それ以外は全てSb-66に分布	ii＋iii
	母岩499・接合373	66	－	集中	個体Ｂの後半で剥離された剥片２点が北側に7.5m離れて出土	ii
	母岩481・接合353	64・65・66	64	散漫	剥片がSb-65から、掻器がSb-66から単独で出土	ii
Sb-71	母岩509・接合398	71・ブロック外	－	散漫	ほぼ中間で剥離された剥片１点が東側に約20m離れたブロック外から出土	ii
Sb-72～79	母岩533・接合436・437	73・74・75 77・78	77	散漫	接合436の段階１～３の剥片（個体Ｂを除く）がSb-78に散漫に分布し、個体Ｃ（段階４）の掻器に折れ接合する剥片１点と接合437の段階１の剥片１点がSb-75から出土。段階５の内、先に剥離された２点がSb-74から、その次の掻器１点がSb-73から単独で出土。また、Sb-77の集中部から北側に8.5m離れて接合437の段階２の折れた剥片が１点出土。それ以外は全てSb-77に分布	ii
	母岩532・接合432	76・77 ブロック外	77	集中	段階１の剥片がSb-76から出土し、段階９の剥片１点が集中域から東側に33m離れたブロック外から単独で出土	ii
	母岩523・接合420	77	－	散漫	なし	i
	母岩543・接合457	76	－	集中	段階１の剥片１点が北側に4.2m離れて出土	ii
	母岩515・接合407	74	－	散漫	初期段階の折れ接合する剥片１点が北側に6.5m離れて出土	ii
	母岩507・接合446	76	－	散漫	なし	i
	母岩539・接合449	75・79	79	集中	最後に剥離された石核２点がSb-75から散漫に出土	ii or iii

るが、剥離終了時には大きさの差が均等に近くなり、全体的に同様の大きさの石核が残されることとなる。さらに、遺跡内には多量の石核が遺棄されており、剥離作業が完結する集中的な剥片剥離が行われていたことが判明した。従って石核や石器の素材となりうる剥片や石器類を中心とする搬出形態が想定される。

年代　炭化木片による放射性炭素年代測定を行った。現在のところ炭化木片ブロックは近接した石器ブロックとの関係性が最も高いと捉えている。しかし、必ずしも石器ブロックのそばで火を焚いた確証はなく、炭化木片ブロック自体が焼土を伴わないため、本来的な位置を示す確証も完全にはない。また、上白滝８遺跡では、包含層中に「白滝Ⅰ群」を含め様々な石器群の分布が重なる状況である。これらのことから年代値をそのまま採用する事は注意を要する。そのような状況の中でSb－66の中心部から確認されたCb－18に23,620±310y.B.P(Beta－112907・SHIRA－35)、22,210±110y.B.P(Beta－186198・SHIRA－113）の測定結果が得られた。また、Sb－66の被熱石器の分布とCb－18が一致する。本石器ブロック群は、２万年以前とされる後期旧石器時代前半期の台形様石器を主体とする石器群と類似（山原　1996）している点で、測定結果との整合性が認められる。また、石器組成と石器製作技術から「白滝Ⅰａ群」（直江　2004）に区分できる。千歳市祝梅遺跡三角地点（吉崎・横山1974）や帯広市若葉の森遺跡（北沢ほか　2004）の石器群と類似する。

（２）石器ブロック71（Sb－71）

石器・石材組成（図Ⅴ－３）　点取り遺物22点、重量1,210.0gの石器類が出土した。定形的な石器は、二次加工ある剥片、掻器、石核が出土している。石材は、黒曜石２が最も多く72.7%を占め、その他は黒曜石１（27.3%）のみである。これは本石器ブロックで集中的に剥離された母岩が一つで、それが黒曜石２であったためデータが偏ったものと考えられる。

石材消費の流れ　剥片剥離技術と二次加工技術に分けて説明する。

〈剥片剥離技術〉　本石器ブロックでは主に１母岩の剥離作業が行われている。Ⅲａ類の剥離を中心とした作業が行われ、比較的大型の剥片が剥離されている（表Ⅴ－１）。

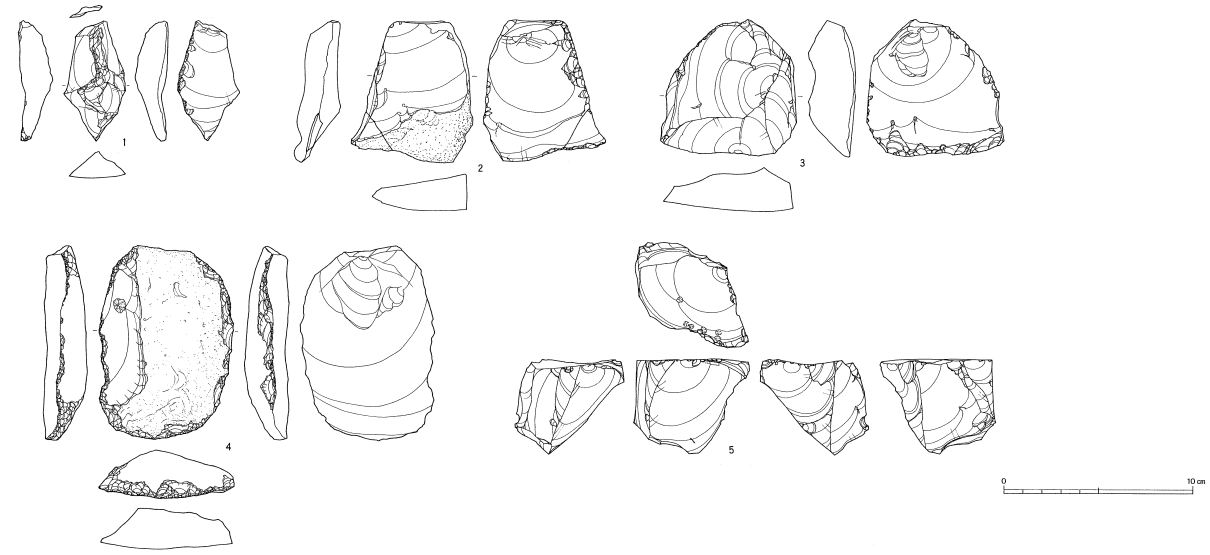
〈二次加工技術〉　二次加工ある剥片はいずれも裏面に長さ１cm 程のやや大型の剥離が不規則に施されるもの（図Ⅴ－３－１～３）である。素材の斉一性はないが、いずれも大型で６・７cm 程である。

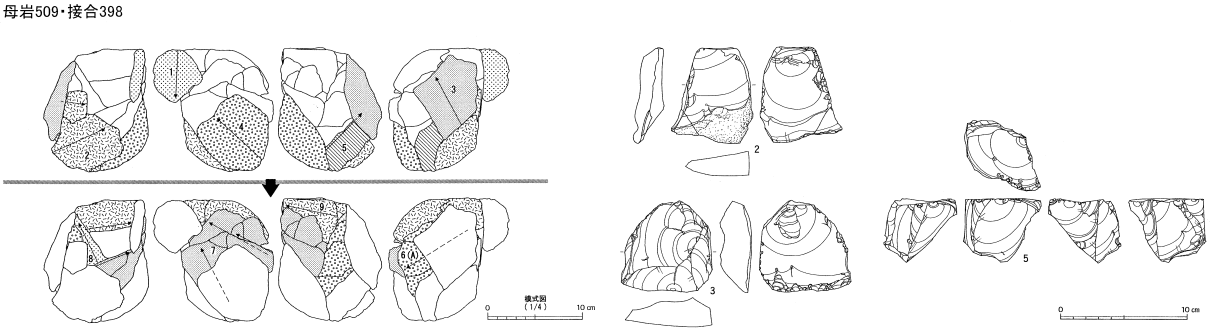
　掻器は背面の大半を転礫面に覆われる剥片を素材としている。加工は、刃部以外にも軽微な加工が縁辺をほぼ全周するもの（図Ⅴ－３－４）である。

分布と石器ブロック群の構造　北東方向に緩やかに傾斜する標高450m 付近で確認された。遺物は密集せず、北東－南西方向に散漫に分布が広がっている。接合関係は、ブロック内のほぼ全域にわたって認められる。また、ブロック外のＳ30区付近にも数点の「白滝Ⅰ群」の剥片が分布している。その内１点で本石器ブロックとの接合関係が確認された。

　黒曜石２の原石と掻器・二次加工ある剥片などを持ち込み、ブロック内でⅢａ類の技術を用いて石核を遺棄する集中的な剥離が行われている（１母岩のみ）。また、東側に20m 程離れた地点にも本ブロックとの接合関係を持つ小規模なまとまりがある。全体的に石器や接合資料が少ないため、石器群の内容・構造については不明瞭な部分が多い。

年代　本ブロック中に炭化木片ブロックは確認されていない。最も近接するのは東側7.5m 程の地点に検出された Cb－19である。Cb－19では２点について放射性炭素年代測定を行い、25,870±290y.B.P（Beta－112908・SHIRA－36）、28,120±180y.B.P（Beta－186199・SHIRA－114）の測定結果が得ら





図Ⅴ－３　Sb－71石器組成・母岩別資料

れた。本石器ブロックは2万年以前とされる後期旧石器時代前半期の石器群と類似（山原　1996）している。2万5千年を越える年代値であり、年代的には整合しているが、やや離れた地点であり、炭化木片ブロックとの共伴関係については可能性の指摘に留める。また、縁辺の加工範囲が広い掻器や、大型の石核や剥片・石器類から、本石器ブロックは「白滝Ⅰb群」（直江　2004）にあたる可能性がある。

（3）石器ブロック72～79（Sb－72～79）

石器・石材組成（図Ⅴ－4）　点取り遺物746点、重量28,739.7gの石器類が出土した。定形的な石器は、台形石器・二次加工ある剥片・掻器・削器・錐形石器・石核・斧形石器・台石が出土している。掻器の点数が非常に多いことが特徴である。石材は、黒曜石1・5がそれぞれ54.4%、37.1%で多数を占めている。以下少量の黒曜石4（3.2%）、黒曜石3（2.3%）、珪岩（1.7%）、めのう（0.5%）、安山岩（0.4%）、黒曜石2及び泥岩（0.1%）からなっている。他の「白滝Ⅰ群」に比べ黒曜石5の割合が高く、石材の種類にも富んでいる。また、被熱石器が非常に少ない（1.3%）ことも特徴である。

石材消費の流れ　搬入形態、剥片剥離技術・進行度、二次加工技術、搬出形態に分けて説明する。二次加工技術以外は本報告で掲載した7母岩（10個体）を元に分析を行った。なお、分類項目及び分類基準についてはSb－64～70と同様である。

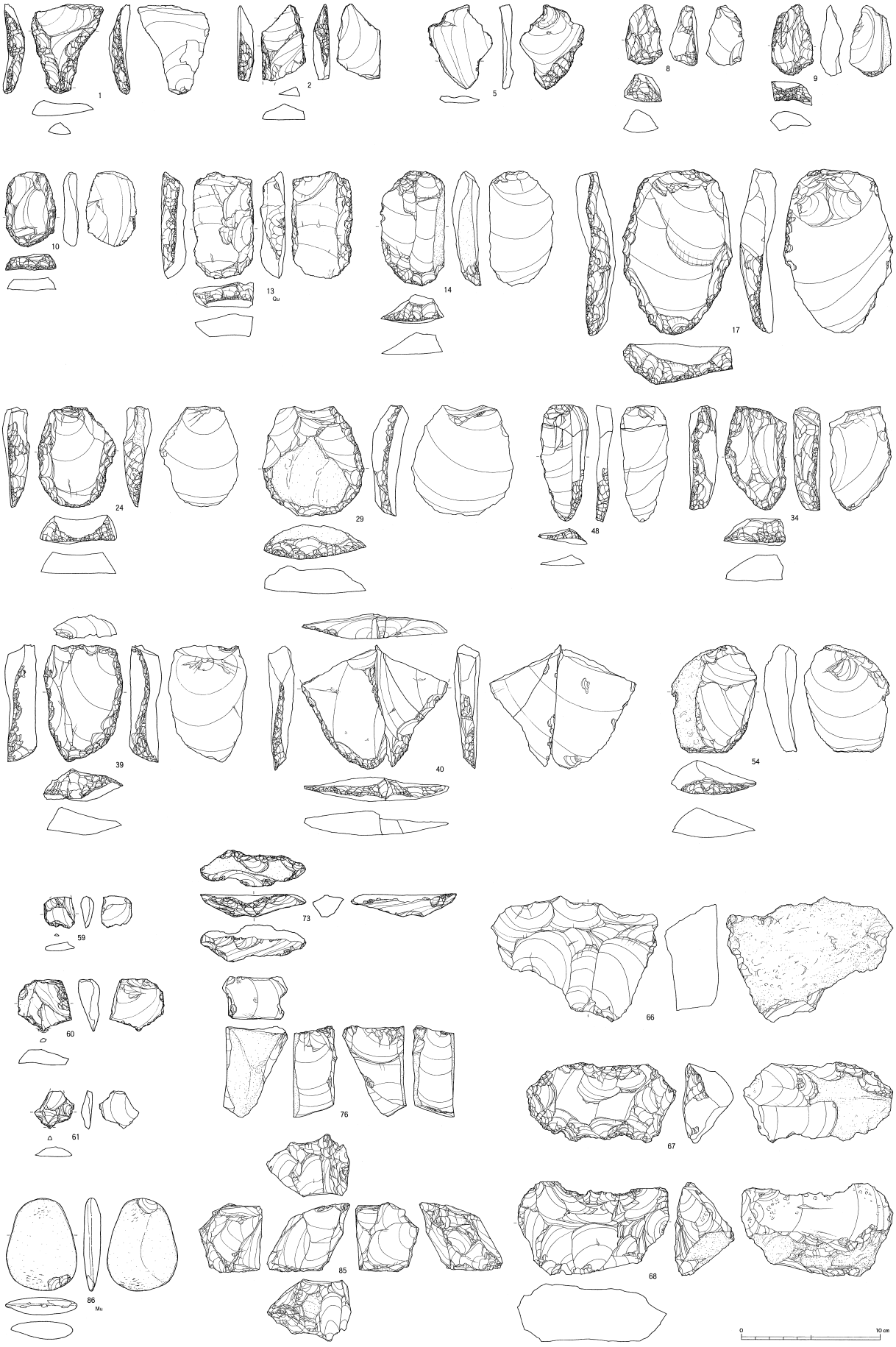
〈搬入形態〉　分類可能な6個体の内、(c)が最も多く3個体で、(b)が2個体、(a)が1個体の順となっている（表Ⅴ－1）。全体に剥離が及んだ状態（剥離がある程度進行した状態）で搬入される個体が主体的と見ることができる。しかし剥片素材で単体出土した石核は、背面が原石面に覆われているものが多く、同じ様相が掻器の一部にも確認できる。これらは剥離の初期段階で得られる剥片であることから、遺跡内で剥離された初期段階の剥片が搬出された場合も考えられ、分類した搬入形態(c)は実態を反映していない可能性がある。

〈剥片剥離技術〉　礫素材の石核に対する剥離技術にはⅠ類が最も多く用いられる（3個体）。Ⅱ類が2個体で、Ⅲ類が1個体である。また、剥片素材の石核にもⅠ類の技術が用いられる（表Ⅴ－2）。遺跡内で石核の素材を生産する(d)は少なく、7母岩中1個体のみである。

剥離開始時の石核の大きさについては、個数が少ないため偏った数値になる恐れがあるが、その場合は付記する。剥離開始時の石核の大きさの平均は11.3×12.6×7.8cmであった（表Ⅴ－3）。素材ごとに見ると、それぞれいずれかの項目が全体の平均値から離れた数値であり、素材ごとのばらつきが大きいことを示している。平均より長さが大きいのは角礫素材、長さと幅が大きいのは剥片素材である。特に前者の長さが突出して大きく20.9cmであった。幅・厚さ共に平均より大きいのは転礫素材である。この内、角礫素材は1個体のみ、剥片素材と分割剥片素材は2個体からのデータであり、平均値を示しているとはいい難い。全体的な傾向として、大型の剥片を石核の素材としている傾向がある。

剥離の進行度は、分類可能な6個体中3個体が（イ）で、（ハ）が2個体、（ロ）が1個体となっている。これを素材ごとに見ると（表Ⅴ－4）、（イ）は剥片・分割剥片・転礫で構成されている。（ロ）は角礫素材であった。（ハ）は2個体とも転礫である。また、剥離技術ごとに見ると（表Ⅴ－5）、進行度が最も高い（ハ）はいずれもⅠa類で見られる。Ⅲa類の技術では（イ）しか進行度が見られない。Ⅱ類の技術には（イ）が2個体、（ロ）が1個体であった。

これらの結果、剥離終了時の石核の大きさは平均で8.3×10.3×5.2cmとなる（表Ⅴ－3）。素材



図Ⅴ－４　Sb-72～79石器組成図

ごとに見ると、剥離開始時の大きさと同様にいずれかの項目が全体の平均値から離れた値であり、開始時に見られたばらつきがそれほど変化していないことを示している。その中で、剥離開始時に平均を上回っていた数値が、残核時に平均を下回る素材の部位として、転礫素材の厚さと剥片素材の長さがある。前者は9.3cm→4.3cm、後者は12.3cm→7.3cm と大きく変化している。この結果は、転礫を素材としてⅠ類の剥離技術を集中的に行うため、石核の厚さを多く消費することと関連すると考えられる。

〈二次加工技術〉　共通する技術として、台形石器・掻器の中には折れ面を切って二次加工が施されるものが一定量見られる（図Ⅴ－4－2・40・48)。素材を切断して整形する技術が存在したものと見られる。

台形石器は、前述のとおり、素材の両側縁を平行ないしは撥形に整形し、上端部に素材の縁辺を残すものである（図Ⅴ－4－1・2)。加工は急角度で素材の変形度が高く、横刃・斜刃となるものがある。

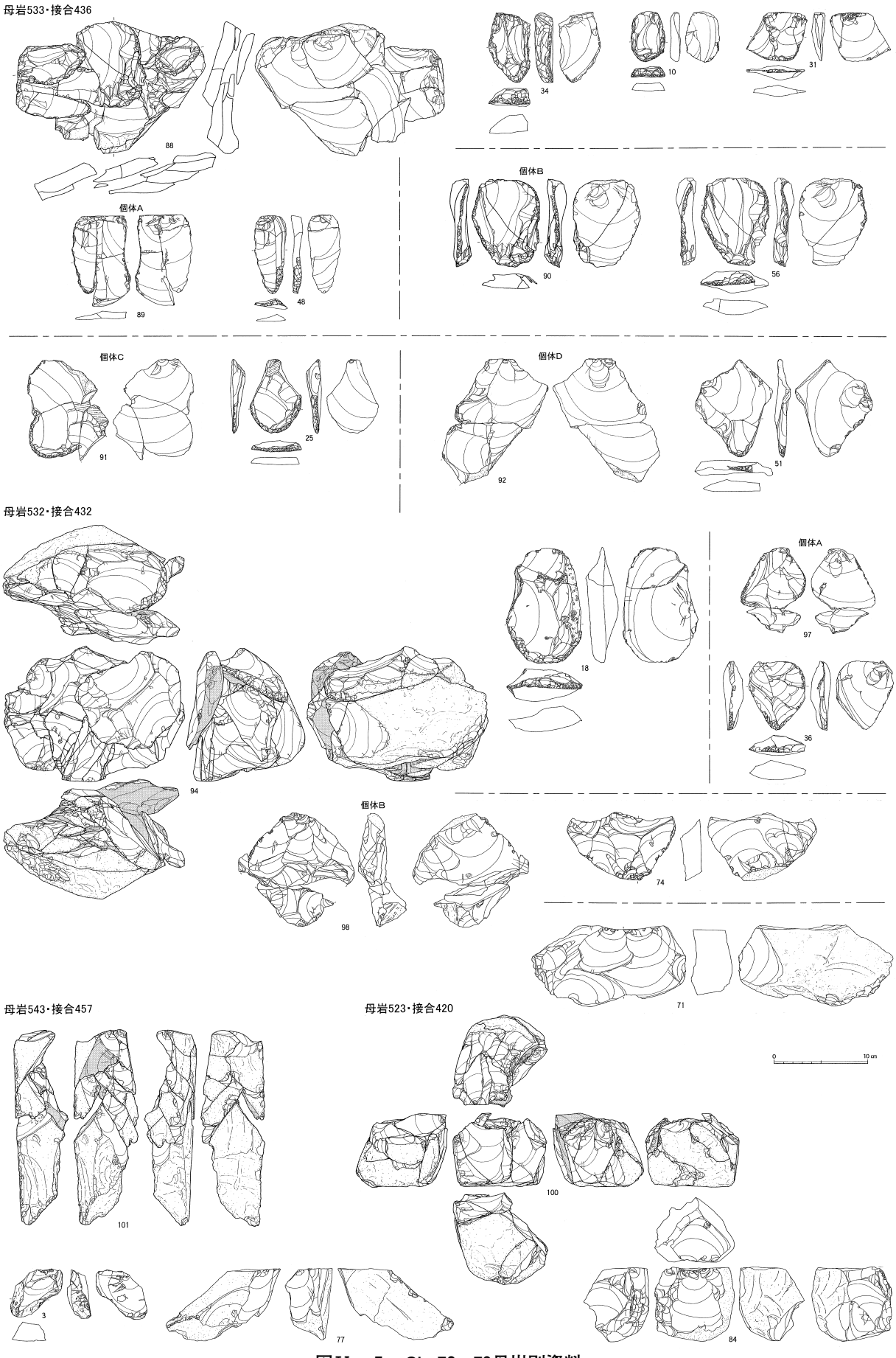
二次加工ある剥片は、素材・形態共に斉一性が見られない（図Ⅴ－4－3)。加工の位置は、素材の背面側と腹面側の二種があるが、角度と長さにばらつきがある。

掻器(図Ⅴ－4－8～54)は、本石器ブロック群で最も多く出土した石器であり、数量的にまとまっているため、掲載した51個体を中心に詳しく説明する。素材は全て剥片で、形態的な変異が大きい。加工および刃部再生による変形度が高い石器であるためと考えられる。素材の用い方は剥離軸に対して、縦位（24個体)・横位（14個体)・斜位（13個体）の三種が見られる。縦位・斜位のうち刃部が素材の打面側に作出されるものが３個体ある。原礫面は37個体に残存し、その内角礫面を持つものは４個体であった。石材は珪岩・めのうが１個体ずつ見られ、それ以外は黒曜石製である。

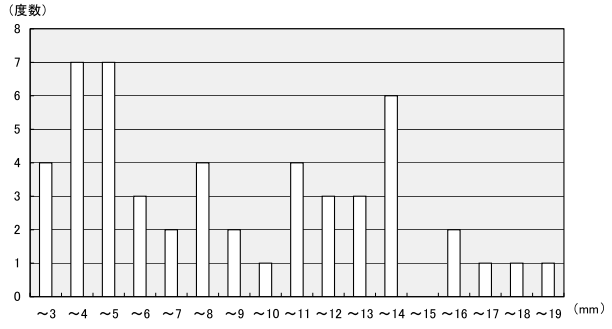
刃部形態は円いもの（26個体)・突出するもの（18個体)・直線的なもの（５個体）の三種に分けられる（不明２個体)。また、刃部厚は４mm 前後と13mm 前後に２モード見られ（図Ⅴ－6)、便宜的に７mm で薄厚を区切ると薄手が23個体、厚手が28個体であった。側縁の加工は変異に富み、基部を除いて全周するもの・刃部のみ(共に17個体)・刃部と側縁の一部(10個体)・刃部と片側縁(４個体)・全周（１個体)・不明（２個体）であり、統一性が見られない。刃角の平均は64.3°である（５°区切りで計測)。前述の刃部厚の基準で刃角を比較すると、厚手が68.1°、薄手が58.8°となり、両者には10°近い格差が見られるが、両者ともピークは65°にまとまっている（図Ⅴ－7)。また、側縁の折れ面または急角度の素材面から背面若しくは腹面に大型の平坦剥離が施されるものが４個体あり、石核と複合した機能が想定されるものもある（図Ⅴ－8)。

その結果平面形態は、(a) 両側縁がほぼ平行するもの（11個体)、(b) 最大幅が基部付近にあるもの（９個体)、(c) 最大幅が刃部付近にあるもの（９個体)、(d) 最大幅が中央部にあり両端が直線的にすぼまるもの(17個体)、(e) 最大幅が中央部にある円形のもの(３個体)、(f) 不定形なもの(２個体）の六種が見られる。これを刃部の形態ごとに観察すると、円い刃部には (a)・(c)・(d) が多く器体の下半部が大きく、突出する刃部は (b)・(d) が多く器体の上半部が大きい。直線的な刃部は少数であるが (a)～(d) がほぼ均等に見られる（表Ⅴ－8)。

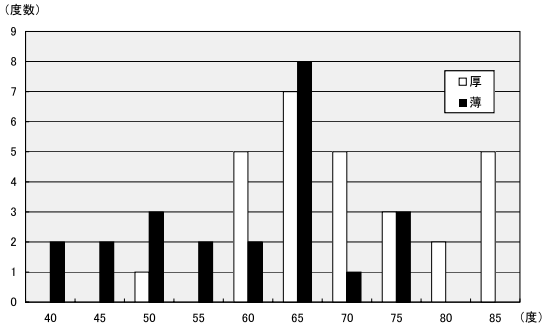
これらのことから本石器ブロック群の掻器は、素材の形態・素材の用い方・刃部の厚さにばらつきがあるが、刃角の多くは65°前後にまとまり、刃部の厚手のものがより急角度である傾向が見られた。刃部の形態は円いもの・突出するもの・直線的なものの三種を基本とする。形態の変異幅は大きいものの、円い刃部が器体中央～下部に最大幅を持ち、突出する刃部が器体中央～上部に最大幅を持つ傾向性がある。



図Ⅴ－５　Sb-72～79母岩別資料



図Ⅴ－6　Sb-72～79掻器刃厚



図Ⅴ－7　Sb-72～79掻器刃角

錐形石器は、いずれも寸詰まりの剥片を素材としている（図Ⅴ－4－59～61）。突出部は1か所で、素材の末端部と側縁に作出されるものがある。突出部の加工は背面側と錯向状の二種が見られる。

削器は、黒曜石製で背面に直線状の加工が施されるものと、安山岩製で片側縁の上半と下半で交互状の加工が見られるものがある。後者は大型で長さが12cm程あり、背面側の大半を原石面が覆っている。

表Ⅴ－8　Sb-72～79掻器の平面形態と刃部形態

平面形態	刃部形態				総計
	円刃	突出刃	直刃	不明	
a:平行	7	3	1		11
b:上広	1	7	1		9
c:下広	6	1	1	1	9
d:中広	8	7	2		17
e:円形	2			1	3
f:不定形	2				2
総　計	26	18	5	2	51

斧形石器は、小型で扁平な礫素材の端部に僅かな加工が見られるもの（図Ⅴ－4－86）であり、明確な刃部加工は認められない。

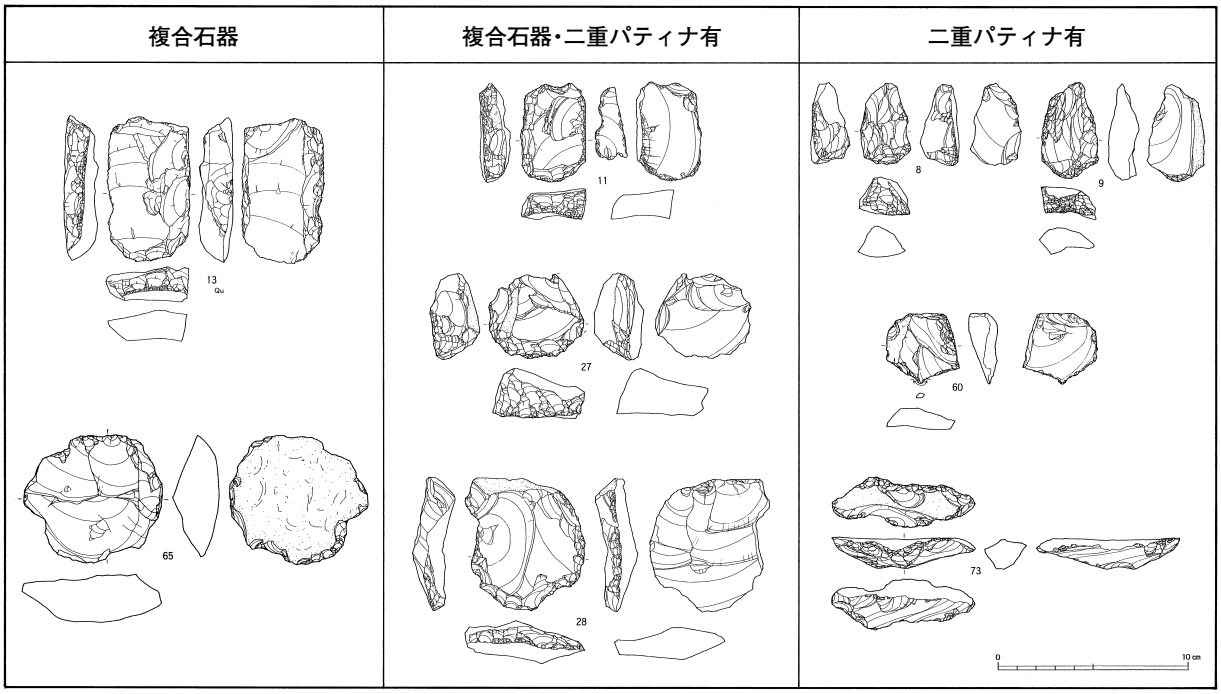
また、掻器・錐形石器・石核の中には、素材面と二次加工面の表面状態が異なるものがある（図Ⅴ－8）。前者には細かい傷があり、面的な光沢が弱い一方、後者には同様の傷がなく、光沢がより強い。二重パティナと考えられ、素材腹面と二次加工面の形成には時間差が想定できる。

〈搬出形態〉　9個体中6個体の石核が遺棄されており、66.7%の割合である。搬出された石核は3個体で、内訳は搬入形態（a）～（c）がさらに搬出されたもの1個体、搬入形態（d）が搬出されたもの2個体となっている（表Ⅴ－6）。

分布と石器ブロック群の構造　遺跡西側のほぼ南北方向に緩やかに傾斜する10ラインを中心として分布している。標高は442.5～446.5mで、ブロックにより高低差があるが、北側の台地の縁に北東－南西方向に並んでSb－72～74・76・78がまとまっている。そこから南側にSb－75・77が分布しており、Sb－77は出土数及び石器組成から本石器ブロック群の中心的なブロックとなっている。Sb－75は標高が最も高い南側にあり、Sb－79は西側にやや離れて分布する。

接合状況は、Sb－74・76～79がブロック内の接合を中心とし、ブロック間での接合関係が確認されている。その他のSb－72・73・75は接合関係が希薄で、Sb－75はブロック内で完結する接合状況がなく、全てSb－77との接合関係が見られる。それぞれ濃淡はあるがSb－74・77を中心としてブロック間での接合関係が確認されている。さらに掲載母岩の分布状況をSb－64～70の基準で見てみる。母岩の分布状況は（ⅰ）が2個体、（ⅱ）が4個体、（ⅲ）がなく、（ⅱ）と（ⅲ）のどちらか判別できないものが1個体あった（表Ⅴ－5）。集中域の分布傾向は、散漫に広がる場合と集中する場合があり、両者はほぼ同率で見られた。また、分布傾向（ⅱ）の内、人為的に石器が持ち出された可能性が高いのは、異なるブロックから単独で出土する石器がある母岩であろう。母岩532・533・539の三母岩である。分布傾向（ⅲ）の可能性がある母岩507の時間的な前後関係はSb－79→75となる。

また、原礫面にザラついた岩屑面を持つ角礫を素材とした石器類が一定量見られた。Sb－74・76



図Ⅴ－８　Sb-72～79複合石器・二重パティナ有石器

～78で確認され、Sb－76で主体的に見られる。それに関連すると見られる同様の原礫面を持つ棒状原石がSb－77からまとまって出土している。

石器類の分布傾向は、台形石器がSb－77にあり、二次加工ある剥片がSb－76に多く、掻器はSb－73・74・77・78に多い。錐形石器はSb－74・77、削器はSb－76・77にあり、斧形石器・台石・棒状原石はいずれもSb－77から出土している。全ての器種がSb－77に分布している。石核もSb－77を中心として見られるが、全体で31点しか出土していない。Sb－64～70と比較すると非常に少ない量である。先に見た接合資料中の石核についても同様の傾向で、全体の約三割が遺跡外に搬出されている。これらのことから一定量の石核が遺跡外に持ち出されている可能性が高い。

以上のことから、本石器ブロック群には、付近で採取した原石及びある程度剥離が進行した状態の石核（礫・剥片素材を含む）、掻器などの石器類が搬入されている。原礫面は転礫面が多いことから、素材は湧別川の河原で採取されたものと考えられる。また、角礫面を持つ石核及び棒状原石も持ち込まれており、露頭付近の石材もある程度採取されている。これらの原石及び搬入石核には主にⅠ類の剥離技術を用いて剥片剥離を行っている。生産された剥片は主に掻器を中心に台形石器などの素材となる。遺跡内で生産される剥片素材の石核の内、遺跡内に遺棄されるものは少なく、それらは主にⅠ類の剥離技術が用いられている。遺跡内での剥離の進行度は個体によりばらつきが大きいが、主に礫素材のものは進行度が高く、剥片・分割剥片など礫以外の素材は、進行度が低い傾向がある。礫素材のものはⅠ類の剥離技術を用い、主に厚さを大きく減じる石材の消費となっていた。剥離終了時の石核の形態・大きさは素材によって変化に富み、統一性がない。最終的に遺跡内には約六割の石核が残される事となり、三割を超える石核が搬出されている。石核・石器類の中には二重パティナが観察されるものがあり、また、掻器の中には石核としての機能を共有、若しくは器種転用したと見られるもの（複合石器）が存在する（図Ⅴ－８）。これらのことから、石器類は管理的な様相が強いと言えよう。しかもこれらの黒曜石の原産地は肉眼的に白滝産である。また、石材消費戦略としては、原産地において採取した原石及び剥離途中の石核を遺跡内に搬入し、集中的な石器製作を行い、石核若しく

は掻器を中心とした石器、またその素材となりうる剥片を一定量搬出している。さらに、大型石器が多い点、石核の搬出率が高い点、管理的な石器類の存在から、白滝を回帰的に遊動する比較的地域性の高い行動領域であった可能性がある。

年代　Sb－77の掻器に16,279±1,991y.B.P（W８）、12,429±1,115y.B.P（W９）、16,255±1,005y.B.P（W10）の水和層年代測定値が得られている。２点が16,000年代にまとまっている。しかし、本石器ブロック群は２万年以前とされる後期旧石器時代前半期の掻器を主体とした石器群に類似（山原 1996）しており、従来の編年観とは整合しない。また、石器組成と石器製作技術から「白滝Ⅰｂ群」（直江　2004）に区分できる。上士幌町嶋木遺跡（辻　1973、加藤・山田　1988）や千歳市柏台１遺跡（福井　1999）に類似する石器群が見られる。

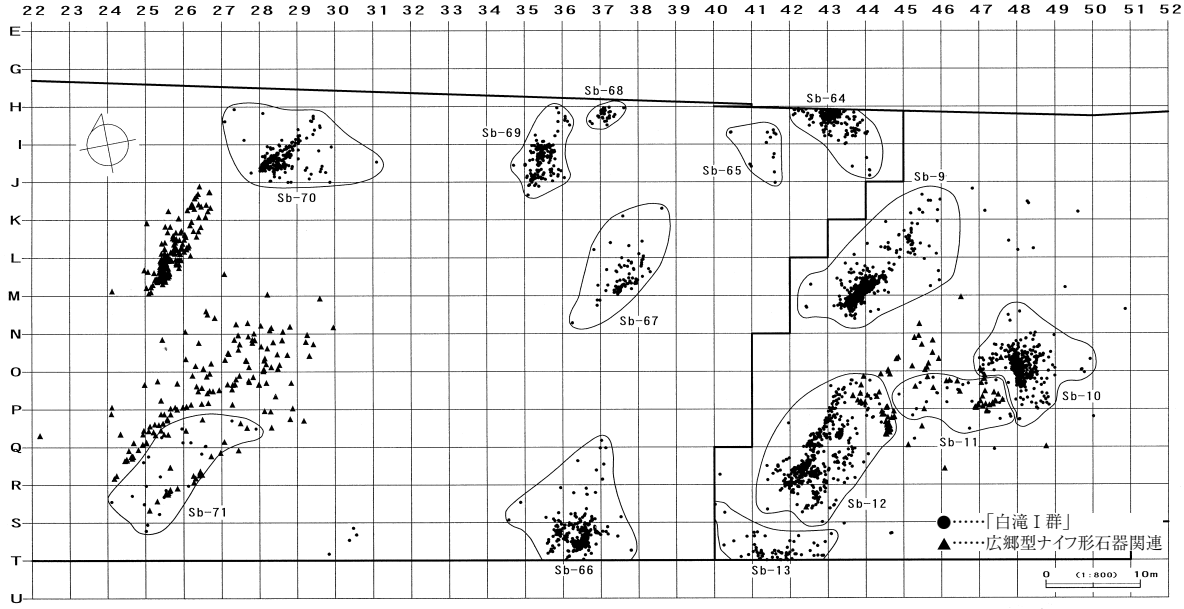
（４）「白滝Ⅰａ・Ⅰｂ群」の関係

ここでは上白滝８遺跡の東地区で報告（鈴木ほか　2004）した「白滝Ⅰ群」も含め、各石器ブロック群の関係を整理し「白滝Ⅰ群」全体のまとめを行う。東地区ではSb－１～13の石器ブロックが検出され、主に接合関係からSb－１～３、４～６、７・８、９、10、11～13の六つの石器ブロック群に区分された。それらは石器組成や石器製作技術から「白滝Ⅰａ群」と「白滝Ⅰｂ群」に区分されている（直江　2004）。前者はSb－１～３、４～６、７・８、９、11～13の五つの石器ブロック群、後者はSb－10である。本報告では、前者にSb－64～70が、後者にSb－71、72～79が相当し、特に今回Sb－72～79により「白滝Ⅰｂ群」の様相が一層明らかとなった。上白滝８遺跡の「白滝Ⅰ群」は、調査区内の広い範囲から検出され、主に中央から東側にⅠａ群が多く分布している。Ⅰｂ群は、西端部に大規模な石器ブロック群があり、中央と東部に小規模で単独の石器ブロックが点在している。

以下に本報告を含めたⅠａ群とⅠｂ群の相違を石器組成、剥片剥離技術、石材消費戦略、行動領域から記述する。石器組成では、Ⅰａ群に裏面微細加工石器が多く、基部平坦加工石器が見られ、石器類が小型である。それに対してⅠｂ群には掻器が多く、台形石器が見られ、石器類が大型である。また、石材については、Ⅰａ群が黒曜石１の割合が高く、Ⅰｂ群の方が、黒曜石２・５を多く利用し、黒曜石以外の石材が豊富に見られる。

剥片剥離技術では、両者ともにⅠ～Ⅲ類の剥片剥離技術が見られるが、Ⅰａ群は一次素材にⅢ類、二次素材にⅠ・Ⅱ類の技術が多く用いられ、一母岩中に利用される剥片素材の石核の比率が高い。Ⅰｂ群は一次・二次素材ともにⅠ類の技術が多く用いられ、素材による技術の変化が顕著ではない。これは目的とする剥片の大きさの相違によるものと思われる。

石材消費戦略と行動領域については、（直江・長崎　2005）で東地区及び奥白滝１遺跡の「白滝Ⅰａ群」についての分析を行った。その中で、白滝遺跡群を対象とした石材原産地では、①遺跡内に原石の状態で持ち込み、集中的な剥片剥離が行われている。②素材・搬入形態にかかわらず石核の多くは遺跡内に遺棄されており、剥片（石核の素材を含む）・石器類が遺跡外に主体的に搬出されている。祝梅遺跡三角山地点を対象とした消費地遺跡では、③石核、石器類が白滝より小型であり、石核を徹底的に消費し尽くしている。④剥片若しくは剥離が進行した石核から剥離が開始されている。⑤在地の石材がほとんど利用されず、直線距離で約75km離れた赤井川産の黒曜石を主体として利用している。⑥白滝産黒曜石が少量出土している。①～④により、両遺跡の関係は遺跡間連鎖に基づく原産地と消費地の関係にあり、石材は直接採取によって入手したと想定できる。また、⑤・⑥から、黒曜石（良質石材）に対する依存度の高さを指摘できる。従って複数の良質原産地を取り込む広範囲の行動領域であったことが考察された。これは本報告で検討されたSb－64～70の石材消費戦略と矛盾しな



図Ⅴ－９　「白滝Ⅰ群」と広郷型ナイフ形石器関連の石器分布

い。

Ⅰｂ群は原石及びある程度剥離の進行した状態の石核を搬入し、原産地で集中的な石器製作を行い、剥片素材の石核及び掻器を中心とした石器類若しくはそれらの素材となりうる剥片を遺跡外に搬出している。Ⅰａ群と比べると接合資料及び単体の石核の遺棄・出土率が低いことから、石核も一定量搬出されたものと見られる。また、大型の石器類、白滝産黒曜石製と見られる二重パティナが観察できる石器や複合した機能を持つ石器（図Ⅴ－８）の存在から白滝を回帰的に遊動する比較的地域性の高い、行動領域であった可能性がある。

以上のような相違は、同一の石材環境において観察され、お互いに類似した石器製作技術を保持している中で、それぞれ特色のある技術の用い方が確認された。従って石器製作上の遺跡連鎖によるつながりとは認めがたく、石器・石材組成、石材消費戦略及び行動領域の違いも含めて考えると、時間的な前後関係による可能性が高いと思われる。また、両群とも石器製作技術から凡列島的に出土する「台形様石器群」と同じ枠組みで理解することが可能であろう。

両群の関係について考察する際には、広郷型ナイフ形石器を含む石器群(以下、広郷ナイフ石器群)が重要と考えられる。広郷ナイフ石器群は、Ⅰａ・Ⅰｂ群の双方に類似点が見られる。すなわち石材消費戦略は、原産地で石材採取を行い、石刃技法を主として剥片剥離・石器製作までが集中的に行われ、多量の石核が遺棄され、石器・石刃を中心とした装備形態が復元されている（坂本　2003)。これは、石器製作技術の違いを除けばⅠａ群と類似している。また、ナイフ形石器の裏面基部加工は、寺崎（2005）も指摘するように、Ⅰａ群の基部平坦加工石器のものと類似する。さらにⅠａ群中のSb－11～13では、縦長剥片を剥離する比率が高く、縦長剥片を素材とする基部平坦加工石器が存在している。また、広郷ナイフ石器群に伴う掻器は、加工や形態・大きさにおいてⅠｂ群に伴う掻器と類似するものが多い。これらのことから、広郷ナイフ石器群は白滝Ⅰａ・Ⅰｂ群の両者に類似した要素があり、中間的若しくは両者のいずれかに共伴する位置付けが可能と思われる。ここで上白滝８遺跡での広郷ナイフ石器群の分布を見てみよう（図Ⅴ－９)。広郷ナイフ石器群は「白滝Ⅰ群」以外として報告され、Ｆ区とＩ区の２か所で出土している。前者ではⅠｂ群のSb－10に隣接し、Ⅰａ群のSb－11～13と一部重複している。後者ではⅠｂ群のSb－71と一部重複して分布している。以上のように

分布からも白滝Ⅰ群との関連性が指摘できる。

白滝を含めた北海道の後期旧石器時代前半期の編年的な研究によれば、絶対年代的な位置付けや石器群の組み合わせに相違があるものの、技術形態学的には台形様石器を主体とする石器群→掻器を主体とする石器群への変遷を想定しているものが多い（佐藤　2003、寺崎・山原　1999、寺崎　2005など）。また、地質編年によれば、帯広市若葉の森遺跡と千歳市柏台１遺跡が議論に耐えうる遺跡として評価され、若葉の森を古く位置付けている（出穂・赤井　2005）。これは前述の技術形態学的な変遷観と矛盾しない。これらを石器組成の類似により「白滝Ⅰ群」に当てはめると、Ⅰａ群→Ⅰｂ群への関係に対応し、今回考察した行動領域の観点から見ると、広範囲の領域から地域的な領域へと変遷したことになる。しかし、行動領域と良質石材の依存性を合わせて考慮すれば、前述の変遷観は、後続する細石刃石器群との類似性が希薄であり、Ⅰａ群の方がより細石刃石器群との類似性を認めることができる。この類似性が時間軸に沿って連続的に変遷する属性であるのかどうかは現時点では不明である。従って、今後とも様々な視点から石器群を分析し、当該期の社会を復元・検証していく必要がある。そのためには、前半期から後半期にかけての石器群単位での連続性、系統関係、集団関係を視野に入れた分析が不可欠であろう。（直江康雄）

2 「白滝Ⅰ群」以外について

上白滝８遺跡では、技術的特徴から剥片レベルでも分離可能な「白滝Ⅰ群」を分離して整理を行ってきた。「白滝Ⅰ群」以外は、文字通り遺跡全体から「白滝Ⅰ群」を除いた全ての石器群が含まれており、西地区遺物の99.7%（626,305点）を占める。また、東地区・斜面部等を含めた遺跡全体では99.2%（1,344,457点）である。

これらの遺物の分布は、東地区同様、西地区においても広範囲に連続し、巨視的に見ると直径50m規模の集中域とみなせる場所がⅠ・Ｊ区で確認される。これまで白滝遺跡群の報告は、遺跡を分布上の集中域である「石器ブロック」に分け、単体石器・接合資料で関連付けられる複数の「石器ブロック」を「石器ブロック群」として括り、行ってきた。「石器ブロック群」は基本的には単一の「石器群」に対応し、さらに同一時期の所産と考えられるまとまりを示すものと考えており、このような整理は「石器ブロック群」が分布上、独立している場合に有効であった。上白滝８遺跡の「白滝Ⅰ群」以外では、複数の石器群が複雑に重複・連続しているため、このような資料操作を経ることが困難な状況であった。そのため連続した分布を把握・記述するための資料操作単位として便宜的に等密度線図からブロック設定を行い、さらに最大公約数的な「石器群」の分類を目的として、特徴的な石器・近距離での接合関係を基に「区域」の設定を行った。

今回（西地区）の報告では、「区域」「石器ブロック」（分類基準についてはⅢ章２（２）参照）を単位として報告する中で、さらに石器群に帰属可能な単体石器・接合資料を基準として「区域」を石器群の単位に分けてその構造を明らかにすることに努めてきた。本節では、Ｇ～Ｋの五つの「区域」毎にまとめを行うが、「石器群」「石器・石器組成」「各石器群」の項目に分けて記述する。「石器群」では区域を構成する石器群を示し、「石器・石器組成」では区域全体の点取り遺物点数・重量を示したが、全ての遺物に対して構成する石器群に分離することは困難であるので石器群単位の集計は行っていない。そのため、区域全体の遺物点数・重量、石器組成、石材組成を検討した後、「各石器群」の特徴を述べる。

（１）Ｇ区・石器ブロック80～89（Sb－80～89）

石器群　①小型舟底形石器を含む石器群、②大型石刃・大型舟底形石器を含む石器群、③忍路子型細石刃核を含む石器群が認められる。

①が主体を占め、一部（Sb－89）はⅠ区（Sb－93南東部）と接合関係があり、②はSb－83中央部にスポット的に、③はSb－86北東部（スポット的）・Sb－88・Sb－89南西部にH区（Sb－90）と接合関係を持って分布する。なお、③のSb－89は南側の調査範囲外に分布が広がると推定される。区域全体では石器ブロックの規模は均質で、2,000～3,000点の小規模なものが多く、それらが10m程度の間隔でほぼ等間隔に分布している。

石器・石材組成　区域全体で点取り遺物17,097点、133,540.5gの石器類が出土している。定形的な石器は尖頭器（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ類）・尖頭器削片・両面調整石器・ナイフ形石器・彫器（Ⅰ・Ⅱ類）・彫器削片（Ⅱ・Ⅲ類）・掻器・削器・錐形石器・舟底形石器（Ⅰａ・Ⅱａ・Ⅱｂ類）・石刃・縦長剥片・石刃核・石核・原石が出土している。石材は黒曜石４（64.7%）が最も多く、次いで黒曜石１（26.9%）、黒曜石３（6.9%）、黒曜石５（1.2%）、黒曜石２（0.2%）、頁岩（0.05%）である。削器・錐形石器・舟底形石器・石核類・剥片には黒曜石４が、尖頭器・彫器・掻器には黒曜石１が多用され、彫器・錐形石器には頁岩製のものが含まれる。

①小型舟底形石器を含む石器群（図Ⅴ－10・12～14）

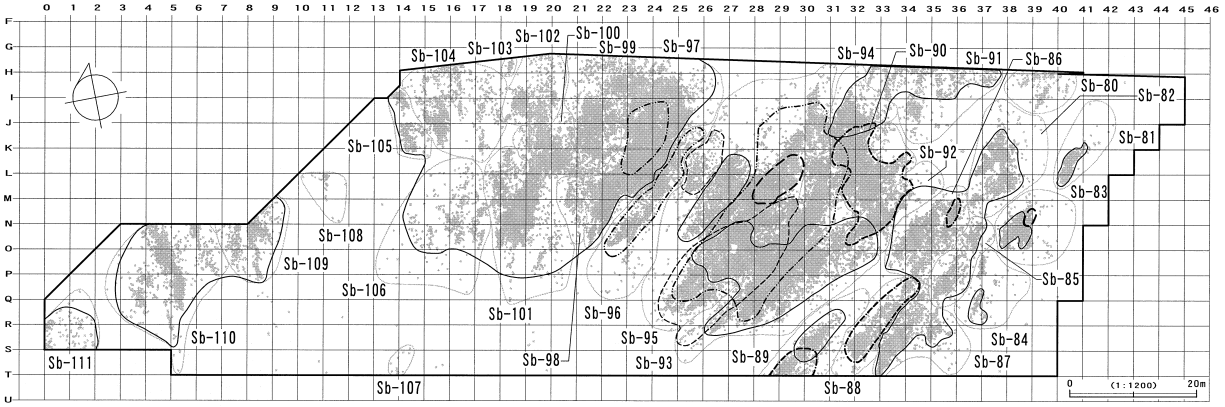
石器製作技術　尖頭器製作技術と石刃剥離技術を含む剥片剥離技術に分けられる。

＜尖頭器製作技術＞　剥片素材（図Ⅴ－12－１）と石核素材（図Ⅴ－12－７）があるが、石核素材がほとんどである。石核素材は30cmを超える大型の角礫を素材として、粗加工され、類似した形状(長さ29～32cm、幅13～16cm、厚さ５・６cm）の大型尖頭器で搬入されている（図Ⅴ－13－母岩551・接合2807)。①全て角礫素材であること、②搬入形態が揃っていること、③母岩551に２個体の搬入品があることからそれらは露頭付近で一次加工が行われ、遺跡内に搬入されたと考えられ、Sb－81にまとまって分布する母岩（母岩549・551・546）は１回の補給で遺跡内に搬入され、遺跡内に残されたものと考えられる。

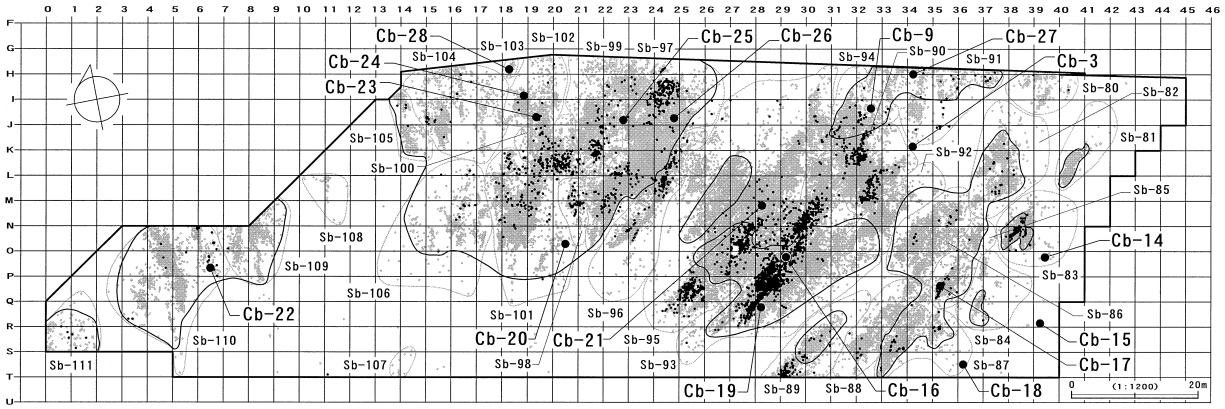
搬入された大型尖頭器は、遺跡内で主に厚さを減少させる加工が行われ、長さ30cm前後、幅９～12cm、厚さ１～２cmの尖頭器で搬出される（図Ⅴ－13－母岩551・接合2807個体Ａ)。また、加工途中で折損した場合、主に折れ面を打面として（一部、削片剥離面を打面とする）側縁で削片剥離が行われる（図Ⅴ－13－母岩551・接合2807個体Ｂ)。削片剥離の際に頭部調整は施されない。断面三角形の一次削片が両側縁で剥離された後、二次削片は片側縁に偏って剥離される。剥離された断面三角形の一次削片は舟底形石器の素材として利用される（図Ⅴ－13－133・134)。削片の長さは①尖頭器本体の下端部を取り込むもの（図Ⅴ－12－18）が多く、それに伴い本体の長さが次第に減少すること、②折損時（削片剥離直前）の尖頭器自体の大きさに変異があることから差異が見られる。削片剥離後の尖頭器Ⅱ類本体の正面形はⅤ字状である（図Ⅴ－12－10・８)。

＜剥片剥離技術＞　石刃剥離と剥片剥離の２種類に分けられ、全て原石ないし原石に近い形状で搬入される。

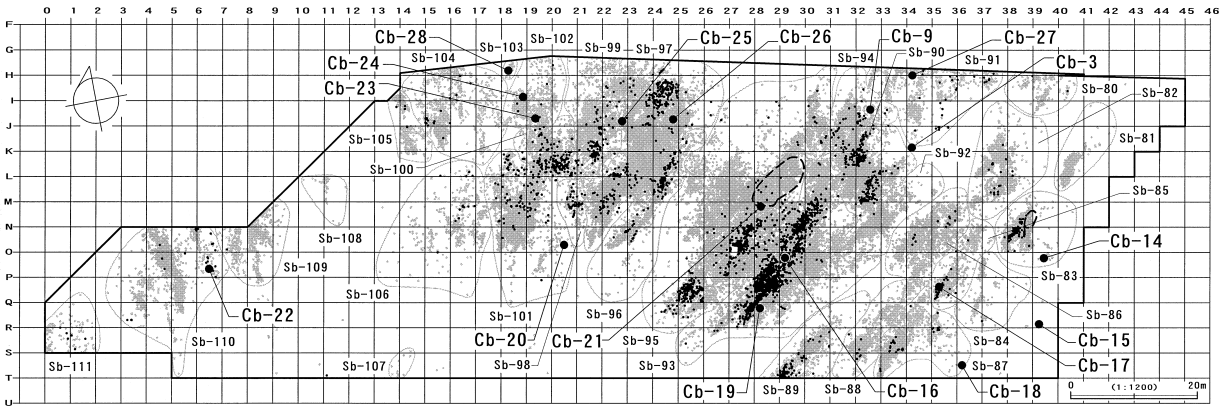
①10～25cm、主に長さ15cm程度の角礫・亜角礫を素材として１回ないし数回の厚手の剥片剥離によって作出された単剥離打面（一部原礫面打面有り）から頭部調整を伴って７～10cm程度の石刃が剥離される。石刃剥離は裏面に向かって一方向に進行し、石刃核裏面に原礫面が残存するもの（図Ⅴ



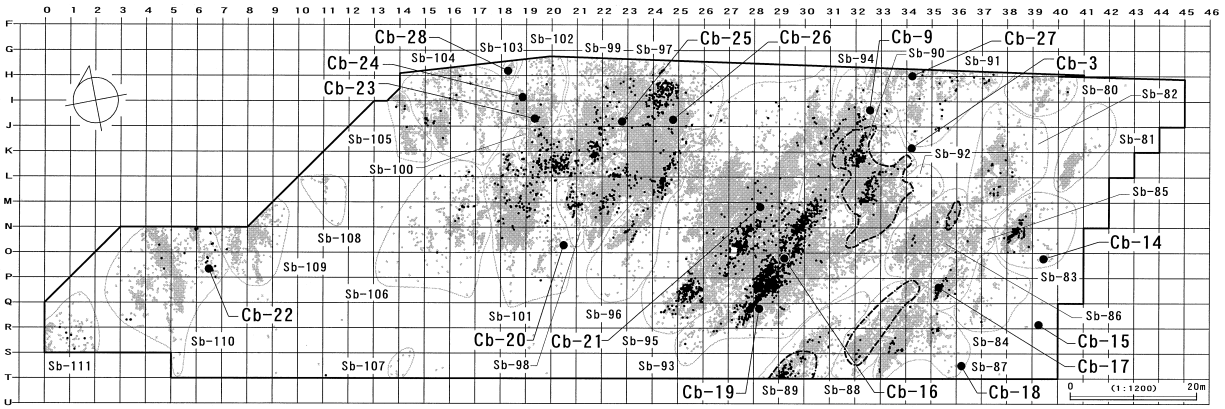
「白滝Ⅰ群」以外の石器群分布



小型舟底形石器を含む石器群と炭化木片ブロック・被熱石器の分布

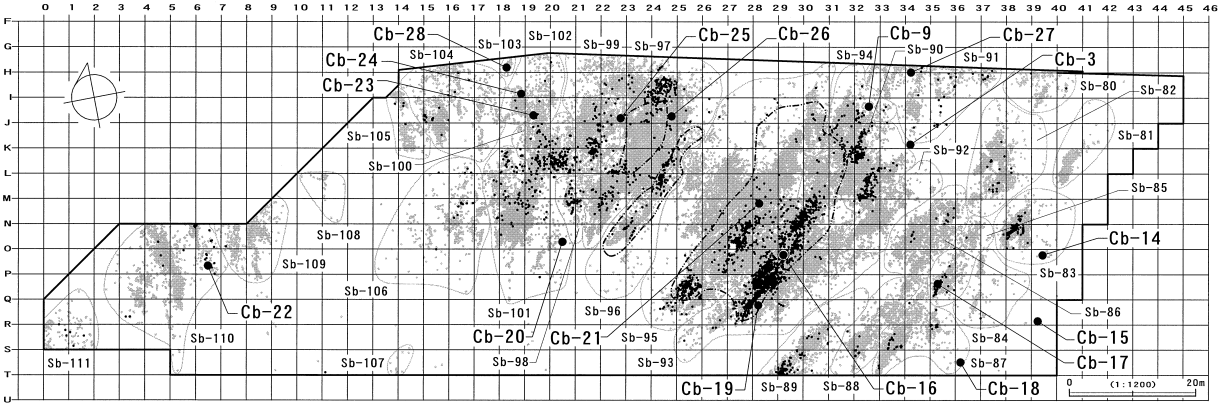


大型石刃・大型舟底形石器を含む石器群と炭化木片ブロック・被熱石器の分布

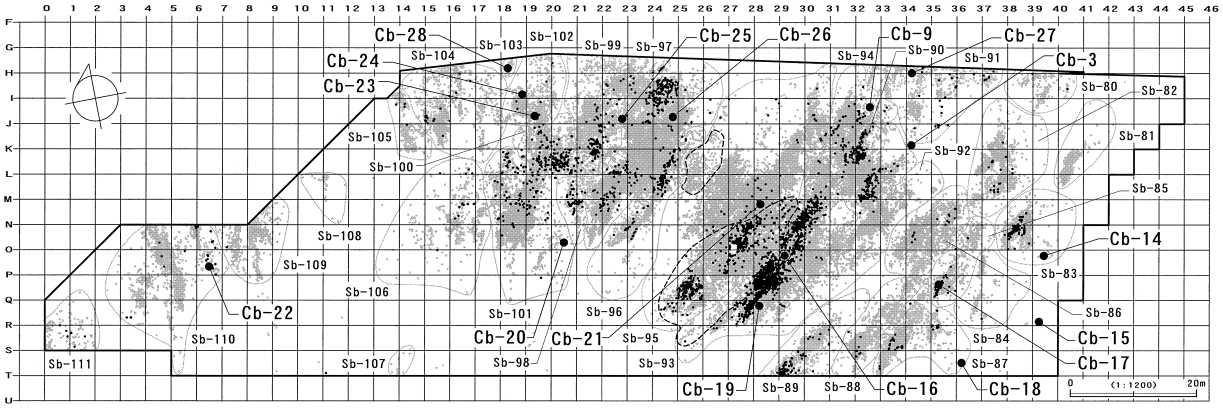


忍路子型細石刃核を含む石器群と炭化木片ブロック・被熱石器の分布

図Ⅴ－10 「白滝Ⅰ群」以外の石器群分布図(1)



幅広有舌尖頭器を含む石器群と炭化木片ブロック・被熱石器の分布



広郷型ナイフ形石器を含む石器群と炭化木片ブロック・被熱石器の分布

図Ⅴ－11　「白滝Ⅰ群」以外の石器群分布図(2)

－12－151）と、全周を巡るもの（図Ⅴ－12－164）がある。一部、両設打面も見られるが、ほとんどが単設打面である。石核調整は、打面作出後、主に石核の形態を整えるために頭部調整を伴わない厚手の剥片剥離が行われるものや、石刃剥離中に稜調整や下縁調整などが行われるものがある。また、石刃剥離後の最終段階で石刃核を分割する剥離が行われることがある（図Ⅴ－12－151）。厚手の打面作出剥片や石核調整剥片や石刃剥離後の厚手の剥片・石核・石刃核は舟底形石器の素材となる。逆に言えば一連の工程内で得られた厚手の剥片は舟底形石器の素材として利用され、多くの舟底形石器が製作されている。剥離された石刃は彫器・掻器・錐形石器・削器の素材となる。

石材は黒曜石４が７割を占め、黒曜石１が３割程度である。黒曜石４は亜角礫・角礫が、黒曜石１は角礫がほとんどである。

②長さ10～20cm の角礫・亜角礫を素材として石刃が剥離される①と同様に概ね打面を固定し、頭部調整を行わずに打面縁辺から0.5～２cm 内側を加撃して縦長の厚手の剥片が剥離される。

③長さ10～20cm の角礫・亜角礫を素材として打面・作業面を頻繁に転移させ、頭部調整を行わずに打面縁辺から10mm 以上内側を加撃して厚手の剥片が剥離される。

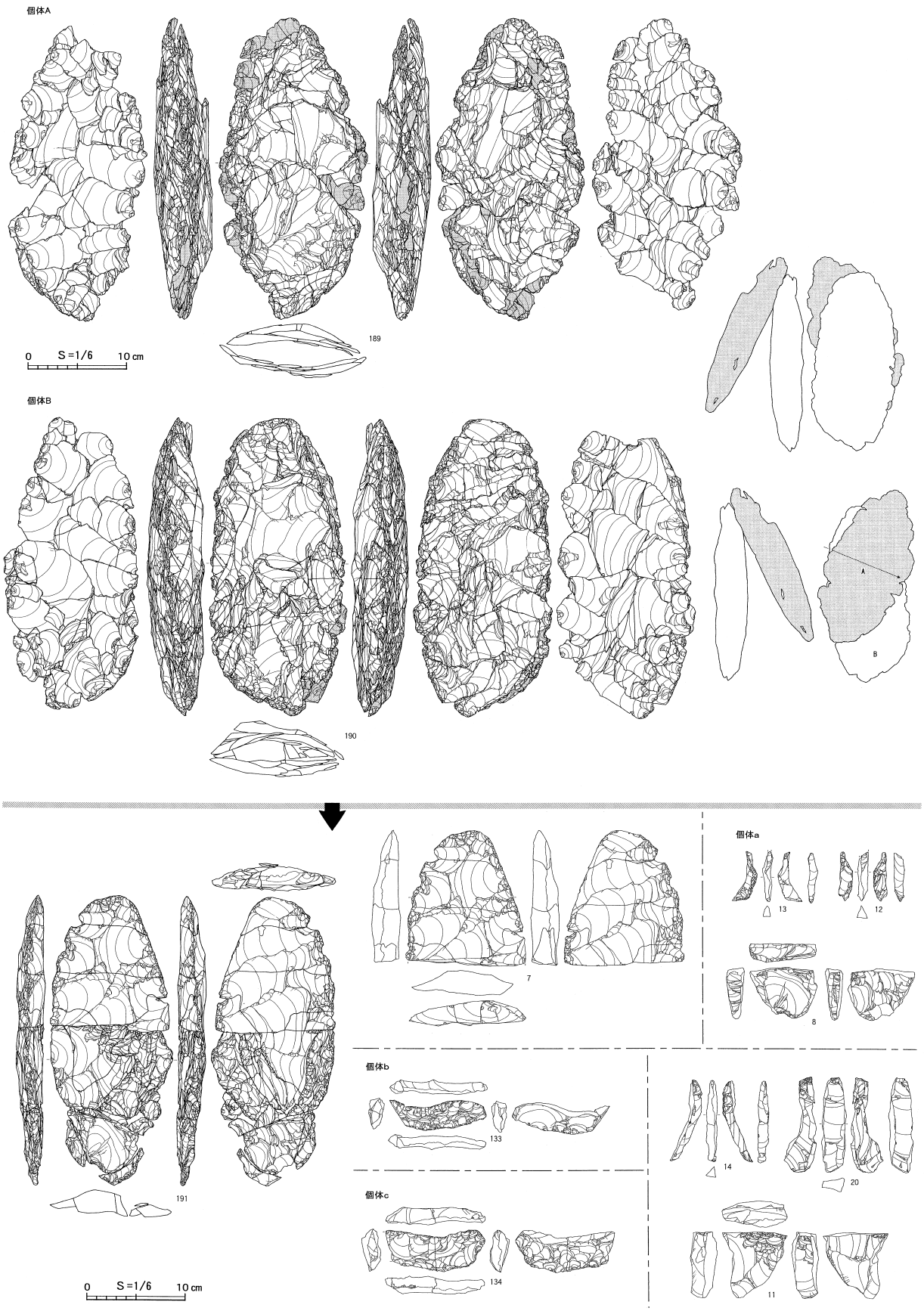
①の前半で行われる粗い石核調整（多方向に認められることもある）は②③の頭部調整の無い粗い剥離に類似する。また、②にも打面と作業面を転移させる多方向の剥離が見られるものがあり、それらと③のタイプは漸移的である。このことから①～③は原石形状や剥離の進行に伴う石核形状の変化に対応して流動的に運用されるものと考えられる。

＜二次加工技術＞　彫器はⅠ（図Ⅴ－12－25・27）・Ⅱ類（図Ⅴ－12－30・35・38）が認められ、石

図Ⅴ－12　G区（Sb-80～89）石器組成図(1)

小型舟底形石器を含む石器群

母岩551・接合2807



図Ⅴ－13　G区（Sb-80～89）母岩別資料(1)

刃・縦長剥片素材がほとんどである。彫刀面は素材先端部の左肩に主にノッチ状の彫刀面打面から作出され、背面先端部調整はⅠ類には見られないが、全てのⅡ類に認められ、その半数は打点が無く、彫刀面に切られている。周縁加工は、背面側にはほぼ全て、腹面側には約3分の1の彫器に施され、背面加工は両側縁全体に急角度の調整が、腹面加工は片側縁に施されるものには部分的な、両側縁に施されるものには面的な平坦加工が施される。

掻器（図Ⅴ－12－55）は長さ10cm以下の石刃素材で、両側縁に急角度の加工が施される。

錐形石器（図Ⅴ－12－78・79）はほとんどが石刃素材で、両側縁の加工は軽微ないしは認められない。刃部は両側縁の裏面からのノッチ状の加工によって作出され、素材先端部の左側に傾くものが多く、刃部には使用によると考えられる端部からの樋状の剥離痕が認められるものがある。

削器は、薄手の石刃素材で側縁に細かい急角度の加工が施されるもの（図Ⅴ－12－81）、厚手の石刃素材で側縁に厚手の急角度の加工が施されるもの（図Ⅴ－12－89）、押圧と見られる加工が施されるもの（図Ⅴ－12－92）、厚手の剥片素材で舟底形石器の加工に類似する粗い加工が施されるもの（図Ⅴ－12－100）がある。

舟底形石器はⅠａ・Ⅱａ類があり、これらは、上白滝2（Sb－11・12、13）・上白滝5（Sb－6～11）・上白滝8遺跡東地区（A・C・D区）同様、上白滝5遺跡で模式化したもの（鈴木　2002、P371下図）と同じく、甲板面からの粗い剥離が行われるⅡａ類から上下からの押圧剥離と見られる細かい加工によるⅠａ類への工程上の形態変化に位置付けられる。両者とも甲板面がポジ面で剥片素材のもの（図Ⅴ－12－103：Ⅰａ類、図Ⅴ－12－113・118：Ⅱａ類）とネガ面で石核素材のもの（図Ⅴ－12－107：Ⅰａ類、図Ⅴ－12－130：Ⅱａ類）があり、後者のⅡａ類は下縁からの加工が認められる。これは、素材石核が厚手で形状が不安定であるためと思われる。また、Ⅱａ類には尖頭器一次削片素材のもの（図Ⅴ－12－133）があり、素材自体の形状を反映して他のⅡａ類に比べ幅が狭く、高さのある形状である。

石材消費　大型の尖頭器は大型の平坦剥離で加工された両面調整体で搬入され、遺跡内では一回り小型化する加工が行われ、搬出され、折損品には削片剥離が行われるものがある。石刃・剥片剥離には主に角礫・亜角礫が原石ないし原石に近い状態で搬入され、石刃・舟底形石器Ⅱａ類が多量に製作され、搬出されている。舟底形石器Ⅰａ類・彫器のほとんどは母岩別資料に含まれず、単体で搬入されている可能性が高いが、多段階表面変化（二重パティナ）が認められない点で上白滝5遺跡Sb－6～11と異なる。石材消費の脈絡が違っていたことが考えられ、それらの違いの要因については、今後検討したい。

Sb－85出土の削器1点はあじさい滝産（X184）と判定されている。

分布　ここでは大型石刃・大型舟底形石器を伴う石器群であるSb－83中央部、忍路子型細石刃核を含む石器群であるSb－86北東部（スポット的）・Sb－88・Sb－89南西部を除いた分布について概観する（図Ⅴ－10）。

本区域には、忍路子型細石刃核を含む石器群に伴うものを除くと掻器が非常に少ないのが特徴である。尖頭器Ⅰ・Ⅱ類、尖頭器削片はSb－83・85・86に、舟底形石器Ⅱａ類・石核類はSb－80・81を除くほぼ全域に、舟底形石器Ⅰａ類はSb－85に偏って分布する。彫器Ⅰ・Ⅱ類はSb－80・83・85・87のそれぞれ狭い範囲内に、削器・石刃類はほぼ全域に分布する。Sb－83には長さ28cmの長大な棒状原石が分布している。

接合資料は基本的にはブロック内にまとまって分布するものが多いが、前半段階と後半段階、尖頭器の折損前後、また、調整剥片を含む舟底形石器の素材単位、トゥール・良形の素材とそれ以外の剥

片類などで分布が分かれるものがある。

炭化木片ブロックはSb－83の南東部（O39区）にCb－14、Sb－85の南西部（P35区）にCb－17、Sb－87の南東部（S36区）にCb－18が分布する。Cb－17は被熱石器の分布と重複し、Cb－14・18の周辺には被熱石器は見られない。

年代　Cb－14には21,980±210yBP（Beta－112903・SHIRA－31）、24,340±160yBP（Beta－174487・SHIRA－93）、Cb－17(1)には18, 840±160yBP（Beta－112906・SHIRA－34）、(3)には18, 470±270yBP（Beta－101793・№７）、Cb－18(3)には23,620±310yBP（Beta－112907・SHIRA－35）、22,210±110yBP（Beta－186198・SHIRA－113）の放射性炭素年代測定値が得られている。

Cb－17は被熱石器と重なって分布し、(3)と重複する被熱石器の中に母岩609接合2958が含まれ、その内容が、小型舟底形石器を含む石器群に対応することから、炭化木片ブロックとこれらの被熱石器の重複を根拠に関連性を認めるとすると当該石器群の年代値は、^{14}C年代値で18,000～19,000yBPとすることができる。現在想定されている年代観（後期旧石器時代終末期）と隔たりがあるが、可能性のある数字として提示しておく。なお、今後もこれまでの年代測定値を整理し、検討していく必要がある。

②大型石刃・大型舟底形石器を含む石器群（図Ⅴ－10・12下段）

石器製作技術　石刃剥離技術が認められる。

＜石刃剥離技術＞　石刃（図版108－224～227）は15cm以上の単剥離打面を持つ角礫素材の大型石刃核から頭部調整を伴って剥離され、一部稜調整痕・下面からの剥離面が残る。石材は黒曜石５が多く、大きさ・技術的特徴がB地区の大型石刃資料に類似している。これらは接合せず、石刃剥離の痕跡が認められないため、石刃の形態でSb－83に持ち込まれたと見られる。

＜二次加工技術＞　図Ⅴ－12－135は15cmを超える大型剥片を素材として甲板面・下縁からの剥離で加工され、特に縁辺部は細かい加工により滑らかに調整される。これらは舟底形石器Ⅱｂ類の特徴で、石刃同様B区の石器群に類似する。

石材消費　Sb－83出土の大型石刃は赤石山産（X188）と判定されている。同一の石器群と思われるB区の大型石刃接合資料には石刃が搬出された痕跡があり、B区との接合は認められないもののそのような石器製作の本体が遺跡周辺にあり、そのようなところから持ち込まれたものと思われる。舟底形石器Ⅱｂ類も単体で搬入されたものと見られる。両者とも多段階表面変化は認められない。

分布　Sb－83のM38区南東部の２×１mの狭い範囲に、小型舟底形石器石器群に隣接して分布している（図Ⅴ－10）。

炭化木片ブロックは、本石器群の分布域の南東６m（O39区）にCb－14が分布しているが、本石器群との関係は不明である。

年代　Cb－14には21,980±210yBP（Beta－112903・SHIRA－31）、24,340±160yBP（Beta－174487・SHIRA－93）の放射性炭素年代測定値が得られている。この年代値は後期旧石器時代前半期に相当し、採用するのは難しい。

③忍路子型細石刃核を含む石器群（図Ⅴ－10・14中・下段）

石器製作技術　尖頭器製作技術と大型石刃剥離技術に分けられる。

＜尖頭器製作技術＞　石核素材と剥片素材に分けられる。

石核素材は20～30cmの黒曜石１の角礫を素材として原石ないし原石に近い粗い加工が行われた状

態で搬入される。遺跡内では当初、縁辺から0.5～１cmを打撃して粗い加工が行われ、表面の凹凸が減少した後、縁辺部付近を加撃して薄い剥片剥離によって形態が整えられる。本体は長さ25cm以上、幅10cm程度、厚さ２cm程度の大型の尖頭器で搬出される。①黒曜石１が主に利用される特徴、②粗い剥離段階での剥離角が大きいため、横断面形の湾曲が強く、器体が相対的に幅狭で、縁辺の調整が潰れがちな特徴は小型舟底形石器石器群に伴う薄手の幅広の尖頭器と異なっている。

剥片素材は、長さ20cm程度のやや扁平な転礫を素材として、小口面の長軸方向・短軸方向で厚手の剥片が剥離され、その剥片・石核が尖頭器の素材となっている（図Ⅴ－14－母岩637・接合3013・3014）。二次加工は粗く、縁辺部調整は行われず、加工は主に裏面の剥離面の稜を打撃して行われるため、側縁の稜は交互剥離状にギザギザしている。断面形が弧状に変化すると縁辺に比較的細かい平坦剥離が行われ、縁辺部に打点のある加工も見られ、忍路子型細石刃核の母型の可能性がある長さ12cm以下、幅５cm以下、厚さ２cm以下の細長い左右非対称のものもある（図Ⅴ－12－２）。

＜石刃剥離技術＞　本区には断片的な石刃接合資料と大型石刃素材の掻器が出土している。前者は、母岩1221・接合5719（図Ⅴ－14）で、６点の掻器が接合している。接合資料の左右側面には正面からの稜調整剥離が残り、石刃剥離に先立つ石核調整が行われる。石刃剥離は打面調整を伴い、作業面を左右にずらしながら行われる。単体で出土する大型石刃素材の掻器は、Ｈ区の接合資料に含まれるものが多く、母岩1221と同様にＨ区の石刃剥離技術に一致する。

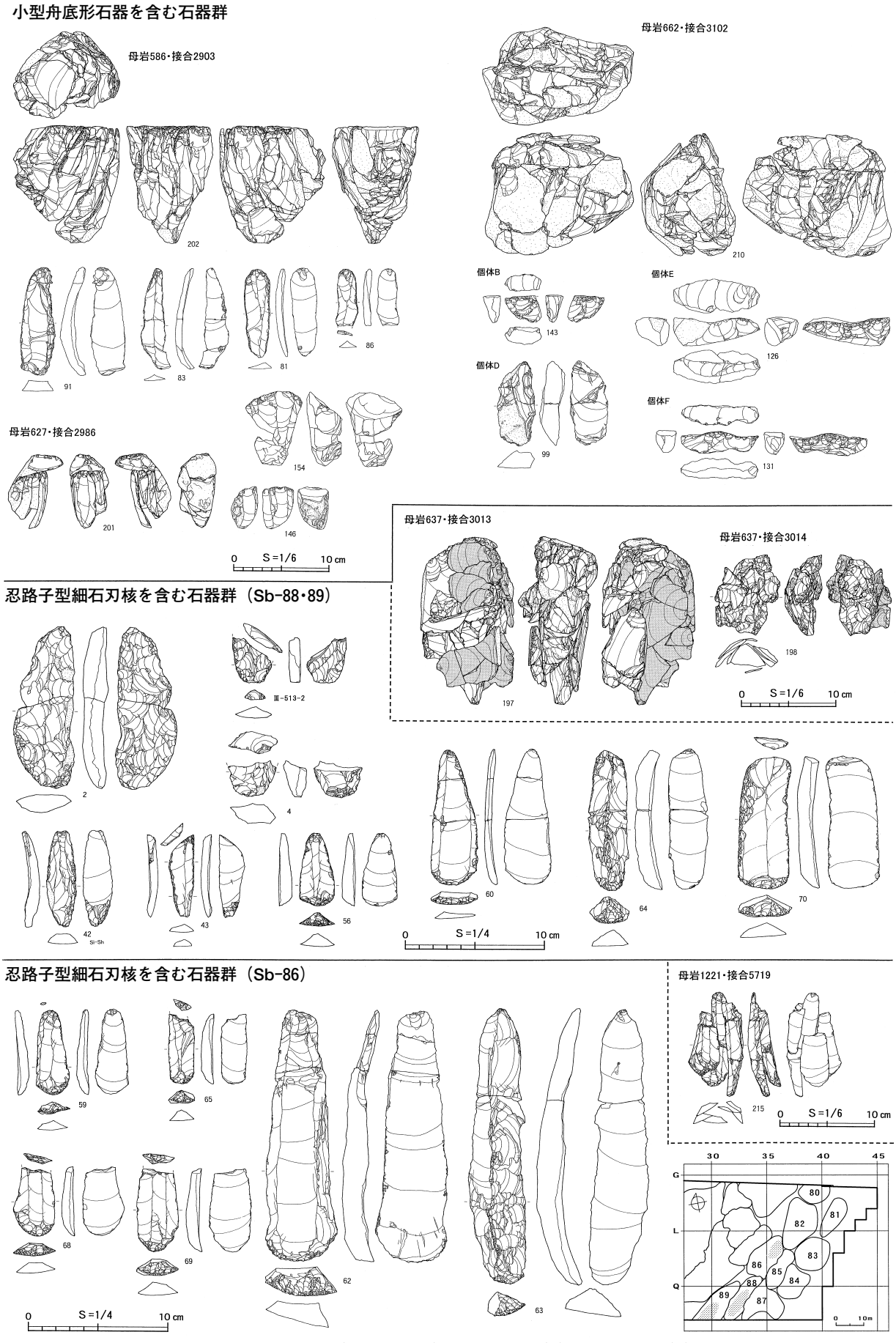
＜二次加工技術＞　彫器（図Ⅴ－12－42・43）は石刃素材で、背面側は両側縁に角度のある、腹面側は基部周辺に平坦な加工が施される。彫刀面は素材打面側の左肩に直線的に作出され、形態軸・彫刀面交叉角が比較的小さい。

掻器（図Ⅴ－12－56・60など）は稜調整・側面調整などの石核調整のある石刃核から打面調整を行いながら剥離された大型の石刃素材で、一部稜付石刃も利用される。側縁加工はほとんど行われず、基部側の折れ面に腹面からノッチ状の加工が施されるものがある。刃部形状は弧状のものが多く、一部直線的なものも見られる。刃部は平坦剥離により比較的鋭角に作出され、刃部縁辺は１mm以下のやや角度のある剥離により縁辺部が滑らかに調整されている。背面にパンチ痕が認められるものがあり、刃部の二次加工と背面との稜上ないしやや手前・奥に位置し、器体幅のほぼ中央付近にあるものが多い。二次加工の稜上にあるものは刃部側からの剥離に対向する両極剥離の特徴を示す。パンチ痕の直径は0.7mm程度である。このような痕跡は小型舟底形石器に伴う掻器には認められず、上白滝２遺跡Sb－15などの有舌尖頭器石器群で認められることから時期を限定する指標となる可能性がある。側面形は直線的なものが多く、先端部に反りのある掻器が多い小型舟底形石器石器群のものと異なる。長さは15cm以上（図Ⅴ－12－52・53）、10cm前後（図Ⅴ－12－60・64・70）、５cm前後（図Ⅴ－12－56・59）の三種類があり、素材石刃の長さを反映している。また、幅は２～５cm、厚さは0.5～1.7cmと多様である。小型舟底形石器に伴う掻器が長幅厚とも類似するのに対し、全てにおいて変異が認められ、その要因に素材の変異が大きいこと、側面調整が少ないために規格化が行われないことが挙げられる。

石材消費　Ｈ区で説明を行う。

分布　石核素材の尖頭器調整剥片接合資料はSb－88に、剥片素材の尖頭器・尖頭器調整剥片接合資料は、主にSb－89に一部Sb－88に分布し、Sb－89の分布はさらに南側の調査区外に広がることは確実である（図Ⅴ－10）。掻器はSb－86の北東部・89の南西部に分布し、Sb－86には15cmを超える大型品が分布する。また、Sb－89では剥片素材の尖頭器・彫器と分布が一致する。

年代　炭化木片ブロックは周辺には分布せず、水和層年代測定値も得られていない。　（鈴木宏行）



図Ⅴ－14　G区（Sb-80～89）石器組成図(2)・母岩別資料(2)

（2）H区・石器ブロック90（Sb－90）

石器群　忍路子型細石刃核を含む石器群が認められる。

石器・石材組成　点取り遺物11,266点、148,311.0g の石器類が出土した。定形的な石器は尖頭器（Ⅰ類）・両面調整石器・彫器（Ⅱ・Ⅲ類）・彫器削片（Ⅲ類）・掻器・削器・舟底形石器（Ⅱａ類）・細石刃核・石刃・縦長剥片・石刃核・石核が出土した。石材は黒曜石１（91.7%）が最も多く、以下、黒曜石５（4.0%）、黒曜石４（2.5%）、黒曜石３（1.4%）、黒曜石２（0.3%）、頁岩（0.03%）である。点数に比べ、トゥールの量が少ない。また、黒曜石１が圧倒的に多いのが特徴で、直径１cm 大の流紋岩球顆が含まれるものが多く、そのような特徴の原石が採取できる流紋岩球顆の沢周辺で採取された可能性がある。また、出土している細石刃核は１点のみであるが、それが分布する Sb－90の中央部には他の石器群の重複が見られないこと、大型石刃接合資料と細石刃核の石材が類似すること、彫器・掻器の特徴が忍路子型細石刃核石器群に類似すること、他の石器群には含まれない細石刃核母型の可能性がある石器が含まれることから本区域を忍路子型細石刃核を含む石器群として認定した。

忍路子型細石刃核を含む石器群（図Ⅴ－10・15・16）

ここでは、Ⅰ区（Sb－92）の当該石器群（石核素材尖頭器）を含めて記述する。

石器製作技術　尖頭器製作技術と大型石刃剥離技術と細石刃剥離技術に分けられる。

＜尖頭器製作技術＞　尖頭器製作技術には石核素材と剥片素材がある。

石核素材は、25cm 以上の主に黒曜石１の角礫を素材として原石ないし部分的に粗い加工の行われた原石に近い形状で搬入される。特に母岩683（図Ⅴ－16）は50cm を超える超大型の亜角礫素材である。遺跡内では打面縁辺から0.5cm 以上内側を打撃して、打面の大きい厚手の剥片剥離による粗い加工によって表面の凹凸を減少させた後、縁辺部調整を伴って縁辺近くを打撃する打面の小さい剥片剥離による加工が行われ、表面が滑らかになる。加工は片面に偏る傾向がある。折損後、再加工が行われるもの（母岩716・接合3252）があり、折れ面から側縁ではなく正面で器体を薄くする加工が行われ、削片状のウートラパッセの剥離後、遺棄されている。完形の尖頭器本体は長さ25～52cm、幅９～14cm、厚さ２～６cm のやや厚手の尖頭器で搬出され、折損品は長さ７cm 程度である。

剥片素材は、素材が判明するもので、大型石刃剥離の石核調整時に剥離された長さ15cm 程度の厚手の剥片・長さ18cm 程度の石刃核を素材とするものがある（図Ⅴ－15－母岩693・接合3201）。素材となる石刃核は、石刃剥離が進行し、石刃剥離がほぼ不可能なまで消費され、厚さ６cm 程度の盤状の形状である。粗い加工の後、縁辺部調整を伴う打面の小さい薄手の剥片剥離による加工が行われ、長さ12～16cm、幅６cm 程度、厚さ２cm の尖頭器が搬出される。ブロック内には、尖頭器の単体資料（図Ⅴ－12－Ⅲ－513－４）があり、それは幅広の剥片素材で、両面に素材面が残り、角度のある加工によりやや厚手で左右非対称の形態である。これは、忍路子型細石刃核母型の可能性がある。

＜石刃剥離技術＞　角礫は長さ30～35cm 程度のものが利用され、転礫は長さ25～30cm 程度の角礫に比べやや小さいものが主体で、一部40cm 程度の大型の転礫が利用される。また、角礫は粗い加工による石核調整の行われた石刃核母型で搬入される一方、転礫は原石の状態で搬入される。原石形状は、断面三角形で、側面形が半円形・楕円形・円形などがあり、石刃核母型の形状に近いものが選択されている。

原石の正面稜から左右側面への剥離、裏面と左右側面での交互剥離によって石核調整が行われ、側面形が半月形～ラグビーボール状、断面形が左右側面・裏面で構成される三角形ないし五角形の石刃

核母型が製作される。正面の稜は磨り潰して「バリ」が除去され、正面観が直線的に、側面観が滑らかな弧状に仕上げられる。

石刃は、単設打面の石刃核作業面に残る稜線の頂部を打点に設定し、打面調整・縁辺を擦り潰す縁辺部調整を伴って剥離される。打面縁辺の擦り潰しは、ほぼ稜の頂部に限定され、頂部の両側の擦り潰しを伴って山形に調整される上白滝２遺跡（鈴木ほか　2001）Sb－９の射的山型（広郷型）細石刃核石器群とは異なる。原石サイズを反映して、角礫素材からは20～25cm 程度、転礫からは18～20cm 程度の石刃が剥離される。石刃は量産され、稜付石刃を含む初期段階の石刃・石刃核の側面付き石刃・最終段階の石刃を除いて大部分が欠落し、搬出されている。稜付石刃を含む石刃は掻器の素材となっている。また、大型の石核調整剥片や石刃核を素材として尖頭器に加工されるものがある（図Ⅴ－15－母岩693・接合3201）。石刃核は遺跡に残されるものが多い。

＜細石刃剥離技術＞　忍路子型細石刃核（図Ⅴ－15－８）が１点出土し、それは嵐山２遺跡（西田ほか　1987）、北上台地遺跡（大場ほか　1984）等の細石刃核に類似した小型のタイプである。素材形状は不明であるが、細長い両面調整体の母型を作成し、縁辺に沿った削片剥離により打面を作出し、短軸方向で細石刃が剥離される。細石刃剥離の途中で打面再生が行われた可能性がある。細石刃剥離角は85度、細石刃剥離面長は1.6cm で、細石刃剥離作業面には反りが残り、細石刃にも反りがあったと考えられる。

＜二次加工技術＞　彫器（図Ⅴ－15－２）は、頁岩製で、稜調整のある石刃核から剥離された石刃を素材として、両側縁加工後、素材先端側の端部にノッチ状に作出された打面から縁辺に沿って彫刀面が作出される。彫刀面に接する背面には彫刀面に切られる背面先端部調整が残り、形態軸・彫刀面交叉角は小さい。

掻器（図Ⅴ－15－５・６）は、Ｇ区の当該石器群同様、側縁の加工はほとんどなく、刃部のみ加工され、素材背面稜と刃部加工の稜の交点付近にパンチ痕が残る。素材は打面調整のある石刃核から剥離された石刃である。

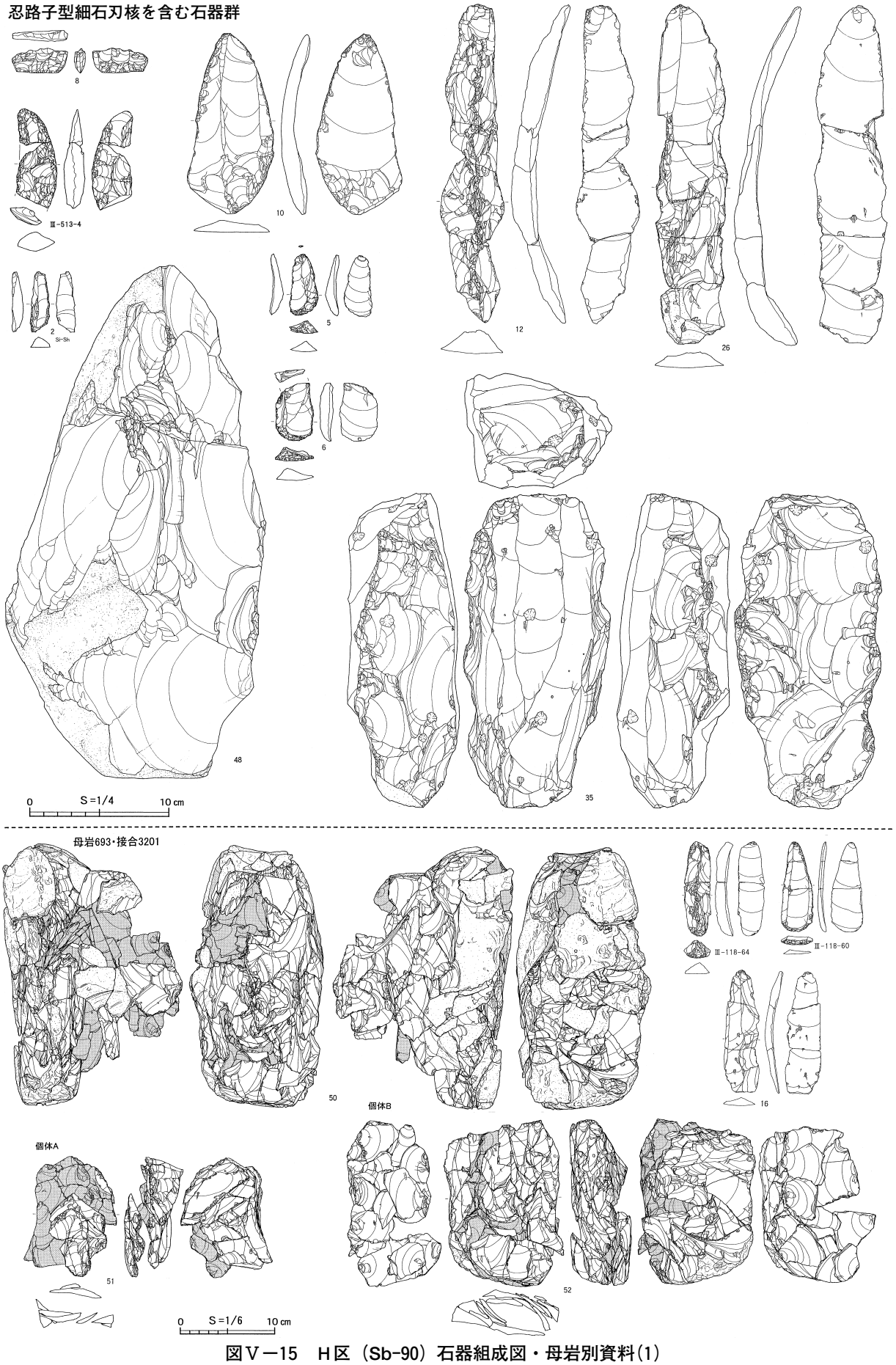
削器（図Ⅴ－15－10）は大型石刃素材で、右側縁の先端部両面に平坦剥離による加工が施される。

石材消費　当該石器群はＧ・Ｈ区の両区域に分布し、ここでは両者を含めて説明する。

Ｈ区の Sb－90では集中的な石刃剥離、石核素材の大型尖頭器製作、一部剥片素材の小型の尖頭器製作が行われ、ほとんどの石刃、大型尖頭器、小型尖頭器が搬出されている。一方、石刃核は残存するものが多く、あまり搬出されていないと思われる。また、Ｇ区の Sb－88では石核素材の尖頭器、Sb－89南東部と Sb－88の一部には剥片素材の尖頭器（忍路子型細石刃核母型の可能性あり）が製作されている。Ｈ区で剥離された石刃は掻器に加工され、Sb－86の北東部・89の南西部に持ち込まれている。トゥールが少なく、尖頭器製作・石刃剥離が場所を違えてそれぞれが集中的に行われていることから、比較的短期間に尖頭器や石刃の補給が行われた結果、残されたものと思われる。

分布　Sb－90は①Ｊ31・32、Ｋ31・32（北西部）、Ｌ31区と②Ｋ32（南東部）・33、Ｌ32・33区に分けられ、トゥールは①に彫器・掻器・削器が、②に細石刃核・細石刃核母型の可能性がある尖頭器が分布する（図Ⅴ－10）。接合資料は①に角礫ないし亜角礫・転礫素材の大型石刃剥離資料、石核素材尖頭器調整剥片資料が、②に転礫素材の大型石刃剥離資料が分布する。また、①と Sb－89（Ｇ区）、②と Sb－86（Ｇ区）に接合関係が見られる。Sb－92（Ｉ区）には石核素材尖頭器調整剥片接合資料が分布する。

炭化木片ブロックは Sb－90の北部（Ｉ32区）に Cb－９、北東部（Ｊ34区）に Cb－３が分布するが、両者とも当該石器群の遺物とは重複していない。

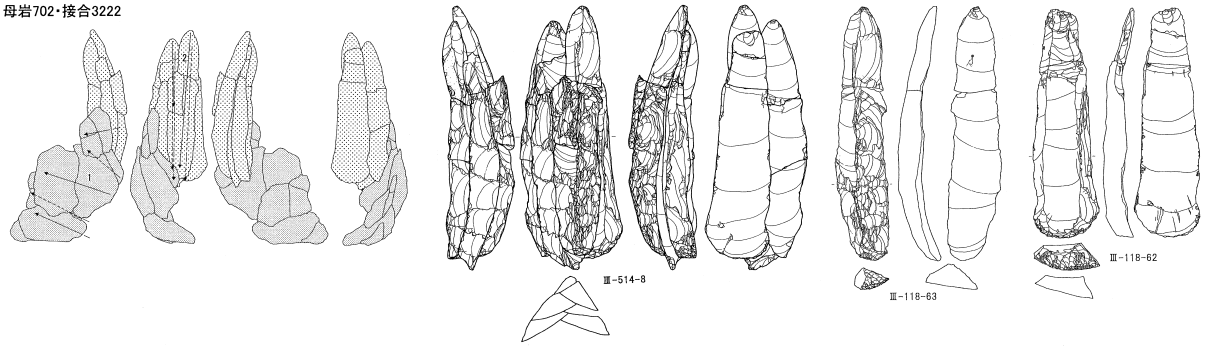


図Ⅴ－15　H区（Sb-90）石器組成図・母岩別資料(1)

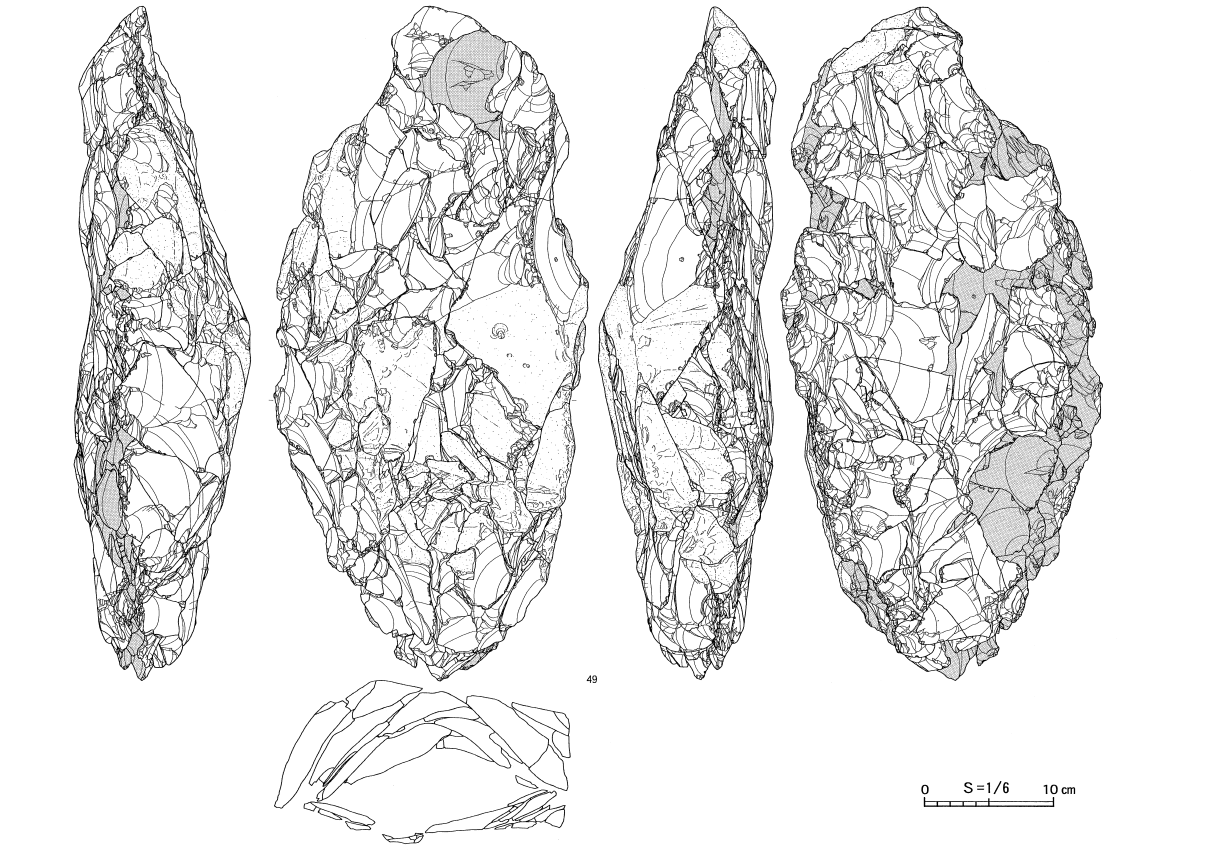
忍路子型細石刃核を含む石器群

母岩699・接合3217

母岩702・接合3222



母岩683・接合3159



図Ⅴ－16　H区（Sb-90）母岩別資料(2)

年代　Cb－3(1)には10280±50yBP（Beta－101789･№3）、Cb－3(9)には10390±50yBP（Beta－186196･SHIRA－111)、Cb－9(1)には15670±240yBP（Beta－112897・SHIRA－25)、Cb－9(3)には16420±150yBP（Beta－112898・SHIRA－26）の放射性炭素年代測定値が得られている。どちらも分布上、遺物と直接関連付ける要素は無い。本石器群は、後期旧石器時代終末期に位置付けられ、10,300yBP前後の数値はこの編年的位置付けに比較的近いが、これまで当該石器群に対応する実年代値は得られていないため採用するには検討を要する。（鈴木宏行）

（3）Ⅰ区・石器ブロック91～96（Sb－91～96）

石器群　①小型舟底形石器を含む石器群、②大型石刃・大型舟底形石器を含む石器群、③幅広有舌尖頭器を含む石器群、④広郷型ナイフ形石器を含む石器群が認められる。H区に連続するSb－92は分布とそこに含まれる尖頭器製作接合資料の石材・技術的特徴から最終的に忍路子型細石刃核を含む石器群と判断し、それについてはH区で説明する。

石器・石材組成（図Ⅷ－16）　点取り遺物51,353点、432,696.7gの石器類が出土した。定形的な石器は尖頭器（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ類）・尖頭器削片・両面調整石器・ナイフ形石器・彫器（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ類）・彫器削片（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ類）・掻器・削器・錐形石器・舟底形石器（Ⅰａ・Ⅱａ・Ⅱｂ・Ⅱｃ類）・石刃・縦長剥片・石刃核・石核・斧形石器・原石・台石である。石材は黒曜石4（42.8%）が最も多く、以下、黒曜石1（38.7%）、黒曜石3（7.9%）、黒曜石2（5.7%）、黒曜石5（4.8%）、安山岩(0.03%)、頁岩（0.02%）、珪岩（0.002%）である。点取り遺物点数が遺跡内で最大の区域である。

①小型舟底形石器を含む石器群（図Ⅴ－10・17～20）

石器製作技術　尖頭器製作技術と石刃剥離技術を含む剥片剥離技術に分けられる。

＜尖頭器製作技術＞　大型原石を分割した大型の剥片を除くと、全て石核素材である。搬入形態は①原石の状態の角礫（図Ⅴ－19－母岩887・接合3883)、②角礫素材で粗い平坦剥離によって両面加工された大型尖頭器（図Ⅴ－19－母岩876・接合3849、母岩849・接合3740、母岩852・接合3759)、③加工が進行し、中央の平坦剥離面と縁辺部の押圧と見られる平行剥離面で構成された、厚さ5mm程度の非常に薄い尖頭器（多段階表面変化は認められないが同一母岩資料が無い）（接合5744・図Ⅴ－17－32・36)、がある。搬入サイズは、①が長さ20～25cm、幅13～17cm、厚さ6～9cm、②が長さ20～28cm、幅10～15cm、厚さ2～5cm、③は長さ15～20cm、幅5cm程度、厚さ0.7～1.1cm程度で、大型尖頭器に比べ原石のほうが幅・厚さが大きい。上白滝5遺跡の成果から③は剥離の進行した状態で（鈴木　2002、図Ⅳ－24）の「尖頭器Ⅱ・Ⅲ類」に対応している。

加工は、原石（搬入形態①）には最初、粗い加工が施され、全体の形状が粗く整った段階で、縁辺部を打撃する打面の小さい平坦剥離が行われ、大型尖頭器（搬入形態②）には当初より縁辺部を打撃する比較的打面の小さい平坦剥離が行われる。加工の進行した状態で搬入されたもの（搬入形態③）は調整剥片が接合せず、折損が見られる。おそらく搬入後、早い段階で折損したものと考えられる。それらは、折損後、折れ面周辺に再加工が行われるもの、折れ面から側縁で削片剥離が行われるものがある。初期の粗加工段階で剥離された厚手の剥片は舟底形石器の素材として利用される。

大型尖頭器で搬入されたものは、加工が行われ、一回り小型化して搬出されるが、加工の途中で折損した後、削片剥離が行われるものがある。削片剥離は、尖頭器の長軸方向に対して垂直に折れる場合（素材はV字形に近い）（図Ⅴ－19－母岩876・接合3849、接合5744)、折れ面打面から側縁、一部末端部から側縁へ行われるものが多いが、縁辺から斜めに折れる場合（不定形な三角形が多い）（図

Ⅴ－19－母岩849・接合3740、母岩852・接合3759）は、多様で、尖頭器縁辺・折れ面などの各辺で打面・作業面を入れ替えながら削片剥離が行われる。また、両者ともに、素材の縁辺を取り込む断面三角形の削片はほぼ全ての縁辺で剥離されている。削片剥離が行われた尖頭器Ⅱ類は厚さ1.0～1.5cmのものが多く、搬入形態③のものよりやや大きい。それらから剥離された断面三角形の一次削片は舟底形石器Ⅰ類に形状が類似し、その素材となっている。母岩876・接合3849（図Ⅴ－19）の尖頭器Ⅱ類は、厚さが2.4cmで、他の尖頭器Ⅱ類に比べ、厚手である。削片剥離は両側縁で行われた後、一方の側縁に偏って頭部調整を伴って行われる。最初に側縁で剥離された厚手の削片は舟底形石器の、その後、連続的に剥離された幅２cm程度の側縁が平行した削片は、彫器未成品・掻器に加工されている。

また、尖頭器のうち、不自然な折れ面を持つものがあることから、故意に「折り取り」が行われた可能性がある。

縁辺で削片剥離が行われるのは搬入形態が②（大型尖頭器）、③（薄手の尖頭器）で搬入されたものが多く、原石で搬入されたものは無い。

加工された尖頭器は長さ17～25cm、幅６～11cm、厚さ２～３cmで搬出される。

＜剥片剥離技術＞　石刃剥離と剥片剥離に分けられる。

石刃剥離は原石ないし原石に近い形状で搬入され、一枚の剥離面がある状態で搬入されたものは「試し割り」されて搬入されたと思われる。角礫・転礫とも長さ17～20cmの原石が利用される。石材は黒曜石４が約３分の２、黒曜石１が約４分の１で、黒曜石４は角礫・亜角礫が多く、黒曜石１は転礫が多い。打面は１～数回の剥離によって作出された単剥離打面から頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。基本的には単設打面（図Ⅴ－20－母岩758・接合3434など）であるが両設打面（図Ⅴ－20－母岩866・接合3822、母岩929・接合4050）も見られる。

また、石刃剥離は①長さ・幅・厚さが類似した原石を素材として全周で行われるもの（図Ⅴ－20－母岩758・接合3434）、②扁平な原石を素材として小口面で行われるもの（図Ⅴ－20－母岩866・接合3822）、③扁平な原石を素材として小口面ではない広い面で行われるもの（図Ⅴ－20－母岩857・接合3783、母岩856・接合3781）がある。

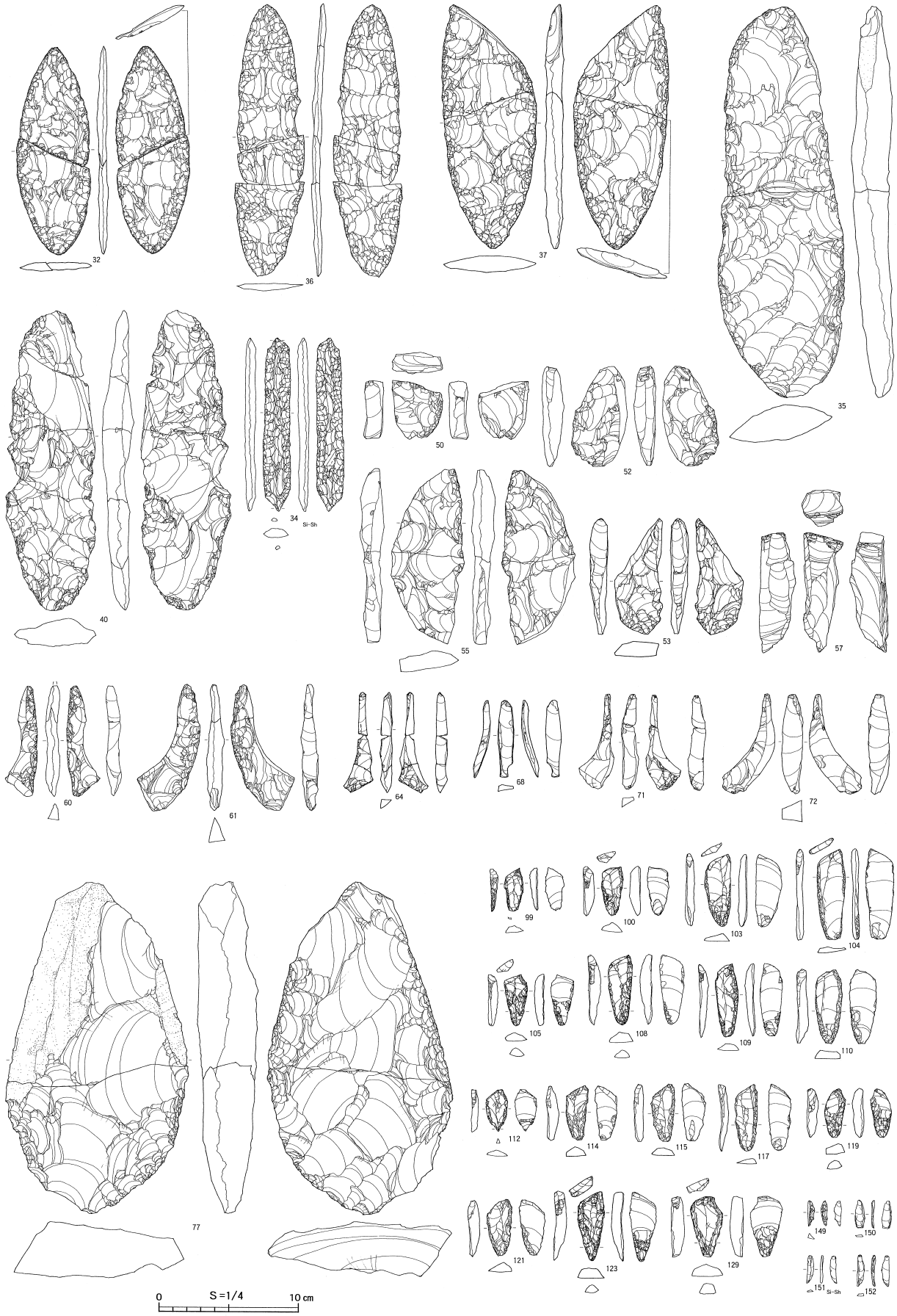
剥離される石刃の長さは８～10cm程度で多くの石刃が搬出されている。石刃は彫器・掻器・錐形石器・削器などの素材になり、厚手の打面作出剥片・石核調整剥片・石刃核・石刃核を分割した剥片は舟底形石器の素材となっている。

剥片剥離は原石ないし原石に近い形状で搬入され、石刃剥離同様「試し割り」されて搬入されたと思われるものがある。亜角礫主体で10～15cmの小型の原石が利用される。頭部調整無しで縁辺より内側を加撃し、厚手の剥片が剥離される。両設打面のもの（図Ⅴ－20－母岩864・接合3813）・単設打面のもの・打面と作業面を入れ替えて剥離するもの（図Ⅴ－20－母岩883・接合3875）など多様である。剥離された厚手の剥片は舟底形石器の素材となっている。

＜二次加工技術＞　彫器Ⅰ（図Ⅴ－17－99・100など）・Ⅱ類（図Ⅴ－17－112・114など）が見られ、石質は黒曜石１が約65％、黒曜石４・５が合わせて約35％程度である。周縁加工は、背面には全周に急角度の加工が施され、腹面には部分的ないし面的に平坦加工が施される。彫刀面はほとんどが素材先端側の左肩に作出される。背面先端部調整はⅡ類のほとんどに認められるが、それらの３分の２は彫刀面に切られている。明確な多段階表面変化は確認できない。素材は掻器には先端部に反りのある石刃が利用されるのに対し、彫器には側面形が直線的なものが多く利用される。

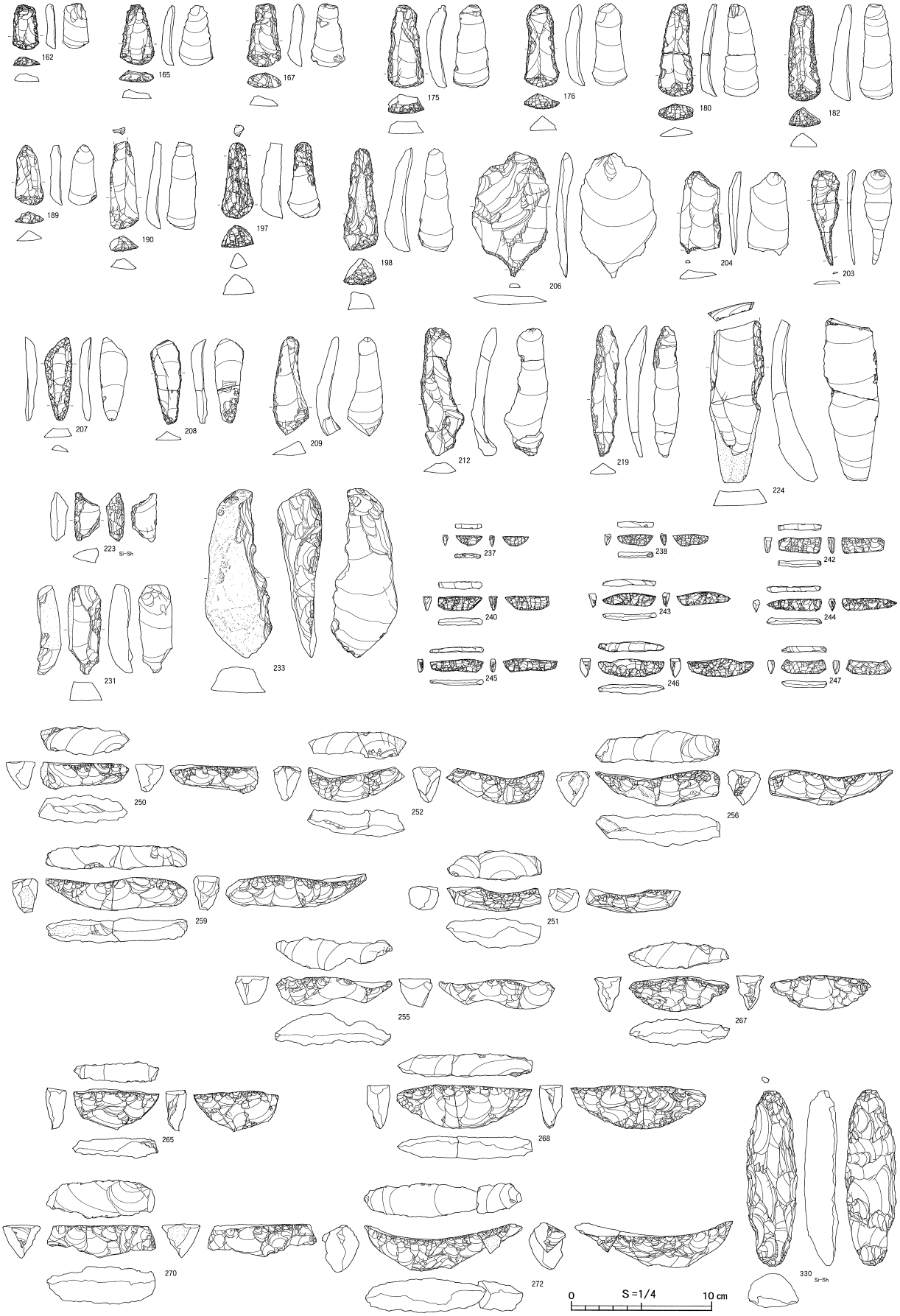
掻器は両側縁に急角度の加工が施されるもの（図Ⅴ－18－162・165など）と両側縁に加工がほとん

小型舟底形石器を含む石器群



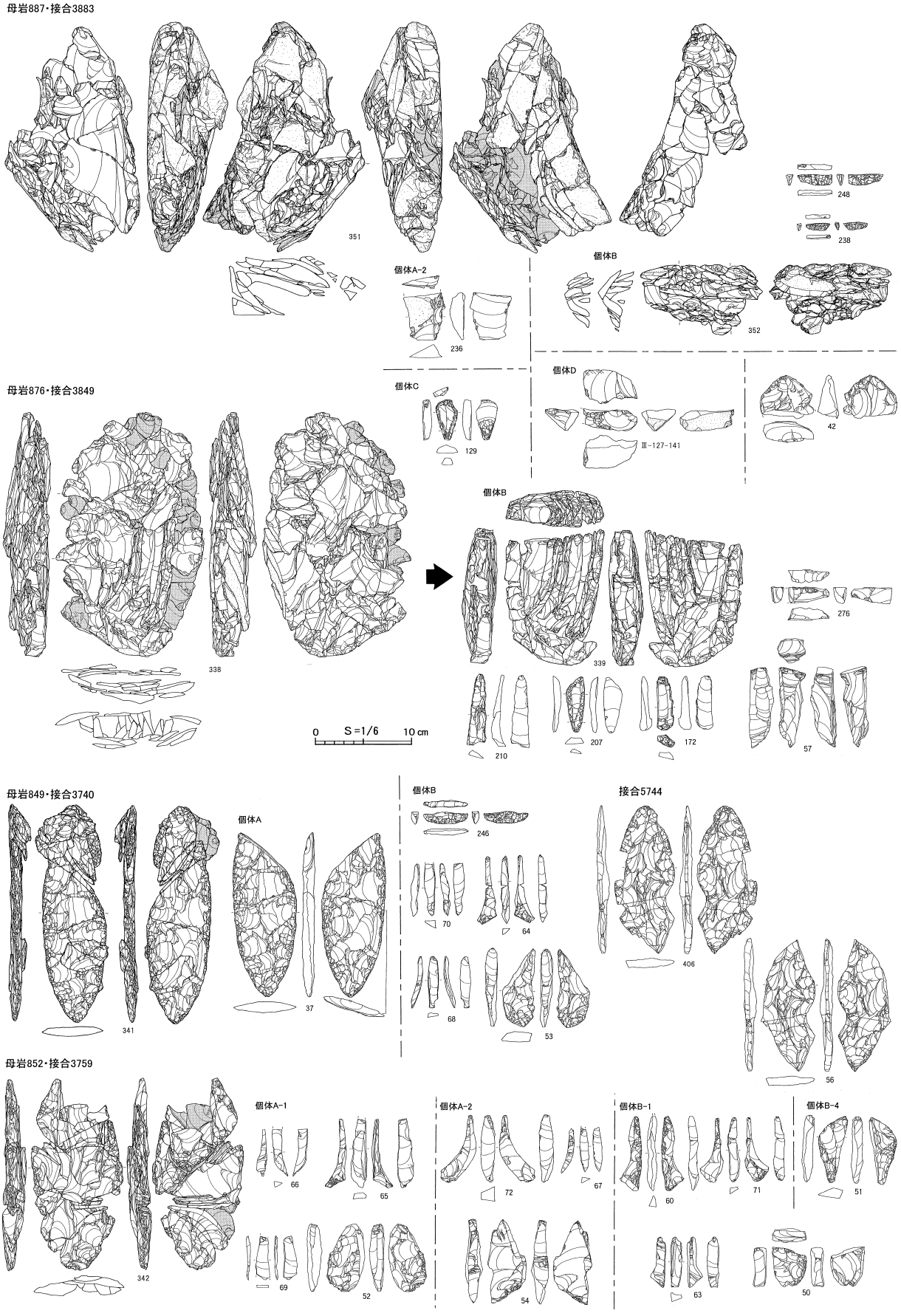
図Ⅴ－17　Ⅰ区（Sb-91～96）石器組成図(1)

小型舟底形石器を含む石器群



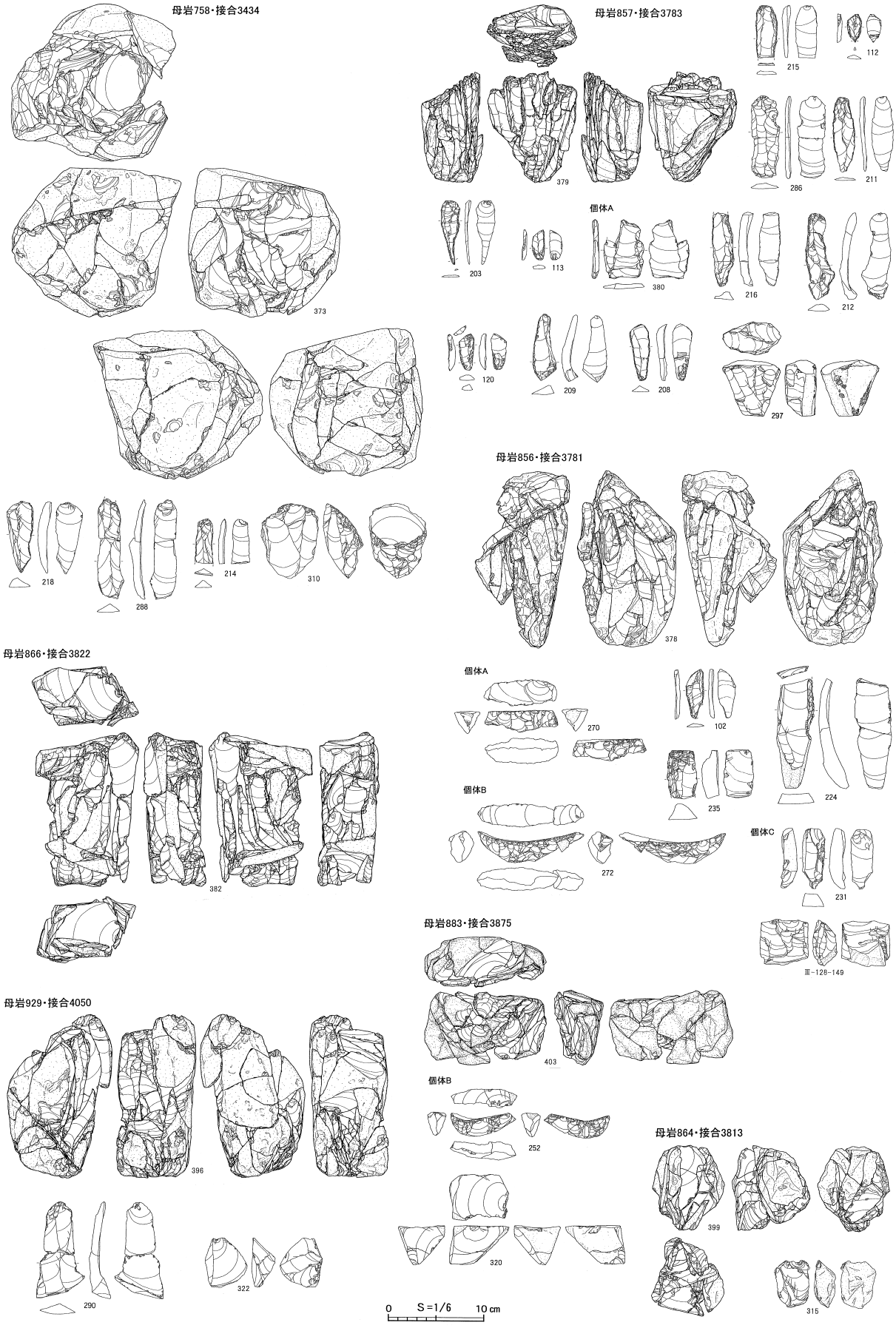
図Ⅴ－18　Ⅰ区（Sb-91～96）石器組成図(2)

小型舟底形石器を含む石器群



図Ⅴ－19　Ⅰ区（Sb-91～96）母岩別資料(1)

小型舟底形石器を含む石器群



図Ⅴ－20　Ⅰ区（Sb-91～96）母岩別資料(2)

ど無いもの（図Ⅴ－18－189・190）があるが、前者が主体的である。幅は類似し、忍路子型細石刃核石器群に含まれるものに比べ、形態的な変異が少ない。この違いは着柄や使用方法に関連するものと思われる。刃部と側縁の交点に角をもつものがあり、刃部は直線～弧状である。

錐形石器（図Ⅴ－18－206・204）は剥片ないし石刃素材で、端部にノッチ状の加工によって刃部が作出される。側縁全体の加工によって細長い刃部が作出されるもの（図Ⅴ－18－203）もある。

削器は石刃素材で、彫器の母型と思われるもの（図Ⅴ－18－207・208）、両側縁に細かい加工が施され縁辺が滑らかなもの（図Ⅴ－18－209・212）、両側縁に細かい加工が施され縁辺が軽い鋸歯状のもの（図Ⅴ－18－219）、厚手の剥片ないし縦長剥片素材で、舟底形石器の加工に類似した粗い加工が施されるもの（図Ⅴ－18－231・233）などがある。

舟底形石器はⅠａ・Ⅱａ類があり、石質は両者ともほとんどが黒曜石４である。上白滝５遺跡（鈴木　2002）で復元されたような形態変化（粗い段階のⅡａ類からⅠａ類への変化）が接合資料（図Ⅴ－19－母岩887・接合3883）で確認され、素材腹面から両側面への粗い加工が行われ、進行に伴い甲板面と側面の角度は徐々に大きくなる。その後、押圧と見られる加工が上下から行われ、特にその最終段階では下縁からの剥離によって形状が整えられ、最終的に削片が剥離される。Ⅰａ類は細石刃状の剥離が両端（図Ⅴ－18－237）・一端にあるもの（図Ⅴ－18－238・240など）と無いもの（図Ⅴ－18－246・247）があり、その位置は素材先端側・打面側の両者がある。母岩887・接合3883個体Ｂ（図Ⅴ－19）には２個体の舟底形石器Ⅰａ類が接合し、それらは、一直線状に位置し、本来同一の個体であったと思われる。Ⅰａ類段階での本体折損後、両者とも再加工が行われ、一方（図Ⅴ－19－238）には素材先端側で細石刃状の剥離が行われたと想定される。通常Ⅱａ類段階では中央付近で折損した場合、遺棄されることが多い。折損後、両者とも再加工される本接合資料から、舟底形石器はⅠａ類段階では折損後も再加工され、遺棄されることが少なかったことが想定され、Ⅰａ類とⅡａ類の大きさの隔絶は技術的な変化による折損率の違いと折損時の遺棄率（再加工率）の違いが要因と考えられる。また、細石刃状の剥離頻度であるが、本接合資料では細石刃状の剥離面ともう一点のⅠａ類（図Ⅴ－19－248）との隙間は３cmあり、細石刃状の剥離によって最大３cm長さが減少している。

素材は剥片が主体で、尖頭器一次削片と尖頭器二次削片ないし尖頭器Ⅱ類が含まれる。Ⅰａ類に加工される母岩849・接合3740（図Ⅴ－19）の尖頭器一次削片には最初から押圧と見られる加工が行われ、薄い尖頭器Ⅱ類から剥離された幅１cm以下の一次削片がⅠａ類に形態が類似し、通常のⅡａ類の加工段階を省略できることからⅠａ類製作に適していたと考えられる。Ⅰａ類には被熱しているものが多い。Ⅱａ類は剥片素材（図Ⅴ－18－250・252など）・石核素材（図Ⅴ－18－251・255など）があり、加工は甲板面からのみ（図Ⅴ－18－250・252など）と上下から行われるもの（図Ⅴ－18－265・268など）があり、後者には素材の厚いものが含まれる。

斧形石器（図Ⅴ－18－330）はやや粗粒の頁岩製で長さ12.7cmの局部磨製のものである。大型の剥片素材と見られ、加工は裏面から正面両側縁に行われた後、左右側面から裏面に平坦な加工が施され、断面形は蒲鉾形に近い三角形である。刃部から長軸方向への剥離面と研磨面との切り合いから判断して、剥離による刃部再生と研磨が繰り返し行われていたと思われる。また、研磨痕の分布から当初は末端部から２cm程度の範囲が全面的に研磨されていたと想定される。

石材消費　尖頭器は原石・大型尖頭器・薄手の尖頭器で搬入され、原石・大型尖頭器で搬入されたものは加工され、尖頭器で搬出される。大型尖頭器で搬入されたものは薄く加工された後、「折り取り」の可能性がある折損後、削片剥離が行われるものがあり、薄手の尖頭器で搬入されたものも同様に、削片剥離が行われるものがある。

石刃・剥片関連は黒曜石４の角礫・亜角礫を原石ないし「試し割り」を行った状態で搬入し、集中的な石刃剥離・舟底形石器Ⅱａ類製作が行われ、多くの石刃・Ⅰａ類を含む舟底形石器Ⅱａ類が搬出される。また、彫器・掻器が製作され、掻器に比べ彫器のほうが刃部再生による素材長さの減少が大きい。刃部再生による消耗度の違い（彫器のほうが一回の刃部再生剥離による石器本体の長さの減少が大きい）も影響しているが、彫器は頻繁な刃部再生が行われる一方、掻器は刃部再生の頻度が低く、素材長さをそれほど減少させずに遺棄されている。Sb－91出土の掻器（Ｘ182）、削器（Ｘ185・186）は所山産と判定され、掻器には多段階表面変化が認められ、削器１点には傷が多く、削器１点には明瞭な傷は確認されなかった。それ以外には多段階表面変化が認められるものはほとんど無く、上白滝５遺跡 Sb－６～11とは石材消費の様相が異なっていたと考えられる。

分布　①Sb－91・94のＨ32～37、Ｉ31・32区周辺、②Sb－93・95のＮ26～32、Ｏ26～32、Ｐ27～30、Ｑ26～29区周辺、③Sb－95のＫ27、Ｌ26・27、Ｍ25・26、Ｎ25区周辺に分けられる（図Ⅴ－10）。①の Sb－91には白滝産以外のトゥールが多い。②はＰ28区を中心として最も遺物量が多く、西半分は幅広有舌尖頭器石器群・広郷型ナイフ形石器石器群と分布が重複している。尖頭器Ⅱ類・尖頭器削片は②のＮ27～Ｐ28区周辺に、彫器Ⅰ・Ⅱ類、掻器、舟底形石器Ⅰａ類はＰ28区を中心としてＮ30区まで分布し、舟底形石器Ⅱａ類・石核類は①～③全域に分布しているが、舟底形石器Ⅱａ類は②のＰ28・Ｏ30区の密度が高い。

接合資料の分布は、①③では比較的高密度な分布で、②ではＰ28区周辺で非常に高密度である一方、その周辺や Sb－95では散漫な分布を示す。また、尖頭器の調整段階と折損後の削片剥離段階、石刃剥離における一次剥離段階と舟底形石器調整剥離段階の分布が異なるものがある。舟底形石器関連の接合資料は①～③に分布するが、尖頭器関連の接合資料は②に多い。

炭化木片ブロックは、当該石器群の範囲内では Sb－91の北西部（Ｇ34区）に Cb－27、Sb－93の南西部（Ｑ28区）に Cb－19、中央西寄り（Ｏ29区）に Cb－16、Sb－94の東寄り（Ｉ32区）に Cb－９が分布し、範囲に隣接した②の北側、③の東側に Cb－21が分布する。Cb－16は被熱石器の分布と重なり、Cb－19は被熱石器に隣接し、その他は近隣に被熱石器は認められない。

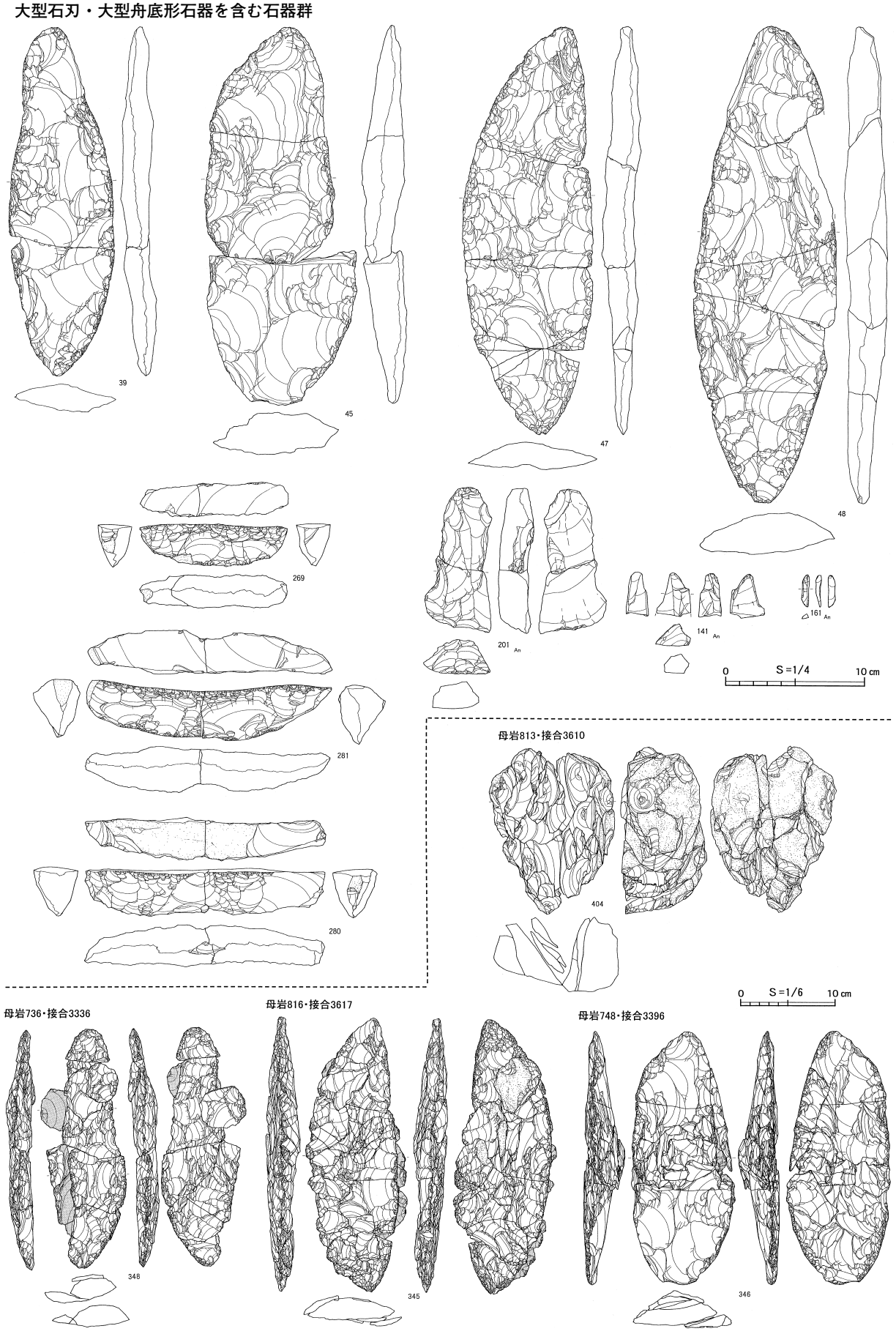
年代　Cb－９(1)には15,670±240yBP(Beta－112897・SHIRA－25)、Cb－９(3)には16,420±150yBP(Beta－112898・SHIRA－26)、Cb－16(1)には13,530±50yBP（Beta－186197・SHIRA－112)、Cb－16(2)には13,790±170yBP（Beta－112905・SHIRA－33)、Cb－19には25,870±290yBP（Beta－112908・SHIRA－36)、28,120±180yBP（Beta－186199・SHIRA－114)、Cb－21(2)には15,850±170yBP（Beta－101794・№８)、15,750±130yBP（Beta－112910・SHIRA－38)、Cb－27（Ｇ34－２）には18,660±130yBP（Beta－150456・SHIRA－89）、Cb－27（Ｇ34－３）には18,570±130yBP（Beta－150457・SHIRA－90）の放射性炭素年代測定値が得られている。

被熱石器と重複し、それとの関連の可能性がある Cb－16は13,000年台後半であるが、その地点は幅広有舌尖頭器・広郷型ナイフ形石器石器群と重複しているため本石器群との関連は不明である。被熱石器に隣接する Cb－19は25,000・28,000年代と古すぎて採用できない。その他は15,700～16,500、18,500～18,700年であり、後者はＧ区の年代値と一致する。

②大型石刃・大型舟底形石器を含む石器群（図Ⅴ－10・21）

石器製作技術　尖頭器製作技術と大型石刃剥離技術に分けられる。

＜尖頭器製作技術＞　搬入形態は原石と大型尖頭器があり、前者は30cm、幅15cm、厚さ８cm の角礫で、後者は30cm 前後の角礫を素材とした長さ25～30cm 幅９～11cm 厚さ３～４cm の尖頭部のあ



図Ⅴ－21　Ⅰ区（Sb-91～96）石器組成図(3)・母岩別資料(3)

る大型尖頭器で搬入される。搬入形態は大型尖頭器が主体を占め、中には34.3cmの尖頭器（図Ⅴ－21－48）もある。大型のものには黒曜石３が利用され、放射状の折れが認められ、直径1.5cm大の球顆を含む石材の特徴がＢ区の大型尖頭器に類似している。折損や再加工後、遺棄されるものが多いが、大型尖頭器の一回り小型化した状態で搬出されるものもある。

＜剥片剥離技術＞　単剥離打面と頭部調整の見られる大型の石刃が少量含まれる。それらには同一母岩が無く、本地点で剥離された痕跡は認められない。石刃の特徴はＢ区の大型石刃に類似する。

＜二次加工技術＞　舟底形石器Ⅱｂ（図Ⅴ－21－281）・ｃ類（図Ⅴ－21－280）がまとまって出土している。それらは、大型剥片素材で、上下から加工が行われ、側縁・下縁部が細かい剥離で整形される特徴がある。舟底形石器で搬入されたものと原石（転礫）で搬入されたものがあり、原石で搬入されたものは長さ18cmの大型剥片が素材となっている。Ⅱｂ・ｃ類は尖頭器・石刃同様Ｂ区の石器に類似する。安山岩製の彫器Ⅲ類・掻器が含まれ、彫器Ⅲ類（図Ⅴ－21－141）は彫刀面打面から彫刀面が作出される。掻器（図Ⅴ－21－201）は厚手の剥片の側縁に粗い加工が行われ、先端部には粗い加工で直線的な刃部が作出される。折損後、折れ面から彫刀面打撃が行われる。

石材消費　尖頭器製作の素材は大型尖頭器で搬入され、一部、原石の状態（角礫）で搬入される。平坦剥離による加工が行われ、一回り小型化した状態で搬出される。折損するものが多く、再加工が行われるが削片は剥離されない。石刃は少量持ち込まれ、舟底形石器は単体で持ち込まれたものと原石で持ち込まれたものがある。安山岩製の彫器・掻器が素材ないし石器で搬入されている。

分布　Sb－95のＬ28・29区周辺の狭い範囲にスポット的に分布し、幅広有舌尖頭器石器群と重複している（図Ⅴ－10）。25cmを超える大型の尖頭器Ⅰ類、舟底形石器Ⅱｂ・ｃ類、一部大型石刃が高密度に分布し、大型尖頭器の接合資料の分布範囲も同様である。

炭化木片ブロックは、Cb－21が本石器群の分布域の南縁に分布しているが、被熱石器を伴っていない。

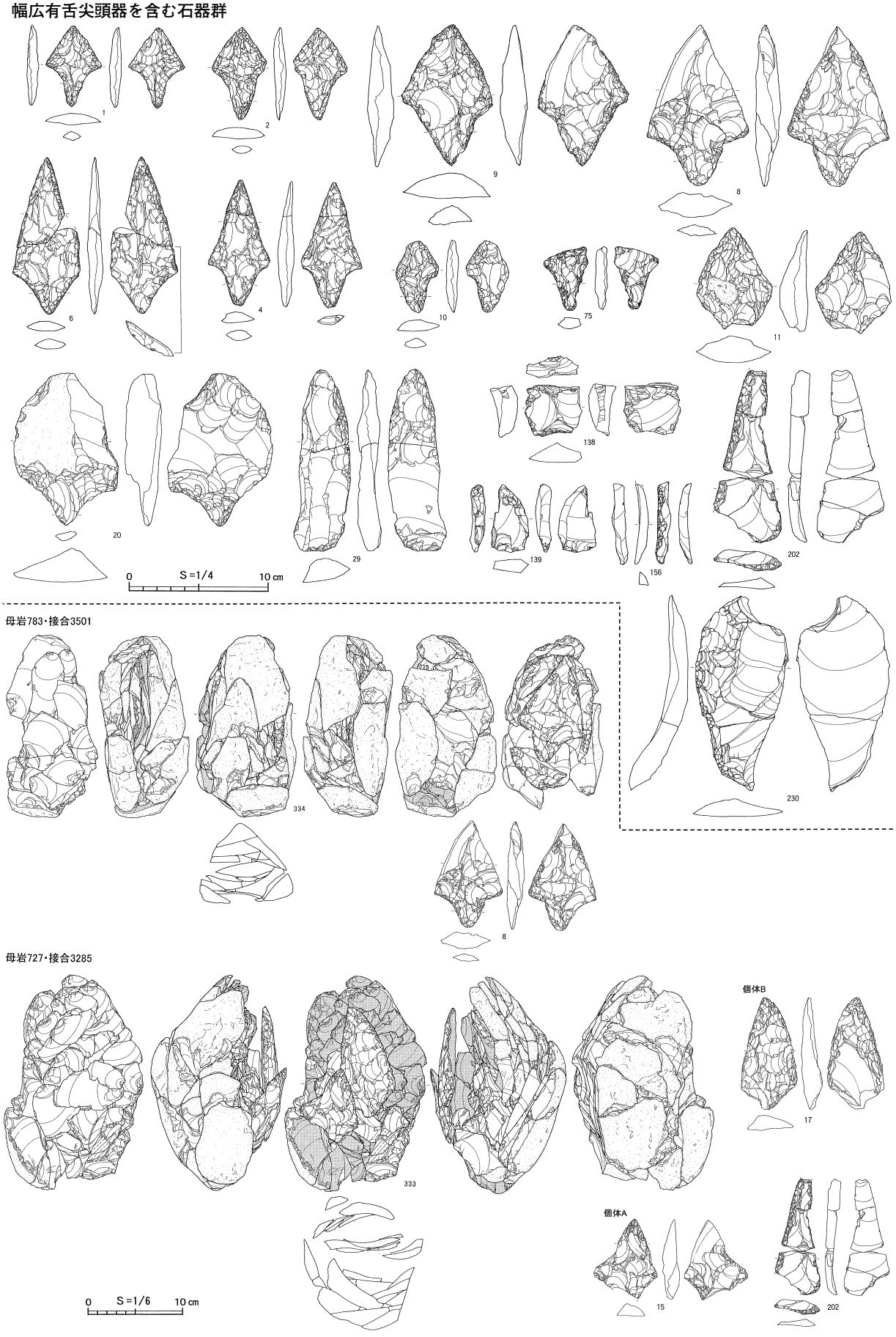
年代　Cb－21(2)には15,850±170yBP（Beta－101794・№８）、Cb－21(2)には15,750±130yBP（Beta－112910・SHIRA－38）の放射性炭素年代測定値が得られているが、石器群との関係は不明である。

③幅広有舌尖頭器を含む石器群（図Ⅴ－10・11・22・23・27下段）

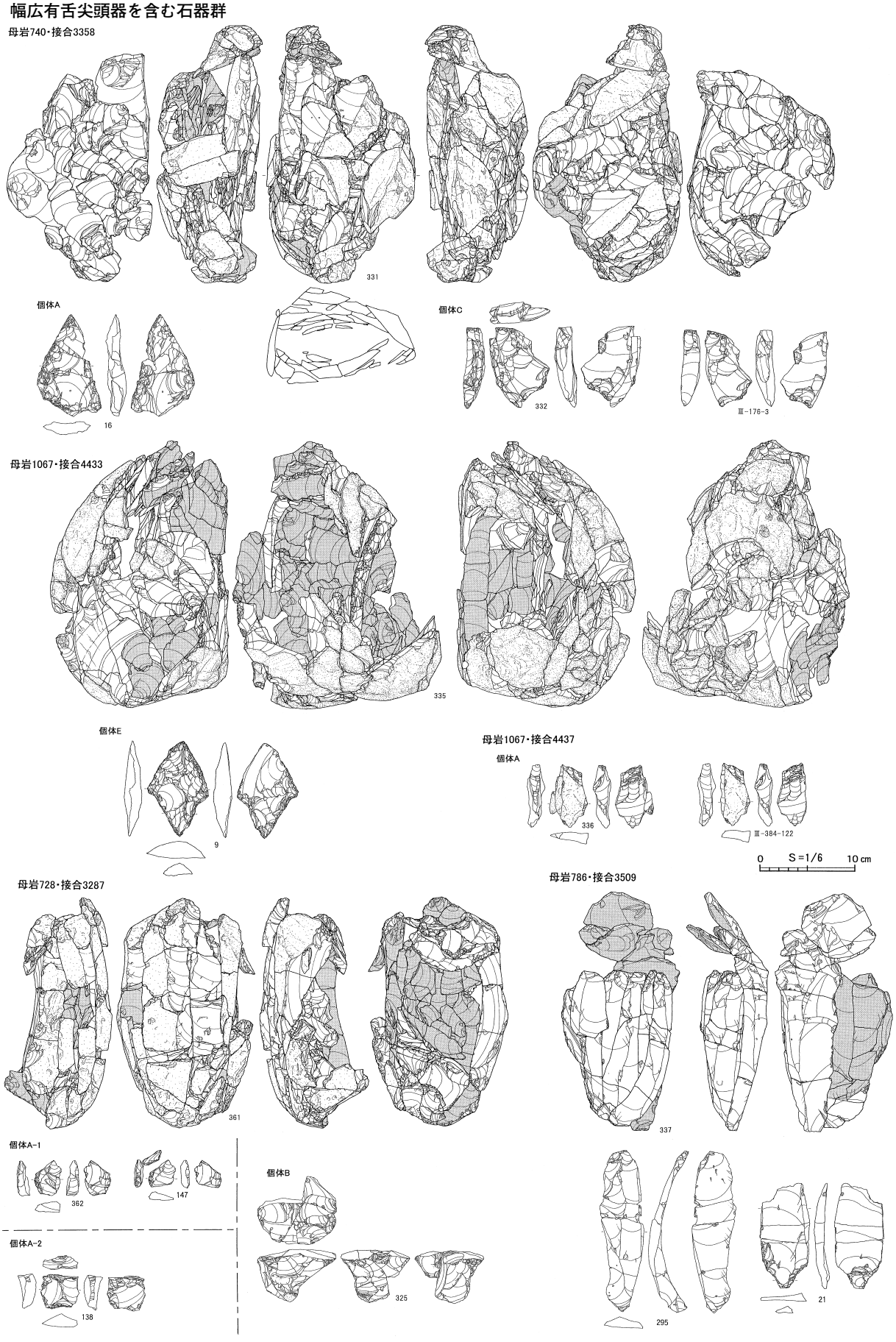
ここでは、Ｊ区（Sb－97）の当該石器群を含めて記述する。

石器製作技術　尖頭器製作技術と一部の石刃剥離技術に分けられ、石刃ないし縦長剥片剥離が尖頭器製作の初期段階で行われるものについては尖頭器剥離技術で説明する。

＜尖頭器製作技術＞　石核素材と剥片素材があり、剥片素材は石核素材の尖頭器の調整剥片素材である。転礫・亜角礫が利用され、転礫が主体的である。原石の大きさは長さ20～35cm、幅８～23cm、厚さ８～19cm程度で個体による変異が非常に大きい。形状は、亜角礫は盤状や断面三角形であるが、転礫は塊状でゴロッとしている。ほとんどが原石の形状で搬入され、塊状の原石には、最初は端部を断ち切るような剥離で打面を作出し、縦方向の剥離が行われ、器体が薄く変化する。その後、縁辺付近を打撃する横方向の剥離によって尖頭器の調整が行われる。縦方向の剥離では軽い打面調整を伴って石刃ないし縦長剥片が剥離されるものもあり、その時の打面と作業面のなす角度は90度に近い。剥離される石刃は17cm前後のものが多い。また、断面三角形の側面から連続的な横方向の剥離によって薄くなるものやより扁平な原石は横方向の剥離のみで加工されるものがある。最終的に製作される石核素材の尖頭器は、大型のものは長さ30cm前後、幅12cm前後、厚さ３cm程度、中型のものは長さ10～20cm、幅７cm程度、厚さは２～３cmで、中型のものが主体を占める。その長さは原石の大



図Ⅴ－22　Ⅰ区（Sb-91～96）石器組成図(4)・母岩別資料(4)



図Ⅴ－23　Ⅰ区（Sb-91～96）母岩別資料(5)

きさの変異を反映してバラつきがあり、幅・厚さはそれとは異なり近似する。また、長さは縦方向の剥離の打面作出工程によって原石サイズから大きく減少する。この変化は、原石からほとんど長さが減少しない特徴を持つ小型舟底形石器石器群に伴う盤状の角礫素材の大型尖頭器と対照的である。石核素材の尖頭器は平坦剥離の当初より尖頭器本体の両側縁に角を持ち、最大幅が基部側３分の１付近にある偏った菱形をとるものがある一方、舌部の作出が最後に行われるもの（図Ⅴ－22－母岩783・接合3501）がある。

剥片素材の尖頭器は、尖頭器調整剥片に特徴的な斜軸剥片を素材として、その形態的特徴を利用して二辺の接する尖頭部を尖頭器の尖頭部に設定している（図Ⅴ－22－15・17）。また、尖頭器未成品の側縁に折れ面が残るものが多いことから基部の作出ないし全体の整形に折り取りが行われた可能性がある。

尖頭器は、①舌部が中央付近に位置し、先端角が90度程度のもの（図Ⅴ－22－１・２）、②舌部が器体の基部側３分の１に位置し、先端角が40度程度で尖るもの（図Ⅴ－22－４・５）、③幅広のもの（図Ⅴ－22－８・９）があり、明瞭な舌部が作出されるものが多い。Ｊ区の舌部のあるもの（図Ⅴ－27－１・２）は①と②の中間的な形態である。また、図Ⅴ－22－10・75には多段階表面変化が認められ、技術的特徴・石材産地（10は十勝産、75は未分析）から判断して再加工によって尖頭器から形態変化したと思われる。また、縁辺部の急角度の加工面を再加工によるものとすると②③から①へ一連の形態変化で位置付けられる可能性がある。

＜石刃剥離技術＞　母岩786・接合3509（図Ⅴ－23）は黒曜石２を素材として原礫面が除去された状態で搬入される。正面で打面調整を伴って石刃剥離が行われた後、裏面下から、正面上から打面・作業面を転移させながら石刃が剥離される。打面と作業面の角度は直角に近く、打面縁辺の打面側には磨り潰す加工が行われる。剥離された石刃は錯向剥離による基部加工が行われ、尖頭器の未成品（図Ⅴ－23－21）が製作されている。本接合資料は石刃剥離のみ行われているが、石刃核は薄く、他の接合資料同様、石刃剥離後、尖頭器に加工された可能性が想定される。

＜二次加工技術＞　彫器はⅢ類が伴い、主に剥片を素材として、側縁調整後、折れ面打面・彫刀面打面・端部に稜状やノッチ状に作出された打面から側縁に沿って彫刀面が作出される。掻器は縦方向の剥離で剥離された縦長剥片を素材として両側縁に斜角の加工が施され、末端部には直線的な刃部が作出される。また、折損後、側縁で樋状の剥離が行われる。

石材消費　尖頭器本体は、ケショマップ・所山・十勝・白滝（八号沢・赤石山）産の黒曜石や安山岩など多様な石材が利用され、また、黒曜石の中には他の石器群では利用頻度の低い黒曜石２（なし肌）が利用されている。舌部が中央に位置する小型の完形品と１点を除くＪ区の完形品ないしそれに近いものは全て白滝以外の産地で、未成品については１点を除き、白滝産（赤石山・八号沢）の黒曜石が利用される。また、Ⅰ区の白滝産のものは折損するものが多く、ほとんどが母岩別資料に含まれ、遺跡内で製作される一方、他産地のものは完形品で搬入され、ケショマップ産の未成品があることから一部未成品で搬入された可能性がある。Ⅰ区と異なりＪ区の赤石山産の小型品・未成品は母岩別資料に含まれず、未成品は折損していないことから搬入された可能性がある。

接合資料では多くの剥片・石核素材の尖頭器が製作され、搬出されている。このような単体石器と接合資料の構成から、白滝以外の多種類の石材を利用した尖頭器が製品や一部未成品として持ち込まれ、遺跡内では多くの尖頭器が製作され、搬出される石材消費の形態があったことが復元される。また、このような形態は、奥白滝１遺跡・上白滝２遺跡・上白滝６遺跡・北支湧別４遺跡の幅広ではない通常の有舌尖頭器石器群にも認められ、有舌尖頭器石器群に共通するものといえる。

分布　①Sb－93・95のⅠ28～30、Ｊ28～30、Ｋ28～30、Ｌ28～30、Ｍ27～30、Ｎ26～30、Ｏ25～29、Ｐ26～28、Ｑ27区周辺の広い範囲に、②Sb－96のＪ25、Ｋ24、Ｌ24、Ｍ23、Ｎ22・23区周辺に線状に、③Sb－97のⅠ23・24、Ｊ23・24、Ｋ23区周辺に尖頭器のみ非常に散漫に分布し、①の南側で小型舟底形石器石器群・広郷型ナイフ形石器石器群、北側で大型石刃・大型舟底形石器石器群と重複している（図Ⅴ－10・11）。尖頭器Ⅲ類は①のＰ28～Ｌ30区周辺には線状にややまとまって、Ｐ26～Ｊ29区周辺には散漫に、②のＭ23区に少量、③に散漫に分布している。

接合資料は、①のSb－93・②の範囲では比較的高密度に線状に伸びるように、Sb－95では散漫に広い範囲で分布し、Ｊ区の③には接合資料は含まれず、ほとんど単体の尖頭器のみ分布する。

炭化木片ブロックは、当該石器群の範囲内ではSb－93の南西部（Ｑ28区）にCb－19、中央西寄り（Ｏ29区）にCb－16、Sb－95の中央東寄り（Ｍ28区）にCb－21が分布し、範囲に隣接して、①の６ｍ北東（Ⅰ32区）にCb－９、②の３ｍ北西（Ⅰ24区）かつ③の北東縁にCb－26、③の北西縁（Ⅰ22区）にCb－25が分布する。

Cb－16は被熱石器の分布と重なり、Cb－19は被熱石器に隣接し、その他は近隣に被熱石器は認められない。

年代　Cb－９(1)には15,670±240yBP(Beta－112897・SHIRA－25)、Cb－９(3)には16,420±150yBP（Beta－112898・SHIRA－26）、Cb－16(1)には13,530±50yBP（Beta－186197・SHIRA－112）、Cb－16(2)には13,790±170yBP（Beta－112905・SHIRA－33）、Cb－19には25,870±290yBP（Beta－112908・SHIRA－36）、28,120±180yBP（Beta－186199・SHIRA－114）、Cb－21(2)には15,850±170yBP（Beta－101794・№８）、15,750±130yBP（Beta－112910・SHIRA－38）、Cb－25（Ⅰ22－２）には13,630±40yBP（Beta－150452・SHIRA－85）、Cb－25（Ⅰ22－３）には13,730±80yBP（Beta－150453・SHIRA－86）、Cb－26（Ⅰ24－10）には13,730±90yBP（Beta－150455・SHIRA－88）、Cb－26（Ⅰ24－14）には13,730±80yBP（Beta－150454・SHIRA－87）の放射性炭素年代測定値が得られている。

被熱石器と重複し、それとの関連の可能性があるCb－16は13,000年台後半であるが、その地点は幅広有舌尖頭器・広郷型ナイフ形石器石器群と重複している。被熱石器に隣接するCb－19は25,000・28,000年代と古すぎて採用できない。その他は13,600～13,750、15,700～16,500年であり、前者はCb－16の年代値と一致する。Cb－16の分布域周辺で、重複する他の石器群に比べ、本石器群の母岩単位での被熱率が高いこと、本石器群の分布域に隣接するCb－25・26で同様の年代値が得られていることから13,500～13,750年を可能性のある数字として提示しておく。

水和層年代測定では、Ⅰ区の尖頭器Ⅲ類２点に10,479±244（Ｈ187）、13,974±751（Ｈ188）、Ｊ区の尖頭器Ⅲ類２点に9,104±284(Ｈ169)、17,019±126(Ｈ170)の結果が得られている。9,100～17,000年とバラつきが大きく、採用するのは困難である。

④広郷型ナイフ形石器を含む石器群（図Ⅴ－10・11・24）

石器製作技術　石刃剥離技術のみ見られる。

＜石刃剥離技術＞　長さ30cm程度の大型の転礫を素材として打面や側面に大型剥離面がある状態で搬入される（図Ⅴ－24－母岩732・接合3316）。原石の幅や厚さは14cm～24cmとバラつきがある。また、石刃核で搬入されたと思われるもの（図Ⅴ－24－母岩934・接合4063）は先行する石刃剥離がウートルパッセになることによって高さが減少しており、接合状態は長さ11cmと小型である。端部に大型の剥離によって作出された単剥離打面から頭部調整を伴って石刃が剥離される。頭部調整は稜の頂

部を除去し、直線的に改変するものではなく、縁辺部形状を残す比較的軽微なものである。最初に石核調整は行われず、石刃剥離の途中で下端に単剥離打面が作出され、両設打面から石刃が剥離されるものもある。石刃剥離の際には打面縁辺から0.5～１cm を加撃し、石刃の打面厚は小型舟底形石器石器群に比べ厚い。剥離される石刃は原石に近い形状で搬入されたものは15cm 程度で、石刃核で搬入されたものは10cm 程度である。

＜二次加工技術＞　ナイフ形石器は①石刃・剥片素材で柿の種子状の６cm 以下の小型品（図Ⅴ－24－78・80・81・82・85)、石刃素材で細長いタイプのもので②６cm 以下の小型品（図Ⅴ－24－87・88）と③８cm 以上の大型品（図Ⅴ－24－89・90）がある。素材石刃には反りの無い側面形が直線的なものが選択されている。先端部の加工は背面のみ行われ、その範囲は小型の①②が広く、一側縁全体と残りの側縁の一部に施される一方、大型の③は限定的である。基部の加工は①～③とも背面・腹面に平坦剥離が行われ、円形に加工される。大きさの違いは素材の大きさにも関連するが、小型品の加工頻度が高く、変形度が高いこと、折損後の再加工が認められることから大型品から小型品に形態変化した可能性がある。

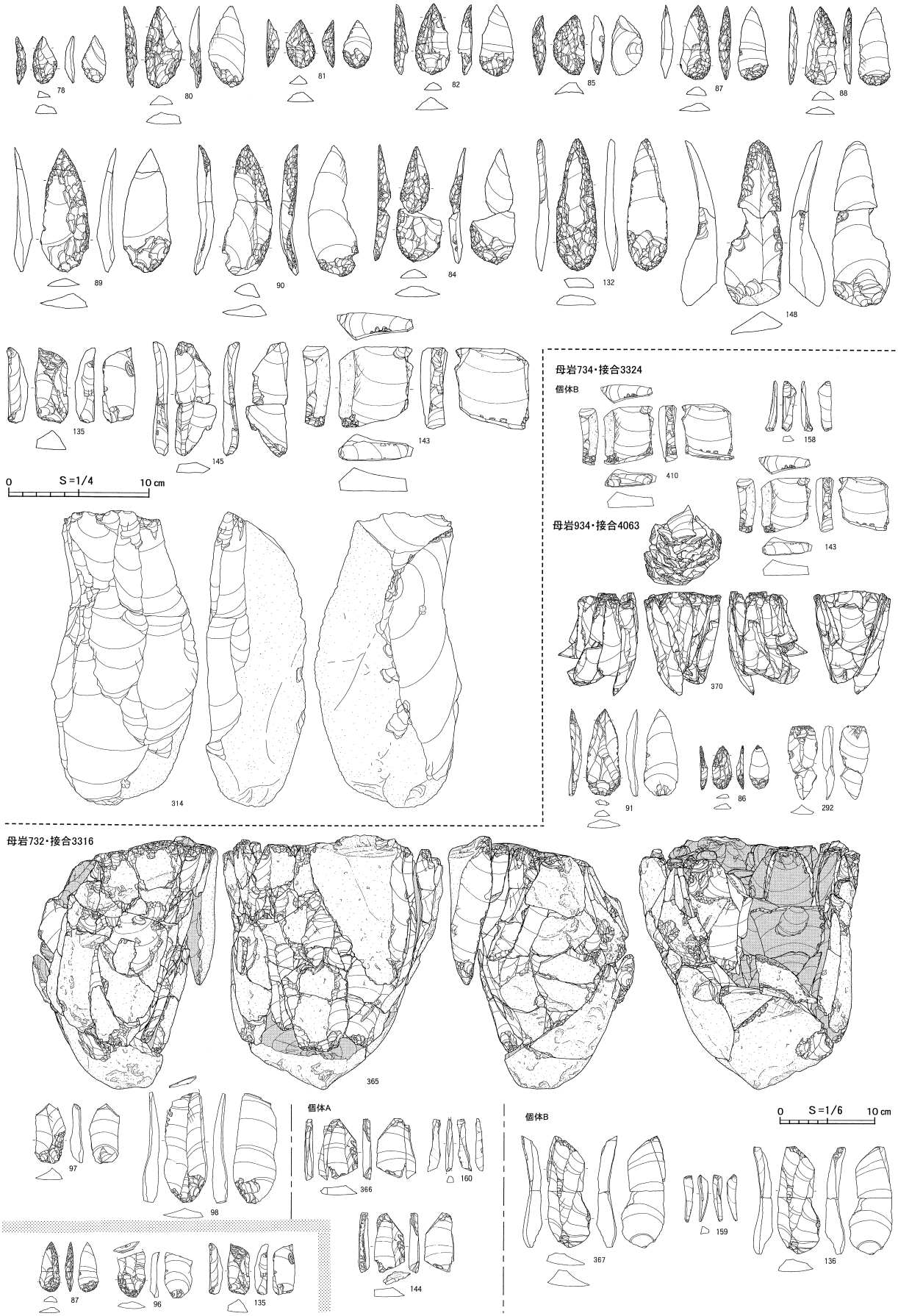
彫器はⅢ類が伴い、厚手の剥片・石刃素材で、彫刀面打面はノッチ状の厚形の調整剥離面（図Ⅴ－24－135)、彫刀面（図Ⅴ－24－145・143)、折れ面（図Ⅴ－24－148・145）があり、一つの石器に複数の彫刀面が複合するものが多い。また、彫刀面は石器の長軸に対して平行ないし垂直に作出される傾向がある。周縁加工は行われないものが多いが、やや粗い加工や平坦加工が見られるものがある。

石材消費　本石器群に該当すると判断した母岩別資料は、ナイフ形石器が接合している３母岩（母岩732・933・934）（図Ⅴ－24)、剥片剥離技術や彫器の特徴から判定した１母岩（母岩734）で、石刃剥離の行われた量が非常に少ない。搬入形態は、原石に近い形状が３母岩、石刃核と見られるものが１母岩である。４母岩とも石刃剥離が行われ、石刃の剥離頻度が不明な母岩734を除いて、ほぼ石材を消費し尽くしている。また、これらにはナイフ形石器・彫器の製作が行われるものの、石刃の抜き出しはほとんど見られない。これらの母岩以外のナイフ形石器は接合せず、単体で搬入されたと見られる。接合しないナイフ形石器のうち１点があじさい滝産（X13)、２点が赤石山産（W17・W18）と分析され、その他のナイフ形石器にも肉眼的に白滝産以外と見られるものは無いため本石器群は白滝産の黒曜石のみで構成されると思われる。

①石刃剥離の行われた母岩が少ない、②母岩単位では石材が消費し尽くされる、③遺跡内で剥離される石刃を素材としてトゥールが製作される、④搬出される石刃が少ない、⑤ナイフ形石器の多くが単体で搬入される、⑥石材は白滝産に限定される特徴は東地区（Ｆ区）の当該石器群と一致する。また、上白滝７遺跡（坂本ほか　2000、坂本　2003）とは、大量に石刃剥離が行われ、石刃が大量に石刃が搬出される点で①④と違いが見られるが、②③⑤⑥の特徴は一致する。両遺跡には石器製作技術的特徴が一致しており、一連の石材消費システムに位置付けられるとすれば、これらの違いは遺跡の機能的な違いと見ることができるが、その内容の検討については今後の課題としたい。

分布　①Sb－93・95のM28・29、N26～28、O25～28、P24～27、Q24～26、R25区周辺、②Sb－95のＪ26、K25・26、Ｌ25区周辺に分布し、①は幅広有舌尖頭器石器群とほぼ全域で、小型舟底形石器石器群と中央部で重複する（図Ⅴ－10・11)。広郷型ナイフ形石器・彫器Ⅲ類は①のQ24～N28区周辺に分布する。接合資料は、石刃核で搬入されたものは①の東縁に、原石に近い形状で搬入されたものは②に分布の主体があり、両者ともトゥールや良形の石刃が①のQ24～N28区周辺に非常に散漫に分布する。また、母岩933・接合4061は東地区（Sb－61）と接合関係が認められ、両者は同一時期に形成された可能性がある。

広郷型ナイフ形石器を含む石器群



図Ⅴ－24　Ⅰ区（Sb-91～96）石器組成図(5)・母岩別資料(6)

炭化木片ブロックは本石器群分布域の２m南東（Q28区）にCb－19、東に隣接してCb－16、北東に隣接してCb－21が分布する。

年代　Cb－16(1)には13,530±50yBP(Beta－186197・SHIRA－112)、Cb－16(2)には13,790±170yBP（Beta－112905・SHIRA－33)、Cb－19には25,870±290yBP（Beta－112908・SHIRA－36)、28,120±180yBP（Beta－186199・SHIRA－114)、Cb－21(2)には15,850±170yBP（Beta－101794・№８)、15,750±130yBP（Beta－112910・SHIRA－38）の放射性炭素年代測定値が得られている。それぞれ13,500～13,800、15,700～15,900、25,800～28,200であるが、出土状況などから石器群と直接関連付けることは難しい。

水和層年代測定では、Sb－95出土の広郷型ナイフ形石器に25,844±695（W18）の結果が得られているが、同様に直接採用するのは困難である。　（鈴木宏行）

（４）Ｊ区・石器ブロック97～107（Sb－97～107）

石器群　①小型舟底形石器を含む石器群、②幅広有舌尖頭器を含む石器群が認められる。②については、ほぼ単品の尖頭器Ⅲ類に限定され、分布がⅠ区から連続していることからⅠ区で説明を行う。

石器・石材組成（図Ⅷ－18・19）　点取り遺物41,397点、479,327.4gの石器類が出土した。定形的な石器は尖頭器（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ類）・尖頭器削片・両面調整石器・彫器（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ類）・彫器削片（Ⅱ・Ⅲ類）・掻器・削器・錐形石器・舟底形石器（Ⅰａ・Ⅱａ・Ⅱｂ・Ⅱｃ類）・石刃・縦長剥片・石刃核・石核・つまみ付きナイフ・原石・台石・礫である。石材は黒曜石１（64.1%）が最も多く、以下、黒曜石４（22.9%)、黒曜石３（8.1%)、黒曜石５（4.1%)、黒曜石２（0.7%)、頁岩（0.05%)、安山岩（0.01%)、珪岩（0.007%)、碧玉（0.007%)、めのう（0.002%)、砂岩（0.002%)、緑色泥岩（0.002%）である。上白滝８遺跡全体でⅠ区に次ぐ規模の区域で、ほとんどが小型舟底形石器を含む石器群である。彫器（80%)、掻器（94%）は黒曜石１、舟底形石器（43%）は黒曜石４の比率が高く、この傾向は小型舟底形石器石器群と一致するが、同一石器群のＧ・Ⅰ区に比べ全体的に黒曜石１の比率が高い。

①小型舟底形石器を含む石器群（図Ⅴ－10・25～30）

石器製作技術　尖頭器製作技術と石刃剥離技術を含む剥片剥離技術に分けられる。

＜尖頭器製作技術＞　尖頭器は石核素材と剥片素材に分けられ、石核素材には転礫・亜角礫・角礫が利用され、剥片素材には転礫から剥離された大型の剥片が利用される。

石核素材の尖頭器の50%程度が転礫、30%程度が角礫、20%程度が亜角礫素材である。利用される原石は、形状に関わらず長さ22～34cm、幅12～24cm、厚さ７～14cm程度で大きさにバラつきが大きいが、両面は平坦で断面が長方形に近いものが多い。搬入形態は原石ないし原石に近い形状が主体的であるが、角礫素材には粗い加工の行われた尖頭器が含まれる。

加工は、最初は縁辺部調整の無い打面の大きい粗いものであるが、途中で縁辺部調整のある打面の小さい平坦剥離に移行する。また、初期段階では縦方向の剥離が行われ、厚さを減少させるものがある（図Ⅴ－25－46)。平坦剥離によって器体が薄くなると、縁辺部に角度のある細かい剥離が行われ、断面形が潰れた六角形を呈する（図Ⅴ－25－８・９)。これらの形態変化は上白滝５遺跡の復元例に類似する（鈴木　2002)。本体の尖頭器は長さ17～20cm程度、幅９～12cm以下、厚さ３cm以下で搬出される。

また、尖頭器は調整剥離途中で折損した後、折れ面から側縁で削片剥離が行われる(図Ⅴ－25－27・

28・32・34・54、図Ⅴ－28－母岩1029・接合4324個体Ｂ、接合5822)。尖頭器Ⅱ類の厚さは９～27mmで、それらの表面に残る加工状態には違いが見られ、素材尖頭器は尖頭器製作の特定の段階に限定されない。また、剥離される削片（図Ⅴ－25－36・40）の幅（尖頭器Ⅱ類の厚さに対応）は８～31mmでバラつきが見られる。削片剥離は、断面三角形の一次削片が両側縁で剥離されるＧ・Ⅰ区と違い、片側縁に偏る傾向がある。

初期の粗い加工で剥離された厚手の調整剥片や削片は舟底形石器や石核の素材となり、調整剥片の一部は彫器Ⅱ・Ⅲ類の素材になっている。

＜剥片剥離技術＞　石刃剥離と剥片剥離に分けられる。

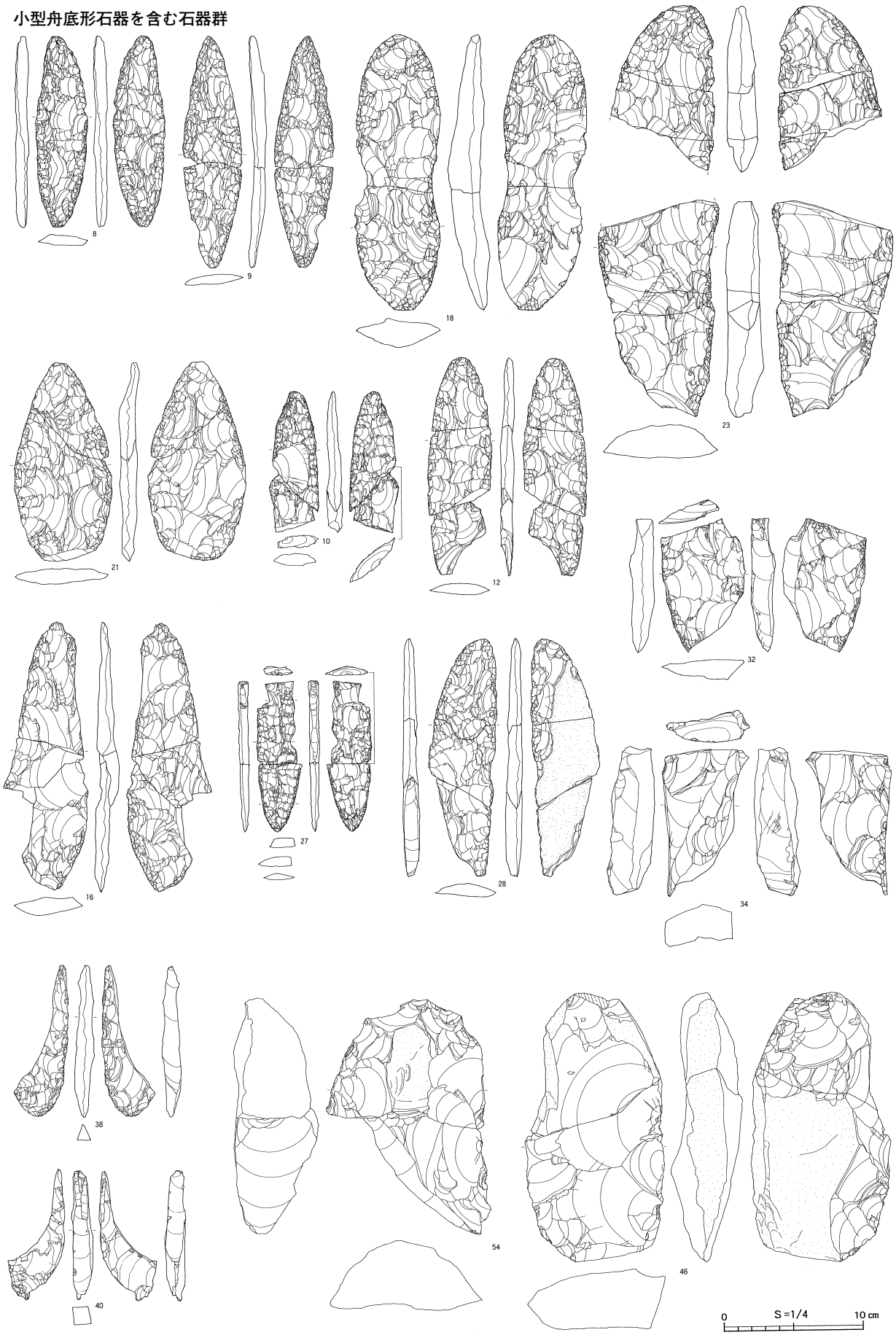
石刃剥離には転礫が50％程度、角礫が30％程度、亜角礫が20％程度利用され、尖頭器と違いは見られない。利用される原石の大きさは長さ８～27cm、幅８～20cm、厚さ５～14cmと変異が大きく、亜角礫に20cm以上の大型のものが無い点以外は石材による大きさの違いは見られない。遺跡には原石ないし原石に近い状態で搬入されるものが多く、「試し割り」の可能性がある大型の剥離面がある状態で搬入されるものもある。石刃は単剥離打面から頭部調整を伴って剥離され、長さは７～12cm程度のものが多く、それらの多くは欠落し、搬出されている。小型の原石（図Ⅴ－29－母岩1007・接合4275、母岩1016・接合4287）には、原石の高さをあまり減少させない上面への一度ないしは数回の剥離によって打面が作出され、大型の原石（図Ⅴ－29－母岩982・接合4217、母岩1108・接合4556、母岩948・接合4125）には上面と正面ないし側面の剥離を交互に行って石刃核の高さを減少させ、両者からほぼ類似した形態の石刃が剥離されるように石刃核高が調整される。細長い形状の原石には上下に打面が作出され、両設になるものがある。また、20cmを超える大型の原石(図Ⅴ－30－母岩965・接合4173・4174）には15cmを超えるような石刃が剥離されるものがあり、石核調整段階で石刃核が小型化していない。その母岩は、ウートルパッセの石刃が連続して剥離されることによって、石刃核高が減少した結果、最終的には石刃長が６cm程度に変化している。また、大型のものには稜調整が行われるものがある。厚手の石核調整剥片や打面作出剥片は舟底形石器の素材となり、石刃は彫器・掻器・錐形石器・削器の素材となっている。

石刃剥離の中で本石器群に伴うかどうか不明であるが本区域には幅広の石刃が剥離され、石刃核の作業面形状が平坦になる技術（図Ⅴ－30－母岩1142・接合4626）が含まれ、東地区（Ｃ区）のＨ55区出土資料に類似する。

石刃剥離を伴わない剥片剥離には転礫が75％程度、角礫が10％程度、亜角礫が10％程度利用され、尖頭器・石刃剥離に比べ転礫の割合が高い。利用される原石は長さ８～21cm、幅６～18cm、厚さ３～15cmと変異が大きいが、石刃剥離に利用される原石に比べ小さめである。搬入形態は原石がほとんどであるが、一部大型の剥離面があるものが含まれる。石刃剥離の初期段階で見られる上面と正面の交互剥離で剥片が剥離されるもの（図Ⅴ－30－母岩1079・接合4498）や原石を二分割するもの（図Ⅴ－30－母岩1186・接合4744)、または分割面を打面として両端部で剥片が剥離されるもの（図Ⅴ－30－母岩1174・接合4701）があり、頭部調整は行われずに打面縁辺から内側を加撃することによって厚手の剥片が剥離されている。これらの剥片の多くは舟底形石器の素材となっている。

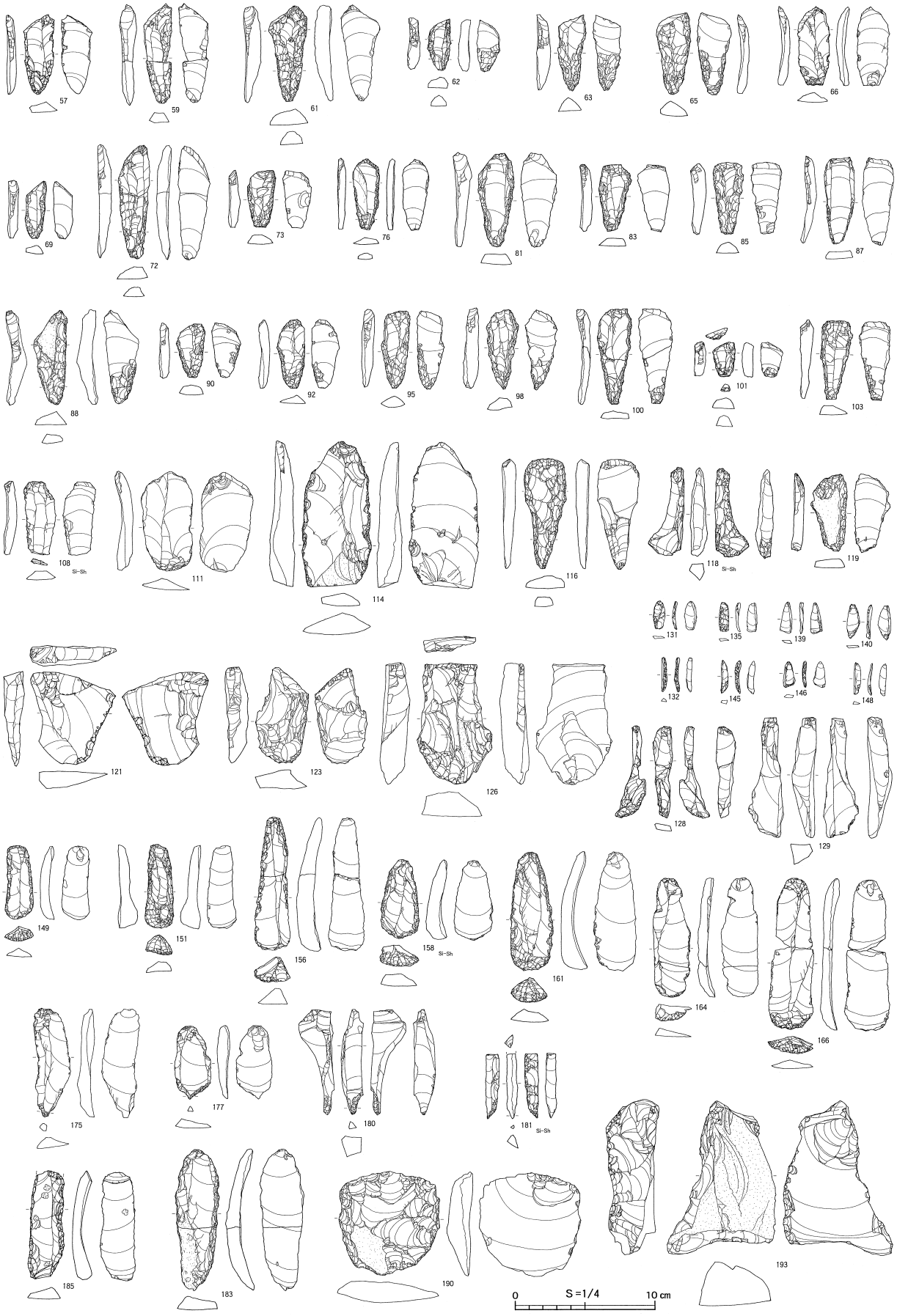
＜二次加工技術＞　多量の彫器が出土しているが、そのほとんどがⅠ（図Ⅴ－26－57・59など）・Ⅱ類（図Ⅴ－26－69・72など）で、主に単剥離打面の石刃核から頭部調整を伴って剥離された７～11cm程度の石刃を素材としている。掻器には先端部に反りのある石刃が利用されるのに対し、側面形が直線的な石刃が選択される。周縁加工は、背面側は両側縁に急角度に施されるものが多いが、厚手の素材の場合、斜角の加工により断面三角形の基部が作出されるものがある。腹面側は平坦剥離によって

小型舟底形石器を含む石器群



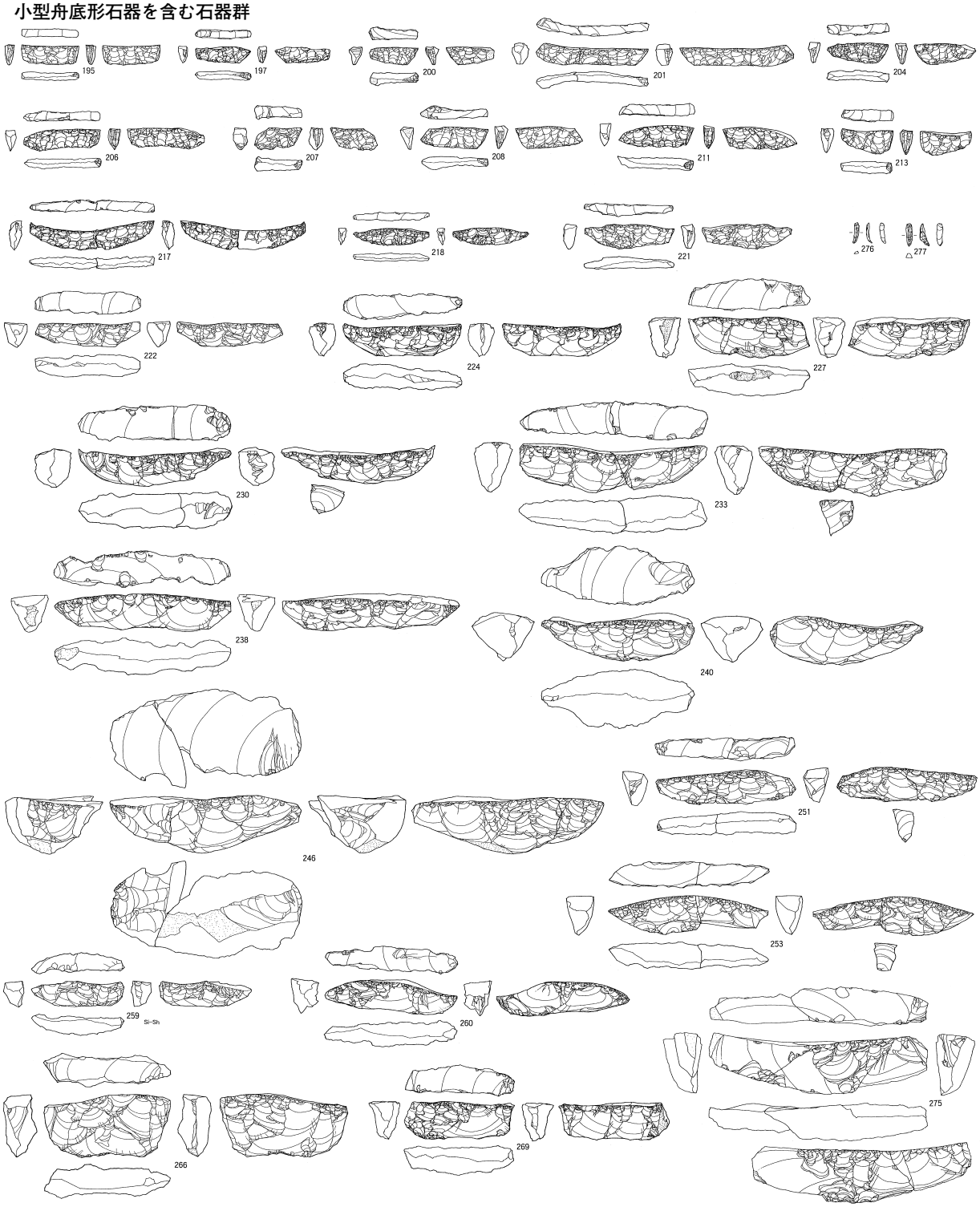
図Ⅴ－25　J区（Sb-97～107）石器組成図(1)

小型舟底形石器を含む石器群

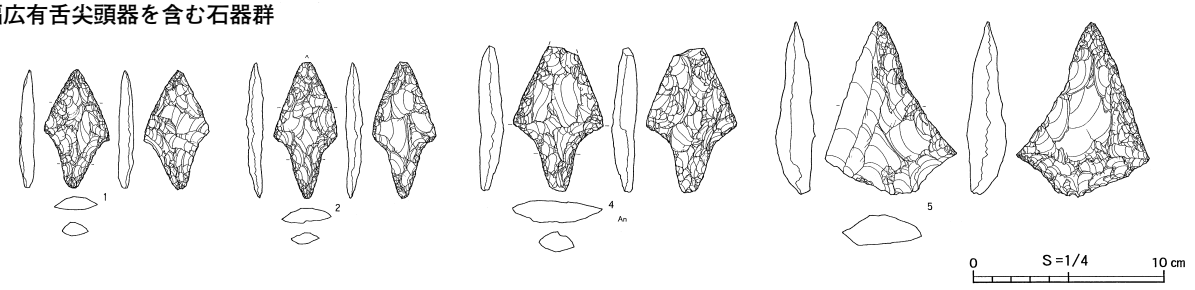


図Ⅴ－26　J区（Sb-97～107）石器組成図(2)

小型舟底形石器を含む石器群

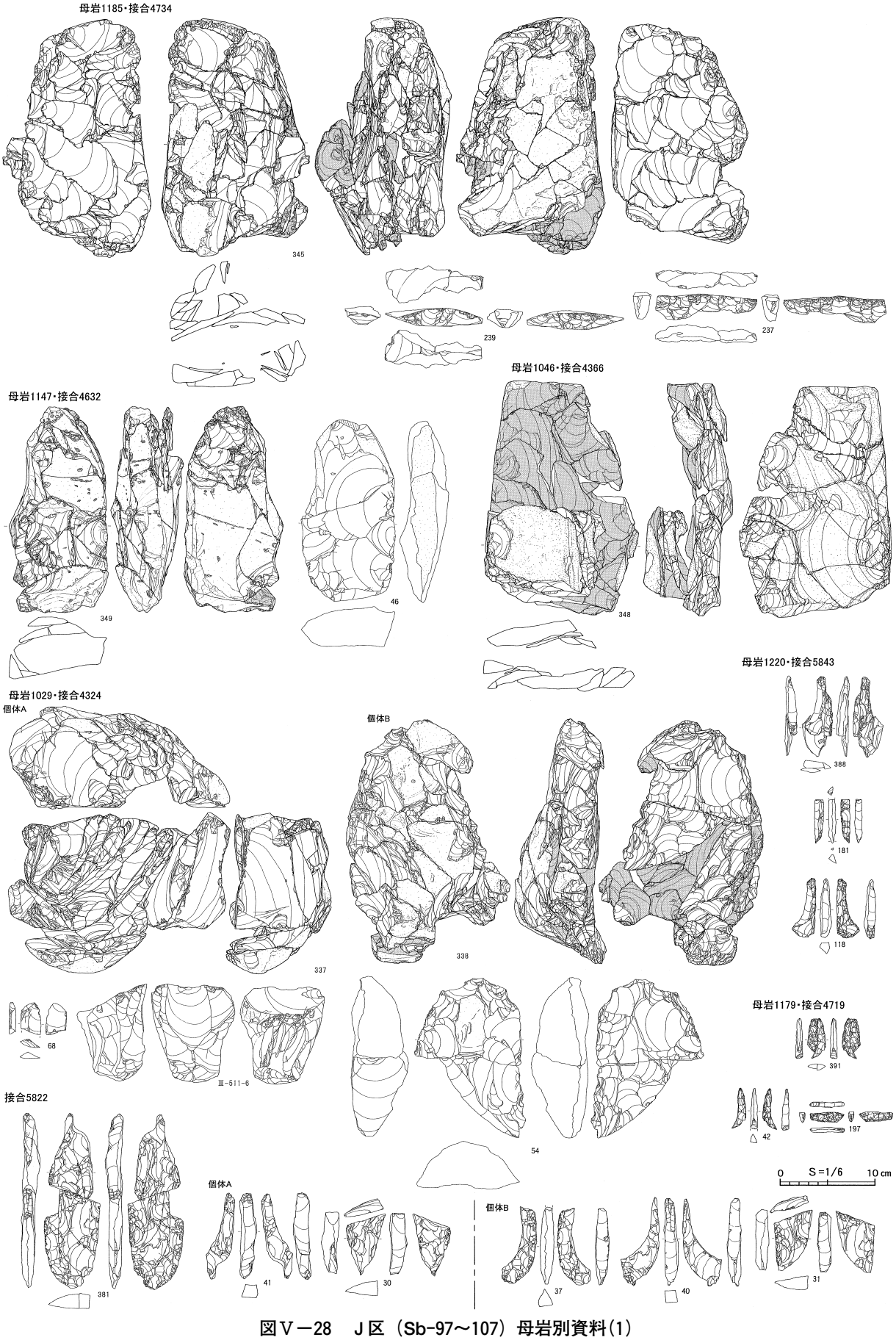


幅広有舌尖頭器を含む石器群



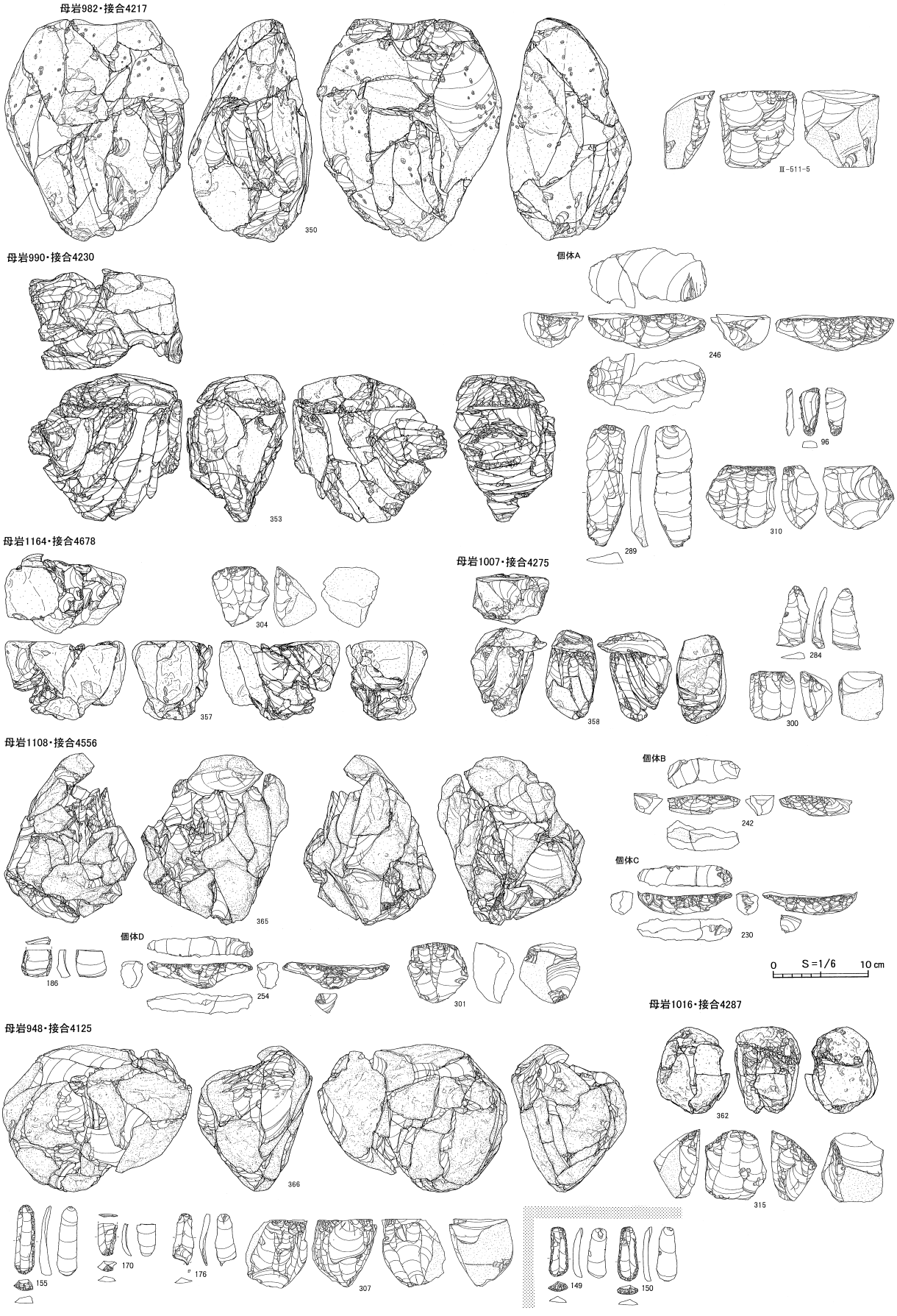
図Ⅴ－27　J区（Sb-97～107）石器組成図(3)

小型舟底形石器を含む石器群



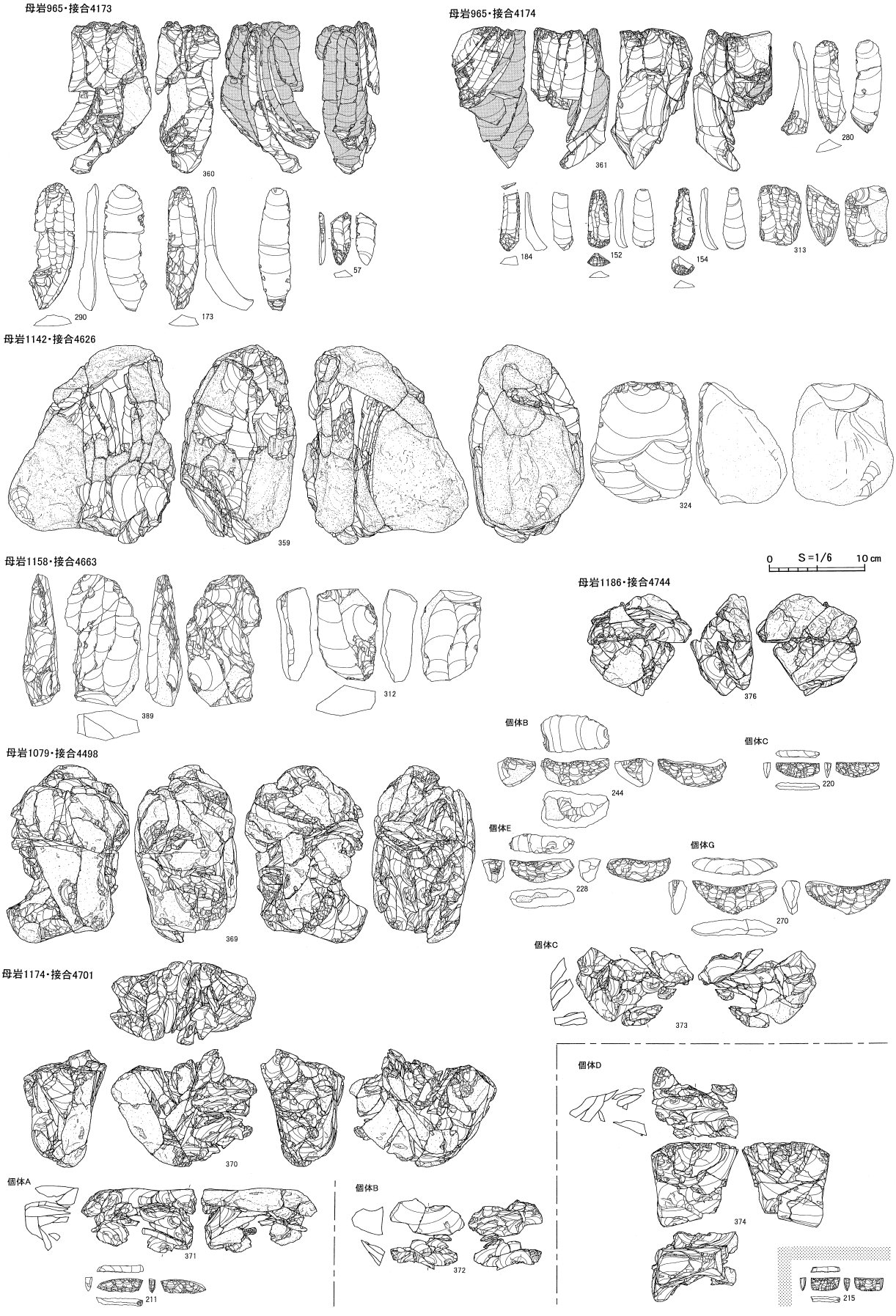
図Ⅴ－28　J区（Sb-97～107）母岩別資料(1)

小型舟底形石器を含む石器群



図Ⅴ－29　J区（Sb-97～107）母岩別資料(2)

小型舟底形石器を含む石器群



図Ⅴ－30　J区（Sb-97～107）母岩別資料(3)

加工され、その範囲は部分的なものから面的なものまで変異が大きい。彫刀面は素材先端側に主体的に作出されるが、掲載資料中19％が素材打面側に作出され、その比率が極めて低いＧ・Ⅰ地区に比べて高い。形態軸・彫刀面交叉角は40～90度で、そのうち50～80度が主体を占める。背面先端部調整はⅠ類にはほとんど行われず、多くのⅡ類に認められ、その70％は打点が無く、彫刀面に切られる。彫刀面の形状は、Ⅰ類は弧状、Ⅱ類は直線的なものが多く、Ⅱ類の彫器削片（図Ⅴ－26－132）から判断して母型作成時から直線的な彫刀面を作出していた可能性がある。

Ⅲ類（図Ⅴ－26－121・123・126）は剥片素材で、片面が面的に加工された片面ないし半両面加工石器（尖頭器のような整った両面調整体ではない）が折損した後、側縁で削片剥離が行われる。また、それらの素材の端部は弧状に整形されるものがある。

掻器は、側面形を除き彫器とほぼ同様の素材が利用されている。側面形は先端部に反りのあるものが利用され、掻き取る作業に関連したものと考えられる。また、接合資料では彫器が素材の大きさから最大２cm 程度長さの減少が見られるのに対し、掻器は0.5cm 程度で刃部再生頻度が低い。刃部再生に伴う消耗度の違いも影響しているが、機能的な問題から反りの確保できる部分までしか再生が行われなかったために掻器の刃部再生頻度が低かったと考えられる。側縁調整は行われるもの（図Ⅴ－26－149・151など）と行われないもの（図Ⅴ－26－164・166）があり、前者にはほぼ両側縁に施される。刃部形状は円形に近いものが多く、刃部周辺のパンチ痕は確認できない。

錐形石器は、石刃（図Ⅴ－26－175・177）・彫器削片Ⅲ類（図Ⅴ－26－180）・尖頭器削片素材（図Ⅴ－26－181）があり、側縁調整は微細なもの以外行われない。刃部は石刃・彫器削片Ⅲ類の先端部に腹面から両側縁へのノッチ状の剥離によって石器長軸に一致するように作出される。また、断面三角形の尖頭器剥片には腹面・側面から加工が行われ、刃部が作出される。

削器は、石刃の側縁に急角度の加工が行われるもの（図Ⅴ－26－185・183）や剥片素材で粗い加工が施されるもの（図Ⅴ－26－193）などがあり、後者は舟底形石器の初期段階と考えられる。

舟底形石器はⅠａ（図Ⅴ－27－195・197など）・Ⅱａ類（図Ⅴ－27－222・224など）が主体を占め、一部、Ⅱｂ（図Ⅴ－27－275）・ｃ類が含まれる。Ⅱｂ類は素材の大きさから区別したが、Ｂ・Ⅰ区出土のものと比べ加工の種類はⅡａ類に近く、大型のⅡａ類とみなすことができる。素材は厚手の石核調整剥片や打面作出剥片や厚手石刃、石刃核や石核、尖頭器削片が利用されるが、剥片の割合が最も高い。上白滝５遺跡（鈴木　2002）で復元されたような形態変化（粗い段階のⅡａ類からⅠａ類への変化）が接合資料で確認され、素材腹面から両側面への粗い加工の後、押圧と見られる加工が上下から行われ、特にその最終段階では下縁からの剥離によって形状が整えられ、最終的に削片が剥離される。厚さが１cm 以下の薄い尖頭器Ⅱ類から剥離された尖頭器削片を素材とした舟底形石器は、最初から押圧と見られる細かい加工が行われ、Ⅰａ類が製作され、さらに、細石刃状の剥離も行われる（図Ⅴ－28－母岩1179・接合4719）。母岩1079・接合4498個体Ｃ（図Ⅴ－30）の本体であるⅠａ類（図Ⅴ－30－220）は、おそらくⅠａ類の段階に素材中央で折損しているが、折れ面付近で再加工が行われている。通常Ⅱａ類段階では中央付近で折損した場合、遺棄されることが多い。Ⅰａ類段階では折損後も再加工され、遺棄されることが少なかったことが想定され、Ⅰａ類とⅡａ類の大きさの隔絶は技術的な変化による折損率の違いと折損時の遺棄率（再加工率）の違いが要因と考えられる。Ⅰａ類の細石刃状剥離は素材先端側で行われるものが80％を占める。本区のⅠａ類はＧ・Ⅰ地区に比べ若干大きい。また、Ⅰａ類に多段階表面変化が観察されるものが無く、母岩別資料に含まれるもの（図Ⅴ－30－母岩1174・接合4701など）が一定量含まれることから遺跡内で製作されたものが多いと考えられる。舟底形石器Ⅱａ類は折損品が多く、その多くが母岩別資料に含まれ、本体の欠落する個体が多く

含まれていることから多量の舟底形石器が搬出されたと思われる。

斧形石器に関連するものは緑色泥岩製の磨製石斧の調整剥片が１点、白色の頁岩製の尖頭器削片と剥片の母岩別資料１点（図Ⅴ－28－母岩1220・接合5843・5801）がある。後者は本来長さ20cm 程度の斧形石器と見られ、想定される本体の平面形は尖頭器の一端を弧状（刃部に相当）に断ち切った形状で、断面形は凸レンズ状で尖頭器に類似する。刃部は縁辺から５mm 程度の限定された範囲の両面が研磨されている。加工は、尖頭器状の両面加工、刃部からの長軸方向の剥離の後、刃部の両面に研磨が行われている。本体の折損後、側縁で削片剥離が行われ、断面三角形の一次削片は錐形石器に、断面四角形の二次削片は彫器に加工されている。

石材消費　尖頭器製作、石刃剥離、剥片剥離いずれも転礫・角礫・亜角礫が利用され、ほとんどが原石ないし原石に近い形状で搬入される。原石サイズは原石形状による違いが見られず、尖頭器製作(22～34cm)、石刃剥離（８～27cm)、剥片剥離（８～21cm）の順で小さく、また、それらの中でのバラつきが大きい。遺跡内ではそれぞれ加工・剥離が行われ、多量の彫器・掻器の製作が行われ、尖頭器や多量の石刃類・Ⅰａ類を含む舟底形石器Ⅱａ類が搬出されている。尖頭器は、全ての加工の段階で折損したものに削片剥離が行われ、折損した尖頭器の母岩自体が遺跡内で消費し尽くされている。彫器・掻器は遺跡内で刃部再生が行われ、その頻度は彫器のほうが高い。舟底形石器はⅠａ類まで加工されるものがあり、細石刃状の削片剥離も行われる。また、舟底形石器Ⅰａ類に多段階表面変化が観察されるものが無く、母岩別資料に含まれるものが一定量含まれることから多くが遺跡内で製作されたと考えられる。

石器群全体として原石から石器の最終的な整形までが行われ、全ての石材が消費しつくされている。このような特徴は他の小型舟底形石器石器群には見られないものである。

分布　Ｊ区は幅広有舌尖頭器を含む石器群など一部を除いてほとんどが当該石器群に相当する。分布の連続した石器群単位で比較すると遺跡群内で最大級の規模である（図Ⅴ－10)。

トゥールは Sb－97の北西部から Sb－101の北部にかけて分布するものが多く、尖頭器Ⅱ類、尖頭器削片、舟底形石器Ⅰａ類、舟底形石器削片、彫器Ⅰ・Ⅱ類、彫器削片Ⅰ～Ⅲ類、掻器、錐形石器はその範囲に限定的に分布する。尖頭器Ⅰ類・削器は、その範囲に加えて Sb－97南部・Sb－98・Sb－104に、両面調整石器は Sb－97南部に、舟底形石器Ⅱａ類・石刃核は Sb－97南部・Sb－98に分布する。また、石刃・縦長剥片・石核は Sb－104・106には少ないもののほぼ全域に分布している。

最も大規模な Sb－97は相対的に密度の低い北西部を除いて濃密な分布を示し、その中に分布する接合資料の主体は比較的狭い範囲内に分布している。それらの接合資料に含まれる一部はトゥールの集中する Sb－97北東部や周辺の Sb－98～100・101の北部に分布するものが多く、そのほとんどがトゥールや石刃であることから、それらは人為的に選択されて、その場所に残されたものと考えられる。

炭化木片ブロックは、当該石器群分布範囲内の、Sb－97北東部（Ⅰ24区）に Cb－26、西部（Ⅰ22区）に Cb－25、Sb－101南東部（Ｎ20区）に Cb－20、Sb－102の南部（Ⅰ19区）に Cb－23、西寄り（Ｈ18）に Cb－24が分布する。それらは全て被熱石器との関連は認められない。

年代　Cb－20には14,140±110yBP（Beta－112909・SHIRA－37)、13,910±80yBP（Beta－186200・SHIRA－115)、Cb－23(3)には15,890±90yBP (Beta－150448・SHIRA－81)、15,590±130yBP (Beta－150449・SHIRA－82)、Cb－24(1)には15,950±110yBP（Beta－150451・SHIRA－84)、Cb－24(2)には15,450±90yBP（Beta－150450・SHIRA－83)、Cb－25（Ⅰ22－２）には13,630±40yBP（Beta－150452・SHIRA－85)、Cb－25（Ⅰ22－３）には13,730±80yBP (Beta－150453・SHIRA－86)、Cb－26（Ⅰ24－10）には13,730±90yBP (Beta－150455・SHIRA－88)、Cb－26（Ⅰ24－14）には13,730

±80yBP（Beta－150454・SHIRA－87）の放射性炭素年代測定値が得られている。これらの年代値は13,600～14,200、15,400～15,900年に分かれる。Ⅰ区の幅広有舌尖頭器を含む石器群で可能性を示した13,600～14,200年をその石器群に採用した場合、15,400～15,900年が残り、その年代値との関連の可能性が考えられる。しかし、①被熱石器との関連が見られないこと、②G区の舟底形石器石器群で可能性のある年代として考えた18,000年と整合しないこと、③13,600～14,200年が幅広有舌尖頭器石器群に対応する根拠も弱いため、現段階では不明である。

水和層年代測定ではSb－101出土のつまみ付きナイフに18,909±869（H171）の結果が得られており、旧石器時代の遺物であると考えられる。（鈴木宏行）

（5）K区・石器ブロック108～111（Sb－108～111）

石器群　小型舟底形石器を含む石器群が認められる。

石器・石材組成（図Ⅷ－22上段）　点取り遺物3,383点、32,904.8gの石器類が出土した。定形的な石器は尖頭器（Ⅰ・Ⅱ類）・尖頭器削片・両面調整石器・彫器（Ⅰ・Ⅱ類）・掻器・削器・舟底形石器（Ⅰa・Ⅱa・Ⅱb類）・石刃・縦長剥片・石刃核・石核である。石材は黒曜石4（43.0%）が最も多く、以下、黒曜石1（41.6%）、黒曜石5（8.0%）、黒曜石2（3.7%）黒曜石3（3.5%）、安山岩（0.06%）、頁岩（0.06%）、めのう（0.06%）である。西地区では最も小規模な区域である。

小型舟底形石器を含む石器群（図Ⅴ－10・31）

石器製作技術　尖頭器製作技術と石刃剥離技術を含む剥片剥離技術に分けられる。

＜尖頭器製作技術＞　母岩1198・接合4773（図Ⅴ－31）は、長さ30cm、幅15cm、厚さ10cm程度の角礫が利用され、原石ないしそれに近い形状で搬入される。遺跡内では、打面の大きい粗い剥離が行われた後、打面の小さい平坦剥離に変化している。尖頭器は25cmを超える大型品（図Ⅴ－31－4・5）が含まれるが、調整剥離によって折損している。また、平坦剥離と縁辺部の平行剥離面で構成される細長いものが含まれる。これらの多くは尖頭器の状態で搬入されたと思われる。

＜剥片剥離技術＞　石刃剥離技術と剥片剥離技術に分けられる。

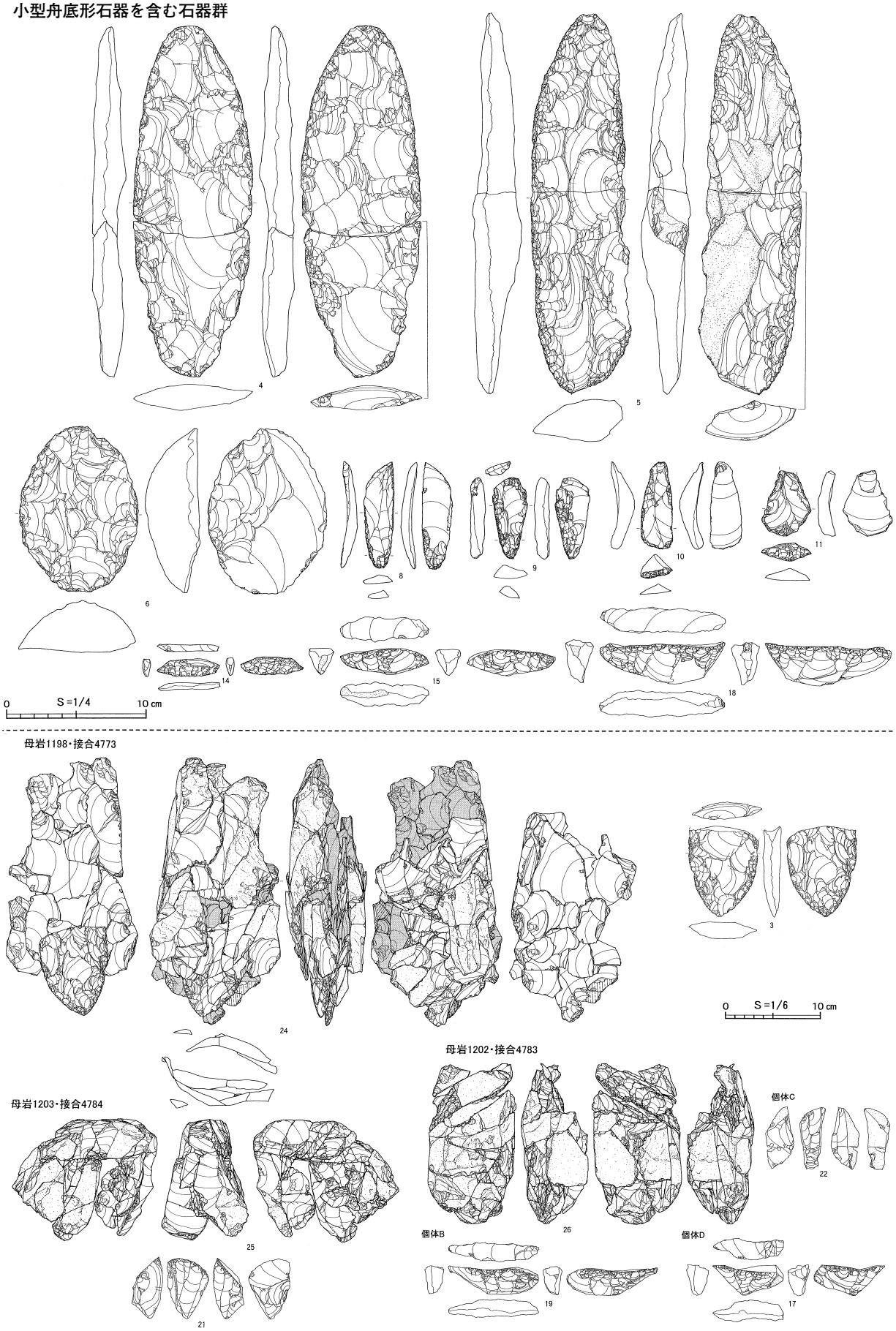
石刃剥離には長さ15～20cm、幅10～13cm、厚さ9cm程度の亜角礫が利用され、原石ないし原石に近い形状で搬入される。粗い剥離による石核調整後、単剥離打面が作出され、頭部調整を伴う石刃剥離が行われる（図Ⅴ－31－母岩1203・接合4784）。石刃は長さ6～11cm程度のものが剥離され、ほとんどが搬出されている。

剥片剥離には長さ9～18cm、幅8～10cm、厚さ7～10cmの亜角礫を主体として角礫・転礫が利用され､原石ないし原石に近い状態で搬入されている｡打面と作業面を入れ替えながら粗い剥離によって厚手の剥片が剥離されるもの（図Ⅴ－31－母岩1202・接合4784）が多く、それらの多くは舟底形石器の素材となっている。

＜二次加工技術＞　彫器はⅠ（図Ⅴ－31－8）・Ⅱ類（図Ⅴ－31－9）があり、Ⅰ類は斜刃である。両者とも石刃素材で周縁加工は両面に施される。

掻器は石刃素材（図Ⅴ－31－10）と剥片素材（図Ⅴ－31－11）があり、石刃素材は両側縁に加工があり、刃部は弧状である。剥片素材は所山産の黒曜石製で、稜線は潰れ、表面は傷が多く、二次加工面にはそれが認められない多段階表面変化の特徴が見られる。

削器は石刃素材と剥片素材があり、石刃素材には細かい加工が施され、剥片素材には舟底形石器の調整に似た粗い加工が施される。石刃素材の1点は所山産で稜線の潰れと表面の傷が確認できる。



図Ⅴ－31　K区（Sb-108～111）石器組成図・母岩別資料

舟底形石器はⅠａ（図Ⅴ－31－14）・Ⅱａ類（図Ⅴ－31－15・18）がある。Ⅰａ類は尖頭器削片素材で、細石刃状剥離は見られない。Ⅱａ類は剥片・石核が素材で剥片素材が主体を占める。加工は主に甲板面から行われ、素材長軸と石器長軸は一致する。

石材消費　尖頭器製作には角礫が利用され、大型尖頭器、原石ないし原石に近い形状で搬入され、加工後、搬出される。石刃剥離には亜角礫、剥片剥離には亜角礫を主体として角礫・転礫が利用され、両者とも原石ないし原石に近い形状で搬入される。石刃・剥片剥離後、石刃・舟底形石器Ⅱａ類が搬出される。他の区域の同一石器群と比較して尖頭器製作、石刃・剥片剥離頻度が低く、主に舟底形石器Ⅱａ類が製作されている。Sb－109出土の掻器（X183）、削器（X187）は所山産と判定され、掻器には多段階表面変化が、削器には稜線の潰れと表面の傷が観察される。Sb－110出土の小型尖頭器（H173）は赤石山産と判定されている。

分布　Ｇ～Ⅰ区と異なり、小型舟底形石器を含む石器群のみの小規模な区域である（図Ⅴ－10）。Sb－109・110にやや規模の大きい集中域があり、それらに舟底形石器が分布し、その他は、小規模な尖頭器調整剥片の集中域である。

接合資料はブロック内で収束し、接合資料分布は傾斜方向に線状に伸びている。

炭化木片ブロックは、Cb－22がSb－110の東寄り（Ｏ６区）に分布し、少量の被熱石器と重複している。

年代　Cb－22(1)には15,790±110yBP(Beta－126163・SHIRA－52)、15,980±90yBP(Beta－186201・SHIRA－116）の放射性炭素年代測定値が得られている。15,700～16,000年の値はＪ区の小型舟底形石器石器群でも得られた年代値であるが、Ｊ区では石器群と炭化木片ブロックの関係は不明である。ここでは被熱石器との重複が認められるが、Ⅰ区での年代値と一致していない。今後、被熱石器と分布パターンや遺跡形成過程を含めて検討して行きたい。

水和層年代測定では、Sb－110出土の尖頭器に20,230±679（H173）の結果が得られていが、年代値としては古く、採用は困難である。　（鈴木宏行）

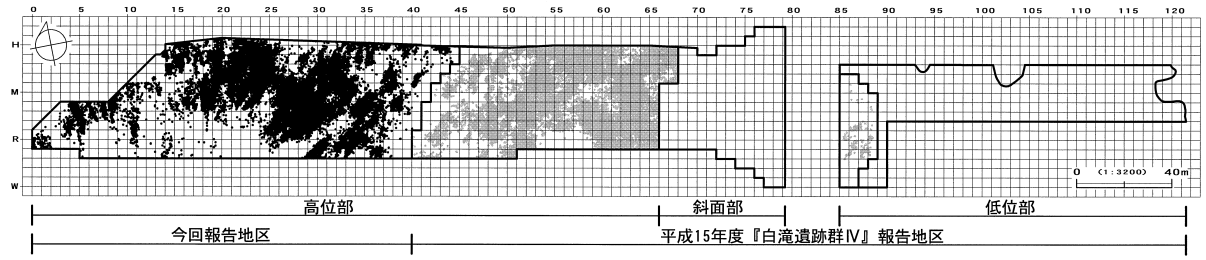
3　上白滝８遺跡の総括

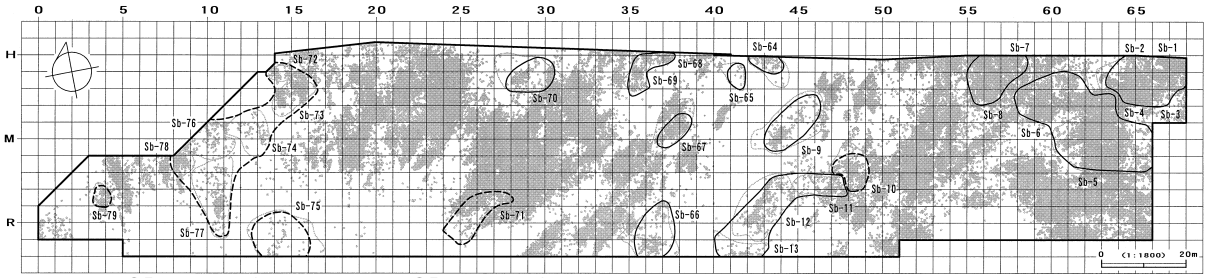
本遺跡では総点数1,354,567点（点取り216,346点）、総重量3,499,923.0gもの大量の石器類が出土したため、高位部中央やや東寄りの小沢が入る空白地帯を境に、東地区『白滝遺跡群Ⅳ』と西地区『白滝遺跡群Ⅵ』に分けて報告を行った。ここでは、両者を合わせて遺跡全体を概観する。

上白滝８遺跡は北海道の北東部の白滝村上白滝地区に位置し、黒曜石の原石山として知られる赤石山の南麓、湧別川と八号沢川の合流点から約1.1km下流の湧別川右岸段丘上に立地する。本合流点付近は白滝第13地点遺跡をはじめ、服部台、服部台２、白滝第32・33地点、奥白滝１遺跡など大規模な遺跡が集中し、白滝遺跡群の中でも中核をなしている。

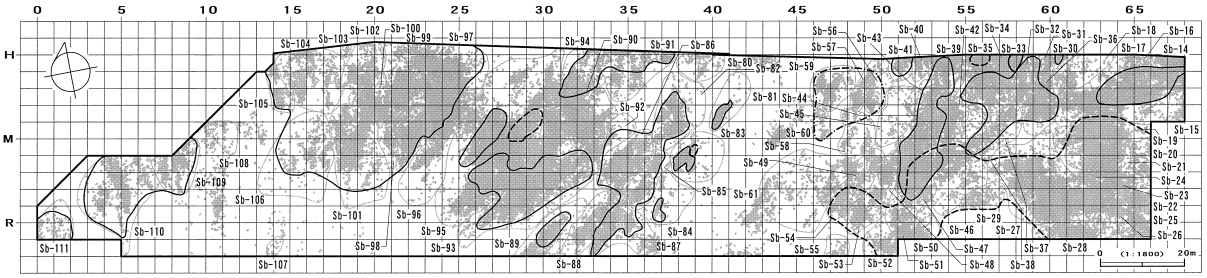
発掘調査は、高規格道路建設に伴って平成７～10・12年に行われ、当センターが調査した本地域の遺跡の中で最多の遺物が出土した。調査区は高位部・斜面部・低位部に分けられ、高位部は上白滝面、低位部は東白滝面に対比される。基本土層はⅠ層：表土、Ⅱａ層：褐色粘質土、Ⅱｂ層：灰白色～青灰白色粘質土、Ⅱｃ層：赤褐色～灰褐色砂質土、Ⅲ層：赤褐色～褐色砂質土層である。遺物はⅠ・Ⅱａ層に主体的に含まれ、Ⅱａ層が本来の包含層であったと考えられる。Ⅱｃ層には大雪御鉢平軽石(Ds－Oh）が含まれており、石器群の上限を設定している。

確認された遺構は炭化木片ブロックのみで、28か所確認されている。出土している遺物は全て石器

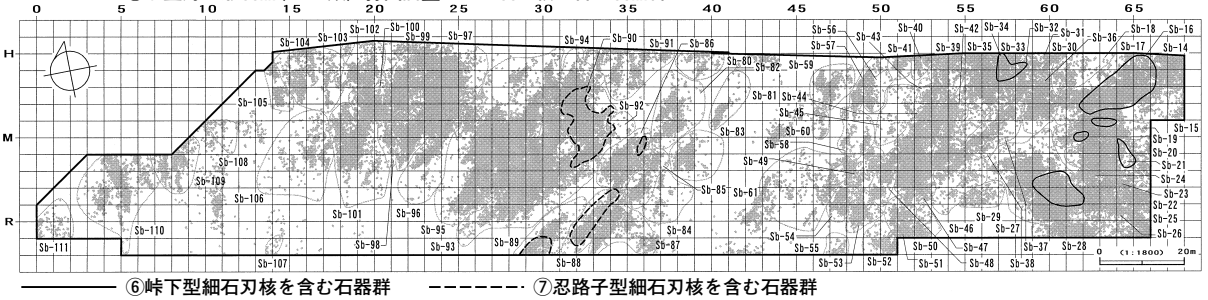




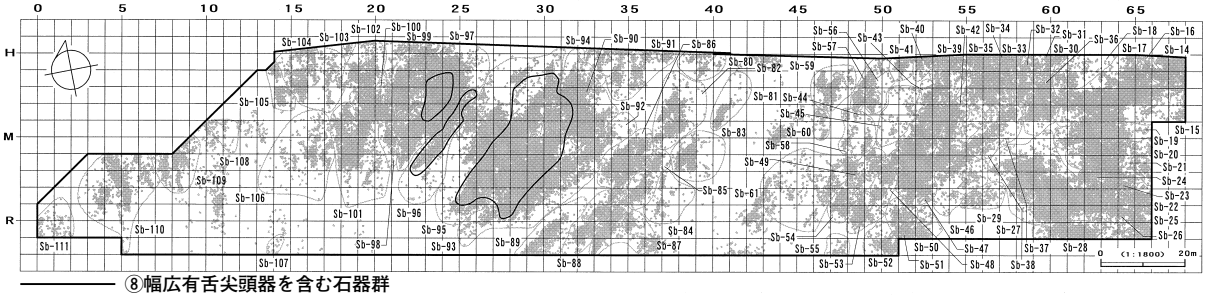
①「白滝Ⅰａ群」　②「白滝Ⅰｂ群」



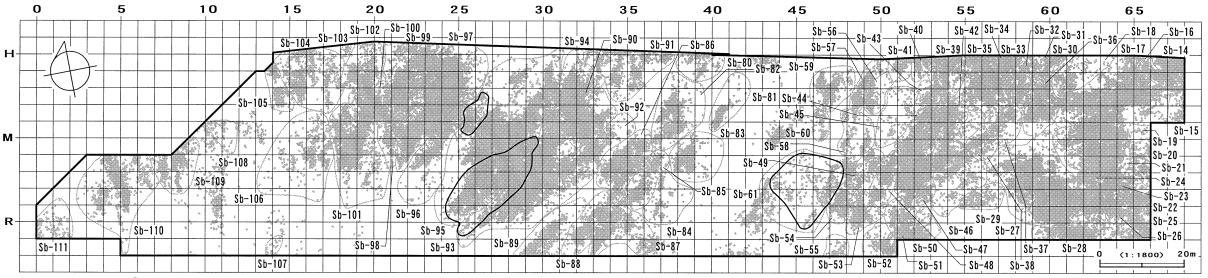
③小型舟底形石器(Ⅰａ類)を含む石器群　④大型石刃・大型舟底形石器を含む石器群
⑤小型舟底形石器(Ⅰｂ類)・打面調整のある石刃核を含む石器群



⑥峠下型細石刃核を含む石器群　⑦忍路子型細石刃核を含む石器群



⑧幅広有舌尖頭器を含む石器群



⑨広郷型ナイフ形石器を含む石器群

＊ドットは全遺物、Sbは「白滝Ⅰ群」、「白滝Ⅰ群以外」で表示

図Ⅴ－32　上白滝8遺跡石器群分布図

類（そのうち99％以上が黒曜石製）で、定形的な石器は、有舌尖頭器・尖頭器・尖頭器削片・両面調整石器、ナイフ形石器、彫器、彫器削片、掻器、削器、錐形石器、舟底形石器、細石刃、細石刃核、細石刃核削片、石刃、石刃核、斧形石器、台石、敲石などが出土し、加工のある遺物は全体の１％以下である。遺跡で行われた石器製作活動を具体的に明らかにするために接合作業を行った結果、62,117点が接合し、740母岩（43,133点）が抽出された。

遺物分布は広範囲に連続し、巨視的に見ると直径50m 規模の集中域とみなせる場所が東西地区で確認される。その集中域には複数の石器群が重複し、複雑な状況を示している（図Ⅴ－32）。技術的特徴から剥片単位でも分離可能な「白滝Ⅰ群」については、分布からブロックを分離し、Sb－１～13、64～79を設定し、さらに単体石器・接合資料の分布から「白滝Ⅰａ群」に分類される Sb－１～３、Sb－４～６、Sb－７・８、Sb－９、Sb－11～13、Sb－64～70、「白滝Ⅰｂ類」に分類される Sb－10、Sb－71、Sb－72～79の石器ブロック群に分けた。また、「白滝Ⅰ群」以外については複数の石器群が重複しているため、分布状況から石器ブロックを分離し、単体石器・接合資料からおおよそのまとまりである「区域」（Ａ～Ｋ区）に分離した。東西地区とも「区域」を単位として報告し、西地区についてはⅤ章２で石器群単位に分離した。ここでは、「区域」単位の分析を経て、可能な限り石器群の分布範囲の抽出を試み、東地区を合わせて、大きく図Ⅴ－32のように分けた。

石器群は高位部全体で、①「白滝Ⅰａ群」、②「白滝Ⅰｂ群」、③小型舟底形石器（舟底形石器Ⅰａ類）を含む石器群、④大型石刃・大型舟底形石器を含む石器群、⑤小型舟底形石器（舟底形石器Ⅰｂ類）・打面調整のある石刃核を含む石器群、⑥峠下型細石刃核を含む石器群、⑦忍路子型細石刃核を含む石器群、⑧幅広有舌尖頭器を含む石器群、⑨広郷型ナイフ形石器を含む石器群に分けられる。これら以外に、単体の有舌尖頭器が１点出土し、打面調整のある石刃技法がスポット的に分布しており、幅広ではない有舌尖頭器石器群が含まれる可能性もある。また、東地区では③と④に属すると考えられる大型尖頭器が連続的に分布し、それらの分離を困難にしている。石器群に帰属が不明な接合資料も存在し、完全に分離できない部分もある。⑤については③と分離できるかどうか不明であるが、地点が異なるためここでは分離した。

①には裏面微細加工石器、基部平坦加工石器の小型の石器が含まれ、一部大型の角礫素材のものが混じる。②には多くの掻器の他、台形石器などのやや大型の石器が含まれる。③には舟底形石器Ⅰａ類の他、大型尖頭器（尖頭器Ⅰ類の大型品）、削片剥離の行われた尖頭器（尖頭器Ⅱ類）、周縁加工彫器（彫器Ⅰ・Ⅱ類）、周縁加工掻器、舟底形石器Ⅱａ類、単剥離打面の石刃核が含まれる。④には単剥離打面を持つ大型石刃・舟底形石器Ⅱｂ・ｃ類の他、大型尖頭器（尖頭器Ⅰ類の大型品）が含まれる。⑤には舟底形石器Ⅰｂ類の他、尖頭器、舟底形石器Ⅱｂ・ｃ類、打面調整のある石刃核が含まれる。⑥には峠下型細石刃核の他、その素材を剥離した単剥離打面石刃核・円盤状石核が含まれる。⑦には忍路子型細石刃核の他、打面調整を伴う大型石刃、側縁加工がほとんど行われない刃部周辺にパンチ痕のある掻器が含まれ、接合資料には石器本体の無い50cm を超える尖頭器製作の資料がある。⑧には幅広の尖頭器Ⅲ類・彫器Ⅲ類が含まれ、尖頭器は剥片ないし石核素材で、通常の有舌尖頭器に比べ幅広である。また、尖頭器製作技術には縦方向の剥離によって器体を薄くするものがある。⑨には広郷型ナイフ形石器の他、彫器Ⅲ類が含まれ、単剥離打面の石刃技法が伴い、頭部調整は比較的軽い。

斜面部には峠下型細石刃核、幌加型細石刃核、蘭越型類似細石刃核、美利河型類似細石刃核が、低位部には縄文時代に属すると考えられる石器群が分布する。石器群の詳細についてはⅤ章１・２、『白滝遺跡群Ⅳ』（Ⅷ章１・２）、（鈴木　2004）を参照してもらいたい。

石器群の分布は、①が東地区の東西縁部、西地区の東縁に、②が西地区西側を中心に、一部西地区中央・東地区西側に分布する。③は東西とも最も広い範囲に分布し、量的にも最大である。④は東地区南側を主体として西地区にスポット的に、⑤は東地区西側に、⑥は東地区の東半分にSb－17を主体として①③④に重複して分布する。⑦は西地区の東寄りに③の隙間を埋めるように分布し、⑧は西地区中央に③④⑨と重複して分布する。⑨は東地区西端、西地区中央に位置し、両者に接合関係が認められる。全体的には東地区北東部、西地区中央東寄りに石器群の重複が認められ、重複の多い石器群は①⑥⑧で、重複の少ない石器群は②④⑤⑦である。③⑨は広い範囲に分布し、各石器群との重複が認められるが両者の重複は少ない。このような分布パターンの違いについては今後検討していきたい。

いずれにしても、このように多数の石器群が分布する状況は、何度も本遺跡が利用されたことを示すものであり、原産地遺跡の中でも最大規模の本遺跡が繰り返しの利用によって形成されたことを示している。

平成７年の発掘調査以来、他の遺跡の整理・報告と並行しながらも10年の歳月をかけて整理を行ってきた。これまで、本遺跡に匹敵する規模の原産地遺跡における調査は皆無で、その整理には多大な労力を必要とした。最終的には、おおよその石器群に分けることができ、原産地遺跡の中でも最大規模の遺跡の実態把握に一歩近づけたと思われる。しかしながら、それでもなお、遺跡の全容を十分に解明できたとは言いがたい。原産地遺跡で行われた作業は石材消費戦略の中で非常に重要な位置づけがなされ、当時の行動論的理解においても重要な情報を提供する。そのため、今後も石器群の分類の妥当性やその構成、接合資料を基にした遺跡の形成過程などを辛抱強く検討していく必要がある。

（鈴木宏行）

引用文献

出穂雅実・赤井文人　2005　「北海道の旧石器編年　－遺跡形成過程論とジオアーケオロジーの適応－」『旧石器研究』第１号　日本旧石器学会

大場利夫・近堂祐弘・久保勝範・宮　宏明　1984　「北上台地遺跡発掘調査報告」『北見郷土博物館紀要』第14集　北見市北見郷土博物館

加藤晋平・山田昌久編　1988　「北海道河東郡上士幌町嶋木遺跡の石器文化　－北海道最古の石器群の発掘調査報告－」『歴史人類』筑波大学歴史・人類学系紀要第16号

北沢　実・笹島香織・西沢千鶴・藁科哲男・三野紀雄・花岡正光　2004　『帯広・若葉の森遺跡』帯広市埋蔵文化財調査報告第24冊　帯広市教育委員会

木村英明　2003　『白滝幌加沢遺跡遠間地点と黒曜石原産地［第九次調査概報］』札幌大学埋蔵文化財展示室

坂本尚史・長沼　孝・直江康雄・鈴木宏行　2000　『白滝遺跡群Ⅰ』(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告書第140集　(財)北海道埋蔵文化財センター

坂本尚史　2003　「広郷型ナイフ形石器を伴う石器群への一理解」『古代文化』第55巻第４号

佐藤宏之　2003　「北海道の後期旧石器時代前半期の様相」『古代文化』第55巻第４号

札幌大学木村英明ゼミナール　1988　「白滝村幌加沢遺跡遠間地点における考古学的調査」『札幌大学教養ゼミナール論集』14

札幌大学木村英明ゼミナール　1989　「白滝村幌加沢遺跡遠間地点における考古学的調査」『札幌大学教養ゼミナール論集』15

札幌大学木村英明ゼミナール　1990　「白滝村幌加沢遺跡遠間地点における考古学的調査」『札幌大学教養ゼミナー

ル論集』16
札幌大学木村英明ゼミナール　1996　「白滝村幌加沢遺跡遠間地点における考古学的調査」『札幌大学教養ゼミナール論集』22
白滝団体研究会　1963　『白滝遺跡の研究』
杉原荘介・戸沢充則　1975　『北海道白滝服部台における細石器文化』明治大学文学部研究報告考古学５　明治大学
鈴木宏行　2002　「Ⅵ章２　上白滝５遺跡について」『白滝遺跡群Ⅲ』(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告書第169集　(財)北海道埋蔵文化財センター
鈴木宏行　2004　「原産地遺跡における細石刃石器群の技術構造」『シンポジウム　日本の細石刃文化Ⅲ』　八ヶ岳旧石器研究グループ
鈴木宏行・直江康雄・長沼　孝　2004　『白滝遺跡群Ⅳ』(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告書第195集　(財)北海道埋蔵文化財センター
鈴木宏行・長沼　孝・越田雅司・直江康雄　2001　『白滝遺跡群Ⅱ』(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告書第154集　(財)北海道埋蔵文化財センター
高橋和樹・鈴木宏行・愛場和人・直江康雄　2003　「北海道白滝遺跡群（旧白滝５遺跡）の調査」　『第17回東北日本の旧石器文化を語る会予稿集』
千葉英一・畑　宏明　1982　『服部台２遺跡・近藤台１遺跡』　白滝村教育委員会
辻　秀子　1973　「北海道上士幌嶋木遺跡の調査報告」『石器時代』10号
寺崎康史　2005　「北海道地方」『公開シンポジウム「旧石器時代の地域編年とその比較」予稿集』　公開シンポジウム実行委員会、東京大学大学院人文社会系研究科考古学研究室
寺崎康史・山原敏朗　1999　「北海道地方」『旧石器考古学』58　旧石器文化談話会
豊原熙司・松村愉文・坂井通子　2003　「湧別川上流域・白滝村出土の土器」『北方探求』５　北方懇話会
直江康雄　2004　「Ⅷ章１　上白滝８遺跡「白滝Ⅰ群」(Sb－１～13）について」『白滝遺跡群Ⅳ』(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告書第195集　(財)北海道埋蔵文化財センター
直江康雄・鈴木宏行・長沼　孝　2002　『白滝遺跡群Ⅲ』(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告書第169集　(財)北海道埋蔵文化財センター
直江康雄・高橋和樹・立田　理・鈴木宏行　2004　『白滝遺跡群Ⅴ』(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告書第210集　(財)北海道埋蔵文化財センター
直江康雄・長崎潤一　2005「北海道後期旧石器時代前半期の石材消費戦略　－白滝Ⅰａ群と祝梅遺跡三角山地点－」『北海道旧石器文化研究』第10号　北海道旧石器文化研究会
中村有吾・平川一臣　1998　「北海道・白滝遺跡周辺のテフラ層序と地形環境」『日本地理学会発表要旨集』54　日本地理学会
中村有吾・平川一臣・長沼　孝　1999　「白滝遺跡と周辺地域のテフラ」『地学雑誌』108－５　東京地学協会
西田　茂・石川　朗・佐藤和雄・谷島由貴　1987　『鷹栖町嵐山２遺跡』(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告書第40集　(財)北海道埋蔵文化財センター
平川一臣・中村有吾・石川　守　2000　「Ⅳ章３　北海道白滝遺跡と周辺地域のテフラ層序と地形環境」『白滝遺跡群Ⅰ』(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告書第140集　(財)北海道埋蔵文化財センター
福井淳一・越田賢一郎　1999　『柏台１遺跡』(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告書第138集　(財)北海道埋蔵文化財センター
北大調査団　1960　「白滝遺跡出土の遺物」『北方文化研究報告』15　北海道大学
(財)北海道埋蔵文化財センター　1996　「上白滝８遺跡」『調査年報』８
(財)北海道埋蔵文化財センター　1997　「上白滝８・２遺跡」『調査年報』９
(財)北海道埋蔵文化財センター　1998　「白滝遺跡群・奥白滝１・上白滝８・２・５・７遺跡」『調査年報』10
(財)北海道埋蔵文化財センター　1999　「白滝遺跡群・服部台２・奥白滝１・上白滝５・６・７・８・北支湧別４遺跡」『調査年報』11

(財)北海道埋蔵文化財センター　2000　「白滝遺跡群・服部台２・奥白滝11遺跡」『調査年報』12
(財)北海道埋蔵文化財センター　2001　「白滝遺跡群・服部台２・奥白滝１・上白滝８・白滝第30地点・白滝８・18遺跡」『調査年報』13
(財)北海道埋蔵文化財センター　2002　「白滝遺跡群・上白滝６・白滝３・下白滝遺跡」『調査年報』14
(財)北海道埋蔵文化財センター　2004　「白滝遺跡群・旧白滝５・旧白滝８・中島遺跡」『調査年報』16
松村愉文　1995　『白滝第４地点・第30地点遺跡』　白滝村教育委員会
松村愉文・瀬下直人　2002　『白滝第４地点』　白滝村教育委員会
松村愉文・瀬下直人　2003　『白滝第30地点』　白滝村教育委員会
松谷純一　1987ａ　『白滝第４地点遺跡』　白滝村教育委員会
松谷純一　1987ｂ　『白滝村の遺跡』　白滝村教育委員会
三野紀雄　2002　「白滝遺跡群の旧石器文化層から検出された炭化材」『白滝遺跡群Ⅲ』　(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告書第169集　(財)北海道埋蔵文化財センター
宗像公司　1999　「白滝村赤石山採集の石器について」『北海道旧石器文化研究』第４号　北海道旧石器文化研究会
山田秀三　1977　「黒曜石のアイヌ地名を尋ねて」『北海道の文化』38　北海道文化財保護協会
山原敏朗　1996　「北海道における細石刃文化以前の石器群について　－十勝地域の恵庭ａ火山灰降下以前の石器群の分析から－」『帯広百年記念館紀要』第14号
吉崎昌一　1959　「北海道白滝村 Loc.30の石器群」『考古学手帖』６
吉崎昌一　1961　「白滝遺跡と北海道の無土器文化」『民族学研究』26－１　民族学研究会
吉崎昌一・横山英介　1974　『祝梅三角山地点』　千歳市教育委員会
米村哲英　1975　「白滝遺跡」『日本の旧石器文化』２　雄山閣
米村哲英　1977　『白滝遺跡－幌加川遺跡・遠間地点』　白滝村教育委員会

The Kami-shirataki 8 Site

Report of the excavations, 1995-1998 and 2000

H. Suzuki

The Kami-shirataki 8 site yielded a total of 1,354,567 artifacts (216,346 piece-mapped), which weigh up to 3,499,923.0g. Because of the large quantity, the publication of the report is divided into two volumes: the one for the eastern area (Suzuki et al. 2004) and the one for the western area (this volume). This summary provides an overview of the whole site including both areas.

The site belongs to the Upper Palaeolithic, and is located in Shirataki village, Monbetsu county, in the northeastern part of Hokkaido. It is situated on the terrace of the Yubetsu River flowing into the southern foothills of Mt. Akaishi, which is famous as an obsidian source. The site is at 1.1km downstream from the confluence of the Yubetsu River and the Hachigozawa River that originates near the mountaintop. Many large Palaeolithic sites such as Hattoridai, Hattoridai 2, Shirataki Locs. 32 and 33 are clustered around the confluence, suggesting that Palaeolithic people visited frequently for the abundant high-quality obsidian resources.

The site has been excavated prior to highway construction in 1995-1998 and 2000, yielding the largest quantity of artifacts among all the 17 sites excavated in Shirataki area by the Hokkaido Archaeological Operations Center for the past ten years. The excavation area of 17,849 m^2 is divided topographically into three areas: higher terrace, slope area and lower terrace. The higher terrace, yielding more than 98% of the artifacts, belongs to Kami-shirataki terrace, and the lower terrace, Higashi-shirataki terrace.

The feature of stratigraphy at the site is described as follows:

Layer I: black humus soil on the surface;

Layer IIa: brown clayish soil;

Layer IIb: light gray or bluish gray clayish soil;

Layer IIc: reddish brown or grayish brown sandy soil;

Layer III: reddish brown or brown sandy soil.

Artifacts were mainly discovered from layer IIa, which indicates that this is the primary cultural horizon. Daisetsu-Ohachidaira tephra (Ds-Oh), dated to 30,000 years ago or older, was identified in layer IIc, indicating that the date of the artifacts is younger than the date of Ds-Oh tephra.

Twenty-eight concentrations of small charcoal pieces were the only recognizable features at the site other than clusters of lithic artifacts. Lithics are the only artifacts unearthed, including points, tanged points, point spalls (facit-like detachments from beveled ends of points), bifaces, burins, burin spalls, endscrapers, sidescrapers, drills, boat-shaped tools, microblades, wedge-shaped microblade cores, spalls of microblade cores (platform preparation flakes of wedge-shaped microblade cores), blades, blade cores, axes, anvil stones, and hammer stones. For the purpose of reconstructing specific tool manufacture activities and patterns of raw material procurement at an obsidian source, we patiently carried out refitting of the artifacts. As a result, we were able to obtain 19,148 refittings composed of 62,117 pieces, and to identify 740 groups of raw materials.

On the basis of these rifittings and retouched tools, more than ten industries were recognized at the site. Industries recognized at the higher terrace are : industry including small flake tools (Shirataki Ia industry) ; industry including flake endscraper (Shirataki Ib industry) ; industry including small boat -shaped tools (Ia type) ; industry including large blades and large boat-shaped tools ; industry including small boat-shaped tools (Ib type) and blade cores with prepared platform ; industry including Togeshita type microblade core ; industry including Osyorokko type microblade core ; industry including wide type tanged points, industry including Hirosato type point.

In addition to the above, an industry including narrow type tanged points appears to have existed at this site, because one narrow type tanged point, as well as some blade cores with prepared platform and refitted pieces, were found in a few spot. In the eastern area, it is difficult to determine which industry large points belong to, because large points possibly belonging to an industry with small boat-shaped tools (Ia type) and to an industry with large blades and large boat-shaped tools are distributed continuously in space. It is also difficult to determine which industry some refitted pieces belong to.

In the slope area Togeshita type microblade cores, Horoka type microblade cores, Rankoshi type-like microblade cores, and Pirika type-like microblade cores were unearthed, and in the lower terrace, the artifacts probably belonging to the Jomon period were recognized.

Through analyses of these conjoined pieces as well as retouched tools, we have analyzed, for each lithic industry, types of artifacts imported to the site, techniques of tool manufacture employed at the site, and possible types of artifacts exported from the site. The details of the analyses are found in chapter VIII-1 and-2 (Suzuki et al. 2004), in chapter V-1 and-2 (this volume), as well as in Suzuki (2004).

The clusters of artifacts are found continuously in a large area, showing a complex spatial distribution. In one case, the distribution of artifacts belonging to different industries overlaps in space, forming a large lithic cluster of about 50 m in the major axis.

The presence of many different industries at this site suggests that the site was formed by numerous visits by Palaeolithic people in different phases, and a large number of refittings obtained suggests that tool manufacture activities were practiced intensively at the site throughout the period.

表1　上白滝8遺跡(2)掲載石器一覧

挿図	図版	番号	器種名	石器ブロック	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	接合番号	備考
Ⅲ-43	61	1	基部平坦加工石器	67	K37		415	25	27	5	3.0	黒曜石1			産地分析 X181
Ⅲ-43	61	2	基部平坦加工石器	64	H42		38	25	(22)	7	(2.6)	黒曜石1			
Ⅲ-43	61	3	裏面微細加工石器		S36	I	6	25	30	6	3.3	黒曜石1	492	364	
Ⅲ-43	61	4	裏面微細加工石器	66	S36		40	27	27	6	3.6	黒曜石1	492	364	
Ⅲ-43	61	5	裏面微細加工石器	70	I28		49	31	34	11	7.8	黒曜石1	675	468	
Ⅲ-43	61	6	裏面微細加工石器	66	S35		23	34	(25)	7	(3.6)	黒曜石1	492	364	
Ⅲ-43	61	7	裏面微細加工石器	68	H37		41	39	39	9	9.8	黒曜石1			
Ⅲ-43	61	8	裏面微細加工石器	64	H42		22	43	34	7	9.1	黒曜石1			
Ⅲ-43	61	9	裏面微細加工石器	66	S35		28	32	21	12	5.3	黒曜石1		377	
Ⅲ-43	61	10	裏面微細加工石器	70	I28		91	34	22	9	4.9	黒曜石1	675	468	
Ⅲ-43	61	11	裏面微細加工石器		S36	I	8	45	24	9	5.9	黒曜石1		377	
Ⅲ-43	61	12	裏面微細加工石器	67	L37		303	(42)	29	10	(12.2)	黒曜石1	490	360	
Ⅲ-43	61	13	裏面微細加工石器	67	L37		406	49	35	12	23.4	黒曜石1	490	360	
Ⅲ-43	61	14	裏面微細加工石器	69	I35		132	54	32	12	11.4	黒曜石1			
Ⅲ-43	61	15	裏面微細加工石器	70	I28		118	78	47	21	64.0	黒曜石1	675	468	
Ⅲ-43	61	16	裏面微細加工石器	68	H36		46	(30)	17	8	(3.1)	黒曜石1			
Ⅲ-43	61	17	裏面微細加工石器	68	H37		43	33	13	8	2.5	黒曜石3	501		
Ⅲ-43	61	18	裏面微細加工石器	68	H36		19	36	20	9	6.3	黒曜石1			
Ⅲ-43	61	19	裏面微細加工石器	66	S35		18	(40)	22	7	(4.6)	黒曜石1	493	365	
Ⅲ-43	61	20	裏面微細加工石器	67	L37 L38		115 6	40	22	6	3.8	黒曜石1	490	360	
Ⅲ-43	61	21	裏面微細加工石器	67	L37 L37		398 418	71	34	9	18.6	黒曜石1	490	360	
Ⅲ-43	61	22	裏面微細加工石器	64	H43		92	(32)	16	11	(4.2)	黒曜石1			
Ⅲ-43	61	23	裏面微細加工石器	66	S36		241	(41)	22	13	(10.8)	安山岩1			
Ⅲ-44	61	24	二次加工ある剥片	70	H29		8	37	40	13	15.9	黒曜石1	675	468	
Ⅲ-44	61	25	二次加工ある剥片	67	L37		150	43	55	13	23.4	黒曜石1	490	360	
Ⅲ-44	61	26	二次加工ある剥片	70	I28		66	23	(22)	5	(2.7)	黒曜石1	675	468	
Ⅲ-44	61	27	二次加工ある剥片	64	H43		30	46	24	9	6.8	黒曜石1		355	
Ⅲ-44	61	28	二次加工ある剥片	70	I28		97	31	48	16	15.1	黒曜石1	675	468	
Ⅲ-44	62	29	二次加工ある剥片		H43	I	3	105	95	35	328.7	黒曜石1	481	353	
Ⅲ-44	62	30	掻器	66	S35		39	114	97	35	330.6	黒曜石1	481	353	
Ⅲ-45	62	31	掻器	70	I28		121	133	125	30	546.5	黒曜石1	490	360	
Ⅲ-45	63	32	錐形石器	64	H43		104	34	34	10	8.3	黒曜石1			
Ⅲ-45	63	33	錐形石器	64	H43		70	56	41	13	34.7	黒曜石1			
Ⅲ-45	63	34	削器	70	I28		131	(42)	38	10	(15.5)	黒曜石1	675	468	
Ⅲ-45	63	35	削器	66	R36		15	59	51	14	38.3	黒曜石1	500	374	
Ⅲ-45	63	36	縦長剥片	67	L38		100	59	23	15	14.2	黒曜石1	490	360	
Ⅲ-45	63	37	石核		R37	I	1	26	36	8	7.6	黒曜石1	490	360	
Ⅲ-45	63	38	石核	70	I28		43	39	33	13	12.4	黒曜石1	675	468	
Ⅲ-45	63	39	石核	69	I35		85	45	65	19	23.0	黒曜石1	504	388	
Ⅲ-45	63	40	石核	64	H43		5	37	50	22	35.3	黒曜石1	487	469	
Ⅲ-46	63	41	石核	64	H43		129	55	70	23	50.9	黒曜石4	482		
Ⅲ-46	63	42	石核	65	H40		10	47	78	26	90.2	黒曜石5	484		
Ⅲ-46	63	43	石核	64	H42		60	48	80	32	95.1	黒曜石1			
Ⅲ-46	63	44	石核	64	H43		21	55	69	29	91.1	黒曜石1	485		
Ⅲ-46	63	45	石核	70	I28		42	62	61	31	83.5	黒曜石1	675	468	
Ⅲ-46	63	46	石核	70	I28		163	68	89	31	203.1	黒曜石2			
Ⅲ-46	64	47	石核		Q37	I	2	105	75	33	309.3	黒曜石1	490	360	
Ⅲ-47	64	48	石核	67	J37		65	107	92	44	323.4	黒曜石1	490	360	
Ⅲ-47	64	49	石核	70	H28		5	158	134	90	1914.8	黒曜石1		397	
Ⅲ-47	65	50	石核	70	I28		187	39	54	62	88.7	黒曜石1	675	468	
Ⅲ-48	65	51	石核	70	H29		19	33	59	42	56.1	黒曜石1	675	468	
Ⅲ-48	65	52	石核	64	H42		10	31	79	58	100.9	黒曜石1			
Ⅲ-48	65	53	石核	70	I28		78	37	74	66	133.6	黒曜石1	675	468	
Ⅲ-48	65	54	石核	65	I40		1	31	87	94	157.5	黒曜石5			
Ⅲ-48	65	55	石核	66	S36		222	35	25	27	25.9	黒曜石1	490	360	
Ⅲ-49	65	56	石核	70	I28		50	70	61	26	74.0	黒曜石1	675	468	
Ⅲ-49	65	57	石核	64	H43		55	49	41	20	49.4	黒曜石1			
Ⅲ-49	65	58	石核	67	L37		332	87	83	41	321.6	黒曜石1	489	359	
Ⅲ-49	65	59	石核	70	I28		32	24	33	19	12.6	黒曜石1	675	468	
Ⅲ-49	65	60	石核	66	S35		20	36	36	26	30.1	黒曜石1	492	364	
Ⅲ-49	65	61	石核	66	R36		3	32	47	30	65.0	黒曜石1	493	365	
Ⅲ-50	65	62	石核	66	S36		24	32	54	37	66.4	黒曜石1	497	370	

挿図	図版	番号	器種名	石器ブロック	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	接合番号	備考
					S36		29								
					S36		82								
					S36		183								
Ⅲ-50	65	63	石核	66	S36		135	36	67	31	66.7	黒曜石1	497	370	
Ⅲ-50	65	64	石核	67	L37		293	63	51	55	134.0	黒曜石1	490	360	
Ⅲ-50	66	65	石核	66	S36		252	82	73	50	258.1	黒曜石1	500	374	
					S36		255								
Ⅲ-51	66	66	石核	69	I35		67	70	80	71	343.0	黒曜石1	504	388	
Ⅲ-51	66	67	石核	67	L36		103	61	90	48	264.9	黒曜石1	488	358	
Ⅲ-52	66	68	石核	67	L37		423	72	91	76	448.2	黒曜石1	488	358	
Ⅲ-52	66	69	石核	66	S36		182	69	89	60	493.3	黒曜石1	499	373	
Ⅲ-52	66	70	石核	66	S36		143	80	105	54	459.4	黒曜石1	499	373	
Ⅲ-72	76	1	二次加工ある剥片	71	R24		2	64	33	15	20.6	黒曜石1		399	
Ⅲ-72	76	2	二次加工ある剥片	71	Q24		1	75	65	19	83.2	黒曜石2	509	398	
					R25		26								
Ⅲ-72	76	3	二次加工ある剥片	71	P25		147	72	72	24	114.1	黒曜石2	509	398	
Ⅲ-72	76	4	掻器	71	P27		413	104	72	21	159.0	黒曜石1			
Ⅲ-72	76	5	石核	71	R25		33	51	62	45	100.9	黒曜石2	509	398	
Ⅲ-76	77	1	台形石器		L11	I	1	65	53	12	25.4	黒曜石1			
Ⅲ-76	77	2	台形石器	77	Q10		11	(54)	32	11	(15.7)	黒曜石5	517		
Ⅲ-76	77	3	二次加工ある剥片	76	M10		32	52	55	21	53.0	黒曜石1	543	457	
Ⅲ-76	77	4	二次加工ある剥片	79	P03		63	40	57	13	26.4	黒曜石1			
Ⅲ-76	77	5	二次加工ある剥片	76	M09		1	60	46	7	13.8	黒曜石5			
Ⅲ-76	77	6	二次加工ある剥片	74	L11		14	105	57	24	121.3	黒曜石5			
Ⅲ-76	77	7	二次加工ある剥片	76	L10		29	(28)	25	10	(7.3)	黒曜石1			
Ⅲ-76	77	8	掻器	77	O10		1	43	27	18	17.5	黒曜石3	525		
Ⅲ-76	77	9	掻器	77	Q10		55	51	30	11	16.3	黒曜石5			
Ⅲ-76	77	10	掻器	78	N08		32	53	37	10	19.9	黒曜石5	533	436	
Ⅲ-76	77	11	掻器	76	L10		39	53	35	16	32.1	黒曜石5			産地分析 X179
Ⅲ-76	77	12	掻器	74	L13		5	59	44	13	37.8	黒曜石5	518	411	
Ⅲ-77	77	13	掻器	73	I14		135	76	44	18	74.3	珪岩	544		
Ⅲ-77	77	14	掻器	77	N10		18	83	46	18	72.1	黒曜石5		444	
Ⅲ-77	77	15	掻器	74	L12		21	88	66	25	94.1	黒曜石5			産地分析 X180
Ⅲ-77	78	16	掻器	74	L11		29	100	59	35	151.4	黒曜石5	517	409	
Ⅲ-77	78	17	掻器	77	P10		95	117	79	18	201.7	黒曜石1	520		水和層 W９
Ⅲ-78	78	18	掻器	77	R10		17	123	81	29	279.7	黒曜石1	532	432	
					R11		3								水和層 W10
Ⅲ-78	78	19	掻器	74	L13		10	65	41	17	38.0	黒曜石5	515	407	
Ⅲ-78	78	20	掻器	74	K12		5	67	44	14	34.2	黒曜石4			
Ⅲ-78	78	21	掻器	78	N08		109	74	47	8	20.8	黒曜石1	533	50987	
					N08		356								
Ⅲ-78	78	22	掻器	73	K14		1	69	52	11	35.2	黒曜石1	512		産地分析 X177
Ⅲ-78	78	23	掻器	77	P10		57	(49)	79	13	(45.5)	黒曜石5		50809	
					P10		60								
					Q10		71								
Ⅲ-79	78	24	掻器	77	N10		1	73	57	16	69.7	黒曜石1			産地分析 X178
Ⅲ-79	79	25	掻器	77	P10		44	80	56	13	46.1	黒曜石5	533	436	
Ⅲ-79	79	26	掻器	74	M13		10	44	45	17	29.5	めのう			
Ⅲ-79	79	27	掻器	77	R10		2	45	(51)	24	(52.2)	黒曜石3	525	423	
Ⅲ-79	79	28	掻器	77	Q10		16	70	64	16	62.8	黒曜石3	525	423	
Ⅲ-79	79	29	掻器	77	N10		17	80	74	22	116.5	黒曜石5	516	408	
Ⅲ-79	79	30	掻器		I14	I	1	67	70	19	72.3	黒曜石1			
Ⅲ-80	79	31	掻器	77	P10		8	52	(65)	14	(47.6)	黒曜石5	533	436	
Ⅲ-80	79	32	掻器	73	J14		221	74	(81)	24	(83.7)	黒曜石1			
Ⅲ-80	79	33	掻器	73	J14		71	116	79	21	131.8	黒曜石1			
Ⅲ-80	79	34	掻器	78	N08		215	75	45	19	74.0	黒曜石5	533	436	
Ⅲ-80	80	35	掻器	77	P10		85	78	62	18	78.1	黒曜石1			
Ⅲ-80	80	36	掻器	77	Q10		44	74	61	19	69.9	黒曜石1	532	432	
Ⅲ-81	80	37	掻器	78	N08		52	78	70	24	106.3	黒曜石5	517	409	
Ⅲ-81	80	38	掻器	77	Q10		72	84	60	16	64.2	黒曜石5			
Ⅲ-81	80	39	掻器		N08	I	1	85	57	19	95.6	黒曜石1	514	406	
Ⅲ-81	80	40	掻器	78	N08		55	(89)	106	17	(118.8)	黒曜石1	532	50805	
					N08		159								
					N08		351								
Ⅲ-81	80	41	掻器	77	P10		105	100	80	25	146.5	黒曜石1			

挿図	図版	番号	器種名	石器ブロック	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	接合番号	備考
Ⅲ-82	80	42	掻器	77	R11		2	109	79	29	190.1	黒曜石4	526	424	
Ⅲ-82	81	43	掻器	74	L12		22	122	90	21	185.1	黒曜石5	516	408	
Ⅲ-82	81	44	掻器	74	L13		12	52	34	11	16.0	黒曜石5	515	407	
Ⅲ-82	81	45	剥片	77	R10		11	68	78	16	63.8	黒曜石1	532	50804	
					R10		13								
			掻器	75	S15		5								
Ⅲ-82	81	46	掻器		S13	Ⅰ	1	84	50	10	36.1	黒曜石1			
Ⅲ-82	81	47	掻器	77	Q10		14	75	52	13	40.8	黒曜石3	526		
Ⅲ-82	81	48	掻器	78	N08		41	84	35	11	22.4	黒曜石5	533	436	
					N08		347								
Ⅲ-83	81	49	掻器	77	N11		2	82	67	12	60.2	黒曜石5		444	
Ⅲ-83	81	50	掻器	77	P10		33	93	99	14	77.4	黒曜石1		50808	水和層Ｗ8
					P10		91								
Ⅲ-83	82	51	掻器	73	J14		115	105	83	15	84.4	黒曜石5	533	436	
Ⅲ-83	82	52	掻器	74	L13		1	46	32	13	13.6	黒曜石5	518	410	
Ⅲ-83	82	53	掻器	74	L13		11	49	44	13	19.7	黒曜石5			
Ⅲ-83	82	54	掻器	72	I14		169	82	65	23	85.1	黒曜石1		403	
Ⅲ-83	82	55	掻器	74	L12		30	86	57	15	68.8	黒曜石1	524	422	
Ⅲ-84	82	56	掻器	77	P10		12	94	74	17	74.1	黒曜石5	533	436	
					P11		3								
Ⅲ-84	82	57	掻器	77	O10		13	(83)	76	16	(77.1)	黒曜石1	532	50806	
					O10		17								
					Q10		43								
					Q10		69								
Ⅲ-84	82	58	掻器	75	S14		7	70	(61)	15	(59.4)	黒曜石1			
Ⅲ-84	82	59	錐形石器	79	P04		48	(23)	22	8	(3.6)	黒曜石1			
Ⅲ-84	82	60	錐形石器	77	P10		21	37	39	12	15.8	黒曜石1			
Ⅲ-84	82	61	錐形石器	74	L12		31	(27)	29	7	(3.9)	黒曜石5			
Ⅲ-84	83	62	削器	77	Q10		39	66	70	24	84.7	黒曜石4			
Ⅲ-84	83	63	削器	76	M10		26	126	97	21	262.6	安山岩1			
Ⅲ-84	83	64	縦長剥片	76	L09		7	(76)	24	14	(23.7)	黒曜石1			
Ⅲ-85	83	65	石核	73	K14		3	69	74	24	96.2	黒曜石5	517		
Ⅲ-85	83	66	石核	77	P10		19	91	120	34	296.4	黒曜石5	533	437	
Ⅲ-85	83	67	石核		R14	Ⅰ	1	57	108	35	187.8	黒曜石1			
Ⅲ-85	84	68	石核		P10	Ⅰ	1	67	109	40	243.3	黒曜石1	532	433	
Ⅲ-85	84	69	石核	77	P10		18	73	133	37	283.6	黒曜石5	531	431	
Ⅲ-86	84	70	石核	77	P10		13	76	86	36	172.2	黒曜石5	529	427	
Ⅲ-86	84	71	石核	77	Q10		52	87	164	39	562.6	黒曜石1	532	432	
Ⅲ-86	85	72	石核		J14	Ⅱ	1	110	220	81	2114.4	黒曜石1			
Ⅲ-87	85	73	石核	77	Q10		51	18	75	23	21.9	黒曜石3			
Ⅲ-87	85	74	石核	77	P10		84	73	117	27	171.2	黒曜石1	532	432	
					R10		12								
Ⅲ-87	85	75	石核	74	L12		3	115	55	31	165.6	黒曜石5	516	408	
					L12		13								
Ⅲ-87	85	76	石核	74	M13		15	65	47	30	94.5	黒曜石3			
Ⅲ-87	86	77	石核	76	M10		19	77	123	61	297.7	黒曜石1	543	457	
Ⅲ-88	86	78	石核	76	M11		7	228	119	80	1770.0	黒曜石1	545	458	
Ⅲ-88	86	79	石核	72	I13		9	74	80	59	359.2	黒曜石1			
Ⅲ-89	87	80	石核	73	K13		2	94	90	57	550.8	黒曜石1		413	
Ⅲ-89	87	81	石核		N10	Ⅰ	1	94	49	34	52.7	黒曜石1	530	430	
Ⅲ-89	87	82	石核	77	Q10		10	39	57	46	101.9	めのう			
Ⅲ-89	87	83	石核	79	P03		112	63	58	49	197.9	黒曜石1	541	453	
Ⅲ-89	87	84	石核	77	P10		17	80	86	65	463.8	黒曜石5	523	420	
Ⅲ-90	87	85	石核	73	I14		41	49	60	43	104.9	黒曜石1		404	
Ⅲ-90	87	86	斧形石器	77	P10		20	67	52	11	50.0	泥岩			
Ⅲ-90	87	87	台石	77	P10		100	(130)	(77)	(51)	(634.8)	安山岩2			
－	88	102	原石		Q10	Ⅱ	3	(25)	(6)	5	(0.8)	黒曜石1			
－	88	103	原石	77	P10		73	(31)	6	3	(0.6)	黒曜石1			
－	88	104	原石		Q10	Ⅱ	1	(31)	9	4	(1.2)	黒曜石1			
－	88	105	原石	77	Q10		3	(38)	10	4	(1.3)	黒曜石1			
－	88	106	原石	77	P10		23	(42)	5	2	(0.6)	黒曜石5			
－	88	107	原石	77	P10		68	(43)	7	5	(1.8)	黒曜石5			
－	88	108	原石	77	P10		52	(49)	7	3	(1.1)	黒曜石5			
－	88	109	原石	77	Q10		46	(53)	11	6	(3.1)	黒曜石1			
－	88	110	原石	77	P10		34	(57)	12	6	(3.1)	黒曜石5			

挿図	図版	番号	器種名	石器ブロック	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	接合番号	備考
－	88	111	原石	77	P10		45	(58)	8	6	(2.5)	黒曜石1			
－	88	112	原石	77	P10		14	(58)	11	5	(2.8)	黒曜石1			
－	88	113	原石	77	O10		25	(83)	17	8	(10.3)	黒曜石1			
－	88	114	原石	77	Q10		20	(113)	20	8	(17.5)	黒曜石1			
－	88	115	原石	77	Q10 Q10		4 6	(126)	13	5	(8.5)	黒曜石1		50815	
Ⅲ-113	94	1	二次加工ある剥片	外	R00		47	70	54	16	53.6	黒曜石3			
Ⅲ-113	94	2	掻器	外	K19		370	66	56	17	43.8	黒曜石5			
Ⅲ-113	94	3	石核	外	R01		18	38	52	13	22.0	黒曜石1			
Ⅲ-114	95	1	尖頭器	85	N36		230	128	62	12	97.6	黒曜石1			
Ⅲ-114	95	2	尖頭器	89	S29 S29		360 485	117	45	16	85.1	黒曜石1		57940	
Ⅲ-114	95	3	尖頭器	89	R29		24	75	41	22	60.0	黒曜石1	637	3014	
Ⅲ-114	95	4	尖頭器	89	S29		470	(26)	(35)	(13)	(10.4)	黒曜石1	637	3013	
Ⅲ-114	95	5	尖頭器	89	R30		499	(31)	(36)	(14)	(14.3)	黒曜石1	637		
Ⅲ-114	95	6	尖頭器		N33	Ⅰ	8	(20)	(15)	(4)	(1.3)	黒曜石1			
Ⅲ-114	95	7	尖頭器	83	M38 N38 N38 N38 N38		38 146 318 728 1070	(142)	(125)	(27)	(444.8)	黒曜石4	551	2807	
Ⅲ-115	95	8	尖頭器	83	N38		420	54	70	17	62.6	黒曜石4	551	2807	
Ⅲ-115	95	9	尖頭器	86	M35		65	89	34	24	106.2	黒曜石4	715	3251	
Ⅲ-115	95	10	尖頭器	86	N35		100	91	40	28	168.1	黒曜石4	715	3251	
Ⅲ-115	95	11	尖頭器	82	J39		3	64	67	25	112.0	黒曜石4	551	2807	
Ⅲ-115	96	12	尖頭器削片	83	N38		506	(51)	11	13	(5.8)	黒曜石4	551	2807	
Ⅲ-115	96	13	尖頭器削片	83	N38		119	(52)	11	13	(4.6)	黒曜石4	551	2807	
Ⅲ-115	96	14	尖頭器削片	83	N38 N38		500 501	84	12	13	8.7	黒曜石4	551	2807	
Ⅲ-115	96	15	尖頭器削片	85	P35		382	(90)	18	28	(39.8)	黒曜石4	715	3251	
Ⅲ-115	96	16	尖頭器削片	85	O35 O35		3 4	(105)	20	21	(22.5)	黒曜石3	715	3251	
Ⅲ-116	96	17	尖頭器削片	85	O35 P35		73 539	(136)	17	17	(22.4)	黒曜石4	715	3251	
Ⅲ-116	96	18	尖頭器削片	85	N36 O35 N36	 Ⅰ	6 167 22	157	23	31	(59.0)	黒曜石4	715	3251	
Ⅲ-116	96	19	尖頭器削片	85	O35 O35	 Ⅰ	179 30	97	26	8	22.4	黒曜石4	715	3251	
Ⅲ-116	96	20	尖頭器削片	83	M38 N38		155 44	104	26	28	52.5	黒曜石4	551	2807	
Ⅲ-116	96	21	尖頭器削片	86	N34 N34 N35		1287 1358 67	(102)	24	24	(30.2)	黒曜石4	715	3251	
Ⅲ-116	96	22	両面調整石器	89	Q31 R30		4 82	87	31	18	31.1	黒曜石4	664	3109	
Ⅲ-116	96	23	ナイフ形石器	83	N39		4	26	29	6	3.0	黒曜石1			
Ⅲ-116	96	24	彫器		L37	Ⅱ	1	38	17	7	5.0	黒曜石1			
Ⅲ-116	96	25	彫器	85	N37		100	42	19	7	6.1	黒曜石4			
Ⅲ-116	96	26	彫器	83	M38		466	48	21	5	5.2	黒曜石1			
Ⅲ-116	96	27	彫器	87	R34		92	49	19	6	4.9	黒曜石1			
Ⅲ-116	96	28	彫器	84	Q35		1	52	20	4	4.5	黒曜石1			
Ⅲ-116	96	29	彫器	85	P35		91	56	15	7	6.5	黒曜石1			
Ⅲ-117	96	30	彫器	88	S31		18	27	15	6	2.8	黒曜石1			
Ⅲ-117	96	31	彫器	82	L37		394	29	15	6	2.2	黒曜石1			
Ⅲ-117	96	32	彫器	82	L37		256	34	15	6	3.5	黒曜石4			
Ⅲ-117	96	33	彫器	83	M38		290	34	17	7	3.9	黒曜石1			
Ⅲ-117	96	34	彫器	82	L37		357	35	18	6	3.5	黒曜石1			
Ⅲ-117	96	35	彫器	87	R34		88	37	19	7	4.6	黒曜石1			
Ⅲ-117	96	36	彫器	82	L37		300	43	21	8	5.8	黒曜石1			
Ⅲ-117	96	37	彫器	87	Q34		92	45	19	4	4.9	黒曜石1			
Ⅲ-117	96	38	彫器	87	R35		5	55	23	8	9.9	黒曜石1			
Ⅲ-117	97	39	彫器	87	Q34 R35		93 4	59	20	6	6.3	黒曜石4		5718	
Ⅲ-117	97	40	彫器	83	M38		459	70	23	8	11.3	黒曜石5	607	2955	

挿図	図版	番号	器種名	石器ブロック	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	接合番号	備考
Ⅲ-117	97	41	彫器	85	N36		85	75	21	13	17.1	頁岩		57941	
					N36		89								
Ⅲ-117	97	42	彫器	89	R30		503	69	22	8	13.8	頁岩			
Ⅲ-117	97	43	彫器	89	S30		63	60	19	6	6.4	黒曜石1			
Ⅲ-117	97	44	彫器	85	N36		95	(94)	40	10	(34.0)	黒曜石4			
Ⅲ-117	97	45	彫器削片		P35	Ⅰ	5	17	6	2	0.3	黒曜石1			
Ⅲ-117	97	46	彫器削片		N38	Ⅱ	1	21	8	3	0.3	黒曜石1			
Ⅲ-117	97	47	彫器削片		N36	Ⅱ	6	(23)	(7)	2	(0.3)	頁岩			
Ⅲ-117	97	48	彫器削片	85	N36		120	22	5	2	0.1	黒曜石4			
Ⅲ-117	97	49	彫器削片		N36	Ⅰ	1	20	5	1	0.2	黒曜石1			
Ⅲ-117	97	50	彫器削片	85	N36		7	23	6	3	0.4	黒曜石1		5710	
Ⅲ-117	97	51	彫器削片		N36	Ⅱ	5	(15)	(6)	2	(0.1)	黒曜石1			
Ⅲ-117	97	52	彫器削片		N36	Ⅰ	2	(18)	(5)	2	(0.2)	黒曜石1		5710	
Ⅲ-117	97	53	彫器削片	85	O36		68	(24)	(6)	3	(0.4)	黒曜石1			
Ⅲ-117	97	54	掻器	87	R35		36	52	19	8	7.9	黒曜石4	651	3048	
Ⅲ-117	97	55	掻器	86	N35		18	69	19	10	15.6	黒曜石5			
Ⅲ-117	97	56	掻器	89	S29		450	53	26	9	10.4	黒曜石1			
Ⅲ-117	97	57	掻器	89	S29		113	47	30	6	8.6	黒曜石1			
Ⅲ-117	97	58	掻器	89	R29		21	55	32	10	14.9	黒曜石1			
Ⅲ-118	97	59	掻器	86	M35		442	61	24	7	9.1	黒曜石5	1221	5719	
Ⅲ-118	97	60	掻器	89	S29		153	97	32	5	16.2	黒曜石1	693	3201	
					S29		294								
					R29	Ⅰ	1								
Ⅲ-118	97	61	掻器	86	M35		1	118	47	13	55.3	黒曜石5			
Ⅲ-118	97	62	掻器	86	M35		14	182	53	17	143.6	黒曜石5	702	3222	
					M35		300								
					M35		550								
Ⅲ-118	97	63	掻器	86	M35		405	200	40	17	107.7	黒曜石5	702	3222	
					M35		502								
Ⅲ-118	98	64	掻器	89	R30		28	101	29	13	33.7	黒曜石1	693	3201	
					S29		222								
Ⅲ-118	98	65	掻器	86	M36		75	(52)	18	8	(7.1)	黒曜石4	1221	5719	
Ⅲ-118	98	66	掻器	86	M35		2	(71)	23	7	(13.1)	黒曜石3	1221	5719	
Ⅲ-118	98	67	掻器	90	J33		24	(102)	20	5	(10.1)	黒曜石5	1221	5719	
				86	M35		462								
					N35		41								
Ⅲ-119	98	68	掻器		M36	Ⅰ	1	(50)	30	8	(11.3)	黒曜石5	1221	5719	
Ⅲ-119	98	69	掻器	86	M35		538	(60)	29	8	(18.1)	黒曜石5	1221	5719	
Ⅲ-119	98	70	掻器	89	S29		424	95	37	11	44.8	黒曜石5			
Ⅲ-119	98	71	掻器	88	R32		116	(103)	32	8	(22.0)	黒曜石1			
Ⅲ-119	98	72	石刃	90	K33		50	(181)	47	9	(67.0)	黒曜石1	701	3220	
			掻器	82	M36		65								
			石刃		K32	Ⅰ	12								
			掻器		M36	Ⅰ	3								
Ⅲ-119	98	73	掻器	83	N38		1	113	62	18	121.1	黒曜石1			
Ⅲ-119	98	74	掻器	88	P33		26	66	46	7	22.6	黒曜石1			
Ⅲ-119	98	75	錐形石器	89	R30		221	53	30	6	8.7	頁岩		5926	
Ⅲ-119	98	76	錐形石器	82	L37		285	72	29	9	18.6	黒曜石4	562	2819	
Ⅲ-119	98	77	錐形石器	84	O36		37	75	16	8	8.2	頁岩			
Ⅲ-119	98	78	錐形石器	85	O35		173	83	25	9	16.9	黒曜石4			
Ⅲ-120	98	79	錐形石器		M37	Ⅰ	1	84	22	7	10.8	黒曜石4	595	2934	
Ⅲ-120	98	80	錐形石器	86	N35		123	100	29	8	18.9	黒曜石5			
Ⅲ-120	99	81	削器		M38	Ⅰ	8	95	28	7	20.7	黒曜石5	586	2903	
Ⅲ-120	99	82	削器	84	Q36		25	99	45	13	44.7	黒曜石3	613	2964	
Ⅲ-120	99	83	削器	81	L40		139	109	32	8	17.8	黒曜石5	586	2903	
				83	N37		102								
					N38		900								
Ⅲ-120	99	84	削器	83	N38		1119	59	26	6	8.1	黒曜石3	576	2879	
Ⅲ-120	99	85	削器	85	P35		607	(45)	23	8	(8.1)	黒曜石1	609	2958	
Ⅲ-120	99	86	削器	83	M38		65	(61)	24	7	(8.7)	黒曜石5	586	2903	
Ⅲ-120	99	87	削器	82	L38		51	(60)	(25)	(6)	(6.8)	黒曜石1	550	2805	
Ⅲ-120	99	88	削器		O36	Ⅰ	2	81	34	10	(25.0)	黒曜石4	715	3251	
					O36	Ⅰ	31								
Ⅲ-120	99	89	削器	84	Q36		9	107	31	10	35.2	黒曜石5			
Ⅲ-120	99	90	削器		M39	Ⅰ	1	131	37	15	82.8	黒曜石5			

挿図	図版	番号	器種名	石器ブロック	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	接合番号	備考
Ⅲ-120	99	91	削器	86	N35		1	116	38	16	64.8	黒曜石5	586	2903	
					N36		115								
Ⅲ-121	99	92	削器	85	P35		1	127	48	10	66.1	黒曜石1		57945	
					P35	Ⅰ	4								
Ⅲ-121	99	93	石刃	84	P37		2	170	29	13	56.8	黒曜石1	610	2959	
			削器		P37	Ⅰ	1								
					P37	Ⅰ	18								
			石刃		P38	Ⅰ	2								
Ⅲ-121	99	94	削器	84	P37		16	116	35	18	64.7	黒曜石1	610	2959	
					P37	Ⅰ	2								
					P37	Ⅰ	3								
Ⅲ-121	99	95	削器	86	N34		400	85	42	22	67.8	黒曜石1	590	2916	
Ⅲ-121	99	96	削器	85	P35		580	78	28	12	25.8	黒曜石4	624	2983	
					P35		589								
Ⅲ-121	100	97	削器	85	P35		2	(85)	37	18	(35.6)	黒曜石4	624	2982	
					P35		167								
					P35		478								
Ⅲ-121	100	98	削器	82	K37		218	88	48	18	74.9	黒曜石4	552	2808	
					K37		358								
Ⅲ-121	100	99	削器	87	R33		316	91	41	19	75.0	黒曜石4	662	3102	
					R33		465								
					S32		273								
Ⅲ-122	100	100	削器	86	M35		76	99	42	23	94.2	黒曜石4	595	2934	
					N34		415								
Ⅲ-122	100	101	削器	86	N34		980	115	50	32	180.5	黒曜石4	592	2925	
					N35		54								
Ⅲ-122	100	102	削器	86	N34		946	115	63	23	146.1	黒曜石4	592	2925	
					N34		1221								
Ⅲ-122	100	103	舟底形石器		P35	Ⅱ	3	10	26	4	1.0	黒曜石4			
Ⅲ-122	100	104	舟底形石器	85	O35		122	10	27	4	1.2	黒曜石4			
Ⅲ-122	100	105	舟底形石器	86	M35		384	10	30	4	1.2	黒曜石4			
Ⅲ-122	100	106	舟底形石器	82	L36		10	13	32	5	1.7	黒曜石1			
Ⅲ-122	100	107	舟底形石器	85	P36		6	13	35	7	2.7	黒曜石5			
Ⅲ-122	100	108	舟底形石器	85	N36		227	13	37	6	2.2	黒曜石4			
Ⅲ-122	100	109	舟底形石器	86	N34		937	25	51	18	19.6	黒曜石4	604	2951	
Ⅲ-122	100	110	舟底形石器	83	N38		498	23	63	15	15.0	黒曜石4			
Ⅲ-122	100	111	舟底形石器	87	R33		595	22	62	16	21.0	黒曜石4			
Ⅲ-122	100	112	舟底形石器	83	N38		725	28	64	13	16.3	黒曜石4			
Ⅲ-123	100	113	舟底形石器	82	K36		39	26	67	20	25.9	黒曜石4	559	2816	
					K37		428								
Ⅲ-123	100	114	舟底形石器	86	N33		129	34	73	20	32.0	黒曜石4	599	2945	
					N35		268								
Ⅲ-123	100	115	舟底形石器	89	R30		404	27	80	19	22.1	黒曜石4	664	3109	
					R30		420								
Ⅲ-123	100	116	舟底形石器	85	P35		464	25	80	19	30.9	黒曜石1	609	2958	
Ⅲ-123	101	117	舟底形石器	86	N34		1186	25	84	22	38.5	黒曜石4	595	2934	
Ⅲ-123	101	118	舟底形石器	85	P35		513	35	80	22	46.2	黒曜石1	609	2958	
Ⅲ-123	101	119	舟底形石器	86	N34		763	33	77	17	35.4	黒曜石4	606	2953	
					N34		1408								
Ⅲ-123	101	120	舟底形石器	86	M35		3	22	92	19	29.5	黒曜石4	602	2948	
					M35		4								
Ⅲ-124	101	121	舟底形石器	86	M35		370	24	115	21	48.5	黒曜石4	599	2945	
					M35		544								
					N35		224								
Ⅲ-124	101	122	舟底形石器	86	N34		430	35	112	24	54.3	黒曜石4	606	2953	
					N34		1302								
Ⅲ-124	101	123	舟底形石器	83	N38		726	27	120	15	36.9	黒曜石3		57935	
					N38		727								
Ⅲ-124	101	124	舟底形石器	86	N35		122	28	119	20	47.8	黒曜石4			
Ⅲ-124	101	125	舟底形石器	89	R30		419	45	117	48	159.7	黒曜石4	722	3268	
					不明		不明								
Ⅲ-125	101	126	舟底形石器	87	R33		114	31	93	34	82.8	黒曜石4	662	3102	
					R33		855								
Ⅲ-125	101	127	舟底形石器	83	N38		1105	44	107	46	179.3	黒曜石4	576	2879	
					M38	Ⅰ	7								

挿図	図版	番号	器種名	石器ブロック	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	接合番号	備考
Ⅲ-125	101	128	舟底形石器	85	N36		94	23	58	15	15.0	黒曜石1			
Ⅲ-125	101	129	舟底形石器	85	O36		65	28	76	19	32.2	黒曜石4	624	2983	
Ⅲ-125	102	130	舟底形石器	82	L37		67	31	77	18	32.4	黒曜石4	563	2820	
Ⅲ-125	102	131	舟底形石器	87	S33		43	24	83	21	36.3	黒曜石4	662	3102	
Ⅲ-126	102	132	舟底形石器	86	N35		95	37	89	39	66.0	黒曜石4	591	2924	
					N35		136								
Ⅲ-126	102	133	舟底形石器	82	L37		157	33	101	12	30.4	黒曜石4	551	2807	
					L37	Ⅱ	29								
Ⅲ-126	102	134	舟底形石器	82	L37		205	44	(103)	17	(67.5)	黒曜石4	551	2807	
					L37		283								
Ⅲ-126	102	135	舟底形石器	83	M38		5	45	174	21	138.4	黒曜石1		57934	
					N38		668								
Ⅲ-127	102	136	舟底形石器	82	K37		718	22	57	16	18.3	黒曜石3			
Ⅲ-127	102	137	舟底形石器	86	N34		95	(13)	(29)	(17)	(4.6)	黒曜石4	593	2927	
Ⅲ-127	102	138	舟底形石器	82	L36		80	(19)	(32)	(23)	(14.1)	黒曜石1	550	2805	
Ⅲ-127	102	139	舟底形石器	82	L37		227	(23)	(57)	(23)	(28.7)	黒曜石1	550	2805	
					L37		331								
					L37		393								
					L37	Ⅱ	24								
Ⅲ-127	102	140	舟底形石器	86	M34		27	(19)	(29)	(22)	(9.4)	黒曜石1	590	2916	
Ⅲ-127	102	141	舟底形石器	88	S31		4	24	(56)	35	(34.7)	黒曜石4	887	3883	
Ⅲ-127	102	142	舟底形石器	86	N35		96	28	(72)	33	(57.0)	黒曜石4	595	2934	
Ⅲ-127	102	143	舟底形石器	87	S33		443	(29)	(39)	18	(18.5)	黒曜石4	662	3102	
Ⅲ-127	102	144	舟底形石器	87	Q34		149	26	80	28	49.7	黒曜石4	652	3050	
					R33		782								
Ⅲ-127	102	145	舟底形石器		P35	Ⅰ	2	21	66	14	16.5	黒曜石4	652	3050	
Ⅲ-128	103	146	石刃核		O36	Ⅰ	3	45	34	23	38.5	黒曜石4	627	2986	
Ⅲ-128	103	147	石刃核	87	R35		2	55	42	44	76.9	黒曜石4	626	2985	
Ⅲ-128	103	148	石刃核	85	O35		61	54	33	24	39.6	黒曜石4	617	2974	
Ⅲ-128	103	149	石刃核		Q30	Ⅰ	1	48	53	22	68.0	黒曜石4	856	3781	
Ⅲ-128	103	150	石刃核		O36	Ⅰ	4	62	54	30	99.8	黒曜石1	609	2958	
Ⅲ-128	103	151	石刃核	82	L37		22	66	48	23	75.3	黒曜石1	550	2805	
Ⅲ-128	103	152	石刃核	82	K37		7	71	61	34	126.9	黒曜石4	552	2808	
Ⅲ-128	103	153	石刃核	86	N34		1013	75	54	29	114.0	黒曜石4	606	2953	
Ⅲ-128	103	154	石刃核	83	M38		148	80	61	33	(120.0)	黒曜石5	586	2903	
					M38		455								
					N38		525								
					N38		617								
					N38		848								
Ⅲ-128	103	155	石刃核	87	R33		1190	84	63	34	148.3	黒曜石1	638	3016	
Ⅲ-128	103	156	石刃核	86	N34		581	73	55	36	171.5	黒曜石1	590	2916	
Ⅲ-129	103	157	石刃核	86	N34		1030	74	63	48	239.0	黒曜石1	590	2916	
Ⅲ-129	104	158	石刃核	82	K36		173	70	81	48	239.4	黒曜石4	568	2853	
Ⅲ-129	104	159	石刃核	86	N34		920	58	71	46	231.7	黒曜石1	590	2916	
Ⅲ-129	104	160	石刃核	86	N35		249	101	108	39	396.0	黒曜石1	589	2915	
Ⅲ-129	104	161	石刃核		M38	Ⅰ	5	95	122	79	834.9	黒曜石1	575	2878	
Ⅲ-130	104	162	石刃核	86	N34		393	88	65	27	129.1	黒曜石4	595	2934	
Ⅲ-130	104	163	石刃核	82	L36		107	60	49	30	75.0	黒曜石4	559	2816	
Ⅲ-130	104	164	石刃核	87	R35		3	49	52	41	94.4	黒曜石4	663	3104	
Ⅲ-130	104	165	石刃核		N38	Ⅰ	11	50	53	42	96.8	黒曜石4	577	2881	
Ⅲ-130	105	166	石刃核	83	N38		992	65	48	39	110.3	黒曜石4	576	2879	
Ⅲ-130	105	167	石刃核	82	K37		10	44	59	50	111.2	黒曜石4	573	2871	
Ⅲ-130	105	168	石刃核	82	K37		86	78	81	78	278.0	黒曜石4	570	2861	
Ⅲ-130	105	169	石刃核	84	Q36		1	99	59	69	364.5	黒曜石4			
Ⅲ-131	105	170	石刃核	87	R35		77	37	56	62	112.1	黒曜石4	618	2975	
Ⅲ-131	105	171	石刃核	87	R35		1	40	35	57	77.6	黒曜石4	619	2976	
Ⅲ-131	105	172	石刃核	85	P35		238	45	32	42	57.6	黒曜石4	619	2976	
Ⅲ-131	105	173	石刃核		Q36	Ⅰ	1	89	44	40	139.3	黒曜石1	588	2913	
Ⅲ-131	105	174	石刃核	87	R33		836	58	34	32	53.7	黒曜石4	650	3047	
Ⅲ-131	105	175	石核		N33	Ⅰ	1	50	57	39	98.8	黒曜石4	798	3543	
Ⅲ-131	105	176	石核		Q33	Ⅰ	8	68	45	32	88.1	黒曜石4	656	3086	
					Q33	Ⅰ	9								
Ⅲ-131	105	177	石核	86	N35		124	55	66	35	97.8	黒曜石4	593	2927	
Ⅲ-131	105	178	石核	86	M35		588	55	67	24	85.4	黒曜石4	601	2947	
Ⅲ-131	106	179	石核	87	S32		20	65	73	37	153.8	黒曜石4	597	2939	

挿図	図版	番号	器種名	石器ブロック	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	接合番号	備考
Ⅲ-131	106	180	石核	86	N34		582	67	70	44	196.0	黒曜石4	596	2938	
Ⅲ-132	106	181	石核		Q34	Ⅰ	1	83	53	36	176.4	黒曜石1	633	3000	
Ⅲ-132	106	182	石核	85	P35		222	113	85	62	574.2	黒曜石1	608	2957	
					P35		401								
					P35		402								
Ⅲ-132	106	183	石核	86	N35		213	71	48	24	71.3	黒曜石4	599	2945	
Ⅲ-132	106	184	石核	83	N38		1101	52	23	18	33.7	黒曜石4	582	2895	
Ⅲ-132	106	185	石核		Q31	Ⅰ	1	50	55	77	150.0	黒曜石4	664	3109	
Ⅲ-132	106	186	石核		M38	Ⅰ	38	60	45	36	90.8	黒曜石4	584	2900	
Ⅲ-132	106	187	石核	86	N34		956	40	88	34	132.9	黒曜石4	591	2924	
Ⅲ-132	106	188	石核	86	N34		330	67	47	71	231.0	黒曜石4	592	2925	
－	107	216	尖頭器	86	N35		49	149	73	15	183.0	黒曜石1			
－	107	217	両面調整石器	85	N36		25	240	130	25	664.3	黒曜石4		5717	
					P35		433								
－	107	218	掻器	88	R32		29	(48)	(35)	(12)	(20.0)	黒曜石1			
－	107	219	削器	89	S29		57	(63)	29	10	(15.7)	頁岩		5926	
－	107	220	削器	83	N38		512	89	53	25	90.8	黒曜石4	581	2893	
					N38	Ⅰ	2								
－	107	221	舟底形石器	85	P35		288	12	(33)	6	(2.2)	黒曜石4			
－	107	222	舟底形石器	89	R30		184	23	(64)	18	(16.6)	黒曜石4	747	3395	
					R30		392								
－	107	223	舟底形石器	89	R30		488	33	85	44	71.1	黒曜石4	723	3271	
－	108	224	石刃	83	N38		641	164	46	11	66.0	黒曜石5		57956	
					N38		775								産地分析 X188
－	108	225	石刃	83	N38		431	(152)	(59)	12	(115.8)	黒曜石5		57968	
					N38		639								
－	108	226	石刃	83	M38		319	143	40	15	68.7	黒曜石1			
－	108	227	石刃	83	N38		640	219	60	21	242.6	黒曜石5			
－	108	228	原石	83	N38		669	279	30	20	(212.1)	黒曜石1			
－	109	229	石刃核	87	S33		708	54	43	27	52.4	黒曜石4			
－	109	230	石刃核		Q35	Ⅰ	10	62	45	34	92.9	黒曜石4			
－	109	231	石刃核	82	K37		808	60	55	35	94.0	黒曜石4			
－	109	232	石刃核	82	K37		877	50	69	59	169.5	黒曜石4			
－	109	233	石核	87	S33		704	55	38	20	37.2	黒曜石4		5727	
－	109	234	石核	89	R30		222	54	56	42	124.8	黒曜石4	799	3545	
－	109	235	石核	83	M38		265	48	58	38	94.4	黒曜石4			
－	109	236	石核	86	N35		125	85	94	72	542.5	黒曜石4			
－	109	237	石核	85	P35		274	115	117	58	632.7	黒曜石4			
Ⅲ-176	140	1	尖頭器		J33	Ⅰ	2	142	38	10	54.4	黒曜石5		57982	
					J33	Ⅰ	3								
Ⅲ-176	140	2	彫器	90	K32		1417	43	19	7	3.8	頁岩			
Ⅲ-176	140	3	彫器	90	L31		166	83	46	17	65.2	黒曜石1	740	3358	
Ⅲ-176	140	4	掻器	90	I32		85	58	23	8	10.9	黒曜石1			
Ⅲ-176	140	5	掻器	90	K32		1661	44	21	7	4.8	黒曜石1			
Ⅲ-176	140	6	掻器	90	J32		24	(42)	28	9	(9.6)	黒曜石1	688	3185	
Ⅲ-176	140	7	舟底形石器	90	J32		778	26	87	18	27.8	黒曜石4			
Ⅲ-176	140	8	細石刃核	90	L32		2623	18	35	8	5.6	黒曜石1			
Ⅲ-176	140	9	彫器削片	90	J32		335	(95)	7	10	(4.9)	黒曜石1		57975	
					J32		743								
Ⅲ-176	140	10	削器	90	K32		1400	130	63	12	73.4	黒曜石1			
Ⅲ-176	140	11	石刃	90	L31		123	(255)	(30)	(17)	(77.0)	黒曜石1	703	3227	
					L31		160								
					L31		299								
Ⅲ-177	140	12	石刃	90	K32		328	228	47	18	129.6	黒曜石1	704	3228	
					L31		115								
					L31		189								
					L31		643								
Ⅲ-177	141	13	石刃	90	K31		464	(160)	46	21	(126.6)	黒曜石5	691	3195	
Ⅲ-177	141	14	石刃	90	K32		713	172	49	16	96.3	黒曜石1	688	3185	
					K32		1015								
					K32		1120								
Ⅲ-177	141	15	石刃	90	J33		27	66	16	7	7.6	頁岩			
Ⅲ-177	141	16	石刃	90	K32		516	131	39	8	35.3	黒曜石1	693	3201	
					K32		1063								
					K32		1573								

挿図	図版	番号	器種名	石器ブロック	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	接合番号	備考
Ⅲ-178	141	17	石刃	90	J32		291	171	38	11	59.4	黒曜石1	691	3195	
					K31		1681								
					K31		2144								
Ⅲ-178	141	18	石刃	90	J31		45	178	41	11	53.7	黒曜石1	691	3195	
					J31		723								
					J31		2134								
					J32		382								
					J32		383								
Ⅲ-178	141	19	石刃	90	J31		1525	206	47	14	(99.7)	黒曜石1	688	3185	
					K31		442								
Ⅲ-178	142	20	石刃	90	J31		153	205	51	15	125.4	黒曜石1	688	3185	
					K31		1921								
					K31		1981								
Ⅲ-179	142	21	石刃	90	J31		1762	(200)	41	13	(80.5)	黒曜石1	688	3185	
					J32		211								
					J32		499								
					J32	I	3								
					J32	I	4								
Ⅲ-179	142	22	石刃	90	K31		119	(204)	55	21	(186.7)	黒曜石5	704	3228	
					K31		124								
					K31		128								
Ⅲ-179	142	23	石刃	90	J32		436	171	40	18	107.1	黒曜石1	688	3185	
					K31		1279								
					K31		1510								
					K31		1516								
Ⅲ-179	142	24	石刃	90	J32		65	202	53	13	110.7	黒曜石1	694	3203	
					J32		100								
					K31		1568								
Ⅲ-180	143	25	石刃	90	L32		82	252	61	20	(304.8)	黒曜石1	703	3227	
					L32		284								
					L32		362								
					L32		843								
					L32		848								
					L32		859								
					L32		864								
					L32		1211								
					L32		1232								
					L32		1233								
					L32		1234								
					L32		1240								
					L32		1373								
					L32		1382								
					L32		1393								
					L32		1849								
					L32		2016								
					L32		2212								
					L32		2419								
					M32		127								
					L32	I	20								
					L32	I	44								
Ⅲ-180	143	26	石刃	90	J31		421	244	52	19	181.6	黒曜石1	688	3185	
					J31		643								
					K31		1537								
					K32		212								
					K32		485								
Ⅲ-180	143	27	石刃	90	K32		11	(183)	55	14	(89.0)	黒曜石1	690	3194	
					K32		213								
					K32		908								
Ⅲ-181	143	28	石刃	90	K31		1133	(156)	33	7	(38.8)	黒曜石1	690	3194	
					K32		1146								
					K32		1306								
Ⅲ-181	143	29	石刃	90	K31		1567	(172)	55	15	(117.5)	黒曜石1	690	3194	
					J32	I	2								
Ⅲ-181	143	30	石刃	90	J32		210	(179)	42	11	(58.2)	黒曜石1	690	3194	
					J32		486								

挿図	図版	番号	器種名	石器ブロック	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	接合番号	備　　考
					J32		603								
Ⅲ-181	144	31	石刃	90	J32		258	(211)	56	16	(132.6)	黒曜石1	688	3185	
					K32		480								
					K32		668								
					K32		1996								
Ⅲ-182	145	32	石刃核	90	K33		1	162	110	64	1237.7	黒曜石1	684	3160	
Ⅲ-182	146	33	石刃核		L32	Ⅰ	8	197	112	76	1683.0	黒曜石1			
Ⅲ-182	146	34	石刃核	90	J33		12	218	132	82	2336.4	黒曜石1	688	3185	
Ⅲ-183	147	35	石刃核	90	K31		1	225	106	81	2053.2	黒曜石1	697	3210	
Ⅲ-183	148	36	石刃核	90	K32		1943	245	124	102	3697.2	黒曜石5	690	3194	
Ⅲ-184	147	37	石刃核		K32	Ⅰ	3	191	123	107	2921.3	黒曜石1	700	3218	
Ⅲ-184	149	38	石刃核	90	K32		700	205	162	101	4173.3	黒曜石1	704	3228	
Ⅲ-185	150	39	石刃核	90	L32		1000	196	113	128	2508.7	黒曜石1	705	3231	
Ⅲ-185	150	40	石刃核	90	J33		20	224	120	120	3616.3	黒曜石1	686	3162	
Ⅲ-186	151	41	石刃核	90	K31		2	253	140	128	5601.1	黒曜石1	696	3207	
Ⅲ-186	152	42	石刃核	90	K32		777	92	145	64	893.1	黒曜石1	694	3203	
Ⅲ-187	152	43	石刃核		J33	Ⅰ	1	231	125	180	5800.0	黒曜石5	714	3250	
Ⅲ-187	152	44	石核	90	L32		1504	64	63	30	121.6	黒曜石1			
Ⅲ-187	152	45	石核	90	K31		1041	45	64	17	56.3	黒曜石1			
Ⅲ-188	153	46	石核	90	J32		790	202	151	91	2232.6	黒曜石4	710	3239	
Ⅲ-188	154	47	石核	90	J31		274	268	111	158	4438.0	黒曜石1	685	3161	
Ⅲ-189	144	48	石核	90	K31		160	368	186	155	10439.0	黒曜石1	713	3247	
—	154	60	舟底形石器	90	J33		25	20	80	10	14.0	黒曜石1		5946	
Ⅲ-218	173	1	尖頭器	95	L27		1151	59	41	8	10.5	黒曜石1			産地分析 X12
Ⅲ-218	173	2	尖頭器	95	J29		96	68	40	9	15.4	黒曜石1			水和層 H187
Ⅲ-218	173	3	尖頭器	95	M27		286	77	37	12	17.3	黒曜石2			水和層 H188
Ⅲ-218	173	4	尖頭器	93	M29		662	91	45	11	27.3	黒曜石5		57993	産地分析 X251
					M29		868								
Ⅲ-218	173	5	尖頭器	93	N29		418	(110)	48	11	(36.7)	黒曜石5	937	4072	
					O29		1206								
Ⅲ-218	173	6	尖頭器	93	P28		5634	113	49	12	(41.0)	黒曜石5		57997	産地分析 X252
					P28		7596								
Ⅲ-218	173	7	尖頭器	95	M27		290	(157)	68	16	(139.0)	黒曜石2	785	3506	
					N27		336								
Ⅲ-219	173	8	尖頭器	93	N29		1041	116	73	17	94.5	黒曜石2	783	3501	
					N29		1206								
					N29		1310								
Ⅲ-219	173	9	尖頭器	96	M23		373	101	66	19	80.4	黒曜石4	1067	4433	
Ⅲ-219	173	10	尖頭器	95	K29		321	52	32	9	11.7	黒曜石1			産地分析 X255
Ⅲ-219	173	11	尖頭器	93	O29		464	74	55	21	58.4	黒曜石1			産地分析 X249
Ⅲ-219	174	12	尖頭器	93	P28		5760	77	56	18	(48.4)	黒曜石1		57990	産地分析 X250
					Q27		906								
					Q27		908								
Ⅲ-219	174	13	尖頭器	93	L30		270	77	64	17	77.0	黒曜石1			産地分析 X248
Ⅲ-219	174	14	尖頭器	93	M31		1	77	67	16	70.3	安山岩1			
Ⅲ-219	174	15	尖頭器	93	M30		795	(86)	69	16	(63.5)	黒曜石1	727	3285	
Ⅲ-220	174	16	尖頭器	93	M29		731	109	69	16	91.8	黒曜石1	740	3358	
					M29		782								
					M30		439								
					N29		1175								
Ⅲ-220	174	17	尖頭器	93	L30		50	121	61	16	(99.0)	黒曜石1	727	3285	
Ⅲ-220	174	18	尖頭器	93	L30		70	143	88	13	(103.2)	黒曜石1	735	3329	
					M30		184								
					M30		538								
					N30		432								
Ⅲ-220	174	19	尖頭器	95	P26		167	(88)	(69)	(14)	(61.0)	黒曜石1	754	3418	
					P26		235								
Ⅲ-220	175	20	尖頭器	96	M23		82	109	75	24	148.9	黒曜石2	1054	4387	
Ⅲ-220	175	21	尖頭器	95	J29		124	113	53	11	52.4	黒曜石2	786	3509	
					L27		1250								
					L27		1251								
Ⅲ-221	175	22	尖頭器	95	P25		513	(36)	(17)	(6)	(4.5)	黒曜石1			
Ⅲ-221	175	23	尖頭器		P28	Ⅱ	11	(21)	(14)	(4)	(1.1)	黒曜石1			
Ⅲ-221	175	24	尖頭器	93	R29		35	59	26	16	19.8	黒曜石5			
Ⅲ-221	175	25	尖頭器	95	P25		212	95	43	14	51.8	黒曜石1	775	3493	

挿図	図版	番号	器種名	石器ブロック	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	接合番号	備考
Ⅲ-221	175	26	尖頭器	95	P25		288	97	45	13	51.7	黒曜石1	767		
Ⅲ-221	175	27	尖頭器	93	P28		6159	(48)	(29)	(10)	(11.1)	黒曜石5	759	3435	
Ⅲ-221	175	28	尖頭器	95	M27		609	135	82	23	219.5	黒曜石1	737	3337	
					N27		1649								
Ⅲ-221	175	29	尖頭器	93	N29		1094	132	40	16	72.4	黒曜石2	788	3514	
					P28		6480								
Ⅲ-221	175	30	尖頭器	95	L28		1302	126	39	16	85.2	黒曜石1	749	3397	
					M28		2								
Ⅲ-221	176	31	尖頭器	95	L28		370	(168)	50	23	(198.4)	黒曜石1	749	3397	
					L28		854								
					M28	I	1								
Ⅲ-222	176	32	尖頭器	93	P28		7692	150	54	8	60.1	黒曜石4		5740	
					P29		493								
Ⅲ-222	176	33	尖頭器	95	L28		328	134	63	17	(133.0)	黒曜石1		57985	
					L28		1299								
					L28		1300								
Ⅲ-222	176	34	尖頭器	93	P29		1048	126	21	7	21.9	頁岩			
Ⅲ-222	176	35	尖頭器	93	N29		631	282	93	25	619.1	黒曜石4	861	3807	
					O29		2001								
Ⅲ-223	177	36	尖頭器	95	M29		1	195	51	7	63.8	黒曜石4		5955	
				93	P28		28								
					Q28		35								
					O28	I	2								
Ⅲ-223	177	37	尖頭器	95	O27		1449	176	69	12	139.8	黒曜石4	849	3740	
					O28		1024								
Ⅲ-223	177	38	尖頭器	93	P28		3207	193	57	13	(111.6)	黒曜石4		5954	
					P29		808								
					O29	I	1								
Ⅲ-223	177	39	尖頭器	95	L29		27	251	72	19	344.5	黒曜石3	812	3600	
					L29		225								
Ⅲ-224	178	40	尖頭器	93	P28		1318	215	65	21	235.1	黒曜石4	853	3763	
					P28		1900								
					P29		388								
					P29		1251								
					Q27		427								
Ⅲ-224	178	41	尖頭器	95	K30		105	259	70	22	318.2	黒曜石1	736	3336	
					L27		1150								
					L28		191								
					M27		1150								
Ⅲ-224	178	42	尖頭器	93	P29		903	(47)	(57)	(21)	(43.7)	黒曜石4	887	3883	
Ⅲ-225	179	43	尖頭器	95	K29		77	219	92	18	359.2	黒曜石1		57984	
					L28		55								
Ⅲ-225	178	44	尖頭器	95	M28		1	221	110	23	521.9	黒曜石1		57998	
					M28		856								
Ⅲ-226	179	45	尖頭器	95	M28		3	273	108	30	699.5	黒曜石1	748	3396	
					M28		422								
					M28		831								
Ⅲ-226	180	46	尖頭器	93	R28		1	(85)	(117)	24	(192.2)	黒曜石4	807	3583	
Ⅲ-227	180	47	尖頭器	95	L28		43	295	94	23	542.1	黒曜石3	816	3617	
					L28		151								
					L28		468								
					L28		990								
					L28		1536								
					L28		1714								
					L28		1787								
					M28		140								
Ⅲ-228	181	48	尖頭器	95	L28		800	343	104	28	700.3	黒曜石3		5924	
					M27		1047								
					M27		1048								
					M28		139								
					L28	I	1								
Ⅲ-229	181	49	尖頭器	93	O28		552	47	30	9	11.9	黒曜石4	807	3583	
Ⅲ-229	181	50	尖頭器	95	O25		181	43	37	12	24.1	黒曜石4	852	3759	
Ⅲ-229	181	51	尖頭器	93	P28		3322	71	31	10	17.6	黒曜石4	852	3759	
Ⅲ-229	181	52	尖頭器	95	N26		220	71	41	14	39.0	黒曜石4	852	3759	

挿図	図版	番号	器種名	石器ブロック	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	接合番号	備考
Ⅲ-229	181	53	尖頭器	95	O27		175	84	35	11	29.0	黒曜石4	849	3740	
Ⅲ-229	181	54	尖頭器	95	N26		320	90	42	16	48.0	黒曜石4	852	3759	
Ⅲ-229	181	55	尖頭器	93	O30		1451	127	52	13	88.1	黒曜石4	862	3809	
					P29		360								
Ⅲ-229	182	56	尖頭器	93	P28		6826	140	58	12	77.1	黒曜石4		5744	
					P29		386								
					Q27		560								
Ⅲ-229	182	57	尖頭器	93	P29		1097	86	29	25	52.1	黒曜石4	876	3849	
Ⅲ-230	182	58	尖頭器	92	N32		64	55	47	19	39.3	黒曜石1	716	3252	
Ⅲ-230	182	59	尖頭器	92	M32		511	58	72	26	84.6	黒曜石1	716	3252	
Ⅲ-230	182	60	尖頭器削片	95	N26		293	80	11	21	10.0	黒曜石4	852	3759	
					O25		179								
Ⅲ-230	182	61	尖頭器削片	93	O30		448	91	13	31	23.8	黒曜石4	862	3809	
					O30		642								
Ⅲ-230	182	62	尖頭器削片	93	N31		218	(61)	14	22	(14.1)	黒曜石4	862	3809	
Ⅲ-230	182	63	尖頭器削片	95	N27		1740	54	13	14	7.8	黒曜石4	852	3759	
Ⅲ-230	182	64	尖頭器削片	95	O27		1149	73	9	17	5.2	黒曜石4	849	3740	
					O28		967								
				93	O28		1690								
Ⅲ-230	182	65	尖頭器削片	95	M27		27	(73)	18	12	(11.1)	黒曜石4	852	3759	
					M27	Ⅰ	5								
Ⅲ-230	182	66	尖頭器削片	95	L26		185	(50)	19	9	(3.0)	黒曜石4	852	3759	
Ⅲ-230	182	67	尖頭器削片	95	N27		530	(47)	10	6	(2.2)	黒曜石4	852	3759	
Ⅲ-230	182	68	尖頭器削片	93	P28		3521	56	12	6	3.4	黒曜石4	849	3740	
Ⅲ-230	182	69	尖頭器削片	95	N27		1681	(47)	15	3	(2.2)	黒曜石3	852	3759	
Ⅲ-230	182	70	尖頭器削片	93	P28		67	(56)	12	7	(4.1)	黒曜石4	849	3740	
Ⅲ-230	182	71	尖頭器削片	95	N26		206	69	13	19	9.2	黒曜石4	852	3759	
					M26	Ⅱ	11								
Ⅲ-230	182	72	尖頭器削片	95	N27		93	72	21	17	18.5	黒曜石4	852	3759	
Ⅲ-230	182	73	尖頭器削片	93	O28		840	(49)	12	15	(5.5)	黒曜石4	807	3583	
Ⅲ-231	183	74	両面調整石器	95	M28		393	185	118	66	1051.3	黒曜石1			
Ⅲ-231	183	75	両面調整石器	95	J29		81	46	33	9	9.7	黒曜石1			
Ⅲ-231	183	76	両面調整石器	95	L27		259	(101)	73	26	(173.4)	黒曜石1	940	4087	
Ⅲ-232	183	77	両面調整石器	93	P28		2680	240	133	42	1178.3	黒曜石4		5742	
					Q28		428								
Ⅲ-233	184	78	ナイフ形石器	96	P22		1	35	18	6	2.9	黒曜石4			
Ⅲ-233	184	79	ナイフ形石器	95	O27		507	48	23	6	5.4	黒曜石1			
Ⅲ-233	184	80	ナイフ形石器	95	M28		464	59	27	7	8.3	黒曜石1			水和層 W17
Ⅲ-233	184	81	ナイフ形石器	95	N27		160	35	21	9	4.1	黒曜石4			
Ⅲ-233	184	82	ナイフ形石器	95	N28		47	52	25	10	8.0	黒曜石5	933	4061	
					O27		410								
Ⅲ-233	184	83	ナイフ形石器	95	N28		250	54	24	7	5.9	黒曜石1			水和層 W18
Ⅲ-233	184	84	ナイフ形石器	95	P25		25	84	33	8	14.3	黒曜石3		5748	産地分析 X13
					Q25		15								
Ⅲ-233	184	85	ナイフ形石器	93	Q26		147	44	23	7	5.7	黒曜石1			
Ⅲ-233	184	86	ナイフ形石器	95	N27		1717	47	21	7	5.1	黒曜石1	934	4063	
Ⅲ-233	184	87	ナイフ形石器	95	M27		734	54	22	7	6.0	黒曜石1	732	56678	
					O25		36								
Ⅲ-233	184	88	ナイフ形石器	95	O27		1111	57	23	6	6.2	黒曜石1			
Ⅲ-233	184	89	ナイフ形石器	95	N28		165	90	36	11	24.0	黒曜石1		54241	
					P45	Ⅲ	1								
Ⅲ-233	184	90	ナイフ形石器	95	N28		248	95	37	9	23.3	黒曜石4		58001	
					N28		333								
Ⅲ-233	184	91	ナイフ形石器	95	N29		544	94	37	11	31.7	黒曜石1	934	4063	
Ⅲ-233	184	92	ナイフ形石器	95	N27		535	(88)	30	11	(17.6)	黒曜石3			
Ⅲ-233	184	93	ナイフ形石器	95	M28		85	97	30	7	17.0	黒曜石1			
Ⅲ-234	184	94	ナイフ形石器	95	J25		11	(48)	(32)	(11)	(11.0)	黒曜石1			
Ⅲ-234	184	95	ナイフ形石器	95	O25		255	(60)	(36)	(13)	(20.0)	黒曜石5	933	4061	
					P25	Ⅰ	15								
Ⅲ-234	184	96	ナイフ形石器	95	P24		23	(49)	(29)	(84)	(11.7)	黒曜石1	732	3317	
Ⅲ-234	184	97	ナイフ形石器	95	N27		209	(64)	33	13	(20.3)	黒曜石1	732	3316	
Ⅲ-234	184	98	ナイフ形石器	95	N29		350	(118)	47	18	(67.3)	黒曜石1	732	3316	
Ⅲ-234	184	99	彫器	93	Q28		366	31	15	5	2.1	黒曜石1			
Ⅲ-234	184	100	彫器	93	O29		1004	36	17	7	4.0	黒曜石1			
Ⅲ-234	184	101	彫器	93	O29		59	46	19	4	3.8	黒曜石1			

挿図	図版	番号	器種名	石器ブロック	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	接合番号	備考
Ⅲ-234	184	102	彫器	93	O31		88	52	20	4	4.5	黒曜石4	856	3781	
Ⅲ-234	184	103	彫器	93	O29		72	52	19	6	6.1	黒曜石1	726	3283	
Ⅲ-234	184	104	彫器	93	O29		909	65	26	5	6.5	黒曜石4	867	3823	
Ⅲ-234	185	105	彫器	93	P28		7594	37	18	6	3.5	黒曜石1			
Ⅲ-234	185	106	彫器	93	P29		492	37	15	6	2.9	黒曜石1			
Ⅲ-234	185	107	彫器	93	Q27		469	43	18	6	4.5	黒曜石4			
Ⅲ-234	185	108	彫器	93	P28		1418	51	18	8	7.0	黒曜石5			
Ⅲ-234	185	109	彫器	95	O28		423	52	17	6	4.6	黒曜石1			
Ⅲ-234	185	110	彫器	93	P28		3741	53	19	7	8.2	黒曜石1			
Ⅲ-234	185	111	彫器	93	P27		410	98	34	9	27.9	黒曜石5	741	3362	
Ⅲ-234	185	112	彫器	93	P28		5040	30	16	5	2.4	黒曜石4	857	3783	
Ⅲ-234	185	113	彫器	93	P28		2760	37	15	6	3.2	黒曜石4	857	3783	
Ⅲ-234	185	114	彫器	93	P29		359	39	17	8	4.3	黒曜石1			
Ⅲ-234	185	115	彫器	93	O28		1042	41	18	6	4.7	黒曜石1			
Ⅲ-234	185	116	彫器	91	G34		42	43	17	9	6.0	頁岩			
Ⅲ-234	185	117	彫器	93	P28		4992	47	17	5	4.4	黒曜石1			
Ⅲ-234	185	118	彫器	93	O29		1840	75	25	8	15.9	黒曜石1			
Ⅲ-235	185	119	彫器	95	O28		430	35	15	7	3.8	黒曜石1			
Ⅲ-235	185	120	彫器	93	O29		2440	39	17	7	4.6	黒曜石4	857	3783	
Ⅲ-235	185	121	彫器	93	P28		7860	40	19	7	4.9	黒曜石4			
Ⅲ-235	185	122	彫器	93	P29		237	43	17	8	5.4	黒曜石1			
Ⅲ-235	185	123	彫器	93	Q27		261	50	20	8	7.5	黒曜石1			
Ⅲ-235	185	124	彫器	93	P28		4518	50	20	6	5.9	黒曜石1			
Ⅲ-235	185	125	彫器	93	Q27		411	54	18	7	7.0	黒曜石1	755	3420	
Ⅲ-235	185	126	彫器	93	P29		158	36	16	6	3.3	黒曜石1			
Ⅲ-235	185	127	彫器	93	P28		5392	37	19	8	4.5	黒曜石1			
Ⅲ-235	185	128	彫器	93	O29		1442	46	21	8	6.4	黒曜石1	726	3283	
Ⅲ-235	185	129	彫器	93	Q27		97	44	24	9	9.4	黒曜石4	887	3883	
Ⅲ-235	185	130	彫器	93	P28		7818	51	24	7	7.1	黒曜石4	878		
Ⅲ-235	185	131	彫器		Q25	Ⅰ	7	34	13	5	2.4	頁岩			
Ⅲ-235	185	132	彫器	95	N28		80	95	29	8	19.9	黒曜石1			
Ⅲ-235	185	133	彫器	93	P28		2311	64	38	6	13.1	黒曜石4	857	3783	
Ⅲ-235	185	134	彫器	93	O28		1989	58	41	14	27.6	黒曜石1	729	3295	
Ⅲ-235	185	135	彫器	95	P25		213	54	24	14	20.5	黒曜石1	732		
Ⅲ-235	185	136	彫器	95	N28		55	116	46	17	72.3	黒曜石1	732	3316	
					N29	Ⅰ	56								
Ⅲ-235	185	137	彫器	95	P25		447	(29)	(43)	(16)	(14.0)	黒曜石1	933		
Ⅲ-235	186	138	彫器	95	J30		183	38	41	15	23.3	黒曜石1	728	3287	
Ⅲ-236	186	139	彫器	95	J29		162	49	27	11	13.8	黒曜石1		5749	
Ⅲ-236	186	140	彫器	95	O27		645	59	37	13	29.1	黒曜石1	734	3326	
Ⅲ-236	186	141	彫器		L27	Ⅱ	4	(32)	(25)	(16)	(10.6)	安山岩1	944	4093	
Ⅲ-236	186	142	彫器	95	M27		911	82	55	24	107.1	黒曜石1	729	3294	
Ⅲ-236	186	143	彫器	95	P25		421	58	54	18	66.8	黒曜石1	734	3324	
Ⅲ-236	186	144	彫器	95	O26		63	64	33	11	23.1	黒曜石1	732	3316	
Ⅲ-236	186	145	彫器	95	N27		99	82	30	10	19.3	黒曜石1		5956	
					N28		160								
Ⅲ-236	186	146	彫器	93	P27		321	109	62	27	137.0	黒曜石1	752	3415	
Ⅲ-236	186	147	彫器	95	K30		469	(29)	30	7	(5.6)	黒曜石1	728	3287	
Ⅲ-236	186	148	彫器	95	N27		129	119	42	14	49.5	黒曜石1		5750	
			削器		N27		285								
Ⅲ-237	186	149	彫器削片		Q27	Ⅱ	2	18	5	3	0.2	黒曜石1			
Ⅲ-237	186	150	彫器削片		Q28	Ⅱ	1	20	6	1	0.2	黒曜石1			
Ⅲ-237	186	151	彫器削片		Q28	Ⅱ	2	20	4	1	0.2	頁岩			
Ⅲ-237	186	152	彫器削片		N29	Ⅱ	5	23	5	2	0.2	黒曜石1			
Ⅲ-237	186	153	彫器削片		Q28	Ⅱ	3	(8)	(5)	(2)	(0.1)	頁岩			
Ⅲ-237	186	154	彫器削片		J29	Ⅱ	2	(32)	(8)	(3)	(0.7)	黒曜石1			
Ⅲ-237	186	155	彫器削片	93	Q27		815	62	16	10	7.6	黒曜石1	729	3295	
Ⅲ-237	186	156	彫器削片	95	L28		1199	(59)	10	9	(3.1)	黒曜石1		5749	
Ⅲ-237	186	157	彫器削片	95	L28		1733	(41)	12	15	(4.8)	黒曜石1		5749	
Ⅲ-237	186	158	彫器削片	95	O26		324	54	16	8	4.8	黒曜石1	734	3324	
Ⅲ-237	186	159	彫器削片	95	O26		357	51	11	8	3.5	黒曜石1	732	3316	
Ⅲ-237	186	160	彫器削片	95	N26		34	(58)	8	10	(4.0)	黒曜石1	732	3316	
Ⅲ-237	186	161	彫器削片		L27	Ⅱ	11	24	6	4	0.4	安山岩1	944	4093	
Ⅲ-237	186	162	掻器	93	O29		2190	33	19	7	4.3	黒曜石5			
Ⅲ-237	186	163	掻器	95	O28		1327	38	19	6	4.8	黒曜石1			

挿図	図版	番号	器種名	石器ブロック	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	接合番号	備考
Ⅲ-237	186	164	掻器	95	O28		100	39	20	9	6.0	黒曜石1			
Ⅲ-237	186	165	掻器	95	P27		188	44	25	7	7.2	黒曜石4			
Ⅲ-237	186	166	掻器	95	N28		383	44	22	9	6.5	黒曜石4			
Ⅲ-237	186	167	掻器		N28	I	1	46	24	9	9.2	黒曜石1			
Ⅲ-237	186	168	掻器	93	P28		5898	48	24	7	7.5	黒曜石1			
Ⅲ-237	186	169	掻器	93	O29		307	50	26	13	14.2	黒曜石1			
Ⅲ-237	186	170	掻器	93	P28		3220	53	25	11	14.1	黒曜石1			
Ⅲ-237	186	171	掻器	93	P29		1212	54	24	7	11.0	黒曜石5			
Ⅲ-237	186	172	掻器	93	P28		7717	58	19	8	9.9	黒曜石4	876	3849	
Ⅲ-237	187	173	掻器	93	O29		1108	57	29	8	12.3	黒曜石1			
Ⅲ-237	187	174	掻器	93	P28		5091	58	26	10	14.2	黒曜石1			
Ⅲ-237	187	175	掻器	91	H34		25	60	27	11	17.4	黒曜石1			産地分析 X182
Ⅲ-237	187	176	掻器	95	N25		1	61	25	10	13.3	黒曜石1			
Ⅲ-237	187	177	掻器	95	O26		200	59	28	10	15.7	黒曜石1			
Ⅲ-238	187	178	掻器	94	I32		150	60	30	8	12.6	黒曜石1			
Ⅲ-238	187	179	掻器		O29	I	2	64	23	9	12.8	黒曜石1			
Ⅲ-238	187	180	掻器	95	O27		25	66	26	7	11.2	黒曜石4	900	3950	
Ⅲ-238	187	181	掻器	93	O29		819	67	27	9	15.8	黒曜石3			
Ⅲ-238	187	182	掻器	95	O28		1689	70	23	13	16.3	黒曜石1			
Ⅲ-238	187	183	掻器	95	P26		105	71	27	12	20.2	黒曜石4			
Ⅲ-238	187	184	掻器	94	I32		201	72	31	11	17.4	黒曜石1			
Ⅲ-238	187	185	掻器	91	H34		75	72	32	9	21.3	黒曜石1			
Ⅲ-238	187	186	掻器	93	Q28 Q28		236 296	74	29	10	18.1	黒曜石1		58005	
Ⅲ-238	187	187	掻器		G33	I	1	80	28	9	21.8	黒曜石4			
Ⅲ-238	187	188	掻器	93	P28		4533	89	29	11	25.6	黒曜石4			
Ⅲ-238	187	189	掻器	95	O27		719	43	21	7	5.9	黒曜石4	900	3950	
Ⅲ-238	187	190	掻器	93	O29		460	(64)	21	9	(9.3)	黒曜石4	869	3831	
Ⅲ-238	187	191	掻器	91	H35		86	86	28	9	19.8	黒曜石1			
Ⅲ-239	187	192	掻器		Q25	I	2	50	26	6	6.8	黒曜石1			
Ⅲ-239	187	193	掻器		Q25	I	9	50	27	6	6.6	黒曜石1			
Ⅲ-239	187	194	掻器	94	I32		200	71	33	6	(14.5)	黒曜石3			
Ⅲ-239	187	195	掻器	95	Q24 Q24		44 65	68	33	9	19.7	黒曜石3		58004	
Ⅲ-239	187	196	掻器	95	O26		2	65	28	7	9.8	黒曜石1			
Ⅲ-239	187	197	掻器	93	P29		491	55	24	14	15.7	黒曜石1			
Ⅲ-239	188	198	掻器	93	P29		38	75	25	16	24.0	黒曜石4			
Ⅲ-239	188	199	掻器	95	K29		78	106	27	18	46.9	黒曜石1		5751	
Ⅲ-239	188	200	掻器	95	P26 Q25		1 1	142	33	14	64.5	黒曜石1		58003	
Ⅲ-239	188	201	掻器	95	L27 L28		1114 992	104	48	21	110.6	安山岩1		58006	
Ⅲ-239	188	202	掻器	95 90 93	J30 J31 K30 K30		126 546 401 447	(125)	(47)	8	(35.2)	黒曜石1	727	3285	
Ⅲ-240	188	203	錐形石器	93	N29 N29 O29		46 123 1809	69	21	5	4.1	黒曜石4	857	3783	
Ⅲ-240	188	204	錐形石器	91	G35		23	59	30	7	9.6	黒曜石4			
Ⅲ-240	188	205	錐形石器	93	P29		92	(53)	(52)	(14)	(23.7)	黒曜石4			
Ⅲ-240	188	206	錐形石器	93	N29		665	89	56	8	34.2	黒曜石4			
Ⅲ-240	188	207	削器	93	P28		1358	60	20	7	8.2	黒曜石4	876	3849	
Ⅲ-240	188	208	削器	93	P28 P28		6150 8039	60	22	7	7.8	黒曜石4	857	3783	
Ⅲ-240	188	209	削器	93	P28		424	71	26	13	14.1	黒曜石4	857	3783	
Ⅲ-240	188	210	削器	93	P29 P29		1046 1125	76	21	10	9.5	黒曜石4	876	3849	
Ⅲ-240	188	211	削器	93	R26		1	80	24	6	8.8	黒曜石4	857	3783	
Ⅲ-240	188	212	削器	93	P28 P28 P28		2483 4239 7474	92	31	9	17.8	黒曜石4	857	3783	
Ⅲ-240	188	213	削器	93	P27 P28		408 5519	77	44	14	32.9	黒曜石4	824	3646	
Ⅲ-240	188	214	削器	93	P29		603	(48)	(20)	(7)	(6.1)	黒曜石1	758	3434	

挿図	図版	番号	器種名	石器ブロック	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	接合番号	備考
Ⅲ-240	188	215	削器	93	P27		258	(56)	23	8	(9.1)	黒曜石4	857	3783	
Ⅲ-240	189	216	削器	93	Q29		52	(79)	24	9	(18.1)	黒曜石4	857	3783	
					Q29	Ⅰ	1								
Ⅲ-240	189	217	削器	93	P28		10	95	55	18	78.0	黒曜石4	927	4044	
Ⅲ-240	189	218	削器	93	Q28		335	77	29	10	18.8	黒曜石1	758	3434	
Ⅲ-241	189	219	削器	93	N29		348	95	20	11	14.5	黒曜石1		58008	
					P28	Ⅱ	239								
Ⅲ-241	189	220	削器	95	L28		10	(133)	49	17	(80.9)	黒曜石1	738	3339	
Ⅲ-241	189	221	削器	93	N29		1697	92	33	19	51.8	黒曜石1	726	3283	
Ⅲ-241	189	222	削器	95	N27		446	(85)	(39)	(14)	(54.1)	黒曜石1	738	3339	
Ⅲ-241	189	223	削器	93	P29		317	35	19	11	6.3	頁岩			
Ⅲ-241	189	224	削器	93	N30		278	(116)	40	13	(62.8)	黒曜石4	856	3781	
				95	O27		349								
Ⅲ-241	189	225	削器	95	N28		330	(89)	(51)	(8)	(35.8)	黒曜石1			
Ⅲ-241	189	226	削器	95	P25		637	89	51	10	38.9	黒曜石1			
Ⅲ-241	189	227	削器	95	N27		1248	93	72	18	122.5	黒曜石1	729	3293	
Ⅲ-242	189	228	削器	95	N26		684	(46)	(28)	(11)	(15.3)	黒曜石5	933	56844	
					P27	Ⅰ	9								
Ⅲ-242	189	229	削器	93	N29		886	(109)	(47)	(18)	(76.5)	黒曜石5	935	4064	
					P28		5304								
Ⅲ-242	190	230	削器	93	K30		57	142	67	17	114.4	黒曜石3	935	4064	
					K30		408								
Ⅲ-242	190	231	削器	93	O30		1718	64	25	13	26.6	黒曜石4	856	3781	
Ⅲ-242	190	232	削器	93	P28		2635	(65)	37	18	(44.6)	黒曜石4	889	3898	
Ⅲ-242	190	233	削器	93	P29		157	121	48	31	127.5	黒曜石4	928	4046	
Ⅲ-242	190	234	削器	94	I31		37	97	44	19	66.0	黒曜石4	709	3238	
Ⅲ-242	190	235	削器	95	P27		425	(51)	(32)	(17)	(28.2)	黒曜石4	856	3781	
Ⅲ-242	190	236	削器	93	P29		14	(56)	44	15	(24.4)	黒曜石4	887	3883	
Ⅲ-243	190	237	舟底形石器		P28	Ⅱ	12	8	19	3	0.4	黒曜石4			
Ⅲ-243	190	238	舟底形石器		P28	Ⅱ	8	8	25	4	0.8	黒曜石4	887	3883	
Ⅲ-243	190	239	舟底形石器		P28	Ⅱ	10	9	32	3	1.0	黒曜石4			
Ⅲ-243	190	240	舟底形石器	93	P28		5008	11	32	5	1.7	黒曜石4			
Ⅲ-243	190	241	舟底形石器	93	P29		675	10	35	6	1.3	黒曜石4			
Ⅲ-243	190	242	舟底形石器	95	O27		197	11	32	5	1.6	黒曜石4			
Ⅲ-243	190	243	舟底形石器	93	P28		3106	11	39	4	1.4	黒曜石4			
Ⅲ-243	190	244	舟底形石器	93	P28		5009	10	39	5	1.4	黒曜石4			
Ⅲ-243	190	245	舟底形石器	93	P28		6025	10	39	3	1.4	黒曜石4			
Ⅲ-243	190	246	舟底形石器	93	N29		304	14	48	7	4.1	黒曜石4	849	3740	
Ⅲ-243	190	247	舟底形石器	94	I32		10	10	32	4	1.5	黒曜石4			
Ⅲ-243	190	248	舟底形石器	93	P28		4059	11	36	5	2.3	黒曜石4	887	3883	
Ⅲ-243	190	249	舟底形石器	93	O29		2307	(12)	(43)	7	(3.1)	黒曜石4		57979	
					O30		42								
Ⅲ-243	190	250	舟底形石器	93	P28		2448	20	64	19	21.6	黒曜石4	873	3840	
Ⅲ-243	190	251	舟底形石器	93	P28		1639	18	69	22	21.9	黒曜石4	824	3646	
Ⅲ-243	190	252	舟底形石器	93	P28		5900	25	70	19	21.1	黒曜石4	883	3875	
					P28		6280								
Ⅲ-243	190	253	舟底形石器	94	J31		1387	24	80	19	22.9	黒曜石4	711	3240	
					J31		2223								
Ⅲ-243	191	254	舟底形石器	93	P28		425	23	80	21	30.4	黒曜石4	832	3666	
Ⅲ-243	191	255	舟底形石器	94	I31		1086	25	83	22	26.3	黒曜石4	709	3238	
Ⅲ-244	191	256	舟底形石器	93	P29		602	25	90	22	38.1	黒曜石4	835	3676	
Ⅲ-244	191	257	舟底形石器	93	O28		260	20	95	20	(31.4)	黒曜石4	884	3876	
					O28	Ⅰ	7								
Ⅲ-244	191	258	舟底形石器	93	P28		6368	23	100	18	31.8	黒曜石4	747	3395	
					P29		361								
Ⅲ-244	191	259	舟底形石器	96	K25		57	24	101	16	37.9	黒曜石4		57977	
					K25		130								
Ⅲ-244	191	260	舟底形石器	93	O30		1207	20	(38)	21	(7.8)	黒曜石1	755	3420	
Ⅲ-244	191	261	舟底形石器	93	Q28		57	(20)	(27)	(19)	(7.8)	黒曜石4	914	3992	
Ⅲ-244	191	262	舟底形石器	93	P28		631	(22)	(32)	(19)	(9.7)	黒曜石4	912	3990	
Ⅲ-244	191	263	舟底形石器	93	P29		972	(23)	(46)	(22)	(19.5)	黒曜石4	904	3964	
Ⅲ-244	191	264	舟底形石器	93	P28		6494	27	(83)	21	(31.5)	黒曜石4	911	3989	
					P29		494								
Ⅲ-245	191	265	舟底形石器	91	H35		17	30	62	14	20.1	黒曜石4			
Ⅲ-245	191	266	舟底形石器	93	N30		296	28	69	20	30.9	黒曜石4	865	3815	

挿図	図版	番号	器種名	石器ブロック	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	接合番号	備考
Ⅲ-245	191	267	舟底形石器	94	H32		1	25	72	18	27.3	黒曜石4	709	3238	
Ⅲ-245	191	268	舟底形石器	96	K24		874	30	98	16	47.9	黒曜石4	1069	4456	
					K24		1688								
Ⅲ-245	191	269	舟底形石器	95	L28		1202	32	108	23	81.4	黒曜石5		57978	
					L28		1305								
Ⅲ-245	191	270	舟底形石器	93	O30		64	24	78	27	39.4	黒曜石4	856	3781	
Ⅲ-245	191	271	舟底形石器	91	I34		21	28	104	16	32.4	黒曜石4	670	3132	
					I34	I	1								
Ⅲ-246	191	272	舟底形石器	93	O30		319	33	112	23	53.4	黒曜石4	856	3781	
				95	Q25		2								
Ⅲ-246	192	273	舟底形石器	94	I31		641	25	53	28	40.4	黒曜石4	708	3237	
Ⅲ-246	192	274	舟底形石器	93	P29		53	32	76	21	52.6	黒曜石4	824	3651	
Ⅲ-246	192	275	舟底形石器	93	O29		1776	25	105	28	65.5	黒曜石4	904	3964	
					P28		5499								
Ⅲ-246	192	276	舟底形石器	93	P29		1158	(17)	(43)	(16)	(9.0)	黒曜石4	876	3849	
Ⅲ-246	192	277	舟底形石器	93	Q27		196	37	44	28	22.2	黒曜石4	827	3658	
Ⅲ-246	192	278	舟底形石器	94	J31		1878	(27)	(59)	(18)	(19.3)	黒曜石4	709	3238	
Ⅲ-247	192	279	舟底形石器	95	L28		991	37	178	29	131.5	黒曜石4		5733	
					L28		1298								
Ⅲ-247	192	280	舟底形石器	95	L28		1306	36	174	27	180.9	黒曜石5		57976	
					L28		1785								
Ⅲ-247	192	281	舟底形石器	95	L27		119	43	177	32	170.1	黒曜石1	730	3309	
					L27		870								
Ⅲ-248	192	282	舟底形石器		G34	I	1	45	102	32	113.2	黒曜石1			
Ⅲ-248	192	283	二次加工ある剥片		N29	I	2	(50)	12	16	(7.1)	黒曜石4	807	3583	
Ⅲ-248	193	284	石刃	93	P28		2745	79	24	7	9.9	黒曜石1	755	3420	
					P28		5639								
Ⅲ-248	193	285	石刃	95	L26		324	90	25	10	22.0	黒曜石4	830	3661	
					L27		355								
Ⅲ-248	193	286	石刃	93	O30		1119	88	30	5	14.5	黒曜石4	857	3783	
					O30		1289								
Ⅲ-248	193	287	石刃	93	O29		520	100	34	7	18.1	黒曜石4	922	4032	
					P28		4647								
Ⅲ-248	193	288	石刃	93	O30		155	(106)	39	13	(24.5)	黒曜石1	758	3434	
					O30		1367								
Ⅲ-248	193	289	石刃	94	J31		704	104	45	9	35.2	黒曜石4	708	3237	
					J31		2212								
				90	J33		6								
Ⅲ-248	193	290	石刃	93	Q27		222	103	51	15	41.0	黒曜石4	929	4050	
					Q27		305								
Ⅲ-249	193	291	石刃	96	L24		49	172	63	12	(106.6)	黒曜石1	725	3276	
					L24		56								
					L24		185								
					M23		141								
					M23		328								
					L24	I	52								
Ⅲ-249	193	292	石刃	95	N27		124	79	37	11	(20.5)	黒曜石1	934	4063	
					N28		52								
Ⅲ-249	193	293	石刃	95	K26		27	113	30	10	28.9	黒曜石5	933	4061	
				93	N29		169								
Ⅲ-249	193	294	石刃	95	L25		3	222	62	25	305.3	黒曜石5	933	4061	
					L25	I	1								
					セ北13~29		26								
Ⅲ-249	194	295	石刃	95	L27		1137	173	48	18	97.0	黒曜石2	786	3509	
					L27		1183								
					L28		1029								
					L28		1158								
Ⅲ-250	194	296	石刃核	93	R26		29	75	62	42	172.2	黒曜石1	755	3420	
Ⅲ-250	194	297	石刃核	93	P28		5007	59	61	33	110.5	黒曜石3	857	3783	
Ⅲ-250	194	298	石刃核	91	H33		6	62	49	54	114.2	黒曜石4	671	3134	
					H34		16								
Ⅲ-250	194	299	石刃核	93	P27		260	88	73	46	259.0	黒曜石1	778	3496	
Ⅲ-250	194	300	石刃核	93	P29		235	89	76	48	326.0	黒曜石4	926	4043	
Ⅲ-250	194	301	石刃核	93	P28		380	105	66	52	349.9	黒曜石1	741	3362	
Ⅲ-251	194	302	石刃核	95	M27		1500	99	81	38	273.4	黒曜石1	738	3339	

挿図	図版	番号	器種名	石器ブロック	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	接合番号	備考
Ⅲ-251	194	303	石刃核		K35	Ⅰ	1	85	75	64	512.7	黒曜石3	666	3117	
Ⅲ-251	195	304	石刃核	93	R26		137	54	65	73	227.1	黒曜石5	741	3362	
Ⅲ-251	195	305	石刃核	95	M29		391	53	51	35	82.4	黒曜石1			
Ⅲ-251	195	306	石刃核	93	P28		8052	44	54	40	68.1	黒曜石4	931	4053	
Ⅲ-251	195	307	石刃核	95	M29		265	40	51	51	95.1	黒曜石1			
Ⅲ-251	195	308	石刃核	93	P28		7694	44	60	62	147.3	黒曜石4	878	3851	
Ⅲ-252	195	309	石刃核	93	P29		236	84	66	51	235.7	黒曜石4	911	3989	
Ⅲ-252	195	310	石刃核	93	Q29		7	80	61	37	141.4	黒曜石1	758	3434	
Ⅲ-252	195	311	石刃核	94	J31		1887	70	55	29	77.0	黒曜石4	711	3240	
Ⅲ-252	195	312	石刃核	91	H33		7	103	68	67	444.7	黒曜石4	672	3136	
Ⅲ-252	195	313	石刃核	95	N27		1156	137	61	66	448.8	黒曜石4	829	3660	
Ⅲ-253	196	314	石刃核	95	L25		136	212	106	69	1548.3	黒曜石5	933	4061	
Ⅲ-253	196	315	石核	93	P28		185	50	38	24	37.3	黒曜石4	864	3813	
Ⅲ-253	196	316	石核	93	Q27		236	103	77	38	316.2	黒曜石1	773	3489	
Ⅲ-253	196	317	石核		P27	Ⅰ	1	94	69	74	499.4	黒曜石1	773	3489	
Ⅲ-254	196	318	石核	96	J25		111	138	121	99	1651.1	黒曜石1			
Ⅲ-254	197	319	石核	92	L35		24	45	59	31	91.1	黒曜石4	591	2924	
Ⅲ-254	197	320	石核	93	P28 P28		2587 3580	42	63	47	102.3	黒曜石4	883	3875	
Ⅲ-254	197	321	石核	93	P29		1182	57	57	24	69.2	黒曜石4	867	3823	
Ⅲ-254	197	322	石核	93	Q27		303	53	45	23	40.5	黒曜石4	929	4050	
Ⅲ-254	197	323	石核	95	L27		345	81	55	28	105.4	黒曜石4	830	3661	
Ⅲ-255	197	324	石核	93	P28		7728	82	87	29	226.7	黒曜石4	928	4046	
Ⅲ-255	197	325	石核	93	M29 M29 M30 O31	 Ⅰ	279 364 421 13	56	73	72	(196.2)	黒曜石1	728	3287	
Ⅲ-255	197	326	石核		P26	Ⅰ	1	93	103	43	331.6	黒曜石1			
Ⅲ-255	197	327	石核		L27	Ⅱ	7	14	29	10	2.9	安山岩1	944	4093	
Ⅲ-255	197	328	石核	93	M30		541	28	62	19	29.5	黒曜石1			
Ⅲ-255	197	329	石核	95	J29		242	72	57	22	88.9	黒曜石2	785	3506	
Ⅲ-255	197	330	斧形石器	95	O28		1390	127	37	22	122.4	頁岩			
－	198	413	尖頭器	95	N26 O25		162 82	96	87	17	97.9	黒曜石4	939	4078	
－	198	414	尖頭器		O29 O29	Ⅰ Ⅰ	124 165	82	52	10	36.4	黒曜石4	807	3583	
－	198	415	尖頭器削片	95	M28		317	(30)	7	7	(1.5)	黒曜石5	939	4078	
－	198	416	尖頭器削片	93	P28		4486	38	4	7	0.9	黒曜石4		5744	
－	198	417	尖頭器削片	93	O28 Q28		580 316	(160)	8	26	(8.7)	黒曜石4		5744	
－	198	418	彫器削片	95	N28		443	56	16	17	12.9	黒曜石1	734	3326	
－	198	419	削器	93	P28		1769	65	29	6	10.3	黒曜石1	771	3487	
－	198	420	削器	95	M28 O26		451 439	85	32	7	4.9	黒曜石1	733	3322	
－	198	421	削器	93	P28 P29		6437 842	103	35	22	(32.3)	黒曜石4	913	3991	
－	198	422	削器	93	P28 P28		756 1627	86	65	16	67.2	黒曜石5	941	4088	
－	198	423	削器	95	H29		2	97	40	18	54.0	黒曜石1	1224	5965	
－	198	424	削器	95	M29 M29		486 518	96	27	10	20.9	頁岩		58010	
－	198	425	削器		H34	Ⅰ	1	87	83	13	94.1	頁岩			
－	198	426	削器	95	J30		168	(43)	(29)	5	(5.4)	安山岩1			
－	198	427	削器	93	O28		835	67	40	16	37.1	黒曜石4	877	3850	
－	199	428	舟底形石器		P28	Ⅱ	4	(8)	(21)	3	(0.6)	黒曜石4			
－	199	429	舟底形石器		I29	Ⅰ	1	(12)	(27)	4	(1.3)	黒曜石3			
－	199	430	舟底形石器		O27	Ⅱ	1	7	(20)	5	(0.7)	黒曜石4			
－	199	431	舟底形石器	93	N30		114	13	34	5	(2.5)	黒曜石4			
－	199	432	舟底形石器	93	O30		67	21	(58)	19	(16.3)	黒曜石4	892	3908	
－	199	433	舟底形石器	96	N23 N23	 Ⅰ	14 1	19	87	17	22.6	黒曜石4		58079	
－	199	434	舟底形石器	93	O28 O28		1047 1583	20	86	24	38.5	黒曜石4	930	4051	
－	199	435	舟底形石器	96	L24 セ北13～29		367 13	26	114	24	55.3	黒曜石4		58078	

挿図	図版	番号	器種名	石器ブロック	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	接合番号	備考
－	199	436	舟底形石器	93	P28		1009	33	122	45	109.6	黒曜石4	930	4051	
					P28		6386								
					P28		6506								
					P28		6816								
					P28		7650								
－	199	437	舟底形石器	93	P28		2136	(30)	(60)	30	(39.0)	黒曜石4	930	4051	
－	199	438	舟底形石器	93	O28		1856	(27)	(60)	(36)	(56.9)	黒曜石4	877	3850	
－	199	439	舟底形石器	95	L26		260	(39)	(87)	(43)	(97.0)	黒曜石4	818	3624	
－	199	440	舟底形石器	94	I32		127	25	75	10	16.2	黒曜石1		5946	
－	199	441	舟底形石器	93	O28		1241	(23)	(38)	15	(12.8)	黒曜石4	723	3271	
－	199	442	舟底形石器	93	O29		522	30	88	35	56.9	黒曜石4	930	4051	
					P28		2350								
－	199	443	舟底形石器	93	O28		1101	40	119	47	150.6	黒曜石4	930	4051	
					P28		1037								
					P28		3696								
					Q27		600								
－	199	444	舟底形石器	93	P28		5489	(29)	(63)	19	(29.3)	黒曜石4	835	3676	
－	199	445	舟底形石器	93	Q27		297	(20)	(48)	(28)	(20.8)	黒曜石4	930	4051	
－	199	446	舟底形石器	93	P28		5552	(23)	(50)	(32)	(24.6)	黒曜石4	930	4051	
－	200	447	縦長剥片	95	N27		1234	54	8	6	1.9	黒曜石1	729	3294	
					N27		1237								
－	200	448	縦長剥片	95	L27		413	76	16	12	10.8	黒曜石1	729	3294	
－	200	449	縦長剥片	95	M27		422	82	16	10	12.2	黒曜石1	729	3294	
					N27		384								
－	200	450	石刃核		K27	I	2	63	56	47	93.5	黒曜石4	818	3624	
－	200	451	石刃核	93	O30		168	55	58	29	171.6	黒曜石4	865	3815	
－	200	452	石刃核	93	O29		2002	62	64	24	89.9	黒曜石4		5767	
－	200	453	石刃核	95	M26		200	57	53	35	106.9	黒曜石4	803	3568	
－	200	454	石刃核	95	L26		150	54	65	37	156.6	黒曜石4	805	3578	
－	200	455	石刃核	93	P28		1	76	60	42	172.5	黒曜石1	776	3494	
－	200	456	石刃核	95	L26		415	80	74	45	197.3	黒曜石4	804	3575	
－	200	457	石刃核	93	P28		1390	63	83	72	239.1	黒曜石3	924	4039	
－	200	458	石刃核	93	P28		7515	77	82	53	296.3	黒曜石4	924	4039	
－	200	459	石刃核	93	R26		138	62	77	72	318.4	黒曜石5	942	4091	
－	201	460	石刃核	93	P28		787	82	68	41	246.2	黒曜石4	916	4001	
－	201	461	石刃核	93	N29		960	85	83	29	195.4	黒曜石4			
－	201	462	石刃核	93	P28		7513	76	103	66	515.4	黒曜石4	925	4042	
－	201	463	石刃核	93	P27		427	92	92	57	476.2	黒曜石1	771	3487	
－	201	464	石刃核	93	Q27		280	90	89	48	472.8	黒曜石1	779	3497	
－	201	465	石刃核	93	P28		1997	66	46	29	95.5	黒曜石4	901	3951	
－	201	466	石刃核	93	M30		66	52	48	58	124.1	黒曜石4			
－	201	467	石刃核	93	P28		7693	80	60	55	185.7	黒曜石4	870	3835	
－	202	468	石刃核	93	P27		88	90	52	41	199.0	黒曜石4	846	3731	
－	202	469	石刃核	93	N29		419	100	53	45	264.3	黒曜石4	825	3655	
－	202	470	石刃核	93	Q27		616	74	126	55	476.0	黒曜石1	772	3488	
－	202	471	石刃核	95	M27		1	81	53	35	159.4	黒曜石4	847	3732	
－	202	472	石刃核	93	O28		476	87	70	20	121.2	黒曜石4	877	3850	
					O28		667								
					O29		28								
－	202	473	石刃核	95	O27		714	66	39	37	88.8	黒曜石4	884	3876	
－	202	474	石刃核		P29	I	19	64	49	34	117.3	黒曜石4			
－	202	475	石刃核	95	L26		234	68	52	35	103.5	黒曜石4	836	3678	
－	203	476	石刃核	93	P28		1409	67	57	47	167.3	黒曜石4	835	3676	
－	203	477	石刃核	93	O30		680	70	71	30	89.1	黒曜石4	897	3934	
－	203	478	石刃核	95	I26		10	70	62	28	119.8	黒曜石1		5869	
－	203	479	石刃核	93	P28		595	(60)	48	31	(84.4)	黒曜石4	913	3991	
－	203	480	石核	96	K24		1194	56	44	27	72.0	黒曜石4	1090	4521	
－	203	481	石核	93	P28		7475	58	42	40	99.6	黒曜石4	894	3927	
－	203	482	石核	93	P28		7356	66	75	32	170.8	黒曜石4	895	3928	
－	203	483	石核	93	P27		526	80	91	32	243.5	黒曜石4	915	3995	
－	203	484	石核	93	P28		1109	68	83	36	149.4	黒曜石4	930	4051	
					P28		1594								
					P28		1747								
					P28		3577								
－	203	485	石核		Q25	I	10	70	54	35	122.1	黒曜石1	761	3446	

挿図	図版	番号	器種名	石器ブロック	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	接合番号	備　　考
－	204	486	石核	93	R26		156	115	123	82	1033.5	黒曜石5	777	3495	
－	204	487	石核	95	O27		901	64	73	43	170.3	黒曜石1	733	3322	
－	204	488	石核	95	P26		32	65	83	43	262.6	黒曜石1	769	3480	
－	204	489	石核	93	P28		6568	18	19	9	25.5	黒曜石4	747	3395	
－	204	490	石核	95	N27		106	45	35	18	31.9	黒曜石1	733	3322	
－	204	491	石核	95	J30		257	38	46	17	86.5	黒曜石4			
－	204	492	剥片		L27	Ⅱ	6	62	63	26	3.2	安山岩1	944	4093	
－	204	493	原石	94	J31		480	85	10	7	6.0	黒曜石2		58016	
				93	K30		405								
－	204	494	原石	95	J30		241	86	10	9	5.6	黒曜石2		58017	
				93	K30		295								
－	204	495	原石	94	J31		841	84	17	13	15.6	黒曜石2			
－	204	496	原石	95	J30		289	87	11	10	11.1	黒曜石2			
－	204	497	原石	94	I31		456	92	10	8	9.2	黒曜石2		58013	
				95	J30		288								
－	204	498	原石	95	J30		231	96	17	10	14.7	黒曜石2		58015	
					J30		258								
Ⅲ-369	292	1	尖頭器	97	K22		503	63	35	7	11.4	黒曜石1			水和層 H169
Ⅲ-369	292	2	尖頭器	99	J21		250	(72)	34	8	(11.9)	黒曜石3			産地分析 X257
Ⅲ-369	292	3	尖頭器	97	K22		520	78	34	10	17.0	黒曜石1			水和層 H170
Ⅲ-369	292	4	尖頭器	97	K23		2249	(80)	49	11	(32.9)	安山岩1			
Ⅲ-369	292	5	尖頭器	97	J24		1646	92	70	19	67.6	黒曜石4			産地分析 X256
Ⅲ-369	292	6	尖頭器		K24	Ⅰ	1	108	68	15	85.1	黒曜石3			産地分析 X258
Ⅲ-369	292	7	尖頭器	102	I19		121	82	28	15	26.5	黒曜石1			
Ⅲ-369	292	8	尖頭器		L15	Ⅰ	1	139	38	9	50.9	黒曜石1			
Ⅲ-369	292	9	尖頭器	97	I23		340	168	44	10	(65.6)	黒曜石1		58096	
					ボサ		10								
Ⅲ-370	292	10	尖頭器	101	K18		123	103	37	11	34.2	黒曜石4		5825	
					L19		447								
Ⅲ-370	292	11	尖頭器	97	I23		675	129	37	9	42.7	黒曜石1		58097	
				99	J22		133								
Ⅲ-370	293	12	尖頭器	97	H24		834	158	47	9	65.2	黒曜石1		5953	
				101	L17		90								
					M17		145								
Ⅲ-370	293	13	尖頭器	101	K19		274	134	53	12	84.3	黒曜石4	1113	4564	
					K20	Ⅰ	1								
Ⅲ-370	293	14	尖頭器	100	K20		299	(56)	(51)	(11)	(26.7)	黒曜石4	1112	4563	
Ⅲ-370	293	15	尖頭器	97	H24		804	(102)	(55)	(9)	(41.9)	黒曜石4	1066	4432	
					I25		248								
					G26	Ⅰ	2								
Ⅲ-370	293	16	尖頭器	97	H22		151	194	(62)	13	(117.8)	黒曜石1		58094	
					I22		310								
					I23		1075								
Ⅲ-371	293	17	尖頭器	100	K20		495	187	65	16	187.9	黒曜石1		5966	
					J20	Ⅰ	5								
Ⅲ-371	294	18	尖頭器	100	K19		203	205	64	21	242.8	黒曜石5	1133	4611	
					J19	Ⅰ	4								
Ⅲ-371	294	19	尖頭器	97	H23		654	116	57	12	77.2	黒曜石4	1058	4396	
					H24	Ⅰ	2								
Ⅲ-371	294	20	尖頭器	97	H23		838	144	65	14	136.0	黒曜石1	952	4136	
					J23		1185								
Ⅲ-372	295	21	尖頭器	97	H22		159	145	71	11	118.9	黒曜石1		58093	
					H22		217								
Ⅲ-372	294	22	尖頭器	104	J15		300	276	105	27	610.8	黒曜石2		5827	
					J15		499								
					J15		500								
Ⅲ-373	295	23	尖頭器	97	G23		72	(298)	(89)	(23)	(457.8)	黒曜石1	947	4116	
					G23		129								
					G23		136								
					H22		150								
					H23		102								
					I22		142								
					I22		230								
					I23		1076								
Ⅲ-373	295	24	尖頭器	104	J15		339	200	79	34	421.0	黒曜石5		5826	

挿図	図版	番号	器種名	石器ブロック	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	接合番号	備考
					J15		417								
Ⅲ-373	295	25	尖頭器	101	L19		230	110	50	17	88.6	黒曜石1			
Ⅲ-374	295	26	尖頭器	101	M17		147	54	22	7	9.5	黒曜石3		5951	
Ⅲ-374	296	27	尖頭器	99	K21		372	110	34	7	24.5	黒曜石1		5818	
					J23	I	1								
Ⅲ-374	296	28	尖頭器	101	K19		130	173	50	11	87.9	黒曜石1		5952	
					K19		217								
					N17		98								
Ⅲ-374	296	29	尖頭器	97	I23		255	46	57	11	27.8	黒曜石4	1066		
Ⅲ-374	296	30	尖頭器	101	L19		422	67	42	15	33.8	黒曜石1		5822	
Ⅲ-374	296	31	尖頭器	101	L19		496	68	41	13	35.9	黒曜石1		5822	
Ⅲ-374	296	32	尖頭器	101	L19		495	97	61	16	86.7	黒曜石1	1039	4349	
Ⅲ-374	296	33	尖頭器		I21	I	1	122	52	27	163.7	黒曜石4	1087	4508	
Ⅲ-375	296	34	尖頭器	97	H22		390	108	68	27	179.5	黒曜石1	972	4197	
Ⅲ-375	296	35	尖頭器	97	H23		942	45	27	9	15.3	黒曜石4	1058	4396	
Ⅲ-375	296	36	尖頭器削片	101	L17		114	(67)	(8)	(21)	(5.8)	黒曜石4		5951	
					L17		124								
Ⅲ-375	296	37	尖頭器削片	98	M21		282	(83)	15	24	(23.4)	黒曜石1		5822	
Ⅲ-375	296	38	尖頭器削片	104	H16		90	110	14	32	27.2	頁岩			
Ⅲ-375	297	39	尖頭器削片	97	J23		537	110	18	36	51.1	黒曜石4	1058	4396	
					J24		448								
Ⅲ-375	297	40	尖頭器削片	101	K19		188	94	17	32	31.9	黒曜石1		5822	
Ⅲ-375	297	41	尖頭器削片	101	K19		189	92	18	23	31.5	黒曜石1		5822	
Ⅲ-375	297	42	尖頭器削片	101	M18		2409	44	8	9	2.4	黒曜石4	1179	4719	
Ⅲ-375	297	43	尖頭器削片	99	I21		514	53	13	9	6.9	頁岩	1220	5801	
Ⅲ-375	297	44	尖頭器削片	99	H22		47	70	13	6	3.9	頁岩	1220	5801	
Ⅲ-376	297	45	両面調整石器	101	L19		135	176	97	45	755.7	黒曜石1	1154	4653	
					L19		390								
Ⅲ-376	297	46	両面調整石器	97	K24		1319	195	102	42	912.3	黒曜石1	1147	4632	
					K24		1521								
Ⅲ-377	298	47	両面調整石器	101	L18		439	127	69	30	290.8	黒曜石1	1151	4648	
Ⅲ-377	298	48	両面調整石器	102	I18		66	269	91	32	755.0	黒曜石1		5832	
				96	N22		53								
Ⅲ-378	298	49	両面調整石器	97	H23		131	181	93	32	683.2	黒曜石1		58111	
					H23		662								
Ⅲ-378	299	50	両面調整石器	97	K22		762	213	112	34	855.5	黒曜石5	1137	4619	
					M21		1025								
Ⅲ-379	299	51	両面調整石器		J21	I	2	280	122	50	1415.9	黒曜石1	985	4225	
					J21	I	34								
					ボサ		35								
Ⅲ-379	300	52	両面調整石器	104	J15		170	145	84	54	537.2	黒曜石1	1191	4752	
Ⅲ-380	300	53	両面調整石器	97	H22		155	197	100	29	(616.1)	黒曜石1	970	4190	
				99	I22		57								
					I22		95								
Ⅲ-380	300	54	両面調整石器	97	K22		524	169	120	59	816.9	黒曜石1	1029	4324	
					L22	I	1								
Ⅲ-381	301	55	彫器	100	K19		432	52	22	7	7.9	黒曜石4			
Ⅲ-381	301	56	彫器	97	L22		969	55	22	8	8.6	黒曜石1			
Ⅲ-381	301	57	彫器	97	H24		200	57	23	6	8.7	黒曜石1	965	4173	
Ⅲ-381	301	58	彫器	97	H23		174	70	22	6	9.0	黒曜石4			
Ⅲ-381	301	59	彫器	100	J19		84	73	21	10	12.8	黒曜石4	1173	4700	
					K20		670								
Ⅲ-381	301	60	彫器	101	L18		409	77	25	9	15.2	黒曜石1	1141	4623	
					M18		1150								
Ⅲ-381	301	61	彫器	100	K19		272	70	28	11	18.4	黒曜石1			
Ⅲ-381	301	62	彫器	101	N17		73	38	17	9	5.1	黒曜石1			
Ⅲ-381	301	63	彫器		J23	I	2	55	20	10	8.7	黒曜石4			
Ⅲ-381	301	64	彫器		K17	I	1	59	20	7	8.1	黒曜石1			
Ⅲ-381	301	65	彫器	100	K20		735	59	26	10	13.0	黒曜石1			
Ⅲ-381	301	66	彫器	100	K20		441	58	24	6	7.8	黒曜石1			
Ⅲ-381	301	67	彫器	100	K19		224	105	37	10	(28.8)	黒曜石1		58116	
				101	K19		350								
Ⅲ-381	301	68	彫器	99	J21		508	(35)	(22)	(6)	(4.3)	黒曜石1	1029	4324	
Ⅲ-381	301	69	彫器	101	M19		735	42	16	7	4.6	黒曜石4			
Ⅲ-381	301	70	彫器	101	M18		1493	47	17	6	4.3	黒曜石1			

挿図	図版	番号	器種名	石器ブロック	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	接合番号	備考
Ⅲ-381	301	71	彫器	99	K21		197	49	20	7	6.6	黒曜石1	1023	4308	
Ⅲ-381	301	72	彫器	101	K18		9	82	23	9	16.6	黒曜石5		58115	
					K18		10								
Ⅲ-381	301	73	彫器	101	L18		410	41	21	7	6.3	黒曜石1			
Ⅲ-381	301	74	彫器		K19	Ⅰ	2	48	19	9	7.0	黒曜石1			
Ⅲ-381	301	75	彫器	99	I21		1051	48	19	6	5.9	黒曜石1			
Ⅲ-381	301	76	彫器	100	J19		212	52	20	5	5.0	黒曜石1			
Ⅲ-381	301	77	彫器	97	H24		499	48	26	8	9.3	黒曜石4			
Ⅲ-381	301	78	彫器	99	J21		236	50	21	7	7.4	黒曜石1			
Ⅲ-381	301	79	彫器	100	K20		164	66	22	10	12.9	黒曜石1			
Ⅲ-382	301	80	彫器	100	K19		287	62	22	5	8.5	黒曜石1			
Ⅲ-382	301	81	彫器		K20	Ⅰ	5	68	26	11	18.4	黒曜石3			
Ⅲ-382	301	82	彫器	97	H23		427	44	20	7	7.1	黒曜石1	958	4152	
Ⅲ-382	301	83	彫器	97	K23		2250	48	24	7	9.2	黒曜石1			
Ⅲ-382	301	84	彫器	99	J21		695	48	25	7	8.6	黒曜石1			
Ⅲ-382	301	85	彫器	99	I21		942	52	22	11	10.4	黒曜石1			
Ⅲ-382	302	86	彫器	99	K21		50	55	25	7	10.0	黒曜石1			
Ⅲ-382	302	87	彫器	99	J21		88	62	23	6	9.5	黒曜石1			
Ⅲ-382	302	88	彫器	100	K20		387	69	25	10	14.7	黒曜石1			
Ⅲ-382	302	89	彫器	99	I21		738	(40)	17	7	(4.7)	黒曜石1	1023	4308	
Ⅲ-382	302	90	彫器	99	J21		519	40	21	7	5.8	黒曜石1			
Ⅲ-382	302	91	彫器	99	I21		1054	45	19	8	7.9	黒曜石1			
Ⅲ-382	302	92	彫器	99	K21		240	50	20	6	5.9	黒曜石1			
Ⅲ-382	302	93	彫器	100	K19		364	52	21	8	7.7	黒曜石1			
Ⅲ-382	302	94	彫器	99	K22		623	53	22	9	8.1	黒曜石3			
Ⅲ-382	302	95	彫器	104	H17		45	55	21	9	10.2	黒曜石1			
Ⅲ-382	302	96	彫器	99	I21		245	51	23	8	8.9	黒曜石1	990	4230	
Ⅲ-382	302	97	彫器	99	I21		943	52	21	7	6.5	黒曜石1			
Ⅲ-382	302	98	彫器		K16	Ⅰ	1	58	24	11	12.9	黒曜石1			
Ⅲ-382	302	99	彫器	97	H22		218	61	22	7	8.6	黒曜石1			
Ⅲ-382	302	100	彫器		I22	Ⅰ	9	69	25	8	11.4	黒曜石1		58113	
					I22	Ⅰ	19								
Ⅲ-382	302	101	彫器	106	P16		2	25	17	8	3.8	黒曜石1			
Ⅲ-382	302	102	彫器	99	K21		306	52	19	7	7.4	黒曜石4			
Ⅲ-382	302	103	彫器		J21	Ⅰ	15	57	23	8	11.4	黒曜石1			
Ⅲ-383	302	104	彫器	100	K20		535	63	25	13	14.7	黒曜石1			
Ⅲ-383	302	105	彫器	97	J23		1184	90	25	10	18.5	黒曜石1			
Ⅲ-383	302	106	彫器	97	H23		117	103	31	14	31.3	黒曜石1		58112	
					J24		191								
Ⅲ-383	302	107	彫器		K21	Ⅰ	1	(60)	30	11	(18.6)	黒曜石1	1050	4370	
Ⅲ-383	302	108	彫器	105	J14		210	53	23	6	9.9	頁岩			
Ⅲ-383	302	109	彫器	97	I24		465	62	31	9	16.4	黒曜石1	954	4138	
Ⅲ-383	302	110	彫器		J20	Ⅰ	2	67	30	6	11.0	黒曜石1			
Ⅲ-383	302	111	彫器	98	M21		93	72	39	10	23.3	黒曜石1	997	4251	
Ⅲ-383	302	112	彫器		J22	Ⅰ	3	79	36	9	29.1	黒曜石1	1023	4306	
Ⅲ-383	303	113	彫器	100	K19		444	87	43	13	38.8	黒曜石1			
Ⅲ-383	303	114	彫器	101	N17		77	105	51	18	82.2	黒曜石1	947	4116	
Ⅲ-383	303	115	彫器	99	I21		941	93	38	10	29.9	黒曜石1			
Ⅲ-384	303	116	彫器	100	K19		366	80	31	9	23.7	黒曜石1			
Ⅲ-384	303	117	彫器	97	H24		836	93	51	10	40.7	黒曜石1	963	4159	
					I23		262								
Ⅲ-384	303	118	彫器		J21	Ⅰ	1	64	13	24	12.0	頁岩	1220	5843	
Ⅲ-384	303	119	彫器	97	I23		889	56	26	6	11.0	黒曜石1			
Ⅲ-384	303	120	彫器	97	J23		499	80	52	16	59.8	黒曜石1			
Ⅲ-384	303	121	彫器	97	H23		337	62	67	14	43.7	黒曜石1	947	4116	
Ⅲ-384	303	122	彫器	97	K24		1854	67	32	17	33.1	黒曜石4	1067	4437	
Ⅲ-384	303	123	彫器	99	I21		851	69	39	16	37.1	黒曜石3			
Ⅲ-384	303	124	彫器	100	K19		231	67	29	13	20.2	黒曜石3		5837	
Ⅲ-384	303	125	彫器	100	K19		137	53	36	10	21.5	黒曜石3		5837	
Ⅲ-384	303	126	彫器	100	K19		255	87	55	17	83.9	黒曜石1			
Ⅲ-385	303	127	彫器削片	97	I23		167	53	13	9	7.1	黒曜石1	947	4116	
Ⅲ-385	303	128	彫器削片	97	H24		56	61	15	14	7.2	黒曜石1	947	4116	
					H24		482								
					H24	Ⅰ	5								
Ⅲ-385	303	129	彫器削片	100	J19		309	87	17	24	21.8	黒曜石3		5837	

挿図	図版	番号	器種名	石器ブロック	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	接合番号	備考
Ⅲ-385	303	130	彫器削片	101	M18		2414	20	16	7	7.1	黒曜石1	958	4152	
Ⅲ-385	304	131	彫器削片		H23	Ⅱ	2	20	8	2	0.3	黒曜石4			
Ⅲ-385	304	132	彫器削片		H21	Ⅰ	1	24	4	3	0.2	黒曜石3			
Ⅲ-385	304	133	彫器削片		K20	Ⅱ	13	(20)	4	2	(0.1)	黒曜石1			
Ⅲ-385	304	134	彫器削片		J21	Ⅱ	8	28	4	3	0.3	黒曜石1			
Ⅲ-385	304	135	彫器削片		J22	Ⅱ	4	20	7	3	0.3	黒曜石1			
Ⅲ-385	304	136	彫器削片		I23	Ⅱ	4	21	7	2	0.2	黒曜石4			
Ⅲ-385	304	137	彫器削片		G23	Ⅱ	2	(22)	7	1	(0.2)	黒曜石1			
Ⅲ-385	304	138	彫器削片		I23	Ⅱ	3	20	9	3	0.4	黒曜石1			
Ⅲ-385	304	139	彫器削片		J19	Ⅱ	14	23	7	2	0.4	黒曜石1			
Ⅲ-385	304	140	彫器削片		H24	Ⅱ	3	25	9	2	0.4	黒曜石4			
Ⅲ-385	304	141	彫器削片		I22	Ⅱ	4	26	6	2	0.4	黒曜石1			
Ⅲ-385	304	142	彫器削片		J21	Ⅱ	6	18	5	3	0.2	黒曜石1			
Ⅲ-385	304	143	彫器削片		L16	Ⅱ	1	20	5	2	0.2	黒曜石1			
Ⅲ-385	304	144	彫器削片		J21	Ⅱ	9	18	4	3	0.2	黒曜石1			
Ⅲ-385	304	145	彫器削片		I24	Ⅱ	3	24	5	3	0.4	黒曜石1			
Ⅲ-385	304	146	彫器削片		J21	Ⅱ	12	19	9	3	0.5	黒曜石1			
Ⅲ-385	304	147	彫器削片		I22	Ⅱ	5	(20)	3	3	(0.3)	黒曜石1			
Ⅲ-385	304	148	彫器削片		J21	Ⅱ	10	23	5	2	0.1	黒曜石1			
Ⅲ-385	304	149	掻器	97	G23		44	53	21	7	8.5	黒曜石1	948		
Ⅲ-385	304	150	掻器	97	G23		73	58	23	7	9.0	黒曜石1	948		
Ⅲ-385	304	151	掻器	99	K21		232	61	21	12	12.0	黒曜石1			
Ⅲ-385	304	152	掻器		J19	Ⅰ	6	64	24	10	14.3	黒曜石1	965	4174	
Ⅲ-385	304	153	掻器		L20	Ⅰ	1	62	25	8	13.5	黒曜石3			
Ⅲ-385	304	154	掻器		L21	Ⅰ	1	67	25	9	12.9	黒曜石1	965	4174	
Ⅲ-385	304	155	掻器	97	G23		141	76	22	9	13.1	黒曜石1	948	4125	
Ⅲ-385	304	156	掻器	101	L17 M18		104 2013	96	26	13	27.7	黒曜石1		58117	
Ⅲ-385	304	157	掻器	100	K19		248	57	28	8	12.5	黒曜石1			
Ⅲ-385	304	158	掻器	104	H18		89	58	27	13	17.4	頁岩			
Ⅲ-385	304	159	掻器	101	L18		337	60	28	12	18.7	黒曜石1			
Ⅲ-386	304	160	掻器	97	H24		1	72	32	12	26.3	黒曜石1			
Ⅲ-386	304	161	掻器	100	K19		7	86	32	13	29.4	黒曜石1	1050	4370	
Ⅲ-386	304	162	掻器	101	K19		25	54	19	7	4.7	黒曜石1			
Ⅲ-386	304	163	掻器		J20	Ⅰ	3	75	23	7	9.0	黒曜石1			
Ⅲ-386	304	164	掻器	97	H24 J23		11 733	86	28	8	15.4	黒曜石1	1141	4623	
Ⅲ-386	304	165	掻器		G23	Ⅰ	1	91	30	9	25.1	黒曜石4			
Ⅲ-386	304	166	掻器	105	J15 J15		159 459	109	33	8	(25.1)	黒曜石1		58118	
Ⅲ-386	304	167	掻器		M18	Ⅱ	3	58	25	7	8.7	黒曜石1			
Ⅲ-386	304	168	掻器	98	L21		310	66	29	7	14.7	黒曜石1			
Ⅲ-386	304	169	掻器		J19	Ⅰ	7	70	32	12	24.8	黒曜石1			
Ⅲ-386	304	170	掻器	97	G23		149	(35)	(21)	6	(3.8)	黒曜石1	948	4125	
Ⅲ-386	305	171	掻器	100	J19		487	(86)	27	11	(18.8)	黒曜石4	1173	4700	
Ⅲ-386	305	172	掻器	99	J21		537	50	22	6	6.0	黒曜石1			
Ⅲ-386	305	173	掻器	100	J19 K19		490 412	132	35	34	76.5	黒曜石1	965	4173	
Ⅲ-387	305	174	錐形石器	97	K23		958	(86)	22	6	(11.9)	黒曜石1	1028	4322	
Ⅲ-387	305	175	錐形石器	100	J19		432	77	27	9	14.0	黒曜石5	1122	4586	
Ⅲ-387	305	176	錐形石器	102	H20		10	55	23	7	6.5	黒曜石5	948	4125	
Ⅲ-387	305	177	錐形石器	100	K19		297	53	26	8	9.6	黒曜石5	1128	4597	
Ⅲ-387	305	178	錐形石器		J20	Ⅰ	26	54	27	7	8.5	黒曜石5	1128	4596	
Ⅲ-387	305	179	錐形石器	100	K19		311	74	35	7	17.8	黒曜石5	1128	4597	
Ⅲ-387	305	180	錐形石器		J22	Ⅰ	33	75	16	23	17.7	黒曜石4			
Ⅲ-387	305	181	錐形石器	99	K21		157	(48)	9	10	(2.9)	頁岩	1220	5843	
Ⅲ-387	305	182	錐形石器	101	M18		77	(46)	9	(13)	(4.3)	頁岩	1220	5801	
Ⅲ-387	305	183	削器	101	L19 L19		95 252	102	32	11	31.6	黒曜石1		58128	
Ⅲ-387	305	184	削器		J19	Ⅰ	8	(59)	(18)	14	(12.7)	黒曜石1	965	4174	
Ⅲ-387	305	185	削器	98	M21		605	(79)	26	11	(20.4)	黒曜石1	1050	4370	
Ⅲ-387	305	186	削器	100	K19		333	(30)	(34)	9	(10.4)	黒曜石4	1108	4556	
Ⅲ-387	305	187	削器	101	K19 L19		325 515	(90)	40	9	(37.7)	黒曜石5	1123	4588	
Ⅲ-387	305	188	削器	97	H23		428	101	59	14	83.1	黒曜石1	964	4172	

挿図	図版	番号	器種名	石器ブロック	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	接合番号	備考
Ⅲ-388	305	189	削器	104	I 15		331	99	48	17	66.9	黒曜石1	1191	4752	
					J 15		436								
Ⅲ-388	306	190	削器		I 23	I	1	75	72	16	86.3	黒曜石1	1039	4348	
Ⅲ-388	306	191	削器	100	J 19		152	112	38	10	40.8	黒曜石1		58125	
					J 19		320								
					K19		371								
					K19		442								
Ⅲ-388	306	192	削器	97	H24		213	65	45	12	38.2	安山岩1			
Ⅲ-388	306	193	削器		K21	I	6	111	78	30	220.3	黒曜石1	1034	4337	
Ⅲ-388	306	194	削器	98	L21		120	141	73	50	452.5	黒曜石4	1089	4520	
Ⅲ-389	306	195	舟底形石器		H21	I	2	13	38	5	3.0	黒曜石4			
Ⅲ-389	306	196	舟底形石器	97	H24		687	12	33	4	1.9	黒曜石4		58076	
					I 24	Ⅱ	7								
Ⅲ-389	306	197	舟底形石器		L19	I	4	11	36	5	2.4	黒曜石4	1179	4719	
Ⅲ-389	306	198	舟底形石器	97	H24		117	12	42	8	3.4	黒曜石1			
Ⅲ-389	306	199	舟底形石器	97	G23		74	12	35	5	2.5	黒曜石4			
Ⅲ-389	306	200	舟底形石器		K19	I	10	12	33	8	2.5	黒曜石1			
Ⅲ-389	306	201	舟底形石器	101	L19		559	14	74	8	6.6	黒曜石4		58086	
					L19		560								
Ⅲ-389	306	202	舟底形石器		K19	I	11	14	36	6	2.8	黒曜石4			
Ⅲ-389	306	203	舟底形石器	100	K20		660	13	40	7	3.2	黒曜石1			
Ⅲ-389	306	204	舟底形石器	98	L20		10	14	40	6	3.4	黒曜石4	1176	4705	
Ⅲ-389	306	205	舟底形石器	99	I 21		512	14	42	7	3.7	黒曜石1			
Ⅲ-389	306	206	舟底形石器	97	H24		131	15	51	6	4.5	黒曜石1			
Ⅲ-389	306	207	舟底形石器		K20	I	7	14	32	8	3.6	黒曜石4			
Ⅲ-389	306	208	舟底形石器		K22	I	1	15	45	8	4.5	黒曜石1			
Ⅲ-389	306	209	舟底形石器	97	K23		373	15	35	6	3.2	黒曜石4			
Ⅲ-389	306	210	舟底形石器	99	K21		320	14	35	8	3.7	黒曜石1			
Ⅲ-389	306	211	舟底形石器	99	I 21		739	14	50	7	5.6	黒曜石3	1174	4701	
Ⅲ-389	306	212	舟底形石器	100	K19		234	15	37	7	3.4	黒曜石1			
Ⅲ-389	306	213	舟底形石器	99	I 21		973	16	34	8	3.9	黒曜石1			
Ⅲ-389	306	214	舟底形石器	97	H23		836	12	(34)	6	(2.4)	黒曜石4			
Ⅲ-389	306	215	舟底形石器	99	I 21		513	(14)	(31)	(6)	(3.4)	黒曜石3	1174		
Ⅲ-389	307	216	舟底形石器	99	J 22		50	14	50	6	3.5	黒曜石4			
Ⅲ-389	307	217	舟底形石器	106	M16		99	20	83	7	8.7	黒曜石1		58084	
					M16		100								
Ⅲ-389	307	218	舟底形石器	99	K21		183	12	50	5	2.7	黒曜石4			
Ⅲ-389	307	219	舟底形石器	100	K20		451	10	53	8	3.3	黒曜石4	1066		
Ⅲ-389	307	220	舟底形石器	99	I 21		945	16	47	7	5.5	黒曜石4	1079	4498	
Ⅲ-389	307	221	舟底形石器		K19	I	1	17	59	8	6.7	黒曜石4			
Ⅲ-390	307	222	舟底形石器		J 16	I	1	17	70	14	16.0	黒曜石3			
Ⅲ-390	307	223	舟底形石器		J 16	I	2	18	94	16	21.9	黒曜石1			
Ⅲ-390	307	224	舟底形石器	97	J 23		251	22	79	15	26.8	黒曜石5			
Ⅲ-390	307	225	舟底形石器	100	K19		252	25	82	20	33.7	黒曜石4			
Ⅲ-390	307	226	舟底形石器		J 23	I	6	23	98	20	36.1	黒曜石1			
Ⅲ-390	307	227	舟底形石器		J 19	I	1	28	81	20	40.6	黒曜石4		5945	
Ⅲ-390	307	228	舟底形石器	97	K23		4201	26	70	21	39.8	黒曜石4	1079	4498	
Ⅲ-390	307	229	舟底形石器	97	L23		1447	24	65	25	32.2	黒曜石4	1104	4552	
Ⅲ-391	307	230	舟底形石器	98	M20		28	25	102	23	50.1	黒曜石4	1108	4556	
					K20	I	9								
Ⅲ-391	307	231	舟底形石器		J 24	I	3	31	79	22	41.5	黒曜石4			
Ⅲ-391	307	232	舟底形石器	101	M18		1	28	75	22	46.9	黒曜石4		5968	
Ⅲ-391	307	233	舟底形石器	97	M22		1900	33	124	23	78.1	黒曜石5	1047	4367	
					L21	I	2								
Ⅲ-391	307	234	舟底形石器	98	M20		123	24	64	18	20.8	黒曜石4	1120	4583	
Ⅲ-391	307	235	舟底形石器	97	K23		3990	26	(62)	19	(22.6)	黒曜石4	1104	4552	
Ⅲ-391	307	236	舟底形石器	97	M22		118	31	69	15	25.3	黒曜石5	1135	4617	
Ⅲ-392	307	237	舟底形石器	101	K17		43	23	108	16	41.2	黒曜石4	1185	4734	
					M18	I	1								
Ⅲ-392	308	238	舟底形石器	97	M21		953	25	117	23	53.0	黒曜石1	1038	4347	
Ⅲ-392	308	239	舟底形石器	101	L18		507	20	104	36	51.1	黒曜石4	1185	4734	
					M17		48								
Ⅲ-392	308	240	舟底形石器	97	J 24		527	33	101	37	90.4	黒曜石3			
Ⅲ-392	308	241	舟底形石器	97	M22		678	40	121	31	123.4	黒曜石1	1014	4285	
Ⅲ-393	308	242	舟底形石器	98	L20		113	22	78	25	45.8	黒曜石4	1108	4556	

挿図	図版	番号	器種名	石器ブロック	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	接合番号	備考
					M20		47								
Ⅲ-393	308	243	舟底形石器	97	K22		788	42	67	24	53.4	黒曜石4	1091	4522	
Ⅲ-393	308	244	舟底形石器	97	K23		4162	30	73	40	74.1	黒曜石4	1079	4498	
Ⅲ-393	308	245	舟底形石器	101	M19		178	36	91	32	74.9	黒曜石1			
Ⅲ-393	308	246	舟底形石器	99	K21		312	38	126	60	258.4	黒曜石1	990	4230	
				97	K24		876								
Ⅲ-394	308	247	舟底形石器	98	M21		92	53	114	62	343.6	黒曜石1	1034	4337	
Ⅲ-394	308	248	舟底形石器	100	K19		166	51	103	31	152.9	黒曜石1			
Ⅲ-394	308	249	舟底形石器	97	M22		410	21	63	16	15.5	黒曜石4			
Ⅲ-394	308	250	舟底形石器	104	K16		16	22	72	15	22.8	黒曜石1			
Ⅲ-394	308	251	舟底形石器	100	K19		10	22	92	14	30.4	黒曜石1		58085	
				101	M19		752								
Ⅲ-395	309	252	舟底形石器	101	L17		42	23	102	14	30.2	黒曜石1		58083	
					L18		400								
Ⅲ-395	309	253	舟底形石器	100	K20		143	25	106	17	39.6	黒曜石3		58082	
					K20		310								
Ⅲ-395	309	254	舟底形石器	98	M20		29	29	114	20	49.0	黒曜石4	1108	4556	
					L20	Ⅰ	2								
Ⅲ-395	309	255	舟底形石器	100	K19		359	35	118	22	69.1	黒曜石4	1120	4583	
				97	M22		1525								
Ⅲ-395	309	256	舟底形石器	97	M21		695	38	137	33	169.2	黒曜石1	985	4225	
					M21		999								
Ⅲ-396	309	257	舟底形石器	97	L22		324	26	99	17	33.4	黒曜石1	999	4256	
Ⅲ-396	309	258	舟底形石器	97	M21		84	(30)	(61)	(17)	(31.8)	黒曜石3		5969	
Ⅲ-396	309	259	舟底形石器		N18	Ⅰ	1	17	61	12	12.5	頁岩			
Ⅲ-396	309	260	舟底形石器	97	M21		375	25	88	15	23.6	黒曜石3		5969	
Ⅲ-396	309	261	舟底形石器	97	L22		1779	25	58	20	21.0	黒曜石4	1103	4551	
Ⅲ-396	309	262	舟底形石器	97	J23		285	24	75	17	25.7	黒曜石1			
Ⅲ-396	309	263	舟底形石器	100	J20		100	29	82	16	39.5	黒曜石4		5813	
Ⅲ-396	309	264	舟底形石器	101	M18		1679	36	60	22	42.9	黒曜石4		5968	
Ⅲ-396	309	265	舟底形石器	97	L22		1312	35	96	17	51.8	黒曜石4	1076	4482	
					M22		131								
Ⅲ-397	309	266	舟底形石器	100	K19		365	42	84	17	68.9	黒曜石1			
Ⅲ-397	310	267	舟底形石器	97	M22		94	51	121	28	117.4	黒曜石5	1135	4617	
					M22		96								
Ⅲ-397	310	268	舟底形石器		K19	Ⅰ	4	51	93	45	170.0	黒曜石4	1120	4583	
Ⅲ-397	310	269	舟底形石器		J19	Ⅰ	9	26	73	18	31.6	黒曜石4		5945	
Ⅲ-397	310	270	舟底形石器	97	K23		2587	37	87	15	42.8	黒曜石4	1079	4498	
					K23		4120								
Ⅲ-398	310	271	舟底形石器	100	J19		186	(60)	(89)	(34)	(117.5)	黒曜石5	1134	4613	
Ⅲ-398	310	272	舟底形石器		L18	Ⅰ	2	38	74	15	44.1	黒曜石1			
Ⅲ-398	310	273	舟底形石器	98	L20		63	43	91	25	90.7	黒曜石1			
Ⅲ-398	310	274	舟底形石器	99	J21		324	47	145	28	120.1	黒曜石1		58074	
					K21		205								
Ⅲ-398	310	275	舟底形石器		J24	Ⅰ	2	39	144	23	115.5	黒曜石1	986	4226	
					K23	Ⅰ	1								
Ⅲ-399	311	276	舟底形石器削片		I22	Ⅱ	6	14	3	2	0.1	黒曜石1			
Ⅲ-399	311	277	舟底形石器削片		J21	Ⅱ	14	15	4	4	0.2	黒曜石1			
Ⅲ-399	311	278	舟底形石器削片		I21	Ⅱ	5	(14)	(4)	1	(0.1)	黒曜石3			
Ⅲ-399	311	279	舟底形石器削片		I22	Ⅱ	3	12	4	2	0.1	黒曜石3			
Ⅲ-399	311	280	二次加工ある剥片	100	K19		391	100	35	19	42.1	黒曜石1	965	4174	
					J19	Ⅰ	44								
Ⅲ-399	311	281	二次加工ある剥片	98	L21		427	92	67	18	68.0	黒曜石3	328	1658	
Ⅲ-399	311	282	つまみ付きナイフ	101	L19		11	37	21	2	2.2	黒曜石1			水和層 H171
Ⅲ-399	311	283	石刃		J22	Ⅰ	23	70	21	10	13.2	黒曜石1	1028	4322	
Ⅲ-399	311	284	石刃		J22	Ⅰ	17	65	33	11	14.8	黒曜石1	1007	4275	
Ⅲ-399	311	285	石刃	101	K19		126	73	27	8	15.3	黒曜石1	1153	4652	
Ⅲ-399	311	286	石刃	104	H18		104	104	31	12	(34.1)	黒曜石5	948	4125	
				103	H18		106								
					H18	Ⅱ	1								
Ⅲ-399	311	287	石刃	97	M22		730	88	22	11	21.2	黒曜石1	965	4174	
Ⅲ-399	311	288	石刃	97	K23		4098	85	39	9	(21.5)	黒曜石1	958	4152	
					J24	Ⅰ	129								
Ⅲ-399	311	289	石刃	97	K24		175	131	41	13	75.7	黒曜石1	990	4230	
					排土		132								

挿図	図版	番号	器種名	石器ブロック	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	接合番号	備考
Ⅲ-399	311	290	石刃	100	K20		464	137	49	17	84.4	黒曜石1	965	4173	
					K22	I	39								
Ⅲ-400	311	291	石刃	97	L22		151	155	46	19	126.3	黒曜石1	965	4173	
					M21		533								
Ⅲ-400	311	292	石刃	97	I24		795	185	53	21	161.1	黒曜石1	977	4207	
					I24		895								
					I24		1068								
				99	J22		29								
Ⅲ-400	312	293	石刃	100	J19		499	(111)	29	11	(28.8)	黒曜石1	965	4173	
					I19	I	4								
Ⅲ-400	312	294	石刃	100	K20		491	(75)	(40)	(15)	(39.8)	黒曜石1	965	4174	
Ⅲ-400	312	295	石刃	99	G22		38	90	29	14	(23.1)	黒曜石1	948	4125	
Ⅲ-400	312	296	石刃	97	H23		703	(11)	49	13	(63.6)	黒曜石1	965	4174	
Ⅲ-400	312	297	石刃		P19	I	1	139	72	20	157.8	黒曜石1			
Ⅲ-401	312	298	石刃	97	K23		2733	89	42	9	29.9	黒曜石1	997	4251	
					K23		4042								
					K23		4156								
Ⅲ-401	312	299	石刃	97	K23		1313	50	23	3	5.2	頁岩			
Ⅲ-401	312	300	石刃核	99	J21		756	53	49	31	90.4	黒曜石1	1007	4275	
Ⅲ-401	312	301	石刃核	100	K20		379	65	65	42	125.4	黒曜石4	1108	4556	
Ⅲ-401	312	302	石刃核	99	I21		225	72	97	39	273.8	黒曜石1	997	4251	
Ⅲ-401	313	303	石刃核	104	I16		52	85	89	125	963.1	黒曜石5			
Ⅲ-401	313	304	石刃核	101	M19		511	65	62	42	132.7	黒曜石1	1164	4678	
Ⅲ-401	313	305	石刃核		G16	I	1	134	102	42	582.1	黒曜石4			
Ⅲ-402	313	306	石刃核	97	K23		4031	170	138	10	2666.5	黒曜石1	1015	4286	
Ⅲ-403	314	307	石刃核		I20	I	2	72	65	58	336.1	黒曜石3	948	4125	
Ⅲ-403	314	308	石刃核	97	K23		1691	105	87	51	464.9	黒曜石1	1028	4322	
Ⅲ-403	314	309	石刃核	97	L23		1740	103	91	46	433.7	黒曜石5	1122	4586	
Ⅲ-403	314	310	石刃核	100	J20		35	68	75	38	182.1	黒曜石1	990	4230	
Ⅲ-403	314	311	石刃核	98	M21		91	91	83	43	389.1	黒曜石5	1123	4588	
Ⅲ-404	314	312	石刃核	101	N18		1120	100	65	32	196.2	黒曜石5	1158	4663	
Ⅲ-404	314	313	石刃核	100	K19		451	65	42	33	99.4	黒曜石1	965	4174	
Ⅲ-404	315	314	石刃核	99	I21		944	71	72	38	173.9	黒曜石1	1000	4257	
Ⅲ-404	315	315	石刃核	97	L23		1050	75	72	52	210.8	黒曜石1	1016	4287	
Ⅲ-404	315	316	石刃核	100	K20		201	101	63	57	296.7	黒曜石1			
Ⅲ-404	315	317	石刃核		I20	I	1	70	64	51	177.9	黒曜石1			
Ⅲ-405	315	318	石刃核	97	L21		411	35	42	23	34.1	黒曜石4	1089	4520	
Ⅲ-405	315	319	石刃核		H23	I	1	54	51	41	92.6	黒曜石1			
Ⅲ-405	315	320	石刃核	97	H25		81	82	81	85	463.1	黒曜石1			
Ⅲ-405	315	321	石刃核		L18	I	7	59	50	32	97.8	黒曜石1	1140	4622	
Ⅲ-405	315	322	石刃核	97	M21		1017	85	42	22	85.6	黒曜石4	1121	4584	
Ⅲ-405	315	323	石刃核		I21	I	3	121	60	45	323.4	黒曜石1			
Ⅲ-406	316	324	石核	102	H18		57	131	108	94	1292.2	黒曜石1	1142	4626	
Ⅲ-406	316	325	石核	104	I16		42	68	63	27	107.1	黒曜石1			
Ⅲ-406	316	326	石核	102	I18		67	132	159	90	1837.0	黒曜石3	1168	4687	
Ⅲ-406	316	327	石核	101	L19		141	44	47	40	68.0	黒曜石1	1140	4622	
Ⅲ-407	316	328	石核	97	M21		656	69	71	29	122.9	黒曜石4	1074	4480	
Ⅲ-407	316	329	石核		J20	I	9	70	66	50	200.4	黒曜石1	1034	4337	
Ⅲ-407	317	330	石核	97	K23		2760	97	109	105	1090.3	黒曜石1	1038	4347	
Ⅲ-408	317	331	石核		I22	I	1	63	65	31	131.4	黒曜石1	958	4152	
Ⅲ-408	317	332	石核	99	I21		757	55	54	28	111.5	黒曜石1			
Ⅲ-408	317	333	石核	97	J23		1262	49	54	31	65.4	黒曜石4	1072	4468	
Ⅲ-408	317	334	石核	97	J23		1181	83	75	40	238.4	黒曜石4	1072	4469	
Ⅲ-408	317	335	剥片	104	H16		2	45	20	3	3.2	緑色泥岩			
Ⅲ-408	317	336	台石	105	J14		36	243	(130)	17	(618.9)	安山岩2		61034	
					J15	I	5								
					K14	I	1								
—	318	392	尖頭器	101	L18		528	162	49	14	106.4	黒曜石1		5823	
					M17		157								
—	318	393	尖頭器		J20	I	1	(89)	(77)	(14)	(70.9)	黒曜石1	1039	4349	
—	318	394	尖頭器	97	H23		363	(72)	(77)	(18)	(102.3)	黒曜石1	972	4197	
—	318	395	尖頭器	97	L22		700	(66)	(96)	(31)	(170.1)	黒曜石4	1121	4584	
—	318	396	尖頭器	99	G21		75	(160)	(114)	(50)	(620.9)	黒曜石1	962	4157	
					J21		430								
—	318	397	尖頭器削片	101	M18		876	57	9	19	5.9	黒曜石1		5823	

挿図	図版	番号	器種名	石器ブロック	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	接合番号	備考
－	318	398	尖頭器削片	100	K20		496	(69)	18	15	(15.7)	黒曜石3	1087	4508	
					K19	I	8								
－	319	399	尖頭器削片	97	H23		170	159	31	38	115.4	黒曜石1	972	4197	
					J24		1323								
－	319	400	尖頭器削片		L21	I	41	(55)	12	35	(15.8)	黒曜石1	1039	4349	
－	319	401	尖頭器削片		J22	I	13	(74)	(20)	14	(16.2)	黒曜石4	1087	4508	
－	319	402	両面調整石器	97	M22		1561	86	90	34	241.4	黒曜石5	1045	4365	
－	319	403	両面調整石器	99	J21		670	158	136	66	1555.3	黒曜石3	1109	4557	
－	319	404	彫器	99	I21		87	(41)	20	(6)	(5.0)	黒曜石1			
－	319	405	彫器	97	G24		69	36	21	5	4.8	黒曜石1			
－	319	406	彫器	97	I24		810	99	33	19	48.9	黒曜石1		5834	
－	319	407	掻器	97	H23		661	58	21	7	8.4	黒曜石1		5943	
－	319	408	掻器	100	J20		9	96	42	18	55.5	黒曜石1			
－	320	409	錐形石器	104	H17		42	91	(30)	18	(26.7)	黒曜石5		5943	
－	320	410	削器	101	K18		7	(48)	(23)	(6)	(5.2)	黒曜石1	1156	4655	
－	320	411	削器	102	I19		191	(85)	(87)	(9)	(38.7)	黒曜石4		58130	
					I19		218								
－	320	412	削器	97	L22		2824	50	28	6	9.3	黒曜石4			
－	320	413	削器	99	I21		554	50	26	7	7.6	黒曜石1	1122	4586	
－	320	414	削器		J23	I	3	82	41	21	45.1	黒曜石1	1138	4620	
－	320	415	舟底形石器		J21	I	3	(13)	(41)	(5)	(2.4)	黒曜石3			
－	320	416	舟底形石器		K19	I	6	22	68	20	20.1	黒曜石4			
－	320	417	舟底形石器	101	L19		486	21	91	21	38.4	黒曜石4		58087	
					L19		527								
－	320	418	舟底形石器	104	H17		1	25	103	15	41.4	黒曜石4		58090	
					I17		1								
－	320	419	舟底形石器	97	H23		68	29	82	20	42.4	黒曜石4			
－	320	420	舟底形石器		O19	I	1	36	(79)	19	(40.9)	黒曜石1			
－	320	421	舟底形石器	101	L18		124	31	100	20	41.1	黒曜石4		58088	
					M18		1537								
					N18		692								
－	320	422	舟底形石器	101	K19		31	43	111	21	74.4	黒曜石4	1178	4718	
					M18		868								
－	320	423	舟底形石器		J20	I	7	28	135	35	132.3	黒曜石4			
－	321	424	舟底形石器	97	L22		751	36	(70)	24	(57.5)	黒曜石4	1106	4554	
－	321	425	舟底形石器		L22	I	9	27	83	27	58.4	黒曜石1			
－	321	426	舟底形石器	100	K19		92	33	(94)	35	(87.9)	黒曜石4	1181	4730	
				98	M21		574								
－	321	427	舟底形石器		I23	I	2	28	100	21	46.4	黒曜石1		58073	
					J23	I	7								
－	321	428	舟底形石器	101	L19		191	38	107	24	63.3	黒曜石1	1165	4681	
					M19		375								
－	321	429	舟底形石器	101	K18		60	38	98	33	105.9	黒曜石4	1178	4718	
－	321	430	舟底形石器		K20	I	10	37	12	37	150.6	黒曜石5		58089	
					K20	I	56								
					K21	I	3								
－	321	431	舟底形石器	97	M21		748	42	133	48	191.3	黒曜石1	984	4220	
					L22	I	13								
－	321	432	舟底形石器	99	K22		320	54	144	40	203.0	黒曜石4		58077	
				97	K24		875								
－	321	433	舟底形石器	97	L22		660	40	103	55	(202.2)	黒曜石1	1047	4367	
					M22		873								
					L22	I	254								
－	322	434	舟底形石器	97	L22		135	49	82	38	137.8	黒曜石4	1107	4555	
－	322	435	舟底形石器	101	L19		386	20	114	29	57.3	黒曜石1	1156	4655	
					M18		2411								
－	322	436	舟底形石器		L22	I	8	(42)	(52)	(17)	(33.2)	黒曜石1	1008	4276	
－	322	437	舟底形石器	98	L20		17	(24)	(46)	(23)	(21.7)	黒曜石5	1128	4597	
－	322	438	舟底形石器	101	N18		57	(22)	(63)	21	(26.3)	黒曜石4	1170	4692	
－	322	439	舟底形石器	97	I24		1282	29	68	14	24.0	黒曜石4	1078	4493	
－	322	440	舟底形石器	97	M21		808	35	87	24	63.7	黒曜石1			
－	322	441	舟底形石器	97	M22		112	35	93	19	46.9	黒曜石1	987	4227	
					L22	I	7								
－	322	442	舟底形石器	97	L22		778	35	94	33	85.9	黒曜石1	984	4220	
					L22		2298								

挿図	図版	番号	器種名	石器ブロック	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	接合番号	備考
－	322	443	舟底形石器	97	L22		1994	26	66	23	29.0	黒曜石1	987	4227	
－	322	444	舟底形石器		L22	I	40	23	59	26	(30.6)	黒曜石4	1107	4555	
－	322	445	舟底形石器		L22	I	11	28	90	25	46.6	黒曜石4	1106	4554	
					L22	I	41								
－	322	446	舟底形石器	101	L19		530	32	96	19	51.6	黒曜石1	987	4227	
－	322	447	舟底形石器	97	H24		99	(35)	(129)	22	(99.0)	黒曜石4		58075	
					I23		467								
					I24	I	1								
－	322	448	舟底形石器	97	L22		513	33	114	33	64.9	黒曜石1	1048	4368	
					L22		539								
－	323	449	舟底形石器		L17	I	1	28	77	18	37.6	黒曜石3			
－	323	450	舟底形石器	99	H21		62	(27)	(43)	(13)	(15.4)	黒曜石3	1078	4493	
－	323	451	二次加工ある剥片	106	K16		18	75	28	11	14.3	頁岩			
－	323	452	縦長剥片	104	I15		1	67	25	5	6.7	碧玉1			
－	323	453	縦長剥片	97	H22		1	67	28	18	26.3	頁岩			
－	323	454	縦長剥片		H15	I	1	65	31	13	24.3	珪岩			
－	323	455	縦長剥片	102	I19		217	(58)	22	(4)	(4.4)	頁岩			
－	323	456	縦長剥片	97	H22		160	(76)	31	13	(18.0)	頁岩			
－	323	457	縦長剥片	97	L22		901	143	47	23	113.5	黒曜石4	1121	4584	
					M22		1480								
－	323	458	縦長剥片	97	L22		1849	(99)	31	14	(38.8)	黒曜石4	1121	4584	
－	323	459	石刃核	101	L17		105	42	45	39	77.3	黒曜石1	1162	4668	
－	323	460	石刃核	101	M19		200	65	46	35	83.5	黒曜石1			
－	323	461	石刃核	97	M21		1029	59	53	35	124.5	黒曜石1			
－	323	462	石刃核	101	K19		310	63	69	33	163.0	黒曜石1			
－	323	463	石刃核		M19	I	16	58	64	40	156.2	黒曜石1	1161	4667	
－	323	464	石刃核	97	M22		1225	65	78	39	204.1	黒曜石1			
－	324	465	石刃核	97	K23		1912	65	68	29	146.9	黒曜石1		5871	
－	324	466	石刃核	99	I22		143	78	69	28	160.4	黒曜石1	953	4137	
－	324	467	石刃核	97	L22		294	73	78	44	232.6	黒曜石1	1047	4367	
					M21		526								
					M22		1197								
－	324	468	石刃核	98	M21		60	75	85	59	349.7	黒曜石1	989	4229	
－	324	469	石刃核		I19	I	1	80	82	61	403.4	黒曜石1			
－	324	470	石刃核	101	L19		456	77	70	43	223.2	黒曜石4	1170	4692	
－	324	471	石刃核	97	L23		1346	109	71	40	265.0	黒曜石1	994	4248	
－	324	472	石刃核	99	K21		231	78	93	52	507.8	黒曜石1			
－	325	473	石刃核	97	N21		73	87	42	36	123.2	黒曜石1			
－	325	474	石刃核		L18	I	6	75	59	22	119.1	黒曜石1	1145	4630	
－	325	475	石刃核		L18	I	4	50	53	26	77.3	黒曜石1	1166	4682	
－	325	476	石刃核	101	M18		572	46	55	26	73.8	黒曜石5	1153	4652	
－	325	477	石刃核	97	M21		448	71	47	40	108.2	黒曜石4	1118	4578	
－	325	478	石刃核	97	M21		1039	76	57	38	142.5	黒曜石1			
－	325	479	石刃核		K23	I	3	66	57	46	167.8	黒曜石1		5870	
－	325	480	石刃核	100	K19		88	62	57	27	91.0	黒曜石1			
－	325	481	石刃核	101	K19		263	75	55	34	161.0	黒曜石1	999	4256	
－	325	482	石刃核	106	M16		47	78	70	47	263.3	黒曜石1	1149	4640	
－	326	483	石刃核	97	I23		561	80	75	88	550.9	黒曜石1	981	4216	
－	326	484	石刃核	98	M20		70	90	73	50	279.8	黒曜石5			
－	326	485	石刃核	101	M17		143	77	86	47	294.8	黒曜石4	1178	4718	
－	326	486	石刃核		K21	I	5	106	129	63	934.9	黒曜石1	1042	4353	
－	326	487	石核	100	K20		563	65	53	33	121.8	黒曜石1			
－	326	488	石核	97	N21		103	75	70	29	155.0	黒曜石1	1050	4370	
－	327	489	石核	99	I21		100	70	70	51	297.9	黒曜石1			
－	327	490	石核	97	H22		157	62	50	30	68.7	黒曜石1			
－	327	491	石核	97	L22		1073	56	59	54	186.7	黒曜石4	1060	4398	
－	327	492	石核	101	M18		1554	52	37	33	62.1	黒曜石1	1156	4655	
－	327	493	石核	101	L17		52	42	42	30	40.1	黒曜石4	1187	4745	
－	327	494	石核	100	K19		112	58	62	49	163.5	黒曜石1			
－	327	495	石核	101	K19		222	70	73	34	190.5	黒曜石1			
－	327	496	石核	99	K21		229	78	84	36	251.1	黒曜石1	1138	4620	
－	327	497	石核	101	M17		132	59	57	58	187.7	黒曜石5	1139	4621	
－	327	498	石核	97	I22		264	64	56	53	196.4	黒曜石4			
－	327	499	石核		J24	I	11	75	60	44	202.3	黒曜石1			
－	328	500	石核	102	I18		68	106	135	73	1035.6	黒曜石5	1143	4627	

挿図	図版	番号	器種名	石器ブロック	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	接合番号	備考
－	328	501	石核	102	Ｉ19		256	110	148	74	1370.1	黒曜石1	1144	4628	
－	328	502	石核	101	M19		246	58	61	32	100.0	黒曜石4	1184	4733	
－	328	503	石核		Ｌ18	Ⅰ	5	60	74	36	158.8	黒曜石1			
－	328	504	石核		K24	Ⅰ	3	60	64	49	323.1	黒曜石1			
－	328	505	石核	101	M18		1168	77	70	39	163.6	黒曜石1	1165	4681	
－	329	506	石核	97	M22		1760	80	97	62	629.7	黒曜石1	1030	4327	
－	329	507	石核		Ｌ18	Ⅰ	3	138	126	57	995.5	黒曜石1	1153	4652	
－	329	508	石核	101	Ｌ19		490	57	46	25	65.9	黒曜石4	1075	4481	
－	329	509	石核	102	Ｈ19		62	75	48	23	73.9	黒曜石1			
－	329	510	石核	97	Ｈ24		322	(70)	(112)	(41)	(321.5)	黒曜石1			
Ⅲ-496	392	1	尖頭器	110	Q03		44	(61)	15	4	(3.7)	黒曜石3			水和層 H173
Ⅲ-496	392	2	尖頭器	110	O04		300	(70)	(32)	(8)	(18.9)	黒曜石3			
Ⅲ-496	392	3	尖頭器	110	Ｐ04		33	(97)	(75)	(17)	(136.3)	黒曜石1	1198	4773	
Ⅲ-496	392	4	尖頭器		Q00 Ｒ－01	Ⅰ Ⅰ	1 1	254	88	22	432.0	黒曜石4		58140	
Ⅲ-497	392	5	尖頭器	110	O04 O04 N04	 Ⅰ	272 359 1	275	73	33	534.8	黒曜石5		5830	
Ⅲ-497	393	6	両面調整石器		Q00	Ⅰ	2	120	86	38	354.9	黒曜石1			
Ⅲ-498	393	7	両面調整石器	111	Q01		1	153	94	36	589.6	黒曜石1			
Ⅲ-498	393	8	彫器	110	Ｐ05		83	78	23	7	11.9	黒曜石1			
Ⅲ-498	393	9	彫器	109	N07		28	59	26	10	13.7	黒曜石1			
Ⅲ-498	393	10	掻器	110	O05		148	64	24	12	13.1	黒曜石3			
Ⅲ-498	393	11	掻器	109	N08		24	(48)	36	9	(12.3)	黒曜石1			産地分析 X183
Ⅲ-498	393	12	削器	109	N08		255	(123)	(36)	10	(35.4)	黒曜石1			
Ⅲ-498	393	13	削器	110	Q05		12	61	35	15	25.6	黒曜石4	1211	4804	
Ⅲ-498	393	14	舟底形石器	109	N07		106	13	46	4	2.8	黒曜石4			
Ⅲ-498	393	15	舟底形石器	110	O04		86	20	63	16	17.6	黒曜石4	1211	4804	
Ⅲ-499	393	16	舟底形石器	110	Q05 Q05	 	98 137	22	70	20	22.8	黒曜石3	1217	4823	
Ⅲ-499	393	17	舟底形石器	110	O05		124	33	75	19	37.1	黒曜石4	1202	4783	
Ⅲ-499	394	18	舟底形石器		N04	Ⅰ	2	31	90	18	39.7	黒曜石4	1217	4823	
Ⅲ-499	394	19	舟底形石器	110	O04		185	30	97	19	45.5	黒曜石4	1202	4783	
Ⅲ-499	394	20	石刃	109	N08		451	63	31	12	15.0	頁岩			
Ⅲ-499	394	21	石刃核	110	Q05		115	66	45	28	67.4	黒曜石4	1203	4784	
Ⅲ-499	394	22	石核	110	N04 N04	 	233 249	67	28	29	39.8	黒曜石4	1202	4783	
Ⅲ-499	394	23	石核	110	Ｐ05		338	55	48	31	84.8	黒曜石4	1211	4804	
－	394	27	尖頭器	109	N08		116	(21)	(31)	(8)	(4.2)	めのう			
－	394	28	削器	110	O05 Ｐ05	 	109 17	73	55	25	74.5	黒曜石4	1216	4817	
－	394	29	舟底形石器	110	Ｐ05		310	18	50	15	11.1	黒曜石4	1211	4804	
－	394	30	舟底形石器	109	N08		119	23	65	20	23.8	黒曜石1			
－	394	31	石刃核		Q01	Ⅰ	1	52	39	30	53.4	黒曜石4			
－	394	32	石刃核	110	O04		37	(54)	(49)	(31)	(76.6)	黒曜石4	1216	4817	
－	394	33	石刃核	109	N08		549	85	89	26	221.9	黒曜石1			
－	395	34	石核	109	N08		167	51	68	52	145.4	黒曜石4			
－	395	35	石核	110	N04		150	105	100	67	566.4	黒曜石4		5866	
－	395	36	石核	109	N08		120	117	135	102	1556.9	黒曜石4		5864	
Ⅲ-510	399	1	尖頭器		Ｌ41	Ⅰ	1	64	18	4	3.9	黒曜石1			水和層 H172
Ⅲ-510	399	2	尖頭器	外	G29		1	110	50	15	76.3	黒曜石1			
Ⅲ-510	399	3	石刃	61	Ｐ45		8	101	50	11	45.4	黒曜石5	933	4061	
Ⅲ-510	399	4	石刃		Q20	Ⅰ	1	125	50	13	82.5	黒曜石1			
－	399	5	削器	外	Ｐ39		3	87	84	31	206.6	黒曜石3	576	2879	
－	399	6	舟底形石器	外	Q09 Ｒ09	 	3 1	19	82	21	33.5	黒曜石4		58091	
－	399	7	石刃核	外	Ｒ－02		130	82	57	39	159.4	黒曜石4			
－	399	8	原石	外	Ｒ19 Ｒ19 Ｒ19 Ｒ19	 	1 2 3 4	374	33	29	306.3	黒曜石1		58139	
Ⅲ-511	400	1	削器		Ｂ調		13	72	23	16	21.1	黒曜石4	559	2816	
Ⅲ-511	400	2	舟底形石器		Ｂ調		9	18	(51)	17	(12.1)	黒曜石4	559	2816	
Ⅲ-511	400	3	舟底形石器		Ｂ調		16	32	97	41	94.2	黒曜石4	572	2864	
Ⅲ-511	400	4	石刃核		セ南30～51		3	88	90	45	322.3	黒曜石1	589	2915	

挿図	図版	番号	器種名	石器ブロック	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	接合番号	備　考
Ⅲ-511	400	5	石刃核		排土		63	82	83	51	358.3	黒曜石1	982	4217	
Ⅲ-511	400	6	石核		セ北13~29		18	105	90	70	547.9	黒曜石1	1029	4324	
Ⅲ-512	400	7	石刃核		ボサ		6	175	106	60	1276.3	黒曜石1	701	3220	
Ⅲ-512	401	8	石刃核		セ南30~51		4	191	148	125	3402.3	黒曜石1	691	3195	
Ⅲ-512	401	9	石刃核		セ南30~51		5	208	135	93	2986.0	黒曜石1	699	3217	
—	402	10	両面調整石器		セ南１~30		3	92	46	13	47.7	黒曜石5		5833	
—	402	11	削器		セ北13~29		8	104	71	33	191.9	黒曜石1	986	4226	
—	402	12	舟底形石器		ボサ		11	23	101	23	49.2	黒曜石1	988	4228	
—	402	13	石刃核		セ北13~29		16	54	63	43	142.6	黒曜石5	1119	4579	
Ⅲ-513	402	1	尖頭器	89	S29		110	107	48	22	78.3	黒曜石1		5959	
Ⅲ-513	402	2	尖頭器	89	S29		95	(32)	(29)	(8)	(6.4)	黒曜石1			
Ⅲ-513	402	3	削器	85	O36		31	129	28	13	19.2	黒曜石1			産地分析 X184
Ⅲ-513	402	4	尖頭器	90	K33 L32		30 1503	(133)	(32)	(13)	(21.7)	黒曜石1		62144	
Ⅲ-513	402	5	削器	91	H33		53	120	43	16	27.9	黒曜石1			産地分析 X186
Ⅲ-513	402	6	削器	91	H34 H34		5 42	122	22	8	14.0	黒曜石1		58007	産地分析 X185
Ⅲ-513	402	7	削器	109	N08		130	68	35	7	8.6	黒曜石1			産地分析 X187

表２　上白滝８遺跡(2)掲載接合資料一覧

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
Ⅲ-62	67	71	接合資料	67				510.0	25	1	489	359
			剥片	67	J38		2	0.9		1		
				67	L37		147	8.1		1		
			剥片	67	K38		58	9.0		1		
			剥片	67	L37		49	23.4		1		
			剥片	67	L37		50	10.4		1		
			剥片	67	L37		100	13.8		1		
			剥片	67	L37		117	2.9		1		
			剥片	67	L37		148	6.5		1		
			剥片	67	L37		154	10.3		1		
			剥片	67	L37		167	11.6		1		
			剥片	67	L37		209	26.4		1		
			剥片	67	L37		210	4.0		1		
			剥片	67	L37		221	3.0		1		
			剥片	67	L37		243	10.3		1		
					L37	Ⅱ	28	0.5		1		
			剥片	67	L37		266	0.6		1		
			剥片	67	L37		271	3.9		1		
			剥片	67	L37		291	1.0		1		
Ⅲ-49	65	58	石核	67	L37		332	321.6		1		
			剥片	67	L37		408	3.2		1		
			剥片	67	L37		409	12.7		1		
			剥片	67	L38		48	7.8		1		
			剥片	67	M36		54	15.2		1		
			剥片	67	M36		70	1.0		1		
			剥片	67	M36		81	1.9		1		
Ⅲ-63	68	72	接合資料	66				286.5	36	1	493	365
			剥片	66	R35		33	6.7		1		
			剥片	66	R35		40	5.7		1		
			剥片	66	R35		91	5.4		1		
			剥片	66	R35		92	1.8		1		
			剥片	66	R35		94	2.6		1		
			剥片		R35	Ⅰ	1	1.2		1		
Ⅲ-49	65	61	石核	66	R36		3	65.0		1		
			剥片	66	R36		8	4.9		1		
			剥片	66	R36		22	5.1		1		
			剥片	66	S35		2	15.0		1		
			剥片	66	S35		3	5.3		1		
			剥片	66	S35		9	6.0		1		
			剥片	66	S35		10	8.9		1		
			剥片	66	S35		11	3.6		1		
			剥片	66	S35		12	12.6		1		
			剥片	66	S35		13	5.5		1		
			剥片	66	S35		14	6.8		1		
			剥片	66	S35		15	10.2		1		
			剥片	66	S35		17	7.2		1		
Ⅲ-43	61	19	裏面微細加工石器	66	S35		18	4.6		1		
			剥片	66	S35		19	11.2		1		
			剥片	66	S35		21	6.7		1		
			剥片	66	S35		22	0.6		1		
			剥片	66	S35		24	2.0		1		
				66	S36		131	1.1		1		
			剥片	66	S35		25	6.6		1		
			剥片	66	S35		26	5.0		1		
			剥片	66	S35		32	17.4		1		
			剥片	66	S35		37	2.7		1		
			剥片	66	S35		38	4.6		1		
			剥片	66	S36		62	3.0		1		
			剥片	66	S36		132	12.7		1		
			剥片	66	S36		192	8.0		1		
			剥片	66	S36		254	7.6		1		
			剥片	66	S36		258	8.4		1		
			剥片		S36	Ⅰ	9	4.8		1		
Ⅲ-64	68	75	接合資料	66				596.8	56	1	497	370
			剥片	66	R36		5	23.9		1		
				66	S36		103	2.5		1		
			剥片	66	R36		9	11.2		1		
			剥片	66	R36		23	3.8		1		
				66	S36		186	13.6		1		
				66	S36		220	14.8		1		
			剥片	66	S36		2	1.7		1		
				66	S36		20	28.3		1		
				66	S36		119	17.8		1		
				66	S36		169	13.3		1		
				66	S36		231	4.8		1		
			剥片	66	S36		14	3.5		1		
			剥片	66	S36		17	5.9		1		
				66	S36		44	9.0		1		
			剥片	66	S36		19	5.5		1		
Ⅲ-50	65	62	石核	66	S36		24	3.6		1		
				66	S36		29	31.5		1		
				66	S36		82	3.0		1		
				66	S36		183	28.3		1		
			剥片	66	S36		42	4.1		1		
			剥片	66	S36		43	1.9		1		
				66	S36		245	1.3		1		
			剥片	66	S36		54	4.9		1		
				66	S36		133	1.3		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	66	S36		60	3.0		1		
				66	S36		167	6.2		1		
			剥片	66	S36		61	5.8		1		
				66	S36		205	26.7		1		
			剥片	66	S36		70	5.8		1		
			剥片	66	S36		74	9.9		1		
				66	S36		105	8.7		1		
			剥片	66	S36		75	9.6		1		
			剥片	66	S36		76	9.0		1		
				66	S36		184	4.0		1		
			剥片	66	S36		98	8.4		1		
			剥片	66	S36		104	2.6		1		
			剥片	66	S36		108	19.6		1		
			剥片	66	S36		112	3.2		1		
				66	S36		217	21.2		1		
			剥片	66	S36		122	3.2		1		
Ⅲ-50	65	63	石核	66	S36		135	66.7		1		
			剥片	66	S36		144	22.8		1		
			剥片	66	S36		150	3.8		1		
			剥片	66	S36		152	17.6		1		
			剥片	66	S36		153	22.6		1		
			剥片	66	S36		155	3.7		1		
				66	S36		157	3.4		1		
			剥片	66	S36		166	0.9		1		
			剥片	66	S36		173	4.5		1		
				66	S36		198	1.0		1		
			剥片	66	S36		180	27.9		1		
			剥片	66	S36		206	3.9		1		
			剥片	66	S36		208	3.8		1		
				66	S36		216	1.0		1		
			剥片	66	S36		225	16.4		1		
			剥片	66	S36		227	10.4		1		
Ⅲ-66	69	78	接合資料	70				1340.2	96	1	675	468
			剥片	70	H28		6	2.7		1		
				70	H29		14	4.1		1		
				70	I28		111	13.2		1		
				70	I28		115	14.9		1		
				70	I28		133	3.3		1		
			剥片	70	H29		5	33.9		1		
			剥片	70	H29		6	8.6		1		
			剥片	70	H29		7	7.9		1		
Ⅲ-44	61	24	二次加工ある剥片	70	H29		8	15.9		1		
			剥片	70	H29		9	2.5		1		
				70	I29		17	2.9		1		
			剥片	70	H29		17	13.2		1		
Ⅲ-48	65	51	石核	70	H29		19	56.1		1		
			剥片	70	H29		29	0.9		1		
				70	I28		129	4.2		1		
				70	I28		167	5.1		1		
			剥片	70	I27		2	6.6		1		
			剥片	70	I28		30	22.9		1		
Ⅲ-49	65	59	石核	70	I28		32	12.6		1		
			剥片	70	I28		33	2.4		1		
				70	I28		35	2.1		1		
			剥片	70	I28		34	12.9		1		
			剥片	70	I28		36	51.6		1		
			剥片	70	I28		38	28.7		1		
			剥片	70	I28		41	6.9		1		
Ⅲ-46	63	45	石核	70	I28		42	83.5		1		
Ⅲ-45	63	38	石核	70	I28		43	12.4		1		
			剥片	70	I28		44	6.0		1		
				70	I28		100	2.4		1		
				70	I28		101	14.8		1		
			剥片	70	I28		48	34.4		1		
Ⅲ-43	61	5	裏面微細加工石器	70	I28		49	7.8		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
Ⅲ-49	65	56	石核	70	I28		50	74.0		1		
			剥片	70	I28		53	32.0		1		
				70	I28		61	1.3		1		
				70	I28		62	2.1		1		
				70	I28		64	14.1		1		
				70	I28		65	7.7		1		
				70	I28		76	3.0		1		
				70	I28		122	6.8		1		
				70	I28		204	3.3		1		
			剥片	70	I28		54	3.9		1		
			剥片	70	I28		56	2.6		1		
			剥片	70	I28		60	1.9		1		
Ⅲ-44	61	26	二次加工ある剥片	70	I28		66	2.7		1		
			剥片	70	I28		70	1.7		1		
				70	I28		150	9.8		1		
			剥片	70	I28		71	16.7		1		
				70	I28		139	13.1		1		
			剥片	70	I28		72	4.7		1		
			剥片	70	I28		75	1.6		1		
Ⅲ-48	65	53	石核	70	I28		78	133.6		1		
			剥片	70	I28		80	3.8		1		
				70	I28		128	3.7		1		
			剥片	70	I28		84	16.8		1		
			剥片	70	I28		85	2.8		1		
			剥片	70	I28		86	7.1		1		
			剥片	70	I28		90	3.7		1		
				70	I28		169	3.5		1		
Ⅲ-43	61	10	裏面微細加工石器	70	I28		91	4.9		1		
			剥片	70	I28		92	6.1		1		
Ⅲ-44	61	28	二次加工ある剥片	70	I28		97	15.1		1		
			剥片	70	I28		102	7.4		1		
			剥片	70	I28		104	7.8		1		
			剥片	70	I28		107	4.1		1		
			剥片	70	I28		109	36.3		1		
			剥片	70	I28		112	3.2		1		
			剥片	70	I28		113	5.4		1		
				70	I28		114	2.4		1		
			剥片	70	I28		117	11.7		1		
Ⅲ-43	61	15	裏面微細加工石器	70	I28		118	64.0		1		
			剥片	70	I28		120	2.3		1		
			剥片	70	I28		123	1.5		1		
			剥片	70	I28		124	5.4		1		
			剥片	70	I28		125	1.5		1		
			剥片	70	I28		127	50.1		1		
Ⅲ-45	63	34	削器	70	I28		131	15.5		1		
			剥片	70	I28		132	2.6		1		
				70	I28		174	5.6		1		
			剥片	70	I28		135	3.3		1		
			剥片	70	I28		138	2.9		1		
			剥片	70	I28		140	10.6		1		
			剥片	70	I28		144	10.3		1		
			剥片	70	I28		149	10.9		1		
			剥片	70	I28		155	4.7		1		
			剥片	70	I28		157	5.2		1		
			剥片	70	I28		160	11.2		1		
			剥片	70	I28		164	12.7		1		
			剥片	70	I28		165	14.7		1		
			剥片	70	I28		172	21.7		1		
			剥片	70	I28		173	3.5		1		
			剥片	70	I28		182	2.0		1		
Ⅲ-47	65	50	石核	70	I28		187	88.7		1		
			剥片	70	I28		195	1.8		1		
				70	I29		18	0.9		1		
			剥片	70	I28		202	6.8		1		
−	67	86	接合資料	66				358.0	6	1	500	374

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
Ⅲ-45	63	35	削器	66	R36		15	38.3		1		
			剥片	66	S36		16	46.8		1		
			剥片	66	S36		171	12.5		1		
			剥片	66	S36		250	2.3		1		
Ⅲ-50	66	65	石核	66	S36		252	115.3		1		
				66	S36		255	142.8		1		
－	70	87	接合資料	66				73.7	14	1	492	364
Ⅲ-49	65	60	石核	66	S35		20	30.1		1		
Ⅲ-43	61	6	裏面微細加工石器	66	S35		23	3.6		1		
			剥片	66	S35		42	2.6		1		
			剥片	66	S36		1	3.3		1		
			剥片	66	S36		31	7.6		1		
			剥片	66	S36		36	4.1		1		
Ⅲ-43	61	4	裏面微細加工石器	66	S36		40	3.6		1		
			剥片	66	S36		48	6.0		1		
			剥片	66	S36		97	1.7		1		
			剥片	66	S36		123	2.8		1		
			剥片	66	S36		181	1.2		1		
			剥片	66	S36		190	2.4		1		
					S36	I	7	1.4		1		
Ⅲ-43	61	3	裏面微細加工石器		S36	I	6	3.3		1		
－	71	88	接合資料	67・69				888.0	12	1	488	358
			剥片	69	I34		182	69.6		1		
			剥片	69	I35		83	11.7		1		
			剥片	67	K38		48	25.7		1		
Ⅲ-51	66	67	石核	67	L36		103	264.9		1		
			剥片	67	L37		43	3.0		1		
				67	L37		118	14.1		1		
			剥片	67	L37		56	8.4		1		
			剥片	67	L37		17	13.3		1		
				67	L38		27	4.6		1		
			剥片	67	L37		142	17.2		1		
			剥片	67	L37		297	7.3		1		
Ⅲ-52	66	68	石核	67	L37		423	448.2		1		
－	71	89	接合資料	69				844.6	51	1・5	504	388
			剥片	69	H35		100	10.3		1		
				69	H35		108	8.8		1		
			剥片	69	H35		113	21.1		5		
			剥片		H35	I	5	2.0		1		
				69	I35		34	2.2		1		
				69	I35		106	3.8		1		
				69	I35		124	8.0		1		
				69	I35		125	5.0		1		
			剥片		H35	I	9	2.1		1		
			剥片		H35	I	10	20.4		1		
			剥片		H36	I	4	4.3		1		
				69	I35		56	6.1		1		
				69	I35		107	13.3		1		
				69	I35		123	8.5		1		
			剥片	69	I35		6	1.7		1		
			剥片	69	I35		8	16.9		1		
				69	I35		145	2.8		1		
			剥片	69	I35		14	1.1		1		
				69	I35		141	3.5		1		
			剥片	69	I35		18	1.8		1		
			剥片	69	I35		31	7.3		1		
				69	I35		53	10.3		1		
				69	I35		172	36.5		1		
				69	I35		173	3.0		1		
			剥片	69	I35		33	25.8		1		
			剥片	69	I35		38	1.6		1		
				69	I35		44	8.5		1		
			剥片	69	I35		39	6.3		1		
			剥片	69	I35		41	2.1		1		
			剥片	69	I35		46	4.9		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	69	I35		47	17.5		1		
			剥片	69	I35		60	23.5		1		
				69	I35		86	26.9		1		
			剥片	69	I35		61	27.7		1		
				69	I35		175	1.8		1		
Ⅲ-51	66	66	石核	69	I35		67	343.0		1		
			剥片	69	I35		80	1.7		1		
Ⅲ-45	63	39	石核	69	I35		85	23.0		1		
			剥片	69	I35		88	17.0		1		
				69	I35		109	8.9		1		
			剥片	69	I35		105	22.4		1		
			剥片	69	I35		127	2.8		1		
			剥片	69	I35		130	1.0		1		
			剥片	69	I35		137	3.3		1		
				69	I35		159	16.3		1		
			剥片	69	I35		160	1.9		1		
				69	I35		161	13.3		1		
				69	J35		4	3.7		1		
			剥片	69	I35		166	3.3		1		
			剥片	69	I35		167	20.0		1		
			剥片	69	J35		10	15.6		1		
－	72	90	接合資料	66・67・70				1861.9	79	1	490	360
Ⅲ-45	62	31	掻器	70	I28		121	546.5		1		
Ⅲ-47	64	48	石核	67	J37		65	323.4		1		
			剥片		K38	I	1	3.4		1		
			剥片	67	L37		10	3.4		1		
				67	L37		77	1.1		1		
			剥片	67	L37		11	4.0		1		
				67	L37		51	1.4		1		
					L38	Ⅱ	3	0.6		1		
			剥片	67	L37		37	4.9		1		
			剥片	67	L37		44	2.2		1		
					L37	Ⅱ	45	0.3		1		
				67	M36		55	9.1		1		
			剥片	67	L37		76	3.4		1		
Ⅲ-43	61	20	裏面微細加工石器	67	L37		115	2.0		1		
				67	L38		6	1.8		1		
			剥片	67	L37		121	8.4		1		
			剥片	67	L37		130	1.0		1		
			剥片	67	L37		145	1.6		1		
				67	L37		146	3.2		1		
				67	L37		218	8.5		1		
					L37	Ⅱ	20	0.5		1		
					M37	Ⅱ	2	1.4		1		
Ⅲ-44	61	25	二次加工ある剥片	67	L37		150	23.4		1		
			剥片	67	L37		151	8.9		1		
			剥片	67	L37		152	1.9		1		
					L37	Ⅱ	22	0.4		1		
			剥片	67	L37		168	21.9		1		
			剥片	67	L37		251	12.7		1		
			剥片	67	L37		264	26.6		1		
			剥片	67	L37		292	1.1		1		
Ⅲ-50	65	64	石核	67	L37		293	134.0		1		
			剥片	67	L37		302	1.6		1		
Ⅲ-43	61	12	裏面微細加工石器	67	L37		303	12.2		1		
			剥片	67	L37		365	8.3		1		
			剥片	67	L37		367	9.0		1		
					L37	Ⅱ	25	0.3		1		
			剥片	67	L37		368	7.7		1		
			剥片	67	L37		390	12.7		1		
Ⅲ-43	61	21	裏面微細加工石器	67	L37		398	7.0		1		
				67	L37		418	11.6		1		
Ⅲ-43	61	13	裏面微細加工石器	67	L37		406	23.4		1		
			剥片		L37	Ⅱ	6	13.5		1		
					L37	Ⅱ	9	1.0		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片		L37	Ⅱ	18	1.8		1		
					M37	Ⅱ	3	2.2		1		
			剥片		L37	Ⅱ	19	1.9		1		
			剥片		L37	Ⅱ	21	0.6		1		
			剥片		L37	Ⅱ	23	1.1		1		
			剥片		L37	Ⅱ	31	0.6		1		
			剥片		L37	Ⅱ	33	0.6		1		
			剥片		L37	Ⅱ	35	0.5		1		
			剥片		L37	Ⅱ	39	0.3		1		
			剥片		L37	Ⅱ	40	0.4		1		
			剥片		L37	Ⅱ	41	0.4		1		
					L37	Ⅱ	42	0.2		1		
			剥片		L37	Ⅱ	44	0.2		1		
			剥片		L37	Ⅱ	46	0.2		1		
			剥片	67	L38		20	2.9		1		
－	74	94	裏面微細加工石器	67	L38		66	2.0		1		
Ⅲ-45	63	36	縦長剥片	67	L38		100	14.2		1		
			剥片	67	L38		111	3.8		1		
			剥片		M37	Ⅱ	10	1.2		1		
			剥片		M37	Ⅱ	11	0.5		1		
Ⅲ-46	64	47	石核		Q37	Ⅰ	2	309.3		1		
Ⅲ-45	63	37	石核		R37	Ⅰ	1	7.6		1		
			剥片	66	S36		10	1.5		1		
			剥片	66	S36		21	1.9		1		
				66	S36		26	7.1		1		
				66	S36		137	0.7		1		
				66	S36		204	9.7		1		
				66	S36		207	3.5		1		
				66	S36		210	56.9		1		
				66	S36		221	50.8		1		
			剥片	66	S36		23	23.1		1		
				66	S36		176	51.6		1		
				66	S36		197	2.1		1		
			剥片	66	S36		101	2.6		1		
Ⅲ-48	65	55	石核	66	S36		222	25.9		1		
			剥片	66	S36		248	0.7		1		
－	74	95	接合資料	66				2451.5	57	1	499	373
			剥片	66	Q37		4	35.7		1		
			剥片	66	Q37		15	149.5		1		
			剥片	66	R36		2	4.6		1		
			剥片	66	R36		4	170.4		1		
			剥片	66	R36		19	2.5		1		
			剥片	66	R36		25	6.1		1		
			剥片	66	S36		45	11.7		1		
			剥片	66	S36		53	11.7		1		
				66	S36		113	13.5		1		
				66	S36		114	45.9		1		
			剥片	66	S36		55	1.8		1		
			剥片	66	S36		57	0.7		1		
			剥片	66	S36		59	3.6		1		
				66	S36		84	5.4		1		
				66	S36		86	8.8		1		
				66	S36		87	61.7		1		
				66	S36		102	11.7		1		
				66	S36		215	2.4		1		
				66	S36		218	17.0		1		
				66	S36		235	33.5		1		
				66	S36		240	23.9		1		
				66	S36		259	2.3		1		
			剥片	66	S36		69	3.7		1		
				66	S36		71	2.3		1		
				66	S36		72	1.7		1		
				66	S36		85	24.1		1		
				66	S36		99	106.9		1		
				66	S36		100	12.6		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				66	S36		138	2.2		1		
				66	S36		238	3.0		1		
－	75	97	石核	66	S36		83	118.2		1		
			剥片	66	S36		107	6.0		1		
			剥片	66	S36		111	5.8		1		
				66	S36		117	4.6		1		
				66	S36		147	7.5		1		
				66	S36		148	65.1		1		
				66	S36		199	4.1		1		
			剥片	66	S36		115	8.3		1		
			剥片	66	S36		116	8.0		1		
			剥片	66	S36		121	160.7		1		
				66	S36		170	26.7		1		
					S36	Ⅰ	1	125.6		1		
			剥片	66	S36		134	2.3		1		
			剥片	66	S36		136	11.3		1		
Ⅲ-52	66	70	石核	66	S36		143	459.4		1		
			剥片	66	S36		163	93.3		1		
				66	S36		168	10.9		1		
			剥片	66	S36		177	1.3		1		
Ⅲ-52	66	69	石核	66	S36		182	493.3		1		
			剥片	66	S36		193	12.8		1		
				66	S36		200	1.7		1		
				66	S36		201	3.0		1		
			剥片	66	S36		194	0.6		1		
			剥片	66	S36		224	0.9		1		
			剥片	66	S36		237	8.5		1		
			剥片		S36	Ⅰ	3	27.2		1		
			剥片		S36	Ⅰ	5	3.5		1		
Ⅲ-75	76	6	接合資料	71・外				1314.2	21	2	509	398
			剥片		O27	Ⅰ	20	106.6		2		
			剥片	71	P25		104	83.8		2		
Ⅲ-72	76	3	二次加工ある剥片	71	P25		147	114.1		2		
			剥片	71	P25		415	89.3		2		
			剥片	71	P26		108	103.8		2		
			剥片	71	P26		126	27.7		2		
			剥片	71	P26		190	26.7		2		
			剥片	71	P27		81	34.5		2		
				71	R25		1	2.0		2		
				71	S25		2	16.2		2		
			剥片		P27	Ⅰ	8	27.4		2		
				71	S25		1	44.6		2		
Ⅲ-72	76	2	二次加工ある剥片	71	Q24		1	81.2		2		
				71	R25		26	2.0		2		
			剥片	71	Q25		36	23.2		2		
				71	Q26		71	25.8		2		
Ⅲ-72	76	5	石核	71	R25		33	100.9		2		
			剥片	71	R26		2	127.6		2		
			剥片		S29	Ⅰ	5	3.7		2		
			剥片	外	S30		23	206.1		2		
			剥片		排土		126	67.0		2		
Ⅲ-103	88	88	接合資料	73･74･75･77･78				718.2	22	1･5	533	436
Ⅲ-83	82	51	掻器	73	J14		115	84.4		5		
			剥片	74	K13		3	9.6		5		
				74	L13		19	61.1		5		
			剥片	74	L13		2	12.7		5		
Ⅲ-76	77	10	掻器	78	N08		32	19.9		5		
Ⅲ-82	81	48	掻器	78	N08		41	16.6		5		
				78	N08		347	5.8		5		
			剥片	78	N08		150	20.7		5		
				78	N08		171	25.0		5		
			剥片	78	N08		155	9.6		5		
Ⅲ-80	79	34	掻器	78	N08		215	74.0		5		
Ⅲ-80	79	31	掻器	77	P10		8	47.6		5		
Ⅲ-84	82	56	掻器	77	P10		12	5.0		5		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				77	P11		3	69.1		5		
			掻器	77	P10		32	57.9		5		
			剥片	75	R14		12	18.5		1		
Ⅲ-79	79	25	掻器	77	P10		44	46.1		5		
			剥片	77	P10		79	1.6		1		
			剥片	77	P10		92	0.7		1		
			剥片	77	Q10		9	4.3		5		
			剥片	77	Q10		40	40.0		5		
			剥片	77	Q10		66	88.0		5		
Ⅲ-106	89	93	接合資料	75･77				508.1	14	1･5	533	437
			剥片	77	N09		3	18.3		5		
				77	P10		3	4.6		5		
				77	Q10		26	3.6		1		
			剥片	77	P10		4	33.0		5		
Ⅲ-85	83	66	石核	77	P10		19	296.4		5		
			剥片	77	P10		61	15.3		5		
				77	P10		62	6.2		5		
			剥片	77	P10		82	17.9		5		
			剥片	77	P10		86	67.7		5		
			剥片	77	P10		88	1.0		1		
				77	Q10		68	3.9		1		
			剥片	77	P10		96	1.0		1		
			剥片	77	Q10		49	22.7		1		
			剥片	75	Q15		2	16.5		1		
Ⅲ-107	90	94	接合資料	76･77･外				2264.3	35	1	532	432
			剥片	76	L10		30	233.7		1		
			剥片	77	P10		2	34.7		1		
			剥片	77	P10		22	158.5		1		
				77	Q10		47	24.5		1		
			剥片	77	P10		28	4.0		1		
			剥片	77	P10		29	6.6		1		
				77	P10		31	3.7		1		
				77	Q10		38	7.1		1		
				77	Q10		57	3.3		1		
			剥片	77	P10		47	51.3		1		
			剥片	77	P10		48	32.4		1		
				77	P10		97	1.6		1		
			剥片	77	P10		49	9.9		1		
			剥片	77	P10		63	117.2		1		
Ⅲ-87	85	74	石核	77	P10		84	20.5		1		
				77	R10		12	150.7		1		
			剥片	77	P10		102	12.6		1		
			剥片	77	P11		6	2.6		1		
			剥片	77	Q10		7	79.8		1		
			剥片	77	Q10		18	83.5		1		
				77	Q10		23	8.2		1		
			剥片	77	Q10		21	46.9		1		
			剥片	77	Q10		24	11.9		1		
					Q10	I	5	55.0		1		
			剥片	77	Q10		42	7.9		1		
				77	R11		1	77.9		1		
Ⅲ-80	80	36	掻器	77	Q10		44	69.9		1		
Ⅲ-86	84	71	石核	77	Q10		52	562.6		1		
			剥片	77	Q10		75	12.2		1		
			剥片	77	R10		9	21.0		1		
			剥片	77	R10		14	22.2		1		
			剥片	77	R10		15	25.9		1		
Ⅲ-78	78	18	掻器	77	R10		17	37.0		1		
				77	R11		3	242.7		1		
			剥片	外	R18		1	24.8		1		
Ⅲ-111	92	100	接合資料	77				718.6	12	1 ･ 5	523	420
			剥片	77	O09		1	26.9		5		
				77	O09		6	41.5		5		
			剥片	77	O10		5	4.3		1		
			剥片	77	O10		7	25.3		5		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	77	O10		9	0.7		5		
			剥片	77	O10		12	15.5		1		
			剥片		O10	I	4	45.0		5		
Ⅲ-89	87	84	石核	77	P10		17	463.8		5		
			剥片	77	P10		30	16.5		5		
			剥片	77	P10		64	15.9		5		
			剥片	77	P10		71	51.5		5		
			剥片	77	P11		1	11.7		5		
Ⅲ-112	93	101	接合資料	76				527.9	9	1	543	457
			剥片	76	L10		7	13.6		1		
				76	M10		33	70.3		1		
			剥片		L10	I	3	20.0		1		
				76	M10		18	14.0		1		
			剥片	76	M10		14	23.4		1		
Ⅲ-87	86	77	石核	76	M10		19	297.7		1		
Ⅲ-76	77	3	二次加工ある剥片	76	M10		32	53.0		1		
			剥片	76	M10		34	18.0		1		
			剥片		M10	I	2	17.9		1		
－	93	116	接合資料	74				283.4	14	1･5	515	407
			剥片	74	K12		6	3.3		1		
				74	M13		6	1.2		5		
			剥片	74	L12		14	1.4		5		
			剥片	74	L13		4	2.4		5		
Ⅲ-78	78	19	掻器	74	L13		10	38.0		5		
Ⅲ-82	81	44	掻器	74	L13		12	16.0		5		
			剥片	74	L13		16	6.8		5		
				74	M13		5	2.7		5		
			剥片	74	L13		20	32.3		5		
			剥片		L13	I	1	15.5		5		
			剥片	74	M13		4	9.3		5		
			剥片	74	M13		8	102.6		5		
			剥片	74	M13		12	40.9		5		
			剥片	74	M13		17	11.0		5		
－	94	117	接合資料	75･79				319.2	18	1･5	539	449
			剥片	79	O03		11	4.9		1		
				79	P03		135	28.6		1		
				79	P04		106	7.4		1		
			剥片	79	P03		124	13.6		1		
				79	P03		131	19.7		1		
			剥片	79	P04		73	2.0		1		
				79	P04		93	5.3		1		
			剥片	79	P04		78	38.6		1		
			剥片	79	P04		87	26.3		1		
			剥片	79	P04		88	34.2		1		
			剥片	79	P04		90	1.7		1		
			剥片	79	P04		96	11.2		1		
				79	P04		110	8.6		1		
			剥片	79	P04		107	56.4		1		
			剥片	75	Q14		4	23.8		1		
			剥片	75	R12		2	11.2		5		
			剥片	75	R14		4	1.5		1		
				75	R14		8	24.2		1		
－	94	118	接合資料	76				952.6	3	1	507	446
			剥片	76	M10		20	466.1		1		
			剥片	76	M10		24	20.7		1		
			剥片	76	M10		29	465.8		1		
－	110	238	接合資料	81･82･83･86				3265.0	364	3･4	551	2807
Ⅲ-115	95	11	尖頭器	82	J39		3	112.0		4		
			剥片	81	J41		1	2.6		4		
				81	K40		139	12.2		4		
			剥片	81	J41		6	1.4		4		
				81	L40		342	9.3		4		
			剥片	81	J41		8	3.3		4		
				81	J41		9	4.7		4		
			剥片	81	J41		11	1.0		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片		J41	Ⅱ	1	0.3		4		
				81	L40		328	1.7		4		
			剥片		J41	Ⅱ	2	1.0		4		
			剥片		J41	Ⅱ	3	0.7		4		
				81	K40		208	1.2		4		
			剥片		J41	Ⅱ	4	0.8		4		
				81	K40		346	1.8		4		
			剥片		J41	Ⅱ	5	0.9		4		
				81	K40		193	3.3		4		
			剥片		J41	Ⅱ	6	0.8		4		
			剥片	82	K38		60	5.1		4		
			剥片	82	K39		1	2.2		4		
					K40	Ⅱ	31	0.9		4		
				81	L40		132	5.3		4		
				81	L40		189	5.9		4		
			剥片	81	K40		1	7.2		4		
			剥片	81	K40		2	10.2		4		
				81	K40		15	5.1		4		
					K40	Ⅰ	1	20.3		4		
					K40	Ⅰ	7	1.0		4		
				81	L40		217	1.1		4		
			剥片	81	K40		3	1.6		4		
				81	L40		44	2.5		4		
				81	L40		99	0.7		3		
				81	L40		107	1.4		4		
				81	L40		112	19.9		4		
				81	L40		281	31.3		4		
			剥片	81	K40		4	2.5		4		
				81	L40		370	7.2		4		
			剥片	81	K40		10	2.7		4		
				81	K40		95	13.4		4		
				81	K40		148	6.6		4		
				81	K40		203	8.1		4		
				81	K40		252	9.2		4		
				81	K40		253	14.6		4		
				81	K40		299	3.0		4		
					K40	Ⅰ	6	1.5		4		
					K40	Ⅱ	19	0.9		4		
					K40	Ⅱ	29	0.9		4		
					K40	Ⅱ	33	0.8		4		
					K40	Ⅱ	34	0.8		4		
				81	L40		14	23.0		4		
				81	L40		169	3.2		4		
				81	L40		245	4.4		4		
				81	L40		298	0.7		4		
				81	L40		348	13.3		4		
			剥片	81	K40		16	3.0		4		
				81	K40		17	4.1		4		
				81	K40		257	28.6		4		
				81	K40		366	0.9		4		
					K40	Ⅱ	41	0.5		4		
			剥片	81	K40		25	1.5		4		
				81	K40		231	1.1		4		
			剥片	81	K40		27	7.2		4		
				81	K40		132	2.9		4		
				81	L40		140	1.8		4		
			剥片	81	K40		28	56.6		4		
				81	K40		240	1.7		4		
				81	L40		221	20.3		4		
				81	L40		262	1.2		4		
				81	L40		313	1.2		4		
				81	L40		367	1.4		4		
			剥片	81	K40		32	6.8		4		
				81	L40		259	2.1		4		
			剥片	81	K40		34	2.2		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				81	L40		93	2.1		4		
				81	L40		280	1.0		4		
			剥片	81	K40		35	1.3		4		
			剥片	81	K40		38	4.9		4		
			剥片	81	K40		50	14.9		4		
				81	K40		378	4.7		4		
			剥片	81	K40		55	6.3		4		
				81	K40		57	0.8		4		
				81	K40		276	5.9		4		
				81	K40		446	6.5		4		
				81	L40		86	10.3		4		
				81	L40		87	2.6		4		
				81	L40		146	5.7		4		
			剥片	81	K40		61	2.7		4		
				81	K40		247	0.8		4		
					K40	Ⅱ	22	1.1		4		
			剥片	81	K40		66	1.8		4		
				81	K40		345	7.0		4		
				81	K40		377	8.7		4		
				81	L40		88	1.2		4		
				81	L40		207	0.8		4		
			剥片	81	K40		67	1.4		3		
			剥片	81	K40		72	2.2		4		
				81	K40		438	4.4		4		
			剥片	81	K40		74	2.5		4		
				81	L40		180	0.8		4		
			剥片	81	K40		75	13.9		4		
				81	K40		85	1.6		4		
				81	K40		86	45.0		4		
				81	L40		308	4.8		4		
			剥片	81	K40		76	0.8		4		
					K40	Ⅱ	21	1.4		4		
				81	L40		228	17.6		4		
				81	L40		240	13.6		4		
				81	L40		243	2.9		4		
				81	L40		269	16.2		4		
			剥片	81	K40		78	14.5		4		
			剥片	81	K40		82	12.9		4		
			剥片	81	K40		90	12.4		4		
				81	L40		191	1.8		4		
			剥片	81	K40		91	1.4		4		
				81	L40		57	1.0		4		
			剥片	81	K40		92	1.1		4		
			剥片	81	K40		98	3.6		4		
				81	K40		250	0.8		4		
				81	K40		269	0.9		4		
				81	K40		354	9.9		4		
				81	K40		431	14.5		4		
					K40	Ⅱ	26	0.7		4		
					K40	Ⅱ	27	1.0		4		
					K40	Ⅱ	30	1.2		4		
				81	L40		312	46.3		4		
			剥片	81	K40		107	2.3		4		
				81	K40		154	2.4		4		
				81	K40		414	0.9		4		
			剥片	81	K40		108	4.4		4		
			剥片	81	K40		116	7.4		4		
				81	K40		244	1.5		4		
				81	K40		245	2.3		4		
				81	K40		302	38.2		4		
				81	K40		305	4.3		4		
				81	K40		374	1.9		4		
				81	K40		420	6.0		4		
					K40	Ⅱ	54	0.3		4		
					K40	Ⅲ	48	1.1		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	81	K40		118	11.0		4		
				81	L40		123	6.5		4		
			剥片	81	K40		119	6.2		4		
					K40	Ⅱ	23	1.1		4		
			剥片	81	K40		120	13.5		4		
				81	L40		218	32.7		4		
				81	L40		320	2.8		3		
			剥片	81	K40		126	6.2		4		
				81	L40		256	2.5		4		
			剥片	81	K40		133	10.1		4		
					K40	Ⅱ	40	0.2		4		
				81	L40		34	5.1		4		
			剥片	81	K40		135	3.5		4		
			剥片	81	K40		136	2.9		4		
				81	K40		360	3.0		4		
			剥片	81	K40		144	20.4		4		
			剥片	81	K40		149	3.0		4		
				81	K40		192	9.0		4		
			剥片	81	K40		150	5.3		3		
			剥片	81	K40		160	1.1		4		
				81	K40		406	2.8		4		
			剥片	81	K40		165	1.0		4		
				81	K40		423	1.6		4		
			剥片	81	K40		169	14.6		4		
			剥片	81	K40		170	2.2		4		
				81	K40		220	1.2		4		
			剥片	81	K40		172	33.4		4		
			剥片	81	K40		181	8.1		4		
				81	L40		168	18.1		4		
				81	L40		174	2.0		4		
			剥片	81	K40		188	1.7		4		
					K40	Ⅱ	17	0.2		4		
			剥片	81	K40		196	10.5		4		
			剥片	81	K40		200	0.8		4		
			剥片	81	K40		201	2.6		4		
				81	K40		263	1.7		4		
			剥片	81	K40		205	0.8		4		
				81	K40		227	35.0		4		
					K40	Ⅰ	2	1.7		4		
					K40	Ⅱ	15	0.8		4		
				81	L40		111	0.9		4		
				81	L40		143	7.7		4		
				81	L40		145	2.8		4		
				81	L40		274	5.1		4		
			剥片	81	K40		209	1.9		4		
			剥片	81	K40		271	2.1		4		
			剥片	81	K40		278	2.3		4		
			剥片	81	K40		290	1.3		4		
				81	K40		375	1.2		4		
			剥片	81	K40		296	5.8		4		
			剥片	81	K40		297	16.8		4		
			剥片	81	K40		310	1.6		4		
			剥片	81	K40		313	4.7		4		
			剥片	81	K40		316	0.9		4		
				81	L40		173	19.5		4		
			剥片	81	K40		318	2.0		4		
				81	L40		9	1.0		4		
				81	L40		164	0.8		4		
				81	L40		167	1.5		4		
			剥片	81	K40		324	5.2		4		
			剥片	81	K40		328	17.6		4		
				81	K40		402	13.2		4		
				81	K40		436	4.4		4		
			剥片	81	K40		336	7.2		4		
			剥片	81	K40		338	0.6		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				81	K40		367	2.9		4		
				81	L40		37	9.2		4		
			剥片	81	K40		340	4.5		4		
					K40	Ⅱ	18	1.6		4		
			剥片	81	K40		368	2.7		4		
				81	L40		153	2.3		4		
				81	L40		377	5.0		4		
			剥片	81	K40		373	17.1		4		
			剥片	81	K40		384	2.5		4		
			剥片	81	K40		387	20.7		4		
			剥片	81	K40		394	1.9		4		
					K40	Ⅱ	25	0.7		4		
					K40	Ⅱ	47	0.3		4		
				81	L40		96	15.0		4		
			剥片	81	K40		395	5.0		4		
			剥片	81	K40		398	6.5		4		
			剥片	81	K40		405	14.1		4		
			剥片	81	K40		411	1.1		4		
			剥片	81	K40		417	6.1		4		
					K40	Ⅱ	14	1.0		4		
				81	L40		362	37.0		4		
			剥片	81	K40		432	2.2		4		
			剥片	81	K40		448	4.1		4		
					K40	Ⅲ	49	1.0		4		
					K40	Ⅲ	52	0.3		4		
					K40	Ⅲ	53	0.2		4		
			剥片		K40	Ⅱ	3	2.5		4		
					K40	Ⅱ	4	0.9		4		
					K40	Ⅱ	16	0.3		4		
				81	L40		25	5.7		4		
				81	L40		299	158.0		4		
				81	L40		337	2.0		4		
			剥片		K40	Ⅱ	5	1.9		4		
			剥片		K40	Ⅱ	24	0.8		4		
				81	L40		2	37.4		4		
				81	L40		4	69.1		4		
			剥片		K40	Ⅱ	28	1.0		4		
				81	L40		5	21.9		4		
				81	L40		6	5.0		4		
				81	L40		7	1.4		4		
				81	L40		302	18.4		4		
			剥片		K40	Ⅱ	32	0.6		4		
			剥片		K40	Ⅱ	35	0.9		4		
			剥片		K40	Ⅱ	36	0.9		4		
				81	L40		58	7.7		4		
			剥片		K40	Ⅱ	37	0.6		4		
			剥片		K40	Ⅱ	38	0.7		4		
			剥片		K40	Ⅱ	39	0.4		4		
			剥片		K40	Ⅱ	42	0.7		4		
			剥片		K40	Ⅱ	43	0.4		4		
			剥片		K40	Ⅱ	44	0.6		4		
			剥片		K40	Ⅱ	45	0.3		4		
			剥片		K40	Ⅱ	46	0.6		4		
			剥片		K40	Ⅲ	50	0.8		4		
			剥片		K40	Ⅲ	51	0.7		4		
			剥片	82	L37		114	1.5		4		
			剥片	82	L37		128	1.0		4		
Ⅲ-126	102	133	舟底形石器	82	L37		157	29.0		4		
					L37	Ⅱ	29	1.4		4		
			剥片	82	L37		199	5.1		4		
Ⅲ-126	102	134	舟底形石器	82	L37		205	36.6		4		
				82	L37		283	30.9		4		
			剥片	82	L37		206	1.8		4		
			剥片	82	L37		333	1.7		4		
			剥片	82	L37		384	2.6		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	81	L40		17	4.8		4		
				81	L40		323	0.9		4		
			剥片	81	L40		19	33.5		4		
			剥片	81	L40		21	63.4		4		
				81	L40		52	7.9		4		
			剥片	81	L40		23	4.4		4		
			剥片	81	L40		26	9.2		4		
				81	L40		344	1.1		4		
			剥片	81	L40		32	1.6		4		
			剥片	81	L40		33	7.4		4		
				81	L40		303	2.9		4		
				81	L40		350	4.3		4		
			剥片	81	L40		38	135.7		4		
				81	L40		276	6.1		4		
			剥片	81	L40		39	4.9		4		
				81	L40		291	17.8		4		
				81	L40		316	5.9		4		
			剥片	81	L40		41	6.2		4		
			剥片	81	L40		45	13.2		4		
			剥片	81	L40		53	0.8		4		
			剥片	81	L40		66	2.3		4		
			剥片	81	L40		67	10.8		4		
				81	L40		134	0.9		4		
			剥片	81	L40		76	31.9		4		
				81	L40		124	1.8		4		
			剥片	81	L40		90	0.5		4		
			剥片	81	L40		92	1.0		4		
			剥片	81	L40		94	1.6		4		
			剥片	81	L40		98	1.3		4		
			剥片	81	L40		106	2.4		3		
			剥片	81	L40		114	2.4		4		
				86	N35		244	16.5		4		
				86	N35		306	48.0		4		
			剥片	81	L40		127	1.5		4		
			剥片	81	L40		129	2.3		4		
			剥片	81	L40		133	1.9		4		
			剥片	81	L40		147	21.7		4		
			剥片	81	L40		154	35.1		4		
			剥片	81	L40		157	5.7		4		
			剥片	81	L40		186	5.8		4		
			剥片	81	L40		204	0.8		4		
			剥片	81	L40		209	1.0		4		
			剥片	81	L40		237	3.0		4		
			剥片	81	L40		264	1.1		4		
			剥片	81	L40		279	13.1		4		
			剥片	81	L40		282	1.8		4		
			剥片	81	L40		339	1.2		4		
			剥片	81	L40		347	11.5		4		
				81	L40		361	1.9		4		
			剥片	81	L40		349	38.4		4		
			縦長剥片	81	L40		371	16.7		4		
Ⅲ-114	95	7	尖頭器	83	M38		38	34.3		4		
				83	N38		146	215.3		4		
				83	N38		318	22.1		4		
				83	N38		728	147.9		4		
				83	N38		1070	25.2		4		
			剥片	83	M38		45	2.4		4		
			尖頭器削片	83	M38		56	2.3		4		
Ⅲ-116	96	20	尖頭器削片	83	M38		155	45.7		4		
				83	N38		44	6.8		3		
			剥片	83	M38		194	0.6		4		
			尖頭器削片	83	M38		245	1.4		4		
			剥片	83	M38		685	1.4		4		
			剥片		M38	Ⅱ	48	0.4		4		
			剥片		M38	Ⅱ	49	0.3		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片		M38	Ⅰ	50	0.9		4		
				83	N38		287	0.9		4		
			剥片		M38	Ⅱ	51	0.3		4		
				83	N38		595	0.7		4		
			剥片	83	M39		8	0.6		4		
			剥片	83	N37		111	1.9		4		
			剥片	83	N38		8	2.4		3		
			剥片	83	N38		32	0.6		4		
			剥片	83	N38		36	5.5		4		
Ⅲ-115	96	13	尖頭器削片	83	N38		119	4.6		4		
			剥片	83	N38		134	1.2		3		
			剥片	83	N38		319	1.9		3		
Ⅲ-115	95	8	尖頭器	83	N38		420	62.6		4		
			剥片	83	N38		465	1.7		4		
				83	N38		1055	0.8		4		
					N38	Ⅰ	4	16.6		4		
			剥片	83	N38		489	0.6		3		
Ⅲ-115	96	14	尖頭器削片	83	N38		500	3.7		4		
				83	N38		501	5.0		4		
Ⅲ-115	96	12	尖頭器削片	83	N38		506	5.8		4		
			剥片	83	N38		683	2.2		4		
			尖頭器削片	83	N38		712	2.1		4		
			剥片	83	N38		776	1.7		4		
				83	N38		828	2.4		4		
			剥片	83	N38		823	2.6		4		
				83	N38		1079	3.2		4		
				83	N38		1081	2.8		4		
			剥片	83	N38		834	0.7		3		
			尖頭器削片	83	N38		1043	2.7		4		
			剥片	83	N38		1049	7.4		4		
			剥片	83	N38		1078	1.3		4		
Ⅲ-154	114	192	接合資料	81･83				306.2	46	4	549	2799
			剥片	81	K40		18	10.8		4		
			剥片	81	K40		29	68.7		4		
			剥片	81	K40		43	1.6		4		
				81	K40		274	2.2		4		
				81	L40		322	15.3		4		
			剥片	81	K40		51	19.5		4		
				81	K40		71	1.0		4		
				81	L40		29	37.1		4		
				81	L40		345	4.4		4		
			剥片	81	K40		88	5.8		4		
			剥片	81	K40		142	10.9		4		
			剥片	81	K40		167	11.7		4		
				81	K40		238	3.9		4		
			剥片	81	K40		266	1.0		4		
				81	L40		36	2.7		4		
				81	L40		210	5.0		4		
				81	L40		212	2.9		4		
			剥片	81	K40		301	6.3		4		
			剥片	81	K40		317	6.3		4		
			剥片	81	K40		351	14.0		4		
			剥片	81	K40		400	16.3		4		
			剥片	81	K40		403	9.4		4		
			剥片	81	K40		413	3.3		4		
			剥片		K40	Ⅱ	57	0.6		4		
			剥片		K40	Ⅱ	62	1.3		4		
			剥片		K40	Ⅱ	66	1.6		4		
			剥片	81	L40		187	1.0		4		
			剥片	81	L40		206	3.3		4		
			剥片	83	M38		277	2.9		4		
				83	M38		348	2.6		4		
				83	N38		1187	1.6		4		
			剥片	83	M38		310	2.7		4		
			剥片	83	M38		342	1.9		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	83	M38		526	3.7		4		
			剥片	83	M38		543	2.0		4		
				83	N38		723	3.7		4		
				83	N38		1053	1.4		4		
					N38	I	13	0.3		4		
			剥片	83	M38		581	1.9		4		
				83	M39		10	2.0		4		
				83	M39		11	1.5		4		
			剥片	83	N38		64	1.7		4		
			剥片	83	N38		324	2.0		4		
			剥片	83	N38		499	1.8		4		
			剥片	83	N38		685	1.6		4		
			剥片	83	N38		1108	3.0		4		
Ⅲ-155	114	193	接合資料	81･83				520.2	66	4	549	2800
			剥片	81	K40		22	27.9		4		
			剥片	81	K40		30	4.1		4		
				81	K40		128	27.1		4		
				81	L40		267	5.7		4		
			剥片	81	K40		54	4.9		4		
			剥片	81	K40		58	13.1		4		
				81	K40		146	3.0		4		
					K40	Ⅱ	59	0.7		4		
			剥片	81	K40		115	3.5		4		
				81	L40		122	12.1		4		
				81	L40		144	3.9		4		
			剥片	81	K40		117	27.2		4		
				81	L40		205	2.8		4		
			剥片	81	K40		145	18.6		4		
			剥片	81	K40		147	6.1		4		
					K40	Ⅱ	61	0.8		4		
					K40	Ⅱ	64	2.4		4		
			剥片	81	K40		178	65.1		4		
				81	K40		291	7.2		4		
			剥片	81	K40		183	6.4		4		
				81	L40		13	9.0		4		
			剥片	81	K40		190	2.7		4		
				81	L40		65	7.5		4		
			剥片	81	K40		272	1.2		4		
				81	L40		43	12.4		4		
			剥片	81	K40		330	2.4		4		
				81	K40		392	14.0		4		
			剥片	81	K40		337	2.2		4		
			剥片	81	K40		422	1.0		4		
			剥片	81	K40		426	5.4		4		
			剥片		K40	Ⅱ	58	1.0		4		
			剥片		K40	Ⅱ	60	0.7		4		
			剥片		K40	Ⅱ	63	1.0		4		
				81	L40		62	14.6		4		
				81	L40		335	2.6		4		
				81	L40		346	7.3		4		
			剥片		K40	Ⅱ	65	0.5		4		
			剥片	81	L40		1	8.9		4		
				81	L40		11	2.0		4		
			剥片	81	L40		22	0.7		4		
				81	L40		69	3.7		4		
			剥片	81	L40		35	3.5		4		
			剥片	81	L40		110	7.8		4		
			剥片	81	L40		128	1.6		4		
				81	L40		300	49.3		4		
			剥片	81	L40		130	2.3		4		
				81	L40		185	29.1		4		
			剥片	81	L40		131	32.0		4		
			剥片	81	L40		261	2.4		4		
			剥片	81	L40		272	7.0		4		
			剥片	83	M38		114	2.2		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				83	M38		524	2.2		4		
			剥片	83	M38		513	2.9		4		
				83	N38		842	4.1		4		
			剥片	83	M38		545	3.7		4		
			剥片	83	M38		709	1.1		4		
			剥片	83	N38		63	1.8		4		
			剥片	83	N38		138	1.7		4		
				83	N38		326	1.1		4		
			剥片	83	N38		286	1.7		4		
				83	N38		819	0.6		4		
			剥片	83	N38		826	2.7		4		
			剥片	83	N38		1091	4.0		4		
			剥片	83	N38		1194	6.8		4		
			剥片	83	N38		1220	3.6		4		
			剥片	83	N38		1238	1.6		4		
Ⅲ-156	115	194	接合資料	85･86				647.7	30	3･4	715	3251
Ⅲ-115	95	9	尖頭器	86	M35		65	106.2		4		
			剥片	86	M35		89	2.7		4		
			尖頭器削片	86	M35		287	2.5		4		
			尖頭器削片		M35	I	1	13.9		4		
				86	N34		68	46.6		4		
				86	N34		421	15.4		4		
			尖頭器削片	86	N34		293	3.5		4		
			尖頭器削片	86	N34		616	13.3		4		
			剥片	86	N34		791	1.8		4		
				86	N34		1286	8.3		4		
Ⅲ-116	96	21	尖頭器削片	86	N34		1287	13.6		4		
				86	N34		1358	14.7		4		
				86	N35		67	1.9		4		
			剥片	86	N34		1357	16.4		4		
				86	N35		82	0.5		4		
			尖頭器削片		N34	Ⅱ	136	0.2		4		
				86	N35		86	20.7		4		
Ⅲ-115	95	10	尖頭器	86	N35		100	168.1		4		
Ⅲ-116	96	18	尖頭器削片	85	N36		6	21.1		4		
					N36	I	22	28.6		4		
				85	O35		167	9.3		4		
Ⅲ-115	96	16	尖頭器削片	85	O35		3	16.0		3		
				85	O35		4	6.5		3		
Ⅲ-116	96	17	尖頭器削片	85	O35		73	7.6		3		
				85	P35		539	14.8		4		
Ⅲ-116	96	19	尖頭器削片	85	O35		179	17.7		4		
					O35	I	30	4.7		4		
Ⅲ-120	99	88	削器		O36	I	2	19.3		4		
					O36	I	31	5.7		4		
Ⅲ-115	96	15	尖頭器削片	85	P35		382	39.8		4		
Ⅲ-158	115	195	接合資料	87･88				1059.4	58	1	628	2988
			剥片	88	P33		8	3.0		1		
			剥片	88	Q32		35	19.1		1		
			剥片		Q32	I	3	28.5		1		
					R32	I	14	11.5		1		
			剥片	88	Q33		10	6.6		1		
				88	R32		392	65.6		1		
				88	S31		27	11.9		1		
				88	S32		302	1.4		1		
			剥片	88	Q33		216	2.0		1		
			剥片	88	Q33		223	22.2		1		
			剥片	88	Q33		230	9.7		1		
				88	S31		215	14.6		1		
			剥片	87	Q34		84	10.6		1		
			剥片		Q34	I	77	8.6		1		
			剥片	88	R31		44	9.0		1		
				88	R31		64	38.5		1		
			剥片	88	R31		87	59.5		1		
				88	S31		139	14.7		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	88	R31		102	11.7		1		
				88	R32		654	3.4		1		
			剥片	88	R31		179	22.8		1		
			剥片	88	R31		206	7.1		1		
			剥片	88	R31		227	6.0		1		
				88	R32		889	30.1		1		
				88	S31		106	5.8		1		
			剥片	88	R31		241	10.1		1		
			剥片	88	R32		48	11.6		1		
			剥片	88	R32		317	7.0		1		
			剥片	88	R32		348	7.6		1		
				88	R32		363	9.7		1		
				88	R32		631	51.7		1		
			剥片	88	R32		371	4.2		1		
				88	S31		77	17.1		1		
			剥片	88	R32		538	2.7		1		
			剥片	88	R32		548	34.4		1		
			剥片	88	R32		571	73.1		1		
				88	S31		241	3.8		1		
			剥片	88	R32		640	0.5		1		
			剥片	88	R32		678	65.5		1		
			剥片	88	R32		736	8.5		1		
			剥片	88	R32		746	2.8		1		
			剥片	88	S31		83	8.9		1		
				88	S32		626	6.5		1		
			剥片	88	S31		94	17.3		1		
			剥片	88	S31		101	34.4		1		
				88	S31		118	6.1		1		
				88	S31		203	4.3		1		
				88	S32		391	24.2		1		
			剥片	88	S31		119	6.2		1		
			剥片	88	S31		148	8.0		1		
			剥片	88	S31		160	8.0		1		
				88	S32		575	19.7		1		
			剥片	88	S31		184	79.5		1		
				88	S31		224	3.4		1		
			剥片	88	S31		248	6.4		1		
				88	S32		113	73.0		1		
			剥片	88	S32		58	9.9		1		
			剥片	88	S32		97	9.4		1		
Ⅲ-159	116	196	接合資料	83･84･85				3214.3	124	1･3･4･5	612	2963
			剥片	83	N37		24	26.0		3		
			剥片	85	N37		25	60.9		5		
			剥片	85	N37		46	4.3		4		
				84	O37		55	2.0		5		
				84	O37		56	1.3		5		
					O37	I	8	8.3		3		
					O37	I	25	2.7		3		
			剥片		N37	I	11	21.6		5		
					O37	I	6	301.4		3		
			剥片		N37	I	13	5.0		5		
			剥片	84	O36		5	4.7		3		
				84	O36		62	2.0		3		
				84	O37		62	8.2		5		
					P37	I	11	3.0		3		
			剥片	84	O36		6	2.2		3		
				84	O37		57	3.5		4		
			剥片	84	O36		52	8.6		3		
				84	O36		59	60.8		3		
				84	O36		60	2.1		3		
				84	O36		80	3.2		3		
				84	O36		123	3.7		3		
				84	O37		6	56.6		5		
			剥片	84	O36		53	8.4		3		
			剥片	84	O36		58	36.5		3		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				84	O36		118	172.2		3		
				84	O36		122	93.8		3		
			剥片	84	O36		63	2.3		3		
				84	O36		64	1.9		3		
				84	O36		102	9.9		3		
				84	O36		127	1.5		3		
				84	O36		137	58.6		3		
				84	O37		11	13.9		1		
				84	O37		14	5.9		5		
				84	O37		38	7.6		4		
				84	O37		40	26.5		5		
					O37	I	13	13.5		3		
					O37	I	27	3.7		1		
				84	P36		16	214.8		5		
					P36	Ⅱ	7	0.8		5		
			剥片	84	O36		83	2.4		3		
					O37	I	15	9.2		3		
			剥片	84	O36		85	2.4		3		
				84	O37		10	10.2		4		
				84	O37		16	11.7		4		
				84	O37		39	4.0		4		
				84	O37		67	1.5		4		
			剥片	84	O36		91	67.7		3		
				84	O37		25	10.1		4		
					O37	I	3	27.7		3		
					O37	I	24	2.4		3		
					O37	I	32	1.2		3		
			剥片	84	O36		92	2.8		3		
				84	P36		34	2.3		4		
			剥片	84	O36		96	5.8		3		
				84	O36		129	24.9		3		
				84	O37		24	23.1		5		
			剥片	84	O36		98	8.1		3		
			剥片	84	O36		99	159.0		3		
				84	P36		35	3.3		4		
				84	P36		36	2.2		4		
			剥片	84	O36		104	12.0		3		
				84	O36		124	3.8		3		
			剥片	84	O36		107	3.2		3		
			剥片	84	O36		108	38.6		3		
				84	O36		119	4.0		3		
				84	O36		132	2.6		3		
				84	O37		13	56.3		4		
					O37	I	10	21.4		3		
			剥片	84	O36		115	30.7		3		
			剥片	84	O36		120	29.4		3		
				84	O37		7	18.5		5		
				84	O37		8	18.4		5		
				84	O37		49	6.5		5		
			剥片	84	O36		121	2.8		3		
			剥片	84	O36		138	8.1		3		
					O37	I	5	32.2		3		
					O37	I	29	2.4		3		
			剥片	84	O36		141	15.6		3		
				84	O36		148	86.3		3		
			剥片	84	O36		147	4.0		3		
					P36	I	3	150.1		3		
			剥片	85	O36		156	4.4		3		
			剥片	84	O37		3	3.7		5		
			剥片	84	O37		5	5.6		3		
			剥片	84	O37		9	4.1		5		
				84	O37		71	21.1		5		
			剥片	84	O37		12	25.1		3		
				84	Q37		11	20.8		3		
			剥片	84	O37		17	1.5		3		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
					O37	I	1	24.7		3		
			剥片	84	O37		20	4.1		4		
			剥片	84	O37		22	38.7		5		
			剥片	84	O37		29	54.6		4		
			剥片	84	O37		30	6.0		5		
			剥片	84	O37		32	1.5		4		
			剥片	84	O37		34	4.1		3		
			剥片	84	O37		42	27.6		4		
			剥片	84	O37		46	35.1		4		
					O37	I	4	68.6		3		
			剥片	84	O37		48	15.6		4		
			剥片	84	O37		53	2.4		5		
			剥片	84	O37		61	4.0		4		
				84	O37		72	10.0		5		
			剥片	84	O37		73	117.0		5		
			剥片	84	O37		77	2.4		5		
					O37	I	42	0.9		3		
			剥片		O37	I	2	10.9		1		
			剥片		O37	I	7	57.0		3		
					P37	I	13	10.2		1		
					P37	I	17	158.1		1		
			剥片		O37	I	11	16.1		3		
			剥片		O37	I	12	15.2		3		
			剥片		O37	I	16	7.3		3		
			剥片		O37	I	17	6.7		3		
			剥片		O37	I	19	3.1		3		
			剥片		O37	I	36	2.4		3		
			剥片	84	P36		19	1.5		5		
			剥片	84	P36		24	13.1		5		
					P37	I	9	165.8		3		
					P37	I	14	2.3		5		
					P38	I	7	38.6		3		
			剥片	84	P36		37	3.6		4		
			剥片	84	P37		11	2.8		4		
					P37	I	12	3.2		5		
Ⅲ-160	117	197	接合資料	88･89				666.7	56	1	637	3013
			剥片	88	Q33		8	8.9		1		
				88	R32		222	52.3		1		
				88	S32		761	3.1		1		
			剥片	88	Q33		59	21.4		1		
				88	R32		249	29.0		1		
			剥片		Q33	I	36	35.4		1		
			剥片	89	R29		4	14.3		1		
				89	S29		484	23.0		1		
			剥片	89	R30		29	8.0		1		
				89	R30		230	5.2		1		
				89	S29		154	4.9		1		
				89	S29		206	5.8		1		
				89	S29		415	25.2		1		
			剥片	89	R30		383	7.6		1		
			剥片		R30	I	4	8.5		1		
				89	S29		24	25.2		1		
				89	S29		416	5.4		1		
				89	S30		18	28.7		1		
			剥片		R30	I	5	7.7		1		
				89	S29		475	4.3		1		
			剥片	88	R31		10	2.5		1		
			剥片	88	R31		229	6.7		1		
			剥片	88	R31		294	5.8		1		
				88	R32		162	4.4		1		
				88	S31		36	16.9		1		
			剥片	88	R32		105	4.2		1		
			剥片	88	R32		364	10.3		1		
			剥片	88	R32		472	5.2		1		
				88	R32		532	16.2		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片		R32	I	10	4.0		1		
			剥片	89	S28		4	7.3		1		
			剥片	89	S29		55	29.1		1		
			剥片	89	S29		67	35.9		1		
				89	S29		410	11.6		1		
			剥片	89	S29		92	1.5		1		
			剥片	89	S29		189	10.3		1		
				89	S29		210	6.2		1		
			剥片	89	S29		255	14.1		1		
			縦長剥片	89	S29		263	15.9		1		
			剥片	89	S29		349	1.5		1		
			剥片	89	S29		352	42.6		1		
			剥片	89	S29		355	9.2		1		
			剥片	89	S29		370	2.8		1		
			剥片	89	S29		377	13.3		1		
Ⅲ-114	95	4	尖頭器	89	S29		470	10.4		1		
			剥片	89	S29		471	1.1		1		
			剥片	89	S29		473	3.3		1		
				89	S30		43	2.0		1		
				89	S30		44	4.2		1		
				89	S30		72	5.4		1		
			剥片	89	S30		1	3.9		1		
			剥片	89	S30		24	15.3		1		
			剥片	89	S30		38	3.7		1		
			剥片	89	S30		58	3.3		1		
			剥片		S30	I	1	6.0		1		
			剥片	88	S32		379	6.7		1		
Ⅲ-160	117	198	接合資料	89				123.4	15	1	637	3014
			剥片	89	R29		8	2.3		1		
			剥片	89	R29		17	2.5		1		
Ⅲ-114	95	3	尖頭器	89	R29		24	60.0		1		
			剥片	89	R30		23	3.5		1		
			剥片	89	R30		38	4.4		1		
			剥片	89	R30		54	6.4		1		
			剥片	89	R30		88	8.5		1		
			剥片	89	S29		30	5.9		1		
			剥片	89	S29		132	8.0		1		
			剥片	89	S29		243	3.5		1		
			剥片	89	S29		244	2.0		1		
			剥片	89	S29		248	4.1		1		
				89	S29		371	5.2		1		
			剥片	89	S29		325	5.5		1		
			剥片		S29	I	4	1.6		1		
Ⅲ-161	117	199	接合資料	84･外				324.7	22	1	610	2959
			石刃		N39	I	1	12.9		1		
			二次加工ある剥片	84	O37		1	7.2		1		
				84	P37		13	22.6		1		
Ⅲ-121	99	93	石刃	84	P37		2	3.6		1		
			削器		P37	I	1	35.1		1		
					P37	I	18	7.1		1		
			石刃		P38	I	2	11.0		1		
			石刃	84	P37		7	25.0		1		
				外	P39		1	11.0		1		
				外	P39		2	18.7		1		
			石刃	84	P37		8	14.5		1		
					P37	I	5	25.3		1		
					P37	I	6	12.8		1		
			剥片	84	P37		14	8.4		1		
Ⅲ-121	99	94	削器	84	P37		16	4.2		1		
					P37	I	2	36.4		1		
					P37	I	3	24.1		1		
			石刃		P37	I	4	21.2		1		
			石刃		P37	I	7	8.8		1		
			剥片		P37	I	20	1.4		1		
			縦長剥片		P38	I	1	3.8		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
					P38	I	8	9.6		1		
Ⅲ-162	118	200	接合資料	85･87･88				1168.1	44	1	633	3000
			剥片	88	P34		56	24.0		1		
			剥片	85	P35		403	36.2		1		
				87	S32		177	75.6		1		
				87	S33		444	4.4		1		
			縦長剥片	87	Q34		55	17.8		1		
					Q34	I	75	16.1		1		
				87	R33		570	48.4		1		
				87	R33		691	53.9		1		
				87	S32		638	4.2		1		
			剥片	87	Q34		160	9.0		1		
				87	Q34		176	51.4		1		
			剥片	87	Q34		196	49.7		1		
					R33	Ⅱ	6	6.5		1		
				87	S33		20	6.7		1		
				87	S33		531	11.6		1		
				87	S33		537	26.9		1		
				87	S33		849	4.1		1		
					S33	Ⅱ	1	2.3		1		
Ⅲ-132	106	181	石核		Q34	I	1	176.4		1		
			剥片	87	R33		217	4.0		1		
			剥片	87	R33		328	10.8		1		
				87	S33		167	6.5		1		
			剥片	87	R33		435	30.2		1		
			縦長剥片	87	R33		442	4.8		1		
				87	S33		512	29.0		1		
			剥片	87	R33		509	7.1		1		
			剥片	87	R33		601	3.7		1		
			剥片	87	R33		643	5.7		1		
			剥片	87	R33		1006	187.0		1		
				87	S33		486	150.0		1		
			剥片	87	R33		1214	5.1		1		
				87	S33		592	6.4		1		
			剥片	87	R34		113	4.0		1		
				87	S33		120	17.4		1		
			剥片	87	S32		639	3.7		1		
			剥片	87	S33		49	4.3		1		
				87	S33		464	28.3		1		
			剥片	87	S33		77	3.6		1		
			剥片	87	S33		309	2.3		1		
			縦長剥片	87	S33		321	4.7		1		
				87	S33		799	3.4		1		
			剥片	87	S33		376	4.3		1		
			剥片	87	S33		408	2.3		1		
			剥片	87	S33		688	14.3		1		
Ⅲ-163	118	201	接合資料	85				108.5	9	3･4	627	2986
			石刃	85	N36		1	4.8		4		
			剥片		N36	I	9	26.5		4		
			石刃		N36	I	10	14.0		4		
			石刃	85	O35		38	4.1		3		
			石刃		O35	I	5	11.5		4		
			縦長剥片		O35	I	8	3.5		4		
			剥片		O35	I	9	1.9		4		
Ⅲ-128	103	146	石刃核		O36	I	3	38.5		4		
			二次加工ある剥片		O36	I	7	3.7		4		
Ⅲ-163	118	202	接合資料	81･83･86･87				791.4	52	3･4･5	586	2903
			剥片	81	K40		110	22.0		3		
				83	N38		608	18.4		5		
			剥片	81	K40		287	1.5		4		
Ⅲ-120	99	83	削器	81	L40		139	4.3		5		
				83	N37		102	6.0		5		
				83	N38		900	7.5		5		
			剥片	81	L40		152	27.0		5		
			石刃	81	L40		271	9.6		5		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				81	L40		296	9.0		5		
			剥片		M35	I	60	14.0		3		
			石刃	83	M38		49	2.8		5		
					排土		121	7.6		5		
Ⅲ-120	99	86	削器	83	M38		65	8.7		5		
Ⅲ-128	103	154	石刃核	83	M38		148	2.6		5		
				83	M38		455	2.2		5		
				83	N38		525	83.7		5		
				83	N38		617	17.0		5		
				83	N38		848	14.5		5		
			剥片	83	M38		177	15.6		5		
			石刃	83	M38		376	37.2		5		
			石刃	83	M38		546	10.5		5		
					M39	I	11	9.6		3		
			石刃	83	M38		645	23.0		5		
			二次加工ある剥片	83	M38		658	3.1		5		
				83	N38		527	9.3		5		
			石刃	83	M38		679	1.8		5		
				83	N38		903	7.6		5		
			剥片	83	M38		691	1.6		5		
Ⅲ-120	99	81	削器		M38	I	8	20.7		5		
			石刃		M39	I	9	6.4		3		
					M39	I	10	12.8		3		
					M39	I	12	12.6		3		
Ⅲ-120	99	91	削器	86	N35		1	60.9		5		
				86	N36		115	3.9		5		
			縦長剥片	86	N35		23	2.6		5		
				86	N35		250	8.7		5		
				83	N38		460	5.9		5		
			二次加工ある剥片	86	N35		133	34.8		5		
				86	N35		307	18.4		5		
			縦長剥片	86	N35		161	1.3		5		
				87	R34		16	5.5		5		
			剥片	86	N35		305	15.4		5		
			剥片	85	N36		16	25.6		5		
			剥片	83	N37		39	21.8		5		
			剥片	83	N38		305	6.9		5		
				83	N38		306	2.5		5		
			石刃	83	N38		729	11.2		5		
			石刃	83	N38		754	3.5		5		
				83	N38		991	1.6		5		
			石刃	83	N38		855	27.6		5		
			石刃	83	N38		1225	40.7		5		
			石刃		N38	I	12	62.4		3		
Ⅲ-164	119	203	接合資料	84･外				983.3	63	3･4	613	2964
			石刃		O37	I	18	37.9		4		
				84	Q36		45	4.8		3		
			石刃	84	P36		17	22.4		3		
			石刃	84	P36		18	9.1		3		
				84	P36		47	7.8		3		
			剥片	84	P36		20	5.3		3		
				84	Q36		47	9.4		3		
				84	Q36		53	6.0		3		
			縦長剥片	84	P36		26	4.6		3		
				84	Q36		5	9.0		3		
				84	Q36		6	8.6		3		
			縦長剥片	84	P36		27	20.6		3		
			剥片	84	P36		28	1.2		3		
			剥片	84	P36		39	17.2		3		
				84	Q37		12	13.3		3		
			剥片	84	P36		41	8.3		3		
				84	Q36		29	1.0		3		
			剥片	84	P36		45	32.6		3		
				84	Q36		32	15.6		3		
			剥片	84	P36		46	37.1		3		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				84	P36		57	4.9		3		
			縦長剥片	84	P36		48	21.0		3		
			剥片	84	P36		49	122.8		3		
			剥片	84	P36		56	9.6		3		
			石刃	84	P37		3	22.7		3		
					Q36	Ⅱ	10	0.9		3		
			剥片	84	P37		6	47.2		3		
			縦長剥片	84	P37		9	1.1		3		
			剥片	84	P37		18	20.6		3		
			石刃		P37	Ⅰ	10	21.8		3		
				84	Q36		35	4.0		3		
			剥片	84	Q36		10	4.6		3		
			剥片	84	Q36		11	1.2		3		
			縦長剥片	84	Q36		12	18.8		3		
			剥片	84	Q36		13	17.0		3		
			剥片	84	Q36		14	98.0		3		
			剥片	84	Q36		18	1.4		3		
				84	Q36		26	7.4		3		
			剥片	84	Q36		22	2.5		3		
			剥片	84	Q36		23	4.2		3		
				84	Q36		44	11.8		3		
Ⅲ-120	99	82	削器	84	Q36		25	44.7		3		
			縦長剥片	84	Q36		30	0.9		3		
			剥片	84	Q36		31	6.3		3		
			剥片	84	Q36		33	1.5		3		
			石刃	84	Q36		36	24.2		3		
			剥片	84	Q36		39	2.0		3		
			剥片	84	Q36		40	1.6		3		
			縦長剥片	84	Q36		42	28.5		3		
			剥片	84	Q36		46	22.7		3		
			石刃	84	Q36		49	6.2		3		
			剥片	84	Q36		50	1.7		3		
			剥片	84	Q36		51	4.0		3		
			剥片	84	Q36		54	7.6		3		
			剥片	84	Q36		55	4.8		3		
			剥片		Q36	Ⅰ	6	35.2		4		
			剥片		Q36	Ⅱ	9	0.9		4		
			剥片		Q36	Ⅱ	11	0.6		3		
			縦長剥片	84	Q37		18	32.0		3		
			石刃	84	Q37		19	23.2		3		
			剥片	外	Q38		1	2.7		3		
				外	Q38		2	2.8		3		
				外	Q38		3	13.9		3		
Ⅲ-165	120	204	接合資料	86				2152.2	139	3･4	606	2953
			剥片	86	M34		24	8.5		4		
			縦長剥片	86	M34		86	7.3		4		
				86	N34		313	14.7		4		
			剥片	86	M34		136	15.1		4		
			剥片	86	M34		153	65.5		4		
				86	N34		278	111.8		4		
				86	N34		484	2.1		4		
				86	N34		1275	3.1		4		
				86	O33		21	46.7		4		
			剥片	86	M34		188	21.8		4		
			石刃	86	M34		192	13.4		4		
				86	N34		730	4.7		4		
			縦長剥片	86	M34		193	24.6		4		
				86	O33		102	10.2		4		
			剥片	86	M34		198	3.6		4		
			剥片	86	M34		228	17.5		4		
			剥片	86	M34		238	2.3		4		
			剥片	86	M35		93	2.1		4		
			剥片		M35	Ⅰ	58	2.0		4		
			剥片		M35	Ⅰ	62	11.8		4		
			剥片		M35	Ⅰ	63	3.1		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			石刃	86	N33		175	4.1		4		
				86	N34		1123	3.2		4		
			剥片	86	N34		3	40.4		4		
			剥片	86	N34		13	3.4		4		
			剥片	86	N34		21	5.9		4		
			縦長剥片	86	N34		25	52.1		4		
					N35	Ⅰ	4	4.1		4		
			剥片	86	N34		65	15.2		4		
				86	N34		109	14.8		4		
			石刃	86	N34		67	30.9		4		
			剥片	86	N34		69	2.1		4		
			剥片	86	N34		86	2.9		4		
			剥片	86	N34		96	13.7		4		
			縦長剥片	86	N34		113	18.1		4		
				86	N34		905	14.0		4		
			縦長剥片	86	N34		116	8.4		4		
				86	N34		277	12.9		4		
			剥片	86	N34		129	8.6		4		
			剥片	86	N34		140	4.8		4		
			剥片	86	N34		141	2.3		4		
				86	N34		1277	34.9		4		
			剥片	86	N34		146	16.2		4		
			剥片	86	N34		175	8.6		4		
			剥片	86	N34		183	1.7		4		
			剥片	86	N34		221	24.3		3		
			剥片	86	N34		222	4.1		4		
			縦長剥片	86	N34		229	5.3		4		
				86	N34		832	6.2		4		
			剥片	86	N34		246	4.6		4		
			剥片	86	N34		247	3.8		4		
			剥片	86	N34		255	4.7		4		
			剥片	86	N34		261	5.4		4		
			剥片	86	N34		283	9.5		4		
			剥片	86	N34		321	9.6		4		
			剥片	86	N34		323	83.5		4		
			剥片	86	N34		328	3.0		4		
			石刃	86	N34		347	8.4		4		
			剥片	86	N34		363	15.1		4		
Ⅲ-124	101	122	舟底形石器	86	N34		430	36.1		4		
				86	N34		1302	18.2		4		
			剥片	86	N34		431	103.0		4		
			剥片	86	N34		434	8.5		4		
			剥片	86	N34		444	2.5		4		
			剥片	86	N34		504	7.2		4		
			剥片	86	N34		546	17.7		4		
			剥片	86	N34		548	14.5		4		
			剥片	86	N34		557	2.5		4		
			縦長剥片	86	N34		559	7.4		4		
			縦長剥片	86	N34		574	64.7		4		
			剥片	86	N34		600	12.1		4		
			剥片	86	N34		604	10.1		4		
			剥片	86	N34		610	6.3		4		
			縦長剥片	86	N34		612	4.5		4		
				86	N34		1251	28.2		4		
			剥片	86	N34		641	2.8		4		
			剥片	86	N34		689	4.1		4		
			剥片	86	N34		719	3.4		4		
Ⅲ-123	101	119	舟底形石器	86	N34		763	21.1		4		
				86	N34		1408	14.3		4		
			剥片	86	N34		775	1.8		4		
				86	N34		968	2.0		4		
					N34	Ⅱ	135	2.3		4		
			剥片	86	N34		783	8.7		4		
			剥片	86	N34		797	2.8		4		
			剥片	86	N34		798	23.7		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	86	N34		803	62.0		4		
			剥片	86	N34		805	2.0		4		
			剥片	86	N34		809	6.2		4		
			剥片	86	N34		810	2.2		4		
			剥片	86	N34		829	11.8		4		
			剥片	86	N34		850	6.7		4		
			剥片	86	N34		869	2.0		4		
			剥片	86	N34		900	15.1		4		
			縦長剥片	86	N34		945	7.2		4		
			剥片	86	N34		965	3.7		4		
			剥片	86	N34		978	49.7		4		
			剥片	86	N34		989	6.8		4		
			剥片	86	N34		993	9.5		4		
			剥片	86	N34		994	4.0		4		
			剥片	86	N34		998	10.8		4		
Ⅲ-128	103	153	石刃核	86	N34		1013	114.0		4		
			剥片	86	N34		1032	2.3		4		
			剥片	86	N34		1036	25.1		4		
					N34	Ⅱ	160	2.2		4		
			剥片	86	N34		1050	3.0		4		
			剥片	86	N34		1054	19.1		4		
			剥片	86	N34		1082	13.3		4		
			石刃	86	N34		1091	5.3		4		
				86	N34		1392	4.3		4		
				86	N34		1405	2.4		4		
			剥片	86	N34		1104	7.1		4		
			剥片	86	N34		1113	10.6		4		
			剥片	86	N34		1121	21.0		4		
				86	N34		1411	11.5		4		
			剥片	86	N34		1134	15.6		4		
			縦長剥片	86	N34		1222	2.9		4		
			剥片	86	N34		1280	6.5		4		
					N34	Ⅱ	162	1.2		4		
			剥片	86	N34		1293	21.3		4		
			剥片	86	N34		1316	20.7		4		
			剥片	86	N34		1318	3.5		4		
			剥片	86	N34		1319	5.6		4		
			剥片	86	N34		1331	4.0		4		
			剥片	86	N34		1341	6.4		4		
			剥片	86	N34		1406	6.1		4		
					N34	Ⅱ	158	6.8		4		
			剥片	86	N34		1407	125.0		4		
			剥片		N34	Ⅰ	131	2.8		4		
			剥片		N34	Ⅱ	154	2.0		4		
			剥片		N34	Ⅱ	156	3.7		4		
			剥片		N34	Ⅱ	157	2.8		4		
			剥片		N34	Ⅱ	161	81.1		4		
			剥片		N35	Ⅰ	3	6.0		4		
			剥片	86	O34		38	10.4		4		
			剥片	86	O34		111	24.3		4		
			剥片	86	O34		243	1.4		4		
			剥片	86	O34		267	15.6		4		
			剥片		不明		不明	2.4		4		
Ⅲ-166	119	205	接合資料	86				784.4	116	3･4	593	2927
			剥片	86	M34		40	18.8		4		
				86	N34		1128	4.0		4		
			剥片	86	M34		95	4.2		4		
			石刃	86	M34		96	10.9		4		
				86	N34		1080	4.6		4		
			剥片	86	M34		206	4.1		4		
			剥片	86	M34		209	29.4		4		
			剥片	86	M35		46	4.1		4		
			剥片	86	M35		238	7.4		4		
			剥片	86	M35		609	6.8		4		
			縦長剥片		M35	Ⅰ	3	17.5		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片		M35	Ⅰ	8	2.1		4		
			剥片		M35	Ⅰ	12	1.4		4		
			剥片		M35	Ⅰ	13	1.4		4		
			剥片	86	N34		10	5.3		4		
			剥片	86	N34		33	2.2		4		
			剥片	86	N34		37	3.6		4		
			剥片	86	N34		40	5.2		4		
			剥片	86	N34		59	7.8		4		
Ⅲ-127	102	137	舟底形石器	86	N34		95	4.6		4		
			縦長剥片	86	N34		100	5.8		4		
				86	N34		117	3.6		4		
			石刃	86	N34		102	1.4		4		
				86	N34		1072	1.4		4		
			剥片	86	N34		107	1.0		4		
			剥片	86	N34		108	1.1		4		
			縦長剥片	86	N34		111	1.2		4		
				86	N34		135	1.3		4		
				86	N34		136	1.7		4		
			縦長剥片	86	N34		114	5.0		4		
				86	N34		268	5.6		4		
			剥片	86	N34		122	2.4		4		
			剥片	86	N34		137	56.8		4		
			剥片	86	N34		139	3.9		4		
			剥片	86	N34		160	6.9		4		
			剥片	86	N34		180	5.1		4		
			剥片	86	N34		198	1.5		4		
				86	N34		1312	2.8		4		
			剥片	86	N34		212	1.3		4		
			剥片	86	N34		219	1.9		4		
			剥片	86	N34		237	1.0		4		
			剥片	86	N34		258	2.0		4		
			剥片	86	N34		262	2.6		4		
			剥片	86	N34		263	3.4		4		
			剥片	86	N34		280	0.9		3		
			剥片	86	N34		284	11.9		4		
				86	N34		608	17.0		4		
			剥片	86	N34		297	4.3		4		
			剥片	86	N34		336	8.2		4		
			剥片	86	N34		349	25.9		4		
			剥片	86	N34		368	3.3		4		
			石刃	86	N34		375	6.1		4		
					N34	Ⅱ	30	1.7		4		
			剥片	86	N34		488	4.3		4		
				86	N34		1335	25.6		4		
			剥片	86	N34		516	3.6		4		
			剥片	86	N34		531	1.8		4		
			剥片	86	N34		536	0.9		4		
			剥片	86	N34		555	4.3		4		
			剥片	86	N34		556	7.4		4		
			剥片	86	N34		566	1.7		4		
			剥片	86	N34		660	14.8		4		
			剥片	86	N34		666	9.0		4		
			剥片	86	N34		668	5.9		4		
			剥片	86	N34		718	3.5		4		
			剥片	86	N34		769	3.8		4		
			剥片	86	N34		770	2.6		4		
			剥片	86	N34		776	3.3		4		
			剥片	86	N34		785	4.5		4		
			剥片	86	N34		793	1.5		4		
			剥片	86	N34		888	1.7		4		
			剥片	86	N34		919	5.0		4		
			剥片	86	N34		958	2.9		4		
			剥片	86	N34		969	2.5		4		
			剥片	86	N34		987	1.5		4		
			剥片	86	N34		1015	2.4		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	86	N34		1021	11.7		4		
			剥片	86	N34		1031	29.7		4		
			剥片	86	N34		1033	5.2		4		
			剥片	86	N34		1035	19.3		4		
			縦長剥片	86	N34		1062	2.5		4		
			剥片	86	N34		1139	7.6		4		
			剥片	86	N34		1190	2.7		4		
			剥片	86	N34		1191	2.9		4		
			剥片	86	N34		1192	1.3		4		
			剥片	86	N34		1242	3.3		4		
			剥片	86	N34		1304	5.7		4		
			剥片	86	N34		1334	5.1		4		
			剥片	86	N34		1336	2.0		4		
			剥片	86	N34		1346	1.5		4		
			剥片	86	N34		1396	3.2		4		
			剥片	86	N34		1410	10.0		4		
			剥片		N34	Ⅱ	13	1.0		4		
			剥片		N34	Ⅱ	92	1.8		4		
					N34	Ⅱ	112	1.7		4		
			剥片		N34	Ⅱ	93	1.7		4		
			剥片		N34	Ⅱ	99	3.4		4		
			剥片		N34	Ⅱ	100	1.6		4		
			剥片		N34	Ⅱ	102	3.0		4		
			剥片		N34	Ⅱ	103	1.9		4		
			剥片		N34	Ⅱ	109	1.8		4		
			剥片		N34	Ⅱ	111	0.6		4		
			剥片		N34	Ⅱ	115	1.5		4		
			剥片		N34	Ⅱ	121	1.8		4		
Ⅲ-131	105	177	石核	86	N35		124	97.8		4		
			剥片		N36	Ⅰ	8	31.2		4		
			剥片	86	O34		36	7.2		4		
			剥片	86	O34		40	1.9		4		
			剥片	86	O34		116	2.1		4		
			剥片	86	O34		175	2.6		4		
			剥片	86	O34		176	31.9		4		
			剥片	86	O34		228	1.9		4		
				86	O34		231	1.1		4		
			剥片	86	O34		255	2.4		4		
			剥片	86	O34		275	4.1		4		
			剥片		不明		不明	4.8		4		
Ⅲ-167	121	206	接合資料	82･86				909.8	173	1･4	550	2805
			剥片	82	K37		609	0.9		4		
			剥片	82	K38		68	1.6		1		
			剥片	82	L36		1	7.9		1		
			剥片	82	L36		3	3.4		1		
			石刃	82	L36		4	3.0		1		
				82	L36		79	0.8		1		
			剥片	82	L36		5	2.7		1		
			剥片	82	L36		6	2.9		1		
				82	L37		53	8.4		1		
			縦長剥片	82	L36		7	2.8		1		
					L37	Ⅱ	27	0.3		1		
				82	M36		63	1.5		1		
			剥片	82	L36		8	4.1		1		
			剥片	82	L36		9	1.1		1		
				82	L37		12	5.5		1		
					M36	Ⅱ	18	1.6		1		
			剥片	86	L36		14	1.5		1		
			剥片	82	L36		15	3.5		1		
			剥片	82	L36		16	9.8		1		
			剥片	82	L36		17	1.2		1		
				82	M36		88	1.9		1		
			剥片	82	L36		18	2.0		1		
			縦長剥片	82	L36		19	1.4		1		
					L37	Ⅱ	8	0.4		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	82	L36		20	6.2		1		
			剥片	82	L36		22	8.4		1		
			剥片	82	L36		23	39.7		1		
			剥片	82	L36		24	5.2		1		
				82	L36		84	10.6		1		
				82	L36		92	4.3		1		
			剥片	82	L36		25	1.6		1		
					M36	Ⅱ	20	0.9		1		
			剥片	82	L36		27	1.7		1		
			剥片	82	L36		28	26.7		1		
			剥片	82	L36		29	17.0		1		
			剥片	82	L36		32	3.7		1		
			剥片	82	L36		33	4.9		1		
			剥片	82	L36		34	1.0		1		
			剥片	82	L36		35	2.0		1		
			剥片	82	L36		36	3.5		1		
				82	L36		97	15.0		1		
			剥片	82	L36		38	45.6		1		
				82	L36		65	1.7		1		
					L37	Ⅱ	13	0.5		1		
					M36	Ⅱ	14	0.5		1		
			剥片	82	L36		39	1.6		1		
			石刃	82	L36		40	6.8		1		
				82	L36		94	8.9		1		
			剥片	82	L36		41	2.8		1		
			剥片	82	L36		42	7.6		1		
			剥片	82	L36		44	9.1		1		
			剥片	82	L36		45	7.8		1		
			剥片	82	L36		46	0.7		1		
			剥片	86	L36		49	5.5		1		
			剥片	82	L36		50	0.6		4		
			縦長剥片	82	L36		51	2.4		1		
			剥片	82	L36		53	2.5		1		
			剥片	82	L36		54	0.8		1		
					M36	Ⅱ	11	0.2		1		
			剥片	82	L36		56	17.7		1		
					M36	Ⅱ	17	0.1		1		
					M36	Ⅱ	19	0.2		1		
			剥片	82	L36		57	3.9		1		
			剥片	82	L36		58	22.5		1		
					L36	Ⅱ	2	1.7		1		
			剥片	82	L36		59	7.9		1		
			剥片	82	L36		60	2.1		1		
			縦長剥片	82	L36		61	2.3		1		
				82	L36		64	1.7		1		
					L36	Ⅱ	19	0.4		1		
			石刃	82	L36		62	5.5		1		
				82	M36		90	3.4		1		
				82	M36		91	2.5		1		
			剥片	82	L36		63	5.8		1		
			剥片	82	L36		67	91.8		1		
					L36	Ⅱ	21	0.2		1		
			剥片	82	L36		68	1.7		1		
			縦長剥片	82	L36		69	15.5		1		
			剥片	82	L36		70	6.8		1		
			剥片	82	L36		75	0.6		1		
			縦長剥片	82	L36		77	1.2		1		
				82	L36		95	1.2		1		
Ⅲ-127	102	138	舟底形石器	82	L36		80	14.1		1		
			剥片	82	L36		83	6.9		1		
			剥片	82	L36		87	7.3		1		
			剥片	82	L36		88	1.0		1		
					L37	Ⅱ	15	1.2		1		
			剥片	82	L36		89	3.9		1		
			剥片	82	L36		93	2.7		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			石刃	82	L36		98	4.3		1		
			剥片	82	L36		100	1.4		1		
			剥片	82	L36		101	3.7		1		
			剥片	82	L36		109	8.3		1		
			剥片		L36	Ⅱ	1	1.7		1		
			剥片		L36	Ⅱ	3	1.3		1		
			剥片		L36	Ⅱ	4	1.1		1		
			剥片		L36	Ⅱ	5	0.8		1		
			剥片		L36	Ⅱ	6	0.5		1		
			剥片		L36	Ⅱ	7	0.9		1		
			剥片		L36	Ⅱ	9	0.8		1		
			剥片		L36	Ⅱ	11	0.2		1		
			剥片		L36	Ⅱ	12	1.2		1		
			剥片		L36	Ⅱ	15	1.9		1		
					M36	Ⅱ	5	3.1		1		
			剥片		L36	Ⅱ	16	0.7		1		
				82	L37		189	1.6		1		
			剥片		L36	Ⅱ	18	0.3		1		
			剥片		L36	Ⅱ	20	0.4		1		
			剥片		L36	Ⅱ	22	0.7		1		
				82	M36		68	11.8		1		
			剥片		L36	Ⅱ	23	0.6		1		
			剥片		L36	Ⅱ	24	0.3		1		
			剥片		L36	Ⅱ	25	0.3		1		
			石刃	82	L37		13	21.6		1		
Ⅲ-128	103	151	石刃核	82	L37		22	75.3		1		
			剥片	82	L37		35	9.2		1		
					L37	Ⅱ	3	2.1		1		
			剥片	82	L37		54	1.0		1		
			剥片	82	L37		55	0.9		1		
			削器	82	L37		58	6.2		1		
			剥片	82	L37		65	1.5		1		
			剥片	82	L37		70	0.9		1		
			剥片	82	L37		71	6.4		1		
			縦長剥片	82	L36		72	2.1		1		
					L37	Ⅱ	10	0.4		1		
			剥片	82	L37		73	2.3		1		
			剥片	82	L37		74	25.6		4		
			剥片	82	L37		95	3.3		4		
				86	M36		73	2.8		1		
			剥片	82	L37		125	6.4		1		
			剥片	82	L37		126	4.0		1		
			剥片	82	L37		131	3.2		1		
			剥片	82	L37		143	4.6		1		
			剥片	82	L37		153	6.4		1		
			剥片	82	L37		187	1.0		1		
				82	M36		48	1.0		1		
			縦長剥片	82	L37		214	7.1		1		
				82	L37		308	1.4		1		
					L37	Ⅱ	26	0.8		1		
Ⅲ-127	102	139	舟底形石器	82	L37		227	11.2		1		
				82	L37		331	11.9		1		
				82	L37		393	4.6		1		
					L37	Ⅱ	24	1.0		1		
			剥片	82	L37		233	2.6		1		
			縦長剥片	82	L37		235	1.7		1		
			剥片	82	L37		288	1.8		1		
			剥片	82	L37		339	0.8		1		
			剥片	82	L37		372	1.3		1		
			剥片	82	L37		413	2.8		1		
			剥片		L37	Ⅱ	4	0.8		1		
			剥片		L37	Ⅱ	7	0.7		1		
			剥片		L37	Ⅱ	14	1.5		1		
			剥片		L37	Ⅱ	16	0.8		1		
			剥片		L37	Ⅱ	17	0.6		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			石刃	82	L38		38	2.6		1		
			剥片	82	L38		47	1.9		1		
Ⅲ-120	99	87	削器	82	L38		51	6.8		1		
			剥片	82	M36		9	0.6		1		
				82	M36		10	0.7		1		
			剥片	82	M36		62	13.6		1		
			剥片	82	M36		66	0.9		1		
			剥片	82	M36		67	7.3		1		
			剥片	82	M36		69	1.3		1		
			剥片	82	M36		82	5.0		1		
			剥片	82	M36		87	9.5		1		
			剥片	82	M36		89	4.0		1		
			剥片		M36	Ⅱ	6	1.4		1		
			剥片		M36	Ⅱ	7	1.1		1		
			剥片		M36	Ⅱ	8	0.5		1		
			剥片		M36	Ⅱ	12	0.4		1		
			剥片		M36	Ⅱ	13	0.3		1		
			剥片		M36	Ⅱ	15	0.2		1		
			剥片		M36	Ⅱ	16	0.2		1		
Ⅲ-168	121	207	接合資料	85				785.7	43	1	609	2958
			石刃	85	O35		100	2.9		1		
				85	P35		266	1.8		1		
			剥片	85	O35		146	0.4		1		
			剥片	85	O35		160	52.0		1		
Ⅲ-128	103	150	石刃核		O36	Ⅰ	4	99.8		1		
			剥片	85	P35		14	1.3		1		
			剥片	85	P35		24	1.4		1		
			剥片	85	P35		59	1.5		1		
			剥片	85	P35		62	1.8		1		
			剥片	85	P35		65	3.0		1		
				85	P35		135	2.3		1		
			剥片	85	P35		128	9.7		1		
			剥片	85	P35		162	0.7		1		
			剥片	85	P35		166	2.1		1		
			石刃	85	P35		249	36.2		1		
			剥片	85	P35		254	35.3		1		
			剥片	85	P35		280	2.7		1		
			剥片	85	P35		284	54.3		1		
				85	P35		496	13.5		1		
			剥片	85	P35		300	4.6		1		
			剥片	85	P35		303	1.0		1		
			剥片	85	P35		304	2.1		1		
			剥片	85	P35		305	0.6		1		
			剥片	85	P35		308	4.9		1		
			剥片	85	P35		323	4.0		1		
			剥片	85	P35		346	3.0		1		
			剥片	85	P35		354	3.4		1		
			石刃	85	P35		429	8.5		1		
			剥片	85	P35		435	314.3		1		
Ⅲ-123	100	116	舟底形石器	85	P35		464	30.9		1		
			剥片	85	P35		490	3.8		1		
			剥片	85	P35		512	0.9		1		
Ⅲ-123	101	118	舟底形石器	85	P35		513	46.2		1		
			剥片	85	P35		573	4.1		1		
			剥片	85	P35		576	2.4		1		
			剥片	85	P35		596	6.5		1		
			剥片	85	P35		601	0.3		1		
			剥片	85	P35		605	3.5		1		
Ⅲ-120	99	85	削器	85	P35		607	8.1		1		
			剥片	85	P35		617	2.1		1		
			剥片	85	P35		623	3.2		1		
			剥片	85	P35		630	1.7		1		
			剥片		P35	Ⅰ	26	2.9		1		
Ⅲ-169	122	208	接合資料	86				344.9	30	4	604	2951
			縦長剥片	86	M34		6	5.2		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	86	M34		70	5.8		4		
			剥片	86	M34		174	8.7		4		
			縦長剥片	86	M35		73	13.8		4		
				86	N34		962	20.6		4		
			剥片	86	M35		110	5.7		4		
			剥片	86	N33		151	15.9		4		
			剥片	86	N33		174	23.2		4		
			剥片	86	N34		89	18.0		4		
			剥片	86	N34		326	15.8		4		
			剥片	86	N34		327	3.8		4		
			縦長剥片	86	N34		523	3.5		4		
			縦長剥片	86	N34		738	42.2		4		
			縦長剥片	86	N34		782	3.5		4		
			剥片	86	N34		838	28.9		4		
			剥片	86	N34		852	2.1		4		
Ⅲ-122	100	109	舟底形石器	86	N34		937	19.6		4		
			剥片	86	N34		1083	40.0		4		
			剥片	86	N34		1155	3.8		4		
			剥片	86	N34		1165	32.9		4		
			縦長剥片	86	N34		1257	10.5		4		
			剥片		N34	Ⅱ	101	1.4		4		
			剥片		N34	Ⅱ	107	0.7		4		
			剥片		N34	Ⅱ	118	0.6		4		
			剥片		N34	Ⅱ	119	3.0		4		
			剥片		N34	Ⅱ	124	0.8		4		
			剥片		N34	Ⅱ	125	0.4		4		
			剥片		N34	Ⅱ	126	1.6		4		
			剥片	86	O33		107	1.2		4		
			剥片	86	O34		125	11.7		4		
Ⅲ-170	122	209	接合資料	86				1573.4	91	1	590	2916
Ⅲ-127	102	140	舟底形石器	86	M34		27	9.4		1		
			剥片	86	M34		143	1.8		1		
					M35	I	68	23.5		1		
				86	N34		577	6.4		1		
				86	N34		889	2.9		1		
				86	N34		1025	15.3		1		
			剥片	86	M34		124	8.1		1		
			剥片	86	M34		128	40.5		1		
				86	N34		395	12.3		1		
				86	N34		445	12.5		1		
			剥片	86	M34		164	4.4		1		
			剥片	86	M34		207	2.4		1		
				86	O34		262	10.9		1		
			剥片		M34	I	9	8.4		1		
			剥片		M34	Ⅱ	10	2.2		1		
			剥片	86	M35		74	6.2		1		
			剥片	86	M35		116	1.7		1		
				86	N34		34	2.5		1		
				86	N34		841	1.6		1		
			剥片	86	M35		613	7.8		1		
			剥片		M35	I	67	15.8		1		
			剥片		M35	I	70	6.7		1		
				86	N34		778	2.4		1		
			縦長剥片	86	N33		194	22.4		1		
			剥片	86	N34		6	3.8		1		
			剥片	86	N34		7	27.1		1		
			剥片	86	N34		16	6.9		1		
				86	N34		392	3.7		1		
			剥片	86	N34		27	2.9		1		
			剥片	86	N34		28	32.0		1		
			剥片	86	N34		38	1.0		1		
			剥片	86	N34		39	2.8		1		
				86	N34		802	2.8		1		
			剥片	86	N34		63	13.1		1		
			剥片	86	N34		144	2.6		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	86	N34		177	9.0		1		
				86	O34		120	33.0		1		
					P33	I	5	47.6		1		
			剥片	86	N34		256	7.8		1		
			縦長剥片	86	N34		264	9.4		1		
				86	N34		864	5.4		1		
			剥片	86	N34		265	9.9		1		
				86	N34		606	1.5		1		
					N34	Ⅱ	167	0.8		1		
			縦長剥片	86	N34		266	3.7		1		
				86	N34		712	7.9		1		
			剥片	86	N34		304	1.5		1		
			剥片	86	N34		306	49.2		1		
			剥片	86	N34		351	12.4		1		
			剥片	86	N34		372	1.5		1		
			石刃	86	N34		391	35.1		1		
Ⅲ-121	99	95	削器	86	N34		400	67.8		1		
			剥片	86	N34		402	1.5		1		
			縦長剥片	86	N34		435	7.3		1		
			剥片	86	N34		475	4.0		1		
			剥片	86	N34		487	3.6		1		
			縦長剥片	86	N34		514	8.1		1		
			剥片	86	N34		537	2.7		1		
				86	N34		1022	17.0		1		
			剥片	86	N34		578	4.5		1		
Ⅲ-128	103	156	石刃核	86	N34		581	171.5		1		
			剥片	86	N34		596	3.9		1		
			剥片	86	N34		607	3.5		1		
				86	N34		871	4.4		1		
				86	N34		999	3.2		1		
			剥片	86	N34		731	18.1		1		
				86	N34		893	4.2		1		
				86	O34		233	7.2		1		
				86	O34		263	13.9		1		
			剥片	86	N34		761	7.3		1		
				86	N34		890	4.9		1		
					N34	I	165	4.9		1		
			剥片	86	N34		796	10.0		1		
			剥片	86	N34		887	16.0		1		
Ⅲ-129	104	159	石刃核	86	N34		920	231.7		1		
			剥片	86	N34		972	4.0		1		
			縦長剥片	86	N34		984	10.6		1		
			剥片	86	N34		991	10.8		1		
			剥片	86	N34		995	4.5		1		
Ⅲ-129	103	157	石刃核	86	N34		1030	239.0		1		
			剥片	86	N34		1084	16.5		1		
			剥片	86	N34		1129	2.6		1		
			縦長剥片	86	N34		1161	8.9		1		
			剥片	86	N34		1202	13.1		1		
			剥片	86	N34		1239	1.5		1		
			剥片	86	N34		1398	36.6		1		
					N34	Ⅱ	169	1.0		1		
			剥片		N34	Ⅱ	166	0.5		1		
				86	O34		119	26.6		1		
			剥片	86	O34		241	10.2		1		
			剥片	86	O34		259	3.3		1		
Ⅲ-172	124	210	接合資料	87				1018.7	73	4	662	3102
			剥片	87	Q34		8	31.4		4		
			剥片	87	Q34		77	8.6		4		
			剥片	87	Q34		199	5.7		4		
				87	S33		70	11.3		4		
			剥片	87	Q34		201	26.5		4		
			剥片	87	Q34		206	11.8		4		
			剥片		Q34	I	61	17.8		4		
			剥片		Q34	I	62	13.9		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片		Q34	Ⅰ	64	3.7		4		
				87	S33		639	3.1		4		
			剥片	87	R33		27	36.6		4		
				87	R33		64	45.6		4		
				87	S32		291	17.7		4		
				87	S32		294	2.1		4		
			剥片	87	R33		62	7.9		4		
				87	S32		289	3.6		4		
			剥片	87	R33		72	12.9		4		
Ⅲ-125	101	126	舟底形石器	87	R33		114	51.8		4		
				87	R33		855	31.0		4		
			剥片	87	R33		198	25.9		4		
			剥片	87	R33		233	73.4		4		
Ⅲ-121	100	99	削器	87	R33		316	38.7		4		
				87	R33		465	7.0		4		
				87	S32		273	29.3		4		
			剥片	87	R33		340	6.2		4		
			縦長剥片	87	R33		403	14.7		4		
				87	R33		780	5.7		4		
			石刃	87	R33		471	2.4		4		
				87	R33		754	6.2		4		
			剥片	87	R33		673	2.1		4		
			剥片	87	R33		690	42.3		4		
			剥片	87	R33		697	6.9		4		
			石刃	87	R33		776	3.0		4		
				87	S32		126	21.6		4		
			剥片	87	R33		908	3.9		4		
			剥片	87	R33		931	48.1		4		
				87	S33		917	4.2		4		
			縦長剥片	87	R33		939	3.3		4		
				87	R33		1232	2.2		4		
				87	S33		4	42.1		4		
			縦長剥片	87	R33		1091	12.9		4		
			剥片	87	R33		1121	7.1		4		
			剥片	87	R33		1126	2.7		4		
			剥片	87	R33		1185	9.3		4		
			剥片	87	R33		1230	3.2		4		
				87	R33		1346	7.6		4		
			剥片	87	R33		1264	8.5		4		
			縦長剥片	87	R33		1305	11.6		4		
				87	S32		171	27.7		4		
			剥片	87	R33		1334	10.0		4		
			剥片	87	R33		1347	1.3		4		
			剥片	87	R34		27	2.7		4		
			剥片	87	R34		31	11.6		4		
			剥片		R34	Ⅰ	3	5.5		4		
			剥片		R34	Ⅰ	19	6.9		4		
			剥片	87	S32		68	16.6		4		
				87	S33		638	4.2		4		
			剥片	87	S32		185	9.5		4		
			剥片	87	S33		29	3.6		4		
Ⅲ-125	102	131	舟底形石器	87	S33		43	36.3		4		
			剥片	87	S33		106	1.8		4		
			剥片	87	S33		108	5.9		4		
			剥片	87	S33		166	1.9		4		
			剥片	87	S33		403	4.1		4		
Ⅲ-127	102	143	舟底形石器	87	S33		443	18.5		4		
			剥片	87	S33		457	5.0		4		
			剥片	87	S33		498	8.9		4		
			剥片	87	S33		575	10.6		4		
			剥片	87	S33		597	7.5		4		
			剥片	87	S33		651	7.6		4		
			剥片	87	S33		745	4.0		4		
			剥片	87	S33		778	3.0		4		
			剥片	87	S33		874	8.9		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
Ⅲ-173	125	211	接合資料	86･92				1354.2	100	4	596	2938
			剥片	92	L35		9	17.1		4		
			石刃		L35	Ⅰ	1	14.6		4		
				86	N34		781	16.2		4		
			石刃	86	M34		11	6.5		4		
					N34	Ⅱ	73	1.2		4		
			剥片	86	M34		43	4.4		4		
			剥片	86	M34		67	2.1		4		
				86	M34		191	2.4		4		
			剥片	86	M34		69	13.4		4		
			剥片	86	M34		93	4.2		4		
					N34	Ⅱ	45	0.6		4		
			剥片	86	M34		107	3.7		4		
			剥片	86	M34		109	2.4		4		
			剥片	86	M34		119	2.4		4		
			剥片	86	M34		145	17.0		4		
					N34	Ⅱ	2	1.0		4		
			剥片	86	M34		156	1.5		4		
			剥片	86	M35		17	2.5		4		
					N34	Ⅱ	172	0.6		4		
			剥片	86	M35		289	1.4		4		
				86	N34		835	20.2		4		
					N34	Ⅱ	171	0.5		4		
			剥片	86	M35		310	2.3		4		
				86	N34		911	22.3		4		
			縦長剥片		M35	Ⅰ	6	4.3		4		
			剥片	86	N33		152	45.7		4		
			剥片	86	N34		87	6.4		4		
			剥片	86	N34		92	4.8		4		
				86	N34		379	14.8		4		
				86	N34		442	23.9		4		
				86	N34		473	125.2		4		
				86	N34		925	143.5		4		
				86	N34		950	1.8		4		
			剥片	86	N34		104	1.5		4		
			剥片	86	N34		115	3.4		4		
			剥片	86	N34		200	1.8		4		
					N34	Ⅱ	24	1.0		4		
			剥片	86	N34		227	7.3		4		
			剥片	86	N34		309	2.8		4		
				86	N34		632	16.9		4		
			剥片	86	N34		377	3.1		4		
			剥片	86	N34		438	6.0		4		
			石刃	86	N34		493	3.5		4		
				86	N34		886	5.0		4		
				86	N34		1023	12.9		4		
			剥片	86	N34		580	1.9		4		
Ⅲ-131	106	180	石核	86	N34		582	196.0		4		
			剥片	86	N34		615	2.8		4		
			二次加工ある剥片	86	N34		671	140.3		4		
			剥片	86	N34		694	9.5		4		
			剥片	86	N34		744	86.6		4		
			剥片	86	N34		757	4.3		4		
					N34	Ⅱ	86	1.1		4		
			剥片	86	N34		758	16.2		4		
			剥片	86	N34		845	4.0		4		
			剥片	86	N34		849	3.3		4		
			二次加工ある剥片	86	N34		859	42.9		4		
			石刃	86	N34		879	3.9		4		
			剥片	86	N34		959	5.5		4		
					N34	Ⅱ	179	0.4		4		
			剥片	86	N34		960	3.9		4		
			剥片	86	N34		1010	51.8		4		
				86	N35		55	41.4		4		
				86	O34		124	4.0		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	86	N34		1133	2.9		4		
			剥片	86	N34		1149	6.6		4		
					N34	Ⅱ	22	1.7		4		
			剥片	86	N34		1163	12.3		4		
			剥片	86	N34		1168	4.1		4		
			剥片	86	N34		1193	3.4		4		
			剥片	86	N34		1215	7.3		4		
					N34	Ⅱ	164	1.5		4		
			剥片	86	N34		1245	13.6		4		
			剥片	86	N34		1285	26.8		4		
			剥片	86	N34		1321	22.8		4		
			剥片	86	N34		1329	6.1		4		
			剥片	86	N34		1344	2.8		4		
			剥片	86	N34		1345	2.9		4		
			剥片		N34	Ⅱ	3	2.2		4		
			剥片		N34	Ⅱ	19	1.1		4		
			剥片		N34	Ⅱ	20	0.9		4		
			剥片		N34	Ⅱ	21	1.9		4		
					N34	Ⅱ	175	0.7		4		
			剥片		N34	Ⅱ	23	1.5		4		
			剥片		N34	Ⅱ	25	2.4		4		
			剥片		N34	Ⅱ	28	1.8		4		
					N34	Ⅱ	178	0.3		4		
			剥片		N34	Ⅱ	35	0.9		4		
			剥片		N34	Ⅱ	38	0.6		4		
			剥片		N34	Ⅱ	46	0.6		4		
					N34	Ⅱ	173	0.5		4		
			剥片		N34	Ⅱ	53	1.0		4		
					N34	Ⅱ	59	0.9		4		
			剥片		N34	Ⅱ	57	1.4		4		
			剥片		N34	Ⅱ	68	1.4		4		
			剥片		N34	Ⅱ	70	1.4		4		
			剥片		N34	Ⅱ	143	1.1		4		
			剥片		N34	Ⅱ	174	0.2		4		
			剥片		N34	Ⅱ	176	0.4		4		
			剥片		N34	Ⅱ	177	0.3		4		
Ⅲ-174	125	212	接合資料	89･93				768.2	44	4	664	3109
			剥片	93	P29		620	194.8		4		
			縦長剥片	89	P32		2	28.1		4		
			剥片	89	Q30		1	20.8		4		
			剥片	89	Q30		13	1.4		4		
Ⅲ-116	96	22	両面調整石器	89	Q31		4	23.6		4		
				89	R30		82	7.5		4		
			剥片	89	Q31		9	12.1		4		
			剥片	89	Q31		11	5.7		4		
			剥片	89	Q31		17	14.5		4		
Ⅲ-132	106	185	石核		Q31	Ⅰ	1	150.0		4		
			剥片		Q31	Ⅰ	2	2.5		4		
			剥片	89	R30		97	4.8		4		
			剥片	89	R30		114	22.9		4		
			剥片	89	R30		167	7.4		4		
			剥片	89	R30		193	3.0		4		
			剥片	89	R30		226	3.3		4		
			剥片	89	R30		231	7.4		4		
			剥片	89	R30		239	17.3		4		
			剥片	89	R30		243	2.7		4		
			剥片	89	R30		286	0.7		4		
			剥片	89	R30		293	2.3		4		
			剥片	89	R30		310	18.0		4		
				89	R30		356	3.6		4		
				89	S29		267	28.0		4		
			剥片	89	R30		319	1.7		4		
			剥片	89	R30		321	7.1		4		
			剥片	89	R30		339	7.0		4		
			剥片	89	R30		343	2.8		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	89	R30		377	1.8		4		
			剥片	89	R30		393	2.9		4		
			剥片	89	R30		395	41.2		4		
Ⅲ-123	100	115	舟底形石器	89	R30		404	9.3		4		
				89	R30		420	12.8		4		
			剥片	89	R30		433	6.7		4		
			剥片	89	R30		478	2.9		4		
			剥片	89	R30		506	0.8		4		
			剥片	89	R30		509	11.9		4		
			剥片	89	R30		511	1.9		4		
			剥片	89	R30		514	19.0		4		
			剥片	89	S29		271	18.2		4		
			剥片	89	S29		272	8.1		4		
			剥片	89	S29		313	20.6		4		
			剥片	89	S29		362	7.0		4		
			剥片	89	S29		364	2.1		4		
Ⅲ-175	127	213	接合資料	85･87				228.7	20	4	656	3086
			剥片	87	P34		9	3.9		4		
			剥片	85	P35		172	3.8		4		
			剥片	85	P35		248	4.9		4		
Ⅲ-131	105	176	石核		Q33	Ⅰ	8	61.9		4		
					Q33	Ⅰ	9	26.2		4		
			剥片	87	Q34		200	4.3		4		
			剥片		Q35	Ⅰ	12	53.4		4		
			剥片	87	R33		40	2.5		4		
			剥片	87	R33		51	6.7		4		
			剥片	87	R33		78	15.4		4		
			剥片	87	R33		282	2.9		4		
			剥片	87	R33		354	5.3		4		
			剥片	87	R33		374	2.0		4		
			剥片	87	R33		470	1.4		4		
			剥片	87	R33		585	1.9		4		
			剥片	87	R33		625	4.0		4		
			剥片	87	R33		760	9.5		4		
			剥片	87	R33		825	2.7		4		
			剥片	87	R33		839	13.1		4		
			剥片	87	R33		1047	2.9		4		
Ⅲ-175	128	214	接合資料	85				0.6	2	1	－	5710
Ⅲ-117	97	50	彫器削片	85	N36		7	0.4		1		
Ⅲ-117	97	52	彫器削片		N36	Ⅰ	2	0.2		1		
Ⅲ-175	128	215	接合資料	86･90				68.8	8	3･4･5	1221	5719
Ⅲ-118	98	67	掻器	90	J33		24	5.2		5		
				86	M35		462	3.6		5		
				86	N35		41	1.3		5		
Ⅲ-118	98	66	掻器	86	M35		2	13.1		3		
Ⅲ-118	97	59	掻器	86	M35		442	9.1		5		
Ⅲ-119	98	69	掻器	86	M35		538	18.1		5		
Ⅲ-118	98	65	掻器	86	M36		75	7.1		4		
Ⅲ-119	98	68	掻器		M36	Ⅰ	1	11.3		5		
－	126	242	接合資料	81･83･86				590.0	77	3･4	546	2792
			剥片	81	J41		10	10.4		4		
			剥片	81	K40		9	1.4		4		
				81	K40		153	1.6		3		
				81	K40		304	4.1		3		
				81	K40		439	2.7		3		
			剥片	81	K40		24	2.6		3		
			剥片	81	K40		31	1.0		4		
			剥片	81	K40		42	2.0		4		
				81	L40		373	3.3		3		
			剥片	81	K40		53	8.4		4		
				81	K40		216	3.1		4		
				81	L40		324	1.7		4		
				81	L40		327	1.1		4		
			剥片	81	K40		94	1.9		4		
			剥片	81	K40		102	2.3		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	81	K40		106	4.1		3		
				81	L40		100	1.4		3		
				81	L40		155	6.8		3		
				81	L40		219	3.2		4		
			剥片	81	K40		109	17.4		3		
				81	L40		40	2.5		4		
			剥片	81	K40		140	4.4		4		
				81	K40		331	1.3		4		
				81	L40		56	11.4		4		
				81	L40		79	1.2		4		
			剥片	81	K40		151	8.0		4		
			剥片	81	K40		176	2.7		4		
			剥片	81	K40		228	22.9		4		
			剥片	81	K40		248	1.4		4		
			剥片	81	K40		256	9.0		4		
				81	L40		126	3.7		3		
			剥片	81	K40		273	6.0		4		
				81	L40		258	1.9		4		
			剥片	81	K40		288	1.3		4		
				81	K40		289	3.9		4		
				81	K40		309	25.9		4		
				81	L40		104	3.1		4		
			剥片	81	K40		294	3.1		4		
				81	L40		194	9.1		4		
			剥片	81	K40		306	3.7		4		
				86	N35		312	67.0		3		
			剥片	81	K40		381	4.4		4		
				81	K40		416	2.0		4		
					K40	Ⅰ	13	1.2		4		
				81	L40		3	14.0		4		
				81	L40		357	4.8		3		
			剥片	81	K40		386	3.0		4		
			剥片	81	K40		419	15.5		4		
				81	L40		171	1.0		4		
				81	L40		263	29.7		4		
			剥片	81	K40		442	13.0		4		
				81	K40		443	25.8		4		
				81	L40		193	13.8		3		
			剥片	81	L40		18	12.1		4		
				81	L40		363	4.2		3		
			剥片	81	L40		24	37.0		3		
			剥片	81	L40		31	1.1		4		
			剥片	81	L40		75	12.0		4		
				81	L40		254	1.0		3		
			剥片	81	L40		162	14.2		4		
			剥片	81	L40		166	6.0		4		
				81	L40		283	1.3		4		
			剥片	81	L40		179	2.1		3		
			剥片	81	L40		227	3.0		4		
			剥片	81	L40		235	4.4		4		
			剥片	81	L40		248	16.2		4		
			剥片	81	L40		265	2.9		4		
			剥片	81	L40		277	4.9		4		
			剥片	81	L40		278	2.3		4		
			剥片	81	L40		290	4.1		3		
			剥片	81	L40		292	9.7		3		
			剥片	81	L40		301	21.2		4		
				81	L40		305	17.0		4		
			剥片	81	L40		360	3.8		3		
			剥片	83	M38		250	2.8		4		
				83	M38		251	3.2		4		
			剥片	83	M38		393	1.3		4		
－	126	243	接合資料	81･83				524.6	83	3･4	546	2793
			剥片	81	J41		18	2.8		3		
				81	K40		412	1.7		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	81	J41		19	1.1		3		
			剥片	81	K40		56	4.6		4		
				81	K40		424	6.8		3		
				81	L40		136	2.4		3		
				81	L40		188	1.8		3		
				81	L40		197	1.6		4		
				81	L40		273	3.7		4		
			剥片	81	K40		59	31.1		3		
				81	K40		198	5.1		3		
			剥片	81	K40		99	0.9		4		
				81	K40		177	1.4		4		
			剥片	81	K40		101	8.9		3		
			剥片	81	K40		104	2.1		3		
				81	K40		185	5.7		3		
				81	K40		389	26.6		3		
				81	L40		315	6.4		3		
			剥片	81	K40		111	9.1		4		
				81	K40		162	3.2		4		
				81	K40		175	4.8		4		
				81	L40		71	2.4		3		
				81	L40		215	1.4		4		
			剥片	81	K40		121	2.1		4		
			剥片	81	K40		141	7.7		3		
				81	K40		350	10.7		3		
					K40	Ⅱ	55	0.7		4		
				81	L40		200	2.9		3		
				81	L40		251	1.2		3		
				83	M37		5	37.6		4		
			剥片	81	K40		173	25.0		4		
				81	K40		303	1.0		4		
				81	L40		116	0.6		4		
			剥片	81	K40		206	2.8		3		
				81	L40		295	2.9		3		
			剥片	81	K40		217	0.9		3		
				81	L40		8	8.7		4		
			剥片	81	K40		235	1.7		4		
				81	L40		211	1.0		4		
			剥片	81	K40		241	4.9		4		
				81	K40		339	2.2		3		
				81	K40		430	7.8		3		
				81	L40		78	5.5		3		
				81	L40		223	3.2		4		
				81	L40		253	4.0		3		
			剥片	81	K40		243	1.6		4		
			剥片	81	K40		259	3.0		3		
				81	L40		268	5.5		4		
			剥片	81	K40		275	5.2		4		
				81	L40		51	2.2		4		
				81	L40		70	12.3		3		
				81	L40		175	11.9		4		
			剥片	81	K40		281	3.9		4		
				81	K40		353	7.8		4		
			剥片	81	K40		332	1.1		4		
				81	K40		418	3.4		4		
			剥片	81	K40		334	1.1		4		
				81	K40		335	0.9		4		
			剥片	81	K40		341	1.0		4		
				81	K40		348	2.6		4		
				81	L40		260	0.7		4		
			剥片	81	K40		371	33.2		4		
			剥片	81	K40		383	2.2		4		
			剥片	81	K40		396	2.7		4		
				81	L40		80	2.6		4		
			剥片		K40	Ⅱ	9	1.8		4		
				81	L40		286	4.4		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片		K40	I	12	12.7		4		
			剥片	81	L40		10	25.8		4		
			剥片	81	L40		16	3.4		4		
				81	L40		238	3.2		4		
			剥片	81	L40		74	11.3		4		
			剥片	81	L40		113	3.8		4		
			剥片	81	L40		151	30.8		3		
				81	L40		297	8.6		4		
			剥片	81	L40		195	5.8		4		
				81	L40		199	2.0		3		
			剥片	81	L40		196	5.9		4		
				81	L40		311	3.4		4		
			剥片	81	L40		232	5.0		4		
			剥片	81	L40		293	6.0		3		
			剥片	81	L40		341	12.3		4		
			剥片	81	L40		351	2.8		3		
−	127	244	接合資料	87·88				1840.7	69	1	631	2994
			剥片	88	P33		1	4.4		1		
				88	R32		573	4.7		1		
				88	S31		76	108.3		1		
			剥片	88	P33		4	18.7		1		
					P34	I	32	12.0		1		
				88	S31		54	13.7		1		
			剥片		P34	I	31	14.3		1		
			剥片		Q32	I	2	4.9		1		
				88	R31		381	11.1		1		
				88	S32		407	8.8		1		
			剥片	88	Q33		1	900.6		1		
				88	R32		682	12.4		1		
				88	S32		771	2.1		1		
			剥片	88	Q33		23	7.4		1		
			剥片	88	Q33		49	9.3		1		
			剥片	88	Q33		121	2.1		1		
			剥片	88	Q33		234	2.9		1		
				88	R32		536	4.5		1		
			剥片		Q33	I	30	7.3		1		
				87	R32		132	7.1		1		
				88	S32		229	7.8		1		
			剥片	88	R31		69	11.8		1		
				88	R31		245	8.1		1		
			剥片	88	R31		138	12.2		1		
			剥片	88	R31		162	2.7		1		
				88	R32		380	4.6		1		
				88	S32		102	34.8		1		
				88	S32		418	43.1		1		
			剥片	88	R31		275	2.0		1		
					R32	I	5	38.7		1		
				88	S32		655	5.4		1		
			剥片	88	R31		284	3.7		1		
				88	S31		129	3.5		1		
			剥片	88	R31		292	15.8		1		
				88	S31		159	9.5		1		
				88	S31		260	2.6		1		
			剥片	88	R32		31	13.1		1		
				88	R32		113	31.0		1		
			剥片	88	R32		57	2.9		1		
				88	R32		72	20.7		1		
			剥片	88	R32		106	4.4		1		
			剥片	88	R32		120	36.5		1		
				88	R32		339	15.0		1		
			剥片	88	R32		229	8.6		1		
			剥片	88	R32		325	19.5		1		
					R32	I	6	38.2		1		
			剥片	88	R32		471	9.2		1		
			剥片	88	R32		483	5.1		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	88	R32		507	5.5		1		
				88	R32		952	6.1		1		
				88	S32		322	21.1		1		
				88	S32		612	2.4		1		
			剥片	88	R32		524	27.6		1		
			剥片	88	R32		530	17.7		1		
			剥片	88	R32		614	4.6		1		
				88	R32		770	10.4		1		
			剥片	88	R32		751	1.8		1		
			剥片	88	R32		922	3.3		1		
				88	S31		66	18.1		1		
			剥片	88	R32		923	7.3		1		
			剥片	88	R32		933	7.0		1		
			剥片	88	R33		210	13.4		1		
			剥片	88	S31		110	8.2		1		
			剥片	88	S31		130	43.4		1		
			剥片	88	S32		43	29.4		1		
			剥片	88	S32		48	3.3		1		
			剥片	88	S32		225	4.4		1		
			剥片	88	S32		234	26.2		1		
			剥片	88	S32		685	12.4		1		
−	128	245	接合資料	87·88				910.7	46	1	629	2990
			剥片	87	Q33		58	53.2		1		
				88	R32		882	37.3		1		
			剥片		Q33	I	29	5.7		1		
				88	R32		42	4.6		1		
			剥片	88	R31		96	5.1		1		
			剥片	88	R31		97	77.3		1		
			剥片	88	R32		43	2.5		1		
				88	R32		231	8.9		1		
				88	R32		918	3.1		1		
				88	S31		87	21.1		1		
			剥片	88	R32		65	2.1		1		
				88	S31		31	8.2		1		
				88	S31		103	4.3		1		
			剥片	88	R32		108	74.6		1		
			剥片	88	R32		258	47.0		1		
				88	R32		388	7.1		1		
				88	S31		78	10.1		1		
				88	S32		352	17.0		1		
			剥片	88	R32		268	9.1		1		
				88	S32		257	30.4		1		
				88	S32		258	2.3		1		
				88	S32		696	2.9		1		
			剥片	88	R32		281	9.0		1		
			剥片	88	R32		301	8.3		1		
			剥片	88	R32		330	3.3		1		
			剥片	88	R32		408	97.1		1		
			剥片	88	R32		416	7.6		1		
			剥片	88	R32		776	6.5		1		
				88	S31		30	8.4		1		
				88	S31		46	14.5		1		
				88	S32		758	11.3		1		
			剥片	88	R32		794	54.4		1		
			剥片		R32	I	8	2.5		1		
				88	S32		557	3.1		1		
			剥片	88	S31		2	42.0		1		
			剥片	88	S31		21	36.2		1		
					B調		149	12.9		1		
			剥片	88	S31		59	72.4		1		
				88	S32		756	4.6		1		
			剥片	88	S32		14	16.9		1		
			剥片	88	S32		431	11.6		1		
			剥片	88	S32		457	4.1		1		
			剥片	88	S32		502	8.2		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	88	S32		558	13.5		1		
			剥片	88	S32		631	22.3		1		
			剥片	88	S32		760	6.1		1		
−	128	246	接合資料	87･88				680.9	27	1	632	2995
			剥片	88	P33		6	22.5		1		
			剥片		P33	I	1	30.1		1		
			剥片	88	Q33		5	17.8		1		
			剥片	87	Q33		16	3.4		1		
			剥片	88	Q33		113	35.8		1		
				88	S31		235	94.0		1		
			剥片	88	R31		394	45.0		1		
				88	S32		487	21.7		1		
			剥片	88	R32		118	72.3		1		
			剥片	88	R32		137	6.3		1		
			剥片	88	R32		203	2.1		1		
				88	R32		749	7.2		1		
			剥片	88	R32		295	45.1		1		
				88	S31		128	26.9		1		
			剥片	88	R32		323	2.4		1		
				88	R32		821	2.4		1		
				88	S32		369	0.5		1		
				88	S32		489	3.9		1		
				88	S32		727	2.8		1		
			剥片	88	R32		387	29.2		1		
			剥片	88	R32		531	12.1		1		
			剥片	88	R32		598	19.6		1		
			剥片	88	R32		902	58.1		1		
			剥片	88	S31		56	65.8		1		
			剥片	88	S31		75	41.1		1		
			剥片	88	S32		585	11.0		1		
			剥片	88	S32		752	1.8		1		
−	129	247	接合資料	88				815.0	34	1･5	630	2993
			剥片	88	Q33		15	12.1		1		
			剥片		Q33	I	40	6.4		1		
					Q33	I	41	2.3		1		
				88	R31		358	18.0		1		
				88	S32		660	5.3		1		
			剥片	88	R31		238	30.9		1		
				88	R32		462	1.3		1		
				88	S31		149	4.5		1		
				88	S32		692	5.0		1		
			剥片	88	R32		22	10.4		1		
					R32	I	4	27.5		1		
			剥片	88	R32		139	2.7		1		
			剥片	88	R32		215	2.7		1		
					R32	I	9	14.9		1		
			剥片	88	R32		297	27.9		1		
			剥片	88	R32		326	37.4		1		
				88	S31		179	8.3		1		
			剥片	88	R32		759	20.5		1		
				88	R32		875	1.4		1		
				88	S32		360	44.7		1		
				88	S32		725	5.5		5		
			剥片	88	R32		779	2.4		1		
				88	S31		114	26.8		1		
			剥片		R32	I	2	53.2		1		
				88	S32		449	38.5		1		
			剥片	88	S31		51	34.9		1		
				88	S31		108	23.3		1		
			剥片	88	S31		64	98.4		1		
			剥片	88	S31		102	12.0		1		
			剥片	88	S31		125	14.7		1		
			剥片	88	S31		197	20.8		1		
				88	S32		16	43.7		1		
			剥片	88	S32		232	7.2		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	88	S32		467	149.4		1		
−	129	248	接合資料	82･83･85				1749.8	49	3･4	578	2882
			剥片	82	M36		51	241.4		4		
				82	M36		72	66.5		4		
				83	M37		4	5.8		4		
					M38	I	45	3.5		4		
				85	N36		103	4.7		4		
				85	N36		117	118.1		4		
				85	N36		158	3.7		4		
				83	N37		4	2.5		4		
				83	N37		6	8.7		4		
				83	N37		7	73.6		4		
				83	N37		9	1.9		4		
				83	N37		14	1.2		4		
				83	N37		17	37.7		4		
				83	N37		33	2.6		4		
				83	N37		42	1.6		4		
				83	N37		44	4.1		4		
				83	N37		53	114.2		4		
				83	N37		58	191.9		4		
				83	N37		59	8.5		4		
				83	N37		61	3.7		4		
				83	N37		64	13.2		4		
				83	N37		69	79.3		4		
				83	N37		72	1.2		4		
				83	N37		73	4.6		4		
				83	N37		93	2.4		4		
					N37	I	7	6.9		4		
				83	N38		255	1.2		4		
				83	N38		429	7.3		4		
				83	N38		1116	2.3		4		
				83	N38		1205	9.5		4		
				83	N38		1208	4.1		4		
			剥片		M37	I	4	6.5		4		
				85	N36		56	2.5		4		
				85	N36		57	319.2		4		
				83	N37		15	16.5		4		
				83	N37		29	4.9		4		
				83	N37		36	4.2		4		
			剥片	83	N37		28	17.6		4		
				83	N37		48	1.5		4		
					N37	I	8	2.1		4		
			剥片	83	N37		50	27.1		4		
				83	N37		91	1.1		4		
			剥片	83	N37		52	37.4		4		
				83	N37		57	101.7		4		
				83	N37		63	2.5		4		
			剥片	83	N37		99	4.5		4		
			剥片	83	N38		160	10.7		3		
			剥片	83	N38		620	153.5		4		
				83	N38		1203	8.4		4		
−	129	249	接合資料	82･83･85				1312.1	24	4	615	2972
			剥片	85	M36		1	5.1		4		
				85	N36		100	9.1		4		
				85	N36		249	1.3		4		
			剥片	85	M37		6	255.3		4		
			剥片	83	M37		8	4.4		4		
				85	N36		252	3.7		4		
			剥片	82	M37		9	33.0		4		
			剥片		M37	I	6	4.9		4		
			二次加工ある剥片	85	N36		5	202.6		4		
			剥片	85	N36		43	63.4		4		
			剥片	85	N36		70	13.6		4		
				85	N36		233	298.9		4		
			剥片	85	N36		91	41.7		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				85	N36		205	42.2		4		
			剥片	85	N36		136	1.0		4		
				85	N36		244	86.7		4		
			剥片	85	N36		142	10.3		4		
				85	N36		163	73.5		4		
				85	N36		179	72.6		4		
				85	N36		184	38.9		4		
				85	N36		204	35.8		4		
				85	N36		224	2.5		4		
			剥片	85	N36		192	8.4		4		
			剥片	85	N36		207	3.2		4		
－	130	250	接合資料	86				733.9	6	1	589	2915
			縦長剥片	86	M35		26	2.8		1		
				86	N35		246	3.9		1		
			石刃	86	M35		580	3.1		1		
				86	N35		205	5.8		1		
Ⅲ-129	104	160	石刃核	86	N35		249	396.0		1		
Ⅲ-511	400	4	石刃核		セ南30~51		3	322.3		1		
－	130	251	接合資料	87				869.1	46	1	638	3016
			石刃	87	Q33		232	15.5		1		
				87	S33		350	5.3		1		
			剥片		Q33	Ⅰ	37	2.8		1		
					R33	Ⅱ	7	2.5		1		
				87	S33		54	8.4		1		
				87	S33		565	18.2		1		
				87	S33		855	6.0		1		
					排土		120	3.2		1		
			縦長剥片	87	Q34		106	22.7		1		
				87	R33		632	8.8		1		
			剥片		Q35	Ⅰ	18	39.0		1		
				87	R33		582	6.3		1		
			縦長剥片	87	R33		124	11.3		1		
				87	R33		998	11.2		1		
			剥片	87	R33		320	13.9		1		
			剥片	87	R33		443	24.8		1		
				87	S33		284	16.0		1		
			縦長剥片	87	R33		542	15.5		1		
			剥片	87	R33		789	12.1		1		
			剥片	87	R33		981	30.8		1		
				87	S33		62	13.8		1		
				87	S33		69	6.3		1		
			剥片	87	R33		1039	6.7		1		
Ⅲ-128	103	155	石刃核	87	R33		1190	148.3		1		
			剥片	87	R33		1198	26.1		1		
				87	S33		724	12.8		1		
			縦長剥片	87	R33		1227	9.3		1		
			剥片	87	R33		1250	6.4		1		
				87	S33		527	5.2		1		
				87	S33		528	31.2		1		
			剥片	87	S32		72	26.1		1		
			剥片	87	S32		86	200.5		1		
				87	S33		247	3.8		1		
			剥片	87	S32		149	4.9		1		
				87	S33		889	10.2		1		
			剥片	87	S32		156	5.9		1		
			縦長剥片	87	S33		124	20.2		1		
				87	S33		544	9.4		1		
			剥片	87	S33		199	3.0		1		
			剥片	87	S33		207	3.7		1		
			縦長剥片	87	S33		361	11.0		1		
			剥片	87	S33		373	2.4		1		
			剥片	87	S33		423	4.4		1		
			剥片	87	S33		534	9.8		1		
			剥片	87	S33		557	8.8		1		
			剥片	87	S33		586	4.6		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
－	130	252	接合資料	85･87				132.2	4	4	618	2975
			石刃	85	O36		17	5.6		4		
			石刃	85	P35		277	3.9		4		
			剥片	85	P35		380	10.6		4		
Ⅲ-131	105	170	石刃核	87	R35		77	112.1		4		
－	131	253	接合資料	85･87				974.5	22	1	608	2957
Ⅲ-132	106	182	石核	85	P35		222	274.2		1		
				85	P35		401	294.8		1		
				85	P35		402	5.2		1		
			剥片	87	R33		171	102.0		1		
			剥片	87	R33		915	13.1		1		
				87	R33		1196	7.6		1		
				87	S33		868	12.9		1		
			剥片	87	R33		1064	5.7		1		
				87	S32		87	17.3		1		
				87	S33		18	2.9		1		
				87	S33		192	16.2		1		
				87	S33		332	12.9		1		
				87	S33		876	4.0		1		
			剥片	87	S33		110	15.6		1		
			剥片	87	S33		112	17.3		1		
			剥片	87	S33		138	32.6		1		
			剥片	87	S33		249	77.0		1		
			剥片	87	S33		343	11.1		1		
			剥片	87	S33		404	12.3		1		
			剥片	87	S33		569	4.1		1		
			剥片	87	S33		721	31.7		1		
			剥片	87	S33		915	4.0		1		
－	131	254	接合資料	85･87				341.0	19	4	626	2985
			縦長剥片	85	N35		9	13.6		4		
			剥片	85	O35		11	59.6		4		
			剥片	85	O35		31	4.7		4		
			縦長剥片	85	O35		46	13.5		4		
				85	O35		47	4.4		4		
			縦長剥片		O35	Ⅰ	24	34.0		4		
				85	P35		139	19.7		4		
			剥片	85	O36		11	3.4		4		
			縦長剥片	85	O36		71	9.3		4		
			剥片		O36	Ⅰ	14	36.8		4		
			剥片		O36	Ⅰ	20	4.7		4		
			縦長剥片		O36	Ⅰ	37	15.6		4		
					Q35	Ⅰ	13	6.5		4		
			剥片		O36	Ⅱ	38	1.9		4		
				85	P35		379	6.8		4		
			剥片	85	P35		405	12.8		4		
			石刃	85	P35		409	5.4		4		
			剥片	85	P36		51	11.4		4		
Ⅲ-128	103	147	石刃核	87	R35		2	76.9		4		
－	131	255	接合資料	86				605.4	39	4	602	2948
			剥片	86	M34		18	2.6		4		
			剥片	86	M34		33	4.6		4		
			剥片	86	M34		212	7.1		4		
				86	N34		197	5.6		4		
				86	N34		530	4.0		4		
Ⅲ-123	101	120	舟底形石器	86	M35		3	12.5		4		
				86	M35		4	17.0		4		
			縦長剥片	86	M35		82	15.8		4		
				86	N34		312	3.0		4		
				86	N34		747	6.6		4		
			剥片	86	M35		173	12.3		4		
			剥片	86	M35		608	11.7		4		
			剥片		M35	Ⅰ	39	24.5		4		
			剥片	86	N34		75	3.3		4		
				86	N34		1024	4.7		4		
			剥片	86	N34		164	49.5		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				86	N34		1328	2.0		4		
			縦長剥片	86	N34		318	20.9		4		
				86	N34		558	12.1		4		
			剥片	86	N34		425	4.8		4		
			剥片	86	N34		436	7.2		4		
			剥片	86	N34		450	4.2		4		
			剥片	86	N34		491	22.0		4		
				86	N34		1166	19.0		4		
			剥片	86	N34		503	29.6		4		
				86	N34		657	26.9		4		
				86	N34		1267	7.1		4		
			剥片	86	N34		637	5.8		4		
			剥片	86	N34		652	32.6		4		
			剥片	86	N34		733	44.2		4		
			剥片	86	N34		983	33.0		4		
			剥片	86	N34		1053	40.9		4		
			剥片	86	N34		1158	6.1		4		
			剥片	86	N34		1199	61.9		4		
			剥片	86	N34		1210	1.8		4		
			剥片	86	N34		1332	2.2		4		
			石刃	86	N34		1338	21.4		4		
			剥片	86	N34		1381	4.5		4		
			石刃	86	O34		173	10.4		4		
－	132	256	接合資料	86				979.2	97	4	595	2934
			剥片	86	M34		29	5.8		4		
				86	N34		360	2.5		4		
			剥片	86	M34		49	7.2		4		
				86	N33		193	14.3		4		
			剥片	86	M34		144	5.0		4		
			剥片	86	M34		151	7.5		4		
			剥片	86	M34		165	2.1		4		
			剥片	86	M34		167	4.3		4		
			剥片	86	M34		170	14.8		4		
					N34	Ⅱ	139	2.0		4		
			剥片	86	M34		171	11.3		4		
				86	M35		118	7.2		4		
			剥片	86	M34		178	1.4		4		
			剥片	86	M34		214	5.2		4		
					N34	Ⅱ	147	1.8		4		
			剥片	86	M34		223	2.1		4		
			剥片	86	M35		54	5.0		4		
Ⅲ-122	100	100	削器	86	M35		76	1.6		4		
				86	N34		415	92.6		4		
			剥片	86	M35		105	1.4		4		
			剥片	86	M35		607	24.6		4		
			剥片	86	M35		617	11.1		4		
			二次加工ある剥片		M35	Ⅰ	2	20.5		4		
			剥片		M35	Ⅰ	10	1.7		4		
			縦長剥片		M35	Ⅰ	17	6.9		4		
				86	N33		181	12.3		4		
				86	N34		1234	3.8		4		
					N34	Ⅱ	66	1.7		4		
			剥片		M35	Ⅰ	19	1.9		4		
Ⅲ-120	98	79	錐形石器		M37	Ⅰ	1	10.8		4		
			剥片	86	N34		83	2.4		4		
			剥片	86	N34		98	3.5		4		
				86	N34		939	8.9		4		
			剥片	86	N34		193	3.7		4		
			縦長剥片	86	N34		209	19.3		4		
				86	N34		941	11.9		4		
			剥片	86	N34		302	2.9		4		
			剥片	86	N34		339	1.5		4		
			剥片	86	N34		355	4.1		4		
Ⅲ-130	104	162	石刃核	86	N34		393	129.1		4		
			剥片	86	N34		410	3.2		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	86	N34		426	2.1		4		
				86	N34		1189	5.6		4		
			剥片	86	N34		509	5.1		4		
			剥片	86	N34		510	22.9		4		
				86	N34		1279	2.8		4		
			剥片	86	N34		520	4.4		4		
			剥片	86	N34		565	5.1		4		
			剥片	86	N34		691	1.7		4		
				86	N34		1087	15.6		4		
				86	N34		1347	1.7		4		
			剥片	86	N34		699	1.4		4		
			縦長剥片	86	N34		704	28.6		4		
			剥片	86	N34		707	37.9		4		
			剥片	86	N34		742	15.4		4		
			剥片	86	N34		745	24.8		4		
			剥片	86	N34		855	10.8		4		
			剥片	86	N34		862	1.6		4		
			剥片	86	N34		863	4.2		4		
				86	N34		928	2.7		4		
			剥片	86	N34		921	3.2		4		
			剥片	86	N34		924	9.2		4		
			剥片	86	N34		929	2.9		4		
			縦長剥片	86	N34		951	9.5		4		
			剥片	86	N34		1003	2.8		4		
			剥片	86	N34		1020	40.6		4		
			剥片	86	N34		1034	3.1		4		
					不明		不明	0.9		4		
			剥片	86	N34		1147	34.7		4		
			剥片	86	N34		1148	14.6		4		
Ⅲ-123	101	117	舟底形石器	86	N34		1186	38.5		4		
			剥片	86	N34		1213	8.7		4		
			剥片	86	N34		1265	6.9		4		
			剥片	86	N34		1266	3.0		4		
			剥片	86	N34		1273	2.8		4		
			剥片	86	N34		1284	0.8		4		
			剥片	86	N34		1288	5.7		4		
			剥片	86	N34		1299	6.3		4		
			石刃	86	N34		1325	3.7		4		
				86	N34		1413	10.0		4		
			剥片	86	N34		1327	2.2		4		
			剥片	86	N34		1383	21.0		4		
					N34	Ⅱ	10	1.1		4		
			剥片		N34	Ⅱ	1	1.4		4		
			剥片		N34	Ⅱ	17	1.8		4		
			剥片		N34	Ⅱ	27	1.9		4		
			剥片		N34	Ⅱ	34	1.0		4		
			剥片		N34	Ⅱ	71	1.3		4		
			剥片		N34	Ⅱ	85	1.5		4		
			剥片		N34	Ⅱ	140	0.7		4		
			剥片		N34	Ⅱ	148	1.2		4		
			剥片		N34	Ⅱ	149	0.5		4		
			剥片		N34	Ⅱ	150	0.5		4		
			剥片		N34	Ⅱ	151	0.6		4		
			剥片		N34	Ⅱ	152	0.3		4		
Ⅲ-127	102	142	舟底形石器	86	N35		96	57.0		4		
			剥片		不明		不明	2.0		4		
－	132	257	接合資料	87				553.0	32	4	597	2939
			剥片	87	P34		14	16.5		4		
					P34	Ⅰ	23	3.5		4		
					Q34	Ⅰ	33	15.2		4		
			剥片	87	Q34		29	3.7		4		
			縦長剥片	87	Q34		35	6.3		4		
				87	R34		117	33.7		4		
			剥片	87	R33		152	46.6		4		
			剥片	87	R33		170	6.5		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			縦長剥片	87	R33		196	6.3		4		
				87	R33		1088	5.1		4		
				87	S33		117	6.7		4		
				87	S33		152	3.4		4		
				87	S33		591	6.3		4		
			剥片	87	R33		429	31.6		4		
			石刃	87	R33		430	22.5		4		
				87	S33		861	11.0		4		
			剥片	87	R33		512	11.2		4		
			剥片	87	R33		571	12.1		4		
			剥片	87	R33		770	11.3		4		
			石刃	87	R33		858	15.0		4		
				87	S33		631	59.9		4		
			剥片	87	R33		979	10.7		4		
			剥片		R33	I	11	9.9		4		
			剥片		R33	I	12	3.5		4		
			剥片	87	R34		34	13.3		4		
				87	S33		191	2.1		4		
Ⅲ-131	106	179	石核	87	S32		20	153.8		4		
			剥片	87	S32		36	6.6		4		
			剥片	87	S32		118	3.7		4		
			剥片	87	S32		146	7.7		4		
			剥片	87	S33		406	6.2		4		
			剥片	87	S33		602	1.1		4		
－	133	258	接合資料	87				423.8	37	4	652	3050
Ⅲ-127	102	145	舟底形石器		P35	I	2	16.5		4		
			二次加工ある剥片		P35	I	20	2.7		4		
				87	Q35		51	22.1		4		
			剥片		Q33	I	7	4.3		4		
			剥片	87	Q34		13	6.1		4		
			剥片	87	Q34		28	2.4		4		
			剥片	87	Q34		108	47.7		4		
Ⅲ-127	102	144	舟底形石器	87	Q34		149	17.5		4		
				87	R33		782	32.2		4		
			剥片	87	Q34		203	4.9		4		
			剥片	87	R33		91	12.9		4		
			剥片	87	R33		128	3.6		4		
			剥片	87	R33		243	3.0		4		
			剥片	87	R33		428	6.3		4		
			剥片	87	R33		695	2.9		4		
			剥片	87	R33		838	3.1		4		
			剥片	87	R33		882	24.0		4		
			剥片	87	R33		920	5.3		4		
			縦長剥片	87	R33		1034	12.3		4		
			剥片	87	R33		1139	7.7		4		
			剥片	87	R33		1145	2.4		4		
			剥片	87	R33		1153	3.8		4		
				87	S32		284	3.2		4		
			剥片	87	R33		1205	3.1		4		
			剥片	87	R33		1294	1.9		4		
			剥片	87	R33		1307	4.9		4		
			縦長剥片	87	R33		1309	56.5		4		
				87	S32		37	32.9		4		
			剥片		R33	I	9	21.4		4		
			剥片		R33	I	10	9.5		4		
			剥片		R34	I	13	2.2		4		
			剥片	87	S32		179	12.1		4		
			剥片	87	S33		119	7.0		4		
			剥片	87	S33		129	6.5		4		
			剥片	87	S33		802	7.2		4		
			剥片	87	S33		841	5.4		4		
			剥片	87	S33		909	6.3		4		
－	133	259	接合資料	82				293.8	8	4	552	2808
Ⅲ-128	103	152	石刃核	82	K37		7	126.9		4		
Ⅲ-121	100	98	削器	82	K37		218	55.7		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				82	K37		358	19.2		4		
			剥片	82	K37		793	4.5		4		
			縦長剥片		K37	I	55	14.4		4		
			剥片		K37	I	60	8.1		4		
			二次加工ある剥片		B調		27	61.7		4		
			剥片		K37	Ⅱ	195	3.3		4		
－	133	260	接合資料	83				510.2	14	3･4	577	2881
			剥片	83	M38		158	13.4		4		
			剥片	83	M38		326	17.5		4		
			剥片	83	M38		559	7.0		4		
				83	N38		43	9.3		4		
				83	N38		846	53.2		4		
				83	N38		1087	130.7		3		
			剥片	83	M38		646	2.7		3		
			剥片		M38	I	61	7.0		3		
			剥片		M38	I	62	23.9		3		
			剥片	83	N38		289	10.5		4		
			剥片	83	N38		703	64.6		4		
			剥片	83	N38		1188	57.2		4		
			剥片	83	N38		1279	16.4		4		
Ⅲ-130	104	165	石刃核		N38	I	11	96.8		4		
－	134	261	接合資料	85				332.1	36	4	622	2979
			剥片		O35	I	32	10.7		4		
			剥片		O35	I	33	4.5		4		
			縦長剥片		O36	I	34	19.6		4		
					P35	I	24	5.9		4		
			剥片	85	P35		25	2.0		4		
			剥片	85	P35		54	11.6		4		
			剥片	85	P35		122	4.0		4		
			縦長剥片	85	P35		131	7.7		4		
			剥片	85	P35		152	9.2		4		
			剥片	85	P35		153	3.5		4		
				85	P35		620	7.0		4		
			剥片	85	P35		159	2.4		4		
				85	P35		545	1.6		4		
			剥片	85	P35		191	8.2		4		
			剥片	85	P35		312	44.9		4		
			剥片	85	P35		322	6.7		4		
			剥片	85	P35		348	3.8		4		
			剥片	85	P35		436	1.2		4		
			剥片	85	P35		457	10.9		4		
			剥片	85	P35		460	10.1		4		
			剥片	85	P35		467	3.6		4		
				85	P35		523	5.5		4		
			剥片	85	P35		474	34.4		4		
			剥片	85	P35		497	2.7		4		
			縦長剥片	85	P35		507	9.1		4		
			剥片	85	P35		514	4.4		4		
			剥片	85	P35		553	17.1		4		
			剥片	85	P35		555	20.7		4		
			剥片	85	P35		578	15.4		4		
			剥片	85	P35		585	8.4		4		
			剥片	85	P35		593	4.6		4		
			剥片	85	P35		602	3.5		4		
			剥片	85	P35		613	5.7		4		
			剥片	85	P35		631	12.1		4		
			剥片		P35	I	25	5.8		4		
			剥片		P36	I	5	3.6		4		
－	134	262	接合資料	85･86･87				295.1	18	4	617	2974
			縦長剥片	86	N35		20	6.2		4		
					Q35	I	1	42.4		4		
			剥片	85	O35		58	3.7		4		
Ⅲ-128	103	148	石刃核	85	O35		61	39.6		4		
			剥片	85	O35		105	4.5		4		
			剥片		O35	I	12	23.2		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	85	O36		42	4.4		4		
			剥片	85	O36		74	31.0		4		
			剥片		O36	Ⅰ	6	32.9		4		
			剥片		O36	Ⅰ	15	7.9		4		
			剥片		O36	Ⅰ	23	2.0		4		
			剥片	85	P35		31	16.7		4		
			剥片	85	P35		183	28.8		4		
			剥片	85	P35		205	22.1		4		
			剥片	85	P35		218	6.2		4		
			剥片	85	P35		253	2.3		4		
			剥片	85	P35		271	11.4		4		
			石刃	87	R35		72	9.8		4		
－	134	263	接合資料	82				459.7	48	4	559	2816
			石刃	82	J37		34	8.6		4		
					K37	Ⅱ	191	13.1		4		
					K37	Ⅱ	241	4.4		4		
			剥片	82	J37		47	3.9		4		
			剥片	82	J37		52	6.9		4		
			剥片		K33	Ⅱ	1	3.4		4		
			剥片		K33	Ⅱ	26	0.8		4		
Ⅲ-123	100	113	舟底形石器	82	K36		39	13.6		4		
				82	K37		428	12.3		4		
			剥片	82	K36		164	3.5		4		
			剥片	82	K37		143	1.8		4		
				82	K37		410	2.1		4		
			剥片	82	K37		280	17.3		4		
			剥片	82	K37		303	16.1		4		
			剥片	82	K37		336	5.1		4		
			剥片	82	K37		382	22.2		4		
			剥片	82	K37		389	8.3		4		
			剥片	82	K37		427	17.1		4		
					K37	Ⅰ	51	30.8		4		
			石刃	82	K37		430	7.6		4		
			剥片	82	K37		454	15.0		4		
					K37	Ⅱ	261	1.6		4		
			剥片	82	K37		502	15.1		4		
			剥片	82	K37		551	3.2		4		
			剥片	82	K37		570	1.4		4		
				82	K37		758	1.8		4		
					K37	Ⅱ	226	1.0		4		
			剥片	82	K37		814	3.0		4		
			剥片	82	K37		854	2.8		4		
			剥片		K37	Ⅰ	54	28.5		4		
			剥片		K37	Ⅰ	61	7.0		4		
			剥片		K37	Ⅰ	67	3.6		4		
			剥片		K37	Ⅰ	76	1.8		4		
					B調		81	2.2		4		
			剥片		K37	Ⅱ	144	1.8		4		
			剥片		K37	Ⅱ	151	1.0		4		
			縦長剥片		K37	Ⅱ	198	2.1		4		
			剥片		K37	Ⅱ	211	1.1		4		
			剥片		K37	Ⅱ	259	3.5		4		
			剥片		K37	Ⅱ	260	1.8		4		
				82	K38		41	7.4		4		
Ⅲ-130	104	163	石刃核	82	L36		107	75.0		4		
Ⅲ-511	400	2	舟底形石器		B調		9	12.1		4		
Ⅲ-511	400	1	削器		B調		13	21.1		4		
			剥片		B調		28	18.7		4		
			剥片		B調		34	11.4		4		
			剥片		B調		37	3.5		4		
			剥片		B調		39	12.3		4		
－	135	264	接合資料	83･外				1128.8	28	3･4	576	2879
			剥片	83	M38		215	54.2		3		
				83	N38		1071	48.6		3		
				83	N38		1182	2.3		3		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	83	M38		225	8.7		3		
				83	M38		476	18.1		3		
				83	M38		600	3.6		3		
					M38	Ⅰ	59	70.5		3		
			石刃	83	M38		232	1.9		4		
				83	N38		1060	23.4		3		
			剥片	83	M38		272	3.6		3		
			石刃	83	M38		469	19.5		3		
			石刃	83	M38		529	9.5		3		
			石刃	83	M38		547	10.1		3		
			石刃	83	M38		695	3.3		4		
Ⅲ-125	101	127	舟底形石器		M38	Ⅰ	7	73.5		4		
				83	N38		1105	105.8		3		
			石刃		M38	Ⅰ	52	19.6		3		
			剥片		M38	Ⅰ	60	10.2		3		
			剥片		M39	Ⅰ	2	67.0		4		
			剥片	83	N38		297	29.2		4		
				83	N38		307	40.1		4		
				83	N38		630	72.9		3		
			剥片	83	N38		713	5.4		4		
			剥片	83	N38		732	26.2		4		
			剥片	83	N38		864	76.6		3		
Ⅲ-130	105	166	石刃核	83	N38		992	110.3		4		
Ⅲ-120	99	84	削器	83	N38		1119	8.1		3		
－	399	5	削器	外	P39		3	206.6		3		
－	135	265	接合資料	89･93				1335.1	26	4	724	3273
			剥片	93	P28		1189	147.3		4		
				93	P28		7700	46.7		4		
			剥片	93	P28		2712	177.2		4		
			剥片	93	P28		3147	55.8		4		
			縦長剥片	93	P28		4432	69.3		4		
				89	R30		215	53.4		4		
			剥片	93	P29		640	87.4		4		
				93	P29		757	69.1		4		
			剥片	89	Q31		21	35.7		4		
				89	R30		276	48.2		4		
			剥片	89	R30		56	19.8		4		
				89	R30		241	18.7		4		
				89	R30		373	2.0		4		
				89	R30		466	4.8		4		
			剥片	89	R30		128	9.8		4		
			剥片	89	R30		130	117.8		4		
				89	R30		426	12.0		4		
				89	R30		524	106.2		4		
			縦長剥片	89	R30		157	25.4		4		
				89	R30		376	37.7		4		
				89	R31		5	2.8		4		
			剥片	89	R30		315	8.5		4		
			縦長剥片	89	R30		387	14.8		4		
				89	S29		264	75.5		4		
			剥片	89	R30		430	80.8		4		
			剥片	89	R30		435	8.4		4		
－	136	266	接合資料	89･93				716.0	44	3･4	723	3271
－	199	441	舟底形石器	93	O28		1241	12.8		4		
			縦長剥片	93	P28		846	63.0		4		
				93	P28		1319	36.1		4		
				93	P28		2636	88.5		4		
				89	R30		462	1.1		4		
				89	R31		22	2.8		4		
			剥片	93	P28		2925	53.3		4		
				93	P28		3312	19.9		4		
				93	Q27		225	30.8		4		
				89	R30		262	46.5		4		
			剥片	93	P29		812	65.2		4		
				93	P29		926	98.4		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				89	R30		442	2.4		4		
			剥片	89	Q31		6	3.9		3		
			剥片	89	Q31		8	4.8		3		
			剥片		Q31	Ⅰ	3	2.7		4		
			剥片	89	R30		18	2.5		4		
			剥片	89	R30		72	1.4		4		
			剥片	89	R30		87	9.7		4		
			剥片	89	R30		172	6.9		4		
			剥片	89	R30		185	1.8		4		
			剥片	89	R30		224	2.9		4		
			剥片	89	R30		288	6.6		4		
			剥片	89	R30		295	2.3		4		
			剥片	89	R30		303	1.4		4		
			剥片	89	R30		317	1.2		4		
			剥片	89	R30		324	1.5		4		
			剥片	89	R30		348	4.5		4		
				89	R30		460	6.2		4		
					R30	Ⅰ	2	2.3		4		
			剥片	89	R30		391	4.4		4		
			剥片	89	R30		423	8.5		4		
			剥片	89	R30		434	4.5		4		
			剥片	89	R30		438	2.2		4		
			剥片	89	R30		464	23.4		4		
			剥片	89	R30		474	2.1		4		
			剥片	89	R30		479	2.3		4		
			剥片	89	R30		484	1.1		4		
－	107	223	舟底形石器	89	R30		488	71.1		4		
			剥片	89	R30		515	0.9		4		
			剥片	89	R30		532	3.3		4		
			剥片	89	R30		541	1.5		4		
			剥片	89	S29		268	1.4		4		
			剥片	89	S29		320	5.9		4		
－	136	267	接合資料	86･92				1921.4	109	3･4	591	2924
Ⅲ-254	197	319	石核	92	L35		24	91.1		4		
			剥片	86	M34		3	5.8		4		
				86	N34		353	70.4		4		
				86	N34		1208	50.7		4		
			剥片	86	M34		7	70.9		4		
			剥片	86	M34		9	7.8		4		
			剥片	86	M34		28	10.0		4		
			剥片	86	M34		41	4.1		4		
			剥片	86	M34		44	3.0		4		
			剥片	86	M34		71	3.5		4		
			剥片	86	M34		84	17.3		4		
			剥片	86	M34		126	20.0		4		
				86	N34		36	2.1		4		
					N34	Ⅱ	133	1.3		4		
			剥片	86	M34		149	2.3		4		
			剥片	86	M34		211	29.5		4		
					M35	Ⅰ	65	2.5		4		
			剥片		M35	Ⅰ	25	32.2		4		
				86	N34		933	111.3		4		
				86	N34		1135	57.5		4		
				86	N34		1364	29.3		4		
			剥片		M35	Ⅰ	33	4.9		4		
				86	N34		539	12.6		4		
			剥片	86	N33		166	2.4		4		
				86	N34		714	57.9		4		
			剥片	86	N33		169	2.7		4		
				86	N34		633	22.7		4		
				86	N34		1297	6.0		3		
			剥片	86	N33		178	26.8		4		
			剥片	86	N34		155	15.0		4		
				86	N34		1301	3.7		4		
			剥片	86	N34		192	2.0		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	86	N34		196	6.5		4		
			剥片	86	N34		199	5.4		3		
			剥片	86	N34		202	8.7		4		
			剥片	86	N34		206	13.6		4		
			剥片	86	N34		208	7.3		4		
			剥片	86	N34		214	30.1		4		
			剥片	86	N34		216	12.9		4		
			剥片	86	N34		225	3.3		4		
			剥片	86	N34		325	21.8		4		
			剥片	86	N34		334	6.7		4		
			剥片	86	N34		354	9.5		4		
			剥片	86	N34		376	27.2		4		
				86	N34		716	6.9		4		
				86	N34		953	9.6		4		
			剥片	86	N34		453	3.7		4		
				86	N34		1145	3.7		4		
			剥片	86	N34		471	5.4		4		
					不明		不明	3.9		4		
			剥片	86	N34		477	5.0		4		
			剥片	86	N34		502	11.5		4		
				86	N34		1296	23.8		4		
			剥片	86	N34		508	2.2		4		
			剥片	86	N34		542	3.9		4		
			剥片	86	N34		569	4.6		4		
			剥片	86	N34		579	69.1		4		
				86	N34		1078	36.8		4		
				86	N34		1322	5.2		4		
			剥片	86	N34		583	80.8		4		
			剥片	86	N34		613	8.5		4		
			剥片	86	N34		621	3.1		4		
			剥片	86	N34		631	22.4		4		
			剥片	86	N34		651	28.5		4		
			剥片	86	N34		663	8.3		4		
				86	N34		918	4.9		4		
			剥片	86	N34		682	10.9		4		
			剥片	86	N34		701	11.7		4		
			剥片	86	N34		705	7.3		4		
			剥片	86	N34		774	34.1		4		
			剥片	86	N34		812	10.5		4		
			剥片	86	N34		830	16.4		4		
			剥片	86	N34		834	16.3		4		
			剥片	86	N34		847	3.4		4		
			剥片	86	N34		854	11.6		4		
			剥片	86	N34		861	32.3		4		
			剥片	86	N34		875	2.6		4		
			剥片	86	N34		882	1.6		4		
			剥片	86	N34		891	7.0		4		
			剥片	86	N34		904	2.9		4		
			剥片	86	N34		908	24.8		4		
				86	N34		1188	10.2		4		
			剥片	86	N34		913	14.3		4		
			剥片	86	N34		927	2.7		4		
				86	N34		1108	3.7		4		
			剥片	86	N34		932	14.5		4		
Ⅲ-132	106	187	石核	86	N34		956	132.9		4		
			剥片	86	N34		1006	2.3		4		
			剥片	86	N34		1008	6.3		4		
			剥片	86	N34		1040	5.7		4		
			剥片	86	N34		1047	9.2		4		
			剥片	86	N34		1096	2.6		4		
			剥片	86	N34		1110	6.7		4		
			剥片	86	N34		1182	7.8		4		
			剥片	86	N34		1198	3.9		4		
			剥片	86	N34		1230	4.1		4		
			剥片	86	N34		1269	58.4		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	86	N34		1272	10.4		4		
			剥片	86	N34		1278	4.1		4		
			剥片	86	N34		1330	4.0		4		
			剥片	86	N34		1359	46.5		4		
			剥片	86	N34		1393	2.3		4		
					N34	Ⅱ	137	1.5		4		
			剥片	86	N34		1401	4.6		4		
			剥片		N34	Ⅱ	146	1.5		4		
Ⅲ-126	102	132	舟底形石器	86	N35		95	40.5		4		
				86	N35		136	25.5		4		
			剥片	86	O34		168	12.7		4		
			剥片	86	O34		227	5.0		4		
－	137	268	接合資料	82･86				665.9	53	4	599	2945
			剥片		L35	Ⅰ	2	5.5		4		
			剥片	82	L36		52	5.9		4		
			剥片	86	M35		6	36.6		4		
			剥片	86	M35		7	26.6		4		
				86	M35		320	1.4		4		
			剥片	86	M35		23	4.1		4		
				86	M35		355	1.3		4		
			剥片	86	M35		28	4.7		4		
			剥片	86	M35		131	3.2		4		
			剥片	86	M35		141	5.2		4		
			剥片	86	M35		161	2.8		4		
			剥片	86	M35		195	5.4		4		
			剥片	86	M35		206	1.7		4		
				86	N35		269	1.6		4		
			剥片	86	M35		208	3.8		4		
			剥片	86	M35		225	2.2		4		
			剥片	86	M35		251	8.4		4		
			剥片	86	M35		258	3.4		4		
				86	M35		600	7.7		4		
			剥片	86	M35		263	4.9		4		
			剥片	86	M35		277	6.8		4		
				86	M35		526	76.1		4		
				86	N35		182	42.3		4		
				86	N35		183	3.3		4		
			剥片	86	M35		319	6.7		4		
			剥片	86	M35		356	2.8		4		
			剥片	86	M35		363	3.0		4		
Ⅲ-124	101	121	舟底形石器	86	M35		370	23.2		4		
				86	M35		544	20.8		4		
				86	N35		224	4.5		4		
			剥片	86	M35		457	14.2		4		
			剥片	86	M35		461	21.5		4		
			剥片	86	M35		477	8.2		4		
			剥片	86	M35		487	1.8		4		
			剥片	86	M35		496	7.6		4		
			二次加工ある剥片	86	M35		505	31.4		4		
			剥片	86	M35		508	7.2		4		
			剥片	86	M35		514	2.3		4		
			剥片	86	M35		536	50.4		4		
			剥片	86	M35		565	5.9		4		
			剥片	86	M35		594	9.1		4		
			剥片		M36	Ⅱ	22	2.3		4		
Ⅲ-123	100	114	舟底形石器	86	N33		129	21.1		4		
				86	N35		268	10.9		4		
Ⅲ-132	106	183	石核	86	N35		213	71.3		4		
			剥片	86	N35		216	7.3		4		
			剥片	86	N35		217	24.1		4		
			剥片	86	N35		222	1.6		4		
			剥片	86	N35		231	6.1		4		
			剥片	86	N35		264	10.2		4		
			剥片	86	N35		267	10.3		4		
			剥片	86	N35		276	12.3		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	86	N36		221	2.9		4		
－	137	269	接合資料	89･93				1221.8	71	4	747	3395
			二次加工ある剥片	93	O29		620	149.4		4		
				93	O29		918	19.2		4		
				93	O29		1020	2.2		4		
				93	P29		334	39.2		4		
				93	P29		1065	30.9		4		
			縦長剥片	93	O29		908	17.5		4		
			縦長剥片	93	O29		1366	51.0		4		
				93	P28		6030	28.5		4		
			剥片	93	O29		1414	24.4		4		
			剥片	93	O29		1717	24.1		4		
				93	P28		8040	11.0		4		
			剥片	93	P28		2234	16.5		4		
				93	P28		6349	44.4		4		
					Q27	Ⅱ	11	4.7		4		
			剥片	93	P28		2766	31.6		4		
				93	P28		3958	4.4		4		
				93	P28		4163	17.4		4		
			剥片	93	P28		4919	79.1		4		
				93	P28		5450	15.9		4		
				93	P28		7109	10.7		4		
				93	P28		7721	43.7		4		
			剥片	93	P28		5448	59.4		4		
Ⅲ-244	191	258	舟底形石器	93	P28		6368	12.5		4		
				93	P29		361	19.3		4		
			剥片	93	P28		6561	64.2		4		
－	204	489	石核	93	P28		6568	25.5		4		
			剥片	93	P28		7133	8.0		4		
			縦長剥片	93	P28		7464	32.9		4		
			縦長剥片	93	P28		7646	6.2		4		
			剥片	93	P28		7867	48.0		4		
				93	P28		7943	10.2		4		
			縦長剥片	93	P29		952	5.3		4		
			剥片	89	Q31		22	29.2		4		
			剥片	89	R30		11	4.0		4		
			剥片	89	R30		20	2.2		4		
			剥片	89	R30		79	5.4		4		
			剥片	89	R30		102	4.4		4		
			剥片	89	R30		111	3.3		4		
			剥片	89	R30		126	2.7		4		
			剥片	89	R30		151	1.6		4		
			剥片	89	R30		164	1.9		4		
				89	R30		439	6.9		4		
－	107	222	舟底形石器	89	R30		184	2.7		4		
				89	R30		392	13.9		4		
			剥片	89	R30		191	2.0		4		
			剥片	89	R30		233	8.9		4		
			剥片	89	R30		238	4.9		4		
			剥片	89	R30		254	9.6		4		
			剥片	89	R30		279	2.7		4		
			剥片	89	R30		294	3.8		4		
			剥片	89	R30		305	4.4		4		
			剥片	89	R30		320	1.5		4		
			剥片	89	R30		351	29.0		4		
			剥片	89	R30		370	1.3		4		
				89	R30		533	1.5		4		
			剥片	89	R30		403	1.9		4		
			剥片	89	R30		436	1.2		4		
			剥片	89	R30		440	4.5		4		
			剥片	89	R30		445	2.1		4		
			剥片	89	R30		456	3.4		4		
			剥片	89	R30		465	2.3		4		
			剥片	89	R30		475	1.5		4		
			剥片	89	R30		486	8.9		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	89	R30		518	3.3		4		
			剥片	89	R30		522	2.0		4		
			剥片		R30	I	1	34.7		4		
			剥片	89	S29		106	12.3		4		
			剥片	89	S29		107	5.0		4		
			剥片	89	S29		269	18.4		4		
			剥片	89	S29		275	11.2		4		
			剥片	89	S29		318	4.0		4		
－	137	270	接合資料	83				376.9	16	4	584	2900
			剥片	83	M38		83	11.4		4		
				83	N38		295	80.9		4		
				83	N38		857	2.5		4		
				83	N38		860	3.2		4		
			剥片	83	M38		233	54.5		4		
				83	M38		360	11.4		4		
				83	N38		1159	48.9		4		
			剥片	83	M38		447	26.2		4		
					M38	I	40	24.5		4		
			剥片	83	M38		493	1.9		4		
			剥片	83	M38		527	4.3		4		
			剥片		M38	I	20	4.8		4		
Ⅲ-132	106	186	石核		M38	I	38	90.8		4		
			縦長剥片	83	N38		704	3.0		4		
			剥片	83	N38		1162	3.9		4		
			剥片	83	N38		1230	4.7		4		
－	138	271	接合資料	83･85				433.2	67	4	581	2893
			剥片	83	M38		116	8.9		4		
			剥片	83	M38		371	4.1		4		
			剥片	83	M38		421	3.7		4		
			剥片	83	N38		244	1.1		4		
			剥片	83	N38		349	3.3		4		
				83	N38		763	4.4		4		
			剥片	83	N38		426	1.9		4		
－	107	220	削器	83	N38		512	63.7		4		
					N38	I	2	27.1		4		
			剥片	83	N38		613	1.0		4		
			剥片	83	N38		766	3.3		4		
			剥片	83	N38		877	5.8		4		
			剥片	83	N38		983	6.2		4		
			剥片	83	N38		993	2.1		4		
			剥片	83	N38		1127	1.5		4		
			剥片	83	N38		1134	1.6		4		
			剥片	85	P35		8	8.1		4		
				85	P35		447	5.4		4		
			剥片	85	P35		9	5.0		4		
			剥片	85	P35		11	2.3		4		
				85	P35		49	4.3		4		
				85	P35		50	5.8		4		
				85	P35		517	1.3		4		
					P35	I	8	11.5		4		
			剥片	85	P35		15	6.2		4		
				85	P35		60	4.4		4		
			剥片	85	P35		51	3.9		4		
				85	P35		554	4.6		4		
			剥片	85	P35		55	14.7		4		
				85	P35		604	5.5		4		
			剥片	85	P35		103	0.9		4		
			剥片	85	P35		110	1.9		4		
			剥片	85	P35		112	9.6		4		
			剥片	85	P35		118	8.7		4		
				85	P35		302	2.4		4		
				85	P35		518	1.4		4		
			剥片	85	P35		125	1.6		4		
			剥片	85	P35		129	3.3		4		
			剥片	85	P35		134	1.1		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	85	P35		256	1.1		4		
			剥片	85	P35		307	3.7		4		
				85	P35		470	6.7		4		
			剥片	85	P35		316	5.0		4		
			剥片	85	P35		319	4.4		4		
				85	P35		443	11.0		4		
			剥片	85	P35		334	1.1		4		
			剥片	85	P35		341	5.2		4		
			剥片	85	P35		344	3.6		4		
			剥片	85	P35		351	2.2		4		
			剥片	85	P35		449	15.4		4		
			剥片	85	P35		453	3.7		4		
			剥片	85	P35		454	13.2		4		
			剥片	85	P35		468	1.1		4		
			剥片	85	P35		473	4.6		4		
			剥片	85	P35		476	11.7		4		
			剥片	85	P35		499	15.4		4		
			剥片	85	P35		505	1.1		4		
			剥片	85	P35		516	7.9		4		
			剥片	85	P35		524	1.3		4		
			剥片	85	P35		542	4.7		4		
			剥片	85	P35		551	6.5		4		
			剥片	85	P35		564	3.1		4		
			剥片	85	P35		586	5.0		4		
			剥片	85	P35		588	22.9		4		
			剥片	85	P35		590	4.4		4		
			剥片		P35	I	7	11.5		4		
			剥片		P35	I	16	2.1		4		
－	138	272	接合資料	85･86				459.6	66	4	625	2984
			剥片	86	M35		142	2.4		4		
			剥片		O35	I	13	19.6		4		
			剥片		O35	I	14	10.4		4		
			縦長剥片		O35	I	15	5.2		4		
				85	P35		498	2.5		4		
			剥片		O35	I	20	0.8		4		
				85	P35		347	1.9		4		
			剥片	85	P35		52	5.1		4		
				85	P35		566	21.2		4		
				85	P35		603	10.6		4		
			剥片	85	P35		53	6.4		4		
				85	P35		113	5.2		4		
			剥片	85	P35		83	2.9		4		
			剥片	85	P35		107	0.8		4		
				85	P35		301	24.8		4		
					P35	I	6	29.3		4		
			剥片	85	P35		114	2.3		4		
				85	P35		414	0.9		4		
			剥片	85	P35		150	3.4		4		
			剥片	85	P35		168	1.6		4		
			剥片	85	P35		171	4.2		4		
				85	P35		594	6.8		4		
			剥片	85	P35		189	5.4		4		
			剥片	85	P35		193	9.0		4		
			剥片	85	P35		235	11.5		4		
				85	P35		563	40.1		4		
			剥片	85	P35		258	17.6		4		
				85	P35		567	11.5		4		
			剥片	85	P35		299	1.1		4		
			剥片	85	P35		317	6.4		4		
				85	P35		421	3.7		4		
			剥片	85	P35		325	1.7		4		
			剥片	85	P35		328	5.5		4		
			剥片	85	P35		330	5.5		4		
			剥片	85	P35		338	18.8		4		
				85	P35		574	18.4		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	85	P35		339	1.1		4		
				85	P35		455	8.6		4		
			剥片	85	P35		340	5.2		4		
			剥片	85	P35		342	4.4		4		
			剥片	85	P35		343	5.4		4		
			剥片	85	P35		411	1.2		4		
			剥片	85	P35		420	1.1		4		
			剥片	85	P35		448	8.4		4		
			剥片	85	P35		450	2.0		4		
			剥片	85	P35		458	3.8		4		
			剥片	85	P35		475	3.1		4		
			剥片	85	P35		482	2.6		4		
					P35	I	11	3.2		4		
			剥片	85	P35		503	3.1		4		
				85	P35		506	7.0		4		
			剥片	85	P35		504	3.3		4		
			剥片	85	P35		515	4.9		4		
			剥片	85	P35		533	1.2		4		
					P35	I	10	4.4		4		
			剥片	85	P35		540	2.8		4		
			剥片	85	P35		552	2.0		4		
			縦長剥片	85	P35		568	1.4		4		
			剥片	85	P35		583	3.7		4		
			剥片	85	P35		584	2.9		4		
			剥片	85	P35		597	4.8		4		
			剥片	85	P35		598	6.9		4		
			剥片	85	P35		599	11.9		4		
			剥片	85	P35		626	1.5		4		
			剥片	85	P35		627	17.4		4		
			剥片		P35	I	9	5.8		4		
－	138	273	接合資料	87				405.4	34	4	649	3046
			剥片		O34	I	17	33.2		4		
				87	R33		446	9.6		4		
				87	S33		526	9.7		4		
				87	S33		667	41.0		4		
				87	S33		766	4.6		4		
			剥片	87	Q33		183	6.8		4		
				87	S32		144	5.6		4		
			剥片	87	Q34		105	2.4		4		
			剥片	87	Q34		130	2.7		4		
				87	S33		45	5.6		4		
			剥片	87	Q34		211	2.1		4		
			剥片		Q34	I	38	6.0		4		
				87	R33		704	18.9		4		
			剥片	87	R33		77	2.7		4		
			剥片	87	R33		232	22.3		4		
				87	R33		456	1.8		4		
			剥片	87	R33		466	4.9		4		
					R34	I	18	3.3		4		
			剥片	87	R33		520	2.7		4		
			剥片	87	R33		574	6.0		4		
				87	R33		1124	64.3		4		
			剥片	87	R33		767	3.3		4		
			剥片	87	R33		1114	10.6		4		
			剥片	87	R33		1170	8.4		4		
				87	R33		1256	3.8		4		
				87	R34		43	3.2		4		
			剥片	87	R33		1245	4.2		4		
			剥片	87	R33		1289	37.4		4		
			剥片	87	S32		200	6.0		4		
			剥片	87	S33		293	8.0		4		
				87	S33		783	15.9		4		
			剥片	87	S33		494	37.0		4		
			剥片	87	S33		510	7.6		4		
			剥片	87	S33		554	3.8		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
－	139	274	接合資料	86･92				1131.8	97	3･4	592	2925
			剥片	86	L35		4	100.1		4		
					N34	Ⅱ	123	1.1		4		
			剥片	92	L35		22	10.8		4		
			剥片	86	M34		102	2.1		4		
			剥片	86	M34		157	5.5		4		
			剥片	86	M35		70	3.3		4		
			剥片	86	M35		86	1.8		4		
			剥片	86	M35		97	0.9		4		
			剥片	86	M35		243	3.0		4		
			剥片		M35	I	4	13.3		4		
			剥片		M35	I	18	2.8		4		
				86	N34		1404	10.5		4		
			剥片		M35	I	20	3.9		4		
			剥片		M35	I	21	3.3		4		
			剥片		M35	I	22	3.3		4		
			剥片		M35	I	24	2.1		4		
			剥片		M35	I	47	3.5		4		
			剥片	86	N34		48	1.2		4		
			剥片	86	N34		80	0.9		4		
			剥片	86	N34		91	3.1		4		
					N34	Ⅱ	170	0.6		4		
			剥片	86	N34		131	23.7		4		
			剥片	86	N34		150	1.6		4		
			剥片	86	N34		203	1.0		4		
			剥片	86	N34		287	2.2		4		
			剥片	86	N34		303	6.5		4		
			剥片	86	N34		315	15.4		4		
Ⅲ-132	106	188	石核	86	N34		330	231.0		4		
			剥片	86	N34		401	7.0		4		
				86	N34		1291	2.8		4		
			剥片	86	N34		455	1.3		4		
			剥片	86	N34		490	5.1		4		
			剥片	86	N34		525	17.3		3		
			剥片	86	N34		655	4.2		4		
			剥片	86	N34		667	2.7		4		
			剥片	86	N34		676	6.9		4		
			剥片	86	N34		709	16.1		4		
			剥片	86	N34		735	12.5		4		
			剥片	86	N34		741	19.0		3		
			剥片	86	N34		750	2.5		4		
			剥片	86	N34		780	2.7		4		
			剥片	86	N34		872	4.7		4		
			剥片	86	N34		883	3.7		4		
			剥片	86	N34		884	2.5		4		
			剥片	86	N34		922	5.2		4		
			縦長剥片	86	N34		926	2.5		4		
				86	N35		132	7.0		3		
				86	N35		134	21.7		3		
Ⅲ-122	100	102	削器	86	N34		946	69.0		4		
				86	N34		1221	77.1		4		
			剥片	86	N34		967	6.0		4		
					N34	Ⅱ	6	1.6		4		
Ⅲ-122	100	101	削器	86	N34		980	50.0		4		
				86	N35		54	130.5		4		
			剥片	86	N34		1007	6.8		4		
			剥片	86	N34		1011	8.4		4		
				86	N34		1281	4.7		4		
					N34	Ⅱ	132	1.2		3		
			剥片	86	N34		1045	21.1		4		
				86	N34		1236	21.2		4		
					N34	Ⅱ	65	2.0		4		
					N34	Ⅱ	83	0.7		4		
			剥片	86	N34		1150	10.8		4		
			剥片	86	N34		1206	8.2		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	86	N34		1246	13.5		4		
			剥片	86	N34		1255	2.8		4		
			剥片	86	N34		1270	3.1		4		
			剥片	86	N34		1305	3.5		4		
			剥片	86	N34		1333	4.5		4		
					N34	Ⅱ	29	1.8		4		
			剥片	86	N34		1391	10.4		4		
			剥片	86	N34		1399	9.9		4		
			剥片	86	N34		1402	2.1		4		
			剥片	86	N34		1409	4.7		4		
			剥片		N34	Ⅱ	16	1.8		4		
			剥片		N34	Ⅱ	18	1.2		4		
			剥片		N34	Ⅱ	31	1.5		3		
			剥片		N34	Ⅱ	36	0.9		4		
			剥片		N34	Ⅱ	41	1.0		4		
			剥片		N34	Ⅱ	43	0.7		4		
			剥片		N34	Ⅱ	51	0.3		4		
			剥片		N34	Ⅱ	54	0.6		4		
			剥片		N34	Ⅱ	58	1.2		4		
					N34	Ⅱ	60	0.8		4		
			剥片		N34	Ⅱ	63	0.5		4		
			剥片		N34	Ⅱ	76	1.1		4		
			剥片		N34	Ⅱ	81	0.8		4		
					N34	Ⅱ	82	0.8		4		
			剥片		N34	Ⅱ	91	0.4		4		
			剥片		N34	Ⅱ	134	0.5		3		
			剥片		N34	Ⅱ	145	0.6		4		
			剥片	86	N35		195	3.1		4		
			剥片		N35	Ⅰ	1	7.9		4		
			剥片	86	O34		106	2.9		4		
			剥片	86	O34		169	3.1		4		
			剥片	86	O34		171	12.6		4		
			剥片	86	O34		269	6.0		4		
－	139	275	接合資料	83･85				376.4	28	4	582	2895
			二次加工ある剥片	83	M38		32	16.8		4		
			剥片	83	M38		39	2.3		4		
			剥片	83	M38		142	41.9		4		
			剥片	83	M38		150	52.4		4		
					M38	Ⅰ	53	2.5		4		
			剥片	83	M38		154	4.0		4		
			剥片	83	M38		236	4.1		4		
			剥片	83	M38		271	22.3		4		
				83	N38		862	9.4		4		
			剥片	83	M38		508	4.4		4		
			剥片	83	M38		528	3.4		4		
			剥片	83	M38		601	0.8		4		
			剥片	83	M38		605	1.8		4		
					M38	Ⅰ	24	40.9		4		
			剥片		M38	Ⅰ	29	4.4		4		
			剥片		M38	Ⅰ	36	3.4		4		
			剥片		M38	Ⅰ	54	3.9		4		
			剥片		M38	Ⅰ	56	2.0		4		
			縦長剥片	85	N37		98	13.9		4		
					不明		不明	1.3		4		
			二次加工ある剥片	83	N38		209	9.2		4		
			剥片	83	N38		405	6.1		4		
			剥片	83	N38		859	49.2		4		
				83	N38		866	10.0		4		
			剥片	83	N38		990	11.9		4		
			二次加工ある剥片	83	N38		1089	15.1		4		
Ⅲ-132	106	184	石核	83	N38		1101	33.7		4		
			剥片		N38	Ⅰ	9	5.3		4		
Ⅲ-194	155	49	接合資料	90･94				8613.2	272	1･5	683	3159
			剥片	94	Ⅰ31		603	20.3		1		
				90	K32		270	127.2		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				90	K32		487	4.2		1		
				90	K32		1674	25.4		1		
			剥片	90	J31		67	194.1		1		
				90	J31		129	61.3		1		
				90	J31		180	9.0		1		
				90	J31		237	107.9		1		
				90	J31		1748	3.6		1		
				90	J32		95	11.3		1		
				90	J32		117	3.8		1		
				90	J32		351	33.3		1		
				90	K31		929	16.6		1		
				90	K31		2129	12.2		1		
				90	K32		647	41.3		1		
				90	K32		1008	40.0		1		
				90	K32		1490	3.7		1		
				90	K32		1844	4.0		1		
			剥片	90	J31		87	21.3		1		
				90	J31		1832	23.7		1		
			剥片	90	J31		145	17.6		1		
				90	K32		801	74.9		1		
			剥片	90	J31		219	77.2		1		
				90	K31		1840	21.7		1		
			剥片	90	J31		301	5.6		1		
				90	J31		2005	1.0		1		
				90	J32		582	32.7		1		
					J32	Ⅰ	18	14.3		1		
				90	K31		679	100.1		1		
				90	K31		1543	9.0		1		
				90	K31		1696	2.9		1		
				90	K31		2007	8.2		1		
				90	K32		1952	25.3		1		
			剥片	90	J31		653	8.5		1		
				90	J31		2040	15.2		1		
				90	K31		48	112.7		5		
				90	K31		1725	8.5		1		
				90	K31		2022	10.9		1		
				90	K32		217	10.2		1		
			剥片	90	J31		796	10.2		1		
			剥片	90	J31		805	5.8		1		
				90	J31		818	5.3		1		
				90	J31		1426	7.1		1		
				90	K32		140	68.1		1		
				90	K32		210	4.1		1		
				90	K32		1416	5.1		1		
				90	K32		1443	9.5		1		
			剥片	90	J31		930	6.8		1		
				90	J32		705	3.5		1		
				90	K32		943	82.6		1		
				90	K32		1936	10.7		1		
			剥片	90	J31		1182	4.2		1		
				90	J31		2087	7.2		1		
				90	K32		1679	3.6		1		
				90	K32		1680	20.7		1		
				90	K32		1845	46.5		1		
			剥片	90	J31		1265	3.1		1		
				90	K31		1525	20.6		5		
				90	K32		805	12.2		1		
				90	K32		1524	30.3		1		
			剥片	90	J31		1290	5.4		1		
				90	K32		133	123.1		1		
				90	K32		563	2.3		1		
				90	K32		1288	5.4		1		
			剥片	90	J31		1445	7.5		1		
				90	K32		1477	9.4		1		
				90	K32		1710	18.2		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				90	K32		1764	26.3		1		
			剥片	90	J31		1455	1.3		1		
				90	K31		1726	3.7		1		
				90	K32		220	26.3		1		
				90	K32		802	50.9		1		
			剥片	90	J31		1521	3.8		1		
				90	J32		305	26.3		1		
				90	K32		1433	26.9		1		
			剥片	90	J31		1564	4.5		1		
			剥片	90	J31		1749	4.4		1		
				90	J31		2152	3.5		1		
				90	K32		1219	25.5		1		
				90	K32		1878	11.3		1		
			剥片	90	J31		1836	18.3		1		
				90	K31		873	6.0		1		
				90	K31		1335	38.7		1		
				90	K32		262	34.6		1		
				90	K32		819	9.5		1		
			剥片	90	J31		1981	3.1		1		
				90	K31		1997	29.3		1		
				90	K32		936	90.2		1		
				90	K32		1083	2.2		1		
			剥片	90	J31		2001	3.2		1		
			剥片	90	J32		9	144.8		1		
					J32	I	22	4.5		1		
				90	K31		438	35.4		5		
				90	K31		1823	8.2		1		
					K31	I	2	215.2		1		
					K31	I	3	4.2		1		
			剥片	90	J32		156	3.9		1		
				90	K32		256	17.1		1		
				90	K32		1262	1.4		1		
			剥片	90	J32		160	17.9		1		
				90	K32		1104	12.4		1		
				90	K32		1503	8.0		1		
			剥片	90	J32		231	9.5		1		
				90	J32		268	17.6		1		
				90	K32		486	10.1		1		
				90	K32		730	116.3		1		
				90	K32		844	10.4		1		
			剥片	90	J32		284	11.7		1		
				90	K31		1387	20.1		1		
			剥片	90	J32		301	2.2		1		
					J32	I	21	9.8		1		
			剥片	90	J32		306	1.8		1		
			剥片	90	J32		347	15.9		1		
			剥片	90	J32		414	6.9		1		
				90	K31		1546	6.0		1		
				90	K32		644	36.3		1		
			剥片	90	J32		422	19.3		1		
				90	J32		423	7.5		1		
				90	K31		775	17.8		1		
				90	K31		1042	225.7		1		
				90	K32		902	43.7		1		
			剥片	90	J32		438	1.2		1		
				90	J32		614	4.8		1		
			剥片	90	J32		587	3.7		1		
			剥片	90	J32		612	60.7		1		
				90	K32		1733	15.2		1		
			剥片	90	J32		621	18.3		1		
			剥片	90	J32		645	86.8		1		
				90	J32		688	4.9		1		
				90	K32		1123	8.0		1		
			剥片	90	J32		662	112.4		1		
				90	K32		891	65.5		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	90	J32		672	10.0		1		
				90	J32		691	6.4		1		
				90	K31		1920	12.3		1		
			剥片		J32	I	7	48.9		1		
				90	K31		37	146.9		5		
			剥片		J32	I	19	9.6		1		
				90	K31		1724	11.0		1		
				90	K32		562	9.2		1		
				90	K32		1509	9.3		1		
				90	K32		1557	2.4		1		
				90	K32		1730	3.0		1		
				90	K32		1782	63.8		1		
				90	K32		1786	81.3		1		
			剥片	90	K31		56	17.8		5		
				90	K32		1027	37.6		1		
			剥片	90	K31		312	111.8		5		
			剥片	90	K31		427	113.0		5		
			剥片	90	K31		510	5.5		1		
				90	K31		797	16.3		1		
				90	K31		921	15.2		1		
			剥片	90	K31		567	259.8		5		
			剥片	90	K31		638	11.2		5		
				90	K31		641	86.3		5		
			剥片	90	K31		689	16.9		5		
			剥片	90	K31		816	6.2		1		
			剥片	90	K31		905	3.6		1		
				90	K31		2068	4.7		1		
				90	K32		463	68.4		1		
				90	K32		642	80.1		1		
				90	K32		1440	7.2		1		
			剥片	90	K31		910	12.0		5		
			剥片	90	K31		1264	71.3		1		
				90	K32		368	29.0		1		
			剥片	90	K31		1337	4.7		1		
				90	K32		993	38.7		1		
				90	K32		1518	2.6		5		
			剥片	90	K31		1338	145.8		5		
			剥片	90	K31		1340	38.6		5		
				90	K32		267	5.7		1		
				90	K32		1347	2.4		1		
			剥片	90	K31		1388	7.3		5		
				90	K32		1937	4.8		1		
			剥片	90	K31		1449	10.6		1		
				90	K31		1585	134.8		1		
			剥片	90	K31		1487	14.6		1		
				90	K31		1634	8.4		1		
				90	K31		2219	4.3		1		
				90	K32		1081	6.1		1		
			剥片	90	K31		1833	26.6		5		
				90	K31		1834	2.1		1		
				90	K31		1836	10.0		5		
				90	K32		548	8.1		1		
			剥片	90	K31		1837	11.0		5		
				90	K31		2109	11.3		1		
				90	K32		556	24.1		1		
				90	K32		638	13.7		1		
				90	K32		1261	22.7		1		
				90	K32		1776	8.0		1		
			剥片	90	K31		1838	216.6		5		
				90	K31		2021	7.6		1		
				90	K32		834	16.7		1		
			剥片	90	K31		1866	7.9		1		
				90	K31		2142	2.7		1		
				90	K32		988	32.2		1		
				90	K32		1819	2.0		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	90	K31		1971	55.6		5		
			剥片	90	K31		1972	42.9		1		
			剥片	90	K31		2050	5.7		1		
				90	K31		2153	10.1		1		
				90	K32		992	12.4		1		
				90	K32		1609	1.9		1		
			剥片	90	K31		2084	19.3		5		
				90	K32		1811	8.6		1		
			剥片	90	K31		2155	7.0		1		
			剥片	90	K31		2242	4.3		1		
				90	K32		1050	28.0		1		
				90	K32		1193	22.9		1		
				90	K32		1857	3.9		1		
			剥片	90	K32		131	43.8		1		
				90	K32		143	42.1		1		
				90	K32		793	15.9		1		
			剥片	90	K32		134	683.3		1		
				90	K32		141	24.3		1		
				90	K32		1984	10.6		1		
			剥片	90	K32		142	16.2		1		
			剥片	90	K32		216	14.8		1		
				90	K32		807	2.7		1		
				90	K32		810	5.8		1		
			剥片	90	K32		260	13.5		1		
			剥片	90	K32		264	62.5		1		
				90	K32		1542	7.5		1		
			剥片	90	K32		271	5.7		1		
				90	K32		987	29.7		1		
					K32	I	5	97.8		1		
			剥片	90	K32		357	123.7		1		
				90	K32		504	30.0		1		
			剥片	90	K32		461	10.0		5		
				90	K32		809	8.3		1		
			剥片	90	K32		501	4.5		1		
				90	K32		630	48.2		1		
			剥片	90	K32		550	8.3		1		
			剥片	90	K32		551	103.0		1		
			剥片	90	K32		624	8.2		1		
			剥片	90	K32		712	9.6		1		
				90	K32		1951	10.9		1		
			剥片	90	K32		722	11.9		1		
			剥片	90	K32		723	9.3		1		
				90	K32		1761	4.7		1		
			剥片	90	K32		830	143.3		1		
			剥片	90	K32		840	156.2		1		
				90	K32		1601	6.2		1		
				90	K32		1739	7.2		1		
			剥片	90	K32		842	5.8		1		
				90	K32		1351	14.3		1		
				90	K32		1597	35.1		1		
				90	K32		1732	15.7		5		
				90	K32		1792	6.7		1		
					セ南30~51		11	180.6		1		
			剥片	90	K32		1088	9.6		1		
			剥片	90	K32		1090	5.7		1		
			剥片	90	K32		1098	15.2		1		
			剥片	90	K32		1121	13.6		1		
				90	K32		1192	25.5		1		
				90	K32		1965	12.5		1		
			剥片	90	K32		1158	79.8		1		
				90	K32		1361	10.1		1		
				90	K32		1485	10.3		1		
			剥片	90	K32		1218	8.9		1		
			剥片	90	K32		1232	14.3		1		
				90	K32		1563	15.2		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	90	K32		1344	2.3		1		
			剥片	90	K32		1354	26.4		1		
				90	K32		1717	32.3		1		
			剥片	90	K32		1442	6.1		1		
			剥片	90	K32		1511	37.4		1		
			剥片	90	K32		1541	4.0		1		
			剥片	90	K32		1760	10.4		1		
			剥片	90	K32		1855	3.5		1		
			剥片	90	K32		1874	3.9		1		
			剥片	90	K32		1907	12.9		1		
Ⅲ-198	158	50	接合資料	89·90·94				2995.9	176	1	693	3201
			石刃	90	J31		2	2.7		1		
				94	J31		1070	1.2		1		
			剥片	90	J31		5	44.7		1		
				90	K31		631	18.8		1		
			剥片	90	J31		14	47.5		1		
				90	K31		236	94.5		1		
			剥片	90	J31		26	13.5		1		
			剥片	90	J31		121	6.2		1		
				90	K31		390	22.1		1		
			剥片	90	J31		188	18.4		1		
				90	J31		1538	4.3		1		
				90	J32		564	16.9		1		
			剥片	90	J31		223	10.0		1		
			石刃	90	J31		265	11.9		1		
				90	J32		746	10.9		1		
				90	K31		699	14.6		1		
			石刃	90	J31		289	5.7		1		
				90	J32		165	1.5		1		
			剥片	90	J31		321	10.1		1		
			剥片	90	J31		331	4.1		1		
				90	K31		2195	4.3		1		
			剥片	90	J31		338	1.0		1		
				90	J31		946	10.0		1		
				90	K31		1199	1.3		1		
			石刃	90	J31		371	10.8		1		
				90	J32		244	5.5		1		
			剥片	90	J31		453	6.2		1		
				90	K31		698	351.1		1		
			剥片	90	J31		529	13.1		1		
			剥片	90	J31		536	7.1		1		
			剥片	90	J31		540	19.5		1		
			剥片	90	J31		559	33.3		1		
				90	K31		425	7.1		1		
			剥片	94	J31		599	3.5		1		
			剥片	90	J31		606	2.6		1		
			剥片	90	J31		662	11.9		1		
				90	J31		1770	7.7		1		
			剥片	90	J31		680	14.7		1		
			剥片	90	J31		795	18.4		1		
				90	J32		293	80.3		1		
			剥片	90	J31		803	24.1		1		
				90	K31		817	17.4		1		
				90	K31		1794	39.4		1		
			剥片	90	J31		806	16.2		1		
				90	K31		1029	3.9		1		
			剥片	90	J31		828	57.6		1		
				90	J32		57	10.6		1		
			剥片	90	J31		905	16.8		1		
			剥片	90	J31		957	78.0		1		
				90	J31		1496	3.2		1		
				90	J31		2010	2.0		1		
			剥片	90	J31		1022	14.9		1		
			剥片	90	J31		1037	20.0		1		
			剥片	90	J31		1042	27.9		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	90	J31		1200	7.1		1		
				90	J31		1454	31.6		1		
				90	K31		32	88.3		1		
			剥片	90	J31		1279	6.9		1		
				90	K31		349	9.6		1		
			剥片	90	J31		1284	6.9		1		
				90	J31		2346	5.6		1		
			剥片	90	J31		1286	2.1		1		
				90	J32		437	2.1		1		
			剥片	90	J31		1287	1.4		1		
				90	J31		1992	2.4		1		
				90	K31		422	3.7		1		
				90	K31		1176	5.5		1		
			剥片	90	J31		1513	4.7		1		
			剥片	90	J31		1530	5.0		1		
			剥片	90	J31		1540	2.8		1		
			剥片	90	J31		1662	72.3		1		
			剥片	90	J31		1739	16.1		1		
				90	J32		431	18.5		1		
				90	J32		432	45.4		1		
			剥片	90	J31		1811	9.8		1		
			剥片	90	J31		1852	2.4		1		
				90	K31		2149	23.2		1		
			剥片	90	J31		1964	5.3		1		
			剥片	90	J31		2078	7.1		1		
			剥片	90	J31		2148	29.0		1		
				90	K32		537	2.7		1		
			剥片	90	J31		2154	6.5		1		
				90	K31		1890	3.8		1		
			剥片	94	J31		2224	12.7		1		
			剥片	90	J31		2276	21.4		1		
				90	K31		1330	5.4		1		
			剥片	90	J31		2282	7.5		1		
			剥片	90	J31		2326	5.1		1		
			剥片	90	J31		2415	9.4		1		
				90	J32		186	6.8		1		
				90	K31		613	3.4		1		
				90	K31		994	3.5		1		
				90	K31		1565	26.2		1		
			石刃		J31	I	3	14.2		1		
			剥片	90	J32		22	10.7		1		
				90	K32		1858	24.0		1		
			剥片	90	J32		46	9.6		1		
			剥片	90	J32		73	8.5		1		
			剥片	90	J32		127	16.5		1		
			剥片	90	J32		128	23.9		1		
			剥片	90	J32		164	22.2		1		
			石刃	90	J32		242	6.0		1		
				90	K31		41	28.7		1		
			剥片	90	J32		270	10.9		1		
			剥片	90	J32		307	21.0		1		
				90	J32		449	78.7		1		
			剥片	90	J32		333	4.4		1		
			剥片	90	J32		368	8.4		1		
				90	K31		1131	14.1		1		
				90	K31		1351	12.3		1		
			剥片	90	J32		427	2.8		1		
				90	J32		568	2.9		1		
			剥片	90	J32		428	69.9		1		
			剥片	90	J32		507	10.7		1		
			石刃	90	J32		613	2.6		1		
				90	J32		653	2.5		1		
			剥片	90	J32		670	11.1		1		
			剥片	90	J32		708	7.9		1		
			剥片	90	J32		710	127.6		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	90	K31		201	2.5		1		
				90	K31		1521	13.3		1		
			剥片	90	K31		227	24.8		1		
				90	K31		416	12.8		1		
			剥片	90	K31		300	9.3		1		
			剥片	90	K31		326	6.2		1		
				90	K31		1979	19.0		1		
			剥片	90	K31		383	14.7		1		
			剥片	90	K31		396	5.0		1		
			剥片	90	K31		473	4.9		1		
			剥片	90	K31		486	8.3		1		
			剥片	90	K31		539	8.7		1		
			剥片	90	K31		597	5.0		1		
			剥片	90	K31		602	23.4		1		
			剥片	90	K31		603	5.0		1		
			剥片	90	K31		617	13.2		1		
			剥片	90	K31		731	15.5		1		
			剥片	90	K31		818	6.7		1		
			剥片	90	K31		1021	9.5		1		
			剥片	90	K31		1044	6.3		1		
			剥片	90	K31		1049	3.8		1		
			剥片	90	K31		1154	16.3		1		
			剥片	90	K31		1155	18.9		1		
			剥片	90	K31		1229	10.4		1		
			剥片	90	K31		1326	6.4		1		
				90	K31		1710	14.9		1		
				90	K31		2251	29.3		1		
			剥片	90	K31		1416	0.8		1		
			剥片	90	K31		1417	21.4		1		
			剥片	90	K31		1644	4.5		1		
			剥片	90	K31		1646	3.6		1		
			剥片	90	K31		1672	3.8		1		
				90	K31		2248	3.3		1		
			剥片	90	K31		1684	7.7		1		
				90	K31		1886	13.4		1		
			剥片	90	K31		1761	6.7		1		
			剥片	90	K31		1977	7.4		1		
			剥片	90	K31		2090	2.4		1		
			剥片	90	K31		2151	60.1		1		
			剥片	90	K31		2172	5.3		1		
			剥片	90	K31		2178	9.7		1		
			剥片	90	K31		2183	14.6		1		
Ⅲ-177	141	16	石刃	90	K32		516	7.4		1		
				90	K32		1063	11.4		1		
				90	K32		1573	16.5		1		
			剥片	90	K32		620	9.3		1		
			剥片	90	K32		944	3.5		1		
				90	K32		1196	8.1		1		
			剥片	90	K32		947	13.2		1		
			剥片	90	K32		1352	2.1		1		
			石刃	90	K32		1607	6.2		1		
			剥片	90	L31		941	7.2		1		
Ⅲ-118	97	60	掻器		R29	I	1	10.0		1		
				89	S29		153	4.5		1		
				89	S29		294	1.7		1		
Ⅲ-118	98	64	掻器	89	R30		28	13.6		1		
				89	S29		222	20.1		1		
Ⅲ-201	159	53	接合資料	90				5342.7	36	1･5	690	3194
			剥片	90	J31		74	26.2		1		
			縦長剥片	90	J31		110	64.1		1		
			剥片	90	J31		1508	20.1		1		
				90	K31		769	13.2		5		
Ⅲ-181	143	30	石刃	90	J32		210	17.9		1		
				90	J32		486	13.6		1		
				90	J32		603	26.7		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
Ⅲ-181	143	29	石刃		J 32	I	2	80.4		1		
				90	K31		1567	37.1		5		
			剥片	90	K31		35	345.8		1		
			剥片	90	K31		199	19.8		1		
				90	K31		1239	14.9		1		
			剥片	90	K31		441	69.5		1		
				90	K31		1481	7.2		5		
			剥片	90	K32		491	5.8		1		
				90	K32		951	43.6		1		
			剥片	90	K31		508	189.7		5		
			剥片	90	K31		752	118.6		5		
			剥片	90	K31		801	27.7		5		
Ⅲ-181	143	28	石刃	90	K31		1133	13.9		5		
				90	K32		1146	11.1		1		
				90	K32		1306	13.8		1		
			剥片	90	K31		1174	31.2		5		
			剥片	90	K31		1177	10.2		1		
			剥片	90	K31		1398	10.9		5		
			剥片	90	K31		1464	18.1		5		
				90	K31		1482	13.8		5		
			剥片	90	K31		1465	28.0		5		
Ⅲ-180	143	27	石刃	90	K32		11	41.8		1		
				90	K32		213	20.8		1		
				90	K32		908	26.4		1		
			剥片	90	K32		847	55.2		1		
			剥片	90	K32		940	54.0		1		
			剥片	90	K32		1085	119.3		1		
			剥片	90	K32		1884	35.1		1		
Ⅲ-183	148	36	石刃核	90	K32		1943	3697.2		5		
Ⅲ-204	161	54	接合資料	90				4181.2	78	1	688	3185
			石刃	90	J 31		65	8.8		1		
				90	K32		1009	7.3		1		
			剥片	90	J 31		84	22.4		1		
				90	J 31		567	37.2		1		
Ⅲ-178	142	20	石刃	90	J 31		153	18.6		1		
				90	K31		1921	65.0		1		
				90	K31		1981	41.8		1		
			剥片	90	J 31		340	4.7		1		
				90	K31		1624	14.2		1		
Ⅲ-180	143	26	石刃	90	J 31		421	49.4		1		
				90	J 31		643	56.1		1		
				90	K31		1537	6.8		1		
				90	K32		212	30.1		1		
				90	K32		485	39.2		1		
			剥片	90	J 31		661	3.6		1		
				90	K32		836	6.1		1		
			剥片	90	J 31		672	54.4		1		
			剥片	90	J 31		766	12.7		1		
				90	J 31		1844	2.5		1		
			石刃	90	J 31		782	2.9		1		
				90	J 31		1717	1.8		1		
			剥片	90	J 31		885	3.4		1		
				90	K31		1514	14.8		1		
			剥片	90	J 31		1041	14.1		1		
Ⅲ-178	141	19	石刃	90	J 31		1525	52.0		1		
				90	K31		442	47.7		1		
			剥片	90	J 31		1556	5.5		1		
			剥片	90	J 31		1578	9.8		1		
Ⅲ-179	142	21	石刃	90	J 31		1762	3.6		1		
				90	J 32		211	19.1		1		
				90	J 32		499	5.7		1		
					J 32	I	3	28.5		1		
					J 32	I	4	23.6		1		
			剥片	90	J 31		1936	8.9		1		
				90	K31		1043	12.7		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
Ⅲ-176	140	6	掻器	90	J 32		24	9.6		1		
			剥片	90	J 32		47	39.2		1		
			石刃	90	J 32		103	2.0		1		
			剥片	90	J 32		158	68.9		1		
				90	K32		1241	19.8		1		
Ⅲ-181	144	31	石刃	90	J 32		258	15.5		1		
				90	K32		480	4.3		1		
				90	K32		668	50.4		1		
				90	K32		1996	62.4		1		
			剥片	90	J 32		331	17.8		1		
				90	K31		2104	9.1		1		
Ⅲ-179	142	23	石刃	90	J 32		436	12.2		1		
				90	K31		1279	2.5		1		
				90	K31		1510	80.3		1		
				90	K31		1516	12.1		1		
Ⅲ-182	146	34	石刃核	90	J 33		12	2336.4		1		
			石刃	90	K31		102	11.9		1		
				90	K32		1799	34.8		1		
			剥片	90	K31		674	109.0		1		
			剥片	90	K31		695	6.6		1		
			剥片	90	K31		708	13.3		1		
			剥片	90	K31		764	69.0		1		
			剥片	90	K31		872	6.0		1		
			石刃	90	K31		992	8.9		1		
			剥片	90	K31		1509	104.8		1		
			剥片	90	K31		1603	3.7		1		
				90	K31		1714	6.7		1		
			剥片	90	K31		1762	15.2		1		
			剥片	90	K31		1909	95.8		1		
			剥片	90	K31		1911	4.9		1		
			剥片	90	K31		1938	15.8		1		
			剥片	90	K31		2041	19.9		1		
				90	K32		832	15.3		1		
			剥片	90	K31		2163	6.4		1		
			剥片	90	K31		2171	29.4		1		
			剥片	90	K31		2177	13.4		1		
Ⅲ-177	141	14	石刃	90	K32		713	50.9		1		
				90	K32		1015	31.5		1		
				90	K32		1120	13.9		1		
			剥片	90	K32		1128	6.9		1		
			剥片	90	K32		1141	2.0		1		
			剥片	90	K32		1366	4.8		1		
			剥片	90	K32		1528	2.9		1		
Ⅲ-207	163	55	接合資料	90·93				5846.8	33	1·5	704	3228
Ⅲ-179	142	22	石刃	90	K31		119	33.5		5		
				90	K31		124	58.5		5		
				90	K31		128	94.7		5		
			剥片	90	K31		130	6.4		1		
			剥片	93	K31		258	58.8		1		
			剥片	90	K32		44	16.8		1		
				90	L31		633	3.9		1		
			剥片	90	K32		75	22.6		1		
			剥片	90	K32		85	22.9		1		
			剥片	90	K32		86	117.3		1		
				90	L31		628	112.0		1		
			剥片	90	K32		300	74.0		1		
Ⅲ-177	140	12	石刃	90	K32		328	23.3		1		
				90	L31		115	49.2		1		
				90	L31		189	13.1		1		
				90	L31		643	44.0		1		
Ⅲ-184	149	38	石刃核	90	K32		700	4173.3		1		
			剥片	90	L31		22	44.0		1		
				90	L31		228	7.7		1		
			剥片	90	L31		42	76.4		1		
				90	L31		57	40.5		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	90	L31		121	43.2		1		
			剥片	90	L31		254	2.2		1		
			剥片	90	L31		444	48.6		1		
			剥片	90	L31		575	17.5		1		
			剥片	90	L31		610	42.5		1		
			剥片	90	L31		616	68.2		1		
			剥片	90	L31		654	6.0		1		
				90	L31		728	78.2		1		
			剥片	90	L31		745	94.6		1		
			剥片	90	L31		856	175.6		1		
			石刃		L31	I	6	44.0		1		
			石刃	90	L33		147	133.3		1		
Ⅲ-210	164	56	接合資料	90･94				5486.7	59	1･5	691	3195
			剥片	94	I32		6	175.8		5		
				90	J31		739	8.8		1		
				90	J32		124	19.1		1		
					J32	I	9	82.0		1		
Ⅲ-178	141	18	石刃	90	J31		45	4.5		1		
				90	J31		723	6.3		1		
				90	J31		2134	28.5		5		
				90	J32		382	6.1		1		
				90	J32		383	8.3		1		
			剥片	90	J31		152	12.1		1		
				90	J31		1798	45.1		1		
				90	J32		515	77.5		1		
			剥片	90	J31		320	16.6		1		
			剥片	90	J31		362	44.4		1		
				90	K31		409	79.6		5		
			剥片	90	J31		524	16.3		1		
				94	J31		698	15.1		1		
				90	J31		1102	22.5		1		
				94	J31		1681	8.0		1		
				90	J31		2261	0.8		1		
				90	K31		339	18.3		5		
				90	K31		353	42.4		5		
				90	K31		2063	8.5		5		
			剥片	90	J31		542	9.3		1		
			剥片	90	J31		636	5.8		1		
				90	J32		246	24.8		1		
			剥片	90	J31		991	15.6		1		
				90	J31		2353	2.7		1		
			剥片	90	J31		1152	20.7		1		
			剥片	90	J31		1199	35.0		1		
			剥片	90	J31		1253	11.8		1		
				90	J31		1777	14.4		1		
			剥片	90	J31		1539	27.5		1		
			剥片	90	J31		1655	3.4		1		
				90	K32		572	15.9		1		
				90	K32		748	8.8		1		
				90	K32		1385	5.1		1		
			剥片	90	J31		1982	18.2		1		
				90	J32		555	7.7		1		
			剥片	90	J31		2268	6.0		1		
			剥片		J31	I	16	9.5		1		
				90	K31		537	11.5		5		
			剥片	90	J32		49	24.5		1		
			剥片	90	J32		157	11.5		1		
Ⅲ-178	141	17	石刃	90	J32		291	29.1		1		
				90	K31		1681	20.8		5		
				90	K31		2144	9.5		5		
			剥片	90	J32		332	11.7		1		
			剥片	90	K31		36	51.3		5		
			剥片	90	K31		79	60.6		5		
				90	K31		968	6.8		1		
			剥片	90	K31		91	11.5		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	90	K31		195	8.1		5		
			剥片	90	K31		335	54.2		5		
			剥片	90	K31		397	8.0		5		
Ⅲ-177	141	13	石刃	90	K31		464	126.6		5		
			石刃	90	K31		647	11.0		1		
			剥片	90	K32		10	638.9		1		
Ⅲ-512	401	8	石刃核		セ南30~51		4	3402.3		1		
Ⅲ-212	165	57	接合資料	90				4795.2	89	1･5	699	3217
			剥片	90	K32		513	4.7		1		
				90	K33		36	5.4		1		
			剥片	90	K32		1379	41.8		1		
				90	L32		292	7.4		1		
			剥片	90	K32		1639	27.2		1		
				90	L32		294	20.4		1		
			剥片	90	K32		1657	1.4		1		
			剥片	90	K32		1828	3.7		1		
			剥片	90	K33		9	10.9		1		
				90	K33		79	5.7		1		
			石刃	90	K33		10	35.7		5		
				90	L32		1980	11.2		1		
			剥片	90	K33		18	126.0		1		
			剥片	90	K33		22	34.7		1		
				90	K33		189	14.5		1		
			剥片	90	K33		26	105.0		1		
			石刃	90	K33		27	55.3		1		
				90	L32		293	65.1		5		
			剥片	90	K33		41	12.4		1		
			剥片	90	K33		69	2.8		1		
					K33	I	33	1.4		1		
			剥片	90	K33		70	6.7		1		
			剥片	90	K33		73	3.6		1		
			剥片	90	K33		89	6.8		1		
				90	K33		146	6.0		1		
			剥片	90	K33		109	3.1		1		
			剥片	90	K33		134	13.9		1		
				90	M32		816	6.5		1		
			石刃	90	K33		138	4.3		1		
			剥片	90	K33		150	53.8		1		
			石刃	90	K33		191	89.4		5		
					L32	I	45	12.5		1		
			剥片	90	L32		100	3.5		1		
			剥片	90	L32		165	16.7		1		
				90	L32		246	6.9		1		
				90	L32		1334	3.0		1		
				90	L32		2441	14.9		1		
			石刃	90	L32		169	2.7		1		
			剥片	90	L32		241	26.9		1		
				90	L32		474	24.3		1		
			剥片	90	L32		245	11.7		1		
				90	L32		2051	16.1		1		
			剥片	90	L32		346	1.4		1		
				90	L32		901	14.2		1		
				90	L32		1670	4.6		1		
				90	M32		461	3.2		1		
				90	M32		869	2.8		1		
			剥片	90	L32		637	26.1		1		
				90	L32		2122	13.3		1		
				90	M32		820	91.2		1		
				90	M32		914	6.6		1		
			剥片	90	L32		922	7.9		1		
				90	L32		1157	7.9		1		
			剥片	90	L32		956	4.3		1		
			剥片	90	L32		1085	7.1		1		
					L32	I	9	75.5		1		
			剥片	90	L32		1106	4.7		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				90	L32		1680	3.0		1		
				90	M32		877	34.8		1		
			剥片	90	L32		1124	7.1		1		
			剥片	90	L32		1192	3.9		1		
			剥片	90	L32		1195	5.4		1		
			剥片	90	L32		1213	2.9		1		
				90	L32		1837	2.1		1		
			剥片	90	L32		1273	1.4		1		
					L32	I	10	48.1		1		
			石刃	90	L32		1339	4.9		1		
					L32	I	13	2.0		1		
				90	M32		913	15.3		1		
			剥片	90	L32		1349	9.6		1		
			石刃	90	L32		1520	4.1		1		
				90	L32		2052	2.8		1		
			剥片	90	L32		1983	1.0		1		
			剥片	90	L32		2147	1.3		1		
			剥片	90	L32		2508	10.2		1		
				90	M32		819	4.9		1		
			剥片	90	L32		2571	3.5		1		
			剥片	90	L32		2585	4.7		1		
					L32	I	14	208.0		1		
				90	L33		109	142.9		1		
			剥片		L32	I	11	20.9		1		
			剥片		L32	I	12	14.9		1		
			剥片		L32	I	16	9.0		1		
			剥片		L33	I	2	7.6		1		
				90	M32		8	22.7		1		
			剥片	90	M32		762	4.1		1		
			剥片	90	M32		772	2.9		1		
			剥片	90	M32		952	6.4		1		
Ⅲ-512	401	9	石刃核		七南30~51		5	2986.0		1		
Ⅲ-214	167	58	接合資料	90･92				5916.0	40	1･5	700	3218
			剥片	90	K32		1863	51.6		1		
					K33	I	51	47.3		1		
			石刃	90	K32		1978	31.7		5		
Ⅲ-184	147	37	石刃核		K32	I	3	2921.3		1		
			剥片	90	K33		19	62.9		1		
			剥片	90	K33		31	59.6		5		
			剥片	90	K33		82	47.4		5		
			石刃		K33	I	52	44.8		1		
				90	L32		104	12.3		1		
			剥片		K33	I	53	55.8		1		
			剥片		K33	I	54	19.3		1		
				90	L32		223	45.2		1		
			剥片		K33	I	55	30.1		1		
			剥片	90	L32		109	206.9		1		
					L33	I	24	54.6		1		
			剥片	90	L32		113	95.5		1		
			剥片	90	L32		137	80.8		1		
			剥片	90	L32		860	16.5		1		
			剥片	90	L32		1352	56.8		1		
				90	M32		253	128.7		1		
			剥片	90	L32		1365	23.8		1		
			剥片	90	L32		1948	35.4		1		
			剥片	90	L32		2260	45.2		1		
			剥片	90	L32		2364	9.2		5		
			剥片	90	L32		2478	10.1		5		
				90	L32		2481	38.5		5		
				90	L32		2484	17.5		5		
			剥片	90	L32		2668	13.2		5		
					L32	I	49	21.0		1		
			剥片		L32	I	46	189.3		1		
			剥片		L32	I	47	399.8		1		
			剥片		L32	I	48	25.4		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片		L32	I	50	78.6		1		
			剥片		L32	I	53	65.0		1		
				90	M32		851	41.8		1		
				90	M32		920	387.1		1		
			剥片	90	L33		123	75.2		1		
			剥片		L33	I	23	43.4		1		
			剥片	92	M32		279	314.6		1		
			剥片	90	M32		713	12.8		1		
Ⅲ-216	168	59	接合資料	90･94				3266.4	120	1･5	689	3187
			剥片	90	J31		16	8.3		1		
			剥片	90	J31		29	59.3		1		
				90	K31		1843	13.9		1		
			石刃	90	J31		34	14.5		1		
				90	J31		226	4.2		1		
			剥片	90	J31		37	8.0		1		
			剥片	90	J31		52	5.4		1		
				90	J31		1186	7.0		1		
				90	J31		1801	7.1		1		
			剥片	90	J31		140	11.5		1		
				90	K31		1282	22.7		1		
			剥片	90	J31		141	6.9		1		
					J32	I	25	96.5		1		
				90	K31		711	15.6		5		
			縦長剥片	90	J31		157	1.9		1		
				90	K31		187	6.4		1		
			剥片	90	J31		182	1.7		1		
				90	J32		663	35.7		5		
			剥片	90	J31		341	23.6		1		
				90	J31		1581	4.4		1		
			剥片	90	J31		679	65.2		5		
				90	K31		907	17.5		5		
				90	K32		199	31.4		1		
			剥片	90	J31		927	45.7		1		
				90	K31		1107	14.4		1		
			剥片	90	J31		1039	21.8		1		
				90	K31		2147	6.5		1		
			剥片	90	J31		1148	3.5		1		
					J32	I	24	41.0		1		
			剥片	90	J31		1189	14.1		1		
			剥片	90	J31		1195	65.2		1		
				90	J31		1772	107.8		1		
			剥片	90	J31		1205	11.8		1		
			石刃	90	J31		1562	11.9		1		
				90	K32		1013	6.5		5		
			剥片	90	J31		1695	7.3		1		
				90	K32		1215	11.8		1		
				90	K32		1236	26.4		1		
			剥片	90	J31		1824	4.6		1		
			剥片	94	J31		1861	3.1		1		
				90	J32		608	2.8		1		
				90	K31		1069	7.8		1		
				90	K32		1310	7.9		1		
			剥片	90	J31		1958	10.8		1		
				90	K31		999	15.6		5		
				90	K31		1545	18.7		1		
				90	K32		1233	21.1		1		
			石刃	90	J31		2092	3.4		5		
			剥片	90	J32		143	10.4		1		
			剥片	90	J32		363	8.8		1		
				90	J32		537	3.0		5		
			石刃	90	J32		445	17.0		1		
			石刃		J32	I	1	24.0		5		
				90	K31		1435	21.9		5		
				90	K31		1933	6.1		1		
			剥片		J32	I	27	56.1		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			石刃	90	J 33		14	42.3		1		
				90	K32		1915	17.4		5		
			剥片	90	K31		207	47.5		5		
			剥片	90	K31		280	7.2		5		
				90	K32		206	14.8		1		
			石刃	90	K31		419	10.3		1		
			剥片	90	K31		421	155.8		5		
				90	K31		1586	49.4		1		
			剥片	90	K31		526	37.4		5		
			剥片	90	K31		630	17.7		5		
				90	K31		1052	18.6		5		
				90	K32		1223	4.7		1		
				90	K32		1436	9.4		5		
			縦長剥片	90	K31		811	49.6		1		
			剥片	90	K31		893	2.9		5		
			剥片	90	K31		944	15.2		1		
				90	K31		1102	43.8		1		
			剥片	90	K31		1007	20.9		5		
				90	K31		2213	20.1		5		
			剥片	90	K31		1019	28.0		5		
			剥片	90	K31		1281	5.1		5		
			剥片	90	K31		1354	10.0		1		
			剥片	90	K31		1408	11.0		1		
			剥片	90	K31		1589	10.6		1		
				90	K31		1758	48.6		1		
			剥片	90	K31		1673	23.1		1		
			剥片	90	K31		1687	18.2		1		
			剥片	90	K31		1777	61.8		5		
			剥片	90	K31		1797	3.8		5		
				90	K32		1000	26.6		5		
			剥片	90	K31		1808	27.3		1		
			剥片	90	K31		1815	275.9		1		
			剥片	90	K31		2009	32.6		1		
				90	K32		937	26.7		5		
			剥片	90	K31		2125	4.0		5		
			剥片	90	K32		7	279.3		1		
				90	K32		209	21.3		1		
			剥片	90	K32		137	111.8		1		
			剥片	90	K32		253	37.9		1		
			剥片	90	K32		268	9.0		5		
				90	K32		1527	6.7		5		
			剥片	90	K32		558	17.1		5		
				90	K32		827	8.1		1		
				90	K32		1017	27.8		5		
			剥片	90	K32		641	64.6		5		
			剥片	90	K32		916	44.7		5		
				90	K32		1239	7.0		5		
			剥片	90	K32		1178	17.7		1		
			剥片	90	K32		1182	3.1		1		
				90	K32		1183	5.3		1		
			剥片	90	K32		1243	58.3		1		
			剥片	90	K32		1356	13.4		1		
				90	K32		1582	13.5		1		
				90	K32		1585	9.4		1		
			剥片	90	K32		1480	7.7		1		
			石刃	90	K32		1599	8.8		1		
				90	K32		1757	5.4		1		
				90	K32		1869	13.4		5		
			剥片	90	K32		1602	69.3		1		
			剥片	90	K32		1605	17.5		1		
				90	K32		1685	6.8		1		
			剥片	90	K32		1759	40.4		5		
			剥片	90	K32		1856	25.5		5		
			石刃	90	K32		1947	9.8		1		
−	160	61	接合資料	90				996.9	78	1･5	687	3172

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	90	J 31		40	20.7		1		
				90	J 31		372	24.0		1		
				90	K31		1978	19.0		1		
				90	K31		2225	4.6		1		
			剥片	90	J 31		68	32.8		1		
			剥片	90	J 31		70	8.3		1		
				90	K32		1248	13.0		1		
			剥片	90	J 31		127	7.8		1		
			剥片	90	J 31		179	6.0		1		
				90	J 32		602	2.4		1		
				90	K31		1276	9.7		1		
				90	K32		1580	4.6		1		
			剥片	90	J 31		218	57.7		1		
				90	J 31		2403	4.0		1		
			剥片	90	J 31		304	74.2		1		
				90	K31		241	10.5		1		
				90	K31		1171	4.1		1		
				90	K31		1173	3.7		1		
			剥片	90	J 31		620	2.2		1		
				90	K31		1170	6.0		1		
			剥片	90	J 31		926	18.9		1		
			剥片	90	J 31		1228	1.6		1		
				90	K32		496	8.6		1		
			剥片	90	J 31		1605	2.5		1		
				90	K32		197	38.8		1		
				90	K32		954	2.2		1		
				90	K32		1559	23.5		1		
			剥片		J 31	I	18	25.5		1		
				90	J 32		141	3.8		1		
				90	K31		881	9.4		1		
			剥片	90	J 32		58	11.0		1		
				90	K31		772	2.6		1		
			剥片	90	J 32		349	47.0		1		
			剥片	90	J 32		566	10.2		1		
			剥片		J 32	I	33	5.5		1		
			剥片	90	K31		29	23.1		1		
				90	K31		672	3.2		1		
				90	K31		681	12.0		1		
				90	K31		1234	8.9		5		
				90	K31		1459	6.9		1		
			剥片	90	K31		277	33.0		5		
			剥片	90	K31		336	45.7		1		
				90	K31		877	8.4		1		
				90	K31		1903	5.0		1		
			剥片	90	K31		433	16.1		1		
				90	K31		553	8.7		1		
			剥片	90	K31		490	11.2		1		
			剥片	90	K31		788	3.5		1		
				90	K31		795	1.9		1		
				90	K31		1198	6.1		1		
			剥片	90	K31		824	3.1		1		
				90	K31		1612	1.1		1		
			剥片	90	K31		903	15.0		1		
				90	K31		976	3.3		1		
				90	K31		1406	11.6		5		
				90	K32		1707	8.9		1		
				90	K32		1767	7.6		1		
			剥片	90	K31		1006	28.5		1		
			剥片	90	K31		1059	7.0		1		
				90	K31		1889	18.4		1		
			剥片	90	K31		1353	5.3		1		
				90	K31		1391	13.4		1		
			剥片	90	K31		1434	2.7		1		
				90	K32		570	27.5		1		
			剥片	90	K31		1888	3.3		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	90	K31		1994	5.8		1		
			剥片	90	K31		2117	6.3		1		
			剥片	90	K31		2148	1.5		1		
				90	K32		208	15.8		1		
			剥片	90	K32		139	48.5		1		
			剥片	90	K32		897	1.0		1		
				90	K32		953	5.6		1		
				90	K32		1278	5.8		1		
				90	K32		1529	2.3		1		
			剥片	90	K32		1411	4.8		1		
				90	K32		1768	8.0		1		
			剥片	90	K32		1801	2.8		1		
			剥片	90	K32		1946	11.9		1		
－	166	62	接合資料	90·94				1198.0	85	1·5	682	3154
			剥片	94	I 32		100	5.4		1		
				90	J 31		268	5.6		1		
				90	J 31		416	23.2		1		
				90	J 31		1718	17.7		1		
				90	J 31		1796	18.7		1		
			剥片	94	I 32		144	4.2		1		
				90	K31		737	12.5		1		
			剥片	90	J 31		38	22.1		1		
				90	J 31		968	27.3		1		
				90	J 31		1555	3.8		1		
				90	K31		1375	9.9		1		
			剥片	90	J 31		199	20.2		1		
				90	J 31		2033	6.7		1		
			剥片	90	J 31		259	8.7		1		
				90	K31		93	120.1		1		
				90	K31		95	6.3		1		
				90	K31		1664	6.1		1		
			剥片	90	J 31		303	7.6		1		
				90	J 31		2392	1.6		1		
			剥片	90	J 31		361	8.4		1		
				90	J 31		1434	13.5		1		
				90	J 31		2094	8.1		1		
				90	J 32		85	10.6		1		
				90	K32		1272	7.0		5		
			剥片	90	J 31		373	5.3		1		
				94	J 31		510	1.5		1		
				90	J 31		575	35.5		1		
			剥片	90	J 31		450	4.2		1		
				90	J 31		1045	8.3		1		
				90	J 32		661	7.2		1		
				90	K31		1641	7.5		1		
			剥片	90	J 31		614	1.9		1		
				90	J 31		1661	17.5		1		
			剥片	90	J 31		618	6.3		1		
				90	J 31		1517	2.5		1		
					J 32	I	32	2.9		1		
				90	K31		412	3.4		1		
			剥片	90	J 31		934	15.9		1		
				90	J 31		2389	18.7		1		
			剥片	90	J 31		1035	10.7		1		
			剥片	90	J 31		1038	12.3		1		
				90	J 32		48	2.4		1		
			剥片	90	J 31		1053	3.0		1		
				90	K31		2260	9.8		1		
			剥片	90	J 31		1122	3.0		1		
			剥片	90	J 31		1280	12.5		1		
			剥片	90	J 31		1425	8.1		1		
				90	J 31		1609	18.4		1		
			剥片	90	J 31		1733	11.6		1		
				90	K31		1735	6.4		1		
				90	K32		355	2.1		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	90	J 31		1769	6.2		1		
			剥片	90	J 31		1787	9.0		1		
				90	K31		1643	10.0		1		
			剥片	90	J 31		1906	1.7		1		
				90	K31		654	48.9		1		
				90	K32		6	31.0		1		
			剥片	90	J 31		1930	25.4		1		
			剥片	90	J 31		2338	12.3		1		
			剥片		J 31	I	17	50.5		1		
				90	K31		1023	8.7		5		
			剥片		J 31	I	19	8.0		1		
				90	J 32		631	13.9		1		
			剥片	90	J 32		50	7.0		1		
				90	K31		324	19.5		5		
			剥片	90	J 32		51	24.8		1		
			剥片	90	J 32		271	9.9		1		
				90	J 32		443	12.2		1		
			剥片	90	K31		5	3.1		1		
				90	K31		1652	70.4		1		
				90	K31		1670	8.1		1		
			剥片	90	K31		586	4.7		1		
				90	K32		985	5.4		1		
			剥片	90	K31		972	3.7		1		
					K31	I	5	8.4		1		
			剥片	90	K31		1655	11.2		1		
				90	K31		2042	15.3		1		
			剥片	90	K31		1694	6.4		1		
			剥片	90	K31		1942	5.2		1		
			剥片	90	K31		2216	31.3		1		
				90	K31		2217	28.3		1		
			剥片	90	K31		2218	57.4		1		
			剥片	90	K31		2259	8.7		1		
			剥片	90	K32		728	4.5		1		
				90	K32		895	12.7		1		
－	169	63	接合資料	90·94				6633.5	28	1·5	714	3250
			縦長剥片	94	I 32		8	23.5		5		
				90	K31		1650	61.8		5		
				90	K31		1937	19.6		5		
			石刃	90	J 31		422	20.2		1		
				90	J 32		408	35.4		5		
			剥片	90	J 31		605	10.2		5		
				90	J 31		1024	77.4		5		
			縦長剥片	90	J 31		958	21.2		5		
			剥片	90	J 31		1017	42.5		5		
			剥片	90	J 31		1227	4.6		5		
			石刃	90	J 31		1433	30.4		5		
				90	J 31		1673	21.7		5		
			縦長剥片	90	J 31		1657	42.0		5		
				90	K31		16	26.2		5		
			石刃	90	J 31		2375	16.6		5		
			縦長剥片		J 31	I	6	10.9		5		
			剥片	90	J 32		42	34.8		5		
			剥片	90	J 32		553	4.4		5		
Ⅲ-187	152	43	石刃核		J 33	I	1	5800.0		5		
			剥片	90	K31		40	40.1		5		
				90	K31		228	30.5		5		
			剥片	90	K31		311	8.3		5		
			剥片	90	K31		1036	3.9		5		
			剥片	90	K31		1982	8.9		5		
			縦長剥片	90	K31		2037	7.9		5		
			石刃	90	K31		2250	40.2		5		
			二次加工ある剥片	90	K32		1291	126.5		5		
			剥片	90	K32		1865	63.8		5		
－	170	64	接合資料	90·94				3121.2	21	3·4	710	3239
			剥片	90	I 32		46	20.8		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				90	J32		716	20.4		4		
			剥片	90	I32		86	5.5		4		
				94	I32		164	197.7		4		
				90	J32		783	9.2		4		
			剥片	90	J32		715	13.9		3		
				90	J32		784	5.6		4		
			剥片	90	J32		719	11.3		3		
				90	J32		754	42.6		4		
			剥片	90	J32		736	107.3		4		
				90	J32		756	2.5		4		
			剥片	90	J32		739	26.6		4		
			剥片	90	J32		740	30.0		4		
			剥片	90	J32		758	51.4		4		
			剥片	90	J32		760	20.4		4		
				90	J32		782	20.6		4		
				90	J32		785	14.8		4		
			剥片	90	J32		779	260.6		4		
			剥片	90	J32		787	6.9		4		
Ⅲ-188	153	46	石核	90	J32		790	2232.6		4		
			剥片	90	J32		791	20.5		4		
－	170	65	接合資料	90				1574.4	17	1･5	694	3203
Ⅲ-179	142	24	石刃	90	J32		65	56.8		1		
				90	J32		100	38.6		1		
				90	K31		1568	15.3		1		
			剥片	90	K31		57	127.9		5		
			剥片	90	K31		458	129.1		5		
			石刃	90	K31		606	84.3		1		
			石刃	90	K31		904	58.0		1		
				90	K32		994	8.1		1		
			剥片	90	K31		915	29.7		1		
			石刃	90	K31		1032	53.4		1		
			石刃	90	K31		2000	25.7		1		
			剥片	90	K31		2003	28.8		1		
			石刃	90	K31		2066	6.2		1		
				90	K32		914	7.0		1		
				90	K32		1143	8.7		1		
			縦長剥片	90	K32		201	3.7		1		
Ⅲ-186	152	42	石刃核	90	K32		777	893.1		1		
－	171	66	接合資料	82･90				1940.9	41	1･5	701	3220
			剥片		J32	I	28	4.2		1		
			石刃	90	K31		148	75.4		5		
				90	L32		495	3.9		1		
				90	L32		809	4.1		1		
				90	L32		1850	4.5		1		
				90	L32		2015	5.0		1		
Ⅲ-119	98	72	石刃		K32	I	12	9.6		1		
				90	K33		50	4.1		1		
			搔器	82	M36		65	19.1		1		
					M36	I	3	34.2		1		
			剥片		K32	I	16	11.4		1		
			石刃		K32	I	17	9.8		1		
				90	L32		916	1.7		1		
			剥片		K32	I	19	107.9		1		
					K32	I	20	46.1		1		
			剥片	90	L31		38	20.6		1		
			剥片	90	L31		278	19.5		1		
				90	L31		282	6.7		1		
				90	L31		510	6.1		1		
			石刃	90	L31		345	31.8		1		
				90	L32		60	27.2		1		
			剥片	90	L31		434	8.0		1		
				90	L31		706	48.9		1		
			石刃	90	L31		911	29.2		1		
			石刃		L31	I	14	43.1		1		
			石刃	90	L32		33	4.3		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			石刃	90	L32		65	3.6		1		
				90	L32		215	4.9		1		
				90	L32		544	5.0		1		
			石刃	90	L32		175	18.1		1		
				90	L32		189	6.8		1		
				90	L32		712	5.5		1		
				90	L32		1378	7.5		1		
			石刃	90	L32		276	2.6		1		
				90	L32		851	1.7		1		
				90	L32		2654	1.6		1		
			剥片	90	L32		282	11.6		1		
				90	L32		1401	4.0		1		
				90	L32		1448	2.7		1		
			剥片	90	L32		552	2.6		1		
Ⅲ-512	400	7	石刃核		ポサ		6	1276.3		1		
－	172	67	接合資料	90･93				2982.5	109	1･5	703	3227
			剥片		J32	I	26	11.8		1		
				90	K32		157	5.4		1		
			剥片	93	K31		159	43.2		5		
				90	L31		46	41.0		1		
			剥片	90	K31		262	17.0		5		
			剥片	90	K31		265	7.0		5		
			剥片	90	K32		74	16.5		1		
			剥片	90	K32		87	5.3		1		
			剥片	90	K32		93	27.1		1		
			剥片	90	K32		96	137.6		1		
			剥片	90	K32		101	57.3		1		
			剥片	90	K32		105	84.2		1		
			剥片	90	K32		106	17.7		1		
			剥片	90	K32		386	25.6		1		
			剥片	90	K32		395	20.3		1		
				90	L31		569	8.1		1		
			剥片	90	K32		434	16.0		1		
				90	K32		1868	24.2		5		
				90	L31		89	31.4		1		
				90	L31		158	25.9		1		
				90	L31		164	13.3		1		
				90	L31		455	10.3		1		
				90	L31		850	56.4		1		
			剥片	90	K32		595	7.4		1		
			剥片	90	K32		1697	14.3		1		
			剥片		K32	I	6	52.1		1		
				90	L31		325	15.3		1		
			剥片		K32	I	14	24.1		1		
				90	L31		24	82.0		1		
			剥片	90	L31		25	33.0		1		
				90	L31		106	35.9		1		
				90	L31		112	43.5		1		
					L31	I	4	28.5		1		
					L31	I	5	18.9		1		
			縦長剥片	90	L31		37	7.1		1		
					L31	I	12	16.3		1		
			剥片	90	L31		52	38.9		1		
				90	L31		558	21.6		1		
			石刃	90	L31		55	12.1		1		
			剥片	90	L31		61	16.1		1		
				90	L31		168	76.8		1		
				90	L31		596	10.4		1		
			剥片	90	L31		88	80.9		1		
				90	L31		356	21.3		1		
				90	L31		758	12.8		1		
				90	L31		771	5.0		1		
			剥片	90	L31		107	39.7		1		
				90	L31		618	23.3		1		
			剥片	90	L31		114	7.9		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
Ⅲ-176	140	11	石刃	90	L31		123	15.6		1		
				90	L31		160	57.1		1		
				90	L31		299	4.3		1		
			剥片	90	L31		133	13.8		1		
			剥片	90	L31		210	16.2		1		
			剥片	90	L31		215	2.4		1		
				90	L31		235	2.5		1		
			剥片	90	L31		220	32.8		1		
			剥片	90	L31		221	26.0		1		
				90	L31		441	99.1		1		
			剥片	90	L31		289	15.9		1		
			剥片	90	L31		349	100.4		1		
			剥片	90	L31		357	45.1		1		
			剥片	90	L31		389	54.2		1		
			剥片	90	L31		401	12.6		1		
				90	L31		418	23.5		1		
				90	L31		494	8.3		1		
				90	L31		612	43.7		1		
			剥片	90	L31		425	15.3		1		
			剥片	90	L31		450	21.3		1		
			剥片	90	L31		511	139.6		1		
			剥片	90	L31		532	18.4		1		
			剥片	90	L31		552	15.7		1		
			剥片	90	L31		594	12.4		1		
			剥片	90	L31		606	20.1		1		
			剥片	90	L31		611	113.3		1		
				90	L31		849	82.0		1		
			剥片	90	L31		617	22.4		1		
			剥片	90	L31		740	10.7		1		
			剥片		L31	Ⅰ	17	23.6		1		
			石刃		L31	Ⅰ	18	21.1		1		
Ⅲ-180	143	25	石刃	90	L32		82	9.9		1		
				90	L32		284	14.3		1		
				90	L32		362	36.0		1		
				90	L32		843	26.9		1		
				90	L32		848	24.3		1		
				90	L32		859	7.0		1		
				90	L32		864	8.2		1		
				90	L32		1211	5.9		1		
				90	L32		1232	3.8		1		
				90	L32		1233	8.3		1		
				90	L32		1234	10.7		1		
				90	L32		1240	3.2		1		
				90	L32		1373	10.4		1		
				90	L32		1382	6.9		1		
				90	L32		1393	10.7		1		
				90	L32		1849	30.8		1		
				90	L32		2016	4.6		1		
				90	L32		2212	34.1		1		
				90	L32		2419	7.2		1		
					L32	Ⅰ	20	12.4		1		
					L32	Ⅰ	44	18.9		1		
				90	M32		127	10.3		1		
			石刃	90	L32		490	14.2		1		
				90	L32		1244	13.5		1		
				90	L32		2543	2.7		1		
			剥片	90	L32		1859	55.5		1		
					L32	Ⅰ	77	10.6		1		
					L32	Ⅱ	90	7.5		1		
			縦長剥片		L32	Ⅰ	1	36.5		1		
Ⅲ-274	205	331	接合資料	90·93·95				2126.2	161	1	740	3358
			剥片	93	L30		108	7.8		1		
					M30	Ⅰ	11	10.4		1		
				93	N29		332	15.2		1		
				93	N29		1569	6.9		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	93	L30		177	5.2		1		
				93	M29		648	10.1		1		
				93	M29		791	7.8		1		
				93	M29		801	2.8		1		
				93	M30		324	3.4		1		
				93	N29		1700	4.1		1		
			剥片	93	L30		498	13.8		1		
				93	M29		405	3.6		1		
				93	M29		800	6.6		1		
				93	M30		436	6.2		1		
				93	M30		463	39.2		1		
				93	M30		603	5.0		1		
				93	N29		487	8.8		1		
				93	N29		996	7.8		1		
				93	N29		1714	13.7		1		
			剥片	93	L30		624	6.3		1		
					M29	Ⅰ	16	5.1		1		
				93	M30		124	13.8		1		
			剥片	93	L30		751	41.2		1		
Ⅲ-176	140	3	彫器	90	L31		166	65.2		1		
			剥片	93	L31		780	23.1		1		
				93	L31		925	12.8		1		
				93	M30		640	4.1		1		
			剥片	93	L31		814	13.4		1		
				93	M30		839	1.7		1		
				93	N29		1667	10.6		1		
			剥片	93	L31		817	15.6		1		
				93	M29		824	11.1		1		
				93	M29		864	6.1		1		
			剥片	93	L31		876	4.3		1		
				93	N29		1393	19.3		1		
			剥片	93	L31		946	2.7		1		
				93	M29		603	3.2		1		
				93	M29		870	2.1		1		
				93	N29		1399	19.7		1		
			二次加工ある剥片	93	M29		101	60.4		1		
				93	N29		176	24.0		1		
			剥片	93	M29		103	10.0		1		
				93	M30		653	2.7		1		
				93	M30		654	2.7		1		
				93	N29		272	8.2		1		
				93	N29		274	1.9		1		
			彫器削片	93	M29		167	4.0		1		
			剥片	93	M29		174	1.4		1		
				93	M29		805	13.8		1		
				93	M30		483	22.2		1		
				93	N29		1694	16.0		1		
			剥片	93	M29		275	2.7		1		
				93	M29		777	4.9		1		
				93	N29		485	8.9		1		
				93	N29		979	21.2		1		
				93	N29		1185	4.1		1		
				93	N29		1315	5.0		1		
				93	N29		1541	9.6		1		
				93	N29		1597	12.1		1		
				93	N29		1670	56.8		1		
			剥片	93	M29		297	1.7		1		
				93	M29		818	7.8		1		
				93	M30		267	58.9		1		
				93	M30		632	4.5		1		
				93	M30		800	12.5		1		
				93	M30		861	5.2		1		
			剥片	93	M29		398	13.9		1		
				93	M29		902	4.1		1		
				93	M30		221	3.6		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				93	M30		403	1.3		1		
				93	N29		466	3.8		1		
				93	N30		453	12.9		1		
			剥片	93	M29		409	1.7		1		
				93	M29		814	12.5		1		
				93	N29		403	1.5		1		
			剥片	93	M29		454	3.7		1		
				93	M29		498	3.2		1		
				93	M29		500	3.0		1		
				93	M29		679	9.8		1		
				93	M30		171	9.1		1		
				93	N29		1580	5.1		1		
			剥片	93	M29		507	3.7		1		
				93	M29		719	2.6		1		
			剥片	93	M29		523	32.5		1		
				93	M29		531	20.0		1		
				93	M29		555	21.9		1		
				93	N29		1161	4.6		1		
			剥片	93	M29		525	2.6		1		
				93	M30		167	23.3		1		
				93	N29		836	8.5		1		
			剥片	93	M29		640	6.4		1		
				93	M29		896	2.3		1		
			剥片	93	M29		663	5.2		1		
				93	M29		904	8.7		1		
				93	N29		1733	9.5		1		
			剥片	93	M29		724	1.6		1		
				93	M29		760	4.3		1		
				93	M30		94	3.7		1		
				95	N29		1462	5.4		1		
Ⅲ-220	174	16	尖頭器	93	M29		731	7.6		1		
				93	M29		782	21.9		1		
				93	M30		439	46.4		1		
				93	N29		1175	15.9		1		
			剥片	93	M29		806	56.4		1		
				93	M30		802	26.0		1		
				93	M30		853	20.3		1		
			剥片	93	M29		871	4.4		1		
				93	M30		756	3.1		1		
				93	N29		1165	4.7		1		
			剥片	93	M29		898	7.1		1		
				93	M30		142	7.3		1		
				93	M30		760	5.1		1		
				93	N29		1701	2.0		1		
			縦長剥片	93	M30		88	183.2		1		
			剥片	93	M30		188	25.9		1		
				93	N29		974	4.7		1		
			剥片	93	M30		278	2.2		1		
				93	M30		751	2.6		1		
			剥片	93	M30		330	6.9		1		
				93	M30		656	17.2		1		
				93	M30		786	4.9		1		
			剥片	93	M30		336	2.3		1		
				93	M30		746	38.9		1		
				93	N29		823	12.8		1		
			剥片	93	M30		340	3.3		1		
			剥片	93	M30		362	2.8		1		
			剥片	93	M30		380	2.5		1		
			剥片	93	M30		494	19.1		1		
			剥片	93	M30		522	3.4		1		
			剥片	93	M30		637	1.7		1		
				93	M30		663	3.6		1		
			剥片	93	M30		731	6.7		1		
				93	N29		1657	6.9		1		
				93	N29		1664	7.0		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	93	M30		797	6.5		1		
				95	N29		1408	2.4		1		
			剥片	93	M30		859	4.7		1		
			剥片	93	N29		674	117.8		1		
				93	N30		536	2.1		1		
			剥片	93	N29		998	6.1		1		
			剥片	93	N29		1171	2.6		1		
			剥片	95	N29		1475	18.2		1		
				93	N29		1530	67.6		1		
			彫器削片	93	N29		1550	4.2		1		
				93	O29		1876	6.1		1		
			剥片	93	N29		1554	1.9		1		
				93	O29		1842	70.1		1		
				93	O29		2138	11.9		1		
			剥片	93	N29		1616	4.9		1		
			剥片	93	N29		1650	1.9		1		
			剥片	93	N29		1679	4.6		1		
			剥片	93	N29		1681	4.3		1		
			剥片	93	N29		1719	12.4		1		
			剥片	93	N29		1726	11.2		1		
			剥片	93	N30		463	5.4		1		
			剥片	93	N30		525	16.7		1		
			剥片	93	N30		527	2.1		1		
			剥片		N30	I	91	29.9		1		
			剥片	93	O29		2323	4.0		1		
				93	O29		2445	12.3		1		
			彫器削片	93	O29		2359	8.5		1		
Ⅲ-277	206	333	接合資料	90-93-94-95				2649.1	84	1･5	727	3285
			二次加工ある剥片	94	I 32		43	33.7		1		
				90	J 31		1097	246.3		1		
				93	K30		369	6.2		1		
				93	K30		393	75.9		1		
			剥片	95	J 30		124	55.0		1		
				93	K30		337	87.5		1		
				93	L 30		72	16.4		1		
				93	L 30		442	6.6		1		
				93	L 30		623	48.1		1		
				93	L 30		822	12.8		1		
Ⅲ-239	188	202	掻器	95	J 30		126	8.3		1		
				90	J 31		546	8.1		1		
				93	K30		401	6.1		1		
				93	K30		447	12.7		1		
			石刃	90	J 31		561	44.0		1		
				93	K31		365	17.8		1		
			剥片	90	J 31		1046	42.3		1		
			剥片	90	J 31		2302	175.4		1		
				93	K30		429	11.4		1		
			剥片	90	J 33		26	21.8		1		
			二次加工ある剥片	93	K30		96	38.3		1		
				93	K30		118	61.9		1		
			剥片	93	K30		169	22.0		1		
				93	K30		303	113.3		1		
				93	L 30		370	2.7		1		
			剥片	93	K30		176	31.5		1		
			石刃	93	K30		231	20.7		1		
				93	K30		376	14.5		1		
				93	K30		448	8.7		1		
				93	L 30		556	11.6		1		
			石刃	93	K30		248	4.5		1		
				90	K31		532	26.7		1		
				93	L 30		299	35.6		1		
				93	L 30		586	2.9		1		
			剥片	93	K30		283	48.3		1		
				93	L 30		786	23.0		1		
			剥片	93	K30		308	4.3		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				93	K30		361	4.6		1		
				93	L30		510	4.2		1		
			剥片	93	K30		437	22.9		1		
			剥片	93	K31		209	31.8		1		
			剥片	90	K31		348	4.9		1		
				93	L30		692	4.9		1		
			剥片	93	K31		369	32.3		1		
			縦長剥片	90	K31		393	19.5		1		
Ⅲ-220	174	17	尖頭器	93	L30		50	99.0		1		
			剥片	93	L30		251	4.4		1		
				93	L30		414	6.1		1		
			二次加工ある剥片	93	L30		332	175.4		1		
			剥片	93	L30		355	3.1		1		
			剥片	93	L30		399	10.6		5		
			剥片	93	L30		422	4.0		1		
				93	L30		543	3.9		1		
				93	L30		685	14.4		1		
				93	L30		717	3.6		1		
			剥片	93	L30		459	10.4		1		
			剥片	93	L30		472	6.1		1		
			剥片	93	L30		482	4.7		1		
				93	L30		750	19.1		1		
				93	L30		810	1.7		1		
			剥片	93	L30		487	13.3		1		
				93	L30		707	3.1		1		
			剥片	93	L30		488	32.1		1		
				93	L30		527	41.9		1		
			剥片	93	L30		489	195.0		1		
				93	L30		828	46.8		5		
			剥片	93	L30		532	1.7		1		
			剥片	93	L30		533	28.7		1		
				93	L31		816	48.6		1		
			剥片	93	L30		544	15.7		1		
			剥片	93	L30		554	24.9		1		
			剥片	93	L30		564	32.5		1		
				93	L30		600	1.8		1		
			縦長剥片	93	L30		568	50.9		1		
			剥片	93	L30		595	3.1		1		
				93	L30		739	4.9		5		
			剥片	93	L30		653	8.3		1		
			剥片	93	L30		656	8.4		1		
			石刃	93	L30		714	38.9		5		
				93	M30		838	55.0		1		
			剥片	93	L30		718	3.2		1		
			剥片	93	L30		746	9.1		1		
			剥片	93	L30		766	19.2		1		
Ⅲ-219	174	15	尖頭器	93	M30		795	63.5		1		
Ⅲ-279	208	334	接合資料	93･97				1538.0	50	2	783	3501
			剥片	97	I23		172	129.7		2		
			剥片	97	J23		878	88.9		2		
			剥片	93	K31		354	5.8		2		
			石刃	93	K31		361	25.6		2		
				93	L30		237	5.2		2		
			剥片	93	L30		75	13.6		2		
				93	L30		377	62.6		2		
			剥片	93	L30		127	29.8		2		
			剥片	93	L30		148	2.4		2		
				93	L30		558	8.9		2		
			剥片	93	L30		176	12.4		2		
				93	L30		480	9.2		2		
				93	L31		921	4.8		2		
				93	M30		662	7.4		2		
				93	M30		799	85.8		2		
			剥片	93	L30		179	22.5		2		
				93	L30		254	2.9		2		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				93	L31		954	17.9		2		
			剥片	93	L30		298	128.2		2		
			剥片	93	L30		456	42.8		2		
			剥片	93	L30		463	90.3		2		
			剥片	93	L30		477	21.5		2		
			剥片	93	L30		481	24.8		2		
			剥片	93	L30		513	17.2		2		
			剥片	93	L30		646	22.0		2		
				93	M30		679	16.3		2		
			剥片		L30	I	4	113.5		2		
				93	M30		612	12.6		2		
			剥片	93	L31		872	6.6		2		
				93	M30		677	14.9		2		
			剥片	93	L31		892	18.2		2		
			剥片	93	M29		282	2.1		2		
				93	M30		117	1.9		2		
			剥片	93	M30		295	44.0		2		
				93	M30		477	26.2		2		
			剥片	93	M30		407	5.7		2		
			剥片	93	M30		536	11.1		2		
			剥片	93	M30		591	6.9		2		
				93	M30		709	92.3		2		
				93	M30		710	52.0		2		
				93	M30		745	18.7		2		
			剥片	93	M30		594	11.4		2		
			剥片	93	M30		647	4.6		2		
				93	M30		678	3.5		2		
			剥片	93	M30		680	17.9		2		
			剥片	93	M30		747	20.0		2		
			剥片	93	M30		805	60.9		2		
Ⅲ-219	173	8	尖頭器	93	N29		1041	76.0		2		
				93	N29		1206	13.2		2		
				93	N29		1310	5.3		2		
Ⅲ-281	207	335	接合資料	96･97				3900.3	196	3･4	1067	4433
			剥片		H25	I	16	3.2		4		
					K23	I	87	7.0		4		
				96	K25		14	138.8		4		
				96	L24		114	4.2		3		
				96	L24		301	42.2		3		
			剥片		J24	I	56	5.2		4		
				96	L24		23	7.8		3		
			剥片		J24	I	251	5.9		4		
				96	J25		53	49.6		4		
					J25	I	8	29.0		3		
				96	K24		883	27.4		3		
				96	K24		1684	63.2		3		
				96	L24		102	4.7		3		
				96	L24		181	7.4		3		
				96	L24		291	277.2		3		
				96	L24		345	1.7		3		
				96	L24		514	6.9		3		
				96	M23		94	6.9		4		
			剥片	96	J25		4	58.1		4		
				96	L24		182	2.2		3		
				96	L24		265	145.9		3		
				96	L24		287	5.5		3		
				96	L24		296	21.9		3		
				96	L24		454	492.6		3		
				96	L24		455	4.0		3		
				96	N23		174	2.6		4		
			二次加工ある剥片	96	J25		90	15.4		4		
			剥片	96	J25		109	2.6		4		
			剥片		J25	I	7	10.2		4		
			剥片		J25	I	9	4.1		3		
				96	M23		21	152.1		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				96	M23		90	17.0		4		
				96	N23		165	25.1		3		
				96	N23		175	4.0		3		
			剥片	96	K24		100	16.7		3		
				97	K24		1221	11.7		4		
					K24	Ⅰ	21	11.3		3		
				96	L24		257	14.1		3		
				96	M23		23	34.4		4		
			剥片	96	K24		187	3.7		4		
				96	M23		415	6.0		4		
			剥片	96	K24		336	6.0		3		
				96	N22		202	9.1		3		
			剥片	96	K24		359	1.8		4		
			剥片	97	K24		472	7.0		4		
					K24	Ⅱ	87	1.1		4		
				96	L24		297	3.0		3		
				96	L24		503	4.2		3		
			剥片	96	K24		558	1.3		3		
			剥片	96	K24		562	5.0		3		
			削器	96	K24		697	31.9		3		
				96	L24		27	21.6		4		
			剥片	96	K24		878	8.4		3		
			剥片	96	K24		1207	7.7		3		
				96	M23		140	12.8		4		
			剥片	96	K24		1210	1.8		4		
			剥片	97	K24		1335	21.8		3		
			剥片	96	K24		1808	5.3		3		
			剥片	96	K24		1917	14.6		4		
			剥片		K24	Ⅰ	95	1.7		4		
			剥片		K24	Ⅰ	96	3.9		4		
			剥片		K24	Ⅰ	98	4.7		4		
				96	N22		233	5.9		3		
			石刃	96	L23		614	22.4		3		
				96	L24		12	19.0		3		
				96	M23		150	20.0		4		
				96	M23		370	7.7		4		
			剥片	96	L23		626	8.2		4		
				96	L24		104	3.0		3		
					L24	Ⅰ	6	6.7		4		
			剥片	96	L23		1496	3.0		4		
				97	L24		136	6.7		3		
				96	L24		480	9.4		3		
					L24	Ⅰ	19	237.8		4		
				96	M23		402	181.9		4		
				96	N23		132	28.8		3		
			剥片		L23	Ⅰ	2	6.8		4		
			剥片	96	L24		31	5.6		3		
			剥片	96	L24		41	4.8		3		
				96	L24		389	3.1		3		
			剥片	96	L24		45	0.8		3		
				96	L24		71	7.7		3		
			剥片	96	L24		61	4.0		3		
				96	M23		408	2.0		4		
			石刃	96	L24		68	3.2		3		
				96	L24		277	4.7		3		
				96	L24		478	5.8		3		
			剥片	96	L24		106	19.7		3		
			剥片	96	L24		109	2.3		3		
				96	L24		312	16.3		3		
				96	L24		339	2.4		3		
					L24	Ⅱ	64	3.4		4		
					L24	Ⅱ	65	0.9		4		
			剥片	96	L24		110	5.0		3		
			剥片	96	L24		122	5.8		3		
			剥片	96	L24		142	4.5		3		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	96	L24		156	4.7		3		
				96	L24		201	3.2		3		
			剥片	96	L24		171	4.2		3		
			剥片	96	L24		175	6.7		3		
			剥片	96	L24		188	2.3		3		
			剥片	96	L24		197	11.5		3		
			剥片	96	L24		223	2.8		3		
			剥片	96	L24		228	20.6		3		
			剥片	96	L24		253	16.4		3		
				96	L24		564	1.3		3		
					L24	Ⅰ	5	13.5		4		
				96	M23		346	4.8		4		
			剥片	96	L24		256	8.0		3		
			剥片	96	L24		260	2.5		3		
			剥片	96	L24		264	5.2		3		
			剥片	96	L24		281	20.0		3		
				96	L24		316	21.9		3		
				96	M23		25	2.9		4		
				96	M23		315	1.3		4		
			石刃	96	L24		283	9.0		3		
					L24	Ⅱ	72	0.6		4		
			剥片	96	L24		284	19.8		3		
			剥片	96	L24		295	9.3		3		
					M23	Ⅰ	2	5.8		4		
			剥片	96	L24		311	1.8		3		
			剥片	96	L24		329	2.6		3		
			剥片	96	L24		343	31.4		3		
				96	L24		351	9.2		3		
					L24	Ⅰ	29	2.0		4		
					L24	Ⅱ	67	1.5		4		
					L24	Ⅱ	68	1.5		4		
				96	M23		99	54.9		4		
				96	M23		280	2.3		4		
			剥片	96	L24		349	11.3		3		
			剥片	96	L24		441	15.5		3		
				96	L24		477	10.8		3		
			剥片	96	L24		456	28.3		3		
			剥片	96	L24		506	7.9		3		
				96	L24		529	4.9		3		
			剥片	96	L24		544	14.2		3		
			剥片	96	L24		550	7.1		3		
			剥片	96	L24		571	38.4		3		
			剥片		L24	Ⅰ	13	41.5		4		
			剥片		L24	Ⅰ	14	6.6		4		
			剥片		L24	Ⅰ	15	4.0		4		
				96	M23		243	7.6		4		
			剥片		L24	Ⅰ	17	3.8		4		
			剥片		L24	Ⅰ	20	64.1		4		
			剥片		L24	Ⅰ	21	15.2		4		
			剥片		L24	Ⅰ	24	6.5		4		
			剥片		L24	Ⅰ	33	5.5		4		
			剥片		L24	Ⅰ	34	3.1		4		
			剥片		L24	Ⅱ	69	0.7		4		
				96	M23		277	3.1		4		
				96	M23		412	7.0		4		
				96	N23		177	12.1		3		
			剥片	96	M22		357	10.0		4		
			剥片	96	M22		617	20.9		4		
			剥片	96	M23		45	9.1		4		
			剥片	96	M23		218	3.5		3		
			二次加工ある剥片	96	M23		239	154.0		4		
			剥片	96	M23		253	9.7		4		
			剥片	96	M23		287	5.6		4		
			剥片	96	M23		310	2.4		4		
			剥片	96	M23		343	7.1		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	96	M23		344	11.9		4		
			剥片	96	M23		372	1.7		4		
Ⅲ-219	173	9	尖頭器	96	M23		373	80.4		4		
			剥片	96	M23		389	11.1		4		
			剥片		M23	Ⅰ	6	3.0		4		
				96	N23		21	2.7		3		
				96	N23		25	2.4		3		
			剥片	96	N22		10	8.7		3		
			剥片	96	N22		15	6.7		3		
			剥片	96	N22		21	4.5		3		
			剥片	96	N22		23	3.2		3		
				96	N22		93	4.1		3		
				96	N22		127	36.9		3		
				96	N22		145	11.1		3		
				96	N22		188	2.8		3		
			剥片	96	N22		45	31.5		3		
				96	N22		237	19.6		3		
				96	N23		65	13.9		3		
				96	N23		100	24.1		3		
			剥片	96	N22		61	9.5		3		
				96	N22		215	1.6		3		
			剥片	96	N22		135	2.6		3		
				96	N22		174	6.7		3		
				96	N22		184	11.3		3		
				96	N22		236	51.7		3		
			剥片	96	N22		141	13.7		3		
				96	N22		259	1.6		3		
			剥片	96	N22		164	13.0		3		
			剥片	96	N22		210	6.4		3		
			剥片	96	N22		226	12.8		3		
			剥片	96	N22		242	17.3		3		
			剥片	96	N23		36	13.2		3		
			剥片	96	N23		85	0.6		4		
			剥片	96	N23		101	3.6		3		
			剥片	96	N23		158	13.9		3		
Ⅲ-284	207	336	接合資料	96･97				52.9	4	4	1067	4437
			剥片		Ⅰ25	Ⅰ	2	15.2		4		
			彫器削片	96	K24		83	3.1		4		
Ⅲ-384	303	122	彫器	97	K24		1854	33.1		4		
			彫器削片		N22	Ⅱ	1	1.5		4		
Ⅲ-285	210	337	接合資料	93･95				958.6	29	2	786	3509
			石刃	95	J28		20	19.5		2		
				95	J29		65	13.3		2		
				95	L28		47	11.6		2		
				95	L28		1795	12.6		2		
			剥片	95	J28		33	28.5		2		
			石刃	95	J29		70	101.8		2		
				95	J29		95	27.4		2		
				95	L28		1732	47.6		2		
			縦長剥片	95	J29		122	120.9		2		
				95	J29		123	59.5		2		
				95	K29		347	32.8		2		
Ⅲ-220	175	21	尖頭器	95	J29		124	24.4		2		
				95	L27		1250	16.0		2		
				95	L27		1251	12.0		2		
			剥片	95	J29		157	26.2		2		
			剥片		K28	Ⅰ	4	18.5		2		
			剥片	93	K30		82	67.2		2		
			石刃	95	L27		1093	76.1		2		
Ⅲ-249	194	295	石刃	95	L27		1137	20.2		2		
				95	L27		1183	43.0		2		
				95	L28		1029	24.8		2		
				95	L28		1158	9.0		2		
			剥片	95	L27		1207	3.5		2		
				95	L27		1215	37.1		2		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			石刃	95	L27		1213	7.7		2		
				95	L27		1224	15.9		2		
				95	I28		25	5.8		2		
			剥片	95	L27		1236	44.1		2		
				95	L27		1249	31.6		2		
Ⅲ-287	208	338	接合資料	93				961.6	164	3･4	876	3849
			剥片	93	M30		19	29.9		4		
				93	N30		287	1.6		4		
					N31	Ⅰ	17	20.9		4		
			剥片	93	N30		8	5.4		4		
			剥片	93	N30		20	20.3		4		
				93	N30		169	4.5		4		
					O29	Ⅱ	43	0.5		4		
			剥片	93	N30		67	37.9		4		
			剥片	93	N30		80	1.6		4		
			剥片	93	N30		124	4.9		4		
					O30	Ⅰ	9	2.5		4		
			剥片	93	N30		147	3.8		4		
				93	N30		379	3.9		4		
				93	O30		137	0.9		4		
				93	O30		2131	1.5		4		
					不明		不明	4.8		4		
			剥片	93	N30		182	2.7		4		
				93	N30		341	9.0		4		
				93	N31		25	27.9		4		
			剥片	93	N30		222	8.3		4		
					N30	Ⅰ	69	0.5		4		
			剥片	93	N30		265	7.3		4		
					O29	Ⅱ	42	0.6		4		
					O30	Ⅱ	19	0.4		4		
			剥片	93	N30		269	8.7		4		
			剥片	93	N30		270	1.0		4		
				93	N30		353	2.4		4		
			剥片	93	N30		275	1.6		4		
			剥片	93	N30		280	2.2		4		
			剥片	93	N30		282	1.4		4		
			剥片	93	N30		289	6.0		4		
					N30	Ⅰ	66	0.9		4		
				93	O29		734	5.7		4		
			剥片	93	N30		340	4.6		4		
			剥片	93	N30		342	11.6		4		
			剥片	93	N30		360	1.2		4		
					O30	Ⅰ	7	4.7		4		
			剥片	93	N30		381	1.7		4		
			剥片	93	N30		466	2.6		4		
			剥片	93	N30		468	9.2		4		
				93	O30		1421	1.2		4		
				93	O30		1932	8.3		4		
			剥片	93	N30		469	11.6		4		
			剥片		N30	Ⅰ	64	1.6		4		
			剥片		N30	Ⅰ	65	1.5		4		
			剥片		N30	Ⅰ	67	5.9		4		
			剥片		N30	Ⅰ	68	2.9		4		
			剥片	93	N31		49	1.0		4		
				93	O29		1164	4.2		4		
				93	O29		1681	15.5		4		
			剥片		N31	Ⅰ	18	3.3		4		
			剥片	93	O29		332	6.3		4		
				93	O29		526	7.9		4		
				93	P28		6569	37.1		4		
			尖頭器削片	93	O29		828	9.9		4		
					P28	Ⅱ	83	2.3		4		
			尖頭器削片	93	O29		925	15.8		4		
			尖頭器削片	93	O29		1017	5.1		4		
			尖頭器削片	93	O29		1193	2.5		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	93	O29		1371	0.7		4		
			剥片	93	O29		1398	2.2		4		
			剥片	93	O29		1425	1.6		4		
			尖頭器削片	93	O29		1780	1.7		4		
					O29	Ⅱ	31	1.0		4		
			尖頭器削片	93	O29		1782	12.3		4		
			尖頭器削片	93	O29		1820	16.9		4		
			剥片	93	O29		1833	1.7		4		
				93	O29		1937	1.4		4		
				93	P29		1148	6.1		4		
			尖頭器削片	93	O29		1949	1.1		4		
			二次加工ある剥片	93	O29		1951	11.9		4		
			剥片	93	O29		2238	4.2		4		
			剥片	93	O29		2299	2.3		4		
				93	P28		6786	3.4		4		
				93	P28		8065	3.2		4		
				93	P28		8093	6.7		4		
			剥片		O29	Ⅱ	27	0.3		4		
			剥片		O29	Ⅱ	32	1.0		4		
			剥片		O29	Ⅱ	39	0.9		4		
				93	P28		7648	11.1		4		
					P28	Ⅱ	75	0.9		4		
				93	P29		754	6.9		4		
			剥片		O29	Ⅱ	40	1.1		4		
			剥片		O29	Ⅱ	41	0.8		4		
				93	P28		8096	3.8		4		
			剥片		O29	Ⅱ	47	0.6		4		
			剥片		O29	Ⅱ	50	0.7		4		
				93	P29		995	0.8		4		
			剥片	93	O30		140	3.1		4		
			剥片	93	O30		141	1.9		4		
			剥片	93	O30		488	23.6		4		
			剥片	93	O30		1437	2.4		4		
			剥片	93	O30		1850	8.1		4		
			剥片	93	O30		2027	1.5		4		
			剥片		O30	Ⅱ	4	0.8		4		
			尖頭器削片	93	P28		389	5.2		4		
			剥片	93	P28		949	5.3		4		
				93	P28		5123	2.0		4		
			尖頭器削片	93	P28		1224	1.7		4		
Ⅲ-240	188	207	削器	93	P28		1358	8.2		4		
			剥片	93	P28		2562	1.7		4		
				93	P28		7632	3.0		4		
			剥片	93	P28		2621	1.8		4		
				93	P28		3045	7.6		4		
				93	P28		8085	6.3		4		
			剥片	93	P28		2623	3.2		4		
				93	P28		7621	3.4		4		
			剥片	93	P28		2716	5.7		4		
			剥片	93	P28		3140	1.3		4		
			剥片	93	P28		3921	2.3		4		
			剥片	93	P28		4141	6.2		4		
				93	P28		5749	6.1		4		
			剥片	93	P28		4628	3.8		4		
			剥片	93	P28		4662	2.9		4		
				93	P28		5638	6.8		4		
			剥片	93	P28		5642	2.6		4		
			剥片	93	P28		5662	2.4		4		
				93	P28		6313	7.3		3		
				93	P28		8083	5.6		4		
					P28	Ⅱ	79	0.7		4		
			剥片	93	P28		5679	1.2		4		
				93	P28		7259	2.3		4		
			剥片	93	P28		6153	2.2		4		
			尖頭器削片	93	P28		6385	13.5		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				93	P29		535	25.3		4		
			尖頭器削片	93	P28		6505	8.9		4		
				93	P29		505	3.2		4		
			剥片	93	P28		6842	2.2		4		
			剥片	93	P28		7017	9.4		4		
				93	P28		7635	4.3		4		
				93	P28		7942	2.7		4		
			尖頭器削片	93	P28		7081	11.8		4		
			尖頭器削片	93	P28		7101	12.4		4		
			尖頭器削片	93	P28		7132	14.6		4		
				93	P28		7920	8.6		4		
					P29	Ⅱ	8	1.1		4		
			剥片	93	P28		7238	9.0		4		
			剥片	93	P28		7481	1.6		4		
Ⅲ-237	186	172	掻器	93	P28		7717	9.9		4		
			剥片	93	P28		7761	2.0		4		
			剥片	93	P28		7797	1.3		4		
			尖頭器削片	93	P28		7849	27.3		4		
			剥片	93	P28		8059	11.4		4		
			剥片	93	P28		8061	2.0		4		
			剥片	93	P28		8086	2.2		4		
			剥片		P28	Ⅱ	30	0.8		4		
			剥片		P28	Ⅱ	40	0.4		4		
			剥片		P28	Ⅱ	55	1.3		4		
			剥片		P28	Ⅱ	58	1.0		4		
			剥片		P28	Ⅱ	95	0.6		4		
			剥片		P28	Ⅱ	105	2.3		4		
			剥片		P28	Ⅱ	112	1.1		4		
			剥片		P28	Ⅱ	113	1.0		4		
			尖頭器削片	93	P29		915	22.1		4		
Ⅲ-240	188	210	削器	93	P29		1046	3.2		4		
				93	P29		1125	6.3		4		
Ⅲ-229	182	57	尖頭器	93	P29		1097	52.1		4		
Ⅲ-246	192	276	舟底形石器	93	P29		1158	9.0		4		
			剥片	93	P29		1162	1.8		4		
			剥片	93	P29		1210	1.8		4		
			剥片		P29	Ⅰ	85	1.1		4		
			剥片		P29	Ⅱ	3	1.2		4		
			剥片		P29	Ⅱ	10	0.8		4		
			尖頭器削片		P29	Ⅱ	14	0.5		4		
Ⅲ-289	209	340	接合資料	93				326.0	45	4	862	3809
			剥片	93	N30		39	7.0		4		
				93	O30		1908	2.5		4		
			剥片	93	N30		393	0.7		4		
				93	O30		2175	2.2		4		
			剥片		N30	Ⅰ	41	5.9		4		
			剥片		N30	Ⅰ	42	7.8		4		
				93	O30		1653	19.5		4		
					O30	Ⅰ	77	1.1		4		
			剥片		N30	Ⅰ	44	2.6		4		
					O29	Ⅱ	111	1.6		4		
Ⅲ-230	182	62	尖頭器削片	93	N31		218	14.1		4		
			剥片	93	O30		99	4.0		4		
				93	O30		1383	9.7		4		
			剥片	93	O30		116	1.9		4		
			尖頭器	93	O30		196	6.2		4		
			剥片	93	O30		243	15.0		4		
Ⅲ-230	182	61	尖頭器削片	93	O30		448	2.0		4		
				93	O30		642	21.8		4		
			剥片	93	O30		476	1.9		4		
			剥片	93	O30		1164	1.3		4		
			剥片	93	O30		1236	3.9		4		
Ⅲ-229	181	55	尖頭器	93	O30		1451	44.6		4		
				93	P29		360	43.5		4		
			剥片	93	O30		1596	2.5		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	93	O30		1599	4.7		4		
			剥片	93	O30		1852	3.3		4		
			剥片	93	O30		1909	3.3		4		
			剥片	93	O30		1980	1.4		4		
			剥片	93	O30		2312	7.5		4		
			剥片		O30	Ⅰ	72	2.4		4		
			剥片		O30	Ⅰ	74	2.0		4		
			剥片	93	O31		18	7.7		4		
			剥片	93	O31		25	5.4		4		
			剥片	93	O31		34	11.4		4		
			剥片	93	O31		64	1.2		4		
			剥片		O31	Ⅰ	6	5.4		4		
			剥片	93	P28		599	4.7		4		
			剥片	93	P29		47	3.9		4		
			剥片	93	P29		229	11.0		4		
			剥片	93	P29		230	1.0		4		
				93	P30		73	4.7		4		
			剥片	93	P30		12	8.4		4		
			剥片	93	P30		26	0.7		4		
			剥片	93	P30		37	0.8		4		
			剥片	93	Q29		51	11.8		4		
Ⅲ-290	210	341	接合資料	93･95				225.6	22	4	849	3740
Ⅲ-243	190	246	舟底形石器	93	N29		304	4.1		4		
			尖頭器削片	93	N29		639	1.2		4		
Ⅲ-229	181	53	尖頭器	95	O27		175	29.0		4		
Ⅲ-230	182	64	尖頭器削片	95	O27		1149	1.9		4		
				95	O28		967	1.3		4		
				93	O28		1690	2.0		4		
Ⅲ-223	177	37	尖頭器	95	O27		1449	54.1		4		
				95	O28		1024	85.7		4		
			剥片	93	O28		943	2.5		4		
			剥片	93	O28		1508	6.1		4		
			剥片		O28	Ⅰ	28	0.9		4		
			剥片	93	O29		260	1.2		4		
			剥片		O29	Ⅰ	140	3.0		4		
					O29	Ⅰ	141	3.8		4		
			剥片		O29	Ⅱ	138	1.3		4		
Ⅲ-230	182	70	尖頭器削片	93	P28		67	4.1		4		
			剥片	93	P28		1891	4.1		4		
			剥片	93	P28		2093	2.7		4		
			剥片	93	P28		2177	1.3		4		
Ⅲ-230	182	68	尖頭器削片	93	P28		3521	3.4		4		
			剥片	93	P28		5818	5.4		4		
			剥片	93	P28		7829	6.5		4		
Ⅲ-292	211	342	接合資料	93･95				277.7	32	3･4	852	3759
Ⅲ-230	182	66	尖頭器削片	95	L26		185	3.0		4		
			剥片	95	M26		118	3.4		3		
Ⅲ-230	182	71	尖頭器削片		M26	Ⅱ	11	0.8		4		
				95	N26		206	8.4		4		
Ⅲ-230	182	65	尖頭器削片	95	M27		27	9.9		4		
					M27	Ⅰ	5	1.2		4		
			剥片	95	M27		159	5.1		4		
				95	M27		291	11.7		3		
			剥片	95	N26		133	1.3		4		
				95	N26		226	2.8		4		
				95	O25		182	6.0		4		
			剥片	95	N26		210	2.3		4		
Ⅲ-229	181	52	尖頭器	95	N26		220	39.0		4		
			剥片	95	N26		290	1.2		4		
Ⅲ-230	182	60	尖頭器削片	95	N26		293	1.9		4		
				95	O25		179	8.1		4		
Ⅲ-229	181	54	尖頭器	95	N26		320	48.0		4		
			尖頭器	95	N26		326	8.5		4		
Ⅲ-230	182	72	尖頭器削片	95	N27		93	18.5		4		
Ⅲ-230	182	67	尖頭器削片	95	N27		530	2.2		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			尖頭器削片	95	N27		622	1.8		4		
			尖頭器削片	95	N27		749	1.2		4		
			尖頭器削片	95	N27		1653	3.8		4		
Ⅲ-230	182	69	尖頭器削片	95	N27		1681	2.2		3		
Ⅲ-230	182	63	尖頭器削片	95	N27		1740	7.8		4		
			剥片	95	N28		145	21.2		4		
			尖頭器削片		N29	Ⅰ	1	2.2		4		
			剥片		N29	Ⅰ	37	9.0		4		
Ⅲ-229	181	50	尖頭器	95	O25		181	24.1		4		
			尖頭器削片		O25	Ⅱ	1	0.9		4		
			剥片	95	O26		278	2.6		4		
Ⅲ-229	181	51	尖頭器	93	P28		3322	17.6		4		
Ⅲ-294	211	343	接合資料	93				561.3	43	4	807	3583
Ⅲ-248	192	283	二次加工ある剥片		N29	Ⅰ	2	7.1		4		
			剥片	93	N31		17	15.1		4		
				93	P28		7881	12.2		4		
					P29	Ⅰ	72	3.8		4		
			剥片	93	O28		25	3.2		4		
			剥片	93	O28		78	12.7		4		
				93	O28		130	5.9		4		
			剥片	93	O28		171	2.1		4		
			剥片	93	O28		290	1.7		4		
			剥片	93	O28		365	6.7		4		
Ⅲ-229	181	49	尖頭器	93	O28		552	11.9		4		
			剥片	93	O28		563	8.0		4		
				93	O29		1126	1.8		4		
Ⅲ-230	182	73	尖頭器削片	93	O28		840	5.5		4		
			剥片	93	O28		952	3.9		4		
			剥片	93	O28		986	3.4		4		
			剥片	93	O28		1365	6.0		4		
			剥片	93	O28		1387	6.1		4		
			剥片	93	O28		1753	1.7		4		
			尖頭器		O28	Ⅰ	31	18.8		4		
			剥片		O28	Ⅰ	33	2.2		4		
				93	O29		733	10.3		4		
			剥片	93	O29		481	4.1		4		
—	198	414	尖頭器		O29	Ⅰ	124	21.2		4		
					O29	Ⅰ	165	15.2		4		
			尖頭器削片		O29	Ⅰ	125	18.5		4		
			剥片		O29	Ⅰ	166	2.6		4		
			剥片		O29	Ⅰ	173	0.7		4		
			剥片	93	O30		22	10.6		4		
				93	P29		42	1.9		4		
				93	Q29		9	10.8		4		
			剥片		O30	Ⅰ	84	54.8		4		
			剥片	93	P28		5387	9.8		4		
				93	P29		1161	3.2		4		
			剥片	93	P29		193	1.4		4		
			剥片	93	P29		604	13.4		4		
			剥片	93	P29		1292	6.1		4		
				93	Q28		293	16.1		4		
				93	Q28		294	11.0		4		
			剥片		P29	Ⅰ	80	1.0		4		
			剥片	93	Q28		288	3.1		4		
			剥片	93	Q28		295	13.5		4		
Ⅲ-226	180	46	尖頭器	93	R28		1	192.2		4		
Ⅲ-296	212	345	接合資料	95				724.5	44	1･3･4	816	3617
			剥片	95	K28		102	1.0		3		
			剥片	95	K29		401	1.3		1		
			剥片	95	K29		552	1.7		1		
				95	L28		1555	3.1		3		
				95	L28		1786	11.6		3		
			剥片	95	L27		990	8.7		4		
				95	L28		987	10.3		3		
			剥片	95	L27		995	19.8		3		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				95	L28		1092	3.3		1		
Ⅲ-227	180	47	尖頭器	95	L28		43	213.4		3		
				95	L28		151	39.8		3		
				95	L28		468	4.0		3		
				95	L28		990	131.8		3		
				95	L28		1536	5.1		3		
				95	L28		1714	3.7		3		
				95	L28		1787	3.9		3		
				95	M28		140	140.4		3		
			剥片	95	L28		457	4.5		4		
			剥片	95	L28		478	0.8		1		
				95	L28		479	1.9		1		
				95	L28		1572	2.2		1		
			剥片	95	L28		797	1.8		3		
			剥片	95	L28		988	1.5		3		
			剥片	95	L28		1085	2.4		3		
				95	L28		1237	6.5		3		
			剥片	95	L28		1138	3.2		3		
			剥片	95	L28		1215	6.1		4		
				95	L28		1623	2.8		4		
			剥片	95	L28		1412	2.5		1		
			剥片	95	L28		1421	10.8		3		
			剥片	95	L28		1429	2.8		4		
			剥片	95	L28		1432	5.9		3		
			剥片	95	L28		1465	4.6		3		
				95	L28		1641	4.6		3		
			剥片	95	L28		1549	1.7		3		
			剥片	95	L28		1561	11.8		3		
			剥片	95	L28		1563	3.9		3		
			剥片	95	L28		1570	3.0		3		
			剥片	95	L28		1668	7.5		3		
			剥片	95	L28		1692	2.2		3		
			剥片	95	L28		1706	2.8		3		
			剥片	95	L28		1740	13.8		3		
			剥片	95	L28		1810	2.8		3		
			剥片	95	L28		1853	7.2		3		
Ⅲ-297	213	346	接合資料	95				848.0	25	1	748	3396
			剥片	95	K29		71	9.7		1		
				95	M28		499	18.0		1		
			剥片	95	K29		165	9.6		1		
				95	K29		534	1.7		1		
			剥片		K29	Ⅰ	15	7.0		1		
Ⅲ-226	179	45	尖頭器	95	M28		3	276.9		1		
				95	M28		422	291.7		1		
				95	M28		831	130.9		1		
			剥片	95	M28		176	11.4		1		
				95	M28		792	7.2		1		
			剥片	95	M28		307	9.2		1		
			剥片	95	M28		441	4.5		1		
			剥片	95	M28		452	2.7		1		
			剥片	95	M28		530	4.9		1		
			剥片	95	M28		558	5.2		1		
			剥片	95	M28		746	2.7		1		
			剥片	95	M28		788	11.6		1		
			剥片	95	M28		794	19.6		1		
			剥片	95	M28		833	3.6		1		
			剥片	95	M28		845	2.3		1		
			剥片	95	M28		857	2.5		1		
			剥片	95	M29		129	2.1		1		
				95	N28		435	6.1		1		
			剥片	95	M29		479	3.7		1		
				95	N28		513	3.2		1		
Ⅲ-298	213	347	接合資料	95				524.6	63	1	749	3397
			剥片	95	L27		380	5.1		1		
			剥片	95	L27		385	3.5		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				95	L27		537	2.5		1		
			剥片	95	L27		407	2.8		1		
				95	L28		2	4.1		1		
			剥片	95	L27		481	3.6		1		
			剥片	95	L27		496	5.5		1		
				95	L27		498	1.5		1		
				95	L27		504	1.6		1		
				95	L27		534	3.4		1		
			剥片	95	L27		683	6.0		1		
			剥片	95	L27		712	2.8		1		
			剥片	95	L27		766	2.5		1		
			剥片	95	L27		768	7.6		1		
			剥片	95	L27		830	0.9		1		
			剥片	95	L27		844	1.6		1		
			剥片	95	L27		878	4.8		1		
			剥片	95	L27		1030	1.9		1		
			剥片	95	L27		1051	4.1		1		
			剥片		L27	Ⅱ	29	1.7		1		
			剥片	95	L28		24	3.1		1		
			剥片	95	L28		46	15.4		1		
			剥片	95	L28		121	2.0		1		
				95	L28		140	3.1		1		
			剥片	95	L28		129	4.2		1		
			剥片	95	L28		162	7.4		1		
				95	L28		374	1.3		1		
			剥片	95	L28		219	2.9		1		
			剥片	95	L28		226	4.3		1		
			剥片	95	L28		308	4.2		1		
Ⅲ-221	176	31	尖頭器	95	L28		370	83.4		1		
				95	L28		854	70.6		1		
					M28	Ⅰ	1	44.4		1		
			剥片	95	L28		443	2.9		1		
			剥片	95	L28		453	2.3		1		
			剥片	95	L28		455	6.1		1		
			剥片	95	L28		833	3.6		1		
			剥片	95	L28		850	2.5		1		
			剥片	95	L28		963	8.0		1		
			剥片	95	L28		977	8.8		1		
			剥片	95	L28		1205	6.3		1		
					L28	Ⅱ	24	1.8		1		
			剥片	95	L28		1228	4.6		1		
Ⅲ-221	175	30	尖頭器	95	L28		1302	42.1		1		
				95	M28		2	43.1		1		
			剥片	95	L28		1414	14.1		1		
			剥片	95	L28		1595	2.8		1		
			剥片	95	L28		1788	2.8		1		
			剥片	95	L28		1897	3.3		1		
			剥片	95	L28		1934	1.7		1		
			剥片		L28	Ⅱ	26	1.8		1		
			剥片		L28	Ⅱ	41	1.4		1		
			剥片		L28	Ⅱ	43	2.8		1		
			剥片	95	L29		31	9.2		1		
			剥片	95	M27		1259	3.6		1		
			剥片	95	M27		1333	7.2		1		
			剥片	95	M27		1377	1.8		1		
			剥片	95	M27		1544	7.6		1		
			剥片	95	M27		1554	4.1		1		
			剥片		M27	Ⅱ	9	4.5		1		
			剥片		M27	Ⅱ	15	0.9		1		
			剥片	95	M28		594	4.6		1		
			剥片	95	N28		432	4.5		1		
Ⅲ-299	214	348	接合資料	95				402.0	11	1	736	3336
Ⅲ-224	178	41	尖頭器	95	K30		105	115.6		1		
				95	L27		1150	45.6		1		
				95	L28		191	137.6		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				95	M27		1150	19.4		1		
			剥片	95	L28		500	16.9		1		
				95	L28		1151	15.5		1		
				95	M27		1626	8.6		1		
			剥片	95	L28		924	7.2		1		
			剥片	95	L28		1081	2.3		1		
			剥片	95	L28		1464	18.1		1		
			剥片	95	M27		1524	15.2		1		
－	214	500	接合資料	93				1661.9	185	4	923	4035
			剥片	93	O28		201	16.6		4		
				93	P27		158	1.9		4		
				93	P27		159	2.4		4		
				93	P27		300	10.0		4		
				93	P27		436	42.1		4		
				93	P28		2129	2.0		4		
				93	P28		7198	20.7		4		
				93	P28		7437	13.7		4		
					P28	I	186	2.8		4		
				93	Q27		608	17.5		4		
			剥片	93	O28		409	4.4		4		
				93	P28		53	14.4		4		
				93	P28		935	1.1		4		
			剥片	93	O29		99	3.0		4		
				93	P28		2449	9.0		4		
				93	P28		5402	1.4		4		
			剥片	93	O29		361	7.6		4		
				93	P28		1729	2.3		4		
			剥片	93	O29		558	16.4		4		
				93	P28		7616	1.4		4		
			剥片	93	O29		714	23.6		4		
				93	P27		305	2.2		4		
				93	P28		527	7.0		4		
				93	P28		6429	5.9		4		
					P28	I	187	4.9		4		
				93	Q27		217	1.1		4		
			剥片	93	O29		942	1.3		4		
				93	O29		1080	1.3		4		
				93	P28		693	2.0		4		
				93	P28		2736	3.1		4		
			剥片	93	O29		1105	1.2		4		
				93	P27		126	8.7		4		
				93	P28		2283	7.6		4		
			剥片		O29	I	18	7.2		4		
				93	P27		514	2.6		4		
				93	P28		1087	12.3		4		
				93	P28		4110	3.1		4		
				93	P28		5293	6.5		4		
			剥片	93	P27		18	5.4		4		
				93	Q27		491	6.2		4		
				93	Q27		515	4.4		4		
			剥片	93	P27		37	2.8		4		
				93	P27		230	8.8		4		
				93	P28		1585	1.2		4		
				93	P28		1794	1.1		4		
			剥片	93	P27		42	1.3		4		
				93	Q27		602	10.7		4		
			剥片	93	P27		115	6.5		4		
				93	P28		4270	54.2		4		
			剥片	93	P27		161	4.4		4		
			剥片	93	P27		162	4.1		4		
			剥片	93	P27		214	1.6		4		
				93	Q27		529	12.2		4		
				93	Q27		571	1.0		4		
			剥片	93	P27		217	4.1		4		
			剥片	93	P27		219	30.8		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				93	Q27		674	1.4		4		
				93	Q27		710	3.3		4		
			剥片	93	P27		226	4.6		4		
				93	P27		400	8.3		4		
				93	Q27		517	21.2		4		
			剥片	93	P27		301	2.3		4		
				93	P28		136	2.2		4		
				93	P28		6900	9.6		4		
				93	P28		7048	4.1		4		
			剥片	93	P27		304	2.2		4		
				93	Q27		702	42.2		4		
			剥片	93	P27		312	1.2		4		
			剥片	93	P27		315	7.5		4		
				93	P28		100	11.5		4		
				93	P28		4109	6.8		4		
				93	Q27		518	3.2		4		
				93	Q27		764	13.3		4		
			剥片	93	P27		440	1.9		4		
			剥片	93	P27		536	4.1		4		
			剥片	93	P28		22	3.3		4		
				93	P28		485	3.2		4		
			剥片	93	P28		31	18.2		4		
				93	P28		830	3.3		4		
				93	P28		833	1.5		4		
				93	Q27		676	1.8		4		
			剥片	93	P28		36	2.2		4		
				93	P28		287	6.8		4		
				93	P28		1083	17.2		4		
				93	P28		2626	6.2		4		
				93	P28		2824	3.3		4		
				93	Q27		496	5.9		4		
			剥片	93	P28		95	31.6		4		
				93	P28		1105	32.7		4		
			剥片	93	P28		138	3.1		4		
				93	P28		2625	13.8		4		
			剥片	93	P28		214	4.5		4		
			剥片	93	P28		255	2.1		4		
				93	P28		6473	2.6		4		
				93	P29		1213	3.6		4		
			剥片	93	P28		259	1.9		4		
				93	P28		829	7.1		4		
			剥片	93	P28		270	5.7		4		
				93	P28		3261	3.7		4		
				93	P28		3884	5.0		4		
			剥片	93	P28		314	2.7		4		
			剥片	93	P28		325	1.4		4		
				93	P28		1506	14.3		4		
			剥片	93	P28		383	2.5		4		
			剥片	93	P28		476	2.1		4		
			剥片	93	P28		479	2.5		4		
			剥片	93	P28		491	3.2		4		
				93	P28		1782	7.8		4		
				93	P28		4793	1.4		4		
			剥片	93	P28		724	4.3		4		
				93	P28		6124	1.5		4		
			剥片	93	P28		778	35.2		4		
			剥片	93	P28		790	1.1		4		
			剥片	93	P28		798	31.3		4		
				93	P28		811	18.9		4		
				93	P28		1112	1.9		4		
				93	P28		1577	51.9		4		
				93	P28		1607	3.8		4		
				93	P28		2408	29.8		4		
			剥片	93	P28		970	3.2		4		
				93	P28		1501	12.5		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				93	P28		3234	4.4		4		
				93	P28		5212	7.1		4		
			剥片	93	P28		1106	5.4		4		
			剥片	93	P28		1123	3.5		4		
			剥片	93	P28		1151	0.8		4		
			剥片	93	P28		1366	6.3		4		
				93	P28		3783	6.4		4		
			剥片	93	P28		1394	3.6		4		
				93	P28		1587	2.8		4		
				93	P28		4113	25.2		4		
			剥片	93	P28		1514	15.7		4		
			剥片	93	P28		1581	23.0		4		
			剥片	93	P28		1724	2.2		4		
			縦長剥片	93	P28		1725	16.0		4		
				93	Q27		686	26.3		4		
			剥片	93	P28		1775	52.2		4		
				93	Q27		664	1.6		4		
			剥片	93	P28		1777	6.5		4		
				93	P28		1940	5.5		4		
			剥片	93	P28		1779	3.2		4		
				93	P28		3891	3.6		4		
				93	P28		6829	5.6		4		
				93	Q27		653	14.7		4		
			剥片	93	P28		1801	6.4		4		
			剥片	93	P28		1803	22.3		4		
				93	P28		2714	6.0		4		
				93	P28		4669	7.4		4		
				93	P28		7085	38.4		4		
				93	Q27		711	2.7		4		
			剥片	93	P28		2273	4.4		4		
				93	P28		4658	12.1		4		
			剥片	93	P28		2320	6.5		4		
			剥片	93	P28		2362	3.9		4		
			剥片	93	P28		2395	8.7		4		
			剥片	93	P28		2400	12.6		4		
			剥片	93	P28		2629	1.6		4		
				93	P28		3905	4.1		4		
			剥片	93	P28		3267	10.2		4		
			剥片	93	P28		3344	2.1		4		
				93	P28		4661	4.0		4		
			剥片	93	P28		3735	3.6		4		
			剥片	93	P28		4222	0.7		4		
			剥片	93	P28		4313	2.9		4		
				93	Q27		289	117.1		4		
			剥片	93	P28		4666	6.0		4		
			剥片	93	P28		4938	2.8		4		
			剥片	93	P28		5758	3.0		4		
			剥片	93	P28		6137	5.6		4		
			剥片	93	P28		6205	2.9		4		
			剥片	93	P28		7123	12.0		4		
			剥片	93	P28		7440	4.3		4		
			剥片	93	P29		83	2.0		4		
			剥片	93	P29		728	4.9		4		
			剥片	93	Q27		648	5.0		4		
			剥片	93	Q27		656	3.7		4		
			剥片	93	Q27		670	4.5		4		
			剥片	93	Q27		671	3.2		4		
			剥片	93	Q27		703	3.2		4		
			剥片	93	Q27		705	2.7		4		
			剥片	93	Q27		712	18.1		4		
			剥片	93	Q27		768	2.8		4		
			剥片	93	Q27		769	2.4		4		
			剥片	93	Q27		770	20.1		4		
				93	Q27		825	5.8		4		
Ⅲ-302	216	351	接合資料	88･93				1379.3	157	4	887	3883

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	93	N29		291	2.8		4		
			縦長剥片		N29	Ⅰ	21	16.1		4		
				93	P28		6164	27.2		4		
				93	P29		380	3.0		4		
			剥片	93	N31		81	4.6		4		
			剥片	93	O29		58	1.6		4		
				93	P29		647	4.2		4		
			縦長剥片	93	O29		451	4.9		4		
				93	O29		1693	13.5		4		
				93	P28		7088	27.5		4		
			剥片	93	O29		635	1.1		4		
			剥片	93	O29		659	1.6		4		
				93	O29		1541	3.5		4		
			剥片	93	O29		665	2.1		4		
			剥片	93	O29		832	6.7		4		
				93	P28		6338	8.6		4		
			剥片	93	O29		910	4.9		4		
				93	O29		2005	1.7		4		
			剥片	93	O29		1010	6.2		4		
				93	P29		259	8.0		4		
			剥片	93	O29		1014	3.1		4		
				93	O29		1715	10.0		4		
				93	P28		7719	11.1		4		
			剥片	93	O29		1195	11.7		4		
			剥片	93	O29		1201	4.6		4		
			剥片	93	O29		1231	1.6		4		
				93	O29		2432	8.3		4		
					P28	Ⅱ	212	1.5		4		
				93	P29		396	11.2		4		
			剥片	93	O29		1300	51.7		4		
				93	P28		2769	8.3		4		
				93	P28		5342	53.5		4		
				93	P28		7675	3.0		4		
			剥片	93	O29		1410	13.9		4		
				93	P28		2853	1.7		4		
				93	P28		4426	2.5		4		
				93	P28		6152	1.9		4		
				93	P29		1060	12.4		4		
			剥片	93	O29		1417	2.5		4		
			剥片	93	O29		1513	2.2		4		
			剥片	93	O29		1615	4.9		4		
			剥片	93	O29		1627	11.7		4		
				93	P28		7984	4.7		4		
			剥片	93	O29		1636	4.3		4		
					P28	Ⅱ	207	1.0		4		
				93	P29		277	1.6		4		
			剥片	93	O29		1696	3.5		4		
			剥片	93	O29		1779	8.3		4		
			剥片	93	O29		1784	2.4		4		
				93	P28		6881	3.5		4		
			剥片	93	O29		1813	4.9		4		
				93	P28		5412	1.9		4		
				93	P28		5823	8.6		4		
			剥片	93	O29		1895	3.3		4		
				93	O29		2012	3.5		4		
				93	P28		5288	21.5		4		
				93	P28		6231	34.3		4		
			剥片	93	O29		1909	1.7		4		
			剥片	93	O29		1950	3.1		4		
			剥片	93	O29		1954	2.1		4		
			剥片	93	O29		1977	21.9		4		
				93	O29		2020	2.7		4		
			剥片	93	O29		2013	2.4		4		
			剥片	93	O29		2031	3.7		4		
			剥片	93	O29		2474	5.3		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片		O29	Ⅰ	107	6.5		4		
				93	P29		1080	7.0		4		
			剥片		O29	Ⅱ	180	1.9		4		
			剥片		O29	Ⅱ	181	0.8		4		
			剥片	93	O30		589	1.8		4		
			彫器	93	P28		525	2.2		4		
			剥片	93	P28		558	3.6		4		
				93	P28		5794	2.8		4		
			剥片	93	P28		1902	16.3		4		
			剥片	93	P28		2217	6.1		4		
			剥片	93	P28		3624	8.0		4		
Ⅲ-243	190	248	舟底形石器	93	P28		4059	2.3		4		
			剥片	93	P28		4484	4.0		4		
			剥片	93	P28		4494	1.4		4		
			剥片	93	P28		4502	2.7		4		
				93	P28		5005	1.7		4		
			剥片	93	P28		4631	55.1		4		
				93	P29		918	32.1		4		
			剥片	93	P28		4940	5.6		4		
			剥片	93	P28		5352	20.5		4		
				93	P28		5353	3.4		4		
			剥片	93	P28		5385	14.3		4		
				93	P28		7980	17.8		4		
			剥片	93	P28		5388	3.2		4		
			剥片	93	P28		5492	4.5		4		
				93	P28		6498	3.3		4		
			剥片	93	P28		5815	3.4		4		
			剥片	93	P28		6012	8.5		4		
			縦長剥片	93	P28		6026	8.2		4		
				93	P29		1102	12.1		4		
			剥片	93	P28		6334	6.7		4		
				93	P28		7117	6.5		4		
				93	P28		7947	20.1		4		
				93	P29		810	7.2		4		
				93	P29		846	20.1		4		
				93	P29		1238	3.9		4		
			剥片	93	P28		6343	14.8		4		
			剥片	93	P28		6501	2.9		4		
			剥片	93	P28		6512	5.1		4		
			剥片	93	P28		6836	3.2		4		
			剥片	93	P28		6889	11.8		4		
			剥片	93	P28		7047	1.9		4		
			剥片	93	P28		7061	4.4		4		
			剥片	93	P28		7095	5.9		4		
			剥片	93	P28		7128	35.4		4		
				93	P29		1072	87.0		4		
			剥片	93	P28		7138	8.8		4		
				93	P29		1278	3.1		4		
			剥片	93	P28		7315	15.4		4		
				93	P28		8054	15.3		4		
				93	P29		411	1.9		4		
			剥片	93	P28		7334	3.4		4		
			剥片	93	P28		7346	25.4		4		
			剥片	93	P28		7468	2.6		4		
			剥片	93	P28		7577	1.7		4		
				93	P28		7839	5.3		4		
				93	P29		1170	3.4		4		
					排土		50	4.3		4		
			剥片	93	P28		7660	0.9		4		
			剥片	93	P28		7686	6.9		4		
					P28	Ⅱ	206	1.8		4		
			剥片	93	P28		7756	3.6		4		
			剥片	93	P28		7926	13.6		4		
			剥片	93	P28		7935	4.2		4		
			剥片	93	P28		7954	7.6		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	93	P28		7973	2.2		4		
			剥片	93	P28		8103	3.4		4		
Ⅲ-243	190	238	舟底形石器		P28	Ⅱ	8	0.8		4		
			剥片		P28	Ⅱ	208	1.7		4		
			剥片		P28	Ⅱ	209	3.0		4		
			剥片		P28	Ⅱ	210	2.1		4		
					P28	Ⅱ	211	2.2		4		
Ⅲ-242	190	236	削器	93	P29		14	24.4		4		
			剥片	93	P29		172	15.0		4		
			剥片	93	P29		391	3.0		4		
			剥片	93	P29		651	4.5		4		
			剥片	93	P29		739	0.7		4		
			剥片	93	P29		809	3.8		4		
Ⅲ-224	178	42	尖頭器	93	P29		903	43.7		4		
			剥片	93	P29		924	2.8		4		
			剥片	93	P29		1025	2.2		4		
			剥片	93	P29		1054	3.3		4		
			剥片	93	P29		1062	5.8		4		
			剥片	93	P29		1091	1.1		4		
			剥片	93	P29		1163	6.3		4		
			剥片	93	P29		1184	1.9		4		
			剥片	93	P29		1187	10.2		4		
			剥片	93	P29		1224	4.8		4		
			剥片	93	P29		1246	1.9		4		
Ⅲ-235	185	129	彫器	93	Q27		97	9.4		4		
			剥片	93	Q28		260	23.9		4		
Ⅲ-127	102	141	舟底形石器	88	S31		4	34.7		4		
Ⅲ-305	217	353	接合資料	93				909.5	69	4	927	4044
			剥片	93	O29		253	1.0		4		
			剥片	93	O29		362	3.1		4		
				93	P28		3790	2.9		4		
				93	Q27		558	30.6		4		
			剥片	93	O29		774	2.0		4		
				93	P28		823	6.6		4		
			剥片	93	O29		845	16.5		4		
				93	P28		1602	1.4		4		
				93	P28		1831	3.7		4		
				93	Q27		120	1.1		4		
				93	Q27		429	1.7		4		
			剥片	93	O29		950	3.1		4		
			剥片		O29	Ⅰ	105	2.4		4		
			剥片	93	P27		13	2.5		4		
			剥片	93	P27		34	2.5		4		
			剥片	93	P27		120	4.8		4		
				93	P28		882	3.1		4		
				93	Q27		302	1.5		4		
			剥片	93	P27		122	32.9		4		
				93	P28		602	4.4		4		
			剥片	93	P27		130	6.4		4		
			剥片	93	P27		133	4.1		4		
				93	P28		650	6.9		4		
				93	P28		1536	9.2		4		
			剥片	93	P27		273	90.3		4		
			剥片	93	P27		532	78.6		4		
				93	P28		1255	2.3		4		
				93	Q27		112	1.9		4		
Ⅲ-240	189	217	削器	93	P28		10	78.0		4		
			剥片	93	P28		55	22.7		4		
				93	Q27		300	1.0		4		
			剥片	93	P28		98	22.1		4		
			剥片	93	P28		106	84.3		4		
			剥片	93	P28		170	6.8		4		
				93	P28		245	3.6		4		
				93	P28		2143	1.2		4		
					P29	Ⅰ	62	0.7		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				93	Q27		118	5.8		4		
			剥片	93	P28		384	2.9		4		
				93	P28		1157	2.0		4		
			剥片	93	P28		751	25.1		4		
			剥片	93	P28		821	2.3		4		
			剥片	93	P28		835	6.3		4		
				93	P28		1774	33.1		4		
				93	P28		6975	3.7		4		
			剥片	93	P28		839	7.5		4		
				93	Q27		594	2.2		4		
			剥片	93	P28		1046	1.5		4		
			剥片	93	P28		1149	5.8		4		
					Q28	I	8	12.0		4		
					Q28	I	9	10.9		4		
			剥片	93	P28		1601	7.5		4		
				93	Q27		115	6.2		4		
			剥片	93	P28		2924	8.9		4		
			剥片	93	P28		3625	1.7		4		
			剥片	93	P29		521	2.9		4		
			剥片	93	Q27		82	2.4		4		
			剥片	93	Q27		86	31.3		4		
			尖頭器	93	Q27		206	31.3		4		
			剥片	93	Q27		231	2.8		4		
			剥片	93	Q27		294	31.7		4		
			剥片	93	Q27		311	8.5		4		
			剥片	93	Q27		409	7.4		4		
				93	Q27		453	8.5		4		
			剥片	93	Q27		450	2.2		4		
			剥片	93	Q27		557	31.2		4		
			剥片	93	Q27		595	9.9		4		
			剥片	93	Q27		603	43.4		4		
			剥片		Q27	I	10	2.7		4		
Ⅲ-307	218	354	接合資料	95･97				3496.5	111	2	789	3515
			剥片	97	L22		3206	13.9		2		
				95	M27		621	5.9		2		
				95	O26		190	161.2		2		
			剥片	95	M27		141	4.0		2		
				95	M28		18	2.5		2		
				95	N26		624	12.1		2		
			剥片	95	M27		169	32.8		2		
				95	N26		688	44.2		2		
			剥片	95	M27		214	8.9		2		
				95	M27		508	12.1		2		
				95	N26		591	16.6		2		
			剥片	95	M27		218	241.3		2		
					M27	Ⅱ	13	2.2		2		
				95	N27		958	13.7		2		
			剥片	95	M27		379	17.5		2		
				95	M27		859	151.4		2		
			剥片	95	M27		434	19.6		2		
				95	N27		84	0.9		2		
				95	N27		229	29.9		2		
				95	O27		779	54.5		2		
			剥片	95	M27		470	43.5		2		
				95	M28		681	15.8		2		
				95	N26		649	15.7		2		
				95	O27		1134	10.8		2		
			剥片	95	M27		620	430.3		2		
			剥片	95	M27		632	18.8		2		
				95	M27		748	33.6		2		
			剥片	95	M27		740	57.7		2		
				95	N26		654	4.7		2		
				95	N27		1689	1.6		2		
			剥片	95	M27		861	2.8		2		
				95	M28		314	1.5		2		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				95	M28		592	10.9		2		
					B調		154	11.2		2		
					B調		160	3.1		2		
			剥片	95	M27		1234	78.1		2		
				95	N26		670	7.3		2		
				95	N27		1445	24.2		2		
			剥片	95	M27		1478	85.2		2		
			剥片		M28	I	13	15.5		2		
				95	N27		1512	6.0		2		
				95	O27		1257	24.6		2		
			剥片		M29	I	18	5.9		2		
			剥片		M32	I	26	8.6		2		
					B調		159	6.4		2		
			剥片	95	N26		633	63.3		2		
				95	N26		655	218.9		2		
			剥片	95	N26		635	85.9		2		
				95	N26		642	3.7		2		
			剥片	95	N26		646	71.0		2		
			剥片	95	N27		21	7.0		2		
			剥片	95	N27		37	7.5		2		
				95	O27		619	6.8		2		
				95	O27		1080	34.9		2		
			剥片	95	N27		51	16.2		2		
			剥片	95	N27		79	10.4		2		
				95	O27		883	33.7		2		
			剥片	95	N27		308	17.9		2		
			剥片	95	N27		348	15.8		2		
				95	N27		732	12.7		2		
			剥片	95	N27		353	8.1		2		
				95	N27		697	35.2		2		
			剥片	95	N27		357	2.9		2		
			剥片	95	N27		665	76.3		2		
			剥片	95	N27		756	54.9		2		
				95	O26		598	11.7		2		
			剥片	95	N27		1216	3.7		2		
				95	O26		314	20.9		2		
				95	O27		441	13.4		2		
				95	O27		1045	43.9		2		
			剥片	95	N27		1419	12.7		2		
			剥片	95	N28		42	213.5		2		
				95	O27		931	5.4		2		
				95	O27		1644	33.8		2		
			剥片	95	N28		119	5.8		2		
				95	O27		546	9.9		2		
			剥片	95	N28		132	3.3		2		
			剥片	95	N28		157	2.8		2		
				95	O27		531	12.4		2		
			剥片	95	N28		223	20.9		2		
			剥片	95	N28		264	17.6		2		
			剥片	95	N28		370	12.0		2		
				95	O27		627	8.3		2		
			剥片	95	N28		450	33.0		2		
			剥片	95	O26		171	24.9		2		
				95	O26		536	9.0		2		
			剥片	95	O26		174	2.9		2		
			剥片	95	O26		189	10.3		2		
			剥片	95	O26		243	17.2		2		
			剥片	95	O26		466	38.6		2		
			剥片	95	O27		36	78.1		2		
				95	O27		618	11.4		2		
			剥片	95	O27		113	19.6		2		
			剥片	95	O27		257	40.5		2		
			剥片	95	O27		379	9.7		2		
			剥片	95	O27		416	9.6		2		
			剥片	95	O27		432	31.2		2		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				95	O27		688	14.2		2		
			剥片	95	O27		676	12.1		2		
				95	O27		761	4.2		2		
			剥片	95	O27		753	4.0		2		
			剥片	95	O27		789	7.5		2		
			剥片	95	O27		1347	6.4		2		
				95	O27		1548	8.9		2		
					B調		165	5.1		2		
			剥片	95	O27		1452	11.6		2		
			剥片		B調		161	18.4		2		
			剥片		B調		162	5.5		2		
					B調		163	6.9		2		
					B調		164	10.5		2		
			剥片		B調		179	41.1		2		
Ⅲ-309	217	355	接合資料	90･92				1625.1	80	1	717	3257
			剥片		K33	I	60	86.2		1		
			剥片		L33	I	26	6.8		1		
			剥片	90	M32		124	41.7		1		
				92	M32		160	24.9		1		
			剥片	92	M32		138	30.2		1		
				92	M32		376	5.3		1		
			剥片	92	M32		152	7.3		1		
			剥片	92	M32		227	65.1		1		
				92	M33		219	3.0		1		
					M33	I	10	1.5		1		
			剥片	92	M32		236	24.4		1		
			剥片	92	M32		334	2.5		1		
				92	M32		344	12.3		1		
				92	M32		390	28.6		1		
			剥片	92	M32		346	5.6		1		
				92	N32		1037	12.0		1		
			剥片	92	M32		348	9.0		1		
				92	N32		92	5.9		1		
				92	N32		474	10.3		1		
				92	N32		888	14.7		1		
			剥片	92	M32		386	16.0		1		
				92	M33		261	14.6		1		
				92	N32		1068	10.0		1		
			剥片	92	M32		422	8.6		1		
				92	N32		283	27.7		1		
				92	N32		646	7.6		1		
				92	N32		889	8.8		1		
			剥片	92	M32		435	20.9		1		
			縦長剥片	92	M32		467	22.3		1		
			剥片	92	M32		503	40.8		1		
				92	M32		998	7.5		1		
			剥片	92	M32		507	7.4		1		
				92	M32		894	27.0		1		
			剥片	92	M32		531	42.8		1		
				92	N32		391	15.1		1		
				92	N32		895	61.2		1		
			縦長剥片	92	M32		541	25.8		1		
			剥片	92	M32		789	104.5		1		
				92	N32		1063	35.3		1		
			剥片	92	M32		934	9.6		1		
				92	N32		497	12.4		1		
				92	N32		726	14.6		1		
			剥片	92	M32		1085	4.6		1		
			剥片		M32	I	27	22.7		1		
				92	N32		617	41.7		1		
			剥片		M32	I	28	56.8		1		
				92	N32		675	3.5		1		
					N32	I	38	1.6		1		
			剥片		M32	I	31	53.4		1		
			剥片		M32	I	32	27.5		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片		M32	I	35	3.2		1		
			剥片		M32	I	37	24.5		1		
			剥片		M33	I	8	10.3		1		
			剥片	92	N32		123	3.8		1		
				92	N32		677	4.2		1		
				92	N32		773	2.9		1		
			剥片	92	N32		347	7.7		1		
				92	N32		645	7.4		1		
				92	N32		671	7.2		1		
			剥片	92	N32		356	23.6		1		
			剥片	92	N32		423	8.4		1		
			剥片	92	N32		430	62.8		1		
				92	N32		491	25.2		1		
				92	N32		729	13.0		1		
			剥片	92	N32		454	7.2		1		
				92	N32		1053	4.6		1		
			剥片	92	N32		502	6.8		1		
				92	N32		668	2.9		1		
			剥片	92	N32		522	19.3		1		
			剥片	92	N32		600	11.4		1		
				92	N32		907	68.2		1		
			剥片	92	N32		676	7.4		1		
				92	N32		891	37.1		1		
				92	N32		1041	14.1		1		
			剥片	92	N32		697	5.6		1		
					N32	I	37	3.0		1		
			剥片	92	N32		814	3.0		1		
			剥片	92	N32		829	33.8		1		
			剥片	92	N32		910	20.1		1		
			剥片	92	N32		1069	26.8		1		
Ⅲ-310	220	356	接合資料	90･92				1185.1	85	1	716	3252
			剥片	90	L31		414	152.6		1		
			剥片	92	M32		275	4.4		1		
				92	M32		313	10.7		1		
			剥片	92	M32		319	11.5		1		
					M32	I	40	22.5		1		
Ⅲ-230	182	59	尖頭器	92	M32		511	84.6		1		
			剥片	92	M32		698	12.9		1		
				92	N32		539	2.4		1		
				92	N32		827	34.9		1		
				92	N32		1035	4.7		1		
			剥片	92	M32		922	2.2		1		
				92	N31		473	4.3		1		
				92	N32		74	7.2		1		
			剥片	92	M32		1067	6.1		1		
					N32	I	45	2.6		1		
			剥片		M32	I	2	4.8		1		
				92	N32		297	12.9		1		
			剥片		M32	I	3	4.9		1		
				92	N32		315	11.6		1		
			剥片		M32	I	38	20.9		1		
			剥片		M32	I	39	8.2		1		
			剥片		M32	I	41	8.2		1		
			剥片		M32	I	42	9.7		1		
					M32	I	43	10.5		1		
			剥片		M32	I	44	9.7		1		
			剥片		M32	I	45	3.2		1		
				92	N31		153	3.1		1		
					N31	I	35	27.8		1		
			剥片		M32	I	48	6.2		1		
				92	N32		72	22.9		1		
				92	N32		447	5.9		1		
			剥片	92	N31		94	2.7		1		
			剥片	92	N31		110	4.9		1		
			剥片	92	N31		118	33.0		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				92	N31		351	2.2		1		
			剥片	92	N31		120	1.5		1		
				92	N32		134	7.1		1		
				92	N32		229	12.3		1		
			剥片	92	N31		128	2.1		1		
				92	N32		445	11.3		1		
				92	N32		632	4.0		1		
				92	N32		1009	6.6		1		
					N32	Ⅰ	42	9.1		1		
					N32	Ⅰ	47	4.3		1		
			剥片	92	N31		158	36.3		1		
			剥片	92	N31		361	9.6		1		
					N32	Ⅰ	48	5.2		1		
			剥片	92	N31		522	7.1		1		
					N31	Ⅰ	37	12.8		1		
			剥片	92	N31		523	4.4		1		
				92	N31		538	5.8		1		
			剥片		N31	Ⅰ	36	7.9		1		
			剥片	92	N32		15	7.9		1		
			剥片	92	N32		19	8.7		1		
				92	N32		755	23.4		1		
					N32	Ⅰ	44	1.7		1		
			剥片	92	N32		43	6.5		1		
			剥片	92	N32		54	1.5		1		
					N32	Ⅰ	46	6.6		1		
Ⅲ-230	182	58	尖頭器	92	N32		64	39.3		1		
			剥片	92	N32		69	24.5		1		
				92	N32		129	1.4		1		
				92	N32		568	10.2		1		
				92	N32		897	3.4		1		
			剥片	92	N32		136	25.7		1		
			剥片	92	N32		150	31.9		1		
			剥片	92	N32		235	3.4		1		
			剥片	92	N32		299	1.4		1		
				92	N32		321	20.1		1		
			剥片	92	N32		316	14.1		1		
				92	N32		402	24.5		1		
			剥片	92	N32		399	52.3		1		
				92	N32		472	1.6		1		
			剥片	92	N32		439	7.8		1		
			剥片	92	N32		523	32.7		1		
			剥片	92	N32		604	1.6		1		
			剥片	92	N32		624	1.9		1		
			剥片	92	N32		654	2.7		1		
			剥片	92	N32		696	5.1		1		
				92	N32		707	9.5		1		
			剥片	92	N32		761	37.6		1		
				92	N32		785	10.3		1		
			剥片	92	N32		826	13.5		1		
			剥片	92	N32		957	20.5		1		
			剥片		N32	Ⅰ	43	7.5		1		
Ⅲ-311	221	357	接合資料	95				1972.8	89	3･4	850	3745
			剥片	95	L27		519	6.1		3		
			剥片	95	L27		809	9.5		4		
			剥片	95	L27		815	3.6		3		
			剥片	95	L27		875	8.3		4		
			剥片	95	L27		931	27.2		4		
			剥片	95	L27		932	6.4		3		
				95	M27		1216	28.8		3		
				95	O27		478	1.4		4		
			縦長剥片	95	L27		1140	6.1		4		
					M27	Ⅰ	1	12.3		4		
			剥片	95	L27		1145	61.1		4		
				95	M27		357	19.3		4		
				95	N27		1699	3.9		3		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				95	O27		388	2.4		4		
			剥片	95	L28		19	8.6		3		
			剥片	95	L28		172	3.1		3		
				95	M27		1086	13.0		4		
			剥片	95	L28		362	12.6		3		
			剥片	95	L28		386	30.1		4		
			剥片	95	L28		518	22.5		3		
				95	L28		1649	4.8		3		
				95	N26		315	4.8		4		
				95	P26		218	1.1		4		
			剥片	95	L28		794	19.0		3		
			剥片	95	L28		796	82.8		3		
			剥片	95	L28		1573	3.4		3		
			剥片	95	L28		1775	6.9		3		
			剥片	95	L28		1868	4.7		3		
			剥片	95	L28		1895	8.7		3		
					L28	Ⅱ	13	0.4		4		
				95	M28		135	3.5		4		
			縦長剥片	95	L28		1954	11.2		3		
			剥片		L28	Ⅱ	9	0.9		4		
				95	M27		1136	15.6		4		
			剥片	95	M27		356	14.7		4		
			剥片	95	M27		602	35.5		3		
				95	M27		1559	4.4		3		
			剥片	95	M27		646	17.6		4		
			剥片	95	M27		880	37.0		3		
				95	N26		594	29.6		4		
			剥片	95	M27		1190	21.1		3		
			剥片	95	M27		1407	6.6		4		
			剥片	95	M27		1528	19.1		3		
			剥片	95	M27		1529	18.3		3		
			剥片	95	M27		1541	11.6		3		
			剥片	95	M27		1606	6.6		3		
				95	N26		11	24.8		3		
			剥片	95	M28		574	15.1		4		
				95	N26		288	9.4		4		
				95	N26		595	18.2		4		
			剥片	95	M29		150	12.9		4		
			剥片	95	M29		340	450.4		3		
			剥片	93	M29		781	10.5		4		
			剥片	95	N26		136	10.2		3		
			縦長剥片	95	N26		176	4.4		4		
				95	N26		224	3.8		4		
			縦長剥片	95	N26		223	13.9		4		
			剥片	95	N26		308	13.5		4		
				95	N26		353	3.3		4		
			剥片	95	N26		338	7.5		4		
			剥片	95	N26		375	86.7		4		
				95	N27		707	10.4		3		
			剥片	95	N26		588	25.3		4		
			剥片	95	N26		608	6.8		4		
			剥片	95	N27		279	1.9		4		
				95	N28		171	15.9		3		
				95	O26		682	28.7		4		
			剥片	95	N28		257	16.7		3		
				95	N28		258	1.7		4		
			剥片	95	O26		118	56.5		4		
				95	O26		465	4.0		4		
				95	O26		684	1.6		4		
				95	O27		440	119.5		4		
			剥片	95	O26		202	141.2		4		
				95	O26		590	7.9		4		
				95	O27		372	25.1		4		
			剥片	95	O26		342	1.5		4		
			剥片	95	O26		458	5.9		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
					Q27	I	3	17.7		4		
			剥片	95	O26		464	3.0		4		
				95	O27		616	4.1		4		
			剥片	95	O26		531	33.5		4		
				95	O26		586	6.4		4		
			剥片	95	O26		534	1.7		4		
			剥片	95	O26		538	11.6		4		
				95	O27		1182	5.9		4		
			剥片	95	O26		626	3.8		4		
			剥片	95	O26		640	46.6		4		
			剥片	95	P26		65	7.1		4		
Ⅲ-313	221	358	接合資料	95				271.5	12	1	737	3337
Ⅲ-221	175	28	尖頭器	95	M27		609	122.9		1		
				95	N27		1649	96.6		1		
			剥片	95	N27		1777	4.1		1		
				95	N28		521	2.5		1		
			剥片	95	N28		478	2.9		1		
				95	N29		585	3.9		1		
			剥片	95	N29		439	4.3		1		
			剥片	95	N29		904	4.4		1		
				95	O28		1945	1.2		1		
			剥片	95	O27		26	13.2		1		
			剥片	95	O28		1842	4.3		1		
			剥片	95	O28		1847	11.2		1		
—	222	501	接合資料	95·96·97				4783.1	226	1	725	3276
			石刃	97	I 26		16	13.6		1		
				96	L24		440	42.2		1		
				96	M23		349	1.8		1		
			剥片	96	L23		20	80.6		1		
			剥片	96	L24		38	10.4		1		
			剥片	96	L24		42	6.0		1		
				96	L24		90	21.4		1		
				96	L24		165	9.6		1		
				96	L24		467	16.1		1		
Ⅲ-249	193	291	石刃	96	L24		49	1.7		1		
				96	L24		56	49.6		1		
				96	L24		185	3.9		1		
					L24	I	52	24.8		1		
				96	M23		141	3.2		1		
				96	M23		328	23.4		1		
			剥片	96	L24		83	2.6		1		
			剥片	96	L24		105	1.8		1		
					L24	I	57	24.5		1		
			剥片	96	L24		107	12.7		1		
			剥片	96	L24		108	8.7		1		
				96	L24		336	14.5		1		
					L24	I	61	3.9		1		
			剥片	96	L24		115	7.5		1		
					L24	I	53	10.1		1		
			剥片	96	L24		166	22.0		1		
			剥片	96	L24		191	17.7		1		
				96	M23		392	5.0		1		
			剥片	96	L24		196	3.7		1		
			剥片	96	L24		199	10.0		1		
			剥片	96	L24		200	11.8		1		
			剥片	96	L24		206	21.1		1		
				96	L24		341	10.5		1		
				96	L24		353	4.1		1		
			剥片	96	L24		282	4.4		1		
			剥片	96	L24		309	8.9		1		
			剥片	96	L24		330	12.0		1		
			剥片	96	L24		393	14.1		1		
			剥片	96	L24		446	39.1		1		
			縦長剥片	96	L24		450	31.2		1		
				96	M23		341	15.4		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				96	M23		404	19.9		1		
				96	M23		413	232.6		1		
			剥片	96	L24		461	10.1		1		
			剥片	96	L24		541	2.9		1		
			剥片	96	L24		545	18.7		1		
			剥片		L24	I	43	10.7		1		
			剥片		L24	I	54	16.0		1		
			石刃		L24	I	55	54.1		1		
				96	M23		329	38.1		1		
				96	M23		403	48.1		1		
			剥片		L24	I	56	3.8		1		
			剥片		L24	I	60	3.8		1		
			剥片		L24	II	59	1.6		1		
				96	M23		198	9.0		1		
			剥片	95	L27		530	6.9		1		
				95	L27		717	4.3		1		
				95	M27		796	4.6		1		
			石刃	95	L27		542	6.8		1		
				95	M27		732	27.6		1		
				95	M27		733	6.8		1		
			剥片	95	L27		545	2.0		1		
				95	L27		715	10.2		1		
				95	M27		1059	28.5		1		
			剥片	95	L27		898	22.3		1		
				95	L28		120	30.1		1		
				95	M27		922	17.4		1		
			剥片	95	L27		946	132.4		1		
				95	M27		1196	9.7		1		
			剥片	95	L27		1142	3.7		1		
				95	N26		548	12.4		1		
			剥片	95	L28		7	46.9		1		
			剥片	95	L28		18	2.7		1		
				95	M27		1191	6.9		1		
				95	M27		1374	10.8		1		
			縦長剥片	95	L28		1177	17.0		1		
				95	M27		94	36.9		1		
				95	M27		520	137.0		1		
				95	N26		461	44.9		1		
				95	N26		466	3.5		1		
			石刃	95	L28		1408	18.2		1		
				95	M27		850	57.5		1		
			剥片	95	L28		1593	5.2		1		
				95	N26		547	6.8		1		
			剥片		L28	I	28	9.8		1		
				95	M27		105	9.7		1		
				95	N26		665	5.6		1		
			剥片	95	L29		417	12.3		1		
				95	M27		613	9.9		1		
				95	M28		766	7.8		1		
			剥片	96	M23		98	6.9		1		
				96	M23		364	11.2		1		
			剥片	96	M23		171	1.4		1		
			剥片	96	M23		194	1.5		1		
				96	M23		311	2.9		1		
			剥片	96	M23		210	68.3		1		
			剥片	96	M23		385	27.5		1		
			剥片	96	M23		390	4.0		1		
			剥片	95	M26		347	21.1		1		
			縦長剥片	95	M26		367	15.5		1		
				95	N26		414	3.7		1		
				95	N26		416	5.2		1		
				95	N26		436	43.4		1		
				95	N26		438	19.5		1		
			剥片	95	M26		369	2.0		1		
			剥片	95	M26		489	12.9		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				95	M27		1082	7.2		1		
				95	N26		483	16.0		1		
			剥片	95	M26		491	3.5		1		
			剥片	95	M27		232	59.9		1		
				95	M27		480	7.0		1		
					M27	Ⅱ	19	2.9		1		
			剥片	95	M27		241	7.5		1		
				95	M27		454	2.4		1		
			剥片	95	M27		398	98.7		1		
				95	M27		1156	186.7		1		
			剥片	95	M27		488	22.6		1		
				95	N26		470	92.4		1		
			石刃	95	M27		573	54.4		1		
				95	N27		794	44.6		1		
			剥片	95	M27		596	12.4		1		
			剥片	95	M27		614	135.1		1		
			剥片	95	M27		662	21.7		1		
				95	M27		672	10.2		1		
				95	N26		399	3.6		1		
			剥片	95	M27		676	4.0		1		
			剥片	95	M27		710	38.5		1		
			剥片	95	M27		712	25.6		1		
			剥片	95	M27		716	23.8		1		
				95	M27		887	8.8		1		
			剥片	95	M27		719	1.6		1		
			石刃	95	M27		727	47.9		1		
			剥片	95	M27		794	1.3		1		
				95	M27		883	4.0		1		
				95	M27		1301	3.0		1		
				95	M27		1330	12.1		1		
			石刃	95	M27		869	5.2		1		
				95	M27		1182	3.6		1		
			剥片	95	M27		875	8.3		1		
			剥片	95	M27		890	12.7		1		
			縦長剥片	95	M27		915	63.4		1		
				95	N26		430	52.1		1		
			剥片	95	M27		921	2.5		1		
				95	M28		116	34.9		1		
				95	N27		869	4.6		1		
			剥片	95	M27		1050	3.3		1		
				95	M27		1282	2.7		1		
				95	N26		424	2.8		1		
			剥片	95	M27		1088	184.0		1		
			剥片	95	M27		1184	2.9		1		
			剥片	95	M27		1202	7.9		1		
			剥片	95	M27		1228	2.7		1		
			剥片	95	M27		1285	10.4		1		
			剥片	95	M27		1386	15.5		1		
			剥片	95	M27		1505	12.1		1		
			剥片	95	M27		1526	17.3		1		
			剥片	95	M27		1577	9.3		1		
			剥片	95	M27		1581	7.7		1		
				95	N26		462	2.3		1		
				95	N26		562	7.0		1		
			剥片	95	M27		1595	15.1		1		
			剥片		M27	Ⅰ	16	37.4		1		
					M27	Ⅰ	17	3.4		1		
				95	N26		653	11.0		1		
			剥片		M27	Ⅱ	18	0.9		1		
			剥片	95	M28		647	6.9		1		
			剥片	95	M28		664	3.2		1		
				95	O26		610	9.3		1		
				95	O27		1060	50.8		1		
			剥片	95	M28		675	11.8		1		
			剥片	96	N23		185	6.8		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	96	N23		195	6.2		1		
			剥片	95	N26		123	12.2		1		
				95	N26		350	2.1		1		
				95	N26		351	52.8		1		
			剥片	95	N26		327	7.8		1		
				95	N26		328	4.9		1		
				95	N26		567	11.7		1		
			剥片	95	N26		384	9.1		1		
			剥片	95	N26		408	135.2		1		
			剥片	95	N26		425	14.5		1		
				95	N26		440	7.6		1		
			剥片	95	N26		443	2.7		1		
				95	N26		669	15.0		1		
			剥片	95	N26		450	2.0		1		
				95	N27		132	8.7		1		
				95	N27		138	19.2		1		
				95	N27		1287	3.8		1		
				95	O26		157	2.6		1		
			剥片	95	N26		465	3.0		1		
				95	N26		577	124.3		1		
			剥片	95	N26		467	30.7		1		
			剥片	95	N26		468	2.6		1		
				95	N26		543	1.8		1		
			剥片	95	N26		488	5.4		1		
			剥片	95	N26		512	12.0		1		
			剥片	95	N26		531	40.4		1		
				95	N26		539	49.2		1		
			剥片	95	N26		533	3.0		1		
			剥片	95	N26		535	79.1		1		
			剥片	95	N26		536	10.1		1		
			剥片	95	N26		546	4.3		1		
			剥片	95	N26		566	14.5		1		
			剥片	95	N26		590	2.3		1		
			剥片	95	N27		81	4.3		1		
				95	O26		606	3.2		1		
				95	O27		1447	40.1		1		
				95	O27		1448	8.4		1		
			剥片	95	N27		83	4.2		1		
				95	N27		194	31.8		1		
					B調		151	16.5		1		
			剥片	95	N27		1322	6.9		1		
			剥片	95	N28		262	13.6		1		
				95	N28		270	17.4		1		
				95	O27		1318	3.4		1		
			剥片	95	O26		182	4.2		1		
			剥片	95	O26		361	17.8		1		
					B調		153	9.6		1		
			剥片	95	O26		573	20.6		1		
			剥片	95	O26		622	16.9		1		
				95	O26		678	6.7		1		
			剥片	95	O26		636	47.4		1		
			剥片	95	O27		1024	17.5		1		
				95	O27		1543	28.4		1		
			剥片	95	O27		1494	46.3		1		
			剥片		O27	Ⅰ	19	7.0		1		
			剥片		B調		176	1.8		1		
Ⅲ-318	225	361	接合資料	90･93･95				1617.3	107	1	728	3287
			石刃	95	J28		2	30.5		1		
				95	J28		17	15.5		1		
				95	J28		35	8.0		1		
				95	J29		35	4.9		1		
					K28	Ⅰ	3	51.1		1		
				95	K29		83	24.5		1		
				95	L28		1159	11.2		1		
			剥片	95	J28		3	49.2		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			石刃	95	J28		4	20.2		1		
				95	K29		91	15.4		1		
				95	L27		1202	56.4		1		
			剥片	95	J28		6	13.9		1		
				95	J28		8	7.6		1		
			剥片	95	J28		10	3.3		1		
					L27	Ⅱ	26	0.8		1		
			剥片	95	J28		11	8.7		1		
				95	J29		49	48.3		1		
				95	J29		75	7.6		1		
					L27	Ⅱ	27	1.6		1		
			石刃	95	J28		16	27.2		1		
			剥片	95	J28		23	37.1		1		
			剥片	95	J28		28	106.7		1		
			石刃	95	J28		30	13.9		1		
			石刃	95	J28		34	19.1		1		
				95	L27		1233	10.1		1		
			石刃	95	J29		61	10.8		1		
				95	K28		43	31.4		1		
				95	K29		447	2.3		1		
				95	L27		1239	4.6		1		
			剥片		J29	Ⅱ	3	1.7		1		
				95	L27		952	5.0		1		
			剥片	95	J30		174	26.3		1		
				95	J30		235	2.3		1		
				93	K30		321	4.1		1		
				95	K30		472	4.6		1		
				95	K30		473	10.4		1		
Ⅲ-235	186	138	彫器	95	J30		183	23.3		1		
			剥片	90	J31		2333	2.4		1		
			剥片	95	K28		120	25.4		1		
				95	K28		121	76.0		1		
				95	K29		13	3.4		1		
				95	M27		1492	2.7		1		
			剥片	95	K29		433	4.1		1		
Ⅲ-236	186	147	彫器	95	K30		469	5.6		1		
			彫器削片	95	K30		470	5.2		1		
			剥片	95	L27		760	2.3		1		
			石刃	95	L27		974	44.9		1		
				95	L27		1091	52.1		1		
				95	L27		1136	49.3		1		
			剥片	95	L27		1038	2.3		1		
			剥片	95	L27		1075	20.3		1		
			剥片	95	L27		1131	23.7		1		
			剥片		L27	Ⅱ	28	2.0		1		
			剥片	95	L28		1157	6.7		1		
			剥片	93	L30		317	5.3		1		
			剥片	95	M27		376	2.2		1		
				95	N27		1613	1.3		1		
			剥片	95	M27		469	9.5		1		
			石刃	95	M27		1164	5.6		1		
					M28	Ⅱ	14	1.2		1		
			縦長剥片	95	M27		1238	2.8		1		
				95	N27		1371	1.4		1		
			縦長剥片	95	M28		294	8.5		1		
				95	M28		773	15.1		1		
			剥片	95	M28		410	5.1		1		
				95	N27		310	1.4		1		
				95	N27		902	4.3		1		
			剥片	95	M28		572	8.5		1		
			縦長剥片	95	M28		781	14.5		1		
					M28	Ⅰ	11	5.4		1		
			剥片	95	M28		805	8.2		1		
				95	N27		1277	4.5		1		
			剥片	93	M29		220	1.9		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				93	M30		309	11.7		1		
				93	M30		310	12.9		1		
Ⅲ-255	197	325	石核	93	M29		279	119.2		1		
				93	M29		364	26.5		1		
				93	M30		421	24.4		1		
					O31	Ⅰ	13	26.1		1		
			剥片	93	M29		893	5.6		1		
			剥片		M29	Ⅱ	15	1.0		1		
			剥片	93	M30		169	6.6		1		
					M30	Ⅱ	9	0.9		1		
				93	N29		488	2.0		1		
				93	N29		789	5.6		1		
			剥片	93	M30		843	3.2		1		
					M30	Ⅱ	10	1.0		1		
			剥片	95	N27		32	4.3		1		
				95	N27		54	0.9		1		
			縦長剥片	95	N27		525	9.7		1		
				95	N27		1624	22.1		1		
			二次加工ある剥片	95	N27		615	3.0		1		
			剥片	95	N27		847	2.5		1		
			剥片	95	N27		856	1.6		1		
			剥片	95	N27		1711	24.2		1		
			剥片	95	N28		505	7.0		1		
			剥片	93	N29		263	12.1		1		
			剥片	93	N29		478	50.2		1		
				93	N29		1182	4.0		1		
			剥片	93	N29		1192	3.9		1		
				93	N29		1647	19.9		1		
			剥片	93	N29		1194	5.8		1		
			剥片	93	N29		1230	4.8		1		
			剥片	95	O26		692	31.8		1		
			剥片	95	O27		1069	2.9		1		
			剥片	95	O27		1256	1.4		1		
				95	O27		1382	3.8		1		
Ⅲ-321	225	363	接合資料	93				1316.4	88	1	757	3430
			剥片	93	M30		565	3.9		1		
				93	M30		571	1.2		1		
				93	O29		2473	34.0		1		
				93	P28		1951	1.8		1		
				93	P28		2580	2.0		1		
				93	P28		3273	107.9		1		
				93	P28		3679	7.5		1		
				93	P28		3685	7.8		1		
				93	P28		3784	2.4		1		
				93	P28		4119	4.8		1		
				93	P28		4740	4.7		1		
				93	P28		5695	4.3		1		
				93	P28		7175	6.6		1		
				93	Q27		986	12.0		1		
			剥片	93	O28		1594	11.7		1		
				93	P28		5617	9.3		1		
				93	P28		7288	4.1		1		
			剥片	93	O29		1812	2.6		1		
				93	O29		1935	2.8		1		
				93	P28		7931	3.2		1		
			剥片	93	O29		2122	70.9		1		
				93	P28		6711	5.5		1		
				93	P28		6920	4.9		1		
				93	P28		7535	16.0		1		
			剥片	93	P28		1059	74.6		1		
			剥片	93	P28		1433	2.5		1		
				93	P28		7634	16.0		1		
			剥片	93	P28		1987	9.1		1		
				93	P28		6715	8.8		1		
			剥片	93	P28		3196	17.8		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				93	P28		5609	5.3		1		
			剥片	93	P28		3206	2.7		1		
			剥片	93	P28		3348	18.3		1		
				93	Q27		1006	5.2		1		
			剥片	93	P28		3959	41.7		1		
				93	P28		5919	4.9		1		
				93	P28		6311	36.3		1		
			剥片	93	P28		4333	7.5		1		
				93	P28		6717	61.7		1		
			剥片	93	P28		4355	14.2		1		
			剥片	93	P28		4361	16.5		1		
				93	P28		5267	10.8		1		
				93	P28		7160	17.8		1		
				93	Q28		389	20.1		1		
			剥片	93	P28		4375	22.4		1		
				93	P28		4825	3.1		1		
				93	P28		5264	4.8		1		
				93	P28		5603	14.2		1		
				93	P28		6048	27.4		1		
				93	P28		6255	6.8		1		
				93	P28		6713	5.0		1		
				93	P28		6999	8.3		1		
				93	P28		7041	10.4		1		
				93	P28		7441	47.4		1		
				93	P28		7836	4.0		1		
			剥片	93	P28		4697	3.3		1		
				93	P28		6108	15.1		1		
				93	P28		6603	8.1		1		
				93	P28		6760	15.9		1		
			剥片	93	P28		4901	22.2		1		
			縦長剥片	93	P28		4924	2.1		1		
				93	P28		6903	13.4		1		
				93	P28		7167	2.1		1		
				93	Q27		791	12.6		1		
			剥片	93	P28		5280	2.7		1		
			縦長剥片	93	P28		5774	10.8		1		
				93	P28		6719	6.9		1		
				93	P28		7168	10.5		1		
				93	Q27		1010	5.0		1		
			縦長剥片	93	P28		6111	20.3		1		
				93	P28		7021	10.9		1		
				93	P28		7170	5.5		1		
				93	P29		1244	2.9		1		
				93	Q27		854	9.3		1		
			剥片	93	P28		6755	7.3		1		
				93	P28		7571	5.4		1		
			剥片	93	P28		6757	67.9		1		
				93	P28		7736	48.6		1		
				93	Q28		568	2.3		1		
			剥片	93	P28		7220	30.9		1		
			剥片	93	P28		7520	23.1		1		
				93	Q27		997	8.6		1		
			剥片	93	P28		7545	7.0		1		
			縦長剥片	93	P28		7742	21.7		1		
				93	P28		7811	12.2		1		
			剥片	93	Q27		864	6.8		1		
				93	Q27		907	4.4		1		
			剥片	93	Q27		996	13.1		1		
Ⅲ-322	224	364	接合資料	93				742.9	58	2	788	3514
			剥片	93	M30		197	11.9		2		
				93	N29		275	8.9		2		
			縦長剥片	93	N29		251	19.7		2		
				93	N30		428	4.7		2		
				93	P28		6094	10.9		2		
			縦長剥片	93	N29		562	5.4		2		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				93	P28		5281	11.8		2		
				93	P28		7569	12.6		2		
Ⅲ-221	175	29	尖頭器	93	N29		1094	45.6		2		
				93	P28		6480	26.8		2		
			剥片	93	O28		2075	45.5		2		
				93	P28		6096	5.6		2		
			剥片	93	O29		804	4.0		2		
				93	P28		1821	2.4		2		
				93	P28		1827	5.3		2		
				93	Q27		897	4.5		2		
				93	Q27		901	4.4		2		
			剥片	93	O29		1147	2.7		2		
			縦長剥片	93	O29		1343	20.7		2		
				93	P28		6195	19.2		2		
				93	Q27		929	14.7		2		
			剥片	93	O29		1512	5.5		2		
				93	P28		7652	17.5		2		
			剥片	93	O29		1587	5.6		2		
			剥片	93	O29		1589	4.6		2		
				93	Q27		842	12.5		2		
			剥片	93	O29		2117	11.7		2		
			縦長剥片	93	P28		586	4.0		2		
				93	P28		3221	13.2		2		
				93	P28		4358	7.5		2		
			二次加工ある剥片	93	P28		1281	36.2		2		
				93	P28		4678	7.2		2		
				93	P28		7171	3.8		2		
			剥片	93	P28		2427	7.6		2		
				93	Q28		500	10.0		2		
			石刃	93	P28		3358	3.2		2		
				93	P28		6855	26.6		2		
			剥片	93	P28		4372	2.3		2		
				93	P28		6872	3.4		2		
			剥片	93	P28		4613	3.0		2		
			剥片	93	P28		4684	13.6		2		
			石刃	93	P28		4911	10.5		2		
				93	P28		7031	4.6		2		
				93	P28		7148	4.9		2		
			剥片	93	P28		5289	56.9		2		
				93	P28		7866	19.4		2		
				93	Q27		990	77.0		2		
			剥片	93	P28		5405	29.6		2		
			剥片	93	P28		6045	3.6		2		
			縦長剥片	93	P28		6097	1.2		2		
			縦長剥片	93	P28		6166	3.2		2		
			剥片	93	P28		6525	15.8		2		
			縦長剥片	93	P28		6905	5.1		2		
				93	P28		7874	2.2		2		
			剥片	93	P28		7485	4.0		2		
			縦長剥片	93	P28		7574	1.3		2		
			剥片	93	P28		7809	5.5		2		
			二次加工ある剥片	93	Q27		848	11.8		2		
Ⅲ-323	226	365	接合資料	95･96				6656.9	113	1	732	3316
			剥片	96	J25		92	22.3		1		
				95	K25		196	9.3		1		
			剥片	95	J26		7	54.3		1		
				95	K25		18	34.2		1		
				96	L24		368	196.9		1		
			剥片	95	J26		8	28.3		1		
					J26	I	1	53.3		1		
				95	K25		98	7.3		1		
				95	L25		90	118.8		1		
			剥片	95	J26		10	58.6		1		
			剥片	95	J26		12	15.4		1		
				95	K26		144	8.3		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				95	L25		11	41.5		1		
				95	L25		43	6.9		1		
				95	L25		89	367.1		1		
				95	L25		119	80.3		1		
					L25	I	4	234.7		1		
			剥片	95	J26		14	163.3		1		
				95	L25		118	57.8		1		
			剥片	95	J26		15	6.5		1		
				95	K25		40	26.3		1		
				95	L25		9	25.9		1		
				95	L25		10	30.4		1		
				95	L25		12	4.4		1		
				95	L25		79	2.7		1		
			剥片	95	J26		16	23.4		1		
				96	L25		108	2.7		1		
				95	L25		116	74.7		1		
			剥片	95	J26		17	11.8		1		
				95	K25		151	20.3		1		
			剥片	95	J26		20	59.3		1		
				95	K25		183	29.5		1		
			剥片	95	J26		21	3.7		1		
			剥片	95	J26		29	10.0		1		
				95	L25		151	30.0		1		
			剥片	95	J26		31	130.4		1		
				95	J26		35	6.0		1		
				95	L25		80	322.6		1		
				95	L25		162	16.1		1		
			剥片	95	J26		33	9.5		1		
			二次加工ある剥片		J27	I	1	516.8		1		
			剥片		J27	I	3	4.5		1		
				95	K25		75	5.2		1		
			剥片	95	K25		25	25.7		1		
			剥片	95	K25		71	2.1		1		
				95	K26		83	72.5		1		
				95	K26		149	5.2		1		
					K26	I	3	47.5		1		
				95	L25		1	8.0		1		
				95	L25		22	64.0		1		
				95	L25		96	69.0		1		
				95	L25		97	93.7		1		
				95	L25		145	2.1		1		
			縦長剥片	95	K25		74	90.9		1		
				95	L25		74	12.6		1		
				95	P25		290	94.8		1		
			石刃	95	K25		76	12.6		1		
				96	L24		476	20.2		1		
				95	L25		45	7.8		1		
			剥片	95	K25		106	43.6		1		
			剥片	95	K25		110	47.7		1		
				95	L25		16	274.2		1		
				95	L25		17	46.9		1		
				95	L25		137	870.1		1		
			剥片	95	K25		153	29.8		1		
			剥片	95	K25		154	8.3		1		
				95	K25		164	7.1		1		
				95	L25		55	1.3		1		
				95	L25		76	4.6		1		
			剥片	95	K25		193	10.0		1		
			剥片	95	K26		29	2.5		1		
				95	L25		35	41.8		1		
			縦長剥片	95	K26		52	35.6		1		
				95	L25		53	153.1		1		
					L25	I	7	12.5		1		
			縦長剥片	95	L25		2	9.5		1		
				95	M28		87	2.8		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	95	L25		5	3.2		1		
			石刃	95	L25		15	2.9		1		
			剥片	95	L25		19	27.4		1		
				95	L25		70	38.3		1		
			剥片	95	L25		33	15.3		1		
			剥片	95	L25		44	14.5		1		
			石刃	95	L25		47	5.9		1		
				95	O27		310	12.8		1		
				95	O27		800	17.9		1		
			剥片	95	L25		67	168.6		1		
				95	L25		93	7.7		1		
				95	L25		110	24.5		1		
					L25	I	5	41.0		1		
			剥片	95	L25		83	5.8		1		
			剥片	95	L25		87	12.7		1		
			剥片	95	L25		94	54.9		1		
			剥片	95	L25		115	8.1		1		
			剥片	95	L25		127	79.8		1		
				95	L25		131	16.3		1		
			剥片	95	L25		129	39.0		1		
			剥片	95	L25		135	578.2		1		
			剥片	95	M26		267	7.9		1		
				95	O26		45	2.5		1		
				95	O26		294	5.1		1		
Ⅲ-237	186	160	彫器削片	95	N26		34	4.0		1		
Ⅲ-234	184	97	ナイフ形石器	95	N27		209	20.3		1		
Ⅲ-235	185	136	彫器	95	N28		55	29.0		1		
					N29	I	56	43.3		1		
			剥片	95	N28		327	5.6		1		
				95	P25		581	4.7		1		
				95	P25		689	86.4		1		
Ⅲ-234	184	98	ナイフ形石器	95	N29		350	67.3		1		
			剥片	95	O24		3	5.3		1		
Ⅲ-236	186	144	彫器	95	O26		63	23.1		1		
Ⅲ-237	186	159	彫器削片	95	O26		357	3.5		1		
			石刃	95	P25		62	12.7		1		
Ⅲ-326	228	368	接合資料	61·93·95				2975.2	68	1·3·5	933	4061
			縦長剥片	95	J26		11	31.5		5		
				95	J26		30	54.0		5		
			石刃	95	J26		22	7.9		5		
				95	L25		152	35.1		5		
			石刃	95	J26		32	2.4		5		
			石刃	95	J26		37	25.5		5		
				95	L25		21	11.8		5		
				95	L25		31	42.9		5		
			剥片		J26	I	2	1.1		5		
				95	K26		57	0.7		5		
			剥片		J26	I	3	0.7		5		
			縦長剥片		J26	I	4	2.6		5		
			剥片		J27	I	2	11.2		5		
			剥片	95	K25		29	1.4		5		
				95	K25		159	68.8		5		
			剥片	95	K25		33	1.5		5		
			剥片	95	K25		35	5.9		5		
			剥片	95	K25		80	17.0		5		
				95	L25		46	2.9		5		
					L25	I	8	14.1		5		
			剥片	95	K25		150	1.4		5		
			剥片	95	K25		165	1.3		5		
			剥片	95	K25		186	8.3		5		
			剥片	95	K25		192	3.0		5		
				95	K25		194	4.7		5		
			剥片	95	K26		23	1.8		1		
Ⅲ-249	193	293	石刃	95	K26		27	8.2		5		
				93	N29		169	20.7		5		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			石刃	95	K26		51	1.1		5		
			剥片	95	K26		54	1.6		5		
			剥片	95	K26		55	2.0		5		
			剥片	95	K26		81	3.0		5		
			剥片	95	K26		148	3.8		5		
				95	L25		130	10.6		5		
Ⅲ-249	193	294	石刃	95	L25		3	98.5		5		
					L25	Ⅰ	1	146.0		5		
					セ北13~29		26	60.8		5		
			剥片	95	L25		8	3.3		5		
					排土		137	2.8		5		
			縦長剥片	95	L25		18	38.9		5		
					L25	Ⅱ	11	0.9		5		
			剥片	95	L25		42	1.7		5		
Ⅲ-253	196	314	石刃核	95	L25		136	1548.3		5		
			剥片	95	L25		160	372.3		5		
			石刃	95	L25		164	4.2		5		
			剥片		L25	Ⅰ	9	9.1		5		
					L25	Ⅱ	10	1.2		5		
			剥片		M25	Ⅱ	3	1.2		5		
			縦長剥片	95	M27		192	10.7		3		
				95	O26		553	3.7		5		
				95	P24		19	2.3		1		
				95	P24		33	19.8		1		
				95	P24		37	17.7		1		
				95	Q24		37	49.6		5		
				95	Q24		38	20.8		5		
				95	Q24		54	25.8		3		
					Q25	Ⅰ	14	5.5		5		
			剥片	95	N25		16	4.9		5		
Ⅲ-233	184	82	ナイフ形石器	95	N28		47	4.6		5		
				95	O27		410	3.4		5		
			ナイフ形石器	95	O24		1	24.7		5		
Ⅲ-234	184	95	ナイフ形石器	95	O25		255	4.9		5		
					P25	Ⅰ	15	15.1		5		
			石刃	95	P26		91	5.3		1		
				95	Q24		49	4.1		1		
				95	Q24		50	2.3		1		
			剥片	93	P29		942	4.9		5		
Ⅲ-510	399	3	石刃	61	P45		8	45.4		5		
Ⅲ-329	229	370	接合資料	93･95				408.9	49	1･5	934	4063
			石刃		J25	Ⅰ	10	10.6		5		
			石刃	95	M29		190	2.1		1		
					P23	Ⅰ	1	15.3		5		
				95	P25		433	9.2		1		
			二次加工ある剥片	95	N26		297	6.2		1		
				95	P25		705	3.8		1		
Ⅲ-249	193	292	石刃	95	N27		124	3.8		1		
				95	N28		52	16.7		1		
			二次加工ある剥片	95	N27		1253	22.0		5		
				95	N28		105	20.9		1		
Ⅲ-233	184	86	ナイフ形石器	95	N27		1717	5.1		1		
			石刃	95	N28		41	2.8		1		
Ⅲ-233	184	91	ナイフ形石器	95	N29		544	31.7		1		
			二次加工ある剥片	95	O26		199	6.4		1		
			石刃	93	O28		1396	2.0		1		
			剥片	95	P25		398	6.6		1		
			石刃		P25	Ⅰ	12	1.5		5		
				93	R25		36	2.8		1		
					R25	Ⅱ	4	0.6		5		
			石刃	93	P27		189	2.7		1		
			石刃	93	P27		261	25.7		5		
			剥片	93	P27		423	2.1		1		
			石刃	93	P28		29	5.7		1		
			石刃	93	P28		444	19.8		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			石刃	93	P28		6972	32.6		1		
			石刃	95	Q24		10	0.8		1		
			縦長剥片	95	Q24		11	8.3		1		
			石刃		Q25	Ⅰ	12	7.9		5		
				93	R25		29	39.4		1		
			剥片	93	Q26		123	3.7		1		
			剥片	93	Q26		124	2.1		1		
				93	R25		34	1.2		1		
			石刃	93	Q26		125	1.2		1		
			剥片	93	Q26		130	2.0		1		
			剥片	93	Q26		146	1.0		1		
			剥片	93	Q26		148	5.5		1		
			剥片	93	Q26		151	1.2		1		
			石刃	93	Q26		156	32.2		5		
					Q26	Ⅱ	1	0.7		1		
			縦長剥片		Q26	Ⅱ	2	0.3		1		
					Q26	Ⅱ	3	0.2		1		
			石刃	93	Q27		287	8.2		1		
			石刃	93	R25		8	9.3		1		
			石刃	93	R25		17	15.6		1		
			剥片	93	R25		30	1.1		1		
					R25	Ⅱ	3	0.5		5		
			石刃	93	R25		31	3.7		1		
			剥片	93	R25		37	1.4		1		
			石刃		B調		157	2.7		5		
Ⅲ-330	230	371	接合資料	95				1313.2	78	1	738	3339
			石刃	95	K27		162	4.1		1		
			剥片	95	K28		95	3.4		1		
			剥片	95	K29		1	2.9		1		
					L28	Ⅰ	39	22.2		1		
					L28	Ⅰ	40	14.4		1		
			剥片	95	K29		7	4.1		1		
				95	K29		280	0.7		1		
				95	K29		355	1.8		1		
			石刃	95	K29		112	0.6		1		
				95	L29		288	20.1		1		
			縦長剥片	95	K29		346	3.9		1		
				95	K29		481	1.3		1		
			剥片	95	K29		467	4.0		1		
				95	K29		512	2.9		1		
				95	K29		575	2.6		1		
			縦長剥片	95	K29		468	5.5		1		
			剥片		K29	Ⅰ	16	4.3		1		
			縦長剥片	95	L27		386	13.3		1		
				95	L27		778	1.8		1		
				95	L28		342	1.9		1		
			石刃	95	L27		879	6.1		1		
				95	M28		748	12.8		1		
			剥片	95	L27		936	2.3		1		
Ⅲ-241	189	220	削器	95	L28		10	80.9		1		
			石刃	95	L28		21	6.9		1		
				95	M27		1213	27.3		1		
			剥片	95	L28		161	3.1		1		
				95	L28		660	6.0		1		
				95	L28		1955	5.6		1		
				95	M27		1543	4.7		1		
			剥片	95	L28		379	10.8		1		
			剥片	95	L28		429	4.1		1		
			剥片	95	L28		514	2.8		1		
			剥片	95	L28		550	5.4		1		
				95	L28		1657	9.5		1		
			石刃	95	L28		593	12.0		1		
				95	L28		749	12.7		1		
				95	L29		295	4.4		1		
			石刃	95	L28		677	1.3		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				95	M27		1280	31.8		1		
				95	M28		683	39.6		1		
			剥片	95	L28		702	0.5		1		
			剥片	95	L28		823	53.7		1		
			剥片	95	L28		826	7.7		1		
			剥片	95	L28		907	2.5		1		
			剥片	95	L28		978	3.3		1		
			剥片	95	L28		1472	2.0		1		
			剥片	95	L28		1695	4.8		1		
				95	M27		690	1.9		1		
				95	M27		1635	2.3		1		
			剥片	95	L28		1833	14.3		1		
			剥片	95	L28		1887	2.6		1		
				95	L28		1977	3.8		1		
			縦長剥片		L28	Ⅱ	29	3.6		1		
			剥片	95	L29		415	2.4		1		
			剥片	95	M27		1289	26.1		1		
			剥片	95	M27		1349	2.3		1		
			剥片	95	M27		1427	1.4		1		
			剥片	95	M27		1437	3.9		1		
Ⅲ-251	194	302	石刃核	95	M27		1500	273.4		1		
			剥片	95	M27		1535	1.3		1		
			剥片	95	M28		55	14.1		1		
			二次加工ある剥片	95	M28		101	289.6		1		
			剥片	95	M28		112	2.3		1		
			剥片	95	M28		118	3.9		1		
			縦長剥片	95	M28		193	4.8		1		
				95	M28		895	16.9		1		
			剥片	95	M28		275	1.1		1		
			剥片	95	M28		509	2.0		1		
				95	M28		593	18.2		1		
			石刃	95	M28		524	12.3		1		
				95	M28		624	9.4		1		
			剥片	95	M28		632	26.6		1		
			石刃	95	M28		654	4.7		1		
			剥片	95	M28		720	2.5		1		
			石刃	95	M28		892	23.3		1		
			剥片		M28	Ⅰ	15	7.7		1		
Ⅲ-241	189	222	削器	95	N27		446	54.1		1		
Ⅲ-331	231	372	接合資料	95				1086.9	56	4	829	3660
			剥片	95	M27		25	7.6		4		
			剥片	95	M27		44	36.3		4		
			剥片	95	M27		51	1.7		4		
			剥片	95	M27		113	2.9		4		
			石刃	95	M27		118	3.8		4		
				95	M28		152	18.3		4		
				95	N27		1684	16.1		4		
			剥片	95	M27		129	12.7		4		
				95	N26		611	3.4		4		
				95	N27		528	4.0		4		
				95	N27		611	1.3		4		
				95	N27		706	11.1		4		
				95	N27		1534	3.4		4		
			剥片	95	M27		181	10.4		4		
			剥片	95	M27		197	16.8		4		
			石刃	95	M27		198	16.1		4		
				95	M28		765	7.6		4		
			剥片	95	M27		223	10.7		4		
			剥片	95	M27		227	28.3		4		
				95	M27		388	1.2		4		
				95	M27		1037	2.8		4		
			縦長剥片	95	M27		390	58.8		4		
			剥片	95	M27		404	8.4		4		
			剥片	95	M27		532	12.8		4		
				95	M27		599	10.7		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	95	M27		753	9.9		4		
			剥片	95	M27		900	3.8		4		
			剥片	95	M27		1142	5.5		4		
			縦長剥片	95	M28		144	1.6		4		
				95	N26		278	10.9		4		
				95	N27		1563	38.9		4		
			剥片	95	M28		163	3.3		4		
			剥片	95	M28		492	7.4		4		
			剥片	95	M28		611	5.1		4		
				95	N27		1111	1.9		4		
			剥片	95	M28		727	3.1		4		
			剥片	95	M29		17	1.5		4		
				95	N27		60	22.2		4		
			縦長剥片	95	N26		28	17.9		4		
				95	N27		62	2.0		4		
				95	N28		503	26.5		4		
			縦長剥片	95	N26		68	11.9		4		
				95	N27		868	43.1		4		
				95	N27		1638	2.1		4		
			剥片	95	N26		129	1.2		4		
			剥片	95	N26		132	2.0		4		
			剥片	95	N26		212	3.3		4		
			縦長剥片	95	N26		246	22.6		4		
				95	N27		1554	3.8		4		
			剥片	95	N27		340	1.4		4		
			剥片	95	N27		465	2.3		4		
Ⅲ-252	195	313	石刃核	95	N27		1156	448.8		4		
			剥片	95	N27		1726	1.9		4		
			剥片	95	O26		220	33.4		4		
			縦長剥片	95	O26		222	32.0		4		
			剥片	95	O26		474	8.4		4		
Ⅲ-332	231	373	接合資料	93				3452.1	73	1	758	3434
			剥片	93	M30		424	2.5		1		
				93	O29		917	15.6		1		
				93	O29		1419	46.7		1		
				93	P28		226	3.6		1		
				93	P28		3275	3.3		1		
				93	P29		1085	136.7		1		
				93	P29		1140	28.9		1		
				93	P29		1234	84.0		1		
			剥片	93	N29		212	98.6		1		
			剥片		N30	Ⅰ	87	8.3		1		
			剥片	93	O29		916	6.8		1		
			縦長剥片	93	O29		1702	82.5		1		
				93	P29		1230	44.1		1		
			剥片	93	O30		153	15.4		1		
				93	P29		789	62.7		1		
Ⅲ-248	193	288	石刃	93	O30		155	8.0		1		
				93	O30		1367	16.5		1		
			石刃	93	O30		1388	27.9		1		
			剥片		O30	Ⅰ	115	13.9		1		
					P30	Ⅰ	15	7.9		1		
			石刃		O30	Ⅰ	116	1.9		1		
					O31	Ⅰ	12	6.4		1		
			剥片		O31	Ⅰ	11	23.1		1		
				93	P30		71	12.8		1		
				93	Q29		46	6.4		1		
			剥片	93	P27		388	197.8		1		
				93	P28		1598	433.7		1		
				93	P28		5364	6.1		1		
				93	P28		6020	21.9		1		
				93	P28		7326	121.0		1		
				93	P28		7641	3.0		1		
				93	P29		1078	15.6		1		
			縦長剥片	93	P28		293	25.1		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				93	P28		4409	4.9		1		
				93	P28		7097	38.0		1		
				93	P28		7901	122.5		1		
			剥片	93	P28		462	3.4		1		
				93	P28		3941	84.7		1		
				93	P28		4196	45.0		1		
				93	P28		4411	2.3		1		
				93	P28		5437	121.5		1		
				93	P28		6233	95.2		1		
				93	P28		7256	6.1		1		
				93	P28		7783	32.5		1		
				93	P28		7869	7.7		1		
				93	P28		7871	7.3		1		
					P28	Ⅱ	238	1.4		1		
			剥片	93	P28		1988	206.5		1		
				93	P28		4816	187.7		1		
				93	P28		7643	3.0		1		
			剥片	93	P28		2231	23.2		1		
			剥片	93	P28		3918	95.8		1		
				93	P28		5363	8.1		1		
				93	P28		6175	8.9		1		
				93	P28		6465	3.6		1		
				93	P28		7821	103.8		1		
			剥片	93	P28		5386	31.1		1		
			剥片	93	P28		5744	5.1		1		
			剥片	93	P28		5809	7.4		1		
			剥片	93	P28		7637	13.2		1		
Ⅲ-240	188	214	削器	93	P29		603	6.1		1		
			剥片	93	P29		608	7.3		1		
					P29	Ⅰ	88	11.2		1		
				93	Q29		65	50.6		1		
			石刃		P30	Ⅱ	6	71.7		1		
Ⅲ-240	189	218	削器	93	Q28		335	18.8		1		
Ⅲ-252	195	310	石刃核	93	Q29		7	141.4		1		
			剥片	93	Q29		8	85.0		1		
			剥片	93	Q29		24	52.8		1		
			剥片	93	Q29		27	45.2		1		
			剥片	93	Q29		33	1.1		1		
				93	Q29		81	41.8		1		
			剥片	93	Q29		66	60.5		1		
Ⅲ-334	233	374	接合資料	93				1822.2	99	4	904	3964
			剥片	93	N29		9	34.2		4		
					N30	Ⅰ	21	7.4		4		
				93	P28		5999	47.0		4		
				93	P28		6036	5.0		4		
				93	P28		6996	3.7		4		
				93	P28		7331	9.7		4		
				93	P28		7414	12.0		4		
				93	P28		8023	59.1		4		
				93	P29		850	5.4		4		
				93	P29		1296	4.0		4		
			剥片	93	O29		452	3.1		4		
				93	P28		8030	22.7		4		
				93	P29		697	3.2		4		
					P29	Ⅰ	27	10.6		4		
					P29	Ⅱ	28	4.7		4		
			剥片	93	O29		816	2.9		4		
			剥片	93	O29		919	4.9		4		
			剥片	93	O29		1701	6.0		4		
				93	P29		369	13.7		4		
				93	P29		685	6.3		4		
Ⅲ-246	192	275	舟底形石器	93	O29		1776	22.7		4		
				93	P28		5499	42.8		4		
			剥片	93	O29		1980	11.5		4		
				93	P28		2996	1.0		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片		O29	Ⅰ	62	10.8		4		
				93	P28		4997	7.3		4		
			剥片	93	P28		1330	17.4		4		
			剥片	93	P28		1339	21.1		4		
			剥片	93	P28		2007	54.3		4		
				93	P29		1138	22.2		4		
			剥片	93	P28		2208	11.4		4		
			剥片	93	P28		2242	17.7		4		
			剥片	93	P28		2908	39.6		4		
				93	P28		4489	2.8		4		
			剥片	93	P28		2957	16.1		4		
			剥片	93	P28		3323	14.3		4		
			剥片	93	P28		3468	52.8		4		
			剥片	93	P28		4964	4.3		4		
			剥片	93	P28		5361	15.8		4		
				93	P28		7353	14.7		4		
			剥片	93	P28		5490	3.5		4		
			剥片	93	P28		5813	12.4		4		
				93	P28		8051	5.2		4		
					不明		不明	13.8		4		
			剥片	93	P28		5820	49.5		4		
			剥片	93	P28		6229	3.9		4		
			剥片	93	P28		6333	23.1		4		
			剥片	93	P28		6344	5.0		4		
			剥片	93	P28		6371	3.4		4		
			石刃	93	P28		6380	14.9		4		
				93	P29		1111	4.1		4		
			剥片	93	P28		6802	10.4		4		
			剥片	93	P28		6821	11.4		4		
			剥片	93	P28		7060	8.8		4		
				93	P29		1143	4.5		4		
			二次加工ある剥片	93	P28		7342	80.5		4		
			剥片	93	P28		7501	13.3		4		
				93	P28		8035	12.4		4		
				93	P29		575	30.9		4		
				93	P29		1258	3.7		4		
			剥片	93	P28		7503	9.4		4		
				93	P29		628	24.1		4		
			剥片	93	P28		7578	12.8		4		
			剥片	93	P28		7706	2.2		4		
			剥片	93	P28		7850	12.3		4		
				93	P29		1002	28.7		4		
			石刃	93	P28		7855	4.6		4		
				93	P29		1264	9.1		4		
			縦長剥片	93	P28		7887	10.2		4		
			縦長剥片	93	P28		8029	2.6		4		
				93	P29		965	2.0		4		
				93	P29		1175	1.8		4		
			剥片	93	P29		62	90.6		4		
			石刃	93	P29		117	3.0		4		
				93	P29		1135	4.8		4		
			剥片	93	P29		204	5.4		4		
			剥片	93	P29		287	2.1		4		
				93	P29		290	13.4		4		
				93	P29		291	360.7		4		
				93	P29		323	12.5		4		
			剥片	93	P29		306	20.7		4		
			剥片	93	P29		312	11.6		4		
			剥片	93	P29		316	2.6		4		
			剥片	93	P29		324	14.3		4		
			剥片	93	P29		415	3.9		4		
			石刃	93	P29		440	8.7		4		
			剥片	93	P29		463	3.2		4		
			剥片	93	P29		496	2.3		4		
			剥片	93	P29		574	10.0		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	93	P29		586	4.5		4		
			剥片	93	P29		656	7.1		4		
			剥片	93	P29		839	30.4		4		
			剥片	93	P29		857	32.0		4		
			剥片	93	P29		933	7.0		4		
Ⅲ-244	191	263	舟底形石器	93	P29		972	19.5		4		
			剥片	93	P29		994	5.4		4		
			剥片	93	P29		1058	10.7		4		
			剥片	93	P29		1200	19.8		4		
			剥片		P29	Ⅰ	26	15.3		4		
Ⅲ-335	234	375	接合資料	93				417.5	59	4	922	4032
Ⅲ-248	193	287	石刃	93	O29		520	10.4		4		
				93	P28		4647	7.7		4		
			石刃	93	P28		221	11.7		4		
				93	P28		4439	18.7		4		
			石刃	93	P28		264	2.6		4		
				93	P28		2851	6.6		4		
				93	P28		3393	8.4		4		
			縦長剥片	93	P28		711	16.1		4		
				93	P28		4231	6.0		4		
			石刃	93	P28		1029	10.2		4		
				93	P28		1558	15.3		4		
			縦長剥片	93	P28		1049	7.3		4		
				93	P28		3332	5.4		4		
					P28	Ⅱ	117	1.6		4		
			縦長剥片	93	P28		1086	10.6		4		
			石刃	93	P28		1254	1.7		4		
				93	P28		2717	4.7		4		
				93	P28		4388	7.5		4		
					P28	Ⅱ	124	0.7		4		
			石刃	93	P28		1414	12.8		4		
				93	P28		6420	6.4		4		
					P28	Ⅱ	126	1.5		4		
			石刃	93	P28		1530	6.0		4		
				93	P28		2341	14.1		4		
				93	P28		4342	1.5		4		
			二次加工ある剥片	93	P28		1950	3.6		4		
			石刃	93	P28		1958	5.1		4		
			石刃	93	P28		2297	10.5		4		
				93	P28		2875	10.5		4		
				93	P28		4827	14.2		4		
			石刃	93	P28		2312	7.3		4		
				93	P28		6135	5.2		4		
			二次加工ある剥片	93	P28		2450	1.6		4		
				93	P28		3929	2.6		4		
				93	P28		5506	9.4		4		
			二次加工ある剥片	93	P28		2725	22.2		4		
			石刃	93	P28		2762	14.3		4		
			石刃	93	P28		2778	8.2		4		
			石刃	93	P28		3252	1.8		4		
				93	P28		7472	3.9		4		
			石刃	93	P28		3374	11.2		4		
				93	P28		5444	16.0		4		
					P28	Ⅱ	120	1.3		4		
			石刃	93	P28		3983	3.2		4		
				93	P28		6147	12.4		4		
			縦長剥片	93	P28		3902	1.7		4		
				93	P28		4393	2.9		4		
					P28	Ⅱ	119	2.0		4		
			縦長剥片	93	P28		4459	2.6		4		
				93	P28		5747	6.1		4		
					P28	Ⅱ	136	2.2		4		
			石刃	93	P28		4843	4.9		4		
			縦長剥片	93	P28		5737	3.0		4		
			石刃	93	P28		6432	5.2		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			縦長剥片	93	P28		7096	4.5		4		
			石刃	93	P28		7630	16.6		4		
				93	P28		7865	2.9		4		
					P28	Ⅱ	123	1.0		4		
			石刃		P28	Ⅱ	129	1.9		4		
Ⅲ-336	234	376	接合資料	90·91·94				272.3	23	3·4	667	3122
			石刃		H32	Ⅰ	1	9.8		4		
			剥片	91	H33		32	22.6		4		
			石刃	91	H33		40	1.7		4		
			石刃	91	H33		41	1.9		4		
				91	H33		52	2.7		4		
			剥片	91	H33		42	16.7		4		
				94	I33		30	6.3		4		
			石刃	91	H33		43	11.8		4		
				91	H33		94	6.7		4		
			石刃	91	H33		44	16.4		4		
			石刃	91	H33		46	6.7		4		
				91	H33		114	5.5		4		
			石刃	91	H33		51	12.3		4		
			剥片	91	H33		98	11.1		4		
			石刃	91	H33		106	8.7		4		
				91	H33		112	2.9		4		
			剥片	91	H33		119	15.8		4		
			剥片	91	H33		151	52.3		4		
				91	H33		155	12.8		4		
			剥片	91	H33		156	4.6		3		
			石刃	91	H33		157	18.9		4		
			石刃	90	I32		151	9.0		3		
			剥片	90	J32		788	15.1		4		
Ⅲ-336	235	377	接合資料	93				410.7	20	4	878	3851
			剥片	93	M29		768	4.3		4		
				93	P28		8015	3.8		4		
			剥片	93	O29		537	12.5		4		
			剥片	93	O30		178	2.3		4		
				93	O30		179	18.3		4		
			剥片	93	O30		1390	7.5		4		
					O30	Ⅰ	39	12.4		4		
			剥片		O30	Ⅰ	28	18.7		4		
			剥片	93	P28		6745	1.9		4		
Ⅲ-251	195	308	石刃核	93	P28		7694	147.3		4		
			剥片	93	P28		7794	11.8		4		
			剥片	93	P29		46	6.4		4		
			剥片	93	P29		231	11.0		4		
			剥片	93	P29		352	21.5		4		
			剥片	93	P29		596	2.3		4		
			剥片	93	P29		601	23.2		4		
			剥片	93	P29		609	4.8		4		
			石刃	93	P29		788	15.2		4		
			縦長剥片	93	Q28		240	76.1		4		
			剥片	93	Q29		48	9.4		4		
Ⅲ-337	235	378	接合資料	89·93·95				882.9	58	4	856	3781
			剥片	93	M30		6	6.4		4		
			剥片	93	M30		82	41.7		4		
			二次加工ある剥片		M35	Ⅰ	5	11.0		4		
				93	O29		1169	29.8		4		
			剥片		N28	Ⅰ	13	28.0		4		
			石刃	93	N30		106	9.2		4		
				93	N30		210	14.6		4		
			縦長剥片	93	N30		116	4.6		4		
				93	O29		1389	19.1		4		
			剥片	93	N30		221	7.4		4		
				93	O30		481	22.7		4		
			石刃	93	N30		255	10.5		4		
Ⅲ-241	189	224	削器	93	N30		278	32.1		4		
				95	O27		349	30.7		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	93	N30		387	2.9		4		
			剥片	93	N30		402	6.6		4		
			縦長剥片	93	N30		434	6.8		4		
			剥片	93	N30		464	21.6		4		
				93	N31		53	9.5		4		
			縦長剥片		N30	Ⅰ	26	3.3		4		
				93	O30		2031	23.1		4		
			石刃		N30	Ⅰ	63	11.7		4		
			剥片		N31	Ⅰ	23	5.6		4		
			石刃	93	O29		311	2.2		4		
			石刃	93	O29		387	22.2		4		
				93	O30		1149	8.0		4		
			縦長剥片	93	O29		658	39.8		4		
				93	O30		832	15.8		4		
			縦長剥片	93	O29		851	6.2		4		
				93	O29		951	6.3		4		
			石刃	93	O29		958	7.2		4		
			縦長剥片	93	O29		1244	1.5		4		
			剥片	93	O30		38	6.0		4		
			剥片	93	O30		51	22.6		4		
			剥片	93	O30		52	4.5		4		
Ⅲ-245	191	270	舟底形石器	93	O30		64	39.4		4		
Ⅲ-246	191	272	舟底形石器	93	O30		319	7.0		4		
				95	Q25		2	46.4		4		
			剥片	93	O30		492	6.3		4		
				93	O30		1831	16.3		4		
			剥片	93	O30		1423	2.6		4		
				93	O30		1721	4.7		4		
			石刃	93	O30		1485	3.6		4		
			剥片	93	O30		1492	56.4		4		
Ⅲ-242	190	231	削器	93	O30		1718	26.6		4		
			剥片	93	O30		1843	30.4		4		
			剥片	93	O30		1917	2.2		4		
			縦長剥片	93	O30		2137	5.2		4		
			剥片		O30	Ⅰ	107	3.6		4		
			剥片		O30	Ⅱ	57	1.5		4		
Ⅲ-234	184	102	彫器	93	O31		88	4.5		4		
Ⅲ-242	190	235	削器	95	P27		425	28.2		4		
Ⅲ-128	103	149	石刃核		Q30	Ⅰ	1	68.0		4		
			剥片	89	R30		207	1.2		4		
			剥片	89	R30		264	18.1		4		
				89	R30		330	3.7		4		
			剥片	89	R30		360	3.8		4		
				89	R30		549	2.0		4		
Ⅲ-340	236	379	接合資料	86･93				465.3	66	3･4	857	3783
			剥片	93	M30		241	1.0		4		
			剥片		M30	Ⅰ	2	2.6		4		
				93	N30		51	2.0		4		
			剥片	86	M35		491	3.8		4		
Ⅲ-240	188	203	錐形石器	93	N29		46	1.3		4		
				93	N29		123	2.3		4		
				93	O29		1809	0.5		4		
			剥片	93	N29		177	1.4		4		
			石刃	93	N29		529	15.1		4		
			石刃	93	N29		878	11.3		4		
				93	P28		6029	10.8		4		
			剥片	93	N30		409	4.1		4		
				93	O30		1333	1.5		4		
			剥片	93	N31		192	3.2		4		
			剥片	93	O29		1259	2.0		4		
			縦長剥片	93	O29		1447	13.6		4		
				93	O29		1557	6.9		4		
			剥片	93	O29		1552	2.3		4		
			剥片	93	O29		1653	5.5		4		
			石刃	93	O29		1805	7.3		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				93	O29		2358	7.7		4		
			剥片	93	O29		1850	4.0		4		
			剥片	93	O29		2097	6.2		4		
			剥片	93	O29		2220	19.5		3		
Ⅲ-235	185	120	彫器	93	O29		2440	4.6		4		
			剥片	93	O30		508	2.6		4		
			石刃	93	O30		709	4.2		4		
Ⅲ-248	193	286	石刃	93	O30		1119	7.5		4		
				93	O30		1289	7.0		4		
			石刃	93	O30		1183	4.2		4		
			石刃	93	O30		1265	2.2		4		
				93	O30		2118	11.2		4		
			剥片	93	O30		1694	3.6		4		
Ⅲ-240	188	215	削器	93	P27		258	9.1		4		
			縦長剥片	93	P28		108	12.6		4		
Ⅲ-240	188	209	削器	93	P28		424	14.1		4		
			彫器削片	93	P28		716	2.3		4		
			剥片	93	P28		968	2.8		4		
			剥片	93	P28		1795	2.0		4		
				93	P28		3950	5.5		4		
			剥片	93	P28		2114	1.2		4		
			石刃	93	P28		2295	2.0		4		
				93	P28		6635	4.3		4		
Ⅲ-235	185	133	彫器	93	P28		2311	13.1		4		
Ⅲ-240	188	212	削器	93	P28		2483	2.7		4		
				93	P28		4239	3.2		4		
				93	P28		7474	11.9		4		
			剥片	93	P28		2758	4.2		4		
Ⅲ-234	185	113	彫器	93	P28		2760	3.2		4		
			石刃	93	P28		2767	2.7		4		
				93	P28		4429	5.3		4		
			石刃	93	P28		3871	0.8		4		
				93	P28		7923	6.9		4		
			石刃	93	P28		4063	3.7		4		
				93	P28		4838	6.7		4		
Ⅲ-250	194	297	石刃核	93	P28		5007	110.5		3		
Ⅲ-234	185	112	彫器	93	P28		5040	2.4		4		
Ⅲ-240	188	208	削器	93	P28		6150	2.3		4		
				93	P28		8039	5.5		4		
			剥片	93	P28		6485	4.6		4		
			石刃	93	P28		7239	2.5		4		
			剥片	93	P29		166	5.1		4		
			縦長剥片	93	P30		30	2.2		4		
Ⅲ-240	189	216	削器	93	Q29		52	5.0		4		
					Q29	Ⅰ	1	13.1		4		
Ⅲ-240	188	211	削器	93	R26		1	8.8		4		
Ⅲ-342	236	381	接合資料	92･93				668.9	80	4	867	3823
			縦長剥片	93	M30		694	5.9		4		
					O29	Ⅱ	77	0.6		4		
					P28	Ⅱ	154	1.7		4		
			剥片		M31	Ⅰ	10	14.4		4		
			剥片	93	N29		1104	3.7		4		
				93	O30		2263	5.2		4		
					O30	Ⅱ	55	0.7		4		
					P30	Ⅱ	2	1.1		4		
			剥片		N30	Ⅱ	31	0.6		4		
			縦長剥片	93	N31		59	25.7		4		
			縦長剥片	93	N31		206	4.4		4		
			縦長剥片	92	N32		87	8.5		4		
			剥片	93	O29		399	3.4		4		
				93	P28		7685	11.8		4		
Ⅲ-234	184	104	彫器	93	O29		909	6.5		4		
			剥片	93	O29		1724	3.1		4		
				93	P28		7792	5.8		4		
			剥片		O29	Ⅱ	76	0.5		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	93	O30		4	12.3		4		
			剥片	93	O30		9	152.9		4		
			剥片	93	O30		228	4.1		4		
			縦長剥片	93	O30		312	32.5		4		
				93	O30		1961	12.3		4		
				93	O30		2074	4.9		4		
					P30	Ⅱ	4	0.9		4		
			縦長剥片	93	O30		334	13.1		4		
				93	O30		1094	24.5		4		
				93	O30		1696	3.1		4		
			縦長剥片	93	O30		401	2.8		4		
			剥片	93	O30		587	8.5		4		
			剥片	93	O30		623	17.3		4		
			縦長剥片	93	O30		633	1.3		4		
				93	O30		1549	1.1		4		
			剥片	93	O30		722	3.7		4		
			剥片	93	O30		735	1.2		4		
			剥片	93	O30		750	45.3		4		
			剥片	93	O30		766	9.8		4		
			縦長剥片	93	O30		792	1.9		4		
			剥片	93	O30		848	1.0		4		
			剥片	93	O30		878	1.6		4		
			石刃	93	O30		933	5.1		4		
			縦長剥片	93	O30		949	1.5		4		
				93	O30		1322	1.1		4		
			石刃	93	O30		956	6.0		4		
			剥片	93	O30		977	3.2		4		
			剥片	93	O30		1074	1.2		4		
			剥片	93	O30		1115	4.4		4		
			剥片	93	O30		1220	0.9		4		
			縦長剥片	93	O30		1238	1.6		4		
			剥片	93	O30		1293	17.9		4		
			剥片	93	O30		1301	1.6		4		
			縦長剥片	93	O30		1406	9.2		4		
			剥片	93	O30		1500	11.1		4		
			縦長剥片	93	O30		1543	2.0		4		
					O30	Ⅱ	52	0.5		4		
			縦長剥片	93	O30		1560	8.7		4		
			縦長剥片	93	O30		1583	3.4		4		
			剥片	93	O30		1688	1.7		4		
			剥片	93	O30		1711	4.0		4		
			縦長剥片	93	O30		1745	3.8		4		
				93	O30		2281	2.4		4		
			剥片	93	O30		1784	1.6		4		
			剥片	93	O30		1983	3.1		4		
				93	O30		2244	9.2		4		
			縦長剥片	93	O30		2058	1.6		4		
			剥片	93	O30		2071	1.2		4		
			剥片	93	O30		2158	1.2		4		
			剥片	93	O30		2243	12.2		4		
			剥片		O30	Ⅰ	22	7.7		4		
			縦長剥片		O30	Ⅰ	46	2.4		4		
					P28	Ⅱ	152	1.3		4		
			剥片		O30	Ⅱ	50	0.6		4		
			剥片		O30	Ⅱ	51	2.0		4		
			剥片		O30	Ⅱ	53	0.3		4		
			剥片		O30	Ⅱ	54	0.8		4		
			剥片		O30	Ⅱ	56	0.7		4		
			剥片		P28	Ⅱ	151	1.2		4		
			剥片		P28	Ⅱ	153	1.1		4		
Ⅲ-254	197	321	石核	93	P29		1182	69.2		4		
			剥片		P30	Ⅱ	3	0.5		4		
Ⅲ-343	237	382	接合資料	92･93				661.0	38	4	866	3822
			剥片		M32	Ⅰ	12	9.1		4		
			剥片	93	N30		77	5.3		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片		N30	Ⅱ	32	0.5		4		
			剥片	93	N31		19	6.2		4		
			剥片	93	N31		179	5.6		4		
			剥片	93	N31		184	7.3		4		
			剥片	93	N31		276	7.1		4		
			剥片	93	N31		390	2.0		4		
				93	O30		1279	2.0		4		
			剥片		N31	Ⅰ	9	24.2		4		
			剥片	92	N32		89	14.7		4		
			剥片		O29	Ⅰ	54	56.6		4		
			剥片		O29	Ⅱ	79	1.5		4		
				93	O30		1198	13.3		4		
				93	O30		1558	6.1		4		
			剥片	93	O30		345	62.3		4		
			剥片	93	O30		357	27.7		4		
			剥片	93	O30		366	14.0		4		
			剥片	93	O30		555	7.9		4		
				93	O30		997	21.5		4		
			剥片	93	O30		693	4.2		4		
			剥片	93	O30		998	11.5		4		
			剥片	93	O30		1008	25.7		4		
			石刃	93	O30		1076	7.6		4		
				93	O30		1576	17.4		4		
			剥片	93	O30		1166	2.7		4		
			剥片	93	O30		1266	6.9		4		
			剥片	93	O30		1273	80.5		4		
			剥片	93	O30		1296	20.6		4		
			石刃	93	O30		1312	52.2		4		
			石刃	93	O30		1326	15.8		4		
			剥片	93	O30		1796	18.1		4		
			剥片	93	O30		1875	2.2		4		
			剥片	93	O30		1877	7.7		4		
			剥片	93	O30		2172	3.3		4		
			削器	93	P28		4364	11.0		4		
			剥片	93	P30		76	67.1		4		
			剥片		Q28	Ⅰ	4	11.6		4		
Ⅲ-344	237	383	接合資料	93				424.7	25	4	842	3703
			縦長剥片	93	P28		283	12.0		4		
				93	P28		7497	161.4		4		
				93	P29		131	45.5		4		
			剥片	93	P28		986	23.0		4		
				93	P28		1888	6.0		4		
				93	P28		7576	15.7		4		
			剥片	93	P28		1563	2.5		4		
			縦長剥片	93	P28		1614	4.6		4		
				93	P28		1772	28.4		4		
				93	P28		3315	19.8		4		
			剥片	93	P28		2185	8.2		4		
			剥片	93	P28		2243	2.9		4		
				93	P28		3477	2.3		4		
				93	P28		5470	11.3		4		
				93	Q27		203	2.1		4		
			剥片	93	P28		2500	9.9		4		
			剥片	93	P28		4218	7.8		4		
			剥片	93	P28		4446	2.7		4		
			剥片	93	P28		4472	3.4		4		
			縦長剥片	93	P28		5439	7.5		4		
				93	P29		400	20.5		4		
			剥片	93	P28		5981	7.7		4		
			剥片	93	P28		6017	11.5		4		
			剥片	93	Q27		369	3.1		4		
			剥片	93	Q27		441	4.9		4		
Ⅲ-345	238	384	接合資料	93				1766.9	59	4	926	4043
			剥片	93	O29		357	11.0		4		
			剥片	93	O29		689	6.2		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	93	O29		826	6.2		4		
				93	P28		5491	4.9		4		
				93	P28		6733	38.5		4		
				93	P29		286	7.1		4		
			剥片	93	O29		1407	59.4		4		
				93	P29		444	86.2		4		
			剥片	93	O29		1698	6.1		4		
			剥片		O29	Ⅰ	53	21.7		4		
			剥片	93	P28		71	49.4		4		
				93	P28		5773	2.5		4		
			剥片	93	P28		1332	4.3		4		
			剥片	93	P28		1345	18.8		4		
			剥片	93	P28		1894	52.2		4		
				93	P29		524	6.9		4		
			剥片	93	P28		5848	43.6		4		
				93	P28		5990	6.9		4		
			剥片	93	P28		5984	5.9		4		
			剥片	93	P28		5991	9.3		4		
			剥片	93	P28		5994	18.2		4		
				93	P29		379	6.3		4		
			剥片	93	P28		6341	62.6		4		
				93	P29		1282	6.6		4		
			剥片	93	P28		6548	16.5		4		
			剥片	93	P28		6728	9.6		4		
			剥片	93	P28		6746	18.3		4		
			剥片	93	P28		6791	14.3		4		
			剥片	93	P28		7507	54.7		4		
			剥片	93	P28		7580	24.4		4		
			剥片	93	P28		7582	76.2		4		
			剥片	93	P28		7589	20.8		4		
			剥片	93	P28		7770	55.6		4		
				93	P29		289	18.4		4		
			剥片	93	P28		7862	6.9		4		
			剥片	93	P28		7896	7.4		4		
			剥片	93	P28		7914	37.4		4		
			剥片	93	P28		7944	7.3		4		
			剥片	93	P28		8099	18.4		4		
			剥片	93	P29		125	20.9		4		
				93	P29		843	42.3		4		
Ⅲ-250	194	300	石刃核	93	P29		235	326.0		4		
			石刃	93	P29		327	10.5		4		
			縦長剥片	93	P29		333	8.1		4		
			剥片	93	P29		363	49.1		4		
			剥片	93	P29		443	46.9		4		
				93	P29		779	19.6		4		
			剥片	93	P29		452	10.4		4		
			剥片	93	P29		464	16.4		4		
			剥片	93	P29		772	5.5		4		
			剥片	93	P29		780	13.5		4		
			縦長剥片	93	P29		811	29.3		4		
			剥片	93	P29		841	107.0		4		
			剥片	93	P29		1064	20.9		4		
			剥片	93	P29		1113	14.7		4		
			剥片	93	P29		1241	15.0		4		
			剥片	93	P29		1289	16.5		4		
			剥片		P29	Ⅰ	24	28.4		4		
			剥片		P29	Ⅰ	25	38.9		4		
Ⅲ-346	238	385	接合資料	93				1778.2	115	4	931	4053
			縦長剥片	93	O28		1265	8.9		4		
				93	P28		7445	12.3		4		
			剥片	93	O29		243	51.4		4		
				93	P28		3357	36.0		4		
			縦長剥片	93	O29		1817	1.6		4		
				93	P28		4907	7.1		4		
					P28	Ⅱ	174	0.8		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	93	O29		2241	3.1		4		
			剥片	93	O29		2422	2.1		4		
			剥片	93	O29		2511	1.2		4		
			剥片		O29	Ⅰ	55	96.7		4		
				93	P28		7313	5.5		4		
			縦長剥片		O29	Ⅰ	56	31.0		4		
				93	P28		1893	9.8		4		
				93	P28		5641	5.5		4		
				93	P28		6414	20.2		4		
			縦長剥片	93	P28		50	22.6		4		
				93	P28		7636	19.9		4		
			剥片	93	P28		54	1.9		4		
				93	P28		2291	14.5		4		
				93	P28		3159	14.3		4		
				93	P28		5965	2.8		4		
			縦長剥片	93	P28		538	14.7		4		
			縦長剥片	93	P28		547	15.5		4		
			石刃	93	P28		663	13.9		4		
				93	P28		3363	22.7		4		
			剥片	93	P28		668	5.0		4		
			石刃	93	P28		1089	2.3		4		
				93	P28		3170	3.3		4		
			剥片	93	P28		1271	7.4		4		
				93	P28		7454	4.2		4		
			石刃	93	P28		1276	20.4		4		
			剥片	93	P28		1294	45.1		4		
			剥片	93	P28		1391	19.9		4		
				93	P28		1392	49.8		4		
				93	P28		2263	3.7		4		
				93	P28		6151	5.9		4		
					P28	Ⅱ	171	0.8		4		
			剥片	93	P28		1403	106.6		4		
				93	P28		6788	4.0		4		
					P28	Ⅱ	173	1.8		4		
			剥片	93	P28		1524	24.5		4		
			剥片	93	P28		1533	1.6		4		
				93	P28		8089	3.8		4		
			剥片	93	P28		1806	7.3		4		
				93	P28		2461	1.4		4		
			剥片	93	P28		1807	71.6		4		
			剥片	93	P28		1908	4.4		4		
				93	P28		1929	3.4		4		
			剥片	93	P28		1921	13.0		4		
			剥片	93	P28		2363	0.5		4		
			剥片	93	P28		2399	2.0		4		
				93	P28		4229	3.3		4		
			縦長剥片	93	P28		2402	1.4		4		
				93	P28		6292	11.3		4		
			剥片	93	P28		2462	6.0		4		
			剥片	93	P28		2474	1.0		4		
			剥片	93	P28		2564	4.9		4		
				93	P28		8075	23.2		4		
			縦長剥片	93	P28		3239	0.9		4		
				93	P28		3911	0.8		4		
			縦長剥片	93	P28		3282	7.2		4		
				93	P28		7261	41.0		4		
			石刃	93	P28		3288	4.3		4		
				93	P28		5512	2.1		4		
			剥片	93	P28		3718	0.7		4		
			縦長剥片	93	P28		3781	4.5		4		
			剥片	93	P28		3883	4.2		4		
				93	P28		7614	14.5		4		
					P28	Ⅱ	175	1.2		4		
			石刃	93	P28		3896	19.9		4		
			縦長剥片	93	P28		3960	26.5		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			石刃	93	P28		4167	2.9		4		
			剥片	93	P28		4188	9.5		4		
			剥片	93	P28		4197	8.4		4		
			縦長剥片	93	P28		4236	5.6		4		
			石刃	93	P28		4687	4.5		4		
				93	P28		7257	19.0		4		
			剥片	93	P28		5199	4.1		4		
				93	P28		7264	64.5		4		
				93	P28		7625	17.7		4		
			剥片	93	P28		5297	2.0		4		
			剥片	93	P28		5381	2.8		4		
				93	P28		6638	8.1		4		
			剥片	93	P28		5394	3.3		4		
				93	P28		7611	2.6		4		
			縦長剥片	93	P28		6100	15.8		4		
				93	P28		6316	4.7		4		
				93	P28		8063	3.2		4		
					P28	Ⅱ	177	1.3		4		
			石刃	93	P28		6117	3.7		4		
			剥片	93	P28		6402	12.3		4		
				93	P29		1008	35.1		4		
			剥片	93	P28		6466	12.7		4		
				93	P28		7249	9.6		4		
				93	P28		8076	2.1		4		
			石刃	93	P28		6516	28.1		4		
			剥片	93	P28		6519	58.5		4		
			剥片	93	P28		7027	59.0		4		
			剥片	93	P28		7248	117.2		4		
				93	P28		7438	12.3		4		
			縦長剥片	93	P28		7254	40.2		4		
			石刃	93	P28		7276	9.1		4		
				93	P28		7471	7.0		4		
			石刃	93	P28		7280	28.5		4		
			石刃	93	P28		7449	9.5		4		
			縦長剥片	93	P28		7951	5.8		4		
			剥片	93	P28		8011	2.8		4		
Ⅲ-251	195	306	石刃核	93	P28		8052	68.1		4		
			剥片	93	P28		8053	20.2		4		
			剥片	93	P28		8094	8.6		4		
			剥片	93	P28		8104	12.8		4		
			剥片	93	P28		8107	3.4		4		
			剥片		P28	Ⅱ	172	2.3		4		
			剥片		P28	Ⅱ	176	0.7		4		
Ⅲ-347	239	386	接合資料	86·89·92·93				1929.1	93	4	722	3268
			剥片		L31	Ⅰ	2	128.7		4		
			剥片	93	M29		176	28.4		4		
			剥片	93	M31		24	10.4		4		
			縦長剥片	92	M32		46	9.9		4		
				93	P31		13	9.6		4		
			縦長剥片	92	M32		146	21.7		4		
			剥片	92	M32		572	10.8		4		
			縦長剥片	92	M32		797	10.4		4		
			縦長剥片		M32	Ⅰ	5	38.8		4		
			二次加工ある剥片		M32	Ⅰ	6	70.6		4		
			剥片		M32	Ⅰ	7	82.0		4		
			剥片		M32	Ⅰ	8	12.6		4		
			剥片		M32	Ⅰ	9	6.7		4		
			剥片		M32	Ⅰ	10	9.7		4		
			剥片		M32	Ⅰ	11	9.9		4		
			剥片		N31	Ⅰ	1	4.3		4		
			剥片	92	N32		1	20.0		4		
			剥片	92	N32		2	34.8		4		
				93	O31		147	13.2		4		
			縦長剥片	92	N32		93	14.6		4		
					N32	Ⅰ	17	2.6		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
					N32	Ⅰ	19	2.3		4		
			縦長剥片	92	N32		102	25.8		4		
			剥片	92	N32		180	3.5		4		
			剥片	92	N32		183	26.5		4		
			剥片	92	N32		245	4.3		4		
			剥片	92	N32		324	2.4		4		
			剥片	92	N32		330	5.1		4		
				93	O31		131	2.7		4		
			剥片	92	N32		577	3.6		4		
			剥片	92	N32		578	11.2		4		
			剥片	92	N32		657	2.6		4		
			剥片	92	N32		952	3.1		4		
			剥片		N32	Ⅰ	6	31.4		4		
			剥片		N32	Ⅰ	7	13.9		4		
					N32	Ⅰ	23	1.1		4		
			剥片		N32	Ⅰ	9	8.5		4		
			剥片		N32	Ⅰ	11	4.4		4		
					N32	Ⅰ	29	0.5		4		
			剥片		N32	Ⅰ	12	3.9		4		
			剥片		N32	Ⅰ	14	3.0		4		
			剥片		N32	Ⅰ	15	2.9		4		
			剥片		N32	Ⅰ	21	1.2		4		
			縦長剥片	92	N33		38	57.4		4		
					N33	Ⅰ	6	14.5		4		
			剥片		N33	Ⅰ	2	2.3		4		
			剥片		N33	Ⅰ	3	2.7		4		
			剥片		N33	Ⅰ	4	2.4		4		
			剥片	86	N34		46	2.8		4		
			縦長剥片	93	O29		841	9.9		4		
				93	P28		180	9.1		4		
				93	P28		5720	18.1		4		
			剥片	93	O31		59	2.9		4		
			剥片	93	O31		115	8.6		4		
			剥片	93	O31		124	8.8		4		
			縦長剥片	93	O31		125	32.7		4		
			石刃	93	O31		129	12.2		4		
				93	O31		130	29.5		4		
			剥片	93	O31		146	21.1		4		
			剥片	93	O31		154	10.9		4		
			剥片	93	O32		6	13.1		4		
			剥片	93	O32		16	43.5		4		
			剥片	93	O32		29	14.7		4		
			剥片	93	O32		30	13.6		4		
			剥片	93	O32		31	7.3		4		
			剥片	93	O32		32	1.8		4		
			剥片	93	O32		33	5.3		4		
				93	O32		50	10.2		4		
			剥片	93	O32		35	9.0		4		
			縦長剥片	93	O32		36	15.0		4		
				93	O32		48	5.8		4		
			剥片	93	O32		55	2.3		4		
			剥片		O32	Ⅰ	1	23.0		4		
			剥片		O32	Ⅰ	2	22.8		4		
			石刃		O32	Ⅰ	3	13.4		4		
			剥片		O32	Ⅰ	4	7.3		4		
			縦長剥片		O32	Ⅰ	12	17.6		4		
			剥片		O32	Ⅰ	13	5.0		4		
			剥片	93	P28		262	46.2		4		
					P30	Ⅰ	7	4.2		4		
			剥片	93	P28		718	93.8		4		
				93	P28		5759	23.0		4		
			縦長剥片	93	P28		727	31.5		4		
				93	P28		2294	39.1		4		
				93	P28		3353	5.7		4		
			剥片	93	P28		3279	2.3		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	93	P28		6113	17.1		4		
			剥片	93	P28		6312	213.7		4		
			剥片	93	P28		7028	71.2		4		
Ⅲ-124	101	125	舟底形石器	89	R30		419	115.8		4		
					不明		不明	43.9		4		
			剥片	89	S29		227	27.0		4		
			剥片		不明		不明	4.4		4		
Ⅲ-349	240	387	接合資料	93				1442.3	65	4	911	3989
			剥片	93	N29		1274	5.0		4		
			剥片	93	O29		1013	13.2		4		
			剥片	93	O29		1086	6.9		4		
				93	P28		3469	4.4		4		
			剥片	93	O29		1618	3.7		4		
			剥片	93	O29		1777	70.6		4		
			剥片	93	O29		1962	7.5		4		
			剥片		O29	I	57	11.9		4		
			剥片	93	P28		1334	19.6		4		
			剥片	93	P28		2029	27.0		4		
			剥片	93	P28		2225	2.9		4		
			剥片	93	P28		2228	5.7		4		
			剥片	93	P28		2934	65.8		4		
			剥片	93	P28		5481	7.7		4		
			剥片	93	P28		5484	71.7		4		
				93	P29		307	4.3		4		
				93	P29		867	44.5		4		
			剥片	93	P28		5833	32.8		4		
			剥片	93	P28		5987	4.1		4		
			剥片	93	P28		5996	38.2		4		
			剥片	93	P28		6033	37.9		4		
			石刃	93	P28		6043	6.9		4		
			剥片	93	P28		6345	7.9		4		
			剥片	93	P28		6358	9.8		4		
			剥片	93	P28		6378	20.0		4		
					P29	I	29	18.3		4		
Ⅲ-244	191	264	舟底形石器	93	P28		6494	13.1		4		
				93	P29		494	18.4		4		
			剥片	93	P28		6835	54.6		4		
			剥片	93	P28		6986	11.8		4		
			剥片	93	P28		6990	9.6		4		
			剥片	93	P28		6997	7.2		4		
			剥片	93	P28		7352	6.2		4		
			剥片	93	P28		7355	86.9		4		
			剥片	93	P28		7417	22.1		4		
			剥片	93	P28		7584	26.4		4		
			剥片	93	P28		7727	19.4		4		
			剥片	93	P28		7772	16.7		4		
			剥片	93	P28		7893	6.3		4		
			剥片	93	P28		8014	8.0		4		
			剥片	93	P28		8026	24.2		4		
			剥片	93	P28		8038	9.3		4		
			剥片	93	P28		8045	12.8		4		
			剥片	93	P28		8048	3.6		4		
			剥片	93	P28		8102	3.2		4		
			剥片	93	P29		148	11.3		4		
			剥片	93	P29		179	10.8		4		
Ⅲ-252	195	309	石刃核	93	P29		236	235.7		4		
			剥片	93	P29		308	7.7		4		
			剥片	93	P29		313	77.6		4		
			剥片	93	P29		336	2.8		4		
			剥片	93	P29		469	15.6		4		
			剥片	93	P29		584	8.0		4		
			剥片	93	P29		732	3.7		4		
			剥片	93	P29		774	9.5		4		
			剥片	93	P29		776	9.0		4		
			剥片	93	P29		848	2.4		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	93	P29		861	10.8		4		
			剥片	93	P29		913	35.9		4		
			剥片	93	P29		971	9.2		4		
			剥片	93	P29		1068	10.2		4		
			剥片	93	P29		1144	3.8		4		
			剥片	93	P29		1284	10.9		4		
			剥片		P29	I	32	48.4		4		
			縦長剥片	93	Q29		53	10.9		4		
Ⅲ-350	240	388	接合資料	93				1277.1	68	4	928	4046
			縦長剥片	93	O29		154	10.1		4		
			縦長剥片	93	O29		454	9.3		4		
			剥片	93	O29		1370	2.9		4		
			剥片	93	O29		1896	3.1		4		
			剥片	93	O29		1930	2.7		4		
			剥片	93	O29		2236	5.2		4		
				93	P28		6336	35.9		4		
			剥片	93	P28		1018	6.2		4		
			剥片	93	P28		1336	27.8		4		
			剥片	93	P28		2012	10.2		4		
			二次加工ある剥片	93	P28		2251	81.9		4		
			剥片	93	P28		3317	2.0		4		
			剥片	93	P28		3325	2.6		4		
			剥片	93	P28		5851	7.7		4		
				93	P28		6226	5.3		4		
				93	P28		8033	6.1		4		
			剥片	93	P28		6034	4.6		4		
			剥片	93	P28		6221	40.0		4		
				93	P29		72	10.3		4		
			剥片	93	P28		6326	9.0		4		
			剥片	93	P28		6374	2.2		4		
			剥片	93	P28		6645	6.4		4		
			剥片	93	P28		7077	5.5		4		
			剥片	93	P28		7136	2.1		4		
			剥片	93	P28		7348	2.1		4		
			剥片	93	P28		7354	2.8		4		
			剥片	93	P28		7410	4.4		4		
			剥片	93	P28		7536	12.7		4		
				93	P29		693	1.9		4		
			剥片	93	P28		7664	2.2		4		
			剥片	93	P28		7708	13.5		4		
			剥片	93	P28		7711	4.6		4		
			剥片	93	P28		7720	11.3		4		
			石刃	93	P28		7723	19.9		4		
				93	P29		773	11.4		4		
Ⅲ-255	197	324	石核	93	P28		7728	226.7		4		
			剥片	93	P28		7427	77.8		4		
				93	P28		7722	6.6		4		
			剥片	93	P28		7843	11.6		4		
			剥片	93	P28		7889	11.9		4		
			剥片	93	P28		7972	3.0		4		
			石刃	93	P28		8020	11.5		4		
			剥片	93	P29		9	27.1		4		
			剥片	93	P29		67	36.9		4		
			剥片	93	P29		81	42.9		4		
Ⅲ-242	190	233	削器	93	P29		157	127.5		4		
			剥片	93	P29		174	2.0		4		
			剥片	93	P29		190	8.3		4		
			剥片	93	P29		298	29.4		4		
			剥片	93	P29		310	10.2		4		
				93	P29		781	1.3		4		
			剥片	93	P29		329	22.1		4		
			剥片	93	P29		335	1.7		4		
			剥片	93	P29		417	2.5		4		
			剥片	93	P29		424	15.3		4		
			剥片	93	P29		502	3.6		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			削器	93	P29		571	72.3		4		
			剥片	93	P29		581	66.3		4		
			剥片	93	P29		686	5.9		4		
			剥片	93	P29		859	8.1		4		
			剥片	93	P29		866	11.1		4		
			剥片	93	P29		962	27.0		4		
			剥片	93	P29		989	3.6		4		
			剥片	93	P29		1139	3.1		4		
			剥片	93	P29		1156	2.4		4		
			剥片	93	P29		1191	2.5		4		
			剥片	93	P29		1257	3.7		4		
			剥片		P29	I	15	5.3		4		
Ⅲ-351	241	389	接合資料	93				410.4	50	4	827	3658
			剥片	93	O29		3	5.7		4		
			剥片	93	P28		6	3.7		4		
			石刃	93	P28		33	21.4		4		
			剥片	93	P28		61	2.7		4		
			剥片	93	P28		62	2.3		4		
			剥片	93	P28		125	3.5		4		
			剥片	93	P28		149	1.8		4		
			剥片	93	P28		342	7.0		4		
			剥片	93	P28		400	22.5		4		
			剥片	93	P28		427	3.1		4		
			剥片	93	P28		431	2.0		4		
			剥片	93	P28		433	2.2		4		
			剥片	93	P28		836	20.6		4		
			剥片	93	P28		847	4.2		4		
			剥片	93	P28		848	0.7		4		
			剥片	93	P28		1156	2.5		4		
			剥片	93	P28		1519	1.9		4		
			石刃	93	P28		1559	35.7		4		
			剥片	93	P28		1568	10.8		4		
			剥片	93	P28		3887	2.1		4		
			剥片		P28	I	184	15.0		4		
			剥片		P28	I	185	6.3		4		
			剥片	93	P29		82	9.8		4		
			剥片	93	P29		163	3.4		4		
			剥片		P29	I	58	8.4		4		
			剥片	93	Q27		150	27.1		4		
Ⅲ-246	192	277	舟底形石器	93	Q27		196	22.2		4		
			剥片	93	Q27		198	6.5		4		
			剥片	93	Q27		200	2.0		4		
			剥片	93	Q27		226	3.0		4		
			剥片	93	Q27		251	4.4		4		
			剥片	93	Q27		291	7.5		4		
				93	Q27		601	24.8		4		
			剥片	93	Q27		327	39.4		4		
			剥片	93	Q27		371	5.8		4		
			剥片	93	Q27		373	2.5		4		
			剥片	93	Q27		375	6.1		4		
			剥片	93	Q27		383	2.5		4		
			剥片	93	Q27		385	12.3		4		
			剥片	93	Q27		386	13.6		4		
			剥片	93	Q27		477	1.6		4		
			剥片	93	Q27		486	1.4		4		
			剥片	93	Q27		581	3.0		4		
			剥片	93	Q27		618	11.2		4		
			剥片	93	Q27		627	1.5		4		
			剥片	93	Q27		784	4.5		4		
			剥片	93	Q28		2	2.8		4		
			剥片	93	Q28		161	1.3		4		
			剥片	93	Q28		184	1.7		4		
			剥片	93	Q28		228	2.4		4		
Ⅲ-352	241	390	接合資料	95				1492.3	45	3･4	814	3611
			石刃	95	K28		128	5.9		3		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				95	L28		12	4.2		4		
				95	L28		829	4.7		3		
					L28	I	16	9.7		4		
					L28	I	17	8.8		4		
			剥片	95	L27		531	30.0		4		
				95	L27		892	9.5		4		
				95	L28		17	235.4		4		
			縦長剥片	95	L27		684	9.3		4		
				95	L28		1069	9.5		4		
				95	L28		1095	7.7		3		
			剥片	95	L27		797	8.5		4		
				95	L28		147	49.3		3		
			剥片	95	L27		919	2.7		4		
				95	L28		158	4.9		3		
				95	L28		225	7.0		3		
				95	M28		827	10.7		4		
				95	M28		829	6.7		4		
			剥片	95	L27		964	7.4		4		
				95	M27		1370	6.0		3		
					M28	I	4	20.2		4		
			石刃	95	L27		983	7.3		4		
				95	L28		3	58.2		3		
				95	L28		148	15.6		3		
			縦長剥片	95	L27		1016	3.8		4		
				95	L28		402	17.6		3		
				95	L28		446	2.9		3		
				95	L28		1841	7.9		3		
				95	M27		1306	7.9		3		
			剥片	95	L28		124	9.8		3		
			剥片	95	L28		212	328.1		4		
			縦長剥片	95	L28		371	41.7		3		
				95	N29		394	28.1		4		
				95	N29		857	48.6		4		
			縦長剥片	95	L28		507	107.0		3		
			剥片	95	L28		1468	1.2		3		
				95	M27		1387	17.3		3		
			剥片	95	L28		1635	10.6		3		
			剥片	95	L29		276	250.7		4		
				95	M29		44	49.1		4		
			剥片	95	M27		41	6.7		3		
			剥片	95	M27		108	1.6		3		
				95	M27		1210	2.2		3		
				95	M27		1337	2.6		3		
			剥片	95	M27		1001	7.7		3		
Ⅲ-353	242	391	接合資料	90･94				1339.3	88	3･4	708	3237
			剥片		H34	I	6	18.1		4		
			剥片	94	I31		31	7.9		4		
			剥片	94	I31		34	3.1		4		
			剥片	94	I31		46	30.9		4		
			剥片	94	I31		53	14.4		4		
			剥片	94	I31		54	11.2		4		
				94	I31		110	1.5		4		
				94	I31		164	3.5		4		
				94	I31		200	10.5		4		
				94	I31		579	45.9		4		
			剥片	94	I31		72	47.9		4		
				94	I31		952	61.9		4		
			剥片	94	I31		82	42.6		4		
			剥片	94	I31		108	25.9		4		
				94	I31		251	7.6		4		
				94	I31		382	13.9		4		
				94	I31		985	10.0		4		
				94	J31		1358	3.5		4		
			剥片	94	I31		112	28.2		4		
			剥片	94	I31		117	6.3		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	94	I 31		186	16.4		4		
				94	I 31		210	30.5		4		
				94	I 31		374	5.2		4		
				94	I 31		493	1.8		4		
				94	J 31		1309	5.9		4		
				94	J 31		1314	17.6		4		
			剥片	94	I 31		258	5.2		4		
			剥片	94	I 31		275	3.7		4		
			剥片	94	I 31		296	3.4		4		
				94	I 31		1041	1.9		4		
			剥片	94	I 31		308	6.5		4		
				94	I 31		484	1.9		4		
				94	I 31		752	4.3		4		
			剥片	94	I 31		311	5.1		4		
				94	J 31		2186	5.3		4		
			剥片	94	I 31		416	13.3		4		
			剥片	94	I 31		460	6.3		4		
				94	I 31		728	2.2		4		
			剥片	94	I 31		465	4.1		4		
				94	I 31		569	6.3		4		
				94	J 31		2191	9.4		4		
			剥片	94	I 31		526	26.1		4		
				94	J 31		860	2.8		4		
				94	J 31		1376	6.0		4		
			剥片	94	I 31		531	1.7		4		
			剥片	94	I 31		558	2.7		4		
				94	I 31		838	7.1		4		
				94	I 31		1008	6.1		4		
			剥片	94	I 31		588	11.4		4		
				94	J 31		713	23.3		4		
				94	J 31		1404	3.1		4		
			剥片	94	I 31		632	7.4		4		
			剥片	94	I 31		640	8.5		4		
Ⅲ-246	192	273	舟底形石器	94	I 31		641	40.4		4		
			剥片	94	I 31		682	82.5		4		
			剥片	94	I 31		690	11.2		4		
			剥片	94	I 31		732	123.8		4		
				94	I 31		786	10.7		4		
				94	I 31		1051	64.1		4		
				94	J 31		848	59.3		4		
			剥片	94	I 31		844	11.4		4		
			剥片	94	I 31		853	2.3		4		
			剥片	94	I 31		972	9.4		4		
			石刃	94	I 31		1001	3.4		4		
			剥片	94	I 31		1050	7.0		4		
			縦長剥片	94	I 32		193	17.7		4		
				94	I 32		194	7.6		4		
				94	J 31		2323	5.7		4		
			剥片	94	J 31		601	3.1		4		
Ⅲ-248	193	289	石刃	94	J 31		704	12.7		4		
				94	J 31		2212	6.2		4		
				90	J 33		6	16.3		4		
			剥片	94	J 31		1088	4.3		4		
				94	J 31		1089	5.4		4		
				94	J 31		1322	4.9		4		
			剥片	94	J 31		1337	0.8		3		
			石刃	94	J 31		1343	2.9		4		
				94	J 31		1630	17.9		4		
				94	J 31		2213	14.8		4		
			剥片	94	J 31		1360	3.6		3		
			剥片	94	J 31		1372	6.5		4		
				94	J 31		1618	3.1		4		
			剥片	94	J 31		1889	11.9		4		
			剥片	94	J 31		2195	14.5		3		
			剥片	94	J 31		2200	12.0		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	94	J 31		2206	2.9		4		
			剥片	94	J 31		2207	2.8		4		
			石刃	90	J 32		482	78.9		4		
Ⅲ-354	242	392	接合資料	95				932.9	32	4	830	3661
			剥片	95	K26		76	1.6		4		
			剥片		K27	I	25	4.3		4		
			石刃	95	L26		26	9.7		4		
			石刃	95	L26		63	52.7		4		
				95	L26		362	13.0		4		
			剥片	95	L26		116	17.0		4		
			剥片	95	L26		130	289.1		4		
				95	L26		507	2.7		4		
				95	L27		235	8.3		4		
			剥片	95	L26		266	2.6		4		
				95	L27		190	198.6		4		
			剥片	95	L26		285	5.3		4		
Ⅲ-248	193	285	石刃	95	L26		324	9.8		4		
				95	L27		355	12.2		4		
			剥片	95	L26		424	3.6		4		
			剥片	95	L26		592	3.7		4		
			剥片	95	L26		623	2.0		4		
			石刃	95	L26		637	15.0		4		
				95	L26		774	32.7		4		
			剥片	95	L26		701	2.1		4		
			剥片	95	L26		735	2.2		4		
			剥片	95	L26		765	11.3		4		
			剥片	95	L26		766	1.5		4		
			剥片	95	L26		781	1.1		4		
			石刃	95	L27		65	3.0		4		
			剥片	95	L27		124	4.0		4		
			剥片	95	L27		181	4.9		4		
			剥片	95	L27		208	7.9		4		
Ⅲ-254	197	323	石核	95	L27		345	105.4		4		
			剥片	95	L27		586	3.0		4		
			剥片	95	L27		661	8.8		4		
			剥片		排土		91	93.8		4		
Ⅲ-355	243	393	接合資料	93				1668.8	28	1	778	3496
			石刃	93	O30		2	56.9		1		
			剥片	93	O30		57	51.0		1		
			剥片	93	O30		181	71.2		1		
				93	O30		182	11.5		1		
				93	O30		394	22.4		1		
			剥片	93	O30		359	154.3		1		
			剥片	93	O30		544	56.8		1		
			剥片	93	O30		707	39.0		1		
			剥片	93	O30		746	3.8		1		
				93	O30		1202	24.2		1		
			石刃	93	O30		791	21.7		1		
				93	O30		1257	10.2		1		
			剥片	93	O30		902	2.5		1		
				93	P28		1753	84.9		1		
				93	P28		4071	6.6		1		
			石刃	93	O30		993	2.5		1		
				93	O30		1179	4.2		1		
				93	O30		1624	5.2		1		
			剥片	93	O30		1022	15.1		1		
				93	O30		1196	10.7		1		
				93	P30		45	22.9		1		
			剥片	93	O30		1228	86.0		1		
			剥片		O30	I	117	5.8		1		
Ⅲ-250	194	299	石刃核	93	P27		260	259.0		1		
			石刃	93	P27		290	107.8		1		
			剥片	93	P28		1540	332.0		1		
				93	Q26		50	173.3		1		
			石刃	93	Q27		50	27.3		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
Ⅲ-356	243	394	接合資料	93				1081.6	54	1	755	3420
			剥片	93	M31		39	17.8		1		
			剥片		N29	Ⅰ	60	4.9		1		
			石刃	93	N30		168	14.7		1		
			剥片	93	N31		434	0.9		1		
			剥片	93	O30		93	8.1		1		
			剥片	93	O30		335	1.7		1		
			石刃	93	O30		398	2.6		1		
				93	O30		1217	1.5		1		
			石刃	93	O30		443	3.7		1		
				93	O30		853	2.5		1		
			剥片	93	O30		615	1.5		1		
				93	O30		1290	11.5		1		
					O30	Ⅱ	123	1.2		1		
			剥片	93	O30		721	1.5		1		
				93	O30		1084	14.7		1		
				93	O30		1749	3.9		1		
				93	O30		1890	9.1		1		
					O30	Ⅱ	122	0.9		1		
			剥片	93	O30		999	1.6		1		
			剥片	93	O30		1010	5.0		1		
				93	O30		1548	2.3		1		
			剥片	93	O30		1122	5.9		1		
Ⅲ-244	191	260	舟底形石器	93	O30		1207	7.8		1		
			剥片	93	O30		1211	6.7		1		
			剥片	93	O30		1254	3.1		1		
				93	R26		136	630.7		1		
			剥片	93	O30		1261	4.2		1		
			剥片	93	O30		1493	5.4		1		
			剥片	93	O30		1584	2.4		1		
			剥片	93	O30		1598	4.1		1		
			縦長剥片	93	O30		1632	8.2		1		
				93	O30		2301	14.5		1		
				93	O30		2302	4.6		1		
			剥片	93	O30		1634	0.6		1		
			剥片	93	O30		1662	4.2		1		
			石刃	93	O30		1667	2.6		1		
			縦長剥片	93	O30		1761	3.7		1		
			石刃	93	O30		1767	6.4		1		
			剥片	93	O30		2056	3.9		1		
			石刃	93	O30		2117	12.4		1		
			剥片	93	O30		2170	4.3		1		
			石刃	93	O30		2280	1.6		1		
			剥片		O30	Ⅱ	121	0.5		1		
			剥片		O30	Ⅱ	124	0.8		1		
			剥片		O30	Ⅱ	125	1.1		1		
			剥片		O30	Ⅱ	126	0.6		1		
			剥片		O30	Ⅱ	127	0.7		1		
			剥片	93	P27		63	1.9		1		
			石刃	93	P27		259	9.1		1		
Ⅲ-248	193	284	石刃	93	P28		2745	3.4		1		
				93	P28		5639	6.5		1		
			剥片	93	P30		21	28.9		1		
Ⅲ-235	185	125	彫器	93	Q27		411	7.0		1		
Ⅲ-250	194	296	石刃核	93	R26		29	172.2		1		
Ⅲ-357	244	395	接合資料	93				2783.8	47	1･5	773	3489
			剥片		N29	Ⅰ	53	47.0		1		
			剥片	93	O29		255	94.5		1		
				93	P27		501	62.5		1		
				93	P28		3126	2.6		1		
				93	Q26		98	13.3		1		
			剥片	93	O29		1237	4.8		1		
				93	P28		2326	4.4		1		
				93	P28		3895	5.5		1		
				93	P28		3906	6.3		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片		O29	Ⅰ	198	313.4		1		
			剥片	93	P27		52	35.3		1		
				93	P27		431	3.7		1		
			縦長剥片	93	P27		111	272.0		1		
			剥片	93	P27		331	17.5		1		
				93	P27		406	3.5		1		
			剥片	93	P27		396	120.9		1		
			石刃	93	P27		495	48.5		1		
				93	P28		7278	10.3		1		
			剥片	93	P27		513	10.9		1		
			剥片	93	P27		517	28.2		1		
Ⅲ-253	196	317	石核		P27	Ⅰ	1	499.4		1		
			剥片	93	P28		357	32.0		1		
				93	P28		3730	29.0		1		
			縦長剥片	93	P28		366	60.9		1		
				93	P28		814	16.0		1		
				93	Q27		165	7.4		1		
			二次加工ある剥片	93	P28		806	148.6		1		
				93	P28		7230	10.6		1		
			剥片	93	P28		1369	21.2		1		
				93	P28		1371	4.8		1		
				93	P28		1786	11.6		1		
			剥片	93	P28		1555	20.8		1		
			縦長剥片	93	P28		1586	57.0		1		
			二次加工ある剥片	93	P28		3548	51.6		1		
				93	P28		5038	55.1		1		
				93	P28		7396	8.1		1		
			剥片	93	P28		4034	51.9		1		
			剥片		P29	Ⅰ	89	51.3		1		
				93	R26		129	37.3		5		
			剥片	93	Q26		78	124.2		1		
			剥片	93	Q26		126	23.1		1		
				93	R26		106	17.6		5		
			剥片	93	Q27		22	5.8		1		
				93	Q27		23	3.9		1		
Ⅲ-253	196	316	石核	93	Q27		236	316.2		1		
			剥片	93	Q27		389	4.9		1		
			剥片	93	R26		119	8.4		5		
Ⅲ-359	245	396	接合資料	93				993.8	63	4	929	4050
			剥片	93	O29		1435	28.1		4		
				93	P28		946	5.5		4		
			石刃	93	P27		125	3.6		4		
				93	Q27		451	5.3		4		
			縦長剥片	93	P27		129	39.0		4		
				93	P27		389	13.0		4		
				93	Q27		589	1.8		4		
			剥片	93	P27		386	21.4		4		
			石刃	93	P28		70	19.8		4		
			剥片	93	P28		75	2.0		4		
			剥片	93	P28		543	63.7		4		
			剥片	93	P28		578	25.5		4		
			剥片	93	P28		609	11.3		4		
			剥片	93	P28		702	5.0		4		
			縦長剥片	93	P28		825	33.8		4		
			剥片	93	P28		1019	9.8		4		
			剥片	93	P28		1183	4.0		4		
			剥片	93	P28		1184	6.4		4		
			剥片	93	P28		1720	131.1		4		
			剥片	93	P28		2418	8.9		4		
			剥片	93	P28		2494	4.5		4		
			剥片		P28	Ⅰ	189	2.5		4		
			剥片	93	P29		98	24.3		4		
			剥片	93	Q27		5	5.1		4		
			剥片	93	Q27		24	7.5		4		
			二次加工ある剥片	93	Q27		27	123.8		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				93	Q27		393	46.5		4		
			剥片	93	Q27		111	1.3		4		
			剥片	93	Q27		199	12.0		4		
				93	Q27		481	13.4		4		
			剥片	93	Q27		211	15.5		4		
			剥片	93	Q27		216	25.8		4		
Ⅲ-248	193	290	石刃	93	Q27		222	26.6		4		
				93	Q27		305	14.4		4		
			剥片	93	Q27		238	7.8		4		
Ⅲ-254	197	322	石核	93	Q27		303	40.5		4		
			石刃	93	Q27		314	13.1		4		
			剥片	93	Q27		374	11.0		4		
			剥片	93	Q27		390	3.3		4		
			石刃	93	Q27		391	7.6		4		
			剥片	93	Q27		392	6.9		4		
			石刃	93	Q27		396	11.5		4		
			剥片	93	Q27		397	3.8		4		
			剥片	93	Q27		398	11.3		4		
			剥片	93	Q27		410	1.8		4		
			剥片	93	Q27		417	1.6		4		
			剥片	93	Q27		422	3.7		4		
			剥片	93	Q27		474	7.5		4		
			剥片	93	Q27		488	7.7		4		
			石刃	93	Q27		566	4.6		4		
				93	Q27		570	3.1		4		
			剥片	93	Q27		586	8.7		4		
			剥片	93	Q27		587	20.6		4		
				93	Q27		643	3.2		4		
			剥片	93	Q27		588	8.0		4		
			石刃	93	Q27		596	4.0		4		
			剥片	93	Q27		599	5.1		4		
			剥片	93	Q27		631	2.8		4		
			剥片	93	Q27		685	1.7		4		
			剥片	93	Q27		699	7.5		4		
			剥片	93	Q27		721	9.0		4		
			石刃	93	Q27		737	6.1		4		
			剥片	93	Q27		765	8.1		4		
Ⅲ-360	245	397	接合資料	93･95				540.4	31	1･5	726	3283
			剥片	95	L27		714	3.7		1		
				93	N29		1286	28.0		5		
			剥片	93	M29		776	8.0		1		
				93	N29		768	16.5		5		
			剥片	93	N29		460	42.3		1		
			石刃	93	N29		977	15.6		1		
			剥片	93	N29		1136	6.0		1		
			剥片	93	N29		1139	26.7		1		
			剥片	93	N29		1145	14.3		1		
			剥片	93	N29		1303	9.4		1		
			剥片	93	N29		1680	3.9		1		
				93	O28		797	10.2		1		
				93	P28		2598	6.0		1		
Ⅲ-241	189	221	削器	93	N29		1697	51.8		1		
			二次加工ある剥片	93	N30		66	108.3		5		
			剥片	93	N30		167	14.9		1		
			剥片	95	O27		359	15.6		1		
			剥片		O27	Ⅰ	21	17.6		1		
			剥片	93	O28		558	53.0		1		
				95	O28		1625	6.0		1		
			剥片	93	O28		713	6.6		1		
				93	O29		147	1.2		1		
				93	O29		244	9.8		1		
Ⅲ-234	184	103	彫器	93	O29		72	6.1		1		
			剥片	93	O29		542	3.6		1		
Ⅲ-235	185	128	彫器	93	O29		1442	6.4		1		
			剥片	93	O29		2366	14.2		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			石刃	95	P26		92	20.5		1		
			縦長剥片	93	P28		1783	5.6		1		
				93	P28		4177	6.4		1		
				93	P28		7605	2.2		1		
Ⅲ-361	246	398	接合資料	93･95				427.0	41	4	798	3543
			石刃	93	N29		566	2.6		4		
			縦長剥片	93	N29		770	25.2		4		
					P28	Ⅱ	190	0.6		4		
Ⅲ-131	105	175	石核		N33	Ⅰ	1	98.8		4		
			縦長剥片	95	O27		342	3.3		4		
				95	O27		1092	12.4		4		
			剥片	93	O28		162	1.5		4		
				93	O28		1756	4.3		4		
			縦長剥片	93	O28		382	5.0		4		
				93	O28		654	11.6		4		
				93	O28		757	12.7		4		
				93	O28		1203	52.4		4		
				93	O29		647	2.3		4		
					O29	Ⅰ	104	27.6		4		
			剥片	95	O28		466	0.8		4		
			剥片	93	O28		536	1.9		4		
				93	O28		1695	22.8		4		
				93	P27		58	9.6		4		
			剥片	93	O28		711	7.4		4		
			剥片	95	O28		728	1.4		4		
			剥片	93	O28		1240	2.8		4		
			剥片	93	O28		1504	2.2		4		
			剥片	93	O28		1675	2.9		4		
					O29	Ⅱ	112	0.4		4		
			剥片	93	O28		1775	16.4		4		
			剥片	93	O28		1797	1.8		4		
			剥片		O28	Ⅰ	24	2.2		4		
			剥片	93	O29		36	5.9		4		
				93	P28		4064	8.5		4		
			剥片	93	O29		239	2.2		4		
			剥片	93	O29		382	3.2		4		
			剥片	93	O29		467	1.3		4		
			縦長剥片	93	O29		1067	33.3		4		
			剥片	93	O29		1282	2.0		4		
			縦長剥片		O30	Ⅰ	66	2.7		4		
			石刃	93	P28		1459	26.8		4		
			剥片	93	P28		2528	2.2		4		
			剥片	93	P28		3037	1.9		4		
			剥片	93	P28		3040	1.2		4		
			剥片	93	P28		5042	1.5		4		
			剥片	93	P28		6276	1.4		4		
Ⅲ-361	246	399	接合資料	93				337.1	23	4	864	3813
			剥片	93	P28		7	1.8		4		
			剥片	93	P28		122	27.9		4		
Ⅲ-253	196	315	石核	93	P28		185	37.3		4		
			剥片	93	P28		1298	5.0		4		
			剥片	93	P28		1363	13.4		4		
			剥片	93	P28		2162	8.6		4		
					P29	Ⅰ	36	33.6		4		
			剥片	93	P28		2794	10.5		4		
				93	Q27		763	20.9		4		
			剥片	93	P28		3311	18.6		4		
				93	P28		7668	14.0		4		
				93	P29		1018	46.9		4		
			剥片	93	P28		3431	6.6		4		
			剥片	93	P28		3795	2.0		4		
			剥片	93	P28		4447	3.5		4		
			縦長剥片	93	P29		501	14.1		4		
				93	P29		713	25.5		4		
			剥片	93	P29		708	4.3		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	93	Q27		532	19.6		4		
			剥片	93	Q27		552	9.6		4		
			剥片	93	Q27		772	4.3		4		
			剥片	93	Q27		773	5.1		4		
				93	Q27		774	4.0		4		
Ⅲ-362	246	400	接合資料	89･93				257.9	25	4	889	3898
			剥片	93	P28		494	1.9		4		
			剥片	93	P28		522	1.8		4		
			剥片	93	P28		862	3.4		4		
Ⅲ-242	190	232	削器	93	P28		2635	44.6		4		
			剥片	93	P28		2641	2.7		4		
			剥片	93	P28		5805	7.6		4		
			剥片	93	P28		6833	4.0		4		
				93	P29		672	1.9		4		
			剥片	93	P28		7466	9.4		4		
			剥片	93	P28		7781	22.5		4		
			剥片	93	P28		7842	8.6		4		
			剥片	93	P29		553	5.5		4		
			剥片	93	P29		634	3.5		4		
			剥片	93	P29		649	2.1		4		
			剥片	93	P29		815	8.2		4		
			剥片	93	P29		916	6.4		4		
			剥片	93	P29		943	8.8		4		
			剥片	89	R30		159	2.6		4		
			剥片	89	R30		410	5.5		4		
			剥片	89	R30		494	11.1		4		
				89	S29		455	66.1		4		
			剥片	89	R30		537	10.8		4		
			剥片		R30	Ⅰ	3	13.2		4		
			剥片	89	S29		229	3.0		4		
			剥片	89	S29		399	2.7		4		
Ⅲ-363	247	401	接合資料	93				494.7	81	3･4	912	3990
			剥片	93	O29		1383	10.8		4		
					P28	Ⅱ	169	3.6		4		
			剥片	93	P28		79	2.8		4		
				93	Q28		50	1.4		4		
			剥片	93	P28		181	1.2		3		
			剥片	93	P28		246	1.9		4		
			剥片	93	P28		286	16.0		4		
			剥片	93	P28		597	2.4		4		
				93	P28		1228	27.3		4		
					Q27	Ⅱ	9	2.2		4		
				93	Q28		162	63.2		4		
Ⅲ-244	191	262	舟底形石器	93	P28		631	9.7		4		
			剥片	93	P28		1014	5.4		4		
			剥片	93	P28		1168	1.8		4		
				93	Q28		302	17.1		4		
			剥片	93	P28		1199	10.1		4		
			剥片	93	P28		1240	6.6		4		
				93	P28		4492	4.8		4		
			剥片	93	P28		1287	1.6		4		
			剥片	93	P28		1311	4.0		4		
			剥片	93	P28		1317	2.2		4		
			剥片	93	P28		1436	3.5		4		
			剥片	93	P28		1609	2.0		4		
			剥片	93	P28		1613	4.8		4		
			剥片	93	P28		1968	1.0		4		
			剥片	93	P28		1983	6.3		4		
			剥片	93	P28		1990	12.2		4		
			剥片	93	P28		2004	1.0		4		
			剥片	93	P28		2009	5.0		4		
			剥片	93	P28		2167	4.3		4		
				93	P28		4839	8.8		4		
			剥片	93	P28		2195	30.4		4		
			剥片	93	P28		2200	1.6		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	93	P28		2245	2.2		4		
			剥片	93	P28		2487	12.8		4		
			剥片	93	P28		2502	4.6		4		
				93	Q27		444	1.9		4		
			剥片	93	P28		2816	4.4		4		
			剥片	93	P28		2828	2.2		4		
			剥片	93	P28		2877	8.7		4		
			剥片	93	P28		2977	7.4		4		
			剥片	93	P28		2982	2.7		4		
			剥片	93	P28		3002	10.9		4		
			剥片	93	P28		3232	2.5		4		
			剥片	93	P28		3796	2.4		4		
			剥片	93	P28		3856	4.0		4		
			剥片	93	P28		3969	6.0		4		
			剥片	93	P28		4453	3.9		4		
				93	P28		5465	2.9		4		
					Q27	Ⅱ	7	1.9		4		
					Q27	Ⅱ	8	1.7		4		
			剥片	93	P28		4469	5.3		4		
			剥片	93	P28		4886	17.9		4		
			剥片	93	P28		6421	1.8		4		
			剥片		P28	Ⅱ	163	1.2		4		
			剥片		P28	Ⅱ	164	1.7		4		
			剥片		P28	Ⅱ	168	3.3		4		
					P28	Ⅱ	179	2.8		4		
			剥片		P28	Ⅱ	170	0.8		4		
			縦長剥片	93	P29		427	3.4		4		
				93	Q27		440	3.3		4		
			剥片	93	P29		736	4.2		4		
			剥片		P29	Ⅰ	54	1.6		4		
			剥片		P29	Ⅱ	49	0.9		4		
			剥片	93	Q27		57	11.0		4		
			剥片	93	Q27		227	4.9		4		
			剥片	93	Q27		317	2.6		4		
			剥片	93	Q27		443	12.9		4		
				93	Q27		597	2.0		4		
				93	Q27		723	6.4		4		
			剥片	93	Q27		466	2.1		4		
			剥片	93	Q27		538	3.6		4		
			剥片	93	Q27		540	2.1		4		
			剥片	93	Q27		545	3.5		4		
			剥片	93	Q27		714	2.8		4		
			剥片	93	Q27		734	5.3		4		
			剥片	93	Q27		860	14.2		4		
			剥片		Q27	Ⅱ	5	1.2		4		
			剥片		Q27	Ⅱ	6	2.0		4		
			剥片	93	Q28		180	2.3		4		
			剥片	93	Q28		220	7.5		4		
Ⅲ-363	247	402	接合資料	93				513.4	44	4	914	3992
			剥片	93	N29		261	4.5		4		
			剥片	93	P28		345	2.6		4		
			剥片	93	P28		391	3.9		4		
			剥片	93	P28		816	3.3		4		
			剥片	93	P28		843	5.0		4		
				93	Q27		468	54.3		4		
			剥片	93	P28		870	3.1		4		
			剥片	93	P28		1155	1.7		4		
			剥片	93	P28		1560	19.5		4		
			剥片	93	P28		1631	2.4		4		
			剥片		P28	Ⅰ	146	5.8		4		
			剥片		P28	Ⅰ	147	4.6		4		
			剥片		P28	Ⅰ	155	0.4		4		
			剥片	93	P29		17	10.1		4		
			剥片	93	P29		79	3.5		4		
				93	Q27		728	74.8		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	93	P29		140	22.8		4		
			剥片	93	Q27		113	3.4		4		
			剥片	93	Q27		119	10.5		4		
				93	Q27		149	5.9		4		
			剥片	93	Q27		147	11.0		4		
			剥片	93	Q27		152	8.5		4		
				93	Q27		578	27.8		4		
			剥片	93	Q27		153	6.4		4		
			剥片	93	Q27		316	2.4		4		
			剥片	93	Q27		326	43.5		4		
			剥片	93	Q27		359	2.4		4		
			剥片	93	Q27		368	7.7		4		
			剥片	93	Q27		378	23.4		4		
				93	Q27		467	26.4		4		
			剥片	93	Q27		382	8.0		4		
			剥片	93	Q27		399	2.8		4		
			剥片	93	Q27		582	12.1		4		
			剥片	93	Q27		590	4.0		4		
				93	Q28		176	4.8		4		
			剥片	93	Q27		640	13.3		4		
			剥片	93	Q27		729	5.0		4		
			剥片	93	Q28		20	2.7		4		
			剥片	93	Q28		56	36.7		4		
				93	Q28		164	3.5		4		
Ⅲ-244	191	261	舟底形石器	93	Q28		57	7.8		4		
			剥片	93	Q28		90	5.8		4		
			剥片	93	Q28		168	2.0		4		
			剥片	93	Q28		174	3.3		4		
Ⅲ-364	248	403	接合資料	93				352.9	29	4	883	3875
			剥片	93	O28		186	10.6		4		
			剥片	93	O28		1286	5.0		4		
			剥片	93	O28		1311	2.8		4		
			剥片	93	O29		1481	2.3		4		
			剥片	93	P28		64	2.5		4		
Ⅲ-254	197	320	石核	93	P28		2587	11.4		4		
				93	P28		3580	90.9		4		
			剥片	93	P28		3070	3.7		4		
			剥片	93	P28		3087	10.7		4		
				93	P28		6271	9.3		4		
			剥片	93	P28		3100	40.5		4		
				93	P28		5092	33.1		4		
			剥片	93	P28		3579	5.1		4		
			剥片	93	P28		3756	5.9		4		
				93	P28		6278	14.2		4		
			剥片	93	P28		4050	23.5		4		
			剥片	93	P28		4555	11.0		4		
			剥片	93	P28		5066	3.1		4		
			剥片	93	P28		5513	7.6		4		
			剥片	93	P28		5534	1.6		4		
			剥片	93	P28		5535	4.8		4		
			剥片	93	P28		5555	3.1		4		
Ⅲ-243	190	252	舟底形石器	93	P28		5900	8.1		4		
				93	P28		6280	13.0		4		
			剥片	93	P28		6621	7.5		4		
			剥片	93	P28		6955	11.0		4		
			剥片	93	P28		6973	2.1		4		
			剥片	93	P28		7194	5.7		4		
			剥片	93	P28		7251	2.8		4		
Ⅲ-365	248	404	接合資料	95				1448.6	39	3･4	813	3610
			剥片	95	L27		409	11.5		4		
			縦長剥片	95	L27		1027	4.5		4		
				95	L28		1125	15.4		4		
				95	M27		1530	12.1		4		
				95	M27		1575	10.8		4		
			剥片	95	L27		1036	96.4		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				95	L28		466	87.1		4		
				95	L28		1703	11.7		3		
			剥片	95	L27		1056	27.6		4		
			縦長剥片	95	L28		20	28.0		4		
			剥片	95	L28		217	7.6		4		
				95	L28		1409	31.0		3		
			剥片	95	L28		376	17.8		4		
			剥片	95	L28		393	83.3		3		
			剥片	95	L28		525	5.3		4		
				95	L28		532	8.8		4		
			剥片	95	L28		784	314.5		3		
				95	L28		1867	2.3		3		
			剥片	95	L28		792	44.7		3		
				95	L28		1128	48.0		3		
			剥片	95	L28		878	11.5		3		
			剥片	95	L28		899	10.0		3		
			剥片	95	L28		1129	104.3		4		
				95	L28		1288	27.6		4		
			剥片	95	L28		1146	4.5		4		
				95	L28		1411	3.9		4		
			剥片	95	L28		1185	179.3		4		
			剥片	95	L28		1590	6.2		4		
			剥片	95	L28		1599	4.0		4		
			剥片	95	L28		1741	4.6		4		
			剥片	95	L28		1809	3.5		3		
			剥片	95	L28		1824	52.8		4		
			剥片	95	M27		572	12.8		3		
			剥片	95	M27		1402	3.7		4		
			剥片	95	M27		1497	63.7		4		
			剥片	95	M27		1509	21.1		4		
			剥片	95	M27		1613	2.8		4		
			剥片	95	M27		1615	6.5		4		
			剥片	95	M28		35	57.4		4		
－	249	505	接合資料	93･95				4148.4	276	1･3･4･5	939	4078
			剥片	95	L27		845	48.1		3		
				95	M27		1226	13.6		3		
			剥片	95	L28		130	21.3		3		
				95	M27		1516	99.7		3		
				95	N26		340	3.4		5		
				95	N27		1169	2.9		5		
			剥片		L28	I	22	77.8		5		
			剥片	95	M26		522	5.5		3		
			縦長剥片	95	M27		9	1.2		1		
				93	N29		1740	8.1		5		
				95	O26		261	34.5		4		
				95	O27		846	34.2		5		
				95	O27		928	1.2		5		
			剥片	95	M27		473	11.9		5		
				95	M27		1268	13.5		5		
				95	N26		337	27.9		3		
				95	N27		828	1.8		5		
			剥片	95	M27		1302	15.3		5		
				95	N26		270	10.3		5		
				95	N27		560	4.1		5		
				95	N27		938	3.5		5		
			剥片	95	M27		1355	25.5		5		
				95	N26		289	5.0		5		
				95	N26		309	12.3		5		
				95	N27		1	33.1		5		
			剥片	95	M28		24	2.4		5		
				95	P26		236	4.8		5		
			剥片	95	M28		92	1.4		5		
				95	N27		408	2.3		5		
				95	N28		126	2.3		5		
－	198	415	尖頭器削片	95	M28		317	1.5		5		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	95	M28		342	1.4		5		
				95	M28		551	2.3		5		
			剥片	95	M28		347	0.7		5		
				95	N28		217	4.9		4		
				95	O27		625	8.0		5		
			剥片	95	M28		350	2.6		5		
				95	P26		202	2.3		5		
			剥片	95	M28		355	2.0		5		
			剥片	95	M28		448	3.9		5		
			剥片	95	M29		21	6.3		5		
				95	M29		322	1.9		5		
				95	O27		612	4.3		5		
			剥片	95	M29		92	0.4		5		
				95	O26		61	15.1		5		
			剥片	93	M29		107	9.1		5		
				95	N27		769	6.5		5		
				95	N28		332	9.6		5		
			剥片	95	M29		237	2.4		5		
				95	O27		693	8.2		5		
			剥片	93	M29		368	19.3		5		
				93	M29		466	10.2		5		
			剥片	93	M29		393	34.4		5		
				95	N28		125	20.8		5		
			剥片	93	M29		396	11.2		5		
			剥片	93	M29		445	13.0		5		
				95	N27		76	2.8		5		
			剥片	93	M29		517	3.1		5		
			剥片	93	M29		552	4.0		5		
			剥片	93	M29		654	3.1		5		
			剥片	93	M30		103	25.1		4		
				95	N26		360	252.9		5		
				95	N27		142	4.8		5		
				95	O27		1087	1.2		5		
			剥片	93	M30		752	2.1		3		
				95	P26		252	1.3		5		
－	198	413	尖頭器	95	N26		162	84.0		4		
				95	O25		82	13.9		4		
			剥片	95	N27		2	5.7		5		
			剥片	95	N27		6	1.8		5		
			縦長剥片	95	N27		33	3.4		5		
				95	O27		547	17.4		5		
				95	O27		867	19.3		5		
				95	O27		1117	2.8		5		
			剥片	95	N27		52	27.3		5		
				95	N27		220	10.9		5		
				95	N27		1078	12.5		5		
			剥片	95	N27		128	3.4		5		
				95	N27		405	4.9		5		
				95	P26		258	1.2		5		
			剥片	95	N27		145	7.0		5		
				95	O27		631	2.4		5		
				95	P26		284	6.4		5		
			剥片	95	N27		175	4.2		5		
				95	O27		328	7.9		4		
			剥片	95	N27		186	5.0		5		
			剥片	95	N27		201	7.4		5		
				95	O27		135	16.8		5		
			剥片	95	N27		215	2.2		5		
				95	N27		636	3.5		5		
			剥片	95	N27		228	2.8		5		
				95	O27		875	4.3		5		
			剥片	95	N27		256	2.8		5		
			剥片	95	N27		258	1.3		5		
			剥片	95	N27		280	6.5		5		
				95	N27		313	9.5		5		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				95	N27		591	3.6		5		
				95	N27		810	3.0		5		
				95	N27		825	10.2		5		
				95	N28		277	28.1		5		
				95	O26		539	4.4		4		
				95	O27		539	11.0		5		
				95	O27		613	28.1		4		
				95	O27		750	4.9		5		
				95	O27		839	8.8		5		
			剥片	95	N27		292	2.8		5		
				95	O26		583	49.8		4		
				95	O27		270	15.1		5		
				95	P26		225	3.6		5		
			剥片	95	N27		309	2.3		5		
			縦長剥片	95	N27		315	1.7		5		
				95	O26		204	34.2		4		
			剥片	95	N27		327	8.2		5		
			剥片	95	N27		364	1.9		5		
				95	N28		120	58.6		5		
				95	O27		1044	5.2		5		
			剥片	95	N27		406	1.8		5		
			剥片	95	N27		418	4.1		5		
			剥片	95	N27		420	8.5		5		
				95	N28		168	2.4		5		
				95	O27		600	5.0		5		
				95	O27		852	4.5		5		
			剥片	95	N27		457	2.6		5		
			縦長剥片	95	N27		463	9.5		5		
			縦長剥片	95	N27		468	5.5		5		
				95	N28		285	141.5		5		
				95	O26		176	26.3		5		
				95	O27		685	12.7		5		
				95	O27		797	35.5		5		
				95	O27		1042	5.1		5		
			剥片	95	N27		480	1.6		5		
				95	N27		551	4.0		5		
				95	N27		666	18.3		5		
				95	N27		695	2.0		5		
			剥片	95	N27		484	2.0		5		
				95	O27		542	1.7		5		
			剥片	95	N27		495	1.4		5		
			剥片	95	N27		499	6.2		5		
			剥片	95	N27		543	2.2		5		
			剥片	95	N27		546	78.7		5		
			剥片	95	N27		558	1.4		4		
				95	O26		266	8.8		4		
				95	O26		408	45.1		4		
			剥片	95	N27		565	21.3		5		
			剥片	95	N27		612	5.6		5		
				95	N27		693	4.0		5		
				95	N27		1070	8.4		5		
				95	N27		1518	3.2		5		
				95	N28		131	5.7		5		
				95	N28		281	4.0		5		
			剥片	95	N27		613	2.2		5		
			剥片	95	N27		620	3.7		5		
			剥片	95	N27		628	2.5		5		
			剥片	95	N27		630	2.8		5		
				95	P26		217	7.0		5		
			剥片	95	N27		664	24.3		5		
			剥片	95	N27		680	1.6		5		
			剥片	95	N27		687	2.7		5		
			剥片	95	N27		721	2.2		5		
			剥片	95	N27		759	4.3		5		
			剥片	95	N27		767	33.3		5		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				95	O26		235	3.5		4		
				95	O27		783	15.0		5		
			剥片	95	N27		785	2.2		5		
			剥片	95	N27		802	8.3		5		
			剥片	95	N27		886	18.0		5		
			剥片	95	N27		898	6.9		5		
				95	N28		444	5.9		5		
			剥片	95	N27		977	7.8		5		
				95	N28		293	3.5		5		
				95	N28		448	3.5		5		
			剥片	95	N27		1009	21.1		5		
				95	N27		1157	52.2		5		
			剥片	95	N27		1060	3.3		5		
				95	O27		1429	4.7		5		
			剥片	95	N27		1086	1.8		5		
				95	P26		261	20.4		5		
			剥片	95	N27		1130	8.7		5		
				95	O27		1352	1.9		5		
			剥片	95	N28		61	2.3		5		
			剥片	95	N28		76	6.2		5		
			剥片	95	N28		135	9.9		5		
			剥片	95	N28		156	13.3		5		
			剥片	95	N28		158	55.8		5		
				95	N28		268	26.3		4		
			剥片	95	N28		184	107.4		5		
			剥片	95	N28		186	27.9		5		
			剥片	95	N28		188	2.1		5		
				95	O27		1264	5.6		5		
			剥片	95	N28		249	4.4		5		
			剥片	95	N28		254	4.3		5		
			剥片	95	N28		278	5.9		5		
			剥片	95	N28		284	15.8		5		
				95	O27		614	3.3		5		
			剥片	95	N28		291	12.8		5		
				95	N28		296	1.1		5		
			剥片	95	N28		334	1.8		5		
			剥片	95	N28		378	6.3		5		
			剥片	95	N28		379	12.1		5		
			剥片	95	N28		396	43.3		5		
				95	O27		529	3.3		5		
			剥片	95	N29		586	20.3		5		
			剥片	93	N29		1599	18.5		3		
			剥片	93	N29		1628	8.2		5		
			剥片	95	O26		203	15.0		4		
			縦長剥片	95	O26		205	28.1		4		
				95	O27		667	11.8		5		
			剥片	95	O26		253	4.7		4		
				95	O27		857	5.2		5		
			剥片	95	O26		256	11.1		4		
				95	O27		231	5.0		5		
				95	O27		599	7.1		5		
			剥片	95	O26		260	1.7		4		
			剥片	95	O26		263	10.7		4		
				95	O27		461	546.0		5		
			剥片	95	O26		291	4.0		4		
			剥片	95	O26		338	4.1		4		
			剥片	95	O27		119	22.4		5		
			剥片	95	O27		142	15.1		5		
			剥片	95	O27		143	4.5		5		
			剥片	95	O27		150	6.3		5		
			剥片	95	O27		153	10.6		5		
			剥片	95	O27		235	6.3		5		
				95	O27		347	3.9		5		
				95	O27		606	30.1		5		
				95	O27		997	1.4		5		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	95	O27		263	102.9		5		
			剥片	95	O27		295	6.2		5		
				95	P26		248	8.6		5		
			剥片	95	O27		323	14.0		5		
				95	O27		715	21.6		5		
			剥片	95	O27		371	3.1		5		
				95	O27		1279	4.3		5		
				95	O27		1338	7.5		5		
			剥片	95	O27		383	5.3		5		
			剥片	95	O27		415	8.4		5		
			剥片	95	O27		458	5.8		5		
			剥片	95	O27		522	6.6		5		
			剥片	95	O27		537	7.7		5		
			剥片	95	O27		541	5.9		5		
			剥片	95	O27		588	37.2		5		
				95	O27		868	28.9		5		
			剥片	95	O27		617	19.3		5		
			剥片	95	O27		674	5.6		5		
			縦長剥片	95	O27		689	8.9		5		
			剥片	95	O27		694	0.6		5		
			剥片	95	O27		700	17.3		5		
			剥片	95	O27		711	4.5		5		
			剥片	95	O27		787	5.4		4		
			剥片	95	O27		795	7.1		5		
				95	O27		1002	2.7		5		
				95	O27		1247	2.0		5		
				95	P26		264	6.8		5		
			剥片	95	O27		796	2.3		5		
			剥片	95	O27		836	1.7		5		
			剥片	95	O27		848	37.0		5		
			剥片	95	O27		858	2.2		5		
			剥片	95	O27		929	3.9		5		
				95	O27		1088	12.3		5		
			剥片	95	O27		1006	5.1		5		
			剥片	95	O27		1078	4.1		5		
			剥片	95	O27		1098	17.4		5		
			剥片	95	O27		1171	17.0		5		
			剥片	95	O27		1259	2.1		5		
			剥片	95	O27		1274	5.6		5		
			剥片	95	P26		198	4.8		5		
			剥片	95	P26		200	4.8		5		
			剥片	95	P26		201	11.8		5		
			剥片	95	P26		208	8.3		5		
			剥片	95	P26		209	23.7		5		
			剥片	95	P26		212	6.3		5		
			剥片	95	P26		230	14.9		5		
			剥片	95	P26		241	35.2		5		
			剥片	95	P26		263	6.5		5		
			剥片	95	P26		277	2.1		5		
			剥片	95	P26		283	10.3		5		
Ⅲ-366	250	406	接合資料	93				88.4	7	4	−	5744
			尖頭器削片	93	O28		390	1.7		4		
−	198	417	尖頭器削片	93	O28		580	1.2		4		
				93	Q28		316	7.5		4		
−	198	416	尖頭器削片	93	P28		4486	0.9		4		
Ⅲ-229	182	56	尖頭器	93	P28		6826	18.4		4		
				93	P29		386	6.9		4		
				93	Q27		560	51.8		4		
Ⅲ-367	250	407	接合資料	95				182.1	9	1	729	3294
−	200	448	縦長剥片	95	L27		413	10.8		1		
−	200	449	縦長剥片	95	M27		422	3.3		1		
				95	N27		384	8.9		1		
			縦長剥片	95	M27		736	29.0		1		
				95	M27		738	19.4		1		
Ⅲ-236	186	142	彫器	95	M27		911	107.1		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	95	M29		195	1.7		1		
－	200	447	縦長剥片	95	N27		1234	1.0		1		
				95	N27		1237	0.9		1		
Ⅲ-367	250	408	接合資料	93･95				143.8	12	1	729	3295
			剥片	95	N26		641	24.6		1		
				95	N26		700	6.4		1		
			剥片	95	N27		1540	5.3		1		
			剥片	95	N28		197	5.2		1		
				95	O27		1513	16.2		1		
				95	O27		1571	2.3		1		
			剥片	95	O27		806	22.6		1		
			剥片	95	O27		1158	4.0		1		
				95	O27		1297	13.1		1		
			剥片	95	O27		1298	8.9		1		
Ⅲ-235	185	134	彫器	93	O28		1989	27.6		1		
Ⅲ-237	186	155	彫器削片	93	Q27		815	7.6		1		
Ⅲ-367	250	409	接合資料	95				21.7	3	1	－	5749
Ⅲ-236	186	139	彫器	95	J29		162	13.8		1		
Ⅲ-237	186	156	彫器削片	95	L28		1199	3.1		1		
Ⅲ-237	186	157	彫器削片	95	L28		1733	4.8		1		
Ⅲ-368	250	410	接合資料	95				710.8	14	1	734	3324
			剥片	95	J26		9	9.9		1		
			二次加工ある剥片	95	J26		36	71.9		1		
				95	L25		14	186.9		1		
			剥片	95	L25		71	37.1		1		
				95	P25		388	66.8		1		
				95	Q24		42	96.3		1		
			石刃	95	L25		84	95.4		1		
			剥片	95	L25		92	4.7		1		
			石刃	95	M26		207	31.9		1		
			縦長剥片	95	N27		394	12.6		1		
				95	P25		687	19.3		1		
				95	Q24		28	6.4		1		
Ⅲ-237	186	158	彫器削片	95	O26		324	4.8		1		
Ⅲ-236	186	143	彫器	95	P25		421	66.8		1		
Ⅲ-368	250	411	接合資料	95				42.0	2	1	734	3326
－	198	418	彫器削片	95	N28		443	12.9		1		
Ⅲ-236	186	140	彫器	95	O27		645	29.1		1		
Ⅲ-368	250	412	接合資料					17.1	4	安1	944	4093
Ⅲ-236	186	141	彫器		L27	Ⅱ	4	10.6		安1		
－	204	492	剥片		L27	Ⅱ	6	3.2		安1		
Ⅲ-255	197	327	石核		L27	Ⅱ	7	2.9		安1		
Ⅲ-237	186	161	彫器削片		L27	Ⅱ	11	0.4		安1		
－	251	506	接合資料	93･95				2966.6	153	2	785	3506
Ⅲ-255	197	329	石核	95	J29		242	88.9		2		
			剥片	95	J30		122	15.9		2		
				95	J30		279	3.6		2		
				95	K29		633	23.1		2		
				95	M27		359	12.2		2		
				95	M27		400	328.4		2		
				95	M27		402	5.0		2		
				95	M27		1152	86.3		2		
				95	M28		679	326.3		2		
				95	N27		1799	7.8		2		
				95	N28		142	11.9		2		
				95	N28		409	4.5		2		
				93	O28		2049	31.3		2		
			剥片	95	J30		182	4.7		2		
				95	M27		1153	31.4		2		
			縦長剥片	95	J30		224	4.0		2		
				95	J30		281	6.5		2		
			縦長剥片	95	K30		402	7.4		2		
			剥片		L30	Ⅰ	1	11.5		2		
			剥片		L30	Ⅰ	2	1.2		2		
				93	O28		1922	1.3		2		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				95	O28		1943	2.7		2		
			剥片	95	M27		136	2.0		2		
Ⅲ-218	173	7	尖頭器	95	M27		290	82.3		2		
				95	N27		336	56.7		2		
			剥片	95	M27		396	4.1		2		
				95	N29		555	3.5		2		
			剥片	95	M27		487	7.2		2		
				95	M27		630	2.8		2		
				95	N26		603	5.9		2		
			剥片	95	M27		517	71.8		2		
				95	M27		881	6.0		2		
			剥片	95	M27		610	5.5		2		
				95	N26		627	4.7		2		
			剥片	95	M27		626	4.1		2		
				95	M28		210	178.3		2		
				95	N27		1786	38.9		2		
			剥片	95	M27		628	4.9		2		
			剥片	95	M27		629	1.9		2		
			剥片	95	M27		769	2.6		2		
				95	N27		1570	4.2		2		
			剥片	95	M27		1103	4.0		2		
				95	N26		592	17.6		2		
				95	N26		682	47.3		2		
				95	N28		423	5.0		2		
				93	O28		1749	5.4		2		
			剥片	95	M27		1159	1.4		2		
			剥片	95	M27		1243	8.8		2		
				95	N27		1800	438.6		2		
				95	N29		442	18.0		2		
				95	O28		1844	12.6		2		
				95	O28		1961	2.3		2		
			剥片	93	M29		166	4.7		2		
				95	N28		340	2.1		2		
				95	N28		464	20.8		2		
			剥片	93	M29		752	1.7		2		
				93	M29		778	5.7		2		
			剥片		M29	Ⅰ	9	4.7		2		
			剥片		M29	Ⅰ	10	2.6		2		
				95	O28		49	4.5		2		
			剥片	95	N26		644	23.2		2		
				95	N27		1353	11.2		2		
			剥片	95	N26		686	1.9		2		
			剥片	95	N26		692	2.4		2		
			剥片	95	N26		694	9.5		2		
			剥片	95	N27		441	1.3		2		
				95	N27		451	1.0		2		
				95	N27		1072	1.6		2		
				95	N27		1138	1.9		2		
			剥片	95	N27		1136	2.8		2		
			剥片	95	N27		1769	1.3		2		
			剥片	95	N28		141	5.1		2		
				95	N28		484	2.3		2		
				95	O28		1331	47.2		2		
				95	O28		1748	2.7		2		
			剥片	95	N28		194	7.7		2		
			剥片	95	N28		232	10.3		2		
				95	N28		272	8.5		2		
				93	N29		626	14.1		2		
			剥片	95	N28		234	1.7		2		
			剥片	95	N28		286	9.0		2		
			剥片	95	N28		287	5.1		2		
			剥片	95	N28		290	2.2		2		
			剥片	95	N28		419	7.2		2		
				95	N29		898	3.5		2		
				93	P28		6545	8.3		2		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	95	N28		420	2.7		2		
			剥片	95	N28		458	4.2		2		
			剥片	95	N28		466	3.2		2		
				95	N28		477	2.0		2		
			剥片	95	N28		470	4.0		2		
			剥片	95	N28		473	2.5		2		
			剥片	95	N28		479	0.8		2		
				95	N29		584	6.9		2		
			剥片	95	N28		482	1.4		2		
				95	N28		516	7.1		2		
				95	N29		901	3.8		2		
				93	N29		1204	4.7		2		
			剥片	95	N28		486	14.1		2		
				95	O28		1848	2.4		2		
			剥片	95	N28		489	3.7		2		
				95	N28		542	5.8		2		
				95	O27		892	3.0		2		
				95	O28		293	43.4		2		
			剥片	95	N28		501	61.6		2		
			剥片	95	N28		519	5.2		2		
			剥片	95	N28		520	1.4		2		
				95	N28		522	2.2		2		
			剥片	95	N28		526	4.5		2		
			剥片	95	N28		527	45.1		2		
			剥片	95	N28		528	39.1		2		
				95	O28		1166	2.6		2		
				95	O28		1819	9.0		2		
			剥片	95	N28		541	13.6		2		
			剥片	95	N28		544	6.8		2		
			剥片	95	N29		227	2.7		2		
				95	O28		1971	1.0		2		
			剥片	93	N29		267	1.2		2		
				95	N29		547	2.4		2		
				95	N29		717	10.6		2		
				95	O28		1841	3.1		2		
			剥片	95	N29		558	4.3		2		
				95	O28		1999	19.0		2		
			剥片	95	N29		716	9.5		2		
			剥片	95	N29		896	11.3		2		
			剥片	95	N29		908	10.5		2		
			剥片	95	N29		915	1.5		2		
			剥片	95	N29		920	134.9		2		
			剥片	93	N29		1350	4.1		2		
			剥片	95	O27		1351	4.0		2		
				95	O28		1746	9.4		2		
			剥片	95	O28		48	8.4		2		
			剥片	95	O28		431	7.2		2		
			剥片	95	O28		773	1.2		2		
			剥片	95	O28		876	2.3		2		
			剥片	95	O28		1345	3.8		2		
			剥片	95	O28		1683	7.7		2		
				95	O28		2005	4.1		2		
			剥片	95	O28		1741	13.5		2		
				95	O28		1832	2.4		2		
				93	O28		1923	3.0		2		
			剥片	95	O28		1821	2.3		2		
				93	O28		1953	4.0		2		
			剥片	95	O28		1826	10.4		2		
			剥片	95	O28		1829	3.4		2		
				95	O28		1929	1.7		2		
			剥片	95	O28		1833	3.1		2		
				95	O28		2009	8.2		2		
			剥片	95	O28		1963	12.3		2		
			剥片	95	O28		1972	1.8		2		
			剥片	95	O28		2006	8.0		2		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	93	O28		2021	15.2		2		
			剥片	93	O28		2024	2.2		2		
－	252	507	接合資料	93･96				1126.7	71	2	1054	4387
			剥片		J25	Ⅰ	11	4.8		2		
				96	L24		192	128.8		2		
			剥片	96	K24		94	1.5		2		
				96	L24		299	7.4		2		
				96	N22		133	2.9		2		
				96	N23		77	3.3		2		
			剥片		K24	Ⅱ	42	1.5		2		
			剥片		K24	Ⅱ	110	1.2		2		
				96	N24		4	18.7		2		
Ⅲ-220	175	20	尖頭器	96	M23		82	148.9		2		
			剥片	96	M23		137	33.8		2		
			剥片	96	M23		273	49.7		2		
			剥片		M23	Ⅱ	4	1.0		2		
			剥片	96	M24		1	13.6		2		
				96	M24		2	6.8		2		
				96	O22		12	2.6		2		
			剥片	96	N23		117	22.9		2		
			剥片	93	N29		1057	4.8		2		
				93	O29		1801	1.6		2		
				93	O29		2363	8.0		2		
				93	P28		5313	3.0		2		
				93	P28		6462	8.9		2		
				93	P28		7294	3.5		2		
				93	P28		7459	17.9		2		
			剥片	93	N29		1432	11.0		2		
				93	P28		6297	2.5		2		
			剥片	93	N29		1491	4.4		2		
					N29	Ⅱ	58	0.9		2		
				93	N30		335	9.0		2		
				93	O29		2369	5.9		2		
				93	P28		6244	2.7		2		
				93	P28		6245	3.2		2		
					Q27	Ⅱ	18	2.1		2		
			剥片	93	N29		1556	9.5		2		
				93	P28		6583	8.2		2		
			剥片	93	N30		425	35.1		2		
					P27	Ⅱ	11	1.0		2		
				93	P28		5254	1.9		2		
				93	P28		5618	15.4		2		
				93	P28		7003	2.8		2		
			剥片	96	O22		2	38.8		2		
			剥片	96	O22		4	23.0		2		
			剥片	96	O22		5	1.9		2		
				96	O22		6	47.1		2		
				96	O22		10	4.8		2		
				96	O22		11	8.1		2		
			剥片	96	O22		8	3.1		2		
			剥片	96	O22		9	4.6		2		
				96	O23		9	1.6		2		
			剥片	96	O23		7	53.4		2		
			剥片	96	O23		8	2.2		2		
				96	O23		19	105.4		2		
			剥片	96	O23		14	6.0		2		
			剥片	93	O29		754	1.9		2		
				93	O29		1710	23.7		2		
				93	O29		1722	3.1		2		
				93	P28		5166	26.0		2		
			剥片	93	O29		1276	20.2		2		
			剥片	93	O29		1431	2.1		2		
				93	P28		5365	8.8		2		
				93	P28		5596	3.7		2		
				93	P28		5853	3.3		2		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	93	O29		1594	11.5		2		
				93	P28		1918	2.4		2		
				93	P28		6527	3.9		2		
				93	P28		6540	52.4		2		
			剥片	93	P28		7005	12.4		2		
			剥片	93	Q27		853	10.7		2		
				93	Q27		877	7.4		2		
				93	Q27		904	17.4		2		
					Q27	Ⅱ	15	3.1		2		
－	253	508	接合資料	93･95				1826.7	75	1･5	754	3418
			剥片	95	L27		9	7.1		1		
				95	N27		17	9.0		5		
				95	N27		113	9.2		1		
				95	P25		234	3.1		1		
				95	P26		26	21.6		1		
			剥片	95	M26		6	5.5		1		
				95	N26		142	16.2		1		
				95	P25		698	9.7		1		
			剥片	95	N26		15	20.1		1		
					不明		不明	3.3		1		
			剥片	95	N26		403	16.9		1		
			剥片	95	N26		617	17.5		5		
				95	O26		315	6.2		1		
				95	O26		489	9.0		1		
				93	Q26		39	6.9		1		
			剥片	95	N26		672	64.0		1		
				95	P24		44	9.9		1		
				95	P25		208	55.9		1		
				95	P25		525	51.0		1		
			剥片		N26	Ⅰ	10	15.3		1		
				95	N27		171	41.6		1		
				95	O25		29	10.6		1		
				95	O26		550	64.1		5		
				95	P25		145	64.7		1		
			剥片	95	N27		126	30.4		1		
				95	O27		444	13.8		1		
			剥片	95	N27		243	3.9		1		
			剥片	95	N27		344	109.8		1		
				95	N27		1436	39.4		1		
				95	O26		365	4.4		1		
			剥片	95	N27		1254	2.1		1		
				95	O27		427	1.6		1		
				95	O27		428	8.6		1		
			剥片	95	N28		53	1.6		1		
				95	O26		112	9.8		1		
			剥片	95	N28		54	46.6		1		
			剥片	95	O25		25	10.6		1		
				95	O25		227	12.0		1		
				95	O25		258	3.8		5		
				95	P25		564	32.4		1		
				95	P25		622	20.7		1		
				95	P26		15	6.2		5		
			剥片	95	O25		189	6.5		1		
				95	O27		137	5.6		1		
				95	P25		75	4.0		1		
				95	P25		211	42.9		1		
			剥片	95	O25		191	14.4		1		
				95	O26		388	28.8		1		
				95	P25		151	207.3		5		
			剥片	95	O26		82	57.3		1		
			剥片	95	O26		95	8.1		1		
				95	O26		119	70.1		1		
				95	P25		103	28.9		1		
				95	P25		323	16.7		1		
			剥片	95	O26		100	19.9		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				95	P26		180	22.8		1		
			剥片	95	O26		150	5.3		1		
			剥片	95	O27		81	18.9		1		
				95	P25		515	5.4		1		
			剥片	95	O27		284	5.8		1		
				95	O28		602	8.1		1		
			剥片	95	O27		390	4.8		1		
				95	O27		842	2.7		1		
			剥片	95	O27		748	17.0		5		
				95	P25		161	27.8		1		
			剥片	95	O27		930	13.0		5		
			剥片	95	P25		78	65.3		1		
			剥片	95	P25		158	22.5		1		
			剥片	95	P25		334	18.1		1		
			剥片	95	P25		346	12.5		1		
				95	P25		489	6.4		1		
			剥片	95	P25		726	97.6		5		
			剥片		P25	Ⅰ	17	5.1		1		
Ⅲ-220	174	19	尖頭器	95	P26		167	7.1		1		
				95	P26		235	53.9		1		
－	254	509	接合資料	95				1529.8	59	1･5	754	3417
			剥片	95	M25		8	5.7		1		
			剥片	95	M28		343	7.7		1		
			剥片	95	N26		83	2.7		1		
				95	N26		266	4.6		1		
				95	O26		434	92.1		1		
			剥片	95	N26		128	2.5		1		
					N27	Ⅰ	8	19.3		1		
				95	O26		377	33.2		1		
				95	P25		180	185.0		1		
			剥片	95	N26		190	4.4		1		
					N27	Ⅰ	12	7.0		1		
					O24	Ⅰ	1	7.1		1		
				95	O26		389	34.7		1		
				95	P25		70	9.6		1		
				95	P25		669	7.9		1		
			剥片	95	N26		600	59.1		1		
				95	N27		434	58.1		1		
				95	P25		522	53.0		1		
			剥片	95	N27		82	2.6		1		
				95	N27		694	13.5		1		
				95	O26		337	13.8		1		
				95	O27		476	31.5		1		
					Q25	Ⅰ	15	11.4		1		
			剥片	95	N27		219	57.6		1		
			剥片	95	N27		563	27.6		1		
				95	P25		246	2.8		1		
			剥片	95	N27		804	3.8		1		
				95	O26		318	10.2		1		
				95	O27		1009	6.3		1		
				95	O27		1084	2.6		1		
				95	P25		31	5.5		1		
				95	P25		256	14.9		1		
			剥片	95	N27		1010	56.5		1		
				95	O25		30	11.5		1		
				95	O25		207	3.9		1		
			剥片	95	N27		1685	1.8		1		
			剥片	95	N27		1787	9.1		5		
				95	P25		561	4.1		1		
			剥片	95	O25		226	38.2		1		
			剥片	95	O25		236	16.3		1		
			剥片	95	O26		186	1.8		1		
				95	O26		248	14.1		1		
				95	O27		431	44.2		1		
				95	P25		81	2.9		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
					P25	I	11	12.6		1		
			剥片	95	O27		844	109.8		1		
				95	O27		845	156.8		1		
				95	O27		919	49.9		1		
			剥片	95	O27		866	21.8		5		
			剥片	95	O27		909	2.8		1		
				95	P25		485	20.9		1		
			剥片	95	P25		101	39.6		1		
			剥片	95	P25		340	22.8		5		
			剥片	95	P25		410	3.5		1		
				95	P26		5	3.4		5		
				95	Q25		37	2.5		1		
			剥片	95	P25		642	32.8		1		
			剥片		P25	I	14	37.4		1		
			剥片		P25	I	19	11.0		1		
－	255	510	接合資料	93･95				682.3	72	3･4	796	3531
			剥片	95	K25		28	5.6		3		
				95	L26		607	2.9		3		
			剥片	95	L25		98	1.3		3		
			剥片	95	L25		124	2.2		3		
				95	L25		133	2.4		3		
				95	L25		147	3.4		3		
					M25	I	1	4.5		4		
			剥片	95	L25		153	2.3		3		
			剥片	95	L25		161	7.4		3		
					L26	I	1	26.0		4		
			剥片	95	L26		1	26.0		3		
			剥片	95	L26		3	16.5		3		
			剥片	95	L26		42	14.5		3		
			剥片	95	L26		44	3.5		3		
				95	M25		73	7.0		3		
			剥片	95	L26		51	6.3		3		
			剥片	95	L26		86	3.4		3		
				95	L26		247	16.7		3		
			剥片	95	L26		228	6.4		3		
			剥片	95	L26		451	1.7		3		
				95	M26		356	16.5		3		
			剥片	95	L27		117	5.6		3		
				95	M27		261	5.2		3		
				95	N25		100	8.6		3		
			剥片	95	M25		81	13.6		3		
				95	N25		17	4.4		3		
			剥片	95	M26		24	19.1		3		
				95	M26		25	4.6		3		
			剥片	95	M26		37	2.1		3		
				95	M26		189	0.8		3		
			剥片	95	M26		71	3.1		3		
			剥片	95	M26		83	2.5		3		
				95	M26		307	4.0		3		
				95	M27		21	6.2		3		
					M27	I	6	6.6		4		
			剥片	95	M26		93	2.7		3		
				95	M26		230	2.8		3		
			剥片	95	M26		101	5.0		3		
			剥片	95	M26		138	5.1		3		
			剥片	95	M26		318	4.1		3		
			剥片	95	M26		422	3.0		3		
			剥片	95	M26		521	18.0		3		
			剥片		M26	I	10	9.9		4		
			剥片	95	N25		13	13.8		3		
			剥片	95	N26		343	4.2		3		
				95	O27		291	22.5		3		
			剥片	95	N29		583	7.2		3		
			剥片	95	N29		714	22.3		3		
			剥片	93	N30		417	21.3		3		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	95	O26		483	21.8		3		
			剥片	93	O29		2496	2.8		3		
					O29	I	60	10.2		4		
				93	P28		7838	5.6		3		
			剥片	93	P28		768	8.0		3		
				93	P28		2970	31.1		3		
			剥片	93	P28		1982	5.9		3		
				93	P28		7336	3.5		3		
				93	P29		175	3.3		3		
			剥片	93	P28		2201	3.3		3		
			剥片	93	P28		2678	32.4		3		
			剥片	93	P28		2901	17.4		3		
			剥片	93	P28		4455	3.4		3		
				93	P28		7483	4.5		3		
			剥片	93	P28		5834	3.6		3		
			剥片	93	P28		7581	2.3		3		
			剥片	93	P28		7714	6.7		3		
			剥片	93	P28		7967	3.5		3		
			剥片	93	P29		923	5.0		3		
			剥片	93	P29		1087	11.0		3		
			剥片	93	Q27		40	8.2		3		
				93	Q27		186	3.5		3		
				93	Q28		216	80.5		3		
－	256	511	接合資料	90･92･93･95				722.0	19	4	861	3807
			縦長剥片	90	M32		17	1.0		4		
				92	M32		316	8.4		4		
			剥片	92	M32		530	4.9		4		
			剥片	92	M32		685	4.3		4		
			剥片	92	M32		904	5.4		4		
			剥片	92	M32		937	8.5		4		
			剥片	95	N29		380	19.6		4		
Ⅲ-222	176	35	尖頭器	93	N29		631	359.9		4		
				93	O29		2001	259.2		4		
			剥片	93	N30		59	6.2		4		
				93	N30		488	6.2		4		
			剥片	93	N31		26	1.1		4		
			剥片	93	N31		204	0.8		4		
			剥片	92	N32		659	5.2		4		
			剥片	93	O28		2047	19.2		4		
			剥片	93	O30		572	3.1		4		
				93	O30		984	1.8		4		
			剥片	93	O30		717	2.6		4		
				93	O30		1096	4.6		4		
－	256	512	接合資料	95				455.4	25	3･4	812	3600
			剥片	95	K29		46	4.4		3		
			剥片		K29	I	8	2.8		4		
					K29	I	9	0.9		4		
			剥片		K29	I	11	8.8		4		
				95	L29		131	1.7		3		
				95	L29		347	8.0		3		
			剥片	95	L28		189	1.9		3		
				95	L28		279	4.2		3		
				95	L29		351	3.1		3		
			剥片	95	L28		250	13.1		3		
			剥片	95	L28		582	2.6		3		
			剥片	95	L28		741	10.0		3		
			剥片	95	L28		1350	2.8		3		
			剥片	95	L28		1360	4.5		3		
			剥片	95	L29		15	1.6		3		
Ⅲ-223	177	39	尖頭器	95	L29		27	122.7		3		
				95	L29		225	221.8		3		
			剥片	95	L29		164	2.4		3		
			剥片	95	L29		235	6.6		3		
			剥片	95	L29		241	4.1		3		
			剥片	95	L29		279	2.0		3		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	95	L29		301	4.9		3		
			剥片	95	L29		438	6.5		3		
			剥片	95	L29		442	2.3		3		
			剥片	95	M27		350	11.7		3		
－	257	513	接合資料	93				271.2	15	4	853	3763
			剥片	93	P28		233	0.9		4		
					P29	I	77	0.7		4		
			剥片	93	P28		335	4.2		4		
				93	P28		957	2.2		4		
				93	P28		3414	2.1		4		
			剥片	93	P28		1063	7.6		4		
Ⅲ-224	178	40	尖頭器	93	P28		1318	66.0		4		
				93	P28		1900	66.9		4		
				93	P29		388	45.6		4		
				93	P29		1251	34.6		4		
				93	Q27		427	22.0		4		
			剥片	93	P28		1811	2.4		4		
			剥片	93	P28		1828	1.6		4		
			剥片	93	P28		2999	2.9		4		
				93	P29		362	11.5		4		
－	257	514	接合資料	93				2482.6	64	2	787	3513
			剥片	93	L30		15	57.7		2		
				93	O29		1606	39.9		2		
				93	P28		2800	6.9		2		
				93	P28		4381	15.7		2		
				93	P28		4918	3.1		2		
				93	P28		7514	461.2		2		
				93	P28		7741	7.7		2		
				93	Q27		984	75.4		2		
				93	Q28		551	14.8		2		
			剥片	93	M30		379	26.4		2		
				93	N29		743	37.4		2		
			剥片	93	N29		572	9.3		2		
				93	N29		937	31.1		2		
				93	N30		315	8.5		2		
			剥片	93	N29		1280	11.4		2		
				93	Q28		450	11.1		2		
			剥片	93	N30		310	13.8		2		
				93	P28		5198	19.4		2		
			剥片	93	O29		1562	10.6		2		
				93	O29		1725	6.4		2		
				93	P28		5977	220.5		2		
					P28	I	265	10.7		2		
			剥片	93	O29		1629	11.5		2		
				93	P28		2510	6.8		2		
				93	P28		6839	3.3		2		
				93	P29		751	86.1		2		
				93	P29		1107	5.0		2		
			剥片	93	P28		43	2.8		2		
			剥片	93	P28		617	12.6		2		
			剥片	93	P28		797	23.9		2		
				93	P28		1711	17.4		2		
			剥片	93	P28		1699	30.7		2		
				93	Q28		459	8.8		2		
			剥片	93	P28		2423	8.1		2		
			剥片	93	P28		2667	5.3		2		
				93	P28		5190	1.9		2		
			剥片	93	P28		3419	14.5		2		
				93	Q28		394	7.4		2		
			剥片	93	P28		4422	181.2		2		
				93	P28		5458	10.1		2		
			剥片	93	P28		5260	93.7		2		
				93	P28		5263	114.7		2		
			剥片	93	P28		5262	9.0		2		
				93	Q27		838	8.7		2		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				93	Q28		549	9.5		2		
			剥片	93	P28		5269	13.4		2		
				93	P28		6753	15.5		2		
				93	P28		6980	63.0		2		
				93	P28		7219	98.0		2		
			剥片	93	P28		5694	15.8		2		
			剥片	93	P28		5708	27.4		2		
				93	P28		6143	22.6		2		
				93	P28		7222	100.8		2		
			剥片	93	P28		6651	214.0		2		
			剥片	93	P28		6724	15.0		2		
			剥片	93	P28		6751	5.8		2		
				93	P28		6754	20.1		2		
				93	P28		7002	3.6		2		
				93	P28		7223	22.0		2		
			剥片	93	P28		7226	42.5		2		
			剥片	93	Q27		843	2.7		2		
			剥片	93	Q27		888	4.2		2		
			剥片	93	Q28		598	8.6		2		
				93	Q28		600	15.6		2		
－	258	515	接合資料	95				1115.8	100	3･4	811	3596
			剥片	95	K29		263	6.7		4		
				95	L28		627	8.4		4		
				95	L28		1961	18.4		3		
			剥片		K29	I	3	4.1		4		
			縦長剥片	95	L27		263	16.4		4		
				95	L27		509	21.5		4		
					L28	I	15	7.0		4		
			剥片	95	L28		64	4.1		4		
			剥片	95	L28		68	4.5		4		
			剥片	95	L28		72	2.7		3		
			縦長剥片	95	L28		181	7.2		4		
				95	L29		298	1.9		4		
				95	L29		320	4.7		4		
				95	M28		122	18.6		4		
				95	M28		505	5.0		4		
					O28	I	20	8.1		4		
			剥片	95	L28		245	34.7		4		
				95	L28		995	6.0		3		
			剥片	95	L28		248	15.2		3		
				95	L28		286	3.4		3		
				95	L29		384	4.8		4		
			剥片	95	L28		290	1.4		4		
				95	L28		962	2.8		3		
				95	L28		1767	24.2		4		
			剥片	95	L28		561	14.8		3		
				95	L29		192	3.0		4		
			剥片	95	L28		568	3.6		3		
				95	L28		1336	13.5		3		
				95	L29		137	5.3		4		
				95	L29		200	2.5		4		
			剥片	95	L28		584	3.8		3		
				95	L29		113	81.2		4		
				95	L29		271	7.3		4		
			剥片	95	L28		590	3.6		4		
			剥片	95	L28		611	5.2		4		
				95	L28		947	4.3		4		
			剥片	95	L28		630	4.4		3		
			剥片	95	L28		638	3.4		3		
			剥片	95	L28		709	3.4		3		
				95	L29		226	3.0		4		
			剥片	95	L28		726	2.3		4		
			剥片	95	L28		737	1.5		4		
			剥片	95	L28		743	2.1		4		
			剥片	95	L28		751	2.2		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	95	L28		953	2.0		4		
			剥片	95	L28		1039	25.0		4		
			剥片	95	L28		1048	97.4		4		
			剥片	95	L28		1320	4.7		4		
				95	L28		1327	36.0		3		
				95	L29		466	4.1		4		
			剥片	95	L28		1326	48.3		3		
				95	L29		244	7.3		4		
			剥片	95	L28		1335	9.5		3		
				95	L28		1338	3.2		3		
				95	L29		133	3.9		4		
				95	L29		204	33.5		4		
			剥片	95	L28		1354	20.7		4		
				95	L28		1361	12.9		3		
			剥片	95	L28		1363	6.8		3		
				95	L29		385	46.8		4		
			剥片	95	L28		1367	6.3		3		
				95	L29		410	0.9		4		
			剥片	95	L28		1370	37.0		3		
				95	L29		215	15.0		4		
			剥片	95	L28		1378	11.3		4		
				95	M28		808	16.4		4		
			剥片	95	L28		1610	3.0		4		
			剥片	95	L28		1762	3.9		3		
			剥片	95	L28		1983	5.9		4		
			剥片	95	L29		16	9.8		4		
				95	L29		54	14.0		4		
			剥片	95	L29		20	6.0		4		
			剥片	95	L29		42	5.8		4		
			剥片	95	L29		50	7.8		4		
			剥片	95	L29		58	2.2		4		
			剥片	95	L29		96	4.5		4		
				95	L29		170	28.9		4		
			剥片	95	L29		99	10.6		4		
			剥片	95	L29		105	17.4		4		
				95	L29		111	1.9		4		
				95	L29		158	5.4		4		
			剥片	95	L29		129	33.9		4		
				95	L29		280	3.2		4		
				95	L29		355	2.9		4		
				95	L29		380	24.7		4		
			剥片	95	L29		147	7.7		4		
			剥片	95	L29		151	1.9		4		
			剥片	95	L29		154	3.2		4		
				95	L29		266	1.8		4		
			剥片	95	L29		168	2.3		4		
				95	L29		352	1.7		4		
			剥片	95	L29		181	15.4		4		
			剥片	95	L29		187	1.2		4		
			剥片	95	L29		197	7.6		4		
					L29	I	6	4.8		4		
			剥片	95	L29		242	6.1		4		
			剥片	95	L29		395	3.5		4		
			剥片	95	L29		448	5.4		4		
			剥片		L29	I	7	6.5		4		
			剥片	95	M28		850	3.7		4		
－	259	516	接合資料	93				1908.9	157	4	907	3969
			剥片	93	N29		33	35.6		4		
					N29	I	35	3.2		4		
				93	O29		1136	9.2		4		
				93	P28		3557	6.5		4		
			剥片	93	N29		87	2.1		4		
			剥片	93	N29		254	33.5		4		
				93	O29		369	8.4		4		
				93	P28		5569	4.0		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	93	N29		636	10.1		4		
				93	O29		446	20.6		4		
			剥片		N29	I	30	23.7		4		
				93	P27		411	13.0		4		
				93	P28		2385	4.0		4		
				93	P28		5566	5.4		4		
				93	P29		51	3.4		4		
			剥片		N30	I	55	26.3		4		
				93	O29		856	7.7		4		
				93	P28		2599	2.8		4		
				93	P28		3569	139.2		4		
				93	P28		5065	6.4		4		
				93	P28		6657	3.8		4		
				93	P28		7195	6.4		4		
			剥片	93	O28		289	13.5		4		
				93	O28		453	4.8		4		
			剥片	93	O28		694	16.1		4		
				93	O29		428	1.9		4		
				93	P28		2038	30.5		4		
				93	P28		2609	13.0		4		
			剥片	93	O28		1143	4.2		4		
				93	O29		1070	19.5		4		
			剥片	93	O28		1223	5.2		4		
			剥片	93	O28		1455	4.8		4		
			剥片	93	O28		1519	11.0		4		
				93	O28		1670	8.6		4		
				93	P27		154	5.3		4		
				93	P27		342	10.4		4		
				93	P28		2092	1.2		4		
				93	P28		3567	3.8		4		
			剥片	93	O28		1551	7.5		4		
					O29	I	123	83.9		4		
					O29	II	136	2.1		4		
				93	P28		2697	1.4		4		
				93	P28		7260	2.6		4		
			剥片	93	O28		1575	3.3		4		
			剥片	93	O28		1667	25.3		4		
			剥片	93	O28		1727	11.4		4		
				93	P28		2380	6.4		4		
			剥片	93	O28		1916	1.9		4		
				93	O28		1917	3.8		4		
			剥片	93	O29		50	42.9		4		
				93	O29		475	9.7		4		
				93	P28		2588	1.0		4		
				93	P28		4121	2.1		4		
				93	P28		5539	2.0		4		
			剥片	93	O29		373	1.7		4		
				93	P28		4082	2.0		4		
			剥片	93	O29		422	4.3		4		
			剥片	93	O29		440	9.5		4		
					O29	I	91	135.5		4		
			剥片	93	O29		483	4.5		4		
				93	P27		166	5.2		4		
				93	P28		6615	4.1		4		
			剥片	93	O29		494	3.6		4		
			剥片	93	O29		580	2.0		4		
			剥片	93	O29		590	3.5		4		
				93	O29		952	17.8		4		
			剥片	93	O29		601	2.7		4		
				93	P28		5090	2.6		4		
			剥片	93	O29		646	3.1		4		
			剥片	93	O29		887	2.1		4		
			剥片	93	O29		929	2.7		4		
				93	P28		3075	10.3		4		
				93	P28		4062	6.3		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	93	O29		1228	5.4		4		
				93	P28		3041	1.9		4		
			剥片	93	O29		1274	3.6		4		
			剥片	93	O29		1285	8.9		4		
				93	P28		6662	4.3		4		
			剥片	93	P27		65	1.8		4		
			剥片	93	P27		155	8.7		4		
			剥片	93	P27		233	6.1		4		
				93	P28		445	14.5		4		
				93	P28		572	68.9		4		
				93	P28		2614	1.5		4		
				93	P28		4635	3.1		4		
			剥片	93	P27		237	4.2		4		
				93	P28		3068	2.0		4		
			剥片	93	P27		337	7.2		4		
				93	P28		1479	2.0		4		
				93	P28		3130	17.6		4		
				93	P28		5071	1.8		4		
				93	P28		6616	15.0		4		
			剥片	93	P27		404	33.2		4		
				93	P28		2083	13.5		4		
				93	P28		3542	1.2		4		
				93	P28		4037	0.7		4		
			剥片	93	P27		409	4.0		4		
			剥片	93	P27		412	5.1		4		
				93	P28		1763	16.0		4		
				93	P28		5097	6.3		4		
			剥片	93	P27		512	46.7		4		
				93	P27		522	11.7		4		
				93	P28		3137	7.5		4		
				93	P28		5334	2.4		4		
				93	P28		5532	2.4		4		
				93	P28		6952	6.6		4		
			剥片	93	P27		558	17.4		4		
				93	P28		1657	24.8		4		
				93	P28		5125	3.6		4		
			剥片	93	P28		452	2.7		4		
				93	P28		3090	14.4		4		
				93	P28		6946	6.0		4		
			剥片	93	P28		573	89.0		4		
			剥片	93	P28		648	2.7		4		
				93	P28		649	1.1		4		
				93	P28		6957	3.0		4		
			剥片	93	P28		652	31.1		4		
				93	P28		4093	22.4		4		
			剥片	93	P28		911	19.8		4		
			剥片	93	P28		1595	9.6		4		
			剥片	93	P28		1790	1.2		4		
			剥片	93	P28		1791	3.9		4		
				93	P28		2394	5.2		4		
				93	P28		5891	3.7		4		
			剥片	93	P28		2075	2.1		4		
			剥片	93	P28		2348	98.2		4		
				93	P28		5542	48.6		4		
			剥片	93	P28		2387	3.5		4		
			剥片	93	P28		2403	2.2		4		
			剥片	93	P28		2607	5.6		4		
				93	P28		5564	7.0		4		
				93	P28		5892	5.6		4		
				93	P28		6664	2.3		4		
			剥片	93	P28		2613	3.2		4		
				93	P28		5886	3.2		4		
			剥片	93	P28		2689	3.4		4		
			縦長剥片	93	P28		3628	4.9		4		
				93	P28		5335	13.8		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				93	P28		5906	1.7		4		
			剥片	93	P28		3629	8.6		4		
			剥片	93	P28		4075	34.7		4		
			剥片	93	P28		4094	6.2		4		
			剥片	93	P28		4120	1.8		4		
			剥片	93	P28		4549	10.9		4		
			剥片	93	P28		4645	2.7		4		
			剥片	93	P28		5096	3.2		4		
			剥片	93	P28		5107	1.5		4		
			剥片	93	P28		5120	9.2		4		
				93	P28		5541	4.5		4		
			剥片	93	P28		5346	6.3		4		
			剥片	93	P28		5520	8.0		4		
			剥片	93	P28		5568	2.7		4		
			剥片	93	P28		5573	4.3		4		
			剥片	93	P28		6619	2.2		4		
			剥片	93	P28		6896	6.3		4		
			剥片	93	P28		6961	6.4		4		
			剥片		P29	I	70	26.8		4		
—	260	517	接合資料	93				2427.6	84	1·3·5	941	4088
			剥片	93	M30		525	14.8		5		
				93	O29		1534	20.7		5		
				93	P28		4912	32.6		5		
			剥片	93	N29		596	7.7		1		
				93	O28		1600	22.7		3		
			剥片	93	N29		652	17.0		5		
				93	N29		1065	29.9		5		
			剥片	93	N29		746	42.7		5		
				93	O29		722	5.1		5		
				93	O29		1054	32.3		1		
				93	O29		1242	70.5		5		
				93	P28		2415	7.9		5		
				93	P28		2463	21.9		5		
				93	P28		2657	23.6		5		
				93	P28		5941	11.9		5		
			剥片	93	N29		755	43.0		5		
					N29	I	51	22.6		5		
			剥片	93	N29		883	33.7		5		
				93	P28		164	3.6		1		
				93	P28		2414	18.3		5		
			剥片	93	N29		1381	26.8		5		
					O29	II	200	3.0		5		
				93	P28		7550	16.2		5		
			剥片	93	N29		1585	6.9		5		
				93	Q27		927	5.1		5		
			剥片	93	N30		320	19.6		1		
				93	P28		4145	23.7		5		
				93	P28		5270	8.3		1		
				93	P28		5299	83.8		5		
				93	P28		6522	68.3		5		
			剥片	93	N30		494	9.2		1		
				93	O29		1258	6.6		1		
				93	P28		6710	6.5		5		
			剥片	93	N30		520	14.0		5		
				93	O29		860	9.1		5		
			剥片	93	O29		118	42.9		1		
				93	O29		1049	10.1		1		
			剥片	93	O29		938	25.0		1		
				93	Q27		884	11.0		3		
			剥片	93	O29		1115	7.8		5		
				93	O29		1116	31.3		5		
					O29	I	199	42.3		5		
				93	P28		7020	30.4		5		
			剥片	93	O29		1239	41.9		5		
			剥片	93	O29		1339	61.4		5		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				93	P28		7556	46.6		5		
			剥片	93	O29		1459	8.9		5		
			剥片	93	O29		1486	16.8		5		
			剥片	93	O29		1647	116.6		5		
			剥片	93	O29		1747	12.8		3		
			剥片	93	O29		1750	57.7		5		
				93	P28		6692	11.1		3		
			剥片	93	O29		1755	5.0		3		
				93	P28		5579	48.9		5		
			剥片	93	O29		2029	81.8		3		
				93	O29		2106	47.2		3		
				93	P28		1942	28.5		5		
				93	P28		6464	3.7		5		
－	198	422	削器	93	P28		756	52.5		5		
				93	P28		1627	14.7		5		
			剥片	93	P28		1386	6.0		5		
				93	P28		2793	32.4		5		
				93	P28		4339	7.0		5		
				93	P28		5588	12.8		5		
				93	P29		165	33.0		5		
				93	Q27		849	63.2		5		
			剥片	93	P28		3665	24.9		5		
				93	P28		6869	8.4		5		
				93	P28		8057	10.5		5		
			剥片	93	P28		4898	29.0		5		
				93	Q27		926	15.5		3		
			剥片	93	P28		5601	10.1		1		
				93	P28		6712	16.0		5		
			剥片	93	P28		5705	7.4		5		
				93	P28		7177	21.0		5		
			剥片	93	P28		5912	6.0		1		
			剥片	93	P28		6593	11.6		5		
			剥片	93	P28		7383	36.1		5		
			剥片	93	P28		7404	53.9		1		
				93	P28		7751	141.9		5		
				93	Q27		977	77.7		5		
			剥片	93	P28		7669	105.8		5		
			剥片	93	P28		7782	30.5		5		
			剥片	93	Q27		920	20.4		5		
－	260	518	接合資料	90･93･94･95				3139.7	161	1･5	681	3152
			剥片	94	I31		527	13.1		1		
			剥片	95	J30		70	2.0		1		
				93	K30		51	5.2		5		
				90	K31		2032	7.2		5		
				93	L30		321	34.9		5		
				93	L30		322	14.3		5		
				93	L30		337	109.2		5		
				93	L30		647	13.1		5		
			剥片		I32	I	1	19.8		1		
				95	J31		832	32.3		1		
				93	K31		2239	11.5		5		
				93	L30		769	1.7		1		
			剥片	95	J30		287	6.7		1		
				93	L30		770	7.4		5		
			剥片	90	J31		886	5.6		1		
			二次加工ある剥片	90	J31		983	78.7		1		
			彫器削片	90	J31		1013	5.2		1		
			彫器削片	90	J31		1059	8.1		1		
				90	K31		2140	29.0		1		
			縦長剥片	90	J31		1069	5.4		1		
				93	K30		114	38.3		5		
			剥片	90	J31		1837	7.7		1		
			剥片	90	J31		1907	4.6		1		
				93	K30		364	20.6		1		
				93	K30		414	3.2		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				90	K31		1385	10.5		1		
				93	L30		242	2.3		1		
				93	L30		760	5.7		1		
			剥片	90	J31		2140	32.7		5		
				90	K31		249	8.5		5		
				93	K31		359	5.7		1		
				93	M30		778	120.0		1		
			剥片	93	K30		43	13.2		5		
				93	L31		915	7.2		5		
			剥片	93	K30		55	18.7		5		
				93	L30		576	87.4		5		
			剥片	93	K30		79	4.1		5		
			剥片	93	K30		134	10.1		5		
				93	L30		264	16.5		1		
				93	L30		687	16.1		1		
				90	L33		164	3.4		1		
			剥片	93	K30		152	0.5		1		
				93	L30		753	13.2		5		
			剥片	93	K30		210	23.1		5		
				93	K30		410	56.9		5		
				93	L31		936	3.5		1		
			剥片	93	K30		211	100.8		1		
				93	K30		301	38.4		1		
				93	L30		664	3.3		1		
			剥片	93	K30		212	4.9		5		
				93	K30		244	9.3		5		
				93	K30		262	1.2		1		
				93	L30		441	7.9		1		
			剥片	93	K30		213	4.7		1		
				93	K30		271	6.7		5		
				93	L30		371	52.8		5		
				93	L30		794	9.9		5		
			剥片	93	K30		218	5.9		1		
				93	L30		329	9.8		1		
				93	L30		531	57.3		1		
				93	L30		727	4.8		5		
				93	L30		752	18.9		5		
			縦長剥片	93	K30		219	10.4		1		
				93	K30		243	13.6		1		
			彫器削片	93	K30		247	3.1		1		
				93	K31		2240	11.7		1		
			剥片	93	K30		249	12.7		1		
				93	K30		362	2.2		1		
				93	K30		395	14.0		5		
				90	K31		1563	13.4		5		
				93	L30		365	7.0		5		
			剥片	93	K30		275	1.7		5		
				93	K30		428	17.0		1		
				90	K31		1741	40.4		5		
				93	L30		306	2.1		1		
			剥片	93	K30		335	0.8		1		
			剥片	93	K30		338	21.3		1		
			剥片	93	K30		339	92.4		1		
			剥片	93	K30		341	106.6		1		
			剥片	93	K30		342	20.8		5		
			剥片	93	K30		381	72.5		1		
			剥片	93	K30		424	3.3		5		
			剥片	93	K30		425	2.7		5		
			剥片	90	K31		531	10.1		5		
				93	L30		158	2.7		5		
				93	L30		619	1.5		1		
				93	L30		781	10.5		5		
			剥片	90	K31		538	3.7		5		
			剥片	90	K31		545	7.4		1		
			剥片	93	K31		932	8.1		5		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	93	K31		933	17.1		1		
				90	K31		1745	27.3		1		
				93	L30		424	10.0		1		
			剥片	93	K31		934	5.4		5		
			剥片	90	K31		945	7.3		1		
			剥片	93	K31		1953	20.1		1		
			剥片	90	K31		2152	41.6		5		
				93	L30		590	11.1		5		
			二次加工ある剥片	90	K31		2241	362.2		5		
			剥片	93	L30		49	9.1		5		
			剥片	93	L30		181	7.0		1		
				93	L30		187	0.9		1		
			剥片	93	L30		324	4.9		1		
			剥片	93	L30		385	3.0		5		
				93	L30		486	2.6		1		
				93	L30		502	3.1		5		
				93	L30		771	5.0		5		
				93	L30		798	3.4		5		
			剥片	93	L30		387	6.6		1		
				93	L30		388	2.2		1		
			剥片	93	L30		402	37.8		1		
				93	L31		965	5.5		5		
			剥片	93	L30		410	25.1		5		
				93	L30		791	0.8		1		
			剥片	93	L30		428	1.2		1		
			剥片	93	L30		439	1.3		1		
			彫器	93	L30		460	74.7		1		
			剥片	93	L30		516	1.4		5		
				93	L30		592	1.2		5		
			剥片	93	L30		528	1.8		5		
				93	L30		561	46.5		5		
			剥片	93	L30		550	5.1		5		
				93	L30		582	2.7		1		
				93	L30		663	5.8		1		
				93	L30		779	6.6		1		
			剥片	93	L30		551	105.1		5		
				93	L30		567	30.7		5		
			剥片	93	L30		566	27.9		5		
			剥片	93	L30		570	5.3		5		
			剥片	93	L30		573	4.9		1		
				93	L30		672	1.2		5		
			剥片	93	L30		593	43.1		5		
				93	L30		598	58.5		1		
			剥片	93	L30		594	6.8		5		
				93	L30		764	2.0		1		
			剥片	93	L30		606	8.3		5		
			剥片	93	L30		633	7.8		1		
				93	L30		678	6.4		1		
				93	L30		719	4.8		1		
			剥片	93	L30		643	11.9		5		
			剥片	93	L30		655	7.8		5		
			剥片	93	L30		662	7.1		5		
			剥片	93	L30		667	1.5		5		
			剥片	93	L30		670	2.4		5		
			剥片	93	L30		689	2.0		5		
			剥片	93	L30		695	1.7		1		
			剥片	93	L30		715	1.2		5		
			剥片	93	L30		720	0.9		5		
			剥片	93	L30		723	9.9		1		
			剥片	93	L30		772	5.7		5		
				93	L31		961	9.5		1		
			剥片	93	L30		816	0.7		5		
			剥片	93	L30		821	5.1		5		
			剥片	93	L31		937	8.2		5		
			剥片	93	L31		962	31.2		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	93	L31		963	9.3		1		
			剥片	93	L31		964	37.8		5		
			剥片	93	M30		627	23.4		1		
				93	M30		768	33.3		5		
				93	M30		831	23.0		5		
			剥片	93	M30		837	31.5		5		
－	261	519	接合資料	95				2547.0	51	1·3·5	940	4087
Ⅲ-231	183	76	両面調整石器	95	L27		259	173.4		1		
			剥片	95	L27		488	37.5		5		
				95	M26		343	7.9		1		
				95	M27		829	5.9		5		
				95	O26		415	45.4		3		
			剥片	95	L27		861	14.6		1		
			剥片	95	L27		865	56.3		1		
			剥片	95	L27		920	6.2		5		
				95	M26		398	16.3		1		
				95	O26		499	84.6		5		
			剥片	95	L27		1080	2.7		5		
				95	L28		419	37.7		1		
				95	N26		540	252.9		5		
			剥片	95	L27		1087	13.3		1		
			剥片	95	L28		160	6.0		1		
				95	N26		388	71.9		5		
			縦長剥片	95	L28		229	41.1		3		
			剥片	95	M26		437	3.1		3		
				95	M27		824	11.9		1		
			剥片	95	M26		506	23.3		1		
				95	M27		957	4.8		5		
				95	M27		998	29.7		1		
			剥片	95	M27		40	156.6		1		
			剥片	95	M27		797	7.3		1		
			剥片	95	M27		802	6.2		1		
			剥片	95	M27		959	32.5		1		
			剥片	95	M27		997	46.7		1		
			剥片	95	M27		1073	19.6		1		
				95	N26		497	58.1		5		
			剥片	95	M27		1519	8.6		1		
			剥片	95	N26		307	235.3		1		
			剥片	95	N26		348	17.6		5		
			剥片	95	N26		392	262.5		1		
			縦長剥片	95	N26		493	38.4		5		
			剥片	95	N26		494	11.9		5		
			剥片	95	N26		544	23.9		5		
				95	N26		565	8.8		5		
			剥片	95	N26		545	235.0		5		
			剥片	95	N26		569	63.4		5		
			剥片	95	N26		574	98.8		5		
			剥片	95	N27		383	1.4		1		
					B調		170	17.7		5		
			剥片	95	N27		1017	73.9		5		
				95	N27		1548	5.0		5		
			剥片	95	N27		1106	8.0		5		
				95	N27		1107	35.1		5		
			剥片	95	N27		1603	16.2		1		
				95	O26		497	27.7		5		
					排土		124	40.1		5		
			彫器	95	O26		172	34.6		3		
			彫器削片	95	Q25		156	9.6		3		
－	262	520	接合資料	95				1287.7	41	1·3·5	938	4077
			剥片	95	K27		163	9.5		5		
			剥片	95	L27		108	25.0		1		
			剥片	95	L27		256	8.1		5		
			剥片	95	L27		550	29.0		5		
			剥片	95	L27		554	11.6		5		
				95	L27		911	14.0		5		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				95	L27		1043	44.8		5		
			剥片	95	L27		594	25.6		5		
				95	M26		560	27.5		5		
			剥片	95	L27		657	10.6		1		
			剥片	95	L27		688	7.4		5		
			剥片	95	L27		702	21.6		5		
			剥片	95	L27		722	3.8		1		
			剥片	95	L27		792	3.9		5		
			剥片	95	L27		835	7.5		1		
			剥片	95	L27		899	76.2		5		
			剥片	95	L27		900	62.9		5		
			剥片	95	L27		906	13.1		5		
				95	M26		444	22.1		5		
			剥片	95	L27		910	41.5		5		
			剥片	95	M26		399	32.0		3		
			剥片	95	M26		493	42.9		3		
			剥片	95	M26		513	10.7		5		
			剥片	95	M26		516	13.1		1		
			剥片	95	M26		544	7.7		5		
			剥片	95	M27		337	60.1		1		
			剥片	95	M27		828	59.9		5		
			剥片	95	M27		927	69.9		5		
			剥片	95	M27		928	4.6		5		
			剥片	95	M27		940	37.1		5		
			剥片	95	M27		942	2.3		1		
			剥片	95	M27		990	104.7		5		
				95	M27		1083	20.3		5		
			剥片	95	M27		992	86.4		5		
			剥片	95	M27		1076	45.0		5		
			剥片	95	M27		1078	9.1		1		
			剥片	95	M27		1296	20.9		5		
			剥片	95	M27		1372	23.3		1		
			剥片	95	N26		557	37.3		3		
			剥片	95	N27		600	66.8		5		
			剥片	95	O26		367	67.9		3		
—	262	521	接合資料	93･95				1899.8	126	1	761	3446
			剥片	95	M27		142	44.6		1		
				95	N27		908	8.5		1		
				95	N28		275	30.5		1		
				95	N29		856	3.0		1		
				95	O27		487	68.8		1		
				95	O27		712	4.0		1		
					P25	I	18	7.6		1		
				95	P26		49	4.3		1		
				95	P26		70	13.0		1		
				95	Q25		18	2.4		1		
				95	Q25		83	1.6		1		
				95	Q25		91	1.0		1		
				95	Q25		99	2.8		1		
				95	Q25		149	6.9		1		
				95	Q25		323	12.3		1		
			剥片	93	M29		38	21.1		1		
				95	N28		239	16.9		1		
			剥片	95	M29		131	436.1		1		
				93	N29		1548	17.7		1		
				95	P25		714	19.0		1		
				95	Q25		49	17.2		1		
				95	Q25		54	2.1		1		
				95	Q25		174	1.0		1		
				95	Q25		212	18.3		1		
				95	Q25		219	4.9		1		
				95	Q25		244	0.9		1		
			剥片	95	N26		586	34.5		1		
				95	Q25		214	2.3		1		
				95	Q25		303	10.3		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			錐形石器	95	N27		98	52.7		1		
				95	N27		1781	23.0		1		
			縦長剥片	95	N27		1618	9.2		1		
			剥片	95	N28		4	14.7		1		
			剥片	95	N28		75	1.7		1		
				95	Q25		141	7.0		1		
				95	Q25		288	2.1		1		
			剥片	95	N28		207	2.6		1		
					N28	I	14	2.4		1		
			剥片	95	N28		311	12.0		1		
				95	Q25		234	10.9		1		
			剥片		N28	I	15	7.2		1		
				95	O28		1469	24.7		1		
				95	Q25		218	2.1		1		
				95	Q25		61	1.9		1		
				95	Q25		179	0.8		1		
				95	Q25		272	0.8		1		
				95	Q25		283	1.6		1		
			剥片	93	N29		448	5.9		1		
				95	P26		138	3.1		1		
			剥片	95	N29		536	0.9		1		
			剥片	95	O27		85	1.7		1		
				95	Q25		50	3.6		1		
				95	Q25		183	3.3		1		
			剥片	95	O27		196	10.3		1		
				95	O27		513	124.1		1		
				95	P26		21	19.3		1		
			剥片	95	O27		249	19.0		1		
				95	Q25		180	17.1		1		
				95	Q25		201	4.2		1		
			剥片	95	O27		339	2.0		1		
			剥片	95	O27		502	4.7		1		
				95	O27		1207	4.4		1		
				95	O28		1172	8.1		1		
				95	P26		189	7.6		1		
			剥片	95	O28		237	4.1		1		
				95	P26		71	1.8		1		
			剥片	95	O28		592	1.6		1		
			剥片	95	O28		1414	4.1		1		
			剥片	95	P25		96	61.0		1		
			剥片	95	P25		97	4.2		1		
				95	Q25		204	6.2		1		
			剥片	95	P25		413	22.1		1		
			剥片	95	P25		681	12.4		1		
			剥片	95	P25		684	11.3		1		
				95	Q25		106	3.2		1		
				95	Q25		139	1.5		1		
				95	Q25		153	6.4		1		
				95	Q25		185	1.9		1		
			剥片	95	P25		715	3.9		1		
			剥片	95	P26		34	17.9		1		
			剥片	95	P26		50	10.3		1		
				95	Q25		151	8.7		1		
			剥片	95	P26		53	1.9		1		
				95	P26		73	5.6		1		
				95	P26		110	6.4		1		
			剥片	95	P26		134	1.6		1		
			剥片	95	P26		136	1.4		1		
				95	P26		171	4.2		1		
				95	Q25		321	12.5		1		
				95	Q25		324	7.5		1		
			剥片	95	P26		139	21.6		1		
				95	P26		169	33.0		1		
				95	Q25		256	1.2		1		
			剥片	95	P26		140	3.1		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				95	Q25		335	1.3		1		
			剥片	95	P26		150	16.4		1		
			剥片	95	P26		187	30.0		1		
			剥片	95	P27		263	17.3		1		
			剥片	95	Q25		51	1.4		1		
				95	Q25		375	10.6		1		
			剥片	95	Q25		60	1.0		1		
			剥片	95	Q25		85	1.9		1		
				95	Q25		138	4.4		1		
				95	Q25		339	4.9		1		
			剥片	95	Q25		105	4.8		1		
				95	Q25		370	2.3		1		
			剥片	95	Q25		162	1.1		1		
				95	Q25		196	19.0		1		
			剥片	95	Q25		211	1.9		1		
				95	Q25		293	4.6		1		
				95	Q25		349	8.7		1		
				95	Q25		352	1.3		1		
			剥片	95	Q25		215	0.8		1		
			剥片	95	Q25		246	3.8		1		
				95	Q25		372	1.7		1		
			剥片	95	Q25		260	1.4		1		
				95	Q25		261	8.1		1		
			剥片	95	Q25		267	4.4		1		
			剥片	95	Q25		297	17.5		1		
				95	Q25		364	75.5		1		
			剥片	95	Q25		307	2.0		1		
				95	Q25		308	4.0		1		
			剥片	95	Q25		309	3.5		1		
			剥片	95	Q25		365	3.6		1		
			剥片	95	Q25		366	5.6		1		
−	203	485	石核		Q25	I	10	122.1		1		
−	263	522	接合資料	95				1117.4	67	1	768	3479
			剥片	95	L27		277	3.2		1		
				95	P24		9	37.0		1		
			剥片	95	M26		222	1.9		1		
				95	O26		84	14.8		1		
			剥片	95	M26		269	5.3		1		
			剥片	95	M26		293	1.7		1		
				95	N27		789	18.7		1		
				95	N27		866	15.9		1		
				95	O25		192	4.3		1		
			剥片	95	N26		30	36.7		1		
				95	N26		145	4.4		1		
			剥片	95	N26		225	6.3		1		
				95	P25		84	5.1		1		
			剥片	95	N26		232	8.9		1		
			剥片	95	N26		234	6.0		1		
			剥片	95	N26		451	7.9		1		
			剥片	95	N26		452	8.4		1		
				95	N27		339	14.8		1		
			剥片	95	N26		599	75.8		1		
			剥片	95	N26		606	35.5		1		
					排土		135	5.7		1		
			剥片	95	N27		871	59.1		1		
				95	O26		514	3.5		1		
				95	P24		41	4.6		1		
				95	P25		91	2.1		1		
				95	P25		542	2.7		1		
			剥片	95	N27		884	6.9		1		
			剥片	95	N27		1016	14.4		1		
				95	O26		79	26.2		1		
					B調		178	1.4		1		
			剥片	95	N27		1388	40.2		1		
			剥片	95	O25		4	23.0		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	95	O25		19	13.1		1		
				95	P25		603	20.1		1		
			剥片	95	O25		22	9.4		1		
				95	O25		239	6.8		1		
			剥片	95	O25		28	2.4		1		
			剥片	95	O25		45	64.2		1		
			剥片	95	O25		108	12.4		1		
			剥片	95	O25		199	4.9		1		
			剥片	95	O25		204	10.2		1		
			剥片	95	O26		130	22.6		1		
			剥片	95	O26		374	43.1		1		
				95	P25		573	1.7		1		
			剥片	95	O26		494	4.4		1		
					P25	I	26	13.7		1		
			剥片	95	P25		40	7.4		1		
				95	P25		125	7.1		1		
			剥片	95	P25		187	1.4		1		
			剥片	95	P25		217	14.1		1		
				95	P25		504	1.3		1		
			剥片	95	P25		261	1.6		1		
				95	P25		546	1.5		1		
				95	P25		547	19.2		1		
			剥片	95	P25		279	11.3		1		
			剥片	95	P25		309	7.6		1		
				95	P25		312	32.3		1		
			剥片	95	P25		311	3.7		1		
				95	P25		367	85.9		1		
			剥片	95	P25		348	9.4		1		
				95	P25		353	14.1		1		
			剥片	95	P25		422	23.8		1		
			剥片	95	P25		450	8.1		1		
				95	P25		562	8.5		1		
			剥片	95	P25		549	117.1		1		
			剥片	95	P25		554	4.8		1		
			剥片	95	Q24		69	5.8		1		
−	263	523	接合資料	90·93·94·95				970.9	66	2	784	3502
			剥片	94	I32		107	2.4		2		
				90	J32		420	2.6		2		
			剥片	95	J30		166	16.9		2		
				93	K30		178	7.9		2		
				93	L30		31	14.4		2		
				93	L30		110	1.9		2		
			剥片	94	J31		275	17.8		2		
			剥片	95	J31		481	35.9		2		
			剥片	90	J31		2246	3.1		2		
			剥片	93	K30		7	4.8		2		
				93	K30		8	13.7		2		
					K30	I	2	17.1		2		
				93	L30		51	4.5		2		
			剥片	93	K30		21	2.4		2		
			剥片	93	K30		30	10.9		2		
				93	K30		121	2.1		2		
				93	K30		191	13.3		2		
				93	L30		32	5.2		2		
			剥片	93	K30		34	8.7		2		
				93	K30		208	2.4		2		
			剥片	93	K30		42	1.8		2		
			剥片	93	K30		53	3.3		2		
				93	L30		474	3.8		2		
			剥片	93	K30		56	6.9		2		
				93	K30		155	14.1		2		
			剥片	93	K30		71	13.3		2		
			剥片	93	K30		73	10.1		2		
				93	L30		437	1.7		2		
			剥片	93	K30		74	6.2		2		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				93	K30		76	24.4		2		
				93	L30		172	18.5		2		
			剥片	93	K30		91	11.0		2		
			剥片	93	K30		99	12.2		2		
			剥片	93	K30		100	7.7		2		
				93	K30		267	4.5		2		
				93	L30		48	12.1		2		
			剥片	93	K30		112	7.9		2		
			剥片	93	K30		122	2.4		2		
				93	K30		162	52.7		2		
				93	K30		215	2.7		2		
				93	L30		164	10.9		2		
				93	L30		206	14.8		2		
			剥片	93	K30		145	1.0		2		
			剥片	93	K30		148	17.3		2		
				93	K30		426	82.2		2		
				93	L30		268	79.7		2		
			剥片	93	K30		164	12.5		2		
				93	K30		404	10.7		2		
				93	L30		165	15.8		2		
			剥片	93	K30		179	4.1		2		
			剥片	93	K30		183	5.0		2		
			剥片	93	K30		207	2.4		2		
			剥片	93	K30		217	42.5		2		
				93	L30		308	1.6		2		
			剥片	93	K30		230	3.8		2		
				93	K30		444	11.8		2		
			剥片	93	K30		235	1.7		2		
			剥片	93	K30		382	187.0		2		
			剥片	93	K30		459	3.1		2		
			剥片		K30	Ⅰ	3	11.1		2		
			剥片	93	L30		142	1.8		2		
			剥片	93	L30		159	13.8		2		
			剥片	93	L30		160	9.2		2		
			剥片	93	L30		235	7.2		2		
			剥片	93	L30		367	8.5		2		
			剥片	93	L30		801	6.1		2		
－	264	524	接合資料	93				1543.5	153	1･5	759	3435
			剥片	93	M29		357	2.0		1		
				93	O29		670	29.3		1		
				93	P28		5179	3.2		1		
			剥片	93	M30		112	4.8		1		
				93	P28		2720	0.8		1		
			剥片	93	M30		378	3.0		1		
			剥片	93	M30		630	9.8		1		
				93	P28		6779	8.7		1		
			縦長剥片	93	N29		320	3.4		1		
				93	N29		645	2.4		1		
			剥片	93	N29		457	4.6		1		
				93	O29		2320	70.8		1		
			剥片	93	N29		459	1.6		1		
				93	N29		1260	2.1		1		
			剥片	93	N29		653	2.4		1		
			縦長剥片	93	N29		751	52.4		1		
				93	P28		4701	19.8		1		
			剥片	93	N29		777	4.2		1		
			剥片	93	N29		962	20.4		1		
			剥片	93	N29		1281	5.8		1		
				93	P28		6407	2.4		1		
				93	P28		7575	4.9		1		
					P28	Ⅱ	257	1.3		1		
			剥片	93	N29		1283	1.2		1		
				93	P28		6250	3.0		1		
			剥片	93	N29		1557	2.2		1		
			剥片		N29	Ⅰ	54	1.1		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				93	P28		5265	15.3		1		
			剥片		N29	Ⅱ	55	0.4		1		
			剥片	93	N30		319	10.9		1		
				93	P28		6387	1.9		1		
					P28	Ⅱ	248	2.1		1		
				93	Q27		976	24.9		1		
			剥片	93	O28		1403	10.6		1		
				93	Q27		814	19.0		1		
			剥片	93	O28		1591	22.7		1		
			剥片	93	O29		648	3.5		1		
				93	P28		5323	7.3		1		
			剥片	93	O29		1039	6.3		5		
				93	O29		1884	9.4		1		
			剥片	93	O29		1444	9.7		5		
			剥片	93	O29		1472	4.2		5		
			剥片	93	O29		1802	2.8		1		
			縦長剥片	93	O29		2136	5.6		1		
				93	P28		6134	11.7		1		
				93	P28		7539	11.9		1		
				93	Q27		994	16.9		1		
			剥片	93	O29		2191	36.1		1		
			縦長剥片	93	O29		2203	5.6		1		
				93	O29		2326	1.8		1		
				93	Q27		1011	7.6		1		
			剥片	93	O29		2245	4.7		1		
			剥片	93	O29		2310	26.9		1		
				93	P28		6425	11.3		1		
					Q28	Ⅱ	11	0.9		1		
			剥片	93	O29		2316	2.1		1		
				93	P28		6524	3.4		1		
			剥片	93	P28		1387	1.8		1		
			剥片	93	P28		1696	6.4		1		
				93	P28		4775	4.9		1		
					P28	Ⅱ	261	0.6		1		
				93	Q27		933	2.2		1		
			剥片	93	P28		2108	5.7		1		
				93	P28		6909	14.9		1		
			剥片	93	P28		2287	1.4		1		
			剥片	93	P28		3198	2.9		1		
				93	P28		6687	2.3		1		
				93	Q27		967	6.5		1		
			剥片	93	P28		3331	5.5		1		
			剥片	93	P28		3385	8.5		1		
				93	P28		6841	4.0		1		
					P28	Ⅱ	252	1.5		1		
			剥片	93	P28		3860	9.5		1		
				93	Q27		1016	7.6		1		
					Q27	Ⅱ	19	0.7		1		
			剥片	93	P28		4201	0.9		1		
			縦長剥片	93	P28		4331	1.0		1		
				93	P28		8080	3.8		1		
				93	Q27		1007	16.9		1		
			剥片	93	P28		4344	0.8		1		
				93	P28		7013	52.7		1		
				93	P28		7544	3.0		1		
				93	Q28		569	3.4		1		
			剥片	93	P28		4353	1.6		1		
				93	P28		6777	1.8		1		
			剥片	93	P28		4614	180.2		1		
			剥片	93	P28		4683	18.7		1		
			剥片	93	P28		4792	23.9		1		
			剥片	93	P28		4910	6.0		1		
			剥片	93	P28		4914	2.5		1		
				93	P28		7572	4.6		1		
				93	Q27		1008	24.8		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	93	P28		4917	46.2		1		
			剥片	93	P28		4921	3.2		1		
			剥片	93	P28		5151	2.1		1		
			剥片	93	P28		5163	126.6		1		
			縦長剥片	93	P28		5670	9.6		1		
				93	P28		5975	3.9		1		
				93	P28		6756	9.8		1		
			剥片	93	P28		5676	3.0		1		
				93	P28		6696	3.5		1		
				93	P28		6698	4.3		1		
			剥片	93	P28		5784	2.2		1		
			剥片	93	P28		5937	5.0		1		
			剥片	93	P28		6052	8.0		1		
			剥片	93	P28		6158	2.0		1		
Ⅲ-221	175	27	尖頭器	93	P28		6159	11.1		5		
			剥片	93	P28		6304	3.1		1		
				93	P28		6394	4.8		1		
			剥片	93	P28		6453	1.8		1		
			剥片	93	P28		6521	27.1		1		
			剥片	93	P28		6581	37.0		1		
			剥片	93	P28		6591	8.1		1		
					P28	Ⅱ	253	0.4		1		
			剥片	93	P28		6701	5.7		1		
			剥片	93	P28		6775	1.9		1		
			剥片	93	P28		6904	2.3		1		
			剥片	93	P28		7008	6.8		1		
			剥片	93	P28		7010	12.2		1		
					P28	Ⅱ	249	1.8		1		
			剥片	93	P28		7043	15.3		1		
			剥片	93	P28		7046	4.9		1		
				93	P28		7542	17.3		1		
					P28	Ⅱ	250	1.6		1		
					P28	Ⅱ	254	0.8		1		
			剥片	93	P28		7149	4.6		1		
			剥片	93	P28		7214	9.3		1		
					P28	Ⅱ	258	2.5		1		
			剥片	93	P28		7221	3.9		1		
			剥片	93	P28		7444	2.8		1		
			剥片	93	P28		7538	2.8		1		
			剥片	93	P28		7541	1.9		1		
			剥片	93	P28		7543	3.5		1		
			剥片	93	P28		7731	1.3		1		
			剥片	93	P28		7740	6.0		1		
			剥片	93	P28		7825	6.7		1		
			剥片	93	P28		7979	2.8		1		
					P28	Ⅱ	251	0.6		1		
			剥片		P28	Ⅱ	247	1.0		1		
			剥片		P28	Ⅱ	255	0.9		1		
			剥片		P28	Ⅱ	256	1.7		1		
			剥片		P28	Ⅱ	259	1.1		1		
			剥片		P28	Ⅱ	260	1.6		1		
				93	Q28		571	7.7		1		
			剥片	93	P29		367	9.4		1		
			剥片	93	P29		1147	1.3		1		
			剥片	93	P29		1173	1.0		1		
			剥片	93	Q27		913	4.5		1		
			剥片	93	Q27		1012	8.1		1		
			剥片	93	Q27		1013	1.9		1		
			剥片	93	Q27		1018	1.5		1		
			縦長剥片	93	Q28		372	3.8		1		
			剥片	93	Q28		627	57.3		1		
－	264	525	接合資料	90･93				568.6	49	2	707	3236
			剥片	93	K31		259	10.1		2		
				93	N29		1612	4.5		2		
			剥片	90	K31		1046	7.1		2		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				93	L30		496	18.4		2		
				93	M30		12	5.5		2		
				93	M30		493	11.8		2		
				93	M30		556	26.9		2		
				93	M30		592	113.3		2		
				93	N29		1663	10.4		2		
			剥片	93	L30		147	5.7		2		
				93	N29		1302	3.2		2		
			剥片	93	L30		417	44.6		2		
			剥片	90	L31		77	9.9		2		
			剥片	93	M29		67	3.7		2		
				93	M29		680	5.0		2		
				93	M30		116	8.9		2		
				93	N29		608	4.0		2		
				93	N29		708	5.0		2		
			剥片	93	M29		100	18.1		2		
			剥片	93	M29		168	3.6		2		
				93	M29		169	2.9		2		
				93	M29		402	4.1		2		
				93	M30		7	4.4		2		
				93	N29		704	6.3		2		
				93	N29		709	3.6		2		
				93	N29		787	2.8		2		
			剥片	93	M29		530	17.4		2		
				93	M30		789	2.7		2		
				93	N29		791	6.7		2		
			剥片	93	M29		623	15.2		2		
			剥片	93	M29		652	2.2		2		
				93	M30		115	13.9		2		
				93	N29		216	5.8		2		
			剥片	93	M30		257	30.9		2		
				93	M30		698	11.9		2		
			剥片	93	M30		297	3.4		2		
				93	M30		488	10.0		2		
				93	N29		978	5.6		2		
			剥片	93	M30		635	10.5		2		
			剥片	93	M30		775	4.4		2		
			剥片	93	M30		776	4.6		2		
			剥片	93	M30		780	15.5		2		
				93	N29		817	14.4		2		
			剥片	93	N29		328	3.0		2		
			剥片	93	N29		472	5.5		2		
				93	N29		710	14.2		2		
			剥片	93	N29		796	6.0		2		
			剥片	93	O29		2357	15.2		2		
			剥片		七南1～30		9	5.8		2		
－	265	526	接合資料	93				2125.9	67	1･3･5	935	4064
Ⅲ-242	190	230	削器	93	K30		57	81.4		3		
				93	K30		408	33.0		3		
			剥片	93	L30		124	50.5		1		
				93	M30		26	90.2		3		
				93	M30		373	27.6		3		
			剥片	93	M30		129	7.9		3		
				93	N29		1605	24.9		5		
				93	O29		2125	8.7		3		
			剥片	93	M30		157	8.2		3		
				93	O29		1593	257.1		5		
			縦長剥片	93	M30		212	27.2		3		
				93	P28		5691	10.3		5		
			剥片	93	M30		406	7.9		3		
				93	P28		4351	62.6		3		
			剥片	93	N29		754	28.7		5		
Ⅲ-242	189	229	削器	93	N29		886	50.8		5		
				93	P28		5304	25.7		5		
			剥片	93	N29		951	49.8		5		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				93	N29		1129	60.0		3		
				93	N29		1140	17.8		3		
				93	Q28		553	20.0		1		
			剥片	93	N29		1122	39.9		5		
				93	P28		6915	9.6		3		
				93	Q27		979	4.1		3		
			剥片	93	N29		1268	5.1		5		
			剥片		N29	I	48	33.1		3		
				93	N30		506	27.2		5		
			剥片	93	N30		424	28.1		3		
				93	P28		793	3.8		3		
				93	P28		4318	52.7		3		
				93	P28		7739	16.1		3		
			剥片	93	N30		495	46.6		3		
			剥片		N30	I	85	49.2		5		
				93	O28		1993	17.4		3		
				93	P28		6720	9.4		3		
			剥片	93	O28		1723	7.7		5		
				93	P28		396	4.6		3		
			剥片	93	O28		1812	9.4		5		
			剥片	93	O28		1889	24.7		5		
				93	O28		2055	70.2		5		
			剥片	93	O28		2052	7.7		5		
				93	P28		5962	145.6		5		
			剥片	93	O29		1331	19.6		5		
			剥片	93	O29		1461	58.8		5		
				93	P28		5255	17.7		5		
			剥片	93	O29		2121	90.9		3		
			剥片	93	O29		2204	14.9		3		
			剥片	93	P28		2413	2.0		5		
				93	P28		7363	2.1		5		
			剥片	93	P28		2848	9.5		5		
				93	P28		5273	17.1		3		
				93	P28		7365	17.5		1		
				93	P28		7733	10.7		3		
				93	P28		7737	12.0		3		
			剥片	93	P28		4377	24.6		3		
				93	Q28		508	23.8		3		
			剥片	93	P28		4897	9.7		5		
			剥片	93	P28		6237	6.4		5		
				93	P28		6901	48.0		5		
			剥片	93	P28		6714	11.0		5		
			剥片	93	P28		7134	8.1		3		
			剥片	93	P28		7300	79.3		5		
			剥片	93	P28		7626	7.7		3		
			剥片	93	Q27		803	19.8		3		
				93	Q27		856	33.3		3		
				93	Q28		536	11.5		1		
				93	Q28		541	7.4		1		
−	266	527	接合資料	93･95				3124.7	116	1･5	932	4055
			剥片	95	J28		21	28.5		5		
			縦長剥片	95	J29		52	67.0		5		
				95	N27		252	7.6		1		
			剥片	95	K28		39	94.6		1		
			剥片	95	K29		180	114.6		1		
				95	M27		623	10.5		5		
			剥片	93	K30		116	38.6		1		
				93	L30		395	57.2		5		
				95	M28		783	1.7		1		
				95	M28		784	2.0		1		
				95	N27		1719	40.6		5		
			剥片	95	M27		54	36.3		5		
				95	M27		615	109.3		1		
				95	M27		886	26.9		5		
				95	M27		897	2.7		5		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				95	M27		1107	9.0		5		
				95	M27		1237	49.4		5		
				95	M27		1476	11.1		1		
				95	M28		587	24.7		1		
				95	N27		708	4.3		1		
			剥片	95	M27		137	11.6		5		
			剥片	95	M27		165	23.6		5		
				95	N27		1214	14.5		1		
			剥片	95	M27		201	3.9		5		
			剥片	95	M27		407	41.5		5		
				95	N26		667	10.3		1		
			剥片	95	M27		438	8.6		5		
				95	O27		971	8.1		1		
			剥片	95	M27		462	4.5		5		
				95	M27		607	8.0		1		
				95	M27		896	11.6		5		
			縦長剥片	95	M27		479	21.6		1		
				95	M27		683	10.7		5		
				95	M27		1060	37.4		5		
			剥片	95	M27		624	73.8		5		
			剥片	95	M27		640	379.2		5		
			剥片	95	M27		645	20.7		5		
			縦長剥片	95	M27		654	36.2		5		
				95	M27		863	25.7		5		
				95	M27		895	13.4		5		
			剥片	95	M27		669	19.5		5		
				95	M27		877	27.6		5		
			剥片	95	M27		684	26.9		5		
				95	M27		739	30.8		5		
				95	M27		757	4.7		5		
				95	M27		759	5.8		5		
			剥片	95	M27		724	5.1		5		
			剥片	95	M27		726	7.9		5		
				95	N28		276	10.4		1		
			剥片	95	M27		746	6.1		5		
			剥片	95	M27		758	9.1		5		
				95	M27		1154	23.7		5		
				95	M29		258	102.6		5		
			剥片	95	M27		761	3.5		5		
				95	M27		889	93.4		5		
			剥片	95	M27		762	5.3		5		
				95	M27		885	19.9		5		
			剥片	95	M27		864	6.6		5		
				95	O27		861	4.7		1		
				95	O27		998	5.1		1		
			縦長剥片	95	M27		865	10.5		5		
				95	M28		130	15.5		1		
				95	N27		1651	2.0		5		
				95	O26		99	25.4		5		
			縦長剥片	95	M27		874	25.1		5		
				95	M27		1267	10.9		5		
					M28	I	10	17.9		5		
			剥片	95	M27		894	6.3		5		
				95	O27		563	5.7		1		
			剥片	95	M27		1233	7.2		5		
				95	N27		1636	20.7		5		
			剥片	95	M27		1239	182.7		5		
			剥片	95	M27		1328	14.6		1		
			剥片	93	M29		858	4.1		5		
			剥片	95	N27		150	2.3		1		
				95	O26		518	6.5		1		
			剥片	95	N27		179	5.7		1		
			剥片	95	N27		236	5.1		1		
			剥片	95	N27		433	2.8		5		
			剥片	95	N27		540	14.0		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				95	N27		679	4.8		1		
			剥片	95	N27		561	2.0		1		
			剥片	95	N27		735	10.9		1		
			剥片	95	N27		854	146.9		5		
			剥片	95	N27		912	4.3		1		
			縦長剥片	95	N27		937	28.6		1		
			剥片	95	N27		1538	181.5		1		
			剥片	95	N27		1784	86.4		5		
				95	N27		1785	2.3		5		
			剥片		N27	I	10	34.0		1		
			剥片	95	N28		253	3.9		1		
			剥片	95	N28		355	40.1		1		
				95	N28		433	4.2		1		
			剥片	95	O26		80	8.1		5		
			剥片	95	O26		346	16.3		1		
			剥片	95	O26		547	9.8		1		
				95	O27		746	6.1		1		
				95	O27		1075	2.5		5		
				95	O27		1107	7.2		5		
				95	O27		1108	19.7		5		
				95	O27		1163	3.0		1		
			剥片	95	O27		82	26.8		1		
			剥片	95	O27		144	10.8		1		
			剥片	95	O27		327	42.1		1		
			剥片	95	O27		472	4.8		1		
				95	O27		1238	17.1		1		
			剥片	95	O27		532	8.3		1		
			剥片	95	O27		607	19.3		1		
				95	O27		679	10.2		1		
			剥片	95	O27		681	14.3		1		
			剥片	95	O27		690	3.5		5		
			剥片	95	O27		1306	4.1		1		
			剥片	95	O27		1641	18.4		1		
			剥片	95	O27		1642	2.9		1		
			剥片	95	P26		103	7.8		1		
				95	P26		227	6.5		5		
—	267	528	接合資料	95				4385.3	239	3·4	797	3540
			剥片	95	I 30		2	4.6		3		
				95	J 29		158	9.0		3		
			剥片	95	I 30		3	3.9		3		
			剥片	95	I 30		13	5.1		3		
			剥片	95	I 30		42	2.4		3		
				95	J 29		146	3.7		3		
				95	J 30		286	6.7		4		
			剥片	95	I 30		43	19.6		3		
				95	J 29		229	3.4		3		
			剥片	95	I 30		51	6.9		3		
				95	J 29		187	1.7		3		
			剥片	95	I 30		65	10.8		3		
				95	J 30		75	8.4		4		
				95	J 30		108	6.0		4		
				95	K28		84	2.6		3		
			剥片	95	I 30		66	13.9		3		
				95	I 30		337	27.2		3		
				95	J 29		238	32.4		3		
				95	J 30		64	6.6		4		
				95	J 30		152	9.2		4		
				95	K28		55	11.3		3		
			剥片	95	I 30		69	5.8		3		
				95	J 29		182	4.0		3		
			剥片	95	I 30		77	3.6		3		
			剥片	95	I 30		81	7.6		3		
			石刃	95	I 30		105	14.5		4		
				95	J 30		57	23.3		4		
			剥片	95	I 30		106	3.5		3		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	95	I 30		114	23.6		3		
				95	J 30		171	3.7		4		
			剥片	95	I 30		120	49.1		3		
			剥片	95	I 30		163	7.4		3		
				95	J 28		13	137.6		4		
				95	J 29		184	12.9		3		
				95	J 29		185	5.4		3		
				95	K28		150	3.1		4		
			剥片	95	I 30		286	7.3		3		
				95	J 30		173	4.2		4		
			剥片	95	I 30		421	4.1		4		
				95	J 29		241	16.6		3		
			剥片	95	J 29		5	3.3		3		
				95	J 29		42	8.0		3		
			剥片	95	J 29		25	35.0		3		
				95	J 29		154	16.6		3		
				95	J 30		14	3.0		4		
				95	K29		324	3.1		3		
				95	K29		592	19.7		3		
			剥片	95	J 29		26	1.3		3		
			剥片	95	J 29		29	3.4		3		
			剥片	95	J 29		31	0.9		3		
			剥片	95	J 29		38	9.5		4		
			剥片	95	J 29		45	29.4		3		
				95	J 29		106	15.1		3		
				95	J 29		155	153.4		3		
				95	K29		408	17.8		3		
				95	K29		562	4.0		3		
				95	K29		606	9.5		3		
			剥片	95	J 29		46	1.3		3		
			剥片	95	J 29		54	6.4		4		
				95	J 30		31	21.5		4		
			剥片	95	J 29		55	3.6		3		
			剥片	95	J 29		57	3.4		3		
				95	K29		322	6.3		3		
			剥片	95	J 29		72	4.9		3		
			剥片	95	J 29		87	2.8		3		
				95	J 29		166	242.9		3		
				95	L 28		1164	30.7		3		
				95	L 28		1168	214.7		3		
			剥片	95	J 29		92	6.7		3		
			剥片	95	J 29		100	35.6		3		
				95	J 29		104	4.2		3		
				95	J 29		183	8.6		3		
				95	K28		42	3.6		4		
				95	K28		140	24.0		4		
				95	K29		20	5.3		3		
				95	K29		390	66.1		3		
				95	K29		430	188.9		3		
				95	K29		565	3.2		3		
				95	K29		569	7.0		3		
					K29	I	13	21.7		4		
			剥片	95	J 29		107	12.0		3		
				95	K29		109	7.4		3		
				95	K29		323	23.7		3		
				95	K29		566	4.3		3		
			剥片	95	J 29		112	17.5		3		
			剥片	95	J 29		134	2.5		3		
				95	K29		605	3.5		3		
			剥片	95	J 29		136	3.5		3		
			剥片	95	J 29		139	74.3		3		
			剥片	95	J 29		141	4.5		3		
			剥片	95	J 29		143	8.9		3		
				95	K29		591	4.5		3		
			剥片	95	J 29		150	11.7		3		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				95	J29		163	13.5		3		
				95	K29		438	5.3		3		
			剥片	95	J29		152	100.3		3		
				95	J30		217	7.3		4		
				95	J30		268	9.1		4		
			剥片	95	J29		173	11.3		3		
				95	K29		624	33.6		3		
			剥片	95	J29		175	3.4		3		
				95	J29		208	20.9		3		
			剥片	95	J29		181	2.7		3		
			剥片	95	J29		192	6.2		3		
			石刃	95	J29		194	9.3		3		
				95	J29		210	8.6		3		
				95	J30		84	4.6		4		
				95	J30		85	5.0		4		
				95	J30		100	8.9		4		
			剥片	95	J29		196	11.7		3		
			剥片	95	J29		198	4.8		3		
				95	J29		211	6.7		3		
			剥片	95	J29		199	8.3		3		
			剥片	95	J29		201	2.8		3		
			剥片	95	J29		202	14.7		3		
			剥片	95	J29		204	11.0		3		
				95	K29		589	10.4		3		
			剥片	95	J29		207	2.4		3		
				95	K28		97	21.9		3		
			剥片	95	J29		214	51.0		3		
			剥片	95	J29		215	5.1		3		
			剥片	95	J29		217	70.9		3		
			剥片	95	J29		219	27.4		3		
			剥片	95	J29		220	5.0		3		
				95	J30		156	7.2		4		
			剥片	95	J29		222	24.4		3		
			剥片	95	J29		228	4.8		3		
			剥片	95	J29		236	4.1		3		
			縦長剥片	95	J29		239	41.7		3		
				95	J30		102	33.0		4		
			縦長剥片	95	J29		240	32.8		3		
				95	J30		98	17.4		4		
			剥片		J29	I	1	451.4		4		
				95	K29		97	4.2		3		
				95	K29		392	9.6		3		
			剥片	95	J30		13	3.7		4		
				95	K28		141	3.4		4		
				95	L27		1173	2.5		4		
			剥片	95	J30		27	2.9		4		
				95	J30		112	5.2		4		
			剥片	95	J30		36	3.4		4		
				95	K29		388	9.9		3		
				95	K29		435	2.9		3		
			剥片	95	J30		40	5.5		4		
				95	J30		43	5.8		4		
				95	J30		160	3.9		4		
			剥片	95	J30		42	0.8		3		
			剥片	95	J30		52	7.4		4		
			剥片	95	J30		54	2.5		4		
				95	J30		80	7.8		4		
				95	J30		113	3.9		4		
				95	J30		247	1.9		4		
			剥片	95	J30		58	3.4		3		
				95	K28		99	11.5		3		
			剥片	95	J30		66	5.8		4		
				95	J30		192	9.0		4		
				95	J30		242	4.2		4		
				95	K28		98	21.9		3		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			石刃	95	J30		81	92.3		4		
				95	J30		149	67.8		4		
				95	J30		150	7.7		4		
					不明		不明	3.4		4		
			剥片	95	J30		82	4.9		4		
			剥片	95	J30		90	5.9		3		
			縦長剥片	95	J30		91	21.0		4		
				95	J30		114	6.4		4		
				95	J30		143	5.2		4		
				95	J30		158	3.6		4		
				95	J30		266	28.2		4		
			剥片	95	J30		92	2.8		4		
				95	J30		118	5.0		4		
			剥片	95	J30		93	6.7		4		
			剥片	95	J30		103	2.0		4		
			剥片	95	J30		106	1.2		4		
			剥片	95	J30		115	24.8		4		
				95	J30		117	16.1		3		
				95	K30		419	2.9		4		
			剥片	95	J30		120	8.5		3		
				95	J30		145	4.3		4		
				95	J30		267	12.2		4		
			縦長剥片	95	J30		142	7.9		4		
				95	J30		151	60.8		4		
				95	J30		244	5.0		4		
				95	J30		294	59.0		4		
			剥片	95	J30		193	3.2		4		
			剥片	95	J30		196	12.1		3		
				95	J30		197	17.2		4		
				95	J30		246	9.0		4		
			剥片	95	J30		206	11.0		3		
			剥片	95	J30		211	1.7		4		
				95	J30		302	4.3		4		
			剥片	95	J30		216	4.7		4		
			石刃	95	J30		218	5.6		4		
				95	J30		219	2.6		4		
				95	L28		758	4.3		3		
				95	L28		1160	13.1		3		
				95	L28		1731	9.2		3		
			剥片	95	J30		222	2.0		3		
			剥片	95	J30		249	4.0		4		
				90	J32		702	3.7		4		
			剥片	95	J30		269	3.5		4		
				95	K28		136	15.3		4		
				95	K29		472	4.7		4		
			剥片	95	J30		295	1.3		4		
				95	J30		299	4.0		4		
			剥片		J30	I	1	14.7		4		
				95	L27		1120	2.3		4		
			剥片		J30	I	2	10.0		4		
				95	L27		1160	5.1		4		
			剥片	95	K28		44	19.3		3		
			剥片	95	K28		53	2.6		4		
			剥片	95	K28		54	9.7		3		
			剥片	95	K28		58	10.4		4		
				95	K28		138	16.4		4		
			剥片	95	K28		69	1.2		4		
			剥片	95	K28		81	10.9		3		
				95	K29		549	2.1		3		
				95	K29		620	65.1		3		
			剥片	95	K28		142	3.5		3		
			剥片	95	K28		145	32.9		4		
				95	K29		437	8.2		3		
			剥片	95	K29		81	3.2		3		
				95	L28		1165	4.1		3		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	95	K29		167	1.2		3		
			剥片	95	K29		259	135.9		3		
			剥片	95	K29		395	5.5		3		
			剥片	95	K29		420	128.0		3		
			剥片	95	K29		422	4.2		3		
			剥片	95	K29		440	6.2		3		
			剥片	95	K29		442	4.3		3		
			剥片	95	K29		585	7.0		3		
			剥片	95	K29		590	5.4		3		
			剥片	95	K29		598	9.1		3		
			剥片	95	K29		609	15.6		3		
			剥片	95	L27		1097	6.0		4		
			剥片	95	L27		1179	1.3		4		
			剥片	95	L27		1190	1.4		4		
			剥片	95	L27		1193	5.4		4		
			剥片	95	L27		1200	3.7		4		
−	268	529	接合資料	91				1048.8	62	1	665	3110
			剥片		G34	Ⅰ	3	3.7		1		
			剥片	91	H34		31	66.3		1		
					I34	Ⅰ	74	4.4		1		
			剥片		H34	Ⅰ	12	4.8		1		
				91	I34		35	3.9		1		
			剥片		H34	Ⅰ	13	5.8		1		
					H34	Ⅰ	14	1.0		1		
					H34	Ⅰ	15	16.5		1		
			剥片		H34	Ⅰ	16	4.5		1		
			剥片		H34	Ⅰ	17	28.8		1		
			剥片		H34	Ⅰ	18	26.0		1		
				91	I34		78	15.2		1		
			剥片		H34	Ⅰ	20	9.9		1		
				91	I34		76	2.6		1		
				91	I34		98	3.5		1		
				91	I34		110	27.3		1		
				91	I34		117	3.7		1		
				91	I34		142	3.8		1		
				91	I34		163	2.1		1		
				91	I34		205	4.4		1		
					I34	Ⅰ	75	19.2		1		
					I34	Ⅰ	78	3.3		1		
					I34	Ⅱ	79	1.3		1		
			剥片		H34	Ⅰ	21	19.5		1		
			剥片		H34	Ⅰ	22	3.7		1		
					H34	Ⅰ	23	7.0		1		
			剥片		H34	Ⅰ	24	8.0		1		
				91	I34		114	1.9		1		
			剥片		H34	Ⅰ	25	32.5		1		
					I34	Ⅰ	68	2.3		1		
			剥片		H34	Ⅰ	26	11.3		1		
					H34	Ⅰ	27	4.1		1		
					H34	Ⅰ	28	2.2		1		
					I34	Ⅰ	67	0.7		1		
			剥片		H34	Ⅰ	29	3.4		1		
					H34	Ⅰ	30	9.7		1		
			剥片	91	I33		1	232.4		1		
				91	I34		26	1.1		1		
			剥片	91	I34		11	7.2		1		
				91	I34		141	23.0		1		
					I34	Ⅰ	77	12.7		1		
			剥片	91	I34		23	9.5		1		
			剥片	91	I34		32	2.1		1		
			剥片	91	I34		48	4.0		1		
					I34	Ⅰ	76	225.8		1		
			剥片	91	I34		77	7.5		1		
			剥片	91	I34		80	18.9		1		
			剥片	91	I34		83	4.0		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	91	I34		92	6.2		1		
			剥片	91	I34		106	34.2		1		
			剥片	91	I34		132	5.3		1		
			剥片	91	I34		153	6.7		1		
					I34	Ⅰ	66	3.2		1		
			剥片	91	I34		161	3.6		1		
			剥片	91	I34		166	4.1		1		
				91	I34		179	10.6		1		
			剥片	91	I34		169	38.8		1		
			剥片	91	I34		203	12.3		1		
			剥片	91	I34		206	3.3		1		
			剥片		I34	Ⅰ	72	2.3		1		
			剥片		I34	Ⅰ	73	1.0		1		
			剥片		I34	Ⅱ	83	0.7		1		
−	268	530	接合資料	93				1483.9	35	4	925	4042
			石刃	93	O29		355	14.9		4		
			石刃	93	O29		453	14.8		4		
			剥片	93	O29		1411	33.8		4		
			剥片	93	O29		1892	19.9		4		
				93	P29		552	16.4		4		
				93	P29		904	25.0		4		
			剥片	93	P28		770	24.1		4		
				93	P28		2215	31.1		4		
			石刃	93	P28		2022	33.7		4		
			剥片	93	P28		4504	49.1		4		
			剥片	93	P28		5826	41.2		4		
			剥片	93	P28		6347	5.6		4		
			剥片	93	P28		6639	71.2		4		
			剥片	93	P28		7421	28.8		4		
−	201	462	石刃核	93	P28		7513	515.4		4		
			剥片	93	P28		7712	8.1		4		
			剥片	93	P28		7724	36.5		4		
			剥片	93	P28		7774	5.8		4		
			剥片	93	P28		7971	7.7		4		
			石刃	93	P29		13	8.4		4		
			剥片	93	P29		61	9.3		4		
				93	P29		862	21.4		4		
			縦長剥片	93	P29		295	16.8		4		
			剥片	93	P29		321	132.9		4		
			縦長剥片	93	P29		338	16.8		4		
			剥片	93	P29		372	66.7		4		
			縦長剥片	93	P29		422	32.0		4		
			剥片	93	P29		447	30.2		4		
			石刃	93	P29		577	20.5		4		
			剥片	93	P29		583	30.2		4		
			縦長剥片	93	P29		687	11.3		4		
			石刃	93	P29		958	30.9		4		
			剥片	93	P29		1032	26.9		4		
			剥片	93	P29		1260	39.0		4		
			剥片		P29	Ⅰ	23	7.5		4		
−	269	531	接合資料	93				1004.3	28	3･4	916	4001
			剥片	93	O29		1535	6.4		4		
−	201	460	石刃核	93	P28		787	246.2		4		
			剥片	93	P28		1033	81.6		4		
				93	P28		1045	16.0		4		
			剥片	93	P28		1274	45.9		4		
			剥片	93	P28		1949	236.7		4		
				93	P28		3355	69.3		4		
			剥片	93	P28		1953	11.9		4		
			剥片	93	P28		2014	29.5		4		
			剥片	93	P28		2963	3.6		4		
			縦長剥片	93	P28		4848	9.1		3		
			剥片	93	P28		5347	5.6		4		
			剥片	93	P28		5445	3.4		4		
				93	P28		5452	5.6		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	93	P28		5703	2.8		4		
			剥片	93	P28		5812	6.1		4		
			剥片	93	P28		6001	21.8		4		
			剥片	93	P28		6149	97.2		4		
			剥片	93	P28		6845	10.9		4		
			剥片	93	P28		7423	9.7		4		
			剥片	93	P28		7506	13.5		4		
			剥片	93	P28		7666	6.6		4		
			剥片	93	P28		7729	26.9		4		
			剥片	93	P29		657	4.1		4		
				93	P29		807	12.7		4		
				93	P29		1236	10.3		4		
			剥片	93	P29		660	7.8		4		
			剥片	93	P29		1076	3.1		4		
－	269	532	接合資料	93				1095.6	80	3･4	924	4039
			剥片	93	O29		814	5.7		3		
			剥片	93	O29		2009	3.1		4		
			剥片		P27	Ⅰ	4	1.6		4		
				93	P28		536	6.1		4		
			剥片	93	P28		224	8.0		4		
			剥片	93	P28		250	17.5		3		
			石刃	93	P28		477	23.6		4		
			剥片	93	P28		695	19.3		4		
				93	P28		3365	5.9		4		
			石刃	93	P28		740	11.8		4		
			剥片	93	P28		745	17.7		4		
			剥片	93	P28		961	2.4		4		
			剥片	93	P28		1085	3.7		4		
			剥片	93	P28		1382	3.5		4		
－	200	457	石刃核	93	P28		1390	239.1		3		
			縦長剥片	93	P28		1401	14.5		4		
				93	P28		6637	14.4		4		
			剥片	93	P28		1930	3.1		4		
			剥片	93	P28		1934	17.0		4		
			剥片	93	P28		1960	2.2		4		
				93	P28		2756	1.8		4		
			剥片	93	P28		2271	16.4		4		
			石刃	93	P28		2293	18.0		4		
			石刃	93	P28		2305	12.3		4		
				93	P28		6073	5.2		4		
			石刃	93	P28		2314	9.3		4		
				93	P28		5804	3.3		4		
			剥片	93	P28		2316	10.8		4		
			剥片	93	P28		2724	6.5		4		
			剥片	93	P28		2732	15.4		4		
			剥片	93	P28		2735	0.6		4		
			剥片	93	P28		2754	1.8		4		
			剥片	93	P28		2757	20.1		4		
			石刃	93	P28		2857	1.2		4		
					P28	Ⅱ	128	1.9		4		
					P28	Ⅱ	131	1.2		4		
			剥片	93	P28		2871	5.8		4		
			剥片	93	P28		2874	2.4		4		
			剥片	93	P28		3340	5.8		4		
				93	P28		7790	6.0		4		
			剥片	93	P28		3352	6.6		4		
			剥片	93	P28		3367	12.4		4		
				93	P28		7304	3.0		4		
			剥片	93	P28		3927	13.7		4		
			剥片	93	P28		3957	3.9		4		
			剥片	93	P28		4169	7.6		4		
			剥片	93	P28		4391	4.4		4		
			剥片	93	P28		4394	4.4		4		
			剥片	93	P28		4828	3.8		4		
			剥片	93	P28		4847	1.8		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	93	P28		5318	11.2		4		
			剥片	93	P28		5322	2.4		4		
			石刃	93	P28		5373	11.3		4		
			剥片	93	P28		5422	7.3		4		
				93	P28		7042	4.8		4		
			剥片	93	P28		5433	7.1		4		
			剥片	93	P28		5712	10.2		3		
			石刃	93	P28		6054	15.6		3		
				93	P28		7243	7.6		4		
					P28	Ⅱ	116	4.1		4		
			剥片	93	P28		6056	2.0		4		
			剥片	93	P28		6070	3.6		4		
			剥片	93	P28		6081	7.2		3		
			剥片	93	P28		6148	2.4		4		
					P28	Ⅱ	118	1.0		4		
			剥片	93	P28		6422	7.7		4		
			剥片	93	P28		6476	21.4		4		
			剥片	93	P28		6633	1.4		4		
			剥片	93	P28		6789	2.6		4		
					P28	Ⅱ	138	0.4		4		
			剥片	93	P28		6849	10.7		4		
			剥片	93	P28		7462	6.4		4		
			剥片	93	P28		7493	12.5		4		
－	200	458	石刃核	93	P28		7515	296.3		4		
			剥片	93	P28		7827	2.0		4		
				93	P28		7925	3.5		4		
			剥片		P28	Ⅰ	148	1.7		4		
			剥片		P28	Ⅱ	127	1.0		4		
			剥片		不明		不明	2.0		4		
					不明		不明	0.6		4		
－	270	533	接合資料	95				1005.4	83	4	818	3624
			剥片	95	K26		78	6.5		4		
			剥片	95	K26		87	1.3		4		
			剥片	95	K26		107	2.8		4		
			剥片	95	K26		150	3.3		4		
				95	L27		21	3.5		4		
			剥片	95	K26		169	10.8		4		
				95	L26		872	3.2		4		
			二次加工ある剥片	95	K26		170	65.7		4		
			石刃	95	K26		172	24.1		4		
			剥片	95	K27		68	3.3		4		
			剥片	95	K27		69	14.1		4		
				95	K27		258	5.9		4		
			剥片	95	K27		318	14.3		4		
			剥片	95	K27		359	1.8		4		
			剥片	95	K27		433	4.2		4		
			剥片	95	K27		438	2.4		4		
			剥片	95	K27		444	1.7		4		
			剥片	95	K27		463	10.6		4		
－	200	450	石刃核		K27	Ⅰ	2	93.5		4		
			剥片		K27	Ⅰ	3	40.3		4		
			剥片		K27	Ⅰ	15	6.7		4		
			剥片	95	L26		70	1.8		4		
			剥片	95	L26		85	30.7		4		
			剥片	95	L26		105	2.8		4		
				95	L26		785	28.2		4		
			剥片	95	L26		133	1.3		4		
			剥片	95	L26		190	2.5		4		
			剥片	95	L26		205	9.5		4		
				95	L26		595	2.2		4		
			剥片	95	L26		246	8.4		4		
			剥片	95	L26		252	23.6		4		
			剥片	95	L26		253	9.9		4		
－	199	439	舟底形石器	95	L26		260	97.0		4		
			石刃	95	L26		268	3.8		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	95	L26		293	9.4		4		
			剥片	95	L26		304	5.0		4		
			剥片	95	L26		306	12.0		4		
				95	L26		616	4.7		4		
				95	L27		315	25.8		4		
			剥片	95	L26		310	3.2		4		
			石刃	95	L26		375	16.1		4		
				95	L26		889	9.1		4		
			剥片	95	L26		387	7.1		4		
			剥片	95	L26		426	2.5		4		
			剥片	95	L26		439	3.4		4		
			剥片	95	L26		452	2.6		4		
			剥片	95	L26		467	1.7		4		
			剥片	95	L26		492	4.4		4		
			剥片	95	L26		502	3.4		4		
			剥片	95	L26		528	0.9		4		
			剥片	95	L26		540	2.9		4		
			剥片	95	L26		552	1.7		4		
			剥片	95	L26		561	2.0		4		
			剥片	95	L26		576	15.0		4		
			剥片	95	L26		585	51.1		4		
			剥片	95	L26		602	17.3		4		
			剥片	95	L26		629	7.8		4		
			剥片	95	L26		634	5.0		4		
			石刃	95	L26		651	7.2		4		
			剥片	95	L26		667	1.8		4		
			剥片	95	L26		685	3.9		4		
			剥片	95	L26		707	3.4		4		
			剥片	95	L26		709	2.4		4		
				95	M28		631	3.5		4		
			石刃	95	L26		716	9.6		4		
			剥片	95	L26		728	1.4		4		
				95	L27		203	3.9		4		
				95	L27		573	1.8		4		
			剥片	95	L26		822	4.7		4		
			剥片	95	L27		20	2.1		4		
			剥片	95	L27		49	1.2		4		
			剥片	95	L27		59	6.1		4		
			剥片	95	L27		120	5.2		4		
			剥片	95	L27		141	4.6		4		
			剥片	95	L27		145	9.0		4		
			石刃	95	L27		300	4.2		4		
			剥片	95	L27		313	1.9		4		
			剥片	95	L27		449	5.9		4		
			石刃	95	L27		754	1.1		4		
			剥片		L27	I	12	25.8		4		
			剥片		L27	I	14	8.4		4		
			剥片	95	M26		306	5.0		4		
			剥片	95	M26		332	125.5		4		
−	270	534	接合資料	89･93				417.4	35	4	799	3545
			縦長剥片	93	N30		78	32.7		4		
				93	O29		1679	3.1		4		
			縦長剥片	93	N30		303	3.1		4		
					N30	I	59	1.0		4		
			石刃		N30	I	24	14.6		4		
			石刃		N30	I	27	28.7		4		
				93	O30		135	10.2		4		
			剥片		N30	I	30	7.3		4		
			剥片	93	O29		306	2.0		4		
				93	O30		493	3.1		4		
			剥片	93	O29		656	5.2		4		
			剥片	93	O29		1544	13.3		4		
			剥片	93	O30		133	24.2		4		
				93	O30		829	3.2		4		
				93	O30		1446	2.3		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			石刃	93	O30		138	11.6		4		
				93	O30		1847	4.1		4		
				93	O30		1938	6.4		4		
			剥片	93	O30		139	3.6		4		
			二次加工ある剥片	93	O30		148	13.7		4		
			剥片	93	O30		1032	8.7		4		
			剥片	93	O30		1138	3.6		4		
			剥片	93	O30		1722	33.3		4		
			剥片	93	O30		1829	2.7		4		
			二次加工ある剥片	93	O30		1857	10.9		4		
			剥片	93	O30		2037	3.5		4		
			剥片	93	O30		2239	11.0		4		
			剥片		O30	I	95	4.5		4		
			剥片		O30	I	98	1.2		4		
			剥片	93	P29		474	3.5		4		
			剥片	93	P29		614	6.3		4		
−	109	234	石核	89	R30		222	124.8		4		
			剥片	89	R30		228	3.3		4		
			縦長剥片	89	R30		244	2.9		4		
			石刃	89	R30		346	3.8		4		
−	271	535	接合資料	93				571.7	34	4	824	3646
			剥片	93	M29		105	7.8		4		
			剥片	93	M31		7	3.5		4		
			剥片		N28	I	2	15.4		4		
				93	O30		1065	19.5		4		
			剥片	93	N30		406	4.1		4		
			二次加工ある剥片	93	N30		478	72.6		4		
			剥片	93	O30		701	31.6		4		
			剥片	93	N31		71	4.7		4		
			剥片	93	N31		220	5.1		4		
			剥片	93	N31		250	6.7		4		
			石刃	93	O28		2012	14.7		4		
				93	O29		7	11.2		4		
			剥片	93	O29		502	8.7		4		
					P28	I	141	4.0		4		
			石刃	93	O29		1566	22.3		4		
			剥片	93	O30		53	2.0		4		
			剥片	93	O30		122	8.7		4		
			剥片	93	O30		402	5.8		4		
			剥片	93	O30		409	13.9		4		
			剥片	93	O30		740	14.4		4		
			剥片	93	O30		1052	4.6		4		
			剥片	93	O30		1082	14.1		4		
			剥片	93	O30		1127	4.3		4		
			剥片	93	O30		1210	13.8		4		
			剥片	93	O30		2184	2.6		4		
			剥片		O30	I	21	22.5		4		
Ⅲ-240	188	213	削器	93	P27		408	27.6		4		
				93	P28		5519	5.3		4		
			縦長剥片	93	P27		537	25.7		4		
				93	P28		1549	35.7		4		
			剥片	93	P28		1470	52.2		4		
Ⅲ-243	190	251	舟底形石器	93	P28		1639	21.9		4		
			剥片	93	P28		6893	16.9		4		
			剥片	93	P28		7199	47.8		4		
−	271	536	接合資料	93				505.0	12	4	870	3835
			剥片	93	O29		321	12.4		4		
					P29	I	50	22.4		4		
			剥片		O30	I	63	208.5		4		
			石刃	93	P28		176	18.5		4		
				93	P28		739	7.5		4		
				93	P28		2290	4.9		4		
			石刃	93	P28		3963	8.0		4		
			石刃	93	P28		4760	2.7		4		
				93	P28		6401	10.4		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			縦長剥片	93	P28		4923	3.6		4		
－	201	467	石刃核	93	P28		7693	185.7		4		
			剥片	93	P29		837	20.4		4		
－	272	537	接合資料	93				694.2	42	4	835	3676
			剥片	93	O29		153	2.3		4		
			剥片	93	O29		397	5.2		4		
			剥片	93	O29		1697	4.6		4		
				93	P29		590	48.2		4		
			剥片		O29	Ⅰ	58	4.6		4		
－	203	476	石刃核	93	P28		1409	167.3		4		
			石刃	93	P28		1892	1.7		4		
				93	P28		7879	2.3		4		
			剥片	93	P28		1896	1.0		4		
			剥片	93	P28		2033	4.1		4		
			剥片	93	P28		2844	1.9		4		
			剥片	93	P28		2852	2.9		4		
－	199	444	舟底形石器	93	P28		5489	29.3		4		
			縦長剥片	93	P28		5495	9.3		4		
				93	P28		6230	11.0		4		
				93	P29		1295	3.5		4		
			剥片	93	P28		5849	94.5		4		
			剥片	93	P28		6340	4.8		4		
			石刃	93	P28		6361	9.6		4		
				93	P28		8044	9.7		4		
			石刃	93	P28		6647	38.3		4		
				93	P29		76	5.0		4		
					P29	Ⅰ	22	5.2		4		
					P29	Ⅰ	61	1.6		4		
			剥片	93	P28		6988	11.1		4		
			石刃	93	P28		7411	22.7		4		
				93	P29		970	8.7		4		
			剥片	93	P28		7518	4.5		4		
			石刃	93	P28		7531	4.2		4		
			二次加工ある剥片	93	P28		7683	25.0		4		
				93	P29		534	18.8		4		
				93	P29		633	19.1		4		
			剥片	93	P28		7956	6.2		4		
			剥片	93	P29		70	6.4		4		
				93	P29		858	4.4		4		
			剥片	93	P29		303	6.5		4		
			剥片	93	P29		432	2.4		4		
				93	Q28		315	13.9		4		
			剥片	93	P29		468	12.1		4		
Ⅲ-244	191	256	舟底形石器	93	P29		602	38.1		4		
			剥片	93	P29		845	2.1		4		
			剥片		P29	Ⅰ	21	20.1		4		
－	272	538	接合資料	93･95				460.2	43	4	884	3876
			石刃	95	M28		684	1.4		4		
			石刃	95	M29		111	1.2		4		
			石刃	95	N27		436	11.4		4		
					O27	Ⅰ	6	1.7		4		
			石刃	95	N28		2	8.1		4		
			剥片		N28	Ⅰ	3	10.8		4		
			剥片		N29	Ⅰ	42	6.2		4		
			剥片	95	O26		51	2.4		4		
			石刃	95	O26		316	4.0		4		
			剥片	95	O27		45	3.3		4		
			石刃	95	O27		74	5.2		4		
			剥片	95	O27		92	5.8		4		
			剥片	95	O27		132	1.6		4		
			縦長剥片	95	O27		454	63.5		4		
				95	O27		520	36.2		4		
			縦長剥片	95	O27		475	2.2		4		
				95	O27		1342	13.5		4		
－	202	473	石刃核	95	O27		714	88.8		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	95	O27		811	4.1		4		
			剥片	95	O27		821	6.2		4		
			剥片	95	O27		829	35.7		4		
			剥片		O27	Ⅰ	3	4.5		4		
			剥片		O27	Ⅰ	5	2.0		4		
			剥片	93	O28		35	5.4		4		
			剥片	93	O28		125	3.9		4		
				93	O28		568	1.7		4		
Ⅲ-244	191	257	舟底形石器	93	O28		260	15.8		4		
					O28	Ⅰ	7	15.6		4		
			剥片	95	O28		598	10.8		4		
			剥片	95	O28		801	2.4		4		
			剥片	93	O28		1540	5.8		4		
				93	O29		176	1.8		4		
			石刃	95	P26		28	12.0		4		
				95	P26		156	2.8		4		
			石刃	95	P26		68	7.8		4		
			剥片	95	P26		101	4.5		4		
			剥片	95	P26		132	26.6		4		
			縦長剥片	95	P26		164	3.1		4		
			剥片	93	P28		5872	2.6		4		
			剥片	93	P28		6783	5.0		4		
				93	P28		7038	1.5		4		
			剥片		P28	Ⅱ	149	1.1		4		
			剥片	93	Q26		96	10.2		4		
－	273	539	接合資料	93･95				257.6	28	4	900	3950
Ⅲ-238	187	180	掻器	95	O27		25	11.2		4		
			剥片	95	O27		164	7.0		4		
Ⅲ-238	187	189	掻器	95	O27		719	5.9		4		
			石刃	95	O27		784	1.8		4		
			石刃		O27	Ⅰ	10	2.5		4		
			剥片	95	O28		121	3.5		4		
			石刃	93	O28		587	7.3		4		
			剥片	95	O28		677	65.2		4		
			剥片	93	O28		750	9.0		4		
				93	O28		2050	1.0		4		
			石刃	93	O28		1218	2.2		4		
					O28	Ⅱ	18	14.8		4		
			剥片	93	O28		1370	5.3		4		
			石刃	93	O29		116	4.8		4		
			石刃	93	O29		1280	4.6		4		
			石刃	95	P26		106	1.5		4		
			剥片	95	P26		130	3.9		4		
			剥片	95	P26		133	6.2		4		
			石刃	95	P26		191	20.9		4		
			石刃	95	P27		3	2.2		4		
				95	P27		82	19.7		4		
			石刃	95	P27		77	18.4		4		
			剥片	95	P27		93	15.7		4		
			剥片	93	P27		531	3.1		4		
			石刃	93	P28		4944	1.4		4		
			石刃	95	Q25		68	5.7		4		
				95	Q26		9	2.6		4		
			石刃	93	Q26		16	10.2		4		
－	273	540	接合資料	93				379.0	13	4	825	3655
－	202	469	石刃核	93	N29		419	264.3		4		
			剥片	93	O30		132	2.5		4		
			剥片	93	O30		189	12.9		4		
			石刃	93	O30		358	9.8		4		
				93	O30		776	2.9		4		
				93	O30		2092	18.5		4		
			縦長剥片	93	O30		748	3.5		4		
				93	O30		1327	8.8		4		
			剥片	93	O30		1310	27.7		4		
			石刃	93	O30		1371	13.6		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	93	O30		1547	2.8		4		
			剥片	93	O30		1791	4.1		4		
			剥片		O30	I	97	7.6		4		
－	273	541	接合資料	93				89.5	8	4	869	3831
			剥片	93	N31		548	3.5		4		
			石刃		N31	I	10	5.0		4		
				93	O30		452	19.1		4		
			二次加工ある剥片	93	O29		218	2.7		4		
				93	P28		7863	6.7		4		
				93	P28		7995	9.5		4		
Ⅲ-238	187	190	掻器	93	O29		460	9.3		4		
			縦長剥片	93	O30		453	33.7		4		
－	274	542	接合資料	93				232.3	7	4	901	3951
			石刃	93	O29		1104	31.5		4		
				93	P29		267	2.6		4		
			石刃	93	P28		275	15.0		4		
－	201	465	石刃核	93	P28		1997	95.5		4		
			石刃	93	P28		3511	1.8		4		
			剥片	93	P28		6209	56.8		4		
			剥片	93	P29		564	29.1		4		
－	274	543	接合資料	93				788.2	39	4	897	3934
			剥片	93	N31		194	3.3		4		
				93	O30		1949	13.3		4		
			剥片		O29	I	71	14.8		4		
			剥片	93	O30		15	74.4		4		
				93	O30		646	28.0		4		
					O30	I	41	8.4		4		
－	203	477	石刃核	93	O30		680	89.1		4		
			剥片	93	O30		1068	24.0		4		
			剥片	93	P28		3	9.2		4		
			剥片	93	P28		193	2.8		4		
			剥片	93	P28		237	9.0		4		
			剥片	93	P28		562	9.8		4		
			剥片	93	P28		775	4.7		4		
				93	Q27		266	13.9		4		
			剥片	93	P28		890	43.1		4		
			剥片	93	P28		1185	1.8		4		
			剥片	93	P28		1303	2.8		4		
			剥片	93	P28		1357	10.7		4		
			剥片	93	P28		1449	59.2		4		
			剥片	93	P28		2940	1.5		4		
			剥片		P28	I	178	30.3		4		
			剥片	93	P29		60	10.5		4		
			剥片	93	Q27		185	6.8		4		
			剥片	93	Q27		189	4.1		4		
			剥片	93	Q27		243	56.1		4		
				93	Q28		126	104.0		4		
			剥片	93	Q27		264	3.1		4		
			剥片	93	Q28		7	28.9		4		
			剥片	93	Q28		12	21.4		4		
			剥片	93	Q28		94	5.3		4		
			剥片	93	Q28		123	6.9		4		
			剥片	93	Q28		127	13.2		4		
			剥片	93	Q28		203	4.4		4		
			剥片	93	Q28		282	7.4		4		
			剥片	93	Q28		322	11.0		4		
			剥片	93	Q28		357	4.8		4		
				93	Q28		422	8.2		4		
			剥片	93	Q28		359	5.5		4		
			剥片	93	Q28		425	32.5		4		
－	274	544	接合資料	93				491.7	30	4	865	3815
Ⅲ-245	191	266	舟底形石器	93	N30		296	30.9		4		
			剥片	93	O28		114	7.1		4		
－	200	451	石刃核	93	O30		168	171.6		4		
			石刃	93	O30		703	5.6		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	93	P28		85	18.6		4		
			剥片	93	P28		145	17.1		4		
			剥片	93	P28		296	7.0		4		
			剥片	93	P28		306	9.2		4		
			剥片	93	P28		559	4.5		4		
			剥片	93	P28		891	4.7		4		
				93	P28		1844	7.1		4		
			剥片	93	P28		892	2.6		4		
			剥片	93	P28		1854	3.6		4		
			剥片	93	P28		2442	14.8		4		
			剥片	93	P28		2938	2.5		4		
			剥片	93	P28		2955	1.4		4		
			剥片	93	P28		3450	1.3		4		
			剥片	93	P28		4501	5.3		4		
			剥片	93	P28		5845	3.8		4		
			剥片	93	P28		6390	43.1		4		
				93	P29		203	24.5		4		
			剥片		P28	I	182	9.8		4		
			剥片	93	P29		201	4.4		4		
			剥片	93	Q27		639	9.4		4		
			剥片	93	Q28		28	15.4		4		
			剥片	93	Q28		100	1.9		4		
			剥片	93	Q28		212	3.3		4		
			剥片	93	Q28		264	1.9		4		
			剥片	93	Q28		272	54.0		4		
			剥片	93	Q28		273	5.3		4		
－	275	545	接合資料	86-90-92-93				1003.9	88	4	855	3768
			剥片		M29	I	4	8.0		4		
			剥片		M31	I	2	53.2		4		
			剥片		M31	I	4	1.4		4		
			剥片		M31	I	5	3.2		4		
			剥片		M31	I	14	2.0		4		
			剥片	90	M32		5	1.5		4		
			剥片	92	M32		39	2.5		4		
			剥片	92	M32		182	20.0		4		
			剥片	86	M35		112	16.6		4		
				86	M35		145	4.3		4		
			剥片	93	N30		115	33.3		4		
				93	O30		582	63.6		4		
			剥片	93	N30		479	6.9		4		
			剥片		N30	I	3	8.9		4		
				93	O30		1946	2.0		4		
			剥片		N30	I	4	4.9		4		
			剥片		N30	I	6	3.9		4		
			剥片		N30	I	70	6.7		4		
				93	O30		1243	5.5		4		
			剥片		N30	I	71	6.6		4		
			剥片		N30	I	79	1.5		4		
			剥片	93	N31		38	3.1		4		
			剥片	93	N31		69	24.7		4		
			剥片	93	N31		262	1.2		4		
			剥片	93	N31		290	2.9		4		
				93	O30		849	1.1		4		
			剥片	93	N31		416	14.8		4		
			剥片		N31	I	2	21.6		4		
			剥片		N31	I	3	5.7		4		
			剥片		N31	I	4	6.2		4		
				93	O30		2060	8.1		4		
			剥片		N31	I	6	8.0		4		
			剥片		N31	I	7	7.6		4		
			剥片	92	N32		90	18.8		4		
			剥片	92	N32		196	1.2		4		
				93	O31		82	16.3		4		
			剥片	92	N32		845	10.2		4		
			剥片	93	O28		664	3.9		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	93	O28		1089	5.5		4		
				93	P28		3079	6.3		4		
			剥片	93	O30		27	9.4		4		
			剥片	93	O30		75	7.6		4		
			剥片	93	O30		106	2.7		4		
			剥片	93	O30		160	8.0		4		
			剥片	93	O30		288	2.8		4		
			剥片	93	O30		291	4.3		4		
			剥片	93	O30		447	2.6		4		
			剥片	93	O30		546	2.0		4		
			縦長剥片	93	O30		666	47.4		4		
				93	P28		2593	6.4		4		
				93	P28		5959	3.7		4		
			剥片	93	O30		780	24.6		4		
			剥片	93	O30		790	2.9		4		
			剥片	93	O30		869	2.5		4		
			剥片	93	O30		971	2.8		4		
				93	O30		1208	2.8		4		
			剥片	93	O30		1194	1.4		4		
			剥片	93	O30		1214	53.7		4		
			剥片	93	O30		1252	11.9		4		
			剥片	93	O30		1309	2.0		4		
			剥片	93	O30		1363	2.5		4		
			剥片	93	O30		1366	11.0		4		
			剥片	93	O30		1507	2.4		4		
			剥片	93	O30		1514	8.6		4		
			剥片	93	O30		1683	3.1		4		
			剥片	93	O30		1891	7.5		4		
			剥片	93	O30		1902	5.3		4		
			剥片	93	O30		1973	2.4		4		
			剥片	93	O30		1981	15.6		4		
			剥片	93	O30		1999	0.9		4		
			剥片	93	O30		2001	12.1		4		
			剥片	93	O30		2069	7.2		4		
			剥片	93	O30		2075	20.8		4		
			剥片	93	O30		2310	4.1		4		
			剥片	93	O30		2315	1.5		4		
			剥片		O30	I	104	2.4		4		
			剥片	93	P27		170	3.5		4		
			剥片	93	P27		525	58.5		4		
			剥片	93	P28		1757	11.7		4		
			剥片	93	P28		2091	48.7		4		
				93	P28		4538	20.3		4		
				93	P28		5640	26.3		4		
			剥片	93	P28		4130	1.3		4		
			剥片	93	P28		4020	26.0		4		
				93	P28		5075	27.3		4		
			剥片	93	P28		5086	4.9		4		
			剥片	93	P28		6970	31.3		4		
			剥片		不明		不明	11.5		4		
−	276	548	接合資料	93･95				1008.7	50	4	847	3732
			縦長剥片	93	L30		40	3.8		4		
				95	M27		860	77.1		4		
				95	N27		1656	23.3		4		
−	202	471	石刃核	95	M27		1	159.4		4		
			剥片	95	M27		220	5.6		4		
				95	M27		491	15.2		4		
				95	M27		1362	2.7		4		
			剥片	95	M27		292	163.0		4		
				95	M27		293	3.5		4		
			剥片	95	M27		294	5.0		4		
				95	O27		1076	7.0		4		
			剥片	95	M27		296	7.0		4		
				95	N27		1352	5.9		4		
			縦長剥片	95	M27		332	18.1		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			縦長剥片	95	M27		343	172.3		4		
				95	M27		1144	10.5		4		
				95	N27		976	53.4		4		
			剥片	95	M27		524	7.7		4		
			剥片	95	M27		558	7.2		4		
				95	N27		790	5.0		4		
				95	N27		951	10.8		4		
			剥片	95	M27		767	2.3		4		
				95	N27		1710	2.3		4		
			剥片	95	M27		960	16.7		4		
				95	N26		705	7.4		4		
			剥片	95	M28		25	15.5		4		
				95	N27		1206	1.5		4		
			剥片	95	M28		164	5.5		4		
				95	N27		53	2.8		4		
			剥片	95	M28		178	5.1		4		
			剥片	95	M28		318	2.1		4		
			剥片	95	M28		352	3.6		4		
				95	N27		880	3.7		4		
			剥片	95	M28		546	1.2		4		
				95	O26		86	11.7		4		
			剥片	95	N26		279	1.5		4		
				95	N26		525	1.7		4		
			剥片	95	N26		390	6.7		4		
			縦長剥片	95	N26		411	28.8		4		
				95	O26		433	8.8		4		
			縦長剥片	95	N27		90	3.6		4		
				95	N27		341	2.0		4		
			剥片	95	N27		185	10.8		4		
			剥片	95	N27		867	20.8		4		
			剥片	95	N27		932	39.6		4		
				95	N27		952	12.0		4		
				95	N27		1460	2.1		4		
			剥片	95	N27		1753	1.7		4		
			剥片	95	N27		1762	2.7		4		
			剥片	95	N27		1796	21.0		4		
−	277	550	接合資料	93･95				8881.7	151	1･5	741	3362
			縦長剥片	93	L30		609	8.1		1		
			剥片	93	O28		200	4.1		1		
				93	Q26		49	83.5		1		
				93	R26		140	242.9		5		
				93	R26		147	84.2		5		
			剥片	93	O28		406	7.4		1		
				93	P28		364	35.6		1		
				93	P28		365	559.9		1		
				93	P28		375	301.6		1		
				93	P28		3791	12.3		1		
			剥片	93	O28		627	18.1		1		
				95	O28		1974	6.6		1		
			剥片	93	O29		1095	194.6		5		
				93	P27		148	2.3		1		
				93	P28		810	51.3		1		
				93	P28		1144	3.9		1		
				93	Q26		20	10.2		1		
				93	Q27		527	34.7		1		
				93	R26		90	13.4		5		
				93	R26		102	19.1		5		
			縦長剥片	93	O29		1375	2.7		1		
			石刃		O29	I	5	11.6		1		
			石刃		O29	I	6	51.5		1		
				93	P27		11	4.8		1		
			石刃	93	O30		1494	22.4		1		
			剥片	93	P27		48	3.5		1		
			剥片	93	P27		50	13.2		1		
				93	P27		72	8.5		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			石刃	93	P27		57	104.9		1		
			剥片	93	P27		62	4.3		1		
			剥片	93	P27		156	6.7		1		
					P27	I	6	60.5		1		
			剥片	93	P27		257	819.8		1		
				93	R26		78	9.1		5		
			剥片	93	P27		279	31.5		1		
				93	Q26		3	156.4		5		
			縦長剥片	93	P27		317	4.2		1		
			剥片	93	P27		320	735.2		1		
				93	Q27		14	5.3		1		
				93	R26		75	43.0		5		
			剥片	93	P27		341	16.3		1		
				93	Q27		13	4.5		1		
			石刃	93	P27		347	9.3		1		
			剥片	93	P27		348	49.7		1		
				93	P27		500	60.6		1		
				93	Q27		296	62.7		1		
			剥片	93	P27		387	74.8		1		
				93	P28		381	58.5		1		
				93	P28		607	2.7		1		
				93	P28		3146	1.8		1		
				93	Q27		88	4.8		1		
				93	Q27		215	6.4		1		
				93	Q27		219	2.7		1		
				93	Q27		223	11.6		1		
				93	Q27		363	48.6		1		
				93	Q27		673	7.5		1		
			剥片	93	P27		395	27.9		1		
				93	P28		1668	54.5		1		
Ⅲ-234	185	111	彫器	93	P27		410	27.9		5		
			剥片	93	P27		438	13.1		1		
			剥片	93	P27		451	4.4		1		
				93	P27		547	7.8		1		
				93	Q26		155	451.7		1		
				93	R26		42	1.4		1		
				93	R26		62	2.1		1		
				93	R26		85	1.3		5		
			石刃	93	P27		461	11.2		1		
				93	R26		142	29.1		5		
			縦長剥片	93	P27		463	6.2		1		
			縦長剥片	93	P27		493	121.8		1		
				93	R26		60	14.8		5		
				93	R26		121	25.1		5		
				93	R26		122	51.1		5		
			縦長剥片	93	P27		499	39.4		1		
				93	R26		143	194.4		5		
			剥片	93	P27		507	6.1		1		
				93	P28		360	3.5		1		
				93	Q27		307	48.4		1		
				93	R26		47	2.5		5		
				93	R26		130	20.4		5		
				93	R26		132	148.6		5		
			剥片	93	P28		94	47.4		1		
				93	Q27		506	18.6		1		
			縦長剥片	93	P28		192	8.7		1		
				93	Q27		456	7.1		1		
Ⅲ-250	194	301	石刃核	93	P28		380	349.9		1		
			縦長剥片	93	P28		581	4.5		1		
			石刃	93	P28		651	7.6		1		
				93	R26		80	20.5		5		
			縦長剥片	93	P28		754	15.5		1		
				93	Q27		457	17.2		1		
				93	R26		55	32.7		5		
			剥片	93	P28		2071	4.5		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			縦長剥片	93	P28		4123	10.4		1		
				93	R26		134	275.6		5		
			剥片	93	P28		4646	78.7		1		
			石刃	93	P28		4665	24.2		1		
			石刃	93	P28		5055	22.3		1		
			剥片	93	P28		6268	4.0		1		
			剥片	93	Q26		88	29.2		1		
				93	R26		112	3.2		5		
			剥片	93	Q26		114	74.0		1		
			剥片	93	Q26		128	3.4		1		
				93	R26		124	2.4		5		
			石刃	93	Q26		136	36.5		1		
			剥片	93	Q26		154	5.4		1		
			縦長剥片	93	Q27		85	7.0		1		
			剥片	93	Q27		98	11.8		1		
			剥片	93	Q27		103	8.4		1		
			剥片	93	Q27		179	167.9		1		
			剥片	93	Q27		212	6.8		1		
			剥片	93	Q27		220	170.8		1		
			剥片	93	Q27		271	27.1		1		
			石刃	93	Q27		285	70.0		1		
			縦長剥片	93	Q27		329	159.5		1		
				93	R26		105	122.4		5		
				93	R26		116	5.0		5		
			剥片	93	Q27		331	126.0		1		
			剥片	93	Q27		332	14.2		1		
			石刃	93	Q27		512	9.0		1		
			縦長剥片	93	Q27		611	4.6		1		
			剥片	93	Q27		632	8.7		1		
			石刃	93	Q27		650	6.6		1		
			石刃	93	Q27		677	29.9		1		
			剥片	93	R26		12	1.9		1		
			剥片	93	R26		21	3.4		5		
				93	R26		49	1.8		5		
			剥片	93	R26		23	2.5		1		
			縦長剥片	93	R26		34	6.9		5		
				93	R26		108	9.7		5		
			石刃	93	R26		35	3.9		1		
			石刃	93	R26		39	1.9		5		
				93	R26		56	2.0		5		
			剥片	93	R26		40	8.0		5		
			石刃	93	R26		61	19.7		5		
			剥片	93	R26		66	2.1		1		
			縦長剥片	93	R26		70	114.4		5		
				93	R26		144	75.5		5		
			縦長剥片	93	R26		71	1.2		1		
			剥片	93	R26		97	53.8		5		
			縦長剥片	93	R26		98	10.0		5		
			剥片	93	R26		114	3.6		5		
			剥片	93	R26		126	11.3		5		
				93	R26		145	2.0		1		
			剥片	93	R26		133	163.0		5		
Ⅲ-251	195	304	石刃核	93	R26		137	227.1		5		
			石刃	93	R26		139	68.3		1		
			剥片	93	R26		151	19.5		5		
			剥片	93	R26		155	294.1		5		
			石刃		セ南1~30		5	53.0		1		
			縦長剥片		セ南1~30		6	131.8		1		
—	279	552	接合資料	93				1865.1	23	1·5	772	3488
			石刃	93	P27		87	22.8		1		
				93	P28		575	4.0		1		
			剥片	93	P27		89	470.0		1		
				93	R26		141	63.7		5		
			石刃	93	P27		345	25.9		1		
			剥片	93	P27		354	25.3		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			石刃	93	P27		380	16.7		1		
					P27	I	7	28.3		1		
			剥片	93	P28		608	443.1		1		
					P28	I	229	23.1		1		
			剥片	93	P28		1520	27.5		1		
			石刃	93	P28		1592	2.9		1		
				93	R26		81	3.3		5		
			剥片	93	Q26		8	52.7		5		
			石刃	93	Q27		101	43.8		1		
			剥片	93	Q27		292	72.9		1		
－	202	470	石刃核	93	Q27		616	476.0		1		
			石刃	93	Q27		646	4.7		1		
			石刃	93	Q27		681	30.4		1		
				93	R26		58	3.7		5		
			剥片		Q27	I	14	9.8		1		
			石刃	93	R26		118	8.2		5		
				93	R26		120	6.3		5		
－	279	553	接合資料	93･95				2692.2	41	1	779	3497
			石刃	95	O28		1525	10.8		1		
				93	P27		287	9.5		1		
			石刃	93	P27		139	16.2		1		
				93	Q26		45	6.2		1		
				93	Q27		334	13.1		1		
			縦長剥片	93	P27		278	8.1		1		
				93	Q27		276	4.5		1		
				93	Q27		277	2.9		1		
			石刃	93	P27		323	28.4		1		
			石刃	93	P27		327	28.4		1		
			剥片	93	P27		330	291.1		1		
			剥片	93	P27		355	18.1		1		
			石刃	93	P27		379	30.6		1		
				93	Q26		86	6.0		1		
			剥片	93	P27		381	38.7		1		
				93	P28		210	23.7		1		
				93	P28		5885	5.6		1		
				93	Q26		81	4.2		1		
			剥片	93	P27		385	28.1		1		
				93	P28		363	15.4		1		
			剥片	93	P28		14	536.2		1		
			剥片	93	P28		207	7.2		1		
			石刃	93	P28		316	3.6		1		
				93	Q26		77	10.4		1		
				93	R26		127	13.7		1		
			剥片	93	P28		574	125.5		1		
				93	Q27		412	72.4		1		
			剥片	93	P28		2351	11.9		1		
			剥片	93	Q26		4	11.3		1		
				93	Q27		330	298.6		1		
			剥片	93	Q26		41	6.7		1		
			石刃	93	Q26		61	4.2		1		
			剥片	93	Q26		80	9.4		1		
			剥片	93	Q26		141	286.6		1		
			剥片	93	Q26		150	178.0		1		
			剥片	93	Q27		99	5.1		1		
			剥片	93	Q27		278	13.7		1		
－	201	464	石刃核	93	Q27		280	472.8		1		
			石刃	93	Q27		286	18.7		1		
			剥片	93	Q27		626	2.1		1		
			石刃		Q27	I	13	14.5		1		
－	280	554	接合資料	93				2223.5	29	1	776	3494
			石刃	93	O28		1282	3.3		1		
				93	O30		852	7.0		1		
			剥片	93	O29		323	37.7		1		
				93	P27		289	112.4		1		
			剥片	93	O29		840	13.0		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	93	P27		8	75.9		1		
			剥片	93	P27		283	190.6		1		
			石刃	93	P27		415	6.4		1		
			石刃	93	P27		494	14.2		1		
				93	Q27		672	44.7		1		
－	200	455	石刃核	93	P28		1	172.5		1		
			剥片	93	P28		2558	395.0		1		
				93	Q27		104	79.9		1		
				93	Q27		159	226.6		1		
			二次加工ある剥片	93	P28		4525	230.1		1		
			石刃	93	P28		4638	29.3		1		
				93	P28		5102	17.2		1		
			剥片	93	Q26		25	28.0		1		
				93	Q27		283	25.1		1		
			剥片	93	Q26		62	179.4		1		
			縦長剥片	93	Q26		137	30.0		1		
				93	Q26		142	14.1		1		
			石刃	93	Q27		18	60.3		1		
			石刃	93	Q27		26	30.9		1		
				93	Q27		89	32.7		1		
			石刃	93	Q27		105	19.5		1		
			剥片	93	Q27		678	11.3		1		
			剥片	93	R26		93	116.4		1		
			剥片	93	R26		123	20.0		1		
－	280	555	接合資料	93･95				1004.5	32	1	771	3487
			石刃	93	M30		8	6.3		1		
				93	O30		158	2.4		1		
			石刃	95	N29		147	41.4		1		
			石刃	93	N29		1271	3.4		1		
			剥片	93	N30		35	5.5		1		
			剥片	93	N30		70	3.9		1		
			剥片	93	O29		1476	68.8		1		
				93	P28		3105	5.6		1		
				93	P28		4103	11.4		1		
				93	P28		7593	56.9		1		
			石刃	93	O30		162	23.1		1		
			剥片	93	O30		254	2.7		1		
			剥片	93	O30		425	12.1		1		
			剥片	93	O30		532	6.4		1		
			縦長剥片	93	O30		725	7.9		1		
			縦長剥片	93	O30		726	3.7		1		
			剥片	93	O30		915	7.8		1		
				93	O30		1192	1.8		1		
				93	P30		22	164.7		1		
			剥片	93	O30		1241	2.0		1		
			剥片	93	O30		1399	12.4		1		
			剥片	93	O30		1402	5.0		1		
			剥片	93	O30		1529	5.1		1		
			剥片	93	O30		1990	3.7		1		
			剥片	93	O30		2049	0.9		1		
			剥片		O30	I	120	10.8		1		
			剥片		O30	I	128	4.4		1		
			剥片	93	P27		420	24.7		1		
－	201	463	石刃核	93	P27		427	476.2		1		
－	198	419	削器	93	P28		1769	10.3		1		
			剥片	93	P30		16	3.5		1		
			石刃	93	Q28		416	9.7		1		
－	281	556	接合資料	91				1242.6	9	3	666	3117
			剥片	91	H35		42	6.0		3		
				91	H35		143	3.0		3		
			剥片	91	H35		52	175.0		3		
				91	H35		123	21.9		3		
			剥片	91	H35		136	7.5		3		
			剥片	91	H35		137	304.8		3		
			剥片	91	H35		159	11.7		3		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
Ⅲ-251	194	303	石刃核		K35	I	1	512.7		3		
			剥片		K36	I	1	200.0		3		
－	281	557	接合資料	95				605.6	42	4	836	3678
			剥片	95	K26		45	33.7		4		
				95	L26		809	41.7		4		
			石刃	95	K26		105	11.0		4		
			剥片	95	K26		139	5.4		4		
			剥片	95	K27		18	1.3		4		
			剥片	95	K27		57	2.0		4		
			剥片	95	K27		129	6.3		4		
			剥片	95	K27		216	31.8		4		
				95	L26		727	4.6		4		
			剥片	95	K27		358	13.1		4		
			剥片	95	K27		446	7.5		4		
			石刃		K27	I	19	4.3		4		
				95	L26		566	8.3		4		
			剥片		K27	I	32	1.2		4		
			剥片	95	L26		19	3.6		4		
			石刃	95	L26		24	13.2		4		
				95	L26		292	10.8		4		
			剥片	95	L26		151	4.1		4		
			石刃	95	L26		156	27.5		4		
				95	L26		361	12.3		4		
－	202	475	石刃核	95	L26		234	103.5		4		
			剥片	95	L26		394	22.5		4		
			剥片	95	L26		430	4.2		4		
			石刃	95	L26		489	32.7		4		
			剥片	95	L26		579	43.3		4		
			石刃	95	L26		590	33.0		4		
					排土		92	21.7		4		
			剥片	95	L26		600	1.1		4		
			剥片	95	L26		783	7.8		4		
			剥片	95	L26		789	6.5		4		
			剥片	95	L26		811	2.8		4		
			剥片	95	L26		820	21.3		4		
			剥片	95	L26		827	3.3		4		
			剥片	95	L26		896	12.7		4		
			剥片	95	L27		40	4.4		4		
			剥片	95	L27		140	10.5		4		
			剥片	95	L27		297	2.2		4		
			剥片	95	L27		569	5.9		4		
			剥片	95	L27		587	7.3		4		
			剥片	95	L27		588	4.4		4		
			剥片	95	L27		592	3.6		4		
			剥片	95	M26		419	7.2		4		
－	282	558	接合資料	93･95				788.3	51	4	805	3578
			剥片	95	K26		17	21.0		4		
				95	K27		450	29.1		4		
			剥片	95	K26		77	4.2		4		
			剥片	95	K26		110	7.9		4		
			剥片	95	K26		120	4.1		4		
			剥片	95	K26		137	2.8		4		
			剥片	95	K27		59	5.9		4		
			剥片	95	K27		67	5.6		4		
			剥片	95	K27		72	9.6		4		
			剥片	95	K27		98	9.4		4		
			剥片	95	K27		136	8.2		4		
			剥片	95	K27		199	9.6		4		
			剥片	95	K27		253	2.3		4		
			剥片	95	K27		302	2.2		4		
			剥片	95	K27		331	2.2		4		
			剥片	95	K27		345	2.2		4		
			剥片	95	K27		350	3.9		4		
			剥片	95	K27		357	8.8		4		
			剥片	95	K27		392	3.1		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	95	K27		457	5.7		4		
			剥片	95	K27		482	2.2		4		
			剥片	95	K27		513	2.8		4		
			剥片		K27	I	18	21.2		4		
			剥片		K27	I	20	1.9		4		
			剥片		K27	I	21	5.4		4		
			剥片		K27	I	22	15.2		4		
			剥片		K27	I	31	4.4		4		
			剥片	95	L26		121	1.4		4		
－	200	454	石刃核	95	L26		150	156.6		4		
			剥片	95	L26		206	58.3		4		
			剥片	95	L26		209	13.7		4		
			剥片	95	L26		291	1.2		4		
			剥片	95	L26		311	6.6		4		
			剥片	95	L26		330	2.9		4		
			剥片	95	L26		353	5.5		4		
			剥片	95	L26		360	11.8		4		
			剥片	95	L26		402	13.7		4		
			剥片	95	L26		459	3.8		4		
			剥片	95	L26		474	3.9		4		
			剥片	95	L26		599	9.2		4		
			剥片	95	L26		615	2.4		4		
			剥片	95	L26		650	2.7		4		
			剥片	95	L26		764	4.4		4		
				95	L27		182	12.3		4		
			剥片	95	L26		921	4.3		4		
			剥片	95	L27		121	4.3		4		
			剥片	95	L27		296	4.4		4		
			剥片	95	L27		464	7.6		4		
			剥片	95	L27		469	7.9		4		
			剥片		L27	I	19	10.0		4		
			剥片	93	O28		137	238.5		4		
－	282	559	接合資料	90･94				669.0	100	3･4	711	3240
			剥片	94	I31		29	2.8		4		
			剥片	94	I31		32	9.8		4		
			剥片	94	I31		33	26.9		4		
				94	J31		2183	1.3		3		
			剥片	94	I31		47	13.1		4		
			剥片	94	I31		68	2.9		4		
			剥片	94	I31		76	6.7		4		
				94	I31		342	18.1		4		
			剥片	94	I31		111	4.4		4		
				94	I31		575	5.6		4		
			剥片	94	I31		118	2.8		4		
			剥片	94	I31		162	3.3		4		
				94	I31		309	6.3		4		
			剥片	94	I31		172	5.8		4		
			石刃	94	I31		235	2.1		4		
				90	J32		485	4.9		4		
				90	J33		3	5.1		4		
			剥片	94	I31		241	14.6		4		
				94	I31		634	0.8		4		
				94	J31		1617	39.4		4		
			剥片	94	I31		242	1.3		4		
					I31	I	2	7.2		4		
				94	J31		1624	1.7		3		
			剥片	94	I31		247	7.4		4		
			剥片	94	I31		273	2.9		4		
			剥片	94	I31		286	1.4		4		
			剥片	94	I31		294	1.4		4		
			剥片	94	I31		368	1.5		4		
			剥片	94	I31		375	1.4		4		
			剥片	94	I31		379	3.6		4		
			剥片	94	I31		380	7.2		4		
			剥片	94	I31		386	4.5		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	94	I 31		389	1.5		4		
			剥片	94	I 31		390	2.7		4		
			剥片	94	I 31		392	1.4		4		
			剥片	94	I 31		476	1.1		4		
				94	I 31		748	7.6		4		
			剥片	94	I 31		486	20.9		4		
			剥片	94	I 31		487	2.2		4		
				94	I 31		594	7.8		3		
				94	I 31		908	1.9		4		
			剥片	94	I 31		488	5.7		4		
			剥片	94	I 31		490	2.8		4		
			剥片	94	I 31		521	8.2		4		
			剥片	94	I 31		522	1.3		4		
			剥片	94	I 31		528	2.9		4		
				94	I 31		554	1.5		4		
			剥片	94	I 31		533	1.2		4		
			剥片	94	I 31		553	7.6		4		
			剥片	94	I 31		571	1.4		4		
			舟底形石器	94	I 31		589	2.1		4		
			剥片	94	I 31		592	6.8		4		
				94	J 31		1317	1.7		3		
				94	J 31		1366	3.4		3		
				94	J 31		1394	2.4		3		
			剥片	94	I 31		621	0.6		4		
				94	I 31		835	1.4		4		
			剥片	94	I 31		636	1.5		4		
			石刃	94	I 31		849	3.0		4		
				94	I 31		1045	10.1		4		
				94	J 31		1347	8.9		4		
			剥片	94	I 31		858	21.8		4		
			剥片	94	I 31		892	4.0		4		
			剥片	94	I 31		902	3.8		4		
			剥片	94	I 31		904	3.0		4		
			剥片	94	I 31		914	4.0		4		
			剥片	94	I 31		920	2.2		4		
			剥片	94	I 31		924	3.2		4		
			剥片	94	I 31		933	3.7		4		
			剥片	94	I 31		951	1.5		4		
			剥片	94	I 31		967	10.6		4		
			剥片	94	I 31		1009	0.6		4		
			剥片	94	I 31		1010	11.8		4		
			剥片	94	I 31		1079	1.2		4		
			剥片	94	I 31		1089	0.9		4		
				94	J 31		1371	12.9		4		
				94	J 31		1874	2.1		4		
				94	J 31		2178	1.8		4		
			剥片	94	I 32		202	29.1		3		
			剥片	94	J 31		1307	2.4		3		
			剥片	94	J 31		1310	14.1		3		
			剥片	94	J 31		1318	6.9		4		
			剥片	94	J 31		1327	3.9		4		
			剥片	94	J 31		1333	3.5		3		
			剥片	94	J 31		1345	7.7		3		
			剥片	94	J 31		1367	2.8		3		
			剥片	94	J 31		1373	1.9		3		
			縦長剥片	94	J 31		1386	11.7		4		
Ⅲ-243	190	253	舟底形石器	94	J 31		1387	4.3		4		
				94	J 31		2223	18.6		4		
			剥片	94	J 31		1392	2.6		4		
			剥片	94	J 31		1634	1.5		3		
			剥片	94	J 31		1873	3.1		4		
				94	J 31		2218	2.3		4		
Ⅲ-252	195	311	石刃核	94	J 31		1887	77.0		4		
			縦長剥片	94	J 31		1892	20.4		3		
			剥片	94	J 31		2202	12.4		3		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	94	J 31		2216	0.8		4		
			剥片	94	J 31		2252	8.2		4		
			剥片	94	J 31		2315	4.9		3		
－	283	560	接合資料	93				1158.6	10	3･5	942	4091
			剥片		N30	I	88	5.9		5		
					N30	I	90	27.1		5		
				93	O30		1101	4.6		5		
			剥片		N33	I	7	163.7		5		
			石刃	93	O30		678	2.9		5		
			石刃	93	O30		1170	10.7		3		
			石刃		O30	I	118	7.2		5		
			石刃		O30	I	129	44.9		3		
			剥片	93	P27		448	573.2		5		
－	200	459	石刃核	93	R26		138	318.4		5		
－	283	561	接合資料	93				648.9	18	4	846	3731
			石刃	93	O29		13	34.3		4		
			石刃	93	P27		43	7.0		4		
－	202	468	石刃核	93	P27		88	199.0		4		
			石刃	93	P27		117	22.5		4		
				93	Q27		224	9.7		4		
			縦長剥片	93	P28		48	30.2		4		
				93	Q27		504	1.8		4		
				93	Q27		592	5.4		4		
			剥片	93	P28		152	8.1		4		
			剥片	93	P28		158	4.8		4		
			剥片	93	P28		993	79.5		4		
			縦長剥片	93	P28		1556	44.6		4		
				93	Q27		431	4.1		4		
				93	Q27		593	56.5		4		
				93	Q28		3	100.9		4		
			剥片	93	Q27		315	15.1		4		
			剥片	93	Q27		337	15.8		4		
			石刃	93	Q27		559	9.6		4		
－	283	562	接合資料	91･94				474.8	21	3･4	671	3134
			石刃	91	H32		16	5.6		4		
Ⅲ-250	194	298	石刃核	91	H33		6	43.5		4		
				91	H34		16	70.7		4		
			石刃	91	H33		19	16.7		4		
			剥片	91	H33		22	4.9		4		
			縦長剥片	91	H33		23	14.8		3		
			剥片	91	H33		36	2.0		3		
			剥片	91	H33		39	5.3		4		
			石刃	91	H33		45	4.3		4		
				91	H33		154	5.3		3		
			剥片	91	H33		111	8.3		4		
			石刃	91	H33		116	25.4		4		
			石刃	91	H33		117	8.9		4		
				91	H33		158	6.0		4		
			剥片	91	H33		166	16.0		3		
			石刃		H35	I	8	4.9		4		
			剥片	94	I 33		5	4.8		3		
				94	I 33		7	62.6		3		
			剥片	94	I 33		15	131.6		3		
			石刃	94	I 33		24	3.8		3		
			剥片	94	I 33		25	29.4		3		
－	284	563	接合資料	90･91･94				2352.2	103	3･4	709	3238
Ⅲ-245	191	267	舟底形石器	94	H32		1	27.3		4		
			縦長剥片	94	H32		19	19.1		4		
				94	I 32		197	58.7		4		
			縦長剥片	94	H32		25	146.1		4		
				94	I 32		180	17.8		4		
			剥片	91	H34		74	11.7		4		
				91	I 34		209	12.3		4		
			剥片	94	I 31		26	3.6		4		
			剥片	94	I 31		30	7.9		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			石刃	94	I 31		36	19.7		4		
				94	I 31		288	2.8		4		
				90	J 32		712	47.7		4		
Ⅲ-242	190	234	削器	94	I 31		37	66.0		4		
			剥片	94	I 31		63	57.7		4		
				94	I 31		334	3.8		4		
			剥片	94	I 31		71	1.0		4		
			剥片	94	I 31		78	28.0		4		
			剥片	94	I 31		120	1.3		4		
				94	I 31		434	39.5		4		
				94	I 31		743	7.9		4		
				94	I 31		852	1.9		4		
			剥片	94	I 31		121	4.6		4		
			剥片	94	I 31		178	8.1		4		
			剥片	94	I 31		206	8.9		4		
			剥片	94	I 31		267	2.1		4		
				94	I 31		329	11.3		4		
				94	J 31		1894	16.6		4		
			剥片	94	I 31		271	5.3		4		
			剥片	94	I 31		272	22.4		4		
			剥片	94	I 31		283	13.5		4		
			剥片	94	I 31		289	13.6		4		
			剥片	94	I 31		328	69.7		4		
				94	J 31		1882	4.8		4		
			石刃	94	I 31		335	3.5		4		
			剥片	94	I 31		373	2.5		4		
			縦長剥片	94	I 31		391	11.5		4		
				94	I 31		570	7.2		4		
			剥片	94	I 31		433	3.5		4		
			剥片	94	I 31		438	5.1		4		
			剥片	94	I 31		440	10.1		4		
				94	I 31		563	6.8		4		
				94	I 31		916	7.6		4		
			剥片	94	I 31		466	26.9		4		
			剥片	94	I 31		489	23.8		4		
				94	I 31		581	10.6		4		
			二次加工ある剥片	94	I 31		536	42.5		4		
			剥片	94	I 31		541	34.7		4		
			剥片	94	I 31		566	3.3		4		
				94	J 31		714	67.3		4		
				94	J 31		1313	8.2		4		
			剥片	94	I 31		593	44.8		4		
				94	J 31		1355	17.1		4		
			剥片	94	I 31		633	7.5		4		
			剥片	94	I 31		756	4.9		4		
			剥片	94	I 31		757	28.4		4		
			剥片	94	I 31		768	4.1		4		
			剥片	94	I 31		783	5.0		4		
			剥片	94	I 31		825	10.9		4		
			剥片	94	I 31		842	1.9		4		
			剥片	94	I 31		927	17.1		4		
			剥片	94	I 31		929	2.3		4		
			剥片	94	I 31		930	2.7		4		
			剥片	94	I 31		934	27.7		4		
				94	I 31		1015	1.6		4		
			剥片	94	I 31		973	12.1		4		
			剥片	94	I 31		1012	80.1		4		
				94	J 31		1391	10.3		3		
			剥片	94	I 31		1048	12.0		4		
			剥片	94	I 31		1049	16.2		4		
Ⅲ-243	191	255	舟底形石器	94	I 31		1086	26.3		4		
			剥片	94	I 32		179	7.0		4		
				94	I 32		195	18.8		4		
			剥片	94	I 32		199	47.2		4		
			石刃	94	J 31		701	10.6		3		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				94	J 31		2203	7.4		3		
			剥片	94	J 31		856	8.6		4		
			剥片	94	J 31		858	1.3		3		
			縦長剥片	94	J 31		868	12.7		4		
				94	J 31		1346	1.8		4		
			二次加工ある剥片	94	J 31		872	12.8		4		
				94	J 31		2253	32.9		4		
			剥片	94	J 31		1339	20.1		4		
			縦長剥片	94	J 31		1363	62.1		4		
				94	J 31		2251	57.7		4		
			石刃	94	J 31		1378	10.6		4		
				94	J 31		1877	7.5		4		
			縦長剥片	94	J 31		1390	42.3		4		
			剥片	94	J 31		1628	6.5		4		
				94	J 31		1632	13.9		3		
			剥片	94	J 31		1635	3.7		4		
			剥片	94	J 31		1639	342.5		4		
Ⅲ-246	192	278	舟底形石器	94	J 31		1878	19.3		4		
			縦長剥片	94	J 31		1879	8.6		4		
			剥片	94	J 31		2177	8.2		4		
			剥片	94	J 31		2189	4.7		4		
			剥片	94	J 31		2205	10.8		4		
			剥片	94	J 31		2311	4.9		3		
			剥片	90	J 32		483	20.5		4		
				90	J 32		709	11.2		4		
			剥片	90	J 32		713	105.6		4		
			石刃	90	J 33		7	20.2		4		
				90	J 33		21	6.4		4		
			石刃	90	J 33		28	33.0		4		
−	285	566	接合資料	93･95				860.2	30	1	733	3322
			剥片	95	M26		75	16.5		1		
			剥片	95	M27		80	4.8		1		
			剥片	95	M27		135	13.2		1		
				95	O26		70	7.1		1		
			縦長剥片	95	M27		418	17.1		1		
−	198	420	削器	95	M28		451	2.0		1		
				95	O26		439	2.9		1		
			剥片		M28	I	18	8.7		1		
			剥片	93	M29		12	4.4		1		
			剥片	95	M29		49	4.6		1		
			剥片	95	N25		38	14.8		1		
				95	N27		1384	12.2		1		
				95	Q24		4	22.3		1		
			剥片	95	N26		622	23.6		1		
			剥片	95	N27		101	31.0		1		
−	204	490	石核	95	N27		106	31.9		1		
			剥片	95	N27		1772	25.6		1		
			剥片	95	N28		220	4.0		1		
				95	O26		355	22.0		1		
			二次加工ある剥片		N28	I	16	29.4		1		
			剥片	95	O26		158	13.1		1		
			剥片	95	O26		225	37.7		1		
			縦長剥片	95	O26		228	13.4		1		
				95	O26		479	14.8		1		
			剥片	95	O26		331	24.2		1		
			剥片	95	O26		373	178.5		1		
				95	O26		429	65.3		1		
			剥片	95	O27		116	30.0		1		
−	204	487	石核	95	O27		901	170.3		1		
			石刃	95	Q25		158	14.8		1		
−	286	567	接合資料	93･95				1269.8	33	3･4	915	3995
			剥片	93	N29		14	21.6		4		
				93	O28		892	44.4		4		
			剥片	93	N29		253	61.8		4		
				93	O29		498	59.3		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	93	N29		295	18.5		4		
				93	O29		272	15.8		4		
					O29	Ⅰ	67	24.3		4		
			剥片	93	N29		359	95.3		4		
				93	N29		361	22.0		4		
			石刃		N29	Ⅰ	9	13.0		4		
				95	P27		473	21.7		4		
			剥片		N29	Ⅰ	19	9.3		4		
			剥片	93	O28		87	25.5		4		
				93	O28		1868	11.7		4		
			剥片	93	O28		134	7.1		4		
				93	P27		524	88.2		4		
			剥片	93	O28		262	5.2		4		
					O31	Ⅰ	4	24.4		4		
			縦長剥片	95	O28		443	7.3		4		
			縦長剥片	93	O28		519	41.6		4		
			剥片	93	O28		548	11.7		4		
			剥片	93	O28		557	7.8		4		
			剥片	93	O28		902	23.2		4		
				93	O28		982	15.6		3		
				93	O29		38	3.3		4		
			剥片	93	O28		1048	16.7		4		
			剥片	93	O28		1757	5.2		4		
				93	O28		1870	17.9		4		
			縦長剥片	93	O29		206	37.1		4		
			剥片	93	O29		376	211.5		4		
			縦長剥片		O29	Ⅰ	66	9.1		4		
			剥片	93	P27		99	49.2		4		
－	203	483	石核	93	P27		526	243.5		4		
－	286	568	接合資料	93				970.0	54	4	877	3850
			剥片		N29	Ⅰ	6	9.2		4		
				93	O28		75	36.5		4		
			剥片		N29	Ⅰ	8	19.8		4		
			剥片		N29	Ⅰ	47	5.8		4		
			剥片	93	O28		57	3.3		4		
				93	P28		3514	5.8		4		
			剥片	93	O28		65	31.2		4		
			剥片	93	O28		70	8.2		4		
			剥片	93	O28		81	3.7		4		
			剥片	93	O28		85	13.3		4		
			剥片	93	O28		308	30.0		4		
				93	O28		911	2.1		4		
			剥片	93	O28		313	21.9		4		
			剥片	93	O28		328	3.8		4		
				93	O28		687	47.8		4		
－	202	472	石刃核	93	O28		476	8.3		4		
				93	O28		667	92.8		4		
				93	O28		1734	4.1		4		
				93	O29		28	20.1		4		
－	198	427	削器	93	O28		835	37.1		4		
			剥片	93	O28		854	2.0		4		
			剥片	93	O28		962	2.2		4		
			剥片	93	O28		1079	5.4		4		
			剥片	93	O28		1149	13.9		4		
					O28	Ⅰ	17	15.3		4		
				93	O29		98	11.6		4		
			剥片	93	O28		1229	2.7		4		
			剥片	93	O28		1269	12.1		4		
			剥片	93	O28		1302	4.9		4		
			剥片	93	O28		1382	62.0		4		
					O29	Ⅰ	51	44.1		4		
			剥片	93	O28		1489	6.9		4		
			剥片	93	O28		1500	7.3		4		
－	199	438	舟底形石器	93	O28		1856	56.9		4		
			剥片		O28	Ⅰ	36	3.2		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	93	O29		34	60.3		4		
			剥片	93	O29		107	13.2		4		
				93	O29		292	27.4		4		
			剥片	93	O29		174	38.1		4		
			剥片	93	O29		468	20.0		4		
			剥片	93	O29		785	6.7		4		
			剥片	93	O29		1043	25.4		4		
			剥片		O29	Ⅰ	52	58.1		4		
			剥片		O29	Ⅰ	179	3.8		4		
			剥片	93	P27		168	16.4		4		
			剥片	93	P27		471	6.1		4		
			剥片	93	P28		898	2.5		4		
			剥片	93	P28		2088	3.1		4		
			剥片	93	P28		4060	3.9		4		
			剥片	93	P28		5031	2.5		4		
				93	P28		5626	1.5		4		
			剥片	93	P28		5104	2.6		4		
			剥片	93	P28		6286	5.2		4		
			剥片	93	P28		6620	17.9		4		
－	287	569	接合資料	93				550.9	37	4	892	3908
			剥片	93	N30		22	81.7		4		
			剥片	93	N30		26	2.6		4		
			剥片	93	N30		73	10.4		4		
				93	O30		1841	22.1		4		
			剥片	93	N30		153	2.3		4		
			剥片	93	N30		207	3.0		4		
			剥片	93	N30		224	3.5		4		
			剥片	93	N30		286	10.0		4		
			剥片	93	N30		370	6.4		4		
			剥片	93	N30		372	1.0		4		
			剥片	93	N30		396	7.1		4		
			剥片	93	N30		400	127.9		4		
			剥片	93	N30		438	7.6		4		
			剥片		N31	Ⅰ	8	10.6		4		
			剥片	93	O29		53	19.9		4		
			剥片	93	O29		348	12.4		4		
			剥片	93	O29		352	6.2		4		
			剥片	93	O29		641	15.4		4		
				93	O29		973	1.9		4		
			剥片	93	O29		652	2.5		4		
			剥片	93	O29		775	2.7		4		
			剥片	93	O29		1185	8.8		4		
			剥片	93	O29		1542	6.2		4		
			剥片	93	O29		1546	9.0		4		
			剥片	93	O29		1576	2.4		4		
			縦長剥片	93	O29		1613	56.3		4		
			剥片	93	O29		1761	9.3		4		
			剥片		O29	Ⅱ	78	1.3		4		
－	199	432	舟底形石器	93	O30		67	16.3		4		
			剥片	93	O30		484	4.3		4		
			剥片	93	O30		495	2.7		4		
			剥片	93	O30		1130	6.5		4		
			縦長剥片	93	O30		2004	48.0		4		
			剥片	93	O30		2238	4.2		4		
			剥片		O30	Ⅰ	23	6.9		4		
			剥片		O30	Ⅰ	43	8.0		4		
			剥片		O30	Ⅰ	48	3.5		4		
－	287	570	接合資料	93				320.1	16	4	894	3927
			剥片		N30	Ⅰ	12	9.3		4		
			剥片	93	O30		58	5.1		4		
				93	O30		1853	12.1		4		
				93	P28		7330	4.9		4		
				93	P29		569	15.2		4		
			剥片	93	O30		1525	14.2		4		
			剥片	93	O31		36	8.7		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	93	P28		722	4.9		4		
				93	P28		6049	3.3		4		
			剥片	93	P28		2484	8.7		4		
			剥片	93	P28		2863	14.9		4		
			剥片	93	P28		4207	58.8		4		
			剥片	93	P28		7108	22.2		4		
－	203	481	石核	93	P28		7475	99.6		4		
			二次加工ある剥片	93	P29		54	17.2		4		
			二次加工ある剥片		R32	I	1	21.0		4		
－	288	571	接合資料	93				448.9	21	4	895	3928
			縦長剥片	93	O29		1992	12.0		4		
				93	P28		6213	12.3		4		
			剥片	93	O30		1483	2.1		4		
			剥片	93	P28		940	2.3		4		
			剥片	93	P28		1260	24.4		4		
			縦長剥片	93	P28		1393	30.3		4		
				93	P28		1410	24.4		4		
				93	P28		7658	11.2		4		
			剥片	93	P28		2468	5.6		4		
				93	P28		6564	12.9		4		
			剥片	93	P28		3284	17.4		4		
			剥片	93	P28		5776	2.3		4		
				93	P29		123	3.2		4		
				93	P29		159	4.7		4		
			縦長剥片	93	P28		6019	10.3		4		
				93	P29		116	18.2		4		
			二次加工ある剥片	93	P28		6317	53.0		4		
			剥片	93	P28		7091	11.8		4		
－	203	482	石核	93	P28		7356	170.8		4		
			剥片	93	P28		7848	16.0		4		
			剥片		P29	I	34	3.7		4		
－	288	572	接合資料	93				568.7	45	4	832	3666
			剥片	93	P28		38	4.5		4		
			剥片	93	P28		329	3.2		4		
			剥片	93	P28		390	7.6		4		
Ⅲ-243	191	254	舟底形石器	93	P28		425	30.4		4		
			剥片	93	P28		874	3.1		4		
			剥片	93	P28		1169	3.9		4		
			剥片	93	P28		3301	1.6		4		
				93	P28		3931	7.6		4		
			剥片		P28	I	144	8.7		4		
			剥片		P28	I	145	2.7		4		
			剥片		P28	I	188	6.4		4		
				93	Q28		165	6.7		4		
			剥片	93	P29		102	41.5		4		
				93	Q28		62	8.9		4		
			剥片		P29	I	38	11.0		4		
			剥片		P29	I	39	20.5		4		
			剥片	93	Q27		81	22.3		4		
			剥片	93	Q27		157	12.2		4		
				93	Q27		473	2.7		4		
			剥片	93	Q27		197	10.1		4		
			剥片	93	Q27		201	5.5		4		
			剥片	93	Q27		202	9.0		4		
			縦長剥片	93	Q27		228	70.0		4		
			剥片	93	Q27		230	16.0		4		
			剥片	93	Q27		298	3.0		4		
			剥片	93	Q27		322	1.3		4		
			剥片	93	Q27		364	2.1		4		
			剥片	93	Q27		372	64.6		4		
			剥片	93	Q27		377	3.7		4		
			剥片	93	Q27		380	5.0		4		
			剥片	93	Q27		381	7.1		4		
			剥片	93	Q27		476	2.6		4		
			剥片	93	Q27		549	9.0		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			石刃	93	Q27		561	39.3		4		
			剥片	93	Q27		591	6.3		4		
			剥片	93	Q27		689	11.5		4		
			剥片	93	Q27		691	4.5		4		
				93	Q27		731	5.6		4		
				93	Q28		171	11.0		4		
			剥片	93	Q27		726	4.3		4		
			剥片	93	Q27		738	3.4		4		
			剥片	93	Q28		89	51.1		4		
			剥片	93	Q28		172	1.2		4		
			剥片	93	Q28		185	1.9		4		
			剥片		排土		94	14.1		4		
－	288	573	接合資料	93				379.4	22	4	913	3991
			剥片	93	O29		1918	7.1		4		
			縦長剥片	93	P28		320	1.6		4		
				93	P28		1004	35.3		4		
－	203	479	石刃核	93	P28		595	84.4		4		
			縦長剥片	93	P28		755	26.0		4		
				93	Q27		788	19.7		4		
			剥片	93	P28		757	8.6		4		
			二次加工ある剥片	93	P28		1055	4.0		4		
				93	P29		531	23.9		4		
			二次加工ある剥片	93	P28		2791	11.3		4		
			二次加工ある剥片	93	P28		3143	19.1		4		
			縦長剥片	93	P28		3853	6.4		4		
				93	P29		403	7.0		4		
			剥片	93	P28		3976	16.7		4		
				93	Q27		464	4.2		4		
			縦長剥片	93	P28		4440	29.0		4		
－	198	421	削器	93	P28		6437	18.2		4		
				93	P29		842	14.1		4		
			剥片	93	P29		122	7.1		4		
			剥片	93	P29		1219	6.7		4		
			剥片	93	Q27		56	7.8		4		
			剥片	93	Q27		121	21.2		4		
－	289	574	接合資料	93				1154.4	72	4	930	4051
－	199	434	舟底形石器	93	O28		1047	18.2		4		
				93	O28		1583	20.3		4		
－	199	443	舟底形石器	93	O28		1101	36.8		4		
				93	P28		1037	48.1		4		
				93	P28		3696	38.8		4		
				93	Q27		600	26.9		4		
			剥片	93	O29		242	11.7		4		
－	199	442	舟底形石器	93	O29		522	21.9		4		
				93	P28		2350	35.0		4		
			剥片	93	O29		846	5.1		4		
			剥片	93	O29		1098	4.6		4		
				93	P28		5858	4.7		4		
				93	P28		6439	4.1		4		
			剥片	93	O29		1240	3.7		4		
			剥片	93	O29		1380	14.4		4		
				93	P28		1249	5.7		4		
				93	P28		2110	25.7		4		
			剥片	93	O29		2313	2.7		4		
			剥片	93	P27		131	2.9		4		
			剥片	93	P28		51	60.4		4		
			剥片	93	P28		110	27.4		4		
			剥片	93	P28		274	3.8		4		
				93	P28		3732	8.5		4		
				93	Q27		576	13.3		4		
			剥片	93	P28		358	7.3		4		
			剥片	93	P28		779	7.4		4		
			剥片	93	P28		906	12.6		4		
－	199	436	舟底形石器	93	P28		1009	46.5		4		
				93	P28		6386	22.2		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				93	P28		6506	9.1		4		
				93	P28		6816	14.7		4		
				93	P28		7650	17.1		4		
			剥片	93	P28		1078	8.6		4		
−	203	484	石核	93	P28		1109	41.6		4		
				93	P28		1594	38.9		4		
				93	P28		1747	54.1		4		
				93	P28		3577	14.8		4		
			剥片	93	P28		1785	6.4		4		
			剥片	93	P28		1823	1.9		4		
			剥片	93	P28		1947	8.7		4		
				93	P28		5627	3.5		4		
−	199	437	舟底形石器	93	P28		2136	39.0		4		
			剥片	93	P28		2365	3.3		4		
				93	P29		674	3.7		4		
			剥片	93	P28		2377	6.1		4		
			剥片	93	P28		2471	4.4		4		
			剥片	93	P28		2585	6.0		4		
			剥片	93	P28		2601	7.1		4		
			剥片	93	P28		2634	4.8		4		
			剥片	93	P28		2741	3.2		4		
			剥片	93	P28		2912	6.9		4		
			剥片	93	P28		3097	2.3		4		
			剥片	93	P28		3283	4.4		4		
			剥片	93	P28		3576	4.3		4		
			剥片	93	P28		3587	7.8		4		
			剥片	93	P28		3632	2.0		4		
			剥片	93	P28		4442	7.8		4		
			剥片	93	P28		5128	7.7		4		
			剥片	93	P28		5131	6.8		4		
			剥片	93	P28		5286	7.1		4		
−	199	446	舟底形石器	93	P28		5552	24.6		4		
			剥片	93	P28		5559	9.4		4		
			剥片	93	P28		6263	10.7		4		
			剥片	93	P28		6269	11.6		4		
			剥片	93	P28		6613	11.1		4		
			剥片	93	P28		6658	1.5		4		
			剥片		P28	I	205	6.9		4		
			剥片	93	P29		714	4.9		4		
			剥片	93	P29		724	15.2		4		
			剥片	93	Q27		234	33.1		4		
−	199	445	舟底形石器	93	Q27		297	20.8		4		
			剥片	93	R27		1	109.8		4		
−	290	575	接合資料	92･93				473.6	38	4	868	3829
			剥片	92	M32		695	6.7		4		
			剥片		N30	I	36	5.2		4		
			剥片		N30	I	38	5.0		4		
			剥片	93	N31		39	2.8		4		
			剥片	93	N31		73	12.1		4		
			剥片	92	N31		133	20.0		4		
			剥片	92	N31		375	2.8		4		
			剥片	93	N31		379	1.7		4		
			剥片	93	N31		426	26.1		4		
			剥片	93	N31		570	2.2		4		
			剥片		N31	I	11	8.4		4		
			剥片	93	O30		344	105.8		4		
			縦長剥片	93	O30		362	56.0		4		
			剥片	93	O30		423	7.3		4		
			剥片	93	O30		549	5.8		4		
			剥片	93	O30		675	3.7		4		
			剥片	93	O30		723	22.1		4		
			剥片	93	O30		729	4.0		4		
			剥片	93	O30		737	8.8		4		
			剥片	93	O30		899	6.0		4		
				93	O30		1218	4.3		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	93	O30		935	5.6		4		
			剥片	93	O30		1171	19.5		4		
			剥片	93	O30		1201	8.9		4		
			剥片	93	O30		1304	4.3		4		
			剥片	93	O30		1375	8.4		4		
			剥片	93	O30		1414	2.8		4		
			剥片	93	O30		1553	0.9		4		
			剥片	93	O30		1732	3.5		4		
			剥片	93	O30		1746	5.5		4		
			剥片	93	O30		1747	3.6		4		
			剥片	93	O30		1861	8.1		4		
			剥片	93	O30		1965	1.0		4		
			剥片	93	O30		2063	44.9		4		
			剥片	93	O30		2192	4.5		4		
			剥片		O30	I	86	4.9		4		
			剥片	93	P28		7451	2.2		4		
			剥片	93	P30		72	28.2		4		
−	290	576	接合資料	93･95				1241.8	26	1	769	3480
			剥片	95	O27		111	156.0		1		
				93	R25		23	59.8		1		
			剥片	95	O27		393	13.6		1		
			石核		O27	I	23	83.2		1		
			縦長剥片	95	O28		401	7.4		1		
				93	R25		2	15.0		1		
−	204	488	石核	95	P26		32	262.6		1		
			剥片	95	P26		93	53.3		1		
				95	R24		1	26.2		1		
			剥片	95	P26		104	32.5		1		
				93	P27		68	3.1		1		
					P27	I	15	2.1		1		
				93	P28		148	9.9		1		
			剥片	95	P27		78	15.2		1		
				93	P27		109	1.8		1		
				93	Q26		14	79.7		1		
			剥片	93	P27		113	3.7		1		
				93	Q26		51	28.7		1		
				93	R26		16	19.8		1		
			剥片	93	P27		173	32.7		1		
					P27	I	13	31.0		1		
			石核	95	Q24		26	262.9		1		
			剥片	95	Q26		70	6.6		1		
			錐形石器	93	R25		11	28.2		1		
			剥片	93	R25		19	5.2		1		
			縦長剥片	93	R25		22	1.6		1		
−	290	577	接合資料	95				769.5	11	4	826	3657
			石刃核	95	M27		288	289.0		4		
			剥片	95	M27		335	9.0		4		
				95	N26		412	4.7		4		
				95	N27		1008	7.7		4		
			剥片	95	M27		530	53.1		4		
				95	N27		791	247.1		4		
			剥片	95	M27		593	40.3		4		
			剥片	95	M27		598	26.8		4		
			剥片	95	M28		239	27.3		4		
				95	N27		1132	55.5		4		
			剥片	95	N26		296	9.0		4		
−	291	578	接合資料	93				3168.0	14	1･5	777	3495
			剥片	93	P27		150	98.4		1		
				93	Q26		158	211.9		1		
				93	Q26		159	302.0		1		
				93	R26		131	136.6		5		
			剥片	93	P28		6415	45.9		5		
			剥片	93	Q26		106	2.1		1		
				93	Q26		127	16.1		1		
			剥片	93	Q26		108	4.0		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	93	Q26		132	20.9		1		
			剥片	93	Q26		143	36.6		1		
			剥片	93	R26		50	152.2		1		
			剥片	93	R26		135	818.3		1		
			剥片	93	R26		153	289.5		5		
－	204	486	石核	93	R26		156	1033.5		5		
－	291	579	接合資料	93				23.4	3	4	－	5738
			尖頭器削片	93	O28		397	1.9		4		
				93	O28		585	5.0		4		
			尖頭器	93	O28		685	16.5		4		
－	291	580	接合資料	93				21.6	2	1	－	5736
			尖頭器	93	P28		5549	11.7		1		
			尖頭器削片	93	P28		7262	9.9		1		
－	291	581	接合資料	93				20.6	2	3	－	5743
			尖頭器	93	O28		1539	16.1		3		
			尖頭器削片	93	P28		6659	4.5		3		
－	330	511	接合資料	97･99				4867.8	83	1･5	1029	4324
			剥片	99	I21		563	5.3		1		
				99	I21		564	30.9		1		
				99	I21		787	107.6		1		
				99	I21		911	7.8		1		
			剥片		I22	I	20	100.9		1		
Ⅲ-381	301	68	彫器	99	J21		508	4.3		1		
			剥片	97	J23		229	71.1		5		
			縦長剥片	97	J23		719	88.5		1		
				97	L22		2617	20.7		1		
			石刃	99	K21		116	41.5		1		
				99	K21		255	8.0		1		
			剥片	99	K21		246	8.8		1		
				99	K21		352	189.6		1		
			剥片	99	K21		273	7.7		1		
			剥片	97	K22		296	17.5		1		
			剥片	97	K22		522	14.5		1		
Ⅲ-380	300	54	両面調整石器	97	K22		524	290.7		1		
					L22	I	1	526.2		1		
			剥片	97	K22		631	3.3		1		
				97	K23		1666	3.5		1		
				97	L22		1370	22.5		1		
				97	L23		1138	12.7		1		
			剥片	97	K22		693	33.9		1		
			剥片	97	K22		713	67.1		1		
				97	M22		1600	96.2		5		
			剥片		K22	I	41	149.8		1		
				97	M22		1498	72.5		5		
			剥片	97	K23		144	4.7		1		
			石刃	97	K23		387	7.3		1		
				97	K23		4119	10.0		1		
			剥片	97	K23		492	10.7		1		
				97	K23		3037	24.7		1		
			剥片	97	K23		566	43.2		1		
			剥片	97	K23		679	73.1		5		
			剥片	97	K23		706	33.0		1		
			縦長剥片	97	K23		1931	9.6		1		
			剥片	97	K23		2160	3.7		1		
				97	K23		2766	4.3		1		
			石刃	97	K23		2168	29.4		1		
				97	L23		1441	14.8		1		
			縦長剥片	97	K23		2441	25.1		1		
				97	M22		398	15.9		1		
			剥片	97	K23		2464	101.7		1		
				97	L23		557	5.6		1		
			剥片	97	K23		2469	18.7		1		
				97	K23		3516	11.3		5		
				97	L22		1801	10.8		5		
			剥片	97	K23		2680	10.7		5		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	97	K23		2736	5.4		1		
			剥片	97	K23		3036	15.7		5		
			剥片	97	K23		3301	9.2		1		
			剥片	97	K23		3313	125.9		1		
				97	L21		390	220.4		5		
			剥片	97	K23		3553	58.5		1		
			剥片	97	K23		3820	15.6		1		
			剥片	97	K23		4053	19.8		1		
			剥片	97	K23		4063	7.2		5		
			剥片	97	K23		4219	7.4		5		
					K23	I	51	14.3		1		
			剥片	97	K23		4223	94.8		1		
			縦長剥片	97	K23		4230	34.8		1		
			剥片		K23	I	50	9.9		1		
			剥片	97	K24		133	12.3		1		
			尖頭器削片	97	L21		90	117.5		1		
			剥片	97	L22		419	15.0		1		
			剥片	97	L22		560	30.7		1		
			剥片	97	L22		1581	42.4		1		
			剥片	97	L22		1995	81.6		1		
					L22	I	271	22.8		1		
			剥片	97	L22		3010	8.0		5		
			剥片	97	L22		3186	13.9		1		
			剥片	97	L22		3198	40.7		1		
			剥片	97	L23		139	317.3		1		
			剥片	97	L23		1420	290.0		1		
			剥片	97	L23		1556	10.7		1		
			剥片	97	M21		69	4.0		1		
				97	M22		1940	15.6		5		
			剥片	97	M22		1797	13.1		1		
			剥片		M22	I	14	49.8		1		
Ⅲ-511	400	6	石核		セ北13~29		18	547.9		1		
			剥片		セ北13~29		34	32.8		1		
			剥片		セ北13~29		37	54.4		1		
			剥片		ボサ		25	37.0		1		
Ⅲ-438	333	339	接合資料	97･100･101				1703.1	38	1･5	1134	4613
Ⅲ-398	310	271	舟底形石器	100	J19		186	117.5		5		
			剥片		K20	I	3	318.0		5		
			剥片	97	K22		523	81.3		5		
			剥片	97	K22		742	18.5		5		
				97	K23		3336	2.7		1		
				97	L22		1897	25.9		5		
				97	L22		1908	13.9		1		
					L22	I	502	78.3		1		
				97	M22		1495	20.8		5		
				97	M22		1496	9.3		5		
			剥片	97	K23		26	26.1		5		
			剥片	97	K23		91	6.7		1		
				97	L22		1119	67.8		5		
			剥片	97	K23		178	6.5		1		
			剥片	97	K23		309	6.5		1		
			剥片	97	K23		2071	50.2		5		
					K23	I	111	14.4		1		
			剥片	97	K23		2431	13.4		5		
				97	K23		3880	2.0		1		
			剥片	97	K23		3384	30.2		1		
			剥片	97	K23		3730	8.8		5		
			剥片		K23	I	110	40.1		1		
			剥片	101	L19		229	146.3		5		
			剥片		L21	I	60	133.8		1		
			剥片	97	L22		26	118.7		5		
			剥片	97	L22		1339	32.1		1		
			剥片	97	L22		1358	5.9		5		
			剥片	97	L22		1451	4.8		5		
			剥片	97	L22		1918	20.4		5		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	97	L22		1962	8.2		1		
			剥片	97	L22		2043	31.2		5		
				97	L23		891	33.5		5		
			剥片	97	L23		124	20.7		5		
			剥片	97	L23		1110	17.2		5		
			剥片	97	M22		1203	22.6		1		
			剥片	97	M22		1258	32.7		1		
			剥片	97	M22		1464	12.0		1		
			剥片	97	M22		1500	104.1		1		
Ⅲ~440	334	340	接合資料	97･99				5885.8	123	1･5	975	4201
			剥片	97	H22		317	4.9		1		
			剥片	99	H22		423	31.9		1		
				97	K23		3056	1.5		1		
			削器		H22	I	3	109.5		1		
			剥片		H23	I	6	47.9		1		
			剥片	99	I22		24	5.1		1		
			剥片	99	I22		118	259.8		1		
			剥片		I22	I	12	20.1		1		
			剥片	97	I24		206	13.7		1		
			剥片		J21	I	22	656.8		1		
				97	K23		1809	21.2		5		
			剥片	99	J22		5	76.9		1		
					J24	I	88	23.8		1		
			剥片		J22	I	18	79.1		1		
					J22	I	19	9.4		1		
			剥片		J22	I	20	25.8		1		
					J24	I	102	66.6		1		
			剥片		J22	I	28	78.9		1		
			剥片	97	J23		523	3.0		1		
				97	J24		202	11.4		5		
				97	K23		2262	15.8		1		
				97	K23		3341	587.1		1		
				97	L23		1281	84.2		1		
				97	L23		1383	6.9		1		
			剥片		J23	I	22	2.9		1		
				97	J24		268	14.9		1		
			剥片		J23	I	23	53.1		1		
			剥片	97	J24		80	75.0		1		
			剥片	97	J24		114	29.9		1		
				97	J24		213	6.0		1		
			剥片	97	J24		136	10.3		1		
					J24	I	135	20.9		1		
				97	K23		3110	4.6		1		
				97	K24		916	4.3		1		
			剥片	97	J24		143	12.9		1		
			剥片	97	J24		292	1.8		1		
					J24	I	105	5.3		1		
			剥片	97	J24		347	4.3		1		
			剥片	97	J24		430	9.2		1		
				97	L23		1325	4.3		1		
			剥片	97	J24		671	12.6		1		
					J24	I	91	82.0		1		
			剥片	97	J24		718	8.6		1		
			剥片	97	J24		913	2.1		1		
			剥片	97	J24		918	2.1		1		
				97	K23		2767	14.7		1		
			剥片	97	J24		1149	12.4		1		
				97	J24		1206	2.4		1		
				97	J24		1207	3.1		1		
			剥片		J24	I	89	25.9		1		
			剥片		J24	I	92	18.6		1		
			剥片		J24	I	93	15.3		1		
			剥片		J24	I	96	24.2		1		
			剥片		J24	I	104	26.8		1		
				97	K24		2191	3.8		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片		J24	I	109	9.4		1		
			剥片		J24	I	110	9.7		1		
				97	K24		2299	4.2		1		
					K24	I	59	5.7		1		
			剥片		J24	I	112	4.7		1		
			剥片		J24	I	136	10.0		1		
				97	K23		2154	47.3		1		
				97	K23		4075	4.3		1		
			二次加工ある剥片		J24	I	137	8.4		1		
				97	K24		198	61.0		1		
			剥片		J24	I	138	15.7		1		
			剥片	99	K21		309	123.1		1		
				97	K23		490	148.0		1		
				97	K24		654	64.9		1		
				97	L23		1717	7.6		1		
			剥片	99	K22		440	121.3		5		
				97	K23		1524	32.9		1		
					K23	I	40	17.0		1		
				97	K24		850	149.9		1		
				97	K24		1139	7.5		1		
				97	K24		1153	12.4		1		
					L22	I	248	13.1		1		
				97	L23		564	121.8		1		
			剥片	99	K22		618	85.8		5		
					K23	I	42	3.1		1		
				97	K24		61	6.7		1		
			剥片	97	K23		587	26.1		5		
			剥片	97	K23		601	48.0		1		
			剥片	97	K23		864	4.7		1		
			剥片	97	K23		1406	17.5		1		
			剥片	97	K23		1512	6.3		5		
				97	K23		1514	14.7		1		
				97	K24		1981	35.2		1		
			剥片	97	K23		1530	6.7		1		
			剥片	97	K23		2011	4.2		1		
			剥片	97	K23		2333	128.0		1		
				97	K23		4099	26.4		1		
			剥片	97	K23		2495	6.6		1		
			剥片	97	K23		2784	4.5		1		
			剥片	97	K23		3107	20.5		1		
				97	K23		3462	17.2		1		
			剥片	97	K23		3606	30.2		1		
				97	K24		2049	9.3		1		
			剥片	97	K23		3676	12.4		1		
				97	K24		1500	1.9		1		
			剥片	97	K23		3950	14.9		1		
				97	K24		1401	4.5		1		
			剥片	97	K23		4056	14.9		1		
			剥片		K23	I	39	38.0		1		
			剥片	97	K24		22	58.1		1		
			剥片	97	K24		250	10.1		1		
					K24	I	56	38.0		1		
					K24	I	57	15.1		1		
			剥片	97	K24		607	24.9		1		
				97	L22		2000	22.7		1		
			剥片	97	K24		684	34.8		1		
				97	K24		1620	2.8		1		
			剥片	97	K24		746	3.6		1		
			剥片	97	K24		2091	1.4		1		
			剥片	97	K24		2167	19.2		1		
			剥片	97	K24		2352	5.4		1		
			剥片	97	K24		2442	4.6		1		
			剥片		K24	I	58	10.7		1		
			剥片	97	L22		3054	48.1		1		
			剥片	97	L23		463	3.0		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	97	L23		1347	1067.7		1		
			剥片	97	L23		1412	3.8		1		
			剥片		七北13~29		29	168.0		1		
Ⅲ-442	335	341	接合資料	97				1978.0	14	1	985	4225
Ⅲ-379	299	51	両面調整石器		J21	Ⅰ	2	1038.6		1		
					J21	Ⅰ	34	115.2		1		
					ボサ		35	262.1		1		
			剥片	97	L22		2498	89.2		1		
					L22	Ⅰ	420	54.2		1		
			剥片	97	L22		2830	27.3		1		
			剥片	97	L22		3022	84.6		1		
				97	L22		3165	14.8		1		
			剥片		L22	Ⅰ	424	40.2		1		
			剥片		L22	Ⅰ	432	14.7		1		
				97	M22		1839	47.1		1		
			剥片	97	L23		189	20.8		1		
Ⅲ-395	309	256	舟底形石器	97	M21		695	49.2		1		
				97	M21		999	120.0		1		
Ⅲ-444	336	342	接合資料	97・101				3882.6	175	1	947	4116
Ⅲ-373	295	23	尖頭器	97	G23		72	74.4		1		
				97	G23		129	4.4		1		
				97	G23		136	13.0		1		
				97	H22		150	9.9		1		
				97	H23		102	17.9		1		
				97	I22		142	112.6		1		
				97	I22		230	68.5		1		
				97	I23		1076	157.1		1		
			石刃	97	G23		76	10.0		1		
			剥片	97	G24		31	3.0		1		
			彫器削片	97	G24		65	0.8		1		
			石刃		G24	Ⅰ	3	21.7		1		
					G24	Ⅰ	4	1.9		1		
			剥片		G25	Ⅰ	2	3.1		1		
					H23	Ⅰ	9	3.1		1		
				97	I24		768	1.3		1		
				97	I24		777	2.9		1		
				97	I24		1213	3.2		1		
			剥片	97	H22		23	2.5		1		
					H22	Ⅰ	4	3.1		1		
			二次加工ある剥片	97	H23		672	63.9		1		
			剥片	97	I22		291	8.3		1		
				97	J23		1043	35.4		1		
				97	J24		699	2.1		1		
				97	J24		1193	5.7		1		
				97	J24		1254	6.3		1		
					ボサ		24	1.2		1		
			剥片	97	H22		56	59.3		1		
			剥片	97	H22		120	50.3		1		
			剥片	97	H22		215	12.2		1		
			剥片	97	H22		224	42.3		1		
			縦長剥片	97	H22		353	4.4		1		
					H22	Ⅰ	5	3.0		1		
					H22	Ⅰ	6	2.1		1		
				97	H23		66	12.4		1		
			剥片	97	H22		389	14.2		1		
				97	H23		164	88.7		1		
				97	J23		524	3.6		1		
				97	J23		918	5.9		1		
			剥片	97	H23		60	15.5		1		
					H23	Ⅰ	5	5.7		1		
			剥片	97	H23		165	6.8		1		
			剥片	97	H23		190	36.9		1		
			石刃	97	H23		303	6.7		1		
				97	H23		410	8.9		1		
			剥片	97	H23		328	10.3		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				97	I23		958	220.2		1		
Ⅲ-384	303	121	彫器	97	H23		337	43.7		1		
			剥片	97	H23		396	5.0		1		
			石刃	97	H23		444	10.5		1		
			剥片	97	H23		493	9.4		1		
				97	H23		926	9.6		1		
				97	H23		964	13.5		1		
				97	I23		945	1.0		1		
			剥片	97	H23		497	83.6		1		
				97	H23		956	20.5		1		
				97	H24		243	8.7		1		
				97	I23		944	68.3		1		
				97	I23		956	27.9		1		
					I25	Ⅰ	8	10.1		1		
			剥片	97	H23		565	155.2		1		
				97	I25		255	3.2		1		
			剥片	97	H23		860	19.2		1		
			剥片	97	H23		954	17.8		1		
					H23	Ⅰ	3	118.8		1		
			剥片		H23	Ⅰ	4	18.4		1		
Ⅲ-385	303	128	彫器削片	97	H24		56	2.4		1		
				97	H24		482	2.1		1		
					H24	Ⅰ	5	2.7		1		
			剥片	97	H24		832	5.5		1		
					H24	Ⅰ	4	21.1		1		
				97	H25		98	7.4		1		
					I25	Ⅰ	18	4.2		1		
				97	K23		17	126.3		1		
					ボサ		23	8.8		1		
					排土		130	4.8		1		
			剥片	97	H25		46	25.1		1		
				97	I25		27	4.0		1		
				97	I25		269	7.9		1		
					I25	Ⅰ	19	1.5		1		
				97	J24		406	1.3		1		
					J24	Ⅰ	125	3.5		1		
			剥片		H25	Ⅰ	3	315.2		1		
			剥片		H25	Ⅰ	4	3.8		1		
				97	J24		1300	3.9		1		
					J24	Ⅰ	114	4.6		1		
Ⅲ-385	303	127	彫器削片	97	I23		167	7.1		1		
			剥片	97	I23		248	19.4		1		
			剥片	97	I23		700	5.8		1		
					ボサ		22	33.6		1		
			彫器削片		I23	Ⅰ	5	3.4		1		
			石刃	97	I24		81	3.3		1		
				97	J24		195	10.3		1		
			剥片	97	I24		203	32.7		1		
				97	I24		444	8.7		1		
					I24	Ⅰ	5	7.3		1		
				97	J24		1279	3.4		1		
			石刃	97	I24		351	2.9		1		
			剥片	97	I24		394	6.3		1		
			剥片	97	I24		588	4.6		1		
				97	I24		1162	3.3		1		
				97	I25		276	1.6		1		
			石刃	97	I24		644	4.0		1		
					I24	Ⅱ	6	0.8		1		
			剥片	97	I24		828	10.3		1		
			剥片	97	I24		1151	35.9		1		
			剥片	97	I24		1225	25.4		1		
				97	J24		1274	1.5		1		
			石刃	97	I24		1227	7.2		1		
			剥片		I24	Ⅰ	4	19.1		1		
				97	J24		1380	58.4		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	97	I 25		37	2.2		1		
				97	J 23		1027	16.0		1		
			剥片	97	I 25		272	7.6		1		
					I 25	I	10	11.0		1		
			剥片	97	I 25		281	12.5		1		
				97	J 24		152	4.2		1		
					J 24	I	107	3.2		1		
			剥片		I 25	I	5	117.3		1		
			剥片		I 25	I	7	127.0		1		
					I 25	I	11	4.5		1		
			剥片		I 25	I	9	228.0		1		
				97	J 24		1297	17.7		1		
			剥片		I 25	I	12	43.6		1		
			石刃		I 25	I	14	8.8		1		
				97	J 23		688	10.4		1		
			剥片		I 25	I	15	1.1		1		
				97	J 24		611	7.3		1		
			剥片		I 25	I	16	2.8		1		
			剥片		I 25	I	17	4.5		1		
			剥片		I 25	I	20	1.8		1		
					I 25	I	21	4.9		1		
					I 25	I	22	3.9		1		
				97	J 24		1125	3.2		1		
			剥片		I 25	I	23	9.5		1		
			剥片		I 25	I	24	4.0		1		
			剥片	97	J 24		153	23.0		1		
				97	J 24		1388	19.0		1		
				97	J 24		1418	4.3		1		
				97	J 24		1426	4.1		1		
			剥片	97	J 24		154	9.3		1		
			石刃	97	J 24		266	4.5		1		
			剥片	97	J 24		323	12.9		1		
			剥片	97	J 24		536	2.4		1		
				97	J 24		1409	8.5		1		
			剥片	97	J 24		578	5.4		1		
				97	J 24		1084	3.5		1		
			石刃	97	J 24		684	1.8		1		
			剥片	97	J 24		860	5.8		1		
			剥片	97	J 24		896	8.8		1		
			縦長剥片	97	J 24		947	2.1		1		
				97	J 24		1303	6.1		1		
					J 24	I	111	2.8		1		
			剥片	97	J 24		1011	3.5		1		
			剥片	97	J 24		1025	41.5		1		
			剥片	97	J 24		1090	3.1		1		
			剥片	97	J 24		1099	4.9		1		
				97	J 24		1415	5.7		1		
			剥片	97	J 24		1101	12.3		1		
				97	J 24		1572	6.8		1		
			剥片	97	J 24		1251	2.9		1		
			剥片	97	J 24		1284	10.5		1		
			剥片	97	J 24		1378	5.9		1		
				97	J 24		1435	10.6		1		
			剥片	97	J 24		1406	9.6		1		
			剥片	97	J 24		1408	2.4		1		
				97	J 24		1458	70.0		1		
			剥片	97	J 24		1416	7.4		1		
				97	J 24		1508	4.6		1		
			石刃	97	J 24		1434	3.3		1		
			石刃	97	J 24		1465	12.6		1		
					J 24	I	124	10.0		1		
			剥片	97	J 24		1608	3.7		1		
			剥片		J 24	I	94	24.3		1		
Ⅲ-383	303	114	彫器	101	N17		77	82.2		1		
Ⅲ-449	338	345	接合資料	96-100-101-外				2632.8	159	4	1185	4734

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
Ⅲ-392	307	237	舟底形石器	101	K17		43	9.6		4		
					M18	I	1	31.6		4		
			剥片	101	K18		32	27.1		4		
				101	L18		230	12.7		4		
				101	L19		134	5.1		4		
				101	M18		215	2.5		4		
			剥片	101	K18		34	21.5		4		
					L18	I	24	3.3		4		
			剥片	101	K18		77	5.5		4		
				101	K18		78	7.2		4		
				101	L18		105	4.8		4		
					L18	I	17	4.4		4		
					L18	I	18	9.6		4		
					L18	I	19	7.3		4		
					L18	I	20	32.6		4		
					L18	I	21	9.4		4		
					L18	I	22	40.4		4		
					L18	I	25	78.6		4		
					L18	I	27	7.1		4		
					L18	I	31	2.3		4		
					L18	I	35	0.9		4		
					L18	I	37	2.9		4		
				101	L19		133	20.3		4		
					M18	I	17	1.2		4		
			剥片	101	K19		29	47.8		4		
			剥片	100	K19		197	11.8		4		
			剥片	101	K19		275	6.9		4		
			剥片	101	L17		112	2.8		4		
			剥片	101	L18		11	3.7		4		
			剥片	101	L18		21	11.9		4		
			剥片	101	L18		33	4.2		4		
			剥片	101	L18		38	13.9		4		
			剥片	101	L18		90	30.3		4		
				101	M18		1123	3.7		4		
			剥片	101	L18		135	29.2		4		
					L18	I	14	44.0		4		
				101	L19		158	146.2		4		
				101	M18		368	9.6		4		
				101	M18		995	17.8		4		
				101	M19		161	7.8		4		
				101	N18		373	2.4		4		
			剥片	101	L18		181	1.9		4		
				101	M18		2242	19.8		4		
			剥片	101	L18		255	3.4		4		
				101	L18		345	80.0		4		
				101	M18		719	2.2		4		
				101	N18		1078	7.2		4		
				101	N19		14	6.5		4		
			剥片	101	L18		316	6.4		4		
			剥片	101	L18		448	5.1		4		
			剥片	101	L18		483	16.7		4		
					L18	Ⅱ	33	1.9		4		
Ⅲ-392	308	239	舟底形石器	101	L18		507	37.3		4		
				101	M17		48	13.8		4		
			剥片	101	L18		514	74.8		4		
				101	M18		1455	83.9		4		
				101	M18		2042	13.5		4		
				101	M18		2614	12.9		4		
					M20	I	2	33.8		4		
				101	N19		36	1.9		4		
			剥片	101	L18		517	6.9		4		
				101	N18		13	17.7		4		
				101	N18		1007	56.6		4		
			剥片		L18	I	15	5.1		4		
			剥片		L18	I	16	6.2		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片		L18	Ⅰ	23	7.1		4		
			剥片		L18	Ⅰ	26	5.0		4		
			剥片		L18	Ⅰ	28	8.3		4		
			剥片		L18	Ⅱ	36	1.5		4		
			剥片	101	L19		2	10.6		4		
					M19	Ⅰ	5	5.5		4		
				101	N18		700	6.2		4		
			剥片	101	L19		91	4.4		4		
				101	L19		136	6.3		4		
			剥片	101	L19		146	6.7		4		
				101	M18		1119	33.2		4		
				101	M18		1919	6.0		4		
			剥片	101	L19		150	1.7		4		
			剥片	101	L19		201	0.9		4		
			剥片	101	L19		205	6.1		4		
			剥片	101	L19		380	146.1		4		
				101	M19		600	4.3		4		
			剥片	101	L19		453	14.6		4		
			剥片	101	L19		557	3.0		4		
			剥片		L19	Ⅰ	3	11.8		4		
				101	M18		1696	3.8		4		
				101	M18		1787	6.3		4		
				101	M18		2080	2.5		4		
				101	M19		113	3.9		4		
				101	M19		473	1.7		4		
				101	M19		542	7.1		4		
				101	N18		920	4.2		4		
				101	N18		1055	15.5		4		
			剥片	101	M17		42	4.5		4		
			剥片	101	M17		54	7.1		4		
			剥片	101	M17		135	8.1		4		
			剥片	101	M18		8	2.7		4		
			剥片	101	M18		80	6.5		4		
			剥片	101	M18		196	5.1		4		
			剥片	101	M18		253	52.8		4		
			剥片	101	M18		260	8.1		4		
			剥片	101	M18		438	74.7		4		
			剥片	101	M18		479	18.7		4		
			剥片	101	M18		569	3.1		4		
			剥片	101	M18		639	3.4		4		
			剥片	101	M18		746	6.2		4		
				101	M18		848	8.9		4		
			剥片	101	M18		956	52.6		4		
			剥片	101	M18		1106	24.8		4		
				101	M18		1344	4.4		4		
					M19	Ⅰ	3	2.2		4		
			剥片	101	M18		1152	12.7		4		
			剥片	101	M18		1222	67.6		4		
			剥片	101	M18		1292	45.5		4		
			剥片	101	M18		1556	5.8		4		
			剥片	101	M18		1638	12.4		4		
			剥片	101	M18		1763	4.9		4		
			剥片	101	M18		1931	11.3		4		
			剥片	101	M18		2020	15.0		4		
			剥片	101	M18		2085	23.7		4		
				101	M19		47	3.5		4		
				101	M19		337	14.3		4		
				101	M19		471	5.1		4		
			剥片	101	M18		2107	5.4		4		
			剥片	101	M18		2292	5.5		4		
			剥片	101	M18		2312	15.3		4		
			剥片	101	M18		2363	19.4		4		
					M18	Ⅰ	7	10.0		4		
			剥片	101	M18		2590	9.5		4		
					M18	Ⅱ	61	0.9		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				101	N20		25	3.4		4		
			剥片	101	M18		2594	6.4		4		
			剥片		M18	Ⅰ	6	8.0		4		
					M18	Ⅰ	14	3.2		4		
			剥片		M18	Ⅱ	9	2.1		4		
			剥片	101	M19		640	1.9		4		
			剥片		M19	Ⅰ	2	6.2		4		
			剥片		M19	Ⅰ	7	3.6		4		
			剥片	101	N17		91	3.5		4		
			剥片	101	N18		42	9.3		4		
			剥片	101	N18		43	41.7		4		
				外	P21		1	9.6		4		
			剥片	101	N18		181	44.7		4		
			剥片	101	N18		301	5.5		4		
				101	N18		357	24.2		4		
			剥片	101	N18		404	28.4		4		
				101	N18		637	8.5		4		
			剥片	101	N18		435	5.0		4		
			剥片	101	N18		680	30.4		4		
			剥片	101	N18		727	18.2		4		
			剥片	101	N18		826	29.8		4		
			剥片	101	N18		937	4.6		4		
			剥片	101	N18		1072	63.2		4		
			剥片	101	N18		1102	3.4		4		
			剥片	101	N18		1145	2.9		4		
			剥片	98	N20		2	4.8		4		
			剥片	101	N20		19	73.8		4		
			剥片		N20	Ⅰ	1	4.8		4		
			剥片	101	P20		2	8.3		4		
Ⅲ-452	339	346	接合資料	97·100·101				2112.4	83	5	1133	4611
Ⅲ-371	294	18	尖頭器		J19	Ⅰ	4	140.7		5		
				100	K19		203	102.1		5		
			剥片	97	K22		172	3.5		5		
			剥片	97	K22		273	5.8		5		
					K23	Ⅰ	100	43.7		5		
			剥片	97	K22		285	6.1		5		
			剥片	97	K22		594	14.3		5		
				97	M21		8	48.1		5		
			剥片	97	K22		646	18.9		5		
			剥片	97	K22		654	1.4		5		
				97	L22		2895	10.1		5		
				97	L23		665	18.5		5		
			剥片	97	K22		718	16.1		5		
				97	K23		1215	2.4		5		
			剥片		K22	Ⅰ	50	3.0		5		
			剥片		K22	Ⅰ	51	4.4		5		
			剥片		K22	Ⅰ	52	93.8		5		
				97	M21		207	60.2		5		
			剥片	97	K23		337	1.3		5		
				97	K23		2619	15.9		5		
				97	K23		3194	7.3		5		
			剥片	97	K23		461	17.6		5		
				97	M21		436	29.5		5		
				97	M22		174	16.2		5		
				97	M22		275	3.7		5		
			剥片	97	K23		640	2.6		5		
			剥片	97	K23		1345	7.3		5		
				97	L22		2601	7.2		5		
			剥片	97	K23		1640	5.8		5		
			剥片	97	K23		1686	2.1		5		
			剥片	97	K23		1882	46.3		5		
				97	L22		3060	6.9		5		
					L22	Ⅰ	478	6.2		5		
			剥片	97	K23		2383	1.3		5		
				97	L23		83	5.2		5		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	97	K23		2626	6.2		5		
					L22	I	476	2.3		5		
			剥片	97	K23		2672	4.5		5		
			剥片	97	K23		3007	155.9		5		
			剥片	97	K23		3713	24.5		5		
			剥片	97	K23		3854	10.3		5		
			剥片		K23	I	101	21.2		5		
			剥片	97	L21		181	4.2		5		
			剥片	97	L21		200	114.8		5		
			剥片	97	L21		548	4.9		5		
			剥片		L21	I	57	21.9		5		
			剥片	97	L22		507	2.3		5		
			剥片	97	L22		777	4.0		5		
			剥片	97	L22		1470	4.1		5		
				97	L22		1902	4.1		5		
			剥片	97	L22		1893	15.0		5		
			剥片	97	L22		1928	4.0		5		
			剥片	97	L22		2210	8.7		5		
			剥片	97	L22		2263	7.1		5		
			剥片	97	L22		2448	6.3		5		
				97	L22		3051	6.2		5		
			剥片	97	L22		2551	28.0		5		
				97	L22		3129	2.2		5		
			剥片	97	L22		2649	98.3		5		
			剥片	97	L22		2700	3.4		5		
					L22	I	477	8.7		5		
			剥片	97	L22		3196	4.2		5		
			剥片		L22	I	459	3.7		5		
			剥片		L22	I	463	12.2		5		
				97	N21		174	25.1		5		
			剥片		L22	I	464	3.0		5		
			剥片		L22	I	479	1.4		5		
			剥片		L22	I	501	4.1		5		
			剥片	97	L23		800	7.5		5		
			剥片	97	L23		917	17.0		5		
			剥片	97	L23		1088	2.5		5		
			剥片	97	L23		1116	11.5		5		
			剥片	97	L23		1210	29.5		5		
			剥片	97	L23		1288	11.1		5		
			剥片	101	M20		8	7.7		5		
			剥片	97	M21		532	5.3		5		
			剥片	97	M21		677	15.6		5		
				97	M22		881	21.0		5		
					七北13~29		40	104.9		5		
			剥片	97	M21		1026	16.6		5		
			剥片	97	M21		1030	136.5		5		
			剥片	97	M22		1285	3.9		5		
			剥片		七北13~29		41	319.5		5		
Ⅲ~454	340	347	接合資料	97				1166.5	37	1	952	4136
			剥片		G22	I	2	3.9		1		
			縦長剥片	97	G23		14	6.3		1		
			剥片		G23	I	11	27.3		1		
				97	H23		202	14.0		1		
				97	H23		211	8.2		1		
			剥片		G23	I	12	11.8		1		
				97	I22		325	4.1		1		
			縦長剥片	97	H22		87	6.5		1		
				97	H22		360	11.3		1		
				97	H23		331	9.5		1		
			剥片	97	H22		140	2.6		1		
				97	H23		948	3.9		1		
			剥片	97	H22		141	47.0		1		
				97	H22		274	24.8		1		
			剥片	97	H22		277	3.9		1		
			剥片		H22	I	9	17.0		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	97	H23		289	7.8		1		
			剥片	97	H23		308	7.4		1		
			剥片	97	H23		342	13.7		1		
			剥片	97	H23		465	27.3		1		
			剥片	97	H23		630	12.0		1		
			剥片	97	H23		755	19.7		1		
Ⅲ~371	294	20	尖頭器	97	H23		838	54.1		1		
				97	J23		1185	81.9		1		
			剥片		H23	I	13	10.6		1		
			剥片	97	H24		44	29.4		1		
					H25	I	10	16.4		1		
			石刃	97	H24		183	12.9		1		
			剥片	97	H24		631	6.2		1		
			剥片	97	H24		706	18.5		1		
			剥片	97	I24		508	10.8		1		
			剥片	97	J24		311	13.7		1		
				97	J24		1319	149.8		1		
				97	J25		124	26.3		1		
			剥片	97	J24		1248	269.3		1		
			剥片	97	J24		1631	13.2		1		
			剥片	97	J25		61	163.4		1		
Ⅲ~455	341	348	接合資料	97				1925.3	50	1･5	1046	4366
			剥片	97	K22		49	196.1		5		
				97	L22		177	6.6		1		
				97	L22		883	11.1		1		
					L22	I	225	2.1		1		
			剥片	97	K22		243	6.5		5		
				97	L22		2373	13.6		1		
				97	L22		2816	29.2		1		
			剥片	97	K22		461	4.8		5		
			剥片		K22	I	13	161.4		1		
			剥片	97	L21		203	24.8		1		
				97	L22		2325	59.9		1		
			剥片	97	L21		441	3.0		1		
			縦長剥片		L21	I	25	15.1		1		
				97	L22		529	3.6		1		
				97	M21		86	137.5		1		
			剥片	97	L22		399	39.5		1		
			剥片	97	L22		580	12.5		1		
				97	L22		1769	6.4		5		
			剥片	97	L22		620	12.4		1		
				97	L22		630	2.3		1		
			剥片	97	L22		936	18.0		1		
				97	L22		2052	26.4		1		
			剥片	97	L22		943	56.5		5		
				97	M21		949	9.9		1		
			剥片	97	L22		1228	4.1		1		
			剥片	97	L22		1857	19.4		1		
			剥片	97	L22		1858	15.8		1		
			剥片	97	L22		2012	8.7		5		
			剥片	97	L22		2076	28.9		1		
				97	M22		578	126.3		1		
			剥片	97	L22		2125	3.7		1		
			剥片	97	L22		2703	14.0		1		
			剥片	97	L22		2730	42.3		1		
			剥片		L22	I	193	155.0		1		
			剥片		L22	I	194	73.3		1		
			剥片		L22	I	200	60.0		1		
			剥片		L22	I	216	6.5		1		
			剥片		L22	I	217	9.2		1		
			剥片		L22	I	218	9.6		1		
					L22	I	219	8.3		1		
			剥片	97	M21		160	5.9		1		
				97	M22		1604	16.6		1		
				97	M22		1639	2.7		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	97	M21		460	57.7		1		
				97	M21		630	48.4		1		
				97	M22		1364	71.8		1		
			剥片	97	M21		698	51.6		1		
				97	M21		907	199.3		1		
			剥片	97	M22		549	2.0		1		
			剥片	97	M22		1154	25.0		1		
Ⅲ-456	340	349	接合資料	97・101				1450.5	28	1	1147	4632
			剥片		J22	I	16	19.4		1		
			剥片	97	J23		1165	20.3		1		
				97	K24		2259	5.4		1		
			剥片	97	K24		71	8.6		1		
			剥片	97	K24		774	11.2		1		
				97	K24		971	25.8		1		
				97	K24		1911	86.3		1		
					K24	I	49	26.2		1		
Ⅲ-376	297	46	両面調整石器	97	K24		1319	350.0		1		
				97	K24		1521	562.3		1		
			剥片	101	M18		50	111.2		1		
			剥片	101	M18		100	2.2		1		
			剥片	101	M18		478	1.6		1		
			剥片	101	M18		635	1.6		1		
				101	M18		1512	1.4		1		
				101	M18		2453	31.0		1		
					N18	I	13	12.1		1		
			剥片	101	M18		1128	4.3		1		
				101	M18		2248	10.2		1		
			剥片	101	M18		1466	28.1		1		
				101	P18		8	13.3		1		
			剥片	101	M18		1677	55.2		1		
			剥片	101	M18		1797	3.9		1		
			剥片	101	M18		2176	1.6		1		
			剥片	101	M18		2179	2.7		1		
			剥片	101	N18		901	8.3		1		
			剥片	101	N18		1075	9.1		1		
			剥片		N18	I	12	37.2		1		
Ⅲ-457	342	350	接合資料	96・97・100				4682.0	41	1	982	4217
			石刃		H22	I	2	57.1		1		
			剥片	100	J20		102	17.8		1		
				100	J20		124	4.9		1		
			剥片	100	J20		145	17.2		1		
			剥片		J24	I	79	338.6		1		
					J25	I	12	51.7		1		
			剥片		J24	I	80	127.6		1		
			剥片	97	K23		2220	3.7		1		
				97	K24		1167	6.2		1		
				97	K24		1887	29.4		1		
				97	L23		974	486.1		1		
				96	L23		993	9.3		1		
			縦長剥片	97	K24		8	38.8		1		
			剥片	97	K24		74	91.1		1		
				97	K24		283	42.7		1		
				97	K24		378	57.9		1		
				97	K24		1729	9.3		1		
			剥片	97	K24		376	71.7		1		
				97	L23		1343	346.8		1		
			剥片	97	K24		551	4.0		1		
			剥片	97	K24		657	180.9		1		
			剥片	97	K24		663	119.4		1		
			剥片	97	K24		777	19.0		1		
			剥片	97	K24		990	55.6		1		
			石刃	97	K24		1513	15.9		1		
			石刃	97	K24		1785	27.3		1		
			縦長剥片	97	K24		1852	96.5		1		
			剥片		K24	I	43	627.5		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片		K24	I	44	35.4		1		
			剥片		K24	I	53	33.6		1		
			石刃		K24	I	55	6.2		1		
			剥片	97	L23		440	478.4		1		
			剥片	97	L23		468	78.1		1		
				97	L23		469	33.6		1		
			剥片	97	L23		715	41.4		1		
			石刃	96	L23		723	58.5		1		
				96	M23		297	6.6		1		
			剥片	96	L23		729	20.5		1		
			剥片	96	M23		296	44.4		1		
			剥片		セ北13~29		28	533.0		1		
Ⅲ-511	400	5	石刃核		排土		63	358.3		1		
Ⅲ-458	343	351	接合資料	97・98・100				895.2	20	1	1006	4274
			二次加工ある剥片	100	K20		231	12.0		1		
				100	K20		739	94.0		1		
			縦長剥片		K20	I	44	130.6		1		
				98	M20		78	33.2		1		
			剥片	97	K22		462	7.7		1		
			剥片	97	L22		486	18.3		1		
			剥片		L22	I	293	26.4		1		
			剥片	97	M21		68	16.8		1		
			二次加工ある剥片	97	M21		108	70.8		1		
				97	M22		1986	80.8		1		
			剥片	97	M21		262	65.7		1		
			剥片	97	M21		497	6.1		1		
				97	M22		1599	62.2		1		
			剥片	97	M21		557	99.7		1		
				97	M21		1010	3.6		1		
				97	M21		1055	59.2		1		
			剥片	97	M21		627	25.0		1		
			剥片	97	M21		746	31.6		1		
			剥片	97	M21		750	40.3		1		
			剥片	97	M21		1092	11.2		1		
Ⅲ-459	343	352	接合資料	97・98・101				4143.5	70	1	1038	4347
			剥片	97	K22		626	62.0		1		
			剥片		K22	I	14	10.3		1		
			剥片	97	K23		358	26.6		1		
					L21	I	21	223.4		1		
			剥片	97	K23		1898	80.9		1		
				97	K23		2099	11.3		1		
				97	M22		1963	6.0		1		
Ⅲ-407	317	330	石核	97	K23		2760	1090.3		1		
			石刃	101	L19		523	15.1		1		
			剥片	98	L21		432	3.2		1		
			剥片	97	L21		490	11.5		1		
			剥片		L21	I	20	110.1		1		
			剥片		L21	I	61	8.6		1		
			剥片	97	L22		365	8.0		1		
				97	M22		1554	34.9		1		
			剥片	97	L22		616	4.0		1		
				97	L22		2218	4.9		1		
			剥片	97	L22		920	6.6		1		
				97	L22		1632	7.1		1		
					L22	I	199	25.0		1		
			剥片	97	L22		1391	50.4		1		
			剥片	97	L22		1610	237.4		1		
			剥片	97	L22		1670	7.0		1		
				97	M22		561	26.2		1		
				97	M22		1897	15.9		1		
			剥片	97	L22		1824	9.8		1		
				97	M22		1968	7.2		1		
			剥片	97	L22		2286	11.3		1		
			剥片	97	L22		2319	20.7		1		
				97	L22		2737	3.0		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
					L22	I	190	33.6		1		
					L22	I	191	91.0		1		
			剥片	97	L22		2321	35.0		1		
			剥片	97	L22		2719	13.0		1		
			石刃	97	L22		2720	81.0		1		
			剥片	97	L22		2721	6.3		1		
			剥片	97	L22		2811	177.8		1		
			剥片	97	L22		3039	6.0		1		
			剥片		L22	I	189	244.0		1		
			剥片		L22	I	201	4.5		1		
			剥片		L22	I	202	36.9		1		
			剥片		L22	I	203	35.8		1		
			剥片		L22	I	205	8.0		1		
			剥片		L22	I	207	27.1		1		
			剥片		L22	I	208	14.9		1		
			剥片		L22	I	210	9.4		1		
			剥片		L22	I	212	23.7		1		
			剥片		L22	I	213	4.1		1		
			剥片	97	L23		406	16.8		1		
			剥片	97	L23		770	13.7		1		
			剥片	97	M21		703	13.1		1		
			剥片	97	M21		927	43.8		1		
				97	M22		303	240.5		1		
Ⅲ-392	308	238	舟底形石器	97	M21		953	53.0		1		
			剥片	97	M22		21	15.9		1		
					M22	I	12	3.5		1		
			剥片	97	M22		258	72.4		1		
			縦長剥片	97	M22		771	27.6		1		
				97	M22		1184	35.9		1		
			剥片	97	M22		1304	7.1		1		
			剥片	97	M22		1339	13.1		1		
			剥片	97	M22		1384	30.3		1		
			縦長剥片	97	M22		1563	6.0		1		
					M22	I	9	2.3		1		
			剥片	97	M22		1576	128.3		1		
			二次加工ある剥片	97	M22		1580	144.1		1		
			剥片	97	M22		1838	24.3		1		
			剥片	97	M22		1959	245.1		1		
			剥片	97	M22		1972	6.1		1		
			剥片		M22	I	11	9.8		1		
Ⅲ-461	344	353	接合資料	96･97･99･100				1390.3	58	1	990	4230
Ⅲ-382	302	96	彫器	99	I21		245	8.9		1		
			剥片	99	I21		413	13.0		1		
			剥片	97	I25		40	5.1		1		
Ⅲ-403	314	310	石刃核	100	J20		35	182.1		1		
			剥片	99	J22		178	9.2		1		
			剥片	97	J24		35	10.2		1		
			石刃	97	J24		53	15.8		1		
				97	K24		414	17.4		1		
				97	K24		505	27.3		1		
			剥片	97	J24		283	10.2		1		
			縦長剥片	97	J24		297	16.2		1		
			石刃	97	J24		429	25.8		1		
			石刃		J24	I	123	19.2		1		
			縦長剥片		J24	I	126	15.3		1		
				97	K23		1935	13.6		1		
				96	K24		334	6.2		1		
			剥片		J24	I	133	12.8		1		
			石刃		J24	I	188	26.3		1		
					J24	I	189	7.4		1		
				97	K24		999	27.4		1		
			剥片		J24	I	190	7.4		1		
					J24	I	201	5.7		1		
					J24	I	207	3.2		1		
				97	K24		989	41.1		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				97	K24		1234	1.5		1		
			縦長剥片		J24	I	242	31.1		1		
				97	K24		776	6.7		1		
Ⅲ-393	308	246	舟底形石器	99	K21		312	60.0		1		
				97	K24		876	198.4		1		
			剥片	97	K23		1404	22.9		1		
			剥片	97	K23		2950	2.4		1		
			石刃	97	K24		54	14.5		1		
					K24	I	69	33.7		1		
			剥片	97	K24		129	21.3		1		
				97	K24		1066	49.1		1		
Ⅲ-399	311	289	石刃	97	K24		175	23.9		1		
					排土		132	51.8		1		
			剥片	97	K24		321	23.4		1		
			剥片	97	K24		324	2.4		1		
				97	K24		948	6.1		1		
			剥片	97	K24		676	41.3		1		
			石刃	97	K24		934	3.6		1		
			石刃	97	K24		978	8.1		1		
			剥片	97	K24		1036	3.4		1		
			石刃	97	K24		1225	16.4		1		
				97	K24		1959	14.3		1		
			剥片	97	K24		1292	12.9		1		
			石刃	97	K24		1566	6.2		1		
					K24	Ⅱ	101	2.3		1		
			剥片	97	K24		1703	6.1		1		
			剥片	97	K24		1717	53.5		1		
			剥片	97	K24		1828	44.1		1		
			剥片	97	K24		2105	43.0		1		
			剥片	97	K24		2118	9.3		1		
			石刃	97	K24		2367	3.3		1		
			石刃		K24	I	70	23.7		1		
			剥片		L22	I	348	12.4		1		
			石刃		L23	I	7	10.4		1		
Ⅲ-463	345	354	接合資料	97･98･99･100･101				598.8	34	1	958	4152
Ⅲ-382	301	82	彫器	97	H23		427	7.1		1		
Ⅲ-408	317	331	石核		I22	I	1	131.4		1		
			剥片	97	I23		158	155.0		1		
			石刃	97	J23		1040	20.4		1		
				97	K23		3944	6.8		1		
Ⅲ-399	311	288	石刃		J24	I	129	10.7		1		
				97	K23		4098	10.8		1		
			縦長剥片		J24	I	132	30.5		1		
			剥片		J24	I	183	10.9		1		
			石刃		J24	I	185	8.9		1		
				97	K24		1556	3.5		1		
			剥片		J24	I	186	6.3		1		
			石刃		J24	I	237	1.1		1		
				97	K24		2385	1.3		1		
			石刃		J24	I	243	2.4		1		
				97	K24		498	2.7		1		
			彫器削片	100	K18		102	4.7		1		
			彫器削片		K18	I	10	2.9		1		
			彫器削片		K18	I	11	1.2		1		
			石刃	100	K20		370	10.5		1		
			彫器削片	99	K21		194	5.8		1		
			彫器削片	99	K21		369	2.9		1		
			剥片	97	K22		198	4.7		1		
			石刃	97	K23		2026	12.5		1		
			石刃	97	K23		2790	6.6		1		
				97	K24		1394	5.8		1		
			剥片	97	K24		1031	5.8		1		
			剥片	97	K24		1122	15.7		1		
			剥片	97	K24		1945	52.4		1		
			縦長剥片	97	K24		2300	3.9		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			彫器削片	101	L18		62	6.7		1		
			彫器削片	101	L18		225	4.6		1		
			石刃	98	L21		318	35.2		1		
Ⅲ-385	303	130	彫器削片	101	M18		2414	7.1		1		
Ⅲ-464	345	355	接合資料	97·98·99				925.7	50	1·5	1000	4257
Ⅲ-404	315	314	石刃核	99	I21		944	173.9		1		
			剥片		I23	I	12	5.1		1		
			剥片	97	J24		37	5.5		1		
			剥片	97	J24		457	30.7		1		
			剥片	97	J24		1126	2.3		1		
			剥片		J24	I	193	25.6		1		
				97	K24		1550	98.5		1		
			剥片		J24	I	200	3.7		1		
				97	K24		2141	3.5		1		
			剥片		J24	I	202	33.0		1		
				97	K24		1976	28.0		1		
			縦長剥片		J24	I	203	14.2		1		
				97	K24		2215	19.2		1		
			剥片		J24	I	204	5.8		1		
			剥片		J24	I	205	8.3		1		
			剥片		J24	I	238	6.6		1		
			剥片		J24	I	239	7.7		1		
			剥片		J24	I	240	2.6		1		
			剥片		J24	I	241	2.1		1		
				97	K24		1608	13.0		1		
			石刃	97	K23		281	9.5		1		
			剥片	97	K23		2501	12.1		1		
			剥片	97	K23		2969	9.5		1		
				97	K24		266	45.3		1		
			剥片	97	K23		3277	48.1		1		
			剥片	97	K23		3947	28.1		5		
			剥片	97	K23		4175	21.7		1		
				97	K24		1756	4.8		1		
			剥片		K23	I	71	15.6		1		
			剥片		K23	I	93	5.2		1		
			剥片	97	K24		117	36.4		1		
			剥片	97	K24		306	6.4		1		
			剥片	97	K24		403	2.9		1		
			剥片	97	K24		1098	4.2		1		
			剥片	97	K24		1263	15.9		1		
			剥片	97	K24		1386	12.2		1		
			剥片	97	K24		1400	7.5		1		
			剥片	97	K24		1444	11.8		1		
			石刃	97	K24		1529	5.9		1		
			剥片	97	K24		1624	2.0		1		
				97	L23		1504	2.5		1		
			剥片	97	K24		1643	59.5		5		
			剥片	97	K24		1751	2.2		1		
			剥片	97	K24		1920	1.7		1		
			剥片	97	K24		2165	8.2		1		
			石刃	98	L20		27	27.5		1		
			剥片	97	L23		25	10.3		1		
			剥片	97	L23		94	7.0		1		
			剥片	97	L23		623	1.7		1		
			剥片	97	L23		1503	10.7		1		
Ⅲ-465	346	356	接合資料	97·101				541.9	31	1	1141	4623
Ⅲ-386	304	164	掻器	97	H24		11	4.6		1		
				97	J23		733	10.8		1		
Ⅲ-381	301	60	彫器	101	L18		409	5.4		1		
				101	M18		1150	9.8		1		
			剥片		L18	I	64	29.1		1		
					M18	I	46	2.0		1		
			石刃		L18	Ⅱ	53	2.3		1		
				101	M18		136	10.5		1		
				101	M18		623	21.7		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				101	M18		1496	2.0		1		
			剥片	101	M18		209	10.9		1		
				101	M18		958	18.5		1		
				101	N18		157	1.8		1		
			縦長剥片	101	M18		1470	53.0		1		
				101	M18		2128	5.6		1		
			剥片	101	M18		1707	10.4		1		
				101	M18		2606	9.8		1		
			石刃	101	M18		2307	7.4		1		
					M18	I	42	4.8		1		
			剥片	101	M18		2377	29.1		1		
			石刃	101	M18		2447	33.3		1		
			剥片	101	M18		2604	4.6		1		
			剥片	101	M18		2622	2.1		1		
			剥片		M18	I	34	177.9		1		
				101	N18		327	26.3		1		
					N18	I	21	1.6		1		
			剥片		M18	I	35	34.1		1		
			縦長剥片	101	N18		517	3.9		1		
				101	N18		527	2.6		1		
			石刃	101	N18		622	5.2		1		
				101	N18		752	0.8		1		
Ⅲ-466	346	357	接合資料	101				643.5	46	1	1164	4678
			縦長剥片	101	L19		58	9.9		1		
			剥片	101	L19		204	1.4		1		
				101	M18		2048	7.1		1		
			剥片	101	M18		621	5.1		1		
			剥片	101	M18		830	109.9		1		
				101	M18		1109	5.5		1		
				101	M18		1877	3.4		1		
					N20	I	4	15.7		1		
			縦長剥片	101	M18		900	2.0		1		
			縦長剥片	101	M18		1008	4.2		1		
				101	N18		710	6.1		1		
			縦長剥片	101	M18		1362	10.4		1		
			剥片	101	M18		1428	4.5		1		
			剥片	101	M18		1501	1.2		1		
			剥片	101	M18		1632	8.3		1		
			剥片	101	M18		1697	10.0		1		
			剥片	101	M18		2061	1.6		1		
			剥片	101	M18		2076	3.9		1		
				101	N18		266	62.5		1		
			剥片	101	M18		2103	30.2		1		
			剥片	101	M18		2189	11.7		1		
			石刃	101	M18		2434	9.6		1		
			剥片		M18	I	40	9.9		1		
			剥片		M18	I	41	9.2		1		
			剥片	101	M19		269	5.4		1		
			剥片	101	M19		279	1.2		1		
			剥片	101	M19		327	0.8		1		
			石刃	101	M19		477	9.8		1		
			縦長剥片	101	M19		503	0.9		1		
				101	M19		551	8.4		1		
				101	O19		51	11.0		1		
Ⅲ-401	313	304	石刃核	101	M19		511	132.7		1		
			剥片	101	M19		535	1.7		1		
			石刃	101	M19		555	2.7		1		
				101	M19		607	1.9		1		
			剥片	101	M19		738	3.5		1		
			縦長剥片	101	N18		672	2.7		1		
			剥片	101	N18		771	12.7		1		
			縦長剥片	101	N18		933	1.2		1		
			剥片		N19	I	7	6.5		1		
			石刃		N19	I	10	10.6		1		
			剥片	101	N20		14	12.5		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
					N20	I	5	5.7		1		
			縦長剥片	101	N20		24	16.6		1		
			剥片	101	O19		39	3.7		1		
			剥片		セ南1～30		7	48.0		1		
Ⅲ-466	347	358	接合資料	97･99･100				298.3	13	1	1007	4275
			石刃		H21	I	3	5.3		1		
			剥片	99	I 21		820	84.2		1		
			石刃	99	I 21		899	5.1		1		
			縦長剥片	99	I 21		977	19.8		1		
			石刃	99	I 21		1044	19.2		1		
			石刃	99	J 21		85	5.9		1		
			縦長剥片	99	J 21		265	2.2		1		
Ⅲ-401	312	300	石刃核	99	J 21		756	90.4		1		
			剥片	99	J 22		11	18.0		1		
Ⅲ-399	311	284	石刃		J 22	I	17	14.8		1		
			石刃	100	K20		76	12.3		1		
			石刃	99	K22		315	13.2		1		
			石刃	97	K23		211	7.9		1		
Ⅲ-467	347	359	接合資料	102				2948.0	46	1･5	1142	4626
			二次加工ある剥片	102	H18		14	139.4		1		
				102	I 18		216	65.5		1		
				102	I 19		111	60.1		1		
			縦長剥片	102	H18		17	56.0		1		
			剥片	102	H18		30	36.7		1		
Ⅲ-406	316	324	石核	102	H18		57	1292.2		1		
			縦長剥片	102	H18		62	6.6		1		
			剥片	102	H18		65	10.8		1		
				102	I 18		63	34.7		1		
				102	I 18		158	54.5		1		
				102	I 18		249	5.3		1		
			剥片	102	H18		85	14.6		1		
				102	H18		100	2.0		1		
			縦長剥片	102	H18		86	22.9		1		
				102	H19		72	48.9		1		
				102	I 18		297	25.5		1		
			二次加工ある剥片	102	H19		1	118.5		1		
					J 19	I	46	71.1		1		
			縦長剥片	102	I 18		42	41.3		1		
			剥片	102	I 18		49	65.1		1		
				102	I 18		166	19.1		1		
				102	I 18		171	305.5		1		
				102	I 18		210	12.2		1		
			剥片	102	I 18		52	6.6		1		
				102	I 18		147	7.0		5		
			縦長剥片	102	I 18		102	40.2		1		
				102	I 18		191	30.0		1		
				102	I 18		237	13.3		1		
			剥片	102	I 18		135	23.0		1		
				102	I 19		164	5.7		1		
				102	I 19		170	52.1		1		
			剥片	102	I 18		230	14.3		1		
			縦長剥片	102	I 18		232	0.5		1		
				102	I 18		264	3.0		1		
				102	I 18		329	7.2		1		
				102	I 19		130	43.3		5		
			縦長剥片	102	I 18		272	14.7		1		
				102	I 19		307	2.2		1		
			縦長剥片	102	I 18		327	14.1		1		
				102	I 19		141	5.4		1		
				102	I 19		147	35.0		5		
				102	I 19		222	12.5		1		
				102	I 19		223	3.7		1		
			剥片	102	I 19		16	48.5		1		
				102	I 19		72	36.7		1		
			縦長剥片	102	I 19		298	20.5		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
Ⅲ-468	348	360	接合資料	97･100				514.7	15	1	965	4173
Ⅲ-381	301	57	彫器	97	H24		200	8.7		1		
Ⅲ-400	312	293	石刃		I 19	I	4	16.0		1		
				100	J 19		499	12.8		1		
Ⅲ-386	305	173	掻器	100	J 19		490	52.4		1		
				100	K19		412	24.1		1		
Ⅲ-399	311	290	石刃	100	K20		464	55.4		1		
					K22	I	39	29.0		1		
			剥片	97	K22		581	12.2		1		
			石刃	97	K23		175	30.8		1		
Ⅲ-400	311	291	石刃	97	L22		151	77.2		1		
				97	M21		533	49.1		1		
			剥片	97	L22		810	21.6		1		
			石刃	97	L23		677	38.6		1		
			縦長剥片	97	M22		2035	57.5		1		
				97	N21		140	29.3		1		
Ⅲ-468	348	361	接合資料	97･100				538.4	18	1	965	4174
Ⅲ-400	312	296	石刃	97	H23		703	63.6		1		
Ⅲ-385	304	152	掻器		J 19	I	6	14.3		1		
Ⅲ-387	305	184	削器		J 19	I	8	12.7		1		
Ⅲ-399	311	280	二次加工ある剥片		J 19	I	44	7.0		1		
				100	K19		391	35.1		1		
Ⅲ-404	314	313	石刃核	100	K19		451	99.4		1		
Ⅲ-400	312	294	石刃	100	K20		491	39.8		1		
Ⅲ-385	304	154	掻器		L21	I	1	12.9		1		
			縦長剥片	97	L22		948	20.2		1		
					L22	I	372	120.0		1		
			石刃		L22	I	376	1.5		1		
			剥片	97	L23		126	4.7		1		
			石刃	97	L23		538	53.8		1		
			石刃	97	M22		34	5.3		1		
			石刃	97	M22		142	3.9		1		
			石刃	97	M22		213	19.8		1		
			縦長剥片	97	M22		729	3.2		1		
Ⅲ-399	311	287	石刃	97	M22		730	21.2		1		
Ⅲ-470	349	362	接合資料	97･100				477.9	10	1	1016	4287
			剥片	100	K19		82	108.5		1		
			剥片	97	L22		846	10.6		1		
				97	L22		1307	69.6		1		
			剥片	97	L22		963	17.5		1		
				97	M21		687	17.5		1		
			剥片	97	L22		1761	19.4		1		
			剥片	97	L22		1970	7.4		1		
Ⅲ-404	315	315	石刃核	97	L23		1050	210.8		1		
			剥片	97	M21		726	5.2		1		
			剥片	97	M21		958	11.4		1		
Ⅲ-471	350	363	接合資料	97･99				1517.5	28	1	1028	4322
			石刃		I 22	I	13	13.3		1		
			石刃	99	J 21		627	19.2		1		
			石刃	99	J 22		4	29.2		1		
			剥片	97	J 22		123	69.9		1		
Ⅲ-399	311	283	石刃		J 22	I	23	13.2		1		
			石刃	97	J 23		284	15.7		1		
			剥片		J 23	I	25	4.3		1		
			石刃		J 23	I	26	4.4		1		
			縦長剥片		J 23	I	27	9.9		1		
				97	K23		449	2.6		1		
			石刃		J 23	I	28	6.6		1		
			石刃	97	K22		329	12.9		1		
			剥片	97	K22		786	118.3		1		
			剥片	97	K22		787	112.4		1		
			剥片	97	K23		110	446.5		1		
			剥片	97	K23		197	30.7		1		
			二次加工ある剥片	97	K23		671	9.4		1		
			剥片	97	K23		686	5.4		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
Ⅲ-387	305	174	錐形石器	97	K23		958	11.9		1		
			剥片	97	K23		1525	7.3		1		
Ⅲ-403	314	308	石刃核	97	K23		1691	464.9		1		
			縦長剥片	97	K23		2027	7.4		1		
			剥片	97	K23		2849	7.3		1		
			剥片	97	K23		3024	38.7		1		
			剥片	97	K23		3414	8.2		1		
			石刃		K23	I	54	5.0		1		
			剥片		K24	I	64	8.4		1		
			石刃	97	L22		2593	34.5		1		
Ⅲ-472	349	364	接合資料	97·98·100·102				3058.8	47	1	1034	4337
			縦長剥片	102	I19		212	91.2		1		
			剥片	100	J19		31	94.7		1		
				97	L22		879	80.7		1		
					L22	I	435	264.0		1		
				97	M22		1439	14.4		1		
Ⅲ-407	316	329	石核		J20	I	9	200.4		1		
			剥片	100	K19		75	17.5		1		
				100	K20		452	8.7		1		
			剥片	100	K19		229	16.9		1		
			剥片	100	K19		460	46.1		1		
			剥片	100	K20		12	10.5		1		
				97	L21		82	87.5		1		
			剥片	100	K20		30	25.8		1		
				100	K20		606	11.2		1		
				98	M20		72	126.4		1		
			剥片	100	K20		252	44.1		1		
				97	M22		933	79.4		1		
			剥片	100	K20		262	29.4		1		
				100	K20		704	16.5		1		
			剥片	100	K20		334	9.0		1		
			剥片	100	K20		359	11.1		1		
				100	K20		360	19.0		1		
				100	K20		378	2.5		1		
Ⅲ-388	306	193	削器		K21	I	6	220.3		1		
			剥片	97	K23		3146	35.3		1		
				98	L20		4	27.7		1		
			剥片	97	L22		717	29.7		1		
				97	M22		185	49.2		1		
			縦長剥片		L22	I	429	102.1		1		
					L22	I	434	22.2		1		
			石刃	97	L23		878	50.5		1		
					七北13~29		3	52.7		1		
			剥片	98	M20		169	28.5		1		
Ⅲ-394	308	247	舟底形石器	98	M21		92	343.6		1		
			石刃	97	M21		146	64.3		1		
				97	M22		1251	38.9		1		
			剥片	97	M21		813	36.7		1		
			剥片	97	M21		995	5.0		1		
			剥片	97	M21		1053	52.3		1		
			剥片	97	M22		614	0.9		1		
			剥片	97	M22		885	256.5		1		
				97	M22		1618	78.5		1		
			剥片	97	M22		1259	78.5		1		
			二次加工ある剥片	97	M22		1466	120.6		1		
			縦長剥片	97	M22		1467	17.2		1		
			石刃	97	M22		1690	26.4		1		
				97	M22		1925	14.2		1		
Ⅲ-474	350	365	接合資料	97·98·99·100				1850.1	64	3·4	1108	4556
			剥片	100	J19		481	84.6		4		
				100	J19		524	3.3		4		
				100	K19		226	10.1		4		
				100	K19		343	14.0		4		
			剥片		J19	I	16	222.2		4		
				100	K19		390	140.9		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	100	J20		117	1.4		3		
			剥片	100	J20		161	3.1		3		
			剥片		J20	I	11	13.5		4		
			剥片	99	J21		157	7.7		4		
					K20	I	17	24.2		4		
				97	M22		1093	57.2		3		
			剥片		J21	I	16	3.4		3		
			剥片		J21	I	17	9.1		3		
			石刃		J22	I	5	6.0		4		
					J22	I	7	1.4		4		
			石刃		J22	I	6	5.8		4		
				97	L22		3103	3.5		4		
					L22	I	26	25.0		4		
Ⅲ-387	305	186	削器	100	K19		333	10.4		4		
Ⅲ-401	312	301	石刃核	100	K20		379	125.4		4		
Ⅲ-391	307	230	舟底形石器		K20	I	9	14.5		4		
				98	M20		28	35.6		4		
			剥片		K21	I	7	3.0		3		
			剥片		K21	I	8	5.7		4		
			剥片		K21	I	9	5.2		4		
			石刃		K21	I	10	1.7		4		
				97	L22		2916	16.5		4		
			剥片		K21	I	11	6.4		4		
			剥片		K21	I	12	8.7		4		
			剥片	97	K22		176	11.6		3		
			剥片	97	K22		538	81.0		3		
			剥片	97	K23		87	0.8		4		
			剥片	97	K23		1146	27.5		4		
			剥片		K23	I	6	2.4		4		
Ⅲ-393	308	242	舟底形石器	98	L20		113	27.7		4		
				98	M20		47	18.1		4		
			剥片	98	L20		122	55.3		3		
Ⅲ-395	309	254	舟底形石器		L20	I	2	12.2		4		
				98	M20		29	36.8		4		
			剥片		L20	I	4	2.5		4		
			石刃	97	L22		152	16.8		4		
			剥片	97	L22		170	19.5		4		
			剥片	97	L22		411	3.7		4		
			剥片	97	L22		1537	22.9		4		
			剥片	97	L22		1912	3.8		4		
			剥片	97	L22		2122	35.0		4		
			石刃	97	L22		2231	10.8		4		
					L22	I	27	7.5		4		
			剥片		L22	I	20	148.4		4		
					L22	I	30	8.1		4		
				97	L23		803	30.7		4		
			剥片		L22	I	21	8.7		4		
					L22	I	24	20.2		4		
			剥片		L22	I	22	74.3		4		
			剥片		L22	I	23	54.6		4		
					L22	I	25	7.8		4		
			剥片		L22	I	28	7.3		4		
			剥片		L22	I	29	21.6		4		
			石刃		L22	I	31	15.1		4		
			剥片	97	L23		1230	26.9		4		
			剥片	97	M21		640	48.5		4		
			剥片	97	M22		970	98.9		4		
			石刃		M22	I	3	13.6		4		
Ⅲ-476	351	366	接合資料	96·97·98·100·102·103·104				2355.8	69	1·3·5	948	4125
			剥片	97	G22		17	36.5		1		
				97	G24		63	3.8		1		
				97	G24		64	2.1		1		
Ⅲ-400	312	295	石刃	99	G22		38	23.1		1		
			剥片	97	G23		35	6.1		1		
			石刃	97	G23		49	10.9		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
Ⅲ-385	304	155	掻器	97	G23		141	13.1		1		
Ⅲ-386	304	170	掻器	97	G23		149	3.8		1		
			剥片		G23	Ⅰ	5	14.3		1		
			剥片	97	G24		1	4.1		1		
			剥片	97	G24		5	4.3		1		
					I23	Ⅰ	6	1.4		1		
			剥片	97	G24		55	78.2		1		
			剥片		G24	Ⅰ	5	20.1		1		
			剥片		G24	Ⅰ	6	11.7		1		
				97	I23		1013	28.2		1		
					J19	Ⅰ	42	30.1		1		
			剥片		G24	Ⅰ	7	6.6		1		
			剥片	104	H17		26	2.7		1		
				104	H17		36	3.8		1		
			剥片		H17	Ⅰ	1	14.0		1		
					H17	Ⅰ	2	0.5		1		
					H17	Ⅰ	3	0.3		1		
Ⅲ-399	311	286	石刃	104	H18		104	17.0		5		
				103	H18		106	4.8		5		
					H18	Ⅱ	1	12.3		5		
Ⅲ-387	305	176	錐形石器	102	H20		10	6.5		5		
			剥片		H20	Ⅰ	1	11.0		1		
			剥片	97	H22		255	159.3		3		
				97	H22		316	12.9		3		
				97	H23		714	4.4		5		
				97	H24		704	6.5		5		
			石刃	97	H23		429	11.8		5		
				97	H23		430	15.6		5		
			剥片		H23	Ⅰ	8	27.3		1		
			剥片	97	H24		541	7.7		5		
				97	I23		324	2.7		1		
			剥片	97	H24		549	10.1		5		
			石刃	97	H24		550	55.4		3		
			剥片	97	H24		551	10.0		5		
			剥片	97	H24		674	4.8		5		
			剥片	97	H24		675	43.5		5		
					ボサ		21	31.8		1		
			石刃	102	I18		57	5.8		5		
			石刃	102	I18		80	5.1		5		
			剥片	102	I18		283	2.3		5		
				97	I23		833	2.8		1		
			剥片	102	I18		322	9.7		5		
			剥片		I19	Ⅰ	2	204.8		1		
			剥片	99	I20		11	46.9		3		
			剥片	99	I20		12	5.2		3		
				96	J25		49	16.9		1		
			剥片	100	I20		16	14.2		3		
			二次加工ある剥片	102	I20		59	30.8		3		
Ⅲ-403	314	307	石刃核		I20	Ⅰ	2	336.1		3		
			剥片		I20	Ⅰ	3	13.0		1		
				100	K19		445	82.9		5		
			剥片	97	I22		144	97.9		1		
					セ北30~51		32	186.9		1		
			剥片	97	I23		9	3.4		1		
			剥片	97	I23		438	6.4		1		
			剥片	97	I23		951	49.9		1		
			剥片	100	J19		450	135.8		5		
			剥片	100	J20		209	5.2		5		
			剥片		J20	Ⅰ	24	2.3		1		
			剥片		J22	Ⅰ	21	18.3		1		
			石刃		J22	Ⅰ	22	6.7		1		
			剥片	100	K19		363	89.4		5		
			剥片	100	K19		475	202.0		5		
Ⅲ-477	351	367	接合資料	97				914.3	25	4	1104	4552
			縦長剥片		J23	Ⅰ	13	50.6		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				97	K23		1017	12.0		4		
				97	K23		2139	12.5		4		
			剥片		J23	Ⅰ	15	33.7		4		
			剥片	97	K23		677	13.5		4		
			二次加工ある剥片	97	K23		695	39.1		4		
			剥片	97	K23		1045	198.2		4		
				97	K23		1206	4.9		4		
				97	K23		3743	7.3		4		
			縦長剥片	97	K23		2066	14.4		4		
				97	L23		1448	41.5		4		
			剥片	97	K23		2224	6.8		4		
			剥片	97	K23		2227	143.9		4		
			剥片	97	K23		2667	72.8		4		
				97	L23		1688	62.4		4		
			縦長剥片	97	K23		2890	10.1		4		
			縦長剥片	97	K23		3520	10.5		4		
				97	K23		3734	37.6		4		
					K23	Ⅰ	7	21.9		4		
			剥片	97	K23		3776	7.1		4		
Ⅲ-391	307	235	舟底形石器	97	K23		3990	22.6		4		
			剥片	97	K23		4258	9.9		4		
			剥片	97	L23		1042	20.9		4		
Ⅲ-390	307	229	舟底形石器	97	L23		1447	32.2		4		
			剥片	97	L23		1670	27.9		4		
Ⅲ-478	352	368	接合資料	97･98				2199.9	40	4	1089	4520
			剥片	97	H23		698	10.8		4		
			二次加工ある剥片	97	H24		130	252.9		4		
			剥片	97	H24		769	512.0		4		
			剥片	97	H24		846	37.0		4		
				97	I23		950	240.9		4		
				97	I23		1010	165.0		4		
			剥片		I22	Ⅰ	2	5.7		4		
			剥片	97	L21		96	17.6		4		
Ⅲ-388	306	194	削器	98	L21		120	452.5		4		
			剥片	97	L21		191	10.3		4		
			剥片	97	L21		405	2.6		4		
Ⅲ-405	315	318	石刃核	97	L21		411	34.1		4		
			剥片	97	L21		507	8.3		4		
			剥片	97	L21		508	15.5		4		
					L22	Ⅰ	63	10.8		4		
			剥片	97	L21		615	78.6		4		
			剥片	97	L21		624	7.4		4		
			剥片		L21	Ⅰ	13	6.4		4		
			剥片	97	L22		178	10.0		4		
			剥片	97	L22		456	32.0		4		
			剥片	97	L22		939	19.7		4		
			剥片	97	L22		959	4.7		4		
			剥片	97	L22		1754	8.1		4		
			剥片	97	L22		2150	8.2		4		
			剥片	97	L22		2158	31.5		4		
			剥片	97	L22		2184	4.0		4		
					L22	Ⅰ	55	6.4		4		
				97	M21		552	31.2		4		
			剥片		L22	Ⅰ	56	10.1		4		
			剥片		L22	Ⅰ	57	5.4		4		
			剥片		L22	Ⅰ	58	6.9		4		
			剥片		L22	Ⅰ	61	64.7		4		
			剥片		L22	Ⅰ	66	1.2		4		
			剥片	97	M21		254	10.8		4		
			剥片	97	M21		380	18.3		4		
			剥片	97	M21		542	7.4		4		
			剥片	97	M21		904	20.3		4		
			剥片	97	M21		930	7.3		4		
			剥片	97	M21		963	19.0		4		
			剥片	97	M22		2060	4.3		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
Ⅲ-479	352	369	接合資料	97･99				1717.1	94	3･4	1079	4498
			二次加工ある剥片		H22	Ⅰ	7	159.1		4		
			剥片	99	I 21		118	9.2		3		
			剥片	99	I 21		234	8.0		3		
			剥片	99	I 21		538	165.9		3		
			剥片	99	I 21		620	5.0		3		
Ⅲ-389	307	220	舟底形石器	99	I 21		945	5.5		4		
			剥片	99	I 21		997	1.7		4		
			剥片	97	J 24		220	21.0		3		
			剥片	97	K23		81	15.9		3		
			剥片	97	K23		187	2.1		4		
			剥片	97	K23		389	20.4		4		
			剥片	97	K23		414	29.6		3		
				97	K23		2319	2.7		3		
			剥片	97	K23		442	32.7		3		
					K23	Ⅰ	26	12.9		4		
				97	L 23		1701	19.9		3		
			剥片	97	K23		656	2.6		4		
			剥片	97	K23		663	0.9		4		
			剥片	97	K23		685	2.7		4		
			剥片	97	K23		703	5.1		4		
			剥片	97	K23		826	13.7		3		
				97	K23		3403	9.7		4		
				97	K23		3759	15.1		3		
			剥片	97	K23		998	8.0		4		
			剥片	97	K23		1051	5.9		4		
				97	K23		2719	4.4		3		
				97	K23		3162	5.8		3		
				97	K23		3786	3.5		3		
				97	L 23		1543	6.5		4		
			剥片	97	K23		1122	1.6		4		
			剥片	97	K23		1156	45.3		4		
			剥片	97	K23		1180	1.9		4		
			剥片	97	K23		1186	86.7		3		
			剥片	97	K23		1356	6.8		4		
			剥片	97	K23		1365	7.0		4		
				97	K23		1420	4.0		4		
					K23	Ⅱ	67	1.6		4		
			剥片	97	K23		1456	5.3		4		
			剥片	97	K23		1487	27.7		4		
			剥片	97	K23		1498	13.7		4		
			剥片	97	K23		1499	9.0		4		
				97	K23		3976	11.8		4		
			剥片	97	K23		1526	2.4		4		
			剥片	97	K23		1537	3.7		4		
			剥片	97	K23		1559	4.2		4		
			剥片	97	K23		1859	15.5		4		
			剥片	97	K23		2111	53.2		4		
			剥片	97	K23		2141	2.9		4		
			剥片	97	K23		2144	3.4		4		
			剥片	97	K23		2145	7.2		4		
				97	K23		3750	21.7		3		
			剥片	97	K23		2332	7.0		4		
				97	K23		3769	6.1		4		
			縦長剥片	97	K23		2362	2.9		4		
				97	K23		4127	5.2		4		
			剥片	97	K23		2382	88.2		4		
				97	K23		3611	5.1		4		
					K23	Ⅱ	66	2.2		4		
			剥片	97	K23		2545	15.0		3		
Ⅲ-397	310	270	舟底形石器	97	K23		2587	14.2		4		
				97	K23		4120	28.6		4		
			剥片	97	K23		2797	1.2		3		
			剥片	97	K23		2852	19.0		3		
			剥片	97	K23		3137	3.9		3		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	97	K23		3251	5.1		3		
			剥片	97	K23		3373	41.9		3		
			剥片	97	K23		3457	2.3		4		
			剥片	97	K23		3531	13.1		4		
			剥片	97	K23		3535	14.1		4		
			剥片	97	K23		3547	15.9		4		
			縦長剥片	97	K23		3554	9.9		4		
			剥片	97	K23		3725	2.9		3		
			剥片	97	K23		3781	57.0		3		
			剥片	97	K23		3971	4.4		4		
			剥片	97	K23		3973	16.4		4		
			剥片	97	K23		4021	4.7		3		
Ⅲ-393	308	244	舟底形石器	97	K23		4162	74.1		4		
Ⅲ-390	307	228	舟底形石器	97	K23		4201	39.8		4		
			剥片	97	K23		4220	13.9		4		
			剥片	97	K23		4232	5.6		4		
			剥片		K23	Ⅰ	11	13.5		4		
			剥片		K23	Ⅰ	28	4.3		4		
			剥片		K23	Ⅰ	59	5.8		4		
			剥片		K23	Ⅰ	60	34.8		4		
			剥片		K23	Ⅰ	74	2.1		4		
			剥片		K23	Ⅱ	63	1.6		4		
			剥片		K23	Ⅱ	64	0.8		4		
			剥片		K23	Ⅱ	65	2.0		4		
			剥片	97	L 23		1419	23.1		3		
			剥片	97	L 23		1451	1.1		3		
			剥片	97	L 23		1533	28.5		4		
			剥片	97	L 23		1561	69.2		4		
			剥片	97	L 23		1765	46.4		3		
			剥片		七北13~29		36	32.1		4		
Ⅲ-482	353	370	接合資料	96･97･98･99･100･102				791.7	87	3･4	1174	4701
			剥片	102	I 19		205	1.8		4		
			剥片		I 19	Ⅰ	3	11.1		4		
					J 20	Ⅰ	33	9.6		4		
			剥片		I 20	Ⅰ	5	2.4		4		
				99	I 21		227	6.2		3		
			剥片	99	I 21		405	41.3		3		
				99	I 21		847	19.9		4		
				100	J 19		326	2.0		4		
Ⅲ-389	306	211	舟底形石器	99	I 21		739	5.6		3		
			剥片	100	J 19		137	0.9		3		
				100	J 19		373	6.7		4		
			剥片	100	J 19		274	0.6		4		
			剥片	100	J 19		456	3.4		4		
			剥片	100	J 20		15	10.4		4		
			剥片	100	J 20		16	3.2		4		
				100	K20		344	24.3		4		
			剥片	100	J 20		23	5.5		4		
				100	K20		640	22.3		4		
			剥片	100	J 20		76	2.9		4		
			剥片	100	J 20		80	2.4		4		
			剥片	100	J 20		84	6.2		4		
			剥片	100	J 20		144	2.2		3		
			舟底形石器	100	J 20		148	24.3		4		
					J 20	Ⅰ	8	49.6		4		
			剥片	100	J 20		165	28.1		3		
				100	J 20		174	1.4		3		
				100	K19		238	30.0		4		
			剥片	100	J 20		181	2.4		4		
			剥片	100	J 20		185	6.0		4		
			剥片	100	J 20		200	3.4		4		
				100	J 20		202	4.2		4		
					J 20	Ⅰ	44	3.0		4		
					J 20	Ⅰ	49	1.7		4		
			剥片		J 20	Ⅰ	32	36.4		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片		J20	I	34	3.0		4		
			剥片		J20	I	35	12.0		4		
			剥片		J20	I	36	7.7		4		
				100	K20		603	8.1		4		
			剥片		J20	I	37	17.7		4		
			剥片		J20	I	38	12.9		4		
			剥片		J20	I	39	3.9		4		
			剥片		J20	I	41	3.4		4		
			剥片		J20	I	42	4.3		4		
				100	K20		463	8.3		3		
			剥片		J20	I	43	4.1		4		
			剥片		J20	I	46	11.5		4		
			剥片		J20	I	47	2.1		4		
			剥片		J20	I	48	3.8		4		
			剥片		J20	I	50	2.6		4		
			剥片		J20	I	51	1.5		4		
			剥片		J20	I	52	5.5		4		
				100	K20		284	11.3		4		
			剥片		J24	I	234	0.9		4		
			剥片		J24	I	266	5.1		4		
			剥片	100	K19		85	4.6		4		
			剥片	100	K19		240	7.5		4		
			剥片	100	K20		2	1.7		4		
			剥片	100	K20		85	16.6		3		
			剥片	100	K20		145	14.4		4		
			剥片	100	K20		148	8.9		4		
			剥片	100	K20		150	40.2		4		
			剥片	100	K20		263	7.8		4		
			剥片	100	K20		283	42.9		4		
			剥片	100	K20		285	12.0		4		
			剥片	100	K20		286	6.2		3		
			剥片	100	K20		350	2.8		3		
			剥片	100	K20		423	6.5		4		
			剥片	100	K20		430	2.9		3		
			剥片	100	K20		520	2.7		4		
			剥片	100	K20		522	2.5		4		
				100	K20		642	3.0		4		
			剥片	100	K20		533	2.9		4		
			剥片	100	K20		539	29.5		4		
			剥片	100	K20		601	2.6		4		
			剥片	100	K20		611	4.1		4		
			剥片	100	K20		706	5.4		4		
				98	M20		131	4.6		3		
			剥片	100	K20		772	5.4		4		
			剥片		K20	I	51	12.3		4		
			剥片		K20	I	52	7.4		4		
			剥片		K20	I	53	0.8		4		
			剥片		K20	II	42	3.3		4		
			剥片		K20	II	43	1.3		4		
			剥片	97	K23		3999	3.0		4		
			剥片	97	K24		3	7.1		4		
			剥片	97	K24		145	6.1		4		
			剥片	96	L23		616	1.6		4		
Ⅲ-484	353	375	接合資料	97･98･100･101				2294.2	77	3･4	1120	4583
			剥片	100	K19		140	13.6		4		
Ⅲ-395	309	255	舟底形石器	100	K19		359	22.3		4		
				97	M22		1525	46.8		4		
Ⅲ-397	310	268	舟底形石器		K19	I	4	170.0		4		
			剥片	97	K22		264	47.7		3		
			剥片	101	L19		445	27.1		4		
				101	L19		448	0.7		4		
				101	L19		459	28.3		4		
				97	L21		510	14.3		4		
				97	L22		926	7.2		4		
				97	L22		1523	22.8		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
					L22	I	88	19.9		4		
			剥片	97	L21		7	9.5		4		
			剥片	97	L21		367	15.5		4		
			剥片	97	L21		635	12.5		4		
			剥片	97	L22		49	8.0		4		
			剥片	97	L22		310	102.2		4		
				97	L22		1583	3.8		4		
			剥片	97	L22		447	9.8		4		
				97	M22		680	100.3		3		
			剥片	97	L22		648	86.9		4		
			剥片	97	L22		697	22.6		4		
				97	M22		684	15.9		3		
			剥片	97	L22		710	48.7		4		
				97	M22		413	72.0		3		
			剥片	97	L22		799	4.4		4		
			剥片	97	L22		836	10.1		4		
			剥片	97	L22		1057	39.7		4		
			剥片	97	L22		1174	15.4		4		
			剥片	97	L22		1275	31.6		4		
			剥片	97	L22		1277	15.4		4		
				97	M22		1452	3.4		3		
			剥片	97	L22		1410	37.5		4		
			剥片	97	L22		1452	2.3		4		
			剥片	97	L22		1554	9.4		4		
				97	M22		1709	7.1		3		
			剥片	97	L22		1881	6.7		4		
			剥片	97	L22		1957	7.1		4		
			剥片	97	L22		2160	149.6		4		
				97	M22		1651	22.1		3		
			剥片	97	L22		2271	7.1		4		
			剥片	97	L22		2420	2.7		4		
			剥片	97	L22		2489	18.7		4		
			剥片	97	L22		2729	13.2		4		
			剥片	97	L22		2813	4.1		4		
			剥片	97	L22		3216	23.5		4		
					L22	I	90	13.4		4		
			剥片		L22	I	39	74.3		3		
			剥片		L22	I	82	84.9		4		
					L22	I	91	3.0		4		
			剥片		L22	I	83	77.6		4		
			剥片		L22	I	85	58.7		4		
			剥片		L22	I	89	18.3		4		
			剥片		L22	I	92	3.7		4		
			剥片		L22	I	95	4.3		4		
				97	M22		1027	5.6		3		
			剥片		L22	I	96	3.0		4		
			剥片	97	L23		1084	28.9		4		
Ⅲ-391	307	234	舟底形石器	98	M20		123	20.8		4		
			剥片	97	M21		257	36.7		4		
			剥片	97	M21		423	9.1		4		
			剥片	97	M22		415	16.9		3		
			剥片	97	M22		418	11.9		3		
			剥片	97	M22		421	9.7		3		
			剥片	97	M22		580	10.2		3		
			剥片	97	M22		650	6.9		3		
			剥片	97	M22		852	10.3		3		
			剥片	97	M22		959	47.0		3		
			剥片	97	M22		1032	45.3		3		
			剥片	97	M22		1066	24.0		3		
			剥片	97	M22		1141	30.9		3		
			剥片	97	M22		1246	12.4		3		
			剥片	97	M22		1522	10.9		3		
			剥片	97	M22		1780	124.0		3		
			剥片	97	M22		1817	21.6		3		
			剥片	97	M22		1974	28.8		3		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	97	N21		162	81.6		4		
Ⅲ-487	354	376	接合資料	101				330.6	29	4	1186	4744
			剥片	101	L 18		179	22.0		4		
			剥片	101	L 18		304	2.3		4		
			剥片	101	L 19		40	11.5		4		
			剥片		L 19	I	13	12.7		4		
			剥片	101	M18		19	9.8		4		
				101	M18		1425	19.9		4		
					O20	I	1	2.5		4		
			剥片	101	M18		262	3.1		4		
			剥片	101	M18		788	7.9		4		
			剥片	101	M18		954	9.0		4		
			剥片	101	M18		1279	22.6		4		
			剥片	101	M19		118	4.8		4		
			剥片	101	M19		121	8.0		4		
			剥片	101	M19		171	2.0		4		
			剥片	101	M19		216	22.0		4		
			剥片	101	M19		393	4.2		4		
				101	N18		1117	7.8		4		
			剥片	101	M19		530	2.6		4		
			剥片		M19	I	11	8.7		4		
			剥片	101	M20		5	3.2		4		
			剥片	101	N18		379	53.1		4		
			剥片	101	N18		538	6.6		4		
			剥片	101	N18		982	3.4		4		
			剥片	101	N19		17	52.5		4		
			剥片	101	N19		37	3.0		4		
			剥片		N19	I	3	11.4		4		
			剥片	101	N20		33	5.3		4		
			剥片		N20	I	2	6.5		4		
			剥片	101	O19		63	2.2		4		
Ⅲ-487	354	377	接合資料	97				140.7	6	4	1091	4522
			剥片	97	K22		567	11.4		4		
				97	L 22		2654	18.3		4		
Ⅲ-393	308	243	舟底形石器	97	K22		788	53.4		4		
			剥片	97	K23		2437	42.9		4		
			剥片	97	L 22		788	9.6		4		
			剥片	97	L 22		2041	5.1		4		
Ⅲ-488	354	378	接合資料	104				2570.5	61	1	1191	4752
			剥片	104	I 15		71	27.2		1		
			剥片	104	I 15		119	2.9		1		
				104	J 15		295	47.9		1		
			剥片	104	I 15		136	2.0		1		
				104	J 15		109	135.7		1		
			剥片	104	I 15		144	13.1		1		
			剥片	104	I 15		155	20.0		1		
				104	J 15		389	5.7		1		
			剥片	104	I 15		188	9.8		1		
				104	J 15		34	96.0		1		
				104	J 15		155	28.5		1		
				104	J 15		365	159.2		1		
			剥片	104	I 15		280	6.0		1		
				104	I 15		428	14.8		1		
				104	J 15		7	9.0		1		
				104	J 15		74	26.5		1		
				104	J 15		93	43.7		1		
			剥片	104	I 15		286	3.3		1		
				104	I 15		361	9.6		1		
				104	J 15		38	23.2		1		
				104	J 15		260	5.0		1		
				104	J 15		508	8.5		1		
Ⅲ-388	305	189	削器	104	I 15		331	47.5		1		
				104	J 15		436	19.4		1		
			剥片	104	I 15		339	11.3		1		
				104	J 15		516	64.7		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	104	I 15		370	3.5		1		
			剥片	104	I 15		371	12.6		1		
				104	J 15		248	9.2		1		
			剥片		I 15	I	4	29.4		1		
				104	J 15		453	7.6		1		
			剥片	104	J 15		10	10.5		1		
			剥片	104	J 15		58	6.1		1		
			剥片	104	J 15		119	13.4		1		
			剥片	104	J 15		128	77.2		1		
			剥片	104	J 15		131	10.5		1		
				104	J 15		394	17.2		1		
			剥片	104	J 15		140	241.3		1		
			剥片	104	I 15		166	111.3		1		
				104	J 15		400	20.7		1		
Ⅲ-379	300	52	両面調整石器	104	J 15		170	537.2		1		
			剥片	104	J 15		188	10.1		1		
				104	J 15		226	20.4		1		
			剥片	104	J 15		191	24.3		1		
			剥片	104	J 15		193	7.0		1		
			剥片	104	J 15		194	13.5		1		
				104	J 15		204	2.2		1		
			剥片	104	J 15		247	11.7		1		
				104	J 15		280	204.1		1		
				104	J 15		334	29.2		1		
			剥片	104	J 15		308	21.8		1		
				104	J 15		320	21.3		1		
			剥片	104	J 15		348	5.7		1		
			剥片	104	J 15		381	11.6		1		
				104	J 15		449	99.3		1		
			剥片	104	J 15		399	6.5		1		
			剥片	104	J 15		405	19.8		1		
			縦長剥片	104	J 15		452	15.9		1		
			剥片	104	J 15		471	6.0		1		
			剥片	104	J 15		521	84.5		1		
			剥片	104	K17		36	7.4		1		
Ⅲ-489	355	379	接合資料	97				649.0	17	4	1074	4480
			剥片		K22	I	9	18.0		4		
			剥片	97	L 21		300	18.7		4		
			剥片		L 21	I	14	22.4		4		
			剥片	97	L 22		970	49.8		4		
			剥片	97	L 22		1497	50.6		4		
			剥片	97	L 22		1759	17.0		4		
					L 22	I	71	4.0		4		
				97	M21		4	12.2		4		
			剥片	97	L 22		2370	85.0		4		
			剥片	97	L 22		2458	12.7		4		
				97	L 22		2621	3.3		4		
			剥片		L 22	I	48	90.0		4		
			剥片		L 22	I	49	70.1		4		
			剥片		L 22	I	72	10.9		4		
Ⅲ-407	316	328	石核	97	M21		656	122.9		4		
			剥片	97	M21		1024	44.8		4		
			剥片	97	M22		1007	16.6		4		
Ⅲ-490	355	380	接合資料	101				29.1	4	3･4	−	5951
			尖頭器	101	L 17		113	13.8		4		
Ⅲ-375	296	36	尖頭器削片	101	L 17		114	1.9		4		
				101	L 17		124	3.9		4		
Ⅲ-374	295	26	尖頭器	101	M17		147	9.5		3		
Ⅲ-490	355	381	接合資料	98･101				156.5	5	1	−	5822
Ⅲ-375	297	40	尖頭器削片	101	K19		188	31.9		1		
Ⅲ-375	297	41	尖頭器削片	101	K19		189	31.5		1		
Ⅲ-374	296	30	尖頭器	101	L 19		422	33.8		1		
Ⅲ-374	296	31	尖頭器	101	L 19		496	35.9		1		
Ⅲ-375	296	37	尖頭器削片	98	M21		282	23.4		1		
Ⅲ-491	355	382	接合資料	97･100･101				676.5	23	1	1039	4349

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
－	318	393	尖頭器		J 20	I	1	70.9		1		
			剥片	100	K20		338	3.5		1		
			剥片	100	K20	I	46	10.9		1		
			剥片	97	K22		532	10.1		1		
			剥片	97	K22		551	3.1		1		
			剥片	97	K22		681	110.2		1		
				97	L22		1911	30.5		1		
			剥片	97	K23		972	28.9		1		
			剥片	97	K23		3170	2.5		1		
Ⅲ-374	296	32	尖頭器	101	L19		495	86.7		1		
－	319	400	尖頭器削片		L21	I	41	15.8		1		
			剥片	97	L22		16	45.4		1		
			剥片	97	L22		122	4.9		1		
			剥片	97	L22		683	19.8		1		
				97	L22		2662	10.9		1		
				97	L23		861	3.5		1		
				97	L23		1430	9.3		1		
			剥片	97	L22		1531	109.2		1		
				97	N21		4	20.8		1		
			剥片	97	L23		1104	30.7		1		
			剥片	97	M21	I	5	9.3		1		
				97	M22	I	19	33.5		1		
			剥片	97	M22		512	6.1		1		
－	356	512	接合資料	97				548.6	7	1	972	4197
Ⅲ-375	296	34	尖頭器	97	H22		390	179.5		1		
－	319	399	尖頭器削片	97	H23		170	43.3		1		
				97	J 24		1323	72.1		1		
－	318	394	尖頭器	97	H23		363	102.3		1		
			剥片	97	I 24		1221	114.4		1		
			剥片	97	I 25		130	24.8		1		
			剥片	97	J 24		1649	12.2		1		
－	358	514	接合資料	97･99･100				824.8	38	3･4	1087	4508
			剥片	99	I 21		341	13.1		3		
Ⅲ-374	296	33	尖頭器		I 21	I	1	163.7		4		
－	319	401	尖頭器削片		J 22	I	13	16.2		4		
			剥片	97	J 24		425	2.6		4		
			剥片	97	J 24		523	4.0		3		
					J 24	I	62	3.5		4		
					K24	I	20	48.6		4		
			剥片	97	J 24		1328	12.3		4		
			剥片		J 24	I	48	14.2		4		
					J 24	I	50	7.4		4		
			剥片		J 24	I	58	10.6		4		
				97	K23		3495	25.0		3		
			剥片		J 24	I	60	2.7		4		
			剥片		J 24	I	71	2.4		4		
					K24	I	26	132.1		4		
			剥片		J 24	I	150	16.6		4		
－	318	398	尖頭器削片		K19	I	8	1.5		3		
				100	K20		496	14.2		3		
			剥片	99	K21		175	45.4		4		
			剥片	97	K23		642	3.1		4		
				97	K24		132	6.5		4		
			剥片	97	K23		2392	2.4		3		
			剥片	97	K23		2494	33.4		3		
			剥片	97	K23		2799	4.5		3		
				97	K23		3478	20.8		3		
			剥片		K23	I	22	3.8		4		
			剥片	97	K24		15	20.2		3		
				97	K24		787	22.1		3		
			剥片	97	K24		678	18.1		3		
					K24	I	30	4.4		4		
			剥片	97	K24		1123	37.3		4		
				97	K24		1248	46.7		3		
				97	K24		2216	19.3		3		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				97	L23		1320	10.1		4		
			剥片	97	K24		1372	6.4		3		
			剥片	97	K24		1539	5.5		3		
			剥片		K24	I	19	9.4		4		
			剥片	97	L23		306	14.7		4		
－	357	513	接合資料	97				1136.7	31	4	1121	4584
－	318	395	尖頭器	97	L22		700	170.1		4		
			剥片	97	L22		868	8.2		4		
－	323	457	縦長剥片	97	L22		901	25.6		4		
				97	M22		1480	87.9		4		
－	323	458	縦長剥片	97	L22		1849	38.8		4		
			剥片	97	L22		2019	14.3		4		
			剥片	97	L22		2300	93.2		4		
			剥片	97	L22		2580	24.8		4		
			剥片		L22	I	120	15.8		4		
			剥片		L22	I	123	31.8		4		
				97	M22		2037	63.7		4		
			剥片		L22	I	124	16.6		4		
			剥片		L22	I	125	21.2		4		
					L22	I	148	7.0		4		
			縦長剥片		L22	I	127	45.8		4		
			縦長剥片		L22	I	130	22.3		4		
			剥片		L22	I	141	5.4		4		
			剥片		L22	I	147	6.3		4		
			剥片	97	L23		810	42.6		4		
Ⅲ-405	315	322	石刃核	97	M21		1017	85.6		4		
			剥片	97	M22		180	5.0		4		
				97	M22		1723	2.9		4		
			剥片	97	M22		463	20.8		4		
			剥片	97	M22		796	25.4		4		
			剥片	97	M22		1092	32.7		4		
			剥片	97	M22		1412	92.1		4		
				97	N21		98	7.2		4		
			剥片	97	M22		1526	40.9		4		
					M22	I	7	24.9		4		
			縦長剥片	97	M22		1542	30.9		4		
			剥片		M22	I	8	26.9		4		
Ⅲ-493	356	386	接合資料	100				63.5	3	3	－	5837
Ⅲ-385	303	129	彫器削片	100	J 19		309	21.8		3		
Ⅲ-384	303	125	彫器	100	K19		137	21.5		3		
Ⅲ-384	303	124	彫器	100	K19		231	20.2		3		
Ⅲ-494	356	387	接合資料	99･101				15.1	3	頁	1220	5801
Ⅲ-375	297	44	尖頭器削片	99	H22		47	3.9		頁		
Ⅲ-375	297	43	尖頭器削片	99	I 21		514	6.9		頁		
Ⅲ-387	305	182	錐形石器	101	M18		77	4.3		頁		
Ⅲ-494	356	388	接合資料	99				19.9	3	頁	1220	5843
			剥片	99	J 21		134	5.0		頁		
Ⅲ-384	303	118	彫器		J 21	I	1	12.0		頁		
Ⅲ-387	305	181	錐形石器	99	K21		157	2.9		頁		
Ⅲ-495	357	389	接合資料	101				393.0	4	1･5	1158	4663
			縦長剥片	101	M18		862	21.8		1		
			縦長剥片	101	M18		1249	73.3		1		
			縦長剥片	101	M18		1853	101.7		1		
Ⅲ-404	314	312	石刃核	101	N18		1120	196.2		5		
Ⅲ-495	358	390	接合資料	101				112.3	3	1	－	5823
－	318	392	尖頭器	101	L18		528	78.0		1		
				101	M17		157	28.4		1		
－	318	397	尖頭器削片	101	M18		876	5.9		1		
Ⅲ-495	358	391	接合資料	101				4.8	2	4	1179	4719
Ⅲ-389	306	197	舟底形石器		L19	I	4	2.4		4		
Ⅲ-375	297	42	尖頭器削片	101	M18		2409	2.4		4		
－	359	515	接合資料	97･99				2995.8	46	1	962	4157
			剥片	99	G21		2	103.3		1		
－	318	396	尖頭器	99	G21		75	113.8		1		
				99	J 21		430	507.1		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	99	H20		2	6.3		1		
				99	I 21		720	8.8		1		
			剥片	99	H21		17	7.9		1		
				99	J 20		213	22.9		1		
			剥片	99	H21		18	140.1		1		
			剥片	99	H21		30	34.1		1		
				99	J 21		444	17.8		1		
				99	J 21		445	16.8		1		
			剥片	99	H21		59	24.6		1		
			剥片	99	H21		61	6.6		1		
			剥片		H21	I	4	24.0		1		
				99	J 21		308	17.8		1		
				99	J 21		578	6.8		1		
			剥片	99	I 21		223	13.6		1		
				99	J 21		434	87.4		1		
			剥片	99	I 21		604	17.3		1		
			剥片	99	I 21		855	45.7		1		
				99	J 20		215	52.3		1		
				99	J 21		436	31.9		1		
			剥片	97	I 23		820	4.5		1		
				99	J 21		302	34.4		1		
			剥片	99	J 20		169	31.4		1		
				99	J 21		566	30.6		1		
			剥片	99	J 20		214	97.2		1		
			剥片	99	J 21		7	45.2		1		
			剥片	99	J 21		10	490.3		1		
			剥片	99	J 21		298	28.2		1		
			剥片	99	J 21		310	30.8		1		
			剥片	99	J 21		416	14.1		1		
			剥片	99	J 21		425	10.2		1		
				99	J 21		556	9.3		1		
			剥片	99	J 21		431	50.4		1		
			剥片	99	J 21		441	41.7		1		
				99	J 21		442	17.9		1		
			剥片	99	J 21		554	14.0		1		
			剥片	99	J 21		555	7.9		1		
			剥片	99	J 21		569	38.1		1		
			剥片	99	J 21		582	5.6		1		
			剥片	99	J 21		660	9.9		1		
			剥片	99	J 21		661	7.1		1		
			剥片	99	J 21		858	89.6		1		
			剥片		七北13~29		5	153.4		1		
			剥片		七北13~29		35	427.1		1		
－	360	516	接合資料	96･97･99･101				3606.3	117	1	1022	4300
			剥片		I 22	I	26	4.7		1		
			剥片	97	J 23		691	2.4		1		
			剥片		J 23	I	24	14.3		1		
				97	J 24		722	42.3		1		
					J 24	I	115	4.7		1		
					J 24	I	116	18.7		1		
				97	K23		219	59.8		1		
				97	K23		225	41.5		1		
				97	K23		235	69.7		1		
				97	K23		2503	2.8		1		
				97	K23		2510	191.3		1		
				97	L23		299	27.1		1		
			剥片	97	J 24		71	21.5		1		
			剥片	97	J 24		274	6.3		1		
				97	K23		877	4.3		1		
					K24	I	63	26.0		1		
			剥片	97	J 24		339	32.1		1		
			剥片	97	J 24		491	14.2		1		
				97	L23		1494	2.7		1		
			剥片	97	J 24		505	13.6		1		
				97	J 24		664	18.3		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				97	K23		157	3.7		1		
				97	K23		3229	3.2		1		
			剥片		J 24	I	117	114.6		1		
					J 24	I	118	73.6		1		
					J 24	I	248	127.4		1		
				97	K23		624	55.8		1		
				97	K23		771	249.0		1		
				97	K23		1014	48.0		1		
				97	K23		2757	48.9		1		
					K23	I	45	162.5		1		
				97	L23		122	1.7		1		
				97	L23		1414	9.2		1		
				97	L23		1565	213.3		1		
				97	L23		1727	3.1		1		
			剥片	101	K19		328	179.2		1		
			剥片	99	K21		170	58.2		1		
			剥片		K22	I	45	10.3		1		
			剥片	97	K23		14	4.6		1		
				97	K23		1730	2.9		1		
			剥片	97	K23		188	19.3		1		
			剥片	97	K23		252	17.1		1		
			剥片	97	K23		268	31.3		1		
				97	K23		3367	2.3		1		
			剥片	97	K23		310	5.6		1		
			剥片	97	K23		400	32.7		1		
				97	K23		1731	7.9		1		
					K23	I	56	16.0		1		
			剥片	97	K23		528	15.8		1		
			剥片	97	K23		540	11.3		1		
			剥片	97	K23		564	15.0		1		
				97	K23		2222	20.1		1		
			剥片	97	K23		577	24.3		1		
				97	K23		1127	4.1		1		
			剥片	97	K23		596	11.2		1		
			剥片	97	K23		619	11.6		1		
				97	K23		2528	6.6		1		
				97	L23		1709	2.8		1		
			剥片	97	K23		649	2.9		1		
			剥片	97	K23		760	27.2		1		
			剥片	97	K23		777	49.9		1		
				97	K23		2449	13.0		1		
			剥片	97	K23		996	14.5		1		
				97	K23		2314	3.8		1		
					K24	I	68	11.1		1		
			剥片	97	K23		1002	26.5		1		
			剥片	97	K23		1032	19.0		1		
			剥片	97	K23		1135	5.7		1		
				97	K24		1029	4.8		1		
			剥片	97	K23		1137	44.7		1		
			剥片	97	K23		1229	18.5		1		
					K23	I	46	26.4		1		
				97	K24		1013	53.0		1		
			剥片	97	K23		1233	28.9		1		
			剥片	97	K23		1534	14.4		1		
			剥片	97	K23		1550	67.9		1		
				97	K23		2072	30.5		1		
				97	K23		2280	55.9		1		
			剥片	97	K23		1575	1.7		1		
			剥片	97	K23		1654	4.8		1		
				97	K23		3591	14.5		1		
			剥片	97	K23		1802	40.4		1		
					K24	I	61	3.5		1		
			剥片	97	K23		1851	55.8		1		
			剥片	97	K23		1888	1.1		1		
				97	K23		2387	5.0		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	97	K23		2076	33.2		1		
			剥片	97	K23		2124	4.7		1		
			剥片	97	K23		2170	10.8		1		
				97	K23		2267	26.5		1		
				97	K23		3377	26.9		1		
				97	L23		1761	34.0		1		
			剥片	97	K23		2275	2.2		1		
			剥片	97	K23		2295	3.2		1		
			剥片	97	K23		2551	60.6		1		
					K24	I	71	11.0		1		
			剥片	97	K23		2743	1.4		1		
					K24	I	93	0.8		1		
			剥片	97	K23		3151	14.5		1		
			剥片	97	K23		3158	47.9		1		
			剥片	97	K23		3472	3.1		1		
			剥片		K23	I	47	27.5		1		
			剥片		K23	I	52	12.2		1		
			剥片		K23	I	89	11.7		1		
				97	L23		1745	52.6		1		
			剥片		K23	I	90	9.6		1		
			剥片	97	K24		906	5.1		1		
			剥片		K24	I	85	31.4		1		
			剥片	97	L23		131	106.6		1		
			剥片	96	L23		294	12.4		1		
			剥片	97	L23		323	62.3		1		
			剥片	97	L23		577	7.5		1		
			剥片	97	L23		604	5.4		1		
			剥片	97	L23		761	68.4		1		
			剥片	97	L23		1166	19.5		1		
			剥片	97	L23		1682	2.5		1		
			剥片	97	L23		1755	2.9		1		
－	361	517	接合資料	97･98･100				5277.4	88	4	1112	4563
			剥片		J19	I	22	133.5		4		
					J20	I	23	284.8		4		
				100	K20		498	48.3		4		
			剥片		J19	I	23	664.0		4		
				97	K23		1160	57.0		4		
				97	L22		1577	8.7		4		
				97	L22		1943	12.6		4		
				97	L22		1944	7.6		4		
			剥片	100	J20		94	14.1		4		
				100	K20		444	4.5		4		
				97	L22		1762	32.2		4		
			剥片	100	K20		71	27.9		4		
			剥片	100	K20		260	23.1		4		
				100	K20		440	698.2		4		
				100	K20		673	35.2		4		
				97	K23		344	2.0		4		
				97	L22		1916	7.2		4		
Ⅲ-370	293	14	尖頭器	100	K20		299	26.7		4		
			剥片	100	K20		319	78.5		4		
				100	K20		340	140.2		4		
					K20	I	33	7.3		4		
			剥片	100	K20		480	84.9		4		
					K20	I	32	58.9		4		
				98	M20		115	1050.5		4		
			剥片	97	K22		174	29.1		4		
			剥片	97	K22		299	10.7		4		
				97	L22		923	3.1		4		
					L22	I	54	2.3		4		
			剥片	97	K22		341	14.4		4		
			剥片	97	K22		728	4.0		4		
				97	K23		1203	1.4		4		
			剥片		K22	I	7	5.2		4		
				97	K23		2758	12.9		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				97	K23		3407	5.5		4		
			剥片		K22	I	8	5.8		4		
			剥片	97	K23		517	14.6		4		
					L21	I	8	142.9		4		
				97	L22		729	69.7		4		
					L22	I	51	73.5		4		
				97	M22		54	21.7		4		
			剥片	97	K23		1678	4.5		4		
				97	K23		1867	2.4		4		
				97	M21		24	5.1		4		
				97	M21		827	2.3		4		
			剥片	97	K23		2869	5.6		4		
				97	L22		2669	10.4		4		
				97	L23		381	3.6		4		
				97	L23		779	1.6		4		
			剥片	97	K23		3171	20.7		4		
			剥片	97	K23		3177	78.3		4		
				97	K23		4018	33.7		4		
			剥片	97	K23		3381	3.1		4		
			剥片		K23	I	13	15.7		4		
			剥片	97	L21		264	5.0		4		
			剥片	97	L21		380	1.9		4		
				97	L21		568	6.6		4		
			剥片	97	L21		393	6.9		4		
			剥片		L21	I	9	4.3		4		
			剥片		L21	I	10	3.2		4		
				97	M22		1298	4.0		4		
			剥片		L21	I	11	7.3		4		
			剥片	97	L22		60	72.4		4		
					L22	I	53	19.7		4		
				97	M22		1217	96.2		4		
			剥片	97	L22		600	172.5		4		
				97	L22		2622	5.1		4		
			剥片	97	L22		1503	4.3		4		
					L22	I	52	14.7		4		
			剥片	97	L22		1661	10.3		4		
				97	L23		1200	4.8		4		
			剥片	97	L22		1891	8.2		4		
					L22	I	60	5.3		4		
			剥片	97	L22		1904	87.9		4		
			剥片	97	L22		2788	4.9		4		
			剥片	97	L22		3180	1.4		4		
			剥片		L22	I	59	3.5		4		
			剥片		L22	I	68	3.0		4		
			剥片	97	L23		183	2.0		4		
			剥片	97	L23		202	8.3		4		
			剥片	97	L23		788	4.4		4		
			剥片	97	M21		470	2.0		4		
			縦長剥片	97	M21		658	99.6		4		
			剥片	97	M21		1062	4.7		4		
			剥片	97	M22		545	6.3		4		
			剥片	97	M22		1729	34.2		4		
			剥片	97	M22		2027	215.1		4		
				97	M22		2028	231.3		4		
				97	M22		2083	4.4		4		
－	362	518	接合資料	97				1869.6	13	1･5	1137	4619
Ⅲ-378	299	50	両面調整石器	97	K22		762	205.1		5		
				97	M21		1025	650.4		5		
			剥片	97	L21		477	124.0		1		
				97	L22		2013	53.1		1		
			剥片	97	L22		1236	119.5		5		
			剥片	97	L22		1666	91.9		5		
			剥片	97	L22		3160	7.4		1		
			剥片	97	M21		41	178.0		5		
			剥片	97	M21		647	30.1		5		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	97	M22		972	13.4		1		
				97	M22		1532	2.3		5		
			剥片	97	M22		1623	109.2		5		
			剥片	97	M22		2014	285.2		5		
－	362	519	接合資料	96･97･100				1334.7	46	1	991	4231
			剥片		H22	I	8	66.5		1		
				100	K20		195	6.4		1		
				97	K23		3338	3.6		1		
			剥片	97	I 24		415	8.4		1		
				97	K24		1531	108.1		1		
			剥片	97	J 23		905	14.7		1		
					J 24	I	164	16.6		1		
			剥片	97	J 24		330	5.7		1		
			剥片	97	J 24		378	3.2		1		
			剥片	97	J 24		431	15.0		1		
				97	K24		1528	6.9		1		
			剥片	97	J 24		605	10.0		1		
				97	K24		1391	2.6		1		
			剥片	97	J 24		744	26.0		1		
			剥片	97	J 24		1464	17.7		1		
			剥片		J 24	I	151	140.1		1		
			剥片		J 24	I	152	102.6		1		
			剥片		J 24	I	153	44.4		1		
			剥片		J 24	I	156	18.1		1		
			剥片		J 24	I	158	18.4		1		
			剥片		J 24	I	159	10.6		1		
					J 24	I	206	9.4		1		
			剥片		J 24	I	163	47.9		1		
			剥片		J 24	I	166	27.4		1		
					K24	I	74	30.0		1		
			剥片		J 24	I	194	5.6		1		
			剥片		J 24	I	217	3.0		1		
				97	K23		1332	5.2		1		
				97	K24		1750	12.9		1		
			剥片	97	J 25		60	25.8		1		
			剥片	97	K23		46	88.2		1		
			剥片	97	K23		602	33.5		1		
			剥片	97	K23		603	8.0		1		
			剥片	97	K23		2794	94.8		1		
				96	L 23		1026	147.9		1		
			剥片	97	K23		2970	5.7		1		
			剥片		K23	I	80	12.5		1		
			剥片	97	K24		384	12.3		1		
			剥片	97	K24		404	1.9		1		
			剥片	97	K24		662	15.1		1		
			剥片	97	K24		1880	44.8		1		
			剥片	97	K24		2238	10.0		1		
			剥片	97	K24		2263	4.4		1		
			剥片	97	K24		2297	14.0		1		
				97	K24		2365	3.6		1		
			剥片		K24	I	73	25.2		1		
－	363	520	接合資料	99				5417.1	46	3･4	1109	4557
			剥片	99	I 21		381	110.2		3		
				99	J 21		583	64.1		4		
				99	J 21		585	18.4		4		
			剥片	99	I 21		712	31.6		4		
				99	I 21		853	15.1		4		
				99	J 21		712	255.4		4		
			剥片	99	I 21		938	20.8		4		
				99	J 21		211	10.7		4		
				99	J 21		305	1.8		4		
				99	J 21		424	1.6		4		
				99	J 21		576	1.1		4		
				99	J 21		586	46.4		4		
				99	J 21		673	23.5		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				99	J 21		861	9.7		4		
			剥片	99	I 21		1047	54.1		4		
				99	J 21		574	7.2		4		
			剥片	99	J 20		170	140.7		4		
				99	J 21		426	3.8		4		
			剥片	99	J 21		128	70.5		4		
				99	J 21		301	8.0		4		
				99	J 21		314	20.2		4		
				99	J 21		557	2.9		4		
				99	J 21		577	7.5		4		
				99	J 21		587	3.7		4		
				99	J 21		588	36.0		4		
				99	J 21		668	55.4		4		
				99	J 21		671	2.9		4		
					七北13~29		9	1334.0		4		
					ボサ		26	641.6		4		
			剥片	99	J 21		315	8.1		4		
				99	J 21		420	121.6		4		
				99	J 21		714	15.9		4		
			剥片	99	J 21		422	1.3		4		
			剥片	99	J 21		432	1.4		4		
			剥片	99	J 21		435	1.7		4		
				99	J 21		664	7.8		4		
			剥片	99	J 21		440	270.9		4		
			剥片	99	J 21		542	54.4		4		
				99	J 21		547	104.8		4		
			剥片	99	J 21		561	4.6		4		
			剥片	99	J 21		575	10.4		4		
			剥片	99	J 21		589	7.8		4		
				99	J 21		720	4.5		4		
			剥片	99	J 21		669	203.8		4		
－	319	403	両面調整石器	99	J 21		670	1555.3		3		
			剥片	99	J 21		862	43.9		4		
－	364	521	接合資料	100･101				3262.8	71	1･5	1153	4652
			剥片	100	K18		105	16.2		1		
					K18	I	7	21.3		1		
			剥片	101	K18		178	3.6		1		
Ⅲ-399	311	285	石刃	101	K19		126	15.3		1		
			石刃	101	L 17		107	1.4		1		
			剥片	101	L 18		204	4.0		1		
			石刃	101	L 18		214	6.4		1		
					L 18	I	57	5.3		1		
			石刃	101	L 18		232	2.7		1		
				101	L 18		446	11.0		1		
				101	M18		566	1.2		1		
			縦長剥片	101	L 18		292	7.4		1		
				101	N18		399	7.3		1		
			石刃	101	L 18		325	2.6		1		
				101	L 18		331	5.2		1		
			石刃	101	L 18		351	5.6		1		
			剥片	101	L 18		425	21.4		1		
			剥片	101	L 18		522	19.3		1		
－	329	507	石核		L 18	I	3	995.5		1		
			剥片		L 18	I	11	820.0		1		
				101	M18		1645	2.2		1		
					M18	I	43	16.0		1		
				101	N20		11	13.1		1		
			剥片		L 18	I	12	17.5		1		
			剥片		L 18	I	49	14.3		1		
				101	M18		1870	122.8		1		
			石刃		L 18	I	52	1.4		1		
			剥片		L 18	I	54	40.7		1		
			剥片		L 18	I	55	7.9		1		
			剥片		L 18	I	56	5.9		1		
			剥片		L 18	Ⅱ	51	1.9		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			石核	101	L19		70	255.1		5		
					M18	Ⅱ	48	2.1		1		
			剥片	101	L19		347	44.4		1		
			石刃	101	M17		91	4.7		1		
			剥片	101	M18		152	176.9		1		
			剥片	101	M18		337	3.6		5		
			石刃	101	M18		505	1.0		1		
			剥片	101	M18		517	53.6		1		
				101	M18		1338	2.2		1		
				101	N18		923	58.9		1		
－	325	476	石刃核	101	M18		572	73.8		5		
			剥片	101	M18		840	8.3		1		
				101	M18		923	78.4		1		
			石刃	101	M18		882	2.4		1		
			石刃	101	M18		959	7.9		1		
			石刃	101	M18		1015	4.5		1		
			剥片	101	M18		1341	7.3		1		
			剥片	101	M18		1578	20.0		1		
			石刃	101	M18		1724	5.0		1		
				101	M18		2549	12.1		1		
			剥片	101	M18		1868	12.2		1		
				101	M18		2148	3.6		1		
				101	M18		2483	4.6		1		
				101	N18		840	11.8		1		
			剥片	101	M18		2010	8.5		1		
				101	N18		2	21.2		1		
			剥片	101	M18		2032	23.4		1		
			剥片	101	M18		2140	7.8		1		
				101	M18		2142	6.8		1		
			剥片	101	M18		2278	7.5		5		
			石刃	101	M18		2466	2.9		1		
			剥片		M18	Ⅰ	44	59.0		1		
			石刃	101	M19		446	1.7		1		
			剥片		M19	Ⅱ	21	0.6		1		
			剥片	101	N18		305	9.0		1		
			剥片	101	N18		487	2.9		1		
			剥片	101	N18		812	2.3		1		
			石刃	101	N18		964	10.0		1		
			剥片	101	N18		987	12.1		1		
				101	N18		1069	16.3		1		
－	364	522	接合資料	101				568.3	17	1	1151	4648
			剥片		K18	Ⅰ	3	49.8		1		
			剥片	101	K19		133	32.3		1		
					M19	Ⅰ	28	11.4		1		
			剥片	101	L18		201	14.1		1		
				101	N18		1092	8.3		1		
Ⅲ-377	298	47	両面調整石器	101	L18		439	290.8		1		
			剥片	101	L19		46	22.2		1		
				101	M18		527	13.6		1		
			剥片	101	L19		125	16.3		1		
			剥片	101	L19		265	14.0		1		
			剥片	101	L19		302	25.2		1		
			剥片	101	L19		319	4.1		1		
				101	L19		360	29.4		1		
				101	M18		815	2.1		1		
				101	M18		1190	16.5		1		
			剥片	101	L19		395	3.2		1		
				101	M18		327	15.0		1		
－	365	523	接合資料	97･98				1973.2	26	1･5	1045	4365
			剥片	97	K22		411	78.4		1		
				97	L22		180	23.1		1		
				97	L22		1317	5.7		1		
				97	L22		2238	55.8		1		
			剥片	98	L21		108	5.8		1		
				97	M22		1816	4.4		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片		L21	Ⅰ	31	10.6		1		
			剥片	97	L22		267	12.5		1		
			剥片	97	L22		623	4.3		1		
				97	L22		1301	8.0		1		
			縦長剥片	97	L22		2352	3.8		1		
			剥片	97	L22		2468	52.2		1		
				97	L22		2778	8.9		1		
			剥片		L22	Ⅰ	181	281.9		1		
			剥片		L22	Ⅰ	185	10.0		1		
					L22	Ⅰ	186	11.7		1		
				97	M22		547	49.1		1		
			剥片	97	M21		333	6.3		1		
			剥片	97	M21		1060	548.0		5		
			剥片	97	M21		1063	33.7		1		
			剥片	97	M22		73	6.8		1		
			剥片	97	M22		376	4.0		1		
			剥片	97	M22		424	38.7		1		
			剥片	97	M22		1289	196.4		1		
－	319	402	両面調整石器	97	M22		1561	241.4		5		
			剥片	97	M22		1843	271.7		1		
－	365	524	接合資料	97				1633.3	20	1	966	4175
			剥片	97	L22		626	20.5		1		
				97	L22		865	160.1		1		
				97	L22		1636	5.5		1		
				97	L22		2383	46.6		1		
					L22	Ⅰ	310	51.2		1		
				97	M22		1361	28.8		1		
			剥片	97	L22		2070	18.8		1		
					L22	Ⅰ	317	17.6		1		
			剥片	97	L22		2102	42.4		1		
			剥片	97	L22		2460	122.0		1		
			剥片		L22	Ⅰ	305	87.2		1		
			剥片		L22	Ⅰ	306	45.7		1		
					L22	Ⅰ	316	44.6		1		
			剥片		L22	Ⅰ	307	39.1		1		
			剥片		L22	Ⅰ	311	229.5		1		
			剥片		L22	Ⅰ	314	48.5		1		
			剥片	97	M21		184	511.1		1		
			剥片	97	M21		387	31.9		1		
				97	M22		1646	14.4		1		
			剥片	97	M22		42	67.8		1		
－	366	525	接合資料	101				146.8	21	1	1152	4650
			剥片	101	L18		385	3.2		1		
			剥片	101	L18		430	3.1		1		
			剥片	101	L19		316	8.2		1		
				101	M19		774	4.3		1		
			剥片	101	L19		372	2.3		1		
				101	N17		74	11.8		1		
			剥片	101	M17		51	5.4		1		
				101	M18		1739	7.0		1		
			剥片	101	M18		2298	5.4		1		
			剥片	101	M18		2305	16.0		1		
			剥片	101	M18		2404	25.3		1		
			剥片	101	M18		2507	2.7		1		
				101	M18		2529	12.3		1		
			剥片	101	M18		2521	6.1		1		
			剥片	101	M19		138	1.9		1		
				101	M19		574	6.2		1		
			剥片	101	M19		494	1.6		1		
				101	M19		718	1.1		1		
			剥片	101	M19		701	5.2		1		
			剥片	101	M19		754	12.0		1		
				101	M19		763	5.7		1		
－	366	526	接合資料	97･99				432.6	22	1	963	4159
Ⅲ-384	303	117	彫器	97	H24		836	9.7		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				97	I 23		262	31.0		1		
			剥片		I 24	I	10	70.1		1		
			剥片	97	J 24		11	7.0		1		
					J 24	I	198	9.6		1		
				97	K23		1389	6.0		1		
				97	K23		2022	4.8		1		
				97	K24		2456	7.5		1		
			剥片	97	J 24		290	14.2		1		
				97	K24		1932	11.2		1		
			剥片		J 24	I	199	8.0		1		
			剥片		J 24	I	261	4.0		1		
			剥片		J 24	I	263	7.1		1		
				99	K21		218	145.0		1		
			剥片	97	K24		76	5.2		1		
			剥片	97	K24		517	4.1		1		
			剥片	97	K24		775	4.7		1		
				97	K24		1161	6.5		1		
			剥片	97	K24		892	8.4		1		
			剥片	97	K24		1561	4.2		1		
				97	L 23		1333	24.2		1		
			剥片		K24	I	76	40.1		1		
—	366	527	接合資料	97				749.3	41	1	1044	4363
			剥片	97	K22		586	18.6		1		
					L 22	I	281	5.9		1		
				97	L 23		324	6.9		1		
			剥片	97	K22		798	17.2		1		
			剥片		K22	I	46	12.2		1		
				97	L 22		312	6.9		1		
			剥片	97	K23		1884	52.8		1		
				97	L 22		2980	29.7		1		
				97	M22		22	9.5		1		
				97	M22		1411	5.2		1		
					七北13~29		31	24.9		1		
			剥片	97	K23		3013	25.2		1		
				97	L 22		1532	8.4		1		
					L 22	I	294	15.3		1		
					L 22	I	304	5.8		1		
				97	L 23		1256	9.3		1		
			剥片		K23	I	48	10.8		1		
			剥片	97	L 21		232	6.5		1		
			剥片		L 21	I	36	39.7		1		
					七北13~29		33	14.4		1		
			剥片		L 21	I	49	9.4		1		
			剥片	97	L 22		646	50.7		1		
			剥片	97	L 22		1039	4.7		1		
			剥片	97	L 22		1588	42.9		1		
					L 23	I	6	21.5		1		
			剥片	97	L 22		1990	11.9		1		
					L 22	I	284	10.1		1		
				97	L 23		883	37.9		1		
			剥片	97	L 22		2614	2.5		1		
			剥片		L 22	I	263	32.4		1		
				97	L 23		915	11.5		1		
			剥片		L 22	I	264	24.9		1		
					L 22	I	265	11.2		1		
				97	L 23		1464	6.6		1		
			剥片		L 22	I	283	8.5		1		
				97	L 23		274	8.7		1		
			剥片		L 22	I	503	11.7		1		
				97	L 23		113	3.1		1		
			剥片	97	L 23		385	51.1		1		
			剥片	97	L 23		691	15.0		1		
			剥片	97	M22		136	47.8		1		
—	367	528	接合資料	97				630.1	90	4	1058	4396
			剥片		G 25	I	3	0.8		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
Ⅲ-371	294	19	尖頭器	97	H23		654	11.7		4		
					H24	I	2	65.5		4		
Ⅲ-375	296	35	尖頭器	97	H23		942	15.3		4		
			剥片	97	H24		184	7.2		4		
			剥片	97	H24		234	2.6		4		
				97	I 24		754	2.6		4		
			尖頭器	97	H24		265	7.5		4		
			剥片	97	H24		593	0.8		4		
			剥片	97	H24		661	1.2		4		
				97	I 23		832	6.3		4		
			剥片		H24	I	23	2.0		4		
			剥片	97	H25		82	6.5		4		
					J 24	I	283	7.6		4		
			剥片	97	H25		85	15.3		4		
				97	I 25		370	30.2		4		
			剥片	97	H25		120	2.8		4		
				97	I 24		1239	1.1		4		
			剥片		H25	I	19	0.2		4		
			尖頭器削片	97	I 23		905	2.7		4		
			剥片	97	I 23		946	2.2		4		
			剥片	97	I 23		1035	33.1		4		
			剥片	97	I 24		79	4.5		4		
			剥片	97	I 24		92	1.1		4		
			剥片	97	I 24		199	1.2		4		
				97	J 24		416	4.0		4		
				97	J 24		1412	10.3		4		
			剥片	97	I 24		399	8.5		4		
				97	J 24		984	4.2		4		
			剥片	97	I 24		568	1.6		4		
				97	J 24		1257	2.0		4		
			剥片	97	I 24		576	1.0		4		
				97	I 24		1037	8.2		4		
				97	J 24		1647	24.7		4		
			剥片	97	I 24		628	2.7		4		
			剥片	97	I 24		635	3.1		4		
				97	J 25		148	4.2		4		
			剥片	97	I 24		648	2.5		4		
			剥片	97	I 24		1138	28.5		4		
				97	I 24		1222	9.3		4		
			剥片	97	I 24		1146	1.8		4		
					J 24	I	285	0.9		4		
			剥片	97	I 24		1148	4.3		4		
			剥片	97	I 24		1224	6.3		4		
					I 25	I	69	8.8		4		
			剥片	97	J 24		1258	7.5		4		
				97	J 24		1491	2.1		4		
			剥片	97	I 25		9	3.7		4		
			剥片	97	I 25		106	1.1		4		
				97	I 25		143	1.4		4		
				97	I 25		150	2.6		4		
				97	I 25		348	1.4		4		
				97	I 25		386	2.9		4		
				97	I 25		399	7.2		4		
					I 25	I	67	7.6		4		
			剥片	97	I 25		304	0.5		4		
				97	I 25		382	2.7		4		
				97	J 24		793	4.3		4		
				97	J 24		795	10.9		4		
				97	J 24		829	3.3		4		
				97	J 24		1607	1.7		4		
			剥片	97	I 25		358	5.7		4		
				97	J 24		1261	10.9		4		
			剥片	97	I 25		365	0.5		4		
			剥片		I 25	I	66	9.9		4		
			剥片		I 25	I	68	4.7		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				97	J24		1287	2.6		4		
			剥片		I25	I	70	8.4		4		
				97	J25		121	3.1		4		
			剥片		I25	I	71	8.8		4		
					J24	I	286	1.9		4		
			剥片		I25	I	72	1.2		4		
Ⅲ-375	297	39	尖頭器削片	97	J23		537	33.0		4		
				97	J24		448	18.1		4		
			剥片	97	J24		318	1.0		4		
				97	J24		326	6.7		4		
				97	J24		1296	4.0		4		
					J24	I	284	6.6		4		
			剥片	97	J24		596	5.9		4		
			剥片	97	J24		830	2.5		4		
			剥片	97	J24		933	13.9		4		
			剥片	97	J24		944	10.9		4		
			剥片	97	J24		1088	1.1		4		
			剥片	97	J24		1288	2.8		4		
			剥片	97	J24		1382	16.7		4		
			剥片	97	J24		1413	2.0		4		
			剥片	97	J24		1571	3.4		4		
			剥片	97	J24		1790	2.2		4		
			剥片		J24	I	295	1.2		4		
			剥片	97	J25		36	10.6		4		
－	367	529	接合資料	97･99				350.9	22	1	977	4207
			石刃	99	H22		426	6.9		1		
				99	J22		191	3.7		1		
			石刃	99	I22		165	3.4		1		
				99	I22		247	19.3		1		
				97	I24		865	22.1		1		
Ⅲ-400	311	292	石刃	97	I24		795	37.6		1		
				97	I24		895	90.7		1		
				97	I24		1068	16.4		1		
				99	J22		29	16.4		1		
			石刃	99	J22		23	6.2		1		
					J22	I	42	6.4		1		
			剥片	99	J22		69	2.3		1		
					J22	I	26	20.6		1		
			石刃	99	J22		80	21.5		1		
				99	K21		342	11.1		1		
			剥片		J22	I	27	14.0		1		
			剥片		J22	I	40	7.3		1		
				99	K21		332	1.3		1		
				99	K21		334	2.8		1		
			石刃		J22	I	41	6.0		1		
			石刃	97	J24		177	14.0		1		
				97	K23		4035	20.9		1		
－	368	530	接合資料	96･97				5823.4	19	1	1015	4286
			剥片	97	J24		51	279.7		1		
				97	K24		1980	7.4		1		
					K24	I	47	7.1		1		
			剥片		J24	I	78	133.2		1		
Ⅲ-402	313	306	石刃核	97	K23		4031	2666.5		1		
			縦長剥片	97	K24		169	4.7		1		
					K24	I	48	42.1		1		
			剥片	97	K24		287	73.5		1		
				96	K24		1712	4.6		1		
				97	K24		2242	11.2		1		
				97	L23		1345	501.1		1		
			縦長剥片	97	K24		688	18.3		1		
					K24	I	45	53.0		1		
			縦長剥片	97	K24		1317	18.0		1		
			剥片	97	K24		1343	68.5		1		
			二次加工ある剥片	97	K24		1670	958.2		1		
			剥片		K24	I	46	466.1		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			縦長剥片		K24	I	66	9.1		1		
			縦長剥片		七北13~29		14	501.1		1		
－	369	531	接合資料	101				1139.1	23	1	1156	4655
－	320	410	削器	101	K18		7	5.2		1		
			剥片	101	K18		133	19.0		1		
				101	K19		176	45.4		1		
			石刃	101	L17		25	4.8		1		
			剥片	101	L18		272	5.1		1		
			縦長剥片		L18	I	60	45.1		1		
				101	M18		254	10.9		1		
				101	N18		170	25.8		1		
－	322	435	舟底形石器	101	L19		386	15.4		1		
				101	M18		2411	41.9		1		
			剥片	101	L19		546	6.0		1		
			石刃	101	M18		63	11.7		1		
				101	M18		410	1.6		1		
			石刃	101	M18		947	57.0		1		
			剥片	101	M18		1494	3.7		1		
				101	M18		2366	10.6		1		
－	327	492	石核	101	M18		1554	62.1		1		
			剥片	101	M18		1987	4.4		1		
					M19	I	22	506.0		1		
			剥片	101	M19		499	7.2		1		
			剥片	101	M19		710	110.4		1		
			二次加工ある剥片	101	N17		41	138.9		1		
			剥片	101	N18		1170	0.9		1		
－	369	532	接合資料	101				1558.6	29	1	1145	4630
			剥片	101	L18		163	3.9		1		
				101	M18		907	127.0		1		
			剥片	101	L18		417	4.6		1		
－	325	474	石刃核		L18	I	6	119.1		1		
			石刃		L18	I	50	24.6		1		
			石刃	101	L19		275	73.4		1		
				101	M19		521	9.6		1		
			縦長剥片	101	L19		377	12.2		1		
			二次加工ある剥片	101	L19		389	59.1		1		
					L19	I	17	41.9		1		
			剥片	101	M18		163	11.7		1		
				101	M18		1728	6.7		1		
				101	M18		2266	183.2		1		
			剥片	101	M18		1312	8.8		1		
			剥片	101	M18		1465	24.3		1		
				101	M18		1605	10.5		1		
			剥片	101	M18		1662	16.4		1		
			剥片	101	M18		2097	26.4		1		
				101	M18		2474	6.4		1		
					七南1~30		8	123.0		1		
			剥片	101	M18		2111	9.2		1		
				101	N18		509	208.4		1		
			剥片	101	M18		2112	133.4		1		
			剥片	101	M18		2486	7.4		1		
			剥片	101	M18		2561	10.2		1		
			剥片		M18	I	45	51.9		1		
			剥片	101	M19		242	233.8		1		
			剥片	101	N18		81	8.8		1		
			剥片	101	N18		1135	2.7		1		
－	370	533	接合資料	97･98･100･101				682.0	12	1	1050	4370
			剥片	100	J19		30	3.1		1		
Ⅲ-386	304	161	掻器	100	K19		7	29.4		1		
			剥片	100	K19		355	102.8		1		
Ⅲ-383	302	107	彫器		K21	I	1	18.6		1		
			剥片	101	L19		487	3.2		1		
				101	L19		498	3.1		1		
			石刃	97	L23		517	13.1		1		
			石刃	101	M19		451	15.2		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	98	M21		591	96.2		1		
Ⅲ-387	305	185	削器	98	M21		605	20.4		1		
			二次加工ある剥片	97	M22		329	221.9		1		
－	326	488	石核	97	N21		103	155.0		1		
－	370	534	接合資料	97				816.8	24	1	954	4138
			縦長剥片	97	G23		22	5.4		1		
			石刃	97	G23		112	2.0		1		
			剥片	97	G23		130	6.5		1		
			石刃	97	H22		21	1.0		1		
				97	H22		258	7.9		1		
			剥片	97	H22		98	2.5		1		
				97	H23		666	4.4		1		
					H23	I	14	73.2		1		
				97	I22		17	4.8		1		
			剥片	97	H23		161	2.0		1		
				97	H23		420	6.5		1		
			剥片	97	H23		885	1.6		1		
			剥片	97	H23		888	2.1		1		
				97	H23		890	139.5		1		
				97	H23		892	1.9		1		
				97	H23		950	99.8		1		
				97	H23		957	2.9		1		
				97	H23		963	45.3		1		
			剥片	97	I22		73	329.3		1		
Ⅲ-383	302	109	彫器	97	I24		465	16.4		1		
			剥片	97	I24		509	4.5		1		
			剥片	97	I24		748	3.1		1		
			剥片	97	I24		763	24.7		1		
				97	I24		909	29.5		1		
－	370	535	接合資料	96･97				942.1	48	1	967	4176
			剥片		H23	I	7	109.6		1		
			剥片	97	I24		751	9.0		1		
			剥片	97	J24		54	37.8		1		
			剥片	97	J24		286	7.8		1		
			剥片	97	J24		304	2.3		1		
			剥片		J24	I	85	18.8		1		
				97	K24		669	6.6		1		
					L22	I	236	94.0		1		
			剥片		J24	I	108	36.0		1		
			剥片		J24	I	225	12.3		1		
			剥片		J24	I	252	10.5		1		
			剥片		J24	I	254	10.3		1		
			剥片		J24	I	255	3.8		1		
			剥片		J24	I	256	5.7		1		
			剥片		J24	I	257	2.9		1		
			剥片		J24	I	258	2.7		1		
			剥片		K23	I	83	6.3		1		
			剥片	97	K24		127	21.7		1		
			剥片	97	K24		128	58.6		1		
			剥片	96	K24		367	1.7		1		
			剥片	97	K24		689	2.1		1		
			剥片	97	K24		760	8.9		1		
			剥片	97	K24		832	7.6		1		
			剥片	97	K24		857	10.3		1		
			剥片	97	K24		956	122.4		1		
			剥片	97	K24		991	38.6		1		
			剥片	97	K24		1022	1.5		1		
			剥片	97	K24		1299	17.2		1		
			剥片	97	K24		1306	4.4		1		
			剥片	97	K24		1339	10.4		1		
			石刃	97	K24		1351	20.3		1		
			剥片	97	K24		1630	8.8		1		
			剥片	97	K24		1786	4.0		1		
			剥片	97	K24		1995	24.3		1		
			剥片	97	K24		1997	6.0		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	97	K24		2089	9.1		1		
			剥片	97	K24		2092	13.5		1		
			剥片	97	K24		2154	12.7		1		
			剥片	97	K24		2220	5.6		1		
			剥片		K24	I	83	38.4		1		
			剥片		K24	I	88	14.1		1		
			剥片		K24	I	89	8.0		1		
			剥片		K24	I	102	7.5		1		
				97	L23		1188	27.5		1		
			剥片		K24	I	103	26.5		1		
			剥片	97	L23		622	8.8		1		
			剥片	97	L23		969	14.2		1		
			石刃	97	L23		1327	11.0		1		
－	371	536	接合資料	97･98･99･101				681.3	28	1	997	4251
Ⅲ-401	312	302	石刃核	99	I21		225	273.8		1		
			剥片	97	J24		358	4.7		1		
			石刃	97	J24		704	12.5		1		
				97	L23		1360	2.9		1		
			剥片	97	J24		708	5.4		1		
				97	L23		441	22.7		1		
			縦長剥片	97	J24		792	3.7		1		
					J24	I	182	11.6		1		
					J24	I	187	3.1		1		
			剥片	97	J24		1152	12.3		1		
			剥片		J24	I	106	47.6		1		
			剥片		J24	I	165	24.6		1		
			石刃		J24	I	184	10.5		1		
				97	L23		1778	7.6		1		
			剥片		J24	I	236	13.3		1		
				97	K23		2776	3.3		1		
			縦長剥片	101	K19		352	52.4		1		
			石刃	97	K23		1845	6.2		1		
				97	K23		3737	8.9		1		
			石刃	97	K23		2552	5.8		1		
Ⅲ-401	312	298	石刃	97	K23		2733	12.2		1		
				97	K23		4042	10.6		1		
				97	K23		4156	7.1		1		
			剥片	97	K23		4171	13.3		1		
				97	K24		2490	14.7		1		
			剥片	97	L23		1275	64.2		1		
			剥片	97	L23		1472	3.0		1		
Ⅲ-383	302	111	彫器	98	M21		93	23.3		1		
－	371	537	接合資料	101				1158.9	43	1	1140	4622
			縦長剥片		K17	I	6	1.6		1		
			剥片	101	K18		122	3.2		1		
			剥片		K18	I	6	3.7		1		
					M18	I	38	12.5		1		
			剥片		K18	I	8	11.0		1		
			剥片	101	L17		48	7.2		1		
					L17	II	5	1.0		1		
				101	M18		608	93.9		1		
			石刃	101	L18		130	6.4		1		
			石刃	101	L18		138	6.6		1		
				101	M18		2368	42.4		1		
			剥片	101	L18		217	1.6		1		
			縦長剥片	101	L18		336	3.1		1		
			剥片	101	L18		383	3.7		1		
				101	M19		514	8.3		1		
			縦長剥片	101	L18		418	6.7		1		
					L18	I	48	19.8		1		
			石刃	101	L18		495	84.1		1		
			石刃	101	L18		515	6.6		1		
Ⅲ-405	315	321	石刃核		L18	I	7	97.8		1		
			剥片		L18	I	59	15.4		1		
Ⅲ-406	316	327	石核	101	L19		141	68.0		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			石刃	101	L19		221	15.4		1		
				101	N18		688	9.7		1		
			縦長剥片	101	M18		386	5.9		1		
				101	M18		723	5.3		1		
			剥片	101	M18		758	2.8		1		
			剥片	101	M18		818	86.3		1		
			剥片	101	M18		897	7.3		1		
			縦長剥片	101	M18		1779	4.1		1		
			剥片	101	M18		2102	5.4		1		
			剥片	101	M18		2118	5.5		1		
			二次加工ある剥片	101	M18		2237	19.3		1		
			剥片		M18	I	36	17.1		1		
			剥片		M18	I	37	42.9		1		
					M18	II	49	0.6		1		
			石刃	101	M19		501	4.9		1		
			剥片		M19	I	17	5.9		1		
				101	N17		72	224.7		1		
			縦長剥片		M19	I	25	11.6		1		
			縦長剥片	101	N18		28	1.2		1		
			剥片	101	N18		1167	177.3		1		
			剥片		N18	I	22	1.1		1		
－	372	538	接合資料	101				245.9	26	4	1187	4745
			剥片	101	K18		2	28.2		4		
－	327	493	石核	101	L17		52	40.1		4		
			剥片		L18	I	39	23.6		4		
			剥片	101	M18		390	1.5		4		
			石刃	101	M18		452	5.0		4		
				101	M18		499	3.7		4		
			剥片	101	M18		524	2.4		4		
			剥片	101	M18		905	3.6		4		
			剥片	101	M18		918	2.3		4		
				101	N18		119	11.5		4		
			剥片	101	M18		1153	5.6		4		
			石刃	101	M18		1400	26.4		4		
				101	M19		165	5.4		4		
			石刃	101	M18		1583	11.2		4		
			石刃	101	M18		1766	10.9		4		
			剥片	101	M18		1827	1.9		4		
				101	O19		18	3.2		4		
			剥片	101	M18		2260	5.2		4		
			縦長剥片	101	M18		2306	14.8		4		
			剥片	101	M19		142	2.3		4		
			剥片	101	N18		926	3.7		4		
			剥片	101	N18		1024	5.4		4		
			剥片	101	N18		1101	8.7		4		
			剥片	101	N19		6	9.1		4		
			剥片		N20	I	3	7.9		4		
			石刃	101	O19		36	2.3		4		
－	372	539	接合資料	95･97･98･100				2202.0	60	1	984	4220
			剥片	95	I26		7	241.8		1		
					L21	I	35	8.3		1		
			縦長剥片	100	J20		60	46.2		1		
			剥片		J21	I	18	62.6		1		
				97	L22		2556	7.0		1		
			縦長剥片		J21	I	19	45.5		1		
				97	L21		282	5.6		1		
					L22	I	206	54.3		1		
			剥片	100	K20		244	14.3		1		
			剥片	100	K21		58	13.0		1		
			剥片	97	K22		534	14.2		1		
				97	M21		118	10.0		1		
			剥片		K23	I	38	8.6		1		
			剥片		L20	I	6	21.2		1		
			剥片	97	L21		150	28.2		1		
				97	M22		825	20.0		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	97	L21		372	28.7		1		
					L22	I	195	3.7		1		
			剥片		L21	I	30	7.2		1		
				97	L22		1247	56.1		1		
			剥片	97	L22		242	6.7		1		
				97	L22		1571	7.7		1		
			剥片	97	L22		375	3.4		1		
			剥片	97	L22		702	71.7		1		
				97	M22		1102	40.0		1		
－	322	442	舟底形石器	97	L22		778	78.2		1		
				97	L22		2298	7.7		1		
			剥片	97	L22		855	58.6		1		
				97	L22		1985	4.0		1		
				97	L22		2083	28.2		1		
					L22	I	209	4.1		1		
				97	M22		252	25.5		1		
				97	M22		751	8.9		1		
			剥片	97	L22		1746	7.5		1		
			剥片	97	L22		1955	2.3		1		
				97	M21		903	55.8		1		
			剥片	97	L22		2239	24.3		1		
			剥片	97	L22		2536	57.1		1		
－	321	431	舟底形石器		L22	I	13	150.6		1		
				97	M21		748	40.7		1		
			縦長剥片		L22	I	204	15.5		1		
			石刃		L22	I	237	22.6		1		
					L22	I	243	25.0		1		
			剥片		L22	I	238	5.8		1		
			縦長剥片	97	L23		583	5.5		1		
				98	M20		17	101.3		1		
				98	M20		63	73.0		1		
				97	M22		385	7.8		1		
				97	M22		1182	148.4		1		
			剥片	97	M21		229	4.6		1		
			剥片	97	M21		306	11.0		1		
			剥片	97	M21		372	4.9		1		
			剥片	97	M21		900	31.4		1		
			剥片	97	M22		168	4.6		1		
			剥片	97	M22		1210	62.0		1		
			剥片	97	M22		1223	12.9		1		
			縦長剥片	97	M22		1262	24.0		1		
			剥片	97	M22		1562	108.8		1		
			剥片	97	N21		202	70.4		1		
			剥片		ポサ		16	83.0		1		
－	373	540	接合資料	97･99				1193.5	11	1･5	1138	4620
			剥片	99	I21		382	304.2		1		
			剥片		J21	I	33	96.1		1		
－	320	414	削器		J23	I	3	45.1		1		
－	327	496	石核	99	K21		229	251.1		1		
			剥片	99	K21		370	332.3		1		
				97	K23		4221	40.3		1		
			剥片	97	K23		161	15.2		1		
			剥片	97	K23		2918	56.1		1		
			剥片	97	K23		3208	12.4		1		
			剥片	97	K23		3660	22.3		1		
			剥片	97	L22		77	18.4		5		
－	373	541	接合資料	97･101				1890.9	27	1	999	4256
－	325	481	石刃核	101	K19		263	161.0		1		
			剥片	97	K22		266	194.8		1		
			剥片		K23	I	84	41.1		1		
			剥片	97	L21		161	52.5		1		
			剥片	97	L21		170	469.1		1		
			剥片		L21	I	42	8.3		1		
			剥片		L21	I	43	155.7		1		
			剥片		L21	I	50	16.5		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	97	L22		110	86.6		1		
Ⅲ-396	309	257	舟底形石器	97	L22		324	33.4		1		
			剥片	97	L22		586	29.9		1		
					L22	I	381	19.1		1		
			剥片	97	L22		1580	50.1		1		
			剥片	97	L22		1722	70.2		1		
			剥片	97	L22		1864	7.2		1		
			剥片	97	L22		2071	71.5		1		
			剥片	97	L22		2885	9.3		1		
			剥片	97	L22		3221	9.6		1		
			剥片		L22	I	313	31.0		1		
					L22	I	324	56.1		1		
			剥片		L22	I	400	149.3		1		
			剥片		L22	I	403	72.0		1		
			剥片		L22	I	406	16.5		1		
			剥片		L23	I	8	8.7		1		
			剥片	97	M22		400	8.1		1		
			縦長剥片	97	M22		1499	48.0		1		
			縦長剥片		M23	I	5	15.3		1		
－	374	542	接合資料	101･106				6068.0	128	1	1149	4640
			剥片		K16	I	4	43.9		1		
					L16	I	14	8.7		1		
			剥片		K16	I	5	233.9		1		
				101	K17		10	19.5		1		
				106	L17		1	98.1		1		
					M17	I	4	25.6		1		
				106	N17		32	2.2		1		
			剥片		K16	I	6	4.7		1		
			剥片		K16	I	8	20.4		1		
					L16	I	10	9.2		1		
				106	M16		14	23.9		1		
				106	M16		22	22.0		1		
				106	M17		123	4.1		1		
				106	N17		20	29.7		1		
			剥片		K16	I	9	10.5		1		
					L16	I	11	8.4		1		
					L16	I	12	20.4		1		
			縦長剥片		L15	I	3	149.6		1		
				106	L16		27	83.7		1		
			剥片	106	L16		45	6.6		1		
				106	L17		34	24.2		1		
					N17	I	7	27.2		1		
			縦長剥片		L16	I	3	72.6		1		
			剥片		L16	I	4	80.6		1		
				106	M16		48	3.9		1		
				106	M17		107	64.6		1		
			剥片		L16	I	5	136.0		1		
				106	M16		34	109.3		1		
				106	M17		20	5.1		1		
			剥片		L16	I	6	213.7		1		
				106	M16		72	228.7		1		
					M18	I	54	45.7		1		
			剥片		L16	I	9	13.5		1		
			剥片		L16	I	13	116.5		1		
				106	M16		41	84.2		1		
			剥片	106	L17		3	32.5		1		
				106	L17		20	4.3		1		
				106	L17		22	6.2		1		
				106	L17		23	230.7		1		
				101	L17		81	3.6		1		
				106	M16		50	7.7		1		
				106	M16		80	24.3		1		
					M18	I	55	27.7		1		
			剥片	101	L17		4	133.3		1		
					L17	I	11	96.1		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
					M16	I	16	2.0		1		
					M17	I	6	2.7		1		
					N17	I	2	19.2		1		
			剥片	106	L17		6	271.3		1		
				106	M16		97	9.2		1		
			剥片	101	L17		7	5.0		1		
					L17	I	8	149.5		1		
			剥片	106	L17		21	50.4		1		
				101	L17		31	14.4		1		
					L17	I	7	8.0		1		
					L17	I	14	104.6		1		
					L17	I	15	3.9		1		
				101	M17		87	2.1		1		
			剥片	101	L17		126	6.8		1		
			剥片		L17	I	9	112.8		1		
			縦長剥片		L17	I	10	234.0		1		
				106	N17		82	15.6		1		
			剥片		L17	I	12	34.4		1		
			剥片		L17	I	13	343.8		1		
				106	N16		58	6.0		1		
				106	N17		7	41.3		1		
			剥片		L17	I	16	24.3		1		
				106	N17		86	22.3		1		
			剥片		L17	I	18	13.2		1		
			剥片		L17	I	19	7.7		1		
			剥片	106	M15		17	56.3		1		
			剥片	106	M16		23	6.3		1		
			削器	106	M16		25	61.8		1		
			剥片	106	M16		31	19.4		1		
－	325	482	石刃核	106	M16		47	263.3		1		
			剥片		M16	I	5	90.1		1		
					M17	I	3	69.3		1		
			剥片		M16	I	6	6.8		1		
			剥片		M16	I	7	1.9		1		
			剥片		M16	I	8	67.7		1		
				106	M17		65	2.7		1		
			剥片		M16	I	9	29.6		1		
					M16	I	10	3.5		1		
					M16	I	11	6.3		1		
			縦長剥片		M16	I	13	14.9		1		
			剥片		M16	I	15	12.5		1		
			剥片	106	M17		11	14.5		1		
			縦長剥片	106	M17		16	61.4		1		
				106	M17		26	5.2		1		
				106	N17		9	25.6		1		
			剥片	106	M17		28	21.3		1		
			剥片	106	M17		41	46.2		1		
				101	M17		99	58.2		1		
					M17	I	7	3.2		1		
					N17	I	3	42.4		1		
			剥片	101	M17		60	13.6		1		
					M17	I	10	6.1		1		
					N17	I	9	13.0		1		
			剥片	106	M17		64	18.6		1		
			縦長剥片	106	M17		103	2.5		1		
				106	M17		124	20.9		1		
					M17	I	11	3.3		1		
			剥片	106	M17		104	8.1		1		
					M17	I	8	6.7		1		
				106	N17		85	47.1		1		
					N17	I	5	13.2		1		
					N17	I	8	9.2		1		
			縦長剥片	106	M17		109	8.0		1		
					N17	I	1	51.9		1		
			剥片		M17	I	2	113.6		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片		M17	Ⅰ	5	9.6		1		
			縦長剥片		M17	Ⅰ	9	8.8		1		
				106	N16		54	5.4		1		
				106	N16		56	2.0		1		
			剥片	106	N16		22	80.6		1		
			縦長剥片	106	N16		25	118.2		1		
			縦長剥片	106	N16		39	30.9		1		
				106	N16		42	20.7		1		
			縦長剥片	106	N16		57	91.2		1		
			縦長剥片	106	N16		76	57.1		1		
			縦長剥片	106	N17		3	6.4		1		
			縦長剥片	106	N17		12	22.2		1		
			剥片	106	N17		17	3.8		1		
			剥片	106	N17		19	28.2		1		
			剥片	106	N17		21	80.4		1		
			縦長剥片	106	N17		28	11.3		1		
			縦長剥片		N17	Ⅰ	4	9.4		1		
			剥片		N17	Ⅰ	6	33.8		1		
－	375	543	接合資料	102				2354.0	26	3･4	1168	4687
			剥片	102	H18		3	0.7		3		
				102	Ⅰ18		259	0.9		3		
			剥片	102	H18		10	3.8		3		
				102	H18		58	1.9		3		
			剥片	102	H18		15	2.8		3		
					H18	Ⅰ	5	29.4		4		
					H18	Ⅰ	6	7.6		4		
			剥片	102	H18		19	2.5		3		
			剥片	102	H18		70	99.7		3		
				102	Ⅰ18		227	8.2		3		
				102	Ⅰ18		296	16.5		3		
			剥片	102	H18		110	12.6		3		
			剥片	102	H19		4	8.4		4		
			剥片	102	H19		73	14.2		4		
			剥片	102	Ⅰ18		51	7.7		3		
				102	Ⅰ18		96	15.1		3		
				102	Ⅰ18		176	17.3		3		
Ⅲ-406	316	326	石核	102	Ⅰ18		67	1837.0		3		
			剥片	102	Ⅰ18		93	2.5		3		
			剥片	102	Ⅰ18		127	2.8		3		
			剥片	102	Ⅰ18		252	17.6		3		
			剥片	102	Ⅰ19		3	76.0		4		
			剥片	102	Ⅰ19		107	97.1		4		
			剥片	102	Ⅰ19		136	5.7		4		
			剥片	102	Ⅰ19		188	44.4		4		
			剥片	102	Ⅰ19		233	21.6		4		
－	375	544	接合資料	102				1419.2	20	1･5	1143	4627
			剥片	102	H18		24	0.7		1		
			剥片	102	H18		61	18.5		1		
				102	H18		71	0.4		1		
			剥片	102	H18		68	65.6		5		
				102	Ⅰ18		138	2.0		1		
				102	Ⅰ18		148	0.9		1		
				102	Ⅰ18		214	1.3		1		
				102	Ⅰ19		133	11.3		5		
			剥片	102	H18		91	5.5		1		
				102	Ⅰ18		105	146.4		5		
				102	Ⅰ18		157	34.1		5		
				102	Ⅰ18		323	7.1		5		
			剥片	102	Ⅰ18		43	4.1		5		
			剥片	102	Ⅰ18		50	11.8		5		
				102	Ⅰ18		181	7.7		1		
				102	Ⅰ18		189	1.6		1		
				102	Ⅰ18		219	5.9		1		
－	328	500	石核	102	Ⅰ18		68	1035.6		5		
			剥片	102	Ⅰ18		185	39.2		5		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	102	Ⅰ19		273	19.5		1		
－	376	545	接合資料	97				3584.3	69	1･5	1047	4367
			剥片	97	K22		37	6.7		1		
			剥片	97	K22		233	5.4		1		
				97	K22		768	20.5		1		
					L22	Ⅰ	244	9.4		1		
					L22	Ⅰ	245	10.9		1		
			剥片	97	K22		352	4.3		1		
			剥片	97	K22		377	76.6		5		
			剥片		K22	Ⅰ	20	7.8		1		
			剥片		K22	Ⅰ	21	1.9		1		
			剥片	97	L21		169	15.0		1		
					L22	Ⅰ	249	17.2		1		
			剥片	97	L21		578	11.0		1		
Ⅲ-391	307	233	舟底形石器		L21	Ⅰ	2	34.8		5		
				97	M22		1900	43.3		5		
			剥片		L21	Ⅰ	17	123.1		1		
				97	L22		565	14.5		1		
					L22	Ⅱ	257	2.2		1		
			舟底形石器	97	L22		84	37.3		1		
			剥片	97	L22		182	17.8		5		
				97	L22		1121	44.9		1		
				97	M22		862	37.0		5		
			剥片	97	L22		258	57.9		1		
				97	L22		499	8.3		1		
				97	L22		3213	42.3		1		
			剥片	97	L22		269	3.0		1		
－	324	467	石刃核	97	L22		294	10.7		1		
				97	M21		526	98.6		1		
				97	M22		1197	123.3		1		
			剥片	97	L22		333	2.6		1		
					L22	Ⅰ	253	40.0		1		
			剥片	97	L22		602	8.6		1		
					L22	Ⅰ	182	26.0		1		
－	321	433	舟底形石器	97	L22		660	128.5		1		
					L22	Ⅰ	254	3.0		1		
				97	M22		873	70.7		1		
			剥片	97	L22		780	8.0		1		
			剥片	97	L22		890	200.0		1		
					ボサ		20	654.4		1		
			剥片	97	L22		1331	6.8		1		
			剥片	97	L22		1832	45.4		5		
				97	L22		2110	93.2		1		
					L22	Ⅰ	247	12.0		1		
			剥片	97	L22		2252	3.3		1		
			剥片	97	L22		2523	9.2		1		
			剥片	97	L22		2645	13.7		1		
			剥片	97	L22		2923	15.3		1		
					L22	Ⅰ	246	10.8		1		
			剥片	97	L22		2927	21.6		1		
				97	M22		187	197.6		1		
			剥片		L22	Ⅰ	183	28.1		1		
			剥片		L22	Ⅰ	184	60.6		1		
				97	M22		426	201.5		1		
			剥片		L22	Ⅰ	241	18.1		1		
					L23	Ⅰ	3	33.6		1		
					N21	Ⅰ	6	116.2		1		
			剥片		L22	Ⅰ	242	109.9		1		
			剥片		L22	Ⅰ	250	82.3		1		
			剥片		L22	Ⅰ	252	22.6		1		
				97	M21		634	1.3		1		
			剥片		L22	Ⅰ	256	9.3		1		
			剥片		L22	Ⅰ	259	15.9		1		
			剥片	97	L23		1438	25.2		1		
				97	M21		901	181.0		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				97	M22		1372	16.7		1		
			舟底形石器	97	L23		1468	18.5		5		
			剥片	97	M21		484	10.8		1		
			二次加工ある剥片	97	M22		444	159.4		1		
			剥片	97	M22		1471	5.6		1		
			剥片	97	M22		1948	11.3		1		
－	377	546	接合資料	97･99･100･102				2202.5	58	1･5	1122	4586
			剥片		G24	I	12	87.1		5		
					G24	I	13	5.2		5		
			剥片	97	H23		114	264.0		5		
				97	J24		1391	2.8		5		
			縦長剥片	97	H23		403	19.6		5		
			剥片	97	H23		891	331.9		5		
			剥片	97	H25		54	8.0		5		
			縦長剥片	102	I19		187	3.6		5		
－	320	413	削器	99	I21		554	7.6		1		
			縦長剥片	97	I23		996	9.8		5		
			剥片	97	I24		190	3.8		5		
				97	J24		228	10.4		5		
			剥片	97	I24		316	79.7		5		
					I25	I	62	25.8		5		
			縦長剥片		I25	I	60	72.1		5		
Ⅲ-387	305	175	錐形石器	100	J19		432	14.0		5		
			剥片	97	J23		1131	137.3		5		
				97	J24		1238	31.4		5		
			剥片		J23	I	57	2.4		5		
			石刃	97	J24		752	3.4		5		
				97	L23		600	2.4		5		
			剥片	97	J24		841	6.0		5		
				97	J24		1456	4.8		5		
			剥片	97	J24		1231	26.0		5		
			剥片	97	J25		70	95.9		5		
			剥片	97	K23		550	10.7		5		
			剥片	97	K23		1177	8.9		5		
			剥片	97	K23		2302	15.3		5		
			石刃	97	K23		2448	21.9		5		
			剥片	97	K23		2508	2.9		5		
			石刃	97	K23		2960	14.7		5		
				97	L23		1091	4.4		5		
			剥片	97	K23		3930	177.5		5		
			剥片		K23	I	105	3.8		5		
			剥片		K23	I	107	28.9		1		
			剥片	97	L22		2833	4.2		1		
			石刃	97	L23		22	3.1		5		
				97	L23		227	12.7		5		
			剥片	97	L23		138	2.5		5		
			剥片	97	L23		229	13.4		5		
			縦長剥片	97	L23		522	1.4		5		
				97	L23		1151	3.4		5		
			剥片	97	L23		650	15.1		5		
			石刃	97	L23		701	3.6		5		
			剥片	97	L23		703	1.7		5		
			剥片	97	L23		836	2.9		5		
			縦長剥片	97	L23		914	6.8		5		
				97	L23		1635	3.1		5		
			石刃	97	L23		1107	10.6		5		
			剥片	97	L23		1263	15.0		5		
			剥片	97	L23		1361	7.9		1		
				97	L23		1518	5.2		5		
Ⅲ-403	314	309	石刃核	97	L23		1740	433.7		5		
			剥片		L23	I	10	10.3		5		
			舟底形石器		ボサ		39	77.9		5		
			剥片		ボサ		40	8.7		5		
			剥片		ボサ		41	5.7		5		
					ボサ		42	9.6		5		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
－	378	547	接合資料	97				3633.5	27	1	994	4248
			剥片	97	J24		120	24.3		1		
			二次加工ある剥片	97	J24		190	224.2		1		
				97	K23		3299	118.3		1		
			剥片	97	J24		909	43.8		1		
			剥片		J24	I	222	108.9		1		
			剥片		J24	I	224	93.1		1		
			剥片		J24	I	226	48.5		1		
				97	K23		3329	33.4		1		
					ボサ		33	183.0		1		
			剥片		J24	I	228	136.6		1		
					J24	I	229	20.4		1		
			剥片		J24	I	230	399.8		1		
			縦長剥片		J24	I	232	12.8		1		
			剥片		J24	I	233	8.7		1		
			剥片		J24	I	249	49.6		1		
				97	K23		2537	127.7		1		
			縦長剥片	97	K23		1740	14.2		1		
			剥片	97	K23		2370	34.8		1		
				97	K23		3078	141.3		1		
			剥片	97	K23		2380	344.4		1		
			縦長剥片	97	K23		3565	17.7		1		
			剥片	97	K23		3760	76.7		1		
			剥片		K23	I	49	658.1		1		
				97	L23		424	60.5		1		
			剥片	97	K24		712	332.6		1		
			縦長剥片		K24	I	62	55.1		1		
－	324	471	石刃核	97	L23		1346	265.0		1		
－	378	548	接合資料	97				1485.2	114	1･3･4	1063	4401
			二次加工ある剥片		G23	I	13	5.2		4		
					G23	I	14	37.0		4		
				97	H23		178	9.8		3		
				97	H24		523	3.8		3		
			剥片	97	G24		12	2.6		4		
			石刃	97	G24		19	3.2		4		
			剥片	97	G24		23	7.3		4		
				97	H24		732	1.2		4		
			剥片	97	G24		35	0.8		4		
			剥片	97	G24		41	0.8		4		
				97	H24		20	5.3		4		
				97	H24		229	1.4		4		
				97	I25		219	3.6		4		
			剥片	97	G24		47	4.9		4		
				97	H24		359	6.8		4		
			剥片	97	G24		48	4.8		3		
				97	H24		734	0.7		3		
				97	I23		417	1.1		3		
			剥片	97	G24		53	1.2		1		
			剥片	97	G24		54	3.6		4		
				97	H23		591	119.3		4		
				97	H23		619	1.9		3		
				97	H23		794	32.9		4		
					H23	I	10	16.8		4		
				97	H24		116	1.2		4		
				97	H24		328	7.4		4		
				97	H24		731	48.5		4		
				97	I23		1071	7.0		4		
			剥片		G24	I	8	35.5		4		
					H24	I	17	10.7		4		
			剥片		G24	I	9	77.3		4		
				97	H24		665	4.0		4		
				97	H24		705	8.0		4		
				97	H24		783	7.6		4		
					H24	I	19	7.6		4		
			剥片		G24	I	11	2.8		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				97	H24		716	1.1		4		
			石刃	97	H23		404	9.4		3		
				97	H25		76	2.2		3		
			剥片	97	H23		648	4.6		4		
			剥片	97	H23		820	13.9		3		
				97	H23		906	268.0		3		
				97	H24		178	2.8		4		
				97	H24		242	7.5		4		
				97	H24		555	7.9		4		
					H24	Ⅱ	20	1.6		4		
			石刃	97	H24		5	1.8		3		
				97	H24		180	2.9		3		
					H25	Ⅰ	14	3.4		4		
			剥片	97	H24		7	2.4		1		
			石刃	97	H24		25	2.3		3		
				97	Ⅰ23		1002	4.7		3		
			剥片	97	H24		68	4.6		4		
			剥片	97	H24		132	1.4		3		
			剥片	97	H24		193	2.0		3		
				97	H24		809	1.5		4		
			剥片	97	H24		198	0.9		3		
			剥片	97	H24		230	14.0		3		
			石刃	97	H24		240	8.4		3		
			剥片	97	H24		246	7.9		4		
			剥片	97	H24		285	2.1		3		
				97	H24		843	8.1		4		
			剥片	97	H24		298	1.1		3		
				97	H24		299	15.2		4		
			石刃	97	H24		340	6.2		3		
				97	Ⅰ24		1022	57.0		4		
			剥片	97	H24		360	3.9		3		
			剥片	97	H24		361	1.5		3		
			剥片	97	H24		362	2.8		4		
				97	H24		526	15.4		4		
				97	H24		844	2.0		4		
			剥片	97	H24		387	19.3		4		
			剥片	97	H24		407	1.1		3		
			石刃	97	H24		467	6.7		4		
					H24	Ⅰ	14	11.7		4		
			剥片	97	H24		469	2.0		4		
			剥片	97	H24		489	23.6		4		
			剥片	97	H24		492	4.4		4		
			剥片	97	H24		602	55.3		4		
				97	H24		811	3.0		4		
					H25	Ⅰ	13	22.0		4		
					H25	Ⅰ	15	1.9		4		
			剥片	97	H24		615	1.3		4		
			剥片	97	H24		621	3.2		4		
				97	H24		757	6.9		4		
			剥片	97	H24		643	3.5		4		
			剥片	97	H24		656	19.8		4		
			剥片	97	H24		673	65.6		4		
			剥片	97	H24		684	0.7		4		
			剥片	97	H24		695	4.4		4		
			剥片	97	H24		738	3.6		4		
				97	Ⅰ23		4	7.9		4		
			剥片	97	H24		756	11.0		4		
			剥片	97	H24		807	2.4		4		
			剥片	97	H24		813	15.2		4		
			剥片	97	H24		824	0.7		4		
			石刃	97	H24		828	2.6		4		
			剥片	97	H24		847	57.9		4		
					H25	Ⅰ	12	4.3		4		
			剥片	97	H24		849	6.2		4		
			剥片		H24	Ⅰ	13	5.1		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片		H24	Ⅰ	16	11.6		4		
			剥片		H24	Ⅰ	18	1.0		4		
			剥片	97	Ⅰ23		584	9.0		4		
			剥片	97	Ⅰ23		588	6.5		4		
			剥片	97	Ⅰ23		817	4.6		3		
			剥片	97	Ⅰ23		892	17.7		3		
			剥片	97	Ⅰ23		901	7.5		4		
			剥片	97	Ⅰ23		974	15.7		3		
			石刃	97	Ⅰ24		613	5.9		3		
			剥片	97	Ⅰ24		1194	16.1		4		
			剥片	97	K23		2080	10.9		4		
			剥片		L22	Ⅰ	352	12.9		4		
			剥片	97	L23		18	6.4		4		
－	379	549	接合資料	101				1928.3	89	3･4	1170	4692
			剥片	101	K18		40	37.3		4		
			縦長剥片	101	L17		11	59.8		4		
				101	L17		58	31.9		4		
				101	L17		145	11.3		4		
			剥片	101	L18		93	19.2		4		
				101	L18		519	12.2		4		
			剥片	101	L18		120	218.0		4		
			剥片	101	L18		312	1.4		4		
			剥片	101	L18		358	3.5		4		
			剥片	101	L18		393	2.2		4		
				101	M18		2473	1.8		4		
			石刃		L18	Ⅰ	41	28.2		3		
				101	M18		1290	6.1		4		
				101	M18		1532	24.5		4		
			剥片		L18	Ⅰ	42	10.4		3		
			剥片		L18	Ⅰ	43	27.7		3		
			剥片		L18	Ⅰ	44	45.9		3		
			剥片	101	L19		222	18.5		4		
			剥片	101	L19		451	2.5		4		
－	324	470	石刃核	101	L19		456	223.2		4		
			剥片	101	L19		558	97.5		4		
			剥片		L19	Ⅰ	15	17.9		3		
				101	M18		270	12.8		4		
				101	M18		2146	2.9		4		
				101	M18		2376	18.3		4		
				101	M19		454	44.0		4		
					M19	Ⅰ	15	2.7		3		
				101	N18		524	20.2		4		
					N18	Ⅰ	8	2.6		3		
			剥片	101	M18		94	81.3		4		
			剥片	101	M18		105	20.6		4		
			剥片	101	M18		138	95.0		4		
			石刃	101	M18		202	9.2		4		
				101	N18		1020	4.3		4		
			剥片	101	M18		268	11.4		4		
				101	N18		403	4.6		4		
			縦長剥片	101	M18		633	14.3		4		
			剥片	101	M18		704	5.6		4		
			剥片	101	M18		762	11.3		4		
			剥片	101	M18		780	3.6		4		
			剥片	101	M18		1040	5.4		4		
				101	M18		1396	24.9		4		
			剥片	101	M18		1230	35.0		4		
				101	M18		2088	6.7		3		
					M18	Ⅰ	29	11.4		3		
			剥片	101	M18		1233	9.9		4		
			石刃	101	M18		1275	10.2		4		
			剥片	101	M18		1467	44.4		4		
				101	M18		1670	71.8		4		
				101	N18		837	1.4		4		
					N18	Ⅰ	7	24.2		3		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
					N18	I	11	1.1		3		
			剥片	101	M18		1541	18.3		4		
			剥片	101	M18		1561	7.4		4		
				101	N18		1017	10.3		4		
			剥片	101	M18		1579	33.9		4		
			剥片	101	M18		1599	3.3		4		
			剥片	101	M18		1680	32.7		4		
			剥片	101	M18		1793	55.7		3		
			剥片	101	M18		1810	2.6		3		
			縦長剥片	101	M18		2009	14.8		3		
			剥片	101	M18		2064	14.4		3		
			剥片	101	M18		2157	2.4		3		
			剥片	101	M18		2184	4.6		4		
			剥片	101	M18		2359	3.3		4		
			剥片	101	M18		2420	12.9		3		
			石刃	101	M18		2423	1.6		3		
			剥片	101	M18		2478	5.9		3		
			剥片	101	M18		2608	8.7		3		
			剥片	101	M18		2615	5.8		4		
			剥片		M18	I	27	2.8		3		
			石刃		M18	I	28	13.5		3		
			剥片		M18	I	30	4.5		3		
			縦長剥片		M18	I	31	7.7		3		
			石刃	101	M19		488	14.5		4		
				101	N18		7	2.1		4		
				101	N18		416	7.6		4		
				101	N18		774	7.3		4		
			石刃		M19	I	13	3.7		3		
－	322	438	舟底形石器	101	N18		57	26.3		4		
			剥片	101	N18		592	13.7		4		
			剥片	101	N18		689	13.7		4		
			石刃	101	N18		696	14.4		4		
			石刃	101	N18		1029	1.0		4		
			剥片	101	N18		1067	19.7		4		
			剥片	101	N18		1144	0.8		4		
			剥片		N18	I	10	1.3		3		
			縦長剥片		N19	I	5	19.8		3		
					N19	I	6	3.2		3		
－	380	550	接合資料	97･100				960.9	47	4･5	1119	4579
			剥片	100	K19		425	9.8		5		
					K22	I	40	0.9		4		
			石刃		K22	I	32	5.6		4		
			剥片		K22	I	34	156.8		4		
				97	L22		2566	4.2		5		
					L22	I	354	3.1		4		
					L22	I	356	81.5		4		
			剥片	97	L21		75	3.9		4		
			剥片	97	L21		162	4.6		4		
				97	M22		1531	3.2		5		
			石刃	97	L21		246	4.1		5		
				97	M22		294	18.3		4		
			石刃		L21	I	48	16.6		4		
			剥片	97	L22		81	11.4		4		
			縦長剥片	97	L22		531	2.9		4		
			剥片	97	L22		885	2.9		4		
					M22	I	18	0.8		4		
			剥片	97	L22		1344	26.4		5		
			石刃	97	L22		1493	5.5		5		
			石刃	97	L22		1572	7.0		4		
			剥片	97	L22		1710	4.3		4		
					L22	I	358	9.6		4		
			石刃	97	L22		1843	11.9		4		
			石刃	97	L22		2569	8.3		5		
			石刃	97	L22		2670	26.5		5		
				97	L22		2681	19.6		5		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				97	M22		757	3.0		5		
			剥片		L22	I	359	4.6		4		
			剥片		L22	I	360	7.6		4		
			石刃		L22	I	361	2.3		4		
				97	M22		374	8.7		4		
			剥片		L22	I	367	19.8		4		
			剥片		L22	I	368	2.7		4		
			石刃	97	L23		751	2.3		4		
				97	M22		442	8.6		5		
			剥片	97	M21		623	63.1		5		
			縦長剥片	97	M22		196	16.6		5		
			剥片	97	M22		528	3.6		5		
			石刃	97	M22		690	3.5		4		
			剥片	97	M22		997	12.5		5		
			剥片	97	M22		1323	8.9		5		
			剥片	97	M22		1448	119.7		5		
			剥片	97	M22		1503	12.1		5		
			石刃	97	M22		1511	10.0		4		
				97	M22		1837	22.8		4		
			剥片		M22	I	17	36.2		4		
－	402	13	石刃核		セ北13~29		16	142.6		5		
－	380	551	接合資料	97･98･99				852.6	21	1	953	4137
			剥片		I21	I	7	164.0		1		
				97	K24		160	2.1		1		
－	324	466	石刃核	99	I22		143	160.4		1		
			剥片	97	J24		131	43.5		1		
			剥片	97	J24		603	9.0		1		
			石刃		J24	I	87	16.0		1		
				97	K23		637	5.2		1		
			石刃	99	K21		27	25.8		1		
				98	M21		278	10.1		1		
			石刃	97	K23		2786	15.2		1		
				97	L23		1180	10.4		1		
			剥片		K23	I	43	262.4		1		
			剥片	97	K24		1115	3.3		1		
			剥片	97	K24		1510	18.1		1		
			剥片	97	K24		2127	7.5		1		
					L22	I	280	7.1		1		
			剥片	97	K24		2226	11.6		1		
			剥片		K24	I	54	9.8		1		
			剥片		K24	I	65	23.2		1		
			石刃	97	L23		1502	18.5		1		
				97	L24		466	29.4		1		
－	381	552	接合資料	101				1233.0	21	1	1161	4667
			縦長剥片		L19	I	21	10.2		1		
				101	M19		46	14.2		1		
			剥片	101	M18		615	8.2		1		
			剥片	101	M18		968	65.1		1		
			剥片	101	M18		1191	18.4		1		
			剥片	101	M19		74	118.8		1		
			剥片	101	M19		231	11.3		1		
			剥片	101	M19		399	14.3		1		
			石刃	101	M19		474	23.4		1		
			剥片	101	M19		518	62.0		1		
			剥片	101	M19		544	21.1		1		
				101	M19		545	116.3		1		
			縦長剥片	101	M19		638	28.4		1		
－	323	463	石刃核		M19	I	16	156.2		1		
			石刃		M19	I	29	44.2		1		
			剥片	101	N18		873	43.2		1		
			剥片	101	N18		1158	149.3		1		
			剥片	101	N19		23	206.6		1		
			石刃	101	N19		33	25.4		1		
			剥片	101	N19		64	94.1		1		
			剥片		N19	I	11	2.3		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
－	381	553	接合資料	97				1372.7	25	1	981	4216
			縦長剥片	97	H22		28	150.6		1		
			剥片	97	H22		411	88.2		1		
－	326	483	石刃核	97	I 23		561	550.9		1		
			石刃	97	I 23		925	8.4		1		
				97	I 23		995	4.2		1		
			縦長剥片	97	I 24		246	21.4		1		
				97	J 23		249	15.3		1		
			剥片	97	I 24		436	18.3		1		
				97	J 23		1197	11.4		1		
			剥片	97	I 24		449	42.5		1		
				97	J 23		792	10.6		1		
				97	K23		2931	28.4		1		
			剥片	97	J 23		137	4.3		1		
				97	J 24		705	7.0		1		
				97	J 24		875	172.4		1		
			剥片	97	J 23		215	12.2		1		
			石刃	97	J 23		246	10.5		1		
				97	K23		1268	16.6		1		
			剥片	97	J 23		268	11.8		1		
				97	J 23		793	21.6		1		
			剥片	97	J 23		355	11.2		1		
			剥片	97	J 23		682	4.4		1		
			剥片	97	J 23		704	109.8		1		
			剥片	97	J 23		1095	29.4		1		
			石刃	97	K23		3906	11.3		1		
－	381	554	接合資料	97･98				817.7	10	1	989	4229
			石刃	98	L21		305	17.1		1		
			縦長剥片	97	L22		2546	29.0		1		
－	324	468	石刃核	98	M21		60	349.7		1		
			縦長剥片	97	M21		263	9.9		1		
			縦長剥片	97	M21		456	28.8		1		
			剥片	97	M21		545	90.4		1		
			剥片	97	M21		653	174.0		1		
			剥片	97	M21		919	5.0		1		
				97	M22		1316	66.6		1		
			縦長剥片		ボサ		27	47.2		1		
－	382	555	接合資料	101				488.6	29	1	1166	4682
			縦長剥片	101	L18		55	1.2		1		
－	325	475	石刃核		L18	I	4	77.3		1		
			石刃	101	L19		25	10.5		1		
				101	M18		970	12.9		1		
			縦長剥片	101	L19		32	26.4		1		
			剥片	101	L19		269	16.3		1		
			縦長剥片	101	M18		299	10.3		1		
				101	M19		290	8.2		1		
			剥片	101	M18		963	7.8		1		
				101	M18		1300	16.0		1		
			剥片	101	M18		2611	8.7		1		
			剥片		M18	I	33	101.6		1		
			縦長剥片	101	M19		30	6.4		1		
			石刃	101	M19		157	9.3		1		
				101	M19		258	12.2		1		
			石刃	101	M19		280	1.6		1		
			石刃	101	M19		299	6.4		1		
				101	M19		623	1.9		1		
			縦長剥片	101	M19		354	6.0		1		
			剥片	101	M19		443	6.5		1		
			剥片		M19	I	18	49.8		1		
			石刃		M19	I	20	5.3		1		
			縦長剥片	101	N18		737	4.1		1		
				101	L19		67	3.7		1		
				101	N18		841	6.9		1		
			剥片	101	N18		793	60.5		1		
			縦長剥片	101	N19		5	4.7		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			石刃	101	N19		32	1.3		1		
			剥片	101	O19		1	4.8		1		
－	382	556	接合資料	97				660.2	23	1	988	4228
			剥片	97	I 24		215	8.4		1		
				97	I 24		956	11.6		1		
			縦長剥片	97	I 24		558	5.1		1		
					I 25	I	49	7.4		1		
				97	J 24		874	14.2		1		
			剥片	97	I 24		938	24.9		1		
			剥片	97	I 24		945	12.0		1		
			剥片	97	I 25		31	20.7		1		
			縦長剥片	97	I 25		114	12.8		1		
			剥片	97	I 25		133	13.6		1		
			剥片	97	I 25		233	2.6		1		
				97	J 25		82	6.7		1		
			剥片	97	I 25		381	271.8		1		
			剥片		I 25	I	47	20.3		1		
			剥片		I 25	I	48	67.1		1		
			剥片	97	J 24		108	11.1		1		
			剥片	97	J 24		1117	29.3		1		
			剥片	97	J 24		1359	3.5		1		
			剥片	97	J 24		1489	18.5		1		
			剥片	97	J 24		1549	21.9		1		
			剥片	97	J 24		1693	5.0		1		
					J 24	I	264	22.5		1		
－	402	12	舟底形石器		ボサ		11	49.2		1		
－	382	557	接合資料	101				221.4	8	1	1162	4668
－	323	459	石刃核	101	L17		105	77.3		1		
			石刃	101	M18		1481	1.6		1		
			剥片	101	M19		175	117.0		1		
			剥片	101	M19		302	1.8		1		
			石刃	101	M19		323	4.9		1		
			石刃	101	M19		410	5.3		1		
			石刃	101	M19		415	8.9		1		
			石刃		N19	I	8	4.6		1		
－	383	558	接合資料	97･98･100･101･102				771.7	34	5	1128	4597
			石刃	102	I 19		61	17.2		5		
			石刃	100	J 19		340	15.6		5		
			剥片	100	J 19		452	17.2		5		
Ⅲ-387	305	177	錐形石器	100	K19		297	9.6		5		
Ⅲ-387	305	179	錐形石器	100	K19		311	17.8		5		
			石刃	101	K19		382	11.9		5		
			剥片	100	K20		534	71.3		5		
				97	K22		585	17.5		5		
			石刃	100	K20		703	24.5		5		
					L22	I	396	8.7		5		
			剥片		K22	I	42	38.3		5		
				97	K23		2665	3.5		5		
					L22	I	385	69.0		5		
					L22	I	386	45.2		5		
			剥片	97	K23		250	36.7		5		
				97	L22		1539	12.7		5		
			石刃	97	K23		2613	21.3		5		
			剥片	97	K23		3354	5.8		5		
				97	M22		706	11.6		5		
			剥片	97	K23		3440	26.1		5		
－	322	437	舟底形石器	98	L20		17	21.7		5		
			剥片	97	L22		951	11.0		5		
			石刃	97	L22		1403	36.1		5		
			石刃	97	L22		1781	16.3		5		
			剥片	97	L22		1953	55.7		5		
					L22	I	351	14.2		5		
			剥片	97	L22		2855	8.9		5		
			剥片		L22	I	344	16.5		5		
			剥片		L22	I	387	23.7		5		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			縦長剥片		L22	I	393	7.6		5		
			剥片	97	L23		363	37.3		5		
			石刃	101	M19		794	5.3		5		
			剥片	97	M22		798	15.7		5		
			石刃		M28	I	20	20.2		5		
−	383	559	接合資料	97				1975.7	23	1	1030	4327
			縦長剥片		K22	I	15	77.1		1		
				97	L22		1348	9.6		1		
			縦長剥片	97	L21		40	151.1		1		
			剥片	97	L21		254	3.4		1		
				97	L22		541	6.1		1		
			縦長剥片	97	L21		607	92.1		1		
			剥片		L21	I	23	116.5		1		
			剥片	97	L22		875	86.7		1		
			剥片	97	L22		1292	3.8		1		
			剥片	97	L22		1514	2.2		1		
			縦長剥片	97	L22		2103	25.8		1		
				97	L22		2513	153.6		1		
			剥片	97	L22		2168	68.4		1		
			縦長剥片		L22	I	187	7.9		1		
				97	M22		1992	16.5		1		
			剥片		L22	I	188	123.4		1		
			剥片		L22	I	214	106.9		1		
			剥片	97	M21		471	19.3		1		
			剥片	97	M21		662	24.7		1		
			縦長剥片	97	M21		799	113.5		1		
			剥片	97	M21		859	53.5		1		
−	329	506	石核	97	M22		1760	629.7		1		
			剥片	97	M22		1869	83.9		1		
−	384	560	接合資料	96･97				268.4	11	4	1090	4521
			剥片		I24	I	2	5.0		4		
			剥片	97	J24		1581	12.6		4		
				97	J25		146	10.2		4		
			剥片	97	J24		1750	12.8		4		
				97	J24		1802	35.4		4		
			剥片	97	J24		1803	24.6		4		
			剥片	97	J25		159	32.8		4		
			剥片	97	J25		173	3.9		4		
			剥片	97	J25		193	7.8		4		
−	203	480	石核	96	K24		1194	72.0		4		
			剥片	96	L24		525	51.3		4		
−	384	561	接合資料	97				248.3	5	4	1060	4398
−	327	491	石核	97	L22		1073	186.7		4		
			剥片		L22	I	425	21.4		4		
			剥片		L22	I	426	8.0		4		
			剥片	97	M22		1329	7.6		4		
			剥片	97	M22		1863	24.6		4		
−	384	562	接合資料	97				1578.8	30	3･4	1118	4578
			剥片	97	K22		92	3.5		3		
				97	L23		1077	5.3		4		
				97	M21		96	149.1		4		
			剥片		K22	I	5	18.2		4		
			剥片	97	K23		331	2.2		4		
			剥片	97	K23		381	20.5		4		
				97	M21		321	4.1		4		
			剥片	97	K23		430	2.2		4		
				97	L22		316	2.7		4		
				97	M21		12	179.7		4		
			剥片	97	K23		1523	3.5		4		
			剥片	97	K23		1644	108.9		4		
			剥片	97	K23		1834	8.3		4		
			剥片	97	K23		2345	12.3		4		
				97	K23		3095	35.3		3		
			剥片	97	K23		2854	9.7		4		
			剥片	97	K23		3018	135.9		3		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	97	K23		3148	9.1		4		
			剥片		K23	I	8	181.9		4		
					L22	I	36	15.9		4		
			剥片		L21	I	6	13.2		4		
			剥片	97	L22		2045	135.7		4		
			剥片	97	L22		2857	16.9		4		
				97	M22		1809	231.8		4		
			石刃		L22	I	34	24.4		4		
			剥片	97	L23		520	36.9		3		
			石刃	97	M21		337	44.3		4		
−	325	477	石刃核	97	M21		448	108.2		4		
			剥片	97	M22		649	5.9		3		
			石刃	97	M22		1841	53.2		4		
−	385	563	接合資料	97･98･100･101				1738.9	20	5	1123	4588
			剥片		J21	I	40	1.4		5		
Ⅲ-387	305	187	削器	101	K19		325	16.5		5		
				101	L19		515	21.2		5		
			剥片	100	K20		170	141.2		5		
				97	L23		268	39.6		5		
					M21	I	9	42.6		5		
			剥片	97	K22		490	175.9		5		
					L22	I	451	58.0		5		
					L22	I	471	9.5		5		
			石刃	101	L19		306	26.5		5		
			剥片		L21	I	56	287.3		5		
			剥片	97	L22		390	89.5		5		
				97	M22		1950	80.6		5		
			剥片	97	L22		1869	41.1		5		
			縦長剥片	97	L22		2293	7.0		5		
			剥片		L22	I	460	17.8		5		
			剥片	97	L23		747	27.6		5		
			剥片	98	M20		83	124.3		5		
Ⅲ-403	314	311	石刃核	98	M21		91	389.1		5		
			剥片	97	M22		100	142.2		5		
−	385	564	接合資料	97				1672.3	12	1	1042	4353
−	326	486	石刃核		K21	I	5	934.9		1		
			剥片		L21	I	37	140.1		1		
			剥片	97	L22		94	173.1		1		
			剥片	97	L22		1630	107.6		1		
			剥片	97	M21		531	70.2		1		
			剥片	97	M22		587	46.5		1		
			縦長剥片	97	M22		1126	24.7		1		
			剥片	97	M22		1860	95.4		1		
				97	M22		1983	20.7		1		
			剥片	97	M22		1949	8.2		1		
			縦長剥片	97	M22		1967	19.1		1		
			剥片		M22	I	13	31.8		1		
−	386	565	接合資料	97･98･100				615.8	27	3･4	1181	4730
−	321	426	舟底形石器	100	K19		92	53.1		4		
				98	M21		574	34.8		4		
			剥片	100	K20		66	9.9		4		
			剥片		K21	I	17	1.9		4		
			剥片	97	K22		472	11.3		3		
			剥片		K22	I	11	27.5		4		
			剥片	98	L21		115	7.0		4		
			剥片	97	L22		409	12.7		4		
			剥片	97	L22		490	118.7		4		
			剥片	97	L22		1730	15.6		4		
			剥片	97	L22		2065	4.7		4		
			剥片	97	L22		2114	41.6		4		
				97	L22		2149	14.0		4		
			剥片		L22	I	81	21.5		4		
			剥片		L22	I	168	9.8		4		
				97	M22		849	12.3		4		
			剥片		L22	I	169	6.9		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片		L22	I	170	10.0		4		
			剥片		L22	I	171	8.8		4		
			剥片		L22	I	172	1.7		4		
			剥片	98	M20		161	16.7		4		
			剥片	97	M22		298	11.9		4		
			剥片	97	M22		1105	6.3		4		
			剥片	97	M22		1406	21.3		4		
			剥片	97	M22		1424	17.8		4		
			剥片	97	M22		1898	11.4		4		
			二次加工ある剥片	97	N21		175	106.6		3		
－	386	566	接合資料	97･100				1010.0	14	1	1005	4272
			剥片	100	K20		100	325.8		1		
				97	K23		3195	11.9		1		
				97	L22		817	10.3		1		
				97	L22		1886	12.4		1		
				97	M22		1956	34.4		1		
			剥片		K21	I	18	30.5		1		
					L22	I	282	9.2		1		
				97	M22		767	40.2		1		
			剥片	97	K22		752	16.0		1		
				97	K23		3349	1.6		1		
			剥片		K22	I	17	277.4		1		
			剥片		L21	I	28	8.1		1		
			剥片	97	L22		738	80.9		1		
			剥片		L22	I	266	151.3		1		
－	386	567	接合資料	97･98･100				2047.1	44	3･4	1116	4576
			剥片	100	K20		74	43.0		4		
					K20	I	19	31.3		4		
			剥片	100	K20		227	32.0		4		
			剥片		K20	I	18	28.4		4		
			剥片		K21	I	13	135.2		4		
			剥片	97	K22		418	16.8		3		
			剥片	97	K22		633	24.3		4		
			剥片	97	K23		1829	48.9		4		
			剥片	97	K23		2001	5.2		4		
			剥片	97	K23		2100	30.7		4		
			剥片	97	K23		2246	28.2		4		
			剥片	97	K23		2628	39.2		4		
				97	L22		520	194.3		4		
				97	L22		912	3.2		4		
					L22	I	46	20.8		4		
				98	M20		141	267.7		4		
			剥片		K23	I	9	35.5		4		
			剥片	98	L20		11	9.7		4		
			剥片	98	L21		425	205.9		4		
			剥片		L21	I	4	57.1		4		
			剥片	97	L22		896	70.5		4		
			剥片	97	L22		1561	12.7		4		
			剥片	97	L22		1821	44.4		4		
			剥片	97	L22		1894	58.2		4		
				97	L23		1216	29.0		4		
			剥片	97	L22		1896	5.0		4		
			剥片	97	L22		1951	80.1		4		
			剥片	97	L22		2038	7.3		4		
			剥片	97	L22		2655	96.8		4		
			剥片		L22	I	35	25.6		4		
			剥片		L22	I	45	10.7		4		
			剥片	97	L23		42	7.1		4		
			剥片	97	L23		45	17.3		4		
			剥片	97	L23		342	13.0		4		
			剥片	97	L23		435	10.5		4		
			剥片	97	L23		939	10.9		4		
			剥片	97	M21		151	21.0		4		
			剥片	97	M21		1028	111.5		4		
			剥片	97	M22		139	5.2		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	97	M22		268	20.2		4		
			剥片	97	M22		638	40.7		4		
				97	M22		867	55.5		4		
			剥片	97	M22		1226	10.1		4		
			剥片	97	M22		1353	26.4		4		
－	387	568	接合資料	97				1928.1	25	1	986	4226
			剥片	97	I25		3	19.3		1		
					J24	I	227	260.4		1		
			縦長剥片	97	J23		125	158.4		1		
			剥片	97	J24		30	149.4		1		
				97	J24		314	23.4		1		
Ⅲ-398	310	275	舟底形石器		J24	I	2	87.7		1		
					K23	I	1	27.8		1		
			剥片		J24	I	139	223.7		1		
			剥片		J24	I	259	30.5		1		
			剥片	97	K23		42	146.1		1		
				97	K23		939	87.9		1		
			剥片	97	K23		897	46.1		1		
			剥片	97	K23		2265	4.7		1		
			剥片	97	K23		3280	49.6		1		
			剥片	97	K23		3888	20.0		1		
			剥片		K23	I	61	60.8		1		
			剥片		K23	I	92	11.0		1		
			剥片	97	K24		35	25.4		1		
			剥片	97	K24		1590	37.9		1		
			剥片	97	K24		1837	73.3		1		
			剥片	97	K24		2437	109.3		1		
			剥片	97	L22		3132	27.7		1		
			剥片	97	L23		837	43.8		1		
－	402	11	削器		七北13~29		8	191.9		1		
			剥片		排土		139	12.0		1		
－	387	569	接合資料	97･99				969.8	61	3･4	1078	4493
－	323	450	舟底形石器	99	H21		62	15.4		3		
			剥片	97	H23		370	191.2		4		
			剥片	97	H23		476	5.0		4		
			剥片	97	I23		376	4.8		4		
			剥片	97	I24		84	4.5		4		
			剥片	97	I24		88	5.7		4		
			剥片	97	I24		104	2.3		4		
			剥片	97	I24		342	3.8		4		
			剥片	97	I24		357	9.2		4		
				97	I24		360	2.6		4		
			剥片	97	I24		367	8.2		4		
			剥片	97	I24		957	14.8		4		
			剥片	97	I24		963	63.6		4		
				97	I24		1156	4.6		4		
					I25	I	52	16.7		4		
					I25	I	61	57.9		4		
				97	J24		396	9.8		4		
			剥片	97	I24		1223	4.9		4		
			剥片	97	I24		1255	17.3		4		
－	322	439	舟底形石器	97	I24		1282	24.0		4		
			剥片	97	I24		1290	7.8		4		
			剥片	97	I25		229	3.5		4		
			剥片	97	I25		284	1.7		4		
			縦長剥片	97	I25		353	10.0		4		
				97	I25		355	8.1		4		
			剥片	97	I25		403	2.3		4		
				97	J24		1815	4.8		4		
			剥片		I25	I	51	22.5		4		
				97	J24		1795	17.0		4		
			剥片		I25	I	53	11.3		4		
			剥片		I25	I	54	6.9		4		
			剥片		I25	I	55	6.3		4		
			剥片		I25	I	56	21.9		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片		I 25	I	57	11.8		4		
			剥片		I 25	I	58	16.4		4		
				97	J 24		1654	11.6		4		
			剥片		I 25	I	59	3.4		4		
			剥片	97	J 24		15	6.1		4		
			剥片	97	J 24		238	1.5		4		
			剥片	97	J 24		248	5.5		4		
			剥片	97	J 24		614	15.1		4		
			剥片	97	J 24		672	9.4		4		
				97	J 24		1420	6.6		4		
			剥片	97	J 24		1066	5.5		4		
			剥片	97	J 24		1085	5.5		4		
			剥片	97	J 24		1157	8.6		4		
			剥片	97	J 24		1270	22.5		4		
			剥片	97	J 24		1313	10.4		4		
			剥片	97	J 24		1322	4.3		4		
			剥片	97	J 24		1335	20.0		4		
			剥片	97	J 24		1421	16.8		4		
			剥片	97	J 24		1441	7.1		4		
			剥片	97	J 24		1454	6.7		4		
			剥片	97	J 24		1499	2.1		4		
			剥片	97	J 24		1597	2.2		4		
			剥片	97	J 24		1624	5.9		4		
			剥片	97	J 24		1703	17.3		4		
			剥片	97	J 24		1721	8.2		4		
			剥片	97	J 24		1817	86.4		4		
			剥片	97	J 25		71	10.7		4		
			剥片	97	J 25		79	51.8		4		
−	388	570	接合資料	97·101				1096.6	45	1	987	4227
			剥片	97	K22		41	16.8		1		
			剥片	97	K22		696	12.0		1		
−	322	446	舟底形石器	101	L 19		530	51.6		1		
			剥片		L 21	I	52	6.6		1		
			剥片	97	L 22		382	2.7		1		
			剥片	97	L 22		659	15.7		1		
			剥片	97	L 22		1007	15.0		1		
			剥片	97	L 22		1026	9.4		1		
			剥片	97	L 22		1029	42.7		1		
			剥片	97	L 22		1054	6.6		1		
			剥片	97	L 22		1708	10.3		1		
				97	M22		2061	9.8		1		
−	322	443	舟底形石器	97	L 22		1994	29.0		1		
			剥片	97	L 22		1998	5.5		1		
			剥片	97	L 22		2079	5.2		1		
			二次加工ある剥片	97	L 22		2100	14.1		1		
			剥片	97	L 22		2267	20.1		1		
			剥片	97	L 22		3211	18.2		1		
−	322	441	舟底形石器		L 22	I	7	37.6		1		
				97	M22		112	9.3		1		
			剥片		L 22	I	270	129.1		1		
			剥片		L 22	I	355	6.4		1		
			剥片		L 22	I	407	15.3		1		
			剥片		L 22	I	417	7.3		1		
			剥片	97	L 23		210	23.9		1		
			剥片	97	L 23		222	7.3		1		
			剥片	97	L 23		1076	9.6		1		
			剥片	97	M21		283	24.2		1		
			剥片	97	M21		760	0.8		1		
					M22	I	16	7.6		1		
			剥片	97	M21		832	5.2		1		
			剥片	97	M21		880	4.7		1		
			剥片	97	M22		498	19.8		1		
				97	M22		1400	40.3		1		
			剥片	97	M22		818	16.6		1		
			剥片	97	M22		1043	4.9		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	97	M22		1098	16.1		1		
			剥片	97	M22		1272	35.4		1		
			剥片	97	M22		1280	222.9		1		
			剥片	97	M22		1434	6.7		1		
				97	N21		94	73.9		1		
			剥片	97	M22		1557	7.5		1		
			剥片		M22	I	15	13.2		1		
			剥片	97	N21		95	12.6		1		
			剥片	97	N21		153	47.1		1		
−	388	571	接合資料	100·101·106				1966.9	88	4	1178	4718
			剥片	100	J 19		173	3.0		4		
				101	M18		699	23.0		4		
			剥片	101	K17		21	5.4		4		
			剥片	101	K17		22	8.8		4		
			剥片		K17	I	2	3.8		4		
			剥片	101	K18		3	14.9		4		
			剥片	101	K18		11	1.6		4		
			剥片	101	K18		28	10.2		4		
			剥片	101	K18		39	1.9		4		
			剥片	101	K18		54	5.3		4		
−	321	429	舟底形石器	101	K18		60	105.9		4		
			剥片	101	K18		90	1.9		4		
			剥片	101	K18		112	6.0		4		
			剥片	101	K18		117	40.8		4		
			剥片	101	K18		121	7.1		4		
			剥片	101	K18		127	3.6		4		
			剥片	101	K18		129	12.5		4		
			剥片	101	K18		138	13.7		4		
				101	L 18		199	3.9		4		
			剥片	101	K18		142	8.8		4		
			剥片	101	K18		182	3.5		4		
			剥片	101	K18		186	42.1		4		
				101	M18		885	18.7		4		
			剥片		K18	I	5	2.3		4		
−	320	422	舟底形石器	101	K19		31	46.1		4		
				101	M18		868	28.3		4		
			剥片	101	K19		32	8.1		4		
				101	L 19		256	18.7		4		
				101	M18		367	52.8		4		
				101	M18		921	5.3		4		
				101	M19		704	17.0		4		
			剥片	101	K19		219	16.1		4		
				101	L 19		503	36.1		4		
			剥片	106	L 17		32	6.3		4		
			剥片	101	L 17		47	13.6		4		
			剥片	101	L 17		49	13.8		4		
			剥片	101	L 17		51	5.9		4		
			剥片	101	L 17		73	5.9		4		
					L 17	I	3	3.6		4		
			剥片	101	L 17		85	10.5		4		
			剥片	101	L 17		132	6.3		4		
			剥片	101	L 17		137	7.9		4		
			縦長剥片	101	L 17		142	18.6		4		
			剥片	101	L 17		143	3.7		4		
			剥片	101	L 17		148	1.5		4		
			剥片		L 17	I	2	8.5		4		
			剥片	101	L 18		1	18.2		4		
			剥片	101	L 18		34	3.4		4		
			剥片	101	L 18		117	7.3		4		
				101	M18		916	16.5		4		
			剥片	101	L 18		202	3.7		4		
			剥片	101	L 18		363	4.2		4		
			剥片	101	L 18		372	3.0		4		
			剥片	101	L 18		399	5.2		4		
			剥片	101	L 18		404	18.4		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	101	L18		407	12.1		4		
			剥片		L18	I	29	9.2		4		
			剥片		L18	I	30	39.5		4		
			剥片		L18	I	32	11.2		4		
			剥片	101	L19		54	31.6		4		
				101	L19		64	13.7		4		
					L19	I	6	8.4		4		
			縦長剥片	101	L19		76	10.2		4		
					L19	I	9	3.3		4		
			剥片	101	L19		109	27.5		4		
					M18	I	15	24.5		4		
			剥片	101	L19		246	4.7		4		
			剥片	101	L19		251	10.5		4		
			縦長剥片	101	L19		276	7.0		4		
				101	N18		745	13.3		4		
			剥片	101	L19		455	4.7		4		
			剥片		L19	I	5	52.8		4		
－	326	485	石刃核	101	M17		143	294.8		4		
			剥片	101	M17		159	105.4		4		
			剥片		M17	I	1	3.7		4		
				101	N18		1052	18.4		4		
			剥片	101	M18		73	3.8		4		
			剥片	101	M18		446	73.2		4		
				101	M18		1548	13.6		4		
			剥片	101	M18		581	4.4		4		
			剥片	101	M18		770	187.3		4		
				101	N18		197	8.7		4		
			縦長剥片	101	M18		1484	12.6		4		
			剥片	101	M18		1587	11.7		4		
			剥片	101	M18		2132	7.2		4		
			剥片	101	M18		2258	54.5		4		
			剥片	101	M19		495	21.0		4		
			剥片	101	N19		44	99.2		4		
－	389	572	接合資料	97				806.7	29	4	1106	4554
			剥片	97	K22		183	4.9		4		
			剥片	97	K22		366	3.1		4		
					K22	I	54	149.3		4		
				97	L22		934	2.5		4		
					L22	I	286	16.6		4		
					L22	I	296	9.9		4		
					L22	I	301	7.6		4		
					L22	I	303	14.8		4		
			剥片	97	K22		797	96.8		4		
				97	M22		1518	17.0		4		
			剥片		K22	I	53	40.7		4		
			剥片		K22	I	55	9.4		4		
			剥片		K23	I	57	14.3		4		
			剥片	97	L22		238	3.7		4		
－	321	424	舟底形石器	97	L22		751	57.5		4		
			剥片	97	L22		2374	18.9		4		
			剥片	97	L22		2931	22.3		4		
－	322	445	舟底形石器		L22	I	11	19.1		4		
					L22	I	41	27.5		4		
			剥片		L22	I	160	3.9		4		
			剥片		L22	I	164	8.9		4		
			剥片		L22	I	165	151.5		4		
			剥片		L22	I	285	48.8		4		
			剥片		L22	I	287	32.0		4		
			剥片		L22	I	288	9.4		4		
			剥片		L22	I	297	3.3		4		
			剥片		L22	I	298	5.1		4		
			剥片		L22	I	299	4.7		4		
			剥片		L22	I	300	3.2		4		
－	389	573	接合資料	97				578.2	26	4	1080	4499
			剥片	97	I23		163	89.4		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				97	I23		168	5.2		4		
				97	I23		567	29.4		4		
			剥片	97	I23		453	147.3		4		
			剥片	97	I24		85	64.9		4		
			剥片	97	I24		188	5.6		4		
			剥片	97	I24		649	5.6		4		
			剥片	97	I24		878	2.6		4		
			剥片	97	I24		962	17.7		4		
			剥片	97	I24		1280	3.1		4		
				97	J24		561	53.7		4		
			剥片	97	I25		55	2.4		4		
			剥片		I25	I	28	12.9		4		
			剥片		I25	I	33	1.6		4		
			剥片		I25	I	34	1.1		4		
			剥片		I25	I	35	3.3		4		
			剥片		I25	I	39	3.7		4		
			剥片	97	J23		1032	35.9		4		
			剥片	97	J24		869	5.8		4		
			剥片	97	J24		952	12.5		4		
			剥片	97	J24		990	2.3		4		
			剥片	97	J24		995	15.4		4		
				97	J24		1237	13.5		4		
			剥片	97	J24		1168	11.0		4		
			剥片	97	J24		1478	26.5		4		
			剥片	97	J24		1698	5.8		4		
－	389	574	接合資料	97				396.3	19	4	1107	4555
－	322	434	舟底形石器	97	L22		135	137.8		4		
			剥片	97	L22		450	7.8		4		
				97	L22		2098	3.6		4		
					L22	I	162	21.3		4		
				97	M22		1966	18.8		4		
			剥片	97	L22		485	15.6		4		
				97	L22		1814	8.5		4		
					L22	I	161	6.6		4		
				97	M22		1517	6.9		4		
			剥片	97	L22		1023	2.0		4		
			剥片	97	L22		1381	48.1		4		
				97	L22		1677	6.6		4		
			剥片	97	L22		2526	15.0		4		
			剥片	97	L22		2702	12.3		4		
－	322	444	舟底形石器		L22	I	40	30.6		4		
			剥片		L22	I	163	12.1		4		
			剥片	97	M22		858	7.1		4		
			剥片	97	M22		945	25.6		4		
			剥片	97	M22		1807	10.0		4		
－	389	575	接合資料	101				277.4	11	4	1184	4733
			剥片	101	K19		35	20.5		4		
					K19	I	14	8.0		4		
				101	M19		62	4.4		4		
					M19	I	10	2.5		4		
			剥片	101	M18		259	34.7		4		
					N19	I	1	47.9		4		
			剥片	101	M19		31	3.0		4		
			二次加工ある剥片	101	M19		210	39.3		4		
－	328	502	石核	101	M19		246	100.0		4		
			剥片	101	M19		392	12.1		4		
			剥片	101	O19		30	5.0		4		
－	390	576	接合資料	101				604.9	24	1	1165	4681
			剥片	101	L18		265	16.5		1		
				101	M18		790	7.5		1		
			剥片	101	L18		303	18.7		1		
				101	N18		18	1.2		1		
			剥片	101	L18		348	6.8		1		
			剥片	101	L18		392	3.6		1		
					N19	I	9	1.7		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
－	321	428	舟底形石器	101	L19		191	18.1		1		
				101	M19		375	45.2		1		
			剥片	101	M18		785	1.2		1		
			剥片	101	M18		1084	23.9		1		
－	328	505	石核	101	M18		1168	163.6		1		
			剥片	101	M18		1211	25.2		1		
			剥片	101	M18		1855	1.8		1		
			剥片	101	M18		2077	50.1		1		
			剥片	101	M18		2437	14.2		1		
			剥片	101	M19		182	18.6		1		
			剥片	101	M19		256	130.9		1		
			剥片	101	M19		363	1.8		1		
			剥片	101	M19		387	8.5		1		
			剥片	101	N18		649	1.7		1		
			剥片	101	N18		842	17.4		1		
			剥片	101	N18		960	1.9		1		
			剥片		N18	I	14	24.8		1		
－	390	577	接合資料	97				1047.2	32	1	1048	4368
			二次加工ある剥片		J20	I	25	98.5		1		
					M21	I	3	123.9		1		
			剥片	97	K22		180	34.4		1		
			剥片	97	K22		527	35.6		1		
					K22	I	12	4.6		1		
				97	L22		1303	4.5		1		
			二次加工ある剥片	97	K22		748	139.2		1		
				97	L22		2696	103.6		1		
			剥片	97	K22		761	13.5		1		
				97	M21		885	7.1		1		
			剥片		L21	I	16	2.3		1		
				97	L22		1763	5.6		1		
－	322	448	舟底形石器	97	L22		513	58.7		1		
				97	L22		539	6.2		1		
			剥片	97	L22		741	27.9		1		
				97	L22		2375	36.4		1		
			剥片	97	L22		1042	50.4		1		
				97	L22		1045	3.6		1		
			剥片	97	L22		1145	2.5		1		
			剥片	97	L22		1298	29.1		1		
					L22	I	175	16.7		1		
			剥片	97	L22		1973	52.2		1		
				97	L22		2303	51.7		1		
				97	L22		2540	3.9		1		
			剥片	97	L22		2054	37.4		1		
				97	M21		554	7.1		1		
			剥片	97	L22		2141	25.1		1		
			剥片	97	M21		972	0.8		1		
			剥片	97	M22		254	27.1		1		
			剥片	97	M22		1163	4.1		1		
			剥片	97	M22		1625	9.9		1		
			剥片	97	M22		2012	23.6		1		
－	390	578	接合資料	97				401.2	15	1	1021	4298
			剥片	97	K22		212	2.7		1		
				97	L22		25	52.6		1		
			剥片	97	K22		539	11.3		1		
			剥片	97	K22		731	83.9		1		
			剥片	97	L21		52	66.5		1		
			剥片	97	L22		295	26.6		1		
			剥片	97	L22		752	6.9		1		
			剥片	97	L22		2664	9.1		1		
			剥片		L22	I	277	9.1		1		
			剥片	97	L23		514	48.1		1		
			剥片	97	L23		519	21.5		1		
			剥片	97	L23		1066	10.4		1		
			剥片	97	M21		95	28.9		1		
			剥片	97	M22		102	17.7		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	97	M22		1442	5.9		1		
－	391	579	接合資料	97·100·101				683.9	34	1	1008	4276
			剥片		J24	I	101	9.1		1		
				97	L23		816	6.3		1		
			剥片	100	K20		627	8.7		1		
			剥片	97	K22		686	1.2		1		
			剥片	101	L19		425	150.3		1		
			剥片		L21	I	34	11.0		1		
			剥片	97	L22		92	3.1		1		
				97	L23		980	4.3		1		
			剥片	97	L22		131	7.7		1		
			剥片	97	L22		300	3.6		1		
			剥片	97	L22		1194	15.0		1		
			剥片	97	L22		1596	3.9		1		
			剥片	97	L22		2235	22.5		1		
			剥片	97	L22		2250	14.1		1		
				97	M22		811	16.1		1		
			剥片	97	L22		2701	2.1		1		
－	322	436	舟底形石器		L22	I	8	33.2		1		
			剥片		L22	I	373	9.6		1		
			剥片		L22	I	375	10.7		1		
			剥片	97	L23		921	25.5		1		
			剥片	97	M21		643	4.7		1		
			剥片	97	M21		722	5.0		1		
			剥片	97	M22		6	14.0		1		
			剥片	97	M22		197	121.0		1		
			剥片	97	M22		358	6.0		1		
			剥片	97	M22		372	20.7		1		
			剥片	97	M22		373	11.2		1		
				97	M22		1033	23.8		1		
			剥片	97	M22		427	46.4		1		
			剥片	97	M22		622	12.9		1		
			剥片	97	M22		856	31.4		1		
			剥片	97	M22		1677	18.3		1		
			剥片	97	M22		1954	2.1		1		
			剥片	97	N21		166	8.4		1		
－	391	580	接合資料	97·101				131.1	8	4	1075	4481
			剥片	97	K22		744	23.5		4		
			剥片	97	K23		479	1.1		4		
				97	L23		547	12.9		4		
			剥片	97	K23		2236	4.1		4		
			剥片	97	K23		4182	16.9		4		
－	329	508	石核	101	L19		490	65.9		4		
			剥片	97	L22		3055	3.8		4		
			剥片	97	L23		854	2.9		4		
－	391	581	接合資料	101				40.1	3	1	－	5821
			尖頭器削片		L18	I	1	13.8		1		
					L18	II	10	1.5		1		
			尖頭器	101	L19		342	24.8		1		
－	391	582	接合資料	100·102				19.7	2	3·5	－	5824
			尖頭器削片	102	J19		249	4.2		3		
			尖頭器	100	K19		367	15.5		5		
Ⅲ-505	396	24	接合資料	110				1329.9	67	1	1198	4773
			剥片	110	N04		27	54.2		1		
				110	O04		188	40.4		1		
			剥片	110	N04		261	31.0		1		
				110	R05		4	3.2		1		
			剥片	110	N04		307	4.9		1		
				110	O04		147	3.0		1		
				110	O04		205	11.9		1		
			剥片	110	N04		376	18.0		1		
			剥片		N04	I	70	22.4		1		
				110	O04		242	82.5		1		
			剥片		N04	I	71	34.0		1		
				110	O04		10	1.1		1		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片		N04	Ⅰ	72	12.4		1		
					N04	Ⅰ	73	8.1		1		
			剥片	110	O04		83	3.8		1		
				110	Q04		2	41.0		1		
					Q04	Ⅰ	6	3.0		1		
				110	Q05		5	5.7		1		
				110	R04		8	1.0		1		
			剥片	110	O04		85	6.7		1		
			剥片	110	O04		88	21.3		1		
					Q04	Ⅰ	2	11.1		1		
			剥片	110	O04		198	3.4		1		
				110	O04		199	1.9		1		
				110	O04		293	2.6		1		
				110	Q04		10	29.8		1		
				110	Q04		48	1.7		1		
			剥片	110	O04		203	58.7		1		
			剥片	110	O04		297	10.3		1		
			剥片	110	P03		27	4.0		1		
				110	P04		17	14.6		1		
			剥片	110	P03		60	10.0		1		
			剥片	110	P04		3	4.3		1		
			剥片	110	P04		14	49.5		1		
Ⅲ-496	392	3	尖頭器	110	P04		33	136.3		1		
			剥片		P04	Ⅰ	4	11.5		1		
			剥片		P04	Ⅱ	3	1.4		1		
			剥片	110	P05		27	13.3		1		
			剥片		Q03	Ⅰ	1	2.4		1		
			剥片		Q03	Ⅰ	3	4.7		1		
			剥片	110	Q04		5	2.5		1		
					Q04	Ⅱ	4	1.6		1		
			剥片	110	Q04		9	16.0		1		
				110	Q04		26	2.9		1		
					Q04	Ⅰ	1	12.6		1		
			剥片	110	Q04		11	5.8		1		
				110	Q04		47	6.7		1		
			剥片	110	Q04		20	4.1		1		
			剥片	110	Q04		23	17.7		1		
				110	Q04		29	8.0		1		
			剥片	110	Q04		24	54.1		1		
				110	S05		2	39.0		1		
			剥片	110	Q04		25	9.6		1		
			剥片	110	Q04		33	13.5		1		
				110	Q04		34	25.5		1		
				110	Q04		61	1.6		1		
					七南1～30		10	83.0		1		
			剥片	110	Q04		37	3.7		1		
				110	R04		3	23.5		1		
				110	R04		4	19.2		1		
			剥片		Q04	Ⅰ	9	1.1		1		
					Q04	Ⅱ	5	0.8		1		
				110	R04		6	11.8		1		
			剥片		Q04	Ⅰ	10	2.7		1		
			剥片	110	R04		2	124.2		1		
			剥片	110	R05		7	3.8		1		
			剥片	110	R05		9	53.8		1		
Ⅲ-507	395	25	接合資料	110				709.3	73	4	1203	4784
			剥片	110	N04		20	2.0		4		
			剥片	110	N04		22	3.4		4		
			剥片	110	N04		36	5.8		4		
			剥片	110	N04		51	30.1		4		
			剥片	110	N04		109	1.9		4		
				110	P05		227	2.1		4		
			剥片	110	N04		118	18.0		4		
			剥片	110	N04		164	2.4		4		
			剥片		N04	Ⅰ	3	11.2		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片		N04	Ⅰ	19	3.6		4		
			剥片		N04	Ⅰ	20	5.4		4		
			剥片		N04	Ⅰ	22	4.3		4		
			剥片		N04	Ⅰ	23	4.1		4		
			剥片		N04	Ⅰ	24	5.1		4		
			剥片		N04	Ⅰ	28	1.4		4		
					O05	Ⅰ	6	9.1		4		
			剥片		N04	Ⅰ	41	2.2		4		
			剥片	110	N05		29	15.8		4		
			剥片	110	N05		58	3.0		4		
			剥片	110	N05		63	1.2		4		
			剥片	110	N05		81	5.5		4		
			剥片		N05	Ⅰ	1	8.8		4		
			剥片	110	O04		17	3.5		4		
			剥片	110	O04		65	9.4		4		
			剥片	110	O04		75	3.5		4		
			剥片	110	O04		246	13.7		4		
			剥片	110	O04		403	1.9		4		
			剥片		O04	Ⅰ	2	26.8		4		
			剥片	110	O05		14	49.7		4		
			剥片	110	O05		17	3.7		4		
			剥片	110	O05		28	4.2		4		
			剥片	110	O05		33	0.9		4		
			剥片	110	O05		57	2.0		4		
				110	P05		322	4.1		4		
			剥片	110	O05		61	4.9		4		
			剥片	110	O05		64	1.5		4		
			剥片	110	O05		70	7.6		4		
			剥片	110	O05		87	1.6		4		
			剥片	110	O05		111	4.8		4		
			剥片	110	O05		136	6.3		4		
				110	P05		44	1.6		4		
			剥片	110	O05		141	9.0		4		
				110	P05		229	38.1		4		
			剥片	110	O05		152	1.4		4		
			剥片		O05	Ⅰ	2	8.1		4		
				110	P05		36	16.7		4		
			剥片	110	P05		9	5.7		4		
			剥片	110	P05		16	8.3		4		
				110	P05		65	1.8		4		
			剥片	110	P05		70	1.6		4		
			剥片	110	P05		81	2.1		4		
			剥片	110	P05		118	1.3		4		
			剥片	110	P05		123	6.5		4		
			剥片	110	P05		132	1.4		4		
			剥片	110	P05		172	4.5		4		
			剥片	110	P05		220	2.4		4		
			剥片	110	P05		232	3.0		4		
			剥片	110	P05		234	35.0		4		
			剥片	110	P05		256	1.8		4		
			剥片	110	P05		260	1.7		4		
			剥片	110	P05		272	7.0		4		
			剥片	110	P05		307	69.1		4		
			剥片	110	P05		320	7.0		4		
			剥片	110	P05		323	5.5		4		
			剥片	110	P05		332	37.4		4		
			剥片	110	P05		333	1.9		4		
			剥片	110	Q05		18	29.4		4		
			剥片	110	Q05		19	9.8		4		
			剥片	110	Q05		38	13.8		4		
			剥片	110	Q05		77	5.3		4		
Ⅲ-499	394	21	石刃核	110	Q05		115	67.4		4		
			剥片	110	Q05		155	6.0		4		
			剥片	110	Q05		162	1.2		4		
Ⅲ-508	397	26	接合資料	110				755.2	48	4	1202	4783

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	110	N04		33	6.6		4		
			剥片	110	N04		57	2.3		4		
			縦長剥片	110	N04		61	6.3		4		
					N04	I	11	9.7		4		
					N04	I	12	9.2		4		
			剥片	110	N04		63	18.8		4		
			剥片	110	N04		74	2.7		4		
			剥片	110	N04		94	18.4		4		
			剥片	110	N04		117	2.6		4		
			剥片	110	N04		124	3.1		4		
			剥片	110	N04		144	5.5		4		
			剥片	110	N04		232	12.3		4		
Ⅲ~499	394	22	石核	110	N04		233	9.9		4		
				110	N04		249	29.9		4		
			剥片	110	N04		287	51.5		4		
			剥片	110	N04		360	73.4		4		
			剥片		N04	I	5	26.6		4		
			剥片		N04	I	6	9.6		4		
			剥片		N04	I	7	10.2		4		
				110	O05		99	4.4		4		
			剥片		N04	I	8	32.1		4		
			剥片		N04	I	9	11.8		4		
			剥片		N04	I	10	22.5		4		
			剥片		N04	I	13	4.2		4		
			剥片		N04	I	14	2.7		4		
			剥片		N04	I	15	1.7		4		
			剥片	110	O04		50	17.2		4		
			剥片	110	O04		52	3.7		4		
			縦長剥片	110	O04		63	2.2		4		
			剥片	110	O04		132	2.1		4		
Ⅲ~499	394	19	舟底形石器	110	O04		185	45.5		4		
			剥片	110	O04		280	1.9		4		
				110	O05		25	4.5		4		
			剥片	110	O05		79	69.4		4		
				110	O05		151	4.7		4		
			剥片	110	O05		105	5.6		4		
Ⅲ~499	393	17	舟底形石器	110	O05		124	37.1		4		
			剥片	110	O05		127	5.3		4		
			剥片	110	O05		145	4.7		4		
			剥片	110	O05		154	3.9		4		
			剥片	110	O05		155	2.7		4		
			剥片	110	P05		148	8.6		4		
			剥片	110	P05		247	18.8		4		
			剥片	110	P05		278	1.3		4		
			剥片		P08	I	1	112.1		4		
			剥片	110	Q05		55	13.4		4		
			剥片	110	Q05		81	1.5		4		
			剥片	110	Q05		127	1.0		4		
－	397	37	接合資料	110				1016.6	63	3･4	1216	4817
			剥片	110	N04		13	7.3		4		
			剥片	110	N04		15	82.1		4		
				110	O04		174	10.1		4		
				110	O04		433	87.2		4		
				110	O05		6	43.3		4		
				110	P05		225	12.4		4		
				110	P05		267	75.1		4		
			剥片	110	N04		77	0.9		4		
			縦長剥片	110	N04		186	27.7		4		
			石刃	110	N04		201	15.9		4		
			剥片	110	N04		231	14.3		4		
			剥片	110	N04		240	7.2		4		
			剥片	110	N04		266	2.1		4		
				110	Q05		160	5.0		4		
			剥片	110	N04		350	4.4		4		
			剥片	110	N04		354	5.3		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				110	O05		4	17.2		4		
			剥片		N04	I	27	12.5		4		
			剥片		N04	I	30	1.4		4		
			剥片		N04	I	31	1.0		4		
			剥片		N04	I	50	3.5		4		
			剥片		N04	I	55	1.4		4		
				110	Q05		128	7.3		4		
－	394	32	石刃核	110	O04		37	76.6		4		
			剥片	110	O04		54	8.5		4		
				110	O05		122	1.4		4		
				110	P05		179	4.6		4		
			剥片	110	O04		78	1.5		4		
			石刃	110	O04		159	10.5		4		
				110	Q05		121	8.7		4		
			剥片	110	O04		239	4.5		4		
			剥片	110	O04		248	8.5		4		
				110	P05		311	3.4		4		
			剥片	110	O04		308	25.0		4		
			剥片	110	O04		355	39.0		4		
			剥片	110	O04		374	21.1		4		
			剥片	110	O04		379	2.0		4		
			剥片	110	O04		410	1.0		3		
			剥片	110	O05		15	10.1		4		
			剥片	110	O05		16	7.5		4		
			剥片	110	O05		90	5.1		4		
			剥片	110	O05		93	35.6		4		
				110	Q05		68	33.3		4		
－	394	28	削器	110	O05		109	18.7		4		
				110	P05		17	55.8		4		
			剥片	110	O05		110	1.8		4		
			剥片		O05	I	5	19.7		4		
			剥片	110	P05		21	1.9		4		
			剥片	110	P05		111	0.8		3		
			剥片	110	P05		125	20.7		4		
			剥片	110	P05		164	3.1		4		
			剥片	110	P05		213	69.1		4		
			剥片	110	P05		243	4.3		4		
			剥片	110	P05		246	9.4		4		
				110	P05		321	19.8		4		
			剥片	110	P05		274	11.7		4		
			剥片		P05	I	2	4.0		4		
			剥片	110	Q05		6	11.8		4		
			剥片	110	Q05		24	4.5		4		
			剥片	110	Q05		31	2.1		4		
			剥片	110	Q05		86	1.6		4		
			剥片	110	Q05		103	2.3		4		
			剥片	110	Q05		120	1.0		4		
－	398	38	接合資料	110				296.5	15	4	1211	4804
			剥片	110	N04		361	37.3		4		
			剥片		N04	I	18	5.5		4		
Ⅲ~498	393	15	舟底形石器	110	O04		86	17.6		4		
			剥片	110	O05		107	40.3		4		
				110	P05		3	5.0		4		
			剥片	110	P05		54	6.7		4		
			剥片	110	P05		263	3.8		4		
－	394	29	舟底形石器	110	P05		310	11.1		4		
Ⅲ~499	394	23	石核	110	P05		338	84.8		4		
			剥片	110	Q05		9	2.1		4		
Ⅲ~498	393	13	削器	110	Q05		12	25.6		4		
			剥片	110	Q05		13	37.4		4		
			縦長剥片	110	Q05		26	8.3		4		
			剥片	110	Q05		130	10.1		4		
			剥片	110	Q05		169	0.9		4		
－	398	39	接合資料	110				901.4	96	3･4	1217	4823
			剥片	110	N04		165	2.3		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
			剥片	110	N04		189	3.7		4		
			剥片	110	N04		194	1.7		4		
			剥片	110	N04		290	2.5		4		
			剥片	110	N04		304	1.8		4		
				110	P05		250	12.8		4		
Ⅲ-499	394	18	舟底形石器		N04	I	2	39.7		4		
			剥片		N04	I	29	5.6		4		
			剥片		N04	I	32	2.6		4		
			剥片		N04	I	35	1.2		4		
				110	P05		174	210.2		4		
			縦長剥片		N04	I	52	20.2		4		
			剥片	110	O04		111	6.6		3		
			剥片	110	O04		265	2.3		4		
			剥片	110	O04		266	2.0		4		
			剥片	110	O04		278	1.5		4		
				110	P05		198	2.6		4		
			剥片		O04	I	1	1.6		4		
				110	Q05		157	1.6		4		
			剥片	110	O05		11	18.2		4		
			剥片	110	O05		53	12.9		4		
			剥片	110	O05		55	2.1		4		
			剥片		O05	I	3	5.7		4		
			剥片	110	P04		2	84.0		4		
				110	P05		165	26.7		4		
				110	Q05		33	2.3		4		
				110	Q05		170	0.9		4		
				110	Q05		176	2.9		4		
			剥片	110	P05		18	3.8		4		
			剥片	110	P05		45	1.4		3		
			剥片	110	P05		62	13.2		4		
			剥片	110	P05		64	1.5		4		
				110	P05		336	5.4		4		
			剥片	110	P05		94	8.5		4		
			剥片	110	P05		96	3.6		4		
			剥片	110	P05		108	1.1		4		
			剥片	110	P05		136	20.3		4		
			剥片	110	P05		137	3.5		4		
			剥片	110	P05		144	4.8		4		
				110	Q05		158	2.0		4		
			剥片	110	P05		188	5.6		4		
			剥片	110	P05		202	20.0		4		
				110	Q05		30	19.2		4		
			剥片	110	P05		204	2.3		4		
				110	Q05		108	1.9		4		
			剥片	110	P05		206	3.4		4		
				110	P05		209	1.7		4		
			縦長剥片	110	P05		207	12.9		4		
			剥片	110	P05		222	0.7		4		
			剥片	110	P05		236	3.4		4		
				110	Q05		28	3.5		4		
			縦長剥片	110	P05		239	12.6		4		
				110	Q05		41	2.0		4		
			縦長剥片	110	P05		270	3.3		4		
				110	Q05		2	17.8		4		
				110	Q05		84	2.5		4		
			剥片	110	P05		277	1.1		4		
			剥片	110	P05		303	4.4		4		
			剥片	110	P05		312	3.2		4		
			剥片	110	P05		341	2.8		4		
			剥片	110	Q05		7	3.7		4		
				110	Q05		134	5.8		4		
			剥片	110	Q05		23	24.7		4		
			剥片	110	Q05		29	5.9		4		
			剥片	110	Q05		45	0.8		4		
			剥片	110	Q05		46	1.7		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				110	Q05		106	3.8		4		
			剥片	110	Q05		47	5.7		4		
			剥片	110	Q05		51	9.7		4		
			剥片	110	Q05		59	13.8		4		
			剥片	110	Q05		60	14.0		4		
			剥片	110	Q05		62	10.9		4		
			剥片	110	Q05		64	4.6		4		
			剥片	110	Q05		66	5.4		4		
			剥片	110	Q05		69	3.4		4		
			剥片	110	Q05		70	0.8		4		
			剥片	110	Q05		71	2.4		4		
			剥片	110	Q05		80	1.3		4		
			剥片	110	Q05		89	11.4		4		
Ⅲ-499	393	16	舟底形石器	110	Q05		98	12.4		3		
				110	Q05		137	10.4		3		
			剥片	110	Q05		100	3.2		4		
			剥片	110	Q05		107	9.8		4		
			剥片	110	Q05		109	21.7		4		
			剥片	110	Q05		138	1.5		4		
			剥片	110	Q05		139	3.3		4		
			剥片	110	Q05		144	8.6		4		
			剥片	110	Q05		150	8.7		4		
			縦長剥片	110	Q05		156	8.2		4		
			剥片	110	Q05		165	2.9		4		
			剥片	110	Q05		166	1.5		4		
			剥片	110	Q05		171	0.8		4		
			剥片	110	Q05		173	0.8		4		
			剥片	110	Q05		182	1.6		4		
			剥片	110	Q05		201	2.3		4		
			剥片	110	Q05		202	2.3		4		
－	398	40	接合資料	110				479.3	55	4	1214	4810
			縦長剥片	110	N04		18	28.7		4		
			剥片	110	N04		19	10.0		4		
				110	Q05		58	3.9		4		
			剥片	110	N04		39	4.3		4		
			剥片	110	N04		73	3.7		4		
			剥片	110	N04		292	1.9		4		
				110	N04		314	3.0		4		
			剥片		N04	I	17	13.0		4		
					N04	I	49	0.5		4		
					N04	I	54	0.5		4		
			剥片		N04	I	36	9.0		4		
			剥片		N04	I	38	1.7		4		
			剥片		N04	I	39	8.6		4		
				110	Q05		122	7.1		4		
			剥片		N04	I	44	1.4		4		
			剥片		N04	I	45	3.5		4		
			剥片		N04	I	46	6.4		4		
			剥片		N04	I	47	5.0		4		
			剥片		N04	I	48	4.5		4		
			剥片		N04	I	51	1.4		4		
			剥片		N04	I	53	1.2		4		
			剥片	110	O04		59	2.1		4		
				110	O04		283	21.2		4		
			剥片	110	O04		107	12.3		4		
			剥片	110	O04		136	2.4		4		
			剥片	110	O04		139	13.9		4		
			剥片	110	O04		145	1.2		4		
			剥片	110	O04		177	4.7		4		
				110	O05		83	3.1		4		
			剥片	110	O04		194	4.3		4		
			剥片	110	O04		211	1.1		4		
			剥片	110	O04		220	22.2		4		
			剥片	110	O04		226	1.2		4		
			剥片	110	O04		275	1.0		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				110	O05		143	7.0		4		
			剥片		O04	I	5	6.0		4		
			剥片	110	O05		38	21.9		4		
			剥片	110	O05		59	2.3		4		
			剥片	110	O05		80	6.5		4		
			剥片	110	O05		82	12.2		4		
			剥片	110	O05		126	0.9		4		
			剥片	110	O05		139	4.0		4		
			剥片	110	O05		157	3.9		4		
			剥片	110	P05		78	4.3		4		
			剥片	110	P05		114	6.2		4		
				110	P05		157	47.4		4		
			剥片	110	P05		143	1.0		4		
			剥片	110	P05		160	12.3		4		
			剥片	110	P05		194	94.0		4		
			剥片	110	P05		221	0.7		4		
			剥片	110	P05		301	2.5		4		
			剥片	110	P05		328	5.4		4		
			剥片	110	Q05		16	7.2		4		
			剥片	110	Q05		25	20.9		4		
			剥片	110	Q05		90	2.7		4		
－	398	41	接合資料	110				455.6	13	4	1200	4779
			縦長剥片		N04	I	33	44.0		4		
				110	P05		161	70.3		4		
				110	Q05		196	4.7		4		
			剥片		N04	I	64	86.2		4		
			剥片	110	O04		279	25.8		4		
				110	P05		244	15.4		4		
			剥片	110	O05		35	21.6		4		

挿図	図版	番号	器種等	Sb	発掘区	層位	遺物番号	重量	接合点数	石質	母岩No	接合No
				110	O05		91	45.5		4		
			剥片	110	P05		146	3.4		4		
				110	Q05		135	23.5		4		
			剥片	110	P05		214	44.9		4		
			剥片	110	P05		308	62.7		4		
			剥片	110	Q05		148	7.6		4		
－	403	9	接合資料	86･90				845.8	22	1･5	702	3222
			剥片	90	K32		14	8.8		1		
					K32	I	10	121.8		1		
			剥片	90	K32		117	19.5		1		
			石刃	90	L32		25	82.7		5		
				90	L32		1239	14.0		1		
			剥片	90	L32		69	4.9		1		
				90	L32		264	10.7		1		
					L32	I	62	3.1		1		
			剥片	90	L32		193	2.6		1		
					L32	I	58	31.9		1		
					L32	I	59	10.7		1		
			剥片		L32	I	54	92.6		1		
					L32	I	55	89.1		1		
			石刃		L32	I	56	12.8		1		
Ⅲ-118	97	62	掻器	86	M35		14	3.6		1		
				86	M35		300	130.2		5		
				86	M35		550	9.8		1		
			石刃	86	M35		194	27.8		1		
				86	M36		16	30.6		1		
					M36	I	2	30.9		1		
Ⅲ-118	97	63	掻器	86	M35		405	87.0		5		
				86	M35		502	20.7		1		

報 告 書 抄 録

ふりがな	しらたきいせきぐんろく
書名	白滝遺跡群Ⅵ
副書名	一般国道450号白滝丸瀬布道路工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書
巻次	
シリーズ名	（財）北海道埋蔵文化財センター調査報告書
シリーズ番号	第223集
編著者名	鈴木宏行・直江康雄
編集機関	（財）北海道埋蔵文化財センター
所在地	〒069－0832　江別市西野幌685番地１
発行年月日	2006年３月17日

所収遺跡（ふりがな）	所在地（ふりがな）	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
上白滝８遺跡（かみしらたきはちいせき）	北海道紋別郡白滝村（ほっかいどうもんべつぐんしらたきむら）字上白滝（あざかみしらたき）179-1, 181-2～4, 182-2・３	01557	I-20-91	43°52′25″	143°07′58″	19950508～19951025 19960508～19961025 19970506～19971025 19980506～19981024 20000508～20001027	6,600m² 10,212m² 320m² 56m² 661m²	道路建設に伴う事前調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
上白滝８遺跡（西地区）	散布地	旧石器時代	炭化木片ブロック17か所 石器ブロック48か所	基部平坦加工石器、裏面微細加工石器、台形石器、有舌尖頭器、尖頭器、尖頭器削片、両面調整石器、ナイフ形石器、彫器、彫器削片、掻器、削器、錐形石器、舟底形石器、二次加工ある剥片、細石刃核、石刃、縦長剥片、石刃核、石核、斧形石器、つまみ付きナイフ、原石、台石 （総点数626,305点） （総重量1,685,473.9g）	後期旧石器時代前半期の石器群（「白滝Ⅰ群」） 小型舟底形石器を含む石器群 大型石刃・大型舟底形石器を含む石器群 忍路子型細石刃核を含む石器群 幅広有舌尖頭器を含む石器群 広郷型ナイフ形石器を含む石器群

㈶北海道埋蔵文化財センター調査報告書　第223集

白 滝 遺 跡 群 Ⅵ

第１分冊（本文編）

白滝村　上白滝８遺跡（２）

一般国道450号白滝丸瀬布道路工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書

平成18年３月17日

編集・発行　　財団法人　北海道埋蔵文化財センター
〒069-0832　江別市西野幌685番地１
☎011(386)3231　　FAX011(386)3238
印　　刷　　ひまわり印刷株式会社